

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年6月25日

【事業年度】 自 2020年1月1日 至 2020年12月31日

【会社名】 スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト
(Svenska Handelsbanken AB (publ))

【代表者の役職氏名】 トーマス・オーマン
(Thomas Åhman)
シニア・ヴァイス・プレジデント
(Senior Vice President)

マルクス・ラーソン
(Marcus Larsson)
デピュティ・ヘッド・オブ・トレジャリー
(Deputy Head of Treasury)

【本店の所在の場所】 スウェーデン王国 SE-106 70 ストックホルム クングストラッド
ゴードシュガータン 2
(Kungsträdgårdsgatan 2, SE-106 70 Stockholm, Sweden)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 多賀 大輔

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1029

【事務連絡者氏名】 弁護士 小峰 直之
弁護士 森 真幸人

【連絡場所】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1524
03-6775-1679

【縦覧に供する場所】 該当事項なし。

注記：

(注1) 本書において、別段の記載がある場合を除いて、下記の用語は下記の意味を有するものとする。

「当行」とは、	スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトをいう。
「当行グループ」とは、	スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト及びその連結子会社をいう。
「北欧諸国」又は「北欧」とは、	スウェーデン、デンマーク、フィンランド及びノルウェーをいう。
「スウェーデン」とは、	スウェーデン王国をいう。

(注2) 別段の記載がある場合を除き、「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを、「米ドル」はアメリカ合衆国ドルを、「円」は日本円を、「英ポンド」は英貨ポンドを、「デンマーク・クローネ」はデンマーク・クローネを、「ノルウェー・クローネ」はノルウェー・クローネを、「ユーロ」は欧州連合の機能に関する条約(その後の改正を含む。)に基づき単一通貨を採用する又は採用した欧州連合の加盟国の通貨を指す。2021年5月28日現在(日本時間)、株式会社三菱UFJ銀行が提示した対顧客電信売買相場の仲値は、1スウェーデン・クローネ=13.28円であった。本書におけるスウェーデン・クローネから日本円への換算額は、読者の便宜のためにのみ記載するものであり、スウェーデン・クローネ額が上記レートで日本円に換算されることを示すものと解してはならない。

(注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。

(注4) 本書には、将来の事象、財務及び経営成績並びに将来の市場の状況についての経営陣の現在の予測を反映した、将来の見通しに関する記述が含まれている。「確信している」、「期待している」、「予想している」、「目指す」、「見積もっている」、「意図している」、「見通しである」、「目標としている」、「と思われる」、「可能性がある」、「想定する」、「場合がある」、「予定である」及び「はずである」等の語句又はその他の変化形若しくは類似の用語は、将来の見通しに関する記述であることを明確にすることを意図している。将来の見通しに関する記述は本書中、複数箇所に登場する(「第一部 - 第3 - 2 事業等のリスク」並びに「第一部 - 第3 - 3 - (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を含むが、これらに限られない。)

将来の見通しに関する記述は、将来起こることも起こらないこともある事象に関連し、またかかる状況に依拠するものであるため、本来的にリスク及び不確実性を伴う。当行グループ及び当行は誠実に、かつ合理的と信じる想定に基づいて、上述の将来の見通しに関する記述を記載したが、かかる将来の見通しに関する記述のいずれも、将来の実績を確約又は保証するものではない。当行グループ及び当行の実際の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー並びに当行グループ及び当行が事業を行っている市場の動向は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述において明示又は示唆された内容とは大幅に異なる可能性がある。「第一部 - 第3 - 2 事業等のリスク」並びに「第一部 - 第3 - 3 - (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」におけるすべての将来の見通しに関する記述は、本有価証券報告書提出日現在で見積もられたものである。

将来の見通しに関する記述に依拠する場合、読者は、前述の要素、その他の不確定要素及び事象、特に当行グループ及び当行が事業を行う環境における政治的、経済的、社会的及び法律的な要因について慎重に検討すべきである。かかる将来の見通しに関する記述は、それらの記述がなされた日現在における記述に過ぎない。したがって、当行グループ又は当行のいずれも、それらの記述について、新たな情報、将来の事象又はその他の要因にかかわらず、更新又は修正する義務を負わない。当行グループ及び当行は、かかる将来の見通しに関する記述により期待される結果が達成されると表明し、保証し又は予想するものではなく、また、将来の見通しに関する記述は、いずれの場合も、多くの想定されるシナリオのうちの一つを示しているに過ぎず、もっとも可能性の高いシナリオ又は標準的なシナリオと考えられるべきではない。

(注5) 当行は、いかなる場合においても、本書において税制上、法律上又は規制上の助言を行うものではない。

(注6) 当行グループ及び当行の事業年度は暦年である。

第一部【企業情報】

第1【本国における法制等の概要】

日本において得られた判決の効力

外国の裁判所が民事及び商事事件について下した判決のスウェーデンにおける執行可能性は、当該判決の執行可能性がスウェーデンの法律に明示的に定められていること又は判決の相互承認及び執行を定める条約を条件とする。日本とスウェーデンは、民事及び商事事件の判決の相互承認及び執行を定める条約を締結していない。したがって、民事責任に基づいて日本の裁判所が下した判決は、スウェーデンにおいて直接執行できない。

有利な最終判決を得た者が管轄権のあるスウェーデンの裁判所に新規に提訴する場合、その者は日本の裁判所によるかかる最終判決をスウェーデンの裁判所に提出することができる。かかる最終判決は、スウェーデンの裁判所においては、かかる判決が関係する紛争の結果に関する証拠としてしか扱われず、スウェーデンの裁判所は、新規にかかる紛争について審理することができる。

1【会社制度等の概要】

(1)【提出会社の属する国・州等における会社制度】

(i)概要

関係法令及び自主規制

当行のようなスウェーデンで設立された公開有限責任会社である銀行(publikt bankaktiebolag)は、主として、すべての有限責任会社に適用されるスウェーデン会社法(aktiebolagslagen (2005:551))(以下「会社法」という。)、スウェーデンにおける銀行・金融業を規制するスウェーデン銀行・金融業法(lag (2004:297) om bank- och finanseringsrörelse)(以下「銀行法」という。)及び証券業を規制するスウェーデン証券市場法(lag (2007:528) om värdepappersmarknaden)(以下「証券市場法」という。)により規制される。有限責任会社である銀行の年次会計は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(lag (1995:1559) om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag)により規制される。当行はナスダック スtockホルムに上場しているため、ナスダックの上場規則(発行会社のための規則集)及び自主規制の基礎であり、「遵守するか、そうでない場合は説明をする(comply or explain)」の原則に基づくスウェーデンコーポレート・ガバナンス・コード(以下「コーポレート・ガバナンス・コード」という。)も遵守しなければならない。

当行は、スウェーデン金融監督庁(Finansinspektionen)(以下「SFSA」という。)から、銀行法に基づく銀行業を営む免許及びとりわけ証券市場法に基づく証券業を営む免許を取得している。そのため、当行は、SFSAの規則及びSFSAが発表する一般指針の適用を受ける。さらに、当行の子会社の多くは金融機関及び保険会社を規制するスウェーデン及び外国の法律により規制されており、またSFSA又は他の法域における類似機関の監督に服している。当行は、当行が事業を営むすべての市場において、消費者保護をはじめとする広範な規制に服している。

銀行法の規定のうち特筆すべきは、当行の株式を取得しようとする株主の持分が一定の基準(当行の資本又は議決権の10、20、30若しくは50%又は結果的に当行が取得者の子会社となるような数)に達するか若しくはそれを超えることとなる場合、又は株主がその他の方法により当行の経営に重要な影響力を持つこととなる場合には、SFSAの事前の承認が必要であるとする規定をはじめとする、所有及び経営評価に関する規則である。さらに、当行の取締役会の構成員及びその代理並びに経営責任者及び経営責任者代理の任命については、経営評価に関するスウェーデンの規則に基づき、SFSAの承認を得なければならない。

設立

当行は、公開有限責任会社である銀行(publikt bankaktiebolag)である。

有限責任会社の設立には、発起人が特に会社の定款(bolagsordning)を含む設立証書(stiftelseurkund)を作成することを要する。定款は、とりわけ、会社の商号及び事業活動に関する情報を含むことを要する。

設立証書には、会社の株式を引き受ける発起人の名前及び各発起人の引受株式数が記載される。引受株式の支払いは、現金又は現物(apportegendom)によりなすことができる。会社は、会社登記番号を交付するスウェーデン会社登記所(Bolagsverket)(以下「SCRO」という。)に登録することにより設立される。登記の申請は、設立証書の作成後6ヶ月以内にSCROに対してなされなければならない。

非公開有限責任会社の資本金は50,000スウェーデン・クローネ以上、公開有限責任会社の資本金は500,000スウェーデン・クローネ以上であることを要する。一般に、銀行法に従い、銀行はその事業開始にあたり、SFSAからの免許取得時に5百万ユーロ以上の当初資本金を有していなければならない。

定款

定款は、すべての有限責任会社の基本的な統治書類である。定款には、とりわけ、会社の事業内容、資本金及び株主の株主総会出席権が記載される。定款は公的記録上に保存され、SCROにおいて入手可能である。

資本金及び株式

資本金

会社法に従い、公開有限責任会社の資本金は500,000スウェーデン・クローネ以上であることを要する。銀行法には、銀行の資本規模は銀行の事業の範囲及び性質に基づき決定されなければならない旨を定める追加の規定がある。有限責任会社の定款には、資本金の最低額及び最高額を定めなければならない。有限責任会社の現在の登録資本金は公的記録事項であり、SCROにおいて入手可能である。

議決権

有限責任会社の定款に別段の定めのない限り、1株は1議決権を有する。定款には、他の株式の10倍超の議決権を有する種類株式について定めることはできない。当行の定款の下では、A種株式及びB種株式の2種類の株式を発行することができ、A種株式には1株につき1議決権が、B種株式には1株につき10分の1の議決権が付される。

配当

スウェーデン法に基づき、配当は株主総会での承認を得なければならない。配当は、分配可能額の範囲内であることに加えて、事業の性質、範囲及びリスク並びに会社の財務体質、流動性及び財政状態を強化する必要性から課される株主資本の大きさに関する要請に照らして、妥当な範囲内である場合に限られる。さらに、株主は、一般のルールとして、取締役会で提案又は承認された額を上回る額の配当の決定をすることはできない。

スウェーデン法においては、当行の発行済株式総数の10分の1以上を保有する株主には、当行の利益から配当金の支払いを要求する権利がある。かかる要求がなされたら、年次株主総会では、()非制限準備金を超える繰越損失の超過額、()法律又は定款により、制限資本に繰入れなければならない額、及び()定款上、当行の株主資本の5%を超えて充当されるべきとされている額を控除の上、承認された貸借対照表に従い当期の残存利益の2分の1相当額の配当を決議する。さらに、株主総会では、分配可能額を上回る配当又は上述の妥当な範囲を超えた配当を行うことはできない。

株主総会は、有限責任会社における上位機関であり、株主への配当の分配を決定する権利を有する唯一の機関である。

配当は、通常、ユーロクリアを通じて1株毎に現金で支払われるが、現物により支払われることもある(現物配当)。株主総会において決定された基準日において、ユーロクリアが保管する株主名簿に株式所有者として登録されている者が、配当を受領する権利を有する。ユーロクリアを通じて株主と連絡を取ることができない場合も、当該株主は配当金額に係る当行への請求権を保持し、かかる権利は時効によってのみ制限される。請求権が時効になった場合、配当金額は当行が没収する。

当行株式の取引

当行の株式は、ナスダック スtockホルムでの取引が認められている。

ナスダック スtockホルム等の取引所における取引を認められた株式の譲渡は、ユーロクリアのシステムを通じて清算及び決済される。

ライツ・イシュー

既存株主は、スウェーデン法の主要規則として、株式、ワラント及び転換可能証券の新規発行の場合と同様に、その保有株式数に応じて新株式の優先的引受権を有する。但し、株主総会は株主の優先的引受権を制限する決議をすることができる。かかる決議は、投票総数及び総会出席者の保有株式数の各々3分の2以上を保有する株主の賛成がある場合にのみ有効である。さらに、発行される有価証券の対価が現金以外で払い込まれる場合、株主は優先的引受権を有しない。会社又はその子会社が保有する株式には、優先的引受権は付されない。

株主総会、取締役会及び経営責任者

株主及び株主総会

株主は、有限責任会社における最上位の意思決定機関である有限責任会社の株主総会(bolagsstämma)においてその権利を行使する。年次株主総会(årsstämma)に加えて、臨時株主総会(extra bolagsstämma)が招集される場合もある。株主総会は、特に、定款又は資本金の変更及び利益配分を決議し、取締役会の構成員を任命し、取締役会の構成員及び経営責任者の免責を決議し、取締役会の報酬を決議し、経営責任者及び上級経営陣の報酬原則を承認する。

株主総会出席権

当行のような会社の株主名簿はユーロクリアが保管しているが、株主総会の6銀行取引日前の日において株主名簿に登録されており、かつ遅くとも株主総会の4銀行取引日前までに当該名簿に直接登録されている株主であって、株主総会招集通知に記載の日において当行に出席の意思を通知した株主は、株主総会に出席する権利を有する。株主は、本人又は代理人により株主総会に出席することができる。株主は、2名以下の同伴者を同行させることができる。株主は通常、複数の異なる方法により株主総会のための登録をなすことができる。株主総会招集通知には、株主総会への出席権を得るために株主が登録を行い当行への通知をなすべき方法及びその期限が記載されている。

取締役会

銀行法及び会社法に基づき、取締役会は、当行のような会社の組織及び経営につき最終的な責任を負う。年次株主総会は、会長を含む取締役会の構成員を選任し、監査人の選任が予定された場合は、監査人を選任する。コーポレート・ガバナンス・コードに従い、会長を含む取締役会の構成員及び監査人の指名は、指名委員会が行うものとする。指名委員会の任命原則は、株主総会において決議される。

SCROが例外を認める場合を除き、スウェーデン法の下では、経営責任者及び半数以上の取締役が欧州経済領域に属する国の居住者であることを要する。有限責任会社の定款は、通常、株主総会で選任された取締役会の構成員の任期を次の年次株主総会の時までとする旨定めている。株主により選任された取締役会の構成員は、株主総会により随時解任することが可能であり、取締役会の欠員は株主総会の決議によってのみ補充される。スウェーデン法の下では、公開有限責任会社の経営責任者は、取締役会会長を務めることができない。さらに、公開有限責任会社である銀行においては、取締役会のすべての構成員につきSFSAの承認を得なければならない。

経営責任者

公開有限責任会社である銀行においては、取締役会は経営責任者を任命しなければならない。会社法に従い、経営責任者は、取締役会が出した指針及び指図に従って会社の日常的な経営につき責任を負う。さらに、経営責任者は、法に従って会社の計算を管理し、健全な資金運営が行われるよう必要な措置を講じなければならない。経営責任者は、SCROに登録される。さらに、公開有限責任会社である銀行においては、経営責任者につきSFSAの承認を得なければならない。

損害賠償責任

会社法に従い、自らの職務の遂行にあたり故意又は過失により会社に損害を及ぼした発起人、取締役会の構成員又は経営責任者は、かかる損害を賠償しなければならない。会社法、適用ある年次報告関係法令又は会社の定款に違反した結果、株主又はその他の者に損害を及ぼした場合も同様である。さらに、有限責任会社である銀行については、銀行法、スウェーデンの金融機関及び投資機関の特別監督に関する法律(lag (2014:968) om särskild tillsyn över kreditinstitut och värdepappersbolag)、資本バッファに関する法律(lag (2014:966) om kapitalbuffertar)並びにEUの所要自己資本規制(EU)575/2013に違反した場合も上記と同様である。

損害は、作為又は不作為の性質、損害の程度及び一般的な状況を考慮の上、合理的に調整されることがある(jämkas)。同一の損害につき複数の者が責任を負う場合、それらの者のいずれかの責任が上記に従い調整されない限り、かかる者は連帯して責任を負う。これらの者のいずれかが損害を賠償した場合、かかる者は他の当事者に対して状況に応じて合理的に求償権を行使することができる。

会社への損害に関する訴訟は、株主総会において、過半数又は会社の全株式の10分の1以上を保有する少数株主が、損害に関する訴訟の提起の決議に賛成した場合又は取締役会の構成員若しくは経営責任者の免責の決議に反対した場合にのみ提起することができる。

法定監査人

銀行法に従い、有限責任会社である銀行は、1名以上の監査人を置かなければならず、選任される監査人の1名以上は、認可公認会計士(auktoriserad revisor)であることを要する。

年次計算書類

スウェーデンの会計関連法令は、会計に関する強制法により構成され、そのうち最も重要なものが年次報告法(årsredovisningslagen)及び簿記法(bokföringslagen)である。年次報告法及び簿記法は、会計の一般的な枠組であり、いずれも「一般に公正妥当と認められた会計原則」を定めるものである。信用機関は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法の適用を受ける。

規制市場(ナスダック スtockホルム等)における取引を認められた株式の発行会社は、IFRSに従って連結年次計算書類を作成しなければならない。

年次株主総会においては、損益計算書及び貸借対照表の承認決議がなされ、グループ全体の財務書類を作成しなければならない親会社の年次株主総会においては、連結損益計算書及び連結貸借対照表の承認決議がなされる。前事業年度の年次報告書は、当該年次報告書に対応すべき年次株主総会よりも前に監査人に提出されなければならない。

会社は、すべての事業年度につきSCR0に年次報告書を提出しなければならない。その結果、年次報告書は一般に閲覧可能なものとなる。

()規制環境及び資本基盤

規制環境

スウェーデン金融監督庁

1世紀以上の間、スウェーデンにおける銀行業は政府の厳密な検査及び管理に服してきた。SFSAは、スウェーデンの金融機関の監督当局である。SFSAの監督責任は、銀行及びその他の金融機関から、保険会社、証券業者、ファンドの運用会社及びナスダック スtockホルムにまで及んでいる。かかる監督責任は、スウェーデンの銀行の国外支店にも及ぶ。SFSAの総合的な目的は、金融システムの安定化及び効率性に貢献するとともに消費者保護を促進することである。

SFSAの監督は、とりわけ、自己資本比率、大口エクスポージャー及び財務書類に関する報告書の分析、並びに各銀行の業務がスウェーデンの銀行法規を遵守することを確実にするための実地検査を通して行われる。

SFSAは法律により授けられた規制権限を有しており、これには、会計規制を発令し、銀行に対し月次財務書類及び様々なリスク報告書の提出を求め、各銀行の業務が銀行業務を規制する法律及び各銀行の定款を遵守することを確実にするための定期的な検査を実施する権限が含まれる。SFSAは、各銀行の年次株主総会において株主により選任される監査人とともに当該銀行の財務書類及び業務運営を調査する1名以上の監査人を任命する権限を有する。SFSAは、2008年度から2020年度の会計年度については当行の監査人を任命しなかった。

監督機能に加えて、SFSAは、スウェーデンの金融市場で事業を営む会社に対する義務的規制及び一般指針の両方を公表している。SFSAは、CRD (以下で定義する。)に基づく資本バッファを決定し、適用する主な責任を負い、マクロ・プルーデンス監督において中心的役割を果たす。

銀行法は、すべての銀行に対し、SFSAの与える免許に基づいて営業するよう求めている。かかる免許は無期限であるが、SFSAによる制限付取消権に服する。

当行の存続期間は無期限である。

リクスバンク

リクスバンクは、スウェーデンの中央銀行であり、スウェーデン議会(リクスダーグ)の機関である。リクスバンクは、金融政策を決定し、スウェーデンの為替政策の実施に責任を負い、スウェーデンの通貨準備を管理し、一定の場合における銀行への最後の貸手として待機している。また、リクスバンクは、銀行間の決済手続を行う。

スウェーデン国債局

スウェーデン国債局(Riksgäldskontoret)(Swedish National Debt Office、以下「SND0」という。)は、銀行サービスを中央政府に対して提供し、借入を行い、中央政府の債務を管理し、政府保証及び貸付を提供する。当局はまた、預金保険制度及び投資家保護制度の責任を負い、スウェーデンの破綻処理機関でもある。

所要自己資本

2013年6月27日、バーゼル 合意に基づく、改定された欧州における自己資本比率及び流動性の枠組が正式に発表された。この新しい枠組は、2014年8月2日に2つの新たな法律(スウェーデンの資本バッファに関する法律(2014:966)及びスウェーデンの金融機関及び投資機関の特別監督に関する法律(2014:968))を通じてスウェーデンにおいて国内法化された指令2013/36/EU(以下「CRD」又は「CRD指令」という。)、並びにすべてのEU加盟国で直接適用される規制(EU)575/2013(以下「CRR」という。)を含んでいた。この自己資本比率の枠組に関する変更は、最高の質を有する自己資本(すなわち普通株式等Tier 1資本及びTier 1資本)の構成要素に対するより厳格な最低所要自己資本を含んでいる。この最低所要自己資本に加えて、新しいバッファ要件が導入された。

2016年11月23日、欧州委員会は、CRRの改正案(COM (2016) 850)及びCRD指令の改正案(COM (2016) 852)(以下、合わせて「CRR/CRD改正案」という。)により、CRR及びCRD指令の改正を提案した。CRR/CRD改正案により、とりわけ3%のレバレッジ比率の要件、Tier 1資本、安定した調達のための調和のとれた拘束力のある要件、内部モデルの利用に係る条件の強化及び関連規制当局による金融機関特有の第二の柱において追加された資本の適用についての変更(以下「自己資本の追加基準」という。)などが導入された。

2019年6月7日に、()レバレッジ比率、正味安定調達比率、自己資本及び適格債務の基準、カウンターパーティー・信用リスク、市場リスク、中央清算機関へのエクスポージャー、集団投資事業へのエクスポージャー、大口エクスポージャー、報告及び開示の要件に関してCRRを改正するCRR 並びに()適用除外の企業、金融持株会社、混合金融持株会社、報酬、監督措置及び監督権限並びに資本保全措置に関してCRD指令を改正するCRD V指令を通じて、CRR/CRD改正案が欧州連合官報において公表された。CRR及びCRD指令の改正版は、2019年6月27日に効力が発生した。新たな各規則の適用日は、効力発生日から、及び効力発生後12ヶ月から4年の間と、それぞれ異なる。

これらの自己資本の追加基準の改正は、当初のCRR/CRDに基づいて関連規制当局が適用したアプローチとは異なり、スウェーデンの銀行の全体的な所要自己資本の水準及び構成の変更に通じる。

自己資本比率の枠組に従って、当行グループは、信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに関するリスク加重エクスポージャー金額合計の4.5%以上の普通株式等Tier 1資本、6%以上のTier 1資本及び8%以上の自己資本合計を保有しなければならない。

当行グループは、最低所要自己資本を満たす資本を維持することに加え、スウェーデンにおいては2.5%の資本維持バッファ、2.5%までのカウンターシクリカル・バッファ、「その他の金融システム上重要な機関(0-SII)」として指定されたことに起因する1%のバッファ及び3%のシステムミック・リスク・バッファの合計により構成される結合バッファ要件に従うための普通株式等Tier 1資本も維持しなければならない。例えば配当に対する規制を回避するためには、定められた結合バッファ要件を満たさなければならない。

2017年3月19日以降、カウンターシクリカル・バッファがスウェーデンにおいて適用されている。カウンターシクリカル・バッファは当初2%であり、2019年9月には2.5%に増加したが、2020年3月に0%に減少した。スウェーデン国外のエクスポージャーに対するカウンターシクリカル・バッファ要件に関して、SFSAは、その他の国の所轄当局がその国のエクスポージャーに関して決定する2.5%までのバッファ水準を認めることとなる。2020年3月、スウェーデン、デンマーク及び英国は、COVID-19及びその経済効果に対応して、自国のカウンターシクリカル・バッファを0%に引き下げた。同様に、ノルウェーはそのバッファ要件を2.5%から1%に引き下げた。カウンターシクリカル・バッファ要件の引き下げは、COVID-19の大流行に直接対応した一時的な措置であるが、現時点ではこれらの措置は少なくとも2022年第1四半期までは継続すると予想されている。

上記の第一の柱の要件と称される要件に加えて、当行グループは、規制の第二の柱に基づく要件のための資本を保有していなければならない。当該改正は、第二の柱に基づく資本要件(以下「P2R」という。)と第二の柱の指針(以下「P2G」という。)の間の明確な違いを制定した。P2Rは追加の最低要件となり、第一の柱の最低要

件より上位に、また結合バッファ要件より下位に配置され、第一の柱によりカバーされない又は十分にカバーされないリスクに対応する。結果として、当該結合バッファ要件にリンクする、配当に対するこの自動的な規制が、関連規制当局により現在導入されている第二の柱のアプローチの前に発動される可能性がある。金融システム上のリスク及びマクロ・プルーデンスのリスクに対する追加された資本の適用は、明確にP2Rから除外されている。P2Gは一方、金融機関に対し、将来的な又は遠隔的な状況に対処するために、第一の柱に基づく資本要件、P2R及び結合バッファ要件を超えた資本を保有することを要求するための所轄官庁の能力について言及している。当該改正によると、この指針は資本ターゲットを構成し、当該結合バッファ要件の上位に配置されている。これらの要件は、各金融機関に特有のものであり、監督機関により決定される。集中リスク、年金リスク、非トレーディング勘定における金利リスク等の様々な要因が第二の柱において評価される。SFSAはまた、不動産会社へのエクスポージャーに第二の柱におけるリスク加重のフロアを導入した。スウェーデンにおける商業用不動産を担保とする不動産会社へのエクスポージャーのフロアは35%、またスウェーデンにおける住宅用不動産を担保とする不動産会社へのエクスポージャーのフロアは25%である。SFSAはまた、P2Gに基づく資本バッファを保有する必要性を算定している。かかる指針が資本維持バッファを上回らないと推定される限り、資本計画バッファにより当行グループに対し資本費用がこれ以上発生することはない。P2Gは、2021年度の監督審査及び評価プロセスの一環として、SFSAにより決定される。

2018年12月31日より、スウェーデンの住宅ローンは、CRRの第458条に基づき、第一の柱におけるリスク加重のフロアに服している。かかるフロアはリスク加重エクスポージャー金額に直接影響を与え、したがって当行グループの最低所要自己資本に反映されている。2018年8月22日、SFSAは、IRB手法によってカバーされるスウェーデンの住宅ローンのエクスポージャーに対して、25%の金融機関特有の第一の柱におけるリスク加重フロアを課すことを決定した。最新の決定は、2018年12月31日から2021年12月30日まで適用される。

現在、第二の柱における22%のリスク加重のフロアがノルウェーの住宅ローンに適用されている。かかるフロアは将来、ノルウェー当局が発表した措置をSFSAが採用した場合、置き換えられる可能性がある。かかる措置により、すべてのノルウェーの住宅用及び商業用不動産へのエクスポージャーの第一の柱における平均リスク加重に、それぞれ20%及び35%の一時的なフロアが導入される。かかる場合、当該フロアは2年間適用され、CRRの第458条第4項及び第458条第9項の規定に基づく。かかる措置は、EU/EEAの関連当局への通知の手続きを経て、ノルウェーにおいて正式に採用される。

当行グループは、規制上の最低資本及びバッファ要件に加えて、自己資本比率の内部評価を実施しなければならない。かかる内部評価においては、すべてのリスク及び所要自己資本を公平な方法で評価する。2007年のバーゼル の導入以降、自己資本比率の内部評価の過程において、当行グループは、第一の柱に基づき正式に求められているよりもかなり多くの資本を保有している。これは、資本の内部評価が経済資本(以下「EC」という。)及び保守的なストレステストの計算に基づくことに起因しており、通常の景気のサイクルにおける資本供給が、ストレス条件下で発生する可能性のある潜在的な損失及び所要自己資本の変動を埋め合わせるのに十分なものでなければならないことを示している。第二の柱の枠組におけるすべての資本費用は、包括的な資本評価、すなわち当行の所要自己資本へのSFSAの個別評価において行われる。これは第一の柱において設定された最低所要自己資本に追加されたもので、P2Rの費用は、例えば配当に対する自動的な規制が効力を生じる水準に直接影響を及ぼすが、一方でP2Gの費用は影響を及ぼさない。

2021年に採用された当行グループの最新の資本方針は、自己資本比率の内部評価に関するガイドラインを規定している。

普通株式等Tier 1比率に関して、当行は、通常の状況下においてSFSAから当行に対して伝達された普通株式等Tier 1資本要件を1%から3%上回ることを目標にしている。2021年3月31日現在、普通株式等Tier 1比率は20.2%であった。2021年第1四半期末のSFSAの当行グループに対する普通株式等Tier 1資本要件は14.0%(P2Gの1%を含む。)であった。したがって、当行グループの普通株式等Tier 1比率は目標範囲内であった。上記のと

おり、2019年12月31日以降のカウンターシクリカル・バッファー要件が緩和されたことにより、当行グループの普通株式等Tier 1資本要件は減少している。英国における信用リスクの所要自己資本を当行グループのレベルで計算するため、IRBから標準的基準へ移行したことにより、普通株式等Tier 1比率は1.4パーセント・ポイント減少した。

2021年6月28日以降、当行グループは3%の拘束力のあるレバレッジ比率の要件の対象となる。自己資本比率は、標準的アプローチにおいて定義された信用換算係数を用いて再計算された貸借対照表に記載しない特定の項目を含む資産合計及び自己資本の規制上の調整に関するTier 1資本として定義される。

2017年12月に提示したように、当行のバーゼル委員会が提案した所要自己資本規制への変更(また、CRD を含む。)に対する包括的な評価は、当行グループの資本が、かかる法案が求めるであろう所要自己資本に合致するというものである。当該バーゼル改正の適用は、しかしながら未だEU内で協議中である。

金融機関の再生及び破綻処理に関する指令(2014/59/EU)(以下「BRRD」という。)は、破産処理法(2015:1016)を通じてスウェーデンの法律において施行された。これらの規制により、銀行の危機管理方法が明示され、一定の枠組みの中で、銀行を清算又は破産させることなく、当局が銀行の全部又は一部の管理、再編及び売却を引き受けることが可能となる。これらの危機管理措置に加えて、かかる規制により、危機に陥った銀行の資本再構築を目的として、特定の債務を削減する機会が提供されている。これらの規制の一つの側面として、2018年1月1日から、減損として適格な債務の最低基準(MREL)(以下で定義する。)が導入された(下記「自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)」を参照のこと。)。かかる最低基準は、破綻処理機関(SNDO)及びSFSAにより策定された当行グループの破綻処理計画に定められている。当行グループの2021年度の自己資本及び適格債務の最低基準(以下「MREL」という。)は、連結勘定の総負債及び自己資本合計(以下「TLOF」という。)の5.7%(前年度は5.8%)に相当する。かかる要件は、損失吸収額及び資本再構築額により構成される。2020年度末、当行グループは、合計でTLOFの11.1%に相当するMREL適格負債を有していた。当行は2024年1月1日までに、一定のシニア債を、MREL適格の新たな形式の下位シニア債に借り換えることが見込まれている。

金融機関及び投資会社の損失吸収能力並びに資本再構築能力に関するBRRDに係る改正は、BRRDを改正するBRRD の方式により、2019年6月7日に欧州連合官報において公表された。BRRDの改正版は、2019年6月27日に効力が発生した。新たな各規則の適用日は、(一部を除き)効力発生から18ヶ月後である。CRDの改正を施行するスウェーデンの法令変更は、2020年12月29日にスウェーデンにおいて効力が発生したが、ほとんどの変更が同日から適用された一方で、施行された変更の一部は次の期日まで適用されない(また、CRR に関連するスウェーデンの法令変更は2021年6月28日まで適用されない。)。BRRDの改正を施行するスウェーデンの法令変更は、2021年7月1日に効力が発生することが見込まれている。

2020年12月31日現在の当行グループの自己資本についての詳細情報については、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G49」を参照のこと。

「バイルイン」を含む金融機関及び投資会社の再生及び破綻処理

2014年5月6日、欧州理事会は、金融機関及び投資会社の再生及び破綻処理に関するEU全体にわたる枠組の設定を定める指令(BRRD)を採択した。BRRDは、金融の安定を守り、納税者の損失エクスポージャーを最小限に抑えるために、当局に対して金融危機に先制的に対応するための一連の手段及び権限を与えることを目的としている。スウェーデンにおいてBRRDを実施する国内法は、2016年2月1日に効力が発生した。

この指令に基づき当局に与えられた権限は、予防権限、早期介入権限及び破綻処理権限に分類される。SFSA及びSNDOは、スウェーデンにおいてBRRDを実施する国内法に基づき権限が与えられる。破綻処理権限を行使する主な責任は、破綻処理機関であるSNDOが負う。最終的に、当局は、例えば民間の買主又は民間部門の決めまでの間、公的管理事業体(いわゆる「ブリッジ金融機関」)に銀行を譲渡することができる。この指令は、また、損失を銀行の株主及び債権者に対し負担させることを確実にするために、株式資本の削減並びに未払債

務(資本基盤に加算される債務及びその他の債務の両方を含む。)の削減及び/又は銀行の資本への転換を行う広範な権限を含んでいる。このメカニズムを、一般的に「ペイルイン」という。破綻している銀行のかかる債務のほとんどが、ペイルインの対象となる(付保預金及び担保付負債等の一定の例外を除く。)。BRRDの実施に伴い、欧州の銀行は、MRELを満たすため、ペイルインの実施が可能となるリソースを保有することが求められている。

ペイルイン・ツールは、破綻しているか又は破綻寸前である機関の資本再構築のために用いられ、当局が、破綻処理プロセスを通じて当該機関を再建し、その組織改編及び再編後の持続性を回復させることを可能にする。その結果、ペイルイン・ツールは、債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)の保有者に損失を負担させるために利用することができる。これにより債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)の保有者は、その投資額の一部又は全部を失う結果になる可能性がある。さらに、当局はペイルイン・ツールを用いて、とりわけ、債務証券にかかる債務者としての発行体を置換え又は代替し、債務証券の条件を変更(満期の変更及び/若しくは支払われるべき利息の金額の変更並びに/又は支払の一時停止の強制を含む。)する可能性がある。したがって、かかる権限の行使又は行使の提案若しくは予測は、発行済みの社債(日本で発行された未償還の社債を含む。)の価値に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

BRRDに基づき、スウェーデンの破綻処理法は、当局による将来的な破綻処理措置に資金を供給することを目的とした破綻処理基金の積立てに各機関が貢献するよう規定している。各機関の破綻処理基金への出資金は、破綻処理のための資金調達における事前積立てに関連する欧州委員会委任規則(EU)2015/63に規定された手法を用いて計算される。これは実際には、ある機関の出資金が、とりわけそのリスク・エクスポージャー、資金源の多様性、及び金融システム又は経済の安定性における当該機関の重要性を考慮した当該機関のリスク・プロファイルに基づいて決定されることを意味する。かかる委任規則は、出資金の計算方法を決定するが、その金額については定めていない。BRRDの最低要件に基づき、出資額は各EU加盟国により決定される。

スウェーデンの破綻処理基金への出資金は、2018年においては0.125%の年間手数料から成り、2019年1月1日付で0.09%に減額され、2020年1月1日付でさらに減額されて0.05%となった。スウェーデンの破綻処理基金の準備金が、対象となるすべての預金(すなわち、スウェーデンの預金保護スキームの対象となる預金)に対し3%を超える場合、各機関は年間手数料という形での出資金は支払わない。

自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)

2017年2月23日、SND0は、銀行及びいくつかのその他の金融機関のためのMRELの枠組を発表した。MRELの計算のためのモデルにより、各銀行が保有すべき自己資本及び適格債務の量、債務の割合、並びに基準を満たすために使用される債務の種類が決定される。MRELの基準を満たすため、SND0は、最低基準はBRRDに基づく一定の優先上位債務に劣後する資本及び債務によってのみ満たされることを決定した。最低基準は2018年1月1日から実施され、2018年12月に更新された。当初かかる基準は、銀行が2022年までに最低基準を満たすために必要となる劣後債務を徐々に増加させることを求めていた。しかしCOVID-19の大流行により、2020年4月7日に、SND0は段階的導入期間を2024年1月1日まで延長する取り決めを発表した。MRELの基準を満たす新たな債務格付の階層に関するスウェーデンの規則は2018年12月29日に効力が生じており、かかる日付以降に発行される債務証券にのみ適用される。

大口エクスポージャー

信用機関及び投資会社の健全性要件に関する2013年6月26日付欧州議会・欧州理事会規制(EU)575/2013並びに修正規制(EU)648/2012に基づき、顧客又は関連するグループ顧客に対する金融機関のエクスポージャーが当該金融機関の適格資本の10%を超えると、かかるエクスポージャーは「大口」とみなされる。かかるエクスポージャーは、所轄官庁に報告されなければならない。金融機関はまた、自身の大口エクスポージャーが「適

格資本の10%を超えるエクスポージャー」という定義による大口エクスポージャーには当てはまらない場合でも、大口エクスポージャーの上位20件を報告するよう求められる場合がある。金融機関はまた、他の金融機関に対する大口エクスポージャー上位10件及び規制を受けない金融会社に対する大口エクスポージャー上位10件を報告しなければならない。

これらの規制の下では、1人の顧客に対するエクスポージャーが金融機関の適格資本の25%を超えることは認められない。一定の場合には、これを下回る上限が適用される。金融機関が規則を遵守しない場合、所轄官庁は、当該金融機関に是正を命じることができる。かかる命令は、罰金を伴うことがある。

スウェーデン国内預金保証

EU指令を受け、スウェーデンは、預金保証法(lag (1995:1571) om insättningsgaranti)の可決により1996年に預金保護スキームを確立した。スキームの対象となる各金融機関は、かかるスキームに基づいて行われる可能性のある支払いの原資となる基金を維持するために、関連する保証機関(SNDO)に年間手数料を支払わなければならない。その後、欧州及びスウェーデンのそれぞれのレベルにおいて預金保護スキームについて一定の改正があり、スウェーデン国内預金保証に基づく保証の上限額は、現在、1,050,000スウェーデン・クローネである。しかしながら、保証の額は、預金保証法に記載のとおり、住宅用不動産の売却又はその他の「ライフ・イベント」に関連した預金については一時的に引き上げられ、5百万スウェーデン・クローネとなっている。かかる保証は、その他の銀行、証券会社、保険会社、年金ファンド及び公的機関を除くすべての分野の預金顧客に適用される。保証には一定の制限があり、保険契約、有価証券による貯蓄又は個人年金貯蓄制度等は対象ではない。

スウェーデンの金融制度安定化計画

2008年、スウェーデンは、スウェーデンの金融制度の安定性を高め、世界金融危機がスウェーデン経済に及ぼす悪影響に対処するため、スウェーデン政府金融機関支援法(lag (2008:814) om statligt stöd till kreditinstitut)の可決により安定化基金を設立した。金融機関は、安定化基金に年間手数料を支払ってきた。BRRDのスウェーデンにおける施行に関連して、スウェーデン政府金融機関支援法は廃止され、スウェーデン破産処理法((lag (2015:1016) om resolution)(危機管理条項を含む。))及びスウェーデン予防的状態支援法(lag (2015:1017) om förebyggande statligt stöd till kreditinstitut)(安定した金融機関への支援に関する条項を含む。))に置き換えられた。この破産処理法に基づき、危機的状況にある銀行への対処の財源は、第一に、ペイルイン等を通じて株主及び債権者が負担する資本再構成のための損失及び費用によってまかなわれる。しかしながら、特別な状況下においては国家的な支援が認められる。破産処理準備金がこの目的のために設定され、2016年から安定化手数料は、破産処理準備金手数料に置き換えられた。したがって金融機関からの手数料は、今後、安定化基金の代わりに破産処理準備金に寄与することとなる。現行の安定化基金の一部は、破産処理準備金に移された。残りの安定化基金は、予防的状態支援法に基づく予防的状態への支援に使用されることとなる。

マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与

スウェーデンを本拠地とするすべての銀行及び金融市場機関は、マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与を防ぐことを目的としたスウェーデンの国内法に服している。新たなスウェーデン・マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与対策法(lag (2017:630) om åtgärder mot penningtvätt och finansiering av terrorism)は2017年8月2日に効力が発生し、同じ名称の旧法(lag (2009:62) om åtgärder mot penningtvätt och finansiering av terrorism)に取って代わった。旧法同様、当該法律は銀行及び金融機関がマネーロンダ

リング及びテロリズムへの資金供与に関与することを禁止し、当該法律に違反していると疑われる取引をスウェーデン国家警察局に通報することをこれらの機関に求めている。

(2) 【提出会社の定款等に規定する制度】

以下は、2021年3月24日の年次株主総会において採択された当行の定款の抜粋である。

資本金及び株式数

当行の資本金は、2,325,000,000スウェーデン・クローネ以上、9,300,000,000スウェーデン・クローネ以下とする。

株式数は、1,500,000,000株以上、6,000,000,000株以下とする。

A種株式及びB種株式の2種類の株式を発行することができる。A種株式の発行可能株式総数は6,000,000,000株であり、B種株式の発行可能株式総数は150,000,000株である。

A種株式は1株につき1議決権が付され、B種株式は1株につき10分の1の議決権が付される。

増資に際する株主の権利

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、新たにA種株式及びB種株式を発行することを決定した場合、A種株式及びB種株式の保有者は、従前の保有株式数の割合に応じて同種の新株を引き受ける優先権(第一優先権)を有する。第一優先権により引き受けられなかった株式は、すべての株主に対し引受けの募集が行われる(第二優先権)。かかる募集株式数が第二優先権による引受けに不足した場合、株式は引受人の保有株式数の割合に応じて分配されるか、また、これが不可能な場合は抽選により分配される。

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、A種株式又はB種株式のいずれか一方のみを発行することを決定した場合、すべての株主はその保有株式がA種株式であるかB種株式であるかにかかわらず、従前の保有株式数の割合に応じて新株を引き受ける優先権を有する。

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、ワラント又は転換可能証券を発行することを決定した場合、株主は、ワラントの行使によりその新たな引受けの対象となる株式にかかる発行が適用される場合と同様にワラントを引き受ける優先権を有し、又は転換可能証券の転換により発行される株式にかかる発行が適用される場合と同様に転換可能証券を引き受ける優先権を有する。

上記は、当行が株主の優先権を排除して現金による払込み又は債務の相殺による株式発行を決定する機会を制限することを示唆するものではない。

取締役

法律に基づき株主総会以外の者により任命される取締役に加え、取締役会は8名以上15名以下の取締役に構成されるものとする。

監査人

法律に基づき株主総会以外の者により任命される監査人に加え、当行は1名若しくは2名の監査人及びこれに応じた数の代理監査人、又は1社若しくは2社の登録監査法人を置くものとする。

株主の株主総会出席に関する権利

会社法に従った議決権登録が株主総会の4銀行取引日前に行われることを考慮し、株主総会に参加を希望する株主は、総会の6銀行取引日前の状況を示した株主名簿全体の写しに記載されていなくてはならず、また、総会の招集通知に指定された日にちまでに当行本店に通知を行わなくてはならない。日曜日、その他の祝日、土曜

日、夏至祭前日、クリスマスイブ又は大晦日を当該日として設定してはならず、また、総会から5営業日より前に設定してはならない。

株主は最大2名のアドバイザーを帯同することができるが、前段落に記載の要領でアドバイザーの人数を通知していた場合に限る。

株主総会の議長、議決権

株主総会は、取締役会会長又は当該目的のために取締役会が任命した者により開会される。

株主総会の議長は出席株主により選任される。

当行の発行済株式に付帯する議決権総数の10%を超す議決権を有する者は、発言も議決権の行使も行っていない。

年次総会

取締役会は、会社法に記載された手順に従い株主が総会に先立ち郵送により議決権を行使する権限を有することを、かかる総会に先立ち決定することができる。

年次株主総会

以下の項目が、年次株主総会の議題となる。

1. 総会の議長の選任
2. 議決権行使者リストの作成及び承認
3. 議題の承認
4. 2名の議事録署名者の選任
5. 総会招集の適法性の判断
6. 年次計算書類及び監査報告書並びに連結年次計算書類及び連結計算書類に対する監査報告書の提示
7. 決議事項
 - a) 損益計算書及び貸借対照表並びに連結損益計算書及び連結貸借対照表の承認
 - b) 承認済み貸借対照表に基づく当行の利益又は損失の処分
 - c) 取締役及び最高経営責任者の責任免除
8. 取締役並びに、適用ある場合、監査人及び代理監査人の員数の決定
9. 取締役及び、適用ある場合、監査人の報酬の決定
10. 取締役並びに、適用ある場合、監査人及び代理監査人又は登録監査法人の選任

総会の管轄に服するその他の事項は、会社法又は定款に従うものとする。

2【外国為替管理制度】

1989年以降、スウェーデンにおいて有効な外国為替管理制度は存在しない。スウェーデン政府は、スウェーデン為替・クレジット規制法(lag (1992:1602) om valuta - och kreditreglering)により、スウェーデンが戦争中の場合又は戦争、戦争の脅威、深刻な事故若しくは特に大規模な短期資本移動による例外的な状況が存在する場合は、リクスバンクと協議の上で、外国為替管理を実施する権限を与えられている。また、スウェーデン政府は、外国為替管理が導入された場合、リクスバンクの要請により信用管理を実施する権限を与えられて

いる。かかる管理の実施に関する一切の決議は、承認のために、決議から1ヶ月以内にスウェーデン議会に提出されなければならない。定められた期間内にかかる提出がなされない場合、当該決議はその効力を失う。

3【課税上の取扱い】

(1)スウェーデンにおける課税上の取扱い

スウェーデンの租税

以下の概要は、スウェーデンの税法上スウェーデンの居住者とはみなされない当行によって日本で発行された社債(以下「本社債」という。)の所持人に関する一定のスウェーデンの課税上の影響について要約したものである。当該概要は、本有価証券報告書の日付現在有効なスウェーデンの法律に基づいており、一般的な情報提供のみを目的としている。当該概要は、本社債が貯蓄投資勘定(investeringsparkonto)において保有される場合、本社債の削減若しくは転換の課税上の影響、かかる削減若しくは転換を行う関連規制当局の能力の存在、又は利息の支払人等の報告義務に関する規則についてはとりわけ対応していない。さらに、当該概要は、外国税の控除にも対応していない。投資家は、各々の個別の状況に応じて、スウェーデンの租税並びに本社債の取得、保有及び処分に係るその他の課税上の影響(二重課税回避のための租税条約の適用可否及び影響を含む。)について、専門の税務アドバイザーに相談すべきである。

スウェーデンの税法上居住者でない本社債の所持人

本社債の所持人に対する元本又はスウェーデンの税法上利息とみなされる金額の支払いについては、スウェーデンの所得税は課税されない。但し、かかる所持人が()スウェーデンの税法上居住者でなく、かつ、()本社債が有効に関連性を有する恒久的施設をスウェーデン国内に有しない場合に限る。

スウェーデンの税法上居住者でない本社債の所持人に対する元本又はスウェーデンの税法上利息とみなされる金額の支払いについては、スウェーデンの源泉徴収税又はスウェーデンの課税控除は適用されない。

スウェーデンの税法上居住者であった本社債の所持人

本社債が株式として課税される有価証券とみなされる場合、処分若しくは償還が行われた暦年中又は処分若しくは償還が行われた年に先立つ10暦年間のいずれかの時点においてスウェーデンにおける常用の住居又はスウェーデンにおける継続した滞在により、税法上スウェーデンの居住者であった個人については、当該本社債の処分又は償還に際し、スウェーデンのキャピタルゲイン税が課される。しかしながら多くの場合、当該規則の適用は、適用ある二重課税回避のための租税条約により制限されている。

(2)日本における課税上の取扱い

- ()日本の居住者が支払いを受ける本社債の利息は、日本の租税に関する現行法令(以下「日本の税法」という。)上20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の源泉所得税を課される。さらに、日本の居住者は、申告不要制度又は申告分離課税を選択することができ、申告分離課税を選択した場合、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率が適用される。日本の内国法人が支払いを受ける本社債の利息は、日本の税法上15.315%(所得税及び復興特別所得税の合計)の源泉所得税を課される。当該利息は当該法人の課税所得に含められ、日本の所得に関する租税の課税対象となる。但し、当該法人は当該源泉所得税額を、一定の制限の下で、日本の所得に関する租税から控除することができる。
- ()本社債の譲渡又は償還による損益のうち、日本の居住者に帰属する譲渡益又は償還差益は、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率による申告分離課税の対象となる。但し、特定口座のうち当該口座内で生じる所得に対する源泉徴収を日本の居住者が選択したもの(源泉徴収選択口座)における本社債の譲渡又は償還による所得は、確定申告を不要とすることができ、その場合の源泉徴収税率は、申告

分離課税における税率と同じである。日本の内国法人に帰属する譲渡損益又は償還差損益は当該法人のその事業年度の日本の租税の課税対象となる所得の金額を構成する。

- () 日本の居住者は、本社債の利息、譲渡損益及び償還差損益について、一定の条件で、他の債券や上場株式等の譲渡所得、利子所得及び配当所得と損益通算及び繰越控除を行うことができる。
- (iv) 本社債に係る利息及び償還差益並びに本社債の譲渡により生ずる所得で、日本に恒久的施設を持たない日本の非居住者及び外国法人に帰属するものは、日本の所得に関する租税は課されない。

4【法律意見】

当行の法律顧問であるクリスティーナ・ノルデンハーク氏より、大要、以下の趣旨の法律意見書が出されている。

- (イ) 当行は、スウェーデン法に基づく公開有限責任会社である銀行として適法に設立され、かつ有効に存続しており、本書に記載された事業を営み、その財産を所有及び運用するすべての権限及び権能を与えられている。
- (ロ) 本書中のスウェーデンの法令に関するすべての記述は、すべての重要な点において真実かつ正確である。

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結 - 当行グループの5年間の概要

連結損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
純利息収益	31,606	32,135	31,286	29,766	27,943
純手数料及びコミッション収益	10,786	10,697	10,247	9,718	9,156
金融取引による純損益	1,437	1,299	908	1,271	3,066
保険リスク	195	145	106	142	142
その他配当金収益	53	113	218	591	228
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	18	32	0	14	25
その他収益	153	143	1,005	172	203
収益合計	44,248	44,564	43,770	41,674	40,763
人件費	-15,343	-13,549	-13,465	-12,472	-12,542
その他費用	-6,085	-6,524	-6,712	-5,889	-5,401
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却 費、償却費及び減損費用	-1,906	-1,670	-713	-619	-495
費用合計	-23,334	-21,743	-20,890	-18,980	-18,438
信用損失控除前利益	20,914	22,821	22,880	22,694	22,325
正味信用損失	-781	-1,045	-881	-1,683	-1,724
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	2	20	14	14	32
営業利益	20,135	21,796	22,013	21,025	20,633
法人税等	-4,547	-4,871	-4,656	-4,923	-4,401
継続事業からの当期利益	15,588	16,925	17,357	16,102	16,232
非継続事業に関連する当期利益、税引後	-	-	-	-	13
当期利益	15,588	16,925	17,357	16,102	16,245
帰属先：					
当行の株主	15,585	16,922	17,354	16,099	16,244
非支配株主持分	3	3	3	3	1
継続事業からの一株当たり利益					
(単位：スウェーデン・クローネ)	7.87	8.65	8.93	8.28	8.42
- 希薄化後	7.87	8.58	8.84	8.20	8.30
非継続事業からの一株当たり利益					
(単位：スウェーデン・クローネ)	-	-	-	-	0.01
- 希薄化後	-	-	-	-	0.01

事業合計から一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)

7.87

8.65

8.93

8.28

8.43

- 希薄化後

7.87

8.58

8.84

8.20

8.31

連結包括利益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
当期利益	15,588	16,925	17,357	16,102	16,245

その他包括利益**損益計算書に組み替えられない項目**

確定給付年金制度	1,523	4,262	-4,405	3,919	3,993
その他包括利益を通じて公正価値で測定される資 本性金融商品	-583	372	-188		
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-256	-931	978	-864	-876
うち、確定給付年金制度	-267	-910	977	-864	-876
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定 される資本性金融商品	11	-21	1		
損益計算書に組み替えられない項目合計	684	3,703	-3,615	3,055	3,117

その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目

キャッシュフロー・ヘッジ	-1,124	3,741	768	-2,350	-3,145
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負 債性金融商品	7	7	-12		
売却可能金融商品(IAS第39号)				-470	-1,160
当期為替換算差額	-4,269	1,072	-188	-2,241	1,183
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	848	-1,509	-850	-1,509	-142
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある 項目に係る税金	93	-480	38	844	833
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	274	-801	-159	517	692
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定 される負債性金融商品	-1	-2	3		
うち、売却可能金融商品(IAS第39号)				-5	110
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-180	323	194	332	31

その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計

	-5,293	4,340	606	-4,217	-2,289
--	--------	-------	-----	--------	--------

その他包括利益合計

	-4,609	8,043	-3,009	-1,162	828
--	--------	-------	--------	--------	-----

当期包括利益合計

	10,979	24,968	14,348	14,940	17,073
--	--------	--------	--------	--------	--------

帰属先：

当行の株主	10,976	24,965	14,345	14,940	17,072
-------	--------	--------	--------	--------	--------

非支配株主持分	3	3	3	0	1
---------	---	---	---	---	---

連結貸借対照表

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
資産					
現金及び中央銀行 ¹	418,968	347,505	350,774	265,234	224,889
一般顧客への貸出金	2,269,612	2,292,603	2,189,092	2,065,761	1,963,622
その他金融機関への貸出金	21,920	17,939	22,137	20,250	31,347
利付証券	143,699	146,027	172,989	178,607	161,114
その他資産	281,089	265,593	243,182	237,125	246,608
資産合計	3,135,288	3,069,667	2,978,174	2,766,977	2,627,580
負債及び資本					
一般顧客からの預金及び借入金	1,229,763	1,117,825	1,008,487	941,967	829,336
金融機関からの預り金	124,723	147,989	194,082	174,820	178,781
発行済証券	1,310,737	1,384,961	1,394,647	1,276,595	1,261,765
劣後負債	41,082	35,546	51,085	32,896	33,400
その他負債	257,510	223,514	187,612	199,095	187,917
資本	171,473	159,832	142,261	141,604	136,381
負債及び資本合計	3,135,288	3,069,667	2,978,174	2,766,977	2,627,580

¹ この項目は、「現金及び中央銀行預け金」並びに「中央銀行へのその他の貸出金」の合計を示している。

当行グループの主要指標	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
継続事業からの信用損失控除前利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	20,914	22,821	22,880	22,694	22,325
正味信用損失 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	-781	-1,045	-881	-1,683	-1,724
継続事業からの営業利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	20,135	21,796	22,013	21,025	20,633
継続事業からの当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	15,588	16,925	17,357	16,102	16,232
非継続事業に関連する当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	-	-	-	-	13
事業合計からの当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	15,588	16,925	17,357	16,102	16,245
資産合計(単位：百万スウェーデン・クローネ)	3,135,288	3,069,667	2,978,174	2,766,977	2,627,580
資本(単位：百万スウェーデン・クローネ)	171,473	159,832	142,261	141,604	136,381
事業合計からの株主資本利益率(単位：%)	10.0	11.9	12.8	12.3	13.1
継続事業からの株主資本利益率(単位：%)	10.0	11.9	12.8	12.3	13.1

使用資本利益率(単位：％)	0.47	0.55	0.58	0.56	0.58
継続事業からの収益に対する費用の比率 (以下「C/I比率」という。)(単位：％)	52.7	48.8	47.7	45.5	45.2
信用損失を含む継続事業からのC/I比率 (単位：％)	54.5	51.1	49.7	49.6	49.5
信用損失率(単位：％)	0.03	0.04	0.04		
信用損失率(IAS第39号)(単位：％)				0.08	0.09
減損貸出金引当率(単位：％)				64.9	59.9
減損貸出金の割合(単位：％)				0.13	0.16
一株当たり利益 (単位：スウェーデン・クローネ)	7.87	8.65	8.93	8.28	8.43
- 希薄化後	7.87	8.58	8.84	8.20	8.31
一株当たり普通配当金 (単位：スウェーデン・クローネ)	4.10	-	5.50	5.50	5.00
一株当たり配当金合計 (単位：スウェーデン・クローネ)	4.10	-	5.50	7.50	5.00
一株当たり調整後資本 (単位：スウェーデン・クローネ)	84.90	78.60	72.90	72.90	69.28
12月31日現在の株式数(単位：百万株)	1,980.0	1,980.0	1,944.2	1,944.2	1,944.2
うち、発行済株式数	1,980.0	1,980.0	1,944.2	1,944.2	1,944.2
発行済株式の平均株式数(単位：百万株)	1,980.0	1,956.8	1,944.2	1,944.2	1,927.1
- 希薄化後	1,980.0	1,976.9	1,974.5	1,974.3	1,972.7
CRRによる普通株式等Tier 1比率(単位：％)	20.3	18.5	16.8	22.7	25.1
CRRによるTier 1比率(単位：％)	21.9	20.7	18.6	25.0	27.9
CRRによる自己資本比率合計(単位：％)	24.3	23.2	21.0	28.3	31.4
平均従業員数	12,563	12,548	12,307	11,832	11,759
スウェーデン国内における支店数	376	383	390	420	435
英国国内における支店数	204	207	208	208	207
ノルウェー国内における支店数	45	47	49	49	50
デンマーク国内における支店数	43	56	56	57	57
フィンランド国内における支店数	27	36	36	45	45
オランダ国内における支店数	29	29	29	28	25
その他の国における支店数	8	11	11	12	13

非連結 - 当行の5年間の概要

非連結損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
純利息収益	13,071	13,039	17,234	16,326	15,011
受取配当金	15,937	17,338	11,023	13,705	17,045
純手数料及びコミッション収益	5,692	6,011	6,218	6,592	6,509
金融取引による純損益	1,869	618	1,020	1,339	3,076
その他営業収益	2,790	2,638	2,805	1,690	1,647
営業収益合計	39,359	39,644	38,300	39,652	43,288
一般管理費用					
人件費	-11,689	-10,148	-12,255	-10,938	-10,427
その他管理費用	-5,684	-5,808	-6,332	-5,702	-5,224
不動産及び器具備品、リース並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-2,672	-2,156	-1,350	-1,094	-591
信用損失控除前費用合計	-20,045	-18,112	-19,937	-17,734	-16,242
信用損失控除前利益	19,314	21,532	18,363	21,918	27,046
正味信用損失	-477	-1,059	-835	-1,685	-1,730
金融固定資産の減損損失	-79	-148	-	-	-20
営業利益	18,758	20,325	17,528	20,233	25,296
繰入	743	-380	332	115	-193
税引前利益	19,501	19,945	17,860	20,348	25,103
法人税等	-4,275	-4,297	-4,005	-4,662	-4,503
当期利益	15,226	15,648	13,855	15,686	20,600
当期配当金	8,118	-	10,693	14,581	9,721

包括利益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
当期利益	15,226	15,648	13,855	15,686	20,600

その他包括利益**損益計算書に組み替えられない項目**

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資

本性金融商品

損益計算書に組み替えられない項目に係る税金

うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定

される資本性金融商品

損益計算書に組み替えられない項目合計	-572	351	-187		
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目					
キャッシュフロー・ヘッジ	-1,677	1,751	829	41	-1,882
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	7	7	-12		
売却可能金融商品(IAS第39号)				-470	-1,152
当期為替換算差額	-2,184	-259	41	-2,261	387
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-256	-826	-848	-1,476	-65
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	420	-200	19	311	538
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	365	-375	-178	-9	414
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-1	-2	3		
うち、売却可能金融商品(IAS第39号)				-5	110
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	56	177	194	325	14
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計	-3,434	1,299	877	-2,379	-2,109
その他包括利益合計	-4,006	1,650	690	-2,379	-2,109
当期包括利益合計	11,220	17,298	14,545	13,307	18,491

非連結貸借対照表

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
資産					
一般顧客への貸出金	566,145	620,175	611,699	795,691	763,567
金融機関への貸出金	953,650	890,557	841,085	664,018	593,125
利付証券	145,648	156,466	169,911	172,107	154,547
その他資産	459,420	412,307	431,004	381,060	383,465
資産合計	2,124,863	2,079,505	2,053,699	2,012,876	1,894,704
負債及び資本					
一般顧客からの預金及び借入金	1,021,130	918,146	839,835	941,401	827,753
金融機関からの預り金	193,054	208,697	261,735	193,822	189,176
発行済証券	657,520	724,640	716,531	654,637	648,977
劣後負債	41,082	35,546	51,085	32,896	33,400
その他負債	68,305	59,863	62,565	69,237	77,963
非課税剰余金	933	1,678	886	683	793
資本	142,839	130,935	121,062	120,200	116,642

負債及び資本合計	2,124,863	2,079,505	2,053,699	2,012,876	1,894,704
----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

当行の主要指標	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
減損貸出金引当率(単位：％)				65.7	60.1
減損貸出金の割合(単位：％)				0.18	0.23
CRRによる普通株式等Tier 1比率(単位：％)	31.7	20.2	18.7	21.4	23.4
CRRによるTier 1比率(単位：％)	34.6	23.0	21.0	23.9	26.3
CRRによる自己資本比率合計(単位：％)	38.8	26.2	24.1	27.5	30.0
使用資本利益率(単位：％)	0.65	0.74	0.63	0.74	0.99

2【沿革】

当行は、ストックホルムズ・ハンデルズバンクとして、1871年にストックホルムにおいて当初設立された。ストックホルムズ・ハンデルズバンクは1873年に株式をストックホルム証券取引所に上場させ、1919年にスヴェンスカ・ハンデルスバンケンに名称を変更した。

当行は当初、地元のストックホルム市場に重点を置き、かかる市場において確固たる地位を築いた。20世紀の初めの10年間に於いて、当行は、最初にスウェーデンの北部、次いで南部における複数の地方銀行を買収することによって成長した。

第二次世界大戦後の期間において、当行は統合が進んだスウェーデンの銀行市場において拡大を続けた。1955年に当行は、モーゲージ会社であるSIGAB(後にハンデルスバンケン・フィポテックに名称を変更。)を買収した。1963年に当行は、スウェーデンの最初の金融会社であるスヴェンスカ・フィナンス(後のハンデルスバンケン・フィナンス)と合併した。1971年に当行は、一定のミューチュアル・ファンドを販売する総代理店を買収し、同社は当行のファンド管理会社であるハンデルスバンケン・フォンデルとなった。長期にわたった地方銀行の買収は、1990年のスカンスカ・バンケンの買収により完了した。モーゲージ会社であるスタッディポテックは、1997年に買収された。

1969年に当行は分権化し、当行の支店は当行グループの地域銀行の傘下に再編成された。各地域銀行は高度な自治権を与えられ、営業を行っている。当行グループは、規模よりも利益率、またその他のスウェーデンの上場銀行の平均を上回る株主資本利益率を達成することに焦点を移した。この期間中、当行の主要株主の一つとなった従業員利益分配基金のオクトゴーネン・ファウンデーションが設立された。

1990年代に当行は、小規模の買収及び内部成長の組合せを通じて、その他の北欧諸国における活動を増やし始めた。今日、当行は、北欧諸国、英国及びオランダを当行の本拠地市場であると考えている。英国については、とりわけ21世紀の最初の10年間に於ける成長を目標としていた。

1992年に当行は、生命保険相互会社であるRKA(後のハンデルスバンケン・リヴ)を買収することにより、保険業界に進出した。2001年に当行は、生命保険会社であるSPPを買収し、これにより当行はスウェーデンにおける生命保険会社最大手の1社となった。SPPは、2007年12月21日にストアブランド・エイ・エス・エイに売却された。

2019年の戦略的な見直し後、地域銀行制度に代わり、スウェーデンにおける支店業務の責任者に直属する県単位の組織を設置し、スウェーデンにおける支店業務を再編成することを決定した。2020年には、英国における支店業務についても同様の決定がなされた。しかし、1960年代後半に確立された分権的な構造及び戦略的目標は今も継続している。

3【事業の内容】

当行グループは、スウェーデンの主力銀行グループであり、国内外で、個人顧客及び法人顧客に対し、幅広い従来の銀行サービスに加え様々な投資サービス及びその他の金融サービスを提供している。かかるサービスには、住宅ローン、法人を対象とした相対貸出及び資本市場を通じた資金調達などのファイナンス、資産管理、年金及び保険などの貯蓄分野におけるサービス、プライベート・バンキング並びに様々な支払ソリューションだけでなく様々な補償ソリューションが含まれる。すべての商品分野において、当行グループは顧客関係及びサービス提供に持続可能性を組み入れている。当行グループは、北欧諸国、英国及びオランダを本拠地市場であると考え、当該地域において行われる業務は国内業務であると考えている。2020年12月31日現在、当行グループは、スウェーデンに376支店、ノルウェーに45支店、フィンランドに27支店、デンマークに43支店、英国に204の支店及び会議施設並びにオランダに29支店を有していた。当行グループは、ヨーロッパのその他の地域、アジア及びアメリカ合衆国においても限定的な業務を行っている。しかし、当行グループは、その海外ネットワークを縮小しており、本拠地市場外におけるプレゼンスをニューヨーク及びルクセンブルグに集中さ

せている。下記「第3 事業の状況」を参照のこと。2020年12月31日に終了した事業年度において、当行グループの世界における平均従業員数は、12,563名であった。

当行グループは本書提出日現在、以下の7つの主要な事業セグメントから成る。

・ハンデルスバンケン・スウェーデン

スウェーデンにおける支店業務により構成され、また県単位の組織により編成され、かかる県の統括はスウェーデンにおける支店業務の責任者に直属する。また当該セグメントには、当行が完全所有する住宅金融専門機関であるスタッドフィポテックのスウェーデンにおける業務に加えて、様々なパートナーを通じて消費者向けの融資商品を提供するエクスターが含まれる。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。スタッドフィポテックは当行の支店業務に完全に統合されている。

・ハンデルスバンケン英国

地域銀行5行及び資産運用会社であるハンデルスバンケン・ウェルス&アセットマネジメントから成るハンデルスバンケン・ピー・エル・シーにより構成される。2021年には、地域銀行に代わり14の区域が設定される予定となっており、各区域の統括はハンデルスバンケン英国の代表に直属する。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。地域銀行は、その支店及び会議施設において英国全体で銀行サービスを提供している。

・ハンデルスバンケン・デンマーク

地域銀行に加え、デンマークにおけるスタッドフィポテックの業務により構成されている。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。地域銀行は、その支店においてデンマーク全体で銀行サービスを提供している。

・ハンデルスバンケン・フィンランド

地域銀行に加え、フィンランドにおけるスタッドフィポテックの業務により構成されている。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。地域銀行は、その支店においてフィンランド全体で銀行サービスを提供している。

・ハンデルスバンケン・ノルウェー

地域銀行に加え、ノルウェーにおけるスタッドフィポテックの業務により構成されている。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。地域銀行は、その支店においてノルウェー全体で銀行サービスを提供している。

・ハンデルスバンケン・ネザーランド

地域銀行に加え、オブティミクス・ベルモーゲンズベヒールにおける資産運用事業により構成されている。地域銀行は、その支店においてオランダ全体で銀行サービスを提供している。

・ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット

次の3つの事業分野により構成される。市場部門、貯蓄及び年金部門並びにハンデルスバンケン・インターナショナル。ハンデルスバンケン・インターナショナルは、現在再編中である。

上記の事業セグメントに加え、「その他の部門」には、財務部門及び中央部門に加え、オクトゴーネン利益分配制度に帰属する取引も含まれている。いずれのセグメントにも帰属しない項目もまた、ここに計上される。

2021年第1四半期中のスウェーデンにおける地域銀行の再編成に伴い、それまで5つの地域銀行の本店に勤務していたスタッフのうち多くのメンバーが、主に、キャピタル・マーケット部、財務、法務及び人事の中核機能並びに金融犯罪防止を目的とした部門など、当行の他の分野に組織的に再配置された。

当行グループの事業は分権的であり、各支店が個別に、中央組織の専門家の協力体制の下、必要に応じて顧客へのサービスを調整する責任を有している。このため、当行グループでは、中央の業務部門よりは支店が、

各個別顧客向けに当行グループの商品及びサービスのマーケティングを行う責任を有している。但し、かかる分権体制は一元化されたリスク管理により支えられている。

当行は、スウェーデンの銀行法に基づき設立された公開有限責任会社であり、ストックホルム県において登記されている。当行の登録事務所の所在地は、スウェーデン王国 SE-106 70 スtockホルム クングストラッドゴードシュガータン2である。

4【関係会社の状況】

2020年12月31日現在、当行は、18の直接所有子会社及び連結会計において持分法に基づく6つの直接所有関連会社を有している。

当行グループの主要な子会社は、以下のとおりである。

ハンデルスバンケン・フォンドヴォラッグスフォルヴァルトニング・エイ・ビー及びその子会社(以下「ハンデルスバンケン・フォンデル」と総称する。)は、当行グループのミューチュアル・ファンドの運用及び管理並びに顧客のために資金の一任的な運用及び管理を行っている。ハンデルスバンケン・フォンデルは、スウェーデン及びデンマークで活動しているが、ノルウェー及びブルクセンブルグにおいても自社のミューチュアル・ファンドを販売している。

当行の完全所有子会社であるハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー及びその子会社(以下「ハンデルスバンケン・リヴ」と総称する。)は、定期生命保険、終身生命保険及び一定の貯蓄商品を含む、幅広い生命保険商品を提供している。ハンデルスバンケン・リヴは、スウェーデン、フィンランド及びノルウェーにおいて営業しており、その商品は、当行の支店網を通じてかかる国々で販売されている。同社は、スウェーデンの生命保険市場において、主要な参加者の1社である。

スタッドフィポテック・エイ・ビー(以下「スタッドフィポテック」という。)は、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク及びフィンランドにおける当行グループのモーゲージ貸付業務に責任を負う当行グループの主要な事業体である。スタッドフィポテックは、一世帯用住宅及び二世帯用住宅、セカンドハウス、持ち家アパート及び集合アパートにおける住宅持分、農業/林業用地、集合住宅、商業施設及びオフィスビルのための住宅ローンを提供している。スタッドフィポテックの活動は、スウェーデンに集中しているが、ノルウェー、デンマーク及びフィンランド各国においても支店がある。北欧諸国におけるスタッドフィポテックの業務は、かかる国々における当行の支店業務に完全に統合されている。

ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーは、英国における事業活動を担う当行の英国における完全所有子会社である。英国支店の事業活動は、2018年12月1日付でかかる子会社に移管された。ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーは、英国全域に200超の支店のネットワークを有し、当行グループのその他の地域と同じ原則に従って、個人顧客及び法人顧客に対し銀行サービスを提供している。当行には、親会社はない。

以下の表は、当行の重要な子会社を示している。持分法適用関連会社についての特定の情報については、下記「第6-1-(2) 個別財務書類 - 注記P16」を参照のこと。

会社名	住所	株式資本	保有比率
		(単位：百万スウェーデン・クローネ)	
子会社			
ハンデルスバンケン・ピー・エル・シー ^{1, 2}	ロンドン	59	100%
スタッドフィポテック・エイ・ビー ^{1, 2}	ストックホルム	4,050	100%
ハンデルスバンケン・フォンドヴォラッグスフォル ヴァルトニング・エイ・ビー	ストックホルム	1	100%

ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー	ストックホルム	100	100%
------------------------------	---------	-----	------

¹ 金融機関

² 2020年12月31日現在の当行グループの連結財務書類に記載の収益合計に対するスタッドフィポテック・エイ・ビー及びハンデルスバンケン・ピー・エル・シーの非連結基準の営業収益合計の割合は、10%を超過する。

2020年12月31日現在及び同日に終了した事業年度におけるスタッドフィポテック・エイ・ビーの非連結基準の損益等に係る主な情報は、以下のとおりである。

() 営業収益合計：	14,681百万スウェーデン・クローネ
() 当期利益：	10,080百万スウェーデン・クローネ
() 資産合計：	1,467,603百万スウェーデン・クローネ
() 資本合計：	62,335百万スウェーデン・クローネ

2020年12月31日現在及び同日に終了した事業年度におけるハンデルスバンケン・ピー・エル・シーの非連結基準の損益等に係る主な情報は、以下のとおりである。

() 営業収益合計：	5,971百万スウェーデン・クローネ
() 当期利益：	1,895百万スウェーデン・クローネ
() 資産合計：	375,759百万スウェーデン・クローネ
() 資本合計：	26,586百万スウェーデン・クローネ

5【従業員の状況】

2020年12月31日に終了した事業年度において、当行グループは、平均12,563名の従業員を有していた。

2020年12月31日に終了した事業年度における当行グループの各事業セグメント毎の従業員数は、以下のとおりである。

	平均従業員数
スウェーデンにおける支店業務	3,947
英国における支店業務	2,462
ノルウェーにおける支店業務	709
デンマークにおける支店業務	589
フィンランドにおける支店業務	506
オランダにおける支店業務	329
ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット	1,122
その他の部門	2,899
合計	12,563

第3【事業の状況】

1【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

(1)経営方針及び対処すべき課題等

当行グループの総合的な目的は、本拠地市場における同業銀行の平均を上回る水準の収益性を達成し、その結果として、景気循環にわたり一株当たり利益の増加を伴う、長期的な価値の高成長を株主にもたらすことである。かかる目的を実現するため、当行グループは、支店網を通じた顧客への高品質なサービスの提供、質の高い貸出金ポートフォリオの維持及びコスト効率の確保に力を注いでいる。当行は、有機的な成長を目指す戦略に基づいて活動している。

当行グループは、ユニバーサル・バンクとなることを以前から目指してきた一方で、2019年第2四半期において部分的に新しい戦略的方针を実践するための包括的な業務を始動させた。当行グループの事業を特定の主要顧客、不動産会社及びその他の個人経営の会社といった中核的な部門並びに多様な貯蓄商品及び個人顧客向けの住宅ローンに集中させることが決定された。

同時に、潜在的な新規顧客の特定から成熟した取引関係まで、完全にデジタル化された顧客関係の構築に追加の資源が注がれている。

戦略的方向性における部分的修正の一環として、本拠地市場外の当行の地理的なプレゼンス、顧客向けサービスの提供及び内部効率性の見直しも行われた。これは、当行が6つの本拠地市場外でのプレゼンスをルクセンブルク及びニューヨークの支店に集中させる決定を行うことにつながった。その結果、アジア、バルト海、ポーランド及びドイツにおける当行の業務を段階的に縮小することが決定された。この取組みは継続中である。また、中核事業をサポートしていないとみなされる顧客向けサービスの提供の一部も縮小されることが決定された。

2019年に開始した当行の事業の見直しは、2020年第3四半期中も継続した。この取組みの一環として、スウェーデンにおける支店業務に対する将来的な焦点が定められた。当行は、スウェーデンにおける多数の支店に対し、より多くの資源及び専門家を追加すると同時に、2021年度末までに約200支店を網羅する支店網を整備することを予定している。この変更は、当行のデジタル関連サービスの更なる強化及び顧客サービス機能の新規拡充と組み合わせられている。

2021年2月、当行は、とりわけパリ協定及び持続可能な開発目標を出発点とする多数の持続可能な目標に向けてまい進するための明確な戦略を提示する持続可能性報告書を発表した。

当行の持続可能な目標は、主に責任ある融資、責任ある投資及びアドバイザリー・サービスという3分野に関連する。気候関連の目標としては、できる限り早く、遅くとも2040年度までに、温室効果ガスの正味ゼロ排出の達成を目指している。融資内での目標は、当行の貸付の20%が「グリーン」であると定義されること、又は融資の契約条件に、貸付先が自らの事業内において持続可能な移行に対し寄与することとする、と声明することである。投資は、パリ協定に足並みをそろえ、持続可能な開発目標に対する投資家の貢献を最大化させるものとする。最後に、アドバイザリー・サービス内での目標は、女性の貯蓄に対し、より高い利益をもたらすための定量化できる条件を設定し、アドバイザリー・サービス及びトレーニングに対する手段の発展を通して、男性と女性間における貧富の格差を遅くとも2023年までに縮小させることである。

(2)経営環境

当行グループの資産及び顧客の多数は、北欧諸国及び英国に所在し又は関連する事業を有している。その結果、当行グループは、これらの国々のマクロ経済状況の影響を大きく受ける。

2020年第1四半期中、COVID-19が世界中で蔓延した。COVID-19の大流行及び世界的な蔓延により、当局（北欧諸国、英国及びオランダを含む。）がウイルスを封じ込めるために渡航禁止令及び渡航制限、外出禁止令、ロックダウン、検疫並びに企業及び職場の閉鎖など数々の措置を実施する結果となり、金融市場のボラティリ

ティの著しい増加及び金融市場の下落並びにマクロ経済の見通しの著しい悪化へとつながった。COVID-19の大流行及び世界的な蔓延は、北欧諸国、英国及びオランダの経済に2021年度まで悪影響を及ぼし続けることが予想される。これらの制限の継続期間は極めて不確かであり、長期化又は再適用したり、より一層厳しい措置が導入されたりする可能性もある。2021年に係る当行の現在の見積もりでは、スウェーデン、英国、フィンランド、オランダ及びノルウェーにおける実質GDPはそれぞれ3.8%、4.1%、2.8%、2.9%及び3.7%増加すると予想されている。

リクスバンクは、2011年から2016年までの間に数回、その主要政策金利及びレポレートを引き下げ、最低で-0.5%となった。リクスバンクの2018年12月及び2020年1月の会議においてそれぞれ25ベシス・ポイント引き上げられた後、本有価証券報告書の日付現在、0.0%となった。これにより、スウェーデンにおける預金の利鞘は縮小し、一定の場合においてマイナスとなっている。当行はスウェーデンにおける小売業者又は中小企業の預金口座に対して手数料を課していないが、かかる預金のほぼすべてはゼロ金利となっている。当行は、スウェーデンにおける貸出金の利鞘の段階的拡大によって預金の利鞘の縮小をある程度補うことができている。

近年、住宅不足及び低金利を含むいくつかの要因により、スウェーデンにおける特に個人へのモーゲージ貸付高が急激に増加した。その結果、スウェーデンの個人の負債の水準は記録的に高い水準となっている。したがって、個人は金利の上昇、収益の損失及び住宅価格の下落の影響をより受け易くなる。個人の負債の増加に関連するリスクを低減する手段として、2016年6月に住宅ローンに関連する償却要件が導入され、それ以降、さらなる償却要件が導入されている。しかし、SFSAは2020年4月14日に、COVID-19の蔓延及びそれがスウェーデン経済に及ぼしている影響のため、銀行が住宅ローン担保権設定者に対し償却要件の免除を付与することを可能にすると発表した。かかる免除は2021年8月31日まで適用される。

当行グループはスウェーデンにおいて市場リーダーであり、スウェーデンにおいて営業する4つの主要な銀行の1つであって、その他3つの銀行はノルディア・バンク・エイ・ビー・ピー・フィリアル・アイ・スヴェリエ (Nordea Bank Abp filial i Sverige)、スカンジナビスカ・エンスキルダ・バンケン・エイ・ビー (Skandinaviska Enskilda Banken AB) 及びスウェッドバンク・エイ・ビー (Swedbank AB) である。当行グループは、スウェーデン及び海外の両方において当行グループが事業展開する市場内で厳しい競争にさらされている。商業銀行に加えて、当行は金融会社及び住宅金融専門機関とも競合している。

銀行部門を含む社会のデジタル化の速度及び範囲は近年加速しており、その結果、顧客はますますデジタル・チャネルを通じて銀行取引を行っている。当行は引き続き、当行のサービスをデジタル化し、顧客の希望やニーズに合わせているが、これらのデジタル・サービスは支店の現地拠点と連携している。

経営環境についての追加情報については、下記「第3 - 2 事業等のリスク - 世界金融市場の現状及び世界の経済状況に伴うリスク」を参照のこと。

2【事業等のリスク】

本項に含まれる将来の見通しに関する記述は、本書の提出日現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づくものである。

当行は、以下のリスク要因が当行の本社債に基づく債務を履行する能力に影響を及ぼす可能性があると考えている。これらの要因はすべて、発生するかどうか分からない偶発事象であり、当行はかかる偶発事象が発生する可能性の程度につき見解を表明する立場にない。

当行は、現在入手可能な情報に基づき当行が重要でないと考え他の理由又は現在予測不能なその他の理由によっても、利息、元本又はその他本社債に関する金額を支払うことができない可能性がある。本社債への投資を予定する投資家は、本書の他の部分に記載する詳細情報も精読し、投資の判断を行う前に投資家自身の見解を確定すべきである。

以下のリスクの記載順は、当該リスクの発生可能性又はその潜在的な影響の重大性を示すものではない。

本社債に基づく当行の債務の履行能力に影響を及ぼす要因

信用リスク

信用リスクとは、当行のカウンターパーティが契約上の債務を履行できないことにより生じる当行が経済的損失に直面するリスクである。当行は、貸付、保証の発行並びに外国為替市場及び証券市場におけるカウンターパーティとの取引を実行する結果、信用リスクにさらされる。信用エクスポージャーは、取締役会が定める与信方針に従って管理される。

当行の信用エクスポージャーにつき責任を負うのは、その支店である。与信決定の責任は、当該顧客との関係を管理する支店に存する。支店長及び大部分のアカウント・マネージャーについては、個別の決定上限額が定められており、これらの者は、かかる上限額の範囲においてのみ与信決定につき単独で責任を負う。かかる個別上限額により、特定の支店長又はアカウント・マネージャーが顧客に与えることのできる与信の総額が定められている。与信限度額を上回る決定については、地域／県及び中央での決定レベルがある。より上位のそれぞれの意思決定レベルにおいては、与信に関する専門的見解が加えられ、それぞれの意思決定レベルは、自らの意思決定レベルに関して、また、より上位のレベルで決定される与信に関しても、与信を拒否する権限を有している。最大与信限度額は、グループ与信部で審査され、取締役会で決定されるか、又は取締役会によって設立される与信委員会で決定される。但し、その与信の責任を負う支店長の推薦がなければ、当行において与信申請が処理されることはないが、自動モデリングを通してなされた与信決定はその例外である。当行は、この分権的な手法により与信が延長される時及び与信の期間中の両方において、それぞれの個人の顧客の信用リスクをより正確に評価できるようになると考えている。

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、不十分な若しくは誤った内部手続、人為的ミス、システムの誤り又は外的要因により生じる損失のリスクをいう。かかる定義には、法的リスクが含まれる。

オペレーショナル・リスクは、当行グループのあらゆる業務において生じる。オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理の責任は、当行グループ内のあらゆるレベルにおける経営上の責任の不可欠な部分である。当行グループの業務の分権的な手法及びコスト意識は、オペレーショナル・リスクの良好な管理を推進し、日常的な手続及び事由における潜在的な損失のリスクに注意を払うことにつながる。

取締役会は、当行グループのオペレーショナル・リスクの許容度を設定している。当行グループのオペレーショナル・リスクに対する許容度は低いものの、オペレーショナル・リスクはそれは当行のすべての業務において避けることのできない要素である。重大な業務上の損失を起こし得る重大なオペレーショナル・リスクは、リスクを軽減する手法を通じて、事故の結果及び／又は可能性が容認可能であり当行グループのオペレーショナル・リスクの許容度の範囲内に収まる程度の、より低いリスクレベルへ低減される。

オペレーショナル・リスクは事業活動内で管理され、グループ・リスク・コントロール部によってかかる管理が統制されている。特別に任命されたオペレーショナル・リスクの地域コーディネーターは、マネージャーがオペレーショナル・リスクを処理することを補助するため、地域銀行／県レベル、主要な部門、子会社及び当行グループの本拠地市場外の部署に配置される。これらのコーディネーターは、オペレーショナル・リスクの既存の管理方法及び管理手続が事業活動において使用されることを確実にし、報告された事故に関連する必要な行動を管理し、事業活動のサポートを行い、オペレーショナル・リスクに関し取り決められたあらゆる措置をフォローアップするように責任を負う。

グループ・リスク・コントロール部は、オペレーショナル・リスクの管理に用いられる方法及び手続について、並びにかかる方法及び手続並びに業務におけるそれらの運用に対する定期的な評価を行うことについて、包括的な責任を負う。グループ・リスク・コントロール部は、地域銀行／県、主要部門、子会社及び当行グ

ループの本拠地市場外の部門がオペレーショナル・リスクの特定、評価、報告及び管理を実施することを確実にし、取り決められた措置が実施されることを確実にするためにフォローアップを行う。

また、グループ・リスク・コントロール部は、新規の若しくは重大な変更があった商品、サービス、市場、手続若しくはITシステムに関する決定が行われる前に、又はグループの事業若しくは組織構造に重要な変更がなされた場合に、リスクの評価が行われるようにする責任を負う。また、グループ・リスク・コントロール部は、当行グループのレベルにおいてすべての重要なオペレーショナル・リスクを特定、測定及び分析し、経営陣及び取締役会に対しそれらの進展について報告する責任を負う。

持続的なオペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理を支援するため、当行は事故の報告及び事例管理制度、オペレーショナル・リスクの自己評価のための手法及び手続並びにリスク指標を有している。

流動性リスク

流動性リスクとは、許容できない費用又は損失なくして当行グループが期日の到来した支払債務を履行することができないリスクである。当行グループの流動性リスクに対する許容度は低く、当行グループは、全体レベル及び各通貨毎の双方にかかるリスクを最小限に抑えるために積極的に取り組んでいる。当行は、流動性への良好なアクセスが可能であり、業績の変動を低水準に抑え、顧客ニーズを満たすような資金調達能力の提供を目指している。これは、当行にとって重要な通貨のすべてにおいて、キャッシュ・フローの流入及び流出を適切にマッチングさせると共に良質な十分な流動性準備金を維持することによって達成される。

グループ財務部は、当行グループの流動性に一時的又は長期的に影響を与え得る金融市場の混乱の可能性に対してより良く備えるために、当行グループの流動性リスクの管理のための最新の緊急時対応計画を維持することに責任を負う。かかる計画の下では、当行グループの流動性について、ギャップ分析における変化並びに資金調達のボラティリティ及び資金調達費用のベンチマークを含む定期的な分析を行っている。当行グループはまた、預金高の大幅な減少及び与信供与枠の利用の増加など特定の状態における流動性への影響を測るテストを実施している。グループ財務部は、当行グループの流動性及び資金調達に包括的な責任を負う。

日常的な流動性管理に加えて、当行グループは金融市場の混乱の可能性に備えるための戦略の一部として、緊急時対応準備金を維持している。限定的例外はあるものの、スウェーデン・クローネの流動性は各営業日末において均衡が取れた状態にしなければならないというのが当行グループの方針である。

欧州委員会が委任規則(EU)2015/61を導入後、流動性カバレッジ比率(以下「LCR」という。)は、EUにおける銀行に対する拘束力のある要件となっている。かかる数値は、当行の流動性バッファ及び30日間の大きなストレス・シナリオにおける当行の正味キャッシュ・フローとの比率を規定する。かかる要件は総計レベルで適用され、比率は少なくとも100%でなければならない。これに加えて、現在の欧州連合の最低要件が各通貨の量的要件にまで及ばないため、SFSAは、第二の柱における監督審査及び評価プロセスの枠組において、各通貨のLCRの監督も実施する。当年度末において、欧州委員会の定義に基づき計算した当行グループの総計のLCRは150%であった。このことは、当行グループが資金調達市場における短期の混乱に対して著しく耐性があることを示している。これはまた米ドル及びユーロにも当てはまる。

当行グループは、通貨、市場及び資金調達金融商品に関して、十分に多様な資金源を維持するよう努めている。当行グループは、海外及びスウェーデンの資本市場から即時に資金を調達できるよう、様々なプログラムを維持している。短期資金は、スウェーデン、アメリカ合衆国及び欧州における有効なコマーシャル・ペーパー・プログラムを通じて調達される。長期資金は、主にスウェーデン・クローネ建てのカバード・ボンドの発行及び当行グループのその他の資金調達プログラムの利用を通じて調達される。グループ財務部は、資産と負債の満期の適切な均衡を維持する責任を負う。

市場リスク

市場リスクとは、金融市場における価格の変化及び価格のボラティリティに関連する損失のリスクである。当行グループは、市場リスクを、金利リスク、為替リスク、株価リスク及びコモディティ価格リスクに分類している。市場リスクは、当行グループの顧客が当行に柔軟な資金調達のサービスを求める場合に発生する。当行グループはまた、既に貸付を行っている市場以外の市場で資金調達を行うことにより、資金調達源を多様化することができる。かかる資金調達は、資金調達の対象となる資産と固定金利の期間が異なるものでも良い。市場リスクはまた、当行が事業を行っている市場で混乱が起きた際にショート・ノーティスで流動資産に転換できるグループ財務部の流動性ポートフォリオでも発生することがある。当該ポートフォリオにより、日次清算業務における当行グループの支払が確実になるとともに当行の流動性準備金の一部を形成している。市場リスクはまた、固定利付債券、外国為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすために発生する。このため、当行は一定のポジションを保有しておかなければならない。例えば、当行が、金融商品の市場価格を形成するマーケット・メーカーとしての役割を果たす場合にこのような状況になる。当行の業務における市場リスクは、主にグループ財務部及びハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおいて生じており、それぞれ管理されているが、ハンデルスバンケン・リヴにも存在する。

金利リスク

金利リスクは、主として、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、グループ財務部及び当行グループの貸出事業において発生する。貸出事業における金利リスクは、その資金と部分的に異なる固定金利の期間を有する顧客及び他行への貸出しを行うことにより発生する。当行グループは、金利スワップ契約の締結により、かかるリスクの相当な部分を排除しようとしている。一般に、金利リスクへのエクスポージャーは、流動性の高さを特徴とする市場において生じる。

当行は、一般的な金利リスク、特定の金利リスク及び非線形金利リスクを捉える方法により、金利リスクを測定及び制限している。

株価リスク

株価リスクとは、市場価格の変動にによる株式関連ポジションの市場価値の変化に起因する損失のリスク及び市場価格のボラティリティに起因する損失のリスクである。当行グループの株価リスクへのエクスポージャーは、主としてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットでの顧客との取引及び当行の保有株式において生じる。当行グループは、株価リスクを測定し妥当な上限を設定するために、原株式価格及びボラティリティの大幅な変動を想定して事前に設定したストレス・シナリオを用いている。

為替リスク

当行グループは、スウェーデン以外を拠点とする市場を有しており、他の複数の国においても事業を行っている。したがって、当行グループの勘定がスウェーデン・クローネで表示されていることにより、構造上、為替エクスポージャーが生じる。かかる構造上のリスクは、自己資本比率又は資本のそれぞれに対する為替変動の影響間のトレード・オフを考慮することによって管理される。

当行の直接的な為替エクスポージャーは、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおいて行われる国際為替市場における顧客主導の日中取引の結果として生じる。顧客の支払フローの管理の一環としての通常の銀行業務及びグループ財務部の資金調達業務においても、ある程度のが為替エクスポージャーが生じる。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、これらのリスクに対して、ポジション限度額を設定している。

コモディティ価格リスク

コモディティ関連商品のエクスポージャーは、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットのみにおいて発生し、国際コモディティ市場における顧客主導の取引の結果、取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者が決定した限度によって制限されている。

当行は、線形及び非線形のコモディティ価格リスクの双方を効果的に捉える方法により、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットのコモディティ価格リスクを制限及び測定しており、またかかるリスクは、当行がさらされているあらゆるコモディティのリスクの絶対合計として測定される。

保険リスク

保険リスクとは、保険方針の結果に関連するリスクであり、主に生命保険リスク及び障害保険リスクによって構成される。ハンデルスバンケン・リヴにおける保険リスクは、以下の分野に関連している。

- ・ **死亡リスク** - 死亡率の程度及び傾向の変動又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。死亡率の増加は保険契約の価値の上昇につながる。
- ・ **余命リスク** - 死亡率の程度及び傾向の変動又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。死亡率の減少は保険契約の価値の上昇につながる。
- ・ **障害・疾病リスク** - 病気及び回復の程度及び傾向の変動又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。
- ・ **無効リスク** - 無効、終了、更新及び解約の程度又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。
- ・ **営業費用リスク** - 保険契約への営業費用の程度及び傾向の変動又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。
- ・ **改訂リスク** - 規制要件、法的環境又は被保険者の健康状態の変化による定期的な支払いの改訂レートの水準及び傾向の変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。
- ・ **大災害リスク** - 極端又は特異な出来事に関連する価格決定及び想定 of 重大な不確定性の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。

各保険契約は、これらのリスクの複数へのエクスポージャーを含む可能性がある。当行グループの保険会社であるハンデルスバンケン・リヴは、利益分配を行う保険会社であるため、これらのリスクをはらんでいる。したがって、保険の購入予定者に対しては、医学的リスクの評価が行われる。

報酬制度に関するリスク

報酬リスクとは、報酬制度の結果として生じる損失又はその他の損害のリスクである。報酬リスクに対する当行グループの許容性は低く、当行グループはかかるリスクを低い水準に維持するよう努めている。変動報酬は注意して適用され、当行のリスク・プロファイルへ重大な影響を与える職務活動を行っている従業員には提供されない。

当行グループにおいて、従業員が新たな役職に就く際及び現地の給与の見直しの際、報酬は個別に設定される。当行グループに対し拘束力のある労働協約又は対応する現地の標準化された契約若しくは合意を考慮に入れて、報酬は当行の給与の設定モデル及び給与の決定要素に基づいて決定される。給与の決定要素とはすなわち、業務内容及び難易度、能力及びスキル、業務実績及び成果、指導力、市場並びに当行の企業カルチャーの代表者であるかである。これらの原則は何年もの間、適用されている。これらは、あらゆる階層のマネージャーが定期的に給与の見直しに参加し、当行の給与方針の実行及び各自の部門の人件費に責任を持つことを意味している。

コンプライアンス・リスク

コンプライアンス・リスクとは、当行グループが法令、規制、公共機関からの指令及び勧告並びに内部規則、又は認められている事業慣行若しくは基準を遵守しないリスクをいい、これによりオペレーショナル・リスク、制裁若しくはその他の介入のリスク、財務損失又は当行グループの事業活動に対する信用損失が増加する可能性がある。コンプライアンス業務は、助言及び支援を通して当行のコンプライアンス・リスクを防ぎ、コンプライアンス・リスクを特定し、それらを緩和するための措置を推奨することを目的としている。

統制機能は、グループ・コンプライアンス部並びに子会社及びその他の法的組織における地域コンプライアンス部の両方で構成される。すべてのコンプライアンス部は、事業活動から独立しており、統制対象となる機能及び分野から組織的に分離されていなければならない。コンプライアンス部門に所属する従業員は、監視責任を負う事業活動の一部であるいかなる業務上の作業も行っていない。

最高コンプライアンス責任者は主要な又は重要なリスクがあると判断される重要な分野について少なくとも四半期毎に最高経営責任者に報告する。取締役会のリスク委員会及び取締役会にもまた、四半期毎に報告する。かかる報告は、特定されたリスク及び不備を管理するために事業が行った措置に係る評価をも含む。

世界金融市場の現状及び世界の経済状況に伴うリスク

当行グループの各事業部門は、市況の影響を受け、これにより年間及び長期の業績が変動する可能性がある。かかる市況には、市場価格の不安定な動向を含む金融市場のサイクル及び銀行業界のサイクル等の経済サイクル並びにCOVID-19の大流行及び世界的な蔓延により生じた混乱のような、地域経済及び世界経済又は商品及びサービスの自由な流れにおける混乱が含まれる。当行グループの業績は、金利及び為替、金融方針及び財政政策、消費者支出及び事業支出、人口動態並びに競争上の要因及びその他の要因の変動によっても影響を受ける。

市況もまた、地政学的な緊張の増大並びにCOVID-19の大流行及び世界的な蔓延の影響をめぐる懸念により影響を受けており、今後も受け続けると考えられる。世界経済は、COVID-19及び関連する対策によりかなりの程度影響を受けており、今後も継続すると見込まれる。

2018年において、英国のEU離脱に対する準備として、当行グループは英国の支店体制を子会社の体制に転換し、かかる子会社は現在、英国健全性規制機構から取得したライセンスに基づいて営業している。当行グループは、これまでスウェーデンのライセンスに基づいて英国で営業していたため、EUのパスポートリングの枠組みに依存していた。2020年1月31日、英国は正式にEUから離脱した(かかる離脱を、以下「英国のEU離脱」という。)。英国のEU離脱後、直ちに移行期間に入り、2020年12月31日に終了した(以下「移行期間」という。)。2020年12月24日、EU及び英国は貿易及び協力に関する協定に合意した(以下「貿易及び協力に関する協定」という。)。これは、移行期間の終了後のEUと英国間の関係に関する指針を定めている。しかしながら、貿易及び協力に関する協定は、EUと英国間の個人データの送信に関する規則については2021年6月末までの更なる移行期間が合意されたものの、当該貿易及び協力に関する協定には金融サービス及びデータの適合性といった、特定分野に関する合意は含まれていなかった。

EUと英国の間で金融サービスに関する同等の決定又は貿易協定が締結されるかは不確定である。概して、そのようないずれの貿易協定、同等の決定又は金融市場に関するその他の協力メカニズムによる影響、英国及びEU加盟国の間で求められ得る法的及び規制の合致並びに規制的協力の程度、並びにEU及び英国の市場に渡る金融サービス会社に付与され得るアクセスのレベルもまた不確定である。英国のEU離脱による市場分断を通じた金融市場への影響が広範囲にわたるほど、ファイナンス及び資金調達に対するアクセスは低下し、特定の金融市場インフラに対するアクセスの欠如は、当行グループの業務、財政状態及び財政予測並びに顧客の財政状態及び財政予測に影響を与える可能性がある。

英国のEU離脱のより長期的な影響は予測が困難である一方、継続中の政治的及び経済的な不確実性は、中期的に継続する見込みであり、当行グループの顧客並びにカウンターパーティにマイナスの影響を与える可能性がある。また、英国のEU離脱に起因するその他の潜在的なより長期的な影響も存在し、英国経済及び当行グループの事業に影響を与える恐れがある。かかる影響の例として、スコットランドの英国からの独立に関する第2回目の国民投票への要求の高まり並びにアイルランド共和国、北アイルランド及びグレート・ブリテンとの間の国境に関する現在の取り決めについて更に疑問が提起されることになった場合の北アイルランドにおける不安定性などがある。もしもこれらのリスクの1つ以上が実現した場合、当行グループの事業、経営成績、財政状態及び財政予測に重大なマイナスの影響を与える恐れがある。

これらの事項の結果として当行グループが直面するリスク及び不確実性の正確な本質を予測することは不可能であり、これらのリスクの多くは、当行グループの統制が及ばないものである。しかしながら、市場の混乱及びボラティリティが当行グループの事業、経営成績及び財政状態並びに社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

COVID-19の大流行及び世界的な蔓延により、当行グループの事業、経営成績及び財政状態は重大な悪影響を受ける可能性がある。

2019年後半に中国で確認されたCOVID-19が世界中で蔓延した。2020年3月11日、世界保健機関はCOVID-19の蔓延及び深刻度はパンデミックの域に拡大したと確認した。COVID-19の大流行及び世界的な蔓延により、当局(北欧諸国、英国及びオランダを含む。)がウイルスを封じ込めるために渡航禁止令及び渡航制限、外出禁止令、ロックダウン、検疫並びに企業及び職場の閉鎖など数々の措置を実施する結果となり、金融市場のボラティリティの著しい増加及び金融市場の下落並びにマクロ経済の見通しの著しい悪化へとつながった。これらの制限の継続期間は極めて不確かであり、長期化したり、より一層厳しい措置が導入されたりする可能性もある。このような規制は、当行グループの市場の多くで導入され、多くは今も導入中である。

COVID-19の蔓延により、当行グループはその業務慣行の改良を行うに至り、当行グループは当局から要求されるさらなる措置又は当行グループの従業員、顧客及びその他利害関係者にとって最善であると当行グループが判断する措置を実行する可能性がある。このような方策がCOVID-19によって引き起こされたりリスクを軽減するのに十分であるかの確証はなく、このような方策の実施(又はそれらが不十分であること)は、当行グループのその重要な機能のいくつかを実行する能力及び当行グループのその顧客に提供する能力を害する可能性がある。パンデミック及び関連する対抗策により、当行グループの複数の顧客に悪影響が及んでおり、今後も悪影響が及ぶ。いくつかのケースでは影響が深刻であり、続いて当行グループにも悪影響が及ぶ可能性がある(例えば信用力の低下及び減損の増加等を通じて)。当行グループが業務を行う管轄地域では、中央政府がCOVID-19の大流行による影響を最も受けた経済の一部に財政支援を提供する景気刺激策を実施した。

COVID-19の大流行に対するスウェーデン政府の方策は、中小規模の企業に対する政府融資保証制度を含む。かかる制度において、政府はCOVID-19の大流行により財政的困難を経験する企業に対して銀行が新たに提供した貸出金の70%を保証する予定である。かかる保証は、銀行に対して発行され、続いてそのような中小規模の企業に対して保証付貸出金が提供される。パンデミックにより、スウェーデンではさらなる方策が実施された。かかる方策には、例えば()パンデミック下において企業が与信貸付を確実に利用可能とするために、銀行を通じて総額500十億スウェーデン・クローネを上限に貸出金を提供するというスウェーデン中央銀行の決定、()銀行及びその他住宅ローンの提供者に対し、2021年8月まで住宅ローン返済に対し一時的な支払猶予期間を与えることを許可するSFSAの決定及び()少なくとも2022年第1四半期まで銀行に対するカウンターシクリカル資本バッファ要件を2.5%から0%に引き下げるというSFSAのさらなる決定が含まれる。

COVID-19の経済的影響は総じて、当行グループの統制外であり、ウイルスの継続的な蔓延程度、地域の当局及び国際社会の対応、ワクチンの分配及び投与の効果並びに投与されたワクチンが当該ウイルスの蔓延及び影

響をどの程度減らせるかによる。多くのワクチンが現在利用可能になり、その継続期間を短縮させ、COVID-19の規模及び医療への影響を和らげる可能性をもたらしたものの、COVID-19が当行グループの経営成績、流動性、資金調達の利用可能性及び財政状態に及ぼす継続的な影響の程度は、将来の進展次第であり、本有価証券報告書の日付現在極めて不確かなままであり予測することはできない。これらの進展は、大流行の継続期間及び蔓延度、その深刻度、ウイルスの変異株、COVID-19の封じ込め又はその影響を処理するために実施された措置、免疫獲得への注力の程度及び効果、景気刺激策の程度及び効果並びにどれだけ迅速に、どの程度通常の経済及び経営状態を再開することができるかを含むが、これらに限られるわけではない。中長期的には、COVID-19の蔓延がより長引いた場合、又は同様のマクロ経済効果を引き起こす更なる疾病が発生した場合、マクロ経済状態は継続してマイナスの影響を受けることが予測され、当行グループが事業を行う国々及びより広範囲な世界経済において更に深刻な経済悪化に至る恐れがある（これは、蔓延し、深刻で長期に及ぶ可能性がある）。さらに、国際金融市場は非常に高いボラティリティの影響を受け続けており、これは2021年12月31日に終了する1年における当行グループの取引収益にマイナスの影響を与え、かかるボラティリティは1年を通して継続する可能性がある。当行グループに対するものを含め、契約上の義務に服する当行グループの顧客もまた、重大な悪影響を受ける可能性がある。

重大な悪影響を及ぼす規制上の進展により、当行グループは悪影響を受ける可能性がある。

当行グループの事業は、スウェーデン及び当行グループが事業を行うその他の国々の法律、規制、方針及び/又はそれらの各解釈の変化の影響を含む、現行の規制及び関連する規制上のリスクに服している。法律及び規制並びに法律及び規制の施行又は解釈の方法は、ともに予測不可能であり、当行グループの制御の及ぶものではなく、当行グループの事業、経営成績若しくは財政状態又は社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループの業務の多くは、現地の監督当局による監督に服している。当行グループはまた、直接適用されるEU規則及び現地の法律を通して施行されるEU指令に服している。当行グループは、欧州連合、EU離脱後の英国又はSFSAによる規制上の取組みの結果として、将来どのような規制上の変更が課されるか予測することができない。

当行グループが効果的に規制上のリスクを管理できない場合、当行グループの事業、経営成績若しくは財政状態又は社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行は、マネーロンダリング活動に関連するリスクにさらされており、マネーロンダリング防止及びテロ資金供与防止に関する規制の順守には、重大なコスト及び努力を要する。

当行は、マネーロンダリング防止、腐敗防止及びテロ資金供与防止に関する規則及び規制に服している。一般的に、銀行が、マネーロンダリングに関して負う又はそれらに利用されるリスクは、近年世界的に増大している。マネーロンダリング防止及びテロ資金供与防止に関する規制の順守には、重大なコスト及び努力を要する。これらの規則に対する違反は、当行及び当行グループにとって法的及び風評に関わる悪影響(クライアント、パートナー及びその他第三者との関係におけるものも含む。)を含め、深刻な影響を及ぼす可能性がある。当行は、当行における現行のマネーロンダリング防止及びテロ資金供与防止に係る方針及び手続き並びに行動基準(腐敗防止を含む。)は、適用規則を順守するのに基本的に適切であると判断しているが、当行は過去において又は今後において、常にすべての適用規則を順守してきた又は順守すると保証することはできず、また、当行グループ全体に拡大適用されるマネーロンダリング、テロ資金供与及び腐敗を防止するための当行の方針及び規則が、その従業員によって常に順守されていると保証することはできない。

当行及びその顧客は、サイバー犯罪及び詐欺に関連するリスク及び潜在的損失の危険にさらされている。

その他の金融機関同様、金融サービスにおけるテクノロジーの活用を拡大を受けて、当行及びその顧客は、当行のシステムに過負荷を掛けるように意図された攻撃を含め、犯罪目的又は悪意を持ったグループによる実際のサイバー攻撃又はその企てのリスクにさらされている。これらのリスクは、当行がその商品、サービス、主要な機能及び流通経路のデジタル化を進めるにつれて、また、サイバー攻撃がより複雑化し、より蔓延するにつれて増大する。当行は、サイバー攻撃によりその従業員及び／又は顧客に対する当行のシステムの運用上の可用性が一時的に失われるリスクにさらされており、結果として、当行の事業、経営状況、業績及び将来的な展望に対する重大な悪影響につながる可能性がある。

当行が、サイバー犯罪や詐欺等の新たな脅威に対する情報セキュリティ管理に十分な投資を継続できないリスクがあり、また、当行が、既知の脅威に対する管理を頑強であるようにすることを継続できないリスクがある。さらに、サイバー犯罪グループによる益々複雑化する攻撃や、顧客口座に対する詐欺行為等による当行のシステムに対するセキュリティ侵害は、業務の中断、機密情報の漏えい、重大な財務リスク及び／又は法的リスクの発生並びに当行の評価及び／又はブランド価値の棄損につながる恐れがある。加えて、当行及びその顧客は、カード、口座、個人情報、内部及びその他の詐欺に関連するより一層のリスクにさらされており、中にはより複雑で、組織化され、テクノロジーに誘発されるものも含まれる。

これらの活動はいずれも防止したり検知したりすることが難しく、これらのリスクを軽減するための当行の内部方針が不適切又は非効果的である可能性がある。当行は、これらの活動又は事象により生じた損失を回復することができない可能性があると同時に、これらの結果として風評被害を被る恐れがあり、そのいずれもが当行の事業、経営状況、業績及び将来的な展望に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

気候変動、大惨事、テロ攻撃、戦争行為、その他の地政学的展開及び自然災害は当行グループの事業及び業績にマイナスの影響を与える恐れがある。

気候変動、大惨事、テロ攻撃、戦争行為、感染症の蔓延、その他の地政学的展開及び自然災害並びにこれらの事象及び行為に対する反応・反響は、経済及び政治の不安定性を生み出す可能性があり、当行グループが事業を行う地域又は全世界における経済状況にマイナスの影響を与える恐れがある。より具体的には、当行グループの事業を妨げる恐れがあり、重大な損失に繋がる可能性がある。このような事象／行為及びそれらから生じる損失は、予測が難しく、不動産、金融資産、ポジション売買又は重要な従業員に関係する可能性がある。当行グループがこれらのリスクを効果的に管理できない場合、当行グループの事業、経営成績若しくは財政状態又は社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績等の概要

下記「(3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(2)生産、受注及び販売の状況

該当事項なし。

(3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

本セクションに含まれる将来の見通しに関する記述は、本書提出日現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づいている。

2020年12月31日終了事業年度

業績報告

当年度中の大幅な景気後退にもかかわらず、当行グループは安定した利益を維持した。比較可能性及び為替変動に影響を与える項目を調整後、営業利益は1%増加した。

当行は、当行の事業活動に係る当初の見直しに対応するため、当年度中に実施された多数の措置を講じた。当該措置の結果、-1,470百万スウェーデン・クローネのリストラクチャリング準備金のための引当金により、2020年第3四半期の利益に影響が生じた。スウェーデン・クローネの上昇により、営業利益に-321百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。2020年第4四半期にオクトゴーネン利益分配制度への-213百万スウェーデン・クローネの引当金が発生した。これらの項目を含め、営業利益は、8%減少して20,135百万スウェーデン・クローネ(前年度は21,796百万スウェーデン・クローネ)となった。

比較可能性に影響を与える項目の調整後、収益合計は1%増加した。

為替変動及び比較可能性に影響を与える項目の調整後、費用の純増加は、1%(前年度は5%)をわずかに上回る程度に下落した。

株主資本利益率は、10.0%(前年度は11.9%)に減少した。為替変動及び比較可能性に影響を与える項目の調整後、株主資本利益率は、11.0%(前年度は11.9%)であった。当年度の税引後利益は、8%減少して15,588百万スウェーデン・クローネ(前年度は16,925百万スウェーデン・クローネ)となり、一株当たり利益は、7.87スウェーデン・クローネ(前年度は8.65スウェーデン・クローネ)に減少した。C/I比率は、52.7%(前年度は48.8%)に上昇した。為替の影響及び比較可能性に影響を与える項目の調整後、C/I比率は48.8%(前年度は48.3%)であった。

普通株式等Tier 1比率は、20.3%(前年度は18.5%)に増加した。

営業利益のうち非経常項目及び特別項目

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度(通年)	2019年度(通年)
非経常項目		
リストラクチャリング費用	-1,470	-930
非継続ITシステムの減損費用	-38	-29
ビザ・スウェーデン・エコノミック・アソシエーションからの配当	-	55
非経常項目合計	-1,508	-904
特別項目		

オクトゴーネン利益分配制度

前年度の引当金/戻入額	-	829
当年度の引当金	-213	-
特別項目合計	-213	829
合計	-1,721	-75

収益

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度(通年)	2019年度(通年)	変動
純利息収益	31,606	32,135	-2%
うち、政府手数料	-1,424	-2,165	-34%
純手数料及びコミッション収益	10,786	10,697	1%
金融取引による純損益	1,437	1,299	11%
その他の収益	419	433	-3%
収益合計	44,248	44,564	-1%

収益合計は、1%減少して44,248百万スウェーデン・クローネ(前年度は44,564百万スウェーデン・クローネ)となった。スウェーデン・クローネの上昇により、収益合計に-617百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。為替の影響の調整後、収益合計は1%増加した。

純利息収益は、2%すなわち529百万スウェーデン・クローネ減少して31,606百万スウェーデン・クローネ(前年度は32,135百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる減少は、ほぼ全面的にスウェーデン・クローネの上昇によるものであり、これにより純利息収益に-512百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。預金高及び貸出高の増加によるプラスの影響が生じた一方、COVID-19により生じた春の特殊な状況は、利鞘及び資金調達費用の両方にマイナスの影響が生じる効果をもたらした。取引高の増加は、合計1,127百万スウェーデン・クローネ寄与した。ハンデルスバンケン・インターナショナル内の事業の閉鎖により、総額に約90百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の変動による正味の影響により、純利息収益は-1,585百万スウェーデン・クローネ減少し、そのうち-286百万スウェーデン・クローネはスウェーデン、残りはスウェーデン外の本拠地市場におけるものであった。政府手数料の減少により、純利息収益に741百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じたが、これはスウェーデンの破綻処理基金の手数が810百万スウェーデン・クローネ減少して-1,046百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,856百万スウェーデン・クローネ)となったことによって説明できる。2020年1月1日現在、かかる手数料は、計算基準の0.05%(前年度は0.09%)に上る。当行の英国における事業は、2018年下旬より子会社という形で実施されたため、2020年度よりもはや計算基準において考慮されていない。様々な預金保証に係る手数料を含む政府手数料は、合計で-1,424百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,165百万スウェーデン・クローネ)となった。

純手数料及びコミッション収益は、1%増加して10,786百万スウェーデン・クローネ(前年度は10,697百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、-82百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。ファンド運用手数料、カストディ口座管理手数料及びその他の資産管理手数料は、7%すなわち375百万スウェーデン・クローネ増加して5,411百万スウェーデン・クローネ(前年度は5,036百万スウェーデン・クローネ)となった。仲介収益は、5%増加して656百万スウェーデン・クローネ(前年度は625百万スウェーデン・クローネ)となった一方、アドバイザー収益は、6%減少して240百万スウェーデン・クローネ(前年度は255百万スウェーデン・クローネ)となった。貸出手数料及び預金手数料は、3%減少して1,353百万スウェーデン・ク

ローネ(前年度は1,401百万スウェーデン・クローネ)となった。純コミッションは、17%減少して1,688百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,024百万スウェーデン・クローネ)となり、そのうちクレジットカード事業からの純コミッションは、22%減少して1,026百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,310百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、11%増加して1,437百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,299百万スウェーデン・クローネ)となった。ハンデルスバンケン・リヴの従来型保険事業に対する-118百万スウェーデン・クローネ(前年度は-51百万スウェーデン・クローネ)の繰延資本拠出のための引当金により、純額に影響が生じた。2020年第1四半期より、当行のデリバティブ・エクスポージャーにおけるカウンターパーティー・リスクの評価に起因する信用評価調整(以下、「CVA」という。)及び負債評価調整(以下、「DVA」という。)の変動は、引き続きデリバティブの公正価値の一部として貸借対照表及び損益計算書に計上されている。春の市場におけるクレジットスプレッドの大幅な拡大は、CVA及びDVAに著しく寄与し、利益に-64百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。

その他の収益は、419百万スウェーデン・クローネ(前年度は433百万スウェーデン・クローネ)であった。かかる減少は、前年度にビザ・スウェーデン・エコノミック・アソシエーションより受領した55百万スウェーデン・クローネの配当に起因する。保険リスクは、50百万スウェーデン・クローネ増加して195百万スウェーデン・クローネ(前年度は145百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度(通年)	2019年度(通年)	変動
人件費	-15,343	-13,549	13%
うち、リストラクチャリング費用	-1,310	-759	73%
うち、オクトゴーネン	-213	829	
その他費用	-6,085	-6,524	-7%
うち、リストラクチャリング費用	-60	-171	-65%
うち、賃借料	-182	-192	
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-1,906	-1,670	14%
うち、使用権資産	-862	-725	
うち、リストラクチャリング費用	-100	-	
費用合計	-23,334	-21,743	7%
通貨、特別項目及び非経常項目の調整後の変動			1.3%

開発費

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度(通年)	2019年度(通年)	変動
開発投資費	-2,611	-2,730	-4%
うち、人件費	-1,306	-1,281	2%
うち、その他費用	-1,305	-1,449	-10%
資本化費用	845	1,120	-25%
資本化費用後の開発投資費	-1,766	-1,610	10%

不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損費用	-530	-449	18%
開発費	-2,296	-2,059	12%

費用合計は、7%増加して-23,334百万スウェーデン・クローネ(前年度は-21,743百万スウェーデン・クローネ)となった。スウェーデン・クローネの上昇により、費用合計は289百万スウェーデン・クローネ減少した。為替の影響、非経常項目及び特別項目の調整後、費用合計の純増加は1.3%であった。

2020年第4四半期にオクトゴーネン利益分配制度への-213百万スウェーデン・クローネの引当金が発生した。2020年第3四半期の費用に、-1,470百万スウェーデン・クローネのリストラクチャリング準備金のための引当金による影響が生じた。前年度上半期において、829百万スウェーデン・クローネに上る2018年のオクトゴーネン利益分配制度への予備引当金は、戻し入れされた。

無形資産の償却費を含めた開発費は、12%増加して-2,296百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,059百万スウェーデン・クローネ)となった。当行の開発投資費合計は、-2,611百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,730百万スウェーデン・クローネ)であった。資本化費用は、845百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,120百万スウェーデン・クローネ)に減少した。

当行で発生した、金融犯罪の防止に係る業務に関する費用は、-1,220百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,155百万スウェーデン・クローネ)に増加したが、かかる金額は中央部門及び地域の本部で発生した費用であり、地域の支店で実施された業務に関連する費用は含まない。

人件費は、-15,343百万スウェーデン・クローネ(前年度は-13,549百万スウェーデン・クローネ)に増加したが、これは2020年第4四半期のオクトゴーネン利益分配制度への引当金により、-213百万スウェーデン・クローネの影響が生じたことによるものであった。一方、2020年第3四半期には、-1,310百万スウェーデン・クローネのリストラクチャリング準備金のための引当金による影響が生じた。829百万スウェーデン・クローネに上るオクトゴーネン利益分配制度により、前年度の費用にプラスの影響が生じた。為替の影響により、人件費は170百万スウェーデン・クローネ減少した。上記項目の調整後、人件費の純増加は3%であった。これは主に年給与の調整に起因する。年金費用は、-1,908百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,939百万スウェーデン・クローネ)であった。当行のIT開発に関連する人件費は、合計-1,306百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,281百万スウェーデン・クローネ)となった。平均従業員数は、わずかに増加して12,563名(前年度は12,548名)となった。しかしながら年度末の従業員数はそれより少なく、12,474名(前年度末は12,551名)となった。

その他費用は、7%減少して-6,085百万スウェーデン・クローネ(前年度は-6,524百万スウェーデン・クローネ)となり、2020年第3四半期中に-60百万スウェーデン・クローネのリストラクチャリング準備金のための引当金による影響が生じた。為替の影響により、その他費用は110百万スウェーデン・クローネ減少した。当行の開発に係るその他費用は、-1,305百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,449百万スウェーデン・クローネ)であった。

不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用は、-1,906百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,670百万スウェーデン・クローネ)に増加した。賃借建物に係る使用権資産の減価償却費及び減損費用は、-862百万スウェーデン・クローネ(前年度は-725百万スウェーデン・クローネ)であり、かかる金額はまた、-100百万スウェーデン・クローネのリストラクチャリング準備金によるマイナスの影響が生じた。開発に関連する減価償却費、償却費及び減損費用は、-530百万スウェーデン・クローネ(前年度は-449百万スウェーデン・クローネ)であった。

信用損失

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度(通年)	2019年度(通年)	変動
正味信用損失	-781	-1,045	264
うち、追加の引当必要額	-564	-	
貸出金に対する信用損失率の割合 (単位：％)	0.03	0.04	

正味信用損失は、-781百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,045百万スウェーデン・クローネ)に減少した。かかる金額は、COVID-19の影響を考慮したエキスパートベースの算定を含み、-564百万スウェーデン・クローネの追加の引当必要額を伴う。信用損失率は、0.03％(前年度は0.04％)であった。

税金等

実行税率は、22.6％(前年度は22.3％)であった。2019年度以降、スウェーデンにおける法人税率は、21.4％であった。2021年1月1日現在、かかる税率は20.6％であった。劣後ローンの利息費用は税控除することができないという事情により、法人税率と比較して、税率に1.3パーセント・ポイントの影響が生じた。

事業の展開

取引額は引き続き増加した。貸出金の平均額は、22十億スウェーデン・クローネ増加したと同時に、預金及び借入金159十億スウェーデン・クローネ増加した。

一般顧客への貸出金の平均額は、1％増加して2,306十億スウェーデン・クローネ(前年度は2,284十億スウェーデン・クローネ)となった。スウェーデン・クローネの上昇により、かかる金額に35十億スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じ、為替の影響の調整後、一般顧客への貸出金の平均額は、2％超ほど増加した。個人への貸出金は、3％増加して1,227十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,194十億スウェーデン・クローネ)となり、法人への貸出金は1％減少して1,079十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,090十億スウェーデン・クローネ)となった。かかる減少の大部分は、継続する本拠地市場外における事業の合理化に起因する。

預金及び借入金の平均額は、14％増加して1,302十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,143十億スウェーデン・クローネ)となった。スウェーデン・クローネの上昇により、かかる金額に15十億スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じ、為替の影響の調整後、一般顧客からの預金及び借入金の平均額は、15％増加した。個人からの預金の平均額は8％増加して549十億スウェーデン・クローネ(前年度は509十億スウェーデン・クローネ)となったと同時に、法人からの預金は19％増加して、753十億スウェーデン・クローネ(前年度は634十億スウェーデン・クローネ)となった。

当行グループの管理下にある資産の総額は、当年度中に10％増加して846十億スウェーデン・クローネ(前年度は767十億スウェーデン・クローネ)となった。そのうち、769十億スウェーデン・クローネ(前年度は675十億スウェーデン・クローネ)は、当行のミューチュアル・ファンドに投資された。当行のミューチュアル・ファンドへの純流入は40.8十億スウェーデン・クローネ(前年度は29.7十億スウェーデン・クローネ)であり、そのうち5.9十億スウェーデン・クローネ(前年度は1.0十億スウェーデン・クローネ)はスウェーデン外の本拠地市場からのものであった。

当行の新しい戦略の方針

2020年秋に、当行は新しい戦略の方針を発表し実践している。これは、より良い顧客向けサービスの提供を創造することを目標とし、同時に効率性を改善するものでもあった。支店が資産及び専門家の助言をより広範囲に得られるようになると同時に、支店網はより少ない店舗に集約される。

2021年及び2022年を通して、当行はまた、現在の開発投資に加えて、追加で合計10億スウェーデン・クローネをデジタル開発に投資する予定である。このイニシアチブは結果として顧客体験にさらなる改善をもたらすことが期待され、当行がアドバイザリー・サービス及びデジタル・ミーティング・プレイスを介したサービスに関してさらに顧客の期待に応えることを可能にする。これらの取り組みはまた、支店業務における持続的で収益性のある事業成長を促進させるためのより効果的な手段として支店にも提供されることになる。

この新しい戦略的方針は、すべての本拠地市場に適用される。スウェーデン及び英国においては、これまでの地域銀行体制が、より顧客中心の組織に置き換えられている。これにより、さらに顧客に寄り添った専門家の助言を確保するだけでなく、より堅固な分権的意思決定プロセスをもたらし、効率も向上する。スウェーデンにおいては、すべての県で統括が任命され、権限を拡大し、新しいテレフォンバンキングを構築する業務が進行中である。これと並行して、すべての本拠地市場における支店及び事業活動の支援に関する責任を明確化するため、当行の商品分野、統制部門及び本社スタッフ業務が再編された。これにより、同一の機能が互いに並行して実行されることがなくなり、効率が向上する。

当行が現在決定している経営モデルにより、当行が遅くとも2022年度末までに、20億スウェーデン・クローネの持続可能な年間費用水準（オクトゴーネン利益分配制度への配分前及び2020年第3四半期現在の平均為替レートによる）を達成することにつながると期待されている。

当行は、IT投資の一時的な増加により、かかる措置の費用効果の大部分が2021年度中に相殺されると予想している。しかし、前述の通り、2022年度には当行グループ全体の費用水準は低下し、遅くとも2022年度末までに目標水準に達すると予想されている。

資金調達及び流動性

当年度中の社債発行は、168億スウェーデン・クローネ(前年度は177億スウェーデン・クローネ)に上り、そのうち118億スウェーデン・クローネ(前年度は144億スウェーデン・クローネ)はカバード・ボンド、41億スウェーデン・クローネ(前年度は28億スウェーデン・クローネ)はシニア債及び9億スウェーデン・クローネ(前年度は5億スウェーデン・クローネ)は永久劣後ローンであった。

当年度の資金調達市場は、継続するパンデミックにより、時々深刻な不透明性に特徴付けられる。それにもかかわらず、当行は、当年度中、ほとんどの資金調達市場において積極的に活動し、多くの投資家を惹きつけている。国際市場におけるすべての発行に募集額をはるかに超える申し込みが行われた。

当行には、多くの流動資金、住宅ローン及び担保に供されていないその他の資産があり、したがって当行のシニアレンダーが保護されることを示している。当年度末、すべての市場からの無担保資金調達額に対する担保に供されていない資産の割合は、269%(2020年第3四半期末は258%)であった。

2020年第4四半期末における中央銀行に預け入れられた現金資金及び流動資産は、(2020年第3四半期末の591億スウェーデン・クローネ及び2019年度末の346億スウェーデン・クローネと比較して)418億スウェーデン・クローネであった。流動債券及びその他の流動資産の額は、合計で145億スウェーデン・クローネ(2020年第3四半期末は127億スウェーデン・クローネ)となった。

当年度末、欧州委員会による委任規則に基づき計算された当行グループのLCRIは、150%(2020年第3四半期末は149%)であった。当年度末における安定調達比率(NSFR)は、CRR 2に基づき117%(2020年第3四半期末も117%)であった。

資本

当行の資本目標は、通常の状況下において当行の普通株式等Tier 1比率が、SFSAから当行に対して伝達された普通株式等Tier 1資本要件を1から3パーセント・ポイント上回ることである。

当年度末における普通株式等Tier 1比率は、20.3%であった。当行の評価に基づく2020年第4四半期末のSFSAの予想普通株式等Tier 1資本要件は13.8%すなわち99.5十億スウェーデン・クローネであり、そのうち2.7パーセント・ポイントすなわち19.6十億スウェーデン・クローネは第二の柱における普通株式等Tier 1資本要件から成る。予想普通株式等Tier 1資本要件には、スウェーデンの銀行の所要自己資本をEUの銀行パッケージ及びCRDVに適応させることにより生じた影響の大部分が含まれる。また第二の柱には、2020年第4四半期から、商業用不動産を担保とする融資に対する3.2十億スウェーデン・クローネのリスク加重のフロアも含まれており、これは普通株式等Tier 1資本要件の0.4パーセント・ポイントに相当する。

2020年第4四半期末の自己資本比率合計は24.3%であった。当行の評価では、同日のSFSAの予想所要自己資本合計は18.3%(すなわち131.7十億スウェーデン・クローネ)であり、そのうち3.7パーセント・ポイント(すなわち26.6十億スウェーデン・クローネ)は第二の柱における所要自己資本合計から成る。したがって、当行の資本は、目標範囲を超えるものであった。現状を考慮する限り、当行は現在これに調整が必要であるとは考えていない。

2019年12月31日と比較した2020年12月31日の資本連結状況

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年12月31日現在	2019年12月31日現在	変動
普通株式等Tier 1比率、CRR	20.3%	18.5%	1.8
自己資本比率合計、CRR	24.3%	23.2%	1.1
リスク・エクスポージャー額、CRR	721,403	716,462	1%
普通株式等Tier 1資本	146,160	132,731	10%
自己資本合計	175,245	166,060	6%

自己資本合計は175十億スウェーデン・クローネ(前年度は166十億スウェーデン・クローネ)であり、当行の自己資本比率合計は24.3%(前年度は23.2%)であった。普通株式等Tier 1資本は146十億スウェーデン・クローネ(前年度は133十億スウェーデン・クローネ)であった一方、普通株式等Tier 1比率は20.3%(前年度は18.5%)であった。

直近12ヶ月間における利益は、普通株式等Tier 1資本比率を2.0パーセント・ポイント上昇させた。提案された2019年及び2020年の利益合計の25%に相当する配当金の控除により、1.1パーセント・ポイントのマイナスの影響が生じた。2019年の利益ベースで提案され、これまでに控除された配当の自己資本への戻し入れにより、1.5パーセント・ポイントのプラスの寄与が生じた。SMEの引下げにより、0.5パーセント・ポイントのプラスの影響が生じた。エクスポージャー額の増加により、普通株式等Tier 1比率は0.7パーセント・ポイント下落し、また顧客及び貸出高の移転による正味の影響は-0.1パーセント・ポイントであった。為替の影響は-0.1パーセント・ポイント、純年金の影響は-0.1パーセント・ポイントであった。英国における信用リスクの所要自己資本を当行グループのレベルで計算するため、IRBから標準的基準へ移行したことにより、普通株式等Tier 1比率は1.4パーセント・ポイント減少した。その結果、移行の最終的な影響は、既に予想されていたものよりも小さかった。その他の影響により、普通株式等Tier 1比率は1.2パーセント・ポイント増加した。

経済資本及び利用可能な財源

当行の自己資本の必要性に関する内部評価は、当行の所要自己資本、ストレステスト及び当行のECに係るモデルに基づいている。これは当行の利用可能な財源(以下、「AFR」という。)に関連して測定される。取締役会は、当行グループのAFR/EC比率は120%を上回らなければならない旨を定めている。2020年第4四半期末、当行

グループのECは合計で57.2十億スウェーデン・クローネ(前年度は57.8十億スウェーデン・クローネ)となったと同時に、AFRは184.9十億スウェーデン・クローネ(前年度は184.0十億スウェーデン・クローネ)であった。したがって、AFR/EC比率は324%(前年度は318%)であった。連結では、ECは合計で28.5十億スウェーデン・クローネ(前年度は28.8十億スウェーデン・クローネ)となり、AFRは180.0十億スウェーデン・クローネ(前年度は179.5十億スウェーデン・クローネ)であった。

セグメント報告

* : 2021年第1四半期中のスウェーデンにおける地域銀行の再編成に伴い、それまで5つの地域銀行の本店に勤務していたスタッフのうち多くのメンバーが、主に、キャピタル・マーケット部、財務、法務及び人事の中枢機能並びに金融犯罪防止を目的とした部門など、当行の他の領域に組織的に再配置された。

このセクションにおける説明や数値は、上記の再編成を反映するために調整されていない。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

2020年度 における セグメント報告	本拠地市場						キャピタル・ マーケット	そ の 他	調整 及び 消去	合計
	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ				
収益合計	25,803	6,573	4,074	2,367	2,072	1,060	2,613	-314		44,248
費用合計	-9,517	-4,357	-1,622	-1,442	-1,245	-740	-2,459	-1,812	-140	-23,334
信用損失控除前利益	16,286	2,216	2,452	925	827	320	154	-2,126	-140	20,914
営業利益	16,117	2,090	2,189	895	633	316	162	-2,127	-140	20,135
利益配分後の営業利益	16,449	2,139	2,229	907	660	321	-303	-2,127	-140	20,135

セグメント報告並びにその他並びに調整及び消去の列の項目の記載に適用される原則は、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G43」で詳述される。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

2019年度 における セグメント報告	本拠地市場						キャピタル・ マーケット	そ の 他	調整 及び 消去	合計
	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ				
収益合計	24,782	7,029	4,575	2,372	2,203	986	2,778	-161		44,564
費用合計	-9,224	-4,350	-1,661	-1,384	-1,150	-683	-2,763	-294	-234	-21,743
信用損失控除前利益	15,558	2,679	2,914	988	1,053	303	15	-455	-234	22,821
営業利益	14,495	2,690	2,821	997	1,155	300	24	-452	-234	21,796
利益配分後の営業利益	14,812	2,732	2,864	1,009	1,190	302	-427	-452	-234	21,796

2020年第1四半期中に再編成が実施され、それに伴いファンド運用グループにおける金融商品、通貨及び商品のプロダクト・オーナーシップ及びビジネス・サポート業務が、グループ商品・サービス部からハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットに移された。同時に、グループ商品・サービス部の残りの業務は、その他の部門からハンデルスバンケン・スウェーデンのセグメントに移された。また、支店業務がキャピタル・マーケットから受け取ったミューチュアル・ファンド及び保険手数料は、これまで、セグメント報告の利益配分の項目において純額で認識されていたが、純手数料及びコミッション収益並びに内部購入及び売却されたサービスの項目において総額で報告されることが2020年第1四半期中に取り決められた。したがって、表に示された比較数値は再計算されている。

ハンデルスバンケン・スウェーデン

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度合計	2019年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	18,166	17,505	4
純手数料及びコミッション収益	7,143	6,739	6
金融取引による純損益	461	486	-5
その他の収益	33	52	-37
収益合計	25,803	24,782	4
人件費	-3,657	-3,576	2
その他費用	-877	-915	-4
内部購入及び売却されたサービス	-4,662	-4,436	5
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-321	-297	8
費用合計	-9,517	-9,224	3
信用損失控除前利益	16,286	15,558	5
正味信用損失	-177	-1,069	-83
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	8	6	33
営業利益	16,117	14,495	11
利益配分	332	317	5
利益配分後の営業利益	16,449	14,812	11
内部収益	93	134	-31
C/I比率(単位：%)	36.4	36.8	
信用損失率(単位：%)	0.01	0.08	
資産	2,060,831	1,921,625	7
負債	1,964,418	1,835,946	7
割当済資本	96,413	85,679	13
割当済資本に係る利益率(単位：%)	14.0	13.8	
平均従業員数	3,947	4,027	-2
支店数	376	383	-2

(単位：十億スウェーデン・クローネ)

取引額、スウェーデン国内の平均額	2020年度	2019年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金 ¹	1,429	1,387	3
個人	892	859	4
うち住宅ローン	851	814	5
法人	537	528	2
うち住宅ローン	354	329	8
一般顧客からの預金	715	647	11
うち個人	406	375	8
うち法人	309	272	14

¹ 国債局に対する貸出金を除く。

業績

営業利益は、11%増加して16,117百万スウェーデン・クローネ(前年度は14,495百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは信用損失の減少を要因の一つとするものであった。信用損失控除前利益は、5%増加した。割当済資本に係る利益率は、14.0%(前年度は13.8%)に改善した。C/I比率は、36.4%(前年度は36.8%)であった。

純利息収益は、4%すなわち661百万スウェーデン・クローネ増加して18,166百万スウェーデン・クローネ(前年度は17,505百万スウェーデン・クローネ)となった。貸出高の増加により、純利息収益は504百万スウェーデン・クローネ増加したと同時に、預金高の増加は170百万スウェーデン・クローネ寄与した。政府手数料は、310百万スウェーデン・クローネ減少して-791百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,101百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる減少は主に、破綻処理基金の手数料の減少によるものであった。残りの純利息収益の変動は主に、-286百万スウェーデン・クローネに上る利鞘の変動及び資金調達費用の純額のマイナスの寄与によるものであった。マイナスの影響は主に、市場における混乱が資金調達費用及び利鞘に悪影響を及ぼした2020年第2四半期に生じた。

純手数料及びコミッション収益は、6%すなわち404百万スウェーデン・クローネ増加して7,143百万スウェーデン・クローネ(前年度は6,739百万スウェーデン・クローネ)となったと同時に、ミューチュアル・ファンド手数料は312百万スウェーデン・クローネ増加して3,353百万スウェーデン・クローネ(前年度は3,041百万スウェーデン・クローネ)となった。カストディ口座及びその他の資産運用に係るコミッション収益は、80百万スウェーデン・クローネ増加した。保険手数料は、13百万スウェーデン・クローネ増加した。コミッションは-193百万スウェーデン・クローネ減少したが、これは主にカード事業の低迷によるものであった。

費用合計は、3%増加して-9,517百万スウェーデン・クローネ(前年度は-9,224百万スウェーデン・クローネ)となった。人件費は、2%増加して-3,657百万スウェーデン・クローネ(前年度は-3,576百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に契約賃金の上昇によるものであった。平均従業員数は、2%減少して3,947名(前年度は4,027名)となった。

正味信用損失は、-177百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,069百万スウェーデン・クローネ)に減少した。かかる金額は現行の状況化で生じた-361百万スウェーデン・クローネに上る追加の引当必要額の算定を含む。信用損失率は、0.01%(前年度は0.08%)であった。

事業の展開

当行は、2020年秋に、効率を高めつつより良い顧客向けサービスの構築を目指して実施する新しい戦略的方针を示した。支店網をより少ない拠点に集中させると同時に、支店に資源及び専門家の助言をより広く提供する。地域銀行5行に代わって24の県単位に統括が任命された。有用性を向上させ、権限を拡大した新しい顧客向けサービス機能を構築中である。

プライベート・バンキングにおける取引額は、当年度中、13%増加して合計147十億スウェーデン・クローネ(前年度は130十億スウェーデン・クローネ)となった。2021年度において、当行は、プライベート・バンキングにおける高度なアドバイザリー・サービス及びその他の専門的サービスの提供を、現在の地域銀行5行からなる体制と比較して、より多くのスウェーデンの都市へ大幅に拡大する。

COVID-19を考慮して、スウェーデンの個人顧客が住宅ローン返済の一時的な免除を申請することが可能となった。2020年12月31日現在、スウェーデンにおける約38,000名(2020年9月30日時点は約37,000名)の当行の顧客がかかる免除を受けていた。

当年度の個人への住宅ローンの平均額は、5%増加して851十億スウェーデン・クローネ(前年度は814十億スウェーデン・クローネ)となったと同時に、個人からの預金は8%増加して406十億スウェーデン・クローネ(前年度は375十億スウェーデン・クローネ)となった。法人への貸出金の平均額は、2%増加して537十億スウェーデン・クローネ(前年度は528十億スウェーデン・クローネ)となった。同時に、法人からの預金は14%増加して309十億スウェーデン・クローネ(前年度は272十億スウェーデン・クローネ)となった。

当年度のスウェーデンにおける当行グループのミューチュアル・ファンドへの新規資金流入額は、市場シェアの46%(前年度は21%)に相当する合計34.9十億スウェーデン・クローネとなった。当行グループは、ファンドの資産総額において、スウェーデンのミューチュアル・ファンド市場における2番目に大きいプレーヤーとなり、当年度中、シェアは11.9%(前年度は11.2%)に増加した。

ハンデルスバンケン英国

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度合計	2019年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	5,683	6,029	-6
純手数料及びコミッション収益	713	777	-8
金融取引による純損益	176	222	-21
その他の収益	1	1	0
収益合計	6,573	7,029	-6
人件費	-2,465	-2,384	3
その他費用	-864	-962	-10
内部購入及び売却されたサービス	-761	-758	0
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-267	-246	9
費用合計	-4,357	-4,350	0
信用損失控除前利益	2,216	2,679	-17
正味信用損失	-119	10	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-7	1	
営業利益	2,090	2,690	-22
利益配分	49	42	17
利益配分後の営業利益	2,139	2,732	-22
内部収益	-1,193	-1,549	23
C/I比率(単位：%)	65.8	61.5	
信用損失率(単位：%)	0.04	-0.01	
資産	428,208	444,290	-4
負債	408,902	426,997	-4
割当済資本	19,306	17,293	12
割当済資本に係る利益率(単位：%)	8.9	13.3	
平均従業員数	2,462	2,361	4
支店数	204	207	-1

(単位：百万英ポンド)

取引額、英国の平均額	2020年度	2019年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	21,656	21,380	1
うち個人	6,873	6,674	3
うち法人	14,783	14,706	1
一般顧客からの預金	17,609	15,264	15
うち個人	5,144	4,787	7
うち法人	12,465	10,477	19

業績

営業利益は、22%すなわち600百万スウェーデン・クローネ減少して2,090百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,690百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは収益の減少及び信用損失の増加によるものであった。為替の影響により、-65百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。割当済資本に係る利益率は、8.9%(前年度は13.3%)であった。C/I比率は、65.8%(前年度は61.5%)に増加した。

収益合計は、6%減少して6,573百万スウェーデン・クローネ(前年度は7,029百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、合計-157百万スウェーデン・クローネとなった。現地通貨では、収益合計は4%減少した。

純利息収益は、6%すなわち-346百万スウェーデン・クローネ減少して5,683百万スウェーデン・クローネ(前年度は6,029百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、純利息収益に-135百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。取引額の増加により、175百万スウェーデン・クローネ、プラスに寄与した。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、純利息収益は-568百万スウェーデン・クローネ減少した。かかる減少は主に、春にイングランド銀行が主要金利を大幅に引き下げたことにより説明できる。2020年度からは、スウェーデンの破綻処理基金の手数料により英国の利益にマイナスの影響が生じることはなくなり、政府手数料が純利息収益の負担になることもなくなった(前年度は-163百万スウェーデン・クローネ)。

純手数料及びコミッション収益は、8%減少して713百万スウェーデン・クローネ(前年度は777百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、合計-17百万スウェーデン・クローネとなった。純手数料及びコミッション収益は、現地通貨では6%減少した。資金調達及び資産運用事業による手数料及びコミッション収益は、303百万スウェーデン・クローネ(前年度は305百万スウェーデン・クローネ)となった。当年度末現在、ハンデルスバンケン・ウェルス&アセット・マネジメントが運用する資産の総額は、合計4.0十億英ポンド(前年度は4.0十億英ポンド)となった。

費用合計に大きな変動はなく、-4,357百万スウェーデン・クローネ(前年度は-4,350百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、費用合計は2%増加した。

人件費は、3%すなわち81百万スウェーデン・クローネ増加して-2,465百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,384百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは従業員数の増加によるものであった。平均従業員数は、4%増加して2,462名(前年度は2,361名)となった。かかる増加は主に本社機能に関連し、最も増大した機能は金融犯罪の防止に係る業務の継続的な強化によるものであり、当行は従業員を徐々にコンサルタントに置き換えている。現地通貨では、人件費は6%増加した。その他費用は、98百万スウェーデン・クローネ減少して-864百万スウェーデン・クローネ(前年度は-962百万スウェーデン・クローネ)となった。

正味信用損失は、合計-119百万スウェーデン・クローネ(前年度は10百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる金額は、現行の状況下で生じた-48百万スウェーデン・クローネに上る追加の引当必要額の算定を含む。信用損失率は、0.04%(前年度は-0.01%)であった。

事業の展開

COVID-19を考慮して、個人顧客が住宅ローン返済による一時的な免除を申請することが可能となった。当年度末現在で、100名未満(2020年第3四半期末は約400名)の顧客が免除を受けていた。

企業からの預金は19%増加して12.5十億英ポンドとなったと同時に、企業への貸出金は1%増加して14.8十億英ポンドとなった。全体として、一般顧客からの預金の平均額は15%増加して17.6十億英ポンド(前年度は15.3十億英ポンド)となった。貸出金の平均額は合計1%増加して21.7十億英ポンド(前年度は21.4十億英ポンド)となった。

当年度におけるハンデルスバンケン・ウェルス&アセット・マネジメントへの純新規流入額は、合計-183百万英ポンド(前年度は120百万英ポンド)となった。

ハンデルスバンケン・ノルウェー

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度合計	2019年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	3,481	3,957	-12
純手数料及びコミッション収益	504	546	-8
金融取引による純損益	57	63	-10
その他の収益	32	9	256
収益合計	4,074	4,575	-11
人件費	-822	-884	-7
その他費用	-203	-190	7
内部購入及び売却されたサービス	-509	-493	3
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-88	-94	-6
費用合計	-1,622	-1,661	-2
信用損失控除前利益	2,452	2,914	-16
正味信用損失	-270	-99	173
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	7	6	17
営業利益	2,189	2,821	-22
利益配分	40	43	-7
利益配分後の営業利益	2,229	2,864	-22
内部収益	-2,420	-3,596	33
C/I比率(単位：%)	39.4	36.0	
信用損失率(単位：%)	0.10	0.02	
資産	269,129	285,043	-6
負債	249,143	264,762	-6
割当済資本	19,986	20,281	-1
割当済資本に係る利益率(単位：%)	8.8	12.0	
平均従業員数	709	699	1
支店数	45	47	-4

(単位：十億ノルウェー・クローネ)

取引額、ノルウェーの平均額	2020年度	2019年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	270.3	261.2	3
うち個人	101.7	96.2	6
うち法人	168.6	165.0	2
一般顧客からの預金	85.6	69.1	24
うち個人	24.7	21.6	14
うち法人	60.9	47.5	28

業績

営業利益は、22%減少して2,189百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,821百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは収益の減少及び信用損失の増加によるものであった。ノルウェー・クローネの下落により、営業利益に-236百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。現地通貨では、この減少は15%であった。割当済資本に係る利益率は、8.8%(前年度は12.0%)に減少した。C/I比率は、39.4%(前年度は36.0%)に上昇した。

収益合計は、11%減少して4,074百万スウェーデン・クローネ(前年度は4,575百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は-376百万スウェーデン・クローネに上り、現地通貨では、収益合計は2%減少した。

純利息収益は、476百万スウェーデン・クローネすなわち12%減少して3,481百万スウェーデン・クローネ(前年度は3,957百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、純利息収益に-318百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じ、現地通貨では、純利息収益は3%減少した。取引額の増加により、141百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、純利息収益は-412百万スウェーデン・クローネ減少した。これは主にノルウェー中央銀行によって春に実行された主要金利の大幅な削減によるものであった。スウェーデンの破綻処理基金の手数料は54百万スウェーデン・クローネ減少し、預金保証と合わせて、政府手数料により、純利息収益に-161百万スウェーデン・クローネ(前年度は-209百万スウェーデン・クローネ)の負荷が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、為替の影響が-51百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響をもたらしたことにより、8%減少して504百万スウェーデン・クローネ(前年度は546百万スウェーデン・クローネ)となった。

現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は1%増加した。貯蓄関連事業はプラスの発展をみせた一方、コミッションはマイナスの傾向を示した。

金融取引による純損益は、合計57百万スウェーデン・クローネ(前年度は63百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は、2%減少して-1,622百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,661百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、132百万スウェーデン・クローネであった。現地通貨では、費用合計の増加は7%であったが、これは主に金融犯罪の防止に係る業務によるものであった。

人件費は、7%減少して-822百万スウェーデン・クローネ(前年度は-884百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、人件費は74百万スウェーデン・クローネ減少した。現地通貨では、人件費が2%増加したが、これは主に契約賃金の上昇によるものであった。平均従業員数は、1%増加して709名(前年度は699名)となった。

正味信用損失は、合計-270百万スウェーデン・クローネ(前年度は-99百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる金額は現行の状況下で生じた-86百万スウェーデン・クローネに上る追加の引当必要額の算定を含む。信用損失率は、0.10%(前年度は0.02%)であった。

事業の展開

COVID-19を考慮して、個人顧客が住宅ローン返済の一時的な免除を申請することが可能となった。2020年12月31日現在、ノルウェーにおける約1,000名(2020年9月30日時点は約2,000名)の当行の顧客がかかる免除を受けていた。

個人からの預金の平均額は14%増加したと同時に、個人への貸出金は6%増加した。企業セグメントにおいても、預金の増加が貸出金の増加を上回り、それぞれ28%及び2%の増加であった。全体として、一般顧客からの預金及び借入金の平均額は、24%増加して85.6十億ノルウェー・クローネ(前年度は69.1十億ノルウェー・クローネ)となった。貸出金の平均額は、合計3%増加して270.3十億ノルウェー・クローネ(前年度は261.2十億ノルウェー・クローネ)となった。

当年度において、ノルウェーにおける当行のミューチュアル・ファンドへの新規資金流入額は、合計3.4十億スウェーデン・クローネ(前年度は0.7十億スウェーデン・クローネ)となった。

ハンデルスバンケン・デンマーク

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度合計	2019年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	1,612	1,666	-3
純手数料及びコミッション収益	624	600	4
金融取引による純損益	123	98	26
その他の収益	8	8	0
収益合計	2,367	2,372	0
人件費	-790	-768	3
その他費用	-144	-140	3
内部購入及び売却されたサービス	-459	-427	7
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-49	-49	0
費用合計	-1,442	-1,384	4
信用損失控除前利益	925	988	-6
正味信用損失	-32	3	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	2	6	-67
営業利益	895	997	-10
利益配分	12	12	0
利益配分後の営業利益	907	1,009	-10
内部収益	-210	-240	13
C/I比率(単位：%)	60.6	58.1	
信用損失率(単位：%)	0.01	-0.01	
資産	124,276	131,170	-5
負債	117,013	124,060	-6
割当済資本	7,263	7,110	2
割当済資本に係る利益率(単位：%)	9.8	12.0	
平均従業員数	589	600	-2
支店数	43	56	-23

(単位：十億デンマーク・クローネ)

取引額、デンマークの平均額	2020年度	2019年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	76.0	77.8	-2
うち個人	47.1	47.6	-1
うち法人	28.9	30.2	-4
一般顧客からの預金	39.7	35.6	12
うち個人	17.3	15.5	12
うち法人	22.4	20.1	11

業績

営業利益は、10%すなわち102百万スウェーデン・クローネ減少して895百万スウェーデン・クローネ(前年度は997百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に費用の増加によるものであった。為替の影響はマイナスであり、-9百万スウェーデン・クローネに上った。割当済資本に係る利益率は、9.8%(前年度は12.0%)であった。C/I比率は、60.6%(前年度は58.1%)であった。

純利息収益は、3%減少して1,612百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,666百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、合計-13百万スウェーデン・クローネであった。取引額の変動により、純利息収益に-33百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じ、利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、純利息収益は-22百万スウェーデン・クローネ減少した。スウェーデンの破綻処理基金の手数料は、前年度と比較して17百万スウェーデン・クローネ減少し、預金保証と合わせて、政府手数料により、純利息収益に-72百万スウェーデン・クローネ(前年度は-84百万スウェーデン・クローネ)の負荷が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、4%増加して624百万スウェーデン・クローネ(前年度は600百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は、貯蓄分野における高水準の活動によるものであり、コミッションの減少を相殺した。

金融取引による純損益は、合計123百万スウェーデン・クローネ(前年度は98百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は、4%増加して-1,442百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,384百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、わずかであった。人件費は、3%増加して-790百万スウェーデン・クローネ(前年度は-768百万スウェーデン・クローネ)となった。平均従業員数は、2%減少して589名(前年度は600名)となった。

正味信用損失は、合計-32百万スウェーデン・クローネ(前年度は3百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる金額は、COVID-19のパンデミックという現行の状況下で生じた-54百万スウェーデン・クローネに上る追加の引当必要額の算定を含む。信用損失率は、0.01%(前年度は-0.01%)であった。

事業の展開

当年度中、法人顧客に対するグリーン不動産ローンが導入された。

COVID-19により財政的に影響を受けた顧客は、ローン返済の一時的な免除を申請することが可能となった。当年度末現在、デンマークにおいて非常に少数の当行の顧客がかかる免除を受けており、2020年第3四半期末現在においても同様の状況であった。

法人及び個人からの預金の平均額は、それぞれ11%及び12%増加した。全体として、預金は12%増加して39.7十億デンマーク・クローネ(前年度は35.6十億デンマーク・クローネ)となった。法人への貸出金は4%減少

したと同時に、個人への貸出金は1%減少した。全体として、貸出金は2%減少して76.0十億デンマーク・クローネ(前年度は77.8十億デンマーク・クローネ)となった。

当行のデンマークにおけるミューチュアル・ファンドへの新規資金流入額は、合計で1.3十億スウェーデン・クローネ(前年度は-0.2十億スウェーデン・クローネ)となった。

ハンデルスバンケン・フィンランド

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度合計	2019年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	1,403	1,386	1
純手数料及びコミッション収益	683	754	-9
金融取引による純損益	-24	46	
その他の収益	10	17	-41
収益合計	2,072	2,203	-6
人件費	-448	-446	0
その他費用	-212	-193	10
内部購入及び売却されたサービス	-519	-441	18
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-66	-70	-6
費用合計	-1,245	-1,150	8
信用損失控除前利益	827	1,053	-21
正味信用損失	-193	103	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-1	-1	
営業利益	633	1,155	-45
利益配分	27	35	-23
利益配分後の営業利益	660	1,190	-45
内部収益	-192	-185	-4
C/I比率(単位：%)	59.3	51.4	
信用損失率(単位：%)	0.11	-0.09	
資産	236,555	212,525	11
負債	228,827	205,044	12
割当済資本	7,728	7,481	3
割当済資本に係る利益率(単位：%)	6.7	13.3	
平均従業員数	506	506	0
支店数	27	36	-25

(単位：百万ユーロ)

取引額、フィンランドの平均額	2020年度	2019年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	14,171	13,872	2
うち個人	4,330	4,334	0
うち法人	9,841	9,538	3
一般顧客からの預金	5,383	4,610	17
うち個人	1,872	1,707	10
うち法人	3,511	2,903	21

業績

営業利益は、45%減少して633百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,155百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に費用の増加及び信用損失に係る引当金の増加によるものであった。営業利益に対する為替の影響は、-12百万スウェーデン・クローネに上った。

割当済資本に係る利益率は、6.7%(前年度は13.3%)であった。C/I比率は、59.3%(前年度は51.4%)であった。

収益合計は、6%減少して2,072百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,203百万スウェーデン・クローネ)となり、為替の影響は、-21百万スウェーデン・クローネに上った。

純利息収益は、1%増加して1,403百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,386百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、合計-14百万スウェーデン・クローネとなった。現地通貨においては、純利息収益は2%増加した。取引額の増加により、純利息収益に42百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、純利息収益は-52百万スウェーデン・クローネ減少した。スウェーデンの破綻処理基金の手数料は、前年度と比較して27百万スウェーデン・クローネ減少し、預金保証と合わせて、政府手数料により、純利息収益に-83百万スウェーデン・クローネ(前年度は-107百万スウェーデン・クローネ)の負荷が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、9%減少して683百万スウェーデン・クローネ(前年度は754百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に証券取引からのコミッション及び支払関連のコミッションの減少によるものであった。為替の影響は、合計-7百万スウェーデン・クローネとなった。

費用合計は、8%すなわち95百万スウェーデン・クローネ増加して-1,245百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,150百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、合計10百万スウェーデン・クローネとなり、現地通貨においては、費用合計は9%増加した。継続中のコア・バンキング・システムの変更が費用合計の増加の主要な要因であった。

人件費は、-448百万スウェーデン・クローネ(前年度は-446百万スウェーデン・クローネ)と変動はなかった。その他費用は、10%増加して-212百万スウェーデン・クローネ(前年度は-193百万スウェーデン・クローネ)となった。平均従業員数は、506名(前年度も506名)であった。

正味信用損失は、合計で-193百万スウェーデン・クローネ(前年度は103百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる金額は現行の状況下で生じた-14百万スウェーデン・クローネに上る追加の引当必要額の算定を含む。信用損失率は、0.11%(前年度は-0.09%)であった。

事業の展開

アドバイザリー事業をサポートするデジタル・ツール及びプロセスは、引き続き開発が行われており、コア・バンキング・システムの変更は計画通り進行中である。

COVID-19を考慮して、個人顧客が住宅ローン返済の一時的な免除を申請することが可能となった。2020年12月31日現在、フィンランドにおける約1,200名(2020年9月30日時点は約1,000名)の当行の顧客がかかる免除を受けていた。

個人からの預金の平均額は10%増加した一方、個人への貸出金に変動はなかった。法人からの預金は21%増加したと同時に、法人への貸出金は3%増加した。全体として、一般顧客への貸出金の平均額は2%増加して14.2十億ユーロ(前年度は13.9十億ユーロ)となったと同時に、一般顧客からの預金は17%増加して5.4十億ユーロとなった(前年度は4.6十億ユーロ)。

当行のフィンランドにおけるミューチュアル・ファンドへの新規資金流入額は、合計0.2十億スウェーデン・クローネ(前年度は1.3十億スウェーデン・クローネ)となった。

ハンデルスバンケン・ネザーランド

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度合計	2019年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	908	800	14
純手数料及びコミッション収益	125	151	-17
金融取引による純損益	25	37	-32
その他の収益	2	-2	
収益合計	1,060	986	8
人件費	-395	-400	-1
その他費用	-146	-86	70
内部購入及び売却されたサービス	-143	-142	1
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-56	-55	2
費用合計	-740	-683	8
信用損失控除前利益	320	303	6
正味信用損失	-4	-3	33
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-	0	
営業利益	316	300	5
利益配分	5	2	150
利益配分後の営業利益	321	302	6
内部収益	-387	-366	-6
C/I比率(単位：%)	69.5	69.1	
信用損失率(単位：%)	0.01	0.01	
資産	81,723	71,342	15
負債	79,111	69,144	14
割当済資本	2,612	2,198	19
割当済資本に係る利益率(単位：%)	10.0	11.8	
平均従業員数	329	317	4
支店数	29	29	0

(単位：百万ユーロ)

取引額、オランダの平均額	2020年度	2019年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	5,791	5,023	15
うち個人	3,387	2,916	16
うち法人	2,404	2,107	14
一般顧客からの預金	1,627	1,347	21
うち個人	261	197	32
うち法人	1,366	1,150	19

業績

営業利益は、5%改善して316百万スウェーデン・クローネ(前年度は300百万スウェーデン・クローネ)となった。営業利益への為替変動の影響は、-3百万スウェーデン・クローネであった。割当済資本に係る利益率は10.0%(前年度は11.8%)であり、C/I比率は69.5%(前年度は69.1%)であった。

純利息収益は、14%増加して908百万スウェーデン・クローネ(前年度は800百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、-8百万スウェーデン・クローネに上り、現地通貨においては、純利息収益は15%増加した。取引額の増加により、純利息収益に129百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、純利息収益は-18百万スウェーデン・クローネ減少した。スウェーデンの破綻処理基金の手数料は、前年度より7百万スウェーデン・クローネ減少し、預金保証と合わせて、政府手数料により、純利息収益に-28百万スウェーデン・クローネ(前年度は-34百万スウェーデン・クローネ)の負荷が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、17%減少して125百万スウェーデン・クローネ(前年度は151百万スウェーデン・クローネ)となり、これは貯蓄関連のコミッションの発展が弱かったためであった。当年度末現在、オプティミクスの運用資産は、同社の自らのミューチュアル・ファンドを含めて合計で1.7十億ユーロ(前年度は1.6十億ユーロ)となった。

費用合計は、8%増加して-740百万スウェーデン・クローネ(前年度は-683百万スウェーデン・クローネ)となった。費用合計の増加は、主に金融犯罪の防止に係る措置によるものであった。平均従業員数は、4%増加して329名(前年度は317名)となった。

正味信用損失は、合計で-4百万スウェーデン・クローネ(前年度は-3百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる金額は現行の状況下で生じた-1百万スウェーデン・クローネに上る追加の引当必要額の算定を含む。信用損失率は、0.01%(前年度も0.01%)であった。

事業の展開

COVID-19を考慮して、個人顧客が住宅ローン返済の一時的な免除を申請することが可能となった。2020年12月31日現在、オランダにおいて非常に少数の当行の顧客がかかる免除を受けており、かかる状況は2020年第3四半期末現在においても同様であった。

個人からの預金の平均額は32%増加したと同時に、個人への貸出金は16%増加した。法人からの預金の平均額は19%増加したと同時に、法人への貸出金は14%増加した。全体として、一般顧客からの預金及び借入金の平均額は21%増加して1.6十億ユーロ(前年度は1.3十億ユーロ)となったと同時に、一般顧客への貸出金合計は15%増加して5.8十億ユーロ(前年度は5.0十億ユーロ)となった。

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット

すべての資産管理手数料及び保険事業にかかる手数料は、各本拠地市場において直接報告されており、したがって以下の損益計算書には含まれていない。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2020年度合計	2019年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	355	437	-19
純手数料及びコミッション収益	1,003	1,135	-12
金融取引による純損益	1,037	1,045	-1
保険リスク	195	145	34
その他の収益	23	16	44
収益合計	2,613	2,778	-6
人件費	-1,927	-2,020	-5
その他費用	-750	-775	-3
内部購入及び売却されたサービス	341	150	127
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-123	-118	4
費用合計	-2,459	-2,763	-11
信用損失控除前利益	154	15	
正味信用損失	11	9	22
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-3	0	
営業利益	162	24	
利益配分	-465	-451	3
利益配分後の営業利益	-303	-427	-29
内部収益	-1,565	-2,515	38
C/I比率(単位：%)	114.5	118.7	
信用損失率(単位：%)	-0.01	-0.02	
資産	335,443	314,164	7
負債	329,600	307,972	7
割当済資本	5,843	6,192	-6
割当済資本に係る利益率(単位：%)	-3.9	-6.4	
平均従業員数	1,122	1,223	-8

(単位：十億スウェーデン・クローネ)

運用資産	2020年度	2019年度
ミューチュアル・ファンド(プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント及びユニット リンク保険を除く。) ¹	555	494
プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント	60	44
ユニットリンク保険	156	139
うち外部資金	-2	-2
ミューチュアル・ファンド合計	769	675
仕組商品	5	7
ポートフォリオ社債保険	37	30
うちハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品内	-17	-13
従来型保険	7	7
うちハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品内	-6	-7
裁量的及び制度的資産(保険を除く。) ¹	278	248
うちハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品内	-227	-180
保管有価証券を除く運用資産合計	846	767
ミューチュアル・ファンドを除く保管有価証券	632	417
ミューチュアル・ファンド及びハンデルスバンケンに関連する基金を除く保管有価証券	47	50

¹ 2020年第1四半期現在、ハンデルスバンケン・ウェルス&アセット・マネジメントの管理下にある資産のすべては、プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント及びユニットリンク保険に並ぶものを除くミューチュアル・ファンドに含まれている。当該額は、以前、裁量的及び制度的資産に並ぶものとして認識されていた。比較を促すため、比較数値が調整された。

* 上記の表における「ハンデルスバンケン」は「当行グループ」を意味する。

業績

営業利益は、162百万スウェーデン・クローネ(前年度は24百万スウェーデン・クローネ)に増加したが、これは主に費用の減少によるものであった。収益合計は、6%減少して2,613百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,778百万スウェーデン・クローネ)となった。費用合計は、11%減少して-2,459百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,763百万スウェーデン・クローネ)となった。

純手数料及びコミッション収益は、12%減少して1,003百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,135百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主にハンデルスバンケン・インターナショナル内の特定の国々において現在進行中の事業の閉鎖をきっかけとした保証及びコミッションの減少だけでなく、アドバイザー手数料の減少によるものであった。

金融取引による純損益は、数年にわたるハンデルスバンケン・リヴの従来型保険事業に対する-67百万スウェーデン・クローネの実現された資本拠出の増加にも関わらず、1,037百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,045百万スウェーデン・クローネ)に若干減少した。

人件費は、5%減少して-1,927百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,020百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは従業員数の減少によるものであった。平均従業員数は、8%減少して1,122名(前年度は1,223名)となった。

その他費用は、3%減少して-750百万スウェーデン・クローネ(前年度は-775百万スウェーデン・クローネ)となった。

正味信用損失はわずかな正味回収額で構成され、合計11百万スウェーデン・クローネ(前年度は9百万スウェーデン・クローネ)となった。信用損失率は、-0.01%(前年度は-0.02%)であった。

事業の展開

COVID-19パンデミック

キャピタル・マーケットは、依然としてアジアにおいて幅広い地理的なプレゼンスを有しており、早くも前年度の始まりには様々なローカルな事業継続計画が実行に移された。従業員は初期段階で2つ以上の地理的な拠点に分けられた。パンデミックが欧州に到達した際、本拠地市場においても初期段階で同様のアクションが取られた。当年度中、キャピタル・マーケット内のすべての事業は、重大な混乱を生じることなく継続した。結果として当行は、時に極めて困難な市況にもかかわらず、顧客のニーズに応え続けることができた。

資本市場

ハンデルスバンケン・マーケットは、リスク管理、有価証券、デリバティブ、リサーチ、デット・キャピタル・マーケット及びコーポレート・ファイナンスに関連する商品やサービスを提供する。

ハンデルスバンケン・マーケットは、引き続き堅調な業績であった。金融市場における高いボラティリティ及び不確実性により、当年度中は一時的にリスク管理に対する顧客のニーズが高まった。

株式事業及び外国為替事業は力強い発展を見せた一方、債券事業は前年度と同程度であった。当年度上半期中のすべてにおいて、市況の変化はコーポレート・ファイナンス事業にマイナスの影響を与えた一方、当行の資本市場を通じた資金調達の取引額は、前年度と比較して高かった。当年度中、合計146の社債発行のアレンジが行われ、その総額は17十億ユーロ超であった。当行は、持続可能な資金調達への関心は引き続き高いこと及びアレンジを行ったグリーン・ボンドの額が前年度と比較して約2倍になったことを認識した。

資産運用

資産運用事業は、貯蓄分野において当行が提供するサービスを統合するだけでなく、資産運用に関連するあらゆる種類の商品及びサービスを提供している。

当年度中、スウェーデンにおける当行グループのミューチュアル・ファンドへの純流入は、34.9十億スウェーデン・クローネ(前年度は27.3十億スウェーデン・クローネ)であった。その結果、当行グループは、2020年度のスウェーデンのファンド市場におけるすべてのプレーヤーの中で、新規資金流入額が最大であった。

当行グループのファンドへの純流入合計は、40.8十億スウェーデン・クローネ(前年度は29.7十億スウェーデン・クローネ)であった。上場投資信託を含む投資信託の総額は、当年度中に14%増加して769十億スウェーデン・クローネ(前年度は675十億スウェーデン・クローネ)となった。当行グループにおける運用資産合計は、当年度中に10%増加して846十億スウェーデン・クローネ(前年度は767十億スウェーデン・クローネ)となった。

当年度中、当行のすべてのミューチュアル・ファンドは、買入れ及び買戻しを受け付けてきた。

当年度中、当行のミューチュアル・ファンドに対して強化された持続可能性要件を導入する作業は継続し、2020年第4四半期末におけるミューチュアル・ファンド額合計のうち88%が強化された持続可能性要件に基づいて運用された。さらに4つのミューチュアル・ファンドに対し、ノルディック・スワン・エコラベルが与えら

れ、それらのサステナビリティ基準の高さを示した。当年度中、賞を獲得したサステナビリティに焦点を当てたファンドであるハンデルスバンケン・ホルボル・エナジーは、純流入が単体で20.8十億スウェーデン・クロネであった。これは、特にサステナビリティに焦点を当てた投資に対する需要及びハンデルスバンケン・フォンデルのかかる分野における強固な地位の両方を明示していると捉えられるだろう。

年金及び生命保険部門

年金及び生命保険部門は、子会社のハンデルスバンケン・リヴから構成されており、個人向け及び法人向けの年金ソリューション及びその他の保険ソリューションを提供している。

年金及び生命保険部門の事業分野における利益は、1%増加して1,230百万スウェーデン・クロネ(前年度は1,219百万スウェーデン・クロネ)となった。この改善は、リスクの上昇に伴う、手数料及びコミッション収益の増加によるものであった。

保険料の合計額は3%増加し、職域年金は4%増加した。前年度と比較して新規のファンド運用及びカストディ口座は、1%減少して4,416百万スウェーデン・クロネ(前年度は4,459百万スウェーデン・クロネ)となった。

ハンデルスバンケン・リヴによる運用資産は、前年度末の数値と比較して、24十億スウェーデン・クロネすなわち14%増加して、200十億スウェーデン・クロネ(前年度は176十億スウェーデン・クロネ)となった。

インターナショナル

ハンデルスバンケン・インターナショナルは、当行の本拠地市場外の当行の支店並びに金融機関(国際銀行業務への協力)及び取引銀行の部門を含んでいる。

既に公表されているとおり、ハンデルスバンケン・インターナショナルは、その本拠地市場外における地域特有の事業をルクセンブルグ及び米国の支店に集中させる予定である。ルクセンブルグ支店はまた、フランス及びスペインの事業活動の拠点となる。パンデミックにより進展が遅れているが、この連結業務は継続している。当年度中、バルト諸国の国際的な支店は閉鎖された。

ハンデルスバンケン・インターナショナルにおける預金の平均額は、当年度中に2%増加し、64.3十億スウェーデン・クロネ(前年度は62.8十億スウェーデン・クロネ)に上った。貸出金は、34%減少して19.4十億スウェーデン・クロネ(前年度は29.6十億スウェーデン・クロネ)となった。

4【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

5【研究開発活動】

該当事項なし。

第4【設備の状況】

1【設備投資等の概要】

該当事項なし。

2【主要な設備の状況】

スウェーデン法の下で、銀行は一般に銀行の建物及び銀行の社員に居住設備を提供するためのもの以外の不動産を期間の制限なく所有することが認められていない。2020年12月31日現在、当行グループはスウェーデンに13の不動産を有していた。これらは、一部に支店業務も含まれていたものの、主として本店オフィス、情報テクノロジー及び記録保管の目的で使用されていた。当行グループはまた、2008年におけるローカルバンケンの取得の一部として取得したデンマークの11の不動産も所有している。かかる不動産は、主として支店業務に使用されているが、オフィスの建物及び共同住宅も含まれている。

3【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

第5【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

A種株式

(2021年6月18日現在)

授權株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
6,000,000,000	1,944,777,165	4,055,222,835

B種株式

(2021年6月18日現在)

授權株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
150,000,000	35,251,329	114,748,671

【発行済株式】

(2021年6月18日現在)

記名・無記名の別及び 額面・無額面の別	種類	発行数(株)	上場金融商品 取引所名又は 登録認可金融商品 取引業協会名	内容
無記名式 割当価額 ¹	A種株式	1,944,777,165	ナスダック ストック ホルム	A種株式1株につき、 1個の議決権が 付与される。
無記名式 割当価額 ¹	B種株式	35,251,329	ナスダック ストック ホルム	B種株式1株につき、 10分の1個の議決権 が付与される。
計	-	1,980,028,494	-	-

¹ 割当価額は、以下の算式に基づき計算される。

(株式資本残高 / 発行済株式数)

(2)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(3)【発行済株式総数及び資本金の推移】

()A種株式

(2021年6月18日現在)

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	株式資本増減額 (スウェーデン・ クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン・ クローネ)	摘要
2019年12月20日	25,032	1,944,777,165	38,799.60	3,014,404,605.75	転換権の行使

2019年12月10日	556,847	1,944,752,133	863,112.85	3,014,365,806.15	転換権の行使
2019年11月25日	3,636	1,944,195,286	5,635.80	3,013,502,693.30	転換権の行使
2019年11月25日	319,593	1,944,191,650	495,369.15	3,013,497,057.50	転換権の行使
2019年11月8日	1,876,440	1,943,872,057	2,908,482.00	3,013,001,688.35	転換権の行使
2019年10月22日	383,465	1,941,995,617	594,370.75	3,010,093,206.35	転換権の行使
2019年10月9日	2,931,954	1,941,612,152	4,544,528.70	3,009,498,835.60	転換権の行使
2019年9月20日	18,410,601	1,938,680,198	28,536,431.55	3,004,954,306.90	転換権の行使
2019年9月10日	235,479	1,920,269,597	364,992.45	2,976,417,875.35	転換権の行使
2019年8月23日	128,067	1,920,034,118	198,503.85	2,976,052,882.90	転換権の行使
2019年8月8日	139,572	1,919,906,051	216,336.60	2,975,854,379.05	転換権の行使
2019年7月23日	3,782,502	1,919,766,479	5,862,878.10	2,975,638,042.45	転換権の行使
2019年7月9日	119,398	1,915,983,977	185,066.90	2,969,775,164.35	転換権の行使
2019年6月25日	2,413	1,915,864,579	3,740.15	2,969,590,097.45	転換権の行使
2019年6月25日	238,572	1,915,862,166	369,786.60	2,969,586,357.30	転換権の行使
2019年6月10日	994,419	1,915,623,594	1,541,349.45	2,969,216,570.70	転換権の行使
2019年5月24日	5,705,344	1,914,629,175	8,843,283.20	2,967,675,221.25	転換権の行使
2018年5月15日	1,609	1,908,923,831	2,493.95	2,958,831,938.05	転換権の行使
2017年3月13日	415	1,908,922,222	643.25	2,958,829,444.10	転換権の行使
2017年1月17日	21,736	1,908,921,807	33,690.80	2,958,828,800.85	転換権の行使
2016年12月7日	43,004	1,908,900,071	66,656.20	2,958,795,110.05	転換権の行使
2016年12月7日	3,998	1,908,857,067	6,196.90	2,958,728,453.85	転換権の行使
2016年11月15日	6,013	1,908,853,069	9,320.15	2,958,722,256.95	転換権の行使
2016年11月9日	1,014,332	1,908,847,056	1,572,214.60	2,958,712,936.80	転換権の行使
2016年10月28日	267,330	1,907,832,724	414,361.50	2,957,140,722.20	転換権の行使
2016年10月7日	1,960,052	1,907,565,394	3,038,080.60	2,956,726,360.70	転換権の行使
2016年9月7日	2,774,266	1,905,605,342	4,300,112.30	2,953,688,280.10	転換権の行使
2016年8月10日	1,367,177	1,902,831,076	2,119,124.35	2,949,388,167.80	転換権の行使

2016年7月8日	868,191	1,901,463,899	1,345,696.05	2,947,269,043.45	転換権の行使
2016年6月8日	1,599	1,900,595,708	2,478.45	2,945,923,347.40	転換権の行使
2016年6月8日	3,723,203	1,900,594,109	5,770,964.65	2,945,920,868.95	転換権の行使
2016年5月26日	3,175,750	1,896,870,906	4,922,412.50	2,940,149,904.30	転換権の行使
2016年5月17日	21,898,004	1,893,695,156	33,941,906.20	2,935,227,491.80	転換権の行使
2016年4月13日	2,399	1,871,797,152	3,718.45	2,901,285,585.60	転換権の行使

()B種株式

(2021年6月18日現在)

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	株式資本増減額 (スウェーデン ・クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン ・クローネ)	摘要
2015年5月19日	23,500,886	35,251,329	0	54,639,559.95	1株につき3株 の割合による 株式分割

(4) 【所有者別状況】

近年、スウェーデン人ではない株主の割合は、2008年度末の30%から増加し、2020年度末現在で44%(前年度は48%)となった。当行は、140,000名超の株主を有している。株主の3分の2強は、1,001株未満の所有者であった。株主の約2%が、それぞれ20,001株超の株式を所有しており、かかる株主は合計で株式資本の90%を所有していた。株式の10%超を所有する2名の株主は、インドゥストリーヴァルデン及びオクトゴネン・ファウンデーションである。

以下の表は、当行の株式の所有株式数別の内訳を示している。

(2020年12月31日現在)

株主毎の所有株式		所有株式			
株式数	株主数	A種株式数	B種株式数	株式資本割合(%)	議決権割合(%)
1-500株	78,015	9,154,090	3,392,554	0.6	0.5
501-1,000株	20,243	12,497,992	3,221,611	0.8	0.6
1,001-5,000株	31,909	65,109,424	10,017,353	3.8	3.4
5,001-20,000株	9,503	80,725,467	8,092,114	4.5	4.2
20,001株以上	2,334	1,777,290,192	10,527,697	90.3	91.3
合計	142,004	1,944,777,165	35,251,329	100.0	100.0

(5) 【大株主の状況】

以下の表において、保管銀行は通常は実際の株主ではなく、株主が複数の保管銀行を通じて所有している可能性がある。

(2020年12月31日現在)

名称	住所	A種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
インドゥストリーヴァルデン・インベスト・ エイ・ビー	スウェーデン	212,200,000	10.7	10.9
オクトゴーネン、スティフテルセン	スウェーデン	201,225,141	10.2	10.3
ステート・ストリート・バンク・アンド・ トラスト・コー、W9*	米国	183,566,602	9.3	9.4
JPモルガン・チェース・バンク・エヌ・エイ*	英国	86,956,991	4.4	4.5
BNY メロン NA (旧メロン)、W9*	米国	71,218,483	3.6	3.7
ノーザン・トラスト・カンパニー*	英国	68,571,333	3.5	3.5
ランドバーグフォレターゲン・エイ・ビー、LE	スウェーデン	55,000,000	2.8	2.8
BNY メロン SA/NV (旧BNY)、W8IMY*	ベルギー	47,613,877	2.4	2.4
ブラウン・ブラザーズ・ハリマン&コー、W9*	米国	40,615,705	2.1	2.1
アレクタ・ペンションフォルシェクリン、 オムセシディグト	スウェーデン	23,044,000	1.2	1.2
合計		1,944,777,165	98.2	99.8

名称	住所	B種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
JPモルガン・チェース・バンク・エヌ・エイ*	英国	910,554	0.05	0.005
アヴァンザ・ペンション保険会社	スウェーデン	883,639	0.04	0.005
エス・エイチ・ビー保険投資年金基金	スウェーデン	573,435	0.03	0.003
ステート・ストリート・バンク・アンド・ トラスト・コー、W9*	米国	515,822	0.03	0.003
スティフト・エディット及びエリック・ フェーンストレームス	スウェーデン	278,590	0.01	0.001
SHB ルクセンブルク・シーエル・エーシーシー ティー・スウェーデン*	ルクセンブルク	269,439	0.01	0.001

ノルドネット・ペンションフォルシェクリン・ エイ・ビー	スウェーデン	251,728	0.01	0.001
BNY メロン SA/NV (旧BNY)、W8IMY*	ベルギー	164,320	0.01	0.001
スウェッドバンク・フォルシェクリン・エイ・ビー	スウェーデン	148,152	0.01	0.001
クリアストリーム・バンキング・エス・エー、 W8IMY*	ルクセンブルク	145,902	0.01	0.001
合計		35,251,329	1.8	0.2

*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

2【配当政策】

配当政策

配当に関して当行の方針は、資本比率がSFSAにより伝達された資本要件を1パーセント・ポイント上回る水準より低くなるような配当水準にしてはならない、というものである。スウェーデンにおける慣例として、当行は、年に1回株主に対して配当を支払う。一株当たりの配当額は、当行の取締役会により提案され、当行の年次株主総会で承認される。

配当

2020年3月25日開催の年次株主総会において、普通配当支払いに関する決定はなされなかった。

取締役会は、当初、一株当たり5.50スウェーデン・クローネの普通配当金を提案した。COVID-19のパンデミックの発生を受けて、取締役会は2020年3月に、配当の決定を延期する提案を発表し、そのため秋に遅れて臨時株主総会を招集することを検討していた。いまだ継続するパンデミックを巡り不確実性が続いたため、取締役会は9月中旬に、2020暦年中に臨時株主総会を招集しないことを決議した。

2021年3月24日開催の年次株主総会において、一株当たり4.10スウェーデン・クローネの配当支払いが株主により決定された。2020年12月のSFSAの覚書により、2019年度及び2020年度の純利益の合計の最大25%の配当水準が認められた（2020年度の年次株主総会において、2019年度の利益に対する配当は支払われないことが決議された。）。2019年度から2020年度の期間の純利益合計は、32.5十億スウェーデン・クローネであり、そのうち25%は8.1十億スウェーデン・クローネすなわち一株当たり4.10スウェーデン・クローネに相当する。2020年度の純利益の40%は、一株当たり3.15スウェーデン・クローネに相当する。提案した配当のうち、一株当たり0.95スウェーデン・クローネの配当は、それより前の利益剰余金に起因するものである。

3【コーポレート・ガバナンスの状況等】

（1）【コーポレート・ガバナンスの概要】

当行のコーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスは、現行の法令に従い、当行の様々な事業体間において権利及び義務がどのように割り当てられるかに関係している。コーポレート・ガバナンスはまた、意思決定体制及び株主が直接的又は間接的に当行を統制する構造を包含している。当行の株主は、主として取締役会を選任することによりコーポレート・ガバナンスを機能させる。取締役会は最高経営責任者を任命し、指針を与える。

当行のコーポレート・ガバナンスにおいて基本となるのは、一方では定款並びに取締役会のための手続規則、最高経営責任者及び最高監査責任者のための指針並びに当行の業務に係る与信指針及び方針文書といった取締役会が採択する文書であり、また一方では、最高経営責任者が公表した指針及びガイドラインである。これらの文書は毎年及び必要と思われる場合に改訂される。

しかしながら、コーポレート・ガバナンスが機能するための基盤には、公式文書だけではなく、当行の企業文化、企業目標、運営方式及び報酬制度もある。

当行のガバナンスの主な部分は、事業を行う上で生じるリスクを管理することで構成されている。リスク管理の詳細については下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G2」を参照のこと。

コーポレート・ガバナンス・コードの適用

当行はコーポレート・ガバナンス・コードに逸脱することなく準拠している。かかるコードは、スウェーデンのコーポレート・ガバナンス委員会のウェブサイト (bolagsstyrning.se) で公開されている。

規則

スウェーデンの銀行業務は法律により規制されており、銀行業務はSFSAからの許認可がある場合にのみ実施することができる。銀行業務の規制は広範囲に及ぶ。

かかる規制の中で最も主要なものには、以下が含まれる。

- ・会社法
- ・銀行法
- ・証券市場法
- ・欧州議会・欧州理事会規制(EU)575/2013
- ・スウェーデンの金融機関及び投資機関の特別監督に関する法律(2014:968)
- ・スウェーデン・マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与対策法(lag(2017:630))
- ・ミューチュアル・ファンド及び保険事業に関する広範囲に及ぶ規制

SFSAの規制には、信用機関における統治、リスク管理及びリスク統制に関する指令と一般的な勧告並びに証券業に関する指令が含まれる。

その他の主要な規制の一覧は、SFSAのウェブサイトで公開されている。

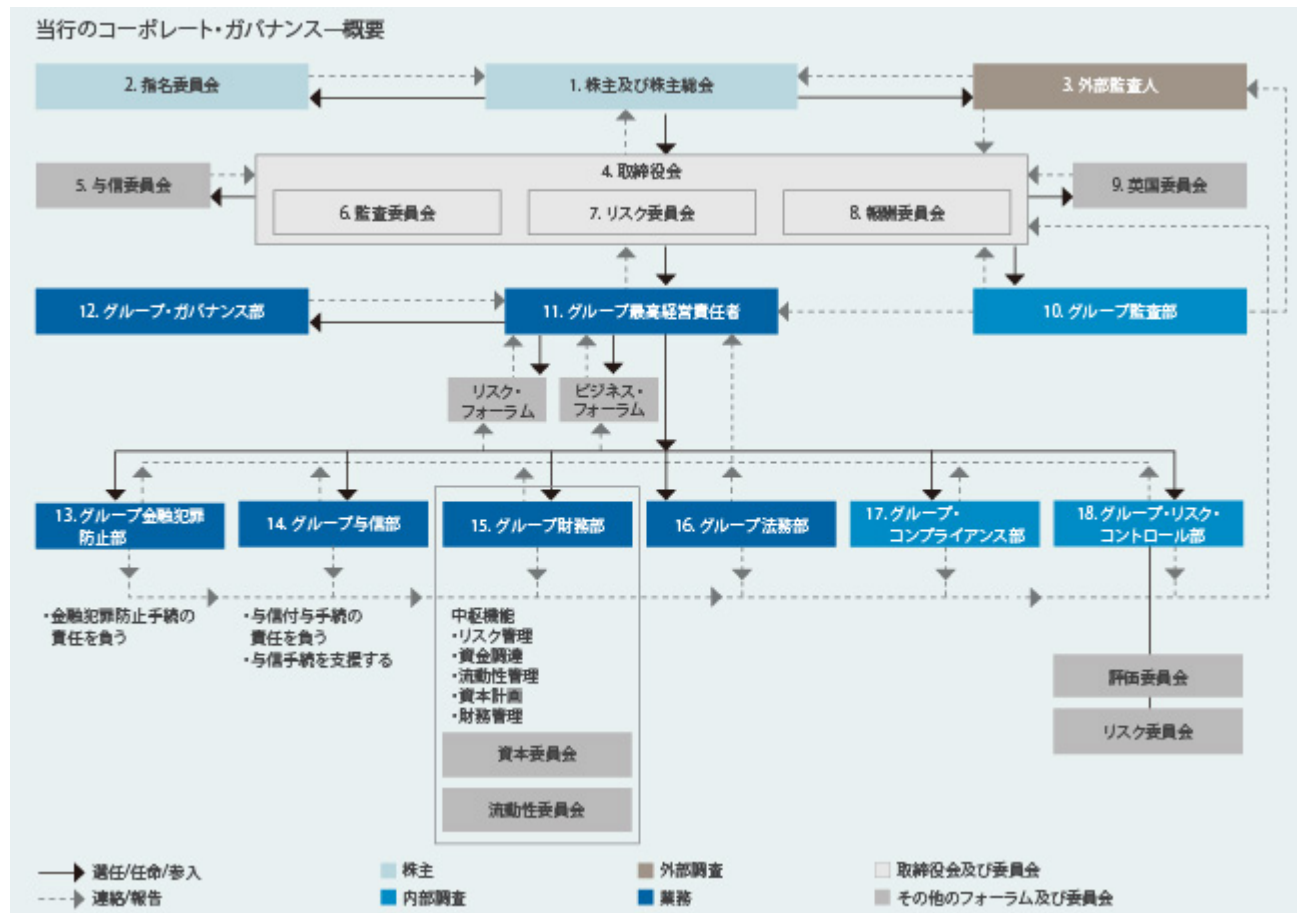
当行グループの主な方針において、スウェーデン国外における業務は、受入国の規則がスウェーデン国内の規則よりも厳格であるか又はスウェーデンの規則からの逸脱が必要となる場合には、スウェーデン国内の規則と受入国の規則の両方に服する。

SFSAは、スウェーデン及び当行が支店を置く(言い換えれば、国外業務がスウェーデンの法人である当行の業務の一環として行われている)その他の国々における当行の業務を幅広く監督している。規制当局の業務は、SFSAの主導により、当行の監督グループに組み込まれている。他の国々におけるSFSAに相当する規制当局は、支店の業務に対しては限定的な監督を行っているが、スウェーデン国外における当行の子会社に対しては網羅的な監督を行っている。

法律及び命令に加えて、スウェーデンにおける監督もまた、SFSAによる規制及び一般的なガイドラインに基づいている。SFSAは、当行の組織、意思決定構造及び内部統制等の様々な事項に関する幅広い報告を要求する。

SFSAの業務には、当行の様々な部門を体系的に視察することも含まれる。この業務の目的は、与えられた許認可及びその他の細則の条件を当行が実際に遵守しているかを調査することである。

コーポレート・ガバナンスの体制



当行のコーポレート・ガバナンス - 概要

上記の表は、当行のコーポレート・ガバナンスの概略を示している。株主は、年次株主総会において意思決定を行う。特定の議題については、株主の意思決定は、指名委員会により準備される。株主は、取締役会を任命し、次に取締役会は日常的な業務を運営するグループ最高経営責任者(以下「最高経営責任者」という。)を任命する。取締役会(当行において、中央委員会と呼ばれる。)は、様々な委員会で構成されている。当行を統治する業務において、最高経営責任者は、グループ財務部、グループ与信部、グループIT部、グループ人事部、キャピタル・マーケット部、グループ・コミュニケーション部及びグループ・サステナビリティ部並びにグループ法務部(総称して、業務執行経営陣と呼ばれる。)の部長により支援を受けている。当行には、多くの統制部門もある。さらに、株主は年次株主総会で任命された監査人を通じて統制を行う。

1. 株主及び株主総会

株主は、当行の最高意思決定機関である株主総会において当行に関連する事項を決定する権限を行使する。年次株主総会は、毎年開催され、そこでは主に取締役会、取締役会会長及び監査人の任命が行われる。年次株主総会において、当行の株主は、当行の統治に特に重要な事項についての様々な決定を行う。株主の決定には、以下の事項が含まれる。

- ・損益計算書及び貸借対照表の承認
- ・利益処分
- ・過去の事業年度に対する取締役会及び最高経営責任者の責任の免除
- ・当行の取締役の人数の決定、当行の取締役及び当行の監査人の任命
- ・取締役及び監査人への報酬額の決定
- ・執行役員への報酬についての指針

２．指名委員会

指名委員会の役割は、取締役会会長及びその他の取締役会の構成員の指名、並びに取締役会会長及びその他の取締役会の構成員の報酬に関する提案を準備し、年次株主総会に提出することである。当委員会は監査人の指名及びその報酬についての提案も行う。年次株主総会は、指名委員会がどのように任命されるかについて決定する。

３．取締役会

取締役会(中央委員会)は当行の組織に対して責任を有し、株主に代わって当行の業務処理を行う。取締役会は、継続的に当行の財政状態を査定し、会計記録、資金管理及び当行の財政状態のその他の側面が十分に統制されるように、当行が組織化されていることを確保する。取締役会は、これをどのように実施すべきかについての方針及び指針を設定し、取締役会のための業務手続を定め、また最高経営責任者のための指針も定める。

これらの中央方針策定文書には、取締役会全体及び委員会間並びに取締役会会長及び最高経営責任者間において、責任及び権限がどのように割り当てられているかについて記載している。取締役会は、最高経営責任者、最高経営責任者代理並びにグループ・リスク・コントロール部長、グループ・コンプライアンス部長及びグループ監査部長を任命し、これらの者の雇用条件を決定する。取締役会会長は取締役会の業務査定に責任を負い、査定結果を指名委員会に報告する。

４．与信委員会

取締役会は、中央委員会がその他の部門に委任した決定限度額を超える与信案件について決定を行う与信委員会を設立する。しかしながら、特別な重要案件並びに取締役及び経営陣の与信は取締役会全体によって決定が行われる。与信案件が適用される当行の部門の代表が与信委員会への提起を行う。

５．リスク委員会

取締役会のリスク委員会は、当行グループにおけるリスク統制及びリスク管理を監視する。当委員会は、当行のリスク戦略及びリスク許容度等に関する決定を準備し、グループ・コンプライアンス部及びグループ・リスク・コントロール部からの報告書を審査する。

６．報酬委員会

取締役会の報酬委員会は、当行の執行役員の雇用条件を、現行の市場相場と照らして審査する。当委員会の役割には、執行役員の報酬に関するガイドラインについての年次株主総会への取締役会の提案を準備すること、これらのガイドラインの適用に関して監視及び評価を行うこと、並びに執行役員及び最高監査責任者の報酬及びその他の雇用条件に対する取締役会の決定を準備することが含まれる。また当委員会は、当行の報酬方針及び報酬制度について、評価を行っている。

７．英国委員会

取締役会は、ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーにおける業務の体系的かつ継続的なフォローアップを促進するための委員会を設置した。中央委員会の委員及び業務執行経営陣から選出されたメンバーは、かかる委員会に参加することができる。

8．頭取及びグループ最高経営責任者(最高経営責任者)

最高経営責任者は、当行グループの日常的な運営指揮をとるために取締役会により任命される。取締役会からの指示に加え、最高経営責任者は会社法及び当行の会計、資金管理及び運営管理に関するその他多数の法律の規定を遵守することが義務付けられている。

9．グループ・ガバナンス部

グループ・ガバナンス部（コーポレート・ガバナンス部）は、株主総会における決定及び取締役会による決定、並びに法律、規則及びコーポレート・ガバナンス・コードにおける変更が、当行内部における全体的な責任及び権限を定めることを目的とする、取締役会からの方針文書並びに最高経営責任者からの内部ガイドライン及び指針により実行されることを確保する。

10．グループ金融犯罪防止部

グループ金融犯罪防止部は、当行が金融犯罪、特にマネーロンダリング、テロリストへの資金供与、詐欺、税制上の犯罪及び不正行為にさらされることを防止するための取組みにおける当行の作業プロセスを策定し、維持するとともに、国際的な制裁規制を遵守する責任を負う。当行の最高金融犯罪防止責任者である当部の部長は、最高経営責任者に直属する。グループ金融犯罪防止部は、金融犯罪に対抗するための当行のすべての業務について職務上の責任を負う。

11．グループ与信部

グループ与信部は、当行の与信手続の形成及び維持並びに取締役会の与信委員会又は取締役会全体が決定したあらゆる主要な与信案件の準備に責任を負う。当部の部長である当行グループの最高与信責任者は、最高経営責任者に報告を行い、また取締役会により設置された与信委員会の構成員である。最高与信責任者は、取締役会に損失及び信用ポートフォリオに関するリスクについても報告する。

12．グループ財務部

グループ財務部は、統制システム、報告、簿記、会計及び税務に関して責任を負う。さらに、当行グループの流動性、資金調達及び資本、並びに財務リスク、流動性リスク及び保険リスクに関する当行グループ全体のリスク管理に責任を負う。リスク管理についての詳細な説明は、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G2」を参照のこと。グループ財務部長である当行グループの最高財務責任者は、最高経営責任者に報告を行い、また最高経営責任者に代わって、市場リスク、流動性、資金調達及び資本に関して、取締役会の監査委員会及びリスク委員会並びに取締役会全体に定期的に報告を行う。

13．グループ法務部

グループ法務部は、当行グループ内の法的事項に関して責任を負い、その他の部門に法的助言サービスを提供する。当部は、当行の取締役会に秘書業務を提供している。

14．グループ・コンプライアンス部

統制機能の主な責任は、当行グループ内における高い水準のコンプライアンスを保証し、かつ当行グループにおいて反コンプライアンスに関連するリスクの許容度を低く実現することを保証するために積極的に取り組むことである。コンプライアンス部はまた、監督案件に関連する公共機関との連絡も管理する。当部の機能

は、従業員、最高経営責任者及び当行グループの取締役会にコンプライアンスについて助言並びに支援を行い、不適切な準拠により事業を行う上で生じる可能性のあるリスクについて関連部署に頻繁に連絡することである。

当部は、新しい又は変更された規制の影響を受ける従業員に伝達し、訓練を行う。コンプライアンス部はまた、当行グループが、免許下にある事業について規制、法律及びその他の規則に係る義務を果たせなくなるリスクを特定する。当部はまた、これらのリスクが関連部署において管理されているかを確認かつ監視し、確立された手続に従って報告書を提出する。

当行グループには、最高経営責任者に直接報告し、当行グループにおける統制機能を指揮するコンプライアンス管理者があり、規制順守に関する報告について最終的な責任をもつ。コンプライアンス部は、監視及び統制される機能及び分野から独立し、組織的に分離されている。グループ・コンプライアンス部長は、定期的に最高経営責任者、リスク委員会及び取締役会に、コンプライアンスに関する事項について報告を行う。

15. グループ・リスク・コントロール部

グループ・リスク・コントロール部は、当行グループのすべての主要なリスクを集約して監視し報告を行う責任を負う。当該責任には、信用リスク及び市場リスク(金利リスク、為替リスク、株価リスク及びコモディティ価格リスク)、オペレーショナル・リスク、流動性リスク並びに保険リスク、並びに当行グループの報酬制度に関するリスクが含まれる。グループ・リスク・コントロール部は、最高経営責任者に対して継続的に報告を行い、リスク委員会、報酬委員会及び取締役会に対しては定期的に報告を行う。グループ・リスク・コントロール部は、最高経営責任者に対して直接報告を行い、独立して活動し、審査対象業務から分離されている。グループ・リスク・コントロール部は、当行グループにおけるすべてのリスク統制に機能的な責任を負う。

(2) 【役員の状況】

当行の運営に関する全体的な責任は、取締役会に委任されている。銀行法により、銀行は3名以上の構成員から成る取締役会を設置しなければならない。当行の定款の規定に従い、株主は年次株主総会において8名以上15名以下の取締役会の構成員全員を選出することができる。一定の規模のスウェーデン企業に影響のある特別立法に基づき、当行の従業員は、2名の取締役会の構成員を追加で任命する権利を有し、2名の常任構成員及び2名の代理人を取締役会の従業員代表に任命することによりこの権利を行使した。

取締役会は、現在11名の取締役で構成されている。9名は年次株主総会により選出され、2名は従業員団体により選出された。取締役会は、通常暦年中に少なくとも9回会合し、その他必要がある場合、主要な政策及び展開、多額の貸付提案並びにその他の関連事業を検討するため会合する。

当行のグループ最高経営責任者としての頭取は、取締役会の政策実行、当行グループの事業の主導に責任を負う。

取締役会の構成員等は、以下のとおりである。

男性の数：5名、女性の数：6名(女性の比率55%)

氏名 (生年)	当行における 役職 (取締役会への 選出年)	地位及び主要な活動	2020年度の報酬 ¹
パール・ボーマン (1961年)	会長 (2006年)	スウェンスカ・セルローサ・エイ・ビーSCA及びエシティ・エイ・ビーの会長。エイ・ビー・インドゥストリーヴァルデンの副会長。スカンスカ・エイ・ビーの取締役。	4,740,000 スウェーデン ・クローネ

フレデリック・ランドバーク (1951年)	副会長 (2002年)	LEランドバークフォレターゲン・エイ・ビーの社長兼最高経営責任者。ホルメン・エイ・ビー、ホフレッドストーダン・エイ・ビー、エイ・ビー・インドゥストリーヴァルデンの会長。LEランドバークフォレターゲン・エイ・ビー、スカンスカ・エイ・ビーの取締役。	1,370,000 スウェーデン ・クローネ
ジョン・フレデリック・バクサース (1954年)	取締役 (2003年)	DNVGL及びスタットネットSFの会長。テレフォナクティーボラーゲLMエリクソンの取締役。	2,130,000 スウェーデン ・クローネ
スティナ・バークフォース (1972年)	取締役 (2021年)	エイチ・アンド・エム ヘネス・アンド・マウリッツ、バドビー及びテレ2の取締役。	0 スウェーデン ・クローネ
ハンス・ベオーク (1951年)	取締役 (2018年)	スカンスカ・エイ・ビー及びトレルボルグ・エイ・ビーの会長。	1,230,000 スウェーデン ・クローネ
シャスティン・ヘシウス (1958年)	取締役 (2016年)	AP3第3スウェーデン国民年金基金の最高経営責任者。ヴァーサクローナン・エイ・ビー、ヘムソ・ファスティゲット・エイ・ビー及びトレナム・エイ・ビーの取締役。	1,140,000 スウェーデン ・クローネ
アンナ・イェンベリ (1969年)	従業員代表 (2020年)	スウェーデンのハンデルスバンケン・ユニオン・クラブの金融部門ユニオンの会長。	0 スウェーデン ・クローネ
レナ・レンストロム (1965年)	従業員代表 (2020年)	スウェーデンの地域銀行ストックホルム・ユニオン・クラブの金融部門ユニオンの会長。	0 スウェーデン ・クローネ
ウルフ・リーズ (1959年)	取締役 (2020年)	-	1,890,000 スウェーデン ・クローネ
アルヤ・ターベニク (1968年)	取締役 (2020年)	スヴェンスカ・ハンデルスファスティゲター・エイ・ビーの会長。ノビア・エイ・ビー及びダネルム・ピー・エル・シーの取締役。	690,000 スウェーデン ・クローネ
カリナ・オーケストレーム (1962年)	取締役 (2019年)	当行グループの頭取兼グループ最高経営責任者。スウェーデン銀行協会の会長代理。ワールド・チャイルドフード・ファンデーションの取締役。	0 スウェーデン ・クローネ

¹ 報酬は年次株主総会で決定された。2020年の取締役への報酬の合計は、13,955,411スウェーデン・クローネであった。

氏名	経歴	2020年12月30日現在の 本人及びその近親者の 所有株式数
パール・ボーマン	2006-2015年：当行の頭取兼最高経営責任者。	143,589株、そのうち28,589株を間接所有 ¹ 。
フレデリック・ランドバーク	1981年-：LEランドバークフォレターゲン・エイ・ビーの最高経営責任者。1977年-：ランドバークズに在職。	74,775,000株

ジョン・フレデリック・バクサース	2008-2016年：GSM協会のメンバー(2013-2016年は会長)。2002-2015年：テレノール・グループの頭取兼最高経営責任者。1989-2002年：テレノール・グループの財務部、ファイナンシャル・コントロール部及び管理部において様々な役職を歴任。1988-1989年：エイカー・エイ・エス。1985-1988年：ストルト・ニールセン・シーウェイ・エイ・エスに在職。1979-1985年：ノルウェー及び日本におけるデット・ノルスク・ヴェリタスに在職。	3,800株
スティナ・バーグフォース	2013-2018年：ユナイテッド・スクリーンの共同設立者、最高経営責任者及びその他の役職。2008-2013年：グーグル及びユーチューブの地域ディレクター。2004-2007年：カラットの最高経営責任者及びその他の役職。2000-2004年：OMDワールドワイドのディレクター及びその他の役職。1999-1999年：TV3スウェーデン及びモダン・タイムズ・グループの経理マネージャー。	0株
ハンス・ベオーク	2001-2011年：スカンスカの最高経営責任者代理及び最高財務責任者。1998-2001年：オートリプの最高財務責任者。1997-1998年：自営業。1977-1997年：エセルテにおいて様々な役職を歴任。	5,000株
シャスティン・ヘシウス	2001-2004年：ストックホルム証券取引所の最高経営責任者。1999-2000年：スウェーデン国立銀行の中央銀行総裁代理。1998年：ダンスク銀行のアセット・マネジメントの最高経営責任者。1990-1997年：エイ・ビー・エヌ・アムロ銀行、アルフレッド・ベルグに在職。1989-1990年：フィナンスティグニニャンに在職。1986-1989年：スウェーデン国債局に在職。1985-1986年：スウェーデン国立銀行(スウェーデン中央銀行)に在職。1984-1985年：スウェーデン総務局に在職。	8,700株
アンナ・イェンベリ	ハンデルスバンケン・リヴの責任者及び様々なユニオンの役職を歴任。	24,427株、そのうち24,427株を間接所有 ¹ 。
レナ・レンストロム	当行の支店業務においてアドバイザー・サービスを担当。	30,071株、そのうち30,071株を間接所有 ¹ 。
ウルフ・リーズ	当行において様々な役職を歴任。2016-2018年：シニア・アドバイザー。2007-2016年：当行の最高財務責任者。2004-2007年：ハンデルスバンケン・アセット・マネジメント部長。2004年：当行のエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント。1983年-：当行により雇用。	180,000株
アルヤ・ターベニク	2015-2019年：キングフィッシャー・ピー・エル・シーの最高責任者及びサプライ・チェーン・オフィサー。キングフィッシャー・ピー・エル・シーの子会社の最高経営責任者。2012-2015年：イカノ・グループの頭取兼グループ最高経営責任者。2005 - 2012年：イケア・グループのグローバル・ビジネス・エリア取締役。1989 - 2005年：イケア・グループ内の様々な役職を歴任。	0株

カリナ・オーケストレーム	2016-2019年：当行グループの最高経営責任者代理兼グループ最高経営責任者代理。2010-2019年：地域銀行ストックホルムの最高経営責任者代理兼部長。2008-2010年：地域銀行東スウェーデンの最高経営責任者代理兼部長。1986年-：当行の従業員。	50,856株、そのうち32,856株を間接所有 ¹ 。
--------------	--	---

¹ オクトゴーネン利益分配制度を通じて当行の株式を間接所有。

取締役会の従業員代表代理等は、以下のとおりである。

氏名 (生年)	当行における 役職 (取締役会への 選出年)	地位及び主要な活動	2020年度の報酬 ¹
ステファン・ヘンリクソン (1970年)	従業員代表代理 (2020年)	スウェーデンの地域銀行西スウェーデン・ユニオン・クラブの金融部門ユニオンの会長。	0 スウェーデン ・クローネ
シャーロット・ウリズ (1972年)	従業員代表代理 (2020年)	当行のアカデミカーフォレニンゲン(学位を取得した専門家の協会)の会長。	0 スウェーデン ・クローネ

¹ 報酬は年次株主総会で決定された。2020年の取締役への報酬の合計は、13,955,411スウェーデン・クローネであった。

氏名	経歴	2020年12月30日現在の 本人及びその近親者の 所有株式数
ステファン・ヘンリクソン	当行の支店及び地域の本部において管理業務及びアドバイザー・サービスを担当。	31,075株、そのうち31,075株を間接所有 ¹ 。
シャーロット・ウリズ	現金管理部門、デジタル・ミーティング・プレイス部門及び取引部門の専門家であり、ビジネス及びオペレーション開発を担当。	13,691株、そのうち13,691株を間接所有 ¹ 。

¹ オクトゴーネン利益分配制度を通じて当行の株式を間接所有。

当行グループの業務執行経営陣の構成員は、以下のとおりである。

業務執行経営陣

ペール・ベックマン	グループ与信部の最高与信責任者
カール・セダーシオルド	グループ財務部の最高財務責任者
マグヌス・エリクソン	グループ人事部の最高人事責任者
マティアス・フォースバーグ	グループIT部の最高情報責任者
マリア・ヘディン	グループ・リスク・コントロール部の最高リスク責任者
ルイス・サンダー ¹	グループ・コミュニケーション部の最高コミュニケーション責任者
ダン・リンドウォール	キャピタル・マーケットの最高経営責任者

マルティン・ノレウス	グループ・コンプライアンス部の最高コンプライアンス責任者
マルティン・ウェストソン	グループ法務部の最高法務責任者
カリナ・オーケストレーム	頭取兼グループ最高経営責任者

¹ ルイス・サンダーは、2021年7月1日付で彼女の新たな役職である最高コミュニケーション責任者に就任する予定である。

業務執行経営陣により選任された構成員

ミケル・グリーン	スウェーデンの支店業務の部長
カタリーナ・ユングヴィスト	ハンデルスバンケン・デジタルの部長

グループ全体の独立統制部門

マルテン・ビュルマン	グループ監査部の最高監査責任者
------------	-----------------

(3) 【監査の状況】

() 内部監査

監査委員会

取締役会の監査委員会は、重要な会計問題及びその他財務報告の質的内容に影響する可能性のある要因を検討しながら当行の財務報告を監視する。当委員会はまた、当行及び当行グループの内部統制、内部監査及び財務報告に関するリスク管理の有効性を監視するとともに外部監査人の公平性及び独立性を監視する。当委員会は監査業務を査定し、指名委員会による監査人の指名を補佐する。当委員会はまた、当行の内部監査人及び外部監査人による報告書を受け取る。

グループ監査部

グループ監査部(内部監査部)は、当行グループの事業及び財務報告の独立した公平な監査を行う。グループ監査部の重要な業務はリスク管理、内部統制及びコーポレート・ガバナンスの手続を評価、検証することである。最高監査責任者は取締役会により任命され、定期的に監査委員会に対し、口頭及び書面で報告を行い、取締役会全体に対しても年次概略報告書を提出する。

() 会計監査

監査人は、年次株主総会から翌年次株主総会終了時までの任期で任命される。監査人は、株主に対して説明責任を有する。監査人は、監査を行い、コーポレート・ガバナンス・レポートを含む年次報告書並びに取締役会及び最高経営責任者の運営等の事項に関する監査報告書を提出する。さらに、監査人は、口頭及び書面において、取締役会の監査委員会に対し、その監査業務がいかに遂行されたかを報告し、当行の業務運営体制及び内部統制に関する評価を報告する。監査人はまた、取締役会全体に対し、その監査の概略報告書も提出する。

() 監査法人の名称

アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビーは、2021年3月24日付株主総会により当行及び当行グループの監査法人に任命され、1998年4月28日以降、会社の監査法人である。

プライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー(以下「PwC」という。)は、2021年3月24日付株主総会により当行及び当行グループの監査法人に任命され、2017年3月29日以降、会社の監査法人である。

() 担当公認会計士の氏名及び役職

ジェスパー・ニルソンは、2007年から公認会計士である。同氏は、当行及び当行グループにおいてアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビーの担当監査人であり、監査チームの委員長である。ヨハン・リッペは、1999年から公認会計士であり、当行及び当行グループにおいてPwCの担当監査人である。

() 監査業務に係る補助者の構成

公認会計士：25名

補助者：60名

() 当該監査法人の選任理由

当行は、アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー及びPwCをその独立性、専門性、品質管理の構造及び監査報酬等を考慮し、監査法人として採用している。当行は、監査法人が監査のための有能な組織を有しており、当行を適切に適切に監査することができていると認識する。

() 最近2年間における外国監査法人の推移

該当事項なし。

() 評価内容

当行の監査委員会は、アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー及びPwCが、公平性及び独立性の観点から監査法人として適切であると評価し、また、これらの法人に関連してスウェーデン監査検査局により実施された監督業務の情報を取得し続けている。

監査人及び監査法人に対する報酬 (当行グループ)	アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー		プライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー	
	2020年	2019年	2020年	2019年
(単位：百万スウェーデン・クローネ)				
監査業務	-26	-28	-4	-4
当該監査業務以外の監査上の業務	-2	-2	-	-
税務アドバイス	0	-	-	-
その他サービス	0	-	-	-

監査人及び監査法人に対する報酬 (親会社)	アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー		プライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー	
	2020年	2019年	2020年	2019年
(単位：百万スウェーデン・クローネ)				
監査業務	-8	-10	-4	-4
当該監査業務以外の監査上の業務	-	-1	-	-
税務アドバイス	0	-	-	-
その他サービス	0	-	-	-

(４) 【役員の報酬等】

上記「(2) 役員の状況」を参照のこと。

(５) 【株式の保有状況】

該当事項なし。

第6【経理の状況】

- a. 本書記載の当行グループの邦文の連結財務書類及び当行グループの親会社の邦文の財務書類は、2020年12月31日に終了した事業年度の原文の財務書類を翻訳したものである。本書記載の原文の連結財務書類及び財務書類は、当行グループの監査済連結財務書類及び親会社の監査済個別財務書類で構成されている。当行グループの連結財務書類は、EUにより採択された国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年、第1559号)に準拠して作成されている。親会社の個別財務書類は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されている。また、当行グループ及び親会社の財務書類の日本における開示については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)第131条第1項の規定が適用されている。

なお、IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法と日本の会計原則及び手続並びに表示方法の相違点については、下記「第6-4 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」を参照のこと。

- b. 当行グループと親会社の原文の連結財務書類及び財務書類は、スウェーデンにおける独立監査人であるプライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー(PricewaterhouseCoopers AB)及びアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー(Ernst & Young AB)の監査を受けており、独立監査人の2021年2月11日付の監査報告書の原文及び日本語訳は本書に掲載されている。

なお、原文の財務書類は、上記のとおりプライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー及びアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビーの監査を受けており、これによって「財務諸表等の監査証明に関する内閣府令」(昭和32年大蔵省令第12号)第1条の2の規定に基づく監査証明に相当する証明を受けたとみなされるため、金融商品取引法第193条の2第1項第1号の規定に基づく日本の公認会計士又は監査法人による監査は受けていない。

- c. 日本円への換算及び下記「第6-2 主な資産・負債及び収支の内容」から「第6-4 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」までの事項は原文の財務書類には記載されておらず、当該事項における原文の財務書類への参照事項を除き、上記b.の監査の対象になっていない。

- d. 邦文の財務書類では、主要な数値についてのみ日本円換算が行われている。日本円への換算には、2021年5月28日(日本時間)現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値である1スウェーデン・クローネ=13.28円のスウェーデン・クローネの対円為替レートが使用されている。日本円に換算された金額は、四捨五入のため合計欄の数値が総額と一致しない場合がある。また、本項において記載されているスウェーデン・クローネの日本円への換算額は読者の便宜のために表示されているものであり、スウェーデン・クローネの金額が上記のレートで日本円に換算されることを意味するものではない。

- e. なお、財務書類中の括弧内の数値は比較数値を示している。

- f. 本「第6 経理の状況」において、「親会社」はスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトを意味する。

- g. 本「第6 経理の状況」において、「クローネ」及び「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを意味する。

1 【財務書類】

(1) 連結財務書類

損益計算書(当行グループ)

		2020年		2019年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
利息収益	注記G3	45,508	604,346	54,395	722,366
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息		42,164	559,938	47,326	628,489
利息費用	注記G3	-13,902	-184,619	-22,260	-295,613
純利息収益		31,606	419,728	32,135	426,753
手数料及びコミッション収益	注記G4	12,621	167,607	12,762	169,479
手数料及びコミッション費用	注記G4	-1,835	-24,369	-2,065	-27,423
純手数料及びコミッション収益		10,786	143,238	10,697	142,056
金融取引による純損益	注記G5	1,437	19,083	1,299	17,251
保険リスク	注記G6	195	2,590	145	1,926
その他配当金収益		53	704	113	1,501
関連会社およびジョイント・ベンチャーの持分利益	注記G18	18	239	32	425
その他収益	注記G7	153	2,032	143	1,899
収益合計		44,248	587,613	44,564	591,810
人件費	注記G8	-15,343	-203,755	-13,549	-179,931
その他費用	注記G9	-6,085	-80,809	-6,524	-86,639
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	注記G23, G24	-1,906	-25,312	-1,670	-22,178
費用合計		-23,334	-309,876	-21,743	-288,747
信用損失控除前利益		20,914	277,738	22,821	303,063
正味信用損失	注記G10	-781	-10,372	-1,045	-13,878
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	注記G11	2	27	20	266
営業利益		20,135	267,393	21,796	289,451
法人税等	注記G33	-4,547	-60,384	-4,871	-64,687
当期利益		15,588	207,009	16,925	224,764
帰属先：					
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主		15,585	206,969	16,922	224,724
非支配株主持分		3	40	3	40

一株当たり利益、

スウェーデン・クローネ/円

注記G12

7.87

104.51

8.65

114.87

希薄化後

注記G12

7.87

104.51

8.58

113.94

包括利益計算書（当行グループ）

	2020年		2019年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	15,588	207,009	16,925	224,764
その他包括利益				
損益計算書に組み替えられない項目				
確定給付年金制度	1,523	20,225	4,262	56,599
その他包括利益を通じて公正価値で測定される 資本性金融商品	-583	-7,742	372	4,940
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-256	-3,400	-931	-12,364
うち、確定給付年金制度	-267	-3,546	-910	-12,085
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定さ れる資本性金融商品	11	146	-21	-279
損益計算書に組み替えられない項目合計	684	9,084	3,703	49,176
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目				
キャッシュフロー・ヘッジ	-1,124	-14,927	3,741	49,680
その他包括利益を通じて公正価値で測定される 負債性金融商品	7	93	7	93
当期為替換算差額	-4,269	-56,692	1,072	14,236
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	848	11,261	-1,509	-20,040
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある 項目に係る税金	93	1,235	-480	-6,374
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	274	3,639	-801	-10,637
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定 される負債性金融商品	-1	-13	-2	-27
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-180	-2,390	323	4,289
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計	-5,293	-70,291	4,340	57,635
その他包括利益合計	-4,609	-61,208	8,043	106,811
当期包括利益合計	10,979	145,801	24,968	331,575
帰属先：				
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主	10,976	145,761	24,965	331,535
非支配株主持分	3	40	3	40

当期の損益計算書における分類変更は持分変動計算書に示されている。

2020年度に、その他包括利益合計は-4,609(前年度は8,043)百万スウェーデン・クローネ(税引後)であった。各期において、その他包括利益のすべての項目は、割引率、為替レート及びインフレーションの変動による影響を受ける可能性がある。

その他包括利益は、確定年金制度に関連して、1月-12月期には1,256(前年度は3,352)百万スウェーデン・クローネ(税引後)のプラスの影響を受けた。2019年度末以降、スウェーデンの年金債務に係る割引率が1.7%から1.5%に低下したにも関わらず、制度資産の価値は年金債務に比べて大きく増加した。

当行グループの長期資金調達の大部分は、満期までのすべてのキャッシュ・フローをマッチングするようなデリバティブを用いてヘッジされている。キャッシュフロー・ヘッジは貸出及び資金調達に係る変動金利及び通貨の変動に関するキャッシュ・フローの変動リスクを管理している。基礎となる資金調達及び資金調達による資産は、償却原価で評価され、これらの項目をヘッジするデリバティブは時価評価される。時価評価による損益への影響は、キャッシュフロー・ヘッジに計上される。2020年度において、これらのキャッシュフロー・ヘッジにおける、ヘッジ手段のデリバティブの価値変動は、税引後で-850(前年度は2,940)百万スウェーデン・クローネであった。この価値変動の一部は為替変動から発生しているが、それ以上に各通貨の割引率の変動による影響が大きい。当期中にヘッジの非有効性に起因して、0(前年度は-9)百万スウェーデン・クローネが損益計算書に分類変更された。

その他包括利益を通じて公正価値で測定する区分に分類される資本性金融商品と負債性金融商品の未実現評価差額は、その他包括利益に-572(前年度は351)百万スウェーデン・クローネ及び6(前年度は5)百万スウェーデン・クローネ(いずれも税引後)の影響を与えた。

海外支店及び子会社の財務諸表を当行グループの表示通貨に換算する際に生じる未実現の為替変動による影響及び在外営業活動体の純投資ヘッジによる影響は、当年度において、その他包括利益に-4,448(前年度は1,395)百万スウェーデン・クローネ(税引後)の影響を及ぼした。

貸借対照表(当行グループ)

		2020年		2019年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
資産					
現金及び中央銀行預け金		397,642	5,280,686	327,958	4,355,282
中央銀行へのその他の貸出金	注記G13	21,326	283,209	19,547	259,584
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記G16	99,133	1,316,486	103,387	1,372,979
その他金融機関への貸出金	注記G14	21,920	291,098	17,939	238,230
一般顧客への貸出金	注記G15	2,269,612	30,140,447	2,292,603	30,445,768
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動		25	332	25	332
社債及びその他の利付証券	注記G16	44,566	591,836	42,640	566,259
株式	注記G17	21,045	279,478	21,390	284,059
関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資	注記G18	386	5,126	285	3,785
顧客が価値変動リスクを負う資産	注記G19	197,212	2,618,975	174,988	2,323,841
デリバティブ商品	注記G20	30,614	406,554	41,545	551,718
再保険資産		11	146	11	146
無形資産	注記G23	11,330	150,462	11,185	148,537
不動産及び器具備品	注記G24	6,232	82,761	6,645	88,246
当期税金資産		988	13,121	53	704
繰延税金資産	注記G33	1,218	16,175	693	9,203
年金資産	注記G8	2,005	26,626	654	8,685
売却目的で保有する資産		1,657	22,005	1	13
その他資産	注記G25	6,113	81,181	6,167	81,898
前払費用及び未収金	注記G26	2,253	29,920	1,951	25,909
資産合計	注記G38	3,135,288	41,636,625	3,069,667	40,765,178
負債及び資本					
金融機関からの預り金	注記G27	124,723	1,656,321	147,989	1,965,294
一般顧客からの預金及び借入金	注記G28	1,229,763	16,331,253	1,117,825	14,844,716
顧客が価値変動リスクを負う負債	注記G29	197,212	2,618,975	174,988	2,323,841
発行済証券	注記G30	1,310,737	17,406,587	1,384,961	18,392,282
デリバティブ商品	注記G20	32,819	435,836	20,642	274,126
ショートポジション	注記G31	1,682	22,337	1,856	24,648
保険負債	注記G32	557	7,397	578	7,676
当期税金負債		25	332	1,284	17,052
繰延税金負債	注記G33	5,353	71,088	5,634	74,820
引当金	注記G34	2,302	30,571	1,141	15,152
その他負債	注記G35	13,928	184,964	14,038	186,425
未払費用及び繰延収益	注記G36	3,632	48,233	3,353	44,528
劣後負債	注記G37	41,082	545,569	35,546	472,051
負債合計	注記G38	2,963,815	39,359,463	2,909,835	38,642,609
非支配株主持分		9	120	8	106
株式資本		3,069	40,756	3,069	40,756
資本剰余金		8,758	116,306	8,758	116,306

準備金	8,532	113,305	13,141	174,512
利益剰余金	135,520	1,799,706	117,934	1,566,164
スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・ エイ・ビーの株主に帰属する当期利益	15,585	206,969	16,922	224,724
資本合計	171,473	2,277,161	159,832	2,122,569
負債及び資本合計	3,135,288	41,636,625	3,069,667	40,765,178

持分変動計算書（当行グループ）

2020年当行グループ (百万スウェーデン・クローネ)	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	当期利益を 含む 利益剰余金	非支配 株主持分	合計
2020年期首資本	3,069	8,758	4,635	4,203	660	3,643	134,856	8	159,832
当期利益							15,585	3	15,588
その他包括利益			1,256	-850	-566	-4,449		0	-4,609
うち、資本の中での分類変更					-684	20			-664
当期包括利益合計			1,256	-850	-566	-4,449	15,585	3	10,979
利益剰余金への分類変更							664		664
配当金									-
転換可能劣後ローンの影響	-	-							-
非支配株主持分の変動								-2	-2
2020年期末資本	3,069	8,758	5,891	3,353	94	-806	151,105	9	171,473

2019年当行グループ (百万スウェーデン・クローネ)	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	当期利益を 含む 利益剰余金	非支配 株主持分	合計
2019年期首資本	3,013	5,629	1,283	1,263	304	2,248	128,509	12	142,261
当期利益							16,922	3	16,925
その他包括利益			3,352	2,940	356	1,395		0	8,043
うち、資本の中での分類変更					15	-133			-118
当期包括利益合計			3,352	2,940	356	1,395	16,922	3	24,968
利益剰余金への分類変更							118		118
配当金							-10,693		-10,693
転換可能劣後ローンの影響	56	3,129							3,185
非支配株主持分の変動								-7	-7
2019年期末資本	3,069	8,758	4,635	4,203	660	3,643	134,856	8	159,832

為替換算調整準備金は、当行グループ海外支店の貸借対照表及び損益計算書に関連した換算による影響額を含んでいる。換算による影響の累計額は、海外支店が閉鎖又は売却される際に税務上計上される。換算の影響に係る税制は非常に複雑であり解釈に相違が生じる可能性がある。したがって、売却／閉鎖が起きる前に税務上換算による影響を計上する必要性は否定できない。

2020年1月から12月において、転換可能劣後社債に係る額面-(前年度は3,185)百万スウェーデン・クローネが-(前年度は35,853,334)株のクラスA株式に転換された。年度末において、トレーディング勘定で保有されていた自己株式は0(前年度は0)株であった。

持分変動計算書（当行グループ）（続き）

資本変動の内訳

ヘッジ準備金の変動

(百万スウェーデン・クローネ)

	2020年	2019年
期首ヘッジ準備金	4,203	1,263

キャッシュフロー・ヘッジ

公正価値変動の有効部分

金利リスク	-652	3,146
-------	------	-------

為替リスク	-223	617
-------	------	-----

未実現評価差額

損益計算書への振替額 ¹	-249	-22
-------------------------	------	-----

法人税	274	-801
-----	-----	------

期末ヘッジ準備金	3,353	4,203
----------	-------	-------

公正価値評価差額準備金の変動

(百万スウェーデン・クローネ)

	2020年	2019年
期首公正価値評価差額準備金	660	304

未実現評価差額 - 資本性金融商品	-572	351
-------------------	------	-----

実現評価差額 - 資本性金融商品	684	-15
------------------	-----	-----

未実現評価差額 - 負債性金融商品	5	4
-------------------	---	---

予想信用損失引当金の変動 - 負債性金融商品	1	1
------------------------	---	---

利益剰余金への振替額 - 資本性金融商品 ²	-684	15
-----------------------------------	------	----

損益計算書への振替額 - 負債性金融商品 ³	-	0
-----------------------------------	---	---

期末公正価値評価差額準備金	94	660
---------------	----	-----

為替換算調整準備金の変動

(百万スウェーデン・クローネ)

	2020年	2019年
期首為替換算調整準備金	3,643	2,248

支店における為替換算差額の変動	-2,292	76
-----------------	--------	----

子会社における為替換算差額の変動	-2,183	1,450
------------------	--------	-------

損益計算書への振替額 ⁴	6	2
-------------------------	---	---

利益剰余金への振替額 ⁵	20	-133
-------------------------	----	------

期末為替換算調整準備金	-806	3,643
-------------	------	-------

- 1) この項目に係る税金53(前年度は5)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。
- 2) この項目に係る税金43(前年度は-)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。
- 3) この項目に係る税金-(前年度は0)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。
- 4) この項目に係る税金-1(前年度は0)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。
- 5) この項目に係る税金-9(前年度は28)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

持分変動計算書（当行グループ）（続き）

2020年当行グループ (百万円)	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	当期利益を 含む 利益剰余金	非支配 株主 持分	合計
2020年期首資本	40,756	116,306	61,553	55,816	8,765	48,379	1,790,888	106	2,122,569
当期利益							206,969	40	207,009
その他包括利益			16,680	-11,288	-7,516	-59,083		0	-61,208
うち、資本の中での 分類変更					-9,084	266			-8,818
当期包括利益合計			16,680	-11,288	-7,516	-59,083	206,969	40	145,801
利益剰余金への分類変更							8,818		8,818
配当金									-
転換可能劣後ローンの影響	-	-							-
非支配株主持分の変動								-27	-27
2020年期末資本	40,756	116,306	78,232	44,528	1,248	-10,704	2,006,674	120	2,277,161
2019年当行グループ (百万円)	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	当期利益を 含む 利益剰余金	非支配 株主 持分	合計
2019年期首資本	40,013	74,753	17,038	16,773	4,037	29,853	1,706,600	159	1,889,226
当期利益							224,724	40	224,764
その他包括利益			44,515	39,043	4,728	18,526		0	106,811
うち、資本の中での 分類変更					199	-1,766			-1,567
当期包括利益合計			44,515	39,043	4,728	18,526	224,724	40	331,575
利益剰余金への分類変更							1,567		1,567
配当金							-142,003		-142,003
転換可能劣後ローンの影響	744	41,553							42,297
非支配株主持分の変動								-93	-93
2019年期末資本	40,756	116,306	61,553	55,816	8,765	48,379	1,790,888	106	2,122,569

為替換算調整準備金は、当行グループの海外支店の貸借対照表及び損益計算書に関連した換算による影響額を含んでいる。換算による影響の累計額は、海外支店が閉鎖又は売却される際に税務上計上される。換算の影響に係る税制は非常に複雑であり解釈に相違が生じる可能性がある。したがって、売却／閉鎖が起きる前に税務上換算による影響を計上する必要性は否定できない。

2020年1月から12月において、転換可能劣後社債に係る額面-(前年度は42,297)百万円が、-(前年度は35,853,334)株のクラスA株式に転換された。年度末において、トレーディング勘定で保有されていた自己株式は0(前年度は0)株であった。

持分変動計算書（当行グループ）（続き）

資本変動の内訳

ヘッジ準備金の変動

(百万円)

	2020年	2019年
期首ヘッジ準備金	55,816	16,773
キャッシュフロー・ヘッジ		
価値変動の有効部分		
金利リスク	-8,659	41,779
為替リスク	-2,961	8,194
未実現評価差額		
損益計算書への振替額 ¹	-3,307	-292
法人税	3,639	-10,637
期末ヘッジ準備金	44,528	55,816

公正価値評価差額準備金の変動

(百万円)

	2020年	2019年
期首公正価値評価差額準備金	8,765	4,037
未実現評価差額 - 資本性金融商品	-7,596	4,661
実現評価差額 - 資本性金融商品	9,084	-199
未実現評価差額 - 負債性金融商品	66	53
予想信用損失引当金の変動 - 負債性金融商品	13	13
利益剰余金への振替額 - 資本性金融商品 ²	-9,084	199
損益計算書への振替額 - 負債性金融商品 ³	-	0
期末公正価値評価差額準備金	1,248	8,765

為替換算調整準備金の変動

(百万円)

	2020年	2019年
期首為替換算調整準備金	48,379	29,853
支店における為替換算差額の変動	-30,438	1,009
子会社における為替換算差額の変動	-28,990	19,256
損益計算書への振替額 ⁴	80	27
利益剰余金への振替額 ⁵	266	-1,766
期末為替換算調整準備金	-10,704	48,379

- 1) この項目に係る税金704(前年度は66)百万円は、損益計算書に振り替えられている。
- 2) この項目に係る税金571(前年度は-)百万円は、利益剰余金に振り替えられている。
- 3) この項目に係る税金-(前年度は0)百万円は、損益計算書に振り替えられている。
- 4) この項目に係る税金-13(前年度は0)百万円は、損益計算書に振り替えられている。
- 5) この項目に係る税金-120(前年度は372)百万円は、利益剰余金に振り替えられている。

キャッシュ・フロー計算書（当行グループ）

	2020年		2019年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
営業活動				
営業利益、営業合計	20,135	267,393	21,796	289,451
うち、受取利息	46,345	615,462	54,358	721,874
うち、支払利息	-15,717	-208,722	-23,964	-318,242
うち、受取配当金	76	1,009	249	3,307
損益における非現金項目の調整				
信用損失	929	12,337	1,297	17,224
未実現評価差額	-797	-10,584	-130	-1,726
減価償却費、償却費及び減損	1,906	25,312	1,670	22,178
法人税の支払	-7,711	-102,402	-5,325	-70,716
営業活動による資産及び負債の変動				
中央銀行へのその他の貸出金	-1,778	-23,612	14,010	186,053
その他金融機関への貸出金	-3,980	-52,854	4,198	55,749
一般顧客への貸出金	22,071	293,103	-104,758	-1,391,186
利付証券及び株式	1,611	21,394	19,916	264,484
金融機関からの預り金	-23,266	-308,972	-46,093	-612,115
一般顧客からの預金及び借入金	111,938	1,486,537	109,338	1,452,009
発行済証券	-74,224	-985,695	-9,686	-128,630
デリバティブ商品の正味ポジション	23,394	310,672	20,137	267,419
ショートポジション	-197	-2,616	-4,439	-58,950
投資銀行業務の決済における債権及び債務	875	11,620	7,380	98,006
その他	16,354	217,181	-6,933	-92,070
営業活動からのキャッシュ・フロー	87,260	1,158,813	22,378	297,180
投資活動				
関連会社の取得及び関連会社への拠出	-61	-810	-134	-1,780
株式の売却	1,693	22,483	39	518
不動産及び器具備品の取得	-709	-9,416	-1,094	-14,528
不動産及び器具備品の処分	328	4,356	562	7,463
無形資産の取得	-1,031	-13,692	-1,120	-14,874
投資活動からのキャッシュ・フロー	220	2,922	-1,747	-23,200
財務活動				
劣後ローンの返済	-2	-27	-17,730	-235,454
劣後ローンの発行	8,176	108,577	4,670	62,018
配当金の支払	-	-	-10,693	-142,003
財務活動からのキャッシュ・フロー	8,174	108,551	-23,753	-315,440
うち、為替換算差額	-819	-10,876	669	8,884
当期キャッシュ・フロー	95,654	1,270,285	-3,122	-41,460
期首流動資金	327,958	4,355,282	317,217	4,212,642
営業活動からのキャッシュ・フロー	87,260	1,158,813	22,378	297,180
投資活動からのキャッシュ・フロー	220	2,922	-1,747	-23,200
財務活動からのキャッシュ・フロー	8,174	108,551	-23,753	-315,440

流動資金の為替換算差額	-25,970	-344,882	13,863	184,101
期末流動資金	397,642	5,280,686	327,958	4,355,282

キャッシュ・フロー計算書は間接法で作成されており、減価償却費/償却費や信用損失等、現金の受払いを伴わない取引について営業利益が調整されていることを意味している。

流動資金は、現金及び中央銀行預け金である。

[次へ](#)

注記G1 会計方針及びその他の財務諸表の作成基準**目次**

1. 準拠表明
2. 会計方針の変更
3. 未適用のIFRSの変更
4. 連結の基礎及び表示
5. セグメント報告
6. 外貨建資産及び負債
7. 貸借対照表に計上される金融商品の認識及び認識中止
8. 金融商品
9. 金融資産及び金融負債の公正価値測定原則
10. 信用損失
11. ヘッジ会計
12. リース
13. 保険事業
14. 無形資産
15. 不動産及び器具備品
16. 引当金
17. 資本
18. 収益
19. 従業員給付
20. 税金
21. 見積り及び重要な評価

1. 準拠表明**会計の基礎**

連結財務諸表は国際財務報告基準（以下、「IFRS」という。）及びEUにより採択された同基準の解釈に準拠して作成されている。さらに、会計方針は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）及びスウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針、FFFS 2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告にも準拠している。企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、並びにスウェーデン財務報告審議会による意見書も連結財務諸表に適用されている。

親会社の会計方針は注記P1に示されている。

年次報告書の発行及び採択

年次報告書及び連結財務諸表は2021年2月2日における取締役会により発行が承認された。また、2021年3月24日の年次株主総会（AGM）で採択のため提示される予定である。

2. 会計方針の変更

IFRS第9号「金融資産」、IAS第39号「金融商品：認識及び測定」及びIFRS第7号「金融商品：開示」の改訂

- 金利指標改革 - フェーズ1

本改訂は、金利指標改革により直接影響を受けるすべてのヘッジ関係に対し、特定のヘッジ会計の要求事項の適用に一時的な例外を設ける目的で行われた。2020年1月1日以降に開始する事業年度から適用され、早期適用も認められている。当行は、2019年度の年次報告より本改訂を早期適用している。詳細な情報はセクション11の「ヘッジ会計、金利指標改革」を参照のこと。

IFRSにおける他の変更

2020年1月1日以降適用開始となった他の改訂は、「IFRSの概念フレームワーク」、IFRS第3号「企業結合」における「事業」の定義、IAS第1号「財務諸表の表示」及びIAS第8号「会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬」における「重要性がある」の定義、並びにIFRS第16号「リース」におけるCovid-19に関連した賃料減免に関するものである。いずれの変更も当行の財務報告に重要な影響を及ぼさない。当行は賃料減免の措置を受けていないため、IFRS第16号の改訂を適用していない。

また、他に関して当年度に当行グループが適用した会計方針及び計算方法は、2019年度の年次報告で適用された方針と一致している。

3. 未適用のIFRSの変更

IFRS第9号「金融商品」、IAS第39号「金融商品：認識および測定」、IFRS第7号「金融商品：開示」及びIFRS第16号「リース」の改訂 - 金利指標改革 - フェーズ2

IFRS第9号の改訂では、金利指標改革の直接の結果として金融資産及び金融負債の条件変更が行われた場合、実効金利の変動として認識されることとなった。従って、条件変更により生じる損益は認識されない。例外を適用するためには、条件変更が金利指標改革の直接的な結果であり、キャッシュ・フローを決定する新たな基礎が従前の基礎と経済的に同等でなければならない。さらに、IFRS第9号およびIAS第39号の改訂により、ヘッジ関係における既存の指標金利が代替的な指標金利に置き換えられた場合に、ヘッジ会計の要件を一部免除することが認められている。従って、本改訂は、損益に対する重要な影響を与えることなく、またハンデルスバンケンの財務報告、自己資本比率、大口エクスポージャー又は規制が適用されるその他の状況に重要な影響を与えることもなく、新指標金利への移行を推進するものと評価される。

本改訂はEUに承認されており、2021年1月1日以降に開始する事業年度から適用され、早期適用も認められている。当行は本改訂の早期適用を選択していない。本改訂は遡及的に適用されるが、過年度の比較数値の修正再表示は求められていない。

IFRS第17号「保険契約」

IFRS第4号「保険契約」に置き換わる、IFRS第17号「保険契約」がIASBによって公表されている。IFRS第17号がEUによって採択されるという前提で、IFRS第17号は2023年度より適用される予定である。IFRS第17号には、保険契約の認識、表示及び測定方法の変更と同時に開示要件の拡充が含まれている。

保険契約の認識における不一致を解消させる目的で、IFRS第17号では、ビルディング・ブロック・アプローチ、保険料配分アプローチ及び変動手数料アプローチの3つの測定アプローチに基づいた単一の評価原則を導入した。IFRS第17号では、保険契約の評価に関しビルディング・ブロック・アプローチを定めており、保険契約

債務の価値はリスク・マージンと利益率を考慮した将来キャッシュ・フローの期待現在価値に基づき評価される。他の2つの評価アプローチは、特定の状況下で適用可能である。評価アプローチの選択は、契約条件(長期、短期、または利益創出)により決定される。当行はIFRS第17号の導入に向けたプロジェクトを開始し、現在、本基準の財務的な影響を分析中である。

4. 連結の基礎及び表示

子会社

ハンデルスバンケンに直接又は間接的に支配されている企業(子会社)はすべて連結されている。当行は、企業への投資から生じるリターンの変動性にさらされているか、又はそのリターンに対する権利を有しており、かつその企業に影響力を及ぼす手段を通じてそのリターンに影響を及ぼすことができる場合に、その企業を直接支配しているとみなされる。原則として、ハンデルスバンケンが株主総会又は同等の会議体において過半数の議決権を保有している場合に、支配が存在するとみなされる。

子会社は取得法に従って連結される。ここで子会社の取得とは、当行グループがその会社の識別可能な資産を取得し、その負債及び義務を引受ける取引を意味している。企業結合の場合、識別可能資産及び負債を取得日の公正価値で評価した取得貸借対照表が作成される。企業結合の対価は、子会社の純資産に対する支払として提供されたすべての資産、負債及び発行した資本性商品の公正価値で構成される。当該企業結合の対価が取得した貸借対照表上の識別可能純資産を超過する剰余部分は当行グループの貸借対照表にのれんとして認識される。取得関連費用は、発生時に認識される。子会社の財務報告は取得日から支配が中止される日まで連結財務諸表に含まれる。グループ内取引及び残高は当行グループの財務報告の作成時に消去される。

企業結合の会計処理では、被取得事業は取得日から当行グループの財務諸表に認識される。取得日とは取得事業体に対する支配関係が開始される日である。取得日は法的に取引が成立した日とは異なる場合がある。

子会社で個別に採用されている会計方針が当行グループで採用されている会計方針と一致していない場合、子会社の連結時に連結財務諸表を修正している。

組成された事業体

組成された事業体とは、支配の有無を決定する際に議決権が決定的な要因とならない、狭義かつ十分に明確化された目的の達成のために組成された事業体である。ハンデルスバンケンが保有する組成された事業体の保有は、ミューチュアル・ファンドの保有に限定されている。

当行がアセット・マネージャーであるファンド及び当行が50%を超える持分を所有するファンドは、連結されている。当行のファンド保有は、貸借対照表の「株式」に公正価値で計上されている。ファンドの公正価値の残余価値は連結され、貸借対照表の「顧客が価値変動リスクを負う資産/負債」に計上されている。20%から50%までの所有権については、例えば、そのファンドが運営を指図する幅広い権限を持ち、かつ、そこから生じる変動リターンの割合が高い場合等、当行が支配持分を有していることを示唆する特定の状況において連結される。

ユニットリンク保険契約によって生じた保有は、当社グループへ変動リターンをもたらすことはないと考えられている。これらの保有は、既存のファンドに対する支配持分が存在するか否かの評価より除外されている。ユニットリンク保険契約によって生じたファンドの保有は、顧客が価値変動リスクを負う資産として認識され、ユニットリンク保険契約に対応する負債は、顧客が価値変動リスクを負う負債として認識される。

非連結の組成された事業体の保有に関する情報については注記G46を参照のこと。

関連会社及びジョイント・ベンチャー

ハンデルスバンケンが重要な影響力を有している会社は関連会社として計上される。重要な影響力とは、会社の財務方針や経営方針の決定に関与する力を持つが、これらを支配していないものである。原則として、重要な影響力は、その会社における議決権の割合が少なくとも20%、最大で50%である場合、又は契約条件により当行が重要な影響力を行使できる場合に存在する。ジョイント・ベンチャーでは、当行は一つまたは複数の当事者と共同支配権を行使する。関連会社およびジョイント・ベンチャーは連結財務諸表において持分法に従って計上される。これは、持分が当初は取得原価で計上されることを意味する。取得日後の帳簿価額は、関連会社またはジョイント・ベンチャーの損益の当行グループの持分を認識することで増加又は減少する。関連会社およびジョイント・ベンチャーからの配当金は当該持分の帳簿価額から控除される。関連会社およびジョイント・ベンチャーの持分利益は、当行グループの損益計算書の個別科目である「関連会社およびジョイント・ベンチャーの持分利益」に計上される。

売却目的で保有する資産及び非継続事業の会計処理

固定資産又は資産グループ（処分グループ）は、帳簿価額が主に売却により回収され、その売却の可能性が高い場合に売却目的保有に分類される。資産が売却目的保有に分類された場合、特別な評価原則が適用される。それによると、主に売却目的で保有する資産及び処分グループは、金融資産及び負債項目を除き（後述の8.を参照のこと）、帳簿価額と売却費用控除後の公正価値のいずれか低い方で測定される。したがって、売却目的で保有する有形固定資産又は無形固定資産は減価償却又は償却されない。減損損失及びその後の再評価は損益計算書に直接計上される。ただし、過年度に計上された減損累計額を超過する利益は認識されない。売却目的で保有する資産及び負債は、売却されるまで当行グループの貸借対照表の個別科目で報告される。

当行グループの他の事業から明確に差別化される重要な独立事業で、上記の方針により売却目的保有に分類されている事業は、非継続事業として認識される。再売却目的のみで取得した子会社もまた、非継続事業に認識される。非継続事業として認識するにあたり、その事業からの収益は損益計算書において他の損益項目とは別の個別科目で計上される。非継続事業からの損益は、非継続事業からの損益（税引後）、非継続事業に含まれる売却目的で保有する資産／処分グループ資産の売却費用控除後の公正価値評価から生じる損益（税引後）、及び非継続事業の処分からの実現損益で構成されている。

5. セグメント報告

セグメント報告は収益／費用及び資産／負債を事業セグメントで分割したものとして表示されている。事業セグメントは当行グループの一部で外部又は内部収益及び費用をもたらす事業を運営するものである。これらの収益／費用はコーポレート・ガバナンスの一環として定期的に上級経営陣により評価及び管理される。セグメント報告の原則は注記G43で詳しく説明されている。

6. 外貨建資産及び負債

連結財務諸表は当行グループの表示通貨であるスウェーデン・クローネで表示されている。スウェーデン以外の当行グループ事業の機能通貨は、通常当行グループの表示通貨と異なっている。事業が主に運営されている経済環境で使用されている通貨が機能通貨とみなされる。

機能通貨以外の通貨建て取引の換算

機能通貨以外の通貨（外貨）建ての取引は、当初に取引日の実勢レートで機能通貨へ換算される。公正価値で測定される外貨建貨幣性項目及び外貨建非貨幣性項目は、貸借対照表日に当日の終値で換算される。公正価値で測定される貨幣性項目及び非貨幣性項目の為替換算損益は、金融取引に係る外貨換算影響額として損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。

「その他包括利益を通じて公正価値で評価するもの」として分類されている非貨幣性項目から生じる換算差額は、「その他包括利益」の構成要素として計上され、資本に累積される。在外営業活動体への純投資の一部を構成している貨幣性項目を換算する際の換算差額は同じ方法で認識される。

在外営業活動体の当行グループの表示通貨への換算

支店を含めて在外事業体の貸借対照表及び損益計算書を機能通貨から当行グループの表示通貨に換算する際には、期末日レート法が使用されている。これは、資産及び負債が終値で換算されることを意味している。資本は、投資時又は稼得時に適用されるレートで換算される。損益計算書は年間平均レートで換算される。換算差額はその他包括利益に計上され、資本の為替換算調整準備金に含まれる。

7. 貸借対照表に計上される金融商品の認識及び認識中止

資本性商品並びに短期金融市場商品及び資本市場商品のスポット市場での取得及び売却は、契約が締結された日である取引日に認識される。同様のことがデリバティブにも適用される。その他の金融資産及び金融負債は通常決済日に認識される。

金融資産は、その資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が失効する、又はその資産に関するすべてのリスク及び経済的便益が他の当事者に移転した際に貸借対照表から認識中止される。金融負債は、義務が履行される、終了する、又は取消された際に貸借対照表から認識中止される。

金融商品を貸借対照表に認識する方針は、買戻取引、証券貸付及びリースの会計処理の場合は特に重要である（これらの論点については個別のセクションを参照のこと。）。

8. 金融商品

測定区分

IFRS第9号に基づき、すべての金融資産は以下のいずれかの測定区分に分類される。

1. 償却原価
2. その他包括利益を通じて公正価値で測定
3. 純損益を通じて公正価値で測定
 - a. 強制的
 - b. 公正価値オプション

金融資産を個々の測定区分に分類するにあたっては、金融商品の管理に関する企業の事業モデルの評価から始めると同時に、当該金融商品の契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみであるかの判断が必要となる。

金融負債は以下の区分に分類される。

1. 償却原価
2. 純損益を通じて公正価値で測定
 - a. 強制的
 - b. 公正価値オプション

原則として、金融負債は償却原価で計上される。例外は、デリバティブなどの、純損益を通じて公正価値で測定することが求められている金融負債、及び当初認識時に公正価値で測定するものとして取消不能で特定されている負債（公正価値オプション）である。

貸借対照表の同一科目で認識される金融資産及び負債は、異なる測定区分に分類されることがある。これについては注記G38を参照のこと。

当初認識時には、すべての金融資産及び金融負債が公正価値で測定される。純損益を通じて公正価値で測定される資産及び負債の取引費用は、取得日に損益計算書に認識される。その他の金融商品については、取引費用は取得原価に含まれる。

事業モデルの評価

金融資産の管理に関する事業モデルは、測定区分の分類を定めている。事業の管理方法や当行の経営者に対する情報の報告方法、経営者による情報の評価方法が最も的確に反映されるため、事業モデルはポートフォリオ単位で決定される。ポートフォリオの事業モデルの加重評価を行う際の重要な情報には、確立した指針やポートフォリオの目的、それらの実務への適用方法、ポートフォリオのパフォーマンスに影響を及ぼすリスク、リスクの管理手法に加え、ポートフォリオの金融資産の売却に関する頻度、規模、理由及び時期などが含まれる。

契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみであるかの評価

契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみから構成されるか否かの評価は、測定区分の分類にあたって重要である。この評価における「元本」とは、当初認識時の金融資産の公正価値であると定義される。「利息」とは貨幣の時間価値、信用リスク、その他の基本的な貸出リスク（流動性リスク等）、費用（管理費用等）、利益の対価であると定義される。

金融資産の契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみであるかどうかを判定する際に、金融資産の契約条件が検討される。契約上のキャッシュ・フローの時期や金額の変更、貨幣の時間価値への対価の修正、レバレッジの発生、又は期限前償還及び期限延長の追加費用が発生し得る契約上の条件が存在する場合、当該キャッシュ・フローは元本及び利息の支払のみではないものとして評価される。

償却原価

以下の両方の条件を満たす場合、金融資産は償却原価で測定される。

- ・事業モデルの目的が契約上のキャッシュ・フローを回収することである
- ・契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみである

償却原価で測定する区分で認識される金融資産は、上記の条件を満たす貸出金及び利付証券から構成される。これらの資産は減損テストの対象となる。償却原価で測定するカテゴリーで認識される金融負債は、主に金融機関からの預り金、一般顧客からの預金並びに借入金、及び発行証券などの負債などである。

償却原価は、その商品に関する将来のキャッシュ・フロー全額を取得時における実効金利で割引いた現在価値である。償却原価で測定される金融商品に関する金利及び信用減損は、損益計算書の「純利息収益」及び「信用損失」の項目にそれぞれ計上される。

期限前償還される貸出金の早期償還手数料及び当行が発行した証券の買戻しによって生じたキャピタルゲイン/ロスは、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。外貨換算影響額も「金融取引による純損益」に計上される。

その他包括利益を通じて公正価値で測定

次に示すいずれの条件も満たす場合、金融資産はその他包括利益を通じて公正価値で測定される。

- ・事業モデルの目的が契約上のキャッシュ・フローの回収と資産の売却の両方である。

・契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみである。

上記の条件を満たす当行の流動性ポートフォリオにおける利付証券は、その他包括利益を通じて公正価値で測定する区分に認識される。これらの資産は減損テストの対象となる。利息収益は「純利息収益」に計上され、外貨換算影響額及び信用損失は「金融取引による純損益」に計上される。未実現価値変動はその他包括利益で認識され、売却に伴い損益計算書の「金融取引による純損益」の項目に振り替えられる。

トレーディング目的保有ではない資本性金融商品は、当初認識時にその他包括利益を通じて公正価値で測定されるものへ、取消不能の分類を行うことも可能である。当初認識時以降に発生する為替差損益等を含む実現及び未実現価値変動は、その他包括利益に計上される。実現価値変動は損益計算書ではなく利益剰余金、すなわち資本内で振り替えられる。これらの保有から生じる配当収益のみが損益計算書に計上される。この評価原則は、当行に対する支援業務を行う企業の特定の株式保有に適用される。例えば、これらは清算機関に対する参加持分の場合もあれば、当行の国内市場におけるインフラ関連の協業に対する参加持分の場合もある。これらの株式保有は長期間にわたり、概ね毎年変化することがない。

純損益を通じて公正価値で測定（強制）、

金融資産が償却原価で測定する条件もその他包括利益を通じて公正価値で測定される条件も満たしていない場合、強制的に純損益を通じて公正価値で測定される。

トレーディング目的保有の金融資産及び金融負債は、公正価値で管理され評価される金融資産と同様に、常に純損益を通じて公正価値で測定するものに区分される。

「純損益を通じて公正価値で測定（強制）」という測定区分は、主に上場株式、ミューチュアル・ファンドのユニット、利付証券及びデリバティブで構成される。これらの金融商品に係る利息、配当、外貨換算影響額、並びに実現及び未実現評価差額は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。ヘッジ会計を通じたデリバティブの認識については、セクション11を参照のこと。

純損益を通じて公正価値で測定、公正価値オプション

指定を行わない場合に資産の測定から生じる測定又は認識の不整合（以下、「会計上のミスマッチ」という。）を解消又は大幅に低減する場合には、当初認識時に、金融資産を純損益を通じて公正価値で測定するものとして取消不能の指定をすることができる。

同様に、以下のいずれかの条件を満たす場合に、当初認識時に、金融負債を純損益を通じて公正価値で測定するものとして取消不能の指定をすることができる。

- ・指定を行わない場合に負債の測定から生じる測定又は認識の不整合（会計上のミスマッチ）を除去又は大幅に低減する場合
- ・金融負債のグループ又は金融資産と金融負債のグループが、文書化されたリスク管理戦略又は投資戦略に従って、公正価値ベースで管理され業績評価されており、当該商品に関する情報が、当行経営者に対して社内的にそのベースで提供されている場合

この評価原則は、経済的ヘッジによりヘッジされるユニットリンク保険契約による負債や流動性ポートフォリオの一部持分等の、互いに反対ポジションとなりポートフォリオベースで管理される資産と負債を測定する際の不整合を回避するために適用されている。

公正価値オプションにより純損益を通じて公正価値で測定される金融商品の実現及び未実現価値変動は、「金融取引による純損益」に計上される。これらの商品に起因する利息は「純利息収益」に計上される。

金融商品の分類変更

原則として、金融資産が当初認識以降に分類変更されることはない。分類変更は、当行が金融資産のポートフォリオを管理するための事業モデルを変更する稀な場合に認められる。当初認識後の金融負債の分類変更は認められない。

金融保証及び貸出コミットメント

金融保証は、保証の保有者に生じた損失の払戻を保証の発行者に求める契約である。ここで保証の保有者に生じた損失とは、例えば、信用保証のように負債性金融商品（貸出金及び利付証券）の条件に従った所定の支払を債務者が行わなかったことにより生じるものである。保証の公正価値は、発行時に受領したプレミアムと同額である。当初認識時に、この保証に対して受領したプレミアムは貸借対照表の「未払費用及び繰延収益」の項目に負債として計上される。その後この保証は、償却後プレミアム又は予想損失引当金のいずれか高い方で測定される。発行された金融保証に関するプレミアムは保証の有効期間にわたり、「純手数料及びコミッション収益」の項目で償却される。さらに、発行した保証に関連する保証金額の合計は、偶発債務としてオフバランス処理される（詳細については注記G41を参照のこと）。

購入した金融保証のプレミアムは、保証される負債性金融商品の利息が純利息収益に認識されている場合は利息収益の減少として見越計上される。

貸出コミットメントはその貸出の実行までオフバランス項目として報告される（詳細については注記G41を参照のこと）。貸出コミットメントに対して受領した手数料は、そのコミットメントの期間にわたり純手数料及びコミッション収益として計上される。但し、そのコミットメントが実行される可能性が高い場合、受領した手数料はその貸出金の実効金利に含められる。金融保証及び取消不能の貸出コミットメントは減損テストの対象となる。

複合金融商品

複合金融商品は、組込デリバティブ及びデリバティブでない主契約から構成されている。複合商品のキャッシュ・フローの一部は、単独のデリバティブのキャッシュ・フローと同様に変動する。

複合金融商品の主契約が金融負債である場合、組込デリバティブは、以下すべての条件に該当するときに、主契約から分離しデリバティブとして計上しなければならない。

- ・組込デリバティブの経済的特徴及びリスクが、主契約の経済的特徴及びリスクに密接に関連していないこと
- ・組込デリバティブと同一条件の独立の金融商品ならば、デリバティブの定義に該当すること
- ・複合金融商品が純損益を通じて公正価値で測定されるものではないこと

そのため、純損益を通じて公正価値で測定される金融負債に組み込まれているデリバティブは個別に認識されない。

上述の組込デリバティブを主契約から分離した会計処理は、エクイティ・リンク債及びその他の仕組商品の発行の際等に適用される。

金融資産が主契約である複合金融商品には、組込デリバティブを主契約から分離する会計処理は行わない。契約上のキャッシュ・フローが元本と利息の支払のみであるかどうかを判定する際には、組込デリバティブを含む金融資産全体としてみなされる。

発行済み転換可能負債性金融商品の転換オプション部分に固有の価値は、区分して資本に計上される。資本部分の価値は、転換可能負債性金融商品全体の公正価値から負債部分の公正価値を差し引いたものとして発行

時に決定される。資本部分の帳簿価額は、転換可能負債性金融商品の満期までの間に修正されることはない。負債部分は発行時に貸借対照表上公正価値で認識され、当初認識後、当初の実効金利による償却原価で計上される。

買戻契約及び売戻契約

買戻契約又はレポ取引は、当事者が特定の証券を売却すること及びその証券を事前に決められた価格で買い戻すことを同時に合意する契約である。当行グループが契約期間中、当該証券の評価額の変動リスクにさらされていることから、レポ取引（買戻契約）で売却された証券は、取引期間にわたり貸借対照表に計上される。また、売却された金融商品は、オフバランスシート項目の差入資産として計上されている。受領した代金は、取引相手によって「金融機関からの預り金」又は「一般顧客からの預金及び借入金」として計上される。レポ取引（売戻契約）で買入れた証券は、これと対称的な方法で会計処理される。すなわち、これらは当該取引の契約期間にわたり貸借対照表に計上されない。支払った代金は、取引相手によって「中央銀行へのその他の貸出金」、「その他の金融機関への貸出金」又は「一般顧客への貸出金」として計上される。買戻契約に基づき売却された受入担保は、オフバランスシート項目のコミットメントとして計上される。

有価証券借入及び貸付契約

当行グループが引き続き証券の評価額の変動リスクにさらされているため、貸付証券は引き続き貸借対照表に計上され、同時にオフバランスシート項目の担保資産として計上される。借入証券は、売却される場合（空売りという）を除き、貸借対照表に計上されない。売却された場合、売却された商品の公正価値に相当する価値が負債に計上される。第三者に貸与されている借入証券は、オフバランスシート項目のコミットメントとして計上されている。

デリバティブ商品

デリバティブは全て貸借対照表に公正価値で計上される。プラスの公正価値を有するデリバティブは、デリバティブ商品として資産計上される。マイナスの公正価値を有するデリバティブは、デリバティブ商品として負債計上される。デリバティブに係る実現及び未実現損益は、「金融取引による純損益」として損益計算書に計上される。ヘッジ会計によるデリバティブの認識についてはセクション11を参照のこと。

金融資産と金融負債の相殺

金融資産と金融負債は、当行が、営業活動や破産の状況下において、相殺できる契約上の権利を有しており、純額で決済を行うか、同時に資産を処分し負債を決済する意図がある場合に、貸借対照表上で相殺される。金融資産と金融負債の相殺に関する詳細については注記G22を参照のこと。

9. 金融資産及び金融負債の公正価値測定の原則

公正価値とは、独立の市場参加者間の秩序ある取引において、資産を売却することで受け取るであろう価格又は負債を移転することで支払うであろう価格と定義される。

活発な市場で取引されている金融商品の公正価値は、市場相場価格と同一である。活発な市場とは、相場価格を規制市場、決済機関、信頼性のある情報サービス又は同等のものから容易にかつ定期的に入手可能であり、価格情報が継続的な取引の発生により検証可能な市場である。最新の市場価格は、買呼値と売呼値の範囲内で、その状況において公正価値を最もよく表す価格である。当行がその市場リスクを正味エクスポージャーに基づき管理している金融商品グループの最新の市場価格は、その正味エクスポージャーが処分される場合に受け取るであろう価格又は支払うであろう価格と同一であると仮定されている。

金融商品の市場価格に関して信頼できる情報がない場合には、公正価値は評価モデルを使用して算定されている。使用する評価モデルは、基本的に市場金利や株価等の市場において観察可能な変数を用いて検証可能なインプット・データを基礎としている。必要な場合には、市場関係者が価格設定の際に考慮に入れることが見込まれるその他の変数の調整も行われている。評価に使用される仮定は、内部で発生した実績に基づいており、継続的にリスク管理部門によって見直される。その結果は、仮定及び予測モデルの適用が必要かどうかを確認するために実際の結果と比較される。

利付証券

政府が発行する利付証券及びスウェーデンの抵当証券は最新の市場価格を使用して評価される。社債の評価には評価技法を使用し、同じ満期の市場利回りを信用リスク及び流動性リスクで調整したものに基づいて評価される。評価は最新の市場価格が反映されていることを確認するために定期的に検証される。検証は主に、複数の独立した価格提供機関から価格を入手し、同一又は類似商品における最近の取引との調整により実施される。

株式

活発な市場に上場している株式は市場価格で評価される。レベル3の株式や参加持分を評価する際には、その個々の商品に適切とみなされるモデルを選択する。レベル3の株式保有は、主に当行への支援業務を行う企業の株式である。レベル3の株式はすべての重要な点からみて、その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものとして分類される。このようなポートフォリオは、一般的にその事業の純資産価値に対する当行の持分によって評価されている。契約により株式の売却価格が定められているレベル3の株式については、事前に決定された売却価格で評価される。

プライベート・エクイティ・ファンドのレベル3の株式を評価する場合には、欧州ベンチャー・キャピタル・アンド・プライベート・エクイティ・アソシエーション (EVCA) で採用された評価原則が使用される。これらのモデルにおいては、同じセクターの比較可能な上場会社との比較評価から投資の市場価値を算出している。投資及び比較会社間の比較を妨げる損益項目については調整が行われ、投資の価値はP/E及び EV/EBITA等の収益率を基礎として算定される。保険事業における投資資産の一部を構成するプライベート・エクイティ・ファンドに対する持分の価値変動及びキャピタルゲインは、損益計算書に直接計上されず、保険事業における利回り分割の計算基礎に含められる。詳細についてはセクション13を参照のこと。

デリバティブ

活発な市場で取引されているデリバティブは、市場価格で評価される。当行グループの金利スワップや多くの種類の定型的な通貨デリバティブを含むデリバティブ契約の大部分は、市場金利及びその他の市場価格を基礎とする評価モデルを使用して評価される。活発に取引されていない非定型的なデリバティブ契約の評価もまた、ボラティリティ等の市場に基づくインプット・データに関する合理的な仮定を基礎としている。

デリバティブをモデルで評価する際には、場合によっては取引価格と当初認識時に評価モデルで測定した価値との間に差額が存在することもある。両者の差額は使用した評価モデルにおいて、デリバティブの価値に影響する要素のすべてが完全に織り込まれていない場合に発生する。取引価格と評価モデルによって測定された価値との正の差額 (取引日利得/損失) は、当行の利益率と、例えば資本コストや管理費を補填する報酬により構成される。取引日のプラスの未実現利益は、当初認識時には損益に認識されず、デリバティブの契約期間にわたって償却される。

2019年度までは、当行は、モデル評価を行っている未決済のデリバティブのすべての信用リスク要素 (カウンターパーティ・リスク (信用評価調整 (CVA)) と自己の信用リスク (負債評価調整 (DVA)) の両方) を、

継続的に独自で評価する必要がある手法を適用してきた。信用リスクの変化による公正価値の変動は、その全体の影響額が未認識の取引日利得/損失を上回る額のみ、純損益に認識されていた。2020年度から、当行は、CVAとDVAの変動を継続的に取引レベルで認識し、その変動を損益計算書及び貸借対照表上のデリバティブの公正価値の一部として認識する、新たな手法を導入した。同時に、CVA算定モデルの再評価が行われ、ヒストリカルPDのみを用いるモデルから、マーケット・インプライドPDを用いるモデルへ変更された。この変更は、将来に向かって財務報告に影響を及ぼす。2020年1月1日現在、CVA及びDVA算定の新モデルへの移行の初期の影響は134百万スウェーデン・クローネのマイナスであり、当行の第1四半期の利得/損失に影響を与えた。収益に対するマイナスの影響額の一部は、CVAに起因する未認識の取引日利得/損失の一部である87百万スウェーデン・クローネの戻入により部分的に相殺された。未認識の取引日利得/損失の残りの部分は、CVAとDVAの継続的な報告手法の導入を受けて、前述の通り、デリバティブ期間にわたり償却される。

顧客が価値変動リスクを負う資産及び負債

顧客が価値変動リスクを負う資産は、主にユニットリンク保険契約の持分である。これらの持分はファンドの最新の市場価値（NAV）を使用して評価される。各資産は顧客が価値変動リスクを負う負債に対応している。これら負債の評価は資産の評価を反映している。保険契約者/持分保有者は資産に対する優先権を有しているため、その評価について信用リスク調整を行う必要はない。顧客が価値変動リスクを負う資産及び負債は基本的に、純損益を通じて公正価値で測定されるものに分類されている。

10. 信用損失

予想信用損失

IFRS第9号で規定される減損規則は、償却原価で測定される金融資産、その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産、並びに金融保証及び取消不能の貸出コミットメントに適用され、予想信用損失（ECL）の認識モデルに基づいている。このモデルは、引当金が、報告日において過大なコストや労力を掛けずに利用可能な合理的で裏付け可能な情報を考慮し、一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定される、偏りのない確率加重金額を反映したものでなければならないと規定している。この評価は、過去、現在及び将来の要因を考慮したものである。

減損テストが行われる資産は、信用の毀損程度によって3つのステージに区分される。

- ・ ステージ1には、信用リスクが当初認識以降著しく増大していない資産が含まれる。
- ・ ステージ2には、信用リスクが当初認識以降著しく増大している資産であるが、報告時点で当該債権が信用減損しているという客観的な証拠がない金融資産が含まれる。
- ・ ステージ3には、当該債権が信用減損していることを示す客観的な状況が識別された金融資産が含まれる。信用減損した資産の定義については、以下のデフォルト/信用減産資産の項目を参照のこと。

ステージ1では、デフォルトの結果12カ月以内に発生すると予想される損失に対応した引当金が認識される。ステージ2及び3では、デフォルトの結果、当該資産の残存期間全体のある時点で発生すると予想される損失に対応した引当金が認識される。

ステージ1及びステージ2の債権には、モデルベースの算定法を用いた、当行グループ全体の集中管理型のプロセスが実施される。このプロセスでは、全ての債権について、当初認識（契約開始日）以降信用リスクが著しく増大したか否かの評価が最初に行われる。信用リスクの著しい増大の内容の詳細については注記G2の「信用リスク」のセクションを参照のこと。各減損ステージの引当金は個別に算定される。ステージ3でモデル算定による引当金を積んだ同種の債権からなる少額のポートフォリオ以外のステージ3債権には、マニュアルの算定

が行われる。各報告日ごとに、モデルベースの算定対象になるか、又はマニュアルの算定対象になるかについて、債権ごとに評価が行われる。

予想信用損失の算定は、主にリスク・パラメーターであるデフォルト確率（以下、「PD」という。）、デフォルト時エクスポージャー（以下、「EAD」という。）及びデフォルト時損失率（以下、「LGD」という。）の影響を受ける。予想信用損失は、債権の予想最終返済日までのPD、EAD及びLGDを算定することにより決定される。この3つのリスク・パラメーターは、残存確率又は信用エクスポージャーがデフォルトしていない、もしくは期限前返済されている確率を乗じて調整される。次に、予想信用損失推計額は、当初の実効金利を用いて報告日までの期間を割引され、合計して算定される。ステージ1の信用損失合計は、今後12カ月のデフォルト確率を用いて算定される。ステージ2とステージ3の信用損失は、資産の満期までの残存期間のデフォルト確立を用いて算定される。

モデルベースの算定

予想信用損失の算定には、各国別の失業率、主要行又は中央銀行の金利、国内総生産（GDP）、インフレ率、不動産価格といった関連するマクロ経済上のリスク要因を勘案した、少なくとも3つのマクロ経済シナリオ（基本（中心）シナリオ、上昇シナリオ、下降シナリオ）を用いている。さまざまなシナリオがリスク・パラメーターの調整に用いられる。すべてのマクロ経済シナリオに確率が当てはめられ、各シナリオの予想信用損失の確率加重平均として予想信用損失が算定される。

ステージ1、ステージ2（及びステージ3の同種の債権からなる小規模のポートフォリオ）債権の予想信用損失の算定に用いるモデルに関する追加情報のほか、PD、EAD、LGD、予想満期、信用リスクの著しい増大及びマクロ経済情報に関する概念の説明については注記G2の「信用リスク」セクションを参照のこと。予想信用損失の感応度分析については注記G10を参照のこと。

マニュアルの算定

ステージ3資産に対しては、個別にマニュアルの算定を用いた減損テストが行われる（ステージ3に分類され、モデル算定による引当金を積んだ同種の債権からなる少額のポートフォリオを除く）。この減損テストは、業務責任を有する各地の支店（顧客及び与信の所管部署）により定期的実施されるほか、各報告日にも実施され、各地域及び本部の与信部門により判定される。

減損テストはデフォルトの定義に従い、カウンターパーティが契約上の義務を履行できなくなる可能性を示す客観的な状況が存在する際に実施される。このような客観的な状況には、支払遅延又は不払、内部格付の変更、もしくは借手の破産の可能性等がある。

減損テストは将来キャッシュ・フロー及び担保価値（保証を含む）の見積りを伴う。カウンターパーティの返済能力と担保価値の双方に基づき、通常、最低でも二つの予想キャッシュ・フローの将来予測的なシナリオを考慮する。これらのシナリオの結果は確率加重され、貸出の当初の実効金利で割引かれる。個々のカウンターパーティの返済能力及び担保価値に影響を及ぼすとみられる内容により、用いられるシナリオではマクロ経済上の要因及び債権特有の要因を考慮する可能性がある。この評価では個々のカウンターパーティの特性を考慮に入れている。見積回収可能価額が帳簿価額を下回る場合に減損損失が認識される。

エキスパートベースの算定

モデルで考慮されなかったと考えられる要因の影響（ステージ1とステージ2債権及びステージ3の同種の債権からなる少額のポートフォリオの場合）又はマニュアルの算定で考慮されていない要因の影響（ステージ3債権の場合）を織り込むために、エキスパートベースの算定が信用損失に対して行われる。モデルベースの算定は、引当必要額全体に対する個別の要因の影響をできるだけ正確に見積もるという意向に基づくものである。

しかし、個々の債権に係る全ての特性を一般的なモデルに織り込むことは極めて難しい。この理由から、全体の引当必要額への影響が大きい債権について、マニュアルによる分析が行われる。このマニュアルによる分析は、モデルベース又はマニュアルの算定をエキスパートベースの算定に置き換える必要があるか評価する際に、個々の与信に関するエキスパートの知識を生かすことを意図している。エキスパートベースの算定により、引当必要額が当初の算定を上回るか下回るかを判定する。

また、サブ・ポートフォリオ又は類似のポートフォリオに対するモデルベースの算定を調整するため、エキスパートベースの算定がより集約したレベルで実施される場合もある。これらの調整は関連債権に対し、按分して行われる。エキスパートベースの算定により、引当必要額が当初の算定を上回るか下回るかを判定する。

信用損失の認識と表示

- ・償却原価で測定される金融資産は、予想信用損失控除後の純額で貸借対照表に計上される。
- ・オフバランスシート項目（金融保証及び取消不能の貸出コミットメント）は額面金額で認識される。これらの金融商品に対する予想信用損失引当金は貸借対照表上、引当金として計上される。
- ・その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産は、貸借対照表上公正価値で計上される。これらの金融商品に対する予想信用損失引当金は資本の公正価値評価差額準備金で認識されるため、当該商品の帳簿価額は減額されない。
- ・償却原価で測定される金融資産及びオフバランスシート項目に関する当期の信用損失（予想及び実績）は、損益計算書の「信用損失」の項目に計上される。「信用損失」の項目は前期の予想信用損失引当金戻入額控除後の当期の予想信用損失引当金繰入額、並びに当期の償却額及び回収額で構成されている。
- ・その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産に関する当期の信用損失（予想及び実績）は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。
- ・償却額は、実際の信用損失からステージ3（債権）に係る前期の予想信用損失引当金戻入額を控除したもので、金融資産全体又は一部にかかることがある。実質的に返済可能性がなくなった場合に償却が計上される。通常、償却後も借手及び保証人に対する債権は存続し、その後は原則として強制執行の対象となる。破産管財人により破産に関連した資産整理に関する最終報告書が提出された場合、債務整理計画が承認された場合又は債権全体が放棄された場合などの特定の状況においては、強制執行は行われない。金融資産のリストラクチャリング（再編）に関してコンセッション（譲歩）が認められた債権は、常に実際の信用損失として計上される。
- ・償却された金融資産に関する当行への支払は、「（償却債権）取立益」として収益計上される。

信用損失に関する詳細情報は注記G10に記載されている。

デフォルト又は信用減損した資産

当行のデフォルトの定義は、自己資本規制（CRR）で用いられる定義と同一であり、カウンターパーティが90日間超支払を遅延している、又はカウンターパーティが契約上の支払義務を履行できないという評価を下された、のいずれかである。かかる評価は、借手が返済を行えなくなる可能性のほうが高いとみなされていることを示している。この評価では、借手の返済能力に関するすべての利用可能な情報を根拠としている。不十分な流動性、支払の遅延や取消、不払の記録、又は返済能力の毀損に係る他の兆候などの支払不能の指標を考慮に入れている。他の前兆には、借手の破産、又は借手に対する当行の債権額の減少を伴う大幅なコンセッション（譲歩）が認められることなどが考え得る。

デフォルト確率は各報告日前に算定され、ステージ1及びステージ2の金融資産の予想信用損失の算定とともに、当初認識以降、信用リスクの著しい増大があったかどうかについての評価に組み込まれる。

信用減損した金融資産はステージ3のエクスポージャーであり、デフォルトしたエクスポージャーと定義されている。これは、会計上の評価が当行グループの信用リスク管理に用いられる評価と一致していることを意味している。

利息

ステージ1及びステージ2では、貸借対照表の項目に起因する利息収益の認識は総額ベースによる。これは、利息収益の全額が「純利息収益」として認識されることを意味する。

ステージ3では、利息収益は減損を考慮した純額で認識される。予想される支払までの期間が短くなることで割引効果が減少する金利効果により、過去に引き当てられた金額の戻入れが発生するが、このような金利効果は、実効金利法により利息収益に計上される。

債権の保全のために担保権が実行された不動産及び器具備品の評価

担保権が実行された不動産及び器具備品は当初認識時に公正価値で貸借対照表に計上される。担保権が実行された不動産及び器具備品のうち、近い将来に処分が予想されるもの（担保権が実行されたリース資産を含む）は、帳簿価額又は公正価値（売却費用控除後）のいずれか低い方で評価される。近い将来に処分される見込みのないものについては、純損益を通じて公正価値で評価される投資不動産として計上される。債権の保全のために譲り受けた非上場株式は、通常純損益を通じて公正価値で計上される。

条件変更された金融資産

フォーベアランス（条件緩和）又は商業上の再交渉の結果、キャッシュ・フローを決定する条件及び規定が当初の契約から変更されている場合、貸出が条件変更されたとみなされる。フォーベアランス（条件緩和）は、リストラクチャリングや他の財務上の救済措置に伴う、貸出条件を変更することをいう。この変更は、財政難にある債務者からの返済の全額保全又は貸出残高の返済を最大化する目的で実施される。商業上の再交渉は、返済又は金利に関する市況の変化に伴う貸出のキャッシュ・フローの変更など、債務者の財政難とは関連のない貸出条件の変更をいう。

償却原価で測定するものに分類された金融資産によるキャッシュ・フローが条件変更されたものの、キャッシュ・フローが著しく変動していない場合、通常は、条件変更により当該金融資産が貸借対照表から認識中止されることはない。この場合、当該金融資産の変更後のキャッシュ・フローを基に帳簿価額総額が再計算され、調整額が損益計算書に計上される。

条件変更の実施にはさまざまな理由はあることから、条件変更と信用リスク評価との間に必ず関連性があるといったことはない。金融資産がフォーベアランス（条件緩和）措置の対象となり、引き続き貸借対照表に計上される場合、コンセッション（譲歩）が認められた際の評価結果に基づき、当該金融資産はステージ2又はステージ3に分類される。この評価には、信用損失に対して引当金を積む必要があるか、又は（債権が）ステージ3に分類されることになるような他の状況があるかどうかの確認が含まれる。

キャッシュ・フローが著しく変化する方法で金融資産が条件変更される場合、条件変更された金融資産は貸借対照表から認識中止され、新たな債権に置き換えられる。このような場合、条件変更日は新債権の当初認識日となり、予想信用損失の計算及び当初認識以降信用リスクが著しく増大したかを評価する場合にはこの条件変更日が用いられる。

11. ヘッジ会計

ハンデルスバンケンはIFRS第9号の移行規定に従い、IAS第39号に規定されているヘッジ会計規則を継続適用することを選択した。当行グループはヘッジ会計について、ヘッジ目的に応じた異なる方法を採用している。デリバティブ（主に金利スワップ及びクロスカレンシー金利スワップ）がヘッジ手段として用いられているが、さらに、在外営業活動体への純投資に関する為替リスクをヘッジする場合には、対象となる在外営業活動体の機能通貨による負債がヘッジ手段として用いられている。当行グループのヘッジ戦略の一つとして、ヘッジ手段の価値変動は、個別の構成要素に分割され複数のヘッジ関係に含まれることがある。したがって、単一、又は同じヘッジ手段が異なるリスクをヘッジすることができる。ヘッジ手段の分割は、ヘッジされるリスクを明確に特定することが可能なこと、その効果を信頼性をもって測定することが可能なこと、及びヘッジ手段の価値変動合計がいずれかのヘッジ関係に含まれている場合に限り行われる。

キャッシュフロー・ヘッジは変動金利による貸出金及び資金調達の金利変動によるキャッシュ・フローの変動に対するエクスポージャーを管理するために採用される。このタイプの貸出金及び資金調達の予想満期は、非常に短期である金利調整期間よりも、通常は長期となる。キャッシュフロー・ヘッジは、貸出金及び資金調達の将来キャッシュ・フローにおける為替リスクのヘッジにも用いられる。グループ内の貨幣性項目から生じる為替リスクも、連結の際に全額相殺消去されない為替エクスポージャーをもたらす場合には、キャッシュフロー・ヘッジの対象となる。キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段であるデリバティブは公正価値で測定される。そのデリバティブの価値変動が効果的に、すなわちヘッジ対象の将来キャッシュ・フローと連動する場合、そのデリバティブの価値変動はその他包括利益の構成要素、及び資本のヘッジ準備金に計上される。そのデリバティブの価値変動のうち非有効部分は、「金融取引による純損益」として損益計算書に計上される。キャッシュフロー・ヘッジが途中で終了する場合、過去にその他包括利益に認識されていたヘッジ手段に係る累積利益又は損失はヘッジされたキャッシュ・フローの発生が見込まれる期間にわたって「金融取引による純損益」で償却される。キャッシュフロー・ヘッジが途中で終了し、ヘッジされたキャッシュ・フローの発生が今後見込まれなくなった場合には、累積された価値変動はヘッジ準備金から「金融取引による純損益」へ振り替えられる。

公正価値ヘッジは、市場価格が変動することにより、損益に生ずる望ましくない影響から当行グループを保護するために使用される。公正価値ヘッジは個別資産及び負債並びに金融商品ポートフォリオで採用されている。公正価値ヘッジのヘッジ対象リスクは、固定金利による貸出金並びに借入にかかる金利及び為替リスク、また金利キャップが付された貸出金で構成されている。これらのヘッジ関係におけるヘッジ手段は、金利スワップ、クロスカレンシー金利スワップ及び金利オプションで構成される。公正価値ヘッジの場合、ヘッジ手段及びヘッジ対象リスクの両方が公正価値で認識され、価値の変動は損益計算書の「金融取引による純損益」に直接計上される。ポートフォリオ・ヘッジが適用される場合、ヘッジ対象項目の価値は、「一般顧客への貸出金」とは区別し別項目として貸借対照表に計上される。公正価値ヘッジが途中で中止された場合、ヘッジ対象に生じた価値変動計上額は満期までの期間にわたって「金融取引による純損益」で償却される。公正価値ヘッジが途中で中止され、ヘッジ対象が存在しなくなった場合、発生した価値変動は「金融取引による純損益」に直接戻し入れられる。途中で中止されたポートフォリオ・ヘッジに係る価値変動の累積額は、貸借対照表上「その他資産」に計上される。

海外ユニットにおける純投資ヘッジは、海外事業の為替レートの変動から当行グループを保護するために採用されている。クロスカレンシー金利スワップ及び外貨建借入金ヘッジ手段として用いられている。これらのヘッジにおけるヘッジ対象は直接投資の形式による純投資及び予見可能な将来に決済することが予定されていない海外事業に対する債権で構成されている。在外営業活動体における純投資をヘッジするために実施された外貨建借入金は、貸借対照表日の為替レートで当行グループ貸借対照表に計上される。このような借入金の為替差額の有効部分は「その他包括利益」の構成要素として計上され、かつ、資本の為替換算調整準備金に計

上される。海外事業に対する債権の為替リスクをヘッジするクロスカレンシー金利スワップの価値変動の有効部分は同様の方法で計上される。在外営業活動体における純投資ヘッジの非有効部分は損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。

金利指標改革

金利指標改革に直接影響を受けるすべてのヘッジ関係について、特定のヘッジ会計要件の適用を免除する一時的な救済措置が設けられている。一時的な救済措置の目的は、金利指標改革から生じる不確実性のみを理由として有効なヘッジ関係が中止されることを防ぐことにある。ヘッジ関係への直接的な影響は、ヘッジ対象のリスク及び/又はヘッジ対象又はヘッジ商品の指標金利に基づくキャッシュ・フローの時期や金額に不確実性が生じる場合にのみ、存在する。指標金利に関する不確実性は、どの金利を代替金利とするか、個別の契約への影響の特定を含め、本改革が実施されるかどうかやその実施時期が決定されるまでの期間にわたって継続する。詳細については、注記G21の「ヘッジ会計、金利指標改革」を参照のこと。

12. リース

当行が貸手の場合

貸手はすべてのリースをファイナンス・リース又はオペレーティング・リースのいずれかに分類しなければならない。ファイナンス・リースは、リース資産の法的所有権に付随する実質的にすべてのリスク及び経済的価値を貸手から借手に移転するものである。他のリースはオペレーティング・リースに分類される。当行グループが貸手であるすべてのリースはファイナンス・リースに分類されている。この種類のリース契約は、契約当初の純投資相当額で貸借対照表に貸出金として計上される。受取リース料は継続的に利息収益又は元本の返済として認識される。

IFRS第9号に従い、ファイナンス・リースの正味リース投資未回収額は、償却原価で測定される金融資産と同様に減損テストの対象となる。

当行が借手の場合

リース契約の開始日に、借手はリース負債と使用権資産を認識する。リース負債は、当初は当行の追加借入利率で割り引かれた将来のリース料の現在価値で認識される。リース負債の評価に含まれるリース料は、主に固定リース料及び指数に連動した変動リース料で構成される。使用権資産は当初は取得原価で計上されるが、これはリース負債、前払リース料、当初直接コスト、及び将来の原状回復費用の見積額の当初評価額に相当する。リースの契約条件で要求されている場合にのみ、原状回復費用を取得原価に含める。

リース負債の事後測定において、帳簿価額は利息によって増加し、支払われたリース料によって減少する。さらにリース負債は、リース契約の見直し又は変更により増減する可能性がある。使用権資産の事後測定において、使用権資産は、リース負債の再測定を考慮に入れ、減価償却累計額及び減損損失累計額控除後の取得原価で測定される。使用権資産は、リース期間にわたって減価償却され、IAS第36号「資産の減損」に従い、減損テストが実施される。15の減損テストに関するセクションを参照のこと。

使用権資産は、貸借対照表項目の「不動産及び器具備品」に含まれるが、リース負債は貸借対照表項目の「その他負債」に含まれる。

リース期間が12カ月以内又は原資産の価値が低いリース契約は、リース期間にわたって定額法により費用として計上されるため、リース負債や使用権資産には含まれない。

13. 保険事業

当行グループの保険事業は、子会社のハンデルスバンケン・リヴ・プロダクツを通して運営されている。ハンデルスバンケン・リヴ・プロダクツの商品は、主に従来型生命保険の形式による法定生命保険、ユニットリンク保険並びに健康保険及び保険料払込免除特約の形式によるリスク保険で構成される。

保険契約の分類及びアンバンドリング

重要な保険リスクを含む契約は、連結財務諸表において保険契約として分類される。保険リスクとは、金融リスク以外で、契約の保有者から発行者に移転されるリスクをいう。重要な保険リスクを移転しない契約は、全体を投資契約に分類する。通常、払戻保証が付された保険契約が投資契約に分類され、それ以外の契約は保険契約に分類される。保険要素と貯蓄（金融要素）の両方で構成される保険契約は、以下に記述する原則に従ってアンバンドリングされ、個別に認識される。

保険契約における保険要素の会計処理

保険契約に関する保険料収入及び支払保険金は損益計算書の「保険リスク」の項目に純額で計上される。当行グループの保険負債における変動もまたこの項目に計上される。

収入としてまだ認識されていない受取保険料は、払込済保険料として貸借対照表の保険負債に計上される。貸借対照表の保険負債項目には、疾病年金、終身年金、及びその他の未払保険負債も含まれている。保険負債は保険契約に関する予想将来キャッシュ・フローを割り引くことで評価される。評価は金利、死亡率、疾病率及び将来の費用に関する仮定に基づく。死亡率に関する仮定は契約時期によって様々であり、また予想される将来の余命の延びを考慮している。手数料に関する仮定もまた契約時期による。基本的に、これは保険料に比例し、一部の手数料は保険契約準備金に比例する。受益者の将来の健康状態に関して採用される仮定は内部で蓄積された経験に基づいており、商品に応じて様々である。金利の仮定は負債期間に応じた現行の市場金利に基づいている。将来の予想保険金をカバーする保険負債の報告値が十分であることを確認するため、当行グループは、少なくとも年次で保険負債の定期レビューを実施している。必要な場合には準備金が追加され、差額は損益計算書に計上される。

投資契約及び保険契約の金融要素の会計処理

投資契約における顧客の貯蓄元本及び保険契約の金融要素に関する払込及び払戻は、預り金及び引出金として貸借対照表に直接計上される。

保険契約から分離される従来型生命保険契約の金融要素は、貸借対照表に一般顧客からの借入金として認識される。これらの負債は保証額と保険契約の現在価値のいずれか高い方で評価される。保証額は保証金利による利息額だけ増加するが、これは保険契約の償却原価に相当する。保険契約の現在価値は保険契約者に代わって運用する資産価値と同一であり、その資産の総利回り（利回り分割分を控除する）に基づく利息を稼得する。利回り分割は、暦年中に総利回りが保証金利を超過する場合に、総利回りのうちの契約で定める部分が保険会社に配賦されることを意味する。この算定は年次で実施され、契約毎に累積する。これは、各年度の利回りが保証金利を下回る年度において条件付き配当が減少することを意味し、保証金利を上回る年度においては条件付き配当が増加することを意味する。利回り分割モデルにおいて当行グループの稼得分は「手数料及びコミッション収益」に計上される。利回りが契約上の保証金利を下回る場合は、差異部分を損益計算書の「金融取引による純損益」に計上する。

ユニットリンク保険契約の資産及び負債は、貸借対照表の「顧客が価値変動リスクを負う資産／負債」に公正価値でそれぞれ計上される。

投資契約及び保険契約の保険手数料及び資産関連手数料並びに管理費用は、「手数料及びコミッション収益」として損益計算書に計上される。取得費用は損益計算書に直接計上される。

再保険

当行グループの保険負債の再保険者負担部分は、貸借対照表の「再保険資産」として計上される。

14. 無形資産

貸借対照表における認識

無形資産は、物理的実体のない識別可能な非貨幣性資産である。無形資産はその資産に起因する経済的便益が当行グループに流入する可能性が高く、その取得原価を信頼性をもって測定できる場合に限り貸借対照表に計上される。これは、自己創設されたのれん、商標、顧客データベース及びこれに類似するものの価値は資産として貸借対照表に認識されないことを意味する。

自社で開発するソフトウェアへの投資のうち、既存の事業運営又はソフトウェアの維持費用の範囲とされるものについては発生基準で費用計上している。新規ソフトウェアの自社開発、又は新規事業のための既存ソフトウェアの開発の場合、信頼性をもって測定可能な費用の発生は、経済的便益の発生可能性が高くなった時点から資産計上する。借入費用は、無形資産の開発費用の資産計上を決定した日から資産計上される。

企業結合の会計処理に際し、取得価格は取得事業において取得した識別可能資産、負債、及び偶発債務の価値に配分される。これらの資産には、個別に取得した場合、又は自己創設された場合には貸借対照表に計上されない無形資産も含まれることがある。企業結合において識別可能資産及び負債に配分が出来ない取得価格はのれんとして認識される。

のれん及び耐用年数を確定できない無形資産

のれん及びその他の耐用年数を確定できない無形資産は、減損損失控除後の取得原価で計上される。これらの資産は年次報告書作成時に年次で、又は資産に減損の兆候がある場合にはその都度、減損テストが実施される。減損テストは、その資産の回収可能価額（すなわち、使用価値と売却費用控除後の公正価値のいずれが高い方）を算定することにより実施される。回収可能価額が帳簿価額を超過する限り減損損失を認識する必要はない。減損損失は損益計算書に直接計上される。

のれんから発生するキャッシュ・フローと、その他の資産から発生するキャッシュ・フローを区別することが不可能なため、のれんの減損テストは資金生成単位レベルで行われる。資金生成単位とは、他の資産又は資産グループからのキャッシュ・インフローとはおおむね独立したキャッシュ・インフローを生成させるものとして識別される資産グループの最小単位である。のれんについては、事業セグメント単位で把握されている。のれんの減損テストにおける重要な評価及び仮定は、注記G23に記載されている。過去に認識されたのれんの減損は戻入れない。

確定可能な耐用年数を有する無形資産

見積耐用年数の設定が可能な無形資産は償却され、その資産の耐用年数にわたって定額法で償却される。すなわち、現行では、顧客契約は20年間にわたって償却されており、内部開発ソフトウェアは通常5年間にわたって償却されている。特定のインフラ整備プロジェクトでは、その耐用年数は5年超と評価される。こうした種類の投資の償却期間は最長で15年である。償却の対象となる商標は、5年間にわたって償却されている。償却期間は新規取得時において個別に検証されるが、耐用年数が変化した可能性があることを示す兆候がある場合にも継続的に検証が行われる。確定可能な耐用年数を有する無形資産は、資産の減損が示唆される場合に減損について検証が行われる。減損テストは耐用年数を確定できない無形資産と同様の原則、すなわち資産の回収可能価額を算定することにより実施される。

15. 不動産及び器具備品

当行グループの有形固定資産は不動産及び器具備品で構成される。保険事業における投資資産に含まれる不動産及び債権の保全のために担保権が実行された資産を除き、これらの資産は減価償却累計額及び減損損失控除後の取得原価で計上される。

減価償却は通常、資産の見積耐用年数に基づく定額法が適用されている。見積耐用年数は年次でテストされる。見積耐用年数が異なる構成要素から成る有形資産は、償却方法の異なる区分に分割され、別個に償却される。そのような構成要素の償却は通常、不動産への適用に限定される。その資産の構成要素の取得原価が、不動産の取得原価合計に対して重要である場合に限り、分割して償却される。当該不動産の残余部分（建造物）はその全体を予想耐用年数で償却する。現行では、建造物の耐用年数は100年、排水設備は35年、屋根は30年、間口、暖房、換気及び配電設備は25年、エレベーターは20年、建物の恒久的設備、サービス施設は10年である。パーソナル・コンピューター及びその他のIT機器は通常3年間にわたり償却される。また、銀行の金庫室及び類似する建物附属設備への投資は10年間にわたり償却される。その他の機器は通常5年間で償却される。

不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。減損損失は回収可能価額が帳簿価額を下回る場合に認識される。減損損失は損益計算書に直ちに計上される。減損損失は、減損損失がもはや存在せず、前提となる見積回収可能額の仮定に変化があったことが示される場合に戻入れられる。

16. 引当金

引当金は、当行グループから認識済みの資源が流出することが予想されるものの、その時期又は金額が不確実なもので構成されている。引当金は、過去の事象の結果として当行グループが法的又は推定的債務を有しており、その債務を決済するために資源の流出を要する可能性が高い場合に報告される。認識にあたり、その金額を信頼性をもって見積もることが可能でなければならない。引当金として認識された金額は、貸借対照表日においてその債務を決済するために必要な支出の最善の見積りに相当するものである。見積りにおいては予想される決済日も考慮されている。

リストラクチャリングについて引当金が計上される。リストラクチャリングとは、例えば従業員が早期退職に関する解雇給付を受ける場合や支店が閉鎖される場合等、主要な組織改革を示す。引当金を計上するには、企業が当該リストラクチャリングを実施するためにリストラクチャリング計画を設定し、影響を受ける人々が予測できるように伝達しておく必要がある。リストラクチャリング引当金に含まれるものは、リストラクチャリングから発生する直接費用で、将来の業務に関連しないものに限定される。

17. 資本

資本には、下記の構成要素が含まれている。

資本剰余金

資本剰余金は発行済転換可能負債性金融商品のオプション部分並びに株式発行及び転換可能負債性金融商品の転換において調整額面金額を超過する金額が含まれている。

ヘッジ準備金

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段で構成されるデリバティブ商品の未実現の価値変動はヘッジ準備金に含まれている。

公正価値評価差額準備金

その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された金融資産の未実現価値変動は、公正価値評価差額準備金に計上される。さらに、公正価値評価差額準備金は、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された負債性金融商品の予想信用損失引当金を含む。これらの負債性金融商品の実現価値変動は、公正価値評価差額準備金から損益計算書に振り替えられる。その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された資本性金融商品の実現価値変動は、公正価値評価差額準備金から利益剰余金に振り替えられる。

為替換算調整準備金

為替換算調整準備金は海外ユニットの業績を連結財務諸表の通貨に換算することによって生じた未実現の外貨換算による影響で構成される。さらに在外営業活動体への純投資に関するヘッジの有効部分は、為替換算調整準備金に計上される。

確定給付年金制度

確定給付年金制度の項目は、年金債務の数理計算上の差異に加え、割引率を適用して算定された収益を上回る又は下回る制度資産に係る運用収益より構成されている。

当期利益を含む利益剰余金

利益剰余金には当期及び過年度の利益が含まれている。配当及び自己株式の再取得は「利益剰余金」の控除として計上される。

その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された資本性金融商品に起因する実現損益は、公正価値評価差額準備金から利益剰余金に振り替えられる。

非支配株主持分

非支配株主持分は、当行グループの純資産のうち、親会社の普通株式保有者に直接又は間接的に所有されていない部分で構成される。非支配株主持分は、資本における個別の構成要素として計上される。

自己株式の会計処理

買戻した自己株式は資産として認識されず、資本の「利益剰余金」と相殺される。

18. 収益

純利息収益

利息収益及び利息費用は、損益計算書の「純利息収益」に計上される。但し、トレーディング勘定の取引活動全般が認識される「金融取引による純損益」に認識されるような、純損益を通じて公正価値で測定することが強制される金融商品から生じる利息を除く。

償却原価で測定される金融商品に係る利息収益及び利息費用は、実効金利法又は適切であると認められた場合は、実効金利法に基づく計算の合理的な見積りとなる方法を用いて算定され計上される。実効金利は、金融商品の実効金利に不可欠な部分とみなされる手数料（一般的に、リスクの対価として受領する手数料）を含む。実効金利は、契約上の将来キャッシュ・フローを金融資産又は金融負債の帳簿価額まで割り引く際に用いられる利率に相当する。

純利息収益にはまた、ヘッジ対象の金利が「純利息収益」に計上される、ヘッジ会計を通じて認識されるデリバティブ商品からの利息及び経済ヘッジのデリバティブからの利息も含まれる。

利息収益及び利息費用に加えて、純利息収益には預金保証及び安定手数料といった政府保証料が含まれる。

顧客との契約から生じる収益

IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」は、主に損益計算書の「手数料及びコミッション収益」に計上される、異なる種類のサービスに適用される。IFRS第15号は「その他収益」の項目に含まれる特定のサービスにも適用される。しかし、「その他収益」はすべての重要な点からみて、顧客との契約から生じる収益を指すことはない。

収益は、サービスに対する支配が顧客に移転された時点となる、履行義務が充足される一時点で認識される。収益合計は各サービス間で配分され、収益内での認識はサービスが特定の時点で履行されたか、特定期間にわたって履行されたかで異なる。

収益認識のタイミングには以下の原則が用いられる。

- ・ 例えば資産運用における管理報酬など、サービスを履行する都度、段階的に稼得した収益は、これらのサービスが提供されるレートで、すなわち期間全体において定額法で損益計算書に計上される。これは、顧客がサービスを受けると同時に消費するという事実によるもので、当行がサービスを提供すると同時に当行のサービス履行義務も充足されていることを意味している。
- ・ 特定のサービス又は活動に起因する収益は、サービスが履行された際、すなわち、特定の時点で認識される。こうした収益の例としては仲介料及び支払コミッションがある。

認識される収益は予想される収益を反映したものでなければならない。収益が払戻、ボーナス又は業績連動型の要素などの可変的な還付を含む場合、収益は金額の払戻が発生する可能性がほとんどない場合に限り認識される。

支払はサービスが履行されるに伴い定期的に行われ、前払は最長12カ月後までの将来の支払をいう。履行されたものの、まだ支払われていないサービスに対しては、未収収益が計上される。まだ履行されていないサービスに対する支払に対しては繰延収益が認識される。顧客との契約から生じる収益は、「未収収益」及び「繰延収益」の項目のうちの、重要性がない部分である。顧客との契約を獲得する上で必要とされる追加費用は資産（前払費用）としては計上されず、当該費用が生じた会計期間の費用として計上される。

純手数料及びコミッション収益

様々な種類のサービスからの収益及び費用は、損益計算書の「手数料及びコミッション収益」並びに「手数料及びコミッション費用」にそれぞれ計上される。これは仲介収益及び様々な種類の管理手数料がコミッションとして認識されることを意味する。コミッションとして認識されるその他の形式の収益は、受取コミッション及びカード手数料、金融保証の発行に対するプレミアム、並びに保険事業からのコミッションである。保険事業における正の利回り分割分もまた、コミッションとして認識される。利息に相当する保証コミッション、及び複合金融商品の一部に対する手数料として実効金利の計算に含められるものは、コミッションではなく

「純利息収益」として認識される。「手数料及びコミッション費用」は取引ベースであり、収益が「手数料及びコミッション収益」として計上される取引に直接関連する。

その他収益

「その他収益」の項目は主に、賃料収入のほか、子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する参加持分の処分により発生するキャピタルゲイン/ロスで構成される。したがって、「その他収益」の項目はすべての重要な点からみて、顧客との契約から生じる収益を指すことはない。

金融取引による純損益

金融取引による純損益には、金融資産及び金融負債を純損益を通じて公正価値で測定する際や金融資産及び金融負債が処分又は決済された際（その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品を除く）に発生する、損益に影響するすべての項目が含まれる。

- ・ 償却原価で計上される金融商品に係る損益は、期限前償還される貸出金の早期償還手数料や当行が発行した証券の買戻しによって生じたキャピタルゲイン/ロスなど、償却原価で測定されるものとして分類される金融資産及び負債に係る実現損益から構成される。
- ・ その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融商品に係る損益は、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された利付証券の実現損益から構成される。実現損益は、処分/売却に伴いその他包括利益から「金融取引による純損益」の項目に振り替えられる。この項目には、これらの資産に関する信用損失（予想損失及び実損失）も含まれる。
- ・ 公正価値オプションの利用を選択した純損益を通じて公正価値で測定される金融商品に係る損益は、当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定されるものとして分類された金融資産及び負債の実現及び未実現価値変動から構成される。
- ・ 純損益を通じて公正価値で測定されることが強制される金融商品に係る損益は、トレーディング目的保有、又は公正価値で管理・評価される金融資産及び金融負債に係る実現及び未実現価値変動、配当収益及び利息（ヘッジ対象の金利が「純利息収益」で計上されるデリバティブから生じた利息を除く）から構成される。
- ・ 公正価値ヘッジは、ヘッジ手段及び、公正価値ヘッジのヘッジ対象となる金融資産・負債のヘッジ対象リスク要素の実現・未実現の価値変動から構成される。キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分は、ヘッジ対象に起因する将来キャッシュ・フローとは対応しないヘッジ手段の価値変動部分から成る。
- ・ 保険契約の金融要素に係る損益は、リターンが保証金利を下回る場合に生じた損益から構成される。

配当金

その他包括利益を通じて公正価値で測定される株式の配当金は、「その他配当金収益」として損益計算書に計上される。純損益を通じて公正価値で測定される株式の配当金は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。関連会社及びジョイント・ベンチャーの株式の配当金は損益計算書の配当金項目に含まれない。関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益の認識についてはセクション4に記載されている。

19. 従業員給付

人件費

人件費には給与、年金費用及び社会保障費、年金費用にかかる特別給与税を含むその他の形式の直接人件費、並びに給与関連のその他の形式の間接費が含まれている。解雇に関連する給付は、合意に達した時に負債として認識され、残存雇用期間にわたって償却される。

退職給付会計

退職後給付は、確定拠出制度(確定年金保険料)及び確定給付制度で構成されている。当行グループが別の事業体に固定額の拠出を支払うことで、その後に法的及び推定的に支払義務を負わない給付制度は確定拠出制度として会計処理される。資金が支払われるまでの間の価値変動リスクは従業員が負うことになる。確定拠出制度に支払われる保険料は、従業員が会社に役務を提供し、その役務に対する報酬が支払われることによって発生した人件費として損益計算書に計上される。

その他の退職後給付制度は、確定給付制度として会計処理される。確定給付制度の未払給付金は、給与及び雇用期間に基づいており、雇用主が年金債務の履行に係るすべての重要なリスクを負担することを意味する。確定給付制度については、年金債務の現在価値が年金負債として認識されている。確定給付制度の大部分について、当行グループは支払債務に充当する目的で年金基金及び年金ファンドに制度資産を積み立てている。確定給付制度の貸借対照表上の純負債は、年金債務から制度資産の公正価値を控除した金額である。その他の包括利益には、実際の結果と仮定との差から生じた確定給付債務の数理計算上の損益のほか、制度資産の実際の収益と制度資産の期待収益との差が計上されている。

確定給付制度の年金費用は、損益計算書の「人件費」に計上され、以下の項目により構成されている。

- + 当年度に発生した年金の権利費用。計算された年金額の最終合計のうちの当期部分。未払年金権利の計算は、見積最終給与に基づいており、年金数理計算上の仮定の対象となっている。
- + 支給までの期間が減少し、年金負債の現在価値が当期において増加したことにより発生した年金債務に係る当期利息費用。当期の利息費用の計算に適用される金利は、年金債務の支払までの残存期間に相当する満期を有する社債の最新の金利（年度当初の金利）である。
- 制度資産の見積利息収益（利回り）。年金債務に係る当期の利息費用を算定と同じ金利が適用される。
- + 見積特別給与税は、該当する年金費用と同じ原則で未払い計上される。

当行グループの確定給付制度の費用及び債務の算定は、報告値に重要な影響を及ぼす可能性のあるいくつかの評価及び仮定に左右される。これらの仮定及び評価の詳細な記述はセクション21及び注記G8に示されている。

20. 税金

当期の税金費用は当期税金及び繰延税金で構成される。当期税金は当期又は過去の期間の課税所得に関する税金を示す。繰延税金は資産又は負債の帳簿価額とその税務上の価額との間の一時差異に関する税金である。繰延税金はその項目が実現する時に適用するとみなされる税率で評価される。将来減算一時差異及び繰越欠損金にかかる繰延税金資産は、これらが利用される可能性が高い場合に限り認識されるが、繰延税金負債は計算額で計上される。税金費用は関連する取引が報告される項目により損益計算書のその他包括利益又は直接資本のいずれかに計上される。

21. 見積り及び重要な評価

一部のケースにおいては、報告値に重要な影響を及ぼす当行グループの会計方針の適用について評価を必要とされる。計上値はまた、多くのケースにおいて将来に関する見積り及び仮定の影響を受ける。このような仮

定には、資産及び負債の計上額が調整されるリスクが常に含まれている。適用される評価及び仮定は常に経営陣の最善及び最良の評価を反映し、継続的に検査及び検証の対象となる。

財務諸表に重要な影響を及ぼした評価及び仮定については下記に記載されている。

以下の領域に関する見積り及び重要な評価は、関連する注記にも記載されている。

- ・公正価値で測定される金融商品については注記G39「金融商品の公正価値測定」を参照のこと。
- ・のれんの減損テストについては注記G23「無形資産」を参照のこと。
- ・民事訴訟については注記G34「引当金」を参照のこと。

年次報告書の作成に際し、新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) の潜在的な影響の問題を取り巻く不確実性ゆえに一部で重要な評価を行った。具体的には、のれん、一般顧客への貸付金及び金融機関への貸付金の減損テストである。他の範囲については、新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) による影響はないと評価された。当行の継続企業の前提に影響を及ぼす新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) の影響もないと評価された。上記の詳細については、注記G2、G10及びG23を参照のこと。

確定給付制度の年金数理計算

当行グループの費用及び確定給付債務の計算は、認識額に重要な影響を及ぼすいくつかの数理的、統計的及び財務的な仮定に基づいている。注記G8には当期の債務の計算に使用された仮定のリストが含まれている。スウェーデン従業員の確定給付年金債務の計算は、市場で一般的に認められた死亡率の仮定であるDUS14に基づいている。DUS14はスウェーデン保険連盟により作成された統計に基づく仮定である。将来の昇給率及びインフレーションの仮定は長期予測トレンドに基づいている。

割引率は、満期が異なる多数の優良社債に基づいている。年金債務の見積平均残存期間に相当する満期を有する社債は20年間とされ、割引率は市場金利に基づいて決定される。年金債務の見積平均残存期間に相当する満期を有する優良社債が稀であることから、当行は補完的に割引率を決定する方法として満期がより短い優良社債を用いている。ここではイールド・カーブに基づく割引率が設定されている。イールド・カーブは、スウェーデン・クローネのスワップ・カーブに対するスプレッドとして構築されている。自社発行のものを除く社債に基づいた当該スプレッドは、スワップ・カーブに反映される。このようにして、イールド・カーブはモデル化されており、20年の利回りはこのモデルから導き出すことができる。

注記G8では、当行グループの確定給付年金債務のすべての主要な数理計算上の仮定に対する感応度分析を提供している。この分析は、これらの仮定に合理的に実現可能な変化によって年金債務がどのような影響を受けるかを示している。

信用損失

予想信用損失の算定は、多くの仮定と評価を伴う。予想信用損失の評価には、本質的にある程度不確実性が伴っている。高度な仮定と評価を伴う領域は、以下の個々の項目で記述している。

マクロ経済シナリオにおける将来予測的な情報

当行は特に自国市場に重点を置いたマクロ経済上の動向を継続的にモニターしている。こうしたモニタリングにより、当行はモデルベースの予想信用損失の算定に用いる将来予測的な情報の基礎となる、マクロ経済シナリオを策定している。契約上の支払を履行する当行顧客の能力は、マクロ経済上の動向に合わせて変動する。それゆえ、将来のマクロ経済上の動向は、当行が予想信用損失をカバーする上で必要な引当金の見通しに影響を及ぼす。予想信用損失の引当必要額の算定は、当行のマクロ経済調査部門による基本 (中立) シナリオに基づいている。損失は将来の経済動向の好転よりも悪化から受ける可能性がある影響のほうが大きい。この

ため、当行は少なくとも二つの代替的なシナリオを用いて、予想信用損失の非線形的な側面を考慮している。これらの代替的なシナリオは、一つは基本（中立）シナリオを大幅に下回るシナリオ、もう一つは大幅に上回るシナリオによる、二つの考え得る動向を表したものである。最も重要なマクロ経済上のリスク要因は、経験に基づく評価を加味した過去10年間にわたる当行の損失実績に基づいて選択されている。その後にこれらのマクロ経済上のリスク要因が、遷移、デフォルト、損失率及びエクスポージャーを予測する当行の定量的な統計モデルのマクロ経済上のリスク要因として用いられる。マクロ経済上のリスク要因には、失業率、主要行又は中央銀行金利、国内総生産（GDP）、インフレ率及び不動産価格が含まれる。返済能力が高い顧客向けに信用供与するという当行の事業モデルは、マクロ経済上の動向と引当必要額との関連性が必ずしも特に強いわけではないことを意味している。マクロ経済情報の詳細な内容については注記G2の「信用リスク」のセクションを、感応度分析については注記G10を参照のこと。

信用リスクの著しい増大

当行は当初認識以降、信用リスクの著しい増大があったかどうかについて、各報告期間末に債権単位での評価を行っている。信用リスクの著しい増大に関する詳細については注記G2の「信用リスク」のセクションを参照のこと。

モデルベースの算定

ステージ1及びステージ2債権の予想信用損失の算定の基礎となる定量モデルは、いくつかの仮定と評価を用いている。過去データのマクロ経済上のリスク要因とリスク・パラメーターの間の計量可能な関係が、将来の事象を表していることが一つの重要な前提である。用いられる定量モデルは、約10年間の過去データに基づいているが、過去の結果の入手可能性に一貫性がないことにより、この過去データの内容も商品や地域によりさまざまである。観測値はリスク要因によって独立して条件付けられるという仮定を適用し、定量モデルは経済モデルを利用して構築されている。これは、歪曲されずにリスク・パラメーターの予測が可能であることを意味している。さらに、マクロ経済上のリスク要因は個々のリスク・パラメーターを実証し得るという根拠に基づいて、最も重要なマクロ経済上のリスク要因が選択されている。マクロ経済上のリスク要因の選択とモデルの仕様は、簡潔さ、実証能力及び安定性の間でバランスを取り決定される。

マニュアル及びエキスパートベースの算定

原則として、ステージ3の同種の債権からなる少額のポートフォリオを除き、ステージ3債権にはマニュアルの算定が用いられる。マニュアルで評価されるステージ3債権と同様に、モデルで考慮されなかったと考えられる要因の影響を織り込むため、ステージ1及びステージ2債権に対するモデル評価結果にもエキスパートベースの算定が行われる。マニュアル及びエキスパートベースの算定に関する詳細な説明は、上記10の「マニュアルの算定」及び「エキスパートベースの算定」を参照のこと。

[次へ](#)

注記G2 リスク及び資本管理

本注記の図表の番号はハンデルスバンケンが公表した「リスク及び資本 - 第三の柱に基づく情報」の該当番号と一致している。

ハンデルスバンケンは、十分に検証された事業モデルに基づいて事業を行っており、当該モデルは約50年間変更されていない。当行は分散化された事業モデルを有しており、全国の支店ネットワークを通じて各地で存在感を発揮している。当行は顧客の利便性を高め、顧客と長期的な関係を築くことに大きな重点をおいており、特定の市場に当該事業モデルを適用することにより、リスク許容度を低く維持し、地理的に成長を遂げている。ハンデルスバンケンの事業モデルは支店の貸付業務から生じる信用リスクを引き受けることであり、その他のリスクを最小限に抑えるよう努めている。

過去数十年間にわたり、ハンデルスバンケンの信用損失実績率は、他の北欧銀行の平均よりも非常に低い水準にあった。当行は、損失に結び付く与信案件を無くすことを常に目標として定めている。このアプローチは、支店の与信業務及び与信ポートフォリオの取扱いに影響力を与えている。

潤沢な流動性準備金を維持し、資金繰りを調整することによって、当行は長期にわたり流動性リスクを制限することに取り組んできた。流動性リスクを制限することはまた、当行のリスク許容度が低水準であることによる当然の結果でもある。

また、ハンデルスバンケンの市場リスクもきわめて低い。

リスク許容度

ハンデルスバンケンのリスク許容度は低い。当行は、返済能力が高く財政状態が健全な顧客と長期的な関係を築くことに焦点を置いている。与信取引高の向上、料金の引上げ又は市場シェアの拡大を達成するために質的要件は必ず検討しなければならない。

貸付業務固有の性質により信用リスクが生じる。市場リスク及び流動性リスクの許容度は低い。また市場リスクは当行の資金調達及び流動性管理に関連した顧客事業の一環として、及びマーケット・メーカーとしての役割においてのみ生じる。市場リスクは年金制度においても発生する。

市場リスクに関する当行の許容度が低いことにより、当行の収益のうち、金融取引による純損益の占める割合は比較的低くなっている。資金調達及び流動性管理はすべてグループ・トレジャリー部で集中管理されている。流動性リスクは、キャッシュ・フローのマッチング及び高品質な流動性準備金の十分な確保に関する要件によって抑えられている。

オペレーショナル・リスク及びコンプライアンス・リスクに対する許容度も低い。当行は、可能な限りこれらリスクの防止及びこの領域における損失削減に努める。損失は引き続き少額に抑える必要がある。

リスク戦略

当行の業務は様々なリスクを伴うが、グループ全体で組織的にリスクの特定、測定、管理及び報告が行われている。ハンデルスバンケンのリスク制限アプローチによって、たとえ予想される取引時の経済価値が高額であったとしても、当行は高リスクの取引を慎重に回避することができる。

当行の低いリスク許容度は、厳格なリスク管理カルチャーを通じて維持されているが、それは、長期的に持続可能であり、かつ当行グループのすべての分野に適用されている。そのリスクカルチャーは、当行業務のあらゆる側面で不可欠な部分であり、当行の従業員に深く根付いているものである。当行は、事業活動において各部門がそれぞれの事業及びリスク管理の全責任を負うという明確な責任分担を特徴としている。結果として、高いリスク認識及び慎重な業務姿勢を促す強いインセンティブが働いている。但し、分散化された事業モデルは強力な中央管理と併用される。低いリスク許容度はまた、報酬の観点にも反映されている。報酬は基本的に固定とすることを原則としており、これはハンデルスバンケンの事業モデルの主な特徴である長期的な視点に貢献している。当行のリスク・プロファイルに重大な影響を及ぼす業務を担当する従業員は業績連動型の変動報酬を受け取ることを認められていない。1970年代初頭以降、これらの従業員もオクトゴーネン年金基金を通じて当行の主要な株主になっていることから、高いリスク認識及び長期的な視点にも貢献している。

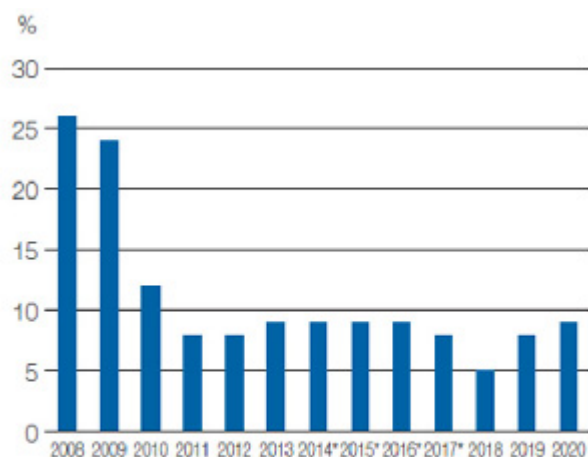
貸付業務においては、緊密な顧客関係及び現地の知識を活用して信用リスクを低水準に抑えることができおり、現地で積極的な関与を行っている。さらに、当行グループは、金融市場において資金調達が不可能となるような財務上のストレス下における状況を含めた事業リスクに対して十分な資本を常に準備し、支払期限到来時の支払義務の履行がいつでも可能となるように流動資産を保有しておく必要がある。このように、ハンデルスバンケンは景気動向の影響を受けない事業モデルを目指している。

また、このリスク制限アプローチにより、当行は、景気動向及び市況にかかわらず、顧客にとって安定的かつ長期的なビジネス・パートナーになることができる。このアプローチによって、リスク管理が健全なものとなると同時に、事業及び当行が事業を行っている市場が逼迫した場合でも、高水準のサービスを維持することができる。当行のリスクに対するアプローチと同じ原則が、当行が事業を行っているすべての国に適用され、当行の継続的な国際事業の拡大における指針となっている。

図AR:1 貸付における信用損失の割合 2001 - 2020年



図AR:2 金融取引による純損益の利益に対する割合 2008年 - 2020年



出典：年次報告書

* 非経常項目を除く

強固なリスク管理

ハンデルスバンケンの資本及び流動性の状況は良好である。当行は、短期及び長期の資金調達プログラムを通じて、引き続き金融市場へのアクセスを保持している。当行は高品質な流動性準備金を潤沢に有しており、金融市場の混乱の可能性に対して高いレベルの予防策が提供されている。当行の流動性準備金の一部であるグループ・トレジャリー部の流動性ポートフォリオは低リスクであり、主として中央銀行預け金、国債及びカバード・ボンドより構成されている。さらに、スタッドフィポテックの発行済カバード・ボンドの未使用額が十分にあり、流動性準備金は当行のすべての主要通貨について維持されている。流動性準備金の合計額は、当行が市場から新規に資金を調達することがまったくできないというストレス・シナリオにおいても3年超、当行の流動性要件をカバーできる水準である。また、外国為替市場がクローズするような極端な状況においても、かなりの期間にわたって業務を維持することができる。

当行の資本状況は引き続き堅固である。当年度の収益が安定し、信用損失が少ないことによるものである。

ハンデルスバンケンの低いリスク許容度、良好な資本状況及び揺るぎない流動性状況によって、当行は事業体制を十分に整えることができ、新型コロナウイルス感染症により第1四半期に生じたリスクに対応することが可能となった。ローンコミットメントの利用の増加と全般的な資金需要により、流動性はネットベースで資金流出となったものの、新型コロナウイルス感染症危機の間の流動性状況は良好であった。第2四半期以降、この状況は正常に戻り、潤沢な準備金により困難な市況を乗り切ることが可能になっている。当年度において信用損失は極めて少なく、信用にも流動性状況にも影響を与えていない。新型コロナウイルス感染症危機の結果、状況が再度悪化した場合にも初期段階で対応ができるよう、当行は特別なストレス・テストを実施し、様々な指標を注意深くモニターし、市況の最新情報を入手している。

リスク体制

ハンデルスバンケンの取締役会は当行のリスク管理に対する全般的な責任を有し、これに関する内部規則を策定している。取締役会は方針文書を定め、最高経営責任者はさまざまなリスクの管理及び報告手法を明記したガイドラインを策定している。リスク管理のフレームワークの詳細は、ハンデルスバンケンのコーポレート・ガバナンス報告書の66-83ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2020年の年次報告書原文の項目名であり、本書には含まれていない。）を参照のこと。

ハンデルスバンケン・ピーエルシーの業務に関して、組織立った、継続的なフォローアップを円滑に進めるため、取締役会は、最高経営責任者及びチーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）のほか取締役会

メンバー数名から構成される与信委員会に加え、取締役会会長、最高経営責任者のほか一部の経営幹部数名から構成される英国委員会を設立している。

取締役会は、中でも取締役会の決定事項に対応する委員会をいくつか設立している。これらは、リスク委員会、監査委員会及び報酬委員会である。リスク委員会、監査委員会及び報酬委員会のメンバーは、全員が取締役である。リスク・フォーラムは、最高経営責任者に対するアドバイザーとしての役割を果たしている内部フォーラムである。これらの委員会とリスク・フォーラムの業務についての詳細は、ハンデルスバンケンのコーポレート・ガバナンス報告書の66ページから83ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2020年の年次報告書原文の項目名であり、本書には含まれていない。）を参照のこと。当行は最高経営責任者に対する助言を行う以下の内部委員会を設立している。これらは、リスク委員会、流動性委員会、資本委員会及び評価委員会である。

図AR:3 ハンデルスバンケンのリスク

説明	
信用リスク	信用リスクとは、当行の取引相手が契約上の義務を履行できなくなることにより当行が経済的損失に直面するリスクである。
市場リスク	市場リスクは、金融市場の価格及びボラティリティの変動によって生じる。市場リスクは、金利リスク、株価リスク、為替リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。
流動性リスク	流動性リスクとは、支払期限が到来した際に、法外な費用又は損失を被らなければ、当行が支払い義務を履行することができないリスクである。
オペレーショナル・リスク	オペレーショナル・リスクとは、不適切な若しくは欠陥のある内部プロセス、人為的ミス、システムエラー、又は外部事象による損失リスクである。オペレーショナル・リスクの定義には、法務リスクも含まれている。
コンプライアンス・リスク	コンプライアンス・リスクとは、不適切な規制遵守に関連したリスクをいう。この場合、コンプライアンスとは、許認可対象となるすべての業務に関連する一般的な実務や基準をはじめ、法令、指令、公的機関による勧告、内部規則を遵守することである。
報酬リスク	報酬リスクとは、報酬制度によって生じる損失又はその他の損害によるリスクである。
保険リスク	保険リスクとは、被保険者の余命又は健康状態によって変動する保険の結果のリスクである。

リスクと資本の状況に関する報告と監視

2020年度には、最高リスク責任者は当行グループのリスクに関し、最高経営責任者及びリスク委員会に最低でも四半期ごと、取締役会に毎年報告を行っている。当報告書はリスク・フォーラムにも提出されている。当行グループのリスク報告書には、当行グループの重要なリスクに関する最高リスク責任者による評価と、報告と対応が必要な事業活動上の重大な不備の有無に関する評価が含まれている。当報告書には適宜、従前に報告されたリスクと不備に関する行動計画案とフォローアップも含まれる。当行グループのリスク報告書は将来予測的なリスク評価を含んでいるほか、ハンデルスバンケンが取締役会の決定したリスク戦略やリスク許容度を実行しているかについての評価ができるようにしなければならない。当行グループのリスク報告書は取締役会が決定したリスク管理方針に沿って作成されている。

当行の最高リスク責任者が委員長を務めるリスク委員会は、最高経営責任者及び最高財務責任者へのアドバイザー機能としての役割を果たし、2020年には11回会議を開催している。リスク委員会では、当行グループ

の信用リスク、ファイナンシャルリスク、オペレーショナル・リスク及び保険業務におけるリスクに関する現在のリスク状況、潜在的なリスク及び対応策について徹底的なフォローアップが行われる。また、必要に応じて他の種類のリスクにも言及される。再建計画が必要となる兆候が監視され、必要性の評価を含む対応策についても協議が行われる。さらに、ファイナンシャルリスクの限度額に対するエクスポージャーは、グループ全体フォローアップ対象となる。資本状況、市場リスク限度額に対するエクスポージャーや流動性の状況については定例取締役会で報告が行われる。

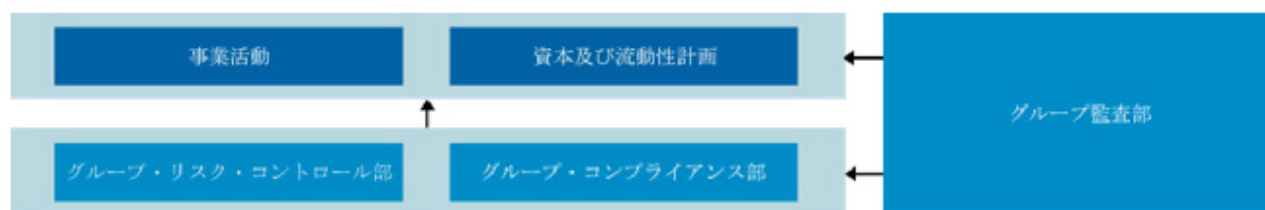
カウンターパーティ・リスクを含む信用リスクの状況は、当行及び当行子会社の取締役に対して定期的な報告が行われる。これには与信の増加率、リスクの報告が行われた与信及び当行の信用リスクモデルによる情報が含まれる。地域銀行の取締役会は信用状況を継続的に監視している。各支店では四半期ごとにリスク報告書を作成しており、借手の返済能力が損なわれ、当行の担保が不十分である場合または不十分となるリスクが存在する場合、同報告書では全ての信用エクスポージャーのレビューが実施される。さらに、グループ・リスク・コントロール部は当行における信用リスクの動向について、最高経営責任者、最高財務責任者、チーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）及び当行グループの与信責任者に毎月報告を行っている。

市場リスク及び流動性リスクの上限額に対するエクスポージャーは、グループ・リスク・コントロール部が日次で取りまとめ、確認している。上限額を超過した場合には直ちに上限額に関する決定者に報告が行われる。流動性リスクについてはグループ・リスク・コントロール部が取りまとめ、最高財務責任者には日次で、最高経営責任者には週次で、取締役会には定例取締役会で報告が行われる。グループ・トレジャリー部長が議長を務める流動性委員会は、最高経営責任者及び最高財務責任者に対するアドバイザーとしての役割を果たしており、定例取締役会開催前、または必要に応じ他の機会にも会議を開催している。会議では現在の流動性の状況やストレス・テストの結果、シナリオ分析のほか、当行グループの流動性の状況の評価に関連する他の情報に関して報告が行われる。

オペレーショナル・リスクと発生したインシデントは、ハンデルスバンケン・グループ全体の支店及びユニットがリスク・コントロール部に継続的に報告を行い、その後リスク・コントロール部が監視を行う。次にグループ・リスク・コントロール部がオペレーショナル・リスクと発生したインシデントを、リスク委員会及び取締役会のリスク委員会に報告する。報酬制度のリスクは毎年評価され、取締役会の報酬委員会とリスク委員会に報告される。オペレーショナル・リスクの報告には、重大な事象、主要な損失、重要な未然防止策及び当行グループ・レベルで集計したリスク評価が含まれる。さらに、グループ・リスク・コントロール部は、決定され、実施された対応策についても監視を行う。2020年度に、チーフ・コンプライアンス・オフィサーは少なくとも四半期ごとに最高経営責任者に、半年ごとに取締役会のリスク委員会に、毎年取締役会にコンプライアンス・リスクに関する報告を行った。報告書はリスク・フォーラムにも提出された。

当行の所要自己資本は週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に、四半期に一度は取締役会に報告される。さまざまな基準値を超過した際、またはグループ・キャピタル・マネジメント部長もしくは最高財務責任者が他の理由から適切であると考えられる場合、適切な対応案が最高経営責任者に提案される。中・長期的な資本状況は資本委員会が四半期ごとに取りまとめている。グループ・キャピタル・マネジメント部は四半期ごと、または状況に重大な変化が生じた際に、資本予測を全面的に更新している。

図AR:4 ハンデルスバンケンのリスク管理とリスク・コントロール



事業活動

当行は、それぞれの事業活動及び全てのリスク管理において各部門が全責任を負うという明確な責任分担を特徴としている。顧客及び市場の状況を最もよく知る人物がリスク評価者として適任であり、また、諸問題の発生時に早い段階で措置を講じることが可能である。発生した問題は各支店及び収益部門が対応する責任を負っている。これにより、高いリスク認識及び慎重な業務姿勢を促す強いインセンティブが働いている。

但し、このように分散化した組織が与信決定を行うには、共同与信プロセスを経る必要がある。共同与信プロセスについてはグループ与信部が責任を負っている。グループ与信部は、取締役会又は取締役会の与信委員会が行った与信限度額の決定を取りまとめている。グループ与信部はまた、当行グループ全体の与信評価が一貫していること、及び貸出金が取締役会の決定した与信方針に従って実行されていることを確認している。

当行の事業活動における金融リスクは主にグループ・トレジャリー部、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びハンデルスバンケン・リヴにおいて生じており、それぞれ管理されている。ハンデルスバンケンは高度に分散化された事業モデルを有しているが、当行グループの資金調達及び流動性リスク管理業務はすべてグループ・トレジャリー部に集約されている。債券、為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすために発生する市場リスクは、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットで管理されている。オペレーショナル・リスクは、当行のすべての業務において発生する。そのため、オペレーショナル・リスクの管理に関する責任は、ハンデルスバンケンのすべての階層において必要とされる。市場リスクの管理及び当行のオペレーショナル・リスクの管理並びに資金調達及び流動性リスク管理はすべて、取締役会が策定した方針によって管理されている。

ストレス・テスト - 資本及び流動性計画

ハンデルスバンケンが深刻な損失を被った場合、通常時及び極端な事象の発生後であっても、当行は確実に存続できるだけの資本及び流動性準備金を保有している。資本計画は、規制資本の要件に経済資本及びストレス・テストを合わせて資本の状況を評価したものである。流動性計画は、当行グループが、金融市場において資金調達が不可能となるような財務上のストレス状況下においても支払期限が到来した支払義務の履行が常に可能であることを確実にするものである。ストレス・テスト及びシナリオ分析は、常に十分な流動性及び資本を確保しておくために準備又は導入すべき対策、並びに深刻な危機後の回復状況において当行グループの資本及び流動性を回復するためにどのような対策が必要であるかを特定するためのものである。

グループ・リスク・コントロール部及びグループ・コンプライアンス部

ハンデルスバンケンのリスクとコントロールに係る部署は、監視対象先の部署から独立している。リスク・コントロール部は、当行グループがさらされている、または将来さらされる可能性のあるすべての重要なリスクを関連部署が識別・管理していることを検証している。リスク・コントロール部は、当行グループのリスク管理を監視、検証し、リスク管理に関する内部規則、プロセス及び手続が取られていることを確実にしている。同時に、リスクが本部の取締役会の設定するリスク許容度の範囲内にあることを確実にするとともに、危機的な状況におけるリスク管理の根拠として、経営者が信頼できる情報を用いることを確実にしている。同部門の責任には、市場リスク、流動性リスク及びカウンターパーティ・リスク並びにオペレーショナル・リスクに対する限度額を監視することや、リスクの限度額や与信限度額の違反を評価することも含まれる。リスク・コントロール部は、新商品のほか、重要な変更が行われた商品やサービス、市場、プロセス及びITシステムに対して、さらに事業や組織の重要な変更に関して行われたリスク分析も評価しなければならない。

事業に関する意思決定の分散化が進んでいるため、リスクと資本の状況を監視する必要性が大きくなっている。したがって、リスク・コントロールが、おのずと当行のビジネス・モデルの重要な構成要素となっている。グループ・リスク・コントロール部は、当行グループの現在のリスク状況を経営陣と取締役会に継続的に報告する責任や、リスクがグループにわたって目的にかなった、一貫した方法で測定されることを確実にする責任を負っている。

マネーロンダリング及びテロリスト資金調達防止の手続と指針に関連するリスクは、グループ・コンプライアンス部が監視を行う。コンプライアンス部は事業活動から独立し、統制の対象となる部門や領域から組織上分離している。コンプライアンス部は高度なコンプライアンスを確実に実施し、ハンデルスバンケンのコンプライアンス・リスクに対する低い許容度を確実に遵守するため、積極的な活動を行っている。コンプライアンス部は規制上のコンプライアンスに関連するリスク及び不備を識別・調査し、当行スタッフや経営陣、各部署に対しコンプライアンス関連事項について提言や助言及び支援を提供するとともに、経営陣及び取締役会に対しコンプライアンスの課題に関する報告を行っている。

取締役会による、リスクに関する宣言及びリスクステートメント

取締役会は以下のリスクに関する宣言及びリスクステートメントを決定した。

リスクに関する宣言

ハンデルスバンケンは業務に関して取締役会が決定した当行の事業目標、リスク・プロファイル全般及びリスク戦略の点から、目的にかなった十分なリスク管理上の取決めを行っている。

リスクステートメント

ハンデルスバンケンの事業目標は、自国市場の競合行の平均を上回る収益性を上げることにある。この目標は、主に他行よりも顧客の満足度を高め、コストを引き下げることによって達成される。ハンデルスバンケンは地域における強固な基盤と、分散化された業務形態を有する銀行である。

リスクは低水準に維持することが当行の全体的なリスク・プロファイルである。また当行グループは、短・長期的な財務上のストレス下を含め支払義務を履行できるよう、リスクに対し十分な資本を常に維持し、破綻整理機構が課す要件を充足し、流動資産を保有しておく必要がある。このリスク戦略と当行の全体的なリスク・プロファイルが、景気変動に左右されない事業モデルを持つというハンデルスバンケンの目標を裏打ちしている。

当行は現在も将来においても信用リスクを低水準に抑える意向である。これは、地域における強固な基盤と緊密な顧客との関係を維持することにより達成される。与信残高又は利鞘の拡大を優先するあまり、信用の質

を蔑ろにしてはならない。当行は、借手の返済能力が高いという要件を基準に顧客を選別している。その結果、当行の信用ポートフォリオは明らかに、損失発生確率が低いリスク・クラスに集中している。当行のこのような一貫したアプローチは、過去の当行の信用損失率が低いことに反映されている。2020年の融資の信用損失率は0.03%(0.04%)であった。

当行がリスクに対して十分な資本を有し、良好な流動性を維持するよう確実にするため、取締役会は当行の資本及び流動性に対するリスク許容度を規定している。資本のリスク許容度を決定するにあたり、資本の尺度は法定要件と、単一の測定基準により当行グループのすべてのリスクを捉えた当行の経済資本(以下、「EC」という。)モデルに基づいてハンデルスバンケンが評価した所要自己資本により定められる。当行の流動性リスクに関するリスク許容度は、当行がストレス状況下でも一定期間事業を継続できるように、流動資産及び担保差入れ可能な資産を加えた流動性創出策により十分かつ多額の流動性準備金を持たなければならないという要件と、異なる期間内のキャッシュフロー純流入及び流出累計額に関する要件により決定される。

取締役会は、通常の状況下の普通株式等Tier1資本比率は、スウェーデン金融監督庁が当行に通知した普通株式等Tier1比率を1から3パーセンテージ・ポイント上回るものと定め(同監督庁の指針であるフレームワークの1パーセンテージ・ポイント、又は第2の柱を考慮した、当行の評価による2020年度末現在の普通株式等Tier1資本比率は13.8%であった)、利用可能な財源(以下、「AFR」という。)とECとの比率は120%を上回らなければならない旨を定めている。

2020年度末現在の普通株式等Tier1資本比率は20.3%(18.5%)であり、AFR/EC比率は324%(314%)であった。取締役会は流動性準備金を考慮し、家計及び企業からの定期預金以外の預金の10%が最初の1カ月以内に解約されることを仮定したうえで、当行が少なくとも1年間にわたりプラスの正味キャッシュ・フローを積み増さなければならないという目標を定めている。ハンデルスバンケンの流動性準備金の総額と流動性創出策により、こうしたストレス状況下でも3年を超える期間にわたり、流動性要件をカバーできる水準にある。当行のリスク・プロファイルは取締役会が策定したリスク戦略に準拠している。

信用リスク

信用リスクは、当行の取引相手が契約上の義務を履行することができなくなることにより当行が経済的損失に直面するリスクである。

信用リスク戦略

ハンデルスバンケンの与信プロセスは、現地における分散型の組織が高度な与信決定を確実に行うという理念に基づいている。当行は、支店が通常の顧客窓口となる形式の取引銀行であり、そうした顧客との取引を通じて、支店は各顧客に関する知識を深めるとともに、顧客の財政状態の実態を継続的に把握している。

ハンデルスバンケンは、マスマーケットを対象とした銀行ではなく、顧客の選別に注意を払っている。すなわち、当行は信用度の高い顧客を選別している。与信取引高の向上又は収益性の向上を達成するために、質的要件は必ず考慮しなければならない。当行はまた、複雑な顧客群又は複雑で不明瞭な取引が関与する場合には、融資に参画しない。

ハンデルスバンケンが特定顧客の信用リスクを評価する際は、借り手の返済能力から評価しなければならない。当行の与信方針によれば、返済能力の低さが良質な担保によって補われることはない。但し、借り手が返済義務を履行できない場合、当行の損失は担保によって大幅に削減される可能性がある。したがって、通常、与信は適切に担保されていなければならない。

また、現地の支店における顧客との緊密なコンタクトにより、支店は即座に問題を識別し、その問題に対する措置を講じることが可能になる。このことは、多くの場合、当行がより中央集約化された不良債権管理を行うよりも迅速な措置を講じることが可能であることを意味している。支店はまた、与信決定に関する財務上の

全責任を負っている。このため、返済困難に陥った顧客に発生する問題に対処し、信用損失は支店が負うことになる。現地の支店は、必要に応じて地域本部及び中央部門からの支援を受ける。当行は、信用リスクに関連する取引を行うすべての従業員が、この種のリスクに対する堅実かつ系統立ったアプローチを取ることを確認している。当該アプローチは、当行の企業カルチャーの重要な一部を形成している。ここで説明している対処方法及びアプローチは、当行の信用損失の計上額が長期にわたって非常に低いことを示す重要な根拠となっている。

与信組織

ハンデルスバンケンの分散型の組織においては、顧客を担当する現地の支店が、全面的な与信責任を負っている。顧客及び与信責任は、支店長又は支店長から任命された支店の従業員にある。

ハンデルスバンケンの分散化された組織においては、与信の最終判断が支店、地域レベル、取締役会の与信委員会、あるいは取締役会であっても、与信判断の根拠となる文書は与信を担当する支店が必ず作成する。与信判断の文書化には、借り手に関する一般情報及び財務情報、返済能力の評価、貸出金及び与信条件の評価並びに担保の評価が含まれる。

地域銀行の取締役会、当行取締役会の与信委員会及び当行の取締役会では、与信決定額とは無担保の与信の許容額を合わせた与信限度額の合計をいう。貸付総額が5百万スウェーデン・クローネを超える借り手については、与信限度額に照らして与信判断が行われる。個人への住宅用不動産担保付貸出金の場合、12百万スウェーデン・クローネを超える金額について限度額の要件が適用される。住宅用不動産の担保付きの住宅協同組合に対する貸出については、12百万スウェーデン・クローネを超える金額について限度額の要件が適用される。

承認された与信限度額は、通常は1年間にわたって有効である。ただし、特定の状況では、住宅協同組合に対する与信限度額は最長3年間適用可能となる。与信の継続は、新規貸出と同じ要件で手続が行われる。

支店長及び支店のほとんどの行員には、担当顧客に対する与信判断のために個別に決定限度額が設定されている。この決定限度額は当年度中に引き上げられた。

それらの与信限度額を上回る判断については、地域及び中央での判断に委ねられる。そうしたニーズに関する判断には、それぞれ与信に関する専門的知識が必要となる。それぞれの意思決定権者は、自らが意思決定権を有する水準に関して、また、自らに意思決定権がない場合にはより上位者の意思決定に委ねられる与信水準に関しても、与信限度額を拒否する権限を有している。与信の責任を負う意思決定プロセスに関与するすべての者は、意思決定権の水準にかかわらず、肯定的な与信限度額の決定を行うには意見を一致させなければならない。これらの者から僅かであっても疑念が提起された場合には、与信申請は却下される。大口与信案件はグループ与信部でレビューされ、取締役会又は取締役会の与信委員会で決定される。ただし、自動与信モデルにより行われた与信判断を除き、当該与信に責任を負う支店長の推薦がなければ、当行において与信申請が処理されることはない。こうした決定に用いられる自動与信モデルには、最高経営責任者の承認が必要となる。

与信及び与信限度額の決定手続は図AR:5「ハンデルスバンケンにおける信用プロセス及び決定水準」に示している。この図はまた、与信限度額の判断割合及び様々な決定階層における金額の割合を示している。

ハンデルスバンケンの分散化された組織においては、与信及び与信限度額の大部分の決定が個々の支店において行われているため、高度な与信判断を確実に行うためには適切なレビュープロセスがきわめて重要となる。支店長は、行員が下した判断が適切であるか調査し、地域の与信部門は、支店長が下した決定の妥当性について調査する。

このような品質レビューの目的は、当行の与信方針及び内部インストラクションの遵守を確認すること、またこれにより信用の質が維持され、与信及び与信限度額の決定には正しい与信判断及び健全なビジネス・アプローチがあることを示すことにある。同様の品質レビューは、当行のより高いレベルで行われた与信限度額決定に対しても行われている。地域の与信委員会及び地域銀行の取締役会が付与した与信限度額については、グ

グループ与信部によって調査が行われる。グループ与信部ではまた、当行の取締役会又は取締役会が設けた与信委員会が決定した与信限度額についても調査を行う。

Ecster

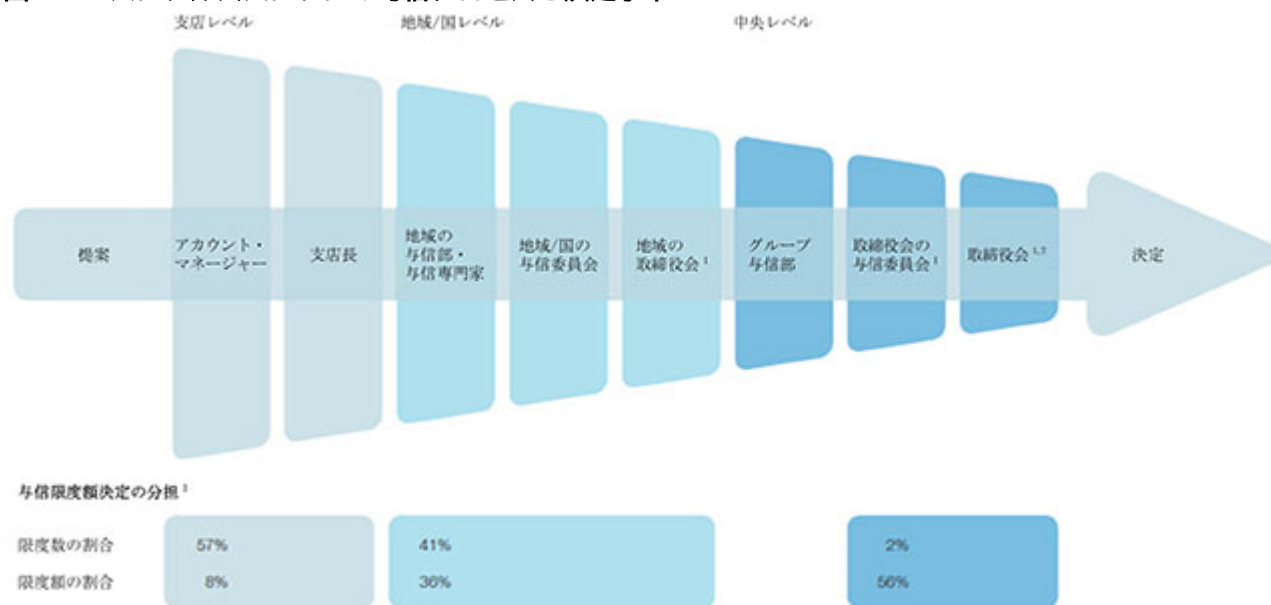
当行子会社であるEcster ABは、スウェーデン全土に拠点を置く特定ベンダーに支払ソリューションを提供している。こうした種類の貸付には、年間を通じて常に、迅速かつ正確な与信決定が行われることが必要であり、与信の決定の大半が自動与信モデルを通じて行われている。これらの自動与信モデルで対応できない与信決定は手作業で行われ、担当従業員は個別に決定される与信限度に従う。与信限度額の大きな案件はEcsterの与信委員会又は取締役会により決定される。顧客がハンデルスバンケンの既存顧客の場合、与信額の引き上げについての決定は、当該顧客の担当支店又は当行の関連部署により行われる。

信用ポートフォリオ

当行の信用ポートフォリオは、貸借対照表項目のカテゴリーに基づいて、本セクションに表示されている。信用リスクに係る所要自己資本のセクションでは、自己資本比率規制(CRR)に基づく信用ポートフォリオについて説明している。

連結貸借対照表項目のカテゴリーに基づき、与信は一般顧客への貸出金、又は金融機関への貸出金に分類され、オフバランスシート項目は商品種類別に分類される。エクスポージャーは、オンバランスシート及びオフバランスシート上の項目の合計を意味している。一般顧客への貸出金が太宗を占めている。表AR:6「信用エクスポージャー、地域別内訳」を参照のこと。

図AR:5 ハンデルスバンケンの与信プロセスと決定水準



1) 与信決定額は無担保与信枠を合わせた与信限度額の合計をいう。

2) 特別目的の案件か一般目的の案件かどうかを判定したうえで、取締役及び一部の執行役員向けの与信を決定する。

3) 本部レベルで決定されたサブリン及び銀行の限度額を除く。

表AR:6 信用エクスポージャー、地域別内訳

信用エクスポージャー、地域別内訳、2020年

(百万スウェーデン・ クローネ)		スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
貸借対照表項目									
現金及び中央銀行預け金		84,525	100,280	18,026	217	114,600	11,035	68,959	397,642
中央銀行への其他貸出金	注記G13	-	1,094	2,862	17,370	-	-	-	21,326
其他金融機関への貸出金	注記G14	19,165	391	451	52	64	155	1,642	21,920
一般顧客への貸出金	注記G15	1,458,989	232,246	260,374	100,634	141,639	63,905	11,825	2,269,612
中央銀行への担保として 適格な利付証券	注記G16	98,353	-	-	18	-	-	762	99,133
社債及び其他利付証券	注記G16	44,550	-	-	16	-	-	-	44,566
デリバティブ商品 ¹	注記G20	30,475	-	-	27	-	-	112	30,614
合計		1,736,057	334,011	281,713	118,334	256,303	75,095	83,300	2,884,813
オフバランスシート項目									
偶発債務	注記G41	331,443	47,296	57,851	31,340	35,546	7,503	32,340	543,319
うち、保証コミットメント		35,882	6,424	5,023	7,311	4,925	121	20,209	79,895
うち、債務		295,561	40,872	52,828	24,029	30,621	7,382	12,131	463,424
合計		331,443	47,296	57,851	31,340	35,546	7,503	32,340	543,319
貸借対照表項目及び オフバランスシート項目									
オフバランスシート項目		2,067,500	381,307	339,564	149,674	291,849	82,598	115,640	3,428,132

信用エクスポージャー、地域別内訳、2019年

(百万スウェーデン・ クローネ)		スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
貸借対照表項目									
現金及び中央銀行預け金		46,551	85,069	22,097	270	106,105	7,996	59,870	327,958
中央銀行への其他貸出金	注記G13	183	1,000	2,881	15,483	-	-	-	19,547
其他金融機関への貸出金	注記G14	12,849	368	139	24	68	139	4,352	17,939
一般顧客への貸出金	注記G15	1,412,328	262,623	283,003	109,060	146,710	56,975	21,904	2,292,603
中央銀行への担保として 適格な利付証券	注記G16	102,363	-	-	18	-	-	1,006	103,387
社債及び其他利付証券	注記G16	42,628	-	-	12	-	-	-	42,640
デリバティブ商品 ¹	注記G20	41,481	-	-	26	-	-	38	41,545
合計		1,658,383	349,060	308,120	124,893	252,883	65,110	87,170	2,845,619
オフバランスシート項目									
偶発債務	注記G41	292,239	52,027	65,670	31,778	38,090	7,766	47,283	534,853
うち、保証コミットメント		37,438	7,424	6,370	8,541	7,679	195	27,539	95,186
うち、債務		254,801	44,603	59,300	23,237	30,411	7,571	19,744	439,667
合計		292,239	52,027	65,670	31,778	38,090	7,766	47,283	534,853
貸借対照表項目及び オフバランスシート項目									
オフバランスシート項目		1,950,622	401,087	373,790	156,671	290,973	72,876	134,453	3,380,472

地理的分布はエクスポージャーが計上されている国を指す。

- 1) 正の市場価値合計を示している。法的に強制力のあるマスター・ネットティング契約が含まれる場合、エクスポージャー額は15,768 (29,522)百万スウェーデン・クローネである。

表AR:7 減損テストの対象となる一般顧客への貸出金、地域別内訳

一般顧客への貸出金、地域別 内訳 2020年	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
百万スウェーデン・クローネ							
スウェーデン	1,427,814	30,336	2,327	-182	-357	-949	1,458,989
英国	213,758	17,977	908	-59	-191	-147	232,246
ノルウェー	245,560	13,933	1,371	-39	-116	-335	260,374
デンマーク	93,530	6,953	523	-46	-75	-251	100,634
フィンランド	133,982	6,536	1,781	-49	-91	-520	141,639
オランダ	63,353	563	-	-8	-3	-	63,905
その他諸国	11,686	86	92	-2	-1	-36	11,825
合計	2,189,683	76,384	7,002	-385	-834	-2,238	2,269,612

一般顧客への貸出金、地域別 内訳 2019年	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
百万スウェーデン・クローネ							
スウェーデン	1,388,088	22,960	3,620	-131	-169	-2,040	1,412,328
英国	252,905	9,094	949	-78	-75	-172	262,623
ノルウェー	272,812	9,264	1,625	-48	-51	-599	283,003
デンマーク	105,365	3,123	986	-42	-43	-329	109,060
フィンランド	139,721	6,160	1,447	-51	-99	-468	146,710
オランダ	56,717	266	-	-7	-1	-	56,975
その他諸国	21,063	802	204	-3	-3	-159	21,904
合計	2,236,671	51,669	8,831	-360	-441	-3,767	2,292,603

ハンデルスバンケンは、長年他行と比べて低水準な信用損失を維持してきており、これが当行の収益目標の達成に貢献しており、健全な財政状態が保たれている。信用供与にあたり、当行は既定の件数や特定セクターでの市場シェアといった目標の達成に努めるのではなく、顧客を選択する際に与信顧客は優良でなければならないと考えることにより、顧客を厳選している。与信残高の増大を達成しようとするあまり品質に対する要求を蔑ろにしてはならない。これは取締役会で毎年承認される与信方針に明記されている。

2020年は世界が新型コロナウイルス感染症によるパンデミック一色となった。当年度の第1四半期に、当行では企業の資金需要が一時的に増加した。欧州では、新型コロナウイルス感染症による財務逼迫を管理することを目的とした規制が導入された。

減損の必要性を特定し限定するため、ハンデルスバンケンは定期的に信用ポートフォリオの質を評価している。新型コロナウイルス感染症それ自体は、当行の信用リスクへの取組みに変更をもたらしてはいない。当行の新型コロナウイルス感染症の影響への対応手法についての詳細は、「リスク及び資本 - 第三の柱に準拠した情報（信用リスク-序章）」並びに貸出返済免除及び政府保証に関する記述に加え、IFRS第9号に基づく対応に関する注記G1、G2及びG10を参照のこと。

表AR:8 減損テストの対象となる一般顧客への貸出金、セクター及び業種別内訳

一般顧客への貸出金、セクター別 2020年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
個人	1,149,125	18,737	2,236	-155	-169	-756	1,169,018
うち、住宅抵当ローン	962,972	12,734	601	-37	-28	-56	976,186
うち、その他の貸出金 (不動産抵当付)	145,738	4,330	591	-13	-19	-139	150,488
うち、その他の貸出金 (個人)	40,415	1,673	1,044	-105	-122	-561	42,344
住宅共同組合	248,889	1,405	98	-6	-3	-43	250,340
うち、住宅抵当ローン	225,561	678	18	-4	-1	-7	226,245
不動産管理	600,483	33,375	1,674	-96	-267	-328	634,841
製造	22,332	3,747	174	-16	-21	-107	26,109
リテール	17,894	2,206	379	-17	-59	-96	20,307
ホテル及びレストラン	4,584	5,804	37	-10	-145	-9	10,261
海運	2,394	2,077	1,162	-1	-6	-288	5,338
その他運輸及び通信	9,025	601	102	-9	-24	-80	9,615
建設	15,655	1,977	166	-19	-41	-86	17,652
電気、ガス及び水道	12,946	754	3	-3	-10	-1	13,689
農業、狩猟及び林業	20,223	1,312	61	-12	-20	-42	21,522
その他サービス	14,616	1,491	318	-18	-43	-211	16,153
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチャルファンド等	46,772	2,011	155	-16	-14	-108	48,800
ソブリン及び地方自治体	7,086	91	-	0	-1	-	7,176
うち、スウェーデン国債局	474	-	-	-	-	-	474
その他の法人向け貸付	17,659	796	437	-7	-11	-83	18,791
合計	2,189,683	76,384	7,002	-385	-834	-2,238	2,269,612

一般顧客への貸出金、セクター別 2019年	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
百万スウェーデン・クローネ							
個人	1,130,885	19,804	2,301	-133	-119	-759	1,151,979
うち、住宅抵当ローン	924,628	13,901	666	-40	-34	-49	939,072
うち、その他の貸出金 (不動産抵当付)	160,282	4,159	575	-14	-17	-155	164,830
うち、その他の貸出金 (個人)	45,975	1,744	1,060	-79	-68	-555	48,077
住宅共同組合	243,357	1,825	102	-7	-4	-12	245,261
うち、住宅抵当ローン	210,053	709	35	-4	0	-10	210,783
不動産管理	630,825	14,738	1,746	-104	-115	-336	646,754
製造	25,801	3,368	1,292	-11	-36	-1,215	29,199
リテール	26,354	2,228	171	-15	-26	-115	28,597
ホテル及びレストラン	8,425	418	20	-8	-7	-7	8,841
海運	5,220	56	1,616	-1	-3	-496	6,392
その他運輸及び通信	9,893	739	96	-5	-10	-79	10,634
建設	17,307	1,798	262	-14	-19	-213	19,121
電気、ガス及び水道	17,148	2,300	8	-3	-10	-8	19,435
農業、狩猟及び林業	17,679	1,491	91	-8	-14	-36	19,203
その他サービス	18,943	1,217	349	-14	-23	-148	20,324
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチャルファンド等	57,044	1,051	145	-16	-13	-111	58,100
ソブリン及び地方自治体	9,773	164	-	-1	0	-	9,936
うち、スウェーデン国債局	-	-	-	-	-	-	-
その他の法人向け貸付	18,017	472	632	-20	-42	-232	18,827
合計	2,236,671	51,669	8,831	-360	-441	-3,767	2,292,603

担保

与信には通常、十分な担保を確保することが当行の与信方針に定められている。当行に良質な担保が差し入れられたことが理由で、返済能力の低さが受け入れられるわけではない。但し、借り手が返済義務を履行できない場合、当行の損失は担保によって大幅に削減される可能性がある。

信用リスクを限定するための当行の対策には、顧客からの差入担保が含まれる。当行における信用リスクを低減するための主な手段は、住宅用不動産や他の不動産などの資産、資産に係る浮動担保（フローティングチャージ）、保証（保証者によるコミットメントを含む）の受入れやネットティング契約の利用である（詳細はカウンターパーティ・リスクのセクションを参照のこと）。

不動産ファイナンスに関しては、与信は不動産の形式により担保でカバーするという基本方針が適用されている。不動産を担保としたエクスポージャーについては、信用エクスポージャーを担保の市場価値で除すことにより借入金比率(LTV)が算定される。当行は不動産担保貸出の最大額に上限を設ける内部の進言及び外部規制に従っている。借入金比率(LTV)の詳細については、「リスク及び資本 - 第三の柱に基づく情報」と題された報告書の、信用リスク - 不動産融資の借入金比率の項目を参照のこと。

担保価値は毎年見直され、見積られた市場価値に基づく。市場価値が低下した結果担保価値が減少したとみなされる場合には、より頻繁に見直しが行われる。IFRS第9号導入後も当行の担保に関するインストラクションには変更が必要とされなかった。通常、借り手が深刻な返済困難に直面しない限り担保は利用されないため、

担保価値の評価は、支払不能となったことによる、不利な状況での売却における予想担保価値に基づいて行われる。

企業に対する無担保の長期信用コミットメントにおいて、当行は、多くの場合、業績不振の際に当行が貸付の再交渉又は契約解除が可能となるような特別な与信条件で顧客と契約を締結する。

特別な状況において、当行は債権の信用リスクをヘッジするためクレジット・デリバティブ又は金融保証を購入する場合があるが、これは当行の通常の貸出プロセスの一部ではない。

金融機関に対する貸出の少数部分は、リバース・レポにより構成されている。リバース・レポは、当行がリバース・レポに基づいて利付証券又は株式を特別な契約(証券が特定の日に特定の価格で売り手に再売却される契約)で購入する買戻取引である。ハンデルスバンケンは、リバース・レポを担保付貸出とみなしている。

信用リスクに対する所要自己資本の算定に用いられる担保のみが以下の表に記載されている。

表AR:9 IFRS第9号に従い減損テストの対象となる一般顧客への貸出金の地域別、セクター別内訳

一般顧客への貸出金(引当金控除後)								
地域別、セクター別内訳、 2020年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
個人	870,056	71,836	99,217	61,620	41,037	18,550	6,702	1,169,018
うち、住宅抵当ローン	836,966	-	72,781	47,767	18,672	-	-	976,186
うち、その他の貸出金 (不動産抵当付)	6,015	68,506	24,691	10,004	17,436	17,833	6,003	150,488
うち、その他の貸出金(個人)	27,075	3,330	1,745	3,849	4,929	717	699	42,344
住宅協同組合	191,168	-	21,800	872	36,500	-	-	250,340
うち、住宅抵当ローン	184,697	-	21,235	-	20,313	-	-	226,245
不動産管理	269,765	138,246	113,522	23,290	44,530	43,230	2,258	634,841
製造	9,856	1,838	3,038	6,543	1,694	1,008	2,132	26,109
リテール	12,414	3,009	3,196	860	776	33	19	20,307
ホテル及びレストラン	3,627	3,750	1,043	1,795	40	6	-	10,261
海運	1,572	20	1,965	3	1,778	-	0	5,338
その他運輸及び通信	4,938	1,234	1,530	211	1,090	611	1	9,615
建設	7,250	2,403	6,622	547	812	18	0	17,652
電気、ガス及び水道	5,791	278	3,132	51	4,337	100	0	13,689
農業、狩猟業及び林業	19,405	1,374	271	305	148	8	11	21,522
その他サービス	7,256	4,614	2,752	637	819	62	13	16,153
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチュアルファンド等	37,887	2,463	1,293	3,236	3,199	246	476	48,800
ソブリン及び地方自治体	2,302	-	289	7	4,578	-	-	7,176
うち、スウェーデン国債局	474							474
その他の法人向け貸付	15,702	1,181	704	657	301	33	213	18,791
一般顧客への貸出金純額	1,458,989	232,246	260,374	100,634	141,639	63,905	11,825	2,269,612
うち、予想信用損失引当金合計(ステージ1-3)	-1,488	-397	-490	-372	-660	-11	-39	-3,457
一般顧客への貸出金合計	1,460,477	232,643	260,864	101,006	142,299	63,916	11,864	2,273,069

一般顧客への貸出金(引当金控

除後)

地域別、セクター別内訳、

2019年

百万スウェーデン・クローネ

	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
個人	834,052	82,036	105,047	64,429	42,514	16,819	7,082	1,151,979
うち、住宅抵当ローン	798,418	-	72,503	48,254	19,897	-	-	939,072
うち、その他の貸出金 (不動産抵当付)	6,423	77,089	30,504	11,186	17,275	16,191	6,162	164,830
うち、その他の貸出金(個人)	29,211	4,947	2,040	4,989	5,342	628	920	48,077
住宅協同組合	188,182	-	23,057	965	33,057	-	-	245,261
うち、住宅抵当ローン	174,378	-	22,003	-	14,402	-	-	210,783
不動産管理	258,326	153,096	125,524	22,978	44,707	37,706	4,417	646,754
製造	11,730	2,757	3,065	4,925	2,175	0	4,547	29,199
リテール	14,222	4,040	4,987	2,734	1,008	41	1,565	28,597
ホテル及びレストラン	2,501	4,083	269	1,931	50	7	-	8,841
海運	2,464	69	1,607	346	1,906	-	-	6,392
その他運輸及び通信	5,897	944	740	1,632	1,396	22	3	10,634
建設	7,522	3,193	6,870	530	987	19	-	19,121
電気、ガス及び水道	6,483	378	4,719	60	6,550	105	1,140	19,435
農業、狩猟業及び林業	16,274	1,998	308	399	181	31	12	19,203
その他サービス	7,640	5,829	3,420	1,104	1,384	738	209	20,324
持株会社、投資会社、保険会社、								
ミューチュアルファンド等	40,533	2,632	1,921	6,227	3,356	1,392	2,039	58,100
ソブリン及び地方自治体	2,589	-	328	2	7,017	-	-	9,936
うち、スウェーデン国債局	-							-
その他の法人向け貸付	13,913	1,568	1,141	798	422	95	890	18,827
一般顧客への貸出金純額	1,412,328	262,623	283,003	109,060	146,710	56,975	21,904	2,292,603
うち、予想信用損失引当金合計(ステージ1-3)	-2,340	-325	-698	-414	-618	-8	-165	-4,568
一般顧客への貸出金合計	1,414,668	262,948	283,701	109,474	147,328	56,983	22,069	2,297,171

表AR:10 信用エクスポージャー、担保別内訳

信用エクスポージャー 担保別、2020年 百万スウェーデン・ク ローネ	住宅用 不動産 ¹	その他の 不動産	ソプリ ン、地方 自治体及 び県域 自治体 ²	自己の債 務の担保 として差 し入れた 保証 ³	金融担保	資産担保	その他の 担保	無担保	合計
貸借対照表項目									
現金及び中央銀行預け金			397,642						397,642
中央銀行へのその他の貸 出金	注記G13		21,326						21,326
その他金融機関への貸出 金	注記G14	-	-	365	978	-	-	20,577	21,920
一般顧客への貸出金	注記G15	1,681,764	347,413	49,766	7,475	13,270	24,383	11,123	2,269,612
中央銀行への担保として 適格な利付証券	注記G16			99,133					99,133
社債及びその他利付証券	注記G16	-	-	2,563	-	-	-	42,003	44,566
デリバティブ商品	注記G20	972	1,688	2,047	81	15,013	-	10,813	30,614
合計		1,682,736	349,101	572,842	8,534	28,283	24,383	11,123	2,884,813
オフバランスシート項目									
偶発債務	注記G41	89,874	51,353	34,779	6,024	10,134	455	11,224	339,476
うち、保証コミットメ ント		4,482	1,528	1,883	2,860	1,201	-	1,024	79,895
うち、債務		85,392	49,825	32,896	3,164	8,933	455	10,200	463,424
合計		89,874	51,353	34,779	6,024	10,134	455	11,224	543,319
貸借対照表項目及び オフバランスシート項目 合計		1,772,610	400,454	607,621	14,558	38,417	24,838	22,347	3,428,132

信用エクスポージャー 担保別、2019年 百万スウェーデン・ク ローネ	住宅用 不動産 ¹	その他の 不動産	ソプリ ン、地方 自治体及 び県域 自治体 ²	自己の債 務の担保 として差 し入れた 保証 ³	金融担保	資産担保	その他の 担保	無担保	合計
貸借対照表項目									
現金及び中央銀行預け金			327,958						327,958
中央銀行へのその他の貸 出金	注記G13		19,547						19,547
その他金融機関への貸出 金	注記G14	-	-	2,969	-	-	-	14,970	17,939
一般顧客への貸出金	注記G15	1,637,016	362,351	57,209	13,112	11,442	24,889	26,127	2,292,603
中央銀行への担保として 適格な利付証券	注記G16			103,387					103,387
社債及びその他利付証券	注記G16			2,982				39,658	42,640
デリバティブ商品	注記G20	463	875	1,739	60	29,993	-	184	41,545
合計		1,637,479	363,226	515,791	13,172	41,435	24,889	26,311	2,845,619
オフバランスシート項目									
偶発債務	注記G41	64,146	41,183	26,675	3,714	4,769	515	22,063	371,788
うち、保証コミットメ ント		1,740	2,191	1,537	1,685	1,013	-	2,959	95,186
うち、債務		62,406	38,992	25,138	2,029	3,756	515	19,104	439,667
合計		64,146	41,183	26,675	3,714	4,769	515	22,063	534,853

貸借対照表項目及び

オフバランスシート項目

合計	1,701,625	404,409	542,466	16,886	46,204	25,404	48,374	595,104	3,380,472
----	-----------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	---------	-----------

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。
- 2) 直接のソブリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。
- 3) 政府保証を含まない。

表AR:11 減損テストの対象となる貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、担保別

減損テストの対象となる貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、担保別、2020年

		2020年					
		総額			引当金		
百万スウェーデン・クローネ		ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
貸借対照表項目							
現金及び中央銀行預け金		397,642	-	-	0	-	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		397,642	-	-	0	-	-
中央銀行へのその他の貸出金	注記G13	21,326	-	-	-	-	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		21,326	-	-	-	-	-
その他金融機関への貸出金	注記G14	21,911	17	-	-2	-6	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		362	3	-	-	-	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³		978	-	-	-	-	-
無担保		20,571	14	-	-2	-6	-
一般顧客への貸出金	注記G15	2,189,683	76,384	7,002	-385	-834	-2,238
住宅用不動産 ¹		1,654,107	26,285	1,985	-109	-128	-376
その他の不動産		312,690	34,317	1,214	-81	-369	-358
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		48,392	1,062	317	-2	-3	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³		7,237	239	8	-3	-6	-
金融担保		12,803	471	2	-3	-3	-
資産担保		22,644	1,815	45	-37	-66	-18
その他担保		9,333	1,740	449	-21	-77	-301
無担保		122,477	10,455	2,982	-129	-182	-1,185
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記16	1,181	-	-	0	-	-
社債及びその他利付証券	注記16	7,964	-	-	-2	-	-
合計		2,639,707	76,401	7,002	-389	-840	-2,238
オフバランスシート項目							
偶発債務	注記G35、G41	391,266	10,743	433	-90	-157	-119
うち、保証コミットメント		77,829	1,910	156	-8	-16	-70
住宅用不動産		4,387	87	9	-5	-2	-3
その他の不動産		1,380	136	12	-	-1	-5
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		1,762	101	20	-	-2	-
自己の債務の担保として差し入れた保証		2,780	78	1	-	-1	-
金融担保		1,088	107	6	-	-1	-
資産担保		-	-	-	-	-	-
その他担保		819	179	26	-	-2	-14
無担保		65,613	1,222	82	-3	-7	-48
うち、債務		313,437	8,833	277	-82	-141	-49
住宅用不動産 ¹		85,050	335	7	-5	-2	-
その他の不動産		48,196	1,515	113	-5	-18	-4
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		32,753	144	-	-	-1	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³		2,874	290	-	-1	-6	-
金融担保		8,858	75	-	-1	-1	-
資産担保		445	10	-	-1	-	-
その他担保		8,879	1,289	32	-11	-44	-8
無担保		126,382	5,175	125	-58	-69	-37
合計		391,266	10,743	433	-90	-157	-119
貸借対照表項目及びオフバランスシート項目合計		3,030,973	87,144	7,435	-479	-997	-2,357

1) 住宅協同組合のアパートを含む。

2) 直接のソブリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。

3) 政府保証を含まない。

減損テストの対象となる貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、担保別、2019年

		2019年					
		総額			引当金		
百万スウェーデン・クローネ		ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3

貸借対照表項目							
現金及び中央銀行預け金		327,958	-	-	0	-	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		327,958	-	-	0	-	-
中央銀行へのその他の貸出金	注記G13	19,547	-	-	-	-	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		19,547	-	-	-	-	-
その他金融機関への貸出金	注記G14	17,750	193	-	-1	-3	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		2,900	71	-	-1	-1	-
金融担保		-	-	-	-	-	-
無担保		14,850	122	-	0	-2	-
一般顧客への貸出金	注記G15	2,236,671	51,669	8,831	-360	-441	-3,767
住宅用不動産 ¹		1,607,259	28,552	1,774	-110	-129	-330
その他の不動産		350,198	11,567	1,168	-93	-101	-388
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		55,917	1,014	283	-2	-3	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³		12,839	199	80	-3	-3	-
金融担保		11,228	215	4	-3	-2	-
資産担保		23,514	1,403	40	-21	-28	-19
その他担保		22,823	2,476	1,882	-17	-54	-983
無担保		152,893	6,243	3,600	-111	-121	-2,047
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記16	1,427	-	-	0	-	-
社債及びその他利付証券	注記16	4,953	-	-	-2	-	-
合計		2,608,306	51,862	8,831	-363	-444	-3,767
オフバランスシート項目							
偶発債務	注記G35、G41	400,479	7,985	712	-69	-66	-106
うち、保証コミットメント		92,097	2,593	496	-7	-13	-71
住宅用不動産		1,675	62	4	-2	-1	-
その他の不動産		2,114	68	8	-	-1	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		1,396	121	20	-	-3	-
自己の債務の担保として差し入れた保証		1,669	10	5	-	-	-
金融担保		933	77	3	-	-	-
資産担保		-	-	-	-	-	-
その他担保		2,342	253	364	-1	-2	-55
無担保		81,968	2,002	92	-4	-6	-16
うち、債務		308,382	5,392	216	-62	-53	-35
住宅用不動産 ¹		61,870	502	34	-5	-2	-5
その他の不動産		38,484	494	14	-4	-5	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²		25,029	106	4	-	-	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³		1,853	174	3	-1	-1	-
金融担保		3,712	40	4	-	-	-
資産担保		501	14	-	-	-	-
その他担保		17,917	1,087	100	-7	-16	-23
無担保		159,016	2,975	57	-45	-29	-7
合計		400,479	7,985	712	-69	-66	-106
貸借対照表項目及びオフバランスシート項目合計		3,008,785	59,847	9,543	-432	-510	-3,873

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。
- 2) 直接のソブリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。
- 3) 政府保証を含まない。

信用リスクの集中

ハンデルスバンケンの支店は、健全な信用力を有する優良顧客と長期的な関係を築くことに大きな重点を置いている。支店は優良顧客を見出した場合、その顧客が属するセクターに対する当行全体のエクスポージャーの大きさに拘わらず、この顧客と取引を行うことができる。その結果、当行の取引は相対的に特定のセクターに集中する傾向がある。しかしながら、当行は信用ポートフォリオのパフォーマンスと質を監視し、様々な事業セクターや地域に対する集中を算定している。当行はまた、主要な個々の取引相手に対するエクスポージャーを測定し監視している。当行はまた、信用リスク評価を補完するために、個々の取引相手に対する最大信用エクスポージャーを制限する特別な限度額も適用している。リスクの増加が想定される特定のセクターや取引相手に信用ポートフォリオが集中している場合には、この集中が監視される。リスクの集中は当行の信用リスクに対する経済資本の算定において、また、自己資本比率の内部評価において実施されるストレス・テストにおいて特定される。信用ポートフォリオにおけるリスクの集中に関し、第二の柱に基づき、スウェーデン金融監督庁も別途、所要自己資本を計算している。これにより、ハンデルスバンケンは、リスクの集中も考慮した十分な資本を有していることを確認している。リスクの集中が過剰であると判断される場合には、当行は様々なリスク軽減策を用いてリスクを軽減する機会及び能力がある。

住宅ローン及び住宅協同組合への貸付に加え、ハンデルスバンケンは不動産管理部門に関してかなりの貸付業務を行っており、その金額は635(647)十億スウェーデン・クローネである。ここでの不動産管理部門とは、リスク評価上「不動産会社」として分類されているすべての会社を指す。他の業界で事業を行っている企業グループの不動産管理子会社が、当該企業グループの事業不動産を管理することは一般的に行われているが、そうした不動産会社もここでは不動産管理部門に属しているとみなされる。但し、取引相手の返済能力は不動産管理以外の事業活動によって決定されるため、そうした場合に存在する信用リスクは、不動産関連のリスクのみではない。さらに、相当な不動産を保有している個人について、リスク評価では不動産会社として分類される。

不動産貸出の大半は、借入金比率 (LTV) の低い不動産抵当貸付で構成されており、当行の信用損失リスクを軽減する。さらに、不動産貸出の大部分は、借り手のキャッシュ・フローが堅調であり、信用力が非常に高い、国有の不動産会社、地方自治体所有の住宅会社及びその他の住宅関連会社向けである。したがって、不動産部門への貸出の大部分は、返済困難に陥る確率が非常に低い会社に対する貸出である。当行の不動産セクターに対するエクスポージャーは、以下の表に明記されている。

当行においてリスク区分5 (正常リスク) よりも低い格付の不動産関連の取引相手に対するエクスポージャーは非常に低いものになっている。スウェーデンにおける不動産貸出全体の99(99)%は、リスク・クラス5以上の水準となっている。不動産貸出に占めるリスク・クラス5以上のエクスポージャーは、英国98(98)%、ノルウェー99(98)%、デンマーク98(97)%及びフィンランド98(97)%となっている。オランダに関する所要自己資本は、所定のリスク加重を用いる標準的手法を用いて計算されており、リスク区分は所要自己資本の算定とは関連していない。リスク区分が正常よりも低い水準にある取引相手のうち、大半がリスク区分6及び7に属しており、ごく一部がより高いリスク区分である8及び9に属している。ハンデルスバンケンのリスク区分に関する情報については、注記G2「信用リスクに関する資本要件の算定」セクションを参照のこと。

ここ数年でのハンデルスバンケンによる不動産会社に対する貸付は、支店網の拡充に伴い当行の英国における与信額が大幅に増加したことによっても増加した。この増加の大半は、不動産関連の与信業務によるものである。ハンデルスバンケンは、英国において返済能力、LTV及び担保の質に関する評価において、他の拠点市場と同様に厳密な要件を設けている。

表AR:12 減損テストの対象となる一般顧客への貸出金、 - 不動産管理

一般顧客への貸出金 不動産管理、2020年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
スウェーデンにおける貸出金							
国有不動産会社	7,895	14	-	0	0	-	7,909
地方自治体が所有する不動産会社	7,635	-	-	0	-	-	7,635
住宅用不動産会社	124,320	1,274	57	-5	-8	-47	125,591
うち、住宅抵当ローン	113,335	1,107	12	-4	-6	-6	114,438
その他の不動産管理	118,593	10,026	218	-20	-101	-86	128,630
うち、住宅抵当ローン	63,899	1,920	29	-3	-12	-10	65,823
合計	258,443	11,314	275	-25	-109	-133	269,765
スウェーデン国外における貸出金							
英国	127,793	10,051	622	-37	-76	-107	138,246
ノルウェー	105,806	7,731	61	-16	-56	-4	113,522
デンマーク	21,133	2,087	125	-7	-14	-34	23,290
フィンランド	42,328	1,684	577	-3	-9	-47	44,530
オランダ	42,742	498	-	-8	-2	-	43,230
その他諸国	2,238	10	14	0	-1	-3	2,258
合計	342,040	22,061	1,399	-71	-158	-195	365,076
一般顧客への貸出金に占める 不動産管理合計							
	600,483	33,375	1,674	-96	-267	-328	634,841

一般顧客への貸出金 不動産管理、2019年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
スウェーデンにおける貸出金							
国有不動産会社	6,304	35	-	0	0	-	6,339
地方自治体が所有する不動産会社	7,291	-	-	0	-	-	7,291
住宅用不動産会社	118,042	1,456	69	-5	-5	-50	119,507
うち、住宅抵当ローン	105,249	1,236	10	-3	-4	-4	106,484
その他の不動産管理	122,326	2,791	168	-10	-13	-73	125,189
うち、住宅抵当ローン	60,237	1,407	15	-3	-5	-2	61,649
合計	253,963	4,282	237	-15	-18	-123	258,326
スウェーデン国外における貸出金							
英国	146,345	6,241	720	-45	-54	-111	153,096
ノルウェー	123,541	1,994	67	-28	-16	-34	125,524
デンマーク	22,242	635	151	-5	-11	-34	22,978
フィンランド	42,854	1,346	555	-3	-14	-31	44,707
オランダ	37,485	229	-	-7	-1	-	37,706
その他諸国	4,395	11	16	-1	-1	-3	4,417
合計	376,862	10,456	1,509	-89	-97	-213	388,428
一般顧客への貸出金に占める 不動産管理合計							
	630,825	14,738	1,746	-104	-115	-336	646,754

表AR:13 一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、担保の種類及び国別（総額）

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理 担保の種類及び国別										
百万スウェーデン・ クローネ	2020年					2019年				
	貸出金	国 及び地方 自治体 ¹	住宅用 不動産	商業用 不動産 及び その他の 担保	無担保	貸出金	国 及び地方 自治体 ¹	住宅用 不動産	商業用 不動産 及び その他の 担保	無担保
スウェーデン	270,032	16,324	146,083	101,866	5,759	258,482	14,552	134,987	98,139	10,804
英国	138,466	9	71,953	66,197	307	153,306	-	77,694	72,762	2,850
ノルウェー	113,598	23	20,557	85,723	7,295	125,602	-	21,312	97,021	7,269
デンマーク	23,345	-	14,135	8,857	353	23,028	-	12,179	10,146	703
フィンランド	44,589	23,110	7,368	13,573	538	44,755	22,734	7,371	13,972	678
オランダ	43,240	-	27,959	14,212	1,069	37,714	-	24,283	13,079	352
その他諸国	2,262	447	708	506	601	4,422	474	779	2,105	1,064
合計	635,532	39,913	288,763	290,934	15,922	647,309	37,760	278,605	307,224	23,720

1) 政府及び地方自治体、又は政府及び地方自治体が保証する不動産融資が保有する企業

表AR:14 一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び国別

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び国別、2020年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計	%
1	15,390	327	772	12	12,562	-	-	29,063	4.57
2	79,954	18,556	19,972	1,259	7,775	-	3	127,519	20.06
3	113,753	52,180	57,077	8,634	10,505	-	-	242,149	38.10
4	36,228	49,852	25,928	11,030	9,731	-	-	132,769	20.89
5	20,985	14,351	8,395	1,835	2,701	-	-	48,267	7.60
6	1,451	1,899	1,157	138	257	-	-	4,902	0.77
7	473	279	164	283	100	-	-	1,299	0.20
8	215	16	23	1	33	-	-	288	0.05
9	185	-	42	25	105	-	-	357	0.06
デフォルト	274	622	60	125	577	-	-	1,658	0.26
標準的手法 ¹	1,124	384	8	3	243	43,240	2,259	47,261	7.44
合計	270,032	138,466	113,598	23,345	44,589	43,240	2,262	635,532	100

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び国別、2019年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計	%
1	17,027	427	905	6	12,637	-	-	31,002	4.79
2	71,671	22,748	23,950	1,625	8,902	-	5	128,901	19.91
3	111,256	68,186	66,041	12,678	11,392	-	-	269,553	41.64
4	41,979	51,783	26,798	6,060	8,660	105	-	135,385	20.92
5	14,144	7,729	5,016	2,063	1,828	-	-	30,780	4.76
6	1,327	1,137	2,275	171	203	-	-	5,113	0.79
7	470	395	411	226	285	-	-	1,787	0.28

8	210	82	39	21	13	-	-	365	0.06
9	152	1	98	24	48	-	-	323	0.05
デフォルト	237	720	67	151	555	-	-	1,730	0.27
標準的手法 ¹	9	98	2	3	232	37,609	4,417	42,370	6.55
合計	258,482	153,306	125,602	23,028	44,755	37,714	4,422	647,309	100

表AR:15 一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分、担保の種類及び無担保別

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分、担保の種類及び無担保別、2020年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	貸出金	担保				
		住宅用不動産	商業用不動産	政府及び地方自治体からの保証	その他の担保	無担保
1	29,063	9,555	3,262	15,283	251	712
2	127,519	62,540	46,543	12,800	1,320	4,316
3	242,149	111,830	121,069	4,151	629	4,470
4	132,769	57,887	65,805	5,736	472	2,869
5	48,267	15,040	30,685	1,021	442	1,079
6	4,902	1,741	2,887	164	30	80
7	1,299	486	758	-	8	47
8	288	57	226	-	1	4
9	357	94	228	4	6	25
デフォルト	1,658	567	597	305	19	170
標準的手法 ¹	47,261	28,966	15,221	449	475	2,150
合計	635,532	288,763	287,281	39,913	3,653	15,922

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分、担保別、2019年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	貸出金	担保				
		住宅用不動産	商業用不動産	政府及び地方自治体からの保証	その他の担保	無担保
1	31,002	11,172	3,732	14,370	721	1,007
2	128,901	58,833	50,828	12,132	1,076	6,032
3	269,553	110,344	146,562	4,521	1,421	6,705
4	135,385	57,961	66,614	4,927	730	5,153
5	30,780	12,488	14,146	1,037	463	2,646
6	5,113	1,554	3,390	7	30	132
7	1,787	617	1,026	11	39	94
8	365	119	229	-	0	17
9	323	125	115	4	7	72
デフォルト	1,730	277	663	276	19	495
標準的手法 ¹	42,370	25,115	14,926	475	487	1,367
合計	647,309	278,605	302,231	37,760	4,993	23,720

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

信用リスクに関する所要自己資本の算定

リスク格付制度

信用リスクに対する所要自己資本は欧州委員会委任規則575/2013 (CRR) に従い、標準的手法及びIRB手法に基づいて算定される。標準的手法では所要自己資本の算定におけるリスク加重が予め定められているのに対し、IRB手法では金融機関が所要自己資本の算定に際してリスク加重の決定に用いるリスク・パラメーターを見積もる。IRBには二つの異なる手法があり、一つは自行推計のLGD (デフォルト時損失率) やCCFを用いず、未使用の当座貸越契約枠やローン・コミットメント、保証、他のオフバランスシート・コミットメントのエクスポージャー額の計算にCCFを用いる手法 (基礎的手法) であり、もう一つは自行推計のLGDやCCFによるIRB手法 (先進的手法) である。

顧客の与信評価を行う際、顧客にはIRB手法で用いる格付等級に紐づけられた格付けが割り当てられる。

格付には、財務逼迫リスク (A) と、こうした逼迫に対する取引相手の経済的耐久力 (B) という二つの側面があり、極めて低いリスクからきわめて高いリスクまでを5段階で評価している。

IRB手法の適用にあたって、この格付は各国政府、中央銀行、政府系機関及び地方自治体に対するエクスポージャー (ソブリン・エクスポージャー) 同様、法人及び機関に対するエクスポージャーに関しても、内部リスク区分に変換されている (A+B-1)。

リテール・エクスポージャーの格付は、法人エクスポージャーのようにリスク区分に直接転換されるわけではなく、異なるエクスポージャーが特定の要因に基づいて、いくつかのより小規模なグループに分類される。こうした要因には、与信の種類、取引相手の返済履歴のほか、複数の借り手の有無などが含まれる。平均的なデフォルト確率は各小規模なグループについて算定され、これに基づき、グループごとに10段階のリスク区分のいずれかに分類される。個人向けエクスポージャーと中小企業向けエクスポージャーには異なるモデルが使用されている (どちらもリテール・エクスポージャーのカテゴリーに分類されている) が、原則は同じである。IRB手法に用いられるリスク区分は、このように1から10までの段階に分類される。

当行のエクスポージャーの大半はリスク区分1 - 4に属し、これは、信用ポートフォリオの平均的なリスク水準が正常リスクとして評価されるレベルよりも著しく低いことを意味している。リスク区分5は正常リスクに相当し、リスク区分10は取引相手がデフォルト状態に陥っていることである。

ハンデルスバンケンの内部リスク格付制度 (IRB手法) は、当行の信用リスクの分類及び定量化に対応するためのいくつかの異なるシステム、手法、プロセス及び手順より構成されている。

このIRB手法は、業務における信用リスクを信頼性及び一貫性をもって測定するために使用される。

エクスポージャー区分

エクスポージャー区分は信用リスク算定に用いる手法により異なる。標準的手法で算定されるエクスポージャーは、17の異なるエクスポージャー区分に分類される。一方、IRB手法では7つのエクスポージャー区分が用いられる。

当行は信用リスクを算定する際、エクスポージャーの種類により異なる手法を用いる。IRB手法による全体のエクスポージャー区分は、ソブリン・エクスポージャー、機関エクスポージャー、法人エクスポージャー、リテール・エクスポージャー、株式エクスポージャー及び証券化ポジションのエクスポージャーからなる。さらに、有形固定資産などの取引相手による行為が一切必要とされない非信用債務資産がある。

政府、中央銀行、政府系機関及び地方自治体に対するエクスポージャーはソブリン・エクスポージャーに分類される。機関エクスポージャーは、銀行及びその他の金融機関並びに特定の投資会社に分類される取引相手に対するエクスポージャーをいう。

リテール・エクスポージャーには、個人及び中小企業の両方に対するエクスポージャーが含まれ、この場合の当行グループのエクスポージャー合計は5百万スウェーデン・クローネを超えないものとする。リテール・エ

クスポートは、不動産貸付エクスポージャーとその他のリテール・エクスポージャーの二つの小区分に分類される。

法人エクスポージャーは、当行グループのエクスポージャー合計が5百万スウェーデン・クローネ超の法人、売上が50百万スウェーデン・クローネ超の企業、当行グループのエクスポージャー合計が5百万スウェーデン・クローネ超の中小企業などの金融機関以外に対するエクスポージャーをいう。一般的な金融機関以外の企業とは別に、このエクスポージャー区分には保険会社、住宅共同組合のエクスポージャー及び「スペシャライズド・レンディング」形式によるエクスポージャーが含まれる。

株式エクスポージャーは、トレーディング勘定には含まれない当行の株式保有をいう。

標準的手法を用いる場合には、当行の資産は、国際開発銀行エクスポージャー、国際機関エクスポージャー、機関エクスポージャー、法人エクスポージャー、リテール・エクスポージャー、不動産担保付エクスポージャー、デフォルトエクスポージャー、その他及び株式エクスポージャーのエクスポージャー区分に分類される。

表AR:16 リスク区分別信用リスクのエクスポージャー

リスク区分別信用エクスポージャー、 2020年	貸借対照表項目				オフバランスシート項目				
	一般顧客への貸出金	その他金融機関への貸出金	現金及び中央銀行預け金	中央銀行へのその他の貸出金	デリバティブ商品	利付証券	偶発債務	債務	合計
百万スウェーデン・クローネ									
リスク区分									
1	479,918	5,068	396,840	21,326	3,295	106,022	7,041	53,056	1,072,566
2	590,700	13,404	762	-	8,747	21,528	28,595	136,432	800,168
3	587,579	465	40	-	4,272	15,173	18,215	129,448	755,192
4	285,396	38	-	-	2,686	-	16,349	60,683	365,152
5	103,797	37	-	-	414	-	5,383	35,281	144,912
6	24,293	7	-	-	234	-	752	8,371	33,657
7	22,536	1	-	-	20	-	130	5,076	27,763
8	2,090	-	-	-	4	-	77	4,190	6,361
9	9,525	-	-	-	-	-	69	2,674	12,268
デフォルト	3,914	-	-	-	-	-	73	333	4,320
標準的手法 ¹	159,864	2,900	-	-	10,942	976	3,211	27,880	205,773
合計	2,269,612	21,920	397,642	21,326	30,614	143,699	79,895	463,424	3,428,132

リスク区分別信用エクスポージャー、 2019年	貸借対照表項目				オフバランスシート項目				
	一般顧客への貸出金	その他金融機関への貸出金	現金及び中央銀行預け金	中央銀行へのその他の貸出金	デリバティブ商品	利付証券	偶発債務	債務	合計
百万スウェーデン・クローネ									
リスク区分									
1	434,204	4,185	326,508	19,547	12,158	120,838	7,575	52,519	977,534
2	611,021	10,263	1,425	-	3,324	9,269	33,800	130,358	799,460
3	632,816	1,517	25	-	13,119	15,917	32,573	137,934	833,901
4	303,308	30	-	-	2,553	-	6,551	51,025	363,467
5	92,125	120	-	-	253	0	7,628	31,202	131,328
6	19,862	7	-	-	98	-	741	4,582	25,290

7	25,571	5	-	-	23	-	217	3,810	29,626
8	2,551	-	-	-	4	-	163	3,125	5,843
9	10,633	-	-	-	-	-	98	2,004	12,735
デフォルト	4,486	-	-	-	4	-	410	153	5,053
標準的手法 ¹	156,026	1,812	-	-	10,009	3	5,430	22,955	196,235
合計	2,292,603	17,939	327,958	19,547	41,545	146,027	95,186	439,667	3,380,472

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

リスク分類方法

当行は、信用リスクを定量化するために、デフォルト確率（以下、「PD」という。）、デフォルト時エクスポージャー（以下、「EAD」という。）、デフォルト時損失率（以下、「LGD」という。）を算定している。デフォルト（債務不履行）は、取引相手が90日超支払いを行わない場合、あるいは契約上合意した条件による支払いができないと評価された場合であると定義される。PD値はパーセントで表され、例えば、PD値が0.5%である場合は、PD値が同一である200人のうちの1人の借り手が、1年以内にデフォルトに陥ると予想されることを意味する。

取引相手に対して用いられる事業評価テンプレートに基づき、法人エクスポージャーは4つの取引相手区分に、ソブリン・エクスポージャーは2つの取引相手区分に分類される。PDIは、リスク区分及び取引相手の分類別にそれぞれ算定される。デフォルト時損失率（LGD）及び掛目（CCF）の自行推計値を用いないIRB手法に従って自己資本を算定する必要があるエクスポージャーについては、LGDに規定値を適用する。ここで使用される可能性のある規定値は、各エクスポージャーに対して差し入れられた担保によって決定されている。

リテール・エクスポージャーにも同様に、リスク区分ごとに平均デフォルト率が算定されている。個人向けエクスポージャーと中小規模企業向けエクスポージャーには異なるモデルが使用されている（どちらもリテール・エクスポージャーのカテゴリーに分類されている）が、原則は同じである。

リテール・エクスポージャー並びに中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合に対する法人エクスポージャーについては、自行の損失実績を用いてLGDを算定する。LGD及びCCFの自行推計値を用いるIRB手法を使用して自己資本比率を算定する必要がある大企業に対するエクスポージャーについては、内部損失及び外部の観察可能な指標に基づいてLGDが算定される。スウェーデンの不動産担保が付されているリテール・エクスポージャー並びに中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合（法人）に対する不動産エクスポージャーについては、当該担保価値に対する借入金比率に応じて、異なるLGD値が適用される。その他のエクスポージャーについては、LGD値は担保の有無、担保価値、商品の種類及び類似する要因に基づいて決定される。

エクスポージャーの各区分に関しては、債務不履行に陥っていない取引相手又は契約のリスク区分のそれぞれについてPDが算定されている。PDは、エクスポージャーの異なる種類別の過去のデフォルト確率に基づいて算定される。その後、平均デフォルト確率は、様々な保守的に加えるマージンを使用して調整される。

LGDを算定する際のリスク尺度は、経済的に不利な状況における損失率（「景気後退期を勘案したLGD」として知られている）を反映しなければならない。不動産担保の場合、この景気後退期を勘案したLGDは1990年代初頭の不動産危機によって生じた損失に基づいて算定されている。リテール・エクスポージャーに関するその他の担保について、このLGDはPD及び商品の種類ごとの要因に応じて景気後退を勘案して調整される。自行推計のLGDとCCFを用いるIRB手法で算定する法人エクスポージャーに関しては、LGDが景気後退を勘案して調整されるため、1991年から1996年にかけての景気後退期における当行の損失が考慮に入れられている。不動産担保付きエクスポージャーのLGDは、多くの場合、当該不動産の借入金比率に基づき見積もられる。不動産価値及びその影響により借入金比率も通常景気循環とともに変動するため、自己資本比率もある程度の景気循環との相関関係を持つことになる。

デフォルト時エクスポージャー（EAD）が算定される場合、帳簿価額に対して一定の調整が行われる。例えば、顧客が将来において一定金額まで借入れを行うことを当行との間で合意しているローン・コミットメントやリボルビング・クレジット等である。このようなコミットメントは、十分な資本によってカバーされなければならない信用リスクに含まれる。一般的にこれは、付与された与信枠のうちの報告時点では未使用の部分が一定の掛目（CCF）を用いて調整されることを意味する。法人エクスポージャー及び機関エクスポージャーに関する特定の商品カテゴリーについて、掛目（CCF）は規制によって決定されるが、リテール・エクスポージャー並びに大企業、中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合の特定の商品区分に関しては、当行は独自に算定した掛目（CCF）を用いている。ここで掛目（CCF）に主に影響するのは商品であるが、利用水準も関連する可能性がある。

リスク・パラメーター（PD、EAD、LGD）は、自己資本比率の計算だけでなく、個々の取引の資本コスト及び経済資本（以下、「EC」という。）の算定にも用いられる。

表AR:17 減損テストの対象となる貸借対照表項目、リスク区分別

IFRS第9号に従い減損テストの対象となる 貸借対照表項目、リスク区分別、2020年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	841,863	2,045	-	-5	-3	-
2	630,307	3,783	-	-24	-6	-
3	607,480	4,462	-	-46	-10	-
4	278,936	9,312	-	-97	-30	-
5	74,216	30,500	-	-99	-243	-
6	14,688	10,059	-	-33	-181	-
7	17,129	5,562	-	-10	-124	-
8	624	1,528	-	-3	-55	-
9	4,367	5,285	-	-21	-106	-
デフォルト	-	-	5,993	-	-	-2,079
標準的手法 ¹	170,097	3,865	1,009	-51	-82	-159
合計	2,639,707	76,401	7,002	-389	-840	-2,238

IFRS第9号に従い減損テストの対象となる 貸借対照表項目、リスク区分別、2019年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	733,064	2,079	-	-4	-2	-
2	634,644	5,689	-	-22	-9	-
3	660,270	7,179	-	-43	-12	-
4	298,762	7,754	-	-99	-26	-
5	70,960	9,244	-	-106	-82	-
6	17,555	2,494	-	-39	-44	-
7	18,177	7,573	-	-20	-131	-
8	722	1,882	-	-1	-47	-
9	5,038	5,689	-	-14	-80	-
デフォルト	-	-	8,173	-	-	-3,687
標準的手法 ¹	169,114	2,279	658	-15	-11	-80
合計	2,608,306	51,862	8,831	-363	-444	-3,767

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

表AR:18 減損テストの対象となる一般顧客への貸出金、リスク区分別

IFRS第9号に従い減損テストの対象となる 一般顧客への貸出金、リスク区分別、2020 年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	477,881	2,045	-	-5	-3	-
2	586,946	3,782	-	-22	-6	-
3	583,172	4,462	-	-45	-10	-
4	276,211	9,312	-	-97	-30	-
5	73,634	30,500	-	-99	-238	-
6	14,448	10,059	-	-33	-181	-
7	17,109	5,561	-	-10	-124	-
8	620	1,528	-	-3	-55	-
9	4,367	5,285	-	-21	-106	-
デフォルト	-	-	5,993	-	-	-2,079
標準的手法 ¹	155,295	3,850	1,009	-50	-81	-159
合計	2,189,683	76,384	7,002	-385	-834	-2,238

IFRS第9号に従い減損テストの対象となる 一般顧客への貸出金、リスク区分別、2019 年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	432,131	2,079	-	-4	-2	-
2	605,363	5,687	-	-20	-9	-
3	625,691	7,179	-	-42	-12	-
4	295,679	7,754	-	-99	-26	-
5	83,070	9,244	-	-107	-82	-
6	17,451	2,494	-	-39	-44	-
7	18,154	7,568	-	-20	-131	-
8	717	1,882	-	-1	-47	-
9	5,038	5,689	-	-14	-80	-
デフォルト	-	-	8,173	-	-	-3,687
標準的手法 ¹	153,377	2,093	658	-14	-8	-80
合計	2,236,671	51,669	8,831	-360	-441	-3,767

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

表AR:19 減損テストの対象となるオフバランスシート項目、リスク区分別

IFRS第9号に従い減損テストの対象となるオフ バランスシート項目、リスク区分別、 2020年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	43,265	170	-	-1	0	-
2	115,428	675	-	-6	-2	-
3	102,844	719	-	-8	-1	-
4	54,880	1,035	-	-17	-2	-
5	25,923	4,826	-	-23	-45	-
6	7,601	1,501	-	-6	-24	-
7	4,569	609	-	-3	-19	-
8	3,886	350	-	-1	-17	-
9	2,437	278	-	-2	-19	-
デフォルト	-	-	402	-	-	-117
標準的手法 ¹	30,432	580	31	-23	-28	-2
合計	391,266	10,743	433	-90	-157	-119

IFRS第9号に従い減損テストの対象となるオフ バランスシート項目、リスク区分別、 2019年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	39,710	384	-	-2	-1	-
2	133,002	662	-	-5	-1	-
3	121,064	1,310	-	-9	-1	-
4	36,561	1,033	-	-14	-3	-
5	29,770	1,831	-	-24	-11	-
6	4,923	412	-	-6	-6	-
7	3,113	927	-	-5	-17	-
8	2,670	628	-	0	-10	-
9	1,814	296	-	-1	-7	-
デフォルト	-	-	669	-	-	-106
標準的手法 ¹	27,852	502	43	-3	-9	-
合計	400,479	7,985	712	-69	-66	-106

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

外部格付との比較

当行のリスク区分は外部信用格付機関が採用する格付とは直接比較することができない。外部格付機関の格付は、当行の格付モデルが実施しているような、取引相手先の債務不履行に陥る可能性を直接分類したものと一致していない。また、外部格付機関が債務不履行がもたらす損失の深刻さを織り込む程度はさまざまである。当行が信用度を評価する対象期間は、信用格付機関が用いる対象期間と同一であるとは限らない。当行のリスク区分は一貫したスケールによるわけではなく、特定のリスク区分は特定のデフォルト確率と常に一致している。また異なるPDのスケールが信用ポートフォリオの異なる部分に適用されるほか、PD値は経年変化する。

全般的に、内部リスク区分を明確かつ一貫性を持って外部格付に変換することは不可能である。しかし、格付機関Moody'sの外部格付区分のデフォルト確率と、ハンデルスバンケンのリスク区分における過去のデフォルト確率を比較分析することにより、明確な比較対照表を入手し得る。

信用リスクモデルの品質管理

当行は格付システムを毎年詳細にレビューしている。このレビューでは、当行のリスク格付の根拠となる内部格付が、一貫して正確にかつ目的に適合した方法で用いられ（評価）、また使用されたモデルが満足の行く方法でリスクを測定している（検証）ことを確認する。より詳細な記述については、「リスク及び資本 - 第三の柱に基づく情報」と題された報告書、信用リスク - 格付システムの品質管理の項目を参照のこと。

予想信用損失の算定

IFRS第9号で示された減損に関する規則は、償却原価で計上される金融資産、その他包括利益を通じて公正価値で計上される金融資産、並びに金融保証及び取消不能のコミットメントに適用されている。本セクションでは、ハンデルスバンケンの予想信用損失（ECL）引当金に関するモデルベースの算定に用いるプロセスと手法を説明している。

予想信用損失の推計は債権レベルで行われ、債権とカウンターパーティの性質が引当必要額の分類と定量化に決定的な影響を与える。推計はモデルベース、マニュアルによる算定のいずれかにより行われ、手法の選択は主に、債権が信用減損しているとみなされているか否かにより決定する。

予想信用損失の認識と測定に関する情報と定義については、注記G1及びセクション10「信用損失」を参照のこと。

ステージ1及びステージ2債権に対するモデルベースの算定

モデルベースの予想信用損失の算定におけるハンデルスバンケンのグループ規模の中央集権的なプロセスは、ステージ1及びステージ2債権の引当必要額の定量化に対応する、多くの異なるプロセスと手法を組み込んでいる。

このモデルベースの算定は、過去と現在に加え将来予測的なデータを織り込んでいる。過去データは用いられるモデル構築とパラメーター設定の基礎となり、現在データは報告日現在の公表済の残高データ（算定要件に含まれる通り）、将来予測的なデータは将来のリスク・パラメーター及びエクスポージャーの算定に用いられるマクロ経済シナリオである。

このモデルはIRBモデルと同じ過去のリスクデータを用いており、これは引当金の会計処理と自己資本比率の算定が同一の基礎的な損失実績に基づくことを示している。リスク格付制度が自己資本比率の算定に与える影響と同様に、（リスク格付が導出される）内部格付は予想信用損失算定モデルの重要な一部分である。予想信用損失の算定は、主にデフォルト確率（以下、「PD」という。）、デフォルト時エクスポージャー（以下、「EAD」という。）及び、デフォルト時損失率（以下、「LGD」という。）というリスク・パラメーターの影響を受ける。将来の予想信用損失は、EADの現在価値にPD及びLGDを乗じて算定される。リスク・パラメーターであるPD、EAD、LGDを用いる自己資本比率規制における信用損失の算定とは異なり、IFRS第9号に基づく予想信用損失の推計は現在の将来予測的な評価に基づいている。規制の目的はそれぞれ異なるため、算定モデルもリスク・パラメーターの設定手法や構築手法の点で異なっている。IFRS第9号及びIRB手法の主な相違点については、表AR:20「IFRS第9号とIRB手法の相違点」を参照のこと。

マクロ経済関連情報

信用リスクの著しい増大と予想信用損失のモデルベースの評価は、モデルに個々のリスク・パラメーター（PD、EAD及びLGD）を適用して算定される。この算定が非線型的な側面を考慮するよう確実にするため、モデルには3つの将来予測なマクロ経済シナリオ（基本（中立）シナリオ、上方シナリオ、下方シナリオ）が用いられる。各シナリオには各国別の失業率、国内総生産（GDP）、不動産価格、主要行又は中央銀行の基準金利、インフレ率をはじめとする重要なマクロ経済上のリスク要因が含まれる。重要なマクロ経済上のリスク要因は当行の過去データを評価して特定され、リスク・パラメーターとの関連性は同じ過去データを用いて見積もられる。適用されるリスク・パラメーターの調整にはさまざまなシナリオが用いられる。それぞれのマクロ経済シナリオには当行が決定する（発生）確率が当てられている。これらの確率は現在、基本（中立）シナリオが70%（60%）、上方シナリオが15%（15%）及び下方シナリオが15%（25%）となっている。予想信用損失は各シナリオの予想信用損失の確率加重平均として認識される。

マクロ経済シナリオは全て当行の経済調査部署により作成され、同部署が社内外の使用を問わず、ハンデルスバンケンが公表するすべての経済分析の責任を負う。これらのマクロ経済シナリオは、世界経済の予測に加え、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、デンマーク、英国、ユーロ圏諸国、米国の各地域固有の30年予測から構成される。マクロ経済シナリオの変更や用いられる確率加重の変更は、信用リスクの著しい増大の評価や予想信用損失の推計に大きな影響を与える。各シナリオは当行の経済調査部署により四半期ごとに更新され、ECL算定に用いる前に関連意思決定者に提出され承認を得る。

ポートフォリオの分類

モデルベースの評価には統計モデルが用いられる。これらの統計モデルはポートフォリオの異なる分類のために開発されたもので、各分類は類似したリスク・エクスポージャーから構成され、共通したリスク要因の組合せを基にリスク・パラメーターが見積もられる。リテール・エクスポージャーのポートフォリオは商品の種類に基づいて分類され、他のエクスポージャーはカウンターパーティの種類に基づいて分類される。この分類は統計分析と専門家による評価を基に行われている。リテール・エクスポージャーについては、ポートフォリオは以下の9つの区分、すなわち住宅不動産担保個人向けエクスポージャー、個人及び中小企業向けのクレジットカード・エクスポージャーを含むリボルビング・クレジット、個人及び中小企業向けのその他のエクスポージャー、個人及び中小企業向けのクレジットカード金融、個人及び中小企業向けの割賦販売金融に分類される。他のエクスポージャーは、不動産会社、住宅協同組合、他の大手非金融会社、他の非金融会社、金融会社・銀行及び政府の6つの区分に分類されている。

個々のポートフォリオの区分内で、内部格付、返済履歴、国との関連、担保の種類、借入金比率などのリスク要因に基づき、債権は異なる状況に応じてさらに細分化される。これらの状態は過去の結果に係る統計分析に基づいて決定されている。デフォルト率（PD）、デフォルト時損失率（LGD）、デフォルト時エクスポージャー（EAD）などのリスク・パラメーターの将来予測的な確率を算定するため、すべての状態について、統計モデルが状態間の遷移に用いられる。これらの状態に関する重要なリスク要因の一つにカウンターパーティの内部格付がある。これは与信の決定時に与えられ、最低でも毎年、カウンターパーティの返済能力に変化の兆候がある場合はいつでも更新される。これらの状態には、「非デフォルト」エクスポージャー、「デフォルト」エクスポージャー、及び「早期償還」エクスポージャーがある。リテール・エクスポージャーは9つの異なる状態に、他のエクスポージャーは12の状態に分類される。

信用リスクの著しい増大

信用リスクの著しい増大は、デフォルトリスクを反映したもので、当初認識時以降の債権の信用リスクの相対的变化により測定される。信用リスクの著しい増大を算定するために、ハンデルスバンケンでは予想信用損

失の算定に用いるのと同じ、過去、現在及び将来予測的な情報を考慮に入れた原モデルを用いている。この評価では担保は考慮されない。各報告日において、グループ規模の中央集権的なモデルベースのプロセスでは、全ての債権に対し、当初認識時（契約開始日）以降、信用リスクが著しく増大したか否かの評価が最初に行われる。この評価によって、予想信用損失を報告日以降12カ月の期間で認識するか（ステージ1）、当該債権の残存期間（にわたって認識する（ステージ2））かが決定される。したがって、どのような要因と閾値がステージ1からステージ2への振替のトリガーとして定められているかが、信用損失引当金の規模に影響を与える重要なポイントになる。ステージ2への振替を決定付ける信用リスクの著しい増大に関する当行の定義は、定性的及び定量的双方の要因に基づいて決められている。

主に信用リスクの変化を評価するために用いられる定量的指標は、当該商品の当初認識時と直近の報告日までの当該債権の残存期間におけるデフォルト確率（PD）の相対的変動である。金融商品の当初認識にあたりPDを確定するために非合理的な費用又は労力が必要とされた場合、当初認識以降のカウンターパーティ又は債権の内部格付もしくはリスク格付の変化が、信用リスクの著しい変化を評価するために用いられる。2018年1月1日以降に当初認識された債権について、デフォルトリスクに関する予測は3つのシナリオに基づく。2018年1月1日より前に認識された債権については、同じ分類が適用されるが、当初認識時に公表された当行の最新の経済分析に基づいたシナリオが用いられる。

債権に信用リスクの著しい増大が生じたとみられた結果、ステージ2へと振り替えるかを評価する際の最も重要な基準は、ハンデルスバンケンの定義では、報告日現在の残存デフォルト確率(PD)の推計値が、当初認識時に算定したデフォルト確率を2.5倍上回るかどうかである。この2.5倍という閾値は当行の過去データの統計分析に基づくもので、カウンターパーティが債務不履行となる残存リスクの増大を、当該債権の当初認識時に見積もられたリスクと比較したものである。また、債権の返済が30日超延滞している、又はカウンターパーティの信用格付の悪化の結果、コンセッション（譲歩）が与えられているなど信用リスクの著しい増大を引き起こしていると当行が評価する他の定性的な要因がある。

当初認識時以降に信用リスクの著しい増大が生じた場合、残存期間全体の予想信用損失に相当する引当金が計上され、当該債権はステージ2に振り替えられる。このモデルは対称的であり、すなわち、当該金融商品の信用リスクが減少し、その結果当初認識以降信用リスクの著しい増大が認められなくなった場合、当該金融資産はステージ1に戻されることを意味している。

リスク・パラメーターのモデルと予想期間

リスク・パラメーターであるPD、LGD及びEADは、統計モデルに基づき、債権ごとに将来のある時点で算定される。これらのモデルは、可能な限り、当行の損失実績データで識別可能な重要なリスク要因と関連リスクの結果との関係に基づいて策定されている。定量化されているリスク・パラメーターの大半は、約10年間にわたる内部データに基づいている。当行が、デフォルトがほとんど生じないことなどにより、十分な情報を入手できない場合には、このデータは外部情報で補完される。過去の結果は、商品の種類、内部格付、顧客との取引期間、担保の種類、借入金比率、失業率、GDP成長率などの債権特有、カウンターパーティ特有及び地域特有のリスク要因の共変動について分析が行われている。特定のリスク・パラメーターにとって重要であるとされるリスク要因は、モデルに含まれ、過去の相関関係が定量化されている。

デフォルト確率（PD）

デフォルト確率（PD）は資産の残存期間のある時点で、顧客又は債権が債務不履行に陥る確率をいう。12カ月PDは、今後12カ月の間に債務不履行が生じる確率であり、全期間PDは当該資産の残存期間（最長30年まで）における債務不履行の発生確率である。将来PDは将来予測的なマクロ経済シナリオ並びに現在の債権及び取引相手の情報を用いた、報告日における予測である。デフォルトリスクの予測は、シナリオの策定と時間の経過

に伴う異なる状況間の遷移確率を考慮に入れている。このモデルは毎年の遷移及び債務不履行の確率を算定するもので、これにより遷移モデルでは、当該債権が債務不履行リスクにより、将来的に特定の状況に属する確率を表す。特定年度における債権の予想PDは、全ての考え得る状況とシナリオを包含した確率加重PDとして算定される。残存期間の予想PDは、毎年のデフォルト予想と当該債権の期限前返済が行われる確率に基づく。各シナリオのマクロ経済上のリスク要因予想に基づく景気予測の悪化、又はマイナスシナリオの実現可能性の増大により、PDは上昇する。

デフォルト時エクスポージャー(EAD)

EADはデフォルト時の予想信用エクスポージャーをいう。報告日において、将来のデフォルト時エクスポージャーは、現在の返済計画や期限前返済の可能性に加え、クレジット・ファシリティ、金融保証やローン・コミットメントの引出可能性などに基づく予想である。EADは年次で予想され、将来のデフォルトに関連した損失額及び回収額から構成される。

予想期間

金融商品の予想期間は、予想残存期間に債務不履行に陥る可能性(PD)を考慮した信用リスクの著しい増大の評価と、当該資産の予想残存期間における予想信用損失の測定との二つの評価に関連している。残存期間のPDを算定する際には、当該債権の契約期間における予想年間PD値を、当該債権がデフォルトに早期償還されない確率と比較検討することによって、予想期間が考慮される。

早期償還対象の当該債権の確率は、統計分析と過去約10年間にわたる当行の内部実績データに基づき、EADモデルの構成要素に含まれている。債権、カウンターパーティ及びマクロ経済上のリスク要因による潜在的なリスク要因は、統計分析で評価されている。重要と判断されるリスク要因は当該モデルに含まれている。いくつかのケースでは、カウンターパーティの種類と格付以外に、早期償還に関する重要なリスク要因は識別されていない。しかし、これらのリスク要因は将来予測的なマクロ経済シナリオによる影響を受ける。つまり、早期償還は間接的に将来予測的なマクロ経済シナリオに依拠することを意味している。

クレジットカードなどの満期のないリボルビング債権や固定金利期間が最長3カ月の住宅抵当ローンには、報告日から30年間の満期が用いられており、これは、予想期間が実際には行動ベースの統計モデルで定義されていることを意味している。

デフォルト時損失率(LGD)

デフォルト時損失率(LGD)は、デフォルトに際して当行が被ると予想される財務上の損失を表す。LGDを算出する際に最も重要なリスク要因は、担保価値とその種類及びカウンターパーティの性質である。将来予測的なマクロ経済上のリスク要因は、担保価値及び借入金比率に与える影響を通じてLGDの算出に反映される。損失を定量化する場合、カウンターパーティが当行に財務上の損失を一切与えず立ち直る確率と、カウンターパーティが立ち直らない場合の回収率の二つに分別される。借入金比率が高ければ回収率は低下するという意味で、回収率は借入金比率の影響を受けている。担保の市場価値はLGDモデルの大半に織り込まれている。不動産の担保価値、そして借入金比率及び回収率は不動産の価格動向の影響を受けるため、不動産価値の下落が見込まれる場合は借入金比率とデフォルト時損失率も高まる可能性がある。

表AR:20 IFRS第9号とIRB手法の相違点

リスク・パラメーター	IRB	IFRS第9号
デフォルト確率 (PD)	一つの景気循環における12カ月内の平均デフォルトリスク。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。 自己資本規制上のデフォルト(債務不履行)の定義が、リテール・エクスポージャーでは債権レベル、他のエクスポージャーではカウンターパーティ・レベルで用いられる。	景気循環に左右される(「PIT」)12カ月内のデフォルトリスク。 全期間PDは当該債権の予想残存期間におけるデフォルトリスクをいう。 自己資本規制上のデフォルト(債務不履行)の定義が、リテール・エクスポージャーでは債権レベル、他のエクスポージャーではカウンターパーティ・レベルで用いられる。
デフォルト時損失率 (LGD)	長期間及び景気後退期における、12カ月内のデフォルト時エクスポージャーに関する予想最大損失率。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。 法人エクスポージャーの損失の定量化は、12カ月内の回収額及び残存準備金(リテール・エクスポージャーについては24カ月)に基づいている。	景気循環に左右されるデフォルト時エクスポージャーの予想損失率。 LGDは将来予測的なマクロ経済シナリオを基に調整される。
デフォルト時エクスポージャー (EAD)	長期間及び景気後退期における、12カ月内のデフォルト時エクスポージャーの予想最大値。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。	景気循環に左右される12カ月内のデフォルト時予エクスポージャーの予想額。 EADは契約条件及び将来予測的なマクロ経済シナリオに基づいて調整される。
全期間	顧客による継続の選択肢を考慮に入れた、当該債権の契約上の満期。	予想される全期間。早期償還の可能性を考慮に入れた、当該債権の契約上の期限。
予想期間	12カ月	12カ月以内又は残存期間(ステージ1又はステージ2-3かによる)。
割引	予想損失額は報告日まで割り引かれない。回収率を算定する際、実際の回収額は平均資本コストを用いてデフォルト日まで割り引かれる。	予想損失額は、当該債権に係る当初報告日時点の実効金利を用いて割り引かれる。回収率を算定する際、実際の回収額は平均資本コストを用いてデフォルト日まで割り引かれる。
信用リスクの著しい増大	該当なし	報告日における債務不履行の現在残余リスクと当初報告日において算定された債務不履行の予想現在残余リスクの関係に基づく。
将来予測シナリオ	該当なし	将来予測的なリスク・パラメーター(PD、LGD、EAD)の算定は、地域的なベースシナリオ(基本(中立)マクロ経済シナリオ)及び代替的な二つの地域的なマクロ経済シナリオ(上方シナリオ及び下方シナリオ)を用いる。
当初報告(計上)日	該当なし	当該債権の当初報告(計上)日

IFRS第9号とIRB手法の相違点

ハンデルスバンケンのIFRS第9号のモデルは当行のIRBモデルと同じ過去データ、及び同じ全体的なモデルベースの手法に基づき、PD、LGD及びEADというリスク・パラメーターを用いるものである。規則の目的はそれぞれ異なっていることから、リスク・パラメーターの設定方法や構築方法に関しては算定モデルによって異なる。このため場合によっては、IFRS第9号の要件を満たす新たなモデルが導入されている。IFRS第9号とIRB手法の主な相違点は上記の表に示されている。

IFRS第9号モデルとモデルベースの算定の検証

これらに用いられるモデルとリスク・パラメーターは毎年検証され、モデルベースの算定が正確な予測を行っていること及び、予測と最新の結果の間の予想外の逸脱が特定されていることを確認している。検証はいくつかの集計レベルで行うほか、全ての重要なリスク・パラメーターと同時に、個別及び集計レベルの加重予

想信用損失を対象とする。この検証はチーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）、最高リスク責任者、及び最高財務責任者に報告される。

モデルの評価と検証に関する原則はグループ・リスク・コントロール部が決定し、モデル開発プロセスとは関係ない立場の人物が検証の実施やレビューを行う。2020年の検証では適用手法に関して発見事項があったが、それにより、計上された引当金に対し、これまで検討しなかった重要な影響が生じるとは考えられていない。この件については、2021年の検討課題として対応が行われる予定である。

ステージ3債権に関するマニュアルによる算定

ステージ3資産に対しては、個別にマニュアルによる算定を用いた減損テストが行われる（ステージ3に分類され、モデル算定による引当金を積んだ同種の債権からなる少額のポートフォリオを除く）。この減損テストは、業務責任を有する当行の支店（顧客及び与信の所管部署）により定期的実施されるほか、各報告日にも実施され、各地域の与信委員会又はグループ与信部により判定される。

減損テストはデフォルトの定義に従い、カウンターパーティが契約上の義務を履行できなくなる可能性を示す客観的な状況が存在する際に実施される。このような客観的な状況には、支払遅延又は不払、内部格付の変更、もしくは借り手の破産の可能性等がある。

減損テストは将来キャッシュ・フロー及び担保価値（保証を含む）の見積りを伴う。取引相手の返済能力と担保価値の双方に基づき、通常、二以上の予想キャッシュ・フローの将来予測的なシナリオを考慮する。これらのシナリオの結果は確率加重され、貸出の当初の実効金利で割り引かれる。個々のカウンターパーティの返済能力及び担保価値に影響を及ぼすとみられる内容により、用いられるシナリオではマクロ経済上の要因及び債権特有の要因を考慮する可能性がある。この評価では個々のカウンターパーティの特性を考慮に入れている。見積回収可能価額が帳簿価額を下回る場合に減損損失が認識される。

ガバナンスと内部統制

ステージ1及びステージ2債権の予想信用損失を算定する際に、ハンデルスバンケンでは内製した統計モデルを用いた、グループ規模の中央集権的なプロセスを用いる（モデルベースの算定）。ステージ3債権についてはマニュアルによる算定が行われる。以下は主にモデル算定による予想信用損失の引当金について述べたものである。このプロセスは多くの内部統制がカバーしており、それについても後述されている。また、このプロセスの様々な段階では異なる承認や採択が行われ、ガバナンス体制を構築しており、これについても後述されている。

報告における入力データの検証

各報告日において、予想信用損失の算定根拠となる情報の正確性及び網羅性がチェックされている。これは、配信元から取り込まれたデータの自動照合により行われている。さらに、システム上の残高を従前の報告日現在の計上残高と比較することにより、妥当性評価が行われている。最終的に用いられる残高が、次に総勘定元帳に計上された金額と照合される。

モデル

新しい定量的モデルがモデルシステム全体に含められる前に、バリデーション（妥当性検証）を行い、チーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）による使用承認を得なければならない。報告日にはこのモデルシステムしか算定に用いることはできず、これはつまり、承認を受けたモデルのみが使用可能であることを意味している。

予想信用損失の算定根拠となる定量的モデルには複数の仮定と評価が関わっている。マクロ経済上のリスク要因と過去データのリスク・パラメータとの関係性を定量化した結果が将来の事象を表しているという仮定

や、債権の予想残存期間は過去の行動関連データに基づき得るという仮定などがその例である。さらに、マクロ経済上のリスク要因が個々のリスク・パラメータの十分な根拠となるという前提に基づいて、最も重要なマクロ経済上のリスク要因が選択されている。マクロ経済リスク要因の選択とモデルの仕様は、簡潔さ、説明力、安定性の間でバランスを取るにより決定される。全ての仮定と裁量判断は最高与信責任者に報告され、承認を受ける。

モデルを用いたステージ1、ステージ2債権のエキスパート評価による算定、又はステージ3債権のマニュアルによる算定には、適用の前に最高与信責任者の承認が必要となる。

マクロ経済シナリオ

マクロ経済シナリオは、最高与信責任者の指示に基づき当行の経済調査部署により作成されている。この指示には、望ましいマクロ経済上のリスク要因、対象地域、シナリオ数とシナリオ別の確率加重値が含まれる。

各報告日の前に、最新のマクロ経済シナリオが最高与信責任者及び最高財務責任者に提出され、財務報告プロセスに用いるシナリオを承認する。承認されたマクロ経済シナリオは、財務報告のフローに自動的に読み込まれる。

引当金の規模

ステージ1及びステージ2債権の引当金見積額合計には、最高与信責任者及び最高財務責任者の承認が必要とされる。ステージ3債権の引当金見積額は業務責任を有する当行支店（顧客と与信の所管部署）により提出され、引当金の規模により地域の与信委員会又は本部の部署による承認を受ける。地域レベルで承認されたステージ3債権に係る引当金は、本部の部署によるレビュー又は品質管理の対象となる。さらに、グループ・リスク・コントロール部は各報告日現在で、本部の承認を受けた信用引当金の一部について独立したレビューを提出している。

コントロール・ファンクションの役割

グループ・リスク・コントロール部は検証の原則を決定し、モデルが確実に検証されるようにしている。本部が承認したステージ3債権に対する引当金の一部について、報告日ごとに独立したレビューが実施される。グループ・リスク・コントロール部については69ページ（英文）に詳細が記載されている。グループ監査部は、内部のガバナンスと統制に関する独立した調査を行い、当行グループの財務報告の信頼性を評価するという業務の一環として、予想信用損失の推計の検証を行っている。グループ監査部については69ページ（英文）に詳細を示している。

カウンターパーティ・リスク

カウンターパーティ・リスクは、当行が取引相手との間でデリバティブ契約や有価証券の貸付契約を締結する場合に発生する。よってデリバティブに加え、自己資本比率規制は買戻取引及びエクイティ・ローンの双方をカウンターパーティ・リスクとして取り扱う。

自己資本比率及び経済資本（EC）の双方を算定するに当たり、自己資本比率規制に明記されているエクスポージャー金額に基づいて、カウンターパーティ・エクスポージャーが考慮される。ハンデルスバンケンは、自己資本の計算目的でデリバティブ契約に関するエクスポージャー金額を計算する際には時価会計を適用している。価値が正の値であるすべての契約の現在額は、当該契約の最新の市場価値を割り当てることで確定する。潜在的な将来の信用エクスポージャーを見積もるため、デリバティブの種類及びエクスポージャーの残存期間により異なる、規制で定められた率を契約の想定元本に乗じる。

カウンターパーティ・リスクは、その契約の市場価値によってエクスポージャーの規模が決まる場合には信用リスクとみなされる。その契約の価値が正の値である場合、取引相手のデフォルトは当行の潜在的損失を意味する。

カウンターパーティ・リスクの軽減

カウンターパーティ・リスクは、取引日から受渡しまでの間に発生し、取引相手がその義務を履行できない場合、当行は解約手数料を請求される可能性がある。このリスクはすべてのデリバティブ取引、及び当行が支払を確保していない有価証券取引に存在する。

カウンターパーティ・エクスポージャーの規模は、通常の与信プロセスにおいて与信限度額を設定することによって制限されている。当該エクスポージャーの規模は、原資産の価格変動により著しく変動する可能性がある。エクスポージャーの増加リスクに備えるため、与信限度額を設定する際に該当するエクスポージャーの価値に対して補完が行われる。これらのアドオンは、契約の種類及び満期までの期間に従った標準的な金額を用いて算定される。当該エクスポージャーは日次で計算され、フォローアップされている。

デリバティブのカウンターパーティ・リスクは、クローズアウト・ネットティング契約を通じて軽減される。クローズアウト・ネットティング契約では、同一取引相手とのすべてのデリバティブ取引において、正の値と負の値が相殺される。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対して担保の取決めを設定するクレジット・サポート・アネックス契約（CSA）で補完されており、信用リスクはさらに軽減されている。これらの取引に対する担保は主に現金であるが、国債も使用される。現金の割合が大きいため、担保におけるリスクの集中は限定的である。

ハンデルスバンケンの契約の大部分には、クローズアウト・ネットティングが含まれ、大口エクスポージャーの契約にはCSAも含まれている。

中央清算機関を通じて清算されるデリバティブについても、所要自己要件が生じる。中央清算機関とは、種々の取引において買手と売手の双方の取引相手としての役割を果たし、双方の義務を履行する責任を負っている清算機関である。中央清算機関を利用するすべての当事者は、すべての取引に対して担保を差し入れなければならない。中央清算機関で清算されるデリバティブに対するリスク加重は、多くの場合他の種類のデリバティブよりも大幅に低い水準である。

表3.24 (第三の柱)カウンターパーティ・リスクの内訳 - IRB手法によるエクスポージャー区分、エクスポージャー額及びリスク加重エクスポージャー額

エクスポージャー額はデリバティブ、レポ、エクイティ・ローンからなる。

カウンターパーティ・リスクの内訳 - IRB手法によるエクスポージャー区分、エクスポージャー額及びリスク加重エクスポージャー額	2020年		2019年	
	エクスポージャー額	リスク加重エクスポージャー額	エクスポージャー額	リスク加重エクスポージャー額
百万スウェーデン・クローネ				
エクスポージャー区分、IRB手法				
機関エクスポージャー	21,275	5,404	41,109	8,516
法人エクスポージャー	10,727	3,183	8,509	2,604
ソブリン・エクスポージャー	4,306	72	3,918	76
IRB手法合計	36,308	8,659	53,536	11,196

表3.25 (第三の柱)カウンターパーティ・リスクの内訳 - 標準的手法によるエクスポージャー区分、エクスポージャー額及びリスク加重エクスポージャー額

エクスポージャー額はデリバティブ、レポ、エクイティ・ローンからなる。

カウンターパーティ・リスクの内訳 - 標準的手法によるエクスポージャー区分、エクスポージャー額及びリスク加重エクスポージャー額	2020年		2019年	
	エクスポージャー額	リスク加重エクスポージャー額	エクスポージャー額	リスク加重エクスポージャー額
百万スウェーデン・クローネ				
エクスポージャー区分、標準的手法				
機関エクスポージャー	6,444	172	7,169	144
うち、中央清算機関を通じて清算されるもの	6,210	124	7,165	143
その他エクスポージャー	63	21	299	19
標準的手法合計	6,507	193	7,468	163
IRB及び標準的手法合計	42,815	8,852	61,004	11,359

表3.26 (第三の柱)デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク (潜在的な将来エクスポージャーに関する標準的なアドオンを除く)

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク
(潜在的な将来エクスポージャーに関する標準的なアドオンを除く)

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
デリバティブ契約に関する正の市場価値総額	55,958	66,877
ネットティングによる利益	-32,860	-29,673
現在の相殺後のエクスポージャー	23,098	37,204
担保 ¹	-14,833	-30,022
デリバティブに関する正味信用エクスポージャー	8,265	7,182

1) 貸借対照表において時価で相殺される担保を含む。

表3.27 (第三の柱)デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク (潜在的な将来エクスポージャーを含む)

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク (潜在的な将来エクスポージャーを含む)、2020年 百万スウェーデン・クローネ	現在の相殺 後のエクス ポージャー	潜在的な 将来エクス ポージャー	エクスポ ージャー額	リスク加重 エクスポ ージャー額	所要 自己資本
ソブリン・エクスポージャー	1,460	619	2,079	72	6
機関エクスポージャー	10,283	14,596	24,879	5,243	419
法人エクスポージャー	7,444	4,649	12,093	3,192	255
その他	2	12	14	9	1
合計	19,189	19,876	39,065	8,516	681
うち、トレーディング勘定における取引	10,493	8,712	19,204	4,157	333

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク (潜在的な将来エクスポージャーを含む)、2019年 百万スウェーデン・クローネ	現在の相殺 後のエクス ポージャー	潜在的な 将来エクス ポージャー	エクスポ ージャー額	リスク加重 エクスポ ージャー額	所要 自己資本
ソブリン・エクスポージャー	1,433	577	2,010	76	6
機関エクスポージャー	24,023	21,870	45,893	8,419	674
法人エクスポージャー	5,103	4,634	9,737	2,604	208
その他	7	15	22	15	1
合計	30,566	27,096	57,662	11,114	889
うち、トレーディング勘定における取引	7,557	10,459	18,016	3,960	317

市場リスク

市場リスクは、金融市場における価格及びボラティリティの変動によって生じる。市場リスクは、金利リスク、株価リスク、為替リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。

ハンデルスバンケンの業務では、柔軟な資金調達が必要なサービスを当行の顧客が求める場合に市場リスクが発生する。当行はまた、既に貸付を行っている市場以外の市場で資金調達を行うことにより、資金調達源を多様化し、資金調達の対象となる資産と金利期間が異なる資金を調達することもできる。市場リスクは、当行が事業を行っている市場で混乱が起きた際にすぐに流動資産に転換できるグループ・トレジャリー部の流動性ポートフォリオでも発生することある。当該ポートフォリオにより、日次清算業務における当行グループの支払が確実になるとともに当行の流動性準備金の一部を形成している。

市場リスクはまた、債券、為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすために発生する。このため、当行は一定のポジションを保有しておかなければならない。例えば、当行がマーケット・メーカーとしての役割を果たし金融商品の市場価格を形成する場合にこのような状況になる。

当行の業務における市場リスクは、主にグループ・トレジャリー部及びハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットで生じており、それぞれ管理されているが、ハンデルスバンケン・リヴにも存在する。ハンデルスバンケン・リヴにおける市場リスクは、別のセクションに記載されている。そのため、本セクションに記載されている市場リスクに関する情報は、ハンデルスバンケン・リヴを除くリスクについて言及している。

市場リスク戦略

ハンデルスバンケンは、市場リスクを厳しく制限している。基本的に、銀行業務における市場リスクは顧客の投資ニーズ及びリスク管理ニーズに限定している。市場リスクは、キャッシュ・フローと金利期間を一致させ、オープン・ポジションをヘッジし、リスクを制限するその他の措置を講じることにより制限する必要がある。

このように、ハンデルスバンケンの市場リスクはきわめて小さい。市場リスクの低下により、当行の利益のうち金融取引による純損益の占める割合が大幅に少なくなっている。

組織構造

当行の限度額制度により、市場リスクに対するエクスポージャーの規模を制限している。市場リスクの測定方法及び限度額は、取締役会が決定している。最高財務責任者は、流動性及び資金調達の組織上の責任を負い、最高財務責任者の直属であるグループ・トレジャリー部長は当行グループの流動性及び資金調達の責任を負う。この責任には当行グループの銀行業務における流動性リスク、為替リスク及び金利リスクの管理が含まれる。金利リスク、為替リスク及び流動性リスクに対する限度額は、当行の最高経営責任者及び最高財務責任者からグループ・トレジャリー部長に割り振られる。その後、グループ・トレジャリー部長は、これらを各業務ユニットへ割り振る。株価リスクとコモディティ・リスクの限度額は、最高財務責任者によって直接キャピタル・マーケットに割り振られる。

当行の最高経営責任者及び最高財務責任者はまた、補完的リスク尺度、日中限度額を設定し、詳細にわたるガイドラインの策定を行う。補完的リスク尺度の限度額は、主に金融市場におけるボラティリティの変動に対する当行の感応度を低減し、特定のポートフォリオに対するリスク及び通貨ごとの流動性リスクの制限を目的としている。これらの尺度はまた、満期の観点から生じるリスクを制限している。当行の最高財務責任者、最高経営責任者及び取締役会は、継続的に市場リスク及び限度額の活用状況に関する報告書を受領している。

ハンデルスバンケンにおける市場リスク

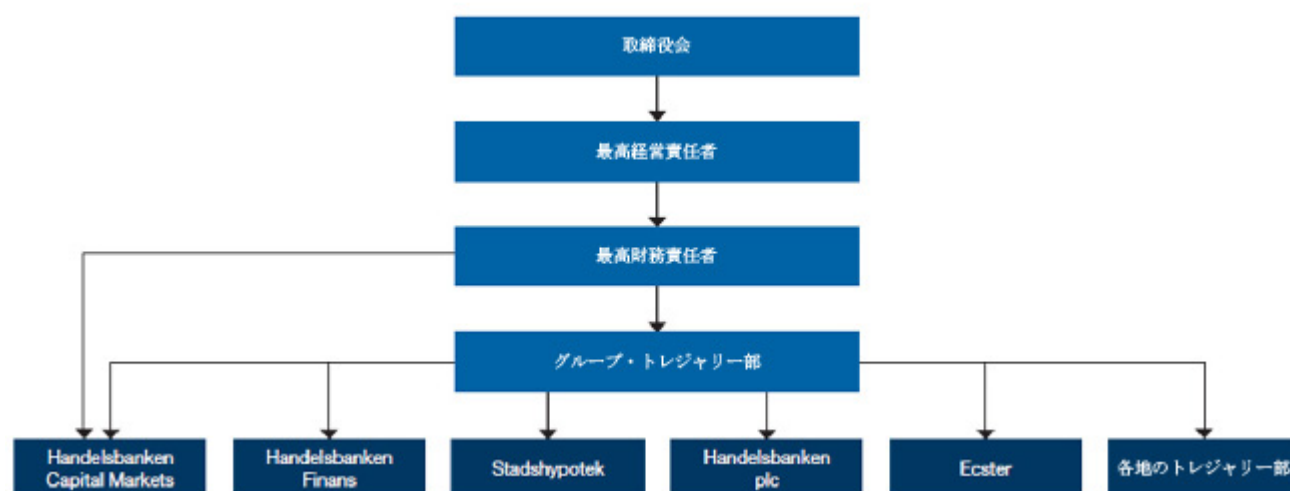
市場リスクは、複数の異なる手法を利用して測定されている。用いられている感応度の測定は、あらかじめ定義された価格及びボラティリティの変動によって、どのような価値の変動が起きるかを示している。ポジションに関連したリスク尺度及び確率に基づくバリュー・アット・リスク・モデル（以下、「VaR」という。）も用いられている。

VaR

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部においてトレーディング勘定として分類されているポートフォリオについて、バリュー・アット・リスク（以下、「VaR」という。）が算定されている。VaRは確率に基づいた測定で、対象市場における一定の保有期間にわたる変動から一定の信頼度でリスク・ポジションに生じる可能性のある損失をスウェーデン・クローネ建てで示すものである。VaRは過去のシミュレーションを用いて算定され、個別のリスク要因、リスク区分及びポートフォリオに関し保有期間を1日とした99%の信頼度にて決定される。これは、当行が取引日100日ごとに1日、VaRの結果を上回る損失が発生すると予想していることを意味する。このモデルは、様々なリスク区分を1つの方法で取り扱うことができるため、それぞれを比較することが可能になると同時に、市場リスクの合計を算定することができる。トレーディング勘定として分類されているポートフォリオの全体的なリスクは、年度末現在において14(8)百万スウェーデン・クローネであった。VaRは、定期的に当行の最高財務責任者、最高経営責任者及び取締役会に報告される。

VaRモデルは過去及び実際の結果を用いるもので、すべての潜在的な結果をカバーするわけでも、極端で急激な市場変動のリスクを常にカバーするわけでもない。したがって、このリスク計算はストレス・テストで補完され、テストは、ポートフォリオに対して1994年以降の金融市場において発生したすべての事象に基づくシナリオにより行われる。これらのストレス・テストの結果もまた、定期的に当行の最高経営責任者、最高財務責任者及び取締役会のリスク委員会に報告される。

図AR:21 市場リスク及び流動性リスクの決定水準



表AR:22 トレーディング勘定のVaR1 - ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部

トレーディング勘定、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部のVaR¹

	合計		株式		債券		通貨		コモディティ	
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ										
平均	15	9	1	1	17	10	3	2	1	1
最高	30	16	3	3	31	15	8	5	3	3
最低	5	6	0	0	5	6	1	1	0	0
当年度末	14	8	1	1	21	8	2	2	1	1

1) トレーディング勘定に分類されているポートフォリオは特別な指示及びガイドラインの対象となる。

表AR23 トレーディング勘定のストレス・テストにおける最悪の結果 - ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部

トレーディング勘定のストレス・テストにおける最悪の結果 - ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
平均	85	83
最高	264	244
最低	28	31
当年度末	69	56

金利リスク

金利リスクは、主としてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、グループ・トレジャリー部及び貸出業務において生じる。当行における金利リスクは、複数の方法で測定されている。一般的な金利リスクは日々測定され、すべての金利について、極めて瞬時の1パーセンテージ・ポイントの上昇又は下落という平行移動が生じた場合の通貨別の公正価値の有利な変動の最小値の合計として限度額が設定されている。年度末現在の当行の一般的な金利リスクの合計は、1,423(1,060)百万スウェーデン・クローネであった。契約上の満期のない預金の金利調整期間は内部手法を用いて設定される。こうした預金の基本的な前提は想定し得る最短の金利期間であり、過去の観察に基づいて安定的で金利変動に対する感応度が低いとみなされる部分に限定して調整が行われる。このリスク測定には、市場価値で測定される利付商品も市場価値で測定されない商品も含まれている。したがって、貸借対照表及び損益計算書に認識される金額に与える影響を評価する際にこのリスク測定を用いることは適切ではない。

特定の金利リスクは、クレジットスプレッド（すなわち、現在のポートフォリオの金利と満期が同一である国債の利回りとの差額）の変動に対する感応度を用いて測定され、限度額が設定されている。このリスクは主に、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部の流動性ポートフォリオにおいて生じる。このリスクは、異なる格付区分別に測定及び限度額が設定され、クレジットスプレッドが1ベース・ポイント上下に移動した場合における市場価値の有利な変動の最小値として計算される。この計算は取引相手別を実施され、その計算結果は絶対値の合計として集計される。当年度末における特定の金利リスク総額は、7(6)百万スウェーデン・クローネであった。

トレーディング勘定における金利リスク

ハンデルスバンケンのトレーディング勘定は、トレーディング勘定に分類されているキャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部のポートフォリオから構成されている。トレーディング勘定の一般的な金利リスクは35(61)百万スウェーデン・クローネであり、特定の金利リスクは4(4)百万スウェーデン・クローネであった。イールド・カーブのツイストリスクは、定期的に測定及び見直しが行われており、様々なイールド・カーブにおける仮定が変更された場合のリスクの推移を示している。例えば、金利オプションのリスクの一部である非線形金利リスクは、マトリックスであらかじめ定義されたストレス・シナリオを用いて測定され、限度額が設定されている。すなわち、このリスクは、基礎となる市場金利及びボラティリティの変動として測定されている。トレーディング勘定には、様々なストレス・シナリオによって補完されているVaR及びその他のリスク指標も用いられている。

非トレーディング勘定における金利リスク

貸出業務における金利リスクは、資金調達期間と金利期間の一部が異なることにより生じる。金利リスクは、主に金利スワップ契約によって管理されている。一般に金利リスク・エクスポージャーは、流動性の高い市場に存在する。非トレーディング勘定における一般的な金利リスクは1,415(1,066)百万スウェーデン・クローネであり、特定の金利リスクは3(2)百万スウェーデン・クローネであった。

金利の変動による損益計算書への影響を見積るために、純利息収益の影響も測定されている。金利が変動した場合の純利息収益の影響は、一般市場金利が1パーセンテージ・ポイント上昇した場合の12ヶ月間にわたる純利息収益の変動として測定されている。この影響は、貸借対照表の規模が一定であることを前提とした場合の金利固定期間の差異、並びにトレーディング勘定に含まれない資産、負債及びデリバティブの残高構成の差異を反映している。この計算においては、契約上の満期のない預金の金利調整期間は、内部手法を用いて設定される。同モデルは過去の観察に基づいており、安定的で金利変動に対する感応度が低い部分に限定して調整が行われる。年度末現在の純利息収益の影響は、1,091(267)百万スウェーデン・クローネであった。

表AR:24 非トレーディング勘定における一般的な金利リスク

非トレーディング勘定における一般的な金利リスク（すべての金利が1パーセンテージ・ポイント平行移動した場合の最悪の結果としての公正価値の変動）

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
スウェーデン・クローネ	275	18
デンマーク・クローネ	264	292
ユーロ	163	320
ノルウェー・クローネ	223	200
米ドル	95	9
英ポンド	388	219
その他通貨	6	8
合計	1,415	1,066

表AR:25 資産及び負債に関する金利調整期間

この表は、2020年12月31日現在の金利関連資産及び負債の金利調整期間を示したものである。無利子資産及び負債は除かれている。

資産及び負債に関する金利調整期間、2020年

百万スウェーデン・クローネ	3カ月以内	3 - 6カ月	6 - 12カ月	1 - 5年	5年超	合計
資産						
貸出金	1,384,882	101,958	152,272	578,046	52,454	2,269,612
銀行及びその他の金融機関	433,655	3,433	1,657	1,746	396	440,887
債券等	76,680	3,668	3,332	50,336	8,660	142,676
資産合計	1,895,217	109,059	157,261	630,128	61,510	2,853,175
負債						
預金	1,209,850	11,424	5,116	1,238	2,135	1,229,763
銀行及びその他の金融機関	117,153	1,816	1,041	3,704	987	124,701
発行済証券	217,203	161,720	270,976	579,398	122,523	1,351,820
その他負債	-	-	-	-	-	-
負債合計	1,544,206	174,960	277,133	584,340	125,645	2,706,284
オフバランスシート項目	-36,803	5,523	1,089	-43,094	53,489	-19,796
資産と負債の差額 (オフバランスシート項目を含む)	314,208	-60,378	-118,783	2,694	-10,646	127,095

資産及び負債に関する金利調整期間、2019年

百万スウェーデン・クローネ	3カ月以内	3 - 6カ月	6 - 12カ月	1 - 5年	5年超	合計
資産						
貸出金	1,498,765	99,266	122,178	524,187	48,207	2,292,603
銀行及びその他の金融機関	334,350	3,616	5,543	1,354	1,035	345,898
債券等	74,324	9,800	5,461	44,828	10,466	144,879
資産合計	1,907,439	112,682	133,182	570,369	59,708	2,783,380
負債						
預金	1,044,190	34,617	30,713	6,207	2,100	1,117,827
銀行及びその他の金融機関	116,525	8,458	8,498	9,419	5,089	147,989
発行済証券	445,435	195,046	117,596	593,385	69,045	1,420,507
その他負債	-	-	-	-	-	-
負債合計	1,606,150	238,121	156,807	609,011	76,234	2,686,323
オフバランスシート項目	-123,510	-40,396	38,602	96,982	-15,227	-43,549
資産と負債の差額 (オフバランスシート項目を含む)	177,779	-165,835	14,977	58,340	-31,753	53,508

株価リスク

当行の株価リスクは、主にハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットでの顧客との取引及び当行の株式ポートフォリオにおいて生じている。

株価リスクの表では、株価及びボラティリティが瞬時に+/-10%及び+/-25%変動した場合の当行の株式ポジション合計における市場価値の変動を示している。当年度末現在、このリスクについて当行における最悪のケースは65(221)百万スウェーデン・クローネであった。株式の最大エクスポージャーは英国市場にて発生している。

トレーディング勘定に内在する株価リスク

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの株価リスクは、顧客主導の株式関連取引において生じる。ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットは仕組商品のマーケット・メーカーであり、線形及び非線形の双方の株価リスクが発生する。非線形株価リスクは、仕組商品に含まれているオプションを通じて生じる。

当行は、マトリクスを用いてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの株価リスクを制限及び測定している。この手法の利点は、非線形リスクを含む株価リスクを効果的に特定することである。他のリスク測定手法及びストレス・シナリオとあわせて、VaRが株価リスク測定の補完として使用される。年度末現在、トレーディング勘定に内在する株価リスクに関する当行のVaRは、1(1)百万スウェーデン・クローネであった。

トレーディング勘定外の株価リスク

トレーディング勘定以外で当行グループが保有する株式は、主に当行の中核事業に関連する種々の共同所有事業で構成されているレベル3株式を含む。これらの保有株式は、貸借対照表上「その他包括利益を通じて公正価値で測定するもの」に分類され、公正価値で測定されている。このような保有株式は、一般的にその事業の純資産価値に対する当行の持分、又は代替的に最新の取引における決済価格によって評価されており、株価リスクは非常に小さい。

表AR:26 株価リスク

株価リスク 百万スウェーデン・クローネ	ボラティリティの変動					
	2020年			2019年		
	-25%	0%	25%	-25%	0%	25%
株価の変動						
10%	74	73	72	228	229	229
-10%	-65	-64	-63	-221	-219	-217

表AR:27 トレーディング勘定以外の株式エクスポージャー

IFRS第9号に基づくトレーディング勘定以外の株式エクスポージャー

百万スウェーデン・クローネ

その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものとして分類される

株式持分

うち、レベル1及び2

うち、レベル3

2020年

2019年

800

2,303

286

1,051

514

1,252

その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものとして分類される

株式持分

うち、事業関連

うち、その他の持分

800

2,303

645

1,995

155

308

期首現在における公正価値評価差額準備金

712

361

新規購入分と期末保有分に関して当年度中に生じた未実現の市場価値の変動

155

336

当年度中の売却及び決済による実現額

-727

15

期末現在における公正価値評価差額準備金

140

712

Tier2資本に含まれるもの

0

0

為替リスク

ハンデルスバンケンは、スウェーデン以外にも拠点市場を持ち、他の複数の国においても事業を行っている。したがって、当行グループの勘定がスウェーデン・クローネで表示されているため、構造上の為替エクスポージャーが生じる。この構造上のリスクは、為替変動が自己資本比率と資本のどちらに影響を与えるかについてのトレードオフを考慮し、管理されている。取締役会は、構造上の為替ポジションが自己資本比率のヘッジとなることが認められる、資本に与える最大影響額を設定している。当行の資本に影響を与える為替リスクの変動については、年次報告書の88ページ（訳注：原文のページ番号である）の持分変動計算書（当行グループ）に記載されている。

当行の直接的な為替エクスポージャーは、国際為替市場における顧客主導の日中取引の結果として生じる。この取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットで行われる。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、この為替リスクに関してVaR限度額を設定している。

顧客の支払フローの一環として通常の銀行業務において、またグループ・トレジャリー部の資金調達業務において、ある程度のが為替エクスポージャーが生じている。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、これらのエクスポージャーに対して、ポジション限度額を割り当てている。当年度末現在、構造上の為替ポジションを含まない正味ポジション総額は、393(632)百万スウェーデン・クローネであった。この為替リスクは、個別通貨又は通貨グループの傾向に応じて変動するわけではない。これは、ポジションが非常に短期であり、顧客主導のフロー管理において生じているためである。トレーディング勘定及び非トレーディング勘定における為替リスク総額は、22(56)百万スウェーデン・クローネであるが、これはスウェーデン・クローネが瞬時に5%変動した場合に当行の損益に及ぼす影響として測定されたものである。

表AR:28 為替感応度

為替感応度（各通貨に対してスウェーデン・クローネが+/-5%変動した場合の最悪の結果）

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
ユーロ	44	98
ノルウェー・クローネ	7	17
デンマーク・クローネ	4	5
米ドル	4	5
英ポンド	4	9
その他通貨	8	8

コモディティ・リスク

コモディティ取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットのみで行われている。コモディティ関連商品のエクスポージャーは、国際コモディティ市場における顧客取引の結果からのみ発生する。線形及び非線形コモディティ価格リスクは双方とも、すべてのコモディティについて当行がさらされているリスク合計の絶対値として測定されている。当年度末現在、コモディティ価格リスクは、2(5)百万スウェーデン・クローネで、対象コモディティの価格変動の上限を20%及びボラティリティの上限を35%とした場合の価格変動に係る最大損失として測定されている。当年度末現在、当行のコモディティ価格リスクのVaRは、1(1)百万スウェーデン・クローネであった。

その他の市場リスク

市場リスクは当行の年金制度においても発生する（年金リスク）。このリスクは割引率の変動とともに、当行の年金債務に対応するための年金資産の価値が変動するリスクにより構成される。

公正価値測定

リスク・コントロール部は、当行グループの金融商品が正確に評価されていることを確認している。この確認には、評価の基準となる市場データを確認する責任や、その確認がリスクを有する当事者からは独立して行われたものであることを確認する責任が含まれる。市場データの情報源は事業活動とは切り離されたものである。市場データを事業活動から取得する場合、外部の情報源に対し文書化された統制が行われ、データの合理性が評価される。モデルに用いられる市場価格及び市場データは、少なくとも一カ月に一度は検証が行われるものとされるが、基本的には日次で検証が行われる。評価モデルは、モデルの開発部門とは別のリスク管理部門において検証が行われる。評価委員会は、ハンデルスバンケン・グループの評価事項を取り纏めることを目的とし、各評価が正確であり、現行の市場慣行に準拠していることを確かめる重要な役割を果たしている。

公正価値で測定される金融商品の評価は、IFRS第13号に従って行われる。公正価値で測定される資産及び負債に関する詳細並びに当行の評価技法に関する情報については、注記G39を参照のこと。

慎重な評価

CRR第105条に従い、当行は規制上の自己資本の調整を目的として追加的な評価調整を算定する必要がある。同第34条では、適用範囲をこれまでのトレーディング勘定のポジションのみから、公正価値測定されるすべてのポジションへと拡大している。これらの追加的な評価調整の要件と手法は、欧州委員会委任規則2016/101の第105条(14)のテクニカル基準に明記されている。ハンデルスバンケンは公正価値で測定されるすべてのポジションについて追加的な評価調整を算定するため、テクニカル基準で定義される基本的な手法を採用している。

資金調達及び流動性リスク

流動性リスクとは、支払期限が到来した際に、法外な費用又は損失を被らなければ、当行が支払義務を履行することができないリスクである。

資金調達戦略

ハンデルスバンケンの流動性リスクに対する許容度は低く、総計レベル及び個別通貨の双方において流動性リスクを最小限に抑えるために積極的に取り組んでいる。こうした活動により、ハンデルスバンケンは困難な状況においても、流動性への良好なアクセスが可能であり、業績の変動を低水準に抑え、顧客ニーズを満たすような資金調達能力の提供を目指している。これは、当行にとって重要な通貨のすべてにおいて、キャッシュ・フローの流入及び流出をうまくマッチングさせると共に質量において十分な流動性準備金を維持することによって達成される。したがって、当行は資金調達における経済的リスクを最小限に抑え、業務ユニットの安定した長期の資金調達を維持することができる。

また、当行は、資金調達プログラムとその利用に幅をもたせることを目指している。こうすることによって、当行は、金融市場における混乱が長引いたとしても、中核事業において、長期にわたる損失が生じないようにしている。

この作業の結果、安定資金を用いて調達された流動がない資産により、十分に調和のとれた貸借対照表が作成される。この流動性がない資産は、個人及び法人に対する与信より構成され、これらの与信業務は当行の中核事業を構成している。これら資産に関する長期安定資金には、スタッドフィポテックが発行したカバード・ボンド、ハンデルスバンケンが発行したシニア債、個人からの預金、法人からの一定額の預金、劣後債及び株式より構成されている。中核業務の一部は、個人及び法人への短期貸付であるが、負債の部におけるこれら顧客からの預金の一部はより短期間なものとなっている。

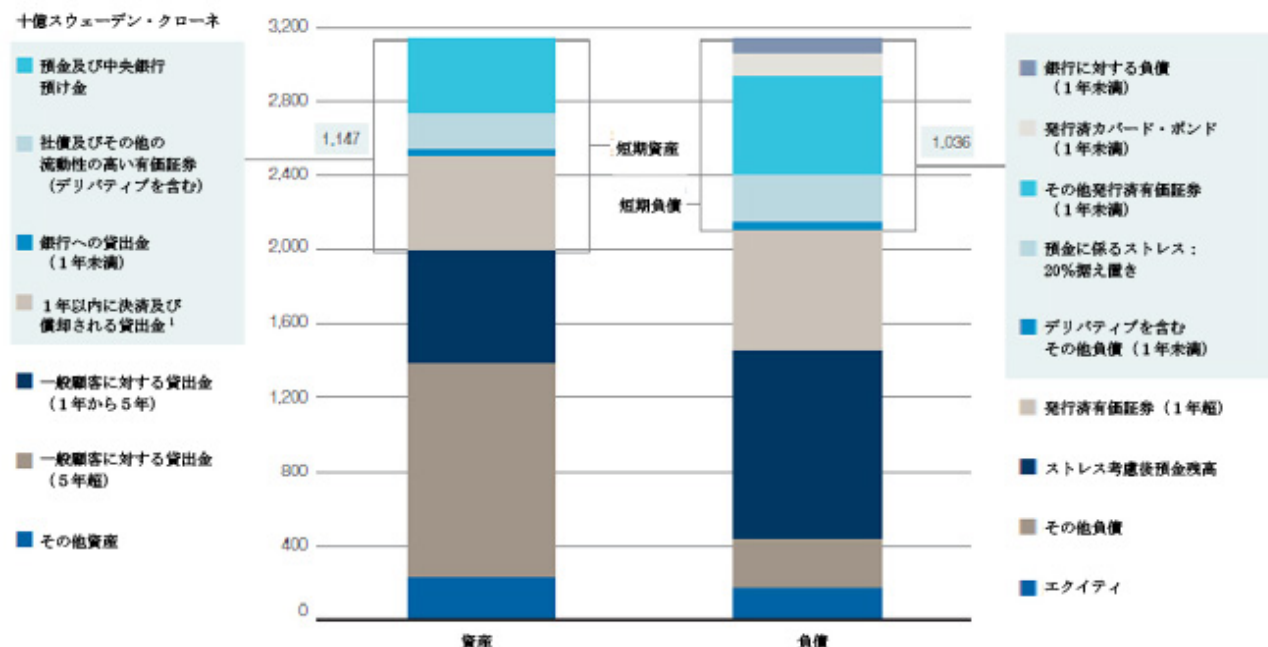
貸借対照表は、資産及び負債の一時点の記録である。当行が顧客及び投資家に対する債務を確実に履行するためには、資金調達及び流動性リスク管理に未来志向の視点を取り入れることが重要である。したがって、金融市場において長期的なストレスにさらされている状況にあっても、企業及び家計という形態の実体経済の参加者及び彼らの与信ニーズに対する支援が可能な方法で財務基盤が構築されている。これは、短期資産が十分なマージンで短期負債をカバーしていることによって確実にになっている。図AR:29では、預金の20%が1年以内に消滅し、市場で新規の資金調達を行う手段が一切なくなるというストレス・シナリオにおける貸借対照表を掲載している。このようなストレス下にもかかわらず、当年度末現在の短期資産は短期負債を大幅に上回ることが見込まれる。長期的な危機においては、中核事業は維持しつつも、財務基盤は縮小する可能性があり、短期資産残高は徐々に満期を迎える短期負債の償還に用いられる。より深刻な危機の状況下においても、当行グループの事業活動をさらに支援するための流動性を高める手段が用意されている。

市場はハンデルスバンケンに多大な信頼を寄せており、ハンデルスバンケンの信用リスクは低いと評価されている。これを示す例の一つに、当行の信用リスクに対する保険コスト（CDSスプレッドとして知られる）が引き続き欧州銀行の中で最も低い銀行の一つとなっていることが挙げられる。ハンデルスバンケンの資金調達コストは同業他社に比べて最も低い。ハンデルスバンケンには外部格付機関により引き続き高格付を付与されており、欧州内のすべての同業他社の中で最も格付が高い銀行の一つである。

様々な市場、通貨及び資金調達対象となる商品の形態において、異なる資金調達源から多様な資金調達を行うことは、資金調達戦略における重要な構成要素である。これは、個別市場又は資金調達源からの重要な影響を軽減している。当行は近年、長期的かつ国際的な資金調達をかなり拡大しており、特に米ドル、ユーロ、英国ポンド、豪ドル及び円建てにより、多くの債券を発行している。最も重要な資金調達源は、個人及び法人からの預金並びにカバード・ボンド及びシニア債である。短期的な資金調達は、主に、金融関連会社及び機関が

らの預り金並びにコマーシャル・ペーパー及び譲渡性預金証書の発行による。グループ・トレジャリー部は、自らの裁量による市場からの資金調達に関して様々な資金調達プログラムを有している。債券、預金証書及びコマーシャル・ペーパーは、これらのプログラムに基づき、当行、スタッドフィポテック及びハンデルスバンケン・ピーエルシーの名前で発行されている。当該資金調達プログラムにより、様々な通貨、投資家数、負債形態及び地域分布といった面で十分に多様化された資金調達手段が確保されている。

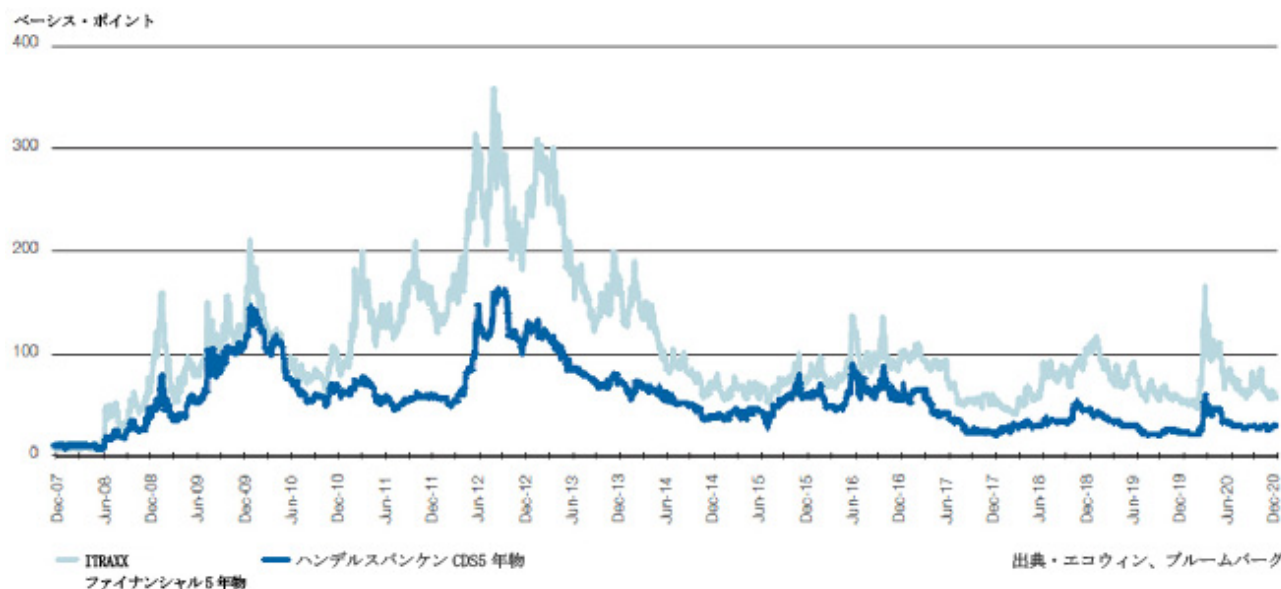
図AR:29 満期分類別の貸借対照表の構成



1) 予定分割償還、契約上の満期及びローンの追加返済額推計

図AR:30 ITRAXXファイナシャルズと比較したハンデルスバンケンの5年物CDSの спреッド

ITRAXXファイナシャルズは、欧州の銀行・保険部門における25の大手債券発行体のCDSスプレッドの指標である。



組織体制

ハンデルスバンケン分散化された事業モデルを有しているが、当行グループの資金調達及び流動性リスク管理業務はすべてグループ・トレジャリー部に集約されている。資金調達及び流動性管理業務は、取締役会が

策定した方針によって管理されている。取締役会はまた、リスク限度額も決定している。この方針は、最高経営責任者によるガイドライン及び最高財務責任者による指示によって補完されている。この指示は、リスク限度額等のパラメーター、資金調達構成及び資金調達市場の混乱時におけるベンチマークを規定している。さらにすべての流動性リスク限度額は、グループ・トレジャリー部を通じて、各事業部へと伝達されている。

グループ・トレジャリー部はまた、異なる支払システムや決済システムでの保有が求められる担保資産を含む、当行の流動性準備金に対する責任を持ち、日中の流動性を監視し、当行が支払債務を履行するための十分な担保を支払システムに随時有していることを確認する。当行は、流動性の監視を取引に近い地域で行っており、当行グループ全体の担保及び流動性準備金を扱う中央管理によってその監視が補完されている。

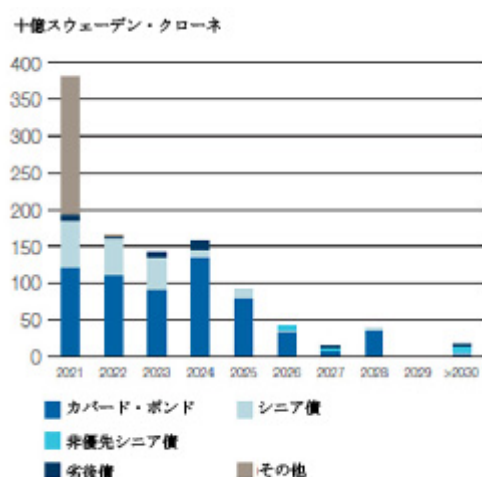
決済システムにおける担保の規模は、通常の状態及びストレス状況下で当行が債務履行に必要と考える水準に基づいて決定される。こうした状況が変化した場合には担保の規模及び流動性が調整され、危機の際には担保の再分配が行われ、流動性準備金も活用される。当行は、予想される支払い及び決済の実行に備えて、積極的な流動性計画及びすべての通貨の監視を通じて当方勘定の流動性を確保している。

市場からの資金調達 - 構成

当年度において、ハンデルスバンケンは当行における重要な通貨において、市場から合計355(376)百万スウェーデン・クローネの長期資金（当初の満期までの期間が1年超の有価証券）を調達した。市場からの長期的な資金調達の重要な構成要素は、カバード・ボンドの発行である。通貨別のカバード・ボンド発行残高の内訳は図AR:32に示している。短期資金調達は、主に欧州及び米国において、様々な資金調達プログラムに基づいて、譲渡性預金証書及びコマーシャル・ペーパーの発行によって行われている。これらの資金調達プログラムは、金融及び非金融大手企業による定期預金によって補完されている。資金調達業務に関連して、当行は引き続き以前と同様の投資家との面会、資金調達プログラムの更新、及び他の点においても世界中のすべての関連資金調達市場での資金調達条件を維持していた。これにより、年度を通じて金融市場が時に極めて困難な状況にあっても、資金調達業務を維持することが可能であった。

図AR:31 長期資金調達の満期プロファイル

2020年12月31日現在、当初満期が1年超の発行済証券



図AR:32 2020年の通貨別カバード・ボンドによる市場からの資金調達

2020年12月31日現在の通貨別発行済カバード・ボンドの内訳

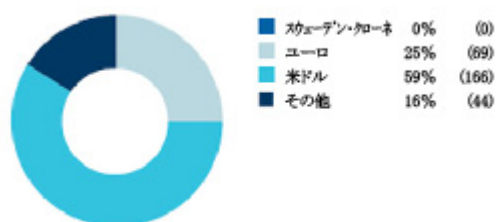
括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ



図AR:33 2020年の通貨別短期資金調達

2020年12月31日現在の当初満期が1年未満の発行済証券に関する通貨別の内訳

括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ

**図AR:34 2020年の通貨別長期資金調達**

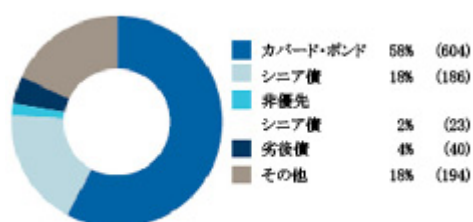
2020年12月31日現在の当初満期が1年超の発行済証券に関する通貨別の内訳

括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ

**図AR:35 2020年の金融商品別長期資金調達**

2020年12月31日現在の当初満期が1年超の発行済証券に関する通貨別の内訳

括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ



担保資産及びカバー・プール

また、ハンデルスバンケンの流動性管理上、金融市場の混乱時において利用可能な担保を十分に確保することも重要である。追加担保の設定を可能にするために必要な条件の1つは、当行が当初から処分可能な担保を確保していることである。したがって、当行は、信用格付の非常に高いカバード・ボンド及び流動証券を発行する際に、担保として利用可能な抵当に入っていない十分な額の資産を確保している。

当行は、一定の条件により当行からカウンターパーティに対して担保提供が強制されるような契約、例えばCSA契約を金融機関以外の当事者と締結することを制限している。デリバティブ残高に関するCSA契約に基づき差し入れた現金担保は合計17,049(7,172)百万スウェーデン・クローネであった。当行の担保資産に関する詳細については、ハンデルスバンケンのファクトブックの担保資産の表を参照のこと。さらに、当行の流動性の確保に加え、このリスク制限アプローチにより当行のシニアレンダーがカバード・ボンドに投資している貸手よりも優先順位が低くなる（いわゆる、地位劣後の問題）範囲を制限することができる。

無担保資金調達への投資家と担保付資金調達への投資家との間の劣後関係を評価する上では、担保負担がない資産の量及び信用の質が関連する評価要素となる。ハンデルスバンケンのリスク負担に関する厳格なアプローチにより、担保負担のない資産は非常に優良なものとなっている。ハンデルスバンケンはカバード・ボンドとシニア債をバランスよく利用したいと考えているため、担保負担のない住宅抵当ローンがかなりの額で存在している。他の担保負担のない貸出も、例えば当行の内部格付では非常にリスクが低いと評価されている。

表AR:36は、ハンデルスバンケンの担保負担のない資産の金額が、無担保資金調達残高の269(238)%に相当することを示している。

スタッドフィポテックのカバー・プールで構成されている担保負担のある資産の大部分は、発行済カバード・ボンドの担保として供された住宅抵当ローンより構成されている。当行はまた、当該プールに8%の任意のOC(超過担保、すなわち発行済債券をカバーするために必要な担保に加えた追加資産、法定要件の2%に追加した部分)を加えている。この追加資産は、住宅抵当ローンの価値が追加資産を要する水準まで下落した場合に、発行済債券の金額と見合うようにするために存在する。

追加資産が必要となるリスクを評価する場合、基本的にカバー・プールにおける住宅抵当ローンの借入金比率（以下、「LTV」という。）がきわめて重要になる。不動産市場における価格が下落している場合、LTVが低ければ低いほど、当該プールにより多くの住宅抵当ローンが必要になるリスクは低減される。ハンデルスバンケンの出来高加重平均LTV（最大LTV）は、スウェーデンのカバー・プールでは52.4(54.8)%であり、ノルウェーのカバー・プールでは53.4(55.7)%であり、フィンランドのカバー・プールでは49.5(49.2)%であった。これはすなわち、当行は、住宅抵当ローンを当該プールに追加するまでもなく、該当する不動産価格の大幅な下落に対応することができることを示している。

当行がプール外で保有することを選択した資産は表AR:36に示されており、当該資産は必要に応じてカバード・ボンドの発行に使用することができる。

表AR:36 担保負担がない資産 / 担保に供されていない資産

担保負担がない資産 / 担保に供されていない資産	2020年		2019年	
	(NEA) ¹	無担保資金 調達に対する 累積割合、% ²	(NEA) ¹	無担保資金 調達に対する 累積割合、% ²
十億スウェーデン・クローネ				
現金及び中央銀行預け金	418	51	337	37
流動性ポートフォリオにおける流動債券 ³	145	69	157	55
個人向け貸出金(デリバティブを含む)	558		553	
うち、住宅抵当ローン	390	117	351	94
うち、不動産を担保とした貸出金	4	118	5	94
うち、その他個人向け貸付	164	138	197	116
法人向け貸出金(デリバティブを含む)	1,040		1,079	
うち、住宅抵当ローン	375	184	350	155
うち、住宅協同組合への貸出金 (住宅抵当ローンを除く)	57	191	65	162
うち、不動産会社への貸出金 (住宅ローンを除く)				
- リスク・クラス1～3	261	223	299	195
- リスク・クラス4～5	152	242	134	210
- うち、リスク・クラス5超	7	243	8	211
うち、その他の法人貸出				
- リスク・クラス1～3	108	256	142	227
- リスク・クラス4～5	66	264	70	235
- リスク・クラス5超	14	266	11	236
金融機関への貸出金(デリバティブを含む)	11		16	
- リスク・クラス1～3	10	267	15	238
- リスク・クラス3超	1	267	1	238
その他貸付	17	269	0	238
その他資産	0	269	0	238
合計	2,189	269	2,142	238

1) NEA：担保負担のない資産

2) 無担保による発行済短期及び長期資金調達並びに金融機関に対する債務

3) 中央銀行への担保として適格なもの

表AR:37 カバー・プール・データ**カバー・プール・データ**

百万スウェーデン・クローネ

	スウェーデン		ノルウェー		フィンランド	
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
スタッドフィポテック貸付総額 （一般顧客）	1,239,819	1,174,773	97,359	97,201	53,749	51,963
カバー・プールに関して利用可能な資産	1,148,999	1,073,220	91,675	93,893	50,629	48,816
カバー・プールで使用した資産	606,455	623,660	37,822	27,952	17,673	18,400
代替資産（制限勘定の現金）	5,000	5,000	-	-	-	-
最大LTV加重平均、ASCBの定義による ¹	52.43	54.80	53.42	55.68	49.52	49.18

LTVの内訳

0-10%	23.1	21.9	24.3	21.2	27.6	27.7
10-20%	20.6	19.7	20.2	20.5	23.6	23.5
20-30%	17.8	17.3	16.2	16.9	19.8	19.9
30-40%	14.7	14.6	13.8	14.1	12.7	13.0
40-50%	11.1	11.6	11.2	11.7	8.4	8.3
50-60%	7.4	8.2	8.3	8.7	5.0	4.9
60-70%	4.3	5.1	5.0	5.5	2.3	2.1
70-75%	1.2	1.6	1.1	1.4	0.6	0.6

貸出金額、加重平均、スウェーデン・クローネ

680,300 664,000 3,990,523 4,109,415 1,116,604 1,101,925

貸出期間、加重平均、月数²

69 66 26 26 61 59

金利期間、内訳

変動金利、%	39.7	46.1	97.7	99.5	100	100
固定金利、%	60.3	53.9	2.3	0.5	0.0	0.0

1) スウェーデン・カバード・ボンド発行者協会（Association of Swedish Covered Bond issuers）

2) 貸出金の実行日から計算されている。

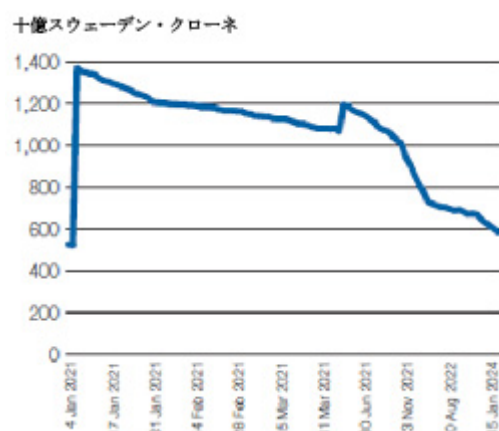
流動性リスク

当行は業務の一環として、日次で大量のキャッシュ・フローの流入及び流出を取り扱っている。流動性管理におけるリスクを抑えるために、当行は流動性リスクの限度額と定性的目標を含む、堅固なリスク許容度の枠組みを有している。グループ・リスク・コントロール部はリスクを計測し、リスクの利用状況について、日次で最高財務責任者、週次で最高経営責任者、定期的に取り締役に報告する責任がある。

流動性計画は、個別の通貨に対するキャッシュ・フローの分析に基づいている。一般的に、流動性の高い通貨の方が、流動性の低い通貨よりもより大きなエクスポージャーが許容される。資金調達戦略は、流動性がない資産は安定した長期資金で手当てし、ストレス状況下においても正のキャッシュ・フロー及び正のキャッシュ・ポジションが維持されなければならないというものである。このようなギャップ分析は、シナリオによって補完されており、そこでは様々な仮定を用いて流動性にストレスをかけて分析を行っている。

当行の流動性管理はこれらのストレス・テストに基づいており、ストレス・テストは全体レベルで実行され、当行にとって重要な通貨に対して個別にも行われる。ストレス・テストは当行が様々なストレス・シナリオ下において十分な流動性を有することを確実にし、様々な流動性創出のための施策が講じられていることを仮定している。これらは当行の再建計画にも反映されている。ストレス・テストは市場全体のストレスと特異なストレスの双方を、定期的及び個別に適用して実施される。これらは住宅価格の大幅な下落を考慮したシナリオ分析によっても補完される。より長期的な市場の混乱に対する予防策は、特定の仮定に基づくキャッシュ・フローのストレス・テストを通じて日次で測定される。これらの長期的なストレス・テストでは、当行が金融市場での資金調達ができないと同時に、個人及び法人の定期預金以外の預金の一定割合が1ヶ月以内に徐々に解約されることを仮定している。さらに、当行はコア事業を継続し、すなわち、個人及び法人からの定期預金並びに個人及び法人への貸出金が満期時に継続され、コミットメント及び与信枠の一部が顧客によって使用されると仮定する。当行はまた、中央銀行及び銀行預け金が利用され、グループ・トレジャリー部の有価証券が主に市場における担保として、また中央銀行における最後の手段として緊急の流動性供給を受けることが可能であることを考慮している。さらに、当行はカバード・ボンドの未使用発行額を使用することや、流動性を徐々に提供する他の流動性創出策を実施することにより、流動性の創出が可能である。未使用の担保の残高及び質は、危機の際に当行が必要とする流動性を提供する上で十分なものでなければならない。このような状況により、当行の流動性は3年を超えて高水準に保たれ、当行は深刻な長期のストレスに対しても十分に持ちこたえられることになる。

表AR:38 流動性創出策を含む流動性ストレス・テスト - 流動性ポジション累計額



当行が上述の金融市場における混乱に十分に持ちこたえられる状況とは、適正な財務構成が維持されていることである。「図AR:29 満期分類別の貸借対照表の構成要素」は、預金の20%が1年以内に消滅すると仮定しているストレス・シナリオにおいて流動資産の残高が流動負債の残高を大幅に上回っていることを示している。

また、未使用の担保の残高及び質は、危機の際に当行が必要とする流動性を確保できるものでなければならない。当行が将来に向けて継続的に正の正味キャッシュ・フロー（一時点における比率ではない）を確保することによってもまた、この流動性を長期にわたって確保することができる。

「表AR:40金融資産及び負債の満期分析」は、遅くとも当該分析表に示す各期間内に支払期限が到来する契約上の支払債務(利息キャッシュ・フローを含む)に係るキャッシュ・フローを示している。この表は、債券及びその他の利付証券が担保として供される又は売却される場合に流動性が確保される期間別を示したものである。

また、資産・負債・利息のフローが約定満期日までの期間別に示されている。住宅抵当貸付の利息のフローは、当該貸付の資金調達元となっている負債の期間と一致している。金融保証、ローン・コミットメント及び未使用の当座借越契約はすべて最長30日の期間に含めて報告されている。これらの契約残高総額は、必ずしも将来における資金調達が必要なことを表しているわけではない。デリバティブ商品に関して、金利スワップのキャッシュ・フローは純額で計上され、為替スワップ等でキャッシュ・フロー総額が受け払いされる商品のキャッシュ・フローは総額で計上される。

欧州委員会が委任規則を導入後、EUの銀行には流動性カバレッジ比率（以下「LCR」という。）という拘束力のある要件が設けられた。この尺度は、当行の流動性バッファと30日間の厳しいストレス下における正味キャッシュ・フローとの比率を示しており、この要件は総計レベルでLCRに適用され、比率は100%を超えなければならない。また、スウェーデン金融監督庁は、第二の柱における監督審査及び評価プロセスの枠組において、各通貨のLCRを規定している。年度末現在、当行グループの総計レベルのLCRは150(147)%であり、これは、当行が資金調達市場の短期的な混乱に十分に持ちこたえられることを示している。構造的流動性尺度である安定調達比率（NSFR）（利用可能な安定調達資金と安定調達需要の比率）は、2021年6月からEUに導入される予定である。2020年度末現在、資本要求規則改正法案（CRR2）に準拠した当行グループ・レベルのNSFRは117%であった（113%）。

流動性リスクのプライシング

流動性リスク管理の重要部分は、発生可能性のある流動性リスクを考慮して、預金及び貸付が内部で価格設定されていることである。例えば、当行が長期の貸出を行う場合、追加的な長期資金調達が必要になる（通常は短期の資金調達より調達コストがより高くなる）。これは、当行の長期債券を購入した投資家は通常、満期までの期間に対してより高額な対価を要求するためである。このことは、当行の内部価格の設定において考慮される。当行の内部ユニットは、グループ・トレジャリー部の貸出金に対して、満期等の要素に応じて変動する支払いを行わなければならない。流動性リスクを現地で負担することはできない。内部の価格設定は、適切なインセンティブを創出し、不健全なリスク負担を回避するために重要である。当行は、長い間、満期に基づく内部の金利設定を行ってきた。契約によって生じた流動性リスクを考慮に入れて契約単位で価格設定するシステムが確立されている。

表AR:39 流動性カバレッジ比率（LCR） - 内訳

流動性カバレッジ比率（LCR） - 内訳		
百万スウェーデン・クローネ		
	2020年12月31日現在	2019年12月31日現在
高品質な流動資産	559,278	484,489
現金流出	413,024	379,970
一般顧客及び小企業からの預金	61,299	58,136
資本市場からの無担保資金調達	273,375	264,686
資本市場からの有担保資金調達	5,245	3,568
他の現金流出	73,105	53,580
現金流入	41,027	49,911
正常なエクスポージャーからの流入	27,536	26,619
他の現金流入	13,491	23,292
流動性カバレッジ比率（LCR）%	150	147

内訳はEU委員会委任立法(EU)2015/61で定義されているものと同じである。

表AR:40 金融資産及び負債の満期分析

「満期の指定なし」の欄の預金は要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は当行グループの貸借対照表上の金額と一致していない。利息を除く外貨建てキャッシュ・フローを含めた満期表は、ファクトブック (handelsbanken.com/ir) に記載されている。

金融資産及び負債の満期分析、2020

年	30日以内	31日から 6カ月以内	6カ月から 12カ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の指定 なし	合計
百万スウェーデン・クローネ								
現金及び中央銀行預け金	397,660	-	-	-	-	-	-	397,660
中央銀行への担保として適格な利付証券 ¹	99,133	-	-	-	-	-	-	99,133
社債及びその他の利付証券 ²	44,566	-	-	-	-	-	-	44,566
金融機関への貸出金	38,713	1,380	538	312	944	2,474	-	44,361
うち、リバース・レボ	523	-	-	-	-	-	-	523
一般顧客への貸出金	66,169	260,975	202,186	222,073	424,043	1,167,829	-	2,343,275
うち、リバース・レボ	11,626	-	-	-	-	-	-	11,626
その他	24,319	-	-	-	-	-	259,686	284,005
うち、株式及び参加持分	21,045	-	-	-	-	-	-	21,045
うち、投資銀行の決済業務に係る債権	3,274	-	-	-	-	-	-	3,274
資産合計	670,560	262,355	202,724	222,385	424,987	1,170,303	259,686	3,213,000
金融機関からの預り金	40,506	44,451	4,606	2,504	338	1,169	31,683	125,257
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、中央銀行からの預り金	17,334	23,110	-	-	-	-	314	40,758
一般顧客からの預金及び借入金	18,033	24,782	3,292	512	370	6,478	1,175,828	1,229,295
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
発行済証券 ³	65,211	308,234	292,213	177,502	390,714	108,727	-	1,342,601
うち、カバード・ボンド	4,422	52,689	75,622	118,283	317,032	78,624	-	646,672
うち、当初満期が1年未満の証書及びその他の証券	53,895	215,445	190,593	-	-	-	-	459,933
うち、当初満期が1年超のシニア債及び								
その他の証券	6,894	40,100	25,998	59,219	73,682	30,103	-	235,996
劣後負債	-	9,937	-	2,935	19,014	8,281	-	40,167
その他	5,700	363	367	694	1,644	1,151	424,642	434,561
うち、ショートポジション	1,687	-	-	-	-	-	-	1,687
うち、投資銀行の決済業務に係る債務	4,001	-	-	-	-	-	-	4,001
負債合計	129,450	387,767	300,478	184,147	412,080	125,806	1,632,153	3,171,881
オフバランスシート項目								
金融保証及び未使用のローン・コミットメント	463,424							

デリバティブ、2020年

百万スウェーデン・クローネ	30日以内	31日から 6カ月以内	6カ月から 12カ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	合計
デリバティブに係る現金流入合計	203,291	407,858	107,490	71,824	148,247	75,337	1,014,047

デリバティブに係る現金流出合計	206,606	413,822	104,701	71,671	145,949	76,657	1,019,406
純額	-3,315	-5,964	2,789	153	2,298	-1,320	-5,359

金融資産及び負債の満期分析、2019

年	30日以内	31日から 6カ月以内	6カ月から 12カ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の指定 なし	合計
百万スウェーデン・クローネ								
現金及び中央銀行預け金	347,438	-	-	-	-	-	-	347,438
中央銀行への担保として適格な利付証券 ¹	103,387	-	-	-	-	-	-	103,387
社債及びその他の利付証券 ²	42,639	-	-	-	-	-	-	42,639
金融機関への貸出金	11,403	1,777	289	935	2,097	3,261	-	19,762
うち、リバース・レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
一般顧客への貸出金	59,185	284,961	204,305	226,877	456,662	1,145,149	-	2,377,139
うち、リバース・レボ	10,438	-	-	-	-	-	-	10,438
その他	24,442	-	-	-	-	-	244,868	269,310
うち、株式及び参加持分	21,390	-	-	-	-	-	-	21,390
うち、投資銀行の決済業務に係る債権	3,052	-	-	-	-	-	-	3,052
資産合計	588,494	286,738	204,594	227,812	458,759	1,148,410	244,868	3,159,675
金融機関からの預り金	87,261	26,344	4,984	3,426	547	1,283	24,931	148,776
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、中央銀行からの預り金	40,025	12,795	-	-	-	-	26	52,846
一般顧客からの預金及び借入金	2,139	27,824	4,098	504	340	6,576	1,075,844	1,117,325
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
発行済証券 ³	53,199	366,519	244,008	247,550	443,595	74,562	-	1,429,433
うち、カバード・ボンド	85	63,942	26,761	172,344	333,168	58,595	-	654,895
うち、当初満期が1年未満の証書及びその他の証券	48,203	275,095	117,376	-	-	-	-	440,674
うち、当初満期が1年超のシニア債及びその他の証券	4,911	27,482	99,871	75,206	110,427	15,967	-	333,864
劣後負債	-	1,125	29	12,623	24,631	-	-	38,408
その他	4,783	381	383	716	1,692	1,304	381,156	390,415
うち、ショートポジション	1,865	-	-	-	-	-	-	1,865
うち、投資銀行の決済業務に係る債務	2,904	-	-	-	-	-	-	2,904
負債合計	147,382	422,193	253,502	264,819	470,805	83,725	1,481,931	3,124,357
オフバランスシート項目								
金融保証及び未使用のローン・コミットメント	439,667							

デリバティブ、2019年

百万スウェーデン・クローネ	30日以内	31日から 6カ月以内	6カ月から 12カ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	合計
デリバティブに係る現金流入合計	210,350	458,282	124,620	131,515	205,915	70,538	1,201,220
デリバティブに係る現金流出合計	212,716	459,576	117,496	121,935	196,116	69,638	1,177,477
純額	-2,366	-1,294	7,124	9,580	9,799	900	23,743

- 1) この金額（利息を除く）のうち、75,526（83,175）百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。
- 2) この金額（利息を除く）のうち、7,184（16,653）百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。
- 3) この金額（利息を除く）のうち、652,957（644,231）百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

流動性準備金

ストレス状況下における中核事業を支援するための十分な流動性を確保するため、当行は取り扱っているすべての通貨で多額の流動性準備金を保有している。当該流動性準備金は、資金調達市場や外国為替市場とは関係なく、随時、当行に流動性を提供するものである。このうち一部は、即時提供され、その他は一定期間にわたって徐々に提供される。

当該流動性準備金は、複数の異なる部分より構成されている。現金、預金残高及びその他の中央銀行への貸出は、当行に緊急の流動性を提供可能な部分である。当該準備金はまた、国債、カバード・ボンド及びその他の信用の質が高い有価証券をはじめとする流動性の高い有価証券より構成され、これらは流動性が高く、中央銀行への担保として適格なものである。これはまた、当行に緊急の流動性を提供可能なものである。流動性準備金の残りの部分は、カバード・ボンドの未発行額及びその他の流動性創出対策より構成される。

表AR:41 中央銀行に対する残高、及び流動性準備金における有価証券保有残高（市場価値）

中央銀行に対する残高、及び流動性準備金における有価証

券残高（市場価値）、2020年 （百万スウェーデン・クローネ）	スウェーデン・				
	クローネ	ユーロ	米ドル	その他	合計
レベル1資産	208,731	131,749	67,923	149,683	558,086
現金及び中央銀行預け金	84,525	128,225	65,479	139,660	417,889
ソブリン、中央銀行、国際開発金融機関及び国際機関が発行					
又は保証する証券	93,585	2,935	2,444	1,400	100,364
地方債及びその他公的機関発行債	645	-	-	-	645
きわめて高品質なカバード・ボンド	29,976	589	-	8,623	39,188
レベル2資産	1,066	654	1,978	952	4,650
<i>レベル2A資産</i>	<i>1,064</i>	<i>605</i>	<i>1,978</i>	<i>952</i>	<i>4,599</i>
ソブリン、中央銀行、地方自治体及びその他公的機関が発行					
又は保証する証券	-	-	-	881	881
高品質なカバード・ボンド	1,064	605	1,978	71	3,718
社債（格付がAA-以上）	-	-	-	-	-
<i>レベル2B資産</i>	<i>2</i>	<i>49</i>	<i>-</i>	<i>-</i>	<i>51</i>
資産担保証券	-	-	-	-	-
高品質なカバード・ボンド	-	-	-	-	-
社債（格付がA+からBBB-）	2	49	-	-	51
株式（主要株式指数）	-	-	-	-	-
流動資産合計	209,797	132,403	69,901	150,635	562,736

中央銀行に対する残高、及び流動性準備金における

有価証券残高（市場価値）2019年

（百万スウェーデン・クローネ）

	スウェーデン・ クローネ	ユーロ	米ドル	その他	合計
レベル1資産	167,449	121,485	59,355	131,947	480,236
現金及び中央銀行預け金	46,552	114,519	57,959	127,176	346,206
ソブリン、中央銀行、国際開発金融機関及び国際機関が発 行					
又は保証する証券	90,042	6,338	1,396	2	97,778
地方債及びその他公的機関発行債	1,012	-	-	-	1,012
きわめて高品質なカバード・ボンド	29,843	628	-	4,769	35,240
レベル2資産	1,190	1,150	3,801	1,775	7,916
<i>レベル2A資産</i>	<i>1,190</i>	<i>1,125</i>	<i>3,801</i>	<i>1,775</i>	<i>7,891</i>
ソブリン、中央銀行、地方自治体及びその他公的機関が発 行					
又は保証する証券	-	-	-	1,739	1,739
高品質なカバード・ボンド	1,190	1,125	3,801	36	6,152
社債（格付がAA-以上）	-	-	-	-	-
<i>レベル2B資産</i>	<i>-</i>	<i>25</i>	<i>-</i>	<i>-</i>	<i>25</i>
資産担保証券	-	-	-	-	-
高品質なカバード・ボンド	-	-	-	-	-
社債（格付がA+からBBB-）	-	25	-	-	25
株式（主要株式指数）	-	-	-	-	-
流動資産合計	168,639	122,635	63,156	133,722	488,152

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクは、不適切な若しくは欠陥のある内部プロセス、人為的ミス、誤ったシステム、又は外部事象による損失リスクである。オペレーショナル・リスクの定義には、法的リスクも含まれている。

取締役会は、オペレーショナル・リスクに対するハンデルスバンケン・グループのリスク許容度を決定した。オペレーショナル・リスクは当行のすべての業務において避けることのできない要素ではあるが、ハンデルスバンケンのオペレーショナル・リスクに対するリスク許容度は低い。可能な限り、ハンデルスバンケンはこれらのリスクを防ぎ、この分野の損失を低減するよう努める必要がある。インシデントが発生した際、当行グループの利益の重大な低下につながる可能性のあるオペレーショナル・リスクは、低水準まで軽減されなければならない。インシデントの結果や発生可能性が許容可能なものとなるよう、リスク軽減策が取られなければならない。オペレーショナル・リスク事象からの損失は保険又は他の手段で対応され得る。

当行グループのオペレーションからの損失が低水準にとどまるように、オペレーショナル・リスクを管理する必要がある。最高経営責任者はオペレーショナル・リスクの限度額や閾値を設定している。リスク限度を超えるリスクに対しては、リスク軽減計画が策定される必要がある。また、この計画は効果的でなければならない。予め決定されたスケジュールに従って進められなければならない。

2020年、オペレーションによる潜在的及び実際の損失並びに復旧で構成されるハンデルスバンケンのオペレーションからの損失は合計89(47)百万スウェーデン・クローネであった。オペレーションからの損失の水準が、復旧により時間の経過とともに調整される、あるいは過去に報告されたインシデントに関連した他の損失が加わることは珍しいことではない。これにより、過去に報告された損失の比較数値が影響を受ける可能性がある。

組織体制

オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理に関する責任は、ハンデルスバンケン・グループのすべての階層の管理者に課される責任に欠くことができないものである。当行の業務の分権的な手法とコスト意識によりオペレーショナル・リスクの良好な管理が推進され、日々の手続や事象における潜在的な損失のリスクに注意を払うことにつながっている。

オペレーショナル・リスクの管理は業務活動において実施され、その取り組みはリスク・コントロール部によって管理される。特別に任命された現地のオペレーショナル・リスク・コーディネーター（以下、「現地オペリスク・コーディネーター」という。）は、オペレーショナル・リスクを管理する上で管理者を支援するために地域銀行、主要部門、子会社及び当行の拠点市場以外のユニットに設置されている。彼らの責任は、業務活動において既存のオペレーショナル・リスクの管理手法及び手続が使用されていることを確認し、報告されたインシデントに関して必要な対策を講じ、業務活動を支援し、オペレーショナル・リスクに関して決定した活動のフォローアップを行うことである。

グループ・リスク・コントロール部は、オペレーショナル・リスクの管理に適用する方法及び手続に対して全般的な責任を負っている。これにはオペレーショナル・リスクの定期的な評価方法及び手続、並びに業務への適用も含まれる。グループ・リスク・コントロール部は地域銀行、主要部門、子会社及び当行の拠点市場以外のユニットがオペレーショナル・リスクを特定、評価、報告及び管理し、決定された活動が確実に実施されていることを確認しなければならない。またグループ・リスク・コントロール部は、新規又は大きく変更のある商品、サービス、市場、プロセス、ITシステムや、当行グループの業務又は組織体制の重要な変更に関する意思決定が行われる前にリスクが評価されていることを確かめる責任を負っている。さらにグループ・リスク・コントロール部は、グループ・レベルですべての重要なオペレーショナル・リスク及びその状況を特定、

評価、分析し、経営陣及び取締役会に報告する責任を負っている。経営陣及び取締役会に提出されるリスク報告には、重大なインシデント及びリスク軽減策に関する情報も含まれる。

オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理の方法

オペレーショナル・リスクの継続的な特定、評価及び管理に対応するため、当行はインシデントの報告及び案件管理システムのほか、オペレーショナル・リスクや所与のリスク指標の自己評価方法や手続を整備している。

インシデントの報告

インシデントの報告によるリスクの事実は通常、最高経営責任者からのガイドライン及び補完的な指針に従い当行グループの支店や部署にて収集される。当行グループのすべての従業員は、所属するユニットに影響を及ぼし、25,000スウェーデン・クローネを超える損失につながるインシデントについての事実を収集しなければならない。また、一切損失が発生しないインシデント又は25,000スウェーデン・クローネよりも小さい損失が発生するインシデントで、かつユニットの利益に多大な悪影響を及ぼす可能性のある重大なオペレーショナル・リスクを示すインシデントについても、事実を収集し報告しなければならない。ユニットにおけるリスクの未然防止策を一層促すために、すべての従業員は軽微な損失が発生するインシデントや一切損失が発生しないインシデントについても事実を収集することが推奨されている。

現地オペリスク・コーディネーターは、報告されたインシデントを定期的に見直し、分類している。当行は、オペレーショナル・リスクを、7種類の事象に従って、以下のとおり分類している。

- ・ 執行・受渡・プロセス管理
- ・ 事業活動の中断・システム障害
- ・ 顧客・商品及び取引慣行
- ・ 外部犯罪
- ・ 有形資産に対する損傷
- ・ 労務慣行・職場の安全
- ・ 内部不正

図AR:42 3つの防衛線



OPRAリスク分析自己評価

OPRAリスク分析とは、当行に影響を及ぼす可能性のあるオペレーショナル・リスクを文書化し評価するための手法と自己評価手続である。これはすべてのユニットにおいて、少なくとも年に一度実施される。ユニットの各責任者は、この分析の実施に責任を負っている。現地オペリスク・コーディネーターは、計画及び実施に関する支援を行っている。自己評価の参加者は、ユニットの業務経験が豊富でなければならない。分析にあたり、特定されたすべての担当分野が参加者の知識を結集することにより網羅されていなければならない。目的は、事象の結果及び事象の発生可能性を評価することである。影響の評価には、財政上の損失及び風評リスクの双方が含まれる。OPRAリスク分析の基礎として重要な情報は過年度に報告されたインシデントの事実及び統

計、監査報告書、コンプライアンス報告書、事業環境における周知の事象、他ユニットによるOPRAリスク分析や重要プロセスとの関連性が含まれる。自己評価によりリスクが容認できる水準を超えるとみなされる場合、次に、軽減すべきリスクやその軽減方法、責任者及び措置を講じる際の期限について記載された行動計画を作成する。当該行動計画は作業工程文書であり、現地オペリスク・コーディネーターの支援する業務によって、当年度中に定期的にフォローアップされている。リスク・コントロール部は、完了したOPRAリスク分析(行動計画を含む)について報告を受け、その手続を評価している。リスク・コントロール部は現地オペレーショナル・リスク・コーディネーターによるOPRAリスク分析の計画立案、実施及びフォローアップを定期的に支援している。

主要リスク指標

リスク指標はオペレーショナル・リスクの増加を警告するために監視されている。リスク指標の閾値を超えた場合、講じるべきリスク管理手法を評価する際の根拠とするためリスク評価を実施する必要がある。

ORX

当行はORX（オペレーショナル・リスクデータ・エクスチェンジ・アソシエーション）のメンバーである。ORXの主要目的は、オペレーションからの損失につながるインシデントに関する匿名データの交換に銀行を参加させることである。ORXはまた、オペレーショナル・リスクに関するデータの品質の標準化及び確保においても重要な機能を果たしている。オペレーショナル・リスクに関する手法については幅広い調査が行われており、ORXは重要な情報交換の場となっている。

ハンデルスバンケン・グループにおけるIT業務

当行の業務は、ITサービスが利用可能であること、及びそのセキュリティが確保されていることに依拠している。テクノロジーの発展と銀行サービスのデジタル化は、この領域の重要性が高まりつつあることを示している。ハンデルスバンケン・グループにおけるIT業務の全体的な目標及び戦略に関するガイドラインが最高経営責任者によって策定される。この領域のオペレーショナル・リスクは、当行の他の手続きと同様のものに加えて、対象となる領域における特定の種類のリスクを管理するための特別な手続に従って管理されている。特別な手続には、例えば以下のものが含まれる。

- ・本番稼働中のITシステムの監視
- ・ITインシデントの管理
- ・新規又は変更後のITシステムの管理
- ・サイバー・リスクの管理
- ・セキュリティ・テストの実施
- ・ITシステムのリスク分析の実施
- ・外部委託契約等の外部業者との契約の評価
- ・ITシステムの継続管理

情報セキュリティ及びITセキュリティ

ハンデルスバンケンのセキュリティ業務は、従業員及び顧客の生命、健康及び完全性を守り、顧客及び当行グループの名声及び評判を守ることを目的としている。

業務において、当行は顧客や顧客との関係に係る機密情報を継続的に処理している。ハンデルスバンケンの情報セキュリティ及びITセキュリティの取り組みは、可用性、正確性、機密性、追跡可能性を基盤としてい

る。情報システム及び業務システムは業務要件に応じて利用可能な状態でなければならない。ハンデルスバンケンの情報セキュリティに関するガイドラインは当行グループの最高経営責任者によって策定されている。当行の全従業員が情報保護に関する規則の遵守義務を負っており、すべての管理者は各担当分野における規則の遵守義務を負っている。当行は起こり得る脅威を阻止する効果的なセキュリティ業務を実践しており、いかなる不備も生じることがないように、IT環境における変更管理手続を策定している。情報の処理に誤りがあった場合や情報が誤って公表された場合、当行の信用低下や財務上の損失等、被害は深刻なものとなり得る。体系的なセキュリティ業務の枠組の中で、情報セキュリティの脅威やリスクに関する従業員及び顧客の意識向上を図るため、当行においてプレゼンテーション、研修プログラムや情報に関するイニシアティブなどを通じた組織的な取り組みが行われている。

当行の情報セキュリティ及びITセキュリティは、顧客情報や顧客取引に加え当行のIT環境を保護することを目的としている。情報セキュリティには技術的なセキュリティ対応に加え、規則や指示といった、事務的な対応も含まれる。

情報セキュリティに関する取り組みは国際規格であるISO 27001に従って行われている。ハンデルスバンケンの情報セキュリティ部署及びIT本番環境内の4つの重要なプロセスはISO 27001の認証を取得している。また、当行の情報セキュリティ規定は、世界の大企業の大半が会員となっている組織である情報セキュリティ推進団体（ISF）が策定したグッドプラクティス標準に基づいている。情報セキュリティ及びITセキュリティに関する取り組みは組織的に行われており、当行ではリスク分析を主体とするプロセスが適用されている。リスク分析ではISFの情報リスク分析手法（IRAM2）が用いられている。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、当行従業員がリモートにより就業する必要性が大幅に高まった。こうした要求を満たすため、既存の実績ある当行のテクノロジー・インフラの能力が増強された。様々な業務において事業継続計画が早期の段階で開始され、実際に出社が必要とされる機能は、複数のチームへと分割された。

本部危機管理チーム（Central Crisis Team）が2月に発足し、現在も引き続き活動している。セキュリティの更新を含むITの変更は、引き続き通常通り行われている。

物理的な安全性

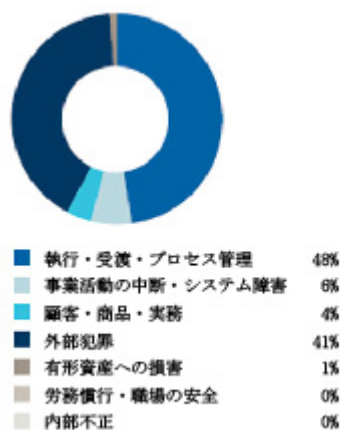
ハンデルスバンケングループの物理的安全対策には、防火設備や手続に加え、従業員への脅威、従業員の保護、旅行上の安全、周辺保護、当行の賠償責任及び損害保険に関するプロセスと手続、並びに外部環境の監視と指示が含まれる。

物理的な安全性に関するグループ内での指示により、特に、セキュリティのレビューが少なくとも毎年行われ、その後年次の就業環境調査を通じてフォローアップが行われる。

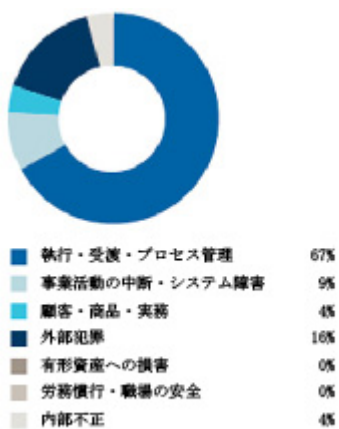
金融犯罪

当行は、当行のリスクに加え、当行の商品やサービスが何らかの金融犯罪に悪用されるリスクを最小限に抑えるよう、効率的かつ目的に沿った手段での継続的な取り組みを目指している。金融犯罪には、マネーロンダリング、テロリズムへの資金供与、脱税、贈収賄、不正及び国際的制裁に対する違反が含まれる。ハンデルスバンケンにはグループ規模で金融犯罪防止の専任部署があり、同部署のトップは、当行の特命役員が務めている。当行のリスク許容度の低さに加え、マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与に関する外部規制機関が、当行の金融犯罪を防ぐ取り組みの重要な第一歩となっている。

図AR:43 25,000スウェーデン・クローネを超える損失の内訳（件数）、2016年 - 2020年



図AR:44 25,000スウェーデン・クローネを超える損失の内訳（金額）、2016年 - 2020年



変更管理

変更管理は新規又は大幅に変更された商品、サービス、市場、プロセス、ITシステム、若しくは当行グループの業務又は組織体制の重要な変更が行われる際に用いられる。各プロセスの活動と主体は当行のインストラクションに定められ、変更管理の承認プロセスには、統制機能がいつ、どのように関与すべきかが記載されている。承認プロセスには、リスク分析が実施される要件も含まれ、これらは、例えば金融犯罪、サステナビリティ、情報セキュリティ、データ品質などの領域を考慮したものとなっている。また、変更管理に関する意思決定は文書化されなければならない。

重要なプロセス

重要なプロセスとは、当行の重要な業務に対する支援を提供する上できわめて重要なプロセスを言う。当行の重要プロセスは目的適合性について年次で、また重要な変更について見直され、リスク評価の対象とされるほか、必要に応じて改定される。重要なプロセスの特定は、当行の事業継続計画の対象範囲、すなわち、混乱や業務停止といった事象が起きた場合に業務のどの部分を優先させるかを決定する際に欠かせないものである。

事業継続計画及び危機管理

当行の事業継続計画及び危機管理の目的は、危機的な状況が発生した場合、事業継続のために当行が万全な準備をしておくようにすることである。これは、事業の深刻な混乱の影響を低減するため、混乱の期間においても、許容できる水準で事業を継続できるような予備手段を講じておかなければならないことを意味している。最高経営責任者による事業継続及び危機管理の指針並びに追加的な指示では、どの業務とITシステムが重要で事業継続を必要とするかを確認する上で、毎年結果分析を行わなければならないと規定している。

事業継続計画は、混乱時及び通常業務への回復期における事業維持に関する計画を含む。重要なプロセスに関しては、事業継続計画の中に認められる最長の事業停止期間を含める必要がある。当行グループには本部危機管理チーム (Central Crisis Team) が存在し、さらに、最高経営責任者は、特定のユニットが指定された危機管理機能を担う必要があると規定している。危機管理機能における手続は、特別な危機マニュアルに従って実施しなければならない。

事業継続計画及び危機マニュアルについては最低でも毎年見直しを行わなければならない。事業継続計画は最低でも毎年テストを実施し、危機管理機能を持つことを求められる各ユニットは、危機管理訓練を実施しなければならない。この手続は毎年評価が行われ、本部の取締役会に報告される。当行の事業継続管理戦略も本部の取締役会に報告される。

ハンデルスバンケンは金融セクターの混乱と業務停止への対応力の強化を目的とした、FSPOS (Finansiella Sektorns Privat-Offentliga Samverkan : スウェーデンの金融セクターの官民連携によるパートナーシップ組織) が企画する訓練にも任意参加している。当行は、万全な準備状況における金融セクターの事業継続能力を評価することを目的としてFSPOSが企画した2020年の訓練にも参加した。

サプライヤー契約

当行は、当行グループ内での業務委託契約を含む、サプライヤー契約を管理するための指定されたプロセスを有している。出発点として、当行はサプライ - 契約やその管理を決定する前の評価において、当行の低いリスク許容度を考慮した、リスクベースの業務手法を適用している。最高経営責任者は、重要性の高い業務を外部委託契約する際の条件及び要件を定めた業務委託契約のガイドラインを公表している。本ガイドラインはハンデルスバンケン・グループ全体及び当行グループの子会社にも適用される。

風評リスク、コンダクトリスク及び研修

風評リスクとは当行の信頼低下によってもたらされる損失リスクを指す。風評リスクは倫理基準の欠陥、不適切な行動、情報の不足や新商品や改訂商品の設計ミス等が原因で発生する。ハンデルスバンケンは積極的なビジネス・インテリジェンスを通じ、必要に応じて関連する是正措置を実施し、高い倫理基準で業務を遂行することにより、業務の中の風評リスクを管理し、これを最小限に抑えている。2020年には当行グループの全従業員に対し、金融犯罪、一般データ保護規則（GDPR）、ハンデルスバンケンにおけるサステナビリティ、市場濫用行為、セキュリティ研修 - サイバー・セキュリティ及びセキュリティ研修 - フィジカル・セキュリティの6つの研修が義務付けられている。

ハンデルスバンケンのリスク許容度の低さは従業員給付の面にも反映されている。当行では固定報酬が健全な業務に寄与していると考えており、それを基本原則としている。

サステナビリティ・リスク

サステナビリティ・リスクは、当行が貸手、資産運用者、サービス・プロバイダー、購入者、雇用者等、当行が担うさまざまな役割において起こり得る。サステナビリティ・リスクの範囲は人権、労働条件、環境、気候、金融犯罪や情報セキュリティ、ITセキュリティにも及ぶ。

財務面や法的な面の双方のみならず、当行の評判の面からもサステナビリティ・リスクを識別し、管理し、防ぐことは重要である。

ハンデルスバンケンが行っているサステナビリティ・リスクの管理活動は、当行の分散化されたモデルに基づいているほか、当行の全般的なリスク許容度の低さに沿ったものとなっている。当行の事業活動には、サステナビリティ・リスクを識別し管理する役割が含まれる。この事業活動は、リスク管理に関して確立されたプロセスの枠組みで行われる。

気候変動リスクの報告と監視に関連する作業の多くは、気候変動に関する情報を報告するグローバルスタンダードである「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言に基づいている。ハンデルスバンケンはTCFDの提言を支持している。2018年以降、ハンデルスバンケン・アセット・マネジメント及びハンデルスバンケン・リブは、将来予測的な気候変動の分析を含む、これらの提言に沿った気候変動に関する報告書を発行した。

信用分野においては、当行の気候関連リスクに対するエクスポージャーを識別し、管理し、測定し、報告する能力の向上に向けたプロセスと手続を確立することに作業の焦点が置かれている。本作業は過年度に行われたマッピング及び能力増強策の継続である。本作業は部門横断的であり、当行グループのリスク・コントロール部、グループ・クレジット部、グループ・ファイナンス部及びグループ・サステナビリティ部が関与している。本作業は気候変動に関する外部専門家の支援を受け、当行の不動産向けエクスポージャーに焦点を当てたものとなっている。

コンプライアンス・リスク

コンプライアンス・リスクは、法規制の不適切な遵守に関連するリスクをいう。

ハンデルスバンケン・グループは、適切な管理体制、倫理基準並びに法規制への遵守に関して高い目標を掲げている。そのコンプライアンス方針において、ハンデルスバンケンの取締役会は「当行のコンプライアンス・リスクに対するリスク許容度は低く、当行は可能な限りそうしたリスクの防止に努める必要がある。」と定めている。

コンプライアンスとは規制、法令、指令及び公的機関からの提言、内部規則並びに許認可対象となるすべての業務に関する、一般に認められている事業慣行もしくは基準の遵守をいう。コンプライアンスの遵守が不適切である場合、オペレーショナル・リスク、制裁や他の介入、財務上の損失、当行グループの事業活動に対する信頼の低下などの怖れが増大する可能性がある。コンプライアンス業務では助言と支援を通じて当行をコンプライアンス・リスクから守り、コンプライアンス・リスクを特定し、それらのリスクを軽減するために必要な措置を講じることを目指している。

金融機関のガバナンス、リスク管理及びコントロールに関するスウェーデン金融監督庁の規定及び一般指針（FFFS 2014年第1号）、内部ガバナンスに関する欧州銀行監督機構のガイドライン並びにMiFID（金融商品市場指令）のコンプライアンス機能要件の特定の側面に関する欧州証券市場監督局のガイドラインでは、規制当局がどのようにコンプライアンス機能を設定すべきと考えているか、及び金融機関がコンプライアンス問題にどのように取り組むべきかについて概要を策定している。バーゼル委員会の「コンプライアンス及び銀行のコンプライアンス機能」の枠組みもまた、銀行のコンプライアンス部門をどのように構築すべきかについてのガイドラインを定めている。ハンデルスバンケンは、その方針、指針及びインストラクションを通じてこの取り組みを実施している。

組織体制

コンプライアンスの機能は、グループ・コンプライアンス部と子会社及びその他事業体の現地のコンプライアンス・ユニットの双方により組織されている。すべてのコンプライアンス・ユニットは業務から独立しており、組織上、統制の対象となる部署及び領域から分離している。コンプライアンス・ユニットの従業員は、監視責任のある業務の一部である職務は一切行っていない。

責任

コンプライアンスが内部統制活動に定着されるようにするための取り組みと併せ、コンプライアンスの責任は当行グループのすべての管理者及び従業員にある。コンプライアンス部の責任は、高水準のコンプライアンスを確実にするための活動を進めるとともに、ハンデルスバンケンのコンプライアンス・リスクに対する低い許容度が確実に遵守されることにある。コンプライアンス部の任務は、規制遵守に関連するリスク及び不備の特定、監視及び調査、コンプライアンス関連事項における当行スタッフ、経営陣及びユニットへの提言、助言及び支援の提供、並びにコンプライアンスの課題に関する経営陣及び取締役会への報告である。チーフ・コンプライアンス・オフィサーは、コンプライアンス部及び当行グループにおけるコンプライアンスの報告において最終的な責任を負う。

リスク・ベースのコンプライアンス業務

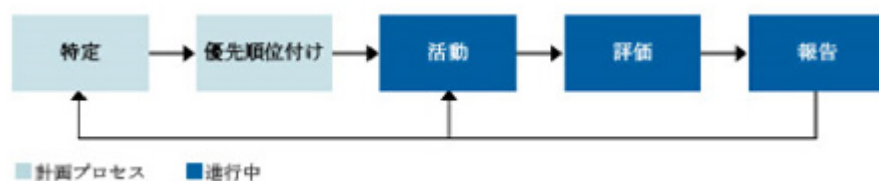
コンプライアンス業務の基礎は、当行グループの最重要リスク領域をリスク・ベースで優先順位付けすることである。支援や助言、研修や管理等あらゆるコンプライアンス業務は、これらのリスク領域から始まる。リスクが特定された場合には、それらは「小」、「中」、「大」及び「重大」という4段階レベルの評価尺度を用

いて評価され報告される。2020年に、チーフ・コンプライアンス・オフィサーは、リスクが「大」または「重大」と判断された重要なリスク領域について、少なくとも四半期ごとに最高経営責任者に、6ヶ月ごとに取締役会のリスク委員会に、1年ごとに取締役会に報告した。また、リスク・フォーラムに対してもこの報告が行われた。この報告には特定されたリスクを管理するための業務が行われているかについての活動の評価が含まれている。

コンプライアンス・リスク

2020年、いくつかのコンプライアンス・リスクがグループ・レベルで「大」又は「重大」を示しリスクが高いことが報告され、それらのリスクを許容可能な水準まで軽減するための措置が講じられた。2019年同様、当行グループ・レベルの重大なコンプライアンス・リスクは、主にマネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与対策の規則に係るものであった。従前に開始された対策は本年度も継続し、確実な進歩がみられた。しかし、この領域におけるリスク及びコンプライアンスの適切な管理を確保するためには継続的な取組みが依然として必要である。効果的で長期的な対策を確保する取組みの継続と同時に、必要に応じ、暫定的な対策も講じられた。当年度中に焦点が置かれたもう一つの重要な領域は、一般データ保護規則及び第三者からの報酬に関する遵守強化である。

図AR:45 コンプライアンス・プロセス



報酬制度におけるリスク

報酬リスクは、報酬制度によって生じる損失又はその他の損害のリスクである。

報酬制度

ハンデルスバンケンでは、従業員が新たな職階に就いた際、報酬は個別に現地水準で設定される。報酬はハンデルスバンケンに対する拘束力を持つ労働協約のほか、類似した現地の標準的な契約や協定を考慮に入れ、当行の給与決定モデル及び給与の決定要素に基づいて決定される。給与の決定要素とは業務内容及び難易度、能力及びスキル、実績及び成果、指導力、市場の需給関係、並びに当行の企業カルチャーの代表者としての役割である。

これらの原則は何年もの間、適用されている。ここでは、あらゆる階層のマネージャーが定期的に給与プロセスに参加し、当行の給与方針に対する責任を持ち、各自の部門のスタッフ費用の増加に責任を持つことを意味している。

ハンデルスバンケンが適切に設計された報酬制度を確実に維持するため、報酬制度のリスクは、他の種類のリスクと同様の責任分担によるリスク管理を行う、個別のリスク区分として管理されている。ハンデルスバンクンの報酬リスクについての許容度は低く、報酬リスクを低水準に抑えるために積極的に活動している。実績型変動報酬は細心の注意を払った上で利用されなければならない、当行のリスク・プロファイルに重大な影響を及ぼす業務を担当する従業員には支給しない。

2020年において、55(48)百万スウェーデン・クローネの業績連動型変動報酬が稼得された。

組織体制及び責任

当行の報酬制度の原則は、取締役会で決定される報酬方針に規定されている。より詳細にわたる指針及び導入指令は、最高経営責任者が決定している。グループ・コンプライアンス部はこの領域に適用される規則を確実に遵守するため、これらの方針文書をレビューしている。報酬リスクの特定及び管理責任は、その業務の責任者である各マネージャーにある。グループ・リスク・コントロール部はリスクの観点から、報酬制度及びその適用状況が毎年評価されていることを確認している。また、この評価は、当報酬制度が当行のリスク、資本及び流動性の状況に与える影響の分析も含まなければならないとしている。

報酬制度におけるリスク

ハンデルスバンケンの報酬方針及び報酬制度におけるリスクは低く、当行の低いリスク許容度に沿ったもので、当行の長期的な利益を支えるものとみなされている。当該報酬制度による、当行の金融リスク、資本及び流動性の状況への影響は少ない。ハンデルスバンケン・グループの従業員に対する業績連動型変動報酬として引き当てられる合計額は、所与の年度の当行の普通株式等Tier1資本の0.4%を超えてはならない。変動報酬の計算データは、現在及び将来のリスク評価に基づいてリスク調整されたものである。業績連動型変動報酬の支払延期や割り当てられた繰延変動報酬の全額又は一部の減額に関する規則が存在する。

当行の報酬制度に関する詳細情報及び統計に関しては、コーポレート・ガバナンス・レポート及び年次報告書の注記G8を参照のこと。

表AR:46 業績連動型変動報酬

業績連動型変動報酬	2020年	2019年
業績連動型変動報酬稼得額 ¹ 、百万スウェーデン・クローネ	55	48
給与及び報酬、百万スウェーデン・クローネ	9,378	9,291
業績連動型変動報酬を稼得し得る人数 ²	163	164
平均従業員数	12,563	12,548
給与及び報酬合計に占める業績連動型変動報酬稼得額の割合、%	0.6	0.5
普通株式等Tier1資本に占める業績連動型変動報酬引当金の割合、%	0.04	0.04
平均従業員数に占める業績連動型変動報酬を稼得できる人数の割合、%	1.3	1.3

1) これらの金額は社会保障費を除いたものである。これらの金額は年次報告書の公表後に決定される。

2) 業績連動型変動報酬を割り当てられる人数は年次報告書の公表後に決定される。2019年に変動報酬を稼得し得る164人のうち、127人が割当を受けた。

保険事業におけるリスク

保険事業におけるリスクは、主として、市場リスク及び保険リスクより構成されている。

事業活動及び保険事業におけるリスク

ハンデルスバンケン・リヴは、従来型保険契約、ユニットリンク保険契約、ポートフォリオ・ボンド保険契約及びリスク保険事業等の生命保険事業を行っている。従来型保険の新規販売は行っていない。リスク・プロファイルはソルベンシー2で規定されている標準フォーミュラを用いて測定される。リスク・プロファイルは、市場リスクと保険リスクの影響を大きく受ける。

市場リスク

市場リスクとは、金利や不動産価格、株価、為替の変動といった、金融市場のリスク要因の変動が企業の運用資産やコミットメントの価値の変動をもたらす複合的なリスクである。市場リスクは保証商品に関連した従来型保険契約において発生するほか、保険契約者自身がリスクを負っているものの、企業の利益が商品に含まれている運用資産に左右される、貯蓄型商品、ユニットリンク保険契約及びポートフォリオ・ボンド保険契約からも間接的に発生する。

技術的準備金はリスク・フリー金利を用いて割り引かれるため、金利リスクは保険負債からも発生する。

ハンデルスバンケン・リヴのリスク許容度は低い。ハンデルスバンケン・リヴの投資ガイドライン及びリスク方針を通して、ハンデルスバンケン・リヴの取締役会は、保険契約者に対する事業及び法定要件、投資に関するガバナンスやコントロールの実施方法、会社の総資産と事業を合わせたリスク水準の管理方法を考慮して、

全体的な資産運用方法について指示する。リスクの特定、測定、分析及び報告が可能な資産及び商品に対してのみ、資産が慎重に投資される。

流動性リスク

流動性リスクとは、許容できない費用又は損失なくして企業が期日の到来した支払債務を履行できないリスクである。流動性リスクは将来の支払に関する日々の監視や、会社の運用資産の大部分を流動性の高い上場証券で運用することにより管理されている。

保険リスク

保険リスクは主に生命保険及び障害保険に関するリスクで構成されており、以下の区分に分類される。

リスク区分

死亡リスク

死亡リスクとは、死亡の水準や推移、ボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。死亡率が上昇することにより、保険契約債務が増加する。

長寿リスク

長寿リスクとは、死亡の水準や推移、ボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約の価値の低下リスクである。死亡率が低下することにより、保険契約債務が増加する。

障害リスク及び疾病リスク

障害リスク及び疾病リスクとは、罹患及び回復の水準や推移、ボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

解約・失効リスク

解約・失効リスクとは、解約、終了、更新及び解約払戻の水準やボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

営業費用リスク

営業費用リスクとは、保険契約の営業費用に関する水準や推移、ボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

訂料リスク

訂料リスクとは、規制要件、法環境、被保険者の健康状態の変化による定期払込保険料の改定率の水準や推移の変化によって発生する、損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

大災害リスク

大災害リスクとは、重大な又は例外的な事象に関連した保険料設定の重大な不確実性及や仮定の引当金設定によって発生する、損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

また、ハンデルスバンケン・リヴ・グループは事故保険に関連したリスクにもさらされている。

一方で、上記のリスクは他のリスクよりは重要であるとみなされていない。ハンデルスバンケン・リヴの保険契約の大部分は、小規模企業及び個人顧客によって締結されている。ほとんどの契約がスウェーデンで締結されているという点を除いて、保険リスクに関しては、リスクの集中は発生していない。

保険事業では、保険市場及び保険リスク並びにオペレーショナル・リスクについて、保険会社の取締役会及び最高経営責任者、当行のグループ・リスク・コントロール部、並びに当行の最高財務責任者及び最高経営責任者に対するアドバイザーとして活動する当行のリスク委員会に報告される。

ハンデルスバンケン・リヴのコーポレート・ガバナンス体制及びリスク管理に関する詳細な情報は、ハンデルスバンケン・リヴが公表する「Gemensam rapport om solvens och finansiell ställning」（スウェーデン語のみ）に記載されており、この文書はhandelsbanken.comにて入手可能である。

経済資本

ハンデルスバンケンの経済資本算定モデルは、当行グループ全体のリスクに対する1つの尺度を提供しているほか、当該モデルは、高い可能性で予想外の損失又は価値の下落をカバーできる資本を示している。

グループ・リスク・コントロール部は、当行グループの様々なリスクについて総合的に監視する責任を有している。当行の経済資本（以下、「EC」という。）モデルは、当該監視における手段である。このモデルは、四半期ごとに取締役会に報告される当行の所要自己資本評価の一部でもある。この評価の目的は、当行グループが、当行グループのすべてのリスクに関連して、十分な資本を常に保有しておくことを確実にすることである。当行グループの見解では、経済資本は、保険事業におけるリスク及び当行の年金債務におけるリスクも含んでいる。

経済資本は、1年間の対象期間にわたって、容認可能なリスク水準及び望ましい格付を反映した信頼水準で計算される。取締役会は、経済資本の算定を当行にとって極端に不利な事象を取り込み、99.97%の信頼水準で行われなければならないと決定している。ECは平均的な年（収益があり当行の資産価値が増加する年）における結果と99.97%の信頼水準での結果との差額である。

異なるリスク区分間への分散効果は、ECを算定する際に考慮されている。リスクの一部が相互に独立しているため、リスク全体に対する所要自己資本は、個別リスクに対する経済資本の合計を下回る。

負の結果を吸収できるバッファを形成している資本及びその他の財源は、利用可能な財源（以下、「AFR」という。）と呼ばれる。AFRは、オンバランスシート及びオフバランスシートのその他の財務的価値の他に、1年間の対象期間にわたって損失をカバーするために利用可能なハンデルスバンケンの資本である。

当行グループは、株主の観点からのリスク管理及び資本管理を採用している。経済資本モデルは当行グループの全体的な見解を示すものであり、これにより株主から見たリスク及び資本の状態を最適化することができる。計算結果は新規取引又は構造上の変更が検討される場合に重要な役割を果たしている。

信用リスクは、当行グループのすべての取引相手及びエクスポージャーに対する債務不履行のシミュレーション結果を用いて算定される。

市場リスクは、トレーディング勘定に分類されている資産のリスク、非トレーディング勘定における金利リスク、保険事業における市場リスク及び非トレーディング勘定の所有株式におけるリスクより構成されている。

年金債務におけるリスクは、主として、当行の年金債務を引き受けるために存在する資産価値の減少リスク、及びこれらの年金債務の価値が金利の影響を受けるという事実により構成されている。年金債務のほとんどはスウェーデンにおけるものであり、年金基金及び職業年金基金により保険がかけられている。

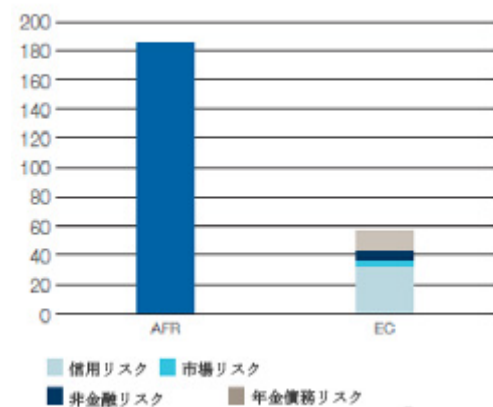
非金融リスクは、オペレーショナル・リスク、事業リスク、不動産リスク及び保険リスクである。事業リスクは、各事業分野における財務成績の予想外の変動に関連している。例えば、事業リスクは、需要又は競争環境が予想外に変化し、結果として取引高の低下及び利鞘の縮小につながってしまったために生じる可能性がある。不動産リスクは、当行が所有している不動産価値の下落のリスクである。

当年度末において、ECは57.2(57.2)十億スウェーデン・クローネであり、このうち信用リスクが全リスクの重要な部分を占めていた。取締役会は、AFR/EC比率は120%以上とすると規定している。当年度末における比率は、324(314)%であり、当行がリスク全般に関して十分な資本を準備していることを示している。スウェーデン金融監督庁は、当行の資本評価全般について、同じ結論に至っている。

報告されたリスク及び資本状態は、リスクの算定に景気変動に対する保守主義的な余裕率が含まれているとはいえ、あくまでも断片的なものである。当行グループの自己資本比率の最終評価を実施するに当たっては、当行の資本計画の一環として実行されたストレス及びシナリオ分析も考慮されなければならない。

図6.1(第三の柱)2020年におけるAFR及びECの総額と内訳

十億スウェーデン・クローネ



資本計画

ハンデルスバンケンの資本計画は、当行グループの適切な額の財源を常に利用可能な状態にすることを目的としている。

所要自己資本は、当行グループのリスク、予想される進展、規制、目標比率、ハンデルスバンケンの経済資本（以下、「EC」という。）モデル及びストレス・テストの関数である。当行の所要自己資本は週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に報告され、少なくとも四半期ごとに取締役会に報告される。

当行には、積極的な資本計画の一環として、当行が資本状況を改善する必要がある場合に講じることができる具体的な対策を盛り込んだ危機管理計画及び行動計画がある。危機管理計画及び行動計画の目的は、早い段階で潜在的な脅威を特定し、当行グループが必要に応じて迅速に行動する準備をするための警告システムを確保することにある。

長期資本計画は、少なくとも毎年策定され、当行グループの現在の資本状況、予想される資本効率及び様々なシナリオにおける結果についての包括的な概要を提示することを目的に策定されている。これらのシナリオは、予想される事象とは大きく異なるように作成されているため、当行グループの厳格なリスク許容度と調和している。資本計画にはまた、規制上の見解及び株主の見解の双方を考慮し、極端に不利な事業環境において十分な資本水準を維持する方法についての提案も含まれている。

資本計画は、短期及び中長期的な予測に分けられている。資本計画の一部は最大2年後までの短期予測より構成されており、主に現状の業績と所要自己資本の分析に重点を置いている。当該予測は、自己資本の規模及び構成を継続的に調整可能にするために必要である。

資本計画は、取引高、リスク及び業績の変動についての継続的な分析を通じて、また所要自己資本及び資本金額に影響を及ぼす可能性のある事象を監視することによって実行される。短期予測の対象には、当行グループの自己資本を構成するすべてのサブ・コンポーネントが含まれており、また、資本要件には、規制上の最低資本要件及びバッファに加え、第二の柱の要件、レバレッジ比率の要件及び自己資本・適格債務に関する最低要件（MREL）が含まれている。当該予測作業にはまた、短期的な視点から自己資本比率及び自己資本において予想される変動についての様々な感応度分析を行うことも含まれている。したがって、当行は、例えば市場操作を通じて、必要に応じて自己資本の規模及び構成を変更する準備を整えることができる。

短期分析の結果は、実施される資本運営の基礎を形成しており、週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に報告され、必要に応じて取締役会に報告される。当該分析は、既存の収益能力が取引高の様々な変動にいかに対処できるか、及び資本運営から生じる可能性のある影響についての近い将来における判断のポイントを伴った慎重な基本シナリオに基づくものである。

中長期的な予測より構成される資本計画の部分では、法定自己資本比率要件に確実に準拠することを目的としており、当行グループの利用可能な財源（AFR）が、ECモデルに従って計算されたすべてのリスクに関する適切な余裕率を常にカバーすることを目的としている。

また、長期的な予測にはその期間にわたる当行の全体的な資本の推移、最低資本要件、連結資本バッファ要件、第二の柱の要件、レバレッジ比率の要件及びMRELの要件の評価が含まれる。その目的は業績を予測することであり、様々なシナリオにおける当行の耐性が十分な水準にあるか否か判断することである。計画期間は最低5年間で、当行グループの事業の業績傾向全般を考慮に入れている。

基本シナリオは、長期的な資本予測の基礎を形成している。当該シナリオは利益、取引高の増加、信用損失等財政上の仮定並びに株式市場、不動産市場及び債券市場に関する今後5年間の予想される業績より取得されている。基本シナリオは、その後、いくつかの景気循環及び危機シナリオにおける結果と比較される。ストレス・シナリオは、異なるマクロ経済変数が金融市場に与えた影響の関連性を過去に遡って分析することにより策定され、ハンデルスバンケンに最も不利な影響をもたらすと予想されるシナリオを用いて選定される。

2020年度末現在の普通株式等Tier1比率は20.3(18.5)%であった。同日現在のAFR/EC比率は、324(314)%であった。したがって、AFRは、内部所要自己資本（EC）評価額を上回る程の非常に十分な余裕をもって計上されている。

さらに、当行の強さは、ハンデルスバンケンの長期的な資本状況が財政上及び規制上の観点から非常に安定していることを示している、将来予測的な様々なストレス・シナリオの結果からも明らかである。

また資本計画では、規制動向の進展をモニタリングするとともに、新規要件による影響及び所要額を評価している。

規制資本に関する当行グループの目標

取締役会は、継続的に当行の資本構成に関する目標を設定している。規制資本の状況に関する所要自己資本評価の基礎は、当行の状況（長期及び短期の両方を含む）に関するストレス及びシナリオ分析である。使用するシナリオは、主に当行の内部的なリスク許容度並びに規制及びその他の公的機関による規定に由来する直接的な要件に基づいている。所要自己資本に関する内部評価に加えて、スウェーデン金融監督庁は、銀行による内部の算定数値にかかわらず、スウェーデンの銀行の目標数値が当局の計算した所要自己資本合計を下回ってはならないことを通知した。2021年に新法が施行され、スウェーデン金融監督庁による適用開始を受けて、所要自己資本は主に最低要件から構成されている。当行は、規制資本に関する目標数値を設定する際には、このことを考慮している。

取締役会の決定では、現行の規制の枠組みに基づく当行のガバナンスに最も適した測定数値である普通株式等Tier 1比率は、通常の場合では、スウェーデン金融監督庁が当行に通知した普通株式等Tier1比率よりも1から3パーセンテージ・ポイント上回っていなければならない。その他の自己資本の階層（Tier 1自己資本比率及び総資本比率）は、それぞれの自己資本の階層について同監督庁が当行に通知した比率よりも少なくとも1パーセンテージ・ポイント上回っていなければならない。さらに、当行は公的機関が課す他の資本要件をすべて満たす必要がある。さらに、取締役会は、「配当水準により、自己資本比率がスウェーデン金融監督庁が通知する要件を1パーセンテージ・ポイント上回る水準よりも下回ってはならない」と決定している。

当行の評価では、同監督庁の規定する2020年第4四半期末現在における普通株式等Tier1資本比率は13.8%であった。

[次へ](#)

注記G3 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
利息収益		
金融機関及び中央銀行への貸出金	517	3,160
一般顧客への貸出金	41,754	44,445
中央銀行への担保として適格な利付証券	291	333
社債及びその他の利付証券	380	520
デリバティブ商品	1,172	4,084
その他利息収益	1,282	1,341
合計	45,396	53,883
金融取引による純損益として計上された利息収益	-112	-512
利息収益合計	45,508	54,395
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息	42,164	47,326
利息費用		
金融機関及び中央銀行からの預り金	-576	-871
一般顧客からの預金及び借入金	-1,332	-2,157
発行済証券	-11,786	-20,022
デリバティブ商品	2,690	4,440
劣後負債	-1,186	-1,282
政府手数料	-1,424	-2,165
その他利息費用	-204	-201
合計	-13,818	-22,258
金融取引による純損益として計上された利息費用	84	2
利息費用合計	-13,902	-22,260
うち、実効金利法による利息費用及びヘッジ会計デリバティブに係る利息費用	-11,609	-18,910
純利息収益	31,606	32,135

デリバティブ商品の行には、ヘッジ対象の資産及び負債に関連した純利息収益が含まれている。これは利息収益及び利息費用に正負双方の影響を及ぼす可能性がある。

注記G4 純手数料及びコミッション収益

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
仲介及びその他証券コミッション	656	625
ミューチュアル・ファンド	4,432	3,885
カストディ及びその他資産管理手数料	979	1,151

アドバイザーサービス	240	255
保険	779	757
決済	3,182	3,757
貸出金及び預金	1,353	1,401
保証	352	399
その他	648	532
手数料及びコミッション収益合計	12,621	12,762
証券	-258	-240
決済	-1,494	-1,733
その他	-83	-92
手数料及びコミッション費用合計	-1,835	-2,065
純手数料及びコミッション収益	10,786	10,697

セグメント別手数料
及びコミッション
収益、2020年

拠点市場

百万スウェーデン・ クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィン ランド	オランダ	キャピ タル・マー ケッツ	その他	調整及び 消去	合計
仲介及びその他証券 コミッション	231	8	18	54	19	13	314	12	-13	656
ミューチャル・ファ ンド	3,353	267	151	106	160	48	413	0	-66	4,432
カストディ及び その他の資産 管理手数料	498	36	69	161	31	60	125	-	-1	979
アドバイザリーサー ビス	0	38	1	13	-	-	189	-	-1	240
保険	837	-	36	25	62	-	-159	1	-23	779
決済	2,185	262	229	168	324	2	27	-12	-3	3,182
貸出金及び預金	737	143	79	69	253	19	50	4	-1	1,353
保証	126	19	43	65	24	1	74	-	0	352
その他	532	4	3	80	13	1	256	0	-241	648
手数料及びコミッ ション収益合計	8,499	777	629	741	886	144	1,289	5	-349	12,621

セグメント別手数料
及びコミッション
収益、2019年

拠点市場

百万スウェーデン・ クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィン ランド	オランダ	キャピ タル・マー ケッツ	その他	調整及び 消去	合計
仲介及びその他証券 コミッション	197	4	13	37	32	25	309	20	-12	625
ミューチャル・ファ ンド	3,041	-	146	109	156	58	464	-	-89	3,885
カストディ及び その他の資産 管理手数料	418	305	67	143	28	63	128	1	-2	1,151
アドバイザリーサー ビス	0	40	1	12	-	-	207	-5	-	255
保険	824	-	38	24	60	-	-166	1	-24	757
決済	2,555	299	282	213	357	3	60	-12	0	3,757
貸出金及び預金	700	166	88	65	296	19	56	13	-2	1,401
保証	126	24	52	63	28	1	104	0	1	399
その他	421	5	2	71	16	0	257	1	-241	532
手数料及びコミッ ション収益合計	8,282	843	689	737	973	169	1,419	19	-369	12,762

手数料及びコミッション収益は顧客との契約から生じる収益である。仲介及びその他証券コミッション、アドバイザリーサービス、支払、貸出金及び預金からの収益は通常、サービスの提供時となる特定の時点で認識される。決済にはクレジットカードの発行及び取得も含まれる。ミューチャル・ファンド、カストディ及びその他の資産管理手数料、保険並びに保証は通常、サービスの提供時となるサービス提供期間にわたり定額法で認識される。2020年第1四半期において、キャピタル・マーケッツの支店業務により受領した、であって、従前はセグメント報告の利益配分の項目において純額で認識されていたミューチャ

ル・ファンド及び保険に関するコミッションは、純手数料及びコミッション収益、並びに内部購入及び売却されたサービスの項目において総額で計上することが決定した。したがって、表中の比較数値は再計算されている。

注記G5 金融取引による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
償却原価で計上	182	209
うち、貸出金	309	323
うち、利付証券	0	0
うち、発行済証券	-127	-114
その他包括利益を通じて公正価値で計上	-1	-1
うち、予想信用損失	-1	-1
純損益を通じて公正価値で計上、公正価値オプション	304	646
うち、利付証券	304	646
純損益を通じて公正価値で計上（強制）（外貨換算影響額を含む）	1,021	553
ヘッジ会計	49	-58
うち、公正価値ヘッジに係る純損益	49	-49
うち、キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分	0	-9
保険契約の金融部分に係る損益	-118	-50
合計	1,437	1,299

「純損益を通じて公正価値で測定、公正価値オプション」として計上された金融資産の、当初認識時からの信用リスクの変動による価値変動累計額は257(23)百万スウェーデン・クローネであった。

注記G6 保険リスク

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
保険料収入	501	506
支払保険金	-365	-351
未払保険金の変動	9	-7
その他	50	-3
合計	195	145

注記G7 その他収益

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
賃料収入	37	39
その他営業収益	116	104
合計	153	143

注記G8 人件費

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
給与及び報酬	-9,378	-9,291
社会保障費	-2,167	-2,178
年金費用 ¹	-1,909	-1,939

利益分配制度に対する準備金	-213	829
その他人件費	-1,676	-970
合計	-15,343	-13,549

1) 年金費用の構成要素は、年金費用の表において示されている。

給与及び報酬

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
執行役員 ²	-129	-144
その他	-9,249	-9,147
合計	-9,378	-9,291

2) 親会社の執行役員及び取締役並びに子会社の最高経営責任者、副最高経営責任者及び取締役（平均で54名）。

男女別分布

%	2020年		2019年	
	男性	女性	男性	女性
執行役員（取締役を除く）	69	31	70	30
うち親会社	80	20	67	33
うち子会社	63	37	71	29
取締役	66	34	68	32
うち親会社	50	50	55	45
うち子会社	68	32	70	30

平均従業員数	2020年	男性	女性	2019年	男性	女性
スウェーデン	7,320	3,498	3,822	7,394	3,532	3,862
英国	2,574	1,445	1,129	2,442	1,371	1,071
ノルウェー	788	418	370	777	412	365
デンマーク	644	331	313	651	334	317
フィンランド	621	275	346	617	273	344
オランダ	352	229	123	336	225	111
米国	59	38	21	62	41	21
中国	58	23	35	80	30	50
ルクセンブルグ	45	24	21	46	26	20
シンガポール	23	7	16	30	11	19
ドイツ	34	17	17	38	19	19
ポーランド	24	9	15	33	11	22
その他諸国	21	6	15	42	14	28
合計	12,563	6,320	6,243	12,548	6,299	6,249

百万ユーロを超える報酬³

人数	2020年	2019年
----	--------------	--------------

1.0-1.5百万ユーロ	2	5
1.5-2.0百万ユーロ	1	-
2.0-2.5百万ユーロ	-	2
2.5百万ユーロ超	-	-
合計	3	7

3) 年金及びその他の給与手当を含む。

特定職員²に対する報酬¹、事業セグメント

	2020年		2019年	
	報酬	人数	報酬	人数
百万スウェーデン・クローネ				
スウェーデンにおける支店業務	545	436	510	437
英国における支店業務	425	274	459	290
ノルウェーにおける支店業務	104	58	131	62
デンマークにおける支店業務	108	66	114	73
フィンランドにおける支店業務	63	43	74	50
オランダにおける支店業務	74	48	78	49
キャピタル・マーケット	196	53	153	36
その他	327	142	400	166
合計	1,842	1,120	1,919	1,163

特定職員²に対する報酬¹

	2020年		2019年	
	経営幹部 ³	その他の 特定職員	経営幹部 ³	その他の 特定職員
固定報酬稼得額（百万スウェーデン・クローネ）	78	1,764	74	1,845
業績連動型変動報酬稼得額（百万スウェーデン・クローネ）	-	-	-	-
合計	78	1,764	74	1,845
固定報酬のみの人数	12	1,108	12	1,151
固定報酬及び業績連動型変動報酬の双方の受給が可能な人数	-	-	-	-
合計人数	12	1,108	12	1,151

新規雇用に関連する費用として認識される変動報酬保証額
（百万スウェーデン・クローネ）

- - - -

新規雇用に関連する費用として認識される契約上の
変動報酬保証額（百万スウェーデン・クローネ）

- - - -

1) 稼得された報酬は、年金及びその他給付を含め、全額費用として認識されている。業績連動型変動報酬は、当行の変動報酬に関する方針に従って、稼得が決まった後の事業年度に個人単位で割り当てられ、支払われ、又は繰延べられる。職務内容から特定職員と認定された中で、2020年と2019年のいずれの年度にも業績連動型変動報酬を稼得した従業員はいなかった。2020年度に、報酬水準から特定職員と識別された従業員1名に対し、業績連動型変動報酬1百万スウェーデン・クローネが支払われた。又、2020年度には、2017年度以前に稼得された、繰延業績連動型変動報酬2(6)百万スウェーデン・クローネが、職務内容に基づいて特定職員に支払われ、これらの特定職員に対する繰延報酬は全額が支払われた。報酬水準により識別された特定職員に支払われた繰延報酬額は、0.5(-)百万スウェーデン・クローネであった。繰延報酬の処分権は支払時に従業員に移転する。すべての業績連動型変動報酬は、現金又は金融商品で支払われ、当該金額から社会保障費は除かれている。当年度中に、特定職員12(15)名に対する解雇給付15(40)百万スウェーデン・クローネが支払われた。

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)

有価証券報告書

当年度の契約における解雇給付の総額は45(47)百万スウェーデン・クローネであり、個人に支払われた最高額は7.8(9.5)百万クローネであった。変動報酬保証額の支給はなかった。

- 2) 当行のリスク・プロファイルに大きな影響を及ぼす職務を担う従業員（委員会委任規則(EU)604/2014）。報酬方針が他のEU規則又はスウェーデン金融監督庁が発表した他の規則の対象となる、変動報酬を受ける特定職員又は他の特別指定従業員が子会社にいる可能性がある。
- 3) スウェーデン金融監督庁は、規則（FFFS 2011年第1号）において、上級経営陣という用語を用いている。ハンデルスバンケンにおける上級経営陣とは、当行の執行役員に相当する。

従業員給付

ハンデルスバンケン・グループのすべての従業員への報酬に関する方針についての詳細な情報は、コーポレート・ガバナンス・レポートの77ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2020年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）に記載されている。

スウェーデン金融監督庁指令FFFS 2011年第1号並びに欧州委員会委任規則575/2013及び604/2014に従い、銀行は、そのリスク・プロファイルに大きな影響を与える専門的な職務を行う従業員を特定する必要がある。ハンデルスバンケンはこのような職務を行う従業員1,120(1,163)名を特定し、「特定職員」に指定している。上述の規定の開示要件に準拠したハンデルスバンケン・グループのこれらの特定職員に対する報酬が、以下の表に記載されている。2020年に、ハンデルスバンケン・グループには、当行のリスク・プロファイルに大きな影響を及ぼす職務を負っている従業員で、業績連動型変動報酬を受給した従業員はいなかった。

2020年度には、ハンデルスバンケンがオクトゴーネン利益分配制度に213百万スウェーデン・クローネを引き当てた。2018年には、オクトゴーネン利益分配制度に859百万スウェーデン・クローネが引き当てられたが、2019年3月に当行の業績の全体的な評価に基づいて取締役会が戻入の決定を下した。この戻入は2019年第1四半期に計上された。

執行役員に対する報酬

ハンデルスバンケンの執行役員は、取締役、経営幹部、副最高経営責任者、グループ・リスク・コントロール長及びグループ・コンプライアンス長である。コーポレート・ガバナンス報告書80ページから83ページも参照のこと（訳注：ハンデルスバンケンの2020年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）。親会社の執行役員に対する報酬は、2020年年次株主総会で策定された報酬に関するガイドラインに従っている。77ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2020年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）も参照のこと。

ハンデルスバンケンの執行役員に対する報酬、年金債務、与信及び預り金は、これらのページに記載されている。また、子会社の最高経営責任者、副最高経営責任者及び取締役もこれに含まれる。

ハンデルスバンケン・グループの執行役員に対する報酬は固定給及び年金給付の形式のみで支給されるが、社用車等の慣習的な給付もある。取締役会の特別決議に基づき、当行は報酬の一部として住宅を提供することができる。変動報酬の支給は行われない。当行の従業員である執行役員は、すべての従業員と同じ条件で給与を年金に転換する権利も有している。

当行の従業員でもなく当行の子会社の従業員でもない取締役は、年次株主総会の決議に従った報酬のみを受け取る。

当行又は当行の子会社の従業員である取締役は、雇用の事由により報酬及び年金給付を受け取る。取締役を務めることによって追加的に報酬又は年金給付が支給されることはない。親会社の取締役に対する報酬については、コーポレート・ガバナンス報告書の80ページから83ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2020年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）に記載されている。

執行役員に関する以下の報酬情報において当行が記載した年金費用は、IAS第19号に準拠した確定給付年金に関する勤務費用、確定拠出年金に関して合意された保険料、及び給与から転換される年金保険料で構成される。当行を代表して他の会社の取締役を務めたことによる外部報酬は、当行に支払われている。

グループ最高経営責任者、副最高経営責任者、経営幹部及び統制部門長に対する報酬

(百万スウェーデン・クローネ)

報酬合計に占める
固定報酬の
割合

	固定報酬				変動報酬		年金		報酬合計		割合	
	基本給		手当		2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
	2020年	2019年	2020年	2019年								
グループ最高経営責任者												
カリナ・オーケストレーム ^{1,5}	12.5	9.1	0.4	0.2	-	-	4.4	3.2	17.3	12.5	100%	100%
アンダース・ボヴウィン ^{2,6}	-	3.4	-	0.2	-	-	-	1.2	-	4.8	-	100%
副最高経営責任者												
カリナ・オーケストレーム ²	-	1.4	-	0.1	-	-	-	0.9	-	2.4	-	100%
ペール・ベックマン ⁷	6.1	5.9	0.3	0.3	-	-	4.1	3.8	10.5	10.0	100%	100%
ダグ・イェルンスモ ^{7,11}	4.0	4.5	0.3	0.3	-	-	3.2	3.1	7.5	7.9	100%	100%
ニナ・アーキラーティ ^{3,8}	0.6	5.6	0.0	0.2	-	-	0.2	2.3	0.8	8.1	100%	100%
ラース・モエスガード ^{8,11}	4.3	4.4	0.3	0.3	-	-	1.7	1.6	6.3	6.3	100%	100%
ミカエル・ソーレンセン	9.4	9.6	1.7	2.6	-	-	-	-	11.1	12.2	100%	100%
Mikael Sørensen ^{4,9,11}												
カタリーナ・ユングヴィスト ¹⁰	-	1.4	-	0.1	-	-	-	0.7	-	2.2	-	100%
経営幹部及び統制部門の他のメンバー ¹²												
平均人数：												
グループCEO、副CEO、経営幹部及び統制部門	12	12										
12月現在の人数：												
グループCEO、副CEO、経営幹部及び統制部門	10	12										

年金費用とは、IAS第19号に準拠し、確定給付年金制度に基づいて積み立てた年金、又は確定拠出年金制度に備えて支払った保険料をいう。積み立てられた確定給付年金は権利確定され、当行の年金基金又は当行の年金基金で確保される。退職年齢より前に退職する場合には、積み立てられた確定給付年金に係る払込済保険及び/又は稼得済みの確定拠出年金を受け取る。

- 2019年度年次株主総会以降。
- 2019年度年次株主総会以前。
- 2020年1月29日に副最高経営責任者を退任。
- ハンデルスバンケン・ピーエルシーからの報酬。
- グループ最高経営責任者に就任以降は確定拠出年金は給与の35%であり、退職年齢は65歳である。従前に権利確定した確定給付年金は払込済保険契約として受け取る。
- 確定拠出年金は給与の35%であり、確定給付年金の支払が行われている。
- 確定給付年金は退職時給与の65%であり、年金拠出は給与の2%である。退職年齢は60歳であり、確定給付型の退職年金は在職期間中に段階的に稼得され、退職年齢に達した時点で全額が稼得される。
- 確定拠出年金は給与の35%であり、退職年齢は65歳である。
- 年金は発生しない。
- 2019年4月16日に副最高経営責任者を退任。
- 2020年12月15日に副最高経営責任者を退任。
- 当行の他の執行役員は、BTP年金制度に準拠した確定給付年金又は確定拠出年金を受給しており、その額は給与の35%を上限としている。退職年齢は65歳であり、退職年齢に達した時点で確定給付年金の全額が稼得される。基本給及び年金額は給与控除前の金額である。他の経営幹部及び統制部門長のうち、3名が0.9百万スウェーデン・クローネの給与を年金に転換した。

子会社における報酬

子会社の取締役のうち当行の従業員でも当行の子会社の従業員でもない者19(17)名に対する報酬は、6.6(5.4)百万スウェーデン・クローネであった。

2020年に、子会社の最高経営責任者及び副最高経営責任者である15(16)名は、年金転換後で 50.9(57.9)百万スウェーデン・クローネの固定給を受領した。その他給付は3.8(4.5)百万スウェーデン・クローネで、当行の年金費用は9.7(10.9)百万スウェーデン・クローネであった。年金転換前の年金費用は9.3(10.6)百万スウェーデン・クローネであり、給与の18.2(18.2)%に相当した。

子会社の最高経営責任者及び副最高経営責任者のうち、主要業務がハンデルスバンケンにおける他の役割である者には、報酬は支給されていない。

執行役員に対する年金債務

2020年12月31日現在、最高経営責任者であるカリナ・オーケストレーム氏が最高経営責任者に就任する以前に稼得し、払込済となった年金債務^{*}は101.4(94.2)百万スウェーデン・クローネであった。2020年12月31日現在、副最高経営責任者であるパー・ベックマン氏に対する年金債務は、122(113.9)百万スウェーデン・クローネであり、その他の親会社の業務執行取締役8(10)名に対する年金債務は、70.2(181.5)百万スウェーデン・クローネであった。

2020年12月31日現在、ハンデルスバンケン・グループの現在及び過去の執行役員に対する年金債務合計は、3,062(3,129)百万スウェーデン・クローネであった。そのうち2020年12月31日現在、親会社の現在及び過去の執行役員に対する年金債務合計は、2,882(2,936)百万スウェーデン・クローネであった。当行グループのこれらの債務の対象となる人数は85(84)名であり、そのうち68(63)名は年金受給者である。これに該当する親会社の人数は71(69)名であり、そのうち61(57)名は年金受給者である。

^{*} 年金債務とは、IAS第19号に従って、当行が将来の確定給付年金の支払いに備えて引き当てている金額である。その金額の規模は財務上及び人口統計上の仮定の変動に応じて毎年変わる可能性がある。

執行役員への与信及び執行役員からの預金

2020年12月31日現在、執行役員への与信額は、親会社で1.4(9.3)百万スウェーデン・クローネ、子会社で90.1(95.3)百万スウェーデン・クローネであった。親会社のこれらの人員からの預金額は、合計で433.1(702.3)百万スウェーデン・クローネであった。2020年のこれらの人員に対する与信に係る当行の利息収益は、親会社で合計0.1(0.3)百万スウェーデン・クローネ、子会社で合計1.2(1.2)百万スウェーデン・クローネであった。親会社のこれらの人員からの預金に係る利息費用は、1.6(2.1)百万スウェーデン・クローネであった。

2020年12月31日現在、ハンデルスバンケン・グループの子会社の執行役員に対する与信額は、123.2(100.1)百万スウェーデン・クローネであった。

ハンデルスバンケン・グループに雇用されている執行役員への与信及び執行役員からの預金の契約条件は、ハンデルスバンケン・グループの他の全従業員と同じ方針に従ったものである。すべての与信は、与信評価の対象となる。

年金

正味年金債務

百万スウェーデン・クローネ

年金債務

制度資産の公正価値

正味年金

2020年	2019年
37,761	35,724
39,766	36,378
2,005	654

上表の確定給付年金債務及び制度資産に加えて、1989年から2004年までの期間においては、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）の特例付加年金に対する引当金が計上された。この引当金には、市場価値が9,692(10,072)百万スウェーデン・クローネである制度資産が含まれている。この特例付加年金によって、当行はその制度資産と同額の債務を負担することになっている。

この債務のうち、7,276(7,631)百万スウェーデン・クローネは条件付債務である。

ドイツにおける業務終了に伴い、2020年11月30日までに積み立てられた全ての確定給付年金61百万スウェーデン・クローネは、BVG(Branchenversorgungswerk der Banken und Finanzdienstleistungsinstitute)に移管された。

年金費用

百万スウェーデン・クローネ

勤務費用

過去勤務費用

年金債務に係る利息

制度資産に係る利息

清算及び縮小による利益及び損失¹

社会保障負担額、確定給付年金制度

年金費用、確定給付年金制度

年金費用、確定拠出年金制度

社会保障費、確定拠出年金制度

年金費用合計

2020年	2019年
-982	-885
0	-
-614	-664
626	596
48	-
0	0
-922	-954
-796	-831
-191	-154
-1,909	-1,939

1) 2020年度にドイツの確定給付制度が移管されたことにより、2020年12月31日現在、年金費用に対し48百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。

確定給付年金債務

百万スウェーデン・クローネ

期首残高

勤務費用

過去勤務費用

年金債務に係る利息

給付金支払額

2020年	2019年
35,724	31,969
982	885
0	-
614	664
-1,006	-965

清算及び縮小による利益及び損失	-56	-
数理計算上の利益(-)/損失(+)	1,810	2,980
外貨換算影響額	-307	191
期末残高	37,761	35,724

制度資産

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
期首残高	36,378	28,743
過去勤務費用	-	-
制度資産に係る利息	626	596
雇用主の拠出による積立金	625	535
雇用主に対する報酬	-545	-498
清算及び縮小による利益及び損失	-8	-
従業員に直接支払われる積立金	-417	-424
数理計算上の利益(+)/損失(-)	3,376	7,248
外貨換算影響額	-269	178
期末残高	39,766	36,378

制度資産に係る収益

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
制度資産に係る利息	626	596
数理計算上の利益(+)/損失(-)	3,376	7,248
実際の収益	4,002	7,844

制度資産の配分

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
活発な市場における株式及びファンド株式 ²	32,484	32,968
活発な市場に上場していない株式	711	513
活発な市場に上場している利付証券	5,219	2,049
活発な市場に上場していない利付証券	-	-
その他制度資産	1,352	848
合計	39,766	36,378

2) ファンド株式は主に債券ファンドに投資され、金額は10,172(8,798)百万スウェーデン・クローネである。

制度資産には、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの株式が含まれており、貸借対照表日である2020年12月31日現在の市場価値は101(118)百万スウェーデン・クローネである。スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの発行した社債も含まれており、その市場価値は- (-)百万スウェーデン・クローネである。その他制度資産には、まだ支払われていない年金基金からの報酬債務が含まれている。

数理計算上の利益(-)/損失(+)、年金債務

百万スウェーデン・クローネ

人口統計上の仮定の変更

財務上の仮定の変更

実績に基づく調整

合計**2020年****2019年**

-100

312

1,735

2,256

175

412

1,810**2,980****将来キャッシュ・フロー**

百万スウェーデン・クローネ

給付金支払額

雇用主の拠出による積立金

2020年実績**2021年予測**

-1,006

-924

625

560

確定給付年金は、主としてスウェーデンの従業員に対して支払われる。正味年金債務の合計のうち、スウェーデンの制度は34,662(32,478)百万スウェーデン・クローネ、英国の制度（新規の積立を終了）は3,036(3,113)百万スウェーデン・クローネである。また、ノルウェーとドイツにも小規模の確定給付年金制度があるが、規模の面から重要性はないとみなされるため、詳細な開示は行っていない。

制度資産総額のうち、スウェーデンの制度資産は36,968(33,728)百万スウェーデン・クローネであり、2,799(2,642)百万スウェーデン・クローネが英国で廃止された年金制度によるものである。

スウェーデンでは、スウェーデン銀行雇用主協会（以下、「BA0」という。）とスウェーデン金融セクター組合/スウェーデン専門職連盟との年金契約に従って、65歳から退職年金が支給される。年金額は、所得基準額7.5までは年収の10%としている。所得基準額の7.5から20の給与部分については、退職年金は65%で、所得基準額の20から30の給与部分については、退職年金は32.5%である。所得基準額30を上回る給与については、退職年金は支給されない。2020年3月1日現在、全ての新入社員及び25歳未満の従業員は、確定拠出年金制度の対象となる。2020年3月1日より前に雇用された従業員は、引き続き確定給付年金制度の対象となる。

年金制度は、外部で積立てが行われている。すなわち、制度資産は年金基金、信託会社又は類似の法人が保有している。信託会社（又は同等の機関）の活動は、当行グループと制度資産を運用している信託会社（又は同等の機関）との間の関係に適用される国内法及び実務慣行、並びに制度資産の投資方法に関する枠組みによって規制されている。スウェーデンでは年金債務法及び共済組合法が主に適用される。英国では標準的な英国年金及び課税に関する法令が適用される。

重要な仮定**スウェーデン****英国****2020年****2019年****2020年****2019年**

割引率、%

1.50

1.70

1.30

2.00

予想昇給率、%

3.5

3.5

N/A

N/A

年金指標、%

2.0

2.0

3.0

3.0

所得基準額、%

3.0

3.0

N/A

N/A

インフレ率、%

2.0

2.0

3.1

3.2

離職率、%	4.0	3.5	N/A	N/A
退職時の年齢を基準にした平均余命（年）	23.1	23.1	24.0	24.1
平均デュレーション（マコーリー）（年）	18.7	18.8	20.0	20.0

確定給付年金債務への影響

感応度分析	仮定の変化	確定給付年金 債務の増加		確定給付年金 債務の減少	
		百万スウェーデン・クローネ		百万スウェーデン・クローネ	
		2020年	2019年	2020年	2019年
割引率、%	0.5	3,959	3,823	-3,454	-3,317
予想昇給率、%	1.0	1,477	1,613	-2,349	-2,441
年金指標、%	0.5	2,220	2,158	-2,052	-1,993
退職時の年齢を基準にした平均余命（年）	1.0	1,474	1,432	-1,456	-1,303

上表の感応度分析は、1つの仮定が変化し、それ以外の仮定がすべて一定であることを前提としている。実務上このような場合が起こる可能性は低く、一部の仮定の変化には相関関係がある可能性がある。確定給付年金債務の重要な数理計算上の仮定に対する感応度を計算する際には、貸借対照表に認識される年金負債を計算する際と同様の手法を適用している。その手法は、会計方針（注記G1のセクション19を参照）に記載されている。2019年度の年次報告書と比較して、感応度分析を作成する際に用いた手法は変更されていない。

当行は、確定給付年金制度において、いくつかのリスクにさらされている。そのうち、最も重要なリスクは以下のとおりである。

資産のボラティリティ：制度負債は、社債利回りを参照して設定される割引率を用いて計算されている。制度資産の運用実績がこの利回りを下回る場合には、制度に赤字が生じることになる。年金制度の重要な部分を株式が占めており、これらは長期的には社債利回りを上回る程の実績が見込めるものの、短期においてはボラティリティ及びリスクをもたらしている。制度負債は長期的な性質を有していることから、当行は、株式投資の比率を高くすることが当行の長期にわたる年金制度の効率的運用のために戦略上適切であると考えている。

社債利回りの変動：社債利回りが減少すると、その減少の一部は年金制度で保有する社債の価値の増加によって相殺されるものの、制度負債が増加することになる。

インフレ・リスク：年金債務はインフレ率と連動しており、インフレ率が上昇すると負債は増加することになる。制度資産の評価額はインフレ率による直接の重大な影響を受けることはない。すなわち、インフレ率が上昇すると、制度資産の赤字幅もおそらく拡大することになる。

平均余命：年金制度は、加入者の生涯にわたって給付を提供するためのものである。したがって、平均余命が延びると、年金債務は増加することになる。

資産負債マッチング（ALM）：制度資産の構成は、年金債務の構成及び予想される推移と整合している。

ALMの全般的な目標は、中長期にわたって、少なくとも年金債務の推移に対応できる程の運用収益を生み出すことである。制度資産の大部分は株式への投資であるが、固定利付商品や現金への投資も行われている。株式の割合を高くすることが、年金制度の効果的な運用のために適切であると考えている。

拠出額に関する取決め：最低拠出額に関する規定は制度によって異なるが、この規定が団体契約又は内部方針に基づく場合、現地の規定に従って測定される年金債務は原則として全額カバーされる。拠出額の水準は、定期的に監視されている。当行は、現行の拠出率は妥当であると考えている。

[次へ](#)

注記G9 その他費用

	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ		
不動産及び建物設備	-626	-656
外部IT費用	-2,199	-2,288
通信費	-314	-334
旅費及びマーケティング費用	-157	-299
購入したサービス	-1,924	-2,001
備品費	-172	-186
その他管理費用	-693	-760
合計	-6,085	-6,524

	アーンスト・アンド・ ヤング・エイ・ビー		プライスウォーターハウス クーパース・エイ・ビー	
	2020年	2019年	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ				
監査業務	-26	-28	-4	-4
当該監査業務以外の監査上の業務	-2	-2	-	-
税務アドバイス	0	-	-	-
その他サービス	0	-	-	-

当年度の内部監査費用は、166(165)百万スウェーデン・クローネであった。

注記G10 信用損失

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
貸借対照表項目に係る予想信用損失		
ステージ3に分類された貸出金に対する当年度の引当金	-829	-1,585
ステージ3に分類された貸出金に対する引当金の、 過年度に他のステージに分類された貸出金に対する引当金の戻入	581	386
ステージ3に分類された貸出金に対する予想信用損失合計	-248	-1,199
ステージ2に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	-430	129
ステージ1に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	-35	-48
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する 当年度の予想信用損失合計	-465	81
貸借対照表項目に係る予想信用損失合計	-713	-1,118
オフバランスシート項目に係る予想信用損失		
ステージ3に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	-20	-107
ステージ2に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	-95	-1
ステージ1に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	-24	9
オフバランスシート項目に係る予想信用損失合計	-139	-99
償却		
当年度の実際の信用損失 ¹	-1,834	-501
ステージ3に分類された貸出金に対する従前の引当金の取崩	1,757	421
償却合計	-77	-80
回収	148	252
正味信用損失	-781	-1,045
うち、一般顧客への貸出金	-638	-950

1) 当年度の実際の信用損失のうち、283 (159) 百万スウェーデン・クローネが強制執行の対象となる。

新型コロナウイルス感染症の信用リスクへの影響

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
1) ステージ3に分類された貸借対照表項目及びオフバランスシート項目に係る予想信用損失	-268	-1,306
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するモデルベースの引当金の変動額		
マクロ経済シナリオ及びリスク要因の更新	-5	
影響を受けた業種のエクスポージャー額のステージ1からステージ2への振替 ¹	-41	
ポートフォリオのデフォルトリスクの変動(格付の正味変動)	-153	
エクスポージャーの変動の影響(既存/新規/終了したエクスポージャー)	114	
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するその他の予想信用損失	65	
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するモデルベースの信用損失	-20	
新型コロナウイルス感染症に関するエキスパートベースの引当金 (ステージ1及びステージ2におけるストレス下の12ヶ月ECL)		
仮定に基づく、影響を受けた業種に係るストレス分の引当金	-663	
控除: 80%のストレス確率に基づく金額(英国については90%、宿泊業については100%)	99	
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するエキスパートベースの信用損失	-564	-
2) ステージ1及びステージ2に分類された貸借対照表項目及びオフバランスシート項目に係る予想信用損失	-584	89
3) 償却	-77	-80
4) 回収	148	252
正味信用損失(1+2+3+4)	-781	-1,045

* 信用リスクの著しい増大に関するエキスパートベースの評価

2020年の引当必要額は、将来のマクロ経済のリスク要因に関する数値が変更されたことにより増加している。また引当金必要額は格付がマイナスに遷移したため増加したが、これはエクスポージャーの減少によりある程度緩和されている。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、エキスパートベースによる当期の引当必要額も増加している。

マクロ経済シナリオは、現在の市場状況にあわせ年間を通じて定期的に更新されている。下降/基本(中立)/上昇のシナリオの修正後の確率加重である15%/70%/15%(25%/60%/15%)を考慮して更新されている。一部のマクロ経済リスク要因に関しては、期中の変更はなかった。

モデルでは考慮されていないと考えられる要因による、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが及ぼすと見込まれる影響を織り込むために、一部のサブ・ポートフォリオに対し、モデルベースの算定を調整するため、エキスパートベースの算定を集計して実施された。これらのサブ・ポートフォリオのストレス・シナリオと2020年12月31日現在のモデルベースの算定と比較した差がエキスパートベースの算定結果である。その後、当行はエキスパートベースの算定結果が発生する蓋然性を検討し、追加の引当必要額を564百万スウェーデン・クローネと見積もった。ストレスを受けたサブ・ポートフォリオは、すべての個人顧客(住宅ローンを除く)のほか、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより特に影響を受けたセクターの企業により構成されている。影響を受けたのは、主に建設業、小売業、宿泊飲食業である。特定のセクターの特定のカウンターパーティについては、モデルベースの算定においてそうした引当を行うために必要な事項がすでに考慮されているため、専門的評価に基づき、除外されている。企業と個人双方について、デフォルト確率(PD)は今後12カ月にわたりストレスを受ける。個人については、失業する確率の上昇が、算定された引当金の中で観測されている。

上記のストレスに加えて、特に新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響を受け、通常よりも信用リスクが高いセクターの企業について、エキスパートベースの評価が追加された。これらの企業は、そのセクターと格付だけで信用リスクが著しく増大したとみなされ、信用供与後のモデル化された信用リスクの変化の大きさに関係なく、ステージ2に分類されている。このエキスパートベースの評価の結果、ステージ1からステージ2への振替により、引当必要額は41百万スウェーデン・クローネ(-)増加した。

2020年において、新型コロナウイルス感染症への対応として行われたローン返済の一時的な免除だけでは、ステージ1からステージ2への振替につながる定量的な要因にならなかった。

ステージ3に分類された貸出金の減損テストプロセスは、新型コロナウイルス感染症のパンデミックを理由に変更されておらず、個別評価の手続は従来通りに行われている。

減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、2020年

	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3
百万スウェーデン・クローネ						
貸借対照表項目						
現金及び中央銀行預け金	397,642	-	-	0	-	-
中央銀行へのその他貸出金	21,326	-	-	-	-	-
中央銀行への担保として適格な 利付証券	1,181	-	-	0	-	-
その他金融機関への貸出金	21,911	17	-	-2	-6	-
一般顧客への貸出金	2,189,683	76,384	7,002	-385	-834	-2,238
社債及びその他の利付証券	7,964	-	-	-2	-	-
合計	2,639,707	76,401	7,002	-389	-840	-2,238
オフバランスシート項目						
偶発債務	391,266	10,743	433	-90	-157	-119
うち、保証コミットメント	77,829	1,910	156	-8	-16	-70
うち、債務	313,437	8,833	277	-82	-141	-49
合計	391,266	10,743	433	-90	-157	-119

減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、2019年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3
貸借対照表項目						
現金及び中央銀行預け金	327,958	-	-	0	-	-
中央銀行へのその他貸出金	19,547	-	-	0	-	-
中央銀行への担保として適格な 利付証券	1,427	-	-	0	-	-
その他金融機関への貸出金	17,750	193	-	-1	-3	-
一般顧客への貸出金	2,236,671	51,669	8,831	-360	-441	-3,767
社債及びその他の利付証券	4,953	-	-	-2	-	-
合計	2,608,306	51,862	8,831	-363	-444	-3,767
オフバランスシート項目						
偶発債務	400,479	7,985	712	-69	-66	-106
うち、保証コミットメント	92,097	2,593	496	-7	-13	-71
うち、債務	308,382	5,392	216	-62	-53	-35
合計	400,479	7,985	712	-69	-66	-106

1) 受け入れた担保により、引当金を計上しなかったステージ3貸出金の総額は2,097 (2,125) 百万スウェーデン・クローネであった。

一般顧客への貸出金に対する信用損失の主要数値	2020年	2019年
信用損失率、ACC、%	0.03	0.04
信用損失引当率合計、%	0.15	0.20
ステージ1に分類された貸出金に対する引当率、%	0.02	0.02
ステージ2に分類された貸出金に対する引当率、%	1.09	0.85
ステージ3に分類された貸出金に対する引当率、%	31.97	42.65
ステージ3に分類された貸出金の割合、%	0.21	0.22

変動分析

減損テスト対象の貸借対照表項目に対する予想信用損失引当金の変動

2020年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-363	-444	-3,767	-4,574
認識中止した資産	68	106	156	330
償却	0	2	1,755	1,757
信用リスクの変動による再測定	-235	-123	-71	-429
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	19	21	76	116
購入又は組成した資産	-81	-78	-20	-179
ステージ1への振替	-16	28	3	15
ステージ2への振替	109	-501	9	-383
ステージ3への振替	110	149	-379	-120
期末現在引当金	-389	-840	-2,238	-3,467

減損テスト対象の貸借対照表項目に対する予想信用損失引当金の変動

2019年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-316	-560	-2,937	-3,813
認識中止した資産	35	107	81	223
償却	1	1	419	421
信用リスクの変動による再測定	-197	-134	63	-268
推計手法の更新による変動	-4	-5	-	-9
外貨換算影響額等	-11	-9	-47	-67
購入又は組成した資産	-46	-17	-16	-79
ステージ1への振替	-26	52	1	27
ステージ2への振替	93	-225	20	-112
ステージ3への振替	108	346	-1,351	-897
期末現在引当金	-363	-444	-3,767	-4,574

一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

2020年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-360	-441	-3,767	-4,568
認識中止した資産	68	104	156	328
償却	0	2	1,755	1,757
信用リスクの変動による再測定	-235	-125	-71	-431
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	19	21	76	116
購入又は組成した資産	-80	-77	-20	-177
ステージ1への振替	-16	28	3	15
ステージ2への振替	109	-495	9	-377
ステージ3への振替	110	149	-379	-120
期末現在引当金	-385	-834	-2,238	-3,457

一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

2019年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-312	-552	-2,937	-3,801
認識中止した資産	33	101	81	215
償却	1	1	419	421
信用リスクの変動による再測定	-196	-134	63	-267
推計手法の更新による変動	-4	-5	-	-9
外貨換算影響額等	-11	-9	-47	-67
購入又は組成した資産	-46	-16	-16	-78
ステージ1への振替	-26	52	1	27
ステージ2への振替	93	-225	20	-112
ステージ3への振替	108	346	-1,351	-897
期末現在引当金	-360	-441	-3,767	-4,568

減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

2020年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-69	-66	-106	-241
認識中止した資産	22	17	-	39
償却	0	0	-	0
信用リスクの変動による再測定	-26	-23	-13	-62
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	2	3	-	5
購入又は組成した資産	-31	-25	-	-56
ステージ1への振替	-3	5	-	2
ステージ2への振替	12	-74	-	-62
ステージ3への振替	3	6	-	9
期末現在引当金	-90	-157	-119	-366

減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

2019年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-78	-64	-	-142
認識中止した資産	19	13	-	32
償却	0	0	-	0
信用リスクの変動による再測定	-10	1	-106	-115
推計手法の更新による変動	2	2	-	4
外貨換算影響額等	-1	-1	-	-2
購入又は組成した資産	-13	-9	-	-22
ステージ1への振替	-4	11	-	7
ステージ2への振替	11	-31	-	-20
ステージ3への振替	5	12	-	17
期末現在引当金	-69	-66	-106	-241

この変動分析は、当該期間の各説明項目について、ステージ別の引当金に与える正味影響額を示したものである。認識中止及び償却の影響は期首残高で算定される。推計手法の変更及び外貨換算影響額等による再評価の影響は、ステージ間の振替前に純額ベースで算定される。購入又は生成された資産及びステージ間で振替られた金額は、他の説明項目の影響考慮後に認識される。振替の各行は各ステージの引当金に与える影響を表す。

減損テスト対象の貸借対照表項目総額の変動

2020年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,608,306	51,862	8,831	2,668,999
認識中止した資産	-204,174	-8,898	-840	-213,912
償却	-14	-12	-1,808	-1,834
信用リスクの変動による再測定	161,261	-3,211	-803	157,247
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-100,082	-2,595	-271	-102,948
購入又は組成した資産	211,329	3,965	264	215,558
ステージ1への振替	31,460	-31,425	-35	-
ステージ2への振替	-67,551	67,945	-394	-
ステージ3への振替	-828	-1,230	2,058	-
期末現在の総額	2,639,707	76,401	7,002	2,723,110

減損テスト対象の貸借対照表項目総額の変動

2019年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,506,117	58,576	7,731	2,572,424
認識中止した資産	-191,016	-9,667	-585	-201,268
償却	-11	-8	-482	-501
信用リスクの変動による再測定	18,585	-1,486	-952	16,147
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	44,575	1,454	144	46,173
購入又は組成した資産	232,296	3,641	87	236,024
ステージ1への振替	44,887	-44,847	-40	-
ステージ2への振替	-46,439	46,646	-207	-
ステージ3への振替	-688	-2,447	3,135	-
期末現在の総額	2,608,306	51,862	8,831	2,668,999

一般顧客への貸出金総額の変動

2020年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,236,671	51,669	8,831	2,297,171
認識中止した資産	-164,212	-8,745	-831	-173,788
償却	-14	-12	-1,808	-1,834
信用リスクの変動による再測定	5,561	-1,523	-812	3,226
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-56,060	-2,595	-271	-58,926
購入又は組成した資産	202,994	3,962	264	207,220
ステージ1への振替	31,460	-31,425	-35	-
ステージ2への振替	-65,889	66,283	-394	-
ステージ3への振替	-828	-1,230	2,058	-
期末現在の総額	2,189,683	76,384	7,002	2,273,069

一般顧客への貸出金総額の変動

2019年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,126,983	58,179	7,731	2,192,893
認識中止した資産	-168,657	-9,427	-585	-178,669
償却	-11	-8	-482	-501
信用リスクの変動による再測定	36,579	-1,422	-944	34,213
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	28,652	1,454	144	30,250
購入又は組成した資産	215,317	3,581	87	218,985
ステージ1への振替	44,885	-44,845	-40	-
ステージ2への振替	-46,389	46,596	-207	-
ステージ3への振替	-688	-2,439	3,127	-
期末現在の総額	2,236,671	51,669	8,831	2,297,171

減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

2020年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	400,479	7,985	712	409,176
認識中止した資産	-36,733	-1,511	-56	-38,300
償却	-	-	0	0
信用リスクの変動による再測定	4,468	1,374	-324	5,518
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-8,487	-293	-5	-8,785
購入又は組成した資産	34,353	463	17	34,833
ステージ1への振替	7,409	-7,405	-4	-
ステージ2への振替	-10,197	10,202	-5	-
ステージ3への振替 ¹	-26	-72	98	-
期末現在の総額	391,266	10,743	433	402,442

減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

2019年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	420,024	7,619	411	428,054
認識中止した資産	-37,132	-1,513	-15	-38,660
償却	-	-	0	0
信用リスクの変動による再測定	-23,720	1,516	146	-22,058
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	5,405	210	14	5,629
購入又は組成した資産	35,114	1,094	3	36,211
ステージ1への振替	6,528	-6,523	-5	-
ステージ2への振替	-5,690	5,705	-15	-
ステージ3への振替 ¹	-50	-123	173	-
期末現在の総額	400,479	7,985	712	409,176

引当金の分析同様、総額の変動分析は当該ステージの総額に対する各説明項目の影響を示している。ステージ間の振替及び「購入又は組成した資産」の項目は、期末現在における各ステージの金額を表しており、他の項目は期首時点で用いられる各ステージへの影響を表している。

感応度分析

感応度分析、マクロ経済シナリオ

IFRS第9号に基づく予想信用損失の算定には、マクロ経済シナリオによる将来予測的な情報を用いる。予想信用損失は3つのシナリオにおける見積り予想の確率加重平均値である。基本（中立）シナリオの予想確率加重は70（60）%としており、一方で景気の上昇シナリオの予想確率加重は15（15）%、景気の下降シナリオの予想確率加重は15（25）としている。下表は、今後5年間の本国市場の中心的なマクロ経済リスク要因とシナリオ別に、年間予想の最大、最小及び平均値を表したものである。これらは、2020年12月31日

現在及び2019年12月31日現在それぞれのステージ1及びステージ2に分類される予想信用損失の算定根拠となっている。

マクロ経済リスク要因

	最小			平均			最大		
	下降 シナリオ	ベース シナリオ	上昇 シナリオ	下降 シナリオ	ベース シナリオ	上昇 シナリオ	下降 シナリオ	ベース シナリオ	上昇 シナリオ
2020年									
GDP成長率									
スウェーデン	-1.70	2.00	1.70	1.74	2.51	3.14	3.20	3.90	4.90
英国	-1.29	1.58	1.28	1.52	2.19	2.81	3.08	2.80	4.99
ノルウェー	-0.05	1.60	1.30	1.40	2.11	2.74	2.20	3.64	6.04
デンマーク	-1.65	1.48	1.18	1.16	1.89	2.52	2.16	2.75	4.63
フィンランド	-1.27	1.55	1.25	1.05	1.78	2.39	2.06	2.52	4.82
オランダ及び 他の欧州諸国	0.66	1.30	1.00	1.43	2.15	2.77	1.90	4.40	6.79
米国	0.05	2.00	1.70	1.88	2.56	3.19	2.60	3.77	6.17
その他諸国	1.89	3.50	3.20	3.45	3.82	4.33	4.01	5.10	7.19
失業率									
スウェーデン	9.10	6.90	6.55	9.84	7.64	6.90	10.81	8.90	7.71
英国	6.60	4.35	4.25	7.61	5.21	4.58	8.60	6.50	5.32
ノルウェー	4.10	2.75	2.60	4.66	2.95	2.69	5.46	3.30	2.80
デンマーク	7.70	5.50	5.20	8.18	5.96	5.40	8.68	6.60	5.50
フィンランド	8.70	6.70	6.50	9.58	7.39	6.68	10.35	8.23	7.25
オランダ及び 他の欧州諸国	10.00	8.00	7.90	11.04	8.79	8.15	11.85	9.31	8.54
米国	6.80	4.30	3.70	7.70	5.17	4.14	8.80	6.28	5.00
その他諸国	7.60	6.00	5.80	9.58	7.10	6.46	12.02	8.50	7.22
政策金利									
スウェーデン	0.00	0.00	0.00	0.00	0.15	0.32	0.00	0.50	0.70
英国	0.10	0.10	0.10	0.10	0.21	0.38	0.10	0.50	0.70
ノルウェー	0.00	0.00	0.00	0.00	0.40	0.57	0.00	0.75	0.95
デンマーク	0.05	0.05	0.05	0.05	0.09	0.26	0.05	0.25	0.45
フィンランド	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.22	0.00	0.25	0.45
オランダ及び 他の欧州諸国	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.22	0.00	0.25	0.45
米国	0.13	0.13	0.13	0.13	0.28	0.45	0.13	0.63	0.83
その他諸国	1.80	1.80	1.80	2.02	2.22	2.39	2.25	3.00	3.20
オフィス不動産 価格の上昇率									
スウェーデン	-22.93	-1.36	1.81	-5.15	1.37	4.44	5.78	3.57	5.76
英国	-14.82	-2.50	2.08	-1.42	1.49	4.09	6.70	5.70	5.70
ノルウェー	-21.07	-2.53	0.94	-3.11	1.46	3.01	8.01	4.41	4.66
デンマーク	-17.98	-2.45	0.60	-4.44	0.60	2.19	4.39	3.02	3.38
フィンランド	-21.25	-2.25	3.11	-3.49	1.98	3.91	7.20	5.14	4.81
オランダ及び 他の欧州諸国	-21.27	-4.37	0.62	-4.44	0.65	2.61	5.41	3.59	4.23

米国	2.00	0.20	2.00	2.56	0.58	2.56	3.77	1.59	3.77
その他諸国	0.66	1.30	1.00	1.43	2.15	2.77	1.90	4.40	6.79

住宅価格の上昇率

スウェーデン	-4.91	1.35	1.22	0.30	2.47	3.40	5.11	4.19	6.30
英国	-9.88	-2.48	0.15	-3.17	-0.91	1.08	0.42	0.80	2.10
ノルウェー	-4.98	2.05	3.02	2.42	3.67	4.63	5.97	4.46	9.28
デンマーク	-7.45	0.40	0.41	-0.26	1.27	2.66	3.95	2.22	6.06
フィンランド	-0.54	1.53	1.88	1.08	1.78	2.28	1.95	1.92	2.92
オランダ及び 他の欧州諸国	-4.42	2.00	1.70	1.29	2.52	2.86	3.56	3.56	6.35
米国	-4.42	2.00	1.70	1.29	2.52	2.86	3.56	3.56	6.35
その他諸国	-4.42	2.00	1.70	1.29	2.52	2.86	3.56	3.56	6.35

**マクロ経済リスク
要因**

2019年	最小			平均			最大		
	下降 シナリオ	ベース シナリオ	上昇 シナリオ	下降 シナリオ	ベース シナリオ	上昇 シナリオ	下降 シナリオ	ベース シナリオ	上昇 シナリオ
GDP成長率									
スウェーデン	-1.49	0.81	1.70	1.84	1.96	2.08	2.70	2.20	2.84
英国	-0.90	1.00	1.20	1.50	1.61	1.71	1.90	1.77	2.60
ノルウェー	-0.04	1.24	1.20	1.57	1.67	1.78	1.85	1.84	3.64
デンマーク	-0.66	1.09	1.10	1.39	1.49	1.59	1.81	1.81	3.04
フィンランド	-1.67	0.73	1.10	1.50	1.62	1.73	1.95	1.88	2.63
オランダ及び 他の欧州諸国	-1.17	0.93	1.00	1.16	1.28	1.39	1.70	1.40	2.63
米国	0.54	1.25	1.94	1.95	1.98	2.02	2.50	2.30	2.30
その他諸国	2.40	2.90	3.00	3.07	3.10	3.12	3.50	3.50	3.50

失業率

スウェーデン	6.60	6.60	6.30	6.90	6.75	6.65	8.35	7.24	6.70
英国	4.80	4.10	3.50	5.18	5.04	4.90	5.80	5.20	5.20
ノルウェー	3.50	3.40	2.80	3.61	3.50	3.39	4.40	3.60	3.50
デンマーク	5.50	5.18	4.68	5.67	5.50	5.40	7.00	5.60	5.50
フィンランド	6.90	6.48	5.80	7.05	6.88	6.74	8.20	6.90	6.90
オランダ及び 他の欧州諸国	7.80	7.80	6.90	8.05	7.83	7.70	9.50	8.10	7.80
米国	4.24	4.04	3.74	4.53	4.48	4.42	4.90	4.50	4.50
その他諸国	6.00	6.00	5.85	6.03	6.01	5.99	6.40	6.10	6.00

政策金利

スウェーデン	-0.50	0.00	0.50	2.14	2.34	2.45	3.30	3.30	3.30
英国	0.25	0.75	1.35	2.40	2.59	2.71	3.30	3.30	3.30
ノルウェー	0.25	1.50	2.00	2.08	2.29	2.38	3.10	3.10	3.10
デンマーク	-0.05	0.05	0.25	1.70	1.91	1.99	3.12	3.12	3.12
フィンランド	-0.10	0.00	0.25	1.69	1.91	1.99	3.12	3.12	3.12
オランダ及び 他の欧州諸国	-0.10	0.00	0.25	1.69	1.91	1.99	3.12	3.12	3.12
米国	0.88	1.38	1.63	2.64	2.70	2.73	3.30	3.30	3.30

その他諸国	2.60	2.80	2.95	3.54	3.57	3.60	4.10	4.10	4.10
-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

オフィス不動産 価格の上昇率

スウェーデン	-7.65	-7.77	-11.16	-1.53	-1.42	-1.17	6.92	11.48	22.99
英国	-4.93	-3.83	-4.09	-0.09	0.03	0.19	5.48	7.42	17.04
ノルウェー	-5.77	-5.03	-7.44	-1.54	-1.45	-1.31	3.06	5.20	9.47
デンマーク	-8.94	-8.49	-10.81	-2.11	-1.97	-1.81	3.42	7.07	12.50
フィンランド	-8.25	-7.24	-9.98	-1.08	-0.92	-0.72	7.07	8.74	17.77
オランダ及び 他の欧州諸国	-6.29	-5.72	-5.46	0.03	0.27	0.75	2.02	4.70	12.48
米国	1.25	-4.97	1.25	1.98	0.75	1.98	2.30	2.58	2.30
その他諸国	-1.17	0.93	1.00	1.16	1.28	1.39	1.70	1.40	2.63

住宅価格の上昇率

スウェーデン	-0.74	0.03	-0.37	1.79	1.96	2.14	6.55	5.28	7.76
英国	-4.30	1.41	1.55	1.98	2.34	2.79	4.94	3.95	8.40
ノルウェー	-0.40	1.86	0.43	2.85	2.96	3.09	4.80	5.62	9.31
デンマーク	-2.77	1.75	1.45	2.88	3.02	3.17	4.72	3.90	6.23
フィンランド	0.92	1.51	1.57	1.59	1.71	1.81	1.77	1.89	2.46
オランダ及び 他の欧州諸国	-1.70	1.80	1.70	2.14	2.36	2.43	2.50	2.50	3.20
米国	-1.70	1.80	1.70	2.14	2.36	2.43	2.50	2.50	3.20
その他諸国	-1.70	1.80	1.70	2.14	2.36	2.43	2.50	2.50	3.20

下表は、12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されるエクスポージャーに対する予想信用損失引当金の増減をパーセンテージで示したもので、この増減は下降及び上昇シナリオにそれぞれ100%の確率が適用される場合のものである。

%	2020年		2019年	
	下降シナリオにおける 引当金の増加	上昇シナリオにおける 引当金の減少	下降シナリオにおける 引当金の増加	上昇シナリオにおける 引当金の減少
スウェーデン	13.65	-7.55	6.37	-6.20
英国	11.08	-6.97	5.32	-6.05
ノルウェー	11.78	-6.08	4.05	-4.14
デンマーク	12.15	-6.82	5.07	-5.10
フィンランド	2.33	-1.12	1.40	-1.19
オランダ	2.75	-1.54	1.28	-1.27
北米	41.52	-24.5	6.60	-7.54
その他諸国	14.29	-7.16	7.11	-6.94

感応度分析、信用リスクの著しい増大

下表は、報告日と当初認識時に算定された残余信用リスクの比率に用いられる閾値が、2.5の閾値よりも0.5高く又は低く設定される場合、12月31日現在でステージ1及びステージ2の債権に対する引当金がどのような影響を受けるかを示したものである。閾値が0.5低下した場合にはステージ1からステージ2へ振り替えられる貸出金の件数が増加し、予想信用損失引当金も増加する。閾値が0.5上昇した場合にはこれと反対の影響が生じる。当行は信用リスクの著しい増大を評価するために定量的・定性的双方の指標を用いている。詳細な情報は注記G2の「信用リスク」の項目を参照のこと。

ステージ1及びステージ2に分類された債権に対する引当金総額の変動、%

閾値	2020年	2019年
2	2.77%	2.97
2.5	0.00%	0.00
3	-1.77%	-1.96

PDの範囲別減損テスト対象となる信用エクスポージャー

PDの範囲別貸借対照表項目

2020年

総額

百万スウェーデン・クローネ

PD値¹

	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	2,299,717	17,628	-
0.15～0.25未満	222,255	5,703	-
0.25～0.50未満	54,813	10,076	-
0.50～0.75未満	23,011	3,594	-
0.75～2.50未満	28,433	20,148	-
2.50～10.00未満	10,908	16,299	-
10.00～100未満	570	2,953	-
100 (デフォルト)	-	-	7,002
合計	2,639,707	76,401	7,002

PDの範囲別貸借対照表項目

2019年

総額

百万スウェーデン・クローネ

PD値¹

	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	2,220,408	11,885	-
0.15～0.25未満	256,109	4,862	-
0.25～0.50未満	60,292	3,241	-
0.50～0.75未満	24,544	2,701	-
0.75～2.50未満	33,614	8,103	-
2.50～10.00未満	12,539	18,099	-
10.00～100未満	800	2,971	-
100 (デフォルト)	-	-	8,831
合計	2,608,306	51,862	8,831

PDの範囲別一般顧客への貸出金

2020年

総額

百万スウェーデン・クローネ

PD値¹

	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	1,907,655	17,624	-
0.15～0.25未満	184,364	5,702	-
0.25～0.50未満	45,469	10,074	-
0.50～0.75未満	19,088	3,593	-
0.75～2.50未満	23,586	20,144	-
2.50～10.00未満	9,048	16,295	-
10.00～100未満	473	2,952	-
100 (デフォルト)	-	-	7,002

合計	2,189,683	76,384	7,002
----	-----------	--------	-------

PDの範囲別一般顧客への貸出金

総額

2019年

百万スウェーデン・クローネ

PD値 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	1,904,041	11,841	-
0.15～0.25未満	219,618	4,844	-
0.25～0.50未満	51,702	3,229	-
0.50～0.75未満	21,047	2,691	-
0.75～2.50未満	28,825	8,073	-
2.50～10.00未満	10,752	18,031	-
10.00～100未満	686	2,960	-
100 (デフォルト)	-	-	8,831
合計	2,236,671	51,669	8,831

PD値の範囲別オフバランスシート項目

総額

2020年

百万スウェーデン・クローネ

PD値 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	330,056	2,903	-
0.15～0.25未満	20,485	989	-
0.25～0.50未満	17,502	1,719	-
0.50～0.75未満	5,979	932	-
0.75～2.50未満	15,250	2,464	-
2.50～10.00未満	1,832	1,326	-
10.00～100未満	162	410	-
100 (デフォルト)	-	-	433
合計	391,266	10,743	433

PD値の範囲別オフバランスシート項目

総額

2019年

百万スウェーデン・クローネ

PD値 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	335,516	2,705	-
0.15～0.25未満	24,068	1,336	-
0.25～0.50未満	20,448	587	-
0.50～0.75未満	6,788	554	-
0.75～2.50未満	11,643	880	-
2.50～10.00未満	1,810	1,532	-
10.00～100未満	206	391	-
100 (デフォルト)	-	-	712

合計	400,479	7,985	712
----	---------	-------	-----

1) 報告日現在の12カ月PD値を指す。

担保権が実行された資産

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
不動産	2	11
動産	2	1
株式	0	0
帳簿価額	4	12

動産は主として担保権が実行されたリース資産より構成されている。債権保全を目的として担保権が実行された資産及び負債の評価原則については注記G1に記載されている。

注記G11 不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
器具備品	-2	8
不動産	4	12
合計	2	20

注記G12 一株当たり利益

	2020年	2019年
当期利益、百万スウェーデン・クローネ	15,588	16,925
うち、転換可能劣後ローンに係る利息費用、税引後	0	-41
期中に転換された株式の平均株式数（百万株）	-	12.6
トレーディング勘定における自己株式の平均保有数（百万株）	-	-
発行済株式の平均株式数（百万株）	1,980.0	1,956.8
希薄化効果のある株式の平均株式数（百万株）	0.0	20.1
希薄化後発行済株式の平均株式数（百万株）	1,980.0	1,976.9
一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	7.87	8.65
希薄化後	7.87	8.58

希薄化後一株当たり利益は、発行済転換可能株式の転換による影響を考慮に入れて測定される。これは、発行済株式の平均株式数に潜在的な転換可能株式数が加算され、当期利益が転換可能劣後ローン残高（税引後）に係る当期利息費用に関して調整されることを示唆している。

注記G13 中央銀行へのその他貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
中央銀行へのその他貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	-	13

中央銀行へのその他貸出金（外貨建て）	21,326	19,534
合計	21,326	19,547
予想信用損失引当金	-	-
中央銀行へのその他貸出金合計	21,326	19,547
うち、未収利息収益	0	-5
うち、リバース・レボ	-	-

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
中央銀行へのその他貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	27,226	36,071
中央銀行へのその他貸出金（外貨建て）	21,838	12,006
合計	49,064	48,077
うち、リバース・レボ	-	-

注記G14 その他金融機関への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
貸出金（スウェーデン・クローネ建て）		
銀行	1,489	2,245
その他金融機関	595	18
合計	2,084	2,263

貸出金（外貨建て）

銀行	16,305	11,279
その他金融機関	3,539	4,401
合計	19,844	15,680

予想信用損失引当金	-8	-4
その他金融機関への貸出金合計	21,920	17,939
うち、未収利息収益	20	47
うち、リバース・レボ	523	-

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
その他金融機関への貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	3,963	4,753
その他金融機関への貸出金（外貨建て）	40,137	40,016

合計	44,100	44,769
うち、リバース・レボ	3,649	6,892

注記G15 一般顧客への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
貸出金（スウェーデン・クローネ建て）		
個人	912,706	873,595
法人	506,969	500,877
国債局	474	-
合計	1,420,149	1,374,472
貸出金（外貨建て）		
個人	325,854	344,861
法人	527,066	577,838
国債局	-	-
合計	852,920	922,699
予想信用損失引当金	-3,457	-4,568
一般顧客への貸出金合計	2,269,612	2,292,603
うち、未収利息収益	2,635	3,302
うち、リバース・レボ	11,627	10,441
うち、劣後ローン	-	-
平均取引高（国債局を除く）		
百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
一般顧客への貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	1,419,122	1,376,234
一般顧客への貸出金（外貨建て）	886,921	907,845
合計	2,306,043	2,284,079
うち、リバース・レボ	18,349	16,205

注記G16 利付証券

百万スウェーデン・クローネ	2020年			2019年		
	帳簿価額	公正価値	額面価額	帳簿価額	公正価値	額面価額
中央銀行への担保として適格な利付証券	99,133	99,133	97,169	103,387	103,387	101,154
うち、未収利息収益	195			217		
社債及びその他の利付証券	44,566	44,566	41,498	42,640	42,640	39,818
うち、未収利息収益	185			212		
合計	143,699	143,699	138,667	146,027	146,027	140,972
うち、劣後証券	4	4		15	15	

百万スウェーデン・クローネ	2020年			2019年		
	帳簿価額	公正価値	額面価額	帳簿価額	公正価値	額面価額
政府	99,133	99,133	97,169	103,387	103,387	101,154
金融機関	9,091	9,091	8,656	10,529	10,529	9,911
住宅金融専門機関	29,347	29,347	26,962	25,814	25,814	23,714
その他	6,128	6,128	5,880	6,297	6,297	6,193
合計	143,699	143,699	138,667	146,027	146,027	140,972

減損テスト対象となっている利付証券

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
中央銀行への担保として適格な利付証券		
その他包括利益を通じて公正価値で測定	401	403
償却原価で測定	780	1,024
総額合計	1,181	1,427
償却原価で測定される金融商品の予想信用損失引当金	0	0
帳簿価額合計	1,181	1,427

資本の公正価値評価差額準備金で認識される予想信用損失引当金	0	0
-------------------------------	---	---

社債及びその他利付証券

その他包括利益を通じて公正価値で測定	7,964	4,953
帳簿価額合計	7,964	4,953

資本の公正価値評価差額準備金で認識される予想信用損失引当金	-2	-2
-------------------------------	----	----

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

利付証券

利付証券、保険事業

合計**2020年****2019年**

167,535

222,609

-

4,924

167,535**227,533**

注記G17 株式

	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ		
純損益を通じて公正価値で測定、強制	20,245	19,087
その他包括利益を通じて公正価値で測定	800	2,303
株式合計	21,045	21,390

その他包括利益を通じて公正価値で測定される保有株式

	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ		
BEC	295	489
Visa Inc	155	308
その他の保有	350	363
Euroclear plc	-	431
Enento Group Oyj	-	712
合計	800	2,303

ハンデスルバンケンは、上記の株式保有について、トレーディング目的保有ではないことによりその他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類している。当年度中に、ハンデルスバンケンは報告期間末現在保有する株式から配当のみを受け取っている。これらの配当は合計で53（110）百万スウェーデン・クローネであり、その他の配当収益として損益計算書に計上されている。当年度中に当行は合計1,688（39）百万スウェーデン・クローネでLet-P Holdings AS、Euroclear、BEC、V/P AS、Kreditandelslag、Vaerdipapircentralen、Enento Group Oy、Visa Inc及び住宅共同組合の保有株式を処分した。この処分の主な理由は、参加持分に関する持ち分の調整と再配分であった。

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品に係る実現及び未実現損益に関しては、当行グループの持分変動計算書を参照のこと。

注記G18 関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

ハンデルスバンケンには、個別に重要となる関連会社やジョイント・ベンチャーに対する投資はないが、決済サービス等の提供を通じ、当行グループの銀行業務にとって戦略的に重要と考えられるいくつかの企業がある。すべての投資は非上場である。

関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
期首現在帳簿価額	285	259
当年度持分利益	18	32
法人税	-13	-6
株主の拠出	12	0
取得	84	
期末現在帳簿価額	386	285

関連会社及びジョイント・ベンチャーからの収益

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
当年度利益	18	32
その他包括利益	-	0
当年度包括利益合計	18	32

関連会社	企業識別番号	所在地	株式数	議決権 %	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2020年	2019年
Bankomat AB	556817-9716	ストックホルム	150	20.00	77	81
BGC Holding AB	556607-0933	ストックホルム	25,382	25.38	197	173
Dyson Group plc	00163096	シェフィールド	74,333,672	24.01	22	0
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	ストックホルム	12,735	28.30	22	12
Getswish AB	556913-7382	ストックホルム	10,000	20.00	16	19
USE Intressenter AB	559161-9464	ストックホルム	2,448	24.48	0	0
合計					334	285

ジョイント・ベンチャー	企業識別番号	所在地	株式数	議決権 %	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2020年	2019年
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-9610	ストックホルム	10,000	16.67	39	
Invidem AB	559210-0779	ストックホルム	10,000	16.67	13	
合計					52	

注記G19 顧客が価値変動リスクを負う資産

	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ		
ユニットリンク及びポートフォリオ社債保険資産	191,035	169,601
その他ファンド資産	6,177	5,387
合計	197,212	174,988

注記G20 デリバティブ商品

百万スウェーデン・ クローネ	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
	1年以内	1年超 5年以内	5年超	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
トレーディング目的で 保有する デリバティブ									
金利関連契約									
オプション	8,831	13,766	2,053	24,650	28,627	9	16	14	68
FRA/先物	300,439	18,000	-	318,439	893,595	52	211	40	172
スワップ	329,317	1,000,616	301,029	1,630,962	1,786,372	20,504	19,366	21,365	20,869
通貨関連契約									
オプション	24,677	18	34	24,729	25,685	118	136	195	212
先物	64,644	4,785	258	69,687	63,863	920	863	1,344	480
スワップ	493,904	51,226	14,565	559,695	703,958	5,892	4,529	17,548	11,869
株式関連契約									
オプション	3,492	1,610	92	5,194	9,585	255	545	136	425
先物	855	-	-	855	1,814	15	0	16	13
スワップ	12,285	3,844	21	16,150	14,755	137	138	1,569	1,157
コモディティ関連契約									
オプション	325	308	38	671	1,022	22	35	60	103
先物	2,962	692	-	3,654	12,951	390	430	312	494
信用関連契約									
スワップ	631	5,618	252	6,501	8,035	229	465	158	289
合計	1,242,362	1,100,483	318,342	2,661,187	3,550,262	28,543	26,734	42,757	36,151
公正価値ヘッジのデリ バティブ									
金利関連契約									
オプション	1,745	1,061	-	2,806	4,641	-	3	-	-
スワップ	31,706	205,969	66,410	304,085	149,642	3,106	1,958	630	587
通貨関連契約									
スワップ	-	534	843	1,377	1,499	101	166	-	-
合計	33,451	207,564	67,253	308,268	155,782	3,207	2,127	630	587
キャッシュフロー・ ヘッジの デリバティブ									
金利関連契約									
スワップ	124,120	264,897	43,744	432,761	532,453	11,677	13,104	2,727	1,974
通貨関連契約									
スワップ	103,512	137,488	40,914	281,914	311,176	12,531	24,912	7,751	1,163
合計	227,632	402,385	84,658	714,675	843,629	24,208	38,016	10,478	3,137
デリバティブ商品合計	1,503,445	1,710,432	470,253	3,684,130	4,549,673	55,958	66,877	53,865	39,875
うち、取引所上場 デリバティブ									
				108,653	440,829	332	347	756	1,223

うち、CCPで決済されるOTC						
デリバティブ	2,245,982	2,472,024	22,987	22,588	18,717	16,293
うち、CCPで決済されないOTC						
デリバティブ	1,329,495	1,636,819	32,639	43,942	34,392	22,359
相殺された金額	-2,110,391	-2,147,269	-25,344	-25,332	-21,046	-19,233
純額	1,573,739	2,402,404	30,614	41,545	32,819	20,642
市場価値の通貨別内訳						
スウェーデン・クローネ						
			41,263	-31,749	301,858	257,947
米ドル						
			-70,582	39,098	-381,894	-348,281
ユーロ						
			129,283	204,475	-94,785	-14,922
その他						
			-44,006	-144,947	228,686	145,131
合計			55,958	66,877	53,865	39,875

この注記では、デリバティブ契約は総額で表示されている。相殺額は、当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約（中央清算される契約を含む）の市場価値及び関連する想定元本の相殺で構成されている。これらの契約は、貸借対照表において、取引相手及び通貨別に純額で表示されている。

当行は、当初認識時に評価モデルを用いて測定された価値と、取引価格との正の差額（取引日利得/損失）をデリバティブの期間にわたり償却している。年度末において、これらの未認識の取引日利得は、538 (630)百万スウェーデン・クローネであった。

注記G21 ヘッジ会計

当行グループのリスク管理及びヘッジ会計の一般的な目的は、金利及び為替レートの変動から乗じる貸出及び借入に帰属する将来キャッシュ・フロー及び公正価値の変動リスクから自らを守るためである。この目的を達成するために当行はデリバティブを使用している。当行グループのリスク管理戦略を財務報告に確実に反映するため、ヘッジ会計が用いられている。当行グループの市場リスク管理に関する情報は、注記G2を参照のこと。当行グループが用いるヘッジ戦略及び様々な種類のヘッジ会計については、リスク区分別に以下に述べられている。ヘッジ会計の会計方針の詳細については注記G1を参照のこと。

キャッシュフロー・ヘッジ

変動金利貸出・借入における金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、変動金利の変動から生じる利息の受取・支払に係る不確実性を最小限にし、代わりにヘッジを締結した際に明らかになる固定金利による金額を受け取り、支払うことである。ヘッジ対象は、変動金利による一般顧客への貸出金及び発行済変動利付債券に関連する、将来流入及び流出する可能性の高い支払いから構成されている。ヘッジ対象のリスクは、各通貨の変動参照金利であり、金利の観察可能な要素である。このヘッジ手段は金利スワップである。ここでは固定金利を受け取り変動金利を支払うか固定金利を支払い変動金利を受け取る。

資金調達における為替リスク

このヘッジ戦略は、為替レートの変動から生じる将来の利払に関連する不確実性を最小限にし、代わりにヘッジを締結した際に明らかになる為替レートで機能通貨による利払を行うことを意図するものであ

る。ヘッジ対象は機能通貨以外の通貨で発行された証券に起因する、可能性の高い将来の利払及び額面価額の返済である。ヘッジ対象リスクは資金調達通貨及び機能通貨間の為替レートの変動により発生するこれらの将来の支払いの変動リスクである。このヘッジ手段は通貨関連デリバティブである。

在外営業活動体への、又は在外営業活動体からの内部貸出における為替リスク

このヘッジ戦略の目的は、在外営業活動体への、又は在外営業活動体からの内部貸出における為替レートの変動に関連するボラティリティ・リスクを最小限にすることである。このヘッジ対象は当行グループのトレジャリー部門と在外営業活動体の間で在外営業活動体の機能通貨で発行された内部貸出の額面価額から構成される。ヘッジ対象リスクは、内部貸出の通貨と親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネとの為替換算差異から生じる、在外営業活動体への、又は在外営業活動体からの内部貸出の価値変動リスクである。このヘッジ手段は通貨関連デリバティブである。

有効性の測定

ヘッジ関係の有効性は、ヘッジ関係の開始時及びその後四半期毎にテストされる。ヘッジの有効性は、有効性は、漸進的及び遡及的双方の観点、つまり漸進的にはイールド・カーブとディスカウント・カーブのシフトにより、遡及的にはヘッジ対象リスク及びヘッジ手段の条件が十分に整合していない場合に、回帰分析によりテストされる。この文脈で「十分に整合している」とは、キャッシュ・フロー及び割引となる要因が常に同一であることである。有効性が測定される際、ヘッジ対象リスクは完全に有効な仮想デリバティブ (PEH) により表され、これはヘッジ対象の重要な条件と一致する。仮想デリバティブ (PEH) の公正価値はヘッジ関係の開始時にはゼロである。有効性の測定には、仮想デリバティブ (PEH) の公正価値の変動を実際のデリバティブの公正価値変動と比較することにより行われる。

有効性の測定の適用基準

ヘッジ会計に適格となるためには、仮想デリバティブ (PEH) で表されるヘッジ対象のヘッジ対象リスクの公正価値変動と、実際のデリバティブの比率が80-125パーセントの範囲内でなければならない。これが回帰分析を通じて調査される場合、有効なヘッジ関係を確立するためには以下の基準を満たす必要がある。

- ・カーブの勾配が $0.8 < b < 1.25$
- ・ R^2 が > 0.96

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段

2020年

百万スウェーデン・クローネ

金利リスク

金利スワップ (固定金利支払・変動金利受取)

	1年未満	1年以上5年以内	5年超
想定元本	13,181	70,910	16,070
平均固定金利 (%)	0.48	0.48	0.73

金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)

想定元本	110,939	193,987	27,674
平均固定金利 (%)	2.28	1.62	1.40

為替リスク

為替デリバティブ、ユーロ/スウェーデン・クローネ

想定元本	24,147	52,180	13,880
平均為替レート、ユーロ/スウェーデン・クローネ	1.0825	0.7212	0.9693

為替デリバティブ、ユーロ/ノルウェー・クローネ

想定元本	4,344	29,590	17,590
平均為替レート、ユーロ/ノルウェー・クローネ	0.1310	0.1110	0.3905

為替デリバティブ、英ポンド/スウェーデン・クローネ

想定元本	-	7,195	-
平均為替レート、英ポンド/スウェーデン・クローネ	-	1.0079	-

為替デリバティブ、米ドル/英ポンド

想定元本	11,011	6,289	831
平均為替レート、米ドル/英ポンド	1.3860	1.2930	1.3150

為替デリバティブ、米ドル/ノルウェー・クローネ

想定元本	40,197	12,901	-
平均為替レート、米ドル/ノルウェー・クローネ	0.1170	0.1260	-
為替デリバティブ、米ドル/スウェーデン・クローネ			
想定元本	9,206	12,805	8,613
平均為替レート、米ドル/スウェーデン・クローネ	0.1166	0.5162	0.1105
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル			
想定元本	3,034	5,492	-
平均為替レート、豪ドル/米ドル	1.3930	1.3770	-
為替デリバティブ、他の通貨ペア			
想定元本	11,573	11,036	-
合計	227,632	402,385	84,658

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段

2019年

百万スウェーデン・クローネ	1年未満	1年以上5年以内	5年超
金利リスク			
金利スワップ（固定金利支払・変動金利受取）			
想定元本	13,649	73,337	17,886
平均固定金利(%)	0.91	0.56	0.90
金利スワップ（変動金利支払・固定金利受取）			
想定元本	78,737	309,248	39,596
平均固定金利(%)	2.50	1.94	1.15
為替リスク			
為替デリバティブ、ユーロ/スウェーデン・クローネ			
想定元本	9,620	67,575	24,513
平均為替レート、ユーロ/スウェーデン・クローネ	0.1130	0.1040	0.0960
為替デリバティブ、ユーロ/ノルウェー・クローネ			
想定元本	4,741	36,400	-
平均為替レート、ユーロ/ノルウェー・クローネ	0.1200	0.1200	-
為替デリバティブ、英ポンド/スウェーデン・クローネ			
想定元本	-	7,562	-
平均為替レート、英ポンド/スウェーデン・クローネ	-	0.0900	-
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド			
想定元本	11,599	19,410	932
平均為替レート、米ドル/英ポンド	1.4300	1.3600	1.3200
為替デリバティブ、米ドル/ノルウェー・クローネ			
想定元本	19,402	25,572	337
平均為替レート、米ドル/ノルウェー・クローネ	0.1300	0.1300	0.1300
為替デリバティブ、米ドル/スウェーデン・クローネ			
想定元本	13,164	23,524	-

平均為替レート、米ドル/スウェーデン・クローネ	0.1300	0.1100	-
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル			
想定元本	-	9,301	-
平均為替レート、豪ドル/米ドル	-	1.3800	-
為替デリバティブ、他の通貨ペア			
想定元本	13,351	21,969	2,204
合計	164,263	593,898	85,468

非有効性

ヘッジの非有効性は、仮想デリバティブ(PEH)で表されるヘッジ対象のヘッジ対象リスクの公正価値変動を実際のデリバティブの公正価値変動と比較することで測定される。デリバティブの公正価値変動が仮想デリバティブ(PEH)の価値変動を絶対的に上回る場合、当該ヘッジは非有効と判定される。

これらのヘッジ関係の非有効性は、主としてヘッジ関係の開始日とデリバティブの取引日間の市場金利と為替レートの差によるものである。また非有効性は、ヘッジ対象リスクに含まれない、デリバティブの特定の金利の構成要素に起因する公正価値の変動からも生じる。

キャッシュフロー・ヘッジにおける ヘッジ手段と非有効性		ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算 定に用いられ た公正 価値変動	その他包括 利益で認識 されたヘッ ジ手段の 価値変動	損益計算書 で認識され た 非有効性	ヘッジ準備 金から損益 計算書への 振替
2020年	ヘッジ手段の 想定元本	資産	負債				
百万スウェーデン・クローネ							
金利リスク							
金利スワップ（固定金利支払・変動金 利受取）	100,161	1	2,727	-1,031	-1,031	-	-
金利スワップ（変動金利支払・固定金 利受取）	332,600	11,676	-	380	379	1	211
為替リスク ¹							
為替デリバティブ、ユーロ/ スウェーデン・クローネ	90,207	3,327	1,700	-83	-83	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/ デンマーク・クローネ	3,516	-	9	-33	-33	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/英ポンド	9,628	1,123	-	81	81	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/ ノルウェー・クローネ	51,524	5,559	259	234	231	3	-
為替デリバティブ、英ポンド/ スウェーデン・クローネ	7,195	40	-	-4	-4	-	-
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	18,131	271	448	-60	-57	-3	-
為替デリバティブ、米ドル/ ノルウェー・クローネ	53,098	1,142	1,903	-52	-52	-	-
為替デリバティブ、米ドル/ スウェーデン・クローネ	30,624	-	2,704	-364	-364	-	-
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル	8,526	621	-	45	45	-	-5
為替デリバティブ、他の通貨ペア	9,465	448	728	12	13	-1	43
合計	714,675	24,208	10,478	-875	-875	0	249

¹⁾ ヘッジ会計目的で分析を行う場合、親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネへの換算にあたって、ヘッジ関係におけるデリバティブのレグの想定金額のインビュテーション (補完) が考慮される。このデリバティブのレグのインビュテーション (補完) は上記に示す想定元本額には含まれていない。

ヘッジ手段の帳簿価額は、貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれる。損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれる。損益計算書への振替は「金融取引による純損益」に含まれ、期限前に終了したキャッシュフロー・ヘッジである。

キャッシュフロー・ヘッジにおける ヘッジ手段と非有効性 2019年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に用い られた公正 価値変動	その他包括 利益で認識 されたヘッ ジ手段の 価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性	ヘッジ準備 金から損益 計算書への 振替
金利リスク							
金利スワップ（固定金利支払・変動金利 受取）	104,872	131	1,813	-861	-864	3	-
金利スワップ（変動金利支払・固定金利 受取）	427,581	12,973	161	4,006	4,010	-4	17
為替リスク ¹							
為替デリバティブ、ユーロ/ スウェーデン・クローネ	101,708	7,556	424	-42	-42	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/ デンマーク・クローネ	3,653	4	-	16	16	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/英ポンド	12,915	735	122	147	147	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/ ノルウェー・クローネ	41,141	4,309	-	60	57	3	-
為替デリバティブ、英ポンド/ スウェーデン・クローネ	7,562	782	-	17	17	-	-
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	31,941	1,715	169	-79	-74	-5	-
為替デリバティブ、米ドル/ ノルウェー・クローネ	45,311	4,682	-	0	0	-	-
為替デリバティブ、米ドル/ スウェーデン・クローネ	36,688	3,383	-	-39	-39	-	-
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル	9,301	22	265	77	77	-	-2
為替デリバティブ、他の通貨ペア	20,956	1,724	183	452	458	-6	7
合計	843,629	38,016	3,137	3,754	3,763	-9	22

¹⁾ ヘッジ会計目的で分析を行う場合、親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネへの換算にあたって、ヘッジ関係におけるデリバティブのレグの想定金額のインピュテーション（補完）が考慮される。このデリバティブのレグのインピュテーション（補完）は上記に示す想定元本額には含まれていない。

ヘッジ手段の帳簿価額は、貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれる。損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれる。損益計算書への振替は「金融取引による純損益」に含まれ、期限前に終了したキャッシュフロー・ヘッジである。

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ対象 2020年 百万スウェーデン・クローネ	非有効性の算定に 用いられた 価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用されな かったヘッジ関係からの ヘッジ準備金残余額
金利リスク			
発行済変動金利有価証券	1,031	-2,576	-
変動金利による一般顧客への貸出金	-379	7,946	1,327
為替リスク			
ユーロ建て発行済証券及びデンマーク・クロー ネ、英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内 部貸出	-87	-779	

米ドル建て発行済証券及びデンマーク・クロー
ネ、ユーロ、英ポンド、ノルウェー・クロー
ネ建て内部貸出

499

-427

86

他通貨建て発行済証券及び内部貸出

-189

59

17

合計

875

4,223

1,430

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ対象
2019年

百万スウェーデン・クローネ

非有効性の算定に
用いられた
価値変動

ヘッジ準備金

ヘッジ会計が適用されなく
なったヘッジ関係からの
ヘッジ準備金残余额

金利リスク

発行済変動金利有価証券

864

-1,544

-

変動金利による一般顧客への貸出金

-4,010

7,769

1,492

為替リスク

ユーロ建て発行済証券及びデンマーク・クロー
ネ、英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内
部貸出

-294

-867

-

米ドル建て発行済証券及びデンマーク・クロー
ネ、ユーロ、英ポンド、ノルウェー・クロー
ネ建て内部貸出

62

82

121

他通貨建て発行済証券及び内部貸出

-385

-93

19

合計

-3,763

5,347

1,632

公正価値ヘッジ

固定金利貸出・借入における金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、市場金利の変動から生じる固定金利貸出金と借入金の公正価値変動リスクを最小限に抑えることである。ヘッジ対象リスクは、観察可能な金利の構成要素となる各通貨の参照金利である。ヘッジ対象は、固定金利による一般顧客への貸出金と発行済固定利付証券である。ヘッジ手段は、固定金利を支払い変動金利を受け取るか、固定金利を受け取り変動金利を支払う金利スワップである。

有効性の測定

ヘッジの有効性は、貸出金と借入金のヘッジ対象リスクの公正価値変動を、金利スワップの公正価値変動と比較することにより測定される。有効性は、漸進的及び遡及的双方の観点、つまり漸進的にはイールド・カーブとディスカウント・カーブのシフトにより、遡及的には回帰分析を実施することにより測定される。ヘッジ関係の有効性テストは、ヘッジ関係の開始時とそれ以降の四半期毎に行われる。ヘッジ会計の適格性を満たす要件は、上記のキャッシュフロー・ヘッジのセクションに記載している要件と同じである。

非有効性

非有効性は、ヘッジ関係の開始日から報告期間末日までの期間の、金利スワップの公正価値変動を、貸出金・借入金のヘッジ対象リスクの公正価値変動と比較することにより測定される。

これらのヘッジ関係の非有効性は主として金利スワップの変動金利より生じる公正価値変動が貸出金・借入金のヘッジ対象リスクの価値変動と一致しないことによる。

金利リスクに関する公正価値のポートフォリオ・ヘッジ

固定金利貸出金ポートフォリオの金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、市場金利の変動から生じる固定金利貸出金ポートフォリオの公正価値変動リスクを最小限に抑えることである。ヘッジ対象リスクは、各通貨の参照金利の変動に関する固定金利貸出金ポートフォリオの一部の公正価値変動である。ヘッジ対象は、固定金利貸出金ポートフォリオに基づき決定された外貨建金額である。貸出金ポートフォリオは金利固定期間に分けられる。ヘッジ額は、選択された金利固定期間において当行がヘッジを望む金利リスクに基づいて設定されている。ヘッジ手段は、金利スワップ（変動金利受取、固定金利支払）により構成されており、各金利固定期間に1以上のヘッジ手段が設定されている。

有効性及び非有効性の測定の詳細については、上記の公正価値ヘッジの項に記載されている。

金利キャップのある変動金利貸出金ポートフォリオの金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、借り手に金利キャップがあり、金利固定期間が3ヶ月の貸出金ポートフォリオの公正価値変動リスクを最小限に抑えることである。ヘッジ対象リスクは合意された金利キャップの参照金利である。ヘッジ手段は金利オプション（キャップ）である。

一定期間ヘッジされる貸出金の額面総額は、四半期毎に決定される。有効性は、当該期間の金利キャップの公正価値変動を金利オプション（キャップ）の公正価値変動と比較することにより算定される。ヘッジ会計の適格性を満たすためには、この比率が80 - 125パーセントの範囲内でなければならない。

これらのヘッジ関係の非有効性は、主に貸出金の金利キャップと金利オプション（キャップ）間の満期と金利の乖離による。というのも、各キャップに係る規模は個々の貸出金ではなく、金利キャップがついた貸出金のポートフォリオごとに決定されるためである。

公正価値ヘッジにおけるヘッジ

手段	2020年			2019年		
	1年未満	1年以上 5年以内	5年超	1年未満	1年以上 5年以内	5年超
百万スウェーデン・クローネ						
金利リスク						
金利スワップ (固定金利支払・変動金利受取)						
想定元本	31,706	148,863	1,698	26,321	71,963	2,412
平均固定金利%	0.06	0.03	0.28	0.00	0.07	0.53
金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)						
想定元本	-	53,834	60,040	-	24,025	24,921
平均固定金利%	-	0.97	1.03	-	1.60	0.79
クロスカレンシー金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)						
想定元本	-	534	843	-	580	919
平均固定金利%	-	3.26	3.69	-	3.26	3.69

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び
非有効性、2020年

ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に用いら れた公正価値 変動	損益計算書 で 認識された 非有効性
	資産	負債		
百万スウェーデン・クローネ				
金利リスク				
金利スワップ (固定金利支払・変動金利受取)	182,267	72	442	-222
金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	113,874	3,030	169	1,143
クロスカレンシー金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	1,377	101	-	100
合計	297,518	3,203	611	1,021

ポートフォリオの公正価値ヘッジ

金利リスク					
金利スワップ (固定金利支払・変動金利受取)	7,944	4	19	-13	0
金利オプション (キャップ)	2,806	0	-	13	0
合計	10,750	4	19	0	0

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び
非有効性、2019年

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び 非有効性、2019年	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に用いら れた公正価値 変動	損益計算書 で 認識された 非有効性
		資産	負債		
百万スウェーデン・クローネ					
金利リスク					
金利スワップ（固定金利支払・変動金利 受取）	100,696	219	355	82	5
金利スワップ（変動金利支払・固定金利 受取）	48,946	1,739	232	-227	-51
クロスカレンシー金利スワップ （変動金利支払・固定金利受取）	1,499	166	-	-16	-3
合計	151,141	2,124	587	-161	-49

ポートフォリオの公正価値ヘッジ

金利リスク

金利オプション（キャップ）	4,641	3	-	8	0
合計	4,641	3	-	8	0

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれる。損益計算書に認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれる。

公正価値ヘッジにおける
ヘッジ対象、2020年

ヘッジ対象、2020年		ヘッジ対象の帳簿 価額に含まれる 公正価値調整累計額		非有効性の算定 に用いられた価 値変動	公正価値変動が調整 されなくなったヘッ ジ対象について貸借 対照表に残る公正価 値ヘッジの調整累計 額
ヘッジ対象の 帳簿価額					
百万スウェーデン・クロー ネ	資産	負債	資産	負債	
金利リスク					
固定金利による一般顧客へ の貸出金	188,468		329		215
発行済固定利付証券及び 劣後負債		119,410		1,110	-1,187
合計	188,468	119,410	329	1,110	-972

ポートフォリオの公正価値
ヘッジ

金利リスク

固定金利による一般顧客へ の貸出金	13				13	-
変動金利貸出の金利キャッ プ	12				-13	-
合計	25				0	

公正価値ヘッジにおける

ヘッジ対象、2019年

	ヘッジ対象の 帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿 価額に含まれる 公正価値調整累計額		非有効性の算 定に用いられ た価値変動	公正価値変動が調整 されなくなったヘッ ジ対象について貸借 対照表に残る公正価 値ヘッジの調整累計 額
	資産	負債	資産	負債		
百万スウェーデン・クロー ネ						
金利リスク						
固定金利による一般顧客へ の貸出金	101,432		114		-77	-
発行済固定利付証券及び 劣後負債		50,545		-189	189	-
合計	101,432	50,545	114	-189	112	-

ポートフォリオの公正価値

ヘッジ

金利リスク

変動金利貸出の金利キャッ

プ	25				-8	-
合計	25				-8	

在外営業活動体への純投資における為替リスクのヘッジ

このヘッジ戦略の目的は、在外営業活動体への純投資の為替エクスポージャーを減らすことである。このヘッジ対象は、在外営業活動体の機能通貨で発行された、当行グループのトレジャリー部門と在外営業活動体の間の長期の内部貸出の額面価額である。在外営業活動体への投資の一部としての適格要件は、内部貸出の返済が予見可能な将来に計画されておらず、その可能性も小さいことである。ヘッジ対象リスクは、在外営業活動体の機能通貨と親会社の機能通貨、すなわちスウェーデン・クローネとの間の為替レートの変動から生じる、在外営業活動体への純投資の価値変動リスクである。このヘッジ手段は通貨関連デリバティブである。このカテゴリーにあるすべてのヘッジ関係は、実際は古くからあり、当行はこのヘッジ戦略では新たなヘッジ関係を開始していない。そのため、当ヘッジ戦略に関し表形式による開示は行わない。

有効性の測定

在外営業活動体への純投資ヘッジの有効性を測定する際には、上記のキャッシュフロー・ヘッジのセクションで説明しているキャッシュフロー・ヘッジの有効性の測定と同じ手続きが適用される。

非有効性

上記のキャッシュフロー・ヘッジのセクションで説明しているキャッシュフロー・ヘッジと同じ方法で非有効性が算定される。

これらのヘッジ関係の非有効性は主として、ヘッジ関係の開始日とデリバティブの取引日間の為替レート差による。

ヘッジ準備金及び為替換算調整準備金の変動の詳細は、当行グループの持分変動計算書を参照のこと。

金利指標改革

IAS第39号「金融商品：認識及び測定」の改訂

本改訂は、金利指標改革により直接影響を受けるすべてのヘッジ関係に対し、特定のヘッジ会計の要求事項の適用に一時的な例外を設ける目的で行われた。この例外適用の目的は、金利指標改革から生じる不確実性さえなければヘッジ会計が適格となるヘッジ関係について、ヘッジの中止を防ぐことにある。注記G1の2を参照のこと。

金利指標改革への対応

「リスク・フリーに近い金利」（「RFR」）からなる代替参照金利を策定するために、世界中で多数の取組みが行われている。EUでは、ベンチマーク規制（（EU）2016/1011）の要求事項を満たすために銀行間取引金利の調整が進んでおり、同時に代替RFRの策定も進んでいる。

現在当行は、RFRへの移行に向け、デリバティブや銀行間取引金利による貸出金に関してはITシステムに対する本部集約的な適用を行い、各国における貸出金商品に対してはITシステムへ局所的に適用するなど、適用に向けた広範な取組みを実施している。集約的なプロジェクトでは、ISDA及び基本契約などの契約更新、顧客やカウンターパーティとのコミュニケーション計画の作成も行われている。また、この取組みには、RFRへの移行がもたらす会計や金融商品の測定、リスク測定への影響の検討も含まれている。

金利指標改革に影響を受けるヘッジ関係の評価

当行にとって重要と考えられる銀行間取引金利は、国内市場金利及び米ドルであり、Stibor、Euribor、英ポンドLibor、Nibor、Cibor及び米ドルLiborなどである。

英国の健全性監督機構（PRA）は銀行に対し、2021年より後は英ポンドLibor構築への寄与を強要しないことを公表した。英ポンドLiborはSONIA（ポンド翌日物平均金利）に置き換わる予定である。新指標への移行期間は2021年12月31日に終了する。この移行期間は、SOFR（有担保翌日物調達金利）に置き換わる米ドルLiborにも同様に適用されるが、移行期間は2022年6月30日までであると見込まれる。したがって当行は、英ポンドLiborと米ドルLiborがそれぞれ2021年12月31日及び2022年6月30日よりも後に参照金利として存続することではなく、それにより、英ポンドLibor又は米ドルLiborがヘッジ対象やヘッジ手段に直接影響を及ぼし、それぞれ2021年12月31日及び2022年6月30日よりも後に終了するヘッジ関係に対しては、指標改革がもたらす不確実性が存在すると評価している。

改革後のEuriborは、ベンチマーク規制に従って指標金利として構築され承認された。ESTER（ユーロ短期金利）はユーロのRFRとして確認され、2019年10月2日より公表されている。2021年まで、ESTERは現行の翌日物銀行間取引金利であるEONIAと並行して公表される予定である。改革されたEuriborが承認され、今後も公表され続けることから、Euriborが参照金利として存続し、Euriborがヘッジ対象やヘッジ手段に直接影響を及ぼす既存のヘッジ関係に対する影響という点では、指標改革による不確実性はないものと当行は評価している。

Stiborが参照金利として公表停止されるという発表はない。2020年、スウェーデン国立銀行はスウェーデン・クローネのRFRを策定した。同行は2021年1月にテスト期間を開始し、その間に暫定的な金利を公表し、その後に正式に参照金利を公表する予定である。Stiborが参照金利として公表停止されることへの要求どころか、その要望さえ明示している公的機関はない。したがって、現在、Stiborを公表停止にする計画はなく、その案件を提起する要望もない。ただし、Stiborはベンチマーク規制の要求事項を満たし、スウェーデン金融監督庁の承認を得る必要がある。ベンチマーク規制においてStiborは重大な参照金利に分類されていることから、承認申請期限は2021年末である。スウェーデン金融ベンチマーク機関（Swedish Financial Benchmark Facility）では、ベンチマーク規制に従ってStiborの承認申請を準備するプロジェクトが進行中であり、承認申請をスウェーデン金融監督庁に提出予定である。当行は現在、Stiborはベンチマーク規制に従って承認され、参照金利として存続すると評価している。このような理由から、Stiborがヘッジ対象やヘッジ手段に直接影響を及ぼす既存のヘッジ関係に対する影響という点では、指標改革による不確実性はないものと当行は評価している。

他の北欧の銀行間取引金利であるノルウェーのNiborやデンマークのCiborについては、ノルウェー及びデンマークの監督当局が、ベンチマーク規制に従いそれぞれNibor及びCiborを承認している。当行は、Nibor及びCiborが参照金利として存続すると評価している。このような理由から、NiborとCiborがそれぞれヘッジ対象やヘッジ手段に直接影響を及ぼす既存のヘッジ関係に対する影響という点では、指標改革による不確実性はないものと当行は評価している。

上述の評価に従い、指標改革による不確実性に直接影響を受けるヘッジ対象リスクは、英ポンド建てと米ドル建ての貸付及び資金調達に係る参照変動金利である。さらに、英ポンドLiborと米ドルLiborに基づいた、貸付及び資金調達に起因するキャッシュ・フローと同様に、デリバティブ商品に係るキャッシュ・フローも影響を受けている。新しい金利が確立され個々の契約に明記されれば、指標改革による不確実性はヘッジ対象やヘッジ手段の不確実性要因にはなくなる。

金利指標改革がもたらす不確実性により影響を受けるヘッジ関係に含まれるヘッジ手段、2020年

百万スウェーデン・クローネ

想定元本

金利スワップ、英ポンド	49,262
金利スワップ、米ドル	86,524
クロスカレンシー金利スワップ、豪ドル/米ドル	8,526
クロスカレンシー金利スワップ、ユーロ/英ポンド	9,628
クロスカレンシー金利スワップ、英ポンド/スウェーデン・クローネ	7,195
クロスカレンシー金利スワップ、日本円/英ポンド	319
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/デンマーク・クローネ	2,393
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/ユーロ	5,129
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/英ポンド	18,131
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/ノルウェー・クローネ	53,099
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/スウェーデン・クローネ	30,624
合計	270,830

注記G22 金融商品の相殺

2020年

百万スウェーデン・クローネ

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
総額	55,958	14,692	70,650
相殺される金額	-25,344	-2,014	-27,358
貸借対照表計上額	30,614	12,678	43,292

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-14,846	-	-14,846
担保として受領した金融資産	-7,503	-12,669	-20,172
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-22,349	-12,669	-35,018

純額	8,265	-	8,274
----	-------	---	-------

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融負債

総額	53,865	2,014	55,879
相殺される金額	-21,046	-2,014	-23,060
貸借対照表計上額	32,819	-	32,819

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-14,846	-	-14,846
担保として差し入れた金融資産	-13,310	-	-13,310
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-28,156	-	-28,156

純額	4,663	-	4,663
----	-------	---	-------

2019年

百万スウェーデン・クローネ

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
総額	66,877	18,436	85,313
相殺される金額	-25,332	-5,816	-31,148
貸借対照表計上額	41,545	12,620	54,165

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-12,023	-	-12,023
担保として受領した金融資産	-22,340	-12,620	-34,960
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-34,363	-12,620	-46,983

純額	7,182	-	7,182
----	-------	---	-------

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融負債

総額	39,875	5,816	45,691
相殺される金額	-19,233	-5,816	-25,049

貸借対照表計上額	20,642	-	20,642
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-12,023	-	-12,023
担保として差し入れた金融資産	-5,179	-	-5,179
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-17,202	-	-17,202
純額	3,440	-	3,440

デリバティブ商品は、2つ以上の契約の決済における当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。中央清算機関との買戻契約及び売戻契約は、2つ以上の契約の決済における当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。この相殺は、当行が合意したキャッシュ・フローを純額で決済する契約上の権利及び意図の両方を有している場合に行われる。デリバティブ資産について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客からの預金及び借入金による現金担保7,330(7,682)百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。デリバティブ負債について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客への貸出金による現金担保3,032(1,583)百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。

デリバティブの残存カウンターパーティ・リスクは、ネットティング契約を通じて（すなわち、倒産時に同一の取引相手とのすべてのデリバティブ取引における正の価値と負の価値を相殺することによって）軽減されている。ハンデルスバンケンは、カウンターパーティとなるすべての銀行との間でネットティング契約を締結することを方針としている。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対する担保を設定することで補完されている。使用される担保は主に現金であるが、国債も使用される。買戻契約並びに有価証券借入及び貸付契約に関する担保には、通常、現金又は他の有価証券が利用される。

注記G23 無形資産

2020年

百万スウェーデン・クローネ

	のれん	商標及び その他の権利	顧客契約	内部開発 ソフトウェア	その他	合計 2020年
期首現在取得原価	7,007	199	847	4,854	0	12,907
無形資産の取得原価の増加				867	164	1,031
処分及び除却				-135		-135
外貨換算影響額	-185	-11	-46	-56		-298
期末現在取得原価	6,822	188	801	5,530	164	13,505
期首現在償却及び減損累計額	-	-151	-251	-1,320	0	-1,722
処分及び除却	-	-		135		135
当年度の償却		-27	-42	-447	-33	-549
当年度の減損	-	-	-	-82		-82
外貨換算影響額	-	10	16	17		43
期末現在償却及び減損累計額	-	-168	-277	-1,697	-33	-2,175
帳簿価額	6,822	20	524	3,833	131	11,330

2020年度には、1,766 (1,610) 百万スウェーデン・クローネの開発費が費用として計上された。

2019年

百万スウェーデン・クローネ

	のれん	商標及び その他の権利	顧客契約	内部開発 ソフトウェア	合計 2019年
期首現在取得原価	6,922	192	818	3,765	11,697
無形資産の取得原価の増加				1,120	1,120
処分及び除却				-55	-55
外貨換算影響額	85	7	29	24	145
期末現在取得原価	7,007	199	847	4,854	12,907
期首現在償却及び減損累計額	-	-119	-201	-922	-1,242
処分及び除却	-			55	55
当年度の償却	-	-27	-42	-380	-449
当年度の減損	-			-69	-69
外貨換算影響額	-	-5	-8	-4	-17
期末現在償却及び減損累計額	-	-151	-251	-1,320	-1,722

帳簿価額	7,007	48	596	3,534	11,185
------	-------	----	-----	-------	--------

	のれん		耐用年数を確定できない無形資産	
	2020年	2019年	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ				
ハンデルスバンケン、スウェーデン	3,331	3,331	-	-
ハンデルスバンケン、英国	159	175	-	-
ハンデルスバンケン、フィンランド	17	18	-	-
ハンデルスバンケン、デンマーク	2,515	2,608	-	-
ハンデルスバンケン、ノルウェー	630	699	-	-
ハンデルスバンケン、オランダ	160	166	-	-
ハンデルスバンケン、キャピタル・マーケット	10	10	3	3
合計	6,822	7,007	3	3

のれん及び耐用年数を確定できない無形資産に関する減損テスト

認識済みののれんは、主にハンデルスバンケンの拠点市場における伝統的な銀行業務で取得されている。のれん及び耐用年数を確定できない無形資産には、毎年、年次決算にあたり減損テストが実施される。減損テストを実施する際に、のれんが割り当てられている単位の使用価値は、見積将来キャッシュ・フロー及び最終価値を割り引くことによって算定されている。上表ののれんは、事業セグメント間で配分されている。

最初の5年間の見積将来キャッシュ・フローは、リスク加重取引高、収益、費用及び信用損失についての予測に基づいている。この予測は主として、将来の収益及び費用の推移、経済情勢、予想される金利及び予想される将来の規制の影響についての内部評価に基づくものである。最初の5年間経過後、長期成長率の仮定に基づいて予測が行われる。見積キャッシュ・フローは、過去のGDP成長実績及びスウェーデン中央銀行の長期インフレ目標に基づいている。当年度の減損テストは、2(2)%の長期成長率の仮定に基づいている。合計予想.2キャッシュ・フロー期間は20年間である。使用される最終価値は、テスト対象単位の純資産価値の予測である。見積キャッシュ・フローは、リスク・フリー金利及び市場の平均収益要件を加味したリスク調整に基づく金利により割り引かれている。年次減損テストにおいては、税引後の割引率は、6.9(5.2)%であった。税引前の割引率は、8.4(7.7)%であった。

のれんの年次減損テストにおける回収可能額と帳簿価額との差額は、満足できるものとみなされている。算定されたのれんの使用価値は、予想キャッシュ・フロー及び割引率に対して重要ないくつかの異なる変数からの影響を受けやすい。計算において最も重要な変数は、金利、景気循環、将来マージン及び費用削減に関する仮定である。重要な仮定に合理的に起こり得る変化が生じて、のれんの報告額に影響はない。

新型コロナウイルス化繊省に起因する最も重要な仮定に合理的に起こり得る変化は、2パーセント・ポイントの割引率の上昇、又は2パーセント・ポイントの将来の成長率の低下が考えられるが、それにより減損の必要性が生じることはない。

注記G24 不動産及び器具備品

不動産及び器具備品

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
器具備品	869	1,015
不動産	5,361	5,619
債権の保全のために担保権が実行された不動産	2	11
合計	6,232	6,645

債権の保全のために担保権が実行された不動産には、当行グループの債権の保全のために担保権が実行された資産に関する会計方針に従って定期的に公正価値で測定される動産が含まれている。注記G1を参照のこと。定期的に公正価値で測定される不動産の公正価値は、2(11)百万スウェーデン・クローネである。これらの不動産の未実現評価差額により、当期純利益に0(0)百万スウェーデン・クローネの影響が及んだ。民間住宅の評価は、基本的に該当する地域における比較可能な不動産の購入取引に関する市場の観測値に基づいて行われている。商業用不動産の評価は、賃貸料、空室率、運営及び維持費、利回り要件及び金利計算等の仮定を用いた割引将来キャッシュ・フローに基づいて行われている。評価はまた、その不動産の状態、立地及び代替的な利用可能性に基づいて行われている。当行は原則として、商業用及び事務所用ビル並びに工業用不動産を評価する際には公認独立鑑定人を常に使用する。市場の観測値のみに基づく評価2(8)百万スウェーデン・クローネは、注記G1に記載されている評価ヒエラルキーのレベル2に区分されている。独自の仮定を重要といえる程度に使用している評価0(2)百万スウェーデン・クローネは、評価ヒエラルキーのレベル3に区分されている。定期的に公正価値で測定される不動産に関連するレベル3の未実現価値の変動によって、当年度利益に0(0)百万スウェーデン・クローネの影響が及んだ。当年度に売却した定期的に公正価値で測定される不動産の金額は10(47)百万スウェーデン・クローネであり、このうち2(2)百万スウェーデン・クローネは、売却前はレベル3に区分されていた。当年度の新規不動産の増加額は2(2)百万スウェーデン・クローネであり、このうち0(2)百万スウェーデン・クローネはレベル3に区分された。

器具備品

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
期首現在取得原価	2,234	2,242
当年度の取得原価の増加	298	495
処分及び除却	-325	-548
外貨換算影響額	-66	45
期末現在取得原価	2,141	2,234
期首現在減価償却及び減損累計額	-1,285	-1,419
当年度の予定減価償却	-373	-385
処分及び除却	304	536
外貨換算影響額	29	-17
期末現在減価償却及び減損累計額	-1,325	-1,285

帳簿価額

816

949

帳簿価額、使用権資産	53	66
帳簿価額合計	869	1,015
不動産		
百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
期首現在取得原価	2,415	2,360
新規建設及び改築	107	63
処分及び除却	-4	-12
外貨換算影響額	-9	4
期末現在取得原価	2,509	2,415
期首現在減価償却及び減損累計額	-1,046	-1,007
当年度の予定減価償却	-41	-40
処分及び除却	1	2
外貨換算影響額	2	-1
期末現在減価償却及び減損累計額	-1,084	-1,046
帳簿価額	1,425	1,369
帳簿価額、使用権資産	3,936	4,250
帳簿価額合計	5,361	5,619

注記G25 その他資産

	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ		
投資銀行の決済業務に係る債権	3,273	3,050
その他	2,840	3,117
合計	6,113	6,167

注記G26 前払費用及び未収金

	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ		
未収収益	1,460	1,333
前払費用	793	618
合計	2,253	1,951

注記G27 金融機関からの預り金

	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ		
預り金（スウェーデン・クローネ建て）		
銀行	36,933	28,251
その他金融機関	11,265	9,759
合計	48,198	38,010

預り金（外貨建て）

銀行	75,952	109,827
その他金融機関	573	152
合計	76,525	109,979

金融機関からの預り金合計	124,723	147,989
---------------------	----------------	----------------

うち、未払利息費用	2	-73
-----------	---	-----

平均取引高

	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ		
金融機関からの預り金（スウェーデン・クローネ建て）	52,783	52,775
金融機関からの預り金（外貨建て）	172,661	152,056
合計	225,444	204,831

うち、レボ	650	369
-------	-----	-----

注記G28 一般顧客からの預金及び借入金

一般顧客からの預金

百万スウェーデン・クローネ

預金（スウェーデン・クローネ建て）

	2020年	2019年
個人	410,578	376,314
法人	297,529	250,866
国債局	1	-
合計	708,108	627,180

預金（外貨建て）

個人	138,567	142,227
法人	341,362	306,425
国債局	-	-
合計	479,929	448,652

一般顧客からの預金合計

1,188,037 1,075,832

一般顧客からの借入金

百万スウェーデン・クローネ

借入金（スウェーデン・クローネ建て）

	2020年	2019年
借入金（スウェーデン・クローネ建て）	24,677	22,290
借入金（外貨建て）	17,049	19,703
一般顧客からの借入金合計	41,726	41,993

一般顧客からの預金及び借入金合計

1,229,763 1,117,825

うち、未払利息費用

497 521

うち、保険事業

6,863 7,224

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

一般顧客からの預金

	2020年	2019年
一般顧客からの預金（スウェーデン・クローネ建て）	675,329	612,267
一般顧客からの預金（外貨建て）	488,470	439,816
合計	1,163,799	1,052,083

一般顧客からの借入金

借入金（スウェーデン・クローネ建て）	31,257	33,212
借入金（スウェーデン・クローネ建て）、保険事業	7,038	7,389
借入金（外貨建て）	99,934	50,117
合計	138,229	90,718

うち、レボ

6,425

10,976

注記G29 顧客が価値変動リスクを負う負債

	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ		
ユニットリンク及びポートフォリオ社債保険負債	191,035	169,601
その他のファンド負債	6,177	5,387
合計	197,212	174,988

注記G30 発行済証券

	2020年		2019年	
	帳簿価額	額面価格	帳簿価額	額面価格
百万スウェーデン・クローネ				
コマーシャル・ペーパー				
コマーシャル・ペーパー (スウェーデン・クローネ建て)	391	423	2,286	2,254
うち、償却原価で計上			1,480	1,480
うち、純損益を通じて公正価値で計上	391	423	806	774
コマーシャル・ペーパー (外貨建て)	474,804	506,892	499,192	499,283
うち、償却原価で計上	472,980	505,798	496,745	496,889
うち、純損益を通じて公正価値で計上	1,824	1,094	2,447	2,394
合計	475,195	507,315	501,478	501,537
社債				
社債 (スウェーデン・クローネ建て)	478,412	461,154	467,527	445,862
うち、償却原価で計上	478,412	461,154	467,527	445,862
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	22,985	21,850	1,099	1,000
社債 (外貨建て)	357,130	355,947	415,956	415,336
うち、償却原価で計上	357,130	355,947	415,956	415,336
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	92,645	90,578	42,824	43,276
合計	835,542	817,101	883,483	861,198
発行済証券合計	1,310,737	1,324,416	1,384,961	1,362,735
うち、未払利息費用	4,396		6,268	

	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ		
期首現在発行済証券	1,384,961	1,394,647
発行済	944,015	1,025,300
買戻	-72,852	-35,146
満期が到来したもの	-880,712	-1,014,860

外貨換算影響額等	-64,675	15,020
期末現在発行済証券	1,310,737	1,384,961
 平均残高		
百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
スウェーデン・クローネ	494,056	481,504
外貨	908,636	955,401
合計	1,402,692	1,436,905

注記G31 ショートポジション

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
公正価値で計上されるショートポジション		
株式	658	708
利付証券	1,024	1,148
合計	1,682	1,856
 うち、未払利息費用	 5	 9

平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
スウェーデン・クローネ	10,977	13,129
外貨	97	520
合計	11,074	13,649

注記G32 保険負債

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
疾病年金に係る負債	151	154
終身年金に係る負債	224	231
その他未払保険金に係る負債	130	140
前払保険料に係る負債	52	53
合計	557	578

注記G33 税金

繰延税金資産

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
ヘッジ手段	563	327
無形資産	-	1
不動産及び器具備品	14	19
年金	221	202
その他	420	144
合計	1,218	693

繰延税金負債

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
一般顧客への貸出金 ¹	3,212	3,745
ヘッジ手段	1,528	1,386
無形資産	70	159
不動産及び器具備品	111	115
年金	367	105
その他	65	124
合計	5,353	5,634

繰延税金負債純額

4,135 4,941

繰延税金の変動、2020年

百万スウェーデン・クローネ

	期首残高	損益計算書に 計上	その他包括 利益に計上	外貨換算 影響額	期末残高
一般顧客への貸出金 ¹	3,745	-533	-	-	3,212
ヘッジ手段	1,059	-	-94	-	965
無形資産	158	-88	-	-	70
不動産及び器具備品	96	1	-	-	97
年金	-97	-33	267	9	146
その他	-20	-329	-	-6	-355
合計	4,941	-982	173	3	4,135

繰延税金の変動、2019年

百万スウェーデン・クローネ

	期首残高	損益計算書に 計上	その他包括 利益に計上	外貨換算 影響額	期末残高
一般顧客への貸出金 ¹	4,792	-1,047	-	-	3,745
ヘッジ手段	581	-	478	-	1,059
無形資産	164	-7	-	1	158
不動産及び器具備品	99	-3	-	-	96
年金	-930	-78	910	1	-97

その他	36	-56	-	-	-20
合計	4,742	-1,191	1,388	2	4,941

損益計算書に計上された税金費用

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
当期税金		
当期税金費用	-5,514	-6,074
過年度に関する税金の調整	-15	12
繰延税金		
一時差異の変動	1,060	1,191
税率変更による変動	-78	-
合計	-4,547	-4,871

税引前利益に対する税率、21.4 (21.4) %

	-4,309	-4,664
差異	-238	-207

差異の詳細項目

様々な損金不算入費用	-21	-34
劣後ローン利息に係る損金不算入額	-254	-263
保険事業に係る税率の相違	184	173
非課税のキャピタルゲイン及び受取配当	10	23
他国の税率との相違	-102	-132
税率変更による繰延税金の再測定	-78	-
その他	23	26
合計	-238	-207

1) うち、リース資産は3,212(3,745)百万スウェーデン・クローネである。

[次へ](#)

注記G34 引当金

引当金、2020年	オフバランス シート項目に 係る予想信用 損失引当金 ¹	リストラクチャ リングに係る 引当金 ²	その他引当金 ³	合計
百万スウェーデン・クローネ				
期首現在引当金	241	864	36	1,141
当期の引当金繰入		1,370	112	1,482
取崩		-405	-13	-418
戻入			-28	-28
予想信用損失の変動（純額）	125			125
期末現在引当金	366	1,829	107	2,302

引当金、2019年	オフバランス シート項目に 係る予想信用 損失引当金 ¹	リストラクチャ リングに係る 引当金 ²	その他引当金 ³	合計
百万スウェーデン・クローネ				
期首現在引当金	142	-	80	222
当期の引当金繰入		930	15	945
取崩		-66	-42	-108
戻入			-17	-17
予想信用損失の変動（純額）	99			99
期末現在引当金	241	864	36	1,141

1) 詳細は注記G10及びG41を参照のこと。

2) 2020年度には、主にスウェーデンの支店業務のリストラクチャリングに加え、当行の効率性をさらに高めるための作業に関連する費用として、リストラクチャリングに係る引当金が追加で繰り入れられた。2019年度に繰り入れられた同様の引当金は主に、本国市場外の支店の閉鎖、特定の商品分野の販売中止、主に本部ユニットの余剰人員への対応に起因する費用に充てることを意図したものである。引当額の大半は2022年末までに決済されると見込まれる。その他引当金に関しては、時期と金額は不透明で、計画実施に伴い縮小が予想される。

3) 当行の債権の将来の決済のために必要になることが予想される金額は、その他引当金として表示されている。

注記G35 その他負債

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
投資銀行の決済業務に係る負債	4,001	2,904
リース負債	4,008	4,240
その他	5,919	6,894
合計	13,928	14,038

注記G36 未払費用及び繰延収益

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
未払費用	2,179	1,670
繰延収益	1,453	1,683
合計	3,632	3,353

注記G37 劣後負債

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	3,002	3,003
劣後ローン(外貨建て)	38,080	32,543
合計	41,082	35,546

うち、未払利息費用	915	932
-----------	-----	-----

平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	3,009	5,625
劣後ローン(外貨建て)	34,062	32,400
合計	37,071	38,025

劣後ローン、内訳

発行/満期	通貨	各通貨別の 当初名目金額	金利、%	残高
スウェーデン・クローネ建て				
2017/期限付		1,700	0.980%	1,701
2017/期限付		1,300	1.410%	1,301
合計				3,002

外貨建て

2015/永久	米ドル	1,200	5.250%	10,237
2018/期限付	ユーロ	750	1.630%	7,617
2018/期限付	ユーロ	750	1.250%	7,597
2019/永久	米ドル	500	6.250%	4,579
2020/永久	米ドル	500	4.380%	4,058
2020/永久	米ドル	500	4.750%	3,992
合計				38,080

劣後負債合計	41,082
---------------	---------------

劣後ローンに関する情報は、第三の柱に関する報告書を参照のこと。

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
期首現在劣後ローン	35,546	51,085
発行済	8,916	4,654
買戻	-2	-3,179
満期が到来したもの	-	-17,674
外貨換算影響額等	-3,378	660

期末現在劣後ローン

41,082

35,546

注記G38 金融資産及び負債の分類

2020年	純損益を通じて公正価値で 計上されるもの			その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ				
百万スウェーデン・クローネ							
資産							
現金及び中央銀行預け金					397,642	397,642	397,642
中央銀行へのその他の貸出金					21,326	21,326	21,326
中央銀行への担保として適格な利付証 券	3,928	94,024		401	780	99,133	99,133
その他金融機関への貸出金					21,920	21,920	21,918
一般顧客への貸出金					2,269,612	2,269,612	2,281,897
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利 ヘッジ対象の価値変動					25	25	
社債及びその他の利付証券	9,962	26,640		7,964		44,566	44,566
株式	20,245			800		21,045	21,045
顧客が価値変動リスクを負う資産	197,152				60	197,212	197,212
デリバティブ商品	16,834		13,780			30,614	30,614
その他資産	30				6,083	6,113	6,113
合計	248,151	120,664	13,780	9,165	2,717,448	3,109,208	3,121,466
関連会社及びジョイント・ベンチャー に対する投資						386	
非金融資産						25,694	
資産合計						3,135,288	
負債							
金融機関からの預り金					124,723	124,723	125,220
一般顧客からの預金及び借入金					1,229,763	1,229,763	1,229,741
顧客が価値変動リスクを負う負債		197,152			60	197,212	197,212
発行済証券	2,215				1,308,522	1,310,737	1,326,970
デリバティブ商品	23,851		8,968			32,819	32,819
ショートポジション	1,682					1,682	1,682
その他負債	38				13,890	13,928	13,928
劣後負債					41,082	41,082	42,675
合計	27,786	197,152	8,968		2,718,040	2,951,946	2,970,247
非金融負債						11,869	
負債合計						2,963,815	

2019年	純損益を通じて公正価値で 計上されるもの				償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定			
百万スウェーデン・クローネ							
資産							
現金及び中央銀行預け金					327,958	327,958	327,958
中央銀行へのその他の貸出金					19,547	19,547	19,547
中央銀行への担保として適格な利付証 券	3,001	98,959		403	1,024	103,387	103,387
その他金融機関への貸出金					17,939	17,939	17,940
一般顧客への貸出金					2,292,603	2,292,603	2,301,479
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利 ヘッジ対象の価値変動					25	25	
社債及びその他の利付証券	8,642	29,045		4,953		42,640	42,640
株式	19,087			2,303		21,390	21,390
顧客が価値変動リスクを負う資産	174,926				62	174,988	174,988
デリバティブ商品	8,882		32,663			41,545	41,545
その他資産	10				6,157	6,167	6,167
合計	214,548	128,004	32,663	7,659	2,665,315	3,048,189	3,057,041
関連会社に対する投資						285	
非金融資産						21,193	
資産合計						3,069,667	
負債							
金融機関からの預り金					147,989	147,989	148,322
一般顧客からの預金及び借入金					1,117,825	1,117,825	1,117,732
顧客が価値変動リスクを負う負債		174,926			62	174,988	174,988
発行済証券	3,253				1,381,708	1,384,961	1,395,070
デリバティブ商品	18,985		1,657			20,642	20,642
ショートポジション	1,856					1,856	1,856
その他負債	11				14,027	14,038	14,038
劣後負債					35,546	35,546	35,825
合計	24,105	174,926	1,657		2,697,157	2,897,845	2,908,473
非金融負債						11,990	
負債合計						2,909,835	

注記G39 金融商品の公正価値測定

公正価値で計上される金融商品、2020年

百万スウェーデン・クローネ

資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定、強制	3,088	840	-	3,928

純損益を通じて公正価値で測定、公正価値オプション	94,024	-	-	94,024
--------------------------	--------	---	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	401	-	-	401
--------------------	-----	---	---	-----

社債及びその他の利付証券

純損益を通じて公正価値で測定、強制	8,200	1,762	-	9,962
-------------------	-------	-------	---	-------

純損益を通じて公正価値で測定、公正価値オプション	26,640	-	-	26,640
--------------------------	--------	---	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	3,091	4,873	-	7,964
--------------------	-------	-------	---	-------

株式

純損益を通じて公正価値で測定、強制	19,792	417	36	20,245
-------------------	--------	-----	----	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	100	186	514	800
--------------------	-----	-----	-----	-----

顧客が価値変動リスクを負う資産	196,244	434	474	197,152
-----------------	---------	-----	-----	---------

デリバティブ商品	267	30,267	80	30,614
----------	-----	--------	----	--------

合計	351,847	38,779	1,104	391,730
-----------	----------------	---------------	--------------	----------------

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	196,244	434	474	197,152
-----------------	---------	-----	-----	---------

発行済証券	-	2,215	-	2,215
-------	---	-------	---	-------

デリバティブ商品	255	32,484	80	32,819
----------	-----	--------	----	--------

ショートポジション	1,488	194	-	1,682
-----------	-------	-----	---	-------

合計	197,987	35,327	554	233,868
-----------	----------------	---------------	------------	----------------

公正価値で計上される金融商品、2019年

百万スウェーデン・クローネ

資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定、強制	1,452	1,549	-	3,001

純損益を通じて公正価値で測定、公正価値オプション	98,959	-	-	98,959
--------------------------	--------	---	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	403	-	-	403
--------------------	-----	---	---	-----

社債及びその他の利付証券

純損益を通じて公正価値で測定、強制	4,636	4,006	-	8,642
-------------------	-------	-------	---	-------

純損益を通じて公正価値で測定、公正価値オプション	29,045	-	-	29,045
--------------------------	--------	---	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	4,740	213	-	4,953
--------------------	-------	-----	---	-------

株式

純損益を通じて公正価値で測定、強制	17,705	1,326	56	19,087
-------------------	--------	-------	----	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	711	340	1,252	2,303
--------------------	-----	-----	-------	-------

顧客が価値変動リスクを負う資産

	173,609	824	493	174,926
--	---------	-----	-----	---------

デリバティブ商品

	402	41,074	69	41,545
--	-----	--------	----	--------

合計	331,662	49,332	1,870	382,864
----	---------	--------	-------	---------

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債

	173,609	824	493	174,926
--	---------	-----	-----	---------

発行済証券

	-	3,253	-	3,253
--	---	-------	---	-------

デリバティブ商品

	489	20,083	70	20,642
--	-----	--------	----	--------

ショートポジション

	1,708	148	-	1,856
--	-------	-----	---	-------

合計	175,806	24,308	563	200,677
----	---------	--------	-----	---------

評価ヒエラルキー

上表の公正価値で計上される金融商品は、適用された評価方法及び評価時に使用した市場データの透明性の程度に応じて区分されている。その区分は、上表においてレベル1から3で示されている。直接的かつ流動性が高い市場価格で評価される金融商品は、レベル1に区分されている。これらの金融商品は、主に活発に取引されている国債及びその他の利付証券、上場株式及び資産に対応する短期ポジションで構成されている。レベル1にはまた、ミューチュアル・ファンドにおける大部分の株式、ユニットリンク保険契約及び類似契約に関連するその他の資産並びにその資産に対応する負債が含まれている。実質的に市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価される金融商品は、レベル2に区分されている。レベル2には、主に利付証券、金利及び通貨関連デリバティブが含まれている。外部の市場情報を用いて検証することのできないインプット・データが、その価値に重要な影響を及ぼす金融商品は、レベル3に区分される。レベル3には、非上場の株式、プライベート・エクイティ・ファンドに対する特定の保有及び特定のデリバティブが含まれる。

その区分は、貸借対照表日現在で適用された評価方法に基づいて行われている。特定の金融商品の区分が過年度の貸借対照表日（2019年12月31日）から変更された場合には、その金融商品は上表のレベル間で振り替えられている。当年度において、市場活動を新たに評価した結果、一部の金融商品がレベル1とレベル2の間で振り替えられている。資産サイドでは、26百万スウェーデン・クローネ相当のデリバティブがレベル1からレベル2に振り替えられた。また、1,139百万スウェーデン・クローネ相当の利付証券が、レベル2からレベル1に振り替えられた。負債サイドでは、39百万スウェーデン・クローネ相当のデリバティブがレベル1からレベル2に振り替えられた。負債サイドでは、レベル2からレベル1への振替はなかった。2020年度において、新型コロナウイルス感染症のみを理由としたレベル間の振替はなかった。レベル3の減少は、主に当行がユーロクリアの株式を売却したことによるものである。

レベル3の保有商品は、主に非上場の株式で構成されている。当行グループが保有している非上場株式は、主に当行に対して業務支援を行っている会社に対する当行の参加持分で構成されている。例えば、これらは清算機関に対する参加持分の場合もあれば、ハンデルスバンケンの拠点市場におけるインフラ関連の協業に対する参加持分の場合もある。それらの持分は、一般に当該会社における純資産価値に占める当行の持分、あるいは当該会社に関する最終取引価格で評価される。非上場株式はすべての重要な点から見て、その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものに分類されている。したがって、これらのポートフォリオの価値変動は、その他包括利益に計上されている。

プライベート・エクイティ・ファンドに対する特定の保有はレベル3に分類されている。これらは主に、同一業種の比較可能な上場企業の相対的評価を基礎とする評価モデルを使用して評価されている。比較に使用される業績の測定は、当該投資との比較のために利用される会社との比較を歪める要因について調整された後、収益乗数（例：株価収益率）に基づいて評価される。これらのポートフォリオの大部分は、当行グループの保険事業における投資資産に関するものである。投資資産の価値変動は、保険事業における利回り分割の計算基礎に含められているため、損益計算書に直接計上されない。

当行が発行した特定の仕組債券におけるデリバティブ部分及び関連するヘッジ目的デリバティブは、レベル3に分類された。これらのデリバティブでは、社内の見積りが公正価値の算定に大きな影響を与える。レベル3のヘッジ目的デリバティブは、当行の取引相手との間で市場価値が日次で検証され確認されるクレジット・サポート・アネックス契約（CSA）に基づいて取引される。

損益計算書に計上された当年度のレベル3における金融商品の実現評価差額は、8(30)百万スウェーデン・クローネである。このうち全額が保険事業における利回り分割の計算に含められている。

取引価格と評価モデルを用いて算出された価値との差額

注記G1の会計方針に記載されているとおり、デリバティブ評価にモデルを適用する場合、当初認識時の評価と取引価格との間の重要な正の差額（取引日利得/損失）がデリバティブの契約期間にわたって償却されている。取引価格と評価モデルによって測定された価値との正の差額から生じた未実現額（取引日利得/損失）は、当行の利鞘のほか、資本コストや管理費用などの対価から構成されている。この原則を適用した結果、当年度において171(154)百万スウェーデン・クローネが金融取引による純損益に認識され、うち87百万スウェーデン・クローネは、カウンターパーティ・リスク(CVA)を報告する新たな手法への移行措置に伴い、未認識の取引日利得/損失を戻し入れたことによるものであった（注記G1「会計方針」を参照）。

当年度末現在、未認識の取引日利得/損失は、538(630)百万スウェーデン・クローネであった。2019年12月31日現在の未認識の取引日利得/損失はCVAに起因する要素を含んでいたが、前述の通り、CVAを報告する新たな手法への移行に伴い、第1四半期にこの金額は戻し入れられている。

レベル3の保有金融商品の変動、2020年

	株式	デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値変動 リスクを 負う資産	顧客が価値変動 リスクを 負う負債
百万スウェーデン・クローネ					
期首現在帳簿価額	1,308	69	-70	493	-493
取得	6	9	-13	-	-
買戻 / 売却	-704	-	5	-	-
満期を迎えたもの	-	-	-	-	-
未実現価値変動（損益計算書に計上）	-22	-16	16	-19	19
未実現価値変動（その他包括利益に計上）	-38	-	-	-	-
手法変更	-	-	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	17	-17	-	-
レベル1又は2への振替	-	1	-1	-	-
期末現在帳簿価額	550	80	-80	474	-474

レベル3の保有金融商品の変動、2019年

	株式	デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値変動 リスクを 負う資産	顧客が価値変動 リスクを 負う負債
百万スウェーデン・クローネ					
期首現在帳簿価額	1,135	-176	176	484	-484
取得	74	-	1	-	-
買戻 / 売却	-33	2	-	-	-
満期を迎えたもの	-	-	-	-	-
未実現価値変動（損益計算書に計上）	-17	-13	10	9	-9
未実現価値変動（その他包括利益に計上）	149	-	-	-	-
手法変更	-	352	-352	-	-
レベル1又は2からの振替	-	4	-4	-	-
レベル1又は2への振替	-	-100	99	-	-
期末現在帳簿価額	1,308	69	-70	493	-493

償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報についての原則

償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報は、注記G38及び以下の表に記載されている。これらの金融商品は、基本的に貸出金、預金及び借入金で構成されている。決済手段及び短期の債権債務の帳簿価額は、これらの項目の公正価値の妥当な推定値とみなされている。満期日又は次回の金利更改日が30日以内に到来する債権債務は、短期項目と定義されている。

固定金利の貸出金の評価は、市場で想定される信用リスク及び流動性リスクに関するプレミアムを調整した最新の市場金利を基礎としている。このプレミアムは、測定時における新規貸出の平均マージンに等しいと仮定されている。利付証券は、入手可能な最新の市場価格で評価されている。市場価格に関する情報が入手不能な資金調達及び利付証券は、類似金融商品の価格又は金利等の市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価されている。

以下の表における償却原価で計上される金融商品の公正価値情報で使用された評価は、上述の評価ヒエラルキーで区分されている。決済手段及び預金は、現金同等物とみなされており、レベル1に区分されている。レベル1には、最新の市場価格がある利付証券（資産及び負債）も含まれている。信用及び流動性プレミアムに関する仮定が公正価値情報に重大な影響を及ぼす貸出金は、レベル3に区分されている。その他の金融商品は、レベル2に区分されている。

償却原価で計上される金融商品の公正価値、

2020年

百万スウェーデン・クローネ

資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金及び中央銀行預け金	397,642	-	-	397,642
中央銀行へのその他の貸出金	21,326	-	-	21,326
中央銀行への担保として適格な利付証券	727	53	-	780
その他金融機関への貸出金	13,259	8,071	588	21,918
一般顧客への貸出金	4,254	2,045	2,275,598	2,281,897
顧客が価値変動リスクを負う資産	-	60	-	60
合計	437,208	10,229	2,276,186	2,723,623

負債

金融機関からの預り金	38,870	86,350	-	125,220
一般顧客からの預金及び借入金	1,202,742	26,999	-	1,229,741
顧客が価値変動リスクを負う負債	-	60	-	60
発行済証券	737,828	586,927	-	1,324,755
劣後負債	-	42,675	-	42,675
合計	1,979,440	743,011	-	2,722,451

償却原価で計上される金融商品の公正価値、

2019年

百万スウェーデン・クローネ

資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
--	------	------	------	----

現金及び中央銀行預け金	327,958	-	-	327,958
中央銀行へのその他の貸出金	19,359	188	-	19,547
中央銀行への担保として適格な利付証券	549	475	-	1,024
その他金融機関への貸出金	5,643	12,239	58	17,940
一般顧客への貸出金	4,871	121,759	2,174,849	2,301,479
顧客が価値変動リスクを負う資産	-	62	-	62
合計	358,380	134,723	2,174,907	2,668,010

負債

金融機関からの預り金	47,519	100,803	-	148,322
一般顧客からの預金及び借入金	1,087,501	30,231	-	1,117,732
顧客が価値変動リスクを負う負債	-	62	-	62
発行済証券	840,701	551,116	-	1,391,817
劣後負債	-	35,825	-	35,825
合計	1,975,721	718,037	-	2,693,758

注記G40 担保として差し入れた資産、受け入れた担保及び譲渡された金融資産**自己の債務の担保として差し入れた資産**

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
現金	28,157	18,399
国債及び社債	2,398	7,526
一般顧客への貸出金	661,950	670,012
株式	6,680	7,006
顧客が価値変動リスクを負う資産	193,198	169,675
その他	5,524	5,839
合計	897,907	878,457

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産 28 38

その他担保資産

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
現金	1,298	1,223
国債及び社債	40,844	41,761
一般顧客への貸出金	-	-
株式	6,285	6,760
その他	3	-
合計	48,430	49,744

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産 37,504 39,110

その他担保資産は、貸借対照表に報告されていない債務に対して差し入れた担保のことである。

担保資産

担保資産は貸借対照表上、資産として計上される。担保として差し入れた利付証券は、主に支払制度、トレーディング及び決済のための担保として中央銀行及びその他金融機関へ差し入れられた有価証券、並びに拘束力のある買戻契約（レポ）に基づいて売却された有価証券で構成されている。担保として差し入れた株式は、主に貸付有価証券及び保険事業における株式より構成される。

担保として差し入れた一般顧客への貸出金は、主にスタッドフィポテックが発行したカバード・ボンド保有者のために登記された担保より構成されている。当該担保は、主に一世帯向け住宅、セカンド・ハウス、多世帯住居又は住宅共同組合アパートメントの住宅ローンで融資された貸出金より構成されており、不動産価値に対する融資比率は、市場価値の75%以内となっている。会社が破綻した際には、カバード・ボンド法及び優先権法に従ってカバード・ボンドの所有者が担保資産の優先権をもつ。破産決定時に担保として差し入れたすべての資産が当該優先権法の条件を満たす場合、これらは、破産財団のその他資産及び負債とは別個に保持される。その後、当該ボンドの保有者は、引き続きボンドの契約条件に基づいた支払を満期まで受け取ることになる。

顧客が価値変動リスクを負う資産は、主にハンデルスバンケン・リヴの保険契約者が優先権を有するユニットリンク保険契約のユニットより構成される。

受け入れた担保

受け入れた担保は貸借対照表に計上されない。売戻契約及びエクイティ・ローンについて、担保は、第三者に売却又は再担保として差し入れ可能な有価証券の形態で受領している。売戻契約及びエクイティ・ローン契約に基づいて受け入れた担保の公正価値は、事業年度末現在において、23,451(28,530)百万スウェーデン・クローネで、第三者に売却又は再担保として差し入れられた担保の価値は、8,400(8,761)百万スウェーデン・クローネであった。貸出金に関して受け入れた担保及びその他の受け入れた担保に関する情報については、注記G2に示されている。

貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産

譲渡金融資産は貸借対照表上資産として認識されているものの、将来キャッシュ・フローに関する権利が直接又は間接的に外部のカウンターパーティに譲渡されている。貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産の大部分は、利付証券より構成されており、拘束力のある買戻契約に基づいて売却したもの又は貸付有価証券である。通常、拘束力のある買戻契約又はエクイティ・ローンの条件は、当行と各カウンターパーティとの間の基本契約において規定されている。

拘束力のある買戻契約は、将来の予め設定した時期に固定価格で有価証券を買い戻すことを前提として有価証券を売却することを意味している。したがって、有価証券の売り手は、契約期間中、価値変動のリスクにさらされることとなる。買戻契約に基づいて売却された有価証券は、契約期間を通じて、貸借対照表上に市場価格で計上される。受領した代価は、カウンターパーティに対する負債として計上される。買戻契約の標準的な条件に従って、売却された有価証券の所有権はすべて売り手から買い手に譲渡される。これは、買い手が購入した有価証券の売却、再担保又は処分の権利を有していることを意味している。

エクイティ・ローンの標準的な契約に従って、貸付有価証券の価値変動に対するエクスポージャーは、貸手にある。したがって、貸付有価証券は、貸付期間を通じて貸借対照表に計上される。貸付有価証券の担保は、通常、現金又はその他の有価証券の形態をとっている。受け入れた現金担保は、貸借対照表上に負債として計上される。買戻契約と同様に、エクイティ・ローンで用いられる標準契約により、借り手は貸付期間中に借り入れた有価証券を売却、再担保又は処分する権利を有することになる。

有価証券トレーディング、決済等の目的で担保として差し入れた国債、社債及び株式は、その権利がカウンターパーティに譲渡される場合、その他譲渡金融資産として計上されている。譲渡金融資産にはまた、顧客が価値変動リスクを負う特定の資産も含まれている。これらの資産は、当行が正式な所有権を有しているものの、資産に関連するリスクも将来キャッシュ・フローに関する権利も第三者に譲渡された金融商品ポートフォリオから構成されている。これらの資産の評価は、対応する負債項目の評価を反映している。

貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産 百万スウェーデン・クローネ	2020年		2019年	
	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額
株式、証券貸付	6,526	306 ¹	7,051	342 ¹
株式、その他	-	-	-	-
国債及び社債、買戻契約	386	-	5,811	-
国債及び社債、その他	1,108	-	549	-
顧客が価値変動リスクを負う資産	538	538	561	561
合計	8,558	844	13,972	903

1) 現金で受領した担保

注記G41 偶発債務

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
偶発債務		
保証、貸出金	9,802	11,936
保証、その他	67,156	77,089
取消不能信用状	2,299	4,301
その他	638	1,860
合計	79,895	95,186
うち、減損テストの対象となるもの	79,895	95,186

コミットメント

ローン・コミットメント	331,230	303,491
当座貸越枠の未使用部分	118,066	120,947
その他	14,128	15,229
合計	463,424	439,667
うち、減損テストの対象となるもの	322,547	313,990

偶発債務合計	543,319	534,853
引当金として計上される予想信用損失引当金（注記G34参照）	366	241

偶発債務

偶発債務は、主に様々な種類の保証で構成されている。信用保証は、他の信用機関及び年金機関による出資を保証するために顧客に提供される。その他の保証は主として、入札保証金、前払金に関する保証、保証期間中の保証、輸出関連の保証等の商業保証である。偶発債務には、未使用の取消不能輸入信用状及び確認輸出信用状も含まれる。これらの取引は当行のサービスに含まれるもので、当行の顧客を支援するために提供されている。この表には保証額が示されている。

請求

当行グループ内の会社は、多くの民事裁判において一般法による請求を受けている。これらの裁判は、基本的に当行に有利に解決されると見込まれている。係争金額は当行グループの財政状態にも損益にも大きな影響を及ぼさないと評価されている。

注記G42 リース

貸手としてのハンデルスバンケン

ファイナンス・リース

百万スウェーデン・クローネ

投資純額からの金融収益

変動リース料

合計

	2020年	2019年
	287	468
	165	124
	452	592

満期別及び投資純額別、割引前リース債権の内訳

百万スウェーデン・クローネ

1年以内

1年超2年以内

2年超3年以内

3年超4年以内

4年超5年以内

5年超

割引前リース債権合計

前受金融収益

投資純額

	2020年	2019年
	3,462	3,889
	5,202	5,107
	4,606	6,119
	3,731	3,874
	2,521	4,074
	3,088	5,018
	22,610	28,081
	-330	-466
	22,280	27,615

当行グループが貸手であるすべてのリースは、ファイナンス・リースとして定義されている。この種類のリース契約は、貸借対照表上、当初は投資純額に相当する額が貸出金として計上される。前年度からの変更は、主に業務の縮小に起因するリース残高の減少(-5十億スウェーデン・クローネ)によるものである。リース資産は主に車両及び機械から構成される。すべてのリースは残存価値が保証されている。当年度末において、当行グループのリース・エクスポージャーのうち、個別の帳簿価額が1十億スウェーデン・クローネを超えるものは3件であった。

借手としてのハンデルスバンケン

損益計算書項目

百万スウェーデン・クローネ

リース負債の利息費用

合計¹

2020年	2019年
-73	-75
-73	-75

使用権資産の減価償却費及び減損損失

不動産

器具備品

合計²

-844	-708
-18	-17
-862	-725

短期リース費用

低額リース費用

リース負債の算定に含まれていない変動リース料

合計³

-39	-49
-15	-17
-102	-98
-156	-163

貸借対照表項目

百万スウェーデン・クローネ

使用権資産⁴

不動産

器具備品

合計

2020年	2019年
3,936	4,250
53	66
3,989	4,316

新規使用権資産⁵リース負債⁶

リースのキャッシュ・アウトフロー総額

321	524
4,008	4,240
-946	-917

1) 損益計算書項目の利息費用に含まれている。

2) 損益計算書項目の不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失に含まれており、うち-107(-)百万スウェーデン・クローネが減損損失である。

3) 損益計算書項目のその他費用に含まれている。

4) 使用権資産は貸借対照表項目の不動産及び器具備品に含まれている。

5) 当年度の新規リース契約は使用権資産に含まれている。

6) リース負債は貸借対照表項目のその他負債に含まれている。

リース負債に係る満期までの期間

百万スウェーデン・クローネ

6カ月以内

6カ月超1年以内

1年超2年以内

2年超5年以内

2020年	2019年
375	395
366	384
694	716
1,644	1,692

5年超	1,151	1,304
合計	4,230	4,491

当行のリース契約は主に建物設備の賃借契約によるものである。このような契約を除き、その他のリース契約は主に多機能プリンター、PC及びその他の事務所設備である。

建物設備の賃借契約期間の大半は3年から10年である。当行の建物設備の賃借契約の中には契約期間延長に関するオプションが含まれているものがあり、特定の時点までに契約が解消されない限り、当該契約は特定期間延長される。また、当行が契約期間満了前に契約を解消できるオプションを含む建物設備の賃借契約もある。リース期間を決定するにあたり、契約期間の延長又は契約期間満了前の契約解消のオプションは、これらのオプションが行使される可能性が高い場合に限りリース期間に含められる。

当行は期間が12カ月以内のリース契約及び原資産が低額なリース契約を締結している。これらのリース契約はIFRS第16号「リース」の免除規定に従い費用として認識されるため、リース負債にも使用権資産にも含まれない。

注記G43 セグメント報告

セグメント報告	拠点市場							調整及び 消去		合計
2020年 百万スウェーデン・ クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィン ランド	オランダ	キャピタ ル・マー ケッツ	その他		
純利息収益	18,166	5,683	3,481	1,612	1,403	908	355	-2		31,606
純手数料及びコミッショ ン収益	7,143	713	504	624	683	125	1,003	-9		10,786
金融取引による純損益	461	176	57	123	-24	25	1,037	-418		1,437
保険リスク							195			195
関連会社及びジョイン ト・ベンチャーの持分 利益								18		18
その他の収益	33	1	32	8	10	2	23	97		206
収益合計	25,803	6,573	4,074	2,367	2,072	1,060	2,613	-314		44,248
人件費	-3,657	-2,465	-822	-790	-448	-395	-1,927	-4,699	-140	-15,343
その他費用	-877	-864	-203	-144	-212	-146	-750	-2,889		-6,085
内部購入及び売却された サービス	-4,662	-761	-509	-459	-519	-143	341	6,712		
不動産及び器具備品並び に 無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-321	-267	-88	-49	-66	-56	-123	-936		-1,906
費用合計	-9,517	-4,357	-1,622	-1,442	-1,245	-740	-2,459	-1,812	-140	-23,334
信用損失控除前利益	16,286	2,216	2,452	925	827	320	154	-2,126	-140	20,914
正味信用損失	-177	-119	-270	-32	-193	-4	11	3		-781
不動産及び器具備品並び に 無形資産の処分損益	8	-7	7	2	-1	0	-3	-4		2
営業利益	16,117	2,090	2,189	895	633	316	162	-2,127	-140	20,135
利益配分	332	49	40	12	27	5	-465			
利益配分後の営業利益	16,449	2,139	2,229	907	660	321	-303	-2,127	-140	20,135
内部収益 ¹	93	-1,193	-2,420	-210	-192	-387	-1,565	5,874		
C/I比率、%	36.4	65.8	39.4	60.6	59.3	69.5	114.5			52.7

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)

有価証券報告書

信用損失実績率、%	0.01	0.04	0.10	0.01	0.11	0.01	-0.01	-4.23	0.03	
資産	2,060,831	428,208	269,129	124,276	236,555	81,723	335,443	2,350,662	-2,751,539	3,135,288
負債	1,964,418	408,902	249,143	117,013	228,827	79,111	329,600	2,350,662	-2,763,861	2,963,815
割当済資本	96,413	19,306	19,986	7,263	7,728	2,612	5,843		12,322	171,473
割当済資本に係る利益率、%	14.0	8.9	8.8	9.8	6.7	10.0	-3.9			10.0
当年度の非金融固定資産への投資	242	119	6	2	133	7	181	746	0	1,436
当年度の関連会社及びジョイント・ベンチャーへの投資								96		96
平均従業員数	3,947	2,462	709	589	506	329	1,122	2,899		12,563

- 1) 収益総額に含まれている内部収益は、他の事業セグメント及び「その他」との取引によって生じた収益より構成されている。利息収益及び利息費用は、収益として純額で計上されていることから、内部収益には、セグメント及び「その他」との間の内部資金調達費用が純額で含まれることを意味する。

セグメント報告	拠点市場									
2019年 百万スウェーデン・ クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィン ランド	オランダ	キャピタル・ マー ケッツ	その他	調整及び 消去	合計
純利息収益	17,505	6,029	3,957	1,666	1,386	800	437	355		32,135
純手数料及びコミッション収益	6,739	777	546	600	754	151	1,135	-5		10,697
金融取引による純損益	486	222	63	98	46	37	1,045	-698		1,299
保険リスク							145			145
関連会社の持分利益								32		32
その他の収益	52	1	9	8	17	-2	16	155		256
収益合計	24,782	7,029	4,575	2,372	2,203	986	2,778	-161		44,564
人件費	-3,576	-2,384	-884	-768	-446	-400	-2,020	-2,837	-234	-13,549
その他費用	-915	-962	-190	-140	-193	-86	-775	-3,263		-6,524
内部購入及び売却されたサービス	-4,436	-758	-493	-427	-441	-142	150	6,547		
不動産及び器具備品並びに 無形資産の減価償却 費、 償却費及び減損損失	-297	-246	-94	-49	-70	-55	-118	-741		-1,670
費用合計	-9,224	-4,350	-1,661	-1,384	-1,150	-683	-2,763	-294	-234	-21,743
信用損失控除前利益	15,558	2,679	2,914	988	1,053	303	15	-455	-234	22,821
正味信用損失	-1,069	10	-99	3	103	-3	9	1		-1,045
不動産及び器具備品並びに 無形資産の処分損益	6	1	6	6	-1	0	0	2		20
営業利益	14,495	2,690	2,821	997	1,155	300	24	-452	-234	21,796
利益配分	317	42	43	12	35	2	-451			
利益配分後の営業利益	14,812	2,732	2,864	1,009	1,190	302	-427	-452	-234	21,796
内部収益 ¹	134	-1,549	-3,596	-240	-185	-366	-2,515	8,317		
C/I比率、%	36.8	61.5	36.0	58.1	51.4	69.1	118.7			48.8
信用損失実績率、%	0.08	-0.01	0.02	-0.01	-0.09	0.01	-0.02	-0.17		0.04
資産	1,921,625	444,290	285,043	131,170	212,525	71,342	314,164	2,257,922	-2,568,414	3,069,667

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
有価証券報告書

負債	1,835,946	426,997	264,762	124,060	205,044	69,144	307,972	2,257,922	-2,582,012	2,909,835
割当済資本	85,679	17,293	20,281	7,110	7,481	2,198	6,192		13,598	159,832
割当済資本に係る利益率、%	13.8	13.3	12.0	12.0	13.3	11.8	-6.4			11.9
当年度の非金融固定資産への投資	199	208	48	1	81	6	234	901		1,678
当年度の関連会社への投資								-		-
平均従業員数	4,027	2,361	699	600	506	317	1,223	2,815		12,548

1) 2020年第1四半期に組織再編成が行われ、ファンド運用グループの金融商品、通貨及び商品に係る所管とビジネスサポート業務がグループ・プロダクツ・アンド・サービスからハンデルスバンケン・キャピタルマーケットに移管された。グループ・プロダクツ・アンド・サービスの残りの業務は、同時に他の業務部門からハンデルスバンケン・スウェーデンの事業セグメントに移管された。また、2020年第1四半期に、キャピタル・マーケットから支店業務が受け取るミューチャル・ファンド及び保険に係るコミッションは、従前はセグメント報告の利益配分の項目に純額で計上されていたが、純手数料及びコミッション収益ならびに内部購入及び売却されたサービスの項目において総額で計上されることが決定された。したがって、表の比較数値は再計算されている。

事業セグメントは、IFRS第8号「事業セグメント」に準拠して認識されている。これは、セグメント情報がコーポレート・ガバナンスの一環として内部的に採用される方法と類似した方法で表示されていることを意味する。ハンデルスバンケンの事業は、以下のセグメントに区分して表示されており、これらは、スウェーデン、英国、ノルウェー、デンマーク、フィンランド、オランダ及びキャピタル・マーケットである。ユニバーサル・バンキング業務を提供しているハンデルスバンケンの支店業務は、2020年に14の地域銀行に分割された。これらのうち5行はスウェーデンにあり、9行はスウェーデン国外にある。各地域銀行は、地域銀行の支店長のもとで業務を行い、独立した収益部門として監視されている。キャピタル・マーケット・セグメントは、有価証券売買及び投資アドバイザリーサービスを含む、ハンデルスバンケンの投資銀行である。その事業にはまた、資産運用、保険事業及び拠点市場以外の当行の国際事業も含まれる。

セグメントに関する利益／損失は、内部利益の配分前と配分後の両方について報告されている。内部利益の配分において、当行と顧客との取引によって生じた利益は、取引の実施セグメントにかかわらず、すべてその顧客を担当するユニットに配分される。ただし、内部サービスに関する収益及び費用は、別個の項目である「内部購入及び売却されたサービス」に純額で報告される。セグメント間取引は、主として原価基準で報告される。その他並びに調整及び消去の欄は、特定のセグメントに属さない項目又は当行グループ・レベルで消去されている項目を示している。その他には、トレジャリー及び中央部門が含まれ、同時にオクトゴーネン利益分配制度への引当に起因する取引も含まれている。調整及び消去の欄には、人件費に対する調整が含まれている。人件費に対する調整は、IAS第19号「従業員給付」に従って計算される当行グループの年金費用と現地で算定された年金費用を含んでいる。

内部収益は、主に内部利息及びコミッションより構成されている。セグメントの損益計算書には、内部サービスの提供に対する支払といった内部項目も含まれている。内部付替えは、主に原価法に従っている。

支店業務においては、資産は主に一般顧客への貸出金より構成され、負債は一般顧客からの預金並びに内部借入より構成されている。キャピタル・マーケット・セグメントにおいては、資産は主に資産運用及び保険事業において管理されている有価証券より構成される。「その他」の欄に含まれている資産は、主に様々なセグメントへの内部貸付であるが、「その他」の欄に含まれている負債は、主に外部借入である。各セグメントに関する割当済資本は、内部の財務管理モデルによる資本割当と同様のものである。

商品分野別の収益

百万スウェーデン・クローネ

2020年

2019年

個人からの預金及び個人への貸出金	15,944	15,725
法人からの預金及び法人への貸出金	17,394	17,784
決済事業、純額	1,688	2,025
資産運用	5,411	5,036
年金及び保険	858	854
投資銀行	1,679	1,201
その他の事業	1,274	1,939
合計	44,248	44,564

注記G44 地域別情報

地域別情報、2020年

百万スウェーデン・クローネ

	収益	営業利益	法人税等	資産
スウェーデン	27,858	14,522	-3,747	2,685,867
英国	6,318	1,926	-487	352,299
ノルウェー	3,844	1,991	-470	314,086
デンマーク	2,310	695	-165	139,552
フィンランド	2,173	748	-178	268,118
オランダ	1,088	309	-75	76,657
米国	206	66	-2	219,199
ルクセンブルク	184	80	-8	38,252
中国	107	11	0	1,443
ドイツ	85	-136	4	8,869
フランス	61	30	-4	3,859
シンガポール	9	-14	0	774
ポーランド	4	-76	-2	523
エストニア	0	-13	-	-
ラトビア	1	-2	-	-
リトアニア	0	-2	-	-
内部消去	-	-	587	-974,210
グループ	44,248	20,135	-4,547	3,135,288

地域別情報に表示されている収益、営業利益及び資産は、各国における内部・外部収益、費用及び資産より構成されている。地域別収益及び費用配分は取引実施国に基づいているため、報告されたセグメント情報と比較することはできない。法人税等には当期税金及び繰延税金が含まれる。子会社及び関連会社の本拠地については注記P16に、国別平均従業員数については注記G8に、追加の地域別情報が記載されている。

地域別情報、2019年

百万スウェーデン・クローネ

	収益	営業利益	法人税等	資産
スウェーデン	26,621	13,886	-4,078	2,612,909
英国	7,185	3,074	-830	360,677
ノルウェー	4,336	2,646	-615	316,359
デンマーク	2,312	849	-165	143,762
フィンランド	2,214	1,143	-201	262,504
オランダ	1,022	326	-74	66,371
米国	288	43	-20	340,105
ルクセンブルク	192	80	-20	43,596
中国	123	-84	-11	5,300
ドイツ	100	-15	-10	14,011
フランス	64	31	-5	4,002
シンガポール	49	-85	3	6,444

ポーランド	40	-57	-	1,118
エストニア	12	-14	-	215
ラトビア	4	-13	-	482
リトアニア	2	-14	-	45
内部消去	-	-	1,155	-1,108,233
グループ	44,564	21,796	-4,871	3,069,667

注記G45 通貨別資産及び負債

2020年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・ クローネ	ユーロ	ノルウェー・ クローネ	デンマーク・ クローネ	英ポンド	米ドル	その他の通貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	84,525	128,206	18,025	212	100,280	65,480	914	397,642
中央銀行へのその他の貸出金	-	-	2,862	17,371	1,093	-	0	21,326
その他金融機関への貸出金	2,083	10,886	1,280	294	1,394	4,534	1,449	21,920
一般顧客への貸出金	1,418,660	239,227	259,469	97,781	236,368	15,441	2,666	2,269,612
うち、法人	506,541	151,899	161,117	34,499	161,817	15,273	1,125	1,032,271
うち、個人	912,119	87,328	98,352	63,282	74,551	168	1,541	1,237,341
中央銀行への担保として適格な 利付証券	89,688	5,457	839	19	-	2,368	762	99,133
社債及びその他の利付証券	33,813	1,420	7,285	16	0	2,032	-	44,566
その他項目(通貨別内訳なし)	281,089							281,089
資産合計	1,909,858	385,196	289,760	115,693	339,135	89,855	5,791	3,135,288
負債								
金融機関からの預り金	48,198	36,846	20,498	229	5,087	13,396	469	124,723
一般顧客からの預金及び借入金	732,785	132,828	83,757	47,247	208,449	22,651	2,046	1,229,763
うち、法人	310,737	106,377	58,415	24,285	149,183	18,513	1,365	668,875
うち、個人	422,048	26,451	25,342	22,962	59,266	4,138	681	560,888
発行済証券	478,803	390,814	24,709	104	68,531	331,087	16,689	1,310,737
劣後負債	3,002	15,213	-	-	0	22,867	-	41,082
その他項目(通貨別内訳なし、資 本含む)	428,983							428,983
負債及び資本合計	1,691,771	575,701	128,964	47,580	282,067	390,001	19,204	3,135,288
通貨別その他資産及び負債、正 味		190,618	-160,732	-68,039	-56,983	300,144	13,444	
正味外貨ポジション		113	64	74	85	-2	31	365

注記G2に、為替リスクに関する当行の見解が記載されている。

2019年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・ クローネ	ユーロ	ノルウェー・ クローネ	デンマーク・ クローネ	英ポンド	米ドル	その他の通貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	46,552	114,477	22,096	291	85,069	58,039	1,434	327,958
中央銀行へのその他の貸出金	13	182	2,868	15,484	1,000	-	0	19,547
その他金融機関への貸出金	2,260	5,569	440	366	1,046	7,028	1,230	17,939
一般顧客への貸出金	1,372,132	243,507	280,110	104,095	267,214	20,803	4,742	2,292,603
うち、法人	499,072	157,535	176,218	38,050	181,116	20,588	2,832	1,075,411
うち、個人	873,060	85,972	103,892	66,045	86,098	215	1,910	1,217,192
中央銀行への担保として適格な 利付証券	91,603	8,256	1,144	20	-	1,358	1,006	103,387
社債及びその他の利付証券	32,612	2,032	4,112	12	0	3,872	-	42,640
その他項目(通貨別内訳なし)	265,593							265,593
資産合計	1,810,765	374,023	310,770	120,268	354,329	91,100	8,412	3,069,667
負債								
金融機関からの預り金	38,010	89,030	5,384	4,119	2,527	8,428	491	147,989
一般顧客からの預金及び借入金	649,470	121,251	74,402	50,035	196,003	21,310	5,354	1,117,825

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)

有価証券報告書

うち、法人	260,874	96,867	50,526	27,568	128,848	17,161	4,781	586,625
うち、個人	388,596	24,384	23,876	22,467	67,155	4,149	573	531,200
発行済証券	469,814	345,368	25,878	100	68,584	451,930	23,287	1,384,961
劣後負債	3,003	15,829	-	-	19	16,697	-2	35,546
その他項目(通貨別内訳なし、資本含む)	383,346							383,346
負債及び資本合計	1,543,643	571,478	105,664	54,254	267,133	498,365	29,130	3,069,667
通貨別その他資産及び負債、正味		197,540	-204,941	-65,918	-87,015	407,292	20,776	
正味外貨ポジション		85	165	96	181	27	58	612

注記G46 非連結の組成された事業体における持分

百万スウェーデン・クローネ	保有ファンド	
	2020年	2019年
資産		
持分	6,543	6,825
顧客が価値変動リスクを負う資産	177,754	155,912
非連結の組成された事業体における持分合計	184,297	162,737

組成された事業体は、議決権又は同様の権利が、その事業体を支配している企業を判定する上で決め手となる要因ではないとされている事業体のことである。例えば、議決権が管理業務にしか関連しない場合や関連活動が契約上の取決めによって制限される場合などがある。非連結の組成された事業体におけるハンデルスバンケンの持分は限定されており、ファンド持分より構成されている。ファンドは、ハンデルスバンケン・リヴにおける主にユニットリンク保険契約、及び他社との類似の契約を通じて所有されている。ユニットリンク契約を通じたファンドへの投資が連結されることはないため、これらのファンドは非連結の組成された事業体となる（注記G1を参照のこと。）。ハンデルスバンケンはまた、マーケット・メーカーとしての役割を果たしながら、複数のファンドの持分を所有している。こうした所有が連結されない場合は、非連結事業体に対する持分となる。非連結の組成された事業体におけるすべての持分の損失に対する最大エクスポージャーは、その持分の現在の帳簿価額である。これらの事業体の資産合計は、関連リスクを理解する上では重要とみなされないため、表示されていない。

[次へ](#)

注記G47 関連当事者に関する開示

関連当事者に対する債権及び債務	関連会社		その他関連当事者	
	2020年	2019年	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ				
一般顧客への貸出金	493	591	-	-
その他資産	32	-	560	6
合計	525	591	560	6
一般顧客からの預金及び借入金	116	72	853	724
劣後負債	-	-	-	-
その他負債	-	-	-	11
合計	116	72	853	735
関連当事者 - 収益及び費用	関連会社		その他関連当事者	
	2020年	2019年	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ				
利息収益	9	7	-	0
利息費用	0	0	-	-16
手数料及びコミッション収益	-	0	-	-
手数料及びコミッション費用	-216	-65	-	-37
公正価値で評価される金融項目からの純損益	0	0	-	-
その他収益	0	0	19	18
その他費用	-55	0	-80	-67
合計	-262	-58	-61	-102

注記18には、関連会社リスト及び関連会社に対する資本拠出に関する情報が記載されている。関連会社の事業は、金融市場関連の様々なサービスより構成される。スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelse（従業員基金）及びPensionskassan SHB Försäkringsförening（年金ファンド）の各社は、他の関連当事者グループを構成している。これらの会社は通常の銀行業務及び会計業務に関して、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーを利用している。

親会社のスウェーデン子会社は、年金ファンドに確定給付年金に関連する年金保険料79(67)百万スウェーデン・クローネを支払った。この年金ファンドの子会社従業員に対するコミットメントは親会社によって保証されているため、年金ファンドがコミットメントを履行できない場合には、親会社がそのコミットメントを引き受けて支払義務を負う。この年金ファンドの債務は、7,704(7,461)百万スウェーデン・クローネである。スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseに対し、年金費用の545(498)百万スウェーデン・クローネ及び特別補足年金(-)百万スウェーデン・クローネを請求し、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelseに対し、従業員給付のための費用として43(29)百万スウェーデン・クローネを請求した。

執行役員への貸出金及び条件並びに執行役員に対するその他の報酬に関する情報については、注記G8に記載されている。

注記G48 重要な後発事象

貸借対照表日以降、重大な後発事象はなかった。

注記G49 自己資本比率

本注記の中の一部の表及び数値の目次番号は、ハンデルスバンケンが公表した「リスク及び資本 - 第三の柱に関する情報」の該当番号と一致している。

資本方針

当行は、当行グループの業務に伴うリスクに対応し、法律で定められた最低要件を上回る堅実な資本水準を維持することを目的としている。健全な資本水準は、金融逼迫状態並びに買収及び取引高の大幅な増加等その他の事象に対処するために必要となる。

自己資本規制

自己資本比率規制である規制(EU)575/2013(以下、「CRR」という。)及び指令2013/36/EU(以下、「CRD」という。)に従って、当行は、少なくとも信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに関するリスク加重エクスポージャー合計金額の個別要件に対応した普通株式等Tier 1資本、Tier 1資本及び自己資本合計を保有しなければならない。当行は、最低要件に従って資本を保有することに加え、スウェーデンにおいて、資本保全バッファ、カウンターシクリカル・バッファ、システミック・リスク・バッファ及びその他の金融システム上重要な金融機関バッファの合計より構成される結合バッファ要件に準拠する普通株式等Tier 1資本も保有しなければならない。また、当行は、第二の柱に基づく最低所要自己資本を定めている。この第二の柱の要件は、スウェーデン金融監督庁が決定した個別の要件であり、過小評価されているリスク、または規制上の最低要件及び結合バッファ要件の対象とならないリスクのカバーを目的としたものである。将来の監督プロセスでは、当行はスウェーデン金融監督庁より第二の柱に係るガイダンス、すなわち、既存の資本要件と比較した、当行の最低バッファ要件に関する同監督庁の見解による指導を受ける予定である。また、同行は自己資本比率の内部評価を行わなければならない。ハンデルスバンケンの資本方針では、自己資本比率の内部評価に関するガイドラインを規定している。当行はまた、金融コングロマリット(特別監督)法(2006年:第531号)に従って、金融コングロマリットレベルでの所要自己資本にも準拠しなければならない。2016年2月1日以降、破綻整理機構(スウェーデンでは、国債局)により、当行に対し、自己資本及び適格負債の最低基準(MREL)が設定されている。2020年において当行は、当行の規制上の最低水準及びバッファ水準のすべてを十分な余裕をもって満たしていた。当行の自己資本及び所要自己資本に関するより詳細な情報については、注記G2「リスク及び資本管理」並びに当行の「リスク及び資本 - 第三の柱に関する情報」から入手可能である(handelsbanken.com/irを参照のこと)。当出版物はハンデルスバンケンの自己資本手段全てに適用される条件の詳細な情報も掲載している。

連結ベースの情報

規制上の連結(以下、「連結ベース」という。)は、親会社並びに当該連結財務諸表の表2.10「連結ベースに含まれる会社」に示されている子会社及び関連会社より構成されている。連結財務諸表に含まれているものの連結ベースから除外されている会社についても、表2.10「連結ベースに含まれる会社」に示されている。連結財務諸表と同様、連結ベースにおいて関連会社は持分法を用いて連結されている。子会社もまた、取得法に従って連結されている。規制対象のすべての子会社は連結ベースに含まれている。ハンデルスバンケンにおいて、実際の自己資本が所定の自己資本を満たしていない子会社は存在しない。

連結ベースの自己資本に関する情報

自己資本は、Tier 1資本及びTier 2資本により構成される。Tier 1資本は、普通株式等Tier 1資本及びその他Tier 1資本で構成されている。普通株式等Tier 1資本は、主に、連結に含まれる企業の株式資本、利益剰余

金及びその他準備金により構成されている。残りのTier 1資本はその他Tier 1項目により構成されている。

Tier 2資本は、主に劣後ローンにより構成されている。その後、自己資本からの一定の控除が行われる。当該控除は、普通株式等Tier 1資本から行われる。当行のリスク管理においては、リスクの観点から当行グループ及び規制上の連結の双方が一つの単位とみなされることが重要である。当行グループにおいて効果的なリスク管理を行うために、当行グループの様々な会社間で資本の再配分が必要になる可能性がある。通常、ハンデルスバンケンは、法律で許容されている範囲（例えば、自己資本比率規制及び会社法における制限等）で当行グループ会社間において資本の再配分を行うことができる。当行は、自己資本からの資金の迅速な振替又は親会社と子会社の間の債務の返済に関して、その他の重要な障害又は法的な障害はないとみている。

Tier 1資本

Tier 1資本は、主に普通株式等Tier 1資本及びその他Tier 1資本で構成されている。

普通株式等Tier 1 (CET1) 資本

普通株式等Tier 1資本は、主に、規制上の連結に含まれる企業の株式資本、利益剰余金及びその他準備金で構成されている。当行グループの保険会社は連結されないため（191ページの表を参照（訳注：原文のページ番号である。））、保険会社の利益剰余金は普通株式等Tier 1資本に含まれていない。普通株式等Tier 1資本から除外される項目は、主として、のれん及びその他無形資産、並びに普通株式等Tier 1資本の10%を超える当行グループの保険会社への資本拠出又は繰延税金資産である。資本拠出及び繰延税金資産の合計額は普通株式等Tier 1資本の15%を超えてはならない。当行グループの保険会社への資本拠出及び繰延税金資産は閾値を超えていないため、これらの資本拠出及び繰延税金資産は、普通株式等Tier 1資本から減額されない。キャッシュフロー・ヘッジの資本への影響に関しては、中立的調整が行われる。また、価格調整の計算が義務付けられるが、公正価値で計上される金融商品についても必要に応じて慎重に評価される。内部格付に基づくモデルの使用を許可されている金融機関は、IRB手法に基づく予想信用損失が、計上された信用損失引当金を超えた場合、その差額を控除しなければならない。また、年金資産について純額で認識した余剰価値についても控除しなければならない。但し、当該控除は、ハンデルスバンケンの年金基金から年金費用を補填する当行の権利に相当する金額を減額することができる。さらに、マーケットメーカーとして許可された自社株の保有についても、控除しなければならない。当該控除は許可される範囲で最も高い市場価格に相当するものでなければならない。最後に、証券化に対する投資額についても控除が行われ、デリバティブ商品における自己の信用リスクの変動による影響についても調整が行われる。

その他Tier 1資本

その他Tier 1資本は、その他Tier 1資本に関する要件を満たす金融商品で構成されている。この資本は永久債であり、最低でも5年後に、監督当局の許可を得た場合のみ償還可能なものに限られる。また、普通株式等Tier 1資本が所定の水準に達した場合に、普通株式等Tier 1資本を創出するために額面価値を減額するか、株式に転換すること、また無条件に利払いを停止することが可能でなければならない。

当行のその他Tier 1資本合計は、12.2十億スウェーデン・クローネである。このうち、2020年に8.1十億スウェーデン・クローネのその他Tier 1資本が、2019年に4.1十億スウェーデン・クローネのその他Tier 1資本が発行されたが、これらはCRR要件を満たしている。分配可能な資金がない場合は、その他Tier 1資本のクーポンの支払が一時停止されなければならない。

Tier 2資本

Tier 2資本は、償還期限まで5年以上の期間を有する劣後ローンにより構成されている。当行グループの保険会社に対する劣後ローンの拠出に関して、控除が行われている。

所要自己資本

信用リスク

信用リスクに関する所要自己資本は、標準的手法及びCRRに従ったIRB手法に基づいて計算される。IRB手法では、自行推計によるLGD及び掛目（以下、「CCF」という。）を用いないIRB手法(基礎的手法)と、自行推計のLGD及びCCFを用いるIRB手法(先進的手法)の二つの異なる手法が用いられる。

自行推計のLGD及びCCFを用いないIRB手法では、当行は1年以内に顧客が債務不履行に陥る可能性を判断するために当行独自の手法を用いるが、その他のパラメーターはCRRによって指定される。債務不履行時の損失（以下、「LGD」という。）及びCCFを独自に推計するIRB手法において、当行は債務不履行時の損失（LGD）及び掛目(CCF)の算定に当行独自の手法を用いる。CCFの定義については、ハンデルスバンケンのファクトブックを参照のこと。

ハンデルスバンケンは、金融機関に対するエクスポージャーと、地域銀行業務全体及び以下の子会社に関する法人エクスポージャーのうち、特定の商品及び担保の種類に対して、自行推計のLGDとCCFを用いないIRB手法を使用している。子会社は、スタッドフィポテックAB、Handelsbanken Finans AB、Ecster AB及びRahoitus Oyの各社である。

自行推計のLGD及びCCFを用いるIRB手法は、地域銀行業務（オランダを除く）、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、スタッドフィポテックAB及びHandelsbanken Finans ABにおける大企業、中規模企業、住宅共同組合に対する大部分のエクスポージャーに加え、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク及びフィンランドにおけるリテール・エクスポージャー並びにスタッドフィポテックAB、Handelsbanken Finans AB、Ecster AB、及びRahoitus Oyといった子会社におけるリテール・エクスポージャーに対して適用されている。

ハンデルスバンケンの子会社であるハンデルスバンケン・ピーエルシーに関しては、リテール・エクスポージャーの所要自己資本は標準的手法に基づいて算定されている一方で、連結レベルの法人エクスポージャーの所要自己資本はIRB手法に基づいて算定され、現地の所要自己資本は標準的手法に基づいて算定されている。スウェーデン金融監督庁は、2021年1月1日以降、ハンデルスバンケン・ピーエルシーの全てのエクスポージャーに関する信用リスクは標準的手法を用いて算定されなければならないと決定した。

当事業年度末現在、IRB手法は信用リスクに対するリスク加重エクスポージャー額合計の86(86)%に適用された。残りの信用リスク・エクスポージャーに関して、所要自己資本は標準的手法を用いて算定されている。このセクションで報告されている数値は、第一の柱に基づく最低所要自己資本ならびにCRRおよびCRD に基づく自己資本比率規制のバッファを参照している。

当年度において、IRB手法の使用が認められたエクスポージャーに関する平均リスク加重合計は減少して11.7(13.7)%となった。この減少は主に、ソブリン、住宅協同組合及び個人などリスク加重が幾分低いエクスポージャーの割合が、リスク加重が高いエクスポージャーの割合よりも若干大きくなったというポートフォリオの内訳に起因している。第一の柱に基づくスウェーデンの住宅ローンに係るリスク加重フロアを含む、平均リスク加重合計は18.4(20.0)%となっている。

信用の質は良好である。ハンデルスバンケンの法人エクスポージャーのうち、98(98)%は返済能力が正常又は正常より良い（すなわち、当行の10段階のリスク格付けで1から5の間の格付け）と査定された顧客向けである。

2017年にハンデルスバンケンは、IRB手法の対象となる企業に対し、新たなPDモデルを用いることを許可された。当モデルは、リスク区分とポートフォリオ別に見た過去のデフォルト頻度に基づくものである。各ポートフォリオの推計PDは、当行の内部データ及び外部信用格付機関などの他の情報源からのデータに加え、5年間のうち1年間の景気後退期を含む景気循環の周期に基づき、スウェーデン金融監督庁が定めるとおり、1990年台のスウェーデンの銀行危機を織り込んだものである。これらの推計には保守的に大幅なマージンが加えられ、これらのポートフォリオのPDは、年ごとに変動しないことが見込まれている。リスク区分別の推計は、当行の内部貸倒データ、及び異なるリスク区分間のデフォルト確率（PD）の関係性を決定するモデルに基づいている。その後、各ポートフォリオのPD合計値がポートフォリオPDの推計と対応するようにマージンが加算される。これは、ポートフォリオのPDは変動しない場合でも、カウンターパーティが時間の経過に伴いリスク区分間を移動する可能性があることから、リスク区分毎のPDは時間の経過とともに変動する可能性があることを意味している。IRB手法における資本エクスポージャーに関する所要自己資本は、簡便リスク加重法に従い計算されている。

当年度における変動に関する詳細については、2020年の当行の中間報告書及び「リスク及び資本 - 第三の柱に関する情報」に記載されている。

市場リスク

市場リスクに関する所要自己資本は、連結ベースで計算される。但し、金利リスク及び株価リスクに関する所要自己資本は、トレーディング勘定ポジションについてのみ計算されている。市場リスクに関する所要自己資本の計算では、標準的手法が用いられる。

オペレーショナル・リスクに係る所要自己資本

ハンデルスバンケンは、オペレーショナル・リスクにおける所要自己資本の計算に標準的手法を使用している。所要自己資本は、標準的手法に従って、規則で定められた係数を直近3事業年度の平均営業収益に乗じて計算される。異なる事業セグメントにおいては、異なる係数が適用される。

連結ベースのオペレーショナル・リスクに係る所要自己資本合計は、2020年度末現在、5,489(5,282)百万スウェーデン・クローネであった。

金融コングロマリットに関する自己資本比率

金融コングロマリットの一部である金融機関及び保険会社は、金融コングロマリットの所要自己資本に関して適切な自己資本を有していなければならない。金融コングロマリットの自己資本及び所要自己資本は、引合算法（指令2002/87/EC、付属文書1、手法2）に従って算出されている。金融コングロマリットの自己資本合計は、金融コングロマリットの所要自己資本を上回っている。

自己資本及び適格負債の最低基準（MREL）

銀行再建・破綻処理指令（BRRD）（2014/59/EU）が、破綻処理法（2015:1016）としてスウェーデンで国内法制化された。これらの規制には銀行危機への対応措置が定められており、当局は、既定の枠組み内に基づき銀行の全体又は一部を、清算又は破綻させずに再編・売却することが可能となる。この対応措置に加え、本規制では危機に直面した銀行の資本再構築を図るために、一部の負債性金融商品の評価減を認めている。

本規制により、減損が可能な負債に関する最低要件（MREL）が2018年1月1日から導入された。この最低要件は、スウェーデン国家債務局及びスウェーデン金融監督庁により策定された当行の破綻処理計画に定められている。当行の2021年度のMRELは、連結ベースの負債及び自己資本合計の5.7(5.8)%を占める。本要件には、損失吸収額及び資本再構築額から構成される。

スウェーデン国家債務局はまた、負債比率の原則を適用しており、これによりMRELの一部は（自己資本ではなく）適格負債のみで満たされなければならない。本要件に対応する形で、2018年12月に新しいクラスの負債性金融商品がスウェーデンの法律に追加された。新たなクラスは、既存のシニア負債性金融商品に劣後するが、破綻処理プロセスの一部として自己資本調達手段に優先する。ハンデルスバンケンはこのクラスの劣後負債性金融商品を2019年及び2020年に発行している。同規制は新EU指令に合わせて2020年に改訂されたが、同時にパンデミックがもたらした調整による影響も受けている。ハンデルスバンケンは今後の動向を注視している。

表2.10（第三の柱） 連結ベースに含まれる会社

連結ベースに含まれる会社	所有持分 ² (%)	企業識別番号	所在地
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト ¹		502007-7862	ストックホルム
子会社			
Handelsbanken Finans AB ¹	100	556053-0841	ストックホルム

スタッドフィボテック・エイ・ビー¹	100	556459-6715	ストックホルム
Svenska Intecknings Garanti AB Sigab (休眠会社)	100	556432-7285	ストックホルム
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	100	556070-0683	ストックホルム
Handelsbanken Fonder AB	100	556418-8851	ストックホルム
Handelsinvest Investeringsförvaltning A/S	100	12930879	コペンハーゲン
Xact Kapitalförvaltning AB	100	556997-8140	ストックホルム
AB Handel och Industri	100	556013-5336	ストックホルム
Ecster AB	100	556993-2311	ストックホルム
Handelsbanken plc¹	100	11305395	ロンドン
Handelsbanken Wealth & Asset Management	100	04132340	ロンドン
Heartwood Nominees Limited (休眠会社)	100	2299877	ロンドン
Heartwood Second Nominees Limited (休眠会社)	100	3193458	ロンドン
Heartwood ACD Limited (休眠会社)	100	4332528	ロンドン
Svenska Property Nominees Limited (休眠会社)	100	2308524	ロンドン
Optimix Vermogensbeheer N.V.	100	33194359	アムステルダム
Add Value Fund Management B.V.	80	19196768	アムステルダム
Optimix Beheer en Belegging B.V. (休眠会社)	100	33186584	アムステルダム
その他の子会社			
Ejendomsselskabet af 1. maj 2009 A/S ¹	100	59173812	ヒレレズ
Forva AS	100	945812141	オスロ
Handelsbanken Markets Securities, Inc ¹	100	11-3257438	ニューヨーク
Handelsbanken Rahoitus Oy	100	0112308-8	ヘルシンキ
Lokalbolig A/S	72	78488018	ヒレレズ
Rådstuplass 4 AS	100	910508423	ベルゲン
Blå stugan i Stockholm	100	556993-9357	ストックホルム
Bidtruster AB	100	556993-9084	ストックホルム
ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビーの子会社			
Handelsbanken Fastigheter AB	100	556873-0021	ストックホルム
関連会社			
Bankomat AB	20	556817-9716	ストックホルム

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

BGC Holding AB	25.38	556607-0933	ストックホルム
Bankgirocentralen BGC AB ²	100	556047-3521	ストックホルム
Torig AB	100	556564-5404	ストックホルム
Finansiell ID-teknik BID AB	28.3	556630-4928	ストックホルム
USE Intressenter AB	24.48	559161-9464	ストックホルム
Getswish AB	20	556913-7382	ストックホルム

ジョイント・ベンチャー

P27 Nordic Payments Platform AB	16.7	559198-9610	ストックホルム
Invidem AB	16.7	559210-0779	ストックホルム

¹金融機関²子会社及び関連会社株式の所有持分

連結ベースに含まれていない会社	所有持分 ² (%)	企業識別番号	所在地
ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー (Handelsbanken Fastigheter ABを除く当行グループ)	100	516401-8284	ストックホルム
Svenska Re S.A.	100	RCS Lux B-32053	ルクセンブルグ
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	100	516401-6767	ストックホルム
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	100	2478149-7	ヘルシンキ
Svenska RKA International Insurance Services AB (休眠会社)	100	556324-2964	ストックホルム
Dyson Group plc	27	00163096	シェフィールド
Dyson Industries Ltd	100	1187031	シェフィールド
Beepart Ltd	100	177682	シェフィールド
Pickford Holland & Company Ltd	100	128414	シェフィールド
Millennium Materials Inc	100	-	ノックスビル
Dyson US holdings Inc	100	-	ウィルミントン
EFN Ekonomikanalen AB	100	556930-1608	ストックホルム

表2.1（第三の柱） 貸借対照表

貸借対照表 百万スウェーデン・クローネ	2020年		2019年	
	連結ベース	銀行グループ	連結ベース	銀行グループ
資産				
現金及び中央銀行預け金	397,642	397,642	327,958	327,958
中央銀行へのその他貸出金	21,326	21,326	19,547	19,547
中央銀行への担保として利用可能な利付証券	99,133	99,133	103,387	103,387
その他金融機関への貸出金	21,915	21,920	17,934	17,939
一般顧客への貸出金	2,270,744	2,269,612	2,293,735	2,292,603
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値 変動	25	25	25	25
社債及びその他の利付証券	44,566	44,566	42,640	42,640
うち、売却可能区分に分類される利付商品（帳簿価 額）	7,964	7,964	4,953	4,953
うち、売却可能区分に分類される利付商品、変動累計 額	-67	-67	-73	-73
株式	14,322	21,045	14,340	21,390
うち、売却可能区分に分類される株式（帳簿価額）	700	700	2,303	2,303
うち、売却可能区分に分類される株式、変動累計額	156	156	739	739
関連会社に対する投資	6,639	386	6,560	285
顧客が価値変動リスクを負う資産	7,504	197,212	6,514	174,988
デリバティブ商品	30,614	30,614	41,545	41,545
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	3,353	3,353	4,203	4,203
再保険資産	-	11	-	11
無形資産	11,149	11,330	11,051	11,185
不動産及び器具備品	6,231	6,232	6,644	6,645
当期税金資産	984	988	50	53
繰延税金資産	1,218	1,218	693	693
うち、キャッシュフロー・ヘッジに関連するもの	-	-	-	-
うち、売却可能区分に分類される利付商品に関連する もの	19	19	20	20
年金資産	2,055	2,005	700	654
売却目的で保有する資産	1,657	1,657	1	1
その他資産	5,915	6,113	5,917	6,167
前払費用及び未収収益	2,222	2,253	1,925	1,951
資産合計	2,945,861	3,135,288	2,901,166	3,069,667
負債及び資本				
金融機関からの預り金	124,635	124,723	147,934	147,989
一般顧客からの預金及び借入金	1,230,589	1,229,763	1,117,260	1,117,825
顧客が価値変動リスクを負う負債	7,504	197,212	6,514	174,988

発行済証券	1,310,737	1,310,737	1,384,961	1,384,961
デリバティブ商品	32,819	32,819	20,642	20,642
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-	-	-	-
ショートポジション	1,682	1,682	1,856	1,856
保険負債	-	557		578
当期税金負債	0	25	1,264	1,284
繰延税金負債	5,315	5,353	5,594	5,634
うち、キャッシュフロー・ヘッジに関連するもの	870	870	1,144	1,144
うち、売却可能区分に分類される利付商品に関連するもの	16	16	27	27
引当金	2,294	2,302	1,132	1,141
年金債務	0	0	0	0
売却目的で保有する資産にかかる負債	-	-	-	-
その他負債	13,573	13,928	13,714	14,038
未払費用及び繰延収益	3,524	3,632	3,271	3,353
劣後負債	41,082	41,082	35,546	35,546
うち、Tier1資本貸出金	21,980	21,980	15,819	15,819
うち、満期までの残存期間が5年超の貸出金	18,032	18,032	18,639	18,639
うち、満期までの残存期間が5年未満の貸出金	-	-	-	-
うち、その他貸付	-	-	2	2
負債合計	2,773,754	2,963,815	2,739,688	2,909,835
非支配株主持分	9	9	8	8
株式資本	3,069	3,069	3,069	3,069
自己株式の保有	0	0	0	0
資本剰余金	8,758	8,758	8,758	8,758
うち、複合金融商品による資本	-	-	0	0
その他準備金	8,562	8,532	13,130	13,141
利益剰余金	137,177	135,520	119,799	117,934
当期利益（スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主に帰属）	14,532	15,585	16,714	16,922
資本合計	172,107	171,473	161,478	159,832
負債及び資本合計	2,945,861	3,135,288	2,901,166	3,069,667

表2.2 (第三の柱) 自己資本

この表示は、欧州委員会実施規則(EU)1423/2013の要件に準拠している。現在、ハンデルスバンケンに関連していないと考えられる列は削除されている。

自己資本 (経過措置)		2020年		2019年	
百万スウェーデン・クローネ		開示日現在の金額	規制(EU)575/2013の参考条項	開示日現在の金額	規制(EU)575/2013の参考条項
普通株式等Tier 1 資本：資本調達手段及び準備金					
1	資本調達手段及び関連する資本剰余金勘定	11,827		11,827	26(1), 27, 28, 29, EBA list 26(3)
	うち、株式資本	11,827		11,827	EBA list 26(3)
	うち、転換証券				EBA list 26(3)
2	利益剰余金	137,177		119,799	26(1)(c)
3	その他包括利益累計額 (及び関連する会計基準に従って未実現損益を計上するためのその他準備金)	8,562		13,130	26.1
5a	独立してレビューされる中間利益 (予測可能な費用又は配当金控除後)	6,414		5,824	26.2
6	規制上の調整前の普通株式等Tier 1 (CET1) 資本	163,980		150,580	
普通株式等Tier 1 (CET1) 資本：規制上の調整					
7	追加的な価値調整 (負の金額)	-399		-399	34,105
8	無形資産 (関連する税金負債控除後) (負の金額)	-11,217		-11,119	36(1)(b), 37
11	キャッシュフロー・ヘッジに係る損益に関する公正価値評価差額準備金	-3,353		-4,203	33(1)(a)
12	予想損失額の算定から生じた負の金額	-779		-1,581	36(1)(d), 40, 159
14	自己の信用力の変化に起因する公正価値で計上する負債に係る損益	9		-	33(1)(b)
15	確定給付年金基金資産 (負の金額)	-1,615		-	36(1)(e), 41
16	金融機関による自己のCET1資本調達手段の直接及び間接保有 (負の金額)	-466		-527	36(1)(f), 42
19	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するCET1資本調達手段の直接、間接及び合成的な手法による保有 (基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後) (負の金額)	-		-	36(1)(i), 43, 45, 47, 48 (1)(b), 49(1) ~ (3), 79
20a	金融機関が他の控除方法を選択した場合に1,250%のリスク加重が適用される、下記項目のエクスポージャー額	-		-20	36(1)(k)
20c	うち、証券化ポジション (負の金額)	-		-20	36(1)(k)(ii), 243(1)(b), 244(1)(b), 258
21	一時差異によって生じた繰延税金資産 (基準値の10%を上回る金額、第38(3)条の条件を満たしている関連税金負債控除後) (負の金額)	-		-	36(1)(c), 38, 48(1)(a)
22	基準値の15%を超過した金額 (負の金額)	-		-	48.1
23	うち、金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するCET1資本調達手段の直接及び間接保有	-		-	36(1)(i), 48(1)(b)
25	うち、一時差異によって生じた繰延税金資産	-		-	36(1)(c), 38, 48(1)(a)
25a	当年度の損失 (負の金額)	-		-	36(1)(a)
25b	CET1項目に関連して予測される税金費用 (負の金額)	-		-	36(1)(l)

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
有価証券報告書

27	金融機関のAT1資本を超過する適格AT1控除（負の金額）	-	-	36(1)(j)
28	普通株式等Tier 1 (CET1) 資本の規制上の調整合計	-17,820	-17,849	
29	普通株式等Tier 1 (CET1) 資本	146,160	132,731	
その他Tier 1 (AT1) 資本：資本調達手段				
30	資本調達手段及び関連する資本剰余金勘定	21,980	15,819	51,52
32	うち、適用される会計基準に基づき負債に分類されるもの	21,980	15,819	
33	第484(4)条で示されている適格項目の金額及び関連するAT1の段階的廃止の対象となる資本剰余金勘定	-	-	486.3
36	規制上の調整前その他Tier 1 (AT1) 資本	21,980	15,819	
その他Tier 1 (AT1) 資本：規制上の調整				
37	金融機関による自己のAT1資本調達手段の直接及び間接保有（負の金額）	-9,808	-	52(1)(b), 56(a), 57
40	金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のAT1資本調達手段の直接及び間接保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-	-	56(d), 59, 79
42	金融機関のTier 2 (T2) 資本を超過する適格T2控除（負の金額）	-	-	56(e)
43	その他Tier 1 (AT1) 資本の規制上の調整合計	-9,808	-	
44	その他Tier 1 (AT1) 資本	12,172	15,819	
45	Tier 1資本 (T1=CET1+AT1)	158,332	148,550	
Tier 2 (T2) 資本：資本調達手段及び引当金				
46	資本調達手段及び関連する資本剰余金勘定	18,032	18,639	62, 63
50	信用リスク調整	10	-	62 c及びd
51	規制上の調整前のTier 2 (T2) 資本	18,042	18,639	
Tier 2 (T2) 資本：規制上の調整				
52	金融機関による自己のT2資本調達手段及び劣後ローンの直接及び間接保有（負の金額）	-	-	63(b)(i), 66(a), 67
55	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するT2資本調達手段及び劣後ローンの直接及び間接保有（適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-1,129	-1,129	66(d), 69, 79
57	Tier 2 (T2) 資本の規制上の調整合計	-1,129	-1,129	
58	Tier 2 (T2) 資本	16,913	17,510	
59	資本合計 (TC=T1+T2)	175,245	166,060	
60	リスク加重資産合計	721,403	716,462	
自己資本比率及びバッファ				
61	普通株式等Tier 1比率（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	20.3	18.5	92(2)(a)

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
有価証券報告書

62	Tier 1資本（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	21.9	20.7	92(2)(b)
63	資本合計（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	24.3	23.2	92(2)(c)
64	金融機関特有のバッファ要件（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合として表される第92(1)(a)条によるCET1要件、資本保全及びカウンターシクリカル・バッファ要件、システミック・リスク・バッファのほか、金融システム上重要な金融機関バッファ（G-SII又はO-SIIバッファ）	6.6	7.4	CRD128,129,130
65	うち、資本保全バッファ要件	2.5	2.5	
66	うち、カウンターシクリカル・バッファ要件	0.1	1.9	
67	うち、システミック・リスク・バッファ要件	3.0	3.0	
67a	うち、グローバルに金融システム上重要な金融機関（G-SII）又はその他の金融システム上重要な金融機関（O-SII）バッファ	1.0	0.0	CRD131
68	バッファ要件を満たすために利用可能な普通株式等Tier 1資本（リスク・エクスポージャー額に対する割合）	15.8	14.0	CRD128
72	金融機関の重要な投資先ではない金融機関等が発行する資本の直接及び間接保有（基準値の10%を下回る金額、適格ショートポジション控除後）	0	0	36(1)(h),45,46,56(c),59,60,66(c),69,70
73	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するCET1資本調達手段の直接及び間接保有（基準値の10%を下回る金額、適格ショートポジション控除後）	-	-	36(1)(i),45,48
75	一時差異によって生じた繰延税金資産（基準値の10%を下回る金額、第38(3)条の条件を満たしている関連税金負債控除後）	0	-2	36(1)(c),38,48
Tier 2資本における引当金の算入に適用される上限額				
76	標準的手法の対象となるエクスポージャーに関してT2に含まれている信用リスク調整（上限額適用前）	-	-	62
77	標準的手法に基づきT2に信用リスク調整を算入する際の上限額	1,629	1,084	62
78	内部格付手法の対象となるエクスポージャーに関してT2に含まれる信用リスク調整（上限額適用前）	-	-	62
79	内部格付手法に基づきT2に信用リスク調整を算入する際の上限額	3,074	3,308	62
段階的廃止の対象となる資本調達手段（2013年1月1日から2022年1月1日までの期間のみに適用）				
80	段階的廃止の対象となるCET1資本調達手段に係る現在の上限額	-	-	484(3),486(2)及び(5)
81	上限を上回りCET1から除外された金額（償還及び満期後に上限を超える金額）	-	-	484(3),486(2)及び(5)
82	段階的廃止の対象となるAT1資本調達手段に係る現在の上限額	-	-	484(4),486(3)及び(5)
83	上限を上回りAT1から除外された金額（償還及び満期後に上限を超える金額）	-	-	484(4),486(3)及び(5)
84	段階的廃止の対象となるT2資本調達手段に係る現在の上限額	-	-	484(5),486(4)及び(5)
85	上限を上回りT2から除外された金額（償還及び満期後に上限を超える金額）	-	-	484(5),486(4)及び(5)

表2:12 (第三の柱) 金融コングロマリットの自己資本比率

以下の表は金融コングロマリットの自己資本と所要自己資本との関係を示したものである。余剰額は昨年よりも増加している。

金融コングロマリットの自己資本比率

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
控除及び調整後の自己資本	188,214	174,186
所要自己資本	143,133	153,484
余剰額	45,081	20,702

表2.11 (第三の柱) EU OV1 - RWA (リスク加重エクスポージャー額) の概要

以下の表は、2020年度及び前年度末における信用リスク、カウンターパーティ・リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクのリスク加重エクスポージャー額 (RWA) を表したものである。信用リスクは、標準的手法、基礎的IRB手法、先進的IRB手法が適用されるエクスポージャーに対して算出される。市場リスク及びオペレーショナル・リスクは標準的手法が適用されるエクスポージャーに対して算出される。信用リスクのRWAは前年度よりも増加した。カウンターパーティ・リスクのRWAは前年度よりも減少した。市場リスクのRWAは前年度よりも減少した。オペレーショナル・リスクのRWAは前年度から増加した。

EU OV1 - リスク加重エクスポージャー額の概要

		RWA (リスク加重エクスポージャー額)		最低所要自己資本
百万スウェーデン・クローネ		2020年	2019年	2020年
	1 信用リスク (カウンターパーティ信用リスク: CCRを除く)	587,301	626,682	46,985
第438条(c)(d)	2 うち、標準的手法	83,735	86,573	6,699
第438条(c)(d)	3 うち、基礎的IRB手法(FIRB手法) ¹	45,315	53,846	3,626
第438条(c)(d)	4 うち、先進的IRB手法(AIRB手法) ²	455,296	475,964	36,424
第438条(d)	5 うち、簡便なリスク加重手法又は内部モデル方式 (IMA) に基づく株式の内部格付	2,955	10,299	236
第107条 第438条(c)(d)	6 カウンターパーティ信用リスク	8,843	11,371	707
第438条(c)(d)	7 うち、時価	8,838	11,359	707
第438条(c)(d)	8 うち、当初のエクスポージャー			
	9 うち、標準的手法			
	10 うち、内部モデル方式 (IMM)			
第438条(c)(d)	11 うち、中央清算機関 (CCP) のデフォルトしたファンドへの拠出額に関するリスク・エクスポージャー額	5	12	0
第438条(c)(d)	12 信用評価調整 (CVA)	2,707	4,114	216
第438条e	13 決済リスク	0	9	0
第449条(o)(i)	14 非トレーディング勘定の証券化エクスポージャー (上限適用後)	49	-	4
	15 うち、内部評価手法 (IAA)	49	-	4

	16	うち、IRB指定関数方式 (SFA)			
	17	うち、内部評価手法 (IAA)			
	18	うち、標準的手法			
第438条e	19	市場リスク	7,513	8,263	601
	20	うち、標準的手法	7,513	8,263	601
	21	うち、内部モデル方式 (IMA)			
第438条e	22	大口エクスポージャー			
第438条(f)	23	オペレーショナル・リスク	68,616	66,023	5,489
	24	うち、基礎的指標手法			
	25	うち、標準的手法	68,616	66,023	5,489
	26	うち、先進的計測手法			
第437条(2)、 第48条及び第60 条	27	控除の基準値未満の額 (リスクウェイト は250%)			
第500条	28	フロアの調整			
第3条	29	追加リスク・エクスポージャー額 ³	46,374		3,710
	30	合計	721,403	716,462	57,712

1) 非信用債務資産は基礎的IRB手法に基づいて計上されている。

2) スウェーデンの住宅ローンのリスク加重フロアは、先進的IRB手法に基づいて計上されている。

3) 2021年第1四半期現在、当行グループレベルでの英国における当行のエクスポージャーは、標準的手法に基づいて計上されている。現在、これらのエクスポージャーは主にIRB手法により算定されている。当行は、この変更の結果、当行グループの報告において生じる追加リスク・エクスポージャー額を算定している。2020年12月31日現在の報告書では、この額はCRR第3条に従い、追加リスク・エクスポージャー額として積み立てられている。

表4.1 (第三の柱) EU MR1 - 標準的手法に基づく市場リスク

以下の表は、2020年度末時点における、標準的手法(CRR)に基づいた市場リスクに係る所要自己資本及びリスク・エクスポージャー額を示したものである。

EU MR1 - 標準的手法に基づく市場リスク

	2020年		2019年	
	a	b	a	b
	リスク・エクスポージャー額合計	所要自己資本	リスク・エクスポージャー額合計	所要自己資本
百万スウェーデン・クローネ				
アウトライイト商品				
金利リスク	7,448	596	8,130	651
うち、一般的なリスク	6,135	491	6,923	554
うち、特定のリスク	1,313	105	1,207	97
株価リスク	26	2	43	3
うち、一般的なリスク	9	1	12	1
うち、特定のリスク	17	1	30	2
うち、集团的投資スキーム (CIU)	0	0	1	0
為替リスク	-	-	-	-
コモディティ・リスク	15	1	54	4
オプション				
シナリオ・アプローチ	24	2	36	3
うち、金利リスク	1	0	3	0
うち、株価リスク	23	2	33	3
うち、為替リスク	-	-	-	-
うち、コモディティ・リスク	-	-	-	-
証券化 (特定のリスク)	-	-	-	-
決済リスク	0	0	9	1
合計	7,513	601	8,272	662

表AR：47 適格負債の最低要件（MREL）

下表は、負債及び自己資本の合計額のMREL（SFS 2015:1016）を示したものである。適格負債及び自己資本の最低要件は、破綻整理機構（国債局）に従い、スウェーデン金融監督庁との協議のもと、当行の破綻処理計画に定められている。負債及び自己資本並びにMRELの合計額は、第3四半期の数値に基づいている。

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
MREL	179,066	184,086
適格負債及び自己資本	332,573	350,820
負債及び自己資本合計	3,110,867	2,986,085
%	2020年	2019年
負債及び自己資本合計額におけるMRELの割合	5.8	6.2
負債及び自己資本合計額における適格負債及び自己資本の割合	10.4	11.7

表3.14 (第三の柱) IRB手法で容認された信用リスク・エクスポージャー

IRB手法が容認された信用リスク・エクスポージャー	エクスポージャー額		うち、 オフバランスシート		リスク加重した エクスポージャー額		所要自己資本		平均リスク加重、%	
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ										
ソブリン・エクスポージャー	490,718	426,414	14,002	10,983	7,214	7,098	577	568	1.5	1.7
法人エクスポージャー	854,312	909,304	111,944	121,194	211,791	246,710	16,943	19,737	24.8	27.1
法人貸付	843,585	900,795	111,944	121,194	208,608	244,106	16,689	19,529	24.7	27.1
うち、その他貸付（自行推計のLGD及びCCFを使用しないIRB手法）	93,833	110,550	57,203	64,725	26,186	33,651	2,094	2,693	27.9	30.4
うち、その他貸付（自行推計のLGD及びCCFを使用するIRB手法）	749,752	790,245	54,741	56,469	182,422	210,455	14,594	16,836	24.3	26.6
うち、大企業	125,572	140,751	33,017	32,185	48,644	51,641	3,892	4,131	38.7	36.7
うち、中企業	84,512	91,926	8,206	9,533	27,212	37,399	2,177	2,992	32.2	40.7
うち、不動産会社	539,668	557,568	13,518	14,751	106,566	121,415	8,525	9,713	19.7	21.8
カウンターパーティ・リスク	10,727	8,509	-	-	3,183	2,604	255	208	29.7	30.6
住宅協同組合	245,789	235,554	2,494	2,796	7,997	9,806	641	783	3.3	4.2
リテール・エクスポージャー	1,154,770	1,119,800	71,160	58,312	78,540	82,406	6,283	6,593	6.8	7.4
個人	1,132,800	1,095,928	64,940	52,195	71,797	74,659	5,744	5,973	6.3	6.8
うち、不動産貸付	1,091,524	1,046,593	52,045	36,074	63,586	63,871	5,087	5,110	5.8	6.1
うち、その他	41,276	49,335	12,895	16,121	8,211	10,788	657	863	19.9	21.9
小規模企業	21,970	23,872	6,220	6,117	6,743	7,747	539	620	30.7	32.5
うち、不動産貸付	10,918	11,892	991	1,010	3,644	4,268	292	341	33.4	35.9
うち、その他	11,052	11,980	5,229	5,197	3,099	3,479	247	279	28.0	29.0
金融機関エクスポージャー	38,453	57,663	5,857	6,316	10,683	14,436	855	1,155	28.0	25.0
金融機関への貸付	17,178	16,554	5,857	6,316	5,279	5,920	422	474	30.7	35.8
カウンターパーティ・リスク	21,275	41,109	-	-	5,404	8,516	433	681	25.4	20.7
株式エクスポージャー	799	3,028	-	-	2,955	10,299	236	824	370.0	340.2
うち、上場株式	-	1,129	-	-	-	3,274	-	262	-	290.0
うち、その他株式	799	1,899	-	-	2,955	7,025	236	562	370.0	370.0

非信用債務債権

資産以外のエク

スポージャー	6,417	6,946	-	-	6,417	6,946	513	556	100.0	100.0
証券化ポジション	16	-	-	-	49	-	4	-	312.3	-
うち、伝統的証券化	16	-	-	-	49	-	4	-	312.3	-
うち、合成的証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IRB手法合計	2,791,274	2,758,709	205,457	199,601	325,646	377,702	26,052	30,216	11.7	13.7

スウェーデンに
おける住宅ロー
ンのリスク加重

フロア ¹					186,614	173,604	14,929	13,888		
IRB手法合計及び スウェーデンに おける住宅ロー ンのリスク加重 フロアの影響	2,791,274	2,758,709	205,457	199,601	512,260	551,306	40,981	44,104	18.4	20.0

¹ 2020年12月31日現在、スウェーデンにおける住宅ローンのリスク加重フロアの規定により影響を受けるエクスポージャー額は889,285百万スウェーデン・クローネである。

表3.15 (第三の柱) 標準的手法に準拠した信用リスク・エクスポージャー¹

IRB手法で容認され た信用リスク・エ クスポート ¹	エクスポージャー額		うち、 オフバランスシート		リスク加重した エクスポージャー額		所要自己資本		平均リスク加重、%	
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
百万スウェーデン・ クローネ										
ソブリン及び										
中央銀行	1,827	353	49	79	0	7	0	1	0	1.9
地方自治体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
国際開発銀行	956	274	0	2	0	0	0	0	0	0
国際機関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金融機関	9,561	9,639	169	407	902	762	72	61	9.0	7.9
法人	7,339	8,495	1,749	2,326	6,929	8,408	554	673	94.4	99
個人	9,885	10,226	2,434	2,898	7,250	7,460	580	597	73.0	72.9
不動産抵当貸付	138,617	141,499	2,745	2,064	48,405	50,655	3,872	4,052	35.0	35.8
延滞項目	857	598	5	21	973	725	78	58	113.6	121.2
高リスク項目	28	26	-	-	41	39	3	3	150.0	150
ミューチュアル・ ファンド	-	151	-	-	-	151	-	12	-	100
株式	6,541	6,254	-	-	15,923	15,636	1,274	1,251	243.4	250.0
うち、上場株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、その他株式	6,541	6,254	-	-	15,923	15,636	1,274	1,251	243.4	250.0
その他項目	6,278	3,244	37	17	3,510	2,905	282	232	56.0	89.6
標準的手法合計	181,889	180,759	7,188	7,814	83,933	86,748	6,715	6,940	46.1	48.0

1) 存在するエクスポージャーを区分毎に集約し、所要自己資本の詳細を示したものを。

表2.13 (第三の柱) LRCom: レバレッジ比率共通ディスクロージャー

以下の表は、当年度及び前年度のレバレッジ比率を示したものである。オンバランスシート、デリバティブ、証券金融取引、及びオフバランスシートの分類ごとにエクスポージャーが記載されている。表はTier 1資本をエクスポージャー総額で除したレバレッジ比率を表示している。レバレッジ比率は前年度比で上昇している。

LRCom: レバレッジ比率共通ディスクロージャー

百万スウェーデン・クローネ		2020年	2019年
オンバランスシート・エクスポージャー（デリバティブ及び証券金融取引を除く）			
1	オンバランスシート項目（デリバティブ、証券金融取引及び信託資産を除くが、担保を含む）	2,901,031	2,843,612
2	Tier 1資本の算定において控除された資産額	-17,819	-17,849
3	オンバランスシート・エクスポージャー合計（デリバティブ、証券金融取引及び信託資産を除く） （行1と2の合計）	2,883,212	2,825,763
デリバティブ・エクスポージャー			
4	すべてのデリバティブ取引に関する再調達原価（すなわち、適格な変動証拠金控除後）	8,755	6,667
5	すべてのデリバティブ取引に関する潜在的な将来エクスポージャーに係るアドオン額（時価法）	19,876	27,096
EU-5a	当初の手法で算定されたエクスポージャー	-	-
6	適用された会計フレームワークにより貸借対照表資産から控除されたデリバティブ担保の加算	-	-
7	（デリバティブ取引により現金で受領した変動証拠金の額）	-19,875	-8,466
8	（顧客決済取引エクスポージャーの中央清算機関レグの控除）		
9	売建信用デリバティブの想定元本の調整による影響	4,304	5,621
10	売建信用デリバティブの想定元本の相殺及び加算額の控除の調整	-35	-116
11	デリバティブ・エクスポージャー合計（行4から10までの合計）	13,024	30,802
証券金融取引エクスポージャー			
12	証券金融取引資産総額（相殺の認識なし）、売却取引調整後	14,216	16,010
13	（証券金融取引資産総額の債権債務（現金）の相殺額）	-	-
14	証券金融取引資産に関するカウンターパーティの信用リスク・エクスポージャー	3,750	3,342
EU-14a	証券金融取引の特例：規則(EU)575/2013の第429b(4)条及び第222条による カウンターパーティの信用リスク・エクスポージャー	-	-
15	代理人取引エクスポージャー	-	-
EU-15a	（顧客決済証券金融取引エクスポージャーの中央清算期間レグの控除）	-	-
16	証券金融取引エクスポージャー合計（行12から15aまでの合計）	17,966	19,352
その他のオフバランスシート・エクスポージャー			
17	オフバランスシート・エクスポージャーの想定元本総額	534,285	522,450
18	（与信相当額への転換に関する調整）	-397,111	-338,171
19	その他のオフバランスシート・エクスポージャー（行17と18の合計）	137,174	184,279
第429(7)条及び(14)条（オンバランス及びオフバランス・シート）に準拠して 対象外となったエクスポージャー			
EU-19a	（規則(EU)575/2013の第429(7)条（オンバランス及びオフバランス・シート）に準拠して 対象外となったグループ内エクスポージャー（単独ベース））	-	-
EU-19b	（規則(EU)575/2013の第429(14)条（オンバランス及びオフバランス・シート）に準拠して 対象外となったエクスポージャー）	-	-
資本及びエクスポージャー合計			
20	Tier 1資本	158,332	148,550
21	レバレッジ比率エクスポージャー合計（行3、11、16、19、EU-19a、EU-19bの合計）	3,051,376	3,060,195

レバレッジ比率

22	レバレッジ比率	5.19%	4.85%
----	---------	-------	-------

経過措置の選択及び認識しない信託項目の金額

EU-23	資本測定の定義に関する経過措置の選択	経過措置	経過措置
EU-24	規則(EU)575/2013の第429(13)条に準拠した認識しない信託項目の金額	0	0

表2.14 (第三の柱) LRSum: 会計上の資産及びレバレッジ比率エクスポージャーの調整の要約

以下の表は2020年末現在及び前年度の会計上の資産及びレバレッジ比率エクスポージャーを示したものである。レバレッジ比率エクスポージャー合計額は前年度から減少している。

LRSum: 会計上の資産及びレバレッジ比率エクスポージャーの調整の要約

百万スウェーデン・クロネ		2020年	2019年
1	公表された財務諸表の資産合計	3,135,288	3,069,667
2	会計上連結されているが資本規制では連結対象外の事業体に関する調整	-189,427	-168,500
3	(適用される会計フレームワークに従い貸借対照表に認識されているが、規則(EU)575/2013の第429(13)条に準拠してレバレッジ比率エクスポージャーの測定額から除外された信託資産に関する調整)	-	-
4	デリバティブ金融商品に関する調整	-17,590	-10,743
5	証券金融取引に関する調整	3,750	3,342
6	オフバランスシート項目に関する調整(すなわち、オフバランスシート・エクスポージャーの与信相当額への換算)	137,174	184,279
EU-6a	(規則(EU)575/2013の第429(7)条に従いレバレッジ比率エクスポージャーの測定額から除外されたグループ内エクスポージャーに関する調整)	-	-
EU-6b	(規則(EU)575/2013の第429(14)条に従いレバレッジ比率エクスポージャーの測定額合計から除外されたエクスポージャーに関する調整)	-	-
7	その他の調整	-17,819	-17,850
8	レバレッジ比率エクスポージャー合計	3,051,376	3,060,195

表2.15 (第三の柱) LRSpl: オンバランスシート・エクスポージャーの内訳(デリバティブ、証券金融取引、対象外のエクスポージャーを除く)

以下の表は、会計上の資産及びレバレッジ比率エクスポージャーを示したものである。レバレッジ比率エクスポージャー合計額は前年度から増加している。

LRSpl: オンバランスシート・エクスポージャーの内訳

(デリバティブ、証券金融取引、対象外のエクスポージャーを除く)

百万スウェーデン・クロネ		2020年	2019年
EU-1	オンバランスシート・エクスポージャー合計(デリバティブ、証券金融取引、対象外のエクスポージャーを除く)	2,877,552	2,833,306
EU-2	トレーディング勘定エクスポージャー	155,116	160,009
EU-3	非トレーディング勘定エクスポージャー、うち、	2,722,436	2,673,297
EU-4	カバード・ボンド	7,038	4,952
EU-5	ソブリンとして取り扱われるエクスポージャー	475,107	411,782
EU-6	地方政府、国際開発金融機関、国際機関及びソブリンとして取り扱われない公共機関に対するエクスポージャー	0	0
EU-7	金融機関	7,227	7,346
EU-8	不動産モーゲージによる担保	2,004,442	1,984,322
EU-9	リテール・エクスポージャー	47,450	52,512
EU-10	法人	155,006	186,732
EU-11	債務不履行のエクスポージャー	4,366	4,703

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)

有価証券報告書

EU-12	他のエクスポージャー（株式、証券化、他の非信用債務資産）	21,802	20,948
-------	------------------------------	--------	--------

[次へ](#)

(2) 個別財務書類

損益計算書(親会社)

		2020年		2019年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
利息収益	注記P3	20,350	270,248	28,701	381,149
リース収益	注記P3	1,963	26,069	1,488	19,761
利息費用	注記P3	-9,242	-122,734	-17,150	-227,752
受取配当金	注記P4	15,937	211,643	17,338	230,249
手数料及びコミッション収益	注記P5	7,485	99,401	8,028	106,612
手数料及びコミッション費用	注記P5	-1,793	-23,811	-2,017	-26,786
金融取引による純損益	注記P6	1,869	24,820	618	8,207
その他営業収益	注記P7	2,790	37,051	2,638	35,033
営業収益合計		39,359	522,688	39,644	526,472
一般管理費用					
人件費	注記P8	-11,689	-155,230	-10,148	-134,765
その他管理費用	注記P9	-5,684	-75,484	-5,808	-77,130
不動産及び器具備品、リース並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	注記P20、P21	-2,672	-35,484	-2,156	-28,632
信用損失控除前費用合計		-20,045	-266,198	-18,112	-240,527
信用損失控除前利益		19,314	256,490	21,532	285,945
正味信用損失	注記P10	-477	-6,335	-1,059	-14,064
非流動金融資産の減損損失		-79	-1,049	-148	-1,965
営業利益		18,758	249,106	20,325	269,916
繰入	注記P11	743	9,867	-380	-5,046
税引前利益		19,501	258,973	19,945	264,870
法人税等	注記P28	-4,275	-56,772	-4,297	-57,064
当期利益		15,226	202,201	15,648	207,805

包括利益計算書（親会社）

	2020年		2019年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	15,226	202,201	15,648	207,805
その他包括利益				
損益計算書に組み替えられない項目				
その他包括利益を通じて公正価値で測定される				
資本性金融商品	-583	-7,742	372	4,940
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	11	146	-21	-279
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される				
資本性金融商品	11	146	-21	-279
損益計算書に組み替えられない項目合計	-572	-7,596	351	4,661
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目				
キャッシュフロー・ヘッジ	-1,677	-22,271	1,751	23,253
その他包括利益を通じて公正価値で測定される				
負債性金融商品	7	93	7	93
当期為替換算差額	-2,184	-29,004	-259	-3,440
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-256	-3,400	-826	-10,969
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	420	5,578	-200	-2,656
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	365	4,847	-375	-4,980
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される				
負債性金融商品	-1	-13	-2	-27
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	56	744	177	2,351
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計	-3,434	-45,604	1,299	17,251
その他包括利益合計	-4,006	-53,200	1,650	21,912
当期包括利益合計	11,220	149,002	17,298	229,717

当期の損益計算書における分類変更は持分変動計算書に示されている。

貸借対照表(親会社)

		2020年		2019年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
資産					
現金及び中央銀行預け金		297,362	3,948,967	242,889	3,225,566
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記P14	99,115	1,316,247	103,370	1,372,754
金融機関への貸出金	注記P12	953,650	12,664,472	890,557	11,826,597
一般顧客への貸出金	注記P13	566,145	7,518,406	620,175	8,235,924
ポートフォリオヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動		13	173		
社債及びその他の利付証券	注記P14	46,533	617,958	53,096	705,115
株式	注記P15	14,313	190,077	14,335	190,369
子会社株式及び関連会社並びにジョイント・ベンチャーに対する投資	注記P16	73,057	970,197	72,138	957,993
顧客が価値変動リスクを負う資産		7,405	98,338	6,443	85,563
デリバティブ商品	注記P17	33,031	438,652	41,840	555,635
無形資産	注記P20	3,459	45,936	3,190	42,363
不動産、器具備品及びリース資産	注記P21	7,381	98,020	8,145	108,166
当期税金資産		154	2,045	-	-
繰延税金資産	注記P28	1,173	15,577	653	8,672
その他資産	注記P22	20,775	275,892	21,522	285,812
前払費用及び未収金	注記P23	1,297	17,224	1,152	15,299
資産合計	注記P34	2,124,863	28,218,181	2,079,505	27,615,826
負債及び資本					
金融機関からの預り金	注記P24	193,054	2,563,757	208,697	2,771,496
一般顧客からの預金及び借入金	注記P25	1,021,130	13,560,606	918,146	12,192,979
顧客が価値変動リスクを負う負債		7,405	98,338	6,443	85,563
発行済証券等	注記P26	657,520	8,731,866	724,640	9,623,219
デリバティブ商品	注記P17	44,774	594,599	38,669	513,524
ショートポジション	注記P27	1,682	22,337	1,856	24,648
当期税金負債		-	-	202	2,683
繰延税金負債	注記P28	777	10,319	956	12,696
引当金	注記P29	2,276	30,225	1,100	14,608
その他負債	注記P30	9,125	121,180	8,790	116,731
未払費用及び繰延収益	注記P31	2,266	30,092	1,847	24,528
劣後負債	注記P32	41,082	545,569	35,546	472,051
負債合計	注記P34	1,981,091	26,308,888	1,946,892	25,854,726
非課税剰余金	注記P33	933	12,390	1,678	22,284

株式資本	3,069	40,756	3,069	40,756
資本剰余金	8,758	116,306	8,758	116,306
その他積立金	6,706	89,056	10,472	139,068
利益剰余金	109,080	1,448,582	92,988	1,234,881
当期利益	15,226	202,201	15,648	207,805
資本合計	142,839	1,896,902	130,935	1,738,817
負債及び資本合計	2,124,863	28,218,181	2,079,505	27,615,826

持分変動計算書（親会社）

(百万スウェーデン・ クローネ)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定 準備金	内部開発 ソフトウェア 積立金	資本 剰余金	ヘッジ 準備金 ¹	公正価値 評価差額 準備金 ¹	為替換算 調整準備金 ¹	利益剰余金 (当期利益を 含む)	
2020年期首資本	3,069	2,682	3,034	8,758	1,940	660	2,156	108,636	130,935
当期利益								15,226	15,226
その他包括利益					-1,312	-566	-2,128		-4,006
うち、資本の中での 分類変更						-684			-684
当期包括利益合計					-1,312	-566	-2,128	15,226	11,220
利益剰余金への振替								684	684
配当金								-	-
当行グループからの拠出								-	-
当行グループからの拠出 に関する税効果								-	-
転換劣後ローンの影響	-			-					-
内部開発ソフトウェア積 立金			240					-240	
2020年期末資本	3,069	2,682	3,274	8,758	628	94	28	124,306	142,839

(百万スウェーデン・ クローネ)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定 準備金	内部開発 ソフトウェア 積立金	資本 剰余金	ヘッジ 準備金 ¹	公正価値 評価差額 準備金 ¹	為替換算 調整準備金 ¹	利益剰余金 (当期利益を 含む)	
2019年期首資本	3,013	2,682	2,497	5,629	564	304	2,238	104,135	121,062
当期利益								15,648	15,648
その他包括利益					1,376	356	-82		1,650
うち、資本の中での 分類変更						15	-99		-84
当期包括利益合計					1,376	356	-82	15,648	17,298
利益剰余金への振替								84	84
配当金								-10,693	-10,693
当行グループからの拠出								-1	-1
当行グループからの拠出 に関する税効果								0	0
転換劣後ローンの影響	56			3,129					3,185
内部開発ソフトウェア積 立金			537					-537	
2019年期末資本	3,069	2,682	3,034	8,758	1,940	660	2,156	108,636	130,935

1) 公正価値ファンドに含まれている。

為替換算調整準備金は、当行グループの海外支店の貸借対照表及び損益計算書に関連した換算による影響額を含んでいる。換算による影響の累計額は、海外支店が閉鎖又は売却される際に税務上計上される。換算の影

響に係る税制は非常に複雑であり解釈に相違が生じる可能性がある。したがって、売却／閉鎖が起きる前に税務上換算による影響を計上する必要性は否定できない。

2020年1月から12月において、転換可能劣後社債に係る額面-(3,185)百万スウェーデン・クローネが-(35,853,334)株のクラスA株式に転換された。年度末において、トレーディング勘定で保有されていた自己株式は0(0)株であった。

持分変動計算書（親会社）（続き）

資本変動の内訳

ヘッジ準備金の変動

(百万スウェーデン・クローネ)

	2020年	2019年
期首ヘッジ準備金	1,940	564

キャッシュフロー・ヘッジ

公正価値変動の有効部分

金利リスク	-1,402	1,109
為替リスク	-141	654
未実現評価差額		
損益計算書への振替額 ¹	-134	-12
法人税	365	-375
期末ヘッジ準備金	628	1,940

公正価値評価差額準備金の変動

(百万スウェーデン・クローネ)

	2020年	2019年
期首公正価値評価差額準備金	660	304
未実現評価差額 - 資本性金融商品	-572	351
実現評価差額 - 資本性金融商品	684	-15
未実現評価差額 - 負債性金融商品	5	4
予想信用損失引当金の変動 - 負債性金融商品	1	1
利益剰余金への振替額 - 資本性金融商品 ²	-684	15
損益計算書への振替額 - 負債性金融商品 ³	-	-
期末公正価値評価差額準備金	94	660

為替換算調整準備金の変動

(百万スウェーデン・クローネ)

	2020年	2019年
期首為替換算調整準備金	2,156	2,238
為替換算差額の変動	-2,129	15
損益計算書への振替額 ⁴	1	2
利益剰余金への振替額 ⁵	-	-99
期末為替換算調整準備金	28	2,156

1) この項目に係る税金29(3)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

2) この項目に係る税金43(-)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

3) この項目に係る税金-(0)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

4) この項目に係る税金0(0)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

5) この項目に係る税金-(21)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

持分変動計算書（親会社）（続き）

(百万円)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹	公正価値評価差額準備金 ¹	為替換算調整準備金 ¹	利益剰余金(当期利益を含む)	
2020年期首資本	40,756	35,617	40,292	116,306	25,763	8,765	28,632	1,442,686	1,738,817
当期利益								202,201	202,201
その他包括利益					-17,423	-7,516	-28,260		-53,200
うち、資本の中での分類変更						-9,084			-9,084
当期包括利益合計					-17,423	-7,516	-28,260	202,201	149,002
利益剰余金への振替								9,084	9,084
配当金								-	-
当行グループからの拠出								-	-
当行グループからの拠出に関する税効果								-	-
転換可能劣後ローンの影響	-			-					-
内部開発ソフトウェア積立金			3,187					-3,187	
2020年期末資本	40,756	35,617	43,479	116,306	8,340	1,248	372	1,650,784	1,896,902

(百万円)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹	公正価値評価差額準備金 ¹	為替換算調整準備金 ¹	利益剰余金(当期利益を含む)	
2019年期首資本	40,013	35,617	33,160	74,753	7,490	4,037	29,721	1,382,913	1,607,703
当期利益								207,805	207,805
その他包括利益					18,273	4,728	-1,089		21,912
うち、資本の中での分類変更						199	-1,315		-1,116
当期包括利益合計					18,273	4,728	-1,089	207,805	229,717
利益剰余金への振替								1,116	1,116
配当金								-142,003	-142,003
当行グループからの拠出								-13	-13
当行グループからの拠出に関する税効果								0	0
転換可能劣後ローンの影響	744			41,553					42,297
内部開発ソフトウェア積立金			7,131					-7,131	
2019年期末資本	40,756	35,617	40,292	116,306	25,763	8,765	28,632	1,442,686	1,738,817

1) 公正価値ファンドに含まれている。

為替換算調整準備金は、当行グループの海外支店の貸借対照表及び損益計算書に関連した換算による影響額を含んでいる。換算による影響の累計額は、海外支店が閉鎖又は売却される際に税務上計上される。換算の影響に係る税制は非常に複雑であり解釈に相違が生じる可能性がある。したがって、売却／閉鎖が起きる前に税務上換算による影響を計上する必要性は否定できない。

2020年1月から12月において、転換可能劣後社債に係る額面-(42,297)百万円が-(35,853,334)株のクラスA株式に転換された。年度末において、トレーディング勘定で保有されていた自己株式は0(0)株であった。

持分変動計算書（親会社）（続き）

資本変動の内訳

ヘッジ準備金の変動

(百万円)

	2020年	2019年
期首ヘッジ準備金	25,763	7,490

キャッシュフロー・ヘッジ

公正価値変動の有効部分

金利リスク	-18,619	14,728
為替リスク	-1,872	8,685
未実現評価差額		
損益計算書への振替額 ¹	-1,780	-159
法人税	4,847	-4,980
期末ヘッジ準備金	8,340	25,763

公正価値評価差額準備金の変動

(百万円)

	2020年	2019年
期首公正価値評価差額準備金	8,765	4,037
未実現評価差額 - 資本性金融商品	-7,596	4,661
実現評価差額 - 資本性金融商品	9,084	-199
未実現評価差額 - 負債性金融商品	66	53
予想信用損失引当金の変動 - 負債性金融商品	13	13
利益剰余金への振替額 - 資本性金融商品 ²	-9,084	199
損益計算書への振替額 - 負債性金融商品 ³	-	-
期末公正価値評価差額準備金	1,248	8,765

為替換算調整準備金の変動

(百万円)

	2020年	2019年
期首為替換算調整準備金	28,632	29,721
為替換算差額の変動	-28,273	199
損益計算書への振替額 ⁴	13	27
利益剰余金への振替額 ⁵	-	-1,315
期末為替換算調整準備金	372	28,632

- 1) この項目に係る税金385(40)百万円は、損益計算書に振り替えられている。
- 2) この項目に係る税金571(-)百万円は、利益剰余金に振り替えられている。
- 3) この項目に係る税金-(0)百万円は、損益計算書に振り替えられている。
- 4) この項目に係る税金0(0)百万円は、損益計算書に振り替えられている。
- 5) この項目に係る税金-(279)百万円は、利益剰余金に振り替えられている。

キャッシュ・フロー計算書（親会社）

	2020年		2019年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
営業活動				
営業利益	18,757	249,093	20,325	269,916
うち、受取利息	21,017	279,106	28,760	381,933
うち、支払利息	-9,909	-131,592	-18,524	-245,999
うち、受取配当金	15,937	211,643	17,338	230,249
損益における非現金項目の調整				
信用損失	553	7,344	1,204	15,989
未実現評価差額	-645	-8,566	-59	-784
減価償却費、償却費及び減損	2,746	36,467	2,297	30,504
グループ利益分配	-15,135	-200,993	-15,992	-212,374
法人税の支払	-4,910	-65,205	-3,702	-49,163
営業活動による資産及び負債の変動				
金融機関への貸出金	-63,093	-837,875	-49,473	-657,001
一般顧客への貸出金	53,465	710,015	-9,636	-127,966
利付証券及び株式	9,595	127,422	12,716	168,868
金融機関からの預り金	-14,309	-190,024	-52,988	-703,681
一般顧客からの預金及び借入金	101,650	1,349,912	78,261	1,039,306
発行済証券	-67,120	-891,354	8,110	107,701
デリバティブの正味ポジション	15,201	201,869	20,070	266,530
ショートポジション	-197	-2,616	-4,439	-58,950
投資銀行業務の決済における債権及び債務	871	11,567	7,396	98,219
その他	11,261	149,546	-4,062	-53,943
営業活動からのキャッシュ・フロー	48,690	646,603	10,028	133,172
投資活動				
関連会社の取得及び関連会社への拠出	-984	-13,068	-134	-1,780
株式の売却	1,688	22,417	39	518
不動産及び器具備品の取得	-4,577	-60,783	-6,833	-90,742
不動産及び器具備品の処分	3,030	40,238	2,460	32,669
無形資産の取得	-852	-11,315	-894	-11,872
無形資産の処分	-	-	-	-
投資活動からのキャッシュ・フロー	-1,695	-22,510	-5,362	-71,207
財務活動				
劣後ローンの返済	-2	-27	-17,730	-235,454
劣後ローンの発行	8,176	108,577	4,670	62,018
配当金の支払	-	-	-10,693	-142,003
当行グループ会社からの受取配当金	15,992	212,374	10,104	134,181
財務活動からのキャッシュ・フロー	24,166	320,924	-13,649	-181,259
うち、為替換算差額	-819	-10,876	635	8,433
当期キャッシュ・フロー	71,161	945,018	-8,983	-119,294

期首流動資金	242,889	3,225,566	243,824	3,237,983
営業活動からのキャッシュ・フロー	48,690	646,603	10,028	133,172
投資活動からのキャッシュ・フロー	-1,695	-22,510	-5,362	-71,207
財務活動からのキャッシュ・フロー	24,166	320,924	-13,649	-181,259
流動資金の為替換算差額	-16,688	-221,617	8,048	106,877
期末流動資金	297,362	3,948,967	242,889	3,225,566

キャッシュ・フロー計算書は間接法で作成されており、これは営業利益が減価償却費/償却費や信用損失等、現金の受払いを伴わない取引について営業利益が調整されていることを意味している。

流動資金は、現金及び中央銀行預け金である。

5年間の概要(親会社)

損益計算書

(百万スウェーデン・クローネ)

	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年
純利息収益	13,071	13,039	17,234	16,326	15,011
受取配当金	15,937	17,338	11,023	13,705	17,045
純手数料及びコミッション収益	5,692	6,011	6,218	6,592	6,509
金融取引による純損益	1,869	618	1,020	1,339	3,076
その他営業収益	2,790	2,638	2,805	1,690	1,647
営業収益合計	39,359	39,644	38,300	39,652	43,288
一般管理費用					
人件費	-11,689	-10,148	-12,255	-10,938	-10,427
その他管理費用	-5,684	-5,808	-6,332	-5,702	-5,224
不動産及び器具備品、リース並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-2,672	-2,156	-1,350	-1,094	-591
信用損失控除前費用合計	-20,045	-18,112	-19,937	-17,734	-16,242
信用損失控除前利益	19,314	21,532	18,363	21,918	27,046
正味信用損失	-477	-1,059	-835	-1,685	-1,730
金融固定資産の減損損失	-79	-148	-	-	-20
営業利益	18,758	20,325	17,528	20,233	25,296
繰入	743	-380	332	115	-193
税引前利益	19,501	19,945	17,860	20,348	25,103
法人税等	-4,275	-4,297	-4,005	-4,662	-4,503
当期利益	15,226	15,648	13,855	15,686	20,600
当期配当金	8,118 ¹	-	10,693	14,581	9,721

1) 取締役会の処分案によるものである。

包括利益計算書

(百万スウェーデン・クローネ)

	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年
当期利益	15,226	15,648	13,855	15,686	20,600

その他包括利益

損益計算書に組み替えられない項目

その他包括利益を通じて公正価値で測定される

資本性金融商品 -583 | 372 | -188 | | |

損益計算書に組み替えられない項目に係る税金 11 | -21 | 1 | | |

うち、その他包括利益を通じて公正価値で

測定される資本性金融商品 11 | -21 | 1 | | |

損益計算書に組み替えられない項目合計 **-572** | **351** | **-187** | | |

その後に損益計算書に組み替えられる

可能性のある項目

344/605

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
有価証券報告書

キャッシュフロー・ヘッジ	-1,677	1,751	829	41	-1,882
その他包括利益を通じて公正価値で測定される 負債性金融商品	7	7	-12		
売却可能金融商品 (IAS第39号)				-470	-1,152
当期為替換算差額	-2,184	-259	41	-2,261	387
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-256	-826	-848	-1,476	-65
その後に損益計算書に組み替えられる可能性の ある項目に係る税金	420	-200	19	311	538
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	365	-375	-178	-9	414
うち、その他包括利益を通じて公正価値で 測定される負債性金融商品	-1	-2	3		
うち、売却可能金融商品 (IAS第39号)				-5	110
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	56	177	194	325	14
その後に損益計算書に組み替えられる 可能性のある項目合計	-3,434	1,299	877	-2,379	-2,109
その他包括利益合計	-4,006	1,650	690	-2,379	-2,109
当期包括利益合計	11,220	17,298	14,545	13,307	18,491

貸借対照表

(百万スウェーデン・クローネ)

	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年
資産					
一般顧客への貸出金	566,145	620,175	611,699	795,691	763,567
金融機関への貸出金	953,650	890,557	841,085	664,018	593,125
利付証券	145,648	156,466	169,911	172,107	154,547
その他資産	459,420	412,307	431,004	381,060	383,465
資産合計	2,124,863	2,079,505	2,053,699	2,012,876	1,894,704

負債及び資本

一般顧客からの預金及び借入金	1,021,130	918,146	839,835	941,401	827,753
金融機関からの預り金	193,054	208,697	261,735	193,822	189,176
発行済証券	657,520	724,640	716,531	654,637	648,977
劣後負債	41,082	35,546	51,085	32,896	33,400
その他負債	68,305	59,863	62,565	69,237	77,963
非課税剰余金	933	1,678	886	683	793
資本	142,839	130,935	121,062	120,200	116,642
負債及び資本合計	2,124,863	2,079,505	2,053,699	2,012,876	1,894,704

重要な数値

	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年
減損貸出金引当率 (%)				65.7	60.1
減損貸出金の割合 (%)				0.18	0.23
CRRによる普通株式等Tier1比率 (%)	31.7	20.2	18.7	21.4	23.4
CRRによるTier1比率 (%)	34.6	23.0	21.0	23.9	26.3
CRRによる自己資本比率合計 (%)	38.8	26.2	24.1	27.5	30.0
使用資本利益率 (%)	0.65	0.74	0.63	0.74	0.99

代替的な数値の定義については266ページ（訳注：原文のページ番号である。）を参照のこと。また、これらの重要な数値の計算については、handelsbanken.com/irから入手可能な「ファクト・ブック」を参照のこと。

[次へ](#)

注記P1 会計方針

準拠表明

親会社の年次報告書はスウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）、スウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針（FFFS 2008年第25号）、信用機関及び証券会社における年次報告に準拠して作成されている。親会社はまたスウェーデンの財務報告審議会によるRFR第2号「事業体に関する会計処理」の勧告と意見書を適用している。金融監督庁の一般的な指針に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれら基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り適用されていることを意味する。

親会社及び当行グループの会計方針における関連性

親会社の会計方針は、概ね当行グループの会計方針と一致している。以下は当行グループの会計方針と異なっている親会社の会計方針に限定して報告するものである。その他については注記G1の会計方針を参照のこと。

表示

親会社は損益計算書及び貸借対照表について信用機関及び証券会社に係る年次報告法並びにスウェーデン金融監督庁の規定に準拠した表示モデルを採用している。これは当行グループの表示モデルと比較して、主に以下の相違があることを意味する。

- ・ 要求払い可能な中央銀行に対する債権は、親会社の貸借対照表において金融機関への貸出金として報告されている。これらは当行グループにおいて中央銀行へのその他の貸出金として報告されている。
- ・ 仲介及び株式取引費用は親会社においてコミッション費用として報告されている。
- ・ 受取配当金は親会社の損益計算書において個別の科目で報告されている。
- ・ 親会社における不動産、器具備品及び無形固定資産を処分する際の損益は、その他収益又は費用に報告されている。
- ・ 非課税剰余金は親会社において個別の貸借対照表項目として計上されている。これらは当行グループにおいて持分資本と税金負債に分割されている。

外貨建て資産及び負債

親会社の借入金で在外営業活動体における純投資をヘッジするものは、当初の換算レートで測定される。

売却目的保有資産及び非継続事業

非継続事業からの税引後純利益は親会社の損益計算書において個別に認識されない。また売却目的保有資産は貸借対照表において個別に表示されない。

子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーへの投資

子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーへの投資は取得原価で測定される。すべての保有について減損の可否を評価するため、各貸借対照表日に減損のテストが実施される。価値が下落している場合、連結された価値まで調整する様に減損が認識される。減損費用は、損益計算書上の金融資産の減損損失として分類される。子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーの株式に対する配当金は収益として損益計算書の受取配当金に計上される。

金融保証

保証コミットメントの形式による子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーのための金融保証は、親会社に履行義務が存在し、当該履行義務を清算するための支払いが求められる可能性が高い場合、親会社の貸借対照表に引当金として計上される。

無形資産

親会社において、資産及び耐用年数を確定出来ないその他の無形資産の取得は、前述の年次報告法の規定に準拠して償却される。経験上、買収により取得した顧客関係は非常に長期にわたるため、その結果、買収におけるのれんの耐用年数も長期となる。償却期間は20年と定められている。

リース

当行が貸手の場合

親会社は、ファイナンス・リースをオペレーティングリースとして認識している。したがって、当該資産は、リース資産として計上され、減価償却費は損益計算書上の「不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用」に計上される。賃料収入は、損益計算書上の純利息収益にリース料として認識される。

リース資産は、主に車両及び機械で構成されている。リース資産は、年金法に従ってリース契約期間にわたり減価償却される。

当行が借手の場合

親会社はリース期間にわたり、リース料を定額法により費用として認識する。

配当金

受取配当金項目は、子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーからの配当金並びにグループ利益分配の受領を含む、親会社が受領したすべての配当金で構成されている。

配当予想は、親会社に配当金額を決定する権利があり、財務報告の公表前に決定されている場合に限り認識される。

退職給付会計

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わりに、親会社の年金費用は、年金債務保護法の規定及びスウェーデン金融監督庁の規定に準拠した年金数理計算を基に計算される。これは主に割引率の設定方法及び将来債務の計算に将来の昇給が考慮されていないことに関して差異があることを意味する。認識された正味年金費用は、年金基金からの拠出を控除後の支払年金、年金保険料及び年金基金への分配額合計として算定される。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積り年金債務を超過したことによる超過額は親会社の貸借対照表において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

法人税等

親会社において、非課税剰余金は貸借対照表において個別項目として認識される。非課税剰余金の一部は、繰延税金負債に計上され、残りは資本に計上されている。

注記P2 リスク及び資本管理

ハンデルスバンケン・グループのリスク管理は、注記G2に記載されている。親会社のリスクに関する具体的な情報については以下に示されている。その他の定義については、250から252ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2020年のアニュアルレポート原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）を参照のこと。

信用エクスポージャー、地域別、 2020年 百万スウェーデン・クローネ		スウェーデン	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
オンバランスシート項目								
現金及び中央銀行預け金		84,525	18,026	217	114,600	11,035	68,959	297,362
金融機関への貸出金	注記P12	883,811	3,330	23,679	40,780	225	1,825	953,650
一般顧客への貸出金	注記P13	193,657	163,015	52,232	81,511	63,905	11,825	566,145
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記P14	98,353	-	-	-	-	762	99,115
社債及びその他の利付証券	注記P14	46,533	-	-	-	-	-	46,533
デリバティブ商品 ¹	注記P17	32,907	-	12	-	-	112	33,031
合計		1,339,786	184,371	76,140	236,891	75,165	83,483	1,995,836
オフバランスシート項目								
偶発債務	注記P37	388,950	58,529	33,013	39,374	7,503	32,340	559,709
うち保証コミットメント		53,417	5,702	8,984	11,041	121	20,209	99,474
うち債務		335,533	52,827	24,029	28,333	7,382	12,131	460,235
合計		388,950	58,529	33,013	39,374	7,503	32,340	559,709
オンバランスシート項目及びオフバランスシート項目合計		1,728,736	242,900	109,153	276,265	82,668	115,823	2,555,545

信用エクスポージャー、地域別、 2019年 百万スウェーデン・クローネ		スウェーデン	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
オンバランスシート項目								
現金及び中央銀行預け金		46,551	22,097	270	106,105	7,996	59,870	242,889
金融機関への貸出金	注記P12	820,107	9,588	19,175	37,221	89	4,377	890,557
一般顧客への貸出金	注記P13	210,745	185,803	60,055	84,693	56,975	21,904	620,175
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記P14	102,364	-	-	-	-	1,006	103,370
社債及びその他の利付証券	注記P14	53,096	-	-	-	-	-	53,096
デリバティブ商品 ¹	注記P17	41,807	-	7	-	-	26	41,840
合計		1,274,670	217,488	79,507	228,019	65,060	87,183	1,951,927
オフバランスシート項目								
偶発債務	注記P37	372,096	66,221	33,826	43,017	7,765	47,280	570,205
うち保証コミットメント		54,307	6,920	10,588	15,518	195	27,537	115,065
うち債務		317,789	59,301	23,238	27,499	7,570	19,743	455,140
合計		372,096	66,221	33,826	43,017	7,765	47,280	570,205
オンバランスシート項目及びオフバランスシート項目合計		1,646,766	283,709	113,333	271,036	72,825	134,463	2,522,132

地域別内訳はエクスポージャーが計上されている国の内訳をいう。

- 1) 正の市場価値合計を示している。法的な強制力のあるマスター・ネットリング契約が含まれる場合、エクスポージャー額は29,817(46,505)百万スウェーデン・クローネとなる。

一般顧客への貸出金、 セクター別内訳、2020年 百万スウェーデン・ クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
個人	106,333	3,025	879	-28	-31	-482	109,696
住宅協同組合	23,329	727	79	-2	-2	-35	24,096
不動産管理	267,249	20,050	996	-48	-183	-204	287,860
製造	19,235	3,339	173	-13	-18	-106	22,610
リテール	13,969	1,565	364	-13	-50	-92	15,743
ホテル及びレストラン	3,520	2,206	8	-15	-62	-4	5,653
海運	1,675	2,064	1,162	-1	-6	-288	4,606
その他運輸及び通信	5,333	456	101	-6	-18	-79	5,787
建設	11,697	1,430	137	-14	-31	-83	13,136
電気、ガス及び水道	7,676	737	3	-2	-9	-1	8,404
農業、狩猟業及び林業	5,307	346	52	-5	-11	-41	5,648
その他サービス	7,334	577	309	-10	-27	-209	7,974
持株会社、投資会社、保険会 社、ミューチュアル・ファン ド等	33,880	1,696	151	-12	-10	-105	35,600
ソブリン及び地方自治体	1,594	16	-	0	-1	-	1,609
その他法人貸付	17,319	142	337	-3	-5	-67	17,723
合計	525,450	38,376	4,751	-172	-464	-1,796	566,145

一般顧客への貸出金、 セクター別内訳、2019年 百万スウェーデン・ クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
個人	115,165	3,663	1,023	-23	-27	-498	119,303
住宅協同組合	33,325	1,116	68	-4	-4	-2	34,499
不動産管理	292,213	5,515	977	-69	-87	-203	298,346
製造	21,172	3,142	1,287	-10	-33	-1,214	24,344
リテール	20,542	1,921	158	-11	-22	-110	22,478
ホテル及びレストラン	3,898	103	15	-2	-2	-7	4,005
海運	4,427	49	1,616	-1	-3	-496	5,592
その他運輸及び通信	6,034	579	93	-3	-8	-78	6,617
建設	12,489	1,030	250	-11	-15	-209	13,534
電気、ガス及び水道	9,779	2,142	8	-2	-8	-8	11,911
農業、狩猟業及び林業	4,939	335	73	-3	-7	-34	5,303
その他サービス	10,204	745	234	-7	-18	-129	11,029
持株会社、投資会社、保険会 社、ミューチュアル・ファン ド等	43,470	883	138	-11	-11	-106	44,363
ソブリン及び地方自治体	1,161	2	-	0	0	-	1,163
その他法人貸付	17,258	143	522	-2	-2	-231	17,688
合計	596,076	21,368	6,462	-159	-247	-3,325	620,175

信用エクスポージャー、担保別内訳、2020年 百万スウェーデン・クローネ	住宅用不動産 ¹	その他の不動産	ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²	自己の債務の担保として差し入れた保証 ³	金融担保	資産担保	その他の担保	無担保 ⁴	合計
オンバランスシート項目									
現金及び中央銀行預け金			297,362						297,362
金融機関への貸出金	注記 P12	-	51,860	978	39,685	-	-	861,127	953,650
一般顧客への貸出金	注記 P13	180,123	204,290	23,974	7,426	12,432	5,364	10,258	566,145
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記 P14		99,115						99,115
社債及びその他の利付証券	注記 P14	-	-	2,563	-	-	-	43,970	46,533
デリバティブ商品	注記 P17	972	1,688	2,047	81	15,013	-	13,230	33,031
合計		181,095	205,978	476,921	8,485	67,130	5,364	10,258	1,995,836
オフバランスシート項目									
偶発債務	注記 P37	83,062	42,372	44,050	5,986	10,104	3,026	9,754	559,709
うち保証コミットメント		6,207	1,712	12,239	2,864	1,255	2,906	1,034	99,474
うち債務		76,855	40,660	31,811	3,122	8,849	120	8,720	460,235
合計		83,062	42,372	44,050	5,986	10,104	3,026	9,754	559,709
オンバランスシート項目及びオフバランスシート項目合計		264,157	248,350	520,971	14,471	77,234	8,390	20,012	2,555,545
信用エクスポージャー、担保別内訳、2019年									
百万スウェーデン・クローネ	住宅用不動産 ¹	その他の不動産	ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²	自己の債務の担保として差し入れた保証 ³	金融担保	資産担保	その他の担保	無担保 ⁴	合計
オンバランスシート項目									
現金及び中央銀行預け金			242,889						242,889
金融機関への貸出金 ⁵	注記 P12	-	2,969	45	-	-	-	887,543	890,557
一般顧客への貸出金	注記 P13	186,011	213,300	23,547	13,051	10,614	5,537	23,125	620,175
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記 P14		103,370						103,370

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
有価証券報告書

社債及びその

他の	注記									
利付証券	P14			2,982				50,114		53,096
デリバティブ	注記									
商品	P17	463	875	1,739	60	29,993	0	184	8,526	41,840
合計		186,474	214,175	377,496	13,156	40,607	5,537	23,309	1,091,173	1,951,927

オフバランス
シート項目

偶発債務	注記									
	P37	56,661	33,796	39,213	3,678	4,703	1,209	20,315	410,630	570,205
うち保証 コミットメ ント		3,510	2,403	15,266	1,692	1,033	1,024	2,986	87,151	115,065
うち債務		53,151	31,393	23,947	1,986	3,670	185	17,329	323,479	455,140
合計		56,661	33,796	39,213	3,678	4,703	1,209	20,315	410,630	570,205

オンバランス
シート項目及
びオフ balan
スシート項目
合計

合計	243,135	247,971	416,709	16,834	45,310	6,746	43,624	1,501,803	2,522,132
----	---------	---------	---------	--------	--------	-------	--------	-----------	-----------

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。
 2) 直接のソブリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。
 3) 政府保証は含まない。
 4) この列は親会社によるグループ子会社への内部貸出及びコミットメントを含む。オンバランスシート項目では、この内部貸出は913,321百万クローネ、オフバランスシート項目は54,244百万クローネであった。

市場リスク

市場リスク

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
金利リスク	1,242	1,098
為替リスク ¹	22	56
株価リスク	65	221
コモディティ・リスク	2	5

- 1) スウェーデン・クローネが+/-5%変動した場合の最悪の結果

流動性リスク

金融資産及び負債の満期分
析、

2020年								
百万スウェーデン・クローネ	30日以内	30日から 6カ月	6カ月から 12カ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の 指定なし	合計
現金及び中央銀行預け金	297,384	-	-	-	-	-	-	297,384
中央銀行への担保として 適格な利付証券 ¹	99,115	-	-	-	-	-	-	99,115
社債及びその他の利付証券 ²	46,533	-	-	-	-	-	-	46,533
金融機関への貸出金	67,827	150,334	109,066	153,276	198,555	287,836	-	966,894
うち、リバース・レボ	2,776	-	-	-	-	-	-	2,776
一般顧客への貸出金	53,542	108,156	84,934	74,517	130,785	133,380	-	585,314
うち、リバース・レボ	11,626	-	-	-	-	-	-	11,626
その他	17,551	-	-	-	-	-	145,639	163,190
うち、株式及び参加持分	14,313	-	-	-	-	-	-	14,313
うち、投資銀行業務の 決済に係る債権	3,238	-	-	-	-	-	-	3,238

資産合計	581,952	258,490	194,000	227,793	329,340	421,216	145,639	2,158,430
金融機関からの預り金	96,859	43,238	4,549	568	420	1,205	46,779	193,618
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、中央銀行	17,334	23,110	-	-	-	-	314	40,758
一般顧客からの預金及び借入金	15,076	9,861	1,977	3,655	360	38	989,695	1,020,662
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
発行済証券 ³	49,558	235,277	216,590	59,219	73,682	30,103	-	664,429
うち、カバード・ボンド	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、当初満期が1年未満の証書及びその他の証券	42,664	195,176	190,592	-	-	-	-	428,432
うち、当初満期が1年超のシニア債及びその他の証券	6,894	40,101	25,998	59,219	73,682	30,103	-	235,997
劣後負債	-	9,937	-	2,935	19,014	8,281	-	40,167
その他	5,654	-	-	-	-	-	208,665	214,319
うち、ショートポジショ	1,687	-	-	-	-	-	-	1,687
ン								
うち、投資銀行業務の決済債務	3,967	-	-	-	-	-	-	3,967
負債合計	167,147	298,313	223,116	66,377	93,476	39,627	1,245,139	2,133,195

オフバランスシート項目

金融保証及び未使用の
コミットメント

460,235

デリバティブ、2020年

百万スウェーデン・クローネ	30日以内	30日から 6カ月	6カ月から 12カ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	合計
デリバティブに係る現金流入合計	203,343	419,683	119,243	92,612	186,031	100,891	1,121,803
デリバティブに係る現金流出合計	206,625	427,457	118,845	93,932	185,640	101,596	1,134,095
純額	-3,282	-7,774	398	-1,320	391	-705	-12,292

金融資産及び負債の満期分析、

2019年 百万スウェーデン・クローネ	30日以内	30日から 6カ月	6カ月から 12カ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の 指定なし	合計
現金及び中央銀行預け金	242,844	-	-	-	-	-	-	242,844
中央銀行への担保として 適格な利付証券 ¹	103,370	-	-	-	-	-	-	103,370
社債及びその他の利付証券 ²	53,095	-	-	-	-	-	-	53,095
金融機関への貸出金	93,282	87,882	82,087	164,154	195,014	289,158	-	911,577
うち、リバース・レボ	211	-	-	-	-	-	-	211
一般顧客への貸出金	44,767	124,985	92,110	83,439	157,207	140,807	-	643,315
うち、リバース・レボ	10,438	-	-	-	-	-	-	10,438
その他	17,318	-	-	-	-	-	153,742	171,060

うち、株式及び参加持分	14,335	-	-	-	-	-	-	14,335
うち、投資銀行業務の 決済に係る債権	2,983	-	-	-	-	-	-	2,983
資産合計	554,676	212,867	174,197	247,593	352,221	429,965	153,742	2,125,261
金融機関からの預り金	121,452	26,407	5,239	304	854	1,328	54,029	209,613
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、中央銀行	40,025	12,795	-	-	-	-	26	52,846
一般顧客からの預金及び借入金	16,651	11,350	2,685	3,382	342	51	883,197	917,658
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	0
発行済証券 ³	49,583	272,285	214,779	75,202	110,421	15,966	-	738,236
うち、カバード・ボンド	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、当初満期が1年未満 の証書及びその他の証 券	44,672	245,855	114,912	-	-	-	-	405,439
うち、当初満期が1年超の シニア債及びその他の 証券	4,911	26,430	99,867	75,202	110,421	15,966	-	332,797
劣後負債	-	1,125	29	12,623	24,631	-	-	38,408
その他	4,705	-	-	-	-	-	190,412	195,117
うち、ショートポジショ ン	1,865	-	-	-	-	-	-	1,865
うち、投資銀行業務の決 済債務	2,840	-	-	-	-	-	-	2,840
負債合計	192,391	311,167	222,732	91,511	136,248	17,345	1,127,638	2,099,032

オフバランスシート項目

金融保証及び未使用の コミットメント	455,140
-----------------------	---------

デリバティブ、2019年

百万スウェーデン・クロー ネ	30日以内	30日から 6カ月	6カ月から 12カ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	合計
デリバティブに係る現金流 入合計	210,539	467,477	134,089	155,969	255,219	96,562	1,319,855
デリバティブに係る現金流 出合計	212,872	470,500	129,877	151,188	251,681	96,252	1,312,370
純額	-2,333	-3,023	4,212	4,781	3,538	310	7,485

- 1) この金額（利息を除く）のうち、75,526(83,175)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。
2) この金額（利息を除く）のうち、7,184(16,653)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。
3) この金額（利息を除く）のうち、498,032(528,690)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

「満期の指定なし」の欄の預金は、要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表のオンバランスシート項目の金額は親会社の貸借対照表上の金額と一致していない。

注記P3 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
利息収益		
金融機関及び中央銀行への貸出金	5,368	8,193
一般顧客への貸出金	12,215	14,230

中央銀行への担保として適格な利付証券	291	333
社債及びその他の利付証券	381	519
デリバティブ商品	1,172	4,083
その他利息収益	811	832
合計	20,238	28,190

金融取引による純損益に計上された利息収益	-112	-511
利息収益合計	20,350	28,701
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息	17,293	22,027

リース収益	1,963	1,488
--------------	--------------	--------------

利息費用

金融機関及び中央銀行からの預り金	-681	-1,161
一般顧客からの預金及び借入金	-757	-1,413
発行済証券	-7,239	-14,370
デリバティブ商品	1,813	2,776
劣後負債	-1,185	-1,282
政府手数料	-762	-1,348
その他利息費用	-347	-351
合計	-9,158	-17,149

金融取引による純損益に計上された利息費用	84	1
利息費用合計	-9,242	-17,150
うち、実効金利法による利息費用及びヘッジ会計デリバティブに係る利息費用	-7,610	-14,617

純利息収益	13,071	13,039
--------------	---------------	---------------

ファイナンス・リースの予定減価償却費 ¹	-1,795	-1,348
純利息収益（ファイナンス・リースの予定減価償却費控除後）	11,276	11,691

1) 不動産、器具備品及び無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用を計上。

デリバティブ商品の行には、ヘッジ対象資産及び負債に関連する純利息収益が含まれている。これらは利息収益及び費用に正負双方の影響を与えた可能性がある。

注記P4 受取配当金

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
配当金	76	246
関連会社からの配当金	-	3
グループ会社からの配当金 ¹	726	1,097

グループ利益分配受領額	15,135	15,992
合計	15,937	17,338

1) うち、540(327)百万スウェーデン・クローネは、Stadshypotekが資本性金融商品として分類するTier 1 資本ローンに係る配当である。

注記P5 純手数料及びコミッション収益

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
仲介及びその他証券コミッション	645	604
ミューチュアル・ファンド	926	1,186
カストディ及びその他資産管理手数料	888	790
アドバイザリーサービス	184	207
決済	2,915	3,424
貸出金及び預金	905	870
保証	335	377
その他	687	570
手数料及びコミッション収益合計	7,485	8,028
証券	-265	-251
決済	-1,464	-1,695
その他	-64	-71
手数料及びコミッション費用合計	-1,793	-2,017
純手数料及びコミッション収益	5,692	6,011

手数料及びコミッション収益は、顧客との契約により生じる収益をいう。仲介及びその他の証券コミッション、アドバイザリーサービス、決済、貸出金及び預金は通常、サービスの提供に伴い、すなわち特定時に認識される。決済にはクレジットカードの発行及び取得も含まれる。ミューチュアル・ファンド、カストディ及びその他の資産管理手数料、保険及び保証から生じる収益は通常、サービスの提供時、すなわち時間の経過とともに定額法で計上される。

注記P6 金融取引による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
償却原価で計上される金融商品	106	89
うち、貸出金	106	73
うち、利付証券	0	0
うち、発行済証券	0	16
その他包括利益を通じて公正価値で計上	-1	-1
うち、予想信用損失	-1	-1
純損益を通じて公正価値で計上、公正価値オプション	304	646
うち、利付証券	304	646

純損益を通じて公正価値で計上（強制）（外貨換算影響額を含む）	1,427	-71
ヘッジ会計	33	-45
うち、公正価値ヘッジに係る純損益	34	-37
うち、キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分	-1	-8
合計	1,869	618

注記P7 その他営業収益

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
賃料収入	26	27
その他営業収益 ¹	2,764	2,611
合計	2,790	2,638

1) この項目には親会社の子会社に販売したサービスの対価が含まれる。

注記P8 人件費

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
給与及び報酬	-6,963	-7,015
社会保障費	-1,809	-1,816
年金費用 ¹	-1,235	-1,202
利益分配制度に対する準備金	-213	644
その他人件費	-1,469	-759
合計	-11,689	-10,148

1) 年金費用に関する情報については、注記P38に示されている。

給与及び報酬

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
執行役員 ² 、20(20)名	-72	-81
その他	-6,891	-6,934
合計	-6,963	-7,015

2) 取締役を含む執行役員

男女別分布、%

	2020年		2019年	
	男性	女性	男性	女性
取締役	50	50	55	45
取締役を除く執行役員	80	20	67	33

平均従業員数	2020年	男性	女性	2019年	男性	女性
スウェーデン	6,903	3,289	3,614	6,971	3,315	3,656
英国	0	0	0	0	0	0
ノルウェー	779	414	365	768	408	360
デンマーク	639	327	312	646	330	316
フィンランド	557	245	312	557	244	313
オランダ	315	198	117	293	188	105
米国	53	34	19	56	37	19
中国	59	23	36	80	30	50
ルクセンブルグ	45	24	21	46	26	20
シンガポール	23	7	16	30	11	19
ドイツ	34	17	17	38	19	19
ポーランド	24	9	15	33	11	22
その他諸国	21	5	16	42	14	28
合計	9,452	4,592	4,860	9,560	4,633	4,927

親会社の執行役員に対する報酬の原則に関する情報については、注記G8に示されている。

注記P9 その他管理費用

	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ		
不動産及び建物設備	-1,240	-1,241
外部IT費用	-2,086	-2,108
通信費	-235	-248
旅費及びマーケティング費用	-110	-214
購入したサービス	-1,202	-1,200
備品費	-142	-157
その他管理費用	-669	-640
合計	-5,684	-5,808
うち、オペレーティング・リースに係る費用		
リース料	-562	-525
変動リース料	-97	-112
合計	-659	-637

オペレーティング・リースは主として、事務所及び事務所設備の賃借に関する標準的な契約によるものである。事務所賃借料には、通常、インフレ率と固定資産税に関連した変動リース料が含まれている。

解約不能オペレーティング・リース契約における将来リース料、支払期限別

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
---------------	-------	-------

1年未満	-970	-964
1年から5年	-3,270	-3,070
5年超	-3,375	-3,348
合計	-7,615	-7,382

監査人及び監査法人に対する報酬	アーンスト・アンド・ ヤング・エイ・ビー		プライスウォーター ハウスクーパース・エイビー	
	2020年	2019年	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ				
監査業務	-8	-10	-4	-4
当該監査業務以外の監査上の業務	-	-1	-	-
税務アドバイス	0	-	-	-
その他サービス	0	-	-	-

注記P10 信用損失

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
オンバランスシート項目に係る予想信用損失		
ステージ3に分類された貸出金に対する当年度の引当金	-699	-1,475
ステージ3に分類された貸出金に対する引当金の過年度からの戻入	526	334
ステージ3に分類された貸出金に対する予想信用損失合計	-173	-1,141
ステージ2に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	-237	90
ステージ1に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	-23	-7
ステージ1及び2に分類された貸出金に対する予想信用損失合計	-260	83
オンバランスシート項目に係る予想信用損失合計	-433	-1,058
オフバランスシート項目に係る予想信用損失		
ステージ3に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	-20	-107
ステージ2に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	-62	-7
ステージ1に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	-15	-2
オフバランスシート項目に係る予想信用損失合計	-97	-116
償却		
当年度の実際の信用損失 ¹	-1,648	-353
ステージ3に分類された貸出金に対する従前の引当金の取崩	1,622	323
償却合計	-26	-30
回収	79	145
信用損失（純額）	-477	-1,059
うち、一般顧客への貸出金	-378	-943

1) 当年度の実際の信用損失のうち、223(107)百万スウェーデン・クローネが強制執行の対象となる。

減損テスト対象のオンバランスシート項目及びオフバランスシート項目、
2020年

	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3
百万スウェーデン・クローネ						
オンバランスシート項目						
現金及び中央銀行預け金	297,362	-	-	0	-	-
中央銀行への担保として適格な 利付証券	1,163	-	-	-	-	-
金融機関への貸出金	953,640	17	-	-1	-6	-
一般顧客への貸出金	525,450	38,376	4,751	-172	-464	-1,796
社債及びその他の利付証券	7,964	-	-	-2	-	-
合計	1,785,579	38,393	4,751	-175	-470	-1,796
オフバランスシート項目						
偶発債務	409,604	8,890	440	-51	-110	-119
うち、保証コミットメント	97,320	1,970	184	-10	-17	-70
うち、債務	312,284	6,920	256	-41	-93	-49
合計	409,604	8,890	440	-51	-110	-119

減損テスト対象のオンバランスシート項目及びオフバランスシート項目、
2019年

	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3
百万スウェーデン・クローネ						
オンバランスシート項目						
現金及び中央銀行預け金	242,889	-	-	0	-	-
中央銀行への担保として適格な 利付証券	1,410	-	-	0	-	-
金融機関への貸出金	890,368	193	-	-1	-3	-
一般顧客への貸出金	596,076	21,368	6,462	-159	-247	-3,325
社債及びその他の利付証券	4,953	-	-	-2	-	-
合計	1,735,696	21,561	6,462	-162	-250	-3,325
オフバランスシート項目						
偶発債務	435,921	7,921	685	-38	-50	-106
うち、保証コミットメント	111,518	3,020	527	-7	-13	-71
うち、債務	324,403	4,901	158	-31	-37	-35
合計	435,921	7,921	685	-38	-50	-106

1) 受け入れた担保により、引当金を計上しなかったステージ3貸出金の総額は1,173(1,237)百万スウェーデン・クローネであった。

一般顧客への貸出金に対する信用損失の主要数値

	2020年	2019年
信用損失率、ACC、%	0.06	0.15
信用損失引当率合計、%	0.43	0.60
ステージ1に分類された貸出金に対する引当率、%	0.03	0.03
ステージ2に分類された貸出金に対する引当率、%	1.21	1.16
ステージ3に分類された貸出金に対する引当率、%	37.80	51.45
ステージ3に分類された貸出金の割合、%	0.52	0.50

変動分析

減損テスト対象のオンバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

	2020年				2019年			
百万スウェーデン・ クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-162	-250	-3,325	-3,737	-153	-339	-2,472	-2,964
認識中止した資産	20	48	95	163	20	41	75	136
償却	0	1	1,621	1,622	0	1	322	323
信用リスクの変動による再 測定	-115	-99	53	-161	-62	-167	42	-187
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	0	0	-	0
外貨換算影響額等	8	12	61	81	-2	-4	-35	-41
購入又は組成した資産	-21	-8	-7	-36	-19	-7	-3	-29
ステージ1への振替	-8	11	3	6	-13	24	1	12
ステージ2への振替	46	-283	3	-234	38	-101	13	-50
ステージ3への振替	57	98	-300	-145	29	302	-1,268	-937
期末現在引当金	-175	-470	-1,796	-2,441	-162	-250	-3,325	-3,737

一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

	2020年				2019年			
百万スウェーデン・ クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-159	-247	-3,325	-3,731	-149	-331	-2,472	-2,952
認識中止した資産	19	46	95	160	19	35	75	129
償却	0	1	1,621	1,622	0	1	322	323
信用リスクの変動による再 測定	-114	-100	53	-161	-62	-166	42	-186
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	0	0	-	0
外貨換算影響額等	8	12	61	81	-2	-4	-35	-41
購入又は組成した資産	-20	-8	-7	-35	-19	-7	-3	-29
ステージ1への振替	-8	11	3	6	-13	24	1	12
ステージ2への振替	45	-277	3	-229	38	-100	13	-49

ステージ3への振替	57	98	-300	-145	29	301	-1,268	-938
期末現在引当金	-172	-464	-1,796	-2,432	-159	-247	-3,325	-3,731

減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

百万スウェーデン・ クローネ	2020年				2019年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-38	-50	-106	-194	-36	-43	-	-79
認識中止した資産	4	7	-	11	5	7	-	12
償却	0	0	-	0	0	0	-	0
信用リスクの変動による再 測定	-18	-24	-13	-55	-6	-1	-106	-113
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	0	0	-	0
外貨換算影響額等	1	2	-	3	0	0	-	0
購入又は組成した資産	-7	-1	-	-8	-7	-8	-	-15
ステージ1への振替	-2	3	-	1	-2	5	-	3
ステージ2への振替	7	-53	-	-46	7	-21	-	-14
ステージ3への振替 ¹	2	6	-	8	1	11	-	12
期末現在引当金	-51	-110	-119	-280	-38	-50	-106	-194

この変動分析は、当該期間の各説明項目について、ステージ別の引当金に与える正味影響額を示したものである。認識中止及び償却の影響は期首残高で算定される。推計手法の変更及び外貨換算影響額等による再評価の影響は、ステージ間の振替前に純額ベースで算定される。購入又は生成された資産及びステージ間で振り替えられた金額は、他の説明項目の影響考慮後に認識される。振替の各行は各ステージの引当金に与える影響を表す。

減損テスト対象のオンバランスシート項目総額の変動

百万スウェーデン・ クローネ	2020年				2019年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	1,735,696	21,561	6,462	1,763,719	1,672,342	28,353	5,443	1,706,138
認識中止した資産	-108,135	-4,592	-282	-113,009	-101,993	-5,894	-272	-108,159
償却	-3	-7	-1,636	-1,646	-7	-6	-334	-347
信用リスクの変化による再 測定	169,943	-886	-651	168,406	61,480	-2,513	-608	58,359
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-55,998	-1,214	-198	-57,410	17,888	531	79	18,498
購入又は組成した資産	66,245	2,395	23	68,663	87,237	1,973	20	89,230
ステージ1への振替	10,469	-10,455	-14	-	15,479	-15,455	-24	-
ステージ2への振替	-32,222	32,283	-61	-	-16,519	16,622	-103	-

ステージ3への振替	-416	-692	1,108	-	-211	-2,050	2,261	-
期末現在の総額	1,785,579	38,393	4,751	1,828,723	1,735,696	21,561	6,462	1,763,719

一般顧客への貸出金総額の変動

百万スウェーデン・ クローネ	2020年				2019年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	596,076	21,368	6,462	623,906	581,252	27,956	5,443	614,651
認識中止した資産	-68,578	-4,442	-274	-73,294	-80,023	-5,656	-272	-85,951
償却	-3	-7	-1,636	-1,646	-7	-6	-334	-347
信用リスクの変動による再 測定	-19,898	805	-658	-19,751	17,501	-2,448	-599	14,454
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-22,344	-1,215	-198	-23,757	8,078	531	79	8,688
購入又は組成した資産	60,704	2,392	23	63,119	70,478	1,913	20	72,411
ステージ1への振替	10,469	-10,455	-14	-	15,477	-15,453	-24	-
ステージ2への振替	-30,560	30,621	-61	-	-16,469	16,573	-104	-
ステージ3への振替	-416	-691	1,107	-	-211	-2,042	2,253	-
期末現在の総額	525,450	38,376	4,751	568,577	596,076	21,368	6,462	623,906

減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

百万スウェーデン・ クローネ	2020年				2019年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	435,921	7,921	685	444,527	463,128	7,304	425	470,857
認識中止した資産	-26,575	-1,346	-25	-27,946	-25,408	-1,257	-9	-26,674
償却	0	0	-2	-2	0	0	-6	-6
信用リスクの変動による再 測定	-17,412	1,215	-298	-16,495	-33,812	1,774	131	-31,907
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-5,344	-220	-5	-5,569	2,893	166	12	3,071
購入又は組成した資産	24,185	233	1	24,419	28,172	1,014	0	29,186
ステージ1への振替	6,885	-6,882	-3	-	6,127	-6,126	-1	-
ステージ2への振替	-8,034	8,039	-5	-	-5,152	5,164	-12	-
ステージ3への振替	-22	-70	92	-	-27	-118	145	-
期末現在の総額	409,604	8,890	440	418,934	435,921	7,921	685	444,527

引当金の分析同様、総額の変動分析は当該ステージの総額に対する各説明項目の影響を示している。ステージ間の振替及び「購入又は組成した資産」の項目は、期末現在の各ステージの金額を表しており、他の項目は期首時点で用いられる各ステージへの影響を表している。

[次へ](#)

感応度分析、マクロ経済シナリオ

IFRS第9号に基づく予想信用損失の算定には、マクロ経済シナリオによる将来予測的な情報を用いる。予想信用損失は3つのシナリオにおける見積り予想の確率加重平均値である。基本（中立）シナリオの予想確率は70(60)%としており、景気の上昇シナリオの確率は15(15)%、下降シナリオの確率は15(25)%としている。下表は、今後5年間の本国市場の中心的なマクロ経済リスク要因とシナリオ別に、年間予想の最大、最小及び平均値を表したものである。これらは、2020年12月31日現在及び2019年12月31日現在それぞれのステージ1及びステージ2に分類されるエクスポージャーに対する予想信用損失の算定根拠となっている。

マクロ経済上の要因	最小						平均						最大					
	下降シナリオ		ベースシナリオ		上昇シナリオ		下降シナリオ		ベースシナリオ		上昇シナリオ		下降シナリオ		ベースシナリオ		上昇シナリオ	
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
GDP成長率																		
スウェーデン	-1.70	-1.49	2.00	0.81	1.70	1.70	1.74	1.84	2.51	1.96	3.14	2.08	3.20	2.70	3.90	2.20	4.90	2.84
ノルウェー	-0.05	-0.04	1.60	1.24	1.30	1.20	1.40	1.57	2.11	1.67	2.74	1.78	2.20	1.85	3.64	1.84	6.04	3.64
デンマーク	-1.65	-0.66	1.48	1.09	1.18	1.10	1.16	1.39	1.89	1.49	2.52	1.59	2.16	1.81	2.75	1.81	4.63	3.04
フィンランド	-1.27	-1.67	1.55	0.73	1.25	1.10	1.05	1.50	1.78	1.62	2.39	1.73	2.06	1.95	2.52	1.88	4.82	2.63
オランダ及び 他の欧州諸国	0.66	-1.17	1.30	0.93	1.00	1.00	1.43	1.16	2.15	1.28	2.77	1.39	1.90	1.70	4.40	1.40	6.79	2.63
米国	0.05	0.54	2.00	1.25	1.70	1.94	1.88	1.95	2.56	1.98	3.19	2.02	2.60	2.50	3.77	2.30	6.17	2.30
その他諸国	1.89	2.40	3.50	2.90	3.20	3.00	3.45	3.07	3.82	3.10	4.33	3.12	4.01	3.50	5.10	3.50	7.19	3.50
失業率																		
スウェーデン	9.10	6.60	6.90	6.60	6.55	6.30	9.84	6.90	7.64	6.75	6.90	6.65	10.81	8.35	8.90	7.24	7.71	6.70
ノルウェー	4.10	3.50	2.75	3.40	2.60	2.80	4.66	3.61	2.95	3.50	2.69	3.39	5.46	4.40	3.30	3.60	2.80	3.50
デンマーク	7.70	5.50	5.50	5.18	5.20	4.68	8.18	5.67	5.96	5.50	5.40	5.40	8.68	7.00	6.60	5.60	5.50	5.50
フィンランド	8.70	6.90	6.70	6.48	6.50	5.80	9.58	7.05	7.39	6.88	6.68	6.74	10.35	8.20	8.23	6.90	7.25	6.90
オランダ及び 他の欧州諸国	10.00	7.80	8.00	7.80	7.90	6.90	11.04	8.05	8.79	7.83	8.15	7.70	11.85	9.50	9.31	8.10	8.54	7.80
米国	6.80	4.24	4.30	4.04	3.70	3.74	7.70	4.53	5.17	4.48	4.14	4.42	8.80	4.90	6.28	4.50	5.00	4.50
その他諸国	7.60	6.00	6.00	6.00	5.80	5.85	9.58	6.03	7.10	6.01	6.46	5.99	12.02	6.40	8.50	6.10	7.22	6.00

政策金利

スウェーデン	0.00	-0.50	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	2.14	0.15	2.34	0.32	2.45	0.00	3.30	0.50	3.30	0.70	3.30
ノルウェー	0.00	0.25	0.00	1.50	0.00	2.00	0.00	2.08	0.40	2.29	0.57	2.38	0.00	3.10	0.75	3.10	0.95	3.10
デンマーク	0.05	-0.05	0.05	0.05	0.05	0.25	0.05	1.70	0.09	1.91	0.26	1.99	0.05	3.12	0.25	3.12	0.45	3.12
フィンランド	0.00	-0.10	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	1.69	0.05	1.91	0.22	1.99	0.00	3.12	0.25	3.12	0.45	3.12
オランダ及び 他の欧州諸国	0.00	-0.10	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	1.69	0.05	1.91	0.22	1.99	0.00	3.12	0.25	3.12	0.45	3.12
米国	0.13	0.88	0.13	1.38	0.13	1.63	0.13	2.64	0.28	2.70	0.45	2.73	0.13	3.30	0.63	3.30	0.83	3.30
その他諸国	1.80	2.60	1.80	2.80	1.80	2.95	2.02	3.54	2.22	3.57	2.39	3.60	2.25	4.10	3.00	4.10	3.20	4.10

**オフィス不動産
価格の上昇率**

スウェーデン	-22.93	-7.65	-1.36	-7.77	1.81	-11.16	-5.15	-1.53	1.37	-1.42	4.44	-1.17	5.78	6.92	3.57	11.48	5.76	22.99
ノルウェー	-21.07	-5.77	-2.53	-5.03	0.94	-7.44	-3.11	-1.54	1.46	-1.45	3.01	-1.31	8.01	3.06	4.41	5.20	4.66	9.47
デンマーク	-17.98	-8.94	-2.45	-8.49	0.60	-10.81	-4.44	-2.11	0.60	-1.97	2.19	-1.81	4.39	3.42	3.02	7.07	3.38	12.50
フィンランド	-21.25	-8.25	-2.25	-7.24	3.11	-9.98	-3.49	-1.08	1.98	-0.92	3.91	-0.72	7.20	7.07	5.14	8.74	4.81	17.77
オランダ及び 他の欧州諸国	-21.27	-6.29	-4.37	-5.72	0.62	-5.46	-4.44	0.03	0.65	0.27	2.61	0.75	5.41	2.02	3.59	4.70	4.23	12.48
米国	2.00	1.25	0.20	-4.97	2.00	1.25	2.56	1.98	0.58	0.75	2.56	1.98	3.77	2.30	1.59	2.58	3.77	2.30
その他諸国	0.66	-1.17	1.30	0.93	1.00	1.00	1.43	1.16	2.15	1.28	2.77	1.39	1.90	1.70	4.40	1.40	6.79	2.63

住宅価格の上昇率

スウェーデン	-4.91	-0.74	1.35	0.03	1.22	-0.37	0.30	1.79	2.47	1.96	3.40	2.14	5.11	6.55	4.19	5.28	6.30	7.76
ノルウェー	-4.98	-0.40	2.05	1.86	3.02	0.43	2.42	2.85	3.67	2.96	4.63	3.09	5.97	4.80	4.46	5.62	9.28	9.31
デンマーク	-7.45	-2.77	0.40	1.75	0.41	1.45	-0.26	2.88	1.27	3.02	2.66	3.17	3.95	4.72	2.22	3.90	6.06	6.23
フィンランド	-0.54	0.92	1.53	1.51	1.88	1.57	1.08	1.59	1.78	1.71	2.28	1.81	1.95	1.77	1.92	1.89	2.92	2.46
オランダ及び 他の欧州諸国	-4.42	-1.70	2.00	1.80	1.70	1.70	1.29	2.14	2.52	2.36	2.86	2.43	3.56	2.50	3.56	2.50	6.35	3.20

米国	-4.42	-1.70	2.00	1.80	1.70	1.70	1.29	2.14	2.52	2.36	2.86	2.43	3.56	2.50	3.56	2.50	6.35	3.20
その他諸国	-4.42	-1.70	2.00	1.80	1.70	1.70	1.29	2.14	2.52	2.36	2.86	2.43	3.56	2.50	3.56	2.50	6.35	3.20

[次へ](#)

下表は、12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されるエクスポージャーに対する予想信用損失引当金の増減をパーセンテージで示したもので、この増減は下降及び上昇シナリオにそれぞれ100%の確率が適用される場合のものである。

	2020年		2019年	
	下降シナリオ における引当金の 増加、%表示	上昇シナリオ における引当金の 減少、%表示	下降シナリオ における引当金の 増加、%表示	上昇シナリオに おける引当金の 減少、%表示
スウェーデン	15.50	-8.97	8.26	-8.20
ノルウェー	11.61	-6.32	4.20	-4.42
デンマーク	11.07	-6.35	4.60	-4.78
フィンランド	10.75	-6.07	5.95	-5.78
オランダ	2.75	-1.54	1.28	-1.27
米国	41.52	-24.50	6.60	-7.54
その他諸国	14.29	-7.16	7.11	-6.94

感応度分析、信用リスクの著しい増大

下表は、報告日と当初認識時に算定された残余信用リスクの比率に用いられる閾値が、2.5の閾値よりも0.5高く又は低く設定される場合、12月31日現在でステージ1及びステージ2の債権に対する引当金がどのような影響を受けるかを示したものである。閾値が0.5低下した場合にはステージ1からステージ2へ振り替えられる貸出金の件数が増加し、予想信用損失引当金も増加する。閾値が0.5上昇した場合にはこれと反対の影響が生じる。当行は信用リスクの著しい増大を評価するために定量的・定性的双方の指標を用いている。詳細な情報は注記G2の「信用リスク」の項目を参照のこと。

ステージ1及び2に分類された債権に対する

引当金総額の変動、%

閾値	2020年	2019年
2	3.80%	3.09%
2.5	0.00%	0.00%
3	-2.23%	-2.97%

PDの範囲別信用エクスポージャー

PDの範囲別貸借対照表項目	2020年			2019年		
	総額			総額		
	百万スウェーデン・クローネ			百万スウェーデン・クローネ		
PD値 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	1,607,252	12,169	-	1,513,033	6,227	-
0.15～0.25未満	77,581	2,086	-	97,650	1,022	-
0.25～0.50未満	49,972	6,938	-	59,019	1,487	-
0.50～0.75未満	19,043	2,258	-	21,998	1,859	-
0.75～2.50未満	27,016	9,072	-	34,696	3,810	-
2.50～10.00未満	4,380	4,597	-	8,763	5,669	-
10.00～100未満	335	1,273	-	537	1,487	-
100 (デフォルト)	-	-	4,751	-	-	6,462
合計	1,785,579	38,393	4,751	1,735,696	21,561	6,462

PDの範囲別一般顧客への貸出金	2020年			2019年		
	総額			総額		
	百万スウェーデン・クローネ			百万スウェーデン・クローネ		
PD値 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	472,973	12,165	-	519,609	6,079	-
0.15～0.25未満	22,830	2,085	-	33,535	1,013	-
0.25～0.50未満	14,705	6,935	-	20,268	1,474	-
0.50～0.75未満	5,604	2,257	-	7,555	1,842	-
0.75～2.50未満	7,950	9,068	-	11,915	3,776	-
2.50～10.00未満	1,289	4,594	-	3,010	5,710	-
10.00～100未満	99	1,272	-	184	1,474	-
100 (デフォルト)	-	-	4,751	-	-	6,462
合計	525,450	38,376	4,751	596,076	21,368	6,462

1 報告日現在の12カ月PD値を指す。

PD値の範囲別オフバランスシート項目	2020年			2019年		
	総額			総額		
	百万スウェーデン・クローネ			百万スウェーデン・クローネ		
PD値 ¹	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	352,268	2,890	-	372,960	2,728	-
0.15～0.25未満	20,207	841	-	24,789	1,350	-
0.25～0.50未満	15,068	1,531	-	19,580	528	-
0.50～0.75未満	5,586	781	-	6,152	557	-
0.75～2.50未満	15,434	1,358	-	11,317	851	-

2.50～10.00未満	1,017	1,154	-	1,078	1,555	-
10.00～100未満	24	335	-	45	352	-
100（デフォルト）	-	-	440	-	-	685
合計	409,604	8,890	440	435,921	7,921	685

1 報告日現在の12カ月PD値を指す。

担保権が実行された資産

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
不動産	-	3
動産	2	1
株式	0	0
帳簿価額	2	4

注記P11 繰入

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
機械装置、器具備品及びリース資産の加速減価償却の変動	650	-500
純資産の取得に係るのれんの加速償却の変動	93	120
合計	743	-380

注記P12 金融機関への貸出金

百万スウェーデン・クローネ

貸出金（スウェーデン・クローネ建て）

	2020年	2019年
銀行	1,490	2,259
その他金融機関 ¹	649,050	571,995
合計	650,540	574,254

貸出金（外貨建て）

銀行	35,926	29,250
その他金融機関	267,191	287,057
合計	303,117	316,307

予想信用損失引当金

	-7	-4
金融機関への貸出金合計	953,650	890,557

うち、未収利息収益	869	1,047
うち、リバース・レボ	2,776	211
うち、劣後分	28,394	29,078

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
金融機関への貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	630,019	579,403
金融機関への貸出金（外貨建て）	339,627	332,246
合計	969,646	911,649

うち、リバース・レボ 10,486 7,048

¹ うち、21,812(21,335)百万スウェーデン・クローネは、Stadshypotekが資本性金融商品に分類したTier1資本貸出金である。

注記P13 一般顧客への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
貸出金（スウェーデン・クローネ建て）		
個人	28,799	31,380
法人	132,242	150,255
国債局	474	-
合計	161,515	181,635

貸出金（外貨建て）

個人	108,223	113,975
法人	298,838	328,296
国債局	-	-
合計	407,061	442,271

予想信用損失引当金	-2,431	-3,731
一般顧客への貸出金合計	566,145	620,175

うち、未収利息収益	760	1,119
うち、リバース・レボ	11,627	10,441
うち、劣後ローン	1,132	1,132

平均取引高（国債局を除く）

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
一般顧客への貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	188,619	203,571
一般顧客への貸出金（外貨建て）	423,692	444,497
合計	612,311	648,068

うち、リバース・レボ 18,349 16,205

注記P14 利付証券

2020年

2019年

百万スウェーデン・クローネ	帳簿価額	公正価値	額面価格	帳簿価額	公正価値	額面価格
中央銀行への担保として適格な国債	99,115	99,115	97,152	103,370	103,370	101,137
うち、未収利息収益	195			217		
社債及びその他の利付証券	46,533	46,533	43,351	53,096	53,096	50,698
うち、未収利息収益	185			212		
合計	145,648	145,648	140,503	156,466	156,466	151,835

うち、劣後証券 4 4 15 15

利付証券、発行者別内訳

	2020年			2019年		
百万スウェーデン・クローネ	帳簿価額	公正価値	額面価格	帳簿価額	公正価値	額面価格
政府	99,115	99,115	97,152	103,370	103,370	101,137
金融機関	9,091	9,091	8,656	10,529	10,529	9,911
住宅金融専門機関	31,317	31,317	28,819	36,273	36,273	34,597
その他	6,125	6,125	5,876	6,294	6,294	6,190
合計	145,648	145,648	140,503	156,466	156,466	151,835

減損テスト対象となっている利付証券

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
中央銀行への担保として適格な利付証券		
その他包括利益を通じて公正価値で測定	401	403
償却原価で測定	762	1,007
総額合計	1,163	1,410
償却原価で測定される金融商品の予想信用損失引当金	0	0
帳簿価額合計	1,163	1,410

資本の公正価値評価差額準備金で認識される予想信用損失引当金 0 0

社債及びその他利付証券

その他包括利益を通じて公正価値で測定	7,964	4,953
帳簿価額合計	7,964	4,953

資本の公正価値評価差額準備金で認識される予想信用損失引当金 -2 -2

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
利付証券	167,504	222,592

注記P15 株式

	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ		
純損益を通じて公正価値で測定、強制	13,614	12,032
その他包括利益を通じて公正価値で測定	699	2,303
株式合計	14,313	14,335

その他包括利益を通じて公正価値で測定された保有株式

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
BEC	295	489
Visa Inc	155	308
その他	249	363
Euroclear plc	-	431
Enento Group Oyj	-	712
合計	699	2,303

ハンデルスバンケンは、上記の株式保有について、トレーディング目的保有ではないことによりその他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類している。当年度中に、ハンデルスバンケンは報告期間末現在保有する株式から配当のみを受け取っている。これらの配当は合計で53(110)百万スウェーデン・クローネであり、その他の配当収益として損益計算書に計上されている。当年度中に当行は1,688(39)百万スウェーデン・クローネに上るLet-P Holdings A/S、Euroclear、BEC、V/P AS、Kreditandelsag、Vaerdipapircentralen、Enento Group Oy、Visa Inc及び住宅共同組合の保有株式を処分した。この処分の主な理由は、参加持分に関する持分の調整と再配分であった。

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品に係る実現及び未実現損益に関しては、当行グループの持分変動計算書を参照のこと。

注記P16 子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
子会社（非上場）	72,749	71,925
関連会社（非上場）	213	213
ジョイント・ベンチャー（非上場）	95	
合計	73,057	72,138

子会社	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分%	帳簿価額 百万スウェーデン・クローネ	
					2020年	2019年
Handelsbanken Finans AB ¹	556053-0841	ストックホルム	1,550,000	100	11,672	11,672
Stadshypotek AB ¹	556459-6715	ストックホルム	162,000	100	26,870	26,870

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

Handelsbanken

Fondbolagsförvaltning AB	556070-0683	ストックホルム	10,000	100	1	1
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	ストックホルム		100		
Handelsinvest						
Investeringsförvaltning A/S	12930879	コペンハーゲン		100		
Xact Kapitalförvaltning AB	556997-8140	ストックホルム		100		
Handelsbanken Liv Försäkrings AB	516401-8284	ストックホルム	100,000	100	6,189	6,189
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	ヘルシンキ		100		
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	ストックホルム		100		
Ecster AB	556993-2311	ストックホルム	50,000	100	1,750	850
Handelsbanken plc ¹	11305395	ロンドン	5,050,401	100	24,087	24,087
Heartwood Wealth Management						
Limited ³	04132340	ロンドン	1,319,206	100		
Optimix Vermogensbeheer N.V.	33194359	アムステルダム	10,209	100	642	668
Add Value Fund Management BV	19196768	アムステルダム		80		

その他の子会社

EFN Ekonomikanalen AB	556930-1608	ストックホルム	100	100	0	0
Ejendomselskabet af 1. maj 2009						
A/S	59173812	ヒレレズ	2,700,000	100	128	200
Forva AS	945812141	オスロ	4,000,000	100	1	1
AB Handel och Industri	556013-5336	ストックホルム	100,000	100	12	14
Handelsbanken Markets						
Securities, Inc. ¹	11-3257438	ニューヨーク	1,000	100	30	30
Handelsbanken Rahoitus Oy	0112308-8	ヘルシンキ	37,026,871	100	1,276	1,276
Handelsbanken Skadeförsäkrings						
AB	516401-6767	ストックホルム	1,500	100	31	31
Lokalbolig A/S	78488018	ヒレレズ	540,000	72	1	1
Rådstuplass 4 AS	910508423	ベルゲン	40,000	100	0	0
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	ルクセンブルグ	20,000	100	35	35
Blå stugan i Stockholm AB	556993-9357	ストックホルム	50	100	24	0
合計					72,749	71,925

当行グループ会社のリストには、直接所有子会社及びこれらの会社の大規模な子会社が含まれている。

1) 金融機関

関連会社						帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分%		2020年	2019年
Bankomat AB	556817-9716	ストックホルム	150	20.00		67	67
BGC Holding AB	556607-0933	ストックホルム	25,382	25.38		80	80
Dyson Group plc	00163096	シェフィールド	74,333,672	27.00		21	21
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	ストックホルム	12,735	28.30		24	24
Getswish AB	556913-7382	ストックホルム	10,000	20.00		21	21
USE Intressenter AB	559161-9464	ストックホルム	2,448	24.48		0	0
合計						213	213

ジョイント・ベンチャー						帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分%		2020年	2019年
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-9610	ストックホルム	10,000	16.67		63	
Invidem AB	559210-0779	ストックホルム	10,000	16.67		32	
合計						95	

注記P17 デリバティブ商品

	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
百万スウェーデン・ク ローネ	1年以内	1年超 5年以内	5年超	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
トレーディング目的で 保有するデリバティ ブ									
金利関連契約									
オプション	12,332	15,889	2,053	30,274	37,986	9	19	16	71
FRA/先物	300,439	18,000	-	318,439	896,242	52	211	38	170
スワップ	442,524	1,302,129	411,514	2,156,167	2,294,026	29,544	28,228	30,403	29,733
通貨関連契約									
オプション	24,677	18	34	24,729	25,685	118	136	195	212
先物	64,644	4,785	258	69,687	63,863	920	863	1,344	480
スワップ	542,198	165,952	62,634	770,784	937,406	11,226	13,986	22,882	21,327
株式関連契約									
オプション	3,492	1,610	92	5,194	9,585	255	545	136	425
先物	855	-	-	855	1,814	15	-	16	13
スワップ	12,285	3,844	21	16,150	14,755	137	138	1,569	1,157
コモディティ関連契約									
オプション	325	308	38	671	1,022	22	35	60	103
先物	2,962	692	-	3,654	12,951	389	430	312	494
信用関連契約									
スワップ	631	5,617	252	6,500	8,035	229	465	158	289
合計	1,407,364	1,518,844	476,896	3,403,104	4,303,370	42,916	45,056	57,129	54,474
公正価値ヘッジの デリバティブ									
金利関連契約									
スワップ	31,706	187,349	38,023	257,078	131,914	1,704	1,233	607	587
通貨関連契約									
スワップ	0	534	843	1,377	1,499	101	166	-	
合計	31,706	187,883	38,866	258,455	133,413	1,805	1,399	607	587
キャッシュフロー・ ヘッジのデリバティ ブ									
金利関連契約									
スワップ	68,516	131,762	16,888	217,166	296,355	4,234	5,083	2,556	1,857
通貨関連契約									
スワップ	79,365	80,125	16,879	176,369	194,451	9,420	15,634	5,528	985
合計	147,881	211,887	33,767	393,535	490,806	13,654	20,717	8,084	2,842
デリバティブ 商品合計									
1,586,951	1,918,614	549,529	4,055,094	4,927,589	58,375	67,172	65,820	57,903	
うち、取引所上場 デリバティブ									
				108,653	440,829	332	347	756	1,223

うち、CCPで決済されるOTCデリバティブ	2,245,982	2,472,024	22,987	22,588	18,717	16,293
うち、CCPで決済されない OTCデリバティブ	1,700,459	2,014,736	35,056	44,237	46,347	40,385
相殺された金額	-2,110,391	-2,147,269	-25,344	-25,332	-21,046	-19,233
純額	1,944,703	2,780,320	33,031	41,840	44,774	38,670

市場価値の通貨別内訳

スウェーデン・ クローネ	-	77,516	-18,191	247,879	164,129
米ドル		-80,871	39,129	-381,625	-326,930
ユーロ		95,348	191,180	-36,368	67,564
その他		-33,618	-144,946	235,934	153,140
合計		58,375	67,172	65,820	57,903

この注記では、デリバティブ契約は総額で表示されている。相殺額は、当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約（中央清算される契約を含む）の市場価値及び関連する想定元本の相殺で構成されている。これらの契約は、貸借対照表において、取引相手及び通貨別に純額で表示されている。

当行は、当初認識時に評価モデルを用いて測定された価値と、取引価格との正の差額（取引日利益/（損失））をデリバティブの期間にわたり償却している。年度末において、これらの未認識の取引日利益は、638(630)百万スウェーデン・クローネであった。

注記P18 ヘッジ会計

ヘッジ会計のリスク区分と種類

百万スウェーデン・クローネ

2020年

2019年

1年以内

1年超
5年以内

5年超

1年以内

1年超
5年以内

5年超

金利リスク

金利スワップ（固定金利支払・
変動金利受取）

想定元本	13,181	50,160	16,070	12,687	63,337	17,136
------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

平均固定金利(%)	0.48	0.58	0.73	0.72	0.62	0.87
-----------	------	------	------	------	------	------

金利スワップ（変動金利支払・
固定金利受取）

想定元本	55,335	81,602	818	53,893	147,974	1,328
------	--------	--------	-----	--------	---------	-------

平均固定金利(%)	3.53	1.66	3.98	2.63	2.45	3.02
-----------	------	------	------	------	------	------

為替リスク

為替デリバティブ、ユーロ/
ノルウェー・クローネ

想定元本	4,344	29,590	7,435	4,741	36,400	-
------	-------	--------	-------	-------	--------	---

平均為替レート、ユーロ/ ノルウェー・クローネ	0.1310	0.1110	0.0970	0.1200	0.1200	-
----------------------------	--------	--------	--------	--------	--------	---

為替デリバティブ、米ドル/
英ポンド

想定元本	11,011	6,289	831	11,599	19,410	932
------	--------	-------	-----	--------	--------	-----

平均為替レート、米ドル/ 英ポンド	1.3860	1.2930	1.3150	1.4300	1.3600	1.3200
----------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

為替デリバティブ、米ドル/
ノルウェー・クローネ

想定元本	40,197	12,901	-	19,402	25,572	337
------	--------	--------	---	--------	--------	-----

平均為替レート、米ドル/ ノルウェー・クローネ	0.1170	0.1260	-	0.1300	0.1300	0.1300
----------------------------	--------	--------	---	--------	--------	--------

為替デリバティブ、米ドル/
スウェーデン・クローネ

想定元本	9,206	2,153	8,613	4,167	12,145	-
------	-------	-------	-------	-------	--------	---

平均為替レート、米ドル/ スウェーデン・クローネ	0.1170	0.1105	0.1105	0.1400	0.1200	-
-----------------------------	--------	--------	--------	--------	--------	---

為替デリバティブ、豪ドル/
米ドル

想定元本	3,034	5,492	-	-	9,300	-
------	-------	-------	---	---	-------	---

平均為替レート、豪ドル/ 米ドル	1.3930	1.3770	-	-	1.3800	-
---------------------	--------	--------	---	---	--------	---

為替デリバティブ、他の通貨
ペア

想定元本	11,573	23,700	-	13,351	34,891	2,204
合計	147,881	211,887	33,767	119,840	349,029	21,937

キャッシュフロー・ヘッジにおけ
るヘッジ手段と非有効性、

2020年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段 の想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算 定に用いられ た公正価値 変動	その他包括利 益で認識され たヘッジ手段 の価値変動	損益計算書 で認識され た非有効性	ヘッジ準備金 から損益計算 書への振替額
		資産	負債				
金利リスク							
金利スワップ（固定金利支払・ 変動金利受取）	79,411	1	2,556	-941	-941	-	-
金利スワップ（変動金利支払・ 固定金利受取）	137,755	4,233	-	-461	-461	-	96

為替リスク¹

為替デリバティブ、ユーロ/ デンマーク・クローネ	3,516	-	9	-33	-33	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/英ポ ンド	9,628	1,123	-	81	81	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/ ノルウェー・クローネ	41,369	5,559	16	240	237	3	-
為替デリバティブ、ユーロ/ スウェーデン・クローネ	12,664	256	586	-26	-26	-	-
為替デリバティブ、米ドル/英ポ ンド	18,131	271	448	-60	-57	-3	-
為替デリバティブ、米ドル/ ノルウェー・クローネ	53,098	1,142	1,903	-52	-52	0	-
為替デリバティブ、米ドル/ スウェーデン・クローネ	19,972	-	1,838	-349	-349	0	-
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル	8,526	621	-	45	45	-	-5
為替デリバティブ、他の通貨ペア	9,465	448	728	12	13	-1	43
合計	393,535	13,654	8,084	-1,544	-1,543	-1	134

キャッシュフロー・ヘッジにおけ
るヘッジ手段と非有効性、

2019年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段 の想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算 定に用いられ た公正価値 変動	その他包括利 益で認識され たヘッジ手段 の価値変動	損益計算書 で認識され た非有効性	ヘッジ準備金 から損益計算 書への振替額
		資産	負債				
金利リスク							
金利スワップ（固定金利支払・ 変動金利受取）	93,160	118	1,727	-810	-810	-	-
金利スワップ（変動金利支払・ 固定金利受取）	203,195	4,965	130	1,919	1,919	-	8

為替リスク¹

為替デリバティブ、ユーロ/ デンマーク・クローネ	3,653	4	-	15	15	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/英ポ ンド	12,915	735	122	147	147	-	-

為替デリバティブ、ユーロ/ ノルウェー・クローネ	41,141	4,309	-	60	57	3	-
為替デリバティブ、ユーロ/ スウェーデン・クローネ	12,922	458	246	5	5	-	-
為替デリバティブ、米ドル/英ポ ンド	31,941	1,715	169	-79	-74	-5	-
為替デリバティブ、米ドル/ ノルウェー・クローネ	45,311	4,682	-	0	0	-	-
為替デリバティブ、米ドル/ スウェーデン・クローネ	16,312	1,985	-	-30	-30	-	-
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル	9,300	22	265	78	78	-	-2
為替デリバティブ、他の通貨ペア	20,956	1,724	183	450	456	-6	6
合計	490,806	20,717	2,842	1,755	1,763	-8	12

- 1) ヘッジ会計目的で分析を行う場合、親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネへの換算にあたって、ヘッジ関係におけるデリバティブのレグの想定金額のインピュテーション（補完）が考慮される。このデリバティブのレグのインピュテーション（補完）は上記に示す想定元本額には含まれていない。

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表上の「デリバティブ商品」に含まれる。損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれる。

損益計算書への振替額は「金融取引による純損益」に含まれ、満期日以前に終了したキャッシュフロー・ヘッジをいう。

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ対象	2020年			2019年		
	非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が 適用されな くなったヘッジ 関係からの ヘッジ準備金 残余额	非有効性の算定 に用いられた公 正価値 変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が 適用されな くなったヘッジ 関係からの ヘッジ準備金 残余额
百万スウェーデン・クローネ						
金利リスク						
発行済変動金利有価証券	941	-2,435	-	810	-1,493	-
変動金利による一般顧客への貸出金	461	3,799	543	-1,919	4,355	639
為替リスク						
ユーロ建て発行済証券及びデンマ ーク・クローネ、英ポンド、ノル ウェー・クローネ建て内部貸出	-150	-234	-	-340	-384	-
米ドル建て発行済証券及びデンマ ーク・クローネ、ユーロ、英ボン ド、ノルウェー・クローネ建て内 部貸出	485	-416	86	54	68	121
豪ドル建て発行済証券	-46	128	2	-78	77	-4
他通貨建て発行済証券及び内部貸出	-148	-51	15	-290	-155	23
合計	1,543	791	646	-1,763	2,468	779

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手 段	2020年			2019年		
	1年以内	1年超5年以内	5年超	1年以内	1年超5年以内	5年超
百万スウェーデン・クローネ						
金利リスク						
金利スワップ（固定金利支払・ 変動金利受取）						
想定元本	31,706	148,864	1,698	26,321	71,963	2,412
平均固定金利(%)	0.06	0.03	0.28	0.00	0.07	0.53
金利スワップ（変動金利支払・ 固定金利受取）						

想定元本	-	35,214	31,652	-	18,797	12,421
平均固定金利(%)	-	1.31	1.67	-	1.94	0.93
クロス・カレンシー金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)						
想定元本	-	533	843	-	580	919
平均固定金利(%)	-	3.26	3.69	-	3.26	3.69
合計	31,706	184,611	34,193	26,321	91,340	15,752

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段と
非有効性、2020年

百万スウェーデン・クローネ

金利リスク

	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
金利スワップ(固定金利支払・ 変動金利受取)	182,268	72	442	-222	-8
金利スワップ(変動金利支払・ 固定金利受取)	66,866	1,628	146	773	42
クロス・カレンシー金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	1,376	101	-	100	0
合計	250,510	1,801	588	651	34

ポートフォリオ公正価値ヘッジ

金利リスク

金利スワップ(固定金利支払・変動金利 受取)	7,945	4	19	-13	0
合計	7,945	4	19	-13	0

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段と 非有効性、2019年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
金利リスク					
金利スワップ（固定金利支払・ 変動金利受取）	100,696	219	355	82	5
金利スワップ（変動金利支払・ 固定金利受取）	31,218	1,014	232	-63	-39
クロス・カレンシー金利スワップ （変動金利支払・固定金利受取）	1,499	166	-	-17	-3
合計	133,413	1,399	587	2	-37

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれている。

損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれている。

公正価値ヘッジにおける ヘッジ対象、2020年 百万スウェーデン・ クローネ	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に含まれ る公正価値調整累計額		非有効性の算定に 用いられた 価値変動	公正価値変動が調整されなくなっ たヘッジ対象について貸借対照表 に残る公正価値ヘッジの調整累計 額
	資産	負債	資産	負債		
金利リスク						
固定金利による一般顧客 への貸出金	188,468		329		215	-
発行済利付証券及び劣後 負債		69,716		794	-832	-
合計	188,468	69,716	329	794	-617	-

ポートフォリオ公正価値 ヘッジ

金利リスク

固定金利による一般顧客 への貸出金	13				13	-
合計	13	-	-	-	13	-

公正価値ヘッジにおける ヘッジ対象、2019年 百万スウェーデン・ クローネ	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に含まれ る公正価値調整累計額		非有効性の算定に 用いられた 価値変動	公正価値変動が調整されなくなっ たヘッジ対象について貸借対照表 に残る公正価値ヘッジの調整累計 額
	資産	負債	資産	負債		
金利リスク						
固定金利による一般顧客 への貸出金	101,432		114		-77	-
発行済利付証券及び劣後 負債		32,950		-38	38	-
合計	101,432	32,950	114	-38	-39	-

注記P19 金融商品の相殺

2020年

百万スウェーデン・クローネ

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
総額	58,375	16,946	75,321
相殺される金額	-25,344	-2,014	-27,358
貸借対照表計上額	33,031	14,932	47,963

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-14,846	-	-14,846
担保として受領した金融資産	-7,503	-14,923	-22,426
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-22,349	-14,923	-37,272

純額	10,682	9	10,691
----	--------	---	--------

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融負債

総額	65,820	2,014	67,834
相殺される金額	-21,046	-2,014	-23,060
貸借対照表計上額	44,774	-	44,774

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-14,846	-	-14,846
担保として差し入れた金融資産	-13,310	-	-13,310
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-28,156	-	-28,156

純額	16,618	-	16,618
----	--------	---	--------

2019年

百万スウェーデン・クローネ

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
総額	67,172	18,648	85,820
相殺される金額	-25,332	-5,816	-31,148
貸借対照表計上額	41,840	12,832	54,672

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-12,023	-	-12,023
担保として受領した金融資産	-22,340	-12,832	-35,172
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-34,363	-12,832	-47,195

純額	7,477	-	7,477
----	-------	---	-------

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融負債

総額	57,902	5,816	63,718
相殺される金額	-19,233	-5,816	-25,049
貸借対照表計上額	38,669	-	38,669

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-12,023	-	-12,023
担保として差し入れた金融資産	-5,179	-	-5,179
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-17,202	-	-17,202

純額	21,467	-	21,467
----	--------	---	--------

注記P20 無形資産

2020年 百万スウェーデン・クローネ	取得資産	内部開発 ソフトウェア	その他	合計 2020年
期首現在取得原価	2,434	4,132	0	6,566
無形資産取得原価追加分	-	689	164	853
処分及び除却	-	-120		-120
外貨換算影響額	-120	-15		-135
期末現在取得原価	2,314	4,686	164	7,164
期首現在償却及び減損累計額	-2,277	-1,099	0	-3,376
処分及び除却	-	120		120
当年度の予定償却	-100	-383	-33	-516
当年度の減損	-	-55		-55
外貨換算影響額	118	4		122
期末現在償却及び減損累計額	-2,259	-1,413	-33	-3,705
帳簿価額	55	3,273	131	3,459

2020年度には、1,319(1,395)百万スウェーデン・クローネの開発費が費用として計上された。

2019年 百万スウェーデン・クローネ	取得資産	内部開発 ソフトウェア	合計 2019年
期首現在取得原価	2,383	3,239	5,622
無形資産取得原価追加分	-	894	894
処分及び除却	-	-3	-3
外貨換算影響額	51	2	53
期末現在取得原価	2,434	4,132	6,566
期首現在償却及び減損累計額	-2,108	-742	-2,850
処分及び除却	-	3	3
当年度の予定償却	-126	-329	-455
当年度の減損	-	-30	-30
外貨換算影響額	-43	-1	-44
期末現在償却及び減損累計額	-2,277	-1,099	-3,376
帳簿価額	157	3,033	3,190

注記P21 不動産、器具備品及びリース資産

不動産、器具備品及びリース資産

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
器具備品	552	624
不動産	126	133
リース資産	6,701	7,385
担保権が実行された不動産	2	3
合計	7,381	8,145

債権の保全のために担保権が実行された不動産には、当行グループの債権の保全のために担保権が実行された資産に関する会計方針に従って定期的に公正価値で測定される動産が含まれている。注記G1を参照のこと。定期的に公正価値で測定される不動産の公正価値は、0(3)百万スウェーデン・クローネである。これらの不動産の未実現価値の変動により、当期利益に0(0)百万スウェーデン・クローネの影響が及んだ。民間住宅の評価は、基本的に該当する地域における比較可能な不動産の購入取引に関する市場の観測値に基づいて行われている。商業用不動産の評価は、賃貸料、空室率、運営及び維持費、利回り要件及び金利計算等の仮定を用いた割引将来キャッシュ・フローに基づいて行われている。評価はまた、その不動産の状態、立地及び代替的な利用可能性に基づいて行われている。当行は原則として、商業用不動産及び事務所用ビル並びに工業用不動産を評価する際には、独立公認鑑定人を常に使用している。市場の観測値のみに基づく評価0(0)百万スウェーデン・クローネは、注記G1に記載されている評価ヒエラルキーのレベル2に分類されている。独自の仮定を重要といえる程度に使用している評価0(2)百万スウェーデン・クローネは、評価ヒエラルキーのレベル3に分類されている。定期的に公正価値で測定される不動産に関連するレベル3の未実現価値の変動によって、当期利益に0(0)百万スウェーデン・クローネの影響が及んだ。当年度に売却した定期的に公正価値で測定される不動産の金額は2(47)百万スウェーデン・クローネであり、このうち2(2)百万スウェーデン・クローネは、売却前はレベル3に分類されていた。当年度の新規不動産の増加額は0(2)百万スウェーデン・クローネであり、このうち0(2)百万スウェーデン・クローネはレベル3に分類された。

器具備品

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
期首現在取得原価	1,527	1,617
当年度の取得原価の増加	252	373
当年度の企業結合による増減額	-	22
処分及び除却	-296	-484
外貨換算影響額	-2	-1
期末現在取得価額	1,481	1,527
期首現在減価償却及び減損累計額	-903	-1,072
当年度の企業結合による減価償却累計額	-	-5
当年度の予定減価償却	-298	-316
処分及び除却	280	483
外貨換算影響額	-8	7
期末現在減価償却及び減損累計額	-929	-903

帳簿価額	552	624
------	-----	-----

不動産

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
期首現在取得原価	238	238
新規建設及び改築	1	0
期末現在取得価額	239	238
期首現在減価償却及び減損累計額	-105	-98
当年度の予定減価償却	-8	-7
期末現在減価償却及び減損累計額	-113	-105

帳簿価額	126	133
------	-----	-----

リース資産

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
期首現在取得原価	12,370	8,383
当年度の企業結合による取得額	-	3,971
当年度の取得原価の増加	2,265	1,907
処分及び除却	-2,734	-1,976
外貨換算影響額	-295	85
期末現在取得価額	11,606	12,370
期首現在減価償却及び減損償却累計額	-4,985	-3,679
当年度の企業結合による減価償却累計額	-	-1,337
当年度の予定減価償却	-1,792	-1,350
当年度中の減損	-26	-16
処分及び除却	1,779	1,436
外貨換算影響額	119	-39
期末現在減価償却及び減損累計額	-4,905	-4,985

帳簿価額	6,701	7,385
------	-------	-------

期日別の将来リース料の内訳

百万スウェーデン・クローネ	1年以内	1年から5年	5年超	合計
2020年				
将来のリース支払額の内訳	1,423	4,980	548	6,951

2019年

将来のリース支払額の内訳	1,513	5,471	616	7,600
--------------	-------	-------	-----	-------

リース資産は主に車両及び機械から構成される。リース資産はリース契約期間中にわたり年金法に従い減価償却される。当年度の収益として認識されるリース料は168(141)百万スウェーデン・クローネであり、このうちリース収益の変動部分は150(73)百万スウェーデン・クローネである。

注記P22 その他資産

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
投資銀行業務の決済業務に係る債権	3,238	2,983
その他	17,537	18,539
合計	20,775	21,522

注記P23 前払費用及び未収金

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
未収収益	514	437
前払費用	783	715
合計	1,297	1,152

注記P24 金融機関からの預り金

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
預り金（スウェーデン・クローネ建て）		
銀行	36,929	28,251
その他金融機関	28,644	32,005
合計	65,573	60,256

預り金（外貨建て）

銀行	76,198	108,954
その他金融機関	51,283	39,487
合計	127,481	148,441

金融機関からの預り金合計	193,054	208,697
---------------------	----------------	----------------

うち、未払利息費用	-4	-68
-----------	----	-----

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
金融機関からの預り金（スウェーデン・クローネ建て）	70,633	71,299
金融機関からの預り金（外貨建て）	218,297	187,932
合計	288,930	259,231

うち、レボ

650

84

[次へ](#)

注記P25 一般顧客からの預金及び借入金

一般顧客からの預金

百万スウェーデン・クローネ

預金（スウェーデン・クローネ建て）

	2020年	2019年
個人	410,527	376,202
法人	306,855	258,687
国債局	1	-
合計	717,383	634,889

預金（外貨建て）

個人	78,842	75,928
法人	194,911	181,306
国債局	-	-
合計	273,753	257,234

一般顧客からの預金合計	991,136	892,123
-------------	---------	---------

一般顧客からの借入金

百万スウェーデン・クローネ

借入金（スウェーデン・クローネ建て）

	2020年	2019年
借入金（スウェーデン・クローネ建て）	17,814	15,066
借入金（外貨建て）	12,180	10,957
一般顧客からの借入金合計	29,994	26,023

一般顧客からの預金及び借入金合計	1,021,130	918,146
------------------	-----------	---------

うち、未払利息費用	492	498
-----------	-----	-----

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

一般顧客からの預金

	2020年	2019年
一般顧客からの預金（スウェーデン・クローネ建て）	683,465	619,620
一般顧客からの預金（外貨建て）	287,841	263,585
合計	971,306	883,205

一般顧客からの借入金

一般顧客からの借入金（スウェーデン・クローネ建て）	31,257	33,072
一般顧客からの借入金（外貨建て）	93,149	42,309
合計	124,406	75,381

うち、レボ	6,425	10,976
-------	-------	--------

注記P26 発行済証券

	2020年		2019年	
	帳簿価額	額面金額	帳簿価額	額面金額
百万スウェーデン・クローネ				
コマーシャル・ペーパー				
コマーシャル・ペーパー				
(スウェーデン・クローネ建て)	391	423	2,286	2,254
うち、償却原価で計上			1,480	1,480
うち、純損益を通じて公正価値で計上	391	423	806	774
コマーシャル・ペーパー (外貨建て)	441,687	440,659	462,968	463,059
うち、償却原価で計上	439,863	438,565	460,521	460,666
うち、純損益を通じて公正価値で計上	1,824	1,094	2,447	2,393
合計	442,078	441,082	465,254	465,313
社債				
社債 (スウェーデン・クローネ建て)	5,217	5,543	7,074	6,939
うち、償却原価で計上	5,217	5,543	7,074	6,939
社債 (外貨建て)	210,225	209,242	252,312	251,701
うち、償却原価で計上	210,225	209,242	252,312	251,701
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	65,034	64,470	26,329	26,549
合計	215,442	214,785	259,386	258,640
発行済証券合計	657,520	655,867	724,640	723,953
うち、未払利息費用	1,061		1,790	

	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ		
期首現在発行済証券	724,640	716,531
発行済	777,275	768,077
買戻	-2,666	-5,666
満期が到来したもの	-790,402	-768,391
外貨換算影響額等	-51,327	14,089
期末現在発行済証券	657,52	724,640

平均残高

	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ		
スウェーデン・クローネ	7,540	11,797
外貨	714,136	731,930
合計	721,676	743,727

注記P27 ショートポジション

百万スウェーデン・クローネ

公正価値で計上されるショートポジション

	2020年	2019年
株式	658	708
利付証券	1,024	1,148
合計	1,682	1,856

うち、未払利息費用

5 9

平均残高

百万スウェーデン・クローネ

スウェーデン・クローネ

外貨

	2020年	2019年
スウェーデン・クローネ	10,977	13,129
外貨	97	520
合計	11,074	13,649

注記P28 税金

繰延税金資産

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
ヘッジ手段	563	321
その他	610	332
合計	1,173	653

繰延税金負債

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
不動産及び器具備品	22	22
ヘッジ手段	755	934
合計	777	956

繰延税金負債純額	-396	303
----------	------	-----

繰延税金の変動、2020年

百万スウェーデン・クローネ

	期首残高	損益計算書に 計上	その他包括 利益に計上	期末残高
不動産及び器具備品	22	0	-	22
ヘッジ手段	613	-	-421	192
その他	-332	-278	-	-610
合計	303	-278	-421	-396

繰延税金の変動、2019年

百万スウェーデン・クローネ

	期首残高	損益計算書に 計上	その他包括 利益に計上	期末残高
不動産及び器具備品	17	5	-	22

ヘッジ手段	415	-	198	613
その他	-189	-143	-	-332
合計	243	-138	198	303

損益計算書に計上された税金費用

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
当期税金		
当期税金費用	-4,536	-4,479
過年度に関する税金の調整	-17	44
繰延税金		
一時差異の変動	278	138
合計	-4,275	-4,297

税引前利益に対する税率、21.4(21.4)%

	-4,173	-4,268
差異	-102	-29

差異の詳細項目

各種損金不算入費用	-37	-61
劣後ローン利息の損金不算入額	-254	-263
非課税のキャピタルゲイン及び受取配当	166	258
税率変更による繰延税金の再測定	-7	-
その他	30	37
合計	-102	-29

注記P29 引当金

引当金、2020年	オフバランスシート項目に対する予想	リストラクチャリングに係る引当金 ²	その他引当金 ³	合計
百万スウェーデン・クローネ	信用損失引当金 ¹			
期首現在引当金	194	864	42	1,100
当期の引当金繰入		1,470	68	1,538
取崩		-405	-8	-413
戻入			-35	-35
予想信用損失の変動、純額	86			86
期末現在引当金	280	1,929	67	2,276

引当金、2019年	オフバランスシート項目に対する予想	リストラクチャリングに係る引当金 ²	その他引当金 ³	合計
百万スウェーデン・クローネ	信用損失引当金 ¹			
期首現在引当金	79	-	30	109

当期の引当金繰入	930	22	952
取崩	-66	-4	-70
戻入		-6	-6
予想信用損失の変動、純額	115		115
期末現在引当金	194	864	42
			1,100

1) より詳細な情報については、注記P10及びP37を参照のこと。

2) 2020年に、リストラクチャリングに係る引当金が追加で計上された。これは主に、スウェーデンの支店業務の再編や当行の効率性をさらに高めるための費用であった。2019年に計上された引当金は、拠点市場外の支店の閉鎖、特定の商品分野の販売中止、及び主として本部ユニットの余剰人員への対応に起因する費用をカバーすることを意図したものである。引当額の大半は2022年末までに会計処理が行われると予想される。その他の引当金に関しては引当の実施時期と金額には不確実性が存在するものの、計画の実施に伴い、引当金は減少すると予想される。

3) 当行に対する賠償請求の解決のために将来必要になることが予想される金額はその他引当金として表示されている。

注記P30 その他負債

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
投資銀行業務の決済業務に係る負債	3,967	2,840
その他	5,158	5,950
合計	9,125	8,790

注記P31 未払費用及び繰延収益

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
未払費用	1,603	1,118
繰延収益	663	729
合計	2,266	1,847

注記P32 劣後負債

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
劣後ローン（スウェーデン・クローネ建て）	3,002	3,003
劣後ローン（外貨建て）	38,080	32,543
合計	41,082	35,546

うち、未払利息費用	915	932
-----------	-----	-----

平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
劣後ローン（スウェーデン・クローネ建て）	3,009	5,625
劣後ローン（外貨建て）	34,062	32,400
合計	37,071	38,025

劣後ローン、内訳

発行 / 満期

スウェーデン・クローネ建て

	通貨	各通貨別の 当初名目金額	金利、%	残高
2017 / 期限付		1,700	0.980%	1,701
2017 / 期限付		1,300	1.410%	1,301
合計				3,002

外貨建て

2015 / 永久	米ドル	1,200	5.250%	10,237
2018 / 期限付	ユーロ	750	1.630%	7,617
2018 / 期限付	ユーロ	750	1.250%	7,597
2019 / 永久	米ドル	500	6.250%	4,579
2020 / 永久	米ドル	500	4.380%	4,058
2020 / 永久	米ドル	500	4.750%	3,992
合計				38,080

劣後負債合計

41,082

劣後ローンについては、第三の柱のレポートを参照のこと。

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
期首現在劣後ローン	35,546	51,085
発行済	8,916	4,654
買戻	-2	-3,179
満期が到来したもの	-	-17,674
外貨換算影響額等	-3,378	660
期末現在劣後ローン	41,082	35,546

注記P33 非課税剰余金

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
器具備品及びリース資産の加速減価償却累計額	882	1,532
純資産の取得に係るのれんの加速償却累計額	51	146
合計	933	1,678

注記P34 金融資産及び負債の分類

2020年	純損益を通じて公正価値で計上されるもの						
百万スウェーデン・ クローネ	強制	公正価値オブ ション	ヘッジ手段と して特定され たデリバ ティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
資産							
現金及び中央銀行 預け金					297,362	297,362	297,362
中央銀行への担保とし て適格な利付証券	3,928	94,024		401	762	99,115	99,115
金融機関への貸出金	21,812				931,838	953,650	959,434
一般顧客への貸出金					566,145	566,145	569,895
ポートフォリオ・ヘッ ジにおけるヘッジ対 象の価値変動					13	13	
社債及び その他の利付証券	11,929	26,640		7,964		46,533	46,533
株式	13,614			699		14,313	14,313
顧客が価値変動リスク を負う資産	7,345				60	7,405	7,405
デリバティブ商品	22,332		10,699			33,031	33,031
その他資産	30				20,745	20,775	20,775
合計	80,990	120,664	10,699	9,064	1,816,92	2,038,342	2,047,863
子会社株式並びに関連 会社及びジョイン ト・ベンチャーに対 する投資						73,057	
非金融資産						13,464	
資産合計						2,124,863	
負債							
金融機関からの預り金					193,054	193,054	193,552
一般顧客からの預金 及び借入金					1,021,130	1,021,130	1,021,118
顧客が価値変動リスク を負う負債		7,345			60	7,405	7,405
発行済証券	2,215				655,305	657,520	664,277
デリバティブ商品	38,074		6,700			44,774	44,774
ショートポジション	1,682					1,682	1,682
その他負債	38				9,087	9,125	9,125
劣後負債					41,082	41,082	42,674
合計	42,009	7,345	6,700		1,919,718	1,975,772	1,984,607
非金融負債						5,319	
負債合計						1,981,091	

2019年	純損益を通じて公正価値で計上されるもの						
百万スウェーデン・ クローネ	強制	公正価値オブ ション	ヘッジ手段と して特定され たデリバ ティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
資産							
現金及び中央銀行 預け金					242,889	242,889	242,889
中央銀行への担保とし て適格な利付証券	3,001	98,959		403	1,007	103,370	103,370
金融機関への貸出金	21,335				869,222	890,557	895,178
一般顧客への貸出金					620,175	620,175	623,065
社債及び その他の利付証券	19,099	29,044		4,953		53,096	53,096
株式	12,032			2,303		14,335	14,335
顧客が価値変動リスク を負う資産	6,381				62	6,443	6,443
デリバティブ商品	22,105		19,735			41,840	41,840
その他資産	10				21,512	21,522	21,522
合計	83,963	128,003	19,735	7,659	1,754,867	1,994,227	2,001,738
子会社株式及び関連会 社に対する投資						72,138	
非金融資産						13,140	
資産合計						2,079,505	
負債							
金融機関からの預り金					208,697	208,697	209,030
一般顧客からの預金 及び借入金					918,146	918,146	918,069
顧客が価値変動リスク を負う負債		6,381			62	6,443	6,443
発行済証券	3,253				721,387	724,640	731,197
デリバティブ商品	36,869		1,800			38,669	38,669
ショートポジション	1,856					1,856	1,856
その他負債	11				8,779	8,790	8,790
劣後負債					35,546	35,546	35,825
合計	41,989	6,381	1,800		1,892,617	1,942,787	1,949,879
非金融負債						4,105	
負債合計						1,946,892	

注記P35 金融商品の公正価値測定

公正価値で計上される金融商品、2020年

百万スウェーデン・クローネ

資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
強制的に純損益を通じて公正価値で測定	3,088	840	-	3,928

公正価値オプションにより、純損益を通じて

公正価値で測定	94,024	-	-	94,024
---------	--------	---	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定

401	-	-	401
-----	---	---	-----

金融機関への貸出金

-	21,812	-	21,812
---	--------	---	--------

社債及びその他の利付証券

強制的に純損益を通じて公正価値で測定	10,167	1,762	-	11,929
--------------------	--------	-------	---	--------

公正価値オプションにより、純損益を通じて

公正価値で測定	26,640	-	-	26,640
---------	--------	---	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定

3,090	4,874	-	7,964
-------	-------	---	-------

株式

強制的に純損益を通じて公正価値で測定	13,196	417	-	13,613
--------------------	--------	-----	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定

-	186	514	700
---	-----	-----	-----

顧客が価値変動リスクを負う資産

6,871	-	474	7,345
-------	---	-----	-------

デリバティブ商品

267	32,684	80	33,031
-----	--------	----	--------

合計

157,745	62,574	1,068	221,387
---------	--------	-------	---------

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	6,871	-	474	7,345
-----------------	-------	---	-----	-------

発行済証券

-	2,215	-	2,215
---	-------	---	-------

デリバティブ商品

253	44,441	80	44,774
-----	--------	----	--------

ショートポジション

1,488	194	-	1,682
-------	-----	---	-------

合計

8,612	46,850	554	56,016
-------	--------	-----	--------

適用されている原則は、注記G39に記載されている。

公正価値で計上される金融商品、2019年

百万スウェーデン・クローネ

資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
強制的に純損益を通じて公正価値で測定	1,452	1,549	-	3,001

公正価値オプションにより、純損益を通じて

公正価値で測定	98,959	-	-	98,959
---------	--------	---	---	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定

403	-	-	403
-----	---	---	-----

金融機関への貸出金

-	21,335	-	21,335
---	--------	---	--------

社債及びその他の利付証券

強制的に純損益を通じて公正価値で測定	15,093	4,006	-	19,099
--------------------	--------	-------	---	--------

公正価値オプションにより、純損益を通じて				
公正価値で測定	29,044	-	-	29,044
その他包括利益を通じて公正価値で測定	4,740	213	-	4,953
株式				
強制的に純損益を通じて公正価値で測定	10,706	1,326	-	12,032
その他包括利益を通じて公正価値で測定	711	340	1,252	2,303
顧客が価値変動リスクを負う資産	5,888	-	493	6,381
デリバティブ商品	402	41,369	69	41,840
合計	167,399	70,137	1,814	239,350

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	5,888	-	493	6,381
発行済証券	-	3,253	-	3,253
デリバティブ商品	489	38,110	70	38,669
ショートポジション	1,708	148	-	1,856
合計	8,085	41,511	563	50,159

適用されている原則は、注記G39に記載されている。

レベル3の保有金融商品の変動

2020年		デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値 変動リスクを 負う資産	顧客が価値 変動リスクを 負う負債
百万スウェーデン・クローネ	株式				
期首現在帳簿価額	1,252	69	-70	493	-493
取得	6	9	-13	-	-
買戻 / 売却	-698	-	5	-	-
満期が到来したもの	-	-	-	-	-
未実現評価差額（損益計算書に計上）	-8	-16	16	-	-
未実現評価差額（その他包括利益に計上）	-38	-	-	-19	19
推計手法の変更	-	-	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	17	-17	-	-
レベル1又は2への振替	-	1	-1	-	-
期末現在帳簿価額	514	80	-80	474	-474

レベル3の保有金融商品の変動

2019年		デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値 変動リスクを 負う資産	顧客が価値 変動リスクを 負う負債
百万スウェーデン・クローネ	株式				
期首現在帳簿価額	1,057	-176	176	484	-484
取得	74	-	-	-	-
買戻 / 売却	-28	2	-	-	-
満期が到来したもの	-	-	-	-	-

未実現評価差額（損益計算書に計上）	-	-13	10	-	-
未実現評価差額（その他包括利益に計上）	149	-	-	9	-9
推計手法の変更		352	-352		
レベル1又は2からの振替	-	4	-4	-	-
レベル1又は2への振替	-	-100	100	-	-
期末現在帳簿価額	1,252	69	-70	493	-493

償却原価で計上される金融商品の公正価値、
2020年

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	297,362	-	-	297,362
中央銀行への担保として適格な利付証券	709	53	-	762
金融機関への貸出金	33,508	903,591	523	937,622
一般顧客への貸出金	4,254	1,667	563,974	569,895
顧客が価値変動リスクを負う資産	-	60	-	6
合計	335,833	905,371	605,504	1,805,701

負債

金融機関からの預り金	47,239	146,313	-	193,552
一般顧客からの預金及び借入金	998,466	22,652	-	1,021,118
顧客が価値変動リスクを負う負債	-	60	-	60
発行済証券	129,949	532,113	-	662,062
劣後負債	-	42,674	-	42,674
合計	1,175,654	743,812	-	1,919,466

償却原価で計上される金融商品の公正価値、
2019年

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	242,889	-	-	242,889
中央銀行への担保として適格な利付証券	550	457	-	1,007
金融機関への貸出金	24,032	849,811	-	873,843
一般顧客への貸出金	2,475	15,086	605,504	623,065
顧客が価値変動リスクを負う資産	-	62	-	62
合計	269,946	865,416	605,504	1,740,866

負債

金融機関からの預り金	51,041	157,989	-	209,030
------------	--------	---------	---	---------

一般顧客からの預金及び借入金	895,063	23,006	-	918,069
顧客が価値変動リスクを負う負債	-	62	-	62
発行済証券	246,814	481,130	-	727,944
劣後負債	-	35,825	-	35,825
合計	1,192,918	698,012	-	1,890,930

注記P36 担保として差し入れた資産、受け入れた担保及び譲渡された金融資産

自己の負債の担保として差し入れた資産

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
現金	19,121	9,640
国債及び社債	2,398	7,526
一般顧客への貸出金	-	-
株式	297	292
その他	614	536
合計	22,430	17,994

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産 28 38

その他担保として差し入れた資産

百万スウェーデン・クローネ

	2020年	2019年
現金	204	224
国債及び社債	40,844	41,761
一般顧客への貸出金	-	-
株式	6,285	6,760
その他	213	192
合計	47,546	48,937

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産 37,504 39,110

その他の担保資産は、貸借対照表に計上されていない債務に対して差し入れた担保のことである。

受取った資産

売戻契約及び証券貸付の構成要素として、当行グループは、第三者に売却又は再担保として差し入れ可能な資産を受領している。この種の受取った資産の公正価値は、当年度末現在において、25,704(28,741)百万スウェーデン・クローネで、第三者に売却又は再担保として差し入れられた資産の価値は、10,653(8,761)百万スウェーデン・クローネであった。

貸借対照表に計上されている譲渡金融資産

	2020年		2019年	
	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額	帳簿価額	関連する負債 の帳簿価額
百万スウェーデン・クローネ				
株式、証券貸付	6,526	306 ¹⁾	7,051	342 ¹⁾
株式、その他	-	-	-	-
国債及び社債、買戻契約	386	-	5,811	-
国債及び社債、その他	1,108	-	549	-
顧客が価値変動リスクを負う資産	538	538	561	561
合計	8,558	844	13,972	903

1) 現金で受領した担保

注記P37 偶発債務

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
偶発債務		
保証、貸出金	24,096	28,293
保証、その他	73,084	82,482
取消不能な信用状	2,294	4,269
その他	-	21
合計	99,474	115,065
うち、減損テストの対象となるもの	99,474	115,065
債務		
ローン・コミットメント	299,910	267,501
当座貸越枠の未使用分	111,887	116,715
その他 ¹	48,438	70,924
合計	460,235	455,140
うち、減損テストの対象となるもの	319,460	329,462
偶発債務合計	559,709	570,205

引当金として計上される予想信用損失引当金（注記P29参照）	280	194
-------------------------------	-----	-----

1) 「その他」には、子会社に対する流動性の内部保証56,194(63,594)百万スウェーデン・クローネが含まれている。

偶発債務

偶発債務は、主に様々な種類の保証より構成されている。信用保証は、信用機関及び年金機関の債務を保証するために顧客に提供される。その他の保証は、主に入札保証金、前払金に関する保証、保証期間中の保証及び輸出関連の保証等の商業保証である。偶発債務には、未使用の取消不能輸入信用状及び確認輸出信用状も含まれる。これらの取引は当行のサービスに含まれるもので、当行の顧客を支援するために提供されている。この表には保証額が示されている。

請求

ハンデルスバンケンは、多くの民事裁判において一般法による請求を受けている。これらの裁判は、基本的に当行に有利に解決されると見込まれている。係争金額は当行の財政状態にも損益にも大きな影響を及ぼさないと評価されている。

注記P38 年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
制度資産の公正価値	33,554	31,212
年金債務	34,899	32,799
正味年金¹	-1,345	-1,587

年金債務は、スウェーデン金融監督庁の規定に従って算定されている。スウェーデンにおける年金債務は年金債務保護法に従って算定され、国外における年金債務は現地の規則に従って算定される。制度資産は、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse、Pensionskassan SHB及びFörsäkringsföreningのほか、海外の年金契約に関する制度資産は類似する法人が保有している。Pensionskassanの資産も保険数理上の準備金もPensionskassanとの保険契約を有する会社に割り当てることはできないため、これらの資産及び準備金は上表にも含まれていない。当行の年金基金（Pensionskassan SHB、Försäkringsförening）における年金債務は、7,704(7,461)百万スウェーデン・クローネであり、年金資産の市場価値は、15,600(15,015)百万スウェーデン・クローネである。したがって、Pensionskassan SHB、Försäkringsföreningにおける余剰金は、7,896(7,554)百万スウェーデン・クローネである。

スウェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelseの制度資産の公正価値の9,692(10,072)百万スウェーデン・クローネは、1989年から2004年にかけて特例付加年金（以下、「SKP」という。）に対して計上された引当金である。当該債務には、制度資産の公正価値と同額のSKPに関するコミットメントが含まれている。

このコミットメントのうち、7,276(7,631)百万スウェーデン・クローネは条件付債務である。

1) Pensionskassan SHB、Försäkringsföreningにおける余剰金は親会社の年金債務を補うために使用可能であり、コミットメントの一部は条件付債務であるため、親会社の不足分は2020年の貸借対照表上に負債として計上されていない。

年金費用

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
年金支払額	-1,068	-1,022
年金保険料 ²	-469	-512
社会保障費	-169	-154
当行の年金信託からの報酬	545	498
当行の年金信託への支払額	-73	-13
年金費用合計	-1,234	-1,202

確定給付年金制度の翌年度の支払予定額は、1,040百万スウェーデン・クローネである。年金保険料費用には、BTPK制度（確定拠出年金制度）への保険料95(94)百万スウェーデン・クローネが含まれている。

制度資産

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
期首残高	31,212	26,868
運用収益	2,814	4,830
年金基金への拠出	73	13
年金基金からの補償	-545	-498

期末残高	33,554	31,212
制度資産の収益率	9%	18%

年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
期首残高	32,799	31,712
管理手数料	989	787
利息	213	223
指数化	326	494
早期退職	154	128
年金支払額	-1,068	-1,022
仮定の変更 ³	1,448	420
条件付債務の価値変動	114	181
制度変更による影響 ²	-8	-
ポートフォリオの変動	-	-
元本価値のその他の変動	-68	-124
期末残高	34,899	32,799

2) 2020年にドイツの確定給付年金制度を移管したことにより、2020年12月31日現在でドイツの年金債務が8百万スウェーデン・クローネ減少し、年金費用に14百万スウェーデン・クローネのプラスの効果が生じた。詳細については注記G8を参照のこと。

3) 主に、スウェーデン金融監督庁の指令に基づく割引率の変更の影響である。

制度資産の配分

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
株式及びファンドの持分 ⁴	31,039	28,924
利付証券	2,016	1,909
その他制度資産 ⁵	499	379
合計	33,554	31,212

スウェーデンでは、スウェーデン銀行雇用主協会（以下、「BA0」という。）とスウェーデン金融セクター組合 / スウェーデン専門職連盟との年金契約に従って、65歳から退職年金が支給される。年金額は、所得基準額7.5までは年収の10%としている。所得基準額の7.5から20の給与部分については、退職年金は65%で、所得基準額の20から30の給与部分については、退職年金は32.5%である。所得基準額30を上回る給与については、退職年金は支給されない。当該年金債務の価値は、年金数理上の仮定に基づいて、毎年、貸借対照表日に計算される。2020年3月1日から、すべての新入従業員及び25歳未満の従業員の年金は確定拠出年金制度で積み立てられる。2020年3月1日より前に雇用された従業員はこの影響を受けず、依然として確定給付年金制度の対象となっている。

スウェーデンにおいて最も重要な算定上の仮定は死亡率及び割引率である。死亡率及び割引率の仮定は、年金債務保護法の仮定に従っている。割引率は、税金及び一般管理費用に関する仮定考慮後で0.0(0.4)%である。在外支店における年金債務は現地の会計処理上の規定に従って算定されている。

4) ファンドの持分は主に債券ファンドに投資されており、金額は14,619(13,921)百万スウェーデン・クローネに上る。

5) その他制度資産には、年金基金からの未払報酬に関する負債が含まれている。

注記P39 通貨別資産及び負債

2020年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・ クローネ	ユーロ	ノル ウェー・ クローネ	デンマー ク・ クローネ	英ポンド	米ドル	その他の 通貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	84,525	128,206	18,025	212	0	65,480	914	297,362
金融機関への貸出金	650,539	55,109	71,127	67,369	103,644	4,479	1,383	953,650
一般顧客への貸出金	160,420	172,429	160,731	49,041	6,518	14,473	2,533	566,145
うち、法人	130,748	106,470	135,476	34,160	6,457	14,308	1,011	428,630
うち、個人	29,672	65,959	25,255	14,881	61	165	1,522	137,515
中央銀行への担保として適格な利 付証券	89,688	5,457	839	1	-	2,368	762	99,115
社債及びその他の利付証券	35,796	1,420	7,285	-	0	2,032	-	46,533
その他項目（通貨別内訳なし）	162,058							162,058
資産合計	1,183,026	362,621	258,007	116,623	110,162	88,832	5,592	2,124,863
負債								
金融機関からの預り金	65,573	42,256	26,461	2,619	39,574	16,101	470	193,054
一般顧客からの預金及び借入金	735,197	128,970	83,919	47,218	4,967	18,987	1,872	1,021,130
うち、法人	315,675	103,484	58,601	24,296	3,296	15,881	1,260	522,493
うち、個人	419,522	25,486	25,318	22,922	1,671	3,106	612	498,637
発行済証券	5,608	285,743	368	104	28,193	320,815	16,689	657,520
劣後負債	3,002	15,213	-	-	-	22,867	-	41,082
その他項目（通貨別内訳なし、資 本含む）	212,077							212,077
負債及び資本合計	1,021,457	472,182	110,748	49,941	72,734	378,770	19,031	2,124,863
通貨別その他資産及び負債、 純額		109,673	-147,195	-66,608	-37,333	289,927	13,466	
正味外貨ポジション		112	64	74	95	-11	27	361

注記G2に、為替リスクに関する当行の見解が記載されている。

2019年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・ クローネ	ユーロ	ノル ウェー・ クローネ	デンマー ク・ クローネ	英ポンド	米ドル	その他の 通貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	46,552	114,477	22,096	291	0	58,039	1,434	242,889
金融機関への貸出金	574,251	47,731	74,116	66,964	119,238	6,983	1,274	890,557
一般顧客への貸出金	179,594	172,820	181,266	54,719	7,455	19,732	4,589	620,175
うち、法人	147,362	109,793	150,209	37,678	7,180	19,555	2,699	474,476
うち、個人	32,232	63,027	31,057	17,041	275	177	1,890	145,699
中央銀行への担保として適格な利 付証券	91,604	8,256	1,144	2	-	1,358	1,006	103,370
社債及びその他の利付証券	43,080	2,032	4,112	-	0	3,872	-	53,096
その他項目（通貨別内訳なし）	169,418							169,418
資産合計	1,104,499	345,316	282,734	121,976	126,693	89,984	8,303	2,079,505

負債

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (S v e n s k a H a n d e l s b a n k e n A B (p u b l)) (E27561)
有価証券報告書

金融機関からの預り金	60,256	93,137	6,000	7,388	29,890	11,444	582	208,697
一般顧客からの預金及び借入金	649,955	116,248	74,576	50,187	4,768	17,221	5,191	918,146
うち、法人	264,122	92,631	50,705	27,763	2,328	13,808	4,650	456,007
うち、個人	385,833	23,617	23,871	22,424	2,440	3,413	541	462,139
発行済証券	9,360	236,261	403	100	24,395	430,834	23,287	724,640
劣後負債	3,003	15,829	-	-	-	16,716	-2	35,546
その他項目（通貨別内訳なし、資本含む）	192,476							192,476
負債及び資本合計	915,050	461,475	80,979	57,675	59,053	476,215	29,058	2,079,505
通貨別その他資産及び負債、純額		116,238	-201,588	-64,205	-67,453	386,252	20,807	
正味外貨ポジション		79	167	96	187	21	52	602

注記P40 関連当事者に関する開示

関連当事者に対する債権及び債務	子会社		関連会社		その他関連当事者	
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ						
金融機関への貸出金	911,996	854,999	-	-	-	-
一般顧客への貸出金	1,132	1,132	493	591	-	-
デリバティブ	2,417	295	-	-	-	-
その他資産	15,194	16,154	32	0	560	6
合計	930,739	872,580	525	591	560	6
金融機関からの預り金	71,570	65,577	-	-	-	-
一般顧客からの預金及び借入金	10,236	9,080	115	66	853	724
デリバティブ	11,956	18,028	-	0	-	-
劣後負債	-	0	-	0	-	0
その他負債	101	42	-	0	-	11
合計	93,863	92,727	115	66	853	735
偶発債務	18,968	21,911	-	-	7,704	7,461
デリバティブ、想定元本	367,382	368,435	-	-	-	-

関連当事者 - 収益及び費用	子会社		関連会社		その他関連当事者	
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ						
利息収益	5,092	5,771	9	7	-	0
利息費用	-364	-540	0	0	-	-16
手数料及びコミッション収益	0	0	0	0	-	-
手数料及びコミッション費用	0	0	-205	-55	-	0
公正価値で評価される金融項目からの純損益	0	0	0	0	-	-

その他収益	2,648	2,521	0	0	19	18
その他費用	-385	-376	-55	0	-	-
合計	6,990	7,376	-250	-48	19	2

注記P16には、子会社及び関連会社に関する情報が記載されている。関連会社の事業は、金融市場関連の様々なサービスより構成される。スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelse（従業員基金）、Pensionskassan SHB及びFörsäkringsförening（年金ファンド）の各社は、その他の関連当事者グループを構成している。これらの会社は通常の銀行業務及び会計業務に関して、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーを利用している。当行グループ及び関連会社に対する株主の拠出に関する情報は、注記P16に開示されている。

子会社従業員に対するこの年金ファンドのコミットメントは親会社によって保証されているため、年金ファンドがコミットメントを履行できない場合には、親会社がそのコミットメントを引き受けて支払義務を負う。この年金ファンドの債務は7,704(7,461)百万スウェーデン・クローネである。スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseから年金費用に関する補償545(498)百万スウェーデン・クローネ、特別補足年金に関する補償-(-)百万スウェーデン・クローネを請求された。また、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelseからは従業員給付のための測定費用43(29)百万スウェーデン・クローネを請求された。

執行役員への貸出金、並びに条件及び執行役員に対するその他の報酬に関する情報については、注記G8に記載されている。

注記P41 利益処分案

取締役会は、一株当たり4.10スウェーデン・クローネ(2019年度は-スウェーデン・クローネ)の配当金を提案している。取締役会の利益処分案は、201ページ（訳注：原文のページ数である。）に記載されている。

注記P42 株式情報

2020年12月31日	資本の割合		議決権の割合		1株当たりの
株式のクラス	株式数	%	%	株式資本	価値
クラスA	1,944,777,165	98.22	99.82	3,014,404,605	1.55
クラスB	35,251,329	1.78	0.18	54,639,560	1.55
	1,980,028,494	100.00	100.00	3,069,044,165	

注記P43 重要な後発事象

貸借対照表日以降、重要な後発事象はなかった。

注記P44 自己資本比率

この表示は、欧州委員会実施規則(EU)1423/2013の要件に準拠している。現在、ハンデルスバンケンに関連していないと考えられる行は削除されている。

		2020年	2019年
自己資本（経過措置）		開示日現在の金額	開示日現在の金額
百万スウェーデン・クローネ		規則(EU)575/2013の参考条項	規則(EU)575/2013の参考条項
普通株式等Tier 1 資本：資本調達手段及び準備金			
1	資本調達手段及び関連する資本剰余金勘定	11,827	11,827
	うち、株式資本	11,827	11,827
	うち、転換証券		
2	利益剰余金	115,034	98,702
3	その他包括利益累計額（及び関連する会計基準に従って未実現損益を計上するためのその他準備金）	752	4,758
5a	独立してレビューされる中間利益（予測可能な費用又は配当金控除後）	7,108	4,758
6	規制上の調整前の普通株式等Tier 1 (CET1) 資本	134,721	120,045
普通株式等Tier 1 (CET1) 資本：規制上の調整			
7	追加的な価値調整（負の金額）	-239	-131
8	無形資産（関連する税金負債控除後）（負の金額）	-3,408	-3,044
11	キャッシュフロー・ヘッジに係る損益に関する公正価値評価差額準備金	-628	-1,940
12	予想損失額の算定から生じた負の金額	-445	-2,060
14	自己の信用力の変化に起因する公正価値で計上する負債に係る損益	9	-
15	確定給付年金基金資産（負の金額）	-	-
16	金融機関による自己のCET1資本調達手段の直接及び間接保有（負の金額）	-466	-527
19	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するCET1資本調達手段の直接、間接及び合成的な手法による保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-	-
20a	金融機関が他の控除方法を選択した場合に1,250%のリスク加重が適用される、下記項目のエクスポージャー額	-	-20
20c	うち、証券化ポジション（負の金額）	-	-20
21	一時差異によって生じた繰延税金資産（基準値の10%を上回る金額、第38(3)条の条件を満たしている関連税金負債控除後）（負の金額）	-	-
22	基準値の15%を超過した金額（負の金額）	-	-
23	うち、金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するCET1資本調達手段の直接及び間接保有	-	-
25	うち、一時差異によって生じた繰延税金資産	-	-
25a	当年度の損失（負の金額）	-	-
25b	CET1項目に関連して予測される税金費用（負の金額）	-	-
27	金融機関のAT1資本を超過する適格AT1控除（負の金額）	-	-
28	普通株式等Tier 1 (CET1) 資本の規制上の調整合計	-5,177	-7,722
29	普通株式等Tier 1 (CET1) 資本	129,544	112,323

その他Tier 1 (AT1) 資本：資本調達手段

30	資本調達手段及び関連する資本剰余金勘定	21,980	15,819	51,52
32	うち、適用される会計基準に基づき負債に分類されるもの	21,980	15,819	
33	第484(4)条に示されている適格項目の金額及び関連するAT1の段階的廃止の対象となる資本剰余金勘定	-	-	486.3
36	規制上の調整前その他Tier 1 (AT1) 資本	21,980	15,819	

その他Tier 1 (AT1) 資本：規制上の調整

37	金融機関による自己のAT1資本調達手段の直接及び間接保有（負の金額）	-9,808	-	52(1)(b), 56(a), 57
40	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するAT1資本調達手段の直接及び間接保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-	-	56(d), 59, 79
42	金融機関のTier 2 (T2) 資本を超過する適格T2控除（負の金額）	-	-	56(e)
43	その他Tier 1 (AT1) 資本の規制上の調整合計	-9,808	-	
44	その他Tier 1 (AT1) 資本	12,172	15,819	
45	Tier 1資本 (T1=CET1+AT1)	141,716	128,142	
Tier 2 (T2) 資本：資本調達手段及び引当金				
46	資本調達手段及び関連する資本剰余金勘定	18,032	18,639	62,63
50	信用リスク調整	16	-	62(c)及び(d)
51	規制上の調整前Tier 2 (T2) 資本	18,048	18,639	

Tier 2 (T2) 資本：規制上の調整

52	金融機関による自己のT2資本調達手段及び劣後ローンの直接及び間接保有（負の金額）	-	-	63(b)(i), 66(a), 67
55	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行するT2資本調達手段及び劣後ローンの直接及び間接保有（適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-1,129	-1,129	66(d), 69, 79
57	Tier 2 (T2) 資本の規制上の調整合計	-1,129	-1,129	
58	Tier 2 (T2) 資本	16,919	17,510	
59	資本合計 (TC=T1+T2)	158,635	145,652	
60	リスク加重資産合計	409,265	556,251	

自己資本比率及びバッファ

61	普通株式等Tier 1比率（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	31.7	20.2	92(2)(a)
62	Tier 1（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	34.6	23.0	92(2)(b)
63	資本合計（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	38.8	26.2	92(2)(c)
64	金融機関特有のバッファ要件（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合として表される第92(1)(a)条によるCET1要件、資本保全及びカウンターシクリカル・バッファ要件、システミック・リスク・バッファ、金融システム上重要な金融機関バッファ（G-SII又はO-SIIバッファ））	2.6	4.5	CRD 128, 129, 130
65	うち、資本保全バッファ要件	2.5	2.5	
66	うち、カウンターシクリカル・バッファ要件	0.1	2.0	

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
有価証券報告書

67	うち、システミック・リスク・バッファ要件	0.0	0.0	
67a	うち、グローバルにシステム上重要な金融機関 (G-SII) 又はその他のシステム上重要な金融機関 (O-SII) バッファ	0.0	0.0	CRD 131
68	バッファ要件を満たすために利用可能な普通株式等 Tier 1資本 (リスク・エクスポージャー額に対する割合)	27.2	15.7	CRD 128

自己資本比率及びバッファ

72	金融機関の重要な投資先ではない金融機関等が発行する資本の直接及び間接保有 (基準値の10%を下回る金額、適格ショートポジション控除後)	0	0	36(1)(h), 45, 46, 56 (c), 59, 60, 66(c), 69, 70
73	金融機関の重要な投資先である金融機関等が発行する CET1資本調達手段の直接及び間接保有 (基準値の10%を下回る金額、適格ショートポジション控除後)	-	-	36(1)(i), 45, 48
75	一時差異によって生じた繰延税金資産 (基準値の10%を下回る金額、第38(3)条の条件を満たしている関連税金負債控除後)	0	0	36(1)(c), 38, 48

Tier 2における引当金の算入に適用される上限額

76	標準的手法の対象となるエクスポージャーに関して T2 に含まれている信用リスク調整 (上限額適用前)	-	-	62
77	標準的手法に基づき T2 に信用リスク調整を算入する際の上限額	2,025	1,504	62
78	内部格付手法の対象となるエクスポージャーに関して T2 に含まれる信用リスク調整 (上限額適用前)	-	-	62
79	内部格付手法に基づき T2 に信用リスク調整を算入する際の上限額	1,138	2,226	62

段階的廃止の対象となる資本調達手段 (2013年1月1日から2022年1月1日までの期間のみに適用)

80	段階的廃止の対象となる CET1 資本調達手段に係る現在の上限額	-	-	484(3), 486(2) 及び (5)
81	上限を上回り CET1 から除外された金額 (償還及び満期後に上限を超える金額)	-	-	484(3), 486(2) 及び (5)
82	段階的廃止の対象となる AT1 資本調達手段に係る現在の上限額	-	-	484(4), 486(3) 及び (5)
83	上限を上回り AT1 から除外された金額 (償還及び満期後に上限を超える金額)	-	-	484(4), 486(3) 及び (5)
84	段階的廃止の対象となる T2 資本調達手段に係る現在の上限額	-	-	484(5), 486(4) 及び (5)
85	上限を上回り T2 から除外された金額 (償還及び満期後に上限を超える金額)	-	-	484(5), 486(4) 及び (5)

EU OV1 - リスク加重エクスポージャー額の概要			RWA (リスクアセット)		最低所要自己資本
百万スウェーデン・クローネ			2020年	2019年	2020年
	1	信用リスク (カウンターパーティ信用リスク: CCR を除く)	342,718	480,052	27,417
第438条(c)(d)	2	うち、標準的手法	161,799	120,172	12,944
第438条(c)(d)	3	うち、基礎的 IRB 手法 (FIRB) ¹	33,859	41,395	2,708

第438条(c)(d)	4	うち、先進的IRB手法(AIRB) ²	144,149	161,468	11,532
第438(d)	5	うち、簡便なリスク加重手法又は内部モデル方式(IMA)に基づく株式の内部格付	2,911	157,017	233
第107条 第438条(c)(d)	6	カウンターパーティ信用リスク	8,843	11,371	707
第438条(c)(d)	7	うち、時価	8,838	11,359	707
第438条(c)(d)	8	うち、当初のエクスポージャー			
	9	うち、標準的手法			
	10	うち、内部モデル方式(IMM)			
第438条(c)(d)	11	うち、中央清算機関(CCP)のデフォルトした ファンドへの拠出額に関するリスク・エク スポージャー額	5	12	0
第438条(c)(d)	12	信用評価調整(CVA)	2,707	4,114	217
第438条 e	13	決済リスク	0	9	0
第449条(o)(i)	14	非トレーディング勘定の証券化エクスポ ージャー(上限適用後)	49	-	4
	15	うち、内部評価手法(IAA)	49		4
	16	うち、IRB指定関数方式(SFA)			
	17	うち、内部評価手法(IAA)			
	18	うち、標準的手法			
第438条 e	19	市場リスク	13,314	17,575	1,065
	20	うち、標準的手法	13,314	17,575	1,065
	21	うち、内部モデル方式(IMA)			
第438条 e	22	大口エクスポージャー			
第438条(f)	23	オペレーショナル・リスク	41,634	43,130	3,331
	24	うち、基礎的指標手法			
	25	うち、標準的手法	41,634	43,130	3,331
	26	うち、先進的計測手法			
第437条(2)、 第48条及び 第60条	27	控除の基準値未満の額 (リスクウェイトは250%)			
第500条	28	フロアによる調整			
	29	合計	409,265	556,251	32,741

1) 非信用債務資産は基礎的IRB手法に基づいて計上されている。

2) スウェーデンの住宅ローンのリスク加重フロアは、先進的IRB手法に基づいて計上されている。

EU MR1 - 標準的手法に基づく市場

リスク	2020年		2019年	
	a	b	a	b
	リスク・エク スポージャー額	所要自己資本	リスク・エク スポージャー額	所要自己資本
百万スウェーデン・クローネ				
アウトライイト商品				

金利リスク	7,448	596	8,130	651
うち、一般的なリスク	6,135	491	6,923	554
うち、特定のリスク	1,313	105	1,207	97
株価リスク	26	2	43	3
うち、一般的なリスク	9	1	12	1
うち、特定のリスク	17	1	30	2
うち、集团的投資スキーム(CIU)	0	0	1	0
為替リスク	5,688	455	9,312	745
コモディティ・リスク	15	1	54	4
オプション				
シナリオ・アプローチ	137	11	36	3
うち、金利リスク	1	0	3	0
うち、株価リスク	23	2	33	3
うち、為替リスク	113	9	-	-
うち、コモディティ・リスク	-	-	-	-
証券化（特定のリスク）	-	-	-	-
決済リスク	0	0	9	1
合計	13,314	1,065	17,584	1,407

IRB手法 ¹ が容認された 信用リスク・エクスポージャー	エクスポージャー額		リスク加重 エクスポージャー額		所要自己資本		平均リスク加重、%	
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ								
ソブリン・エクスポージャー	372,232	320,165	5,067	4,882	405	391	1.4	1.5
法人エクスポージャー	469,731	521,798	132,895	157,478	10,632	12,598	28.3	30.2
法人貸付	459,004	513,289	129,712	154,874	10,377	12,390	28.3	30.2
うち、その他貸付（自行推計 のLGD及びCCFを使用しない IRB手法）	86,835	102,649	22,767	29,766	1,821	2,381	26.2	29.0
うち、その他貸付（自行推計 のLGD及びCCFを使用するIRB 手法）	372,169	410,640	106,945	125,108	8,556	10,009	28.7	30.5
うち、大企業	116,650	129,196	44,014	46,500	3,521	3,720	37.7	36.0
うち、中規模企業	44,474	53,879	16,884	25,885	1,351	2,071	38.0	48.0
うち、不動産会社	211,045	227,565	46,045	52,723	3,684	4,218	21.8	23.2
カウンターパーティ信用リスク	10,727	8,509	3,183	2,604	255	208	29.7	30.6
住宅協同組合	20,478	25,690	1,943	3,412	155	273	9.5	13.3
リテール・エクスポージャー	160,828	159,205	26,398	27,275	2,112	2,182	16.4	17.1
個人	144,987	141,799	20,555	20,489	1,644	1,639	14.2	14.4
うち、不動産貸付	117,611	110,561	15,083	15,653	1,207	1,252	12.8	14.2
うち、その他	27,376	31,238	5,472	4,837	437	387	20.0	15.5
小規模企業	15,841	17,406	5,843	6,786	468	543	36.9	39.0
機関エクスポージャー	38,121	57,336	10,532	14,279	843	1,142	27.6	24.9
金融機関への貸付	16,846	16,227	5,128	5,763	410	461	30.4	35.5
カウンターパーティリスク	21,275	41,109	5,404	8,516	433	681	25.4	20.7
株式エクスポージャー	787	42,591	2,911	157,017	233	12,561	370.0	368.7
うち、上場株式	-	712	0	2,064	-	165	-	290.0
うち、その他株式	787	41,879	2,911	154,953	233	12,396	370.0	370.0
非信用債務資産以外のエク スポージャー	680	760	680	760	54	61	100.0	100.0
証券化ポジション	16	-	49	-	4	-	312.3	-
うち、伝統的証券化	16	-	49	-	4	-	312.3	-
うち、合成的証券化	-	-	-	-	-	-	-	-
IRB手法合計	1,062,873	1,127,545	180,475	365,102	14,438	29,208	17.0	32.4
スウェーデンにおける住宅ロー ンのリスク加重フロア²								
			9,139	5,975	731	478		
IRB手法合計及びスウェーデンに おける住宅ローンのリスク加 重フロアの影響								
	1,062,873	1,127,545	189,614	371,077	15,169	29,686	17.8	32.9

1) 2020年12月31日現在、スウェーデンにおける住宅ローンのリスク加重フロアの規定により影響を受けるエクスポージャー額は51,651百万スウェーデン・クローネである。

標準的手法 ^{1, 2} による 信用リスク・エクスポージャー	エクスポージャー額		リスク加重 エクスポージャー額		所要自己資本		平均リスク加重、%	
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
百万スウェーデン・クローネ								
ソブリン及び中央銀行	1,805	318	0	0	0	0	0	0
地方自治体	-	-	-	-	-	-	-	-
国際開発銀行	956	274	0	0	0	0	0	0
国際機関	-	-	-	-	-	-	-	-
金融機関	876,654	827,920	12,920	17,049	1,034	1,364	1.5	2.1
法人	6,164	6,562	5,762	6,475	461	518	93.5	98.7
個人	3,595	4,782	2,631	3,518	211	281	73.2	73.6
不動産抵当貸付	68,820	63,134	24,018	23,254	1,921	1,860	34.9	36.8
延滞項目	290	276	315	296	25	24	108.6	107.4
高リスク項目	8	9	13	13	1	1	150.0	150.0
株式	99,253	58,477	108,634	67,858	8,691	5,429	109.5	116.0
うち、上場株式	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、その他株式	99,253	58,477	108,634	67,858	8,691	5,429	109.5	116.0
その他項目	7,520	2,212	7,703	1,882	616	151	102.4	85.1
標準的手法合計	1,065,065	963,964	161,996	120,346	12,960	9,628	15.2	12.5

1) 存在するエクスポージャーを区分毎に集約し、所要自己資本の詳細を示したものの。

適格負債の最低要件 (MREL)

下表は、負債及び自己資本合計に関するMREL (SFS 2015:1016) を示したものである。適格負債及び自己資本の最低要件は、破綻整理機構 (国家債務局) に従い、スウェーデン金融監督庁との協議のもと、当行の破綻処理計画に定められている。負債及び自己資本合計並びにMRELの合計額は、第3四半期の数値に基づいている。

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
MREL	138,170	105,233
適格負債及び自己資本	305,963	330,412
負債及び自己資本合計	2,280,252	2,170,329

%	2020年	2019年
負債及び自己資本合計におけるMRELの割合	6.1	4.8
負債及び自己資本合計における適格負債及び自己資本の割合	13.4	15.2

LRCOM: レバレッジ比率共通ディスクロージャー

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
オンバランスシート・エクスポージャー (デリバティブ及び証券金融取引を除く)		
オンバランスシート項目 (デリバティブ、証券金融取引及び信託資産を除く)	2,077,616	2,022,617
Tier1資本の算定において控除された資産額	-5,177	-7,723
オンバランスシート・エクスポージャー合計 (デリバティブ、証券金融取引及び信託資産を除く)	2,072,439	2,014,894

デリバティブ・エクスポージャー

すべてのデリバティブ取引に関する再調達原価（すなわち、適格な変動証拠金 控除後）	8,763	6,678
すべてのデリバティブ取引に関する潜在的な将来のエクスポージャーに係るアドオン 額（時価法）	22,590	29,977
当初の手法で算定されたエクスポージャー	-	-
適用された会計フレームワークにより貸借対照表資産から控除されたデリバティブ 担保の加算	-	-
デリバティブ取引により現金で受領した変動証拠金の額	-19,876	-8,466
顧客決済取引エクスポージャーの中央清算機関レグの控除		
売建信用デリバティブの想定元本の調整による影響	4,304	5,621
売建信用デリバティブの想定元本の相殺及び加算額の控除の調整	-35	-116
デリバティブ・エクスポージャー合計	15,746	33,694

証券金融取引エクスポージャー

証券金融取引資産総額（相殺の認識なし）、売却取引控除後	14,216	16,010
証券金融取引資産総額の債権債務（現金）の相殺額	-	
証券金融取引資産に関するカウンターパーティの信用リスク・エクスポージャー	3,750	3,553
証券金融取引の特例：規則(EU)575/2013の第429b(4)条及び第222条による カウンターパーティの信用リスク・エクスポージャー	-	-
代理人取引エクスポージャー	-	-
顧客決済証券金融取引エクスポージャーの中央清算機関レグの控除	-	-
証券金融取引エクスポージャー合計	17,966	19,563

その他のオフバランスシート・エクスポージャー

オフバランスシート・エクスポージャーの想定元本総額	508,357	495,337
与信相当額への転換に対する調整	-357,705	-306,790
その他のオフバランスシート・エクスポージャー	150,653	188,547

適用除外のエクスポージャー

規則(EU)575/2013の第429(7)条（オンバランス及びオフバランス・シート）に準拠し て対象外となったグループ内エクスポージャー（単独ベース）	-807,002	-736,853
規則(EU)575/2013の第429(14)条（オンバランス及びオフバランス・シート）に準拠 して対象外となったエクスポージャー	-	-

資本及びエクスポージャー合計

Tier1資本	141,716	128,142
レバレッジ比率エクスポージャー合計	1,449,801	1,519,846

レバレッジ比率

レバレッジ比率	9.77%	8.43%
---------	-------	-------

移行規定の選択及び認識しない信託項目の金額

資本測定の定義に対する経過措置の選択	経過措置	経過措置
規則(EU)575/2013の第429(13)条に準拠した認識しない信託項目の金額	0	

LRSum：会計上の資産及びレバレッジ比率エクスポージャーの調整の要約

百万スウェーデン・クローネ	2020年	2019年
公表された財務諸表の資産合計	2,124,863	2,079,505
会計上連結されているが、資本規制では連結対象外の事業体に関する調整	-	

適用される会計フレームワークに従い貸借対照表に認識されているが、規則(EU)

575/2013の第429(13)条に準拠してレバレッジ比率エクスポージャーの測定額から

除外された信託資産に関する調整

-

デリバティブ金融商品に対する調整

-17,286

-8,146

証券金融取引に関する調整 (SFTs)

3,750

3,553

オフバランスシート項目に関する調整 (すなわち、オフバランスシート・エクスポージャーの与信相当額への換算)

150,653

188,547

規則(EU)575/2013の第429(7)条に従いレバレッジ比率エクスポージャーの測定額から除外されたグループ内エクスポージャーに関する調整

-807,002

-736,852

規則(EU)575/2013の第429(14)条に従いレバレッジ比率エクスポージャーの測定額から除外されたエクスポージャーに関する調整

-

-

その他の調整

-5,177

-6,761

レバレッジ比率エクスポージャー合計

1,449,801

1,519,846

取締役会及び最高経営責任者の署名

我々は、当該連結財務諸表が、国際会計基準の適用に関する欧州議会及び理事会規則(EC)第1606/2002号（2002年7月19日）に示されている国際財務報告基準に従って作成されていること、当行の年次財務諸表が株式会社の健全な会計慣行に従って作成されていること、年次財務諸表及び連結財務諸表が当行グループ及び当行の財政状態及び業績の公正な表示をしていること、法定管理報告書が当行及び当行グループの事業、財政状態及び業績の公正な見解を示しており、当行及び他の会社がさらされている重要なリスク及び不確実性について記載していることをここに宣言する。

ストックホルム、2021年2月2日

パール・ボーマン

取締役会長

フレデリック・ランドバーク

副会長

ジョン・フレデリック・バクサース

取締役

ハンス・ベオーク

取締役

シャスティン・ヘシウス

取締役

アンナ・イェンベリ

取締役

レナ・レンストレム

取締役

ウルフ・リース

取締役

アルヤ・ターベニク

取締役

カリナ・オーケストレム

頭取兼グループ最高経営責任者

[次へ](#)

RESULTATRÄKNING | KONCERNEN

Resultaträkning Koncernen

Koncernen mkr		2020	2019
Ränteintäkter	Not K3	45 508	54 395
varav ränteintäkter enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat / säkringsredovisning		42 164	47 326
Räntekostnader	Not K3	-13 902	-22 260
Räntenetto		31 606	32 136
Provisionsintäkter	Not K4	12 621	12 762
Provisionskostnader	Not K4	-1 835	-2 065
Provisionsnetto		10 786	10 697
Nettoreultat av finansiella transaktioner	Not K5	1 437	1 299
Risikoreultat försäkring	Not K6	195	145
Övriga utdelningsintäkter		53	113
Andelar i intresseföretags och joint ventures resultat	Not K7.8	18	32
Övriga intäkter	Not K7	153	143
Summa intäkter		44 248	44 664
Personalkostnader	Not K8	-15 343	-13 549
Övriga kostnader	Not K9	-6 085	-6 524
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	Not K23, K24	-1 906	-1 670
Summa kostnader		-23 334	-21 743
Resultat före kreditförluster		20 914	22 921
Kreditförluster, netto	Not K10	-781	-1 045
Vinstförluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	Not K11	2	20
Röreliseresultat		20 135	21 796
Skatter	Not K33	-4 547	-4 871
Årets resultat		15 588	16 925
varav tillhör			
Aktieägare i Svenska Handelsbanken AB		15 585	16 922
Innehav utan bestämmande inflytande		3	3
Resultat per aktie, kr	Not K12	7,87	8,65
efter utspädning	Not K12	7,87	8,58

TOTALRESULTAT | KONCERNEN

Totalresultat Koncernen

Koncernen mkr	2020	2019
Årets resultat	15 588	16 925
Övrigt totalresultat		
Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen		
Förmånsbestämda pensionsplaner	1 523	4 262
Eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-583	372
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	-256	-931
varav förmånsbestämda pensioner	-267	-910
varav eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	11	-21
Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	684	3 703
Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen		
Kassafödersäkringar	-1 124	3 741
Skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	7	7
Årets omräkningsdifferens	-4 269	1 072
varav säkring av nettoinvestering i utlandsverksamhet	848	-1 509
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	93	-480
varav kassafödersäkringar	274	-801
varav skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-1	-2
varav säkring av nettoinvestering i utlandsverksamhet	-180	323
Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-5 293	4 340
Summa övrigt totalresultat	-4 609	8 043
Årets totalresultat	10 979	24 968
varav tillhör		
Aktsägare i Svenska Handelsbanken AB	10 976	24 965
Innehav utan bestämmande inflyande	3	3

Årets omklassificeringar till resultaträkningen framgår av Förändring i eget kapital.

Under 2020 uppgick övrigt totalresultat till -4 609 mkr (8 043) efter skatt. Resultaten av samtliga poster inom övrigt totalresultat kan för olika perioder vara påverkade av förändringar i diskonteringsränta, valutakurser och inflation.

Övrigt totalresultat har påverkats positivt under perioden januari till december med 1 256 mkr (3 352) efter skatt avseende förmånsbestämda pensionsplaner. Förvaltningsavgångarna har ökat mer i värde än pensionsförpliktelsernas ökning. Detta trots att diskonteringsräntan avseende det svenska pensionsstämmandet sjunkit till 1,5% jämfört med 1,7% sedan årsskiftet 2019.

Merparten av koncernens långfristiga upplåning är säkrad med derivat där samtliga kassafödersäkringar är matchade fram till förfall. I kassafödersäkringen hanteras risken för variationer i kassafödersäkringen till förändringar i rörlig ränta och valuta på ut- och upplåning. Underliggande upplåning och den tillgång som finansieras värderas till upplupet anskaffningsvärde medan derivaten som säkrar dessa poster marknadsvärderas. Resultateffekten av marknadsvärderingen redovisas under posten Kassafödersäkringar. Sådana värdeförändringar på säkringsderivat i kassafödersäkringar uppgick under året till -850 mkr (2 940) efter skatt. Värdeförändringarna hänförs i vissa mån från valutakursförändringar men framförallt från förändringar i respektive valutas diskonteringsräntor. Under året har 0 mkr (-9) omklassificerats till resultatet till följd av ineffektivitet.

Orealiserade värdeförändringar på eget kapitalinstrument respektive skuldinstrument som klassificerats som verkligt värde via övrigt totalresultat har påverkat med -57,2 mkr (351) respektive 6 mkr (5) efter skatt.

Orealiserade valutakurseffekter för omräkning av utländska filialer och dotterbolag till koncernens rapporteringsvaluta samt effekten av säkring av nettoinvestering i utlandsverksamhet har påverkat övrigt totalresultat under året med -4 448 mkr (1 395) efter skatt.

BALANSRÄKNING | KONCERNEN

Balansräkning Koncernen

Koncernen mkr		2020	2019
TILLGÅNGAR			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		307 642	327 958
Övrig utlåning till centralbanker	Not K7.3	21 326	19 547
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	Not K7.6	90 133	103 387
Utlåning till övriga kreditinstitut	Not K7.4	21 920	17 939
Utlåning till allmänheten	Not K7.5	2 269 612	2 292 603
Värdetförändring på räntasäkrad post i portföljsäkring		25	25
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not K7.6	44 566	42 640
Aktier och andelar	Not K7.7	21 045	21 390
Andelar i intresseföretag och joint ventures	Not K7.8	386	285
Tillgångar där kunden står värdetförändringsrisken	Not K7.9	197 212	174 988
Derivatinstrument	Not K20	30 614	41 545
Återförädlingsstillgångar		11	11
Immateriella tillgångar	Not K23	11 390	11 185
Fastigheter och inventarer	Not K24	6 232	6 645
Aktuella skattefordringar		988	53
Uppskjutna skattefordringar	Not K33	1 218	693
Pensionsstillgångar	Not K8	2 005	654
Tillgångar som innehåller förställning		1 657	1
Övriga tillgångar	Not K25	6 113	6 167
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	Not K26	2 253	1 951
Summa tillgångar	Not K38	3 136 288	3 060 667
SKULDER OCH EGET KAPITAL			
Skulder till kreditinstitut	Not K27	124 723	147 989
In- och upplåning från allmänheten	Not K28	1 229 763	1 117 825
Skulder där kunden står värdetförändringsrisken	Not K29	197 212	174 988
Emitterade värdepapper	Not K30	1 310 737	1 384 951
Derivatinstrument	Not K20	32 819	20 642
Korta positioner	Not K31	1 682	1 856
Försäkringskulder	Not K32	557	578
Aktuella skatteskulder		25	1 284
Uppskjutna skatteskulder	Not K33	5 353	5 634
Avsättningar	Not K34	2 902	1 141
Övriga skulder	Not K35	13 928	14 038
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	Not K36	3 632	3 353
Efterstälda skulder	Not K37	41 082	35 546
Summa skulder	Not K38	2 963 815	2 900 895
Innehav utan bestämmande inflytande		9	8
Aktiekapital		3 069	3 069
Överkursfond		8 758	8 758
Reserver		8 532	13 141
Balanserad vinst		135 520	117 934
Årets resultat, tillhörande aktieägare i Svenska Handelsbanken AB		15 585	16 922
Summa eget kapital		171 473	159 892
Summa skulder och eget kapital		3 136 288	3 060 667

FÖRÄNDRING I EGET KAPITAL | KONCERNEN

Förändring i eget kapital Koncernen

Koncernen 2020									
mkr	Aktie- kapital	Överkurs- fond	Förädlings- bestämda pensions- planer	Säkrings- reserv	Verkligt värde- reserv	Omräknings- reserv	Balanserade vinsterdel inkl årets resultat	Innehav utan bestämmande inflytande	Totalt
Ingående eget kapital 2020	3 069	8 788	4 635	4 203	660	3 643	134 856	8	159 832
Årets resultat							15 585	3	15 588
Övrigt totalsresultat			1 256	-850	-566	-4 449		0	-4 609
varav omräkningar inom eget kapital					-564	20			-564
Årets totalsresultat			1 256	-850	-566	-4 449	15 585	3	10 979
Omräkningar till balanserat resultat							664		664
Utdelning									-
Effekter av konvertibla företagslån	-	-							-
Förändring i innehav utan bestämmande inflytande								-2	-2
Utgående eget kapital 2020	3 069	8 788	5 891	3 353	94	-806	151 105	9	171 473
Koncernen 2019									
mkr	Aktie- kapital	Överkurs- fond	Förädlings- bestämda pensions- planer	Säkrings- reserv	Verkligt värde- reserv	Omräknings- reserv	Balanserade vinsterdel inkl årets resultat	Innehav utan bestämmande inflytande	Totalt
Ingående eget kapital 2019	3 013	8 629	1 283	1 283	304	2 248	128 509	12	142 261
Årets resultat							16 922	3	16 925
Övrigt totalsresultat			3 352	2 940	356	1 395		0	8 043
varav omräkningar inom eget kapital					15	-1 39			-118
Årets totalsresultat			3 352	2 940	356	1 395	16 922	3	24 968
Omräkningar till balanserat resultat							118		118
Utdelning							-10 693		-10 693
Effekter av konvertibla företagslån	56	3 129							3 185
Förändring i innehav utan bestämmande inflytande								-7	-7
Utgående eget kapital 2019	3 069	8 758	4 635	4 203	660	3 643	134 856	8	159 832

I omräkningsreserven ingår omräkningseffekter avseende koncernens utländska filialers balans- och resultaträkningar. Ackumulerade omräkningseffekter tas upp till beskattning vid nedläggning eller avyttring av sådan filial. Skattebetalning avseende beskattning av omräkningseffekter är mycket komplicerad och därför förväntat för olika tolkningar. Det kan därför inte uteslutas att omräkningseffekter kan komma att behöva tas upp till beskattning vid en tidigare tidpunkt än en avyttring/nedläggning.

Under perioden januari-december 2020 hade konvertibler till ett nominellt värde av - mkr (5 185) avseende konvertibla företagslån konverterats till - A-aktier (35 853 334). Vid rikenskaparets slut uppgick antalet egna aktier i handelsboken till 0 aktier (0).

FÖRÄNDRING I EGET KAPITAL | KONCERNEN

Specifikation av förändringar i eget kapital

Förändring av säkeringsreserv mkr	2020	2019
Säkeringsreserv vid årets ingång	4 203	1 253
Kassafördesättning		
Effektiv del av förändringen i verkligt värde		
Ränterisk	-652	3 146
Valutakursrisk	-223	617
Realiserade värdeförändringar		
Omklassificerat till resultaträkningen ¹	-249	-22
Skatt ²	274	-901
Säkeringsreserv vid årets utgång	3 353	4 203
Förändring av verkligt värde mkr	2020	2019
Verkligt värde vid årets ingång	690	304
Realiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	-572	351
Realiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	684	-15
Realiserade värdeförändringar – skuldinstrument	5	4
Förändring av reserv för förväntade kreditförluster – skuldinstrument	1	1
Omklassificerat till balanserade värdepapper – eget kapitalinstrument ³	-684	15
Omklassificerat till resultaträkningen – skuldinstrument ⁴	-	0
Verkligt värde vid årets utgång	94	660
Förändring av omräkningsreserv mkr	2020	2019
Omräkningsreserv vid årets ingång	3 643	2 248
Förändring av omräkningsdifferens hänförlig till filialer	-2 292	76
Förändring av omräkningsdifferens hänförlig till dotterbolag	-2 183	1 450
Omklassificerat till resultaträkningen ⁵	6	2
Omklassificerat till balanserade värdepapper ⁶	20	-133
Omräkningsreserv vid årets utgång	-806	3 643

¹ Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 59 mkr (5).² Skatt som omklassificerats till balanserade värdepapper hänförlig till denna post 43 mkr (-).³ Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post - mkr (0).⁴ Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post -1 mkr (0).⁵ Skatt som omklassificerats till balanserade värdepapper hänförlig till denna post post -9 mkr (28).

KASSAFLÖDESANALYS | KONCERNEN

Kassaflödesanalys Koncernen

Koncernen mkr	2020	2019
LÖPANDE VERKSAMHET		
Rörelseresultat, total verksamhet	20 135	21 796
varav inbetalda räntor	46 345	54 358
varav utbetalda räntor	-15 717	-23 964
varav inbetalda utdelningar	76	249
Justering för ej kassaflödespåverkande poster i rörelseresultat		
Kreditförluster	929	1 297
Orealiserade värdeförändringar	-797	-130
Av- och nedskrivningar	1 906	1 670
Betalda inkomstskatter	-7 711	-5 325
Förändring i den löpande verksamhetens tillgångar och skulder		
Övrig utlåning till centralbanker	-1 778	14 010
Utlåning till övriga kreditinstitut	-3 980	4 198
Utlåning till allmänheten	22 071	-104 758
Räntebärande värdepapper och aktier	1 611	19 916
Skulder till kreditinstitut	-23 266	-46 093
In- och upplåning från allmänheten	111 938	109 338
Emitterade värdepapper	-74 224	-9 686
Derivatinstrument, nettopositioner	23 364	20 137
Korta positioner	-197	-4 439
Fondinvesteringar och fondlikvidskulder	875	7 380
Övrigt	16 354	-6 933
Kassaflöde från löpande verksamhet	87 260	22 378
INVESTERINGSVERKSAMHET		
Förvärv av och tillskott till intressalförslag	-61	-134
Försäljning av aktier och andelar	1 603	39
Förvärv av materiella anläggningstillgångar	-709	-1 094
Avyttring av materiella anläggningstillgångar	328	562
Förvärv av immateriella anläggningstillgångar	-1 031	-1 120
Kassaflöde från investeringsverksamhet	220	-1 747
FINANSIERINGSVERKSAMHET		
Amortering efterställda skulder	-2	-17 730
Emission efterställda skulder	8 176	4 670
Utbetalda utdelningar	-	-10 693
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	8 174	-23 753
varav valutakursförändringar	-819	669
Årets kassaflöde	95 654	-3 122
Likvida medel vid årets början	327 958	317 217
Kassaflöde från löpande verksamhet	87 260	22 378
Kassaflöde från investeringsverksamhet	220	-1 747
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	8 174	-23 753
Kursdifferens i likvida medel	-25 970	13 863
Likvida medel vid årets slut	397 642	327 068

Kassaflödesanalysen har upprättats i enlighet med den indirekta metoden, vilket innebär att rörelseresultatet har justerats för transaktioner som inte medfört in- eller utbetalningar, till exempel avskrivningar och kreditförluster.

Likvida medel definieras som kassa och tillgodohavanden hos centralbanker.

Noter Koncernen

K1 Redovisningsprinciper och andra utgångspunkter vid upprättande av de finansiella rapporterna

INNEHÅLL

1. Lag- och föreskriftsenlighet
2. Förändrade redovisningsprinciper
3. Förändringar i IFRS som ännu inte tillämpats
4. Koncernredovisning och presentation
5. Segmentrapportering
6. Tillgångar och skulder i utländsk valuta
7. Redovisning och bortbokning av finansiella instrument i balansräkningen
8. Finansiella instrument
9. Principer för värdering av finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde
10. Kreditförluster
11. Säkringsredovisning
12. Leasing
13. Försäkringsverksamhet
14. Immateriella tillgångar
15. Fastigheter och inventarer
16. Avsättningar
17. Egat kapital
18. Intäkter
19. Ersättningar till anställda
20. Skatter
21. Uppskattningar och väsentliga bedömningar

1. LAG- OCH FÖRESKRIFTSENLIGHET

Grunder för redovisningen
Koncernredovisningen är upprättad i enlighet med de internationella redovisningsstandarder (IFRS) och tolkningar av dessa standarder som antagits av EU. Därutöver tillämpas de tillägg som följer av lagen 1995:1559 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅPKL) och av Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd FFFS 2008:25 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. I koncernredovisningen tillämpas även RFR 1. Kompletterande redovisningsregler för koncerner och uttalanden från Rådet för finansiell rapportering.

Modertbolagets redovisningsprinciper framgår av not M1.

Angivande och fastställelse av årsredovisningen

Års- och koncernredovisningen godkändes för utfärdande av styrelsen den 2 februari 2021 och blir föremål för fastställelse på årsstämman den 24 mars 2021.

2. FÖRÄNDRADE REDOVISNINGSPRINCIPER

Ändringar i IFRS 9 Finansiella instrument, IAS 39 Finansiella instrument: Redovisning och värdering och IFRS 7 Finansiella instrument: Upplysningar – benchmark-reformen fas 1

Ändringar har genomförts som innebär temporära undantag från att tillämpa vissa specifika

krav avseende säkringsredovisning för samtliga säkringsrelationer som direkt påverkas av osäkerheten från benchmarkreformen. Ändringarna ska tillämpas för räkenskapsår som börjar den 1 januari 2020 eller senare, med möjlighet till tillämpning i förtid. Banken tillämpade ändringarna i förtid i årsredovisningen för 2019. För ytterligare information se avsnitt 11. Säkringsredovisning, Benchmarkreformen.

Övriga förändringar i IFRS

Övriga ändringar som började gälla den 1 januari 2020 avser hänvisningar till konceptuellt ramverk i IFRS-standarder, definition av rörelse i IFRS 3 Rörelseförvärv, definition av väsentlig i IAS 1 Utformning av finansiella rapporter och i IAS 8 Redovisningsprinciper, ändringar i uppskattningar och bedömningar samt fel och hyresrabatter relaterade till covid-19 i IFRS 16 Leasingavtal. Ändringarna har inte haft någon väsentlig påverkan på bankens redovisning. Banken har inte erhållit hyresrabatter och har därmed inte tillämpat ändringarna i IFRS 16.

De redovisningsprinciper och beräkningsmetoder som tillämpats av koncernen under räkenskapsåret överensstämmer i övrigt med de principer som tillämpades i årsredovisningen 2019.

3. FÖRÄNDRINGAR I IFRS SOM ÄNNU INTE TILLÄMPATS

Ändringar i IFRS 9 Finansiella instrument, IAS 39 Finansiella instrument: Redovisning och värdering, IFRS 7 Finansiella instrument: Upplysningar samt IFRS 16 Leasing – benchmarkreformen fas 2

Ändringar i IFRS 9 har genomförts som innebär att modifieringar av finansiella tillgångar och finansiella skulder, vilka genomförs som en direkt följd av benchmarkreformen, redovisas som en ändring i effektivvärdet. Modifieringsvinst eller –förlust redovisas således ej. För att undantaget ska gälla krävs att en ändring är nödvändig som en direkt följd av benchmarkreformen samt att den nya basen för att bestämma kassaflöden är ekonomiskt likvärdig med den tidigare. Därutöver innebär ändringarna i IFRS 9 och IAS 39 undantag från vissa krav för säkringsredovisning när befintliga referensräntor i säkringsrelationer ersätts med alternativa referensräntor. Ändringarna bedöms således möjliggöra att övergången till nya referensräntor kan genomföras utan väsentliga resultat effekter och därmed utan väsentliga inverkan på Handelsbankens finansiella rapporter, kapitaltäckning, stora exponeringar eller andra förhållanden enligt tillämpliga rörelse regler.

Förändringarna har godkänts av EU och gäller från och med 2021-01-01, med möjlighet till tillämpning i förtid. Banken har inte valt att tillämpa ändringarna i förtid. Ändringarna tillämpas retrospektivt. Tidigare perioder behöver ej omräknas.

IFRS 17 Försäkringsavtal

IFRS 17 Försäkringsavtal som ersätter IFRS 4 Försäkringsavtal har publicerats av IASB. Under förutsättning att IFRS 17 antas av EU kommer standarden att tillämpas från och med räkenskapsåret 2023. IFRS 17 medför en förändring av hur försäkringsavtal ska redovisas, presenteras och värderas. Den medför även krav på ökade upplysningar.

För att minska skillnaderna i redovisning av försäkringsavtal inför IFRS 17 enhetliga värderingsprinciper med utgångspunkt från tre värderingsmodeller: byggtensmodellen, premieallokeringsmodellen och den rörliga avgiftsmodellen. IFRS 17 föreskriver byggtensmodellen för värdering av försäkringsavtal där försäkringsåtagandet värderas baserat på förväntade nuvärden av framtida kassaflöden, med beaktande av en riskmarginal och en vinstmarginal. De två andra värderingsmodellerna kan tillämpas under vissa förutsättningar. Valet av modell beror på villkoren i avtalen (långfristiga, kortfristiga eller vinstutdelande). Banken bedriver ett projekt för implementeringen av IFRS 17 och utvärderar för närvarande de finansiella effekterna av den nya standarden på koncernens redovisning.

4. KONCERNREDOVISNING OCH PRESENTATION

Dotterföretag

I koncernredovisningen har samtliga företag där Handelsbanken direkt eller indirekt har ett bestämmande inflytande (dotterföretag) konsoliderats fullständigt. Banken anses ha ett bestämmande inflytande över ett företag när den exponeras för eller har rätt till rörlig avkastning från sitt innehav i företaget och har möjlighet att påverka avkastningen genom sitt inflytande i företaget. Bestämmande inflytande uppnås i regel om Handelsbanken har mer än 50 procent av rösterna på årsstämma eller motsvarande.

Dotterföretag konsolideras med tillämpning av förvärvsmetoden. Det innebär att förvärv av ett dotterföretag betraktas som en transaktion där koncernen förvärvar företagets identifierbara tillgångar och tar över dess skulder och förpliktelser. Vid rörelseförvärv upprättas en förvärvsbalans där identifierbara tillgångar och skulder värderas till verkligt värde vid förvärvstidpunkten. Anskaffningsvärdet utgörs av det verkliga värdet avseende samtliga tillgångar, skulder

NOTER | KONCERNEN

K1. Forts

och emitterade egetkapitalinstrument som lämnats som vederlag för nettotillgångarna i dotterföretaget. Eventuella överskott till följd av att anskaffningsvärdet överstiger förvärvsbalansens identifierbara nettotillgångar redovisas som goodwill i koncernens balansräkning. Förvärvsrelaterade utgifter kostnadsförs när de uppstår. Dotterföretagets finansiella rapporter tas in i koncernredovisningen från och med förvärvstidpunkten till det datum bestämmande inflytande upphör. Koncerninterna transaktioner och mellanhavanden elimineras vid upprättandet av koncernens finansiella rapporter.

Vid rörelseförvärv redovisas den förvärvade rörelsen i koncernens räkenskaper från förvärvstidpunkten. Förvärvstidpunkten är den tidpunkt då bestämmande inflytande över den förvärvade enheten inträder. Förvärvstidpunkten kan skilja sig från den tidpunkt då transaktionen är lagligt fastställd.

I den mån de redovisningsprinciper som tillämpas i ett enskilt dotterföretag inte överensstämmer med de principer som tillämpas av koncernen, görs en justering av koncernräkenskaperna vid konsolidering av dotterföretaget.

Strukturerade företag

Ett strukturerat företag är ett företag som bildats för att uppnå ett begränsat och välddefinierat syfte, där rösträtten inte är den avgörande faktorn för att avgöra om bestämmande inflytande föreligger. Handelsbankens innehav i strukturerade företag är begränsade till innehav i fonder.

Fonder för vilka banken är kapitalförvaltare och där banken äger mer än 50 procent av andelarna konsolideras. Bankens innehav i fonder redovisas till verkligt värde på raden Aktier och andelar i balansräkningen. Resterande andel av fondens verkliga värde konsolideras och redovisas på raderna Tillgångar respektive Skulder där kunden står värdeförändringsrisken i balansräkningen. Ägande mellan 20 och 50 procent konsolideras i vissa fall om omständigheterna gör gällande att banken har ett bestämmande inflytande, exempelvis genom att fonder har ett brett förvaltningsmandat och genererar en hög andel variabel avkastning.

Innehav till följd av fondförsäkringsavtal bedöms inte medföra att koncernen är exponerad emot variabel avkastning. Dessa innehav exkluderas i bedömningen av om det föreligger bestämmande inflytande över fonder. Andelar i fonder till följd av fondförsäkringsavtal redovisas som Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken medan korresponderande skuld för fondförsäkringsavtalen redovisas som Skulder där kunden står värdeförändringsrisken.

Information om innehav i icke konsoliderade strukturerade företag framgår av not K46.

Intresseföretag och joint ventures

Som intresseföretag redovisas företag där Handelsbanken har ett betydande inflytande. Betydande inflytande är rätten att delta i beslut

som rör företagets finansiella och operativa strategier, men ger inte ett bestämmande inflytande över dessa. Betydande inflytande uppnås i regel när röstandelen i företaget är lägst 20 procent och högst 50 procent eller när banken genom avtalsvillkor kan utöva ett betydande inflytande. I ett joint venture har banken tillsammans med en eller flera parter ett gemensamt bestämmande inflytande. Intresseföretag och joint ventures redovisas i koncernredovisningen enligt kapitalandelsmetoden. Det innebär att innehavet inledningsvis tas upp till anskaffningsvärdet. Det redovisade värdet ökas eller minskas därefter för att beakta koncernens andel av intresseföretagets och joint ventures resultat efter förvärvstidpunkten. Eventuella utdelningar från intresseföretag och joint ventures minskar det redovisade värdet på innehavet. Resultatandelar i intresseföretag och joint ventures redovisas som Andelar i intresseföretags och joint ventures resultat på egen rad i koncernens resultaträkning.

Tillgångar som innehåller för försäljning och redovisning av avvecklad verksamhet

Anläggningstillgångar eller en grupp av tillgångar (avyttringsgrupp) klassificeras som att de innehåller för försäljning när det redovisade värdet i huvudsak kommer att återvinnas genom försäljning och när försäljning är mycket sannolik. Om klassificeringen sker som tillgång som innehåller för försäljning tillämpas särskilda värderingsprinciper. Dessa innebär i huvudsak att, med undantag för bland annat finansiella tillgångar och skulder (se punkt 8), tillgångar som innehåller för försäljning och avyttringsgrupper värderas till det lägsta av det redovisade värdet och verkligt värde med avdrag för försäljningskostnader. Därmed görs inte några avskrivningar på materiella eller immateriella tillgångar som innehåller för försäljning. Eventuella nedskrivningar och efterföljande omvärderingar redovisas direkt i resultaträkningen. En vinst redovisas dock inte till den del som den överstiger tidigare redovisade ackumulerade nedskrivningar. Tillgångar och skulder som innehåller för försäljning särredovisas i koncernens balansräkning fram till försäljningstidpunkten.

Som avvecklad verksamhet redovisas självständig verksamhet av väsentlig karaktär som är klart avskiljbar från koncernens övriga verksamhet och som klassificerats som att den innehåller för försäljning med tillämpning av de principer som beskrivits ovan. Som avvecklad verksamhet redovisas även dotterföretag som förvärvats uteslutande i syfte att vidareförsäljas. Redovisning som avvecklad verksamhet innebär att verksamhetens resultat särredovisas på egen rad i resultaträkningen skilt från övriga resultatposter. Resultatet från avvecklad verksamhet består av resultatet efter skatt av avvecklade verksamheter, det resultat efter skatt som uppstår vid värdering till verkligt värde med avdrag för försäljningskostnader av de

tillgångar som innehåller för försäljning/avyttringsgrupper som ingår i avvecklade verksamheter, samt realiserat resultat från avyttring av avvecklade verksamheter.

5. SEGMENTRAPPORTERING

I segmentrapporteringen presenteras intäkter och kostnader respektive tillgångar och skulder uppdelade på rörelsesegment. Ett rörelsesegment är en sådan del av koncernen som bedriver verksamhet som genererar externa eller interna intäkter och kostnader och vars resultat i styrningssyfte regelbundet granskas och följs upp av koncernledningen. Principer för segmentrapportering beskrivs vidare i not K43.

6. TILLGÅNGAR OCH SKULDER I UTLÄNDSK VALUTA

Koncernredovisningen presenteras i svenska kronor, koncernens rapporteringsvaluta. Den funktionella valutan för koncernens verksamheter utomlands avviker som regel från koncernens rapporteringsvaluta. Som funktionell valuta betraktas den valuta som används i den ekonomiska miljö där verksamheten primärt bedrivs.

Omräkning av transaktioner i annan valuta än den funktionella valutan

Transaktioner i annan valuta än den funktionella valutan, utländsk valuta, omräknas initialt till den funktionella valutan till transaktionsdagens kurs. Monetära poster i utländsk valuta och icke-monetära poster i utländsk valuta som värderas till verkligt värde omvärderas per balansdagen till då gällande stängningskurs. Vinster och förluster till följd av valutaomräkning av monetära poster och icke-monetära poster som värderas till verkligt värde redovisas i resultaträkningen som valutakurseffekter i Nettoresultat av finansiella transaktioner. Omräkningsdifferenser hänförliga till icke-monetära poster som klassificerats till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och ackumuleras i eget kapital. Så redovisas även valutakursdifferenser som uppstår vid omräkning av monetära poster som utgör en del av en nettoinvestering i en utländsk verksamhet.

Omräkning av utländska verksamheter till koncernens rapporteringsvaluta

Vid omräkning av utländska etableringars (där bland tillägnas) balans- och resultaträkningar från funktionell valuta till koncernens rapporteringsvaluta, tillämpas dagskursmetoden. Det innebär att tillgångar och skulder omräknas till balansdagens kurs. Eget kapital omräknas till kursen vid investerings- respektive intjänandetidpunkten. Resultaträkningen räknas om efter genomsnittskursen under året. Omräkningsdifferenser redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och ingår i omräkningsreserven i eget kapital.

K1 Forts

7. REDOVISNING OCH BORTBOKNING AV FINANSIELLA INSTRUMENT I BALANSRÄKNINGEN

Köp och försäljning av aktier samt penning- och kapitalmarknadsinstrument på avistamarknaden redovisas på affärsdagen vilket är den dag då avtal ingåtts. Motsvarande gäller för derivat. Övriga finansiella tillgångar och skulder redovisas normalt på likviddagen.

Finansiella tillgångar tas bort från balansräkningen när de avtalsenliga rättigheterna till de kassaflöden som härrör från tillgången upphör eller när samtliga risker och fördelar förknippade med tillgången överförs till någon annan. En finansiell skuld tas bort från balansräkningen när förpliktelsen fullgjorts, upphör eller annulleras.

Principerna för redovisning av finansiella instrument i balansräkningen har bland annat särskild betydelse för redovisning av återköps-transaktioner, värdepapperslån och leasing (se respektive separat avsnitt).

8. FINANSIELLA INSTRUMENT**Värderingskategorier**

Alla finansiella tillgångar delas, i enlighet med bestämmelserna i IFRS 9, in i någon av följande värderingskategorier:

1. upplupet anskaffningsvärde
2. verkligt värde via övrigt totalresultat
3. verkligt värde via resultaträkningen
 - a. obligatoriskt
 - b. verkligt värdeoptionen.

Utgångspunkten för att klassificera finansiella tillgångar i respektive värderingskategori är företagets affärsmodell för förvaltning av de finansiella instrumenten samt huruvida instrumentens avtalsenliga kassaflöden enbart innehåller betalningar av kapitalbelopp och ränta.

Finansiella skulder delas in i följande värderingskategorier:

1. upplupet anskaffningsvärde
2. verkligt värde via resultaträkningen
 - a. obligatoriskt
 - b. verkligt värdeoptionen.

Finansiella skulder ska som huvudregel redovisas till upplupet anskaffningsvärde. Undantaget är finansiella skulder som obligatoriskt ska värderas till verkligt värde via resultaträkningen, exempelvis derivat, samt skulder som vid första redovisningstillfället oåterkalleligen identifierats att värderas till verkligt värde (verkligt värdeoptionen).

Finansiella tillgångar respektive skulder som redovisas på samma rad i balansräkningen kan klassificeras i olika värderingskategorier, se not K38.

Vid första redovisningstillfället redovisas alla finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde. För tillgångar och skulder som värderas till verkligt värde via resultaträkningen förs transaktionskostnader direkt till resultaträkningen vid anskaffningstillfället. För övriga finansiella instrument räknas transaktionskostnader in i anskaffningsvärdet.

Bedömning av affärsmodell

Affärsmodellen för förvaltningen av finansiella tillgångar är avgörande för uppdelningen i värderingskategorier. Affärsmodellen fastställs på portföljnivå, eftersom detta bäst avspeglar hur verksamheten styrs och hur information rapporteras till och utvärderas av bankens ledning. Information av betydelse för att kunna göra en sammanvägd bedömning av affärsmodellen för en portfölj omfattar angivna riktlinjer och mål med en portfölj och hur dessa genomförs i verksamheten, de risker som påverkar portföljens resultat och hur dessa risker hanteras samt frekvens, volym, orsak och tidpunkt för försäljningar.

Bedömning av om avtalsenliga kassaflöden enbart är betalningar av kapitalbelopp och ränta. Bedömningen av om avtalsenliga kassaflöden enbart är betalningar av kapitalbelopp och ränta har betydelse för uppdelningen i värderingskategorier. Vid denna bedömning definieras kapitalbeloppet som den finansiella tillgångens verkliga värde vid första redovisningstillfället. Ränta definieras som ersättning för pengars tidvärde, kreditrisk, andra grundläggande utlåningsrisker (till exempel likviditetsrisk) och kostnader (till exempel administrativa kostnader) samt vinstmarginal.

För att bedöma om den finansiella tillgångens avtalsenliga kassaflöden enbart innehåller betalningar av kapitalbelopp och ränta görs en bedömning av den finansiella tillgångens avtalsvillkor. Om det finns avtalsvillkor som kan ändra tidpunkten eller beloppen i de avtalsenliga kassaflödena, modifierar ersättningen för pengars tidvärde eller medför hävstångseffekt eller extra kostnader vid förskotts betalning och förlängning, så bedöms kassaflödena inte enbart bestå av kapitalbelopp och ränta.

Upplupet anskaffningsvärde

En finansiell tillgång ska värderas till upplupet anskaffningsvärde om båda följande villkor är uppfyllta:

- Syftet med affärsmodellen är att erhålla avtalsenliga kassaflöden.
- De avtalsenliga kassaflödena är enbart betalningar av kapitalbelopp och ränta.

Finansiella tillgångar som redovisas i värderingskategorin upplupet anskaffningsvärde består av utlåning och innehav i räntebärande värdepapper som uppfyller ovanstående villkor. Dessa tillgångar är föremål för nedskrivningsprövning. Finansiella skulder som redovisas i värderingskategorin upplupet anskaffningsvärde består i huvudsak av skulder till kreditinstitut, in- och upplåning från allmänheten samt emitterade värdepapper.

Upplupet anskaffningsvärde utgörs av det diskonterade nuvärdet av alla framtida betalningar hänförliga till instrumentet där diskonteringsräntan utgörs av instrumentets effektivränta vid anskaffningstillfället.

Räntor och kreditförluster avseende finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde redovisas i resultaträkningen i posterna Räntenetto respektive Kreditförluster. Ränteskiljningsränta för förkreditad utlåning och realisationsresultat som genereras vid återköp av egna emitterade värdepapper, redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Även valutakurseffekter redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Verkligt värde via övrigt totalresultat

En finansiell tillgång ska värderas till verkligt värde via övrigt totalresultat om båda följande villkor är uppfyllta:

- Syftet med affärsmodellen är både att erhålla avtalsenliga kassaflöden och att sälja tillgången.
- De avtalsenliga kassaflödena är enbart betalningar av kapitalbelopp och ränta.

I värderingskategorin verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas räntebärande värdepapper i bankens likviditetsportfölj som uppfyller ovanstående villkor. Dessa tillgångar är föremål för nedskrivningsprövning. Räntebärande värdepapper redovisas i räntenetto, och valutakurseffekter och kreditförluster redovisas i post Nettoresultat av finansiella transaktioner. Realiserade värdeförändringar redovisas i övrigt totalresultat och omklassificeras till resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner vid försäljning.

Vid första redovisningstillfället är det tillåtet att oåterkalleligen klassificera eget kapitalinstrument som inte innehåller handelsytta till verkligt värde via övrigt totalresultat. Efterföljande värdeförändringar, såväl realiserade som realiserade inklusive valutakursresultat, redovisas då i övrigt totalresultat. Realiserade värdeförändringar omklassificeras till balanserade vinstmedel, det vill säga omklassificering inom eget kapital, och inte till resultaträkningen. Endast utdelningsinkäster från dessa innehav redovisas i resultaträkningen. Denna värderingsprincip tillämpas för vissa aktieinnehav i företag som utför stödjande verksamhet för banken. Det kan exempelvis röra sig om andelar i clearingorganisationer och infrastruktursamarbeten på bankens hemmamarknader. Aktieinnehaven är långsiktiga och inga större förändringar i innehaven sker från år till år.

Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt

Om en finansiell tillgång inte uppfyller villkoren för värdering till upplupet anskaffningsvärde eller till verkligt värde via övrigt totalresultat, ska den värderas till verkligt värde via resultaträkningen.

Finansiella tillgångar och skulder som innehåller handel klassificeras alltid till verkligt värde via resultaträkningen, liksom finansiella tillgångar som förvaltas och utvärderas baserat på verkliga värden.

NOTER | KONCERNEN

KI Forts

Värderingskategorin verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt, består i huvudsak av noterade aktier, fondandelar, räntebärande värdepapper samt derivat. Räntor, utdelningar, valutakurseffekter samt orealiserade och realiserade värdeförändringar hänförliga till dessa instrument redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. För redovisning av derivat i säkringsredovisning, se punkt 11.

Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen

Vid första redovisningstillfället finns en möjlighet att återkallelligen identifiera en finansiell tillgång såsom värderad till verkligt värde via resultaträkningen, om detta eliminerar eller i betydande utsträckning minskar inkonsekvenser i värdering eller redovisning som annars skulle uppkomma vid värdering av tillgången.

Motsvarande möjlighet finns att vid första redovisningstillfället återkallelligen identifiera en finansiell skuld såsom värderad till verkligt värde via resultaträkningen, om något av följande villkor är uppfyllda:

- Det eliminerar eller i betydande utsträckning minskar inkonsekvenser i värdering eller redovisning som annars skulle uppkomma vid värdering av skulden.
- En grupp av finansiella skulder eller en grupp av både finansiella tillgångar och finansiella skulder förvaltas och utvärderas baserat på verkligt värde, i enlighet med en dokumenterad riskhanterings- eller investeringsstrategi, och intern information om dessa instrument tillhandahålls till bankens ledning baserat på verkliga värden.

Denna värderingsprincip tillämpas för att undvika inkonsekvens vid värderingen av tillgångar och skulder som utgör motpositioner till varandra och förvaltas på portföljbasis, till exempel skulder till följd av fondförsäkringsavtal och vissa innehav i likviditetsportföljen som säkras med ekonomiska säkringar.

Orealiserade och realiserade värdeförändringar på finansiella instrument som värderas till verkligt värde via resultaträkningen via verkligt värdeoptionen redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Ränta på dessa instrument redovisas i räntenettot.

Omklassificeringar av finansiella instrument
Finansiella tillgångar omklassificeras i regel inte efter det första redovisningstillfället. Omklassificering är tillåten om banken i säljsyfte fall skulle byta affärsmodell för förvaltningen av en portfölj av finansiella tillgångar. Omklassificering av finansiella skulder är inte tillåten efter det första redovisningstillfället.

Finansiella garantier och lånelöften

Finansiella garantier är sådana förbindelser som kräver att utställaren gör angivna betalningar för att ersätta innehavaren för en förlust denne

ådrar sig på grund av att en angiven gäldenär inte fullgör betalning vid förfall enligt villkoren i ett skuldinstrument (lån och räntebärande värdepapper), exempelvis en kreditgaranti. Det verkliga värdet på en utställd garanti motsvaras vid utfärdandet av den mottagna premien. Vid första redovisningstillfället redovisas den mottagna premien för garantin som en skuld på raden Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter i balansräkningen. Därefter värderas garantin till det högre av den periodiserade premien och reserven för den förväntade förlusten. Premier för utställda finansiella garantier periodiseras i provisionsnettot över garantins löptid. Därutöver redovisas det totala garanterade beloppet hänförligt till utställda garantier som en ansvarsförbindelse utanför balansräkningen, se not K41.

Premier för köpta finansiella garantier periodiseras och redovisas som minskad ränta intäkt i räntenettot i den mån räntan på det instrument garantin avser redovisas där.

Lånelöften redovisas som ett åtagande utanför balansräkningen fram till lånets likviddag, se not K41. Mottagna avgifter för lånelöften periodiseras i provisionsnettot över åtagandets löptid, såvida det inte är mycket sannolikt att löftet kommer att infrias. I sådana fall räknas mottagna avgifter in i lånets effektivränta.

Finansiella garantier och återkallelliga lånelöften är föremål för nedskrivningsprövning.

Sammanstatta finansiella instrument

Ett sammansatt finansiellt instrument består av ett inbäddat derivat och ett värdekontrakt som inte är ett derivat. Vissa av det sammansatta instrumentets kassaflöden varierar på ett sätt som liknar kassaflödena för ett fristående derivat.

Om värdekontraktet i ett sammansatt finansiellt instrument är en finansiell skuld ska ett inbäddat derivat skiljas från värdekontraktet och redovisas som ett derivat om alla dessa villkor är uppfyllda:

- Det inbäddade derivatets ekonomiska egenskaper och risker är inte nära förknippade med värdekontraktets ekonomiska egenskaper och risker.
- Ett separat instrument med samma villkor som det inbäddade derivatet skulle uppfylla definitionen på ett derivat.
- Det sammansatta finansiella instrumentet värderas inte till verkligt värde via resultaträkningen. Följaktligen avskiljs inte derivat inbäddade i finansiella skulder värderade till verkligt värde via resultaträkningen.

Säredovisning sker exempelvis av emitterade aktieindexobligationer och andra strukturerade produkter.

Säredovisning sker inte om värdekontraktet i det sammansatta finansiella instrumentet är en finansiell tillgång. Finansiella tillgångar med inbäddade derivat beaktas i sin helhet vid bedömningen av om avtalenliga kassaflöden

endast är betalningar av kapitalbelopp och ränta.

Värdet av konverteringsrätten i emitterade konvertibla skuldebrev säredovisas som eget kapital. Värdet av konverteringsrätten fastställs vid emissionsstillfället som skillnaden mellan det verkliga värdet på det konvertibla skuldebrevet som helhet minskat med det verkliga värdet på skuldkomponenten. Konverteringsrättens redovisade värde justeras inte under skuldebrevets löptid. Skuldkomponenten värderas och redovisas till verkligt värde i balansräkningen vid emissionsstillfället. Under löptiden redovisas skuldkomponenten till upplupet anskaffningsvärde baserat på ursprunglig effektivränta.

Återköpsavtal och omvända återköpsavtal

Med återköpsavtal, eller repotransaktioner, avses avtal där parterna samtidigt har kommit överens om försäljning och återköp av ett visst värdepapper till ett i förväg bestämt pris. Värdepapper som säljs i en repotransaktion (återköpsavtal) kvarstår i balansräkningen under transaktionens löptid eftersom koncernen under transaktionens löptid är exponerad emot värdepapprets värdeförändringsrisk. Det sålda värdepappret redovisas därutöver utanför balansräkningen som ställd säkerhet. Erhållen likvid redovisas beroende på motpart som Skuld till kreditinstitut eller in- och upplåning från allmänheten. Värdepapper som köps i en repotransaktion (omvända återköpsavtal) redovisas på motsvarande sätt, det vill säga värdepappret tas inte upp i balansräkningen under transaktionens löptid. Den erlagda likviden redovisas beroende på motpart som Övrig utlåning till centralbanker, Utlåning till övriga kreditinstitut eller Utlåning till allmänheten. Mottagna pantar som sålts vidare under återköpsavtal redovisas som åtagande utanför balansräkningen.

Avtal om inlåning och utlåning av värdepapper

Värdepapper som lånats ut kvarstår i balansräkningen då koncernen fortsatt är exponerad mot värdepapprets värdeförändringsrisk och redovisas därutöver utanför balansräkningen som ställd säkerhet. Inlånade värdepapper tas inte upp i balansräkningen, såvida de inte säljs (så kallad blankning). Om de säljs tas ett värde motsvarande det avyttrade värdepapprets verkliga värde upp som skuld. Inlånade värdepapper som vidareutlånats redovisas som åtagande utanför balansräkningen.

Derivatinstrument

Samtliga derivat redovisas i balansräkningen och värderas till verkligt värde. Derivat med positiva verkliga värden redovisas på tillgångssidan under posten Derivatinstrument. Derivat med negativa verkliga värden redovisas på skuldsidan under posten Derivatinstrument. Realiserade och orealiserade vinster och förluster på derivat redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

K1 Forts

För redovisning av derivat i säkringsredovisning, se punkt 11.

Kvittning av finansiella tillgångar och skulder
Finansiella tillgångar och skulder kvittas i balansräkningen om banken har avtalsmässigt rätt till kvittning, i den löpande verksamheten och i händelse av konkurs, och om avsikten är att reglera posterna med ett nettobelopp eller att samtidigt realisera tillgången och reglera skulden. Ytterligare upplysningar om kvittning av finansiella tillgångar och skulder lämnas i not K22.

9. PRINCIPER FÖR VÄRDERING AV FINANSIELLA TILLGÅNGAR OCH SKULDER TILL VERKLIGT VÄRDE

Verkligt värde definieras som priset till vilken en tillgång skulle kunna säljas eller en skuld överföras i en normal transaktion mellan oberoende marknadsaktörer.

För finansiella instrument som handlas på en aktiv marknad likställs verkligt värde med det aktuella marknadspriset. Som aktiv betraktas en sådan marknad där noterade priser med lätthet och regelbundenhet finns tillgängliga på en reglerad marknad, handelsplats, tillförlitlig nyhetstjänst eller motsvarande, och där prisuppgifterna lätt kan verifieras genom regelbundet förekommande transaktioner. Det aktuella marknadspriset motsvaras av den kurs mellan köp- och säljkursen som under omständigheterna ger mest korrekt bild av det verkliga värdet. För grupper av finansiella instrument som förvaltas på basis av bankens nettoexponering för marknadsrisk likställs det aktuella marknadspriset med det pris som skulle erhållas eller betalas vid en avyttring av nettopositionen.

När tillförlitliga uppgifter om marknadspris saknas för finansiella instrument, bestäms verkligt värde med hjälp av värderingsmodeller. De värderingsmodeller som används bygger på data som i allt väsentligt kan verifieras med marknadsobservationer, exempelvis marknadsräntor och aktiekurser. Vid behov görs en justering för andra variabler som en marknadsaktör förväntas ta i beaktande vid prissättningen. De antaganden som används vid värdering baseras på internt genererad erfarenhet och kontrolleras löpande av riskkontrollfunktionen. Uppföljning görs mot verkliga utfall för att därigenom identifiera eventuella behov av anpassningar av antaganden och prognosverktyg.

Räntebärande värdepapper

Räntebärande värdepapper utgivna av stater och svenska bostadsobligationer värderas med hjälp av aktuella marknadspriser. Företagsobligationer värderas med värderingstekniker som baseras på marknadsräntor för motsvarande löptid med justering för kredit- och likviditetsrisk. Värderingen kontrolleras regelbundet för att säkerställa att den avspeglar gällande marknadspris. Kontrollerna utförs främst genom inhämtning av prisnoteringar från fler oberoende

prisställare och genom avstämning mot nyligen genomförda transaktioner i samma eller likvärdiga instrument.

Aktier och andelar

Aktier noterade på en aktiv marknad värderas till marknadspris. Vid värdering av aktier och andelar i nivå 3 styrs valet av värderingsmodell av vad som bedöms lämpligt för det enskilda instrumentet. Innehav av aktier i nivå 3 består i huvudsak av aktier i företag som utför stödjande verksamhet åt banken. Aktier i nivå 3 är i allt väsentligt klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Sådana innehav värderas i regel till bankens andel av substansvärdet i bolaget. För aktier i nivå 3 för vilka bolagsavtalet reglerar det pris till vilket aktierna kan avyttras, värderas innehaven till det i förväg bestämda avyttringspriset.

Vid värdering av andelar i nivå 3 i riskkapitalfonder används på marknaden vedertagna värderingsmodeller som godkännts av European Venture Capital & Private Equity Association. Dessa modeller innebär att investeringarnas marknadsvärde hänförs genom relativvärdering av jämförbara noterade företag i samma bransch. Resultatposter som stör jämförelser mellan investeringen och jämförelsebolaget justeras, och därefter beräknas värdet av investeringen på basis av vinstmultiplar som exempelvis P/E och EV/EBITDA. Värdeförändringar samt realiserat resultat på innehav i riskkapitalfonder som utgör en del av placerings-tillgångarna i försäkringsrörelsen redovisas inte direkt i resultaträkningen utan ingår i underlaget för beräkning av avkastningsdelning i försäkringsrörelsen, se punkt 13.

Derivat

Derivat som handlas på en aktiv marknad värderas till marknadspris. Merparten av koncernens derivatkontrakt, däribland ränteswappar och olika typer av inlösta valutaderivat, värderas med värderingsmodeller som bygger på marknadsräntor och andra marknadspriser. Värderingen av icke-linjära derivatkontrakt som inte handlas aktivt bygger även på en rimlig skattning av marknadsbaserade data, exempelvis volatilitet.

Vid modellvärdering av derivat förekommer i vissa fall differenser mellan transaktionspriset och det värde som räknats fram med hjälp av en värderingsmodell vid det första redovisningstillfället. Sådana skillnader orsakas av att den tillämpade värderingsmodellen inte fullt ut fångar upp alla komponenter som påverkar derivatets värde. Orealiserade resultat på grund av positiva skillnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell (så kallade dag 1-resultat) utgörs av bankens vinstmarginal och ersättning för att täcka exempelvis kapital- och administrativa kostnader. Orealiserade positiva dag 1-resultat förs inte till resultatet vid det första redovisningstillfället, utan periodiseras över derivatets löptid.

Till och med räkenskapsåret 2019 tillämpade banken en metod som innebär att en löpande fristående värdering utfördes av den sammanlagda kreditriskkomponenten, såväl motpartens kreditrisk (Credit Valuation Adjustment, CVA) som egen kreditrisk (Debit Valuation Adjustment, DVA) i utestående modellvärderade derivat. Förändringar i verkligt värde till följd av förändrad kreditrisk redovisades i resultatet i den utsträckning den sammanlagda effekten översteg ännu ej resultatförda dag 1-resultat. Från och med 2020 har en ny metod implementerats som innebär att banken redovisar förändringarna i CVA och DVA löpande på affärsnivå som en del i derivatens verkliga värde i balans- och resultaträkningen. I samband härmed gjordes även en förnyad bedömning av modellen för beräkning av CVA, vilken ändrades från en modell med enbart historiska PD-värden till en modell som använder marknadsimplícita PD-värden. Förändringarna påverkar redovisningen framåttrikt. Den initiala effekten vid övergången till ny modell för beräkning av CVA och DVA per den 1 januari 2020 uppgick till -134 miljoner kronor, vilken påverkade resultatet under det första kvartalet. Den negativa resultateffekten motverkades av en upplösning av den del av ännu ej resultatförda dag 1-resultat som var hänförlig till CVA, vilken uppgick till 87 miljoner kronor. De kvarstående komponenterna i ännu ej resultatförda dag 1-resultat, efter implementeringen av metoden för löpande redovisning av CVA och DVA, periodiseras som framgår av stycket ovan över derivatens återstående löptid.

Tillgångar och skulder där kunden

står värdet förändringsrisken
Tillgångar där kunden står värdet förändringsrisken består i huvudsak av fondandelar i fondförsäkringsavtal. Sådana fondandelar värderas till fondens aktuella marknadsvärde (NAV). Tillgångarna motsvaras av skulder för vilka kunden står värdet förändringsrisken. Värderingen av dessa skulder speglar värderingen av tillgångarna. Med hänsyn till att försäkringstagarna och fondandelsägarna har förmånerätt i tillgångsmassan, saknas skäl för att justera värderingen för kreditrisk. Tillgångar och skulder där kunden står värdet förändringsrisken har i allt väsentligt kategoriserats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen.

10. KREDITFÖRLUSTER

Förväntade kreditförluster

Reglerna om nedskrivning i IFRS 9 omfattar finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde, finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat samt finansiella garantier och öfterkalliga lånelöften, och baseras på en modell för redovisning av förväntade kreditförluster (Expected Credit Losses, ECL). Enligt denna ska reserven spegla ett sannolikhetsvägt belopp som bestäms genom att utvärdera en rad sannolika utfall med hänsyn tagen till all rimlig och verifierbar information

NOTER | KONCERNEN

K1 Forts

som är tillgänglig på rapporteringsdagen utan orimlig kostnad eller ansträngning. I bedömningen beaktas historiska, nuvarande och framtidsbaserade faktorer. De tillgångar vars nedskrivningsbehov ska prövas delas in i följande tre steg, beroende på graden av kreditförsämring:

- Steg 1 omfattar finansiella tillgångar utan betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället.
- Steg 2 omfattar finansiella tillgångar med betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället men där det vid rapporteringstillfället saknas objektiva belägg för att fordran är kreditförsämrad.
- Steg 3 omfattar finansiella tillgångar för vilka objektiva omständigheter har identifierats för att fordran är kreditförsämrad. För definition av kreditförsämrad tillgång se rubrik Fallissemang/Kreditförsämrad tillgång nedan.

För Steg 1 ska reserveringar som motsvarar förväntade förluster orsakade av fallissemang som förväntas inträffa inom tolv månader redovisas. I Steg 2 och Steg 3 ska reserveringar som motsvarar den förväntade förlust som förväntas inträffa vid fallissemang någon gång under tillgångens hela återstående löptid redovisas.

För avtal i Steg 1 och Steg 2 finns en koncerngemensam central process med modellbaserad beräkning. Processen inleds med att det för samtliga avtal bedöms om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället (avtalets ingående). För utförligare beskrivning av betydande ökning av kreditrisk, se not K2 avsnitt Kreditrisker. Reserverna i de olika nedskrivningsstegen beräknas på individuell basis. För avtal i Steg 3 sker manuell beräkning med undantag för en mindre portfölj av homogena fordringar som har modellberäknad reservering i Steg 3. Vid varje rapporteringstillfälle av görs på avtalsnivå om ett avtal ska bli föremål för en modellbaserad beräkning eller en manuell beräkning.

Beräkningarna av förväntade kreditförluster påverkas i första hand av riskparametrarna sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlustandel vid fallissemang (LGD). Förväntade kreditförluster bestäms genom att beräkna PD, EAD och LGD fram till avtalets förväntade slutförfalldag. Dessa tre riskparametrar multipliceras och justeras med överlevnadssannolikheten alternativt sannolikheten för att kreditexponeringen inte har fallerat eller blivit återbetald i förlid. De beräknade förväntade kreditförlusterna diskonteras sedan tillbaka till rapporteringsdagen med den ursprungliga effektivräntan och summeras. Summan av kreditförluster för Steg 1 beräknas med sannolikheten för fallissemang under de kommande 12 månaderna. För Steg 2 och Steg 3 beräknas kreditförluster med sannolikheten för fallissemang under tillgångens återstående löptid.

Modellbaserad beräkning

Beräkningen av de förväntade kreditförlusterna tar hänsyn till minst tre makroekonomiska scenarier (ett neutralt, ett positivt och ett negativt scenario) med relevanta makroekonomiska riskfaktorer såsom arbetslöshet, styrf-/centralbanksräntor, BNP, inflation och fastighetspriser, uppdelade per land. De olika scenarierna används för att justera riskparametrarna. Varje makroekonomiskt scenario tilldelas en sannolikhet, och de förväntade kreditförlusterna erhålls som ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de förväntade kreditförlusterna för varje scenario.

För utförligare information om modellerna för att beräkna förväntade kreditförluster för avtal i Steg 1 och Steg 2 (och för en mindre portfölj av homogena fordringar i Steg 3) och för förklaring av begrepp såsom PD, EAD och LGD, förväntad löptid, betydande ökning av kreditrisk och makroekonomisk information, se not K2 avsnitt Kreditrisk. För känslighetsanalys för förväntade kreditförluster, se not K10.

Manuell beräkning

Tillgångar i Steg 3 prövas för nedskrivning på individuell basis, och beräkningen är manuell (med undantag för en mindre portfölj av homogena fordringar som har modellberäknad reservering i Steg 3). Denna prövning genomförs löpande och vid varje rapporteringstillfälle av affärsansvarigt bankkontor (kund- och kreditansvarig enhet) och beslutas av regional eller central kreditavdelning.

Nedskrivningsprövning utförs då det finns objektiva omständigheter som tyder på att motparten inte kommer att kunna fullfölja sina kontraktsskyldigheter i enlighet med definitionen på fallissemang. Sådana objektiva omständigheter kan exempelvis vara försenad eller utebliven betalning, ändrad intern rating eller om kredittagaren försätts i konkurs.

I nedskrivningsprövningen uppskattas de framtida kassaflödena och säkerhetens värde (inklusive garantier). Hänsyn tas normalt till minst två möjliga framtidsbaserade scenarier för förväntade kassaflöden baserade på både motpartens återbetalningsförmåga och säkerhetens värde. Utfallet av dessa scenarier sannolikhetsvikts och diskonteras med fordrans ursprungliga effektivränta. De scenarier som används kan innehålla såväl makroekonomiska som avtalspecifika faktorer, utifrån vad som bedöms ha påverkan på den enskilda motpartens återbetalningsförmåga och säkerhetens värdeutveckling. Vid bedömningen tas hänsyn till den enskilda motpartens specifika egenskaper. Nedskrivning görs om det beräknade återvinningsvärdet understiger bokfört värde.

Expertbaserad beräkning

Expertbaserad beräkning görs för kreditförluster för att införa uppskattad effekt från faktorer som inte bedömts ha fångats av modellen (Steg 1, Steg 2 och för en mindre portfölj av homogena fordringar i Steg 3) eller som inte

har tagits hänsyn till manuellt (Steg 3). De modellbaserade beräkningarna är konstruerade med ambitionen att göra en så precis skattning som möjligt av de enskilda bidragen till reserveringsbehovet. Det är dock mycket svårt att med generella modeller fånga alla de särdrag som karakteriserar ett enskilt avtal. Därför görs en manuell analys av de avtal som ger de största bidragen till reserveringsbehovet. Den manuella analysen syftar till att, baserat på expertkunskap om de enskilda krediterna, bedöma om den modellbaserade eller manuella beräkningen ska ersättas med en expertbedömd beräkning. En expertbedömd beräkning kan medföra både högre och lägre reserveringsbehov än den ursprungliga beräkningen.

Expertbaserad beräkning kan även utföras på en mer aggregerad nivå för att justera de modellbaserade beräkningarna för en delportfölj eller motsvarande. Dessa justeringar fördelas proportionellt över de ingående avtalen. En expertbedömd beräkning kan medföra både högre och lägre reserveringsbehov än den ursprungliga beräkningen.

Redovisning och presentation av kreditförluster

- Finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde redovisas i balansräkningen till sitt nettobelopp, efter avdrag för förväntade kreditförluster.
- Poster utanför balansräkningen (finansiella garantier och oåterkallliga låneföten) redovisas till sitt nominella belopp. Reserveringar för förväntade kreditförluster avseende dessa instrument redovisas som en avsättning i balansräkningen.
- Finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat är redovisade till verkligt värde i balansräkningen. Reserveringar för förväntade kreditförluster avseende dessa instrument redovisas i verkligt värdereserven i eget kapital och minskar således inte redovisat värde på instrumentet.
- För finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde och för poster utanför balansräkningen redovisas periodens kreditförluster (förväntade och konstaterade) i resultaträkningen på raden Kreditförluster. Raden Kreditförluster utgörs av periodens reserveringar för förväntade kreditförluster med avdrag för återföringar av tidigare utförda reserveringar, periodens bortskrivningar och periodens återvinningar.
- För finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas periodens kreditförluster (förväntade och konstaterade) i resultaträkningen på raden Nettoresultat av finansiella transaktioner.
- Bortskrivningar utgörs av konstaterade kreditförluster med avdrag för återföringar av tidigare gjorda reserveringar för förväntade kreditförluster i Steg 3 och kan avse hela eller delar av en finansiell tillgång. Bortskrivning sker när det inte bedöms finnas någon

K1 Forts

realistisk möjlighet till återbetalning. Efter bortskrivningen kvarstår normalt kraven mot låntagare och eventuella borgensmän, vilka som regel drivs vidare genom efterbevakning. Efterbevakning vidtas inte i vissa situationer, exempelvis i de fall konkursförvaltare lämnat slutlig redovisning av utdelning i konkurs, när ett ackordsförslag antagits eller när en fordran eftergivits i sin helhet. Fordringar som efterges i samband med omstrukturering av finansiella tillgångar redovisas alltid som konstaterade kreditförluster.

- Betalningar som tillkommer banken för bortskrivna finansiella tillgångar intäktsredovisas som återvinningar.

Ytterligare information om kreditförluster lämnas i not K10.

Fallissemang/Kreditförsämrad tillgång

Bankens definition av fallissemang överensstämmer med kapitaltäckningsföreskriftens (CAR) definition vilket innebär att motparten antingen är mer än 90 dagar sen med en betalning eller att det gjorts en bedömning att motparten inte kommer att kunna betala kontraktseffekt. En sådan bedömning innebär att det ses som mer sannolikt att kredittagaren inte kommer att kunna betala än det motsatta. Bedömningen av detta görs utifrån all tillgänglig information om kredittagarens betalningsförmåga. Hänsyn tas till obeståndssignaler som bristande likviditet, försenade och inställda betalningar, betalningsanmärkningar eller andra tecken på bristande betalningsförmåga. Andra signaler kan vara att kredittagaren försatts i konkurs eller att beslut tas om en betydande eftergift som innebär att värdet på bankens fordran mot kredittagaren minskar.

Sannolikheten för fallissemang beräknas inför varje rapporteringstillfälle och ingår i bedömningen av om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället och vid beräkningen av förväntad kreditförlust för finansiella tillgångar i Steg 1 och Steg 2.

Kreditförsämrad finansiell tillgång, vilket är exponering i Steg 3, definieras som exponering i fallissemang. Det medför att bedömningen för redovisningssyften är i linje med den som används i koncernens kreditriskhantering.

Ränta

Redovisning av räntetäckningar hänförliga till poster i balansräkningen som ingår i Steg 1 och Steg 2 bygger på brutoredovisning, vilket innebär att räntetäckningar redovisas till sikt fulla belopp i räntetotot.

Räntetäckningar avseende motsvarande poster i Steg 3 redovisas netto, det vill säga efter beaktande av nedskrivningen. Ränteeffekter som uppstår till följd av diskonterings effekter då perioden fram till förväntad inbetalning minskar, resulterar i en upplösning av tidigare reserverade belopp och redovisas som räntetäckning i enlighet med effektivräntemetoden.

Värdering av egendom som övertagits för skyddande av fordran

Vid första redovisningstillfället redovisas övertagen egendom till verkligt värde i balansräkningen. Övertagen egendom (inklusive övertagna leasingobjekt) som förväntas avyttras inom en snar framtid, tas vid efterföljande värdering upp till det lägsta av redovisat värde och verkligt värde med avdrag för kostnader för försäljning. Övertagna fastigheter som inte förväntas avyttras inom en snar framtid redovisas som förvaltningsfastigheter till verkligt värde via resultaträkningen. Önterade aktieinnehav som övertas för skyddande av fordran redovisas normalt till verkligt värde via resultaträkningen.

Modifierade finansiella tillgångar

Ett lån anses vara modifierat när villkor och bestämmelser som styr kassaflöden ändras jämfört med det ursprungliga avtalet till följd av åtgärder i form av eftergifter eller affärsmässiga omförhandlingar. Eftergifter är villkorsändringar i samband med omstruktureringar eller andra finansiella lättnadsåtgärder. Dessa villkorsändringar utförs för att säkerställa full återbetalning eller för att maximera återbetalningen av det utestående lånebeloppet för låntagare som har, eller står inför, finansiella svårigheter. Affärsmässiga omförhandlingar är villkorsändringar som inte är relaterade till en låntagares finansiella svårigheter, till exempel ändringar i kassaflödet för ett lån på grund av förändringar i marknadsförhållanden för amorteringar eller ränta.

Om kassaflöden från en finansiell tillgång klassificerad till upplupet anskaffningsvärde har modifierats, men tillgångens kassaflöden inte blir väsentligt annorlunda, resulterar normalt inte modifieringen i att den finansiella tillgången tas bort från balansräkningen. I det fallet omräknas redovisat bruttovärde utifrån den finansiella tillgångens förändrade kassaflöden, och justeringsbeloppet redovisas i resultaträkningen.

Eftersom modifieringar utförs av olika anledningar finns inget oivklonligt samband mellan modifieringar och bedömd kreditrisk. När en finansiell tillgång beviljats eftergift och kvarstår i balansräkningen klassificeras den till Steg 2 eller Steg 3, baserat på uttalet av den bedömning som utförs i samband med eftergifter. Bedömningen omfattar kontroll av om det finns behov av reservering för kreditförlust eller annan omständighet som innebär klassificering till Steg 3.

Om en finansiell tillgång modifieras på ett sätt som medför väsentligt förändrade kassaflöden tas den modifierade finansiella tillgången bort från balansräkningen och ersätts med ett nytt avtal. I dessa fall utgör datumet för modifieringen första redovisningstillfället för det nya avtalet och detta datum används vidare vid beräkning av förväntade kreditförluster samt vid bedömning av huruvida det föreligger en betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället.

11. SÄKRINGSREDOVISNING

Handelsbanken har valt att fortsätta tillämpa säkringsredovisningsreglerna IAS 39, i enlighet med övergångsbestämmelserna i IFRS 9. Koncernen tillämpar olika metoder för säkringsredovisning beroende på syftet med säkringen. Som säkringsinstrument används derivat, i huvudsak ränte- och valutaränteswapper. Vid säkringar av valutarisker kopplade till nettoinvesteringar i utländska enheter används även skulder i respektive utländsk enhets funktionella valuta som säkringsinstrument. Som en del av koncernens säkringsstrategier delas värdet på säkringsinstrument i vissa fall upp och ingår i fler än en säkringsrelation. Ett och samma säkringsinstrument kan därmed säkra olika risker. Sådan uppdelning görs endast om de säkrade riskerna tydligt kan identifieras, om effektiviteten kan mätas tillförlitligt och om den totala värdeförändringen på instrumentet ingår i någon säkringsrelation.

Kassaflödessäkring används för att hantera exponeringar för variationer i kassaflöden hänförliga till förändringar i rörlig ränta på ut- och upplåning. Den förväntade löptiden för sådan ut- och upplåning är i regel betydligt längre än räntebindningstiden som är kort. Kassaflödessäkring används även för att säkra valutarisken i framtida kassaflöden hänförliga till ut- och upplåning. Även valutarisker hänförliga till koncerninterna monetära poster kan omfattas av denna typ av säkring. I den mån de ger upphov till valutaexponeringar som inte elimineras vid upprättande av koncernredovisningen. Derivat som är säkringsinstrument i kassaflödessäkringar värderas till verkligt värde. I den mån derivatets värdeförändring är effektiv, det vill säga motsvaras av framtida kassaflöden hänförliga till den säkrade posten, redovisas den som en komponent i övrigt totalresultat och i säkringsreserven i eget kapital. Ineffektiva delar av derivatets värdeförändring redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Då kassaflödessäkringar avslutas i förtid periodiseras den ackumulerade värdeförändringen, som tidigare redovisats i övrigt totalresultat, i Nettoresultat av finansiella transaktioner under den period de säkrade kassaflödena förväntas inträffa. Avslutas kassaflödessäkringar i förtid, och de säkrade kassaflödena inte längre förväntas inträffa, omklassificeras den ackumulerade värdeförändringen i säkringsreserven till Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Säkringar av verkligt värde tillämpas i syfte att skydda koncernen mot icke önskvärda resultat-effekter på grund av exponeringar för förändringar i marknadspriser. Säkringar av verkligt värde tillämpas för enskilda tillgångar och skulder samt för portföljer av finansiella instrument. Säkrade risker i säkringspaket till verkligt värde består av ränte- och valutarisk i ut- och upplåning till fast ränta samt i utlåning med räntetak. Säkringsinstrumenten i dessa säkringsrelationer består av ränte- och valutaränteswapper samt ränteoptioner. Vid säkring av verkligt värde

NOTER | KONCERNEN

K1. Forts

värderas såväl säkringsinstrumentet som den säkrade risken till verkligt värde. Värdeförändringarna redovisas direkt i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. När portföljsäkring tillämpas redovisas värdet på den säkrade posten på en enskild rad i balansräkningen i anslutning till Utlåning till allmänheten. De säkringar av verkligt värde avslutas i förtid periodiseras den upparbetade värdeförändringen på den säkrade posten i Nettoresultat av finansiella transaktioner under återstående löptid. Avslutas säkringar av verkligt värde i förtid, och den säkrade posten inte längre kvarstår, återförs den upparbetade värdeförändringen direkt i Nettoresultat av finansiella transaktioner. Ackumulerade värdeförändringar på portföljsäkringar som avslutats i förtid redovisas i balansräkningen under posten Övriga tillgångar.

Säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamheter tillämpas för att skydda koncernen mot valutakursdifferenser till följd av verksamhet i utlandet. Som säkringsinstrument används valutaränteswapper och lån i utländsk valuta. Den säkrade posten i dessa säkringar utgörs av nettoinvesteringar i form av direkta investeringar samt fordringar på utlandsverksamhet som inte förväntas regleras inom en överskådlig framtid. Lån i utländsk valuta som säkrar nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas i koncernen till kursen på balansdagen. Den effektiva delen av valutakursdifferenser på sådana lån redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och i omräkningsreserven i eget kapital. Så redovisas även den effektiva delen av värdeförändringar på valutaränteswapper som säkrar valutakursrisk i fordringar på utlandsverksamhet. Ineffektiva delar av säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Benchmarkreformen

Det föreligger temporära undantag från att tillämpa vissa specifika krav avseende säkringsredovisning för samtliga säkringsrelationer som direkt påverkas av osäkerheten från benchmarkreformen. De temporära undantagen syftar till att säkringsrelationer, som annars hade varit effektiva, inte ska behöva brytas upp endast till följd av osäkerhet från benchmarkreformen. Det föreligger en direkt påverkan på en säkringsrelation, endast om denna ger upphov till osäkerhet om benchmarkräntan som utgör säkrad risk och/eller tidpunkt eller belopp avseende kassaflöden baserade på benchmarkräntan från den säkrade posten eller säkringsinstrumentet. Osäkerheten om benchmarkräntan kvarstår fram till dess att beslut har fattats om vilken ränta som är den alternativa räntan samt om och när reformen kommer att genomföras, inklusive specificering av dess effekter på enskilda kontrakt. Förytterligare information se not K21 Säkringsredovisning, Benchmarkreformen.

12. LEASING**Banken som leasegivare**

En leasegivare ska klassificera ett leasingavtal som antingen finansiellt eller operationellt.

Finansiella leasingavtal är sådana avtal där de ekonomiska risker och fördelar som förknippas med ägandet av den leasade tillgången i allt väsentligt överförs från leasegivaren till leasetagaren. Övriga leasingavtal klassificeras som operationella leasingavtal. Samtliga avtal där koncernen är leasegivare har definierats som finansiella leasingavtal. Sådana leasingavtal redovisas som utlåning i balansräkningen, initialt till ett belopp som motsvarar nettoinvesteringen. Enhållna leasingavgifter redovisas löpande som ränteläntäcker respektive amorteringar.

Nettoinvesteringar i finansiella leasingavtal är föremål för nedskrivningsprövning enligt IFRS 9, på samma sätt som finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde.

Banken som leasetagare

Vid ingången av ett leasingavtal redovisas en leasingsskuld och en nyttjanderätt. Leasingsskuden värderas initialt till nuvärdet av framtida leasingavgifter, vilka diskonteras med bankens marginala låneränta. Leasingavgifterna som ingår i värderingen av leasingsskuden utgörs i huvudsak av fasta avgifter och variabla avgifter som beror på ett index. Nyttjanderätten värderas initialt till anskaffningsvärdet, vilket motsvarar den ursprungliga värderingen av leasingsskuden, förutbetalda leasingavgifter, eventuella initiala direkta utgifter och en uppskattning av eventuella återställningskostnader. Det är endast när en förpliktelse uppstår för återställningskostnader som dessa utgör en del av anskaffningsvärdet.

Vid efterföljande värdering av leasingsskuden ökar det redovisade värdet med ränta och minskar med utbetalda leasingavgifter. Därutöver ökar eller minskar leasingsskuden vid omprövningar eller ändringar av leasingavtalet. Vid efterföljande värdering av nyttjanderätten värderas denna till anskaffningsvärde minus ackumulerade avskrivningar och eventuella ackumulerade nedskrivningar samt med beaktande av eventuella omvärderingar av leasingsskuden. Nyttjanderätten skrivs av över leasingperiodens längd. Nedskrivningsprövning av nyttjanderätterna utförs i enlighet med IAS 36 Nedskrivningar, se punkt 15 avsnittet om nedskrivningsprövning.

Nyttjanderätterna ingår i balansposten Fastigheter och Inventarier och leasingsskuden ingår i balansposten Övriga skulder.

Leasingavtal som är kortare än 12 månader, eller för vilka den underliggande tillgången har ett lågt värde, redovisas som en kostnad linjärt över leasingperioden och ingår således inte i leasingsskulder och nyttjanderätter.

13. FÖRSÄKRINGSVERKSAMHET

Koncernens försäkringsverksamhet bedrivs i dotterbolaget Handelsbanken Liv. Verksamhetens produkter består främst av legala

livförsäkringar i form av traditionell livförsäkring och fondförsäkring samt riskförsäkringar i form av sjukförsäkring och premiebefrielse.

Klassificering och uppdelning av försäkringskontrakt

I koncernredovisningen klassas sådana avtal som innehåller betydande försäkringsrisk som försäkringskontrakt. Med försäkringsrisk avses risk, annan än finansiell risk, som överförs från avtalets ägare till utfärdaren. Avtal som inte överför betydande försäkringsrisk klassificeras i sin helhet som investeringsavtal. I regel innebär detta att försäkringar med återbetalningskydd klassas som investeringsavtal, och övriga avtal klassas som försäkringskontrakt. Försäkringskontrakt som består av både försäkringskomponenter och sparande (finansiella komponenter) delas upp och särredovisas i enlighet med de principer som beskrivs i det följande.

Redovisning av försäkringskomponenter i försäkringskontrakt

Premieläntäcker och utbetalda försäkringsersättningar för försäkringsavtal redovisas i resultaträkningen i nettoposten Riskresultat försäkring. Under denna post redovisas även årets förändring av koncernens försäkringssskulder.

Mottagna premier som ännu inte intäktsförts redovisas som skuld för inbetalda premier under posten Försäkringssskulder i balansräkningen. I balansposten Försäkringssskulder ingår även skulder för sjukräntor, livräntor och andra oreglerade skador. Försäkringssskuden värderas genom diskontering av uppskattade framtida kassaflöden hänförliga till ingångna försäkringsavtal. Värderingen bygger på antaganden om ränta, livslängd, hälsa och framtida avgifter. Livslängdsantaganden varierar med hänsyn till när försäkringen tecknats och beaktar den förväntade framtida ökningen av livslängden. Även avgiftsantaganden beror på när försäkringen tecknats. Det innebär i huvudsak en avgift som är proportionell mot premien och en avgift som är proportionell mot livförsäkringsavsättningen. Tillämpade antaganden om de försäkrades framtida hälsa är baserade på internt genererad erfarenhet och varierar beroende på produkt. Ränteantaganden är baserade på aktuella marknadsräntor och beror på skuldens löptid. Koncernens försäkringssskulder provas regelbundet och minst årligen i syfte att säkerställa att den redovisade försäkringssskuden är tillräcklig för att täcka förväntade framtida anspråk. Vid behov görs en ytterligare avsättning. Mellanskillnaden redovisas i resultaträkningen.

Redovisning av investeringsavtal och finansiella komponenter i försäkringskontrakt

Inbetalningar och utbetalningar för kunders sparkapital som härrör från investeringsavtal samt finansiella komponenter i försäkringskontrakt redovisas som insättningar respektive uttag direkt i balansräkningen.

K1 Forts

Den från försäkringskontraktet separerade finansiella komponenten i traditionella legala livförsäkringar redovisas i balansräkningen som upplåning från allmänheten. Dessa skulder värderas till det högsta av garanterat belopp och försäkringens aktuella värde. Det garanterade beloppet förräntas med garanterad ränta och motsvarar försäkringens upplupna anskaffningsvärde. Försäkringens aktuella värde är lika med värdet av de tillgångar som förvaltas för försäkringstagarnas räkning, och förräntas med en avkastning som bestäms från totalavkastningen för tillgångarna med avdrag för eventuell avkastningsdelning. Avkastningsdelningen innebär att försäkringsgälden tilldelas en avtalad del av totalavkastningen om denna avkastning under kalenderåret överstiger den garanterade räntan. Beräkningen görs årligen och ackumulerat för varje enskilt försäkringskontrakt. Det innebär att den vilkorade återbäringen minskar i de fall avkastningen ett enskilt år understiger garantiräntan och vice versa. Den del av avkastningen som enligt modellen för avkastningsdelning tillfaller koncernen redovisas som provisionsintäkt. I det fall avkastningen understiger den per kontrakt garanterade räntan redovisas mellanskillnaden i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Tillgångar och skulder som härrör från fondförsäkringsavtal redovisas till verkligt värde i balansräkningen i posterna Tillgångar respektive Skulder där kunden står värdet förändringsrisken. Premieavgifter, kapitalavgifter samt övriga administrativa avgifter för försäkringskontrakt och investeringsavtal redovisas i resultaträkningen i posten Provisionsintäkter. Anskaffningskostnader redovisas direkt i resultaträkningen.

Återförsäkring

Återförsäkrars andel av koncernens försäkringskulder redovisas i posten Återförsäkrings-tillgångar i balansräkningen.

14. IMMATERIELLA TILLGÅNGAR**Redovisning i balansräkningen**

En immateriell tillgång är en identifierbar, icke-monetär tillgång utan fysisk form. En immateriell tillgång tas endast upp i balansräkningen om det är troligt att de framtida ekonomiska fördelarna som härrör från tillgången kommer att tillfalla koncernen och om det går att beräkna anskaffningsvärdet på ett tillförlitligt sätt. Det innebär att internt upparbetade värden i form av goodwill, varumärken, kundregister och liknande inte redovisas som tillgångar i balansräkningen.

Investeringar i egenutvecklad programvara tas till resultatet löpande i den mån utgifterna avser underhåll av befintlig affärsverksamhet eller befintlig programvara. Vid egen utveckling av ny programvara, eller vid utveckling av befintlig programvara för ny affärsverksamhet, aktiveras nedlagda utgifter, som kan beräknas på ett tillförlitligt sätt, från den tidpunkt det är sannolikt

att ekonomiska fördelar kommer att uppstå. Utgifter som härrör från lånekostnader aktiveras från den tidpunkt då beslut har fattats om aktivering av utgifter för utveckling av en immateriell tillgång.

Vid ett rörelseförvärv hänförs förvärvspriset till värdet av förvärvade identifierbara tillgångar, skulder och eventalförpliktelser i den förvärvade rörelsen. Bland dessa tillgångar kan även ingå sådana immateriella tillgångar som inte skulle ha tagits upp i balansräkningen om de förvärvats separat eller upparbetats internt. Den del av förvärvspriset som vid ett rörelseförvärv inte kan hänföras till identifierbara tillgångar och skulder redovisas som goodwill.

Goodwill och immateriella tillgångar**med obestämbar nyttjandeperiod**

Goodwill och andra immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod redovisas till anskaffningsvärdet med avdrag för eventuella nedskrivningar. Nedskrivningsprövning sker årligen i samband med bokslutet eller när det finns en indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivningsprövning görs genom en beräkning av tillgångens återvinningsvärde, det vill säga det högsta av nyttjandevärdet och det verkliga värdet med avdrag för försäljningskostnader. Så länge återvinningsvärdet överstiger redovisat värde är nedskrivning inte befogad. Nedskrivningar redovisas direkt i resultaträkningen.

Med hänsyn till att det inte är möjligt att särskilja de kassaflöden som härrör från goodwill från kassaflöden som härrör från andra tillgångar, sker nedskrivningsprövningen på nivån kassagenererande enhet. En kassagenererande enhet är den minsta grupp tillgångar som ger upphov till inbetalningar som är oberoende av inbetalningar från andra tillgångar eller tillgångsgrupper. Goodwill följs upp på rörelsesegment-nivå. Väsentliga bedömningar och antaganden vid nedskrivningsprövning av goodwill framgår av not K23. Tidigare gjorda nedskrivningar av goodwill återförs inte.

Immateriella tillgångar med**bestämbar nyttjandeperiod**

Immateriella tillgångar för vilka det går att fastställa en bedömd nyttjandeperiod är föremål för avskrivning. Avskrivningen sker linjärt över nyttjandeperioden. För närvarande innebär det att kundkontrakt skrivs av på 20 år och att internt utvecklad programvara vanligen skrivs av på fem år. I vissa infrastrukturprojekt bedöms nyttjandeperioden vara längre än fem år. För sådana investeringar är avskrivningstiden upp till 15 år. Varumärken som är föremål för avskrivning skrivs av på fem år. Avskrivningstiden prövas individuellt, dels vid nyanskaffning, dels förlöpande vid indikation på att nyttjandeperioden kan ha ändrats. Immateriella tillgångar med bestämbar nyttjandeperiod prövas för nedskrivning när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivningsprövning görs

enligt samma principer som för immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod, det vill säga genom en beräkning av tillgångens återvinningsvärde.

15. FASTIGHETER OCH INVENTARIER

Koncernens materiella anläggningstillgångar består av fastigheter och inventarier. Med undantag av sådana fastigheter som utgör placeringsstillgångar i försäkringsrörelsen och fastigheter som övertagits för skydd av fordran, värderas dessa tillgångar till anskaffningsvärde med avdrag för ackumulerade av- och nedskrivningar.

Avskrivningarna sker utifrån tillgångarnas bedömda nyttjandeperioder. Normalt tillämpas en linjär avskrivningsplan. De bedömda nyttjandeperioderna prövas årligen. De materiella tillgångar som består av delkomponenter med olika bedömda nyttjandeperioder, indelas i olika kategorier med separata avskrivningsplaner. Sådan så kallad komponentavskrivning är normalt endast aktuell för fastigheter. Som delkomponenter betraktas då de delar av fastigheten som har ett anskaffningsvärde som är betydande i förhållande till det sammanlagda anskaffningsvärdet. Resterande delar av fastigheten (stomme) skrivs av som helhet över den förväntade nyttjandeperioden. För närvarande är den bedömda nyttjandeperioden för stomme 100 år, för vatten och avlopp 35 år, för tak 30 år, för fasad, värme, ventilation och el 25 år, för hissar 20 år och för byggnadsinventarier 10 år. Persondatorer och övrig IT-utrustning skrivs i regel av på tre år och investeringar i bankvalv och liknande lokalinvesteringar på 10 år. Övriga inventarier skrivs normalt av på fem år.

Nedskrivningsprövning av materiella anläggningstillgångar sker när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivning görs i det fall återvinningsvärdet understiger det redovisade värdet. Eventuell nedskrivning redovisas omedelbart i resultaträkningen. En nedskrivning reverseras om det finns indikation på att nedskrivningsbehovet inte längre föreligger och det har skett en förändring i de antaganden som låg till grund för beräkningen av återvinningsvärdet.

16. AVSÄTTNINGAR

Posten Avsättningar består av resultatförda förväntade negativa utflöden av resurser från koncernen som är ovissa vad gäller förfallotidpunkt eller belopp. Avsättningar redovisas när koncernen till följd av en inträffad händelse har en legal eller informell förpliktelse som det är sannolikt att det kommer att krävas ett utflöde av resurser för att reglera. För att redovisning ska kunna ske måste det vara möjligt att göra en tillförlitlig uppskattning av beloppet. Avsättningen värderas till det belopp som motsvarar den bästa uppskattningen av vad som krävs för att reglera förpliktelsen på balansdagen. Vid värderingen tas hänsyn till den förväntade framtida tidpunkten för reglering.

NOTER | KONCERNEN

XI Forts

Avsättningar redovisas för omstruktureringar. Med omstrukturering avses genomgripande organisationsförändring, till exempel genom att anställda får avgångsvederlag för förtida uppsägning, eller nedläggningar av kontor. För att en avsättning ska redovisas krävs att en omstruktureringsplan har fastställts och tillkännagivits så att det har skapats en välgrundad förväntan hos dem som berörs av att företaget kommer att genomföra omstruktureringen. En avsättning för omstrukturering omfattar enbart de direkta utgifter som uppstår vid omstruktureringen och som inte hör samman med den framtida verksamheten.

17. EGET KAPITAL

Eget kapital består av de komponenter som beskrivs i det följande.

Överkursfond

Överkursfonden består dels av optionskomponenten av emitterade konvertibla skuldebrev och dels av det belopp som vid emission av aktier och vid konvertering av konvertibla skuldebrev överstiger de emitterade aktiernas kvotvärde.

Säkringsreserv

I säkringsreserven redovisas orealiserade värdeförändringar på derivatinstrument som utgör säkringsinstrument i kassaflödessäkringar.

Verkligt värdereserv

Orealiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas i verkligt värdereserv. Vidare består verkligt värdereserven av reserveringar för förväntade kreditförluster på skuldinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Realiserade värdeförändringar på dessa skuldinstrument omklassificeras från verkligt värdereserv till resultaträkningen. Realiserade värdeförändringar på egetkapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat omklassificeras från verkligt värdereserv till balanserade vinstmedel.

Omräkningsreserv

Omräkningsreserven består av orealiserade valutakurseffekter som uppstår till följd av omräkning av utländska enheter till koncernens rapporteringsvaluta. Därutöver redovisas effektiva delar för säkringar av nettolnvesteringar i utlandsverksamhet i omräkningsreserven.

Förmånsbestämda pensionsplaner

I posten Förmånsbestämda pensionsplaner redovisas aktuella vinster och förluster på pensionsförpliktsen samt avkastning på förvaltningsstillgångarna som överstiger eller understiger diskonteringsräntan.

Balanserade vinstmedel inklusive årets resultat

Balanserade vinstmedel består av Intjänat resultat från innevarande och tidigare räkenskapsår. Utdelning och återköp av egna aktier redovisas som avdrag från balanserade vinstmedel.

Realiserade resultat hänförliga till egetkapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat omklassificeras från verkligt värdereserv till balanserade vinstmedel.

Innehav utan bestämmande inflytande

Innehav utan bestämmande inflytande utgörs av den andel av koncernens nettotillgångar som inte direkt eller indirekt ägs av moderföretagets stamaktieägare. Innehav utan bestämmande inflytande redovisas som en separat andel av eget kapital.

Redovisning av egna aktier

Återköpta egna aktier redovisas inte som tillgång utan kvittas mot posten Balanserade vinstmedel i eget kapital.

18. INTÄKTER

Räntenetto

Räntelntäkter och räntekostnader redovisas i räntenettet i resultaträkningen, med undantag för räntor hänförliga till finansiella instrument som obligatoriskt värderas till verkligt värde via resultaträkningen vilka redovisas i Nettoresultat av finansiella transaktioner där den samlade aktiviteten i handelslagret redovisas.

Räntelntäkter och räntekostnader för finansiella instrument som värderas till upplupet anskaffningsvärde beräknas och redovisas med tillämpning av effektivräntemetoden eller, om så anses lämpligt, med tillämpning av en metod som resulterar i ett belopp som utgör en rimlig uppskattning av vad en beräkning grundad på effektivräntemetoden skulle ge. Effektivräntan innefattar avgifter som anses vara en integrerad del av effektivräntan för ett finansiellt instrument (vanligen avgifter som kompenserar för risk). Effektivräntan motsvarar den ränta som används för att diskontera avtalsenliga framtida kassaflöden till redovisat värde på den finansiella tillgången eller skulden.

I räntenettet redovisas även räntor från derivat som ingår i säkringsredovisning och räntor från derivat i ekonomiska säkringar, eftersom dessa säkrar poster vars ränteflöden redovisas i räntenettet.

Utöver räntelntäkter och räntekostnader ingår i räntenettet avgifter för statliga garantier, exempelvis insättningsgaranti och resolutionsavgiften.

Intäkter från avtal med kunder

Standarden för Intäkter från avtal med kunder, IFRS 15, tillämpas för olika typer av tjänster som i resultaträkningen huvudsakligen redovisas som Provisionsintäkter. IFRS 15 är även tillämplig på vissa tjänster som återfinns i posten

Övriga intäkter. Övriga intäkter avser dock i allt väsentligt inte intäkter från avtal med kunder.

Intäkterna redovisas vid den tidpunkt när prestationsåtagandet är uppfyllt, vilket är när kontrollen av tjänsten är överförd till kunden. Den totala intäkten fördelas för varje tjänst, och Intäktsfördelen beror på om tjänsterna är uppfylla vid en viss specifik tidpunkt eller över tid.

Följande gäller i fråga om tidpunkten för redovisning av intäkter:

- Intäkter som tjänas in successivt genom att tjänster utförs, exempelvis förvaltningsavgifter inom kapitalförvaltningen, redovisas i takt med att dessa tjänster levereras, det vill säga linjärt över tid. Detta eftersom kunden samtidigt erhåller och förbrukar tjänsten och bankens åtagande då uppfylls under den tid tjänsten utförs.
- Intäkter hänförliga till en specifik tjänst eller handling redovisas när tjänsten utförts, det vill säga vid en viss specifik tidpunkt. Exempel på sådana intäkter är courtage och betalningsprovisioner.

Den intäkt som redovisas ska spegla den förväntade intäkten. När intäkten inkluderar en rörlig ersättning, till exempel rabatt, återbäring eller prestationsbaserade delar, redovisas intäkten först när det är högst troligt att ingen återbetalning av beloppet kommer att ske.

Betalningar sker löpande i takt med att tjänsterna utförs, och förskottsbetalning avser max 12 månader framåt. Upplupna intäkter redovisas för tjänster som har tillhandahållits men ännu inte har betalats. Förutbetalda intäkter redovisas för tjänster som har betalats men ännu inte har tillhandahållits. Intäkter från avtal med kunder utgör en obetydlig andel av posterna Upplupna intäkter och Förutbetalda intäkter. Tillkommande utgifter för att erhålla ett avtal med en kund redovisas inte som en tillgång (förutbetald kostnad), utan utgifter redovisas som kostnad under den redovisningsperiod de inträffar.

Provisionsnetto

Intäkter och kostnader för olika typer av tjänster redovisas i resultaträkningen i posterna Provisionsintäkter respektive Provisionskostnader. Det innebär bland annat att courtage och olika former av förvaltningsavgifter redovisas som provisioner. Andra typer av intäkter som redovisas som provisioner är betalningsprovisioner och kortavgifter, premier för utställda finansiella garantier och provisioner i försäkringsverksamheten. Räntelknande garantiprovisioner och avgifter som utgör integrerade delar av finansiella instrument och därför räknas in i effektivräntan, redovisas inte som provisioner utan ingår i räntenettet. Provisionskostnader är transaktionsberoende och är direkt relaterade till transaktioner vars intäkter redovisats som Provisionsintäkter.

K1 Forts

Övriga intäkter

Posten Övriga intäkter består främst av hyresintäkter och realisationsresultat vid avyttring av ägarandelar i dotterföretag, intresseföretag och joint ventures. Posten Övriga intäkter avser därmed i allt väsentligt inte intäkter från avtal med kunder.

Nettoreultat av finansiella transaktioner

I posten Nettoreultat av finansiella transaktioner redovisas den resultatpåverkan som uppstår vid värdering av finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde via resultaträkningen och vid realisation av finansiella tillgångar och skulder (med undantag för egetkapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat).

- Resultat från finansiella instrument till upplupet anskaffningsvärde består av realiserade vinster och förluster på finansiella tillgångar och skulder klassificerade till upplupet anskaffningsvärde, såsom till exempel ränteskillnadsersättning för fördelslöst utlåning och realisationsresultat som genereras vid återköp av egna emitterade värdepapper.
- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via övrigt totalresultat består av realiserade vinster och förluster på räntebärande värdepapper klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Realiserade vinster och förluster omklassificeras från övrigt totalresultat till Nettoreultat av finansiella transaktioner i samband med avyttring/försäljning. Vidare består posten av kreditförluster (förväntade och konstaterade) på dessa tillgångar.
- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen, består av realiserade och realiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar och skulder som vid första redovisningstillfället identifierats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen.
- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt, består av realiserade och realiserade värdeförändringar samt utdelningsintäkter och räntor (med undantag för räntor som härrör från derivat som säkrar poster vars ränteflöde redovisas i räntenettot) på finansiella tillgångar och skulder som innehas för handel eller som förvaltas och utvärderas på basis av verkliga värden.
- Säkring av verkligt värde består av realiserade och realiserade värdeförändringar på säkringsinstrument respektive säkrad riskkomponent i finansiella tillgångar och skulder som är säkrade poster i säkringar till verkligt värde. Ineffektivitet i kassaflödessäkringar består av de värdeförändringar på säkringsinstrumentet som inte motsvaras av framtida kassaflöden hänförliga till den säkrade posten.
- Resultat från den finansiella komponenten i försäkringskontrakt består av det resultat som uppstår om avkastningen understiger den garanterade räntan.

Utdelning

Utdelningar på aktier som klassificerats till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas i resultaträkningen i posten Övriga utdelningsintäkter. Utdelningar på aktier som klassificerats till verkligt värde via resultaträkningen redovisas i posten Nettoreultat av finansiella transaktioner. Utdelningar på aktier i intresseföretag och joint ventures ingår inte i posten Utdelningar i resultaträkningen. Redovisning av andelar i intresseföretags och joint ventures resultat beskrivs i punkt 4.

19. ERSÄTTNINGAR TILL ANSTÄLLDA**Personalkostnader**

Som personalkostnader redovisas löner, pensionskostnader och andra former av direkta personalkostnader inklusive social avgifter, särskild löneskatt på pensionskostnader och andra former av lönebidragskostnader. Eventuella ersättningar i samband med avslutad anställning skuldförs vid avtalets ingång och periodiseras över återstående tjänstgöringstid.

Redovisning av pensioner

Ersättningar till anställda efter anställningens upphörande utgörs dels av avgiftsbestämda planer (premiebestämda) och dels av förmånsbestämda planer. Med avgiftsbestämda planer avses planer där koncernen betalar fastställda premier till en utomstående juridisk enhet och har därefter inga ytterligare varken rättsliga eller informella förpliktelser. Värdeförändringsrisken fram till dess att medlen utbetalas faller på den anställda. Premier för avgiftsbestämda planer redovisas i resultaträkningen som personalkostnad i den takt de intjänas genom att de anställda utför tjänster åt företaget och avgifterna för tjänsterna förfaller till betalning.

Övriga planer för ersättning efter avslutad anställning redovisas som förmånsbestämda planer. Vid förmånsbaserad pensionslösning utgår en pension baserad på lön och anställningstid, vilket innebär att arbetsgivaren bär alla väsentliga risker för fullgörandet av pensionsutfästelsen. För förmånsbestämda planer redovisas nuvärdet av pensionsåtagandet som pensionsförpliktelse. För majoriteten av de förmånsbaserade pensionsplanerna har koncernen avsatt förvaltningstillgångar i pensionsstiftelser och pensionskassa för att täcka förpliktelsen. Som nettoskuld i balansräkningen avseende de förmånsbaserade pensionsplanerna redovisas pensionsförpliktelserna minskade med förvaltningstillgångarnas verkliga värde. I övrigt totalresultat redovisas aktuariella vinster och förluster på pensionsförpliktelsen som uppstår på grund av att verkligt utfall avviker från gjorda antaganden samt skillnaden mellan verklig avkastning och beräknad ränteränta på förvaltningstillgångarna.

Pensionskostnaden för förmånsbestämda planer redovisas i resultaträkningen som en personalkostnad och utgörs av nettot av följande poster:

- Kostnad för under året intjänad pensionsrätt, vilket avser årets andel av den beräknade slutliga totala pensionsutbetalningen. Beräkningen av intjänad pensionsrätt utgår från en beräknad slutlön och är föremål för aktuariella antaganden.
- Räntekostnad på pensionsförpliktelsen vilken uppstår på grund av att nuvärdet av pensions-skulden har ökat under året då tiden till utbetalning minskat. För beräkning av årets räntekostnad används aktuell företagsobligationsränta (räntan vid årets början) för en köptid motsvarande återstående tid till utbetalning av pensionskulden.
- Beräknad ränteränta (avkastning) på förvaltningstillgångar för vilken samma räntesats som vid fastställandet av årets räntekostnad på pensionsförpliktelsen tillämpas.
- Beräknade kostnader för särskild löneskatt vilken periodiseras enligt samma principer som tillämpas för den underliggande pensionskostnaden.

Beräkningen av kostnader och åtaganden med anledning av koncernens förmånsbestämda planer är förenad med ett flertal bedömningar och antaganden som kan ha en betydande inverkan på redovisade belopp. En utförligare beskrivning av dessa antaganden och bedömningar lämnas i punkt 21 och i not K8.

20. SKATTER

Periodens skattekostnad utgörs av aktuell skatt och uppskjuten skatt. Som aktuell skatt redovisas skatter som hänförs sig till periodens eller tidigare perioders skattepliktiga resultat. Uppskjuten skatt är skatt som hänförs sig till temporära skillnader mellan en tillgångs eller skulds redovisade värde och dess skattepliktiga värde. Uppskjutna skatter värderas till den skattesats som bedöms vara tillämplig då posten realiserar. Uppskjutna skattefordringar avseende avdragsgilla temporära skillnader och underskottsavdrag redovisas endast i den mån det är sannolikt att dessa kommer att utnyttjas. Uppskjutna skatteskulder värderas till nominellt värde. Skatt redovisas i resultaträkningen, antingen i övrigt totalresultat eller direkt i eget kapital beroende på var den underliggande transaktionen redovisas.

21. UPPSKATTNINGAR OCH VÄSENTLIGA BEDÖMNINGAR

Tillämpningen av koncernens redovisningsprinciper innebär i vissa fall att bedömningar måste göras som får en väsentlig inverkan på redovisade belopp. Redovisade belopp påverkas dessutom i ett antal fall av uppskattningar och antaganden om framtiden. Sådana antaganden innebär alltid en risk för en justering av det redovisade värdet för tillgångar och skulder. De bedömningar och antaganden som görs speglar alltid företagsledningens bästa och mest rimliga uppfattning och är kontinuerligt föremål för granskning och validering.

NOTER | KONCERNEN

K1 Forts

Nedan följer de bedömningar och antaganden som har haft en väsentlig påverkan på de finansiella rapporterna.

Uppskattningar och väsentliga bedömningar som berör följande områden lämnas i not:

- finansiella instrument värderade till verkligt värde, se not K39 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde
- nedskrivningsprovning av goodwill, se not K23 Immateriella tillgångar
- krav i civilrättsliga processer, se not K34 Avsättningar.

Vid upprättandet av årsredovisningen har betydande kritiska bedömningar utförts till följd av osäkerheten i fråga om möjliga effekter av covid-19 på redovisningen. Områden som särskilt beaktats har varit provningen av nedskrivningsbehov för goodwill, utlåning till allmänheten och utlåning till kreditrisk. Inga andra områden har bedömts påverkats av covid-19. Inga effekter av covid-19 har bedömts påverka bankens fortlevnad. För mer information om ovanstående områden, se noterna K2, K10 samt K29.

Aktuariell beräkning av

förmånsbestämda pensionsplaner
Beräkningen av koncernens kostnader och förpliktelser för förmånsbestämda pensioner bygger på ett antal aktuariella, demografiska och finansiella antaganden som har betydande inverkan på redovisade belopp. En förteckning över de antaganden som använts vid beräkningen av årets avsättning finns i not K8. Beräkningen av pensionsförpliktelserna för anställda i Sverige bygger på DUS14 som är på marknaden vedertagna antaganden om livslängd baserade på statistik framtagen av Svensk Försäkring. Antagandena om framtida löneökningar och inflation bygger på den förväntade långsiktiga utvecklingen.

Diskonteringsräntan baseras på ett antal förstklassiga företagsobligationer med olika löptider. För företagsobligationer med löptider som överensstämmer med den uppskattade genomsnittliga löptiden för pensionsförpliktelserna vilken uppgår till 20 år fastställs diskonteringsräntan utifrån marknadsräntor. Då det inte finns tillräckligt många emittenter av förstklassiga företagsobligationer med en löptid som överensstämmer med pensionsförpliktelserna använder sig banken även av förstklassiga företagsobligationer med kortare löptid som bas för att fastställa diskonteringsräntan. För dessa fastställs diskonteringsräntan med utgångspunkt från en räntekurva. Räntekurvan är byggd som en spread över den svenska swapkurvan. Spreaden, som är baserad på företagsobligationer exkluderat egna emissioner, appliceras på swapkurvan. På detta sätt modelleras en räntekurva fram utifrån vilken en 20-årig ränta kan härledas.

En känslighetsanalys av koncernens pensionsförpliktelse för varje betydande aktuariellt antagande, som visar hur förpliktelserna skulle ha påverkats av rimligt möjliga förändringar i dessa antaganden, framgår av not K8.

Kreditförluster

Vid beräkning av förväntade kreditförluster används i ett antal fall antaganden och bedömningar. Värderingen av förväntade kreditförluster är till sin natur behäftad med viss osäkerhet. Områden med hög grad av antaganden och bedömningar beskrivs nedan under respektive rubrik.

Framtidsbaserad information i makroekonomiska scenarier

Handelsbanken övervakar löpande den makroekonomiska utvecklingen med särskilt fokus på hemmamarknaderna. Denna bevakning sker bland annat för att ta fram de makroekonomiska scenarier som ligger till grund för den framtidsbaserade information som används i den modellbaserade beräkningen av förväntade kreditförluster. Förmågan hos bankens kunder att uppfylla sina kontraktssliga betalningar varierar med den makroekonomiska utvecklingen. Det innebär att den framtida makroekonomiska utvecklingen har en påverkan på bankens syn på reserveringsbehov för förväntade förluster. Beräkningen av reserveringsbehovet för förväntade kreditförluster utgår från det neutrala scenariot enligt bankens enhet för makroanalys. Eftersom förlusterna kan påverkas mer av en framtida försämring av den ekonomiska utvecklingen än av en motsvarande förbättring, använder banken minst två alternativa scenarier för att fånga icke-linjära aspekter på de förväntade kreditförlusterna. Dessa alternativa scenarier motsvarar tänkbara, men väsentligt sämre respektive bättre, utvecklingar än det neutrala scenariot. Baserat på bankens förlusthistorik under det senaste decenniet kompletterat med erfarenhetsbedömningar har de mest väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna valts ut. Dessa makroekonomiska riskfaktorer ingår sedan som makroekonomiska riskfaktorer i bankens kvantitativa statistiska modeller för prognoser av migrationer, fallissemang, förlustandelar och exponering. De makroekonomiska riskfaktorerna inkluderar arbetslöshet, styrf-/centralbanksräntor, BNP, inflation och fastighetspriser. Bankens affärsmodell, att ge krediter till kunder med stark återbetalningsförmåga, gör att sambanden mellan den makroekonomiska utvecklingen och reserveringsbehovet inte alltid är framträdande. För utförligare beskrivning av makroekonomisk information, se not K2 avsnitt Kreditrisk, och för känslighetsanalys, se not K10.

Betydande ökning av kreditrisk

Banken gör en bedömning på avtalsnivå vid varje rapportperiods slut av om en betydande

ökning av kreditrisken har skett sedan det första redovisningstillfället. För utförligare beskrivning av betydande ökning av kreditrisk, se not K2 avsnitt Kreditrisk.

Modellbaserad beräkning

De kvantitativa modeller som ligger till grund för beräkningen av förväntade kreditförluster för avtal i Steg 1 och Steg 2 utgår från flera antaganden och bedömningar. Ett viktigt antagande är att de relationer som kan mätas mellan makroekonomiska riskfaktorer och riskparametrar på historiska data är representativa för framtida händelser. De kvantitativa modeller som tillämpas baseras på cirka 10 års historik, men risken varierar med produkt och region beroende på tillgång till historiska utfall. De kvantitativa modellerna är konstruerade med hjälp av ekonometrisk modeller under antagande att observationerna är oberoende betingade av de valda riskfaktorerna. Det innebär att riskparametrarna kan predikteras utan snedvridande effekter. Vidare görs ett urval av de mest väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna baserat på de enskilda makroekonomiska riskfaktorernas förklaringsförmåga på de enskilda riskparametrarna. När makroekonomiska riskfaktorer väljs ut och modellen specificeras görs en avvägning mellan enkelhet, förklaringsförmåga och stabilitet.

Manuell och expertbaserad beräkning

Manuell beräkning används regelmässigt för avtal i Steg 3 med undantag för en mindre portfölj av homogena fordringar i Steg 3. Expertbaserad beräkning görs på modellutfall för avtal i Steg 1 och Steg 2, för att införliva uppskattad effekt från faktorer som inte bedömts ha fångats av modellen samt för manuellt bedömda i Steg 3. För utförligare beskrivning av manuell och expertbaserad beräkning, se punkt 10 rubrik Manuell beräkning och Expertbaserad beräkning.

K2 Risk- och kapitalhantering

Numreringen av vissa tabeller och figurer i denna not följer den numrering som återfinns i Handelsbankens publikation Risk and Capital – Information according to Pillar 3.

Handelsbanken arbetar utifrån en väl beprövad affärsmodell som varit oförändrad i närmare 50 år. Banken har ett decentraliserat arbetssätt och en stark lokal förankring genom landsomfattande kontorsnät. Banken lägger stor vikt vid tillgänglighet och långsiktiga kundrelationer, har låg risktolerans och har växt geografiskt genom att etablera affärsmodellerna på utvalda marknader. Handelsbankens affärsmodell fokuserar på att ta kreditrisker som uppstår som en del i kreditgivning, i kontorsreklam och strävar efter att minimera övriga risker.

Handelsbankens kreditförlustnivå har under de senaste decennierna varit väsentligt lägre än genomsnittet hos övriga nordiska banker. Bankens mål är alltid att ingen kredit ska medföra en förlust. Detta förhållningssätt är helt styrande för kontorens kreditgivning och arbete med sina kreditportföljer.

Genom stora likviditetsreserver och matchning av kassaflöden har banken sedan lång tid arbetat med att upprätthålla låga likviditetsrisker. Även detta är ett naturligt resultat av bankens låga risktolerans.

Även marknadsriskerna i Handelsbanken är mycket låga.

RISKTOLERANS

Handelsbanken har låg risktolerans. Banken fokuserar på långsiktiga relationer med kunder med god återbetalningsförmåga och stark finansiell ställning. Kvalitetskravet får aldrig åsidosättas till förmån för högre kreditvolymer, högre pris eller marknadsandelar.

Kreditriskerna uppstår som en del i kreditgivningen. Toleransen för marknadsrisker och likviditetsrisker är låg. Marknadsrisker förekommer endast som ett led i kundaffärer, i samband med bankens finansiering och likviditetshandling samt i dess roll som marknadsgarant. Därutöver uppstår marknadsrisker i pensions-systemet.

En konsekvens av bankens låga tolerans för marknadsrisk är att en jämförelsevis låg andel av bankens resultat kommer från nettoresultat av finansiella transaktioner. All finansiering och likviditetshandling är centraliserad till den centrala enheten Group Treasury. Likviditetsriskerna begränsas genom krav på matchande kassaflöden och betryggande likviditetsreserver av hög kvalitet.

Även för operativa risker och compliance-risker är toleransen låg. Banken strävar efter att så långt som möjligt förebygga dessa risker och reducera förlusterna på området. Förlusterna ska förbli låga.

RISKSTRATEGI

I bankens verksamhet uppkommer olika risker som identifieras, mäts, hanteras och rapporteras på ett systematiskt sätt inom koncernens

alla delar. Handelsbankens restriktiva förhållningssätt till risk innebär att banken medvetet undviker att delta i affärer med hög risk även om den förväntade ersättningen för ögonblicket kan vara hög.

Den låga risktoleransen upprätthålls genom en stark riskkultur som är uthållig över tid och som gäller på alla områden i koncernen. Riskkulturen genomförs hela bankens arbete och är väl förankrad hos bankens medarbetare. Banken präglas av en tydlig ansvarsfördelning där varje del av affärsverksamheten bär det fulla ansvaret för sina affärer och för att riskerna hanteras. En följd av detta är att det finns starka incitament till hög riskmedvetenhet och till försiktighet i affärsverksamheten. Den decentraliserade affärsmodellen är dock kombinerad med starka centraliserade kontroller. Den låga risktoleransen avspeglas också i synen på ersättning. Huvudprincipen är fast ersättning eftersom detta bidrar till den långsiktighet som är en central del av Handelsbankens affärsmodell. Medarbetare som i sin yrkesutövning har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil erbjuds inte prestationsbaserad rörlig ersättning. De anställda har också sedan början av 1970-talet genom Stiftelsen Oktogonen varit en av bankens största ägare, vilket ytterligare bidrar till hög riskmedvetenhet och långsiktighet.

Kreditgivningen har stark lokal förankring, där den nära kundrelationen och lokala kännedomen verkar för låga kreditrisker. Därutöver ska koncernen vid varje tid vara välkapitaliserad i förhållande till verksamhetens risker och hålla likvida tillgångar för att alltid klara sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, även i en situation av finansiell stress där uppläning på de finansiella marknaderna inte är möjlig. Handelsbanken eftersträvar på så sätt en affärsmodell som är oberoende av förändringar i konjunkturen.

Det restriktiva förhållningssättet till risk innebär att banken är en stabil och uthållig affärspartner till kunderna oavsett konjunktur eller marknadssituation. Det bidrar till både god riskhantering och att en hög servicenivå kan upprätthållas även när verksamheten och de marknader som banken verkar på utsätts för påfrestningar. Samma principer för bankens inställning till risk gäller i alla länder där banken är verksam.

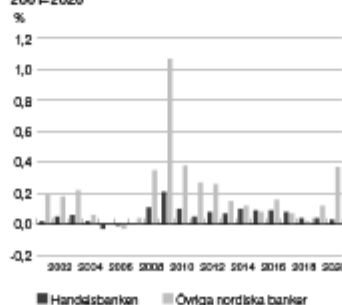
MOTSTÅNDSKRAFTIG RISKHANTERING

Handelsbanken har en stark kapital- och likviditetssituation. Banken har kontinuerlig tillgång till de finansiella marknaderna via sina kort- och långfristiga finansieringsprogram. Banken har en stor likviditetsreserv av hög kvalitet, vilket ger en hög motståndskraft mot eventuella störningar på de finansiella marknaderna. Group Treasurys likviditetsportfölj, som är en del av bankens likviditetsreserv, har en låg riskprofil och består främst av tillgodohavanden i centralbanker, statsobligationer och säkerställda obligationer. Därutöver finns ett mycket omfattande outnyttjat emissionsutrymme av säkerställda obligationer i Stadsbygghypotek. Likviditetsreserver hålls i alla för banken väsentliga valutor. Den totala likviditetsreserven täcker bankens likviditetsbehov i ett stressat scenario i mer än tre år helt utan tillgång till ny marknadsfinansiering. En bibehållen verksamhet kan upprätthållas under en betydande tid även i en extrem situation med stängda marknader för valutaväxling.

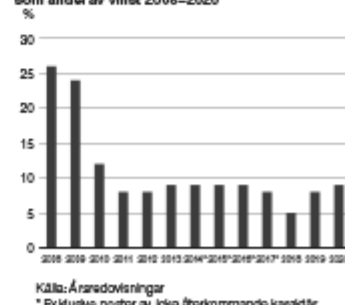
Bankens kapitalposition är fortsatt stark. Till detta har en god intjäning och låga kreditförluster under året bidragit.

Handelsbankens låga risktolerans, goda kapitalisering och starka likviditetssituation innebär att banken var väl rustad och kunde hantera de risker som uppstod under det första kvartalet till följd av covid-19-krisen. Likviditetssituationen var god under krisen men ökade löförsnyttjanden

Figur ÅR 1 Kreditförluster i procent av utlåning 2004–2020



Figur ÅR 2 Nettoresultat av finansiella transaktioner som andel av vinst 2008–2020



Källa: Årsredovisningar
* Exklusive poster av icke återkommande karaktär.

NOTER | KONCERNEN

Figur A.13 Risker i Handelsbanken

	Beskrivning
Kreditrisk	Kreditrisk definieras som risken att banken drabbas av ekonomisk förlust som följd av att bankens motparter inte kan fullfölja sina kontraktslästa förpliktelser.
Marknadsrisk	Marknadsriskerna härrör från pris- och volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna. Marknadsriskerna delas in i ränterisker, aktierisker, valutarisker och råvarurisker.
Likviditetsrisk	Likviditetsrisk är risken för att banken inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förtärlar, utan att drabbas av oacceptabla kostnader eller förluster.
Operativ risk	Operativ risk är risken för förluster till följd av icke ändamålsenliga eller misstänkade interna processer, mänskliga fel, felaktiga system eller externa händelser. Definitionen inkluderar legal risk.
Compliancerisk	Compliancerisk är risker förknippade med bristande regelbaserad. Med regelbaserad menas efterlevnad av förfordningar, lagar, myndigheters föreskrifter och allmänna råd, interna regler och god sed eller god standard avseende den tillförlitliga verksamheten.
Ersättningsrisk	Ersättningsrisk utgörs av risken för förlust eller annan skada som uppkommer till följd av ersättningsystemet.
Försäkringsrisk	Försäkringsrisk är risken i en försäkrings utfall, som beror på den försäkrades livslängd eller hälsa.

och allmän kreditförfallorfrågan innebär en nettoförbrukning av likviditet. Sedan det andra kvartalet har situationen återgått till det normala med goda reserver för att kunna hantera svåra marknadsförutsättningar. Kreditförlusterna under året har varit mycket begränsade och ej påverkat kapital- eller likviditetssituationen. Till följd av covid-19-krisen gör banken särskilda stress-tester och följer noga olika indikatorer som uppföljning av marknadsläget för att tidigt kunna agera om situationen försämrats igen.

RISKORGANISATION

Handelsbankens styrelse har det övergripande ansvaret för bankens riskhantering och fastställer interna regler för detta. Styrelsen fastställer policydokument och CEO fastställer riktlinjer som beskriver hur olika risker ska hanteras och rapporteras. För beskrivning av ramverk för kontroll hänvisas till Handelsbankens Bolagsstyrningsrapport, sidorna 66–83.

Styrelsen har inrättat en kreditkommitté (bestående av CEO och chefen för Group Credits samt ett antal styrelseledamöter) samt en UK-kommitté (bestående av styrelsens ordförande, CEO och valda medlemmar ur centralstyrelsen och koncernledningen) för uppföljning av verksamheten i Storbritannien.

Styrelsen har även inrättat ett antal utskott som bland annat är beredande i frågor som ska beslutas av styrelsen. Följande utskott finns: Riskutskottet, Revisionsutskottet och Ersättningsutskottet. Risk-, revisions- och ersättningsutskotten består endast av styrelseledamöter. Riskforum är ett internt forum för uppföljning av riskhantering inom olika områden och är rådgivande till CEO. För beskrivning av kommittéerna och utskottens arbete samt riskforum hänvisas till Handelsbankens Bolagsstyrningsrapport på sidorna 66–83. Därutöver har banken kommittéer som också är rådgivande till CEO: Riskkommittén, Likviditetskommittén, Kapitalkommittén och Värderingskommittén.

RAPPORTERING OCH UPPFÖLJNING AV RISK- OCH KAPITALSITUATION

Koncernens risker har under 2020 rapporterats av CRO minst kvartalsvis till CEO och riskutskottet samt årlvis till styrelsen. Rapporten har även föredragits i Riskforum. Koncernrisk-

rapporterna innehåller CRO:s bedömning av koncernens väsentliga risker och en bedömning av om det finns väsentliga brister i verksamheten att rapportera och åtgärda. I förekommande fall innehåller rapporten också förslag till åtgärder och uppföljning av tidigare rapporterade risker och brister. Koncernriskrapporterna omfattar framtidsbedömningar och ska möjliggöra en bedömning av om Handelsbanken uppfyller den riskstrategi och den risktolerans som styrelsen uttalat. Koncernriskrapporten utformas i enlighet med styrelsens Policy för riskkontroll.

Riskkommittén, med CRO som ordförande, är rådgivande till CEO och CFO och har sammanträtt elva gånger under 2020. På Riskkommitténs möten görs en fördjupad uppföljning av koncernens aktuella risksituation, potentiella risker och åtgärder för kreditrisker, finansiella risker, operativa risker och risker i försäkringsrörelsen. Övriga riskslag kommenteras vid behov. Indikatorer för återhämtningsplanen övervakas och eventuella åtgärder inklusive behovet av dem diskuteras. Vidare följs likviditetsläget för finansiella risker upp för hela koncernen. Kapitalsituationen, utrymmande av marknadsrisker samt likviditetssituationen rapporteras till styrelsen vid varje ordinarie styrelsemöte.

Kreditrisksituationen, inklusive motparterisker, rapporteras periodiskt i bankens styrelse och i dotterbolagsstyrelserna, med avseende på bland annat volymutveckling, riskrapporterade krediter och information från bankens kreditriskmodeller. Regionbankens styrelserna följer löpande kreditrisksituationen. Varje kvartal sammanställer respektive kontor en kreditriskrapport, det vill säga en genomgång av kontorets samtliga kreditengagemang där kredittagarens återbetalningsförmåga försämrats och bankens säkerheter är eller befäras vara otillräckliga. Vidare rapporterar Group Risk Control kreditriskutvecklingen i banken månadsvis till CEO, CFO, Chief Credit Officer samt kreditchefer i koncernen.

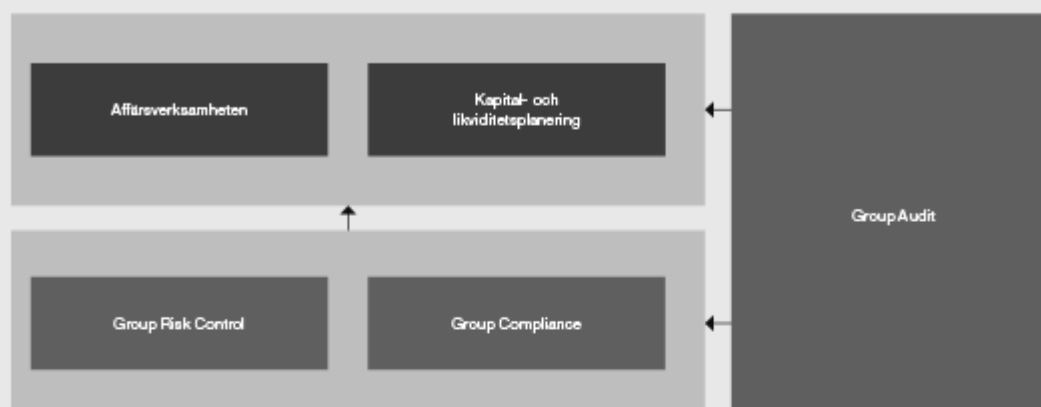
Likviditetsriskerna för marknadsrisker och likviditetsrisker sammanställs och kontrolleras dagligen av Group Risk Control. Likviditetsriskerna rapporteras omgående till den som har beslutat om limiterna. Likviditetsrisken sammanställs av

Group Risk Control och rapporteras dagligen till CFO, veckovis till CEO samt till styrelsen vid varje ordinarie styrelsemöte. Likviditetskommittén, med Head of Group Treasury som ordförande, är rådgivande till CEO och CFO och sammanträder inför varje ordinarie styrelsemöte och i övrigt vid behov. Där föredras den aktuella likviditetssituationen, resultat av stress-tester, scenarionalyser och annan information som är relevant för bedömningen av koncernens likviditetssituation.

Operativa risker och inträffade incidenter rapporteras löpande från kontor och avdelningar i hela koncernen till riskkontrollen som bevakar dem. Group Risk Control rapporterar i sin tur operativa risker och inträffade incidenter till Riskkommittén och till styrelsens riskutskott. Årligen utvärderas risker i ersättningsystemet och rapportering sker till styrelsens ersättningsutskott och till riskutskottet. Rapporteringen av operativa risker inkluderar information om väsentliga händelser, större förluster, viktiga proaktiva åtgärder och en aggregerad riskbedömning på koncernnivå. Utöver detta följer Group Risk Control upp att beslutade åtgärder genomförs. Compliancerisker har under 2020 rapporterats av Chief Compliance Officer minst kvartalsvis till CEO, halvårsvis till styrelsens riskutskott och årlvis till styrelsen. Rapporten har även föredragits i Riskforum.

Bankens kapitalbehov rapporteras veckovis till CFO och CEO och minst kvartalsvis till styrelsen. I händelse av att något gränsvärde passerar eller om Head of Group Capital Management eller CFO av annan anledning bedömer det som lämpligt, ska förslag till lämpliga åtgärder presenteras till CEO. Utifrån ett medel- och långsiktigt perspektiv sammanfattas kapital-situationen kvartalsvis i Kapitalkommittén. Group Capital Management gör en fullständig uppdatering av kapitalprognosen kvartalsvis eller när signifikant ändrade förutsättningar uppstår.

Figur ÅR4 Handelsbankens riskhantering och riskkontroll

**Affärsverksamheten**

Banken präglas av en tydlig ansvarsfördelning där varje del av affärsverksamheten bär det fulla ansvaret för sina affärer och för att samtliga risker hanteras. Den som bäst känner kunden och marknadsförutsättningarna har bäst möjlighet att bedöma risken och kan också på ett tidigt stadium agera om problem uppkommer. Varje kontor och varje resultatansvarig enhet bär ansvaret för att hantera uppkomna problem. Detta skapar incitament till hög riskmedvetenhet och till försiktighet i affärsverksamheten.

Decentraliserade kreditbeslut förutsätter dock en gemensam kreditprocess som Group Credits ansvarar för. Group Credits bereder de kreditlimitar som styrelsen eller den kreditkommitté som styrelsen inrättat fattar beslut om. Group Credits säkerställer också att kreditbedömningarna i hela koncernen sker på ett enhetligt sätt och att kreditgivning utförs i enlighet med den kreditpolicy styrelsen har beslutat.

Affärsverksamhetens finansiella risker uppstår och hanteras huvudsakligen i Group Treasury, i Handelsbanken Capital Markets och i Handelsbanken Liv. Handelsbanken har en helt decentraliserad affärsmodell, men all finansiering och likviditetshandling i koncernen är centraliserad till Group Treasury. De marknadsrisker som uppstår för att möta kundens efterfrågan på finansiella instrument med exponering mot ränte-, valuta-, aktie- eller råvarumarknader hanteras i Handelsbanken Capital Markets. Operativa risker förekommer i all verksamhet inom banken, och ansvaret för att hantera operativa risker är en integrerad del av chefsansvaret på alla nivåer i verksamheten. Hantering av marknadsrisker, hantering av bankens operativa risker samt finansierings- och likviditetshandling styrs av policyer fastställda av styrelsen.

Stresstester – kapital- och likviditetsplanering

Om Handelsbanken skulle råka ut för allvarliga förluster, håller banken ett kapital och en likviditetsreserv som säkerställer bankens fortlevnad under såväl normala tider som efter extrema händelser. Det är kapital-situationen bedömd enligt det legala kapitalkravet som, tillsammans med beräkningen av ekonomiskt kapital och stresstester, utgör grunderna i kapitalplaneringen. Likviditetsplaneringen säkerställer att koncernen alltid klarar sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, även i en situation av finansiell stress där uppläning på de finansiella marknaderna inte är möjlig. Genom stresstester och scenarionalyser identifieras vilka åtgärder som behöver förberedas eller genomföras för att kapitalseringen och likviditetssituationen vid varje tidpunkt ska vara tillfredsställande samt vilka åtgärder som krävs för att återställa koncernens kapital och likviditet i en återhämtningssituation efter en allvarlig kris.

Group Risk Control och Group Compliance

Risikontrollen i Handelsbanken är oberoende i förhållande till de funktioner som ska kontrolleras. Risikontrollen kontrollerar att alla väsentliga risker som koncernen exponeras för, eller kan förväntas komma att exponeras för, identifieras och hanteras av berörda funktioner. Risikontrollen övervakar och kontrollerar koncernens riskhantering, och att relevanta interna regler, processer och rutiner för riskhantering följs samt att riskerna är inom den av centralstyrelsen fastlagda risktoleransen och att ledningen har tillförlitliga underlag för hur risker ska hanteras vid kritiska situationer. I ansvaret ingår också att kontrollera limiterna för marknads-

likviditets-, och motpartsrisker samt operativa risker och utvärdera överträdelser av dessa limiterna samt kreditlimiterna. Risikontrollen ska även utvärdera den riskanalys som verksamheten gör av nya och väsentligt-ändrade produkter och tjänster, marknader, processer och IT-system samt vid verksamhets- eller organisationsförändringar av väsentlig karaktär.

Behovet av uppföljning av risk- och kapital-situationen ökar med graden av decentraliserade affärsbeslut. Risikontrollen är således en naturlig och viktig del av bankens affärsmodell. Group Risk Control ansvarar för att löpande rapportera den aktuella risk-situationen i koncernen till bankens ledning och styrelse och för att risker mäts på ett ändamålsenligt och enhetligt sätt.

Risker inom regel efterlevnad och risker relaterade till rutiner och riktlinjer för att motverka penningtvätt och terrorism kontrolleras av Group Compliance. Compliance är oberoende i förhållande till affärsverksamheten och organisatoriskt skild från de funktioner och områden som ska kontrolleras. Compliance verkar aktivt för god regel efterlevnad och att Handelsbankens låga tolerans för compliance-risker uppfylls. Compliance identifierar, övervakar och kontrollerar risker och brister i förhållande till regel efterlevnaden, lämnar rekommendationer, ger råd och stöd till bankens personal, ledning och enheter i frågor om regel efterlevnad och rapporterar till ledning och styrelse om regel efterlevnad.

NOTER | KONCERNEN

STYRELSENS RISKDEKLARATION OCH RISKFÖRKLARING

Styrelsen har beslutat om följande riskdeklaration och riskförklaring.

Riskdeklaration:

Handelsbanken har tillfredsställande arrangemang för riskhantering vilka är ändamålsenliga i förhållande till bankens affärs mål, övergripande riskprofil och den riskstrategi som styrelsen beslutat om för verksamheten.

Riskförklaring:

Handelsbankens affärs mål är att ha bättre lönsamhet än genomsnittet för jämförbara konkurrenter på hemmamarknaderna. Målet ska främst nås genom nöjdare kunder och lägre kostnader än konkurrenterna. Handelsbanken är en bank med stark lokal förankring och ett decentraliserat arbetssätt.

Bankens övergripande riskprofil är att risker ska hållas låga. Koncernen ska vara väl kapitaliserad i förhållande till riskerna, uppfylla de krav som resolutionsmyndigheter ställer och hålla likvida tillgångar för att klara sina betalningsförpliktelser, även i situationer av finansiell stress på kort och lång sikt. Riskstrategin och bankens övergripande riskprofil understödjer Handelsbankens strävan att ha en affärsmodell som är oberoende av förändringar i konjunkturykeln.

Banken har och ska ha låga kreditrisker. Detta uppnås bland annat genom den starka

lokala förankringen och de nära kundrelationerna. Krediternas kvalitet får aldrig åsidosättas för att nå högre volym eller högre marginal. Banken är selektiv i sitt kundurval med krav på att kredittagare har en god återbetalningsförmåga. Till följd av detta har kreditportföljen en tydlig koncentration till riskklasser där sannolikheten för förlust är låg. Det konsekventa tillvägagångssättet återspeglas i bankens över tid låga kreditförlustnivåer, vilka för år 2020 uppgick till 0,03 procent (0,04) i relation till utlåningen.

För att säkerställa att banken är väl kapitaliserad i förhållande till riskerna och har en god likviditetssituation, fastställer styrelsen bankens risktolerans för kapitalisering och likviditet. När risktoleransen för kapitalisering beslutas, ställs kapitalmålet dels i relation till de lagstadgade kraven, dels i relation till Handelsbankens bedömda kapitalbehov utifrån bankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC), som i ett mått fångar koncernens samlade risker. Risktoleransen för bankens likviditetsrisk beslutas dels genom krav på att banken under stressade förhållanden ska ha tillräcklig likviditetsreserv i form av likvida och pantsättningsbara tillgångar samt likviditetskapande åtgärder för att under fastställda tidsperioder kunna fortsätta sin rörelse, dels genom krav på det

ackumulerade nettot mellan in- och utgående kassaflöden i olika tidsintervall.

Styrelsen har fastställt att kärmpriärkapitalrelationen under normala förhållanden ska uppgå till mellan 1 och 3 procentenheter över det av Finansinspektionen kommunicerade samlade kärmpriärkapitalbehovet (Bankens bedömning av kärmpriärkapitalkravet vid utgången av 2020 är 13,8 procent, givet att Finansinspektionens vägledning inom ramen för Pelars 2 på 1 procent beaktas), och att kvoten mellan AFR (Available Financial Resources) och EC ska överstiga 120 procent. Vid utgången av 2020 uppgick kärmpriärkapitalrelationen till 20,3 procent (18,5) och kvoten mellan AFR och EC till 324 procent (314). Styrelsen har fastställt målet att banken ska ha ackumulerade positiva nettokassaflöden under minst ett år med beaktande av likviditetsreserven och under antagandet att 10 procent av den lösa tidsbundna inlåningen från hushåll och företag försvinner under första månaden. Handelsbankens samlade likviditetsreserv och likviditetskapande åtgärder innebär att likviditetsbehovet täcks i mer än tre år under dessa stressade förhållanden. Bankens riskprofil är i enlighet med den riskstrategi som fastlagts av styrelsen.

KREDITRISK

Kreditrisk definieras som risken att banken drabbas av ekonomisk förlust som följd av att bankens motparter inte kan fullfölja sina kontraktsskyldigheter förpliktelser.

KREDITRISKSTRATEGI

Kreditprocessen i Handelsbanken utgår från övertygelsen att en decentraliserad organisation med lokal närvaro ger hög kvalitet i kreditbesluten. Banken är en relationsbank där kontoren håller löpande kontakt med kunden, vilket ger en djup kunskap om varje enskild kund och en kontinuerligt uppdaterad bild av kundens ekonomiska situation.

Handelsbanken är inte en massmarknadsbank utan är selektiv i kundurvalet, vilket innebär att kunderna ska ha en hög kreditkvalitet. Kvalitetskravet åsidosätts aldrig till förmån för högre

kreditvolym eller för att erhålla högre avkastning. Banken undviker även att delta i finansiering där det förekommer komplicerade kundkonstellationer eller komplexa och svårförståeliga affärsupplägg.

När banken bedömer kreditrisken hos en viss kund bedöms i första hand kredittagarens återbetalningsförmåga. Enligt bankens kreditpolicy kan en svag återbetalningsförmåga aldrig kompenseras med att banken erbjuder goda säkerheter. Säkerheter kan dock reducera bankens förlust väsentligt om kredittagaren inte kan fullfölja sina förpliktelser. Krediter ska därför normalt vara betryggande säkerställda.

Det lokala kontorets nära kontakt med kunden innebär också att kontoret snabbt kan identifiera och agera vid eventuella problem. Detta medför att banken i många fall kan agera snabbare än vad som hade varit möjligt vid en mer centraliserad hantering av problemkrediter. Kontoret har också det fulla ekonomiska ansvaret för kreditgivningen. Kontoret hanterar således de problem som uppstår när en kund brister i betalningsförmåga och kontoret bär eventuella kreditförluster. Vid behov får det lokala kontoret stöd från det regionala huvudkontoret och från centrala avdelningar. Bankens arbetssätt leder

tilt att alla som gör affärer förknippade med kreditrisk tillägnar sig ett väl etablerat synsätt för denna typ av risk. Detta synsätt utgör en viktig del av bankens kultur. De beskrivna arbets- och synsätten är viktiga anledningar till att banken över en lång tid redovisat mycket låga kreditförluster.

KREDITORGANISATIONEN

I Handelsbankens decentraliserade organisation bär varje kundansvarigt kontor det fulla kreditansvaret. Kund- och kreditansvar ligger på kontorschefen eller de medarbetare på det lokala kontoret som kontorschefen utser.

I Handelsbankens decentraliserade organisation ingår också att underlaget för kreditbeslut alltid utarbetas av det kreditansvariga kontoret oavsett om det slutgiltiga beslutet fattas på kontoret, på regional nivå, i styrelsens kreditkommitté eller av styrelsen. Underlaget för kreditbeslut innehåller bland annat allmän och ekonomisk information om kredittagaren, en bedömning av dennes återbetalningsförmåga, krediter och kreditlikor samt värdering av säkerheter.

För regionbanksstyrelse, styrelsens kreditkommitté och styrelsen avser beslutet

kreditlimitens totalbelopp och eventuellt utrymme för blankokrediter. För kredittagare vars sammanlagda krediter överstiger 5 miljoner kronor fattas kreditbeslutet i form av kreditlimit. Vid krediter till privatpersoner mot säkerhet i bostad inträder limitplikten för belopp över 12 miljoner kronor. Krediter till bostadsrättsföreningar mot säkerhet i bostadsfastighet blir limitpliktiga för belopp över 12 miljoner kronor.

Beviljade kreditlimiten gäller i normalfallet ett år, under vissa förutsättningar kan kreditlimiten till bostadsrättsföreningar gälla maximalt tre år. Vid förlängning av kreditlimiten är kravet på beslutsordning detsamma som för en ny kreditlimit.

Kontorschefer och de flesta medarbetare på kontor har personliga beslutanderätter som gör det möjligt för dem att besluta om krediter till de kunder som de ansvarar för. Maximal beslutanderätt för ovanstående har under året höjts.

Vid beslut om större kreditlimiten finns även beslutsinstanser på regional och central nivå. Varje högre beslutanderätt tillför ytterligare kreditkompetens. På varje beslutanderätt finns rätt att avstyrka kreditlimiten inom såväl den egna beslutanderätten som kreditlimiten som annars skulle beslutas på högre beslutanderätt. Samtliga kreditbeviljare i hela beslutsprocessen, oavsett nivå, måste vara eniga för att ett positivt kreditlimitbeslut ska komma till stånd. Finns minsta tveksamhet hos någon kreditbeviljare avslås kreditansökan. De största krediterna har beretts av Group Credits och beslutas av styrelsen eller den kreditkommitté

som styrelsen inrättat. Utan tillstyrkan av kreditansvarig kontorschef kan dock ingen kreditansökan processas vidare i banken, förutom de kreditbeslut som fattas genom maskinella modeller. Sådana maskinella modeller ska godkännas av verkställande direktören.

Beslutsgången när det gäller krediter och kreditlimiten illustreras av figur ÅR:5 Kreditprocessen och beslutanderätter i Handelsbanken. I figuren visas även procentuell andel av antal kreditlimitbeslut och beslutade belopp fördelade på olika beslutanderätter.

I Handelsbankens decentraliserade organisation, där en stor andel av antalet kredit- och kreditlimitbeslut fattas på de enskilda kontoren, är det viktigt att det finns en väl fungerande eftergranskningsprocess som säkerställer att besluten håller en hög kvalitet. Kontorschefen kvalitetsgranskar medarbetarnas beslut och regionala kreditavdelningen kvalitetsgranskar beslut fattade av kontorschefer.

Syftet med kvalitetsgranskningen är att säkerställa att bankens kreditpolicy och interna instruktioner efterlevs, att kreditkvaliteten upprätthålls och att kredit- och kreditlimitbeslut viktiga om gott kreditomdöme och sund affärsmässighet. En motsvarande granskning av kvaliteten utförs även av kreditlimitbeslut som fattas av högre beslutanderätter i banken. Kreditlimiten som beviljas av regionala kreditkommittéer och regionbanksstyrelser granskas av Group Credits, som även bereder och granskar kreditlimiten som beslutas av styrelsen eller den kreditkommitté som styrelsen inrättat.

Ecster

Dotterbolaget Ecster AB arbetar med att erbjuda betalösningar till utvalda sälj företag över hela Sverige. Finansieringstypens karaktär kräver att snabba och korrekta kreditbesked kan levereras årets alla dagar, dygnet runt, vilket innebär att merparten av besluten fattas av maskinella modeller. För de beslut som inte kan hanteras genom de maskinella modellerna görs manuella beslut där medarbetarna har personliga beslutslimiten. Vid beslut om större kreditlimiten fattas besluten i Ecsters kreditkommitté eller i styrelsen. Vid propäer om större engagemang och kunden är en befintlig Handelsbankenkund fattas beslut på det ansvariga kontoret eller i berörd instans som gäller i banken.

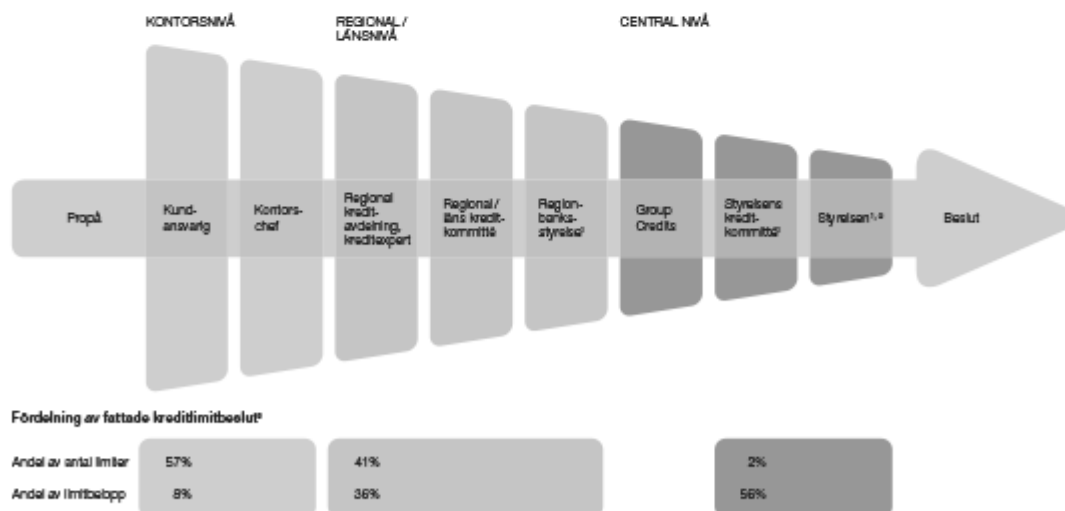
KREDITPORTFÖLJEN

Bankens kreditportfölj presenteras i detta avsnitt med utgångspunkt från sammanställda balansräkningsposter. I avsnittet Kapitalkrav för kreditrisker presenteras kreditportföljen med utgångspunkt från CAR.

Med utgångspunkt från koncernbalansräkningen kategoriseras krediter i utlåning till allmänhet respektive utlåning till kreditinstitut samt poster utanför balansräkningen fördelade på produkttyp. När begreppet exponering används avses summan av poster i och utanför balansräkningen. Utlåning till allmänheten är den dominerande posten. Se tabell ÅR:6 Kreditexponeringar Geografisk fördelning.

Handelsbanken eftersträvar att dess historiskt låga kreditförlustnivå i förhållande till andra

Figur ÅR:5 Kreditprocessen och beslutanderätter i Handelsbanken



¹ Beslutet avser kreditlimitens totalbelopp och eventuellt utrymme för blankokrediter.

² Beslutet endast om ändrat badöms värde av särskilt eller allmänt intresse samt krediter till styrelseledamöter och vissa ledande befattningshavare.

³ Exklusive stat- och banklimiten som beslutas på central nivå.

NOTER | KONCERNEN

Tabel ÅR6 Kreditexponeringar Geografisk fördelning

Kreditexponeringar Geografisk fördelning 2020 mkr		Sverige	Stor- britannien	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Poster i balansräkningen									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		84 525	100 280	18 026	217	114 600	11 035	68 959	397 642
Övrig utlåning till centralbanker	Nor K13	-	1094	2862	17 370	-	-	-	21 326
Utlåning till övriga kreditinstitut	Nor K14	19 165	391	451	52	64	155	1 642	21 920
Utlåning till allmänheten	Nor K15	1 458 989	232 246	260 374	100 634	141 639	63 905	11 825	2 269 612
Betalningsbara stats skuldförbindelser mm	Nor K16	98 353	-	-	18	-	-	762	99 133
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor K16	44 550	-	-	16	-	-	-	44 566
Derivatinstrument ¹	Nor K20	30 475	-	-	27	-	-	112	30 614
Summa		1738 067	334 011	281 713	118 334	256 308	75 065	83 900	2 884 813
Poster utanför balansräkningen									
Eventuallörpliktigheter	Nor K41	331 443	47 295	57 851	31340	35 546	7 503	32 340	543 319
varav ansvarsförbindelser		35 882	6 424	5 023	7 311	4 325	121	20 209	79 895
varav åtaganden		295 561	40 872	52 828	24 029	30 621	7 382	12 131	463 424
Summa		331 443	47 295	57 851	31 340	35 546	7 503	32 340	543 319
Summa poster i och utanför balansräkningen		2 067 500	381 307	339 564	149 674	291 840	82 568	116 240	3 428 132

Kreditexponeringar Geografisk fördelning 2019 mkr		Sverige	Stor- britannien	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Poster i balansräkningen									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		46 551	85 069	22 097	270	106 105	7 906	59 870	327 968
Övrig utlåning till centralbanker	Nor K13	183	1000	2881	15 483	-	-	-	19 547
Utlåning till övriga kreditinstitut	Nor K14	12 840	368	139	24	68	139	4 352	17 999
Utlåning till allmänheten	Nor K15	1 412 328	252 623	283 003	109 060	146 710	56 975	21 904	2 292 603
Betalningsbara stats skuldförbindelser mm	Nor K16	102 363	-	-	18	-	-	1006	103 387
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor K16	42 628	-	-	12	-	-	-	42 640
Derivatinstrument ¹	Nor K20	41 481	-	-	26	-	-	38	41 545
Summa		1 688 383	349 060	308 120	124 893	252 883	65 110	87 170	2 845 619
Poster utanför balansräkningen									
Eventuallörpliktigheter	Nor K41	292 239	52 027	65 670	31 778	38 090	7 766	47 283	534 853
varav ansvarsförbindelser		37 438	7 424	6 370	8 541	7 679	195	27 539	95 186
varav åtaganden		254 801	44 603	59 300	23 237	30 411	7 571	19 744	439 667
Summa		292 239	52 027	65 670	31 778	38 090	7 766	47 283	534 853
Summa poster i och utanför balansräkningen		1 980 622	401 087	373 790	156 671	290 973	72 876	134 453	3 380 472

Med geografisk fördelning avses del land där exponeringarna är redovisade.

¹ Avser summa positiva marknadsvärden. Om räntesligt hållbara nettningssavtal beaktas uppgår exponeringen till 15 768 mkr (29 522).

Tabel ÅR7 Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, Geografisk fördelning

Utlåning till allmänheten Geografisk fördelning 2020 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
Sverige	1 427 814	30 336	2 327	-182	-357	-949	1 458 989
Storbritannien	213 758	17 977	908	-59	-191	-147	232 246
Norge	245 560	13 933	1 371	-39	-116	-335	260 374
Danmark	93 530	6 953	523	-46	-75	-251	100 634
Finland	133 982	6 536	1 781	-49	-91	-520	141 639
Nederländerna	63 353	583	-	-8	-3	-	63 905
Övriga länder	11 686	86	92	-2	-1	-36	11 825
Summa	2 189 683	78 384	7 002	-385	-834	-2 238	2 269 612

Utlåning till allmänheten Geografisk fördelning 2019 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
Sverige	1 388 088	22 960	3 620	-131	-169	-2 040	1 412 328
Storbritannien	252 905	9 094	949	-78	-172	-172	252 623
Norge	272 812	9 264	1 625	-48	-51	-599	283 003
Danmark	105 365	3 123	986	-42	-43	-329	109 060
Finland	139 721	6 160	1 447	-51	-99	-468	146 710
Nederländerna	56 717	266	-	-7	-1	-	56 975
Övriga länder	21 053	802	204	-3	-3	-159	21 904
Summa	2 236 671	61 609	8 831	-360	-441	-3 767	2 292 603

NOTER | KONCERNEN

banker ska bestå och därmed bidra till Handelsbankens lönsamhetsmål samt till att bibehålla en god finansiell ställning. Banken strävar vid kreditgivning aldrig efter att uppnå bestämda volymer eller marknadsandelar inom olika branscher eller dylikt, utan banken ska vara selektiv i kundurvalet och kreditkunderna ska vara av hög kvalitet. Kvalitetskravet får aldrig åsidosättas för att nå hög kreditvolym. Det här framgår av bankens kreditpolicy som årligen fastställs av styrelsen.

År 2020 har dominerats av den globala covid-19 pandemin. Banken noterade en tillfälligt ökad efterfrågan vad gäller företagsfinansiering under årets första kvartal. På europeisk nivå

har reglering som syftar till att hantera de finansiella påfrestandena av covid-19 introducerats.

Handelsbanken granskar kontinuerligt kreditportföljens kvalitet i syfte att identifiera och begränsa nedskrivningsbehov. Covid-19 pandemin har i sig inte förändrat bankens arbete med kreditrisker. För mer information om hanteringen av effekterna av covid-19 se rapporten Risk and Capital (Information according to Pillar 3) Credit risk - Introduction avseende amorteringslättnader och statliga garantier samt not K1, K2 och K10 vad gäller åtgärder i enlighet med IFRS9.

Säkerheter

I bankens kreditpolicy framgår att krediter normalt ska vara betryggande säkerställda. En svag återbetalningsförmåga kan aldrig kompenseras med att banken erbjuder goda säkerheter. Säkerheter kan dock reducera bankens förlust väsentligt om kredittagaren inte kan fullfölja sina förpliktelser.

Banken begränsar kreditrisken genom att bland annat ta in säkerheter från kunderna. De främsta sätten att reducera kreditrisk i banken är pantsättning av fast egendom såsom bostadsfastigheter och övriga fastigheter, företagshypotek, garantier (inklusive borgen)

Tabell ÅR8 Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelad per sektor och bransch

Utlåning till allmänheten Fördelad per sektor och bransch 2020 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Privatpersoner	1 149 125	18 737	2 236	-155	-169	-756	1 169 018
varav hypotekslån	952 272	12 734	601	-37	-28	-56	976 186
varav övriga lån säkerställda i bostad	145 738	4 330	591	-13	-19	-139	150 438
varav övriga lån till privatpersoner	40 415	1 673	1 044	-105	-122	-567	42 344
Bostadsrättsföreningar	248 889	1 405	98	-6	-3	-43	250 340
varav hypotekslån	225 561	678	18	-4	-1	-7	226 245
Fastighetsförvaltning	600 483	33 375	1 674	-96	-267	-328	634 841
Tillverkningsindustri	22 332	3 747	174	-16	-21	-107	26 109
Handel	17 894	2 206	379	-17	-59	-96	20 307
Hotell- och restaurangverksamhet	4 584	5 904	37	-10	-145	-9	10 261
Person- och godstransport till sjöss	2 304	2 077	1 162	-1	-6	-288	5 338
Övrig transport och kommunikation	9 025	601	102	-9	-24	-80	9 615
Byggnadsverksamhet	15 655	1 977	166	-19	-41	-86	17 652
Elektricitet, gas och vatten	12 946	754	3	-3	-10	-1	13 689
Jordbruk, jakt och skogsbruk	20 223	1 312	61	-12	-20	-42	21 522
Övrig serviceverksamhet	14 616	1 491	318	-18	-43	-211	16 153
Holding-, investment- och försäkringsbolag, fonder m.m.	46 772	2 011	155	-16	-14	-108	48 900
Stat och kommun	7 086	91	-	0	-1	-	7 176
Varav Årsgälden	474	-	-	-	-	-	474
Övrig företagsutlåning	17 659	796	437	-7	-11	-83	18 791
Summa	2 180 693	78 384	7 002	-386	-834	-2 238	2 260 612

Utlåning till allmänheten Fördelad per sektor och bransch 2019 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Privatpersoner	1 130 885	19 804	2 301	-133	-119	-759	1 151 979
varav hypotekslån	924 628	13 901	666	-40	-34	-49	939 072
varav övriga lån säkerställda i bostad	160 282	4 159	575	-14	-17	-155	164 830
varav övriga lån till privatpersoner	45 275	1 744	1 060	-79	-68	-555	48 077
Bostadsrättsföreningar	243 357	1 825	102	-7	-4	-12	245 261
varav hypotekslån	210 053	709	35	-4	0	-10	210 783
Fastighetsförvaltning	630 825	14 738	1 746	-104	-115	-336	646 754
Tillverkningsindustri	25 801	3 368	1 232	-11	-36	-1215	29 199
Handel	26 354	2 228	171	-15	-26	-115	28 597
Hotell- och restaurangverksamhet	8 425	418	20	-8	-7	-7	8 841
Person- och godstransport till sjöss	5 220	56	1 616	-1	-3	-406	6 392
Övrig transport och kommunikation	9 893	739	96	-5	-10	-79	10 634
Byggnadsverksamhet	17 307	1 798	262	-14	-19	-213	19 121
Elektricitet, gas och vatten	17 148	2 300	8	-3	-10	-8	19 435
Jordbruk, jakt och skogsbruk	17 679	1 491	91	-8	-14	-36	19 203
Övrig serviceverksamhet	18 943	1 217	349	-14	-23	-148	20 324
Holding-, investment- och försäkringsbolag, fonder m.m.	57 044	1 051	145	-16	-13	-111	58 100
Stat och kommun	9 773	164	-	-1	0	-	9 936
Varav Årsgälden	-	-	-	-	-	-	-
Övrig företagsutlåning	18 017	472	632	-20	-42	-232	18 827
Summa	2 236 671	81 669	8 831	-380	-441	-3 767	2 292 603

NOTER | KONCERNEN

och användning av nettningsavtal (se vidare Motpartsriser).

Grundprincipen vid fastighetsfinansiering är att krediter ska vara säkerställda med pant i fastigheter. För exponeringar med fastigheter som säkerhet beräknas en belåningsgrad, Loan To Value (LTV), genom att dividera kreditexponeringen med säkerhetens marknadsvärde. Banken följer interna rekommendatio-

ner och externa regelverk som bland annat begränsar hur mycket som är möjligt att låna med fastighet som säkerhet. För mer information gällande belåningsgrad, se rapporten Risk and Capital (Information according to Pillar 3), avsnittet Credit risk – Loan-to-value ratio for property lending.

Säkerheternas värde kontrolleras årligen och baseras på ett uppskattat marknadsvärde. Om

marknadsvärdet bedöms ha sjunkit och värdet på panten har försämrats sker kontroll oftare. Bankens instruktioner avseende säkerheter har inte förändrats efter införandet av IFRS 9. Då det som regel blir aktuellt att ta säkerheter i anspråk först sedan kredittagaren drabbats av allvariga betalningssvårigheter inriktas värderingen av säkerheter på det värde säkerheterna förväntas ha vid en försäljning under gynnsamma

Tabel A99 Utlåning till allmänheten som är föremål för nederkrivningsprövning, geografisk fördelning per sektor och bransch

Utlåning till allmänheten Geografisk fördelning per sektor och bransch 2020 mkr	Sverige	Stor- britannien	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Privatpersoner	870 056	71 836	99 217	61 620	41 037	18 550	6 702	1 160 018
varav hypotekslån	836 966	-	72 781	47 767	18 672	-	-	976 186
varav övriga lån säkerställda i bostad	6 015	68 506	24 621	10 004	17 436	17 833	6 003	150 488
varav övriga lån privatpersoner	27 075	3 330	1 745	3 849	4 329	7 717	699	42 344
Bostadsrättsföreningar	191 168	-	21 800	872	36 500	-	-	250 340
varav hypotekslån	184 697	-	21 235	-	20 313	-	-	226 245
Fastighetsförvaltning	269 765	138 246	113 522	23 290	44 530	43 230	2 258	634 841
Tillverkningsindustri	9 856	1 638	3 038	6 543	1 694	1 008	2 132	26 109
Handel	12 414	3 009	3 196	860	776	33	19	20 307
Hotell- och restaurangverksamhet	3 627	3 750	1043	1 705	40	6	-	10 261
Person- och godstransport till sjöss	1 572	20	1 965	3	1 778	-	0	5 338
Övrig transport och kommunikation	4 938	1234	1 530	211	1 090	611	1	9 615
Byggnadsverksamhet	7 250	2 403	6 622	547	812	18	0	17 652
Bakfisket, gas och vatten	5 791	278	3 132	51	4 337	100	0	13 689
Jordbruk, jakt och skogsbruk	19 405	1 374	271	305	148	8	11	21 522
Övrig serviceverksamhet	7 256	4 614	2 752	637	819	62	13	16 153
Holding-, investmant-, försäkringsbolag, fonder m.m.	37 887	2 463	1 293	3 236	3 199	246	476	48 800
Stat och kommun	2 302	-	289	7	4 578	-	-	7 176
Varav Årsgälden	474	-	-	-	-	-	-	474
Övrig företagsutlåning	15 702	1 181	704	657	301	33	213	18 791
Netto utlåning till allmänheten	1 458 989	232 248	280 374	100 834	141 839	83 906	11 825	2 280 612
varav total reservering för förväntade kreditförluster (Stag 1-3)	- 14 88	- 307	- 430	- 372	- 660	- 11	- 39	- 3 457
Brutto utlåning till allmänheten	1 460 477	232 643	280 884	101 006	142 299	83 916	11 884	2 273 069

Utlåning till allmänheten Geografisk fördelning per sektor och bransch 2019 mkr	Sverige	Stor- britannien	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Privatpersoner	834 052	82 096	105 047	64 429	42 514	16 819	7 082	1 151 979
varav hypotekslån	798 418	-	72 503	48 254	19 897	-	-	939 072
varav övriga lån säkerställda i bostad	6 423	77 089	30 504	11 186	17 275	16 191	6 162	164 830
varav övriga lån privatpersoner	29 211	4 947	2 040	4 989	5 342	628	920	48 077
Bostadsrättsföreningar	189 182	-	23 057	965	33 057	-	-	245 261
varav hypotekslån	174 378	-	22 003	-	14 402	-	-	210 783
Fastighetsförvaltning	258 326	153 096	125 524	22 978	44 707	37 706	4 417	646 754
Tillverkningsindustri	11 730	2 757	3 065	4 925	2 175	0	4 547	29 199
Handel	14 222	4 040	4 987	2 734	1 008	41	1565	28 597
Hotell- och restaurangverksamhet	2 501	4 083	269	1 931	50	7	-	8 841
Person- och godstransport till sjöss	2 464	69	1 607	346	1 906	-	-	6 392
Övrig transport och kommunikation	5 897	944	740	1632	1 396	22	3	10 634
Byggnadsverksamhet	7 522	3 193	6 870	530	987	19	-	19 121
Bakfisket, gas och vatten	6 483	378	4 719	60	6 550	105	1140	19 435
Jordbruk, jakt och skogsbruk	16 274	1 998	308	399	181	31	12	19 203
Övrig serviceverksamhet	7 640	5 829	3 420	1 104	1 384	738	209	20 324
Holding-, investmant-, försäkringsbolag, fonder m.m.	40 533	2 632	1 921	6 227	3 356	1 392	2 039	58 100
Stat och kommun	2 589	-	328	2	7 017	-	-	9 936
Varav Årsgälden	-	-	-	-	-	-	-	-
Övrig företagsutlåning	13 913	1 568	1 141	798	422	95	890	18 627
Netto utlåning till allmänheten	1 412 328	282 823	283 003	100 080	148 710	86 976	21 904	2 292 803
varav total reservering för förväntade kreditförluster (Stag 1-3)	- 2 340	- 325	- 628	- 474	- 678	- 8	- 165	- 4 568
Brutto utlåning till allmänheten	1 414 668	282 948	283 701	100 474	147 328	86 983	22 069	2 297 171

NOTER | KONCERNEN

omständigheter i samband med en obeståndssituation.

Vid långfristiga kreditåtaganden utan säkerhet till företag avtalar banken ofta med kunden om särskilda kreditvillkor som ger rätt till omförhandling eller uppsägning vid ogynnsam utveckling.

Under speciella omständigheter kan banken köpa kreditderivat eller finansiella garantier som

kreditriskskydd för fordringar. Detta förekommer dock inte inom bankens ordinarie kreditgivning.

En mindre del av utlåningen till kreditinstitut är omvända repor. En omvänd repa är en återköpstransaktion som innebär att banken repa in (köper) räntebärande värdepapper eller aktier med särskild överenskommelse att värdepappret ska säljas tillbaka till ett visst pris vid en viss

tidpunkt. Omvända repor betraktas av banken som säkerställd utlåning.

Säkerheterna specificerade i tabellerna nedan är endast sådana som används i kapitalkravsberäkningen för kreditrisker.

Tabell ÅR10 Kreditexponeringar fördelad per säkerhet

Kreditexponeringar Fördelad per säkerhet 2020 mkr		Bostads- fastigheter ¹	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landning ²	Borgen ³	Finansiella säkerheter	Objekt säkerheter	Övriga säkerheter	Blanko	Summa
Poster i balansräkningen										
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker				397 642						397 642
Övrig utlåning till centralbanker	Nor K13			21 326						21 326
Utlåning till övriga kreditinstitut	Nor K14	-	-	365	978	-	-	-	20 577	21 920
Utlåning till allmänheten	Nor K15	1 681 764	347 413	49 766	7 475	13 270	24 383	11 123	134 418	2 269 612
Belåningsbara statskultförbindelser mm	Nor K16			99 133						99 133
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor K16	-	-	2 563	-	-	-	-	42 003	44 566
Derivatinstrument	Nor K20	972	1 688	2 047	81	15 013	-	-	10 813	30 614
Summa		1 682 736	349 101	672 842	8 534	28 283	24 383	11 123	207 811	2 884 813
Poster utanför balansräkningen										
Bventualförpliktelser	Nor K41	89 874	51 353	34 779	6 024	10 134	455	11 224	339 476	543 319
varav ansvarsförbindelser		4 482	1 528	1 883	2 860	1 201	-	1 024	66 917	7 9 895
varav åtaganden		85 392	49 825	32 896	3 164	8 933	455	10 200	272 559	463 424
Summa		89 874	51 353	34 779	6 024	10 134	455	11 224	339 476	543 319
Summa poster i och utanför balansräkningen		1 772 610	400 454	807 621	14 558	38 417	24 838	22 347	547 287	3 428 132

Kreditexponeringar Fördelad per säkerhet 2019 mkr		Bostads- fastigheter ¹	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landning ²	Borgen ³	Finansiella säkerheter	Objekt säkerheter	Övriga säkerheter	Blanko	Summa
Poster i balansräkningen										
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker				327 958						327 958
Övrig utlåning till centralbanker	Nor K13			19 547						19 547
Utlåning till övriga kreditinstitut	Nor K14	-	-	2 969	-	-	-	-	14 970	17 939
Utlåning till allmänheten	Nor K15	1 637 016	362 351	57 209	13 112	11 442	24 889	26 127	160 457	2 292 603
Belåningsbara statskultförbindelser mm	Nor K16			103 387						103 387
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor K16			2 982					39 658	42 640
Derivatinstrument	Nor K20	463	875	1 739	60	29 993	-	184	8 231	41 545
Summa		1 637 479	363 226	615 701	13 172	41 435	24 889	26 311	223 316	2 845 610
Poster utanför balansräkningen										
Bventualförpliktelser	Nor K41	64 146	41 183	26 675	3 714	4 769	515	22 063	371 788	534 853
varav ansvarsförbindelser		1 740	2 191	1 537	1 686	1 013	-	2 969	94 061	95 186
varav åtaganden		62 406	38 992	25 138	2 029	3 756	515	19 104	287 727	439 667
Summa		64 146	41 183	26 675	3 714	4 769	515	22 063	371 788	534 853
Summa poster i och utanför balansräkningen		1 701 625	404 409	642 376	16 886	46 204	25 404	48 374	595 104	3 380 472

¹ Inklusiva bostadsrätter.

² Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.

³ Inkluderar ej statsgarantier.

NOTER | KONCERNEN

Tabell ÅR11 Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelad per säkerhet

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivning fördelad per säkerhet 2020

		2020					
		Brutto			Reserver		
		Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
mkr							
Poster i balansräkningen							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		397 642	-	-	0	-	-
Stat, kommun och landsting ¹		397 642	-	-	0	-	-
Övrig utlåning till centralbanker	Not K73	21 328	-	-	-	-	-
Stat, kommun och landsting ²		21 326	-	-	-	-	-
Utlåning till övriga kreditinstitut	Not K74	21 911	17	-	-2	-6	-
Stat, kommun och landsting ²		362	3	-	-	-	-
Borgen ³		978	-	-	-	-	-
Blanko		20 571	14	-	-2	-6	-
Utlåning till allmänheten	Not K75	2189 688	76 384	7 002	-385	-834	-2 238
Bostadsfastigheter ¹		1 654 107	26 285	1 085	-109	-128	-376
Övriga fastigheter		312 690	34 317	1 214	-81	-369	-358
Stat, kommun och landsting ²		48 392	1 062	317	-2	-3	-
Borgen ³		7 237	239	8	-3	-6	-
Finansiella säkerheter		12 803	471	2	-3	-3	-
Objekt		22 644	1 815	45	-37	-66	-18
Övriga säkerheter		9 333	1 740	449	-21	-77	-301
Blanko		122 477	10 455	2 982	-129	-182	-1 185
Bekräftade statsskuldförbindelser mm	Not K76	1 181	-	-	0	-	-
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not K76	7 984	-	-	-2	-	-
Summa		2 639 707	76 401	7 002	-389	-840	-2 238
Poster utanför balansräkningen							
Beventuallförluster	Not K35, K47	301 268	10 743	433	-90	-157	-119
varav ansvarsförbindelser		77 829	1 910	156	-8	-16	-70
Bostadsfastigheter ¹		4 387	87	9	-5	-2	-3
Övriga fastigheter		1 380	136	12	-	-1	-5
Stat, kommun och landsting ²		1 762	101	20	-	-2	-
Borgen ³		2 780	78	1	-	-1	-
Finansiella säkerheter		1 088	107	6	-	-1	-
Objekt		-	-	-	-	-	-
Övriga säkerheter		819	179	25	-	-2	-14
Blanko		65 613	1 222	82	-3	-7	-48
varav åtaganden		37 343	8 833	277	-82	-141	-49
Bostadsfastigheter ¹		85 050	395	7	-5	-2	-
Övriga fastigheter		48 196	1 515	113	-5	-18	-4
Stat, kommun och landsting ²		32 753	144	-	-	-1	-
Borgen ³		2 874	290	-	-1	-6	-
Finansiella säkerheter		8 858	75	-	-1	-1	-
Objekt		445	10	-	-1	-	-
Övriga säkerheter		8 879	1 289	32	-11	-44	-8
Blanko		126 382	5 175	125	-58	-69	-37
Summa		301 268	10 743	433	-90	-157	-119
Summa poster i och utanför balansräkningen		3 039 973	87 144	7 435	-479	-997	-2 357

¹ Inklusiva bostadsrätter.² Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.³ Inkluderar ej statsgarantier.

NOTER | KONCERNEN

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivning fördelat per aktivitet 2019

		2019					
		Brutto			Reserver		
mkr		Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
Poster i balansräkningen							
Kassa och tillgodoavanden hos centralbanker		327 908	-	-	0	-	-
Stat, kommun och landsring ¹		327 958	-	-	0	-	-
Övrig utlåning till centralbanker	Not K7.3	10 547	-	-	-	-	-
Stat, kommun och landsring ¹		10 547	-	-	-	-	-
Utlåning till övriga kreditinstitut	Not K7.4	17 780	163	-	-1	-3	-
Stat, kommun och landsring ¹		2 900	71	-	-1	-1	-
Finansiella säkerheter		-	-	-	-	-	-
Blanko		14 850	122	-	0	-2	-
Utlåning till allmänheten	Not K7.5	2 236 871	51 669	8 831	-360	-441	-3 767
Bostadsfastigheter ²		1 607 259	28 552	1 774	-110	-129	-330
Övriga fastigheter		350 198	11 567	1 168	-93	-101	-388
Stat, kommun och landsring ¹		55 917	1 014	283	-2	-3	-
Borgen ³		12 839	199	80	-3	-3	-
Finansiella säkerheter		11 228	215	4	-3	-2	-
Objekt		23 514	1 403	40	-21	-28	-19
Övriga säkerheter		22 823	2 476	1 882	-17	-54	-983
Blanko		152 893	6 243	3 600	-111	-121	-2 047
Belåningsbara statsskuld förbindelser mm	Not K7.6	1 427	-	-	0	-	-
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not K7.6	4 963	-	-	-2	-	-
Summa		2 608 306	51 862	8 831	-363	-444	-3 767
Poster utanför balansräkningen							
Eventuella förpliktelser	Not K3.5, K4.1	400 479	7 985	712	-69	-68	-108
varav ansvarsförbindelser		92 087	2 593	496	-7	-13	-71
Bostadsfastigheter ²		1 675	62	4	-2	-1	-
Övriga fastigheter		2 114	68	8	-	-1	-
Stat, kommun och landsring ¹		1 396	121	20	-	-3	-
Borgen ³		1 669	10	5	-	-	-
Finansiella säkerheter		933	77	3	-	-	-
Objekt		-	-	-	-	-	-
Övriga säkerheter		2 342	253	364	-1	-2	-55
Blanko		81 968	2 002	92	-4	-6	-16
varav åtaganden		308 382	5 392	216	-62	-53	-35
Bostadsfastigheter ²		61 870	502	34	-5	-2	-5
Övriga fastigheter		38 484	494	14	-4	-5	-
Stat, kommun och landsring ¹		25 029	106	4	-	-	-
Borgen ³		1 853	174	3	-1	-1	-
Finansiella säkerheter		3 712	40	4	-	-	-
Objekt		501	14	-	-	-	-
Övriga säkerheter		17 917	1 087	100	-7	-16	-23
Blanko		159 016	2 975	57	-45	-29	-7
Summa		400 479	7 985	712	-69	-68	-108
Summa poster i och utanför balansräkningen		3 008 785	59 847	9 543	-432	-510	-3 873

¹ Inklusive bostadsrätter.² Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.³ Inkluderar ej statsgarantier.

NOTER | KONCERNEN

Kreditriskkoncentrationer

Handelsbankens kontor är starkt fokuserade på att etablera långsiktiga relationer med kunder som har hög kreditvärdighet. Om ett kontor identifierar en bra kund ska kontoret kunna göra affärer med kunden oavsett om banken som helhet har en stor exponering mot den bransch som kunden representerar. Som en konsekvens av det har banken relativt stora koncentrationer i enskilda sektorer. Banken följer dock kreditportföljens utveckling och kvalitet och beräknar koncentrationer mot olika typer av branscher och geografiska områden. Banken mäter och följer också exponeringar mot större enskilda motparter. Särskilda limiter tillämpas för att begränsa den maximala kreditexponeringen mot enskilda motparter som ett komplement till kreditriskbedömningen. Om en koncentration i kreditportföljen avseende sektor eller motpart

kan antas utgöra en förhöjd risk, följs denna koncentration upp. Koncentrationsrisker fångas upp i bankens beräkning av ekonomiskt kapital för kreditrisker och i de stresstester som görs i den interna kapitalutvärderingen. Finansinspektionen beräknar också ett särskilt kapitalkravspåslag i Pelare 2 för koncentrationer i kreditportföljen. Därför säkerställs att banken är väl kapitaliserad med hänsyn också till koncentrationer. Om koncentrationer skulle bedömas vara för stora har banken både möjlighet och förmåga att reducera riskerna genom olika riskreducerande åtgärder.

Handelsbanken har, utöver bolån och utlåning till bostadsrättsföreningar, en betydande utlåning till fastighetsförvaltning om 635 miljarder kronor (647). Med fastighetsförvaltning avses här alla företag som riskklassificeras som

fastighetsbolag. Det är vanligt förekommande att koncerner verksamma i andra branscher har dotterbolag som förvaltar de fastigheter som koncernen bedriver verksamhet i, och även sådana fastighetsbolag anses här tillhöra fastighetsförvaltning. Den underliggande kreditrisken i sådana fall är dock inte enbart fastighetsrelaterad eftersom motpartens återbetalningsförmåga bestäms av annan verksamhet än fastighetsförvaltningen. Därutöver riskklassificeras privatpersoner med större fastighetsinnehav som fastighetsbolag.

En mycket stor del av fastighetsutlåningen är säkerställd i fastigheter med låg belåningsgrad vilket minskar bankens risk för kreditförluster. En stor del av fastighetsutlåningen sker dessutom till statliga fastighetsbolag, kommunala bostadsbolag och annan bostadsrelaterad verksamhet där låntagarna genomgående har

Tabell ÅR12 Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, Fastighetsförvaltning

Utlåning till allmänheten Fastighetsförvaltning 2020 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Utlåning i Sverige							
Statligt ägda fastighetsbolag	7 895	14	-	0	0	-	7 909
Kommunalt ägda fastighetsbolag	7 635	-	-	0	-	-	7 635
Bostadsfastighetsbolag	124 320	1 274	57	-5	-8	-47	125 591
varav hypotekslån	113 385	1 107	12	-4	-5	-6	114 438
Övrig fastighetsförvaltning	118 593	10 026	218	-20	-101	-86	128 630
varav hypotekslån	63 899	1 220	29	-3	-12	-10	65 523
Summa	258 443	11 314	275	-25	-109	-133	269 785
Utlåning utanför Sverige							
Storbritannien	127 793	10 051	622	-37	-76	-107	138 246
Norge	105 806	7 731	61	-16	-56	-4	113 522
Danmark	21 133	20 67	125	-7	-14	-34	23 290
Finland	42 328	1 684	577	-3	-9	-47	44 530
Nederländerna	42 742	498	-	-8	-2	-	43 230
Övriga länder	2 238	10	14	0	-1	-3	2 258
Summa	342 040	22 081	1 300	-71	-158	-195	365 078
Summa fastighetsförvaltning inom utlåning till allmänheten	600 483	33 375	1 674	-96	-267	-328	634 841

Utlåning till allmänheten Fastighetsförvaltning 2019 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Utlåning i Sverige							
Statligt ägda fastighetsbolag	6 304	35	-	0	0	-	6 339
Kommunalt ägda fastighetsbolag	7 291	-	-	0	-	-	7 291
Bostadsfastighetsbolag	118 042	1 456	69	-5	-5	-50	119 507
varav hypotekslån	105 249	1 236	10	-3	-4	-4	106 484
Övrig fastighetsförvaltning	122 326	2 791	168	-10	-13	-73	125 189
varav hypotekslån	60 237	1 407	15	-3	-5	-2	61 649
Summa	253 963	4 282	237	-15	-18	-123	258 326
Utlåning utanför Sverige							
Storbritannien	146 345	6 241	720	-45	-54	-111	153 096
Norge	123 541	1 594	67	-28	-16	-34	125 524
Danmark	22 242	635	151	-5	-11	-34	22 978
Finland	42 854	1 346	555	-3	-14	-31	44 707
Nederländerna	37 485	229	-	-7	-1	-	37 706
Övriga länder	4 395	11	16	-1	-1	-3	4 417
Summa	378 962	10 466	1 600	-89	-97	-213	389 428
Summa fastighetsförvaltning inom utlåning till allmänheten	630 825	14 738	1 746	-104	-115	-336	648 754

NOTER | KONCERNEN

starka och stabila kassaföden och därigenom mycket hög kreditvärdighet. En stor del av utlåningen till fastighetssektorn är således till bolag med mycket låg sannolikhet för finansiella svårigheter. Bankens exponering mot fastighetssektorn finns specificerad i tabeller nedan.

Andelen exponeringar hänförliga till fastighetsmotparter som har en sämre rating än bankens riskklass 5 (normal risk) är mycket låg. 99 procent (99) av total fastighetsutlåning i Sverige återfinns i riskklass 5 eller bättre. Motsvarande uppgift avseende fastighetsutlåningen i Storbritannien

uppgår till 98 procent (98), Norge 99 procent (99), Danmark 98 procent (97), Finland 98 procent (97). Nederländernas kapitalkrav beräknas med schablonmetoden som har föreskrivna riskvikter, vilket innebär att riskklasserna inte är relevanta för kapitalkravsberäkningen. Av de motparter som återfinns i sämre riskklasser än normalt återfinns huvuddelen i riskklasserna 6–7 och endast små volymer i de högre riskklasserna 8–9. För information om Handelsbankens riskklassificering, se not K2 avseende Beräkning av kapitalkrav för kreditrisker.

Handelsbankens utlåning till fastighetsbolag har under de senaste åren vuxit delvis som en följd av att banken haft en betydande kredittillväxt i Storbritannien genom en expansion av kontorsnätet. En stor del av tillväxten har varit i fastighetsrelaterade krediter. Handelsbanken har i Storbritannien samma strikta krav på återbetalningsförmåga, belåningsgrader och säkerheter som på övriga hemmamarknader.

Tabell ÅR:13 Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, typ av säkerhet och land (Brutto)

Utlåning till allmänheten Fastighetsförvaltning, typ av säkerhet och land	2020					2019				
	Utlåning	Stat och kommun ¹	Bostadsfastigheter	Kommersiella fastigheter och övriga säkerheter	Blanko	Utlåning	Stat och kommun ¹	Bostadsfastigheter	Kommersiella fastigheter och övriga säkerheter	Blanko
mkr										
Sverige	270 032	16 324	146 083	101 866	5 759	258 482	14 552	134 987	98 139	10 804
Storbritannien	138 466	9	71 963	66 197	307	153 306	-	77 694	72 762	2 850
Norge	113 598	23	20 557	85 728	7 295	125 602	-	21 312	97 021	7 269
Danmark	23 345	-	14 135	8 957	353	23 028	-	12 179	10 146	703
Finland	44 589	23 110	7 368	13 573	538	44 755	22 734	7 371	13 972	678
Nederländerna	43 240	-	27 959	14 212	1059	37 714	-	24 283	13 079	352
Övriga länder	2 262	447	708	506	601	4 422	474	779	2 105	1 054
Summa	635 532	30 913	288 783	200 034	15 022	647 309	37 780	278 605	307 224	23 720

¹ Bolag ägda av stat och kommun/fastighetsutlåning garanterad av stat och kommun

Tabell ÅR:14 Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och land

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och land 2020
mkr

Riskklass	Sverige	Storbritannien	Norge	Danmark	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa	%
1	15 390	327	772	12	12 562	-	-	29 053	4,57
2	79 954	18 556	19 972	1 259	7 775	-	3	127 519	20,06
3	113 753	52 180	57 077	8 634	10 505	-	-	242 149	38,10
4	36 228	49 852	25 928	11 030	9 731	-	-	132 769	20,89
5	20 985	14 351	8 395	1 835	2 701	-	-	48 267	7,60
6	1 451	1 899	1 157	138	257	-	-	4 902	0,77
7	473	279	164	283	100	-	-	1 299	0,20
8	215	16	23	1	33	-	-	288	0,05
9	185	-	42	25	105	-	-	357	0,06
Fallsisemang	274	622	60	125	577	-	-	1 658	0,26
Schablonmetoden ¹	1 124	384	8	3	243	43 240	2 250	47 261	7,44
Summa	270 032	138 466	113 598	23 345	44 589	43 240	2 262	635 532	100

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och land 2019
mkr

Riskklass	Sverige	Storbritannien	Norge	Danmark	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa	%
1	17 027	427	905	6	12 637	-	-	31 002	4,79
2	71 671	22 748	23 950	1 625	8 902	-	5	128 901	19,91
3	111 256	68 186	66 041	12 678	11 392	-	-	269 553	41,64
4	41 979	51 783	26 798	6 060	8 660	105	-	135 385	20,92
5	14 144	7 729	5 016	2 063	1 828	-	-	30 780	4,76
6	1 327	1 137	2 275	171	203	-	-	5 113	0,79
7	470	395	411	226	285	-	-	1 787	0,28
8	210	82	39	21	13	-	-	365	0,06
9	152	1	98	24	48	-	-	323	0,05
Fallsisemang	237	720	67	151	555	-	-	1 730	0,27
Schablonmetoden ¹	9	98	2	3	232	37 609	4 417	42 370	6,55
Summa	258 482	153 306	125 602	23 028	44 755	37 714	4 422	647 309	100

NOTER | KONCERNEN

Tabel AR15 Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och säkerhet

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och säkerhet 2020
mkr

Riskklass	Utlåning		Säkerhet			
		Bostads-fastigheter	Kommersiella fastigheter	Stat och kommun ¹	Övriga säkerheter	Blanko
1	29 063	9 555	3 262	15 283	251	712
2	127 519	62 540	46 543	12 800	1 320	4 316
3	242 149	111 830	121 069	4 151	629	4 470
4	132 769	57 887	65 805	5 736	472	2 869
5	48 267	15 040	30 685	1021	442	1 079
6	4 902	1 741	2 887	164	30	80
7	1 299	486	758	-	8	47
8	288	57	226	-	1	4
9	357	94	228	4	6	25
Fallissemang	1 658	567	507	305	19	170
Schablonmetoden ¹	47 251	28 966	15 221	449	475	2 150
Summa	636 632	288 763	287 281	39 913	3 663	16 922

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och säkerhet 2019

mkr

Riskklass	Utlåning		Säkerhet			
		Bostads-fastigheter	Kommersiella fastigheter	Stat och kommun ¹	Övriga säkerheter	Blanko
1	31 002	11 172	3 732	14 370	721	1 007
2	128 901	58 833	50 828	12 132	1 076	6 032
3	269 553	110 344	146 562	4 521	1 421	6 705
4	135 385	57 961	66 614	4 927	730	5 153
5	30 780	12 488	14 146	1037	463	2 646
6	5 113	1 554	3 360	7	30	132
7	1 787	617	1 026	11	39	94
8	365	119	229	-	0	17
9	323	125	115	4	7	72
Fallissemang	1 730	277	663	276	19	495
Schablonmetoden ¹	42 370	25 115	14 926	475	487	1 367
Summa	647 300	278 806	302 231	37 760	4 993	23 720

¹ Schablonmetoden har förskrivna riskklasser som är oåterkomliga.BERÄKNING AV KAPITALKRAV
FÖR KREDITRISER

Riskklassificeringssystem

Kapitalkravet för kreditrisk beräknas enligt schablonmetoden och Internmetoden i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (CRR). Schablonmetoden innebär att riskvikterna i beräkningen av kapitalkrav är föreskrivna medan Internmetoden innebär att Institut skattar riskparametrar som i sin tur används för beräkning av riskvikter för kapitalkravsberäkning. För Internmetoden återfinns två olika metoder: Internmetoden utan egna skattningar av förlustandel vid fallissemang (LGD) och konverteringsfaktor (KF används vid beräkning av exponeringsbe-
lopp för outhyttade checkkrediter, kreditlöften, garantier och andra åtaganden utanför balansräkningen), den så kallade grundläggande Internmetoden och Internmetoden med egna skattningar av LGD och KF, den så kallade avancerade Internmetoden.

Vid kreditbedömningen av kunder åsätts kunderna en rating, som sin tur har koppling till Internmetodens indelning i riskklasser. Ratingens två dimensioner är risken för

finansiella påfrestningar (A) och motpartens finansiella motståndskraft vid sådana påfrestningar (B) i en femgradig skala från mycket låg risk till mycket hög risk.

Ratingen omvandlas till en Intern riskklass vid tillämpning av Internmetoden (A+B-1) för företags- och Institutseponeringar samt för exponeringar mot stater, centralbanker, statliga myndigheter och kommuner (statsexponeringar).

Ratingen för hushållsexponeringar omvandlas inte direkt till en riskklass som för företagsexponeringar, utan de olika exponeringarna sorteras i ett antal mindre grupper, beroende på vissa faktorer. Exempel på sådana faktorer är vilken typ av kredit det gäller, motpartens betalningssköttsel och om det finns en eller flera låntagare. Förvar och en av de mindre grupperna beräknas en genomsnittlig fallissemangsandel, och baserat på denna sorteras grupperna in i någon av de tio riskklasserna. Olika modeller används för exponeringar mot privatpersoner respektive mot småföretag (som också räknas till kategorin hushållsexponeringar), men principen är densamma. Internmetodens riskklasser är således en skala mellan 1 och 10.

En klar majoritet av bankens exponeringar ligger i riskklass 1-4, vilket betyder att den genomsnittliga risknivån i kreditportföljen är väsentligt lägre än den nivå som bedöms vara normal risk. Riskklass 5 motsvarar normal risk och riskklass 10 avser fallerade motparter.

Handelsbankens Intern riskklassificeringssystem (IRK), det vill säga Internmetoden, består av ett antal olika system, metoder, processer och rutiner som stödjer Handelsbankens klassificering och kvantifiering av kreditrisk.

Genom IRK mäts kreditrisken i verksamheten på ett tillförlitligt och konsekvent sätt.

Exponeringsklasser

Antalet exponeringsklasser är avhängigt vilken metod som används vid beräkning av kreditrisk. Exponeringar som ska beräknas enligt schablonmetoden kan hänföras till 17 olika exponeringsklasser medan det för Internmetoden finns sju exponeringsklasser.

Banken använder olika modeller för beräkningen av kreditrisk beroende på typen av exponering. Den övergripande indelningen i exponeringsklasser enligt Internmetoden är stats-,

NOTER | KONCERNEN

Instituts-, företags-, hushålls- och aktieexponeringar samt positioner i värdepappersföretag. Härtil kommer så kallade motpartslösa exponeringar, det vill säga tillgångar där det inte krävs någon prestation från motparten, exempelvis materiella anläggningstillgångar.

Till statsexponeringar hänförs exponeringar mot stater, centralbanker, statliga myndigheter och kommuner. Till institutsexponeringar hänförs exponeringar mot motparter som är definierade såsom banker och övriga kreditinstitut samt vissa värdepappersbolag.

Hushållsexponeringar innefattar dels exponeringar mot privatpersoner, dels exponeringar

mot enskilda näringsidkare och företag där den totala exponeringen inom koncernen uppgår till högst 5 miljoner kronor (exklusive bostadskrediter). Hushållsexponeringar delas upp i två undergrupper: fastighetskrediter och övriga hushållsexponeringar.

Till företagsexponeringar hänförs exponeringar mot icke-finansiella företag bestående av juridiska personer som har en total exponering inom koncernen som överstiger 5 miljoner kronor eller där företagets omsättning överstiger 50 miljoner kronor samt enskilda näringsidkare med en total exponering inom koncernen som överstiger 5 miljoner kronor. Förutom vanliga

icke-finansiella företag ingår i exponeringsklassen även försäkringsbolag, bostadsrättsföreningar samt exponering i form av så kallad specialfinansiering.

Till aktieexponeringar hänförs bankens innehav i aktier som inte utgör en del av handelslaget.

Vid indelningen i exponeringsklasser enligt schablonmetoden hänförs bankens volymer till någon av exponeringsklasserna multilaterala utvecklingsbanker, internationella organisationer, institut, företag, hushåll, exponering med säkerheter i fastigheter, fallerande exponeringar, övriga poster samt aktier.

Tabell ÅR16 Kreditexponeringar per riskklass

Kreditexponeringar per riskklass 2020 mkr		Poster i balansräkningen							Poster utanför balansräkningen		Summa
		Utlåning till allmänheten	Utlåning till övriga kreditinstitut	Kassa och tillgodo- havanden hos centralbanker	Övrig utlåning till centralbanker	Derivat instrument	Ränta- bärande värdepapper	Ansvars- förbindelser	Åtaganden		
Riskklass											
1	479 918	5 068	396 840	21 326	3 295	106 022	7 041	53 056		1 072 566	
2	590 700	13 404	762	-	8 747	21 528	28 595	136 432		800 168	
3	587 579	465	40	-	4 272	15 173	18 215	129 448		755 192	
4	285 396	38	-	-	2 686	-	16 349	60 683		365 152	
5	103 797	37	-	-	414	-	5 383	35 281		144 912	
6	24 293	7	-	-	234	-	752	9 371		33 657	
7	22 536	1	-	-	20	-	130	5 076		27 763	
8	2 090	-	-	-	4	-	77	4 190		6 361	
9	9 525	-	-	-	-	-	69	2 674		12 268	
Fallissemang	3 914	-	-	-	-	-	73	333		4 320	
Schablonmetoden ¹	159 864	2 900	-	-	10 942	976	3 211	27 880		205 773	
Summa	2 289 612	21 920	397 642	21 326	30 614	143 600	79 895	463 424		3 428 132	

Kreditexponeringar per riskklass 2019 mkr							Poster utanför balansräkningen			
Riskklass	Poster i balansräkningen									Summa
	Utlåning till allmänheten	Utlåning till övriga kreditinstitut	Kassa och tillgodo- havanden hos centralbanker	Övrig utlåning till centralbanker	Derivat instrument	Ränta- bärande värdepapper	Ansvars- förbindelser	Åtaganden		
1	434 204	4 185	325 508	19 547	12 158	120 838	7 575	52 519	977 594	
2	611 021	10 263	1 425	-	3 324	9 269	33 800	130 358	799 460	
3	632 816	1 517	25	-	13 119	15 917	32 573	137 934	833 901	
4	303 908	30	-	-	2 553	-	6 551	51 025	363 467	
5	92 125	120	-	-	253	0	7 628	31 202	131 328	
6	19 862	7	-	-	98	-	741	4 582	25 290	
7	25 571	5	-	-	23	-	217	3 810	29 626	
8	2 551	-	-	-	4	-	163	3 125	5 843	
9	10 633	-	-	-	-	-	98	2 004	12 735	
Fallissemang	4 486	-	-	-	4	-	410	153	5 053	
Schablonmetoden ¹	156 026	1 812	-	-	10 009	3	5 430	22 955	196 235	
Summa	2 292 603	17 699	327 008	19 547	41 546	146 027	96 186	439 687	3 380 472	

¹ Schablonmetoden har förskrivna riskklasser som är därifrån relevanta.

NOTER | KONCERNEN

Metoder för riskklassificeringen

För att kvantifiera bankens kreditrisker beräknas sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlustandel vid fallissemang (LGD). Fallissemang definieras som att motparten antingen är mer än 90 dagar sen med en betalning eller att det gjorts en bedömning att motparten inte kommer att kunna betala kontraktse enligt. PD-värdet uttrycks som ett procenttal, där exempelvis ett PD-värde på 0,5 procent innebär att en kredittagare av 200 med samma PD-värde väntas falla inom ett år.

Företagsexponeringarna delas in i fyra motpartstyper och statsexponeringar i två motpartstyper baserat på den affärsbedömningsmall som används för motparten. PD beräknas individuellt för varje riskklass och motpartstyp. För exponeringar som kapitaltäckts enligt Internmetoden utan egna skattningar av LGD och KF tillämpas föreskrivna värden för LGD. Vilket föreskrivet värde som får användas styrs av vilken säkerhet som finns för respektive exponering.

Även för hushållsexponeringar beräknas en genomsnittlig fallissemangsandel för var och en av riskklasserna. Olika modeller används för exponeringar mot privatpersoner respektive mot småföretag (som också räknas till kategorin hushållsexponeringar), men principen är densamma.

För hushållsexponeringar och för exponeringar mot företag som exempelvis medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar fastställs LGD från bankens egen förlusthistorik. För exponeringar mot stora företag som kapitaltäckts med Internmetoden med egna skattningar av LGD och KF fastställs LGD baserat på interna förluster och externa observationer. För hushållsexponeringar med fastighetssäkerhet i Sverige och för fastighetsexponeringar mot medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar (företag) tillämpas olika LGD-värden beroende på säkerhetens belåningsgrad. För övriga exponeringar styrs LGD-värdet av faktorer som kan bero på förekomst

av och värde på säkerhet, produkttyp eller liknande.

För varje exponeringsklass beräknas PD för var och en av de riskklasser som avser icke-fallerade motparter eller avtal. PD grundar sig på beräkningar av hur stor andelen fallissemang varit historiskt för olika typer av exponeringar. Den genomsnittliga fallissemangsandelen justeras därefter med olika marginaler, till exempel av försiktighetskäl.

Vid fastställande av LGD beaktas att riskmättet ska återspegla förlustandelen under ekonomiskt ogynnsamma förhållanden, vilket benämns Nedgångs-LGD. För fastighetssäkerheter baseras Nedgångs-LGD på observerade förlustandelar från fastighetskrisen under början av 1990-talet. För övriga säkerheter avseende hushållsexponeringar nedgångsjusteras observerat LGD med en faktor som beror på PD och produkttyp. För företagsexponeringar inom Internmetoden med egna skattningar av LGD och KF nedgångsjusteras LGD med beaktande

Tabel A17 Poster i balansenkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass

Poster i balansenkningen som är föremål för nedskrivningsprövning enligt IFRS 9 Fördelat per riskklass 2020 mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Riskklass						
1	841 863	2 045	-	-5	-3	-
2	630 307	3 783	-	-24	-6	-
3	607 490	4 462	-	-46	-10	-
4	278 936	9 312	-	-97	-30	-
5	74 216	30 500	-	-99	-243	-
6	14 688	10 059	-	-33	-181	-
7	17 129	5 562	-	-10	-124	-
8	624	1 528	-	-3	-55	-
9	4 367	5 285	-	-21	-106	-
Fallissemang	-	-	5 938	-	-	-2 079
Schablonmetoden ¹	170 097	3 865	1 039	-51	-82	-159
Summa	2 630 707	76 401	7 002	-389	-840	-2 238

Poster i balansenkningen som är föremål för nedskrivningsprövning enligt IFRS 9 Fördelat per riskklass 2019 mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Riskklass						
1	733 064	2 079	-	-4	-2	-
2	634 644	5 689	-	-22	-9	-
3	660 270	7 179	-	-43	-12	-
4	298 762	7 754	-	-99	-26	-
5	70 560	9 244	-	-106	-82	-
6	17 555	2 404	-	-39	-44	-
7	18 177	7 573	-	-20	-131	-
8	722	1 862	-	-1	-47	-
9	5 038	5 689	-	-14	-80	-
Fallissemang	-	-	8 173	-	-	-3 687
Schablonmetoden ¹	169 114	2 279	658	-15	-11	-80
Summa	2 608 308	61 982	8 831	-363	-444	-3 767

¹ Schablonmetoden har föreskrivna riskvärden för riskklasserna är därför ej relevanta.

NOTER | KONCERNEN

Tabell ÅR:18 Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning enligt IFRS 9 Fördelat per riskklass 2020 mkr	Brutto			Reservar		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Riskklass						
1	477 881	2 045	-	-5	-3	-
2	586 946	3 782	-	-22	-6	-
3	583 172	4 462	-	-45	-10	-
4	276 211	9 312	-	-97	-30	-
5	73 634	30 500	-	-99	-238	-
6	14 448	10 059	-	-33	-181	-
7	17 109	5 561	-	-10	-124	-
8	620	1 528	-	-3	-55	-
9	4 367	5 285	-	-21	-106	-
Fallsamang	-	-	5 909	-	-	-2 079
Schablonmetoden ¹	155 295	3 850	1 009	-50	-81	-159
Summa	2 189 683	76 984	7 002	-388	-834	-2 238

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning enligt IFRS 9 Fördelat per riskklass 2019 mkr	Brutto			Reservar		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Riskklass						
1	432 131	2 079	-	-4	-2	-
2	605 363	5 687	-	-20	-9	-
3	625 691	7 179	-	-42	-12	-
4	295 679	7 754	-	-99	-26	-
5	83 070	9 244	-	-107	-82	-
6	17 451	2 494	-	-39	-44	-
7	18 154	7 568	-	-30	-131	-
8	717	1 882	-	-1	-47	-
9	5 038	5 689	-	-14	-80	-
Fallsamang	-	-	8 173	-	-	-3 687
Schablonmetoden ¹	153 377	2 023	658	-14	-8	-80
Summa	2 236 671	51 669	8 831	-390	-441	-3 767

Tabell ÅR:19 Poster utanför balansenkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass

Poster utanför balansenkningen som är föremål för nedskrivningsprövning enligt IFRS 9 Fördelat per riskklass 2020 mkr	Brutto			Reservar		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Riskklass						
1	43 265	170	-	-1	0	-
2	115 428	675	-	-6	-2	-
3	102 844	7 119	-	-8	-1	-
4	54 880	1 035	-	-17	-2	-
5	25 923	4 826	-	-23	-45	-
6	7 601	1 501	-	-6	-24	-
7	4 569	609	-	-3	-19	-
8	3 886	350	-	-1	-17	-
9	2 437	278	-	-2	-19	-
Fallsamang	-	-	402	-	-	-117
Schablonmetoden ¹	30 432	580	31	-23	-28	-2
Summa	301 286	10 743	433	-90	-167	-119

Poster utanför balansenkningen som är föremål för nedskrivningsprövning enligt IFRS 9 Fördelat per riskklass 2019 mkr	Brutto			Reservar		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
Riskklass						
1	39 710	384	-	-2	-1	-
2	133 002	662	-	-5	-1	-
3	121 064	1 310	-	-9	-1	-
4	36 561	1 033	-	-14	-3	-
5	29 770	1 831	-	-24	-11	-
6	4 923	412	-	-6	-6	-
7	3 113	927	-	-5	-17	-
8	2 670	628	-	0	-10	-
9	1 814	296	-	-1	-7	-
Fallsamang	-	-	669	-	-	-106
Schablonmetoden ¹	27 952	502	43	-3	-9	0
Summa	400 479	7 985	712	-69	-66	-106

¹ Schablonmetoden har beskrivits i riskklasserna och är därför ej relevant.

NOTER | KONCERNEN

av bankens observerade förluster under kris-åren 1991–1998. För exponeringar med fastighetssäkerheter skattas LGD i många fall baserat på fastighetens belåningsgrad. Efter- som fastigheternas värde och därmed även belåningsgraden vanligtvis varierar med kon- junkturen innebär detta att även kapitalkravet kommer att uppväsa ett visst konjunkturbero- enda.

När exponeringsbeloppet ska beräknas sker vissa justeringar av den bokförda exponeringen. Exempel på detta är kreditlöften eller revolver- ande krediter, där banken avtalar med kunden om att denne får låna upp till ett visst belopp i framtiden. Denna typ av åtaganden utgör en kreditrisk som också ska kapitaltäckas. Normalt betyder det att den beviljade krediten justeras med en viss KF för den del av krediten som inte är utnyttjad vid rapporteringstillfället. När det gäller vissa produktklasser för företagsexpon- eringar och för institutsexponeringar är konverte- ringsfaktorer bestämda av regelverket, men för hushållsexponeringar och vissa produkt- klasser för stora företag, medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar använder banken egenberäknade konverte- ringsfaktorer. Här styrs konverteringsfaktorn framförallt av vilken produkt som avses, men även utnyttjandegrad kan spela in.

Riskparametrarna (PD, EAD, LGD) används förutom vid kapitalkravsberäkningen även för beräkning av kostnaden för kapital i varje enskild affär och vid beräkning av ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC).

Jämförelse med extern rating

Bankens riskklasser är inte direkt jämförbara med den rating som de externa kreditvärde- ringsföretagen tillämpar. Kreditvärderings- företagens rating svarar inte mot en direkt klassificering av motparternas sannolikhet för fallissemang på samma sätt som bankens risk- klassificering gör. Kreditvärderingsföretagen beaktar i varierande grad också hur allvariga förluster ett fallissemang kan leda till. Den tids- horisont för vilken kreditvärdigheten bedöms är inte alltid densamma för banken som för kredit- värderingsföretagen. Bankens riskklasser anger inte en enhetlig skala där en viss riskklass alltid motsvarar en viss fallissemangssannolikhet. Dessutom tillämpas olika PD-skalar för olika delar av kreditportföljen och PD-värdet föränd- ras över tiden.

Sammantaget är det inte möjligt att entydigt och konsekvent översätta de interna riskklas- serna till en extern rating. Genom att analysera den historiska fallissemangandelen i Handels- bankens riskklasser i förhållande till fallisse- mangandelen i de externa ratingklasserna enligt det externa ratinginstitutet Moody's, kan dock en rimlig jämförelsetabell erhållas.

Kvalitetssäkring av kreditriskmodellen

Banken utför årligen en grundläggande översyn av riskklassificeringssystemen. Översynen tar sikte dels på att den interna ratingen som ligger till grund för bankens riskklassificering tillämpas

på ett konsistent, korrekt och ändamålsenligt sätt (utvärdering), dels på att de modeller som används kvantifierar risk på ett tillfredsställande sätt (validering). För en mer detaljerad beskriv- ning hänvisas till rapporten Risk and Capital Information according to Pillar 3, avsnittet Credit risk – Quality assurance of the rating system.

BERÄKNING AV FÖRVÄNTADE KREDITFÖRLUSTER

Reglerna om nedskrivning i IFRS 9 omfattar finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde, finansiella tillgångar värde- rade till verkligt värde via övrigt totalresultat samt finansiella garantier och österkalleliga löften. I detta avsnitt redogörs huvudsakligen för de processer och metoder som tillämpas i Handelsbankens modellbaserade beräkningar av reserver för förväntade kreditförluster (Expected Credit Losses, ECL).

Bedömningar av förväntade kreditförluster utförs på avtalenivå där avtalets och motpartens egenskaper styr klassificering och kvantifiering av reserveringsbehovet. Bedömningen baseras antingen på en modellberäkning eller en manuell beräkning därval av metod främst beror på om avtalet anses vara kreditförsämrat.

För redovisning och värdering av förväntade kreditförluster samt definitioner, se not K1 avsnitt 10 Kreditförluster.

Modellbaserade beräkningar**för avtal i Steg 1 och Steg 2**

Handelsbankens koncerngemensamma cen- trala process för modellbaserade beräkningar av förväntade kreditförluster består av ett antal olika processer och metoder som stödjer kvantifiering av reserveringsbehovet i Steg 1 och Steg 2.

I de modellbaserade beräkningarna tas hänsyn till historisk, aktuell och framtidsbaserad data. Historisk data ligger till grund för modell- och parameterkonstruktion, aktuell data är rapporteringstillfällens aktuella balanser (som omfattas av beräkningskraven) och framtidsbä- ande data är de makroekonomiska scenarier som tillämpas för att beräkna framtida riskpa- rametrar och exponeringar.

Modellerna baseras på samma historiska riskdata som i IIRK-modellerna och således utgår redovisningen och kapitalkravsberäkning- arna från samma grundläggande förlusthistorik. I likhet med hur riskklassificeringssystemet påverkar kapitaltäckningsberäkningarna så utgör den interna ratingen (från vilken riskklassi- ficeringsen härleds) en väsentlig del i modellerna för beräkning av förväntade kreditförluster. Beräkningarna påverkas i första hand av risk- parametrarna sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlust- andel vid fallissemang (LGD). Den förväntade kreditförlusten i en framtida period erhålls genom att multiplicera nuvärdet av expon- eringen vid fallissemang (EAD) med sannolikhe- ten för fallissemang (PD) och med förlustandel vid fallissemang (LGD). Till skillnad från kapital- täckningsregelverkets kreditförlustberäkning, som även den använder riskparametrarna PD,

EAD och LGD, utgår kreditförlustskattningen i IFRS 9 från framtidsbaserade aktuella bedöm- ningar. Då regelverken har olika syften skiljer sig beräkningsmodellerna åt både vad gäller riskparametersättning och konstruktion. För presentation av huvudsakliga skillnader mellan IFRS 9 och IIRK, se tabell ÅR20 Skillnader mellan IFRS 9 och IIRK.

Makroekonomisk information

Beräkningarna avseende modellbaserad bedömning av betydande ökning av kreditrisk och förväntade kreditförluster utförs med model- ler för de respektive riskparametrarna (PD, EAD och LGD). För att säkerställa att beräkningarna tar hänsyn till icke-linjära aspekter används tre framtidsbaserade makroekonomiska scenarier (ett neutralt, ett negativt och ett positivt) i model- lerna. Respektive scenario inkluderar väsentliga makroekonomiska riskfaktorer som arbetslö- shet, BNP, fastighetspriser, styrr-/centralbanks- räntor och inflation, uppdelade per land. De väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna har identifierats från bankens historik och relationen till riskparametrarna är skattade på samma historiska material. De olika scenarierna används för att justera de aktuella riskparametrarna. Varje makroekonomiskt scenario representerar en av banken beslutad sannolikhet. Dessa sannolik- hetsfördelningar är i nuläget 70 (60) procent för det neutrala scenariet och 15 (15) procent för det positiva samt 15 (25) procent för det negativa scenariet. Som förväntade kreditförluster redovi- sas ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de för- väntade kreditförlusterna för respektive scenario.

Alla makrosenarierna tas fram av bankens enhet för ekonomisk analys som ansvarar för all ekonomisk analys som levereras av Handels- banken, både för internt och externt bruk. Dessa makroekonomiska scenarier avser regionspecifika 30-åriga prognoser för Sverige, Norge, Finland, Danmark, England, Euro-områ- det, USA och världen. En förändring i de makro- ekonomiska scenarierna, eller i de vikter som tillämpas, påverkar både bedömningen av bety- dande ökning av kreditrisk och uppskattningen av den förväntade kreditförlusten. Scenarierna uppdateras kvartalsvis av bankens enhet för ekonomisk analys och presenteras för besluts- fattarna innan de tillämpas i ECL-beräkningarna.

Portföljsegmentering

I den modellbaserade bedömningen används statistiska modeller. Dessa är framtagna för olika segment i portföljen där respektive seg- ment avser riskmässligt likartade exponeringar och riskparametrarna kan skattas baserat på en gemensam uppsättning riskfaktorer. För hushålls- exponeringar är portföljsegmenteringen base- rad på produkttyp och för övriga exponeringar är den baserad på motpartstyp. Segmenten har identifierats genom statistisk analys och expert- bedömningar. För hushållsexponeringar finns följande nio portföljsegment; exponeringar med säkerhet i bostadsfastighet för privatpersoner, revolverande krediter inklusive kreditkortsexpo- neringar för privatpersoner respektive små

företag, övriga exponeringar för privatpersoner respektive små företag, kortkrediter avseende säljfinansiering för privatpersoner respektive små företag, samt avbetalningslån avseende säljfinansiering för privatpersoner respektive små företag. För övriga exponeringar finns följande sex segment; fastighetsbolag, bostadsrättsföreningar, övriga stora icke-finansiella företag, övriga icke-finansiella företag, stater, finansiella företag och banker.

Inom respektive portföljsegment klassificeras avtalen ytterligare till så kallade tillståndsklasser baserat på riskfaktorer som Intern rating, betalningshistorik, landtillhörighet, säkerhetstyp och belåningsgrad. Tillståndsklasserna är framtagna baserat på statistisk analys av historiska utfall. För varje tillståndsklass används statistiska modeller för migration mellan tillstånden för att beräkna framtidsbaserade sannolikheter för riskparametrarna PD, LGD och EAD. En viktig riskfaktor för tillståndsklasserna är motpartens interna rating som sätts vid kreditbeslutstillfället och uppdateras minst årligen eller om det finns tecken på att motpartens återbetalningsförmåga har ändrats. Det finns tillståndsklasser för icke-fallerade, fallerade och förtidslösta exponeringar. Exponeringar mot hushåll klassas i nio tillståndsklasser och övriga exponeringar i tolv tillståndsklasser.

Betydande ökning av kreditrisk

Betydande ökning av kreditrisk avspeglar risken för fallissemang och är ett mått som mäter avtalets relativa förändring av kreditrisk sedan första redovisningstillfället. För beräkning av betydande ökning av kreditrisk används inom Handelsbanken samma underliggande modeller som vid beräkning av förväntade kreditförluster och hänsyn tas till historik, nuvarande och framtidsbaserade information. I bedömningen beaktas inte säkerheter. Vid varje rapporteringstillfälle inlägs den koncerngemensamma centrala modell-baserade processen med att samtliga avtal bedöms med avseende på om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället (avtalets ingående). Denna bedömning avgör sedan huruvida avtalet får en förväntad kreditförlust beräknad på 12 månaders horisont (Steg 1) eller för avtalets hela återstående löptid (Steg 2). En viktig del som påverkar kreditförlustreservens storlek är således vilka faktorer och trösklar som definieras som utlösande för överföring av tillgångar från Steg 1 till Steg 2. Bankens definition av betydande ökning av kreditrisk som är avgörande för att förflytta avtalen till Steg 2 grundar sig på såväl kvalitativa som kvantitativa faktorer.

Den kvantitativa indikator som i första hand används för att bedöma förändring i kreditrisken är den relativa förändringen mellan instrumentets första redovisningstillfälle och aktuell rapporteringstidpunkt i sannolikheten för fallissemang (PD) under avtalets återstående löptid. I de fall det har krävts orimlig kostnad och ansträngning för att kunna fastslå PD vid ett instruments första redovisningstillfälle, har förändringar i motpartens eller avtalets interna

rating eller riskklassificering sedan första redovisningstillfället använts för att bedöma betydande ökning av kreditrisken. För avtal som redovisas för första gången den 1 januari 2018 eller senare baseras prognoserna av fallissemangrisken på tre scenarier. För avtal som redovisats före den 1 januari 2018 tillämpas samma kriterier men baseras på ett scenario som utgår från bankens senast publicerade ekonomiska analys vid tidpunkten för det första redovisningstillfället.

Det huvudsakliga kriteriet för att ett avtal bedöms ha fått en betydande ökning av kreditrisk och förflyttas till Steg 2 enligt Handelsbankens definition är att den beräknade återstående fallissemangrisken (PD) vid rapporteringstillfället är större än 2,5 gånger motsvarande fallissemangrisk vid första redovisningstillfället. Gränsvärdet om 2,5 är baserat på statistisk analys av bankens historiska data och jämför ökningen i den återstående risken att motparten fallerar relativt motsvarande förväntade risk vid avtalets första redovisningstillfälle. Därutöver finns det andra kvalitativa faktorer som banken bedömt medför en betydande ökning av kreditrisk, till exempel att motparten har betalningar som är mer än 90 dagar försenade eller att motparten har erhållit eftergifter till följd av försämrad kreditvärdighet.

Om det föreligger en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället redovisas en reserv motsvarande förväntade kreditförluster för hela den återstående löptiden och det finansiella instrumentet flyttas till Steg 2. Modellen är symmetrisk, vilket innebär att om det finansiella instrumentets kreditrisk minskar och det därmed inte längre föreligger en betydande försämring i kreditrisk sedan första redovisningstillfället flyttas den finansiella tillgången tillbaka till Steg 1.

Modeller för riskparametrar och förväntad löptid

Riskparametrarna PD, LGD och EAD beräknas för varje avtal och framtida tidpunkt, baserat på statistiska modeller. Dessa modeller bygger så långt som möjligt på de relationer mellan de väsentliga riskfaktorer och relevanta riskutfall som kan identifieras i bankens egen förlusthistorik. De flesta riskparametrar som kvantifieras baseras på cirka tio års intern data. I de fall banken saknar tillräckligt med information, till exempel på grund av få fallissemang, sker komplettering med hjälp av extern information. De historiska utfallen analyseras med avseende på samvariation med avtals-, motparts- och regionspecifika riskfaktorer, som till exempel produkttyp, intern rating, ålder som kund, säkerhetstyp, belåningsgrad, arbetslöshet och BNP-tillväxt. De riskfaktorer som identifieras som väsentliga för en viss riskparameter inkluderas i modellen och det historiska sambandet kvantifieras.

Sannolikhet för fallissemang (PD)

PD motsvarar sannolikheten för att en kund eller ett avtal kommer att hamna i fallissemang vid en

given tidpunkt under den tillgångens återstående löptid. PD för 12 månader motsvarar sannolikheten för fallissemang under de kommande 12 månaderna. PD för återstående löptid motsvarar sannolikheten för fallissemang under tillgångens återstående löptid (maximalt 30 år). Vid rapporteringstillfället prognostiseras framtida PD baserat på framtidsbaserade makroscenarier och aktuell avtals- och motpartsinformation. Den prognostiserade fallissemangrisken tar hänsyn till utvecklingen av scenarier och sannolikheten för migration mellan olika tillståndsklasser över tid. Modellerna beräknar årliga migrations- och fallissemangssannolikheter där migrationsmodellen ger sannolikheten att avtalet befinner sig i en given tillståndsklass med en given fallissemangrisk framåt tiden. Avtalets förväntade PD för ett givet år beräknas av sannolikhetsvägda PD över alla tänkbara tillståndsklasser och scenarier. Förväntad PD för återstående löptid baseras på de årliga förväntade fallissemangssannolikheter och sannolikheten för att avtalet förtidslöses. En försämring av en ekonomisk framtidsutsikt baserad på prognostiserade makroekonomiska riskfaktorer för varje scenario, eller en ökning i att sannolikheten för att det negativa scenariot ska inträffa, resulterar i ett högre PD.

Exponering vid fallissemang (EAD)

EAD avser förväntad kreditexponering vid fallissemangstidpunkten. Vid rapporteringstillfället prognostiseras framtida exponeringar vid fallissemang baserat på nuvarande amorteringsplaner, sannolikhet för förtidslösning och förväntat utnyttjande av exempelvis kreditutrymmen, finansiella garantier och lånelöften. EAD prognostiseras på årsbasis och utgör det belopp på vilket förluster och återvinningar sker vid framtida fallissemang.

Förväntad löptid

Ett instruments förväntade löptid är relevant för både bedömningen av betydande ökning av kreditrisk, vilken tar hänsyn till förändringar i PD under förväntad återstående löptid, såväl som förvärderingen av förväntade kreditförluster för tillgångens förväntade återstående löptid. Den förväntade löptiden beaktas i beräkningen av återstående PD genom att väga de prognostiserade årliga PD-värdena under avtalets kontraktuella löptid med sannolikheten att avtalet inte förtidslöses innan fallissemang inträffar.

Sannolikheten för förtidslösning av avtalet baseras på en statistisk analys och på bankens interna historik cirka tio år bakåt och ingår som en komponent i modellen för EAD. I analysen har potentiella riskfaktorer i form av avtals-, motparts- och makroekonomiska riskfaktorer analyserats. De riskfaktorer som identifieras som väsentliga inkluderas i modellen. I flera fall kan inga väsentliga riskfaktorer för förtidslösning identifieras utöver motpartstyp och rating. Dessa riskfaktorer påverkas dock av framtidsbaserade makroekonomiska scenarier, vilket indirekt medför att förtidslösning är beroende av framtidsbaserade makroekonomiska scenarier.

NOTER | KONCERNEN

Tabell AR-20 Skillnader mellan IFRS 9 och IRK

Riskparameter	IRK	IFRS 9
PD, Sannolikhet för fallissemang	Gemensnittlig risk för fallissemang inom 12 månader över en konjunkturykta, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgolv. Fallissemangsdeltningen enligt Kapitaltäckningsförordningen tillämpas på avtalsnivå för hushållsexponeringar och på motpartsnivå för övriga exponeringar.	Konjunkturbaserande (kortsiktig, "point in time") risk för fallissemang inom 12 månader. "Utvärds-PD" avser risken för fallissemang under avtalets förväntade återstående löptid. Fallissemangsdeltningen enligt Kapitaltäckningsförordningen tillämpas på avtalsnivå för hushållsexponeringar och på motpartsnivå för övriga exponeringar.
LGD, Förlustandel vid fallissemang	Måsvärdet av förväntad förlustandel på exponering vid fallissemang inom 12 månader på lång sikt och vid en konjunktumgång, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgolv. Kvantifiering av förlust för förlustexponeringar baseras på återvinningar inom 12 månader samt kvarstående reserver (24 månader för hushållsexponeringar).	Konjunkturbaserande förväntad förlustandel på exponering vid fallissemang. LGD justeras baserat på framtidsbaserade makroekonomiska scenarier.
EAD, Exponering vid fallissemang	Måsvärdet av förväntad exponering vid fallissemang inom 12 månader på lång sikt och vid en konjunktumgång, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgolv.	Konjunkturbaserande förväntad exponering vid fallissemang inom 12 månader. EAD justeras efter avtalsvillkor och framtidsbaserade makroekonomiska scenarier.
Löptid	Avtals kontraktuell löptid med beaktande av kundens option på förlängning.	Den förväntade löptiden. Avtalets kontraktuell löptid med beaktande av sannolikhet för förlängning.
Prognoshorisont	12 månader	Upp till 12 månader respektive återstående löptid (beror på Steg 1 eller Steg 2-3).
Diskontering	Prognostiserade förluster diskonteras inte till rapporteringstidpunkten. Vid kvantifiering av återvinningsgrad diskonteras observerade återvinningar till fallissemangstidpunkten med den genomsnittliga kostnaden för eget kapital.	Prognostiserade förluster diskonteras till rapporteringstidpunkt med avtalets effektivränta vid första rapporteringstillfället. Vid kvantifiering av återvinningsgrad diskonteras observerade återvinningar till fallissemangstidpunkten med den genomsnittliga kostnaden för eget kapital.
Betydande ökning av kreditrisk	Ej tillämpligt	Baseras på förhållandet mellan aktuell återstående fallissemangsrisik vid aktuell rapporteringstillfälle samt förväntad aktuell återstående fallissemangsrisik beräknad vid första rapporteringstillfället.
Framtidsbaserade scenarier	Ej tillämpligt	Beräkningar av framtidsbaserade riskparametrar (PD, LGD, EAD) baseras på ett regionalt basscenario, ett så kallat neutralt scenario och två alternativa regionala makroekonomiska scenarier (ett positivt och ett negativt).
Första rapporteringstillfället	Ej tillämpligt	Första rapporteringstillfället för avtalsidentiteten.

För revolverande krediter utan förfallodag, till exempel kreditkort, och bolån med räntemönsättningsperiod på högst tre månader tillämpas en 30-årig löptid från rapporteringstillfället, vilket innebär att den förväntade löptiden i praktiken definieras av den beteendebaserade statistiska modellen.

Förlustandel vid fallissemang (LGD)

LGD speglar den ekonomiska förlustandel som banken förväntar sig vid ett fallissemang. De viktigaste riskfaktorerna vid beräkning av LGD är säkerhetsvärdet, säkerhetstypen och motpartens egenskaper. Framtidsbaserade makroekonomiska riskfaktorer återspeglas i LGD-beräkningarna genom dess inverkan på säkerhetsvärdet och belåningsgraden. Kvantifieringen av förlusten delas in i en sannolikhet för att motparten tillfrisknar utan att orsaka banken några ekonomiska förluster, och en återvinningsgrad då motparten inte tillfrisknar. Återvinningsgraden påverkas av belåningsgraden på så sätt att högre belåningsgrader är associerade med lägre återvinningsgrader. Säkerhetens marknadsvärdering ingår i de flesta LGD-modeller. Säkerhetsvärdet för fastigheter, och därmed belåningsgraden och återvinningsgraden, påverkas av prisutvecklingen på fastigheten så att ett förväntat framtida prisfall på fastigheter driver upp belåningsgraden och den förväntade förlustandelen vid fallissemang.

Skillnader mellan IFRS 9 och IRK

Handelsbankens IFRS 9-modeller bygger på samma historiska data och samma övergripande modellansats som bankens IRK-modeller där riskparametrarna PD, LGD och EAD modelleras. Då regelverken har olika syften skiljer sig beräkningsmodellerna åt både vad gäller riskparamettersättning och konstruktion och i vissa fall används nya modeller för att uppfylla kraven enligt IFRS 9. De huvudsakliga skillnaderna mellan IFRS 9 och IRK presenteras i tabellen ovan.

Validering av IFRS 9 modeller och modellbaserade beräkningar

Validering av modellerna och av dess ingående riskparametrar utförs årligen och säkerställer att de modellbaserade beräkningarna uppvisar god prognosförmåga och identifierar oväntade avvikelser mellan prognoser och senast tillgängliga utfall. Valideringen sker på flera aggregeringsnivåer och omfattar alla väsentliga riskparametrar samt den sammanvägda beräknade förväntade kreditförlusten på individuell och aggregerad nivå. Valideringen rapporteras till chefen för Group Credits, CRO och CFO.

Principerna för utvärdering och validering av modellerna är fastställda av Group Risk Control och valideringen utförs eller granskas av oberoende part från modellutvecklingen. De iakttagelser som framkom i valideringen 2020 var av

metodmässig karaktär, och bedöms inte medföra några väsentliga effekter på de beräknade reserverna som inte redan har beaktats. Iakttagelserna kommer att hanteras i vidareutvecklingen under 2021.

MANUELL BERÄKNING FÖR AVTAL I STEG 3

Tillgångar i Steg 3 prövas för nedskrivning på individuell nivå och beräkningen är manuell (med undantag för mindre portfölj av homogena fordringar som har modellberäknad reservering i Steg 3). Denna prövning genomförs löpande och vid varje rapporteringstillfälle av affärsansvarigt bankkontor (kund- och kreditansvarig enhet) och beslutas av regional kreditkommitté eller Group Credits.

Nedskrivningsprövning utförs när det finns objektiva omständigheter som tyder på att motparten inte kommer att kunna fullfölja sina kontraktsskyldigheter i enlighet med definitionen på fallissemang. Sådana objektiva omständigheter kan exempelvis vara försenad eller utebliven betalning, ändrad intern rating eller om kredittagaren försätts i konkurs.

I nedskrivningsprövningen uppskattas de framtida kassaflödena och säkerhetens värde (inklusive garantier). Hänsyn tas till normalt minst två möjliga framtidsbaserade scenarier med förväntade kassaflöden baserade både på motpartens återbetalningsförmåga och på

säkerheternas värde. Utfallet av dessa scenarier sannolikhetsvikts och diskonteras med fordrans ursprungliga effektivränta. De scenarier som används kan innehålla såväl makroekonomiska som avtalspecifika faktorer, utifrån vad som bedöms ha påverkan på den individuella motpartens återbetalningsförmåga och säkerheternas värdeutveckling. Vid bedömningen tas hänsyn till den enskilda motpartens specifika egenskaper. Nedskrivning görs om det beräknade återvinningsvärdet understiger bokfört värde.

GOVERNANCE OCH INTERN KONTROLL
För att beräkna ECL för avtal i Steg 1 och Steg 2 använder sig Handelsbanken av en koncerngemensam central process med internt utvecklade statistiska modeller (modellbaserad beräkning). För avtal i Steg 3 sker manuell beräkning. Beskrivningen nedan avser i huvudsak de modellberäknade reserverna för förväntade kreditförluster. Denna process omgärdas av en samling interna kontroller, vilka beskrivs nedan. I processens steg sker också olika godkännanden/fastställanden, vilket skapar en struktur för governance, och även den beskrivs nedan.

Kontroll av indata vid rapportering
Vid varje rapporteringstillfälle kontrolleras att den information som utgör grunden för beräkningarna av förväntade kreditförluster är korrekt och komplett. Detta sker genom maskinella avstämlningar av inläst data från levererande källor. Vidare görs en rimlighetsbedömning där systembalanser jämförs med föregående rapporteringstillfällens balanser. De balanser som används stäms slutligen av mot huvudboksvolymer.

Modeller
Innan en ny kvantitativ modell tas in i det övergripande modellsystemet genomgår den validering och godkänns för användning av chefen för Group Credits. Vid rapporteringstillfälle kan endast detta modellsystem anropas i samband med beräkning, vilket gör att bara godkända modeller kan användas.

I de kvantitativa modeller som ligger till grund för beräkningen av förväntade kreditförluster ingår flera antaganden och bedömningar. Exempel på antaganden är att de relationer som kan mätas mellan makroekonomiska riskfaktorer och riskparametrar på historiska data är representativa för framtida händelser, samt att avtals förväntade löptid kan baseras på historiskt data om beteenden. Vidare görs ett urval av de mest väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna baserat på de enskilda makroekonomiska riskfaktorernas förklaringsförmåga på de enskilda riskparametrarna. När makroekonomiska riskfaktorerna väljs ut och modellen specificeras görs en avvägning mellan enkelhet, förklaringsförmåga och stabilitet. Samtliga antaganden och avvägningar är presenterade för och beslutade av chefen för Group Credits.

Eventuella expertbedömda beräkningar på modellberäknade avtal i Steg 1 och Steg 2 och

av manuellt beräknade avtal i Steg 3 tillstyrks av chefen för Group Credits innan de tillämpas.

Makroekonomiska scenarier
De makroekonomiska scenarierna tas fram av bankens enhet för ekonomisk analys baserat på en instruktion från chefen för Group Credits. I denna instruktion framgår önskade makroekonomiska riskfaktorer, geografiska områden som ska ingå samt antal scenarier och sannolikhetsfördelningen mellan dessa.

Inför varje rapportering presenteras aktuella makroekonomiska scenarier för chefen för Group Credits och CFO, vilka godkänner scenarierna för användning i rapporteringsprocessen. De godkända makrosenarierna läses sedan in automatiskt i rapporteringsflödet.

Reserveringsbeloppens storlek
De totala beräknade reserverna i Steg 1 och Steg 2 tillstyrks av chefen för Group Credits och chefen för Group Finance. Beräknade reserver i Steg 3 föreslås av affärsansvarigt bankkontor (kund- och kreditansvarig enhet) och beslutas av regionalkreditkommitté eller central enhet beroende på reservens storlek. Kreditreserver i Steg 3 som beslutas regionalt eftergranskas/kvalitetsgranskas av central enhet. Därutöver utför Group Risk Control vid varje rapporteringstillfälle en oberoende granskning av ett urval av de kreditreserver i Steg 3 som beslutas centralt.

Kontrollfunktionernas roll
Group Risk Control fastställer principer för validering och säkerställer att validering av modeller utförs. Vid varje rapporteringstillfälle genomförs en oberoende granskning av ett urval av de kreditreserver i Steg 3 som beslutas centralt. Group Risk Control beskrivs närmare på sidan 69. Group Audit granskar beräkningen av förväntade kreditförluster som ett led i deras uppdrag att självständigt och oberoende granska den interna styrningen och kontrollen samt utvärdera tillförlitligheten i koncernens finansiella rapportering. Group Audit beskrivs närmare på sidan 69.

MOTPARTSRISKER
Motpartsrisiker uppkommer när banken har ingått derivatkontrakt eller kontrakt för lån av värdepapper med en motpart. Kapitalkrävningarna behandlar således förutom derivat också repor och aktielån som motpartsrisiker.

Vid beräkningen av såväl kapitalkrav som ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC) beaktas motparts exponeringarna utifrån de exponeringsbelopp som kapitalkrävningsreglerna ställer upp. Handelsbanken tillämpar marknadsvärderingsmetoden vid beräkning av exponeringsbelopp på derivatkontrakt för kapitalkrävningsändamål. För att fastställa den aktuella ersättningskostnaden för alla kontrakt med positivt värde åsätts kontrakten de aktuella marknadsvärdena. För att uppskatta den möjliga framtida kreditexponeringen multipliceras kontraktens nominella belopp med i regelverket

fastställda procentsatser som beror på typ av derivat och löptiden på exponeringen.

Motpartsrisiken är ett betrakta som en kreditrisk, där exponeringens storlek styrs av marknadsvärdet på kontraktet. I det fall det finns ett positivt värde på kontraktet betyder ett fall i slemang hos motparten en potentiell förlust för banken.

Reducering av motpartsrisk
Motpartsrisk förekommer från affärsdag fram till leverans och innebär att banken kan drabbas av en avvecklingskostnad om motparten inte kan fullfölja sitt åtagande. Denna risk finns i alla derivattransaktioner och i värdepappersaffärer där banken på förhand inte har säkrat betalning. Storleken på motparts exponeringarna begränsas genom kreditlimitering i den ordinarie kreditprocessen. Exponeringarnas storlek kan variera kraftigt med anledning av prisförändringar på den underliggande tillgången. För att beakta risken att exponeringen kan öka, görs vid kreditlimiteringen tillägg till värdet på den aktuella exponeringen. Tilläggen beräknas med skalor som beror på typen av kontrakt och kontraktets löptid. Exponeringarna beräknas och följs upp dagligen.

Motpartsrisiken i derivat reduceras genom avtal om så kallad close-out netting, det vill säga kvittning av positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart. Nettningsavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen (Credit Support Annex, CSA), vilket ytterligare reducerar kreditrisken. I huvudsak används kontanter som säkerhet för dessa transaktioner, men även statspapper förekommer. Till följd av den höga andelen kontanter är koncentrationsriskerna i säkerhetsmassan begränsade.

Majoriteten av Handelsbankens avtal innehåller close-out netting och avtalen med de största exponeringarna innehåller även CSA.

Även derivat som clearas via så kallade centrala motparter ger upphov till kapitalkrav. Centrala motparter är clearinghus som går in som motpart till både köpare och säljare i olika transaktioner och som därmed övertar ansvaret för att fullfölja parternas förpliktelser. Alla som använder en central motpart måste lämna säkerheter för alla transaktioner. I de flesta fall är riskvikten för centralt clearade derivat betydligt lägre än för andra typer av derivat.

NOTER | KONCERNEN

Tabell 3.24 (Pelare 3) Motpartersrisk uppdelat på exponeringsklasser, exponeringsbelopp och riskvägda exponeringsbelopp, internmetoden

Exponeringsbeloppet består av derivat, repor och aktiain.

Motpartersrisk uppdelat på exponeringsklasser, exponeringsbelopp och riskvägda exponeringsbelopp, internmetoden	2020		2019	
	Exponeringsbelopp ¹	Riskvägt exponeringsbelopp	Exponeringsbelopp	Riskvägt exponeringsbelopp
<i>mil</i>				
Exponeringsklasser internmetoden				
Instituts exponeringar	21 275	5 404	41 109	8 516
Företags exponeringar	10 727	3 183	8 509	2 604
Stats exponeringar	4 306	72	3 918	76
Summa internmetoden	36 308	8 659	53 536	11 196

Tabell 3.25 (Pelare 3) Motpartersrisk uppdelat på exponeringsklasser, exponeringsvärden och riskvägda exponeringsbelopp, schablonmetoden

Exponeringsvärdet består av derivat, repor och aktiain.

Motpartersrisk uppdelat på exponeringsklasser, exponeringsvärden och riskvägda exponeringsbelopp, schablonmetoden	2020		2019	
	Exponeringsbelopp ¹	Riskvägt exponeringsbelopp	Exponeringsbelopp	Riskvägt exponeringsbelopp
<i>mil</i>				
Exponeringsklasser schablonmetoden				
Instituts exponeringar	6 444	172	7 169	144
Varav Centrala motpartier (CCP)	6 210	124	7 165	143
Övriga exponeringar	63	21	299	19
Summa schablonmetoden	6 507	193	7 468	163
Summa Intern- och schablonmetoden	42 815	8 852	61 004	11 359

Tabell 3.26 (Pelare 3) Motpartersrisk i derivatkontrakt exklusive schablon tillägg för potentiell framtida exponering

Motpartersrisk i derivatkontrakt exklusive schablon tillägg för potentiell framtida exponering			
<i>mil</i>		2020	2019
Positiv bruttomarknadsvärde för derivatkontrakt		55 958	66 877
Nettningssvinst		-32 860	-29 673
Aktuell kvittad exponering		23 098	37 204
Säkerheter ¹		-14 833	-30 022
Nettomarknadsexponering för derivat		8 265	7 182

¹ Inkluderar säkerheter som kvittats med marknadsvärden i balansräkningen.

Tabell 3.27 (Pelare 3) Motpartersrisk i derivatkontrakt inklusive potentiell framtida exponering

Motpartersrisk i derivatkontrakt inklusive potentiell framtida exponering 2020					
<i>mil</i>	Aktuell kvittad exponering	Potentiell framtida exponering	Exponeringsbelopp	Riskvägt exponeringsbelopp	Kapitalkrav
Stats exponeringar	1 460	619	2 079	72	6
Instituts exponeringar	10 283	14 596	24 879	5 243	419
Företags exponeringar	7 444	4 640	12 093	3 192	255
Övriga	2	12	14	9	1
Summa	19 189	19 876	39 065	8 516	681
varav verksamhet i handelslagat	19 493	8 772	19 204	4 157	338

Motpartersrisk i derivatkontrakt inklusive potentiell framtida exponering 2019					
<i>mil</i>	Aktuell kvittad exponering	Potentiell framtida exponering	Exponeringsbelopp	Riskvägt exponeringsbelopp	Kapitalkrav
Stats exponeringar	1 433	577	2 010	76	6
Instituts exponeringar	24 023	21 870	45 893	8 419	674
Företags exponeringar	5 103	4 634	9 737	2 604	208
Övriga	7	15	22	15	1
Summa	30 566	27 096	57 662	11 114	890
varav verksamhet i handelslagat	7 557	10 459	18 016	3 960	317

MARKNADSRISK

Marknadsriskerna härrör från pris- och volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna. Marknadsriskerna delas in i ränterisker, aktiekursrisker, valuta-kursrisker och råvaruprisrisker.

I Handelsbankens verksamhet uppstår marknadsrisker till följd av att bankens kunder efterfrågar tjänster som kräver att banken har en flexibel finansiering. Vidare kan banken finansiera sig på andra marknader än där den har sin utlåning i syfte att diversifiera finansieringskällorna. Finansieringen kan också ha en annan räntebindningstid än de tillgångar som ska finansieras. Marknadsrisker kan även ha sitt ursprung i Group Treasurys likviditetsportfölj som med kort varsel kan omsättas till likviditet i samband med eventuella störningar på de marknader där banken bedriver sin verksamhet. Portföljen säkerställer koncernens betalningar i den dagliga clearingverksamheten och är en del av bankens likviditetsreserv.

Marknadsrisker uppstår också för att möta kunders efterfrågan på finansiella instrument med exponering mot ränte-, valuta-, aktie- eller råvarumarknaderna. För att möta denna efterfrågan kan det krävas att banken håller ett visst lager. Denna situation uppstår exempelvis när banken har åtagit sig att ställa priser, så kallad market maker-funktion.

Affärsverksamhetens marknadsrisker uppstår och hanteras således huvudsakligen i Group Treasury och i Handelsbanken Capital Markets, men uppstår även i Handelsbanken Liv. Marknadsriskerna i Handelsbanken Liv

behandlas i ett särskilt avsnitt. De upplysningar som lämnas i detta avsnitt avser således riskerna exklusive Handelsbanken Liv.

MARKNADSRISKSTRATEGI

Handelsbanken har en restriktiv syn på marknadsrisker. Marknadsrisker i bankens affärsverksamhet tas i alltför väsentligt endast som ett led i att lösa kunders placerings- och riskhanteringsbehov. Marknadsrisker ska begränsas genom att matcha kassaflöden och räntebindningstider, säkra öppna positioner och vidta andra riskbegränsande åtgärder.

Marknadsriskerna i Handelsbanken är mot denna bakgrund mycket låga. En konsekvens av de låga marknadsriskerna är att en låg andel av bankens resultat kommer från nettoresultat av finansiella transaktioner.

ORGANISATION

Bankens limitssystem begränsar hur stor exponeringen mot marknadsrisker får vara. Mätmetoder och limiters fastställs av styrelsen.

CFO har det funktionella ansvaret för likviditet och finansiering; under CFO har Head of Group Treasury ansvaret för koncernens likviditet och finansiering. Ansvaret omfattar att hantera koncernens likviditets-, valutakurs- och ränterisker i bankverksamheten. Limiterna för ränte-, valuta- och likviditetsrisk fördelas av CEO och CFO till Head of Group Treasury, som i sin tur fördelar dessa till de affärsdrivande enheterna. Limiten för aktiekursrisk och råvaruprisrisk fördelas av CFO till Capital Markets.

CEO och CFO beslutar även om kompletterande riskmått, intradagslimit och närmare riktlinjer. De kompletterande limitmåten syftar till att minska bankens känslighet för volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna samt begränsa riskerna i specifika innehav och likviditetsrisken per valuta. Vidare begränsar de kompletterande limitmåten riskerna ur ett löptidsperspektiv. Marknadsriskerna och

utnyttjande av limiters rapporteras löpande till CFO, CEO och styrelsen.

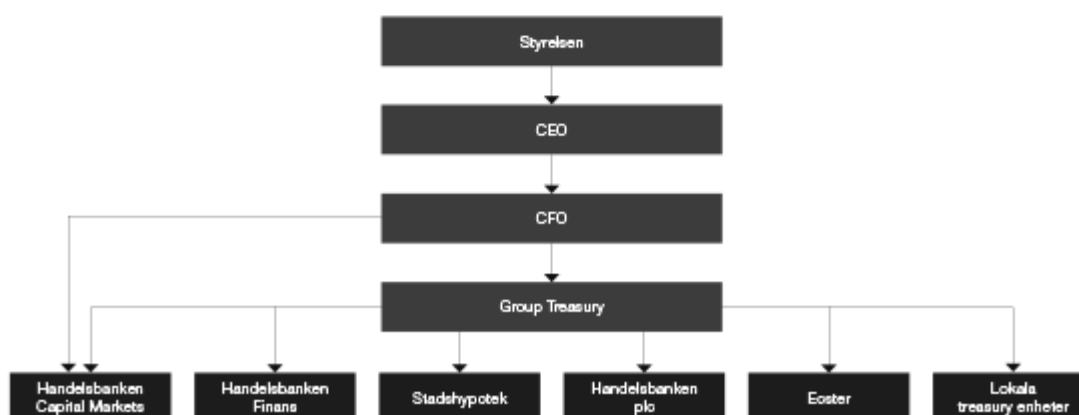
MARKNADSRISKER I HANDELSBANKEN

Marknadsriskerna mäts med flera olika metoder. De känslighetsmått som används visar vilka värdeförändringar som uppstår av fördefinierade förändringar i priser och volatiliteter. Vidare används även positionsrelaterade riskmått och sannolikhetsbaserade Value at Risk-modeller (VaR).

VaR

För de handelslagerklassificerade portföljerna i Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury beräknas Value at Risk (VaR). VaR är ett sannolikhetsbaserat mått och uttrycker i kronor de förluster som kan uppstå i riskpositioner på grund av rörelser i underliggande marknader över en specificerad innehavsperiod och en given konfidensnivå. VaR beräknas med historisk simulering och mäts för enskilda riskfaktorer, riskslag och på portföljnivå med 99 procents konfidensnivå och en innehavsperiod på en dag. Detta innebär att banken, i förväntan, kommer att göra en förlust som överstiger VaR-utslaget för en av 100 handelsdagar. Modellen medför att olika riskslag kan behandlas på ett enhetligt sätt, vilket möjliggör en jämförelse mellan riskslag och att dessa kan aggregeras till en total marknadsrisk. Den samlade risken i handelslagerklassificerade portföljer var vid årsskiftet 14 miljoner kronor (8). VaR redovisas löpande till CFO, CEO och styrelsen. VaR-modellen använder historiskt observerade utfall och fångar därmed inte alla potentiella utfall eller alltid risken vid extrema, snabba, marknadsrörelser. Beräkningarna kompletteras därför med stresstester där portföljerna testas mot scenarier som grundar sig på alla händelser på de finansiella marknaderna sedan 1994. Även resultaten av dessa stresstester redovisas löpande till CFO, CEO och styrelsens riskutskott.

Figur ÅR:21 Beslutandenivåer för marknads- och likviditetsrisker



NOTER | KONCERNEN

Tabell ÅR22 VaR för handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury¹VaR för handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury¹

mkr	Totalt		Aktier		Räntor		Valuta		Räsvär	
	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019
Gänomsnitt	15	9	1	1	17	10	3	2	1	1
Maximum	30	16	3	3	31	15	8	5	3	3
Minimum	5	6	0	0	5	6	1	1	0	0
Årsaktie	14	8	1	1	21	8	2	2	1	1

¹ Handelslagerklassificerade portföljer omgränsas av särskilda instruktioner och riktlinjer.

Tabell ÅR23 Vänta utfall i stress-test av handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury

Vänta utfall i stress-test av handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury		2020	2019
mkr			
Gänomsnitt		85	83
Maximum		264	244
Minimum		28	31
Årsaktie		69	56

Ränterisk

Ränterisken uppstår främst inom Handelsbanken Capital Markets, Group Treasury och i utlåningsverksamheten. Ränterisken mäts på flera sätt inom banken. Generell ränterisk mäts dagligen och limiteras som absolutsumman av de minst gynnsamma förändringarna i verkligt värde per valuta vid kraftiga momentana parallellskift uppåt eller nedåt på en procentenhet för samtliga räntor. Vid årsskiftet uppgick bankens totala generella ränterisk till 1 423 miljoner kronor (1 060). Räntebindningstid för inlåning som saknar kontraktuell löptid fastställs med Internmetod. Utgångspunkten för sådan inlåning är kortast möjliga räntebindningstid, och justering görs endast för den del som på underlag av observationer kan anses vara såväl stabil som icke räntekänslig. Riskmålet omfattar såväl marknadsvärderade som icke marknadsvärderade räntebärande poster och är därför inte lämpligt för att bedöma resultat effekter på balans- och resultaträkningen.

Specifik ränterisk mäts och limiteras med känsligheten för förändringar i kreditsspreadar, det vill säga skillnaden mellan det aktuella innehavets ränta och räntan på en statsobligation med motsvarande löptid. Denna risk uppkommer främst inom Handelsbanken Capital Markets och i Group Treasurys likviditetsportfölj.

Risken mäts och limiteras utifrån olika rating-kategorier och beräknas som den minst

gynnsamma marknadsvärdet förändringen vid en baspunkts förändring uppåt eller nedåt av samtliga kreditsspreadar. Detta görs för varje enskild motpart och utfallen absolutsummeras. Total specifik ränterisk uppgick vid årsskiftet till 7 miljoner kronor (6).

Ränterisk i handelslagret

Handelslagret i Handelsbanken utgörs av Capital Markets och Group Treasurys handelslagerklassade portföljer. Den generella ränterisken i handelslagret uppgick till 35 miljoner kronor (61) och den specifika ränterisken uppgick till 4 miljoner kronor (4). Hur riskerna utvecklas vid hypotetiska förändringar av olika avkastningskurvor, så kallade kurvvidlingsrisker, mäts och följs upp löpande. Den icke-Injära ränterisken, exempelvis en del av risken i räntecoptioner, mäts och limiteras med fördelnade stress-scenarier som uttrycks i matriser. Det innebär att risken mäts som förändringar i underliggande marknadsräntor och volatiliteter. För handelslagret mäts risken även med VaR och andra riskmått som kompletteras med olika stress-scenarier.

Ränterisk i övrig verksamhet

I utlåningsverksamheten uppstår ränterisken som ett resultat av att utlåningen delvis löper med annan räntebindningstid än finansieringen. Ränterisk hanteras till stor del genom ränte-

swappar. Generellt gäller att ränterisken i allt väsentligt tas i marknader som kännetecknas av god likviditet. Den generella ränterisken i övrig verksamhet uppgick till 1 415 miljoner kronor (1 066) och den specifika ränterisken uppgick till 3 miljoner kronor (2).

För att uppskatta effekten av ränteförändringar på resultaträkningen mäts även räntenettoeffekten. Räntenettoeffekten vid ränteförändringar mäts som förändringen av räntenettot över en tolv månaders period vid en generell ökning av marknadsräntorna med en procentenhet. Denna effekt speglar de skillnader som finns i räntebindningstider och volymssammansättning mellan tillgångar, skulder och derivat utanför handelslagret med antagandet att balansräkningens storlek är konstant. I beräkningen fastställs räntebindningstid för inlåning som saknar kontraktuell löptid med Internmetod. Detta görs på basis av historiska observationer och endast den del som är såväl stabil som inte räntekänslig justeras. Räntenettoeffekten uppgick vid årsskiftet till 1 081 miljoner kronor (267).

Tabell ÅR24 Generell ränterisk i övrig verksamhet

Generell ränterisk i övrig verksamhet (förändring i verkligt värde vid skiftet av parallellskift av samtliga räntor med en procentenhet)		2020	2019
mkr			
SEK		275	18
DKK		264	292
EUR		163	320
NOK		223	200
USD		95	9
GBP		388	219
Övriga valutor		6	8
Summa		1 415	1 066

NOTER | KONCERNEN

Tabell ÅR:25 Räntebindningstider för tillgångar och skulder

Tabellen visar räntebindningstiden för ränteränterande tillgångar och skulder per 2020-12-31. Icke-räntebärande tillgångar och skulder har exkluderats.

Räntebindningstider för tillgångar och skulder 2020 mkr	Upp till 3 månader	3-6 mån	6-12 mån	1-5 år	Över 5 år	Summa
Tillgångar						
Utlåning	1 384 882	101 958	152 272	578 046	52 454	2 269 612
Banker och andra finansinstitut	433 655	3 433	1 657	1 746	396	440 887
Obligationer m.m.	76 680	3 668	3 332	50 336	8 660	142 676
Summa tillgångar	1 895 217	109 059	157 261	630 128	61 510	2 853 175
Skulder						
Inlåning	1 209 850	11 424	5 116	1 238	2 135	1 229 763
Banker och andra finansinstitut	117 153	1 816	1 041	3 704	987	124 701
Emitterade värdepapper	217 203	161 720	270 976	579 398	122 523	1 351 820
Övriga skulder	-	-	-	-	-	-
Summa skulder	1 544 206	174 960	277 133	684 340	125 646	2 706 284
Poster utanför balansräkningen	-36 803	5 523	1 089	-43 094	53 489	-19 796
Skilnad mellan tillgångar och skulder inklusive poster utanför balansräkningen	314 208	-60 378	-118 783	2 694	-10 646	127 095

Räntebindningstider för tillgångar och skulder 2019 mkr	Upp till 3 månader	3-6 mån	6-12 mån	1-5 år	Över 5 år	Summa
Tillgångar						
Utlåning	1 408 765	99 266	122 178	524 187	48 207	2 202 603
Banker och andra finansinstitut	334 350	3 616	5 543	1 354	1 035	345 898
Obligationer m.m.	74 324	9 800	5 461	44 828	10 466	144 879
Summa tillgångar	1 817 439	112 682	133 182	570 369	60 708	2 783 380
Skulder						
Inlåning	1 044 190	34 617	30 713	6 207	2 100	1 117 827
Banker och andra finansinstitut	116 525	8 458	8 498	9 419	5 089	147 989
Emitterade värdepapper	445 435	195 046	117 595	593 385	69 045	1 420 507
Övriga skulder	-	-	-	-	-	-
Summa skulder	1 606 150	238 121	156 807	609 011	76 234	2 686 323
Poster utanför balansräkningen	-123 510	-40 396	38 602	96 982	-15 227	-43 549
Skilnad mellan tillgångar och skulder inklusive poster utanför balansräkningen	177 779	-165 835	14 977	58 340	-31 753	53 508

Aktiekursrisk

Bankens aktiekursrisk uppstår främst i Handelsbanken Capital Markets genom kundhandel och i bankens egna aktieinnehav.

Risken mäts som marknadsvärdet förändringen i bankens totala aktiepositioner vid momentan förändring i aktiepriser och volatiliteter med +/-10 respektive +/-25 procent. Vid årsskiftet uppgick det värsta utfallet av denna risk till 65 miljoner kronor (221). Den största exponeringen i aktier kommer från den brittiska marknaden.

Aktiekursrisk i handelslagret

Aktiekursrisken i Handelsbanken Capital Markets uppkommer vid kundgenererade aktierelaterade

affärer. Vidare är Handelsbanken Capital Markets market maker för strukturerade produkter, vilket ger upphov till aktiekursrisk, såväl linjär som icke-linjär. Den icke-linjära aktiekursrisken uppkommer via inslag av optioner som finns främst i de strukturerade produkterna.

Banken limiterar och mäter aktiekursrisken i Handelsbanken Capital Markets med matraser. Fördelen med metoden är att den fångar upp aktiekursrisken inklusive den icke-linjära risken på ett ändamålsenligt sätt. Såväl VaR som andra riskmått och stressscenarier används som komplement i mätningen av aktiekursrisken. Vid årsskiftet uppgick VaR för aktiekursrisk i handelslagret till 1 miljon kronor (1).

Aktiekursrisk utanför handelslagret

Koncernens aktieinnehav utanför handelslagret utgörs bland annat av Nivå 3-aktier som i huvudsak består av olika typer av gemensamt ägd verksamhet med anknytning till bankens affär. Innehaven är klassificerade som verkligt värde via övrigt totalresultat och värderas till verkligt värde i balansräkningen. Värdering sker som regel till bankens andel av substansvärdet i bolaget, alternativt till det pris den senaste transaktionen genomfördes. Aktiekursrisken är mycket liten.

Tabell ÅR:26 Aktiekursrisk

Aktiekursrisk mkr	Förändring i volatilitet					
	2020			2019		
Förändring i aktiepris	-25%	0%	25%	-25%	0%	25%
10%	74	73	72	228	239	229
-10%	-65	-64	-63	-221	-219	-217

NOTER | KONCERNEN

Tabell ÅR27 Aktieexponeringar utanför handelslagret

Aktieexponeringar utanför handelslagret enligt IFRS 9		
mkr	2020	2019
Innehav klassificerade som verkligt värde via övrigt totalresultat	800	2 303
varav Nivå 1 och 2	286	1 067
varav Nivå 3	514	1 232
Innehav klassificerade som verkligt värde via övrigt totalresultat	800	2 303
varav näringsbetingade	645	1 905
varav övrigt innehav	155	398
Verkligt värdeserv vid årets ingång	712	361
Orealiserad marknadsvärdeförändring under året för kvarvarande samt nya innehav	155	336
Realiserat till följd av försäljningar och avvecklingar under perioden	-727	15
Verkligt värdeserv vid årets utgång	140	712
Inbegripet i supplementärt kapital	0	0

Valutakursrisk

Banken har hemmamarknader utanför Sverige och dessutom verksamhet i ett antal andra länder. Därigenom uppkommer en valutaexponering av strukturell natur då koncernens räkenskaper är uttryckta i svenska kronor. Denna strukturella risk hanteras genom en avvägning mellan att antingen reducera valutakursförändringars påverkan på kapitalrelationerna eller eget kapital. Styrelsen har fastställt den maximala påverkan på eget kapital som den strukturella valutapositionen får ge upphov till i säkringen av kapitalrelationerna. De valutakursförändringar

som påverkar bankens egna kapital framgår av tabellen på sidan 88 i årsredovisningen. Förändring i eget kapital, Koncernen.

Bankens direkta valutakursrisk exponering uppstår till följd av kunddriven intradaghandel på de internationella valutamarknaderna. Handeln bedrivs inom Handelsbanken Capital Markets. För denna valutakursrisk har styrelsen, CEO och CFO fastställt VaR-limiter.

En viss valutaexponering uppstår även i den vanliga bankverksamheten som ett led i hantering av kundflöden och inom finansieringsverksamheten i Group Treasury. För dessa risker har

styrelsen, CEO och CFO fastställt positions-limiter. Vid årsskiftet uppgick den aggregerade nettopositionen till 393 miljoner kronor (632), exklusive den strukturella valutapositionen.

Denna valutakursrisk är inte beroende av trendutvecklingen av en enskild valuta eller grupp av valutor, då positionerna är mycket korta och uppkommer i hanteringen av kunddrivna flöden. Den samlade valutakursrisken i handelslagret och övrig verksamhet var 22 miljoner kronor (56), mätt som en påverkan på banken vid en momentan förändring av den svenska kronan med 5 procent.

Tabell ÅR28 Valutakänslighet

Valutakänslighet (väntat utfall +/- 0,5% förändring av SEK mot respektive valuta)		
mkr	2020	2019
EUR	44	98
NOK	7	17
DKK	4	5
USD	4	5
GBP	4	9
Övriga valutor	8	8

Råvaruprisrisk

Handeln med råvaror bedrivs uteslutande inom Handelsbanken Capital Markets. Exponering i råvarurelaterade instrument uppkommer endast till följd av kunddriven handel på de internationella råvarumarknaderna. Råvaruprisrisk, såväl linjär som icke-linjär, mäts som absolutsumman av risken för alla råvaror där banken har exponering. Råvaruprisrisken var vid årsskiftet 2 miljoner kronor (5), mätt som den maximala förlusten vid prisförändringar upp till 20 procent i underliggande råvaror och volatilitetsförändringar upp till 35 procent. Vid årsskiftet uppgick VaR för råvaruprisrisk till 1 miljon kronor (1).

Övriga marknaderrisker

Marknadsrisk uppkommer även inom bankens pensionssystem (pensionsrisk). Risken består av risken för värdeförändringar på pensionstillgångarna som tryggar bankens pensionsåtaganden, samt av förändringar i diskonteringsräntor.

Värdering till verkligt värde

Risikkontrollfunktionen kontrollerar att koncernens finansiella instrument värderas korrekt. Detta inbegriper ansvaret för att kontrollera de marknadsdata värderingen grundar sig på och att denna kontroll sker oberoende av risktagarna. Källor för marknadsdata är oberoende från affärsverksamheten. I de fall där marknadsdata erhållits från affärsverksamheten sker dokumenterade kontroller av rimlighet och mot externa källor. Verifiering av marknadspriser och marknadsdata till modeller ska ske åtminstone varje månad men sker i all väsentlighet även dagligen. Värderingsmodeller valideras av risikokontrollfunktionen som är oberoende av den som utvecklat modellen. Värderingskommittén, vars syfte är att samordna värderingsfrågor i Handelsbankenkoncernen, fyller en viktig funktion för att säkerställa, och verka för, att värderingen är korrekt och följer gällande marknadspraxis.

Värderingen av finansiella instrument som värderas till verkligt värde sker enligt IFRS 13.

Se not K39 för närmare information om de tillgångar och skulder som värderas till verkligt värde samt för ytterligare information om bankens värderingsprocess.

Försiktig värdering

I enlighet med artikel 105 i CPR ska banken beräkna ytterligare värdejusteringar för syftet lagstiftningsjusteringar av kapitalbasen. Artikel 34 utvidgar omfånget från att endast inbegripa handelslagret till att omfatta samtliga positioner som redovisas till verkligt värde. Kraven och metoden för dessa ytterligare värdejusteringar har därefter förtydligats i Europeiska kommissionens delegerade förordning (EU) 2016/101 avseende den tekniska standarden i enlighet med artikel 105 (14). Handelsbanken använder sig av den huvudmetod som definieras i den tekniska standarden för att beräkna ytterligare värdejusteringar för samtliga positioner som redovisas till verkligt värde.

FINANSIERING OCH LIKVIDITETSRISK

Likviditetsrisk är risken för att banken inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, utan att drabbas av oacceptabla kostnader eller förluster.

FINANSIERINGSSTRATEGI

Handelsbanken har låg tolerans för likviditetsrisker och arbetar aktivt för att minimera dessa, såväl totalt sett såsom i enskilda valutor. Ambitionen är att ha god tillgång till likviditet, låg resultatvariation och stor kapacitet att även i svåra tider kunna tillgodose kundernas finansieringsbehov. Det sker genom att upprätthålla god matchning av ingående och utgående kassaflöden över tid i alla för banken väsentliga valutor och genom att upprätthålla stora likviditetsreserver av god kvalitet. Banken minimerar på det sättet de ekonomiska riskerna i finansieringen och kan därmed upprätthålla stabila och långsiktiga internräntor till de affärsdrivande enheterna.

Vidare eftersträvas en bredd i finansieringsprogrammen och deras användning. Därigenom säkerställs att banken kan bedriva sin kärnverksamhet intakt under en lång period även om de finansiella marknaderna skulle ha omfattande störningar.

Resultatet av detta arbete är en väl matchad balansräkning där likvida tillgångar finansieras med stabil finansiering. De likvida tillgångarna

utgörs av krediter till hushåll och företag. Dessa krediter utgör bankens kärnverksamhet. Den långsiktiga stabila finansieringen av dessa tillgångar utgörs av säkerställda obligationer emitterade av Stadshypotek, seniora obligationer emitterade av Handelsbanken, inlåning från hushåll och viss inlåning från företag, efterställda skulder och eget kapital. En del av kärnverksamheten utgörs av utlåning till hushåll och företag på kortare löptider, och på skuldsidan är en del av inlåningen för dessa kunder av mer kortfristig natur.

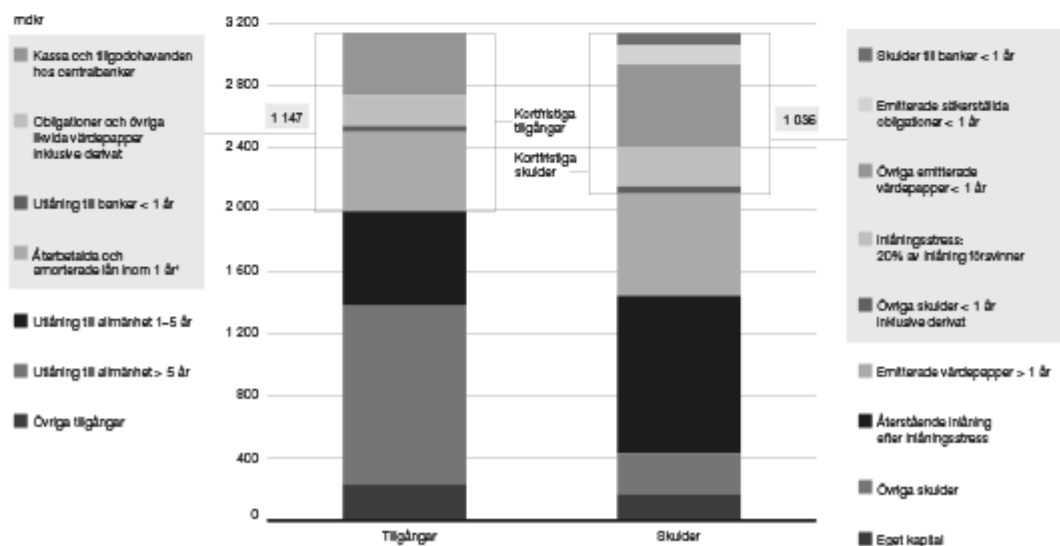
En balansräkning är en ögonblicksbild av tillgångar och skulder. För att säkerställa bankens åtaganden gentemot kunder och investerare är det viktigt med ett framtblickande perspektiv i finansierings- och likviditetsriskhanteringen. Balansräkningen är därför strukturerad så att den reala ekonomins aktörer i form av företag och hushåll och deras behov av krediter kan understödjas även under en långvarig stress på de finansiella marknaderna. De kortfristiga skulderna täcks med god marginal av de kortfristiga tillgångarna. I figur ÅR:29 beskrivs balansräkningen i ett stressat scenario där 20 procent av inlåningen antas försvinna inom ett år och all tillgång till ny marknadsfinansiering försvinner. Trots stressen beräknas korta tillgångar vid årets slut väsentligt överstiga korta skulder. Effekten av en långvarig kris skulle bli en krympt balansräkning med bibehållen kärnverksamhet där volymen korta tillgångar successivt används för att återbeta förfallande korta skulder. Skulle en kris bli än mer allvarig finns det likviditetskapande åtgärder förberedda för att stödja verksamheten ytterligare.

Handelsbankens förtroende på marknaden är högt och marknaden bedömer att Handelsbankens kreditrisk är låg. Detta illustreras bland

annat av att kostnaden för att försäkra en kreditrisk på banken, den så kallade CDS-spreaden, är fortsatt en av de lägsta bland europeiska banker, och Handelsbanken har lägst finansieringskostnad bland jämförbara konkurrenter. Handelsbanken har en fortsatt hög rating hos de externa ratinginstituten och är en av de högst ratade bankerna globalt utifrån samtliga jämförbara banker.

Ett viktigt inslag i finansieringsstrategin är att ha en god spridning mellan olika typer av finansieringskällor i olika marknader, valutor och typer av upplåningsinstrument. På så vis reduceras betydelsen av enskilda marknader eller finansieringskällor. Banken har en geografiskt väl diversifierad långfristig utlandsfinansiering och har emitterat betydande volymer av obligationer i bland annat amerikanska dollar, euro, brittiska pund, australiska dollar och japanska yen. De viktigaste finansieringskällorna är inlåning från hushåll och företag samt säkerställda och seniora obligationer. Den korta finansieringen utgörs primärt av inlåning från finansiella företag och institutioner samt emissioner av bankcertifikat (CP) och inlåningsbevis (CD). Group Treasury förtogar över ett antal olika finansieringsprogram för marknadsfinansiering. Under dessa program emitteras obligationer, inlåningsbevis och bankcertifikat såväl i bankens namn som för Stadshypotek och Handelsbanken plc. Finansieringsprogrammen säkerställer en väl diversifierad tillgång till finansiering med avseende på olika valutor, antal investerare, skuldtyper och geografisk spridning.

Figur ÅR:29 Balansräkningens sammansättning ur ett löptidsperspektiv



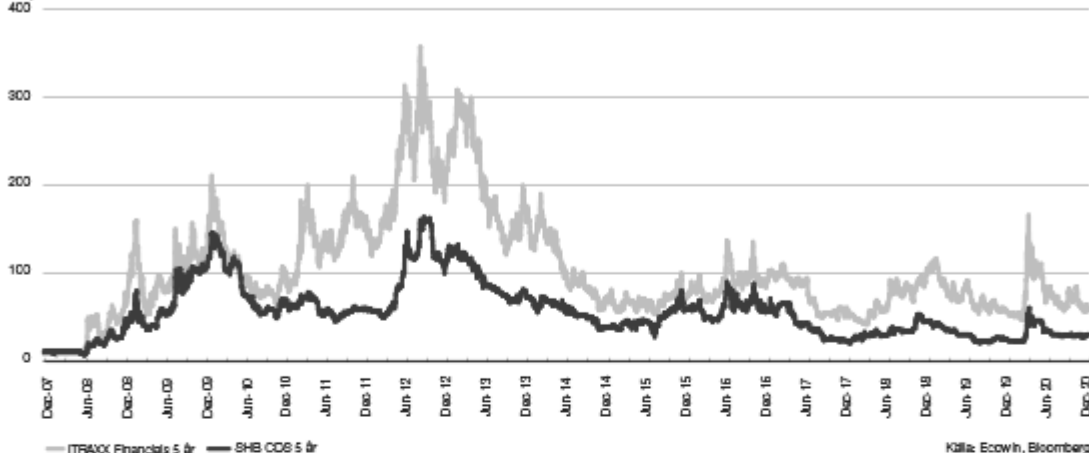
* Enligt amorteringsplaner, kontraktuella förfall och ytterligare återbetalningar av lån enligt prognos.

NOTER | KONCERNEN

Figur AR:30 Handelsbankens 5-åriga CDS-spread jämfört med ITRAXX Financiale

ITRAXX Financiale är ett index över CDS-spreaderna för de 25 största obligatörssemitterarna inom bank- och försäkringsskador i Europa och baserat på den genomsnittliga premien som investerare kräver för att acceptera kreditrisk på bolagen.

Baspunkter
400



ORGANISATION

Handelsbanken har en decentraliserad affärsmodell, men all finansiering och likviditetshantering i koncernen är centraliserad till Group Treasury. Finansierings- och likviditetshanteringen styrs av policyer fastställda av styrelsen som också beslutar om limiterna. Dessa policyer konkretiseras i riktlinjer av CEO och instruktioner från CFO. Instruktionerna fastställer bland annat limiterna, finansierings sammansättning och riktvärden i samband med störmärkningar på finansieringsmarknaderna. Vidare kanaliseras alla likviditetslimiterna ut i verksamheten via Group Treasury.

Group Treasury ansvarar också för bankens likviditetsreserv, inklusive de pantar som måste hållas i olika betalnings- och clearingssystem och övervakar likviditetsförhållandena under dagen för att säkerställa att banken har tillräckligt med säkerheter i betalningssystemen för att fullfölja bankens betalningsförpliktelser. Bankens likviditetsövervakning sker lokalt nära affärerna och kompletteras med en central hantering av pantar och likviditetsreserven för hela gruppen.

Storleken på pantar i clearingssystemen sätts utifrån den omfattning som banken bedömer behövs för bankens åtagande både vid normala och vid stressade förhållanden. Vid förändringar av dessa förhållanden justeras storleken av pantar och likviditet, och vid krisituationer kan också pantar omfördelas och likviditetsreserven

aktiveras. Banken säkerställer likviditeten på bankens nostrokonton för förväntade betalnings- och avvecklingsåtaganden genom aktiv likviditetsplanering och övervakning i samtliga valutor.

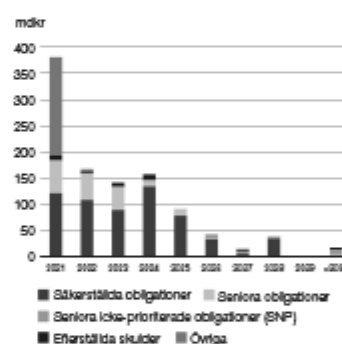
MARKNADSFINANSIERING

– SAMMANSÄTTNING

Handelsbanken har under året emitterat totalt 355 miljarder kronor (376) i långfristig marknadsfinansiering (värdepapper med en ursprunglig löptid överstigande ett år) fördelat över för banken viktiga valutor. En viktig komponent i den långfristiga marknadsfinansieringen är emissioner av säkerställda obligationer. Valutafördelning över den utestående stocken visas nedan i Figur AR:32. Kontrastförläning sker företrädesvis genom emissioner av bankcertifikat och inlåningsbevis under de olika låneprogrammen, främst i Europa och USA. Dessa låneprogram kompletteras av tidsbestämd inlåning från stora företag, finansiella såväl som icke-finansiella. I anslutning till finansieringsverksamheten har banken fortsatt att möta investerare i samma omfattning som tidigare, uppdaterat upplåningsprogram och även i övrigt bibehållit förutsättningarna för en obligationsupplåning på relevanta upplåningsmarknaderna över. Detta har möjliggjort att finansieringsverksamheten kunnat upprätthållas, trots tidvis mycket svåra förhållanden på de finansiella marknaderna under året.

Figur AR:31 Långfristig marknadsfinansiering – förfallostruktur

Avser emitterade värdepapper per 2020-12-31 med en ursprunglig löptid överstigande ett år.



Figur AR:32 Marknadsfinansiering säkerställda obligationer per valuta 2020

Avser fördelningen av valutor 2020-12-31 för emitterade säkerställda obligationer. Belopp i miljarder kronor inom parentes.



Figur AR:33 Kontrastförläning per valuta 2020

Avser fördelningen av valutor 2020-12-31 för emitterade värdepapper med en ursprunglig löptid under ett år. Belopp i miljarder kronor inom parentes.



Figur AR:34 Långfristig marknadsfinansiering per valuta 2020

Avser fördelningen av valutor 2020-12-31 för emitterade värdepapper med ursprunglig löptid över ett år. Belopp i miljarder kronor inom parentes.



Figur AR:35 Långfristig marknadsfinansiering per instrument 2020

Avser fördelning per instrument 2020-12-31 för emitterade värdepapper med ursprunglig löptid över ett år. Belopp i miljarder kronor inom parentes.



PANTSATTA TILLGÅNGAR OCH SÄKERHETSPOOLER

Ytterligare ett viktigt led i Handelsbankens likviditetshantering är att hålla betydande volymer av outnyttjade säkerheter som kan användas vid störningar på finansmarknaderna. En förutsättning för att kunna ställa mer säkerheter är att banken förfogar över outnyttjade säkerheter i utgångsläget. Banken upprätthåller därför betydande volymer av icke-pantsatta tillgångar som skulle kunna användas som säkerhet vid emission av säkerställda obligationer och likvida värdepapper med mycket hög kreditvärdighet.

Banken är restriktiv med att ingå avtal med andra än kreditinstitut, till exempel CSA-avtal, som stipulerar att banken under vissa kriterier kan tvingas att ställa säkerheter till en motpart. Ställda kontantsäkerheter enligt CSA-avtal för utestående derivat uppgick till 17 049 miljoner kronor (7 172). För mer information om bankens intecknade tillgångar, se Handelsbankens Faktabok, tabell Ställda säkerheter. Utöver att säkerställa bankens likviditet bidrar det restriktiva arbetssättet till att begränsa i vilken utsträckning bankens seniora långivare blir efterställda de långivare som investerar i säkerställda obligationer, så kallad subordination.

För att bedöma graden av subordination mellan investerare av icke-säkerställd finansiering och säkerställd finansiering är det volymen och kreditkvaliteten på de icke-pantsatta tillgångarna som är relevant. Handelsbankens restriktiva syn på risktagande gör att de icke-pantsatta tillgångarna har en hög kvalitet. Eftersom Handelsbanken vill ha en balanserad användning av säkerställda och seniora obligationer finns en betydande volym hypotekslån som inte är pantsatta. Övriga icke-pantsatta lån har också en låg risk mått till exempel i termer av bankens interna rating.

Tabell ÅR:36 visar att volymen icke-pantsatta tillgångar för Handelsbanken utgör 269 procent (238) av den utestående volymen icke-säkerställd upplåning.

Den helt dominerande delen av de pantsatta tillgångarna utgörs av Stadshypoteks cover pooler, vilka består av hypotekslån som ställs som säkerhet för utestående säkerställda obligationer. Dessutom har banken ett frivilligt så kallat OC (over-collateralisation), det vill säga extra tillgångar utöver de som behövs för att täcka de emitterade obligationerna och utöver de 2 procent som lagstiftningen kräver, på 8 procent som ingår i poolen. Dessa extra till-

gångar finns i poolen i händelse av att värdet på hypotekslånen skulle sjunka till en sådan nivå att ytterligare tillgångar behövs för att matcha volymen utestående obligationer.

Vid en bedömning av risken för att ytterligare tillgångar blir nödvändiga att skjuta till, är belåningsgraden på hypotekslånen i tillgångspoolen central. Ju lägre belåningsgrad, desto mindre risk för att ytterligare hypotekslån krävs i poolen vid prisfall på fastighetsmarknaden. Handelsbankens genomsnittliga volymviktade belåningsgrad, LTV-max, uppgick i den svenska poolen till 52,4 procent (54,8), i den norska poolen till 53,4 procent (55,7) och i den finska poolen till 49,5 procent (49,2). Detta visar att banken klarar betydande prisfall på underliggande fastighetstillgångar innan ytterligare hypotekslån måste tillföras poolerna. Det finns även förutsättningar för en dansk pool, men detta tillgångslager har ännu inte använts för emissioner.

De tillgångar som banken valt att hålla utanför cover poolerna återfinns i tabell ÅR:36 och kan användas för emissioner av säkerställda obligationer om så skulle vara nödvändigt.

Tabell ÅR:36 Tillgångar som ej är intecknade/pantsatta

Tillgångar som ej är intecknade/pantsatta	2020		2019	
	IPT (NEA) ¹		IPT (NEA) ¹	
	Ackumulerad andel av icke-säkerställd upplåning, % ²		Ackumulerad andel av icke-säkerställd upplåning, % ²	
mdkr				
Kontanter samt behållning hos centralbanken	418	81	337	37
Likvida obligationer i likviditetsportföljen ³	145	89	167	85
Utlåning till hushåll inklusive derivat	588		583	
varav hypotekslån	390	117	351	94
varav utlåning med säkerhet i fastighet	4	118	5	94
varav övrig hushållsutlåning	184	138	137	116
Utlåning till företag inklusive derivat	1 040		1 079	
varav hypotekslån	375	184	350	155
varav utlåning till bostadsrättsföreningar och hypotekslån	57	191	65	162
varav utlåning till fastighetsbolag och hypotekslån				
- riskklass 1-3	261	223	209	195
- riskklass 4-5	152	242	134	210
- varav riskklass > 5	7	243	8	211
varav övrig företagsutlåning				
- riskklass 1-3	108	256	142	227
- riskklass 4-5	66	264	70	236
- riskklass > 5	14	265	11	236
Utlåning till kreditinstitut inklusive derivat	11		16	
- riskklass 1-3	10	267	15	238
- riskklass > 3	1	267	1	238
Övrig utlåning	17	289	0	238
Övriga tillgångar	0	289	0	238
Summa	2 189	289	2 142	238

¹ IPT: icke-intecknade/pantsatta tillgångar. NEA: Non encumbered assets.

² Emitterad kort och lång icke-säkerställd upplåning samt skulder till kreditinstitut.

³ Avser i centralbank pantsättningsbart värde.

NOTER | KONCERNEN

Tabell ÅR37 Cover pool-data

Cover pool-data	Sverige		Norge		Finland	
	2020	2019	2020	2019	2020	2019
mkr						
Stadshypotek summa utlåning, allmänheten	1 239 819	1 174 773	97 359	97 201	53 749	51 963
Tillgängliga tillgångar för cover pool	1 148 999	1 073 220	91 675	93 899	50 629	48 816
lansspråkta tillgångar i cover pool	606 455	623 660	37 822	27 952	17 673	18 400
Fyllnadsäskenheter, splåmat konto	5 000	5 000	-	-	-	-
Max-belåningsgrad %, vägt genomsnitt enligt ASCB:s definition ¹	52,43	54,80	53,42	55,68	49,52	49,18
Belåningsgrad, fördelning						
0-10%	23,1	21,9	24,3	21,2	27,6	27,7
10-20%	20,6	19,7	20,2	20,5	23,6	23,5
20-30%	17,8	17,3	16,2	16,9	19,8	19,9
30-40%	14,7	14,6	13,8	14,1	12,7	13,0
40-50%	11,1	11,6	11,2	11,7	8,4	8,3
50-60%	7,4	8,2	8,3	8,7	5,0	4,9
60-70%	4,3	5,1	5,0	5,5	2,3	2,1
70-75%	1,2	1,6	1,1	1,4	0,6	0,6
Lånestorlek, vägt genomsnitt, kronor	680 300	664 000	3 990 523	4 109 415	1 116 604	1 101 925
Lånelivslängd, vägt genomsnitt, antal månader ²	69	66	26	26	61	59
Räntebindningstider, fördelning						
Förlig ränta, %	39,7	46,1	97,7	99,5	100,0	100,0
Bunden ränta, %	60,3	53,9	2,3	0,5	0,0	0,0

¹ Association of Swedish Covered Bond Issuers.² Beräknat från lånets beviljanddatum.

LIKVIDITETSRISK

Banken hanterar en stor mängd in- och utgående kassaflöden i sin verksamhet. För att begränsa risken i likviditetshanteringen har banken ett robust risktoleransramverk med både limit och kvalitativt uttryckta målsättningar för likviditetsrisk. Group Risk Control ansvarar för riskmätningen och rapporterar riskutryttningsdagligen till CFO, veckovis till CEO och löpande till styrelsen.

Likviditetsplaneringen bygger på en analys av kassaflöden för respektive valuta. Generellt gäller att exponeringen tillåts vara större i valutor med hög likviditet än i valutor där likviditeten är låg. Finansieringsstrategin bygger på att likvida tillgångar finansieras med stabil långsiktig upplåning och att ett positivt kassaflöde och en positiv kassaposition ska upprätthållas även under stressade förhållanden. En sådan gapanalys kompletteras även med scenarion där effekten på likviditeten stressas och analyseras under olika antaganden.

Styrningen av bankens likviditetssituation baseras på dessa stresstester vilka utförs på såväl aggregerad nivå som enskilt i de för banken väsentliga valutorna. Stresstesterna säkerställer att banken har tillräcklig likviditet i olika stressade scenarier och vilket olika likviditetsskapande åtgärder, som reflekterar bankens återhämtningsplan. Stresstesterna utförs med såväl marknadsvid som idiosynkratisk stress på en regelbunden basis samt ad hoc. De kompletteras även med scenarioanalyser som tar kraftiga bostadsprisfall i beaktande. Motståndskraften för mer långvariga störningar på marknaden mäts dagligen genom att kassaflöden stressas under vissa antaganden. I dessa långsiktiga stresstester antas att banken inte har tillgång till

marknadsfinansiering samtidigt som en andel av den icke-tidsbundna inlåningen från hushåll och företag försvinner successivt under den första månaden. Vidare antas att banken fortsätter att bedriva sin kärnverksamhet, det vill säga att den tidsbundna in- och utlåningen till hushåll och företag förlängs vid förfall och att utställda köften och kreditfaciliteter delvis utryttjas av kunderna. Samtidigt beaktas att tillgodohavanden i centralbanker och banker tas i anspråk och att Group Treasurys värdepapper omedelbart kan ge likviditet genom belåning i första hand via marknaden och som sista utväg i centralbanker.

Därutöver kan banken skapa likviditet genom att nyttja emissionsutrymme av säkerställda obligationer samt aktivera övriga likviditetsskapande åtgärder för att successivt ge likviditet till banken. Volymen och kvaliteten på uttryttjade säkerheter ska vara sådana att de vid en krisituation kan ge banken den likviditet som är nödvändig. Under dessa förutsättningar är banken likvid i mer än tre år. Banken har således en stor motståndskraft mot omfattande och långvarig stress.

En förutsättning för att banken ska kunna upprätthålla en stor motståndskraft mot störningar på de finansiella marknaderna är att balansräkningen är väl balanserad. Figur ÅR:29 Balansräkningens sammansättning ur ett löptidsperspektiv visar att volymen kortfristiga tillgångar väsentligen överstiger volymen kortfristiga skulder i ett stressat scenario där 20 procent av inlåningen antas försvinna inom ett år. Att konsekvent styra banken efter framåtblickande positiva nettokassaflöden, och inte ögonblicksbaserade kvotmått, säkerställer vidare detta över tid.

I tabell ÅR:40 Förfalloanalys för finansiella tillgångar och skulder redovisas kassaflöden för

Figur ÅR:38 Stresstest av likviditeten inklusive likviditetsskapande åtgärder – ackumulerad likviditetsposition



de kontrakterade betalningsåtaganden inklusive ränteflöden som ska erläggas senast inom de angivna tidsintervallen. I tabellen redovisas innehav i obligationer och andra räntebärande värdepapper i det tidsintervall i vilket de kan omsättas till likviditet vid en eventuell betalning eller försäljning. Vidare redovisas tillgångar, skulder och ränteflöden som förfaller i de tidsintervall som motsvarar kontraktsenliga förfallodatum. Ränteflöden för utlåning i hypoteksverksamheten matchas tidsmässigt med de skulder som finansierat utlåningen. Finansiella garantier, lånelöften och outnyttjade räkningskrediter redovisas i sin helhet i tidsintervallet upp till 30 dagar. Totalt utestående belopp för dessa åtaganden representerar inte nödvändigtvis framtida finansieringsbehov. För derivatinstrument redovisas kassaflöden netto för ränteswappar och brutto för instrument för vilka bruttokassaflöden erläggs respektive erhålls, som exempelvis valutaswappar.

Likviditetstäckningskvoten LCR (Liquidity Coverage Ratio) är genom Europeiska kommissionens delegerade förordning ett bindande krav för banker inom EU. Måttet uttrycker kvoten mellan bankens likviditetsbuffert och nettokassaflöden i ett mycket stressat scenario under en 30-dagarsperiod. Kravet gäller på aggregerad nivå och kvoten ska uppgå till minst 100 procent. Finansinspektionen ställer även krav på LCR i enskilda valutor inom ramen för översyn och utvärderingsprocessen i Pelare 2. Vid årsskiftet uppgick koncernens aggregerade LCR till 150 procent (147), vilket visar att banken har stor motståndskraft mot kortfristiga störningar på finansieringsmarknaden.

Minimikravet för det strukturella likviditetsmåttet net stable funding ratio (NSFR), relationen mellan tillgänglig stabil finansiering och behovet av stabil finansiering, träder i kraft inom EU i juni 2021. Vid utgången av 2020 uppgick NSFR till 117 procent enligt CRR2 (113) på koncernnivå.

PRISSÄTTNING AV LIKVIDITETSRISK

En viktig del av likviditetsriskhanteringen är att inlåning och utlåning internt prissätts med hänsyn till de likviditetsrisker de ger upphov till. När banken exempelvis ger ett lån med lång löptid så skapar det ett behov av att skaffa ytterligare långfristig finansiering, vilket normalt är dyrare än mer kortfristig finansiering. Det beror på att investeraren som köper bankens långfristiga obligationer normalt kräver en högre kompensations för löptiden. Detta beaktas i bankens interna prissättning, vilket sker genom att det pris som interna enheter i banken får betala för de lån de tar från Group Treasury bland annat beror på löptiden. Inga likviditetsrisker får tas lokalt. Den interna prissättningen är viktig för att skapa rätt incitament och undvika att ett osunt risktagande uppstår. Bankens har under lång tid arbetat med löptidsbaserade internt räntor som säkerställer att priset på kontraktsnivå tar höjd för den likviditetsrisk avtalet gett upphov till.

Tabell ÅR29 Liquidity coverage ratio (LCR) – delkomponenter

Liquidity coverage ratio (LCR) – delkomponenter mkr	31 dec 2020	31 dec 2019
Högkvalitativa likviditetstillgångar	550 278	484 480
Kassaflöden	413 024	379 970
Inlåning från allmänheten och småföretag	61 290	58 136
Osäkrad kapitalmarknadsfinansiering	273 375	264 686
Säkrad kapitalmarknadsfinansiering	5 245	3 568
Övriga kassaflöden	73 105	53 580
Kassaflöden	41 027	40 911
Inföden från fullt presterande exponeringar	27 536	26 619
Övriga kassaflöden	13 491	23 292
Liquidity coverage ratio (LCR), %	150	147

Delkomponenterna definieras i enlighet med Kommissionens delegerade förordning (EU) 2015/61.

NOTER | KONCERNEN

Tabell AR40 Förtälsanalys för finansiella tillgångar och skulder

För inlämningsvolymen avser kolumn "Ospecifierad löptid" inlämning som är betalbar på anfordran. Tabellen innehåller räntebädden vilket innebär att balansraderna inte är avräkningsbara mot koncernens balansräkning. Löptidstabeller inklusive löptidstabeller i valuta återspeglar i faktabok på handelsbanken.com/lov.

Förtälsanalys för finansiella tillgångar och skulder 2020 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Ospecifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	397 660	-	-	-	-	-	-	397 660
Betalningsbara statskuldförbindelser ¹	99 133	-	-	-	-	-	-	99 133
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	44 566	-	-	-	-	-	-	44 566
Utlåning till kreditinstitut	38 713	1 360	538	312	944	2 474	-	44 361
varav omvändarepor	523	-	-	-	-	-	-	523
Utlåning till allmänheten	66 169	260 975	202 186	222 073	424 043	1 167 829	-	2 343 275
varav omvändarepor	11 626	-	-	-	-	-	-	11 626
Övrigt	24 319	-	-	-	-	-	259 696	284 005
varav aktier och andelar	21 045	-	-	-	-	-	-	21 045
varav fordringar på fondkivider	3 274	-	-	-	-	-	-	3 274
Summa tillgångar	670 660	282 366	202 724	222 386	424 987	1 170 303	259 696	3 213 000
Skulder till kreditinstitut	40 506	44 451	4 606	2 504	338	1 169	31 683	125 257
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	-
varav inlåning från centralbanker	17 334	23 110	-	-	-	-	314	40 758
In- och upplåning från allmänheten	18 033	24 782	3 292	512	370	6 478	1 175 828	1 229 295
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	-
Emitterade värdepapper ³	65 211	308 234	292 213	177 502	390 714	108 727	-	1 342 601
varav säkerställda obligationer	4 422	52 689	75 622	118 283	317 032	78 624	-	646 672
varav certifikat och andra värdepapper med ursprunglig löptid understigande ett år	53 895	215 445	190 593	-	-	-	-	459 933
varav senare obligationer och andra värdepapper med ursprunglig löptid överstigande ett år	6 894	40 100	25 998	59 219	73 682	30 103	-	235 906
Efterställda skulder	-	9 937	-	2 935	19 014	8 281	-	40 167
Övrigt	5 700	363	367	694	1 644	1 151	424 642	434 561
varav korta positioner	1 637	-	-	-	-	-	-	1 637
varav fondkividskulder	4 063	-	-	-	-	-	-	4 063
Summa skulder	129 480	387 787	300 478	184 147	412 080	128 806	1 632 193	3 171 881
Postrar utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelånen	463 424							

Darvat 2020 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Summa
Summa darvat införde	203 291	407 858	107 490	71 824	148 247	75 337	1 014 047
Summa darvat utförde	206 606	413 822	104 701	71 671	145 940	76 657	1 019 406
Netto	-3 315	-6 964	2 789	153	2 308	-1 320	-8 360

Förtälsanalys för finansiella tillgångar och skulder 2019 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Ospecifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	347 438	-	-	-	-	-	-	347 438
Betalningsbara statskuldförbindelser ¹	103 387	-	-	-	-	-	-	103 387
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	42 639	-	-	-	-	-	-	42 639
Utlåning till kreditinstitut	11 403	1 777	289	935	2 067	3 261	-	19 762
varav omvändarepor	-	-	-	-	-	-	-	-
Utlåning till allmänheten	59 185	284 961	204 305	226 877	456 662	1 145 149	-	2 377 139
varav omvändarepor	10 438	-	-	-	-	-	-	10 438
Övrigt	24 442	-	-	-	-	-	244 868	269 310
varav aktier och andelar	21 390	-	-	-	-	-	-	21 390
varav fordringar på fondkivider	3 052	-	-	-	-	-	-	3 052
Summa tillgångar	688 494	286 738	204 604	227 812	488 759	1 148 410	244 868	3 159 676
Skulder till kreditinstitut	87 261	26 344	4 984	3 426	547	1 283	24 931	148 776
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	-
varav inlåning från centralbanker	40 025	12 795	-	-	-	-	26	52 846
In- och upplåning från allmänheten	2 139	27 824	4 098	504	340	6 576	1 075 844	1 117 325
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	-
Emitterade värdepapper ³	53 199	366 519	244 008	247 550	443 595	74 562	-	1 429 433
varav säkerställda obligationer	85	63 942	26 761	172 344	333 168	58 595	-	654 895
varav certifikat och andra värdepapper med ursprunglig löptid understigande ett år	48 203	275 005	117 376	-	-	-	-	440 674
varav senare obligationer och andra värdepapper med ursprunglig löptid överstigande ett år	4 211	27 482	39 871	75 206	110 427	15 967	-	332 864
Efterställda skulder	-	1 125	29	12 623	24 631	-	-	38 408
Övrigt	4 783	381	383	716	1 602	1 304	381 156	390 415
varav korta positioner	1 865	-	-	-	-	-	-	1 865
varav fondkividskulder	2 904	-	-	-	-	-	-	2 904
Summa skulder	147 382	422 193	263 002	264 619	470 806	83 728	1 481 631	3 124 367
Postrar utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelånen	439 667							

Darvat 2019 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Summa
Summa darvat införde	210 350	458 282	124 620	131 515	205 915	70 538	1 201 220
Summa darvat utförde	212 716	459 576	117 496	121 935	196 116	69 638	1 177 477
Netto	-2 366	-1 294	7 124	9 880	9 799	900	23 743

¹ Av beloppet (exklusive räntor) har 75 526 mkr (83 175) en återstående löptid som understiger ett år.

² Av beloppet (exklusive räntor) har 7 184 mkr (16 653) en återstående löptid som understiger ett år.

³ Av beloppet (exklusive räntor) har 652 957 mkr (644 231) en återstående löptid som understiger ett år.

LIKVIDITETSRESERVEN

För att säkerställa att banken har tillräckligt med likviditet för att stödja kärnverksamheten även under stressade finansiella förhållanden håller banken betydande likviditetsreserver i alla för banken relevanta valutor. Likviditetsreserven som är beroende av finansierings- och valuta-växlingsmarknaderna kan vid var tid ge likviditet

till banken, vissa delar omedelbart och andra delar successivt under en tidsperiod.

Likviditetsreserven består av flera olika delar. Kassa, tillgodoavanden och övrig utlåning till centralbanker är delar som omedelbart kan ge likviditet till banken. Vidare består reserven av likvida värdepapper som statsobligationer, säkerställda obligationer och övriga värde-

papper av mycket god kreditkvalitet som är likvida och belåningsbara i centralbanker. Även dessa kan ge banken likviditet omedelbart.

Resterande delar av likviditetsreserven består av outnyttjat emissionsutrymme av säkerställda obligationer och övriga likviditetskapande åtgärder.

Tabell ÅR41 Tillgodoavanden i centralbanker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven

Tillgodoavanden i centralbanker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven, marknadsvärde 2020 mkr	SEK	EUR	USD	Övrigt	Summa
Tillgångarnivå 1	208 731	131 740	67 023	140 883	548 088
Kassa, samt centralbankareserver	84 525	128 225	65 479	139 660	417 889
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, multilaterala utvecklingsbanker och internationella organisationer	93 585	2 935	2 444	1 400	100 364
Värdepapper emitterade av kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	645	-	-	-	645
Säkerställda obligationer med extremt hög kvalitet	29 976	599	-	9 623	39 198
Tillgångarnivå 2	1 068	664	1 978	952	4 660
Tillgångar nivå 2A	1 064	605	1 978	952	4 599
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	-	-	-	881	881
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	1 064	605	1 978	71	3 718
Förstagavärdepapper (högsta rating AA-)	-	-	-	-	-
Tillgångar nivå 2B	2	49	-	-	51
Värdepapper med beaktliggande tillgångar	-	-	-	-	-
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	-	-	-	-	-
Förstagavärdepapper (rating A+ till BBB-)	2	49	-	-	51
Aktier (större aktiaindex)	-	-	-	-	-
Summa likvida tillgångar	209 797	132 403	69 001	150 835	562 736

Tillgodoavanden i centralbanker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven, marknadsvärde 2019 mkr	SEK	EUR	USD	Övrigt	Summa
Tillgångarnivå 1	167 449	121 485	60 365	131 947	480 236
Kassa, samt centralbankareserver	46 552	114 519	57 959	127 176	346 206
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, multilaterala utvecklingsbanker och internationella organisationer	90 042	6 338	1 396	2	97 778
Värdepapper emitterade av kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	1 012	-	-	-	1 012
Säkerställda obligationer med extremt hög kvalitet	29 843	628	-	4 769	35 240
Tillgångarnivå 2	1 100	1 180	3 801	1 775	7 916
Tillgångar nivå 2A	1 100	1 125	3 801	1 775	7 801
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	-	-	-	1 730	1 730
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	1 100	1 125	3 801	36	6 152
Förstagavärdepapper (högsta rating AA-)	-	-	-	-	-
Tillgångar nivå 2B	-	25	-	-	25
Värdepapper med beaktliggande tillgångar	-	-	-	-	-
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	-	-	-	-	-
Förstagavärdepapper (rating A+ till BBB-)	-	25	-	-	25
Aktier (större aktiaindex)	-	-	-	-	-
Summa likvida tillgångar	168 630	122 635	63 166	133 722	488 152

NOTER | KONCERNEN

OPERATIV RISK

Operativ risk är risken för förluster till följd av icke ändamålsenliga eller misslyckade interna processer, mänskliga fel, felaktiga system eller externa händelser. Definitionen inkluderar legal risk.

Styrelsen har fastställt Handelsbanken-koncernens risktolerans för operativa risker. Handelsbanken har låg tolerans för operativa risker, samtidigt som operativ risk oundvikligen förekommer i all verksamhet inom banken. Handelsbanken ska så långt som möjligt sträva efter att förebygga dessa risker och reducera förlusterna på detta område. En operativ risk som skulle leda till en påtaglig försämring av koncernens resultat i händelse av incident, måste sänkas till en lägre risknivå. Riskbegränsande åtgärder ska vidtas så att konsekvens och/eller sannolikhet blir acceptabel. Förluster till följd av en operativ riskhändelse kan täckas av försäkringar eller andra lösningsalternativ.

Operativa risker ska hanteras så att koncernens operativa förluster förblir små. CEO har fastställt limit och gränsvärden för operativa risker. Risker ovanför limit måste ha en plan för riskbegränsande åtgärder. Åtgärdsplanen ska också vara effektiv och fortgå enligt fastlagd tidsplan.

Handelsbankens operativa förluster, som omfattar förväntade och erkända operativa förluster samt eventuella återvinningar, uppgick under 2020 till 89 miljoner kronor (47). Det är inte ovanligt att beloppet avseende operativ förlust justeras över tiden till följd av återvinningar, eller att ytterligare förluster tillkommer som hänförs till en tidigare rapporterad incident. Detta kan påverka jämförelsetalen för tidigare rapporterade förluster.

ORGANISATION

Ansaret för att identifiera, bedöma och hantera operativa risker är en integrerad del i chefs-

ansvaret på alla nivåer i Handelsbanken-koncernen. Bankens decentraliserade arbets-sätt och kostnadsmedvetenhet främjar en god hantering av operativa risker, vilket leder till en vaksamhet mot potentiella förlustrisker i dagliga rutiner och händelser.

Operativa risker hanteras i affärsverksamheten, och hanteringen kontrolleras av riskkontrollen. Till chefernas hjälp med hanteringen av operativa risker finns på regionbanker, huvudavdelningar, dotterbolag och enheter utanför bankens hemmamarknader särskilt utsedda lokala koordinatörer för operativ risk (lokala OpRisk-koordinatörer). Deras ansvar är att säkerställa att befintliga metoder och rutiner för hantering av operativa risker används i affärsverksamheten, att hantera uppföljning av rapporterade incidenter och att stödja affärsverksamheten och följa upp beslutade åtgärder beträffande operativa risker.

Group Risk Control har det övergripande ansvaret för de metoder och rutiner som används för att hantera operativa risker. Ansaret inkluderar även att regelbundet utvärdera metoder och rutiner samt verksamhetens tillämpning av dessa. Group Risk Control säkerställer att regionbanker, huvudavdelningar, dotterbolag, och enheter utanför bankens hemmamarknader identifierar, bedömer, rapporterar och hanterar operativa risker samt att de följer upp att beslutade åtgärder genomförs. Group Risk Control ansvarar också för att tillse att risker utvärderas innan beslut fattas om nya eller väsentligt förändrade produkter, tjänster, marknader, processer och IT-system samt vid större förändringar i koncernens verksamhet och organisation. Group Risk Control ansvarar vidare för att på koncernnivå identifiera, mäta, analysera och rapportera alla väsentliga operativa risker och deras utveckling till ledning och styrelse. Riskrapporteringen till ledning och styrelse innehåller även information om väsentliga incidenter och riskbegränsande åtgärder.

METODER FÖR ATT IDENTIFIERA, BEDÖMA OCH HANTERA OPERATIVA RISKER

Som stöd för löpande identifiering, bedömning och hantering av operativa risker har banken ett rapporterings- och ärendehanteringssystem för incidenter, en metod och rutin för självutvärdering av operativa risker samt riskindikatorer.

Incidentrapportering

Den löpande insamlingen av riskfakta i form av incidentrapportering sker hos kontor och avdelningar i hela koncernen i enlighet med CEO:s riktlinjer samt kompletterande instruktioner. Alla medarbetare i hela koncernen ska samla fakta om incidenter med förlust överstigande 25 000 kronor som deras enhet drabbas av. Därtill ska riskfakta samlas in och rapporteras om incidenter utan förluster eller med förluster som understiger 25 000 kronor, men som visar på väsentliga operativa risker som skulle kunna leda till väsentlig negativ påverkan på en enhets resultat. För att ytterligare främja enhetens förebyggande riskarbete uppmuntras alla medarbetare att även samla fakta om incidenter som ger upphov till mindre förluster eller ingen skada alls.

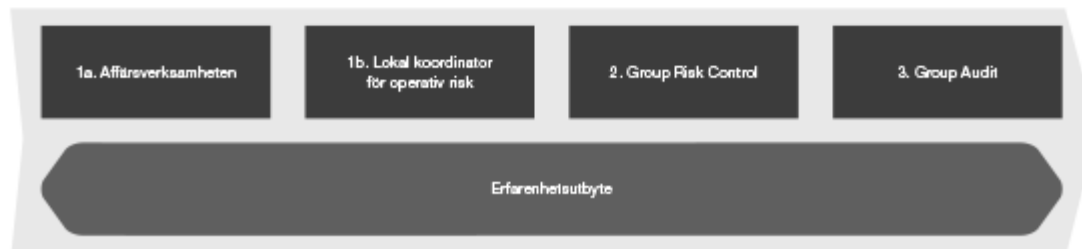
Rapporterade incidenter granskas och kategoriseras löpande av lokal OpRisk-koordinator. Banken kategoriserar operativ risk efter sju händelsetyper:

- brister i handläggning och processer
- avbrott/störning i verksamhet/system
- kunder, produkter och affärspraxis
- extern brottslighet
- skada på materiella tillgångar
- anställningsförhållanden och arbetsmiljö
- interna bedrägerier.

Självutvärderingsrutin OPRA Riskanalys

OPRA Riskanalys är en metod och självutvärderingsrutin för att dokumentera och bedöma operativa risker som kan få konsekvenser för banken. Den utförs minst en gång om året på alla enheter. Ansaret för utförandet ligger hos respektive chef. Lokal OpRisk-koordinator ger stöd vid planering och genomförande. Deltagare ska vara personer med bred erfarenhet från enhetens verksamhet. Den samlade kompetensen ska täcka alla identifierade ansvarsområden för analysen. Syftet är att bedöma konsekvens av och sannolikhet för en händelse. Konsekvensbedömningen omfattar både ekonomisk förlust och rykteerisk. Viktig information som underlag för OPRA Riskanalys är bland annat fakta och statistik från tidigare rapporterade incidenter, revisionsrapporter, compliance-rapporter, publika händelser i omvärlden samt OPRA Riskanalys från andra enheter och väsentliga processer som är relevanta. En självutvärdering som innebär att risken bedöms vara över en

Figur ÅR:42 Tre försvaretlinjer



godtagbar nivå, utmynnar i en åtgärdsplan som anger vilka risker som ska reduceras, hur detta ska ske, vem som är ansvarig samt tidsramar för åtgärderna. Åtgärdsplanen är ett arbetsunderlag som följs upp regelbundet under året av affärsverksamheten med stöd av lokal OpRisk-kordinator. Riskkontrollen tar del av utförd OPRA Riskanalys Inklusivt åtgärdsplan och utvärderar rutinen. Riskkontrollen ger löpande stöd till lokal OpRisk-kordinator vid planering, genomförande och uppföljning av OPRA Riskanalys.

Riskindikatorer

Riskindikatorer tillämpas för att varna om ökad operativ risk. Om ett gränsvärde för en riskindikator överskrids ska en riskanalys genomföras som underlag för bedömning av eventuella riskhanterande åtgärder.

ORX

Banken är medlem i ORX (Operational Riskdata eXchange Association). ORX främsta syfte är att deltagande banker utbyter anonymiserade data om incidenter som inneburit operativa förluster. ORX har också en viktig funktion att standardisera och kvalitetssäkra data om operativa risker. Det sker betydande forskningsarbete om metoder inom ämnet operativ risk, och ORX utgör ett viktigt forum för erfarenhetsutbyte.

IT-VERKSAMHET I

HANDELSBANKENKONCERNEN

Tillgänglighet och säkerhet i bankens it-tjänster är en förutsättning för bankens verksamhet. Den tekniska utvecklingen och digitaliseringen av banktjänster innebär att området ökar i betydelse. CEO fastställer riktlinjer avseende övergripande mål och strategi för it-verksamhet i Handelsbankenkoncernen. Operativa risker inom detta område hanteras enligt samma rutiner som i övriga delar av banken, med tillägg av särskilda rutiner för att hantera specifika typer av risker inom området, till exempel:

- övervakning av it-system i produktion
- hantering av it-incidenter
- hantering av nya eller förändrade it-system
- hantering av cyberrisker
- genomförande av säkerhetstester
- genomförande av riskanalyser av it-system
- granskning av uppdragsavtal och övriga leverantörsavtal
- kontinuitetshantering av it-system.

INFORMATION- OCH IT-SÄKERHET

Säkerhetsarbetet i Handelsbanken syftar bland annat till att skydda anställdas och kunders liv, hälsa och integritet samt skydda kundernas och koncernens goda namn och rykte. Känslig information om kunder och kundrelationer hanteras löpande i en banks verksamhet. Handelsbankens arbete med Informations- och IT-säkerhet grundar sig på tillgänglighet, riktighet, sekretess och spårbarhet. Information och affärssystem ska finnas tillgängliga utifrån verksamhetens affärskrav. CEO fastställer riktlinjer för informationssäkerhet i Handelsbanken.

Samtliga medarbetare i banken har ansvar att följa regler för skydd av information och varje chef ansvarar för att reglerna efterlevs inom sitt ansvarsområde. Banken har ett effektivt säkerhetsarbete som svarar upp mot eventuella hot och det finns rutiner för att hantera förändringar i it-miljön så att inga brister uppstår. Om det skulle uppstå brister i hanteringen, eller om information felaktigt skulle spridas, kan det leda till allvariga konsekvenser, som försämrat förtroende för banken eller ekonomiska förluster. Inom ramen för det systematiska säkerhetsarbetet pågår ett strukturerat arbete med att öka medvetenheten hos våra medarbetare och kunder om hot och risker inom Informations-säkerhet, till exempel genom föreläsningar, utbildningar och informationsinsatser.

Arbetet med bankens Informations- och IT-säkerhet syftar till att skydda kunders uppgifter och transaktioner samt bankens it-miljö. Informationssäkerhet omfattar såväl administrativa åtgärder som regler och instruktioner samt tekniska säkerhetslösningar.

Arbetet med Informationssäkerhet bedrivs i enlighet med den internationella standarden ISO 27001. Handelsbankens organisation för Informationssäkerhet samt fyra viktiga processer inom it-produktion är certifierade enligt ISO 27001.

Bankens regelverk för Informationssäkerhet bygger även på Standard of Good Practice utarbetad av Information Security Forum (ISF), som är en organisation där flera av världens största företag ingår som medlemmar. Arbetet med Informations- och IT-säkerhet bedrivs systematiskt och banken arbetar med en process där riskanalysen har en central roll. Riskanalyserna genomförs enligt metodiken ISF:s Information Risk Analysis Methodology (IRAM2).

Covid-19 pandemin har medfört ett avsevärt större behov av distansarbete för bankens medarbetare. Kapaciteten ökades i existerande och beprövad teknisk infrastruktur för att möta behovet. Verksamheter aktiverade tidigt sina kontinuitetsplaner och funktioner som kräver fysisk närvaro delades upp i olika arbetslag. Den centrala krisstaben aktiverades i februari och är fortsatt aktiv. It-förändringar, Inklusivt säkerhetsuppdateringar, har fortgått som vanligt.

FYSISK SÄKERHET

Handelsbankenkoncernens fysiska säkerhet innefattar brandskydd, process och rutin avseende hot mot och skydd av anställda, rese-säkerhet, skalskydd, bankens försäkringsskydd avseende ansvar- och egendomsförsäkring samt omvärldsbevakning och instruktioner.

Instruktioner inom koncernen för att hantera risker relaterade till området fysisk säkerhet innebär bland annat krav på att säkerhetsgenomgång genomförs minst årligen och följs upp via den årliga arbetsmiljöundersökningen.

FINANSIELL KRIMINALITET

Bankens målsättning är att kontinuerligt arbeta för att på ett effektivt och ändamålsenligt sätt

minimera risken för att banken, eller bankens produkter eller tjänster, utnyttjas som ett led i finansiell kriminalitet. Finansiell kriminalitet innefattar penningtvätt, finansiering av terrorism, tax evasion, korruption, bedrägerier och brott mot internationella sanktioner. Handelsbanken har en koncerngemensam avdelning som arbetar med att motverka finansiell kriminalitet. Avdelningen leds av bankens särskilt utsedda befattningshavare. Viktiga utgångspunkter för bankens arbete mot finansiell kriminalitet är bland annat bankens låga risktolerans samt de externa regelverken gällande penningtvätt och finansiering av terrorism.

FÖRÄNDRINGSHANTERING

Hantering av förändringar innefattar nya eller väsentligt förändrade produkter, tjänster, marknader, processer och it-system samt större förändringar i koncernens verksamhet och organisation. I bankens instruktioner och godkännandeprocesser för förändringshantering beskrivs de aktiviteter och aktörer som ingår i respektive process, samt hur och när kontrollfunktionerna ska involveras. Processerna omfattar även krav på att riskanalys ska genomföras och exempelvis beakta områden så som finansiell kriminalitet, hållbarhet, informationssäkerhet och datakvalitet. Beslut relaterat till förändringen ska även dokumenteras.

Figur ÅR43 Fördelning av antal förluster över 25 tkr, 2016-2020



■ Brister i handläggning och processer	48%
■ Avbrott/störning i verksamhet/system	6%
■ Kunder, produkter och affärspraxis	4%
■ Extern brottslighet	41%
■ Skada på materiella tillgångar	1%
■ Anställningstillsättanden och arbetsmiljö	0%
■ Interna bedrägerier	0%

Figur ÅR44 Fördelning av förlustbelopp över 25 tkr, 2016-2020



■ Brister i handläggning och processer	67%
■ Avbrott/störning i verksamhet/system	9%
■ Kunder, produkter och affärspraxis	4%
■ Extern brottslighet	16%
■ Skada på materiella tillgångar	0%
■ Anställningstillsättanden och arbetsmiljö	0%
■ Interna bedrägerier	4%

NOTER | KONCERNEN

VÄSENTLIGA PROCESSER

Med väsentliga processer avses de processer som är väsentliga för att stödja bankens kritiska verksamhet. De genomgår årligen och vid väsentliga förändringar en översyn av aktualitet, uppdateras vid behov samt riskanalyseras. Identifieringen av de väsentliga processerna är grundläggande för omfattningen av bankens kontinuitetsplanering, dvs vilka delar av verksamheten som ska prioriteras vid störningar och avbrott.

KONTINUITETSPLANERING OCH KRISHANTERING

Syftet med bankens kontinuitetsplanering och krishantering är att tillse att banken har en god beredskap för fortsatt verksamhet även i en kris-situation. Det innebär att förberedande åtgärder behöver vidtas för att lindra verkningarna av en allvarig störning i affärsverksamheten så att den kan fungera på en godtagbar nivå under den tid en störning pågår. Av CEO:s riktlinjer för kontinuitetsplanering och krishantering samt av kompletterande instruktioner framgår att det varje år ska utföras konsekvensanalyser för att slå fast vilka verksamheter och IT-system som är så kritiska att de behöver upprätta kontinuitetsplaner.

I kontinuitetsplanerna ingår att både planera för hur verksamheten ska upprätthållas medan störningen pågår och hur verksamheten ska kunna återgå till normala rutiner. När det gäller väsentliga processer ska planerna innehålla den längsta tillåtna tiden för avbrott. Det finns en central krisstab för hela koncernen. Därutöver har CEO utpekat de enheter som ska ha en krisstab. Arbetet i krisstaber ska bedrivas enligt särskilda krishandböcker.

Kontinuitetsplaner och krishandböcker ska revideras minst årligen. Planerna ska testas minst varje år och övningar hålls av de enheter som har skyldighet att utse krisstaber. Arbetet utvärderas årligen och rapporteras till centralstyrelsen, som även får information om bankens strategi för kontinuitetsplaneringen.

Handelsbanken deltar även i FSPOS (Finansiella sektorns privat- offentliga samverkan) frivilliga arbete för att stärka sektorns förmåga att hantera störningar och avbrott. Banken deltog därmed även i årets FSPOS-övning som syftade till att bedöma sektorns möjligheter att fortsätta verka under höjd beredskap.

LEVERANTÖRSAVTAL

Banken har en särskild process för hantering av leverantörsavtal, inklusive uppdragsavtal, inom koncernen. Utgångspunkten är att banken ska tillämpa ett riskbaserat arbetssätt, med beaktande av bankens låga risktolerans, i såväl bedömning inför beslut om leverantörsavtal som i administrationen av dem. CEO har utfärdat riktlinjer som anger förutsättningar och krav för bland annat uppdragsavtal avseende verksamhet av väsentlig betydelse. Riktlinjerna gäller i hela Handelsbankerkoncernen och omfattar även dotterbolagen i koncernen.

ANSEENDERISK, UPPFÖRANDERISK OCH UTBILDNING

Anseenderisk är risken för förluster till följd av att förtroendet för banken skadas. Detta kan ske exempelvis på grund av bristande etik, olämpligt agerande, bristfällig information eller ogenomtänkt utveckling av nya eller ändrade produkter. Handelsbanken hanterar och minimerar anseenderisken i sin verksamhet genom aktiv omvärldsbevakning med därtill relevanta åtgärder vid behov, samt genom att bedriva verksamheten enligt hög etisk standard. Under 2020 har sex utbildningar varit obligatoriska för samtliga medarbetare i koncernen: Finansiell kriminalitet, Dataskyddsförordningen (GDPR), Hållbarhet i Handelsbanken, Marknadsmissbruk, Säkerhetsutbildning – Cybersäkerhet samt Säkerhetsutbildning – Fysisk säkerhet.

Handelsbankens låga risktolerans avspeglas även i synen på ersättning till anställda. Banken anser att fast ersättning bidrar till en sund verksamhet och fast ersättning tillämpas därför som huvudregel.

HÅLLBARHETSRISKER

Hållbarhetsrisker kan uppstå i och med bankens olika roller – som långlivare, kapitalförvaltare, tjänsteleverantör, inköpare eller arbetsgivare. Hållbarhetsrisker spänner över många områden, till exempel mänskliga rättigheter, arbetsvillkor, miljö- och klimat, finansiell brottslighet samt informations- och IT-säkerhet.

Att identifiera, hantera och även förebygga hållbarhetsrisker är viktigt ur ett ekonomiskt och legalt perspektiv men även för bankens anseende.

Handelsbankens arbete med att hantera hållbarhetsrisker följer vår decentraliserade modell och ligger i linje med bankens generellt låga risktolerans. Bankens affärsverksamheter bär ansvaret för att identifiera hållbarhetsrisker och att hantera dessa. Det görs inom ramen för etablerade riskhanteringsprocesser.

Mycket av arbetet med rapportering och tillsyn av klimatrisker tar sin utgångspunkt från Task Force on Climate-Related Financial Disclosure (TCFD-rekommendationerna) som är en global standard för rapportering klimatrelaterad information. Handelsbanken ställer sig bakom TCFD:s rekommendationer. Sedan 2018 publicerar Handelsbanken Kapitalförvaltning och Handelsbanken Liv Klimatrapporter i linje med dessa rekommendationer med inkluderade framåtblickande klimatanalyser.

Inom kreditområdet har arbetet fokuserat på att bygga upp processer och rutiner som syftar till att förbättra bankens förmåga att identifiera, hantera, mäta och rapportera exponering mot klimatrelaterade risker. Arbetet är en fortsättning på det kartläggningsarbete och kompetenshöjande åtgärder som genomfördes föregående år. Arbetet bedrivs tvärfunktionellt och inkluderar Group Risk Control, Group Credits, Group Finance och Group Sustainability. Arbetet stötts av externa experter inom klimatförändring och fokuserar på bankens fastighetsexponering.

COMPLIANCERISK

Compliancerisk är risker förknippade med bristande regel efterlevnad.

Handelsbankenkoncernen har höga ambitioner avseende ordning och reda, etik samt efterlevnad av lagar och regler. Handelsbankens styrelse har fastställt i Policy för regel efterlevnad att "Handelsbanken har låg tolerans för compliancerisker och ska så långt som möjligt förebygga dessa".

Med regel efterlevnad menas efterlevnad av förordningar, lagar, myndigheters föreskrifter och allmänna råd, interna regler och god sed eller god standard avseende den tillståndspliktiga verksamheten. Bristande regel efterlevnad kan bl.a. leda till ökade operativa risker, risker för sanktioner och andra ingripanden, ekonomiska förluster eller minskat förtroende för koncernens verksamhet. Compliancearbetet syftar till att skydda banken mot compliancerisker genom råd och stöd, att identifiera compliancerisker och att rekommendera åtgärder för att hantera dessa.

I Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd om styrning, riskhantering och kontroll i kreditinstitut (FFFS 2014:1), Europeiska bankmyndighetens riktlinjer för intern styrning samt Europeiska värdepappers- och marknadsmyndighetens riktlinjer om vissa aspekter av kraven för funktionen för regel efterlevnad enligt MiFID II, anges huvuddragen för hur tillsynsmyndigheterna anser att funktionen för regel efterlevnad ska vara uppbyggd och hur ett institut bör arbeta med regel efterlevnadsfrågor. I Baselkommitténs ramverk för regel efterlevnad, Compliance and the compliance function in banks, anges även riktlinjer för hur compliancefunktionen inom en bank bör utformas. Handelsbanken har genom policy, riktlinjer och instruktioner implementerat detta arbetssätt.

ORGANISATION

Compliancefunktionen är organiserad i dels Group Compliance och dels lokala complianceenheter vid dotterbolag och andra juridiska personer. Alla complianceenheter ska vara

oberoende i förhållande till affärsverksamheten och organisatoriskt skilda från de funktioner och områden som ska kontrolleras. Anställda i complianceenheter får inte utföra operativa uppgifter som ingår i verksamhet som de ska kontrollera.

ANSVAR

Regel efterlevnad är ett ansvar för samtliga chefer och medarbetare i koncernen och åtgärder för att trygga regel efterlevnaden är en del av den interna kontrollen. Compliancefunktionen ansvarar för att aktivt verka för god regel efterlevnad och att Handelsbankens låga tolerans för compliancerisker uppfylls. Compliancefunktionen har till uppgift att identifiera, övervaka och kontrollera risker och brister i förhållande till regel efterlevnaden, lämna rekommendationer, ge råd och stöd till bankens personal, ledning och enheter i frågor om regel efterlevnad och rapportera till ledning och styrelse om regel efterlevnad. Chief Compliance Officer har ansvaret för compliancefunktionen i koncernen och för rapportering om regel efterlevnad.

RISKBASERAT COMPLIANCEARBETE

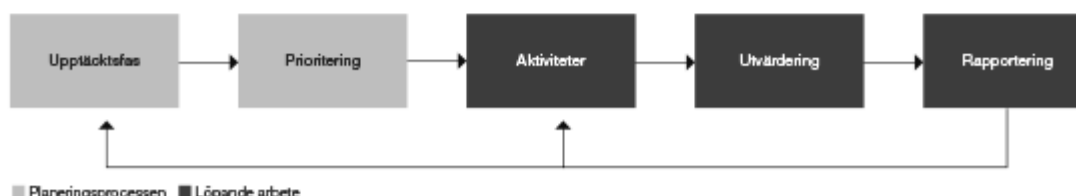
Grunden för compliancearbetet är en riskbaserad prioritering av koncernens mest väsentliga riskområden. Dessa riskområden är utgångspunkten för complianceaktiviteter i form av råd och stöd, utbildning och kontroller. Om risker identifieras värderas dessa och rapporteras enligt en fyrgradig bedömningskala "låg", "medelhög", "hög" samt "kritisk". Signifikanta riskområden som bedöms ha en "hög" eller "kritisk" risk har under 2020 rapporterats av Chief Compliance Officer minst kvartalsvis till CEO, halvårsvis till styrelsens riskutskott och årsvis till styrelsen. Rapporten har även föredragits i riskforum. Rapporteringen innehåller även en bedömning av de åtgärder som verksamheten vidtagit för att hantera identifierade risker.

COMPLIANCERISKER

Under 2020 har ett fåtal compliancerisker rapporterats som signifikanta, det vill säga höga eller kritiska risker, på koncernnivå och de är alla föremål för åtgärder för att reduceras till en acceptabel nivå. De signifikanta compliance-riskerna på koncernnivå var liksom föregående år främst kopplade till regelverket som rör åtgärder mot penningtvätt och finansiering av terrorism.

Tidigare startade åtgärdsprogram har fortsatt under året och bidragit till en positiv utveckling. Fortsatt arbete krävs dock alltjämt för att säkerställa god hantering av riskerna och regel efterlevnad inom detta område. Vid behov har interimslösningar införts för att säkerställa regel efterlevnad samtidigt som arbete pågår för en långsiktig effektiv lösning. Andra viktiga områden under året har varit att verka för att ytterligare stärka regel efterlevnaden när det gäller dataskyddsförordningen och ersättningar från tredje part.

Figur ÅR45 Compliance arbetsprocess



NOTER | KONCERNEN

RISK I ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Ersättningsrisk utgörs av risken för förlust eller annan skada som uppkommer till följd av ersättningssystemet.

ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Ersättningar i Handelsbanken fastställs individuellt för varje medarbetare vid tillträde i ny befattning och i lokala lönesamtal. Ersättningen ska, med beaktande av för Handelsbanken bindande kollektiva avtal eller motsvarande lokala standardiserade avtal eller överenskommelser, baseras på bankens modell för lönesättning och de där angivna lönegrundande faktorerna: arbetsart och svårighetsgrad, kompetens, prestationsförmåga och uppnådda arbetsresultat, ledarskap, marknaden samt uppgiften som bärare av bankens kultur. Denna ordning har tillämpats under många år och innebär att chefer på alla nivåer regelbundet deltar i löneprocesser och tar ansvar för bankens lönepolitik och den egna enhetens personalkostnadsutveckling.

För att säkerställa att Handelsbanken har ett väl utformat ersättningssystem hanteras risker i ersättningssystemet som ett separat riskslag för vilket hanteringen följer samma ansvarsfördelning som för andra typer av risker. Handelsbanken har låg tolerans för ersättningsrisker och eftersträvar aktivt att hålla dessa risker på en låg nivå. Prestationsbaserad rörlig ersättning tillämpas med stor försiktighet och erbjuds inte till medarbetare som i sin yrkesutövning har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil.

Under 2020 har prestationsbaserad rörlig ersättning tilldelats med 55 miljoner kronor (48).

ORGANISATION OCH ANSVAR

Principerna för bankens ersättningssystem fastställs i ersättningspolicyn som beslutas av styrelsen. Mer detaljerade riktlinjer och tillämpningsföreskrifter beslutas av CEO. Group Compliance granskar att dessa styrdokument överensstämmer med regelverk på området.

Ansvar för att identifiera och hantera ersättningsrisker vilar på varje ansvarig chef i verksamheten. Group Risk Control tillser att ersättningssystemet och dess tillämpning årligen utvärderas ur ett riskperspektiv. Utvärderingen ska också innehålla en analys av ersättningssystemets påverkan på bankens risk-, kapital- och likviditetssituation.

RISKER I ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Bedömningen är att Handelsbankens ersättningspolicy och ersättningssystem genererar låga risker, harmoniserar med bankens låga risktolerans samt stöder bankens långsiktiga intressen. Ersättningssystemets påverkan på bankens finansiella risk-, kapital- och likviditetssituation är låg. Totalt avsatt belopp för prestationsbaserad rörlig ersättning under ett år till anställda i Handelsbankenkoncernen får inte överstiga 0,4 procent av Handelsbankenkoncernens kärnprimärkapital. Underlaget för beräkning av prestationsbaserad rörlig ersättning riskjusteras utifrån bedömning av nuvarande och framtida risker. Det finns regler för uppskjutande av utbetalning av rörlig ersättning och för att helt eller delvis nedsätta tilldelad uppskjuten rörlig ersättning.

För mer detaljerad information och statistik om bankens ersättningssystem, se bolagsstyrningsrapport och not K8 i årsredovisningen.

RISK I FÖRSÄKRINGSRÖRELSEN

Risken i försäkringsrörelsen består främst av marknadsrisker och försäkringsrisker.

VERKSAMHETEN OCH RISKER I FÖRSÄKRINGSRÖRELSEN

Handelsbanken Liv bedriver livförsäkringsverksamhet med traditionell förvaltning, fondförsäkring och depåförsäkring samt riskförsäkringsverksamhet. Traditionellt förvaldade försäkringar är stängda för nyteckning. Riskprofilen mäts med den i Solvens 2 föreskrivna standardformeln. Riskprofilen domineras av marknadsrisker och försäkringsrisker.

MARKNADSRISK

Marknadsrisk avser den samlade risken att förändringar i riskfaktorer inom finansiella marknader, till exempel förändringar i räntor, fastighetspriser, aktiepriser och valutakurser, resulterar i värdeförändringar på bolagets placeringstillgångar och/eller dess åtaganden. Marknadsrisken uppstår i den traditionella förvaltningen avseende garantiprodukterna samt indirekt från sparprodukter, fond- och depåförsäkringar, där försäkringstagarna själva står för risken men där bolagets intjänning beror på det förvaldade kapitalet i produkterna.

Ränterisk finns även i försäkringsskulderna genom att de försäkringstekniska avsättningarna diskonteras med en riskfri räntesats.

Handelsbanken Liv har låg risktolerans. Handelsbanken Livs styrelse ger genom bolagets placeringeriktlinjer och riskpolicy övergripande anvisningar om hur tillgångarna ska förvaltas givet åtagandena till försäkringstagarna och lagstadgade krav, hur styrning och kontroll av placeringarna ska ske samt hur den totala risken i bolagets samlade tillgångar och åtaganden ska hanteras. Tillgångar ska endast investeras på ett aktsamt sätt i tillgångar och instrument vars risker kan identifieras, mätas, analyseras och rapporteras.

LIKVIDITETSRISK

Likviditetsrisk är risken för att ett bolag inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, utan att drabbas av oacceptabla kostnader eller förluster. Likviditetsrisker hanteras genom en daglig uppföljning av kommande utbetalningar och genom att en betydande del av bolags placeringstillgångar placeras i marknadsnoterade värdepapper med mycket god likviditet.

FÖRSÄKRINGSRISK

Försäkringsriskerna består framförallt av liv- och sjukförsäkringsrisker och kan delas in i nedanstående kategorier.

Tabel ÅR46 Prestationsbaserad rörlig ersättning

Prestationsbaserad rörlig ersättning	2020	2019
Avsättning prestationsbaserade rörliga ersättningar ¹ , mkr	55	48
Löner och avoden, mkr	2 378	2 291
Antal personer som har möjlighet att tjäna in prestationsbaserad rörlig ersättning ²	163	164
Medelantal anställda	12 563	12 548
Avsättning prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av totala löner och avoden, %	0,6	0,5
Avsättning prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av kärnprimärkapitalet, %	0,04	0,04
Antal personer som har möjlighet att tjäna in prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av medelantal anställda, %	1,3	1,3

¹ Beloppen redovisas exklusive socialavgifter. Beloppen fastställs efter publicering av årsredovisningen.

² Antal personer som tilldelas prestationsbaserad rörlig ersättning fastställs efter publicering av årsredovisningen. Av de 164 personer som hade möjlighet att tjäna in rörlig ersättning 2019, fick 127 personer tilldelning.

Riskkategori

Dödsfallsrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender eller ändrad volatilitet i fråga om dödlighet. Ökad dödlighet leder till att värdet av försäkringsåtagandena ökar.

Livsfallsrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender eller ändrad volatilitet i fråga om dödlighet. Minskad dödlighet leder till att värdet av försäkringsåtagandena ökar.

Invaliditets- och sjuklighetsrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender eller ändrad volatilitet för insjuknande och tillfrisknande.

Annulationsrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer eller ändrad volatilitet i fråga om uppehåll, upphörande, förmåelse och återköp.

Driftkostnadsrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender eller ändrad volatilitet för driftkostnaderna för försäkringsavtal.

Omrövningsrisk

Risken för förlost eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender för omprövningar av periodiska utbetalningar på grund av ändrade författningar, ändrade rättsliga förhållanden eller ändrad hälsostatus hos de försäkrade.

Katastrofrisk

Risken för förlust eller negativ förändring av värdet av försäkringsåtagandena till följd av väsentlig osäkerhet i prissättnings- och ersättningsåtagandena i fråga om extrema eller onormala händelser

Handelsbanken Liv-gruppen är även exponerad för risker kopplade till olycksfallsförsäkring. Dessa bedöms dock inte vara materiella jämfört med övriga risker. En större del av Handelsbanken Livs försäkringar är tecknade av mindre företag och privatpersoner. Någon riskkoncentration finns inte, utöver att flertalet försäkringar är tecknade i Sverige.

Försäkringsrörelsen rapporterar sina marknads- och försäkringsrisker samt operativa risker till försäkringsbolagets styrelse och CEO, bankens Group Risk Control samt till bankens Riskkommitté som är rådgivande till bankens CEO och CFO.

För mer information om Handelsbanken Livs företagsstyrningssystem och riskhantering hänvisas till Handelsbanken Livs publikation Gemensam rapport om solvens och finansiell ställning som finns tillgänglig på handelsbanken.com/liv.

EKONOMISKT KAPITAL

Handelsbankens modell för beräkning av ekonomiskt kapital fångar i ett mått koncernens samlade risker och anger det kapital som med en mycket hög sannolikhet ska täcka oväntade förluster eller värdeminskningar.

Group Risk Control har ansvaret för att bedriva en heltäckande bevakning av koncernens olika risker. Ett instrument i den bevakningen är bankens modell för ekonomisk kapital (Economic Capital, EC). EC-modellen utgör även del i bankens bedömning av internt kapitalbehov som rapporteras kvartalsvis till styrelsen. Denna bedömning syftar till att säkerställa att koncernvid varje tidpunkt har tillräckligt med kapital i förhållande till koncernens samtliga risker. Koncernperspektivet innebär att det ekonomiska kapitalet även innefattar risker i försäkringsföreläsen och risker i bankens pensionsåtaganden.

Beräkningen av EC görs med ett års tidshorisont och en konfidenznivå som speglar en acceptabel risknivå och önskad rating. Styrelsen har beslutat att beräkningen av ekonomiskt kapital ska göras på 99,97 procents konfidenznivå, vilket fångar in för banken extremt ogynnsamma händelser. EC utgör skillnaden mellan utfallet under ett genomslitligt år – med positivt resultat och godvårdsutveckling av bankens tillgångar – och utfallet vid 99,97 procents konfidenznivå.

I sammanräkningen av EC beaktas diversifieringseffekter mellan de olika riskslagen. Kapitalbehovet för samtliga riskar är således lägre än summan av det ekonomiska kapitalet för varje individuell risk för sig, eftersom riskerna delvis är oberoende av varandra.

Det kapital och de andra finansiella resurser som utgör en buffert som kan absorbera negativa utfall benämns tillgängliga finansiella resurser (Available Financial Resources, AFR). AFR är Handelsbankens eget kapital med tillägg av andra finansiella värden i och utanför balansräkningen som är tillgängliga för att täcka förluster med ett års tidshorisont.

Koncernen arbetar med ett aktieägarperspektiv på risk- och kapitalstrukturen. Genom modellen för ekonomiskt kapital erhålls en samlad bild av koncernen som ger förutsättningar för att optimera risk- och kapitalstrukturen utifrån aktieägarens perspektiv. Utifrån den beräkningarna spelar en viktig roll i den interna styringen av banken och när nya affärer eller strukturförändringar övervägs.

Kreditrisken är beräknad med hjälp av en simulering av utfall avseende fallissemang för koncernens samtliga motparter och exponeringar.

Marknadsriskerna består av risken i handelslagrasklassificerade tillgångar, ränterisk i övrig verksamhet, marknadsrisker i försäkringsrörelsen och av risken i aktieinnehav i övrig verksamhet.

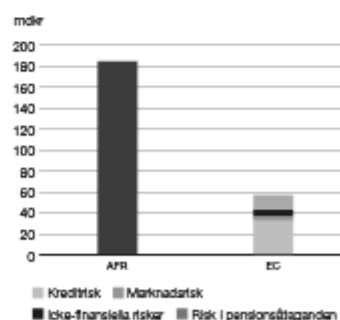
Risken i pensionsåtagandena består i huvudsak av risken för att de tillgångar som finns inom ramen för tryggheten av bankens pensionsåtaganden ska minska samt att värdet på dessa åtaganden är räntekänsligt. Huvuddelen av pensionsåtagandena finns i Sverige och tryggs där i en pensionsstiftelse och i en tjänstepensionskassa.

De icke-finansiella riskerna består av operativ risk, affärsrisk, fastighetsrisk och försäkringsrisk. Affärsrisken är relaterad till oväntade resultatförändringar inom respektive affärsområde. Dessa kan exempelvis uppstå på grund av att efterfrågan eller konkurrensen förändras på ett oväntat sätt, med minskade volymer och pressade marginaler som följd. Fastighetsrisken fångar risken att de fastigheter som banken äger faller i värde.

EC uppgick vid årsskiftet till 57,2 miljarder kronor (57,2), där kreditriskerna står för huvuddelen av den totala risken. Den av styrelsen fastställda målsättningen är att kvoten mellan AFR och EC ska överstiga 120 procent. Kvoten var vid årsskiftet 324 procent (314), vilket visar att banken är väl kapitaliserad i förhållande till sin totala risker. Finansinspektionen har inom ramen för sin samlade kapitalbedömning av banken kommit till samma slutsats.

Den redovisade risk- och kapitalsituationen är en ögonblicksbild, även om det i riskberäkningarna ingår försiktighetsmarginaler för variationer i konjunkturen. För en slutlig bedömning av koncernens kapitalbehov måste också hänsyn tas till den stress- och scenariobasanalys som genomförs inom ramen för bankens kapitalplanering.

Figur 6.1 (Pelare 3) Sammanställning av AFR och EC inklusive diversifiering 2020



NOTER | KONCERNEN

KAPITALPLANERING

Handelsbankens kapitalplanering syftar till att säkerställa att koncernen vid varje tidpunkt har rätt mängd tillgängliga finansiella resurser.

Kapitalbehovet är en funktion av koncernens risker, förväntade utveckling, regelverk och måttal. Handelsbankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC) samt stress-tester. Bankens kapitalbehov rapporteras veckovis till CFO och CEO och minst kvartalsvis till styrelsen.

Som en del av den proaktiva kapitalplaneringen finns en beredskaps- och handlingsplan med konkreta åtgärder som kan vidtas om banken behöver förbättra sin kapitalposition. Syftet med beredskaps- och handlingsplaneringen är att säkerställa att det finns ett varningssystem som upptäcker potentiella hot i ett tidligt skede och att koncernen är förberedd att skyndsamt kunna genomföra åtgärder, om så måste ske.

Minst årligen upprättas en långsiktig kapitalplan som syftar till att ge en övergripande bild av koncernens nuvarande kapitalposition, en prognos över den förväntade kapitalutvecklingen och utfallet i olika scenarier. Dessa scenarier är utformade så att de väsentligt avviker från den förväntade utvecklingen och harmoniserar således med koncernens låga risktolerans. Kapitalplanen innehåller också förslag på hur kapitalpositionen ska kunna behållas på en tillfredsställande nivå i ett starkt negativt omvärldsscenario, utifrån både ett reglerings- och ett aktieägarperspektiv.

Kapitalplaneringen är uppdelad i ett kortskiktigt och ett medellångt till långskiktigt prognosarbete. Den del av kapitalplaneringen som utgörs av kortskiktiga prognoser på upp till två år är främst inriktad på att bedöma rådande resultatutveckling och utveckling av kapitalkravet. Prognosarbetet är nödvändigt för att löpande kunna anpassa kapitalbasens storlek och sammansättning.

Kapitalplanering görs genom en löpande analys av volym-, risk- och resultatutveckling samt genom bevakning av händelser som kan påverka kapitalbehov och kapitalmängd. Det kortskiktiga prognosarbetet omfattar alla delkomponenter som utgör koncernens kapitalbas, och kapitalbehovet inkluderar, förutom regleringsmässiga minimikrav och buffertar, även kapitalkravet enligt regelverkets Pelare 2 samt bruttosolldittetskravet och minimikravet på nedskrivningsbara skulder (MREL). I detta arbete ingår också att i ett kortskiktigt perspektiv utföra olika känslighetsanalyser av den förväntade utvecklingen av kapitalkravet och kapitalbasen för att vid behov vara beredd att påverka

kapitalbasens storlek och sammansättning genom till exempel marknadsoperationer.

Resultatet av den kortskiktiga analysen utgör grunden för de eventuella kapitaloperationer som genomförs, och resultatet rapporteras veckovis till CFO och CEO och vid behov till styrelsen. Analysen utgår från ett förskiktigt grundscenario med beslutspunkter i närtid om hur den befintliga intjäningsförmågan klarar av att bära olika volymförändringar, och vilka effekter som uppkommer av potentiella kapitaloperationer.

Den del av kapitalplaneringen som utgörs av medellånga till långskiktiga prognoser syftar till att säkerställa dels att de lagstadgade kapitalkraven uppfylls, dels att koncernens tillgängliga finansiella resurser (Available Financial Resources, AFR) vid varje tidpunkt med marginal täcker alla risker beräknade enligt modellen för EC.

Även den långskiktiga prognosen innehåller en bedömning av utvecklingen av bankens samlade kapitalbehov över perioden: minimikraven, de kombinerade buffertkraven, Pelare 2-kravet, bruttosolldittetskravet samt MREL-kravet. Syftet är att prognostisera den förväntade utvecklingen och bedöma huruvida bankens motståndskraft är tillfredsställande i olika scenarier. Planeringsperioden är minst fem år och beaktar utvecklingen i hela koncernen.

Basen för den långskiktiga kapitalprognosen är ett grundscenario som ges av den förväntade utvecklingen under de kommande fem åren beträffande resultat, volymtillväxt, finansiella antaganden, som exempelvis kreditförluster, samt utveckling på aktie-, fastighets- och räntemarknaden. Grundscenariot ställs sedan mot utfallen i ett antal konjunktur- och kris-scenarier. Stressscenarierna har fastställts efter analys av de historiska sambanden mellan olika makroekonomiska variablers påverkan på de finansiella marknaderna och har valts utifrån de scenarier som kan förväntas påverka Handelsbanken mest negativt.

Käprämärkapitalrelationen uppgick vid utgången av 2020 till 20,3 procent (18,5). Kvoten mellan AFR och EC uppgick till 324 procent (314) vid samma tidpunkt. Således överstiger AFR det bedömda interna kapitalbehovet (EC) med mycket god marginal.

Bankens starka position framhävs ytterligare av resultatet av de olika framåtblickande stressscenarier som utförs, vilket visar på att Handelsbankens långskiktiga kapitalisering är mycket stabil ur ett ekonomiskt och legalt perspektiv.

Kapitalplaneringen följer även den regleringsmässiga utvecklingen och bedömer effekten och behoven till följd av nya tillkommande krav.

KONCERNENS MÅLTAL FÖR REGLERINGSMÄSSIGT KAPITAL

Målen för bankens kapitalisering fastställs löpande av styrelsen. En hörnsten i den interna kapitalbehovsbedömningen av den regleringsmässiga kapitalpositionen är stress- och scenarionalyser av bankens situation både i det långa och i det korta perspektivet. De scenarier

som används grundas i första hand på bankens interna risktolerans samt på krav som kommer direkt av regelverket eller andra myndighetskrav. Utöver den interna bedömningen av kapitalbehovet har Finansinspektionen kommunicerat att svenska bankers måttal, oaktat bankernas interna beräkningar, inte får understiga det av Finansinspektionen framräknade samlade bedömda kapitalbehovet. Kapitalbehovet kommer till största del att utgöras av ett minimikrav efter införandet av Finansinspektionens tillämpning när den nya lagen träder i kraft under 2021. Banken har beaktat detta vid fastställandet av måltalen för den regleringsmässiga kapitaliseringen.

Styrelsen har beslutat att käprämärkapitalrelationen, som är det mest relevanta måttet för styrningen av banken enligt nuvarande regler, under normala förhållanden ska uppgå till mellan 1 och 3 procentenheter över det av Finansinspektionen kommunicerade samlade käprämärkapitalkravet. Övriga kapitaldelar (primärkapitalrelation och total kapitalrelation) ska minst uppgå till 1 procentenhet högre värde än det samlade kapitalbehovet som Finansinspektionen har kommunicerat för dessa delar. Vidare ska banken uppfylla samtliga övriga kapitalkrav från myndigheter. I tillägg har styrelsen beslutat att "utdelningsnivån ska inte leda till att kapitalrelationerna underskrider en nivå om en procentenhet över Finansinspektionens kommunicerade krav".

Banken bedömer att Finansinspektionens käprämärkapitalkrav vid utgången av det fjärde kvartalet uppgick till 13,8 procent.

NOTER | KONCERNEN

K3 Räntenetto

mk	2020	2019
Räntesintäckter		
Utlåning till kreditinstitut och centralbanker	517	3 160
Utlåning till allmänheten	41 754	44 445
Betalningsbara statskultförbindelser m.m.	291	333
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	380	520
Derivatinstrument	1 172	4 084
Övriga räntesintäckter	1 282	1 341
Summa	45 396	63 883
Räntesintäckter redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	-112	-512
Summa räntesintäckter	45 008	64 305
varav räntesintäckter enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning	42 164	47 326
Räntekostnader		
Skulder till kreditinstitut och centralbanker	-576	-871
In- och upplåning från allmänheten	-1 332	-2 157
Emitterade värdepapper	-11 786	-20 022
Derivatinstrument	2 690	4 440
Efterstälda skulder	-1 186	-1 282
Statliga avgifter	-1 424	-2 165
Övriga räntekostnader	-204	-201
Summa	-13 818	-22 208
Räntekostnader redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	84	2
Summa räntekostnader	-13 002	-22 280
varav räntekostnader enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning	-11 609	-18 910
Räntenetto	31 806	32 135

På raderna Derivatinstrument ingår räntenetto som är hänförligt till tillgångar och skulder som stökas. Dessa kan ha både positiv och negativ inverkan på räntesintäckter och räntekostnader.

K4 Provisionsnetto

mk	2020	2019
Courtage och övriga värdepappersprovisioner	656	625
Fonder	4 432	3 885
Depå och övrig kapitalförvaltning	979	1 151
Rådgivning	240	255
Försäkringar	779	757
Betalningar	3 182	3 757
Ut- och inlåning	1 353	1 401
Garantier	352	399
Övrigt	648	532
Summa provisionsintäckter	12 621	12 782
Värdepapper	-258	-240
Betalningar	-1 494	-1 733
Övrigt	-83	-92
Summa provisionskostnader	-1 835	-2 065
Provisionsnetto	10 786	10 697

Provisionsintäckter per segment 2020	Hemmarknader								Justeringar och elimineringar		Totalt
	Sverige	Storbritannien	Norge	Danmark	Finland	Nederländerna	Capital Markets	Övrigt			
Courtage och övriga värdepappersprovisioner	231	8	18	54	19	13	314	12	-13		656
Fonder	3 353	267	151	106	160	48	413	0	-66		4 432
Depå och övrig kapitalförvaltning	408	36	69	161	31	60	125	-	-1		979
Rådgivning	0	38	1	13	-	-	189	-	-1		240
Försäkringar	837	-	36	25	62	-	-159	1	-23		779
Betalningar	2 185	262	229	168	324	2	27	-12	-3		3 182
Ut- och inlåning	737	143	79	69	253	19	50	4	-1		1 353
Garantier	126	19	43	65	24	1	74	-	0		352
Övrigt	532	4	3	80	13	1	256	0	-241		648
Summa provisionsintäckter	8 400	777	620	741	888	144	1 280	6	-340		12 621

NOTER | KONCERNEN

K4 Forts

Provisionsintäkter per segment 2019	Hemmarknader						Capital Markets	Justeringar och eliminerings		Totalt
	Sverige	Storbritannien	Norge	Denmark	Finland	Nederländerna		Övrigt		
mkr										
Courtag och övriga värdepappersprovisioner	197	4	13	37	32	25	309	20	-12	625
Fonder	3 041	-	146	109	156	58	464	-	-89	3 885
Depå och övrig kapitalförvaltning	418	305	67	143	28	63	128	1	-2	1 151
Rådgivning	0	40	1	12	-	-	207	-5	-	255
Försäkringar	824	-	38	24	60	-	-166	1	-24	757
Betalningar	2 555	290	282	213	357	3	60	-12	0	3 757
Ut- och inlåning	700	166	88	65	296	19	56	13	-2	1 401
Garantier	126	24	52	63	28	1	104	0	1	399
Övrigt	421	5	2	71	16	0	257	1	-241	532
Summa provisionsintäkter	8 282	843	680	737	673	160	1 410	10	-360	12 762

Provisionsintäkter avser intäkter från avtal med kunder. Intäkter från Courtag och övriga värdepappersprovisioner, Rådgivning, Betalningar samt Ut- och inlåning redovisas huvudsakligen när tjänsterna utförs, det vill säga vid en viss tidpunkt. I Betalningar ingår kortavgifter och kortinsatser. Intäkter från Fonder, Depå och övrig kapitalförvaltning, Försäkringar och Garantier redovisas huvudsakligen i takt med att dessa tjänster utförs, det vill säga inifrån över tid. Under första kvartalet 2020 togs beslutet att de fond- och försäkringsprovisioner som kontrollerats erhåller från Capital Markets, och som i segmentredovisningen tidigare redovisats netto på raden resultatutdelning, ska bruttoredo visas på raderna provisionsnetto samt intäkt köpta och sålda tjänster. De i tabellen redovisade jämförelsesiffrorna har därför omräknats.

K5 Nettoresultat av finansiella transaktioner

mkr	2020	2019
Upplupet anskaffningsvärde	182	209
varav lån	309	323
varav räntebärande värdepapper	0	0
varav emitterade värdepapper	-127	-114
Verkligt värde via övrigt totalresultat	-1	-1
varav förväntade kreditförluster	-1	-1
Verkligt värde via resultatutdelning, verkligt värdeoptionen	304	646
varav räntebärande värdepapper	304	646
Verkligt värde via resultatutdelning, obligatoriskt inköpsvalutakursaffekter	1 021	553
Säkringsredovisning	49	-58
varav nettoresultat säkringar av verkligt värde	49	-49
varav ineffektivitet i kassafördragsäkringar	0	-9
Resultat från den finansiella komponenten i försäkringskontrakt	-118	-50
Summa	1 437	1 299

Den ackumulerade värdeförändring som beror på förändringar av kreditrisk från det första redovisningsstilleståndet för finansiella tillgångar som klassificerats till verkligt värde över resultatutdelning, verkligt värdeoptionen, uppgår till 257 mkr (23).

K6 Riskresultat försäkring

mkr	2020	2019
Premieinkomst	501	506
Utbetalda försäkringsersättningar	-365	-351
Förändring av sättningsreglerade skador	9	-7
Övrigt	50	-3
Summa	195	145

K7 Övriga intäkter

mkr	2020	2019
Hyrerintäkter	37	39
Andra rörelseintäkter	116	104
Summa	153	143

NOTER | KONCERNEN

K8 Personalkostnader

mk	2020	2019
Löner och avoden	-9 378	-9 291
Socialavgifter	-2 167	-2 178
Pensionskostnader ¹	-1 909	-1 939
Avättning till resultatandelssystem	-213	829
Andra personalkostnader	-1 676	-970
Summa	-15 343	-13 540

¹ Komponenterna i redovisade pensionskostnader framgår av tabellen Pensionskostnader.

Löner och avoden mk	2020	2019
Ladande befattningshavare ²	-129	-144
Övriga	-9 249	-9 147
Summa	-9 378	-9 291

² Ladande befattningshavare i moderbolaget samt vd:ar, vice vd:ar och styrelser i dotterbolag (i genomsnitt 54 personer).

Könsfördelning %	2020		2019	
	Män	Kvinnor	Män	Kvinnor
Ladande befattningshavare exklusive styrelser	69	31	70	30
varav i moderbolaget	80	20	67	33
varav i dotterbolag	63	37	71	29
Styrelser	66	34	68	32
varav i moderbolaget	50	50	55	45
varav i dotterbolag	68	32	70	30

Modellental anställda	2020	Män	Kvinnor	2019	Män	Kvinnor
Övriga	7 320	3 408	3 912	7 304	3 532	3 882
Storbritannien	2 574	1 445	1 129	2 442	1 371	1 071
Norge	788	418	370	777	412	365
Danmark	644	331	313	651	334	317
Finland	621	275	346	617	273	344
Nederländerna	352	229	123	336	225	111
USA	59	38	21	62	41	21
Kina	58	23	35	80	30	50
Luxemburg	45	24	21	46	26	20
Singapore	23	7	16	30	11	19
Tyskland	34	17	17	38	19	19
Polen	24	9	15	33	11	22
Övriga länder	21	6	15	42	14	28
Summa	12 663	6 320	6 343	12 548	6 299	6 249

Enskattningar ² över en miljon EUR Antal personer	2020	2019
Lönsteg 1,0-1,5 m euro	2	5
Lönsteg 1,5-2,0 m euro	1	-
Lönsteg 2,0-2,5 m euro	-	2
Lönsteg över 2,5 m euro	-	-
Summa	3	7

² Inklusive införd pension och andra löneförmåner.

NOTER | KONCERNEN

K6 Rorts

Ersättningar ¹ till risktagare ² , segment	2020		2019	
	Ersättning	Antal personer	Ersättning	Antal personer
mkr				
Handelsbanken Sverige	545	436	510	437
Handelsbanken Storbritannien	425	274	459	290
Handelsbanken Norge	104	58	131	62
Handelsbanken Danmark	108	66	114	73
Handelsbanken Finland	63	43	74	50
Handelsbanken Nederländerna	74	48	78	49
Handelsbanken Capital Markets	196	53	153	36
Övrigt	327	142	400	166
Summa	1 842	1 120	1 919	1 183

Ersättningar ³ till risktagare ²	2020		2019	
	Verkställande ledning ⁴	Övriga risktagare	Verkställande ledning ²	Övriga risktagare
Infjärdade fasta ersättningar, mkr	78	1 764	74	1 845
Infjärdade prestationsbaserade rörliga ersättningar, mkr	-	-	-	-
Summa	78	1 764	74	1 845
Antal personer som enbart fått fast ersättning	12	1 108	12	1 151
Antal personer som har möjlighet att få både fast och prestationsbaserad rörlig ersättning	-	-	-	-
Summa antal personer	12	1 108	12	1 151
Garanterade kostnadsfria rörliga ersättningar i samband med nyanställning, mkr	-	-	-	-
Uttäta garanterade rörliga ersättningar i samband med nyanställning, mkr	-	-	-	-

¹ Infjärdade ersättningar inklusive pension och andra förmåner har kostnadsförts i sin helhet. Prestationsbaserade rörliga ersättningar tilldelas på individuell nivå under räkenskapsåret efter infjärdningen och betalas ut eller skjuts upp i enlighet med bankens policy för rörliga ersättningar. Under 2020 eller 2019 har inga anställda, identifierade som risktagare på grund av sina arbetsuppgifter, tjänat in prestationsbaserad rörlig ersättning. En anställd som på grund av sin nivå på ersättning har identifierats som risktagare, har under 2020 tilldelats prestationsbaserad rörlig ersättning uppgående till 1 mkr. Under 2020 har uppskjutna prestationsbaserade rörliga ersättningar till risktagare, på grund av sina arbetsuppgifter, infjärdade före 2017 betalats ut med 2 mkr (6). Därmed är samtliga uppskjutna ersättningar till dessa risktagare utbetalade. Till risktagare, identifierade på grund av nivån på ersättning, uppgår utgående uppskjutna ersättningar till 0,5 mkr (-). Förtägnandestämman över uppskjutna ersättningar övergår till den anställde vid utbetalningstillfället. All prestationsbaserad rörlig ersättning betalas ut som kontant eller i finansiella instrument. Beloppen redovisas exklusive socialavgifter.

Under året har avgångsvederlag till 12 (15) risktagare betalats ut med 15 mkr (40). Totalt uttätade avgångsvederlag under året uppgår till 45 mkr (47) varav det enskilt högsta uppgår till 7,8 mkr (9,5). Garanterad rörlig ersättning förekommer inte.

² Anställda vars arbetsuppgifter i tjänsten väsentligt kan påverka bankens riskprofil enligt kommissionens delegerade förordning (EU) 604/2014. Risktagare eller annan särskilt reglerad personal med rörlig ersättning kan finnas i dotterbolags vars ersättningspolicy följer av annan EU-förordning eller annan av Finansinspektionen publicerad föreskrift.

³ Finansinspektionen använder begreppet verkställande ledning i sina föreskrifter FFFS 2011:1. I Handelsbanken motsvaras detta av bankens Ledande befattningshavare.

ERSÄTTNINGAR TILL ANSTÄLLDA

Information om ersättningsprinciper till samtliga anställda i Handelsbankenkonsolidationen beskrivs närmare i bolagsstyrningsrapporten på sidan 77.

Enligt Finansinspektionens föreskrift FFFS 2011:1 och enligt kommissionens delegerade förordning (EU) 575/2013 samt (EU) 604/2014 ska banker identifiera anställda vars arbetsuppgifter har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil. Handelsbanken har identifierat 1 120 (1 183) medarbetare med sådana arbetsuppgifter och benämner dem risktagare. I tabellerna nedan redogörs för Handelsbankenkonsolidationens ersättningar till dessa risktagare enligt upplysningskrav i ovan nämnda regelverk. Under 2020 har Handelsbankenkonsolidationen inga anställda, vars arbetsuppgifter har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil, som har tjänat in prestationsbaserad rörlig ersättning.

Handelsbanken har för räkenskapsåret 2020 gjort en avsättning till resultatandelssystemet Oktogonen om 213 mkr. Under 2018 gjordes en avsättning om 859 miljoner kronor, vilken styrelsen i mars 2019, efter en samlad bedömning om bankens utveckling, beslutade att reversera. Den återförda avsättningen redovisades i första kvartalet 2019.

ERSÄTTNINGAR TILL LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Ledande befattningshavare i Handelsbanken är ledamöter i styrelsen, medlemmar i koncernledningen, vice verkställande direktörer samt cheferna för Group Risk Control och Group Compliance, se även Bolagsstyrningsrapporten sidorna 80–83. Ersättningar till ledande befattningshavare i moderbolaget följer av årsstämman 2020 fastställda ersättningsriktlinjer, se även sidan 77.

Upplysningar om ersättningar, pensionsförpliktelser samt om krediter till och inlåning från ledande befattningshavare i Handelsbanken lämnas på dessa sidor. Det gäller även för dotterbolagens verkställande direktörer, vice verkställande direktörer och styrelseledamöter.

Ersättning till ledande befattningshavare i Handelsbankenkonsolidationen utgår endast i form av fast lön och avsättning till pension samt sedvanliga förmåner som till exempel tjänstebil. Som en del av ersättningen kan banken även tillhandahålla en tjänstebostad efter särskilt styrelsebeslut. Rörlig ersättning förekommer inte. Ledande befattningshavare som är anställd i banken har rätt att vänta lön till pension på samma villkor som gäller för alla medarbetare.

Styrelseledamöter som inte är anställda i banken eller i bankens dotterbolag har endast erhållit arvode enligt årsstämmans beslut.

Styrelseledamöter som är anställda i banken eller bankens dotterbolag erhåller ersättning och pensionsförmåner med anledning av sin anställning. Inga ytterligare ersättningar eller pensionsförmåner utgår på grund av styrelseuppdraget. Information om arvode till styrelseledamöter i moderbolaget finns på sidorna 80–83 i bolagsstyrningsrapporten.

Den pensionskostnad som banken anger i nedanstående ersättningsupplysningar för ledande befattningshavare utgörs av service cost enligt IAS19 avseende förmånsbestämda pensioner, avtalad premie för premiebestämda pensioner och eventuell pensionspremie som växlats från lön.

Arvoden från externa styrelseuppdrag för bankens räkning har levererats in till banken.

Ersättningar till ledande befattningshavare i dotterbolag
Arvode till styrelseledamöter i dotterbolag, 19 personer (17), vilka inte är anställda i banken eller dess dotterbolag uppgår till 6,6 miljoner kronor (5,4).

K8 Forts

Ersättning till verkställande direktör, vice verkställande direktörer och koncernledning samt chefer för kontrollfunktioner

mkr	Fast ersättning				Rörlig ersättning		Pension		Total ersättning		Andel fast ersättning/total ersättning	
	Grundlön		Förmåner		2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019
	2020	2019	2020	2019								
Verkställande direktör												
Carina Åkerström ^{1,4}	12,5	9,1	0,4	0,2	-	-	4,4	3,2	17,3	12,5	100%	100%
Anders Bouvin ^{4,5}	-	3,4	-	0,2	-	-	-	1,2	-	4,8	-	100%
Vice verkställande direktör												
Carina Åkerström ⁶	-	1,4	-	0,1	-	-	-	0,9	-	2,4	-	100%
Per Beckman ⁷	6,1	5,9	0,3	0,3	-	-	4,1	3,8	10,5	10,0	100%	100%
Dag Tjernemo ^{1,11}	4,0	4,5	0,3	0,3	-	-	3,2	3,1	7,5	7,9	100%	100%
Nina Arklöf ^{1,4}	0,6	5,6	0,0	0,2	-	-	0,2	2,3	0,8	8,1	100%	100%
Lars Mossaegard ^{1,12}	4,3	4,4	0,3	0,3	-	-	1,7	1,6	6,3	6,3	100%	100%
Mikael Sörensen ^{1,13}	9,4	9,6	1,7	2,6	-	-	-	-	11,1	12,2	100%	100%
Katarina Ljungqvist ¹²	-	1,4	-	0,1	-	-	-	0,7	-	2,2	-	100%
Övrig koncernledning samt kontrollfunktioner¹⁴	30,9	31,2	1,4	2,0	-	-	7,3	8,9	38,6	42,1	100%	100%
Gemensamt antal personer; vd, vd, koncernledning och kontrollfunktioner	12	12										
Antal personer per december; vd, vd, koncernledning och kontrollfunktioner	10	12										

Pensionskostnaden avser pensionsinlänning under förmånsbaserade pensionsplaner i enlighet med IAS 19 alternativt betald premie för avgiftsbaserade pensionsplaner. Inlånad förmånsbestämd pension är oantastbar och tryggas i bankens pensionsstiftelse eller försäkras i bankens pensionskassa. Vid avgång ur tjänst före pensionsålder erhålls följande på inlånad förmåns- och/eller premiebestämd pension.

¹ Tillträdde vid Årsmötet 2019.

⁴ Avgick vid Årsmötet 2019.

⁵ Avgick som vice verkställande direktör 2020-01-29.

⁶ Ersättning från Handelsbanken Plc.

⁷ Premiebaserad pension om 35% av lönen från och med tillträdet som vd. Pensionsålder är 65 år. Tidigare inlånad förmånsbaserad pension är lagd i följande.

⁸ Premiebaserad pension om 35% av lönen. Förmånsbaserad pension är under utbetalning.

⁹ Förmånsbestämd pension med 65% av lönen vid pensioneringstillfället samt en pensionspremie uppgående till 2% av lönen. Pensionsålder är 60 år, den förmånsbestämda ålderspensionen inlånas successivt under anställningstiden och är för dessa personer fullt inlånad vid uppnådd pensionsålder.

¹⁰ Premiebaserad pension om 35% av lönen. Pensionsålder är 65 år.

¹¹ Ingen pensionsinlänning.

¹² Avgick som vice verkställande direktör 2019-04-16.

¹³ Avgick som vice verkställande direktör 2020-12-15.

¹⁴ Övriga ledande befattningshavare, anställda i banken, erhåller en förmånsbaserad eller en premiebaserad pension enligt BTP-pensionsplan i kombination med en premiebaserad pension som uppgår till som mest 35% av lönen. Pensionsålder är 65 år och den förmånsbaserade ålderspensionen är fullt inlånad vid pensionsåldern. Belopp för grundlön och pension avses för eventuella ökningsökning. Bland övrig koncernledning och kontrollfunktioner har 3 anställda växlats 0,9 mkr från lön till pension.

Verkställande direktörer och vice verkställande direktörer i dotterbolag, 15 personer (16), har år 2020 erhållit fasta löner efter växling till pension om 50,9 miljoner kronor (57,9). Övriga löneför-
måner utgör 3,8 miljoner kronor (4,5) och pensionskostnaden uppgick till 9,7 miljoner kronor (10,9). Före växling till pension uppgick pensionskostnaden till 9,3 miljoner kronor (10,6), vilket motsvarar 18,2 procent (18,2) av lönen.

Ersättning utges inte till verkställande direktörer och vice verkställande direktörer i dotterbolag vilka har en annan huvudsaklig arbetsuppgift i Handelsbanken.

PENSIONSFORPLIKTELSE TILL LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Pensionsförpliktelsen* för verkställande direktören, Carina Åkerström, inlånad före tillträdet som verkställande direktör och nu lagd i så kallat följebrev uppgick till 101,4 miljoner kronor (94,2) per den 31 december 2020. Pensionsförpliktelsen för vice verkställande direktören, Per Beckman, uppgick till 122 miljoner kronor (113,9) per den 31 december 2020 och för övriga ledande befattningshavare i moderbolaget, 8 personer (10), till 70,2 miljoner kronor (181,5).

Pensionsförpliktelserna i Handelsbanken-koncernen för samtliga nuvarande och tidigare ledande befattningshavare uppgick till 3 062 miljoner kronor (3 129) per den 31 december 2020 varav pensionsförpliktelserna för samtliga nuvarande och tidigare ledande befattningshavare i moderbolaget uppgick till 2 882 miljoner kronor (2 936) per den 31 december 2020. Antal personer som omfattas av dessa förpliktelser är i koncernen 85 (84), varav 68 är pensionärer (63). Motsvarande antal för moderbolaget är 71 (69), varav 61 är pensionärer (57).

KREDITER TILL OCH INLÄNING FRÅN LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Krediter till ledande befattningshavare i moderbolaget uppgick per den 31 december 2020 i moderbolaget till 1,4 miljoner kronor (9,3) och i dotterbolagen till 90,1 miljoner kronor (95,3). Inlänning till moderbolaget från dessa personer uppgick till 433,1 miljoner kronor (702,3). Bankens räntelänsintäkter från dessa personer för krediter i moderbolaget uppgick för 2020 till 0,1 miljoner kronor (0,3) och i dotterbolagen till 1,2 miljoner kronor (1,2). Erlagd ränta till dessa personer för inlänning i moderbolaget uppgick till 1,6 miljoner kronor (2,1).

Krediter till ledande befattningshavare i dotterbolagen uppgick per den 31 december 2020 i Handelsbankenkoncernen till 123,2 miljoner kronor (100,1).

Villkor för krediter och inlänning för ledande befattningshavare som är anställda i Handelsbankenkoncernen är i enlighet med samma principer som för alla andra medarbetare i koncernen. Alla krediter beviljas efter kreditprövning.

* Pensionsförpliktelser avser belopp som banken enligt IAS 19 reserverar för utbetalning av framtida förmånsbestämda pensioner. Storlek på belopp beror på finansiella och demografiska antaganden vilka kan ändras mellan åren.

NOTER | KONCERNEN

K6 Rorts

PENSIONER

Pensionsförpliktelser, netto mkr	2020	2019
Pensionsförpliktelser	37 761	35 724
Förvaltningsstillgångarnas verkligavärde	30 766	36 378
Pensionsnetto	2 005	864

Utvärderas pensionsförpliktelserna och förvaltningsstillgångarna i tabellen ovan finns inom Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse avsättningar som gjorts under åren 1989-2004 till en särskild kompletterande pension (BKP). I den ingår förvaltningsstillgångarnas marknadsvärde uppgående till 9 692 mkr (10 072). BKP:n medför en utfästelse för banken uppgående till samma belopp som förvaltningsstillgångarna.

En del av denna utfästelse, 7 276 mkr (7 631), är villkorad.

Med anledning av att verksamheten i Tyskland avvecklats har all förmånsbestämd pension införd till och med den 30 november 2020, uppgående till 61 mkr, överförts till BW (Branchenversorgungswerk der Banken und Finanzdienstleistungsinstitute).

Pensionskostnader mkr	2020	2019
Pensioner införda under året	-982	-885
Pensioner införda under tidigare år	0	-
Ränta på pensionsförpliktelserna	-614	-664
Ränta på förvaltningsstillgångar	626	596
Vinster och förluster från regleringar och reduktioner ¹	48	-
Socialavgifter, förmånsbaserade planer	0	0
Pensionskostnader, förmånsbaserade planer	-922	-964
Pensionskostnader, avgiftsbaserade planer	-796	-831
Socialavgifter, avgiftsbaserade planer	-191	-154
Summa pensionskostnader	-1 909	-1 950

¹ Överföring av den tyska förmånsbestämda pensionsplanen under 2020, gav per den 31 december 2020 en positiv effekt på pensionskostnaden med 48 mkr.

Pensionsförpliktelser mkr	2020	2019
Ingående balans	35 724	31 969
Pensioner införda under året	982	885
Pensioner införda under tidigare år	0	-
Ränta på pensionsförpliktelserna	614	664
Betalda förmåner	-1 006	-965
Vinster och förluster från regleringar och reduktioner	-56	-
Aktuariellavinst (-)/förlust (+)	1 810	2 980
Valutaeffekt	-307	191
Utgående balans	37 761	35 724

Förvaltningsstillgångar mkr	2020	2019
Ingående balans	36 378	28 743
Pensioner införda under tidigare år	-	-
Ränta på förvaltningsstillgångar	626	596
Tillskjutna medel från arbetsgivaren	625	535
Ersättning till arbetsgivaren	-545	-498
Vinster och förluster från regleringar och reduktioner	-8	-
Utbetalda medel direkt till anställd	-417	-424
Aktuariellavinst (-)/förlust (+)	3 376	7 248
Valutaeffekt	-269	178
Utgående balans	30 766	36 378

Avkastning på förvaltningsstillgångar mkr	2020	2019
Ränta på förvaltningsstillgångar	626	596
Aktuariellavinst (-)/förlust (+)	3 376	7 248
Verklig avkastning	4 002	7 844

Fördelning av förvaltningsstillgångar mkr	2020	2019
Noterade aktier och fondandelar ²	32 484	32 968
Ikke-noterade aktier och andelar	711	513
Noterade räntebärande värdepapper	5 219	2 049
Ikke-noterade räntebärande värdepapper	-	-
Övriga förvaltningsstillgångar	1 352	848
Summa	30 766	36 378

² Fondandelarna är till största del placerade i räntefonder och uppgår till 10 173 mkr (8 758).

I förvaltningsstillgångarna ingår aktier i Svenska Handelsbanken AB (publ) med ett marknadsvärde om 101 mkr (118) på balansdagen den 31 december 2020. Obligationer utgivna av Svenska Handelsbanken AB (publ) ingår med ett marknadsvärde om - mkr (-). I övriga förvaltningsstillgångar ingår en skuld avseende ännu ej utbetald gottgörelse.

NOTER | KONCERNEN

K8 Forts

Aktuariella vinster (-)/förluster (+), pensionsförpliktelser mkr	2020	2019
Ändringar i demografiska antaganden	-100	312
Ändringar i finansiella antaganden	1 735	2 256
Erfarenhetsbaserade justeringar	175	412
Summa	1 810	2 980

Framtida kassastödan mkr	Utfall 2020	Prognos 2021
Betalda förmåner	-1 006	-924
Tillskjutna medel från arbetsgivaren	625	560

Förmånsbestämd pension intjänas huvudsakligen av anställda i Sverige. Av den totala pensionsförpliktsen avser 34 662 mkr (32 478) den svenska planen och 3 036 mkr (3 113) den för nyinföring stängda planen i Storbritannien. Därutöver finns förmånsbestämda planer av mindre omfattning kvar i Norge respektive Tyskland. Dessa är med hänsyn till sin storlek oväsentliga och redogörs därför inte för närmare.

Av de totala förvaltningsutgångarna avser 36 968 mkr (33 728) den svenska planen och 2 799 mkr (2 642) den stängda planen i Storbritannien.

I Sverige utgår ålderspension från och med 65 års ålder enligt pensionsavtal mellan BAO och Finansiell förbund/BAO-förbunden med 10% av årslönen, upp till 7,5 inkomstbasbelopp. På löneadell i inkomstbasbeloppsskivval 17,5–20 utgår ålderspension med 65% och i inkomstbasbeloppsskivval 20–30 med 32,5% av årslönen. På löneadell överstigande 30 inkomstbasbelopp utgår ingen ålderspension. Från och med den 1 mars 2020, tjänar alla nyanställda och anställda yngre än 25 år in pension i en avgiftsbestämd pensionsplan. Anställda innan den 1 mars 2020 påverkas inte utan är fortsatt medlemmar i den förmånsbestämda pensionsplanen.

Pensionsplanerna är aktuariet fonderade, där förvaltningsutgångarna innehåller av pensionskassa, stiftelser eller liknande juridiska personer. Dessa verksamheter regleras av nationella bestämmelser och praxis, vilka även reglerar förhållandet mellan koncernen och förvaltaren (eller motsvarande) av förvaltningsutgångarna, samt ställer rammar för hur förvaltningsutgångarna får placeras. I Sverige är det främst byggandelagen och lagen om understödsförmåner som är tillämpliga. I Storbritannien tillämpas standard UK pensions and tax law.

Väsentliga antaganden	Sverige		Storbritannien	
	2020	2019	2020	2019
Diskonteringsränta, %	1,50	1,70	1,30	2,00
Förväntad löneökning, %	3,5	3,5	N/A	N/A
Pensionsupptäring, %	2,0	2,0	3,0	3,0
Inkomstbasbelopp, %	3,0	3,0	N/A	N/A
Inflation, %	2,0	2,0	3,1	3,2
Personalskiftning, %	4,0	3,5	N/A	N/A
Förväntad återstående livslängd vid pension, år	23,1	23,1	24,0	24,1
Genomsnittlig duration (Macaulay), år	18,7	18,8	20,0	20,0

Känslighetsanalys

	Ändring i antagande	Påverkan på pensionsförpliktsen			
		Ökad pensionsförpliktelse, mkr		Minskad pensionsförpliktelse, mkr	
		2020	2019	2020	2019
Diskonteringsränta, %	0,5	3 959	3 823	-3 454	-3 317
Förväntad löneökning, %	1,0	1 477	1 613	-2 349	-2 441
Pensionsupptäring, %	0,5	2 230	2 158	-2 052	-1 993
Förväntad återstående livslängd vid pension, år	1,0	1 474	1 432	-1 456	-1 303

Känslighetsanalysen ovan baseras på att ett antagande förändras och övriga antaganden är konstanta. I praktiken är det osannolikt att detta inträffar och förändringar i vissa antaganden kan vara korrelerade. Vid beräkningen av känsligheten i pensionsförpliktsen för förändringar i väsentliga antaganden, har samma metod använts för att beräkna pensionsförpliktsen som den som använts för den redovisade pensionsförpliktsen. Metoden beskrivs närmare i bankens redovisningsprinciper (se not K1, avsnitt 19). Jämfört med årsredovisningen 2019 har det inte skett några förändringar i de metoder som använts vid upprättandet av känslighetsanalysen.

Genom sina förmånsbestämda pensionsplaner är banken exponerad för ett antal risker. De viktigaste riskerna beskrivs nedan:

Tillgångsvolatilitet: Pensionsförpliktsen beräknas med hjälp av en diskonteringsränta som baseras på företagsobligationer. Om förvaltningsutgångarna genererar större avkastning än diskonteringsräntan, kommer det att skapa ett underskott. I förvaltningsutgångarna ingår en betydande andel aktier, vilket förväntas ge högre avkastning än företagsobligationer på lång sikt, samtidigt som det ger högre volatilitet och risk på kort sikt. Med anledning av pensionsförpliktsens långsiktiga karaktär anser banken att en fortsatt hög andel aktier är lämplig för att hantera planerna effektivt.

Förändringar i obligationerintet: Om företagsobligationsräntorna sjunker så kommer pensionsförpliktsen att öka. Detta kommer dock delvis att kompenseras genom att värdet av de obligationer som ingår i förvaltningsutgångarna kommer att öka.

Inflationerisik: Pensionsförpliktserna är kopplade till inflationen. Högre inflation kommer att leda till att pensionsförpliktsen ökar. Värderingen av förvaltningsutgångarna påverkas inte direkt av inflationen i någon väsentlig utsträckning. Om inflationen ökar så kommer det sannolikt att leda till ett ökat underskott i pensionsplanerna.

Förväntad livslängd: Styfet med pensionsplanerna är att generera en pension som sträcker sig över den anställdas livstid. Detta innebär att om den förväntade livslängden ökar så kommer pensionsförpliktsen att öka.

Matchning av tillgångar och skulden: Placering av tillgångar utgår från utfästasammas sammansättning och förväntade utveckling. Den övergripande målsättningen är att placeringstillgångarnas avkastning på modellering och lång sikt minst ska motsvara pensionsförpliktsens utveckling. Den största andelen av tillgångarna har investerats i aktier, men investeringar har även gjorts i räntebärande instrument och i vida modal. En hög andel aktier anses lämplig för att hantera planerna effektivt.

Fondering: Lägsta fonderingskrav skiljer sig åt mellan planer, men där sådana krav är baserade på kollektivavtal eller internt fastställt policy så är fonderingskravet normalt att pensionsförpliktsen värderas till lokala krav ska täckas fullt ut. Fonderingsnivån övervakas löpande. Bankens ansatser att den nuvarande avgiftsnivån är lämplig.

NOTER | KONCERNEN

K9 Övriga kostnader

mkr	2020	2019
Fastigheter och lokaler	-626	-656
Externa datakostnader	-2 199	-2 288
Kommunikation	-314	-334
Resor och marknadsföring	-157	-299
Köpta tjänster	-1 924	-2 001
Materialanskaffning	-172	-186
Andra omkostnader	-693	-760
Summa	-6 086	-6 524

Erstättning till revisorer och revisionsbolag	Ernst & Young AB		PricewaterhouseCoopers AB	
mkr	2020	2019	2020	2019
Revisionsuppdraget	-26	-28	-4	-4
Revisionsverksamhet utöver revisionsuppdraget	-2	-2	-	-
Skatterådgivning	0	-	-	-
Övriga tjänster	0	-	-	-

Kostnader för internrevision har under året uppgått till 166 mkr (165).

K10 Kreditförluster

mkr	2020	2019
Förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen		
Årets reservering Slag 3	-829	-1 585
Slag 3 reservering tidigare år som återförs	581	386
Summa förväntade kreditförluster i Slag 3	-248	-1 199
Årets nettoreservering Slag 2	-430	129
Årets nettoreservering Slag 1	-35	-48
Summa förväntade kreditförluster i Slag 1 och Slag 2	-465	81
Summa förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen	-713	-1 118
Förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen		
Årets nettoreservering Slag 3	-20	-107
Årets nettoreservering Slag 2	-95	-1
Årets nettoreservering Slag 1	-24	9
Summa förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen	-139	-99
Bortskrivningar		
Årets konstaterade kreditförluster ¹	-1 834	-501
Utrytt andel av tidigare reservens i Slag 3	1 757	421
Summa bortskrivningar	-77	-80
Återvinningar	148	252
Kreditförlustar, netto varav utövning till allmänheten	-781	-1 045
	-638	-950

¹ Av årets konstaterade kreditförluster omfattas 283 mkr (159) av efterbavskning.

NOTER | KONCERNEN

K10 Forts

COVID-19 EFFEKT KREDITFÖRLUSTER

mkr	2020	2019
1) Förväntade kreditförluster i Stag 31 och utanför balansräkningen	-268	-1 306
Förändring i modellbaserad reservering för Stag 1 och Stag 2		
Uppdatering av makroekonomiska scenarier och riskfaktorer	-5	
Flytt av exponeringar i utsatta branscher från Stag 1 till Stag 2 ¹	-41	
Förändring i fallsamangsrisk i ingående portfölj (netto ratingförändringar)	-153	
Effekt av exponeringsförändring (beholdna, nya och avslutade exponeringar)	114	
Övrigt i Stag 1 och Stag 2	65	
Modellbaserade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2	-20	
Expertbaserad reservering avseende Covid-19 (stress av ECL 12 månader, i Stag 1 och Stag 2):		
Reservering för stress av utsatta branscher enligt antaganden	-663	
Reduktion, baserat på 80% sannolikhet för stress, 90% i UK och 100% för hotell	59	
Expertbaserade kreditförluster Stag 1 och Stag 2	-664	-
2) Förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 21 och utanför balansräkningen	-664	89
3) Bortskrivningar	-77	-80
4) Återvinningar	148	202
Kreditförluster, netto (1+2+3+4)	-781	-1 045

* Expertbaserad bedömning av signifikant ökning av kreditrisk.

Reserveringsbehovet under 2020 har ökat till följd av uppdaterade värden på de framtidsblickande makroekonomiska riskfaktorer. Reserveringsbehovet har även ökat till följd av negativa ratingmigrationer men det motverkas till viss del av minskade exponeringar. Vidare har reserveringsbehovet ökat under året till följd av en expertbedömd covid-19-pandemileffekt.

De makroekonomiska scenarierna har uppdaterats löpande under året utifrån de aktuella marknadsförutsättningarna. Uppdateringen har gjorts med hänsyn till den reviderade sannolikhetsviktningen 15%/70%/15% (25%/60%/15%) för negativt/neutralt/positivt scenario. Urvalet av makroekonomiska riskfaktorer har varit oförändrat under året.

För att införliva uppskattad effekt avseende covid-19 pandemin från faktorer som inte bedömts ha fångats av modellen har en expertbaserad beräkning utförts på aggregerad nivå för att justera de modellbaserade beräkningarna för utvalda delportföljer. Ett stressat scenario för dessa delportföljer har jämförts

med den modellbaserade beräkningen per 2020-12-31 och mellanskillnaden utgör den expertbaserade beräkningen. Därefter har banken bedömt sannolikheten för att utfallet av den expertbaserade beräkningen ska inträffa och kommit fram till ett tillkommande reserveringsbehov på 564 miljoner kronor (-). De stressade delportföljerna omfattar alla privatkunder (exkl. bolån) och företag som efter en bedömning anses tillhöra en bransch som är extra utsatt i covid-19 pandemin. De utsatta branscherna utgörs främst av byggnadsverksamhet, handel samt hotell- och restaurangverksamhet. Särskilda motparter i de identifierade sektorerna, baserat på expertbedömning, har exkluderats då reserveringsbehovet bedöms fångas i den modellbaserade beräkningen. För både företag och privatpersoner är det riskparametern sannolikheten för fallsamang (PD) som har stressats under de kommande 12 månaderna. För privatpersoner har den ökade sannolikheten för arbetslöshet beaktats i den beräknade reserveringen.

Utöver stressen ovan har även en expertbaserad bedömning tillkommit för företag inom de branscher som är extra utsatta i covid-19 pandemin och som har kreditrisk högre än normalt. Dessa företag anses ha en signifikant ökning av kreditrisk bara genom sin branschtillhörighet och rating och placeras i Stag 2 oavsett hur stor förändringen av den modellerade kreditrisken varit sedan kreditens utgivande. Denna expertbaserade bedömning ger ett ökat reserveringsbehov om 41 miljoner kronor (-) med anledning av flytten mellan Stag 1 och Stag 2.

Under året 2020 har inga amorteringslättnader som erbjuds till följd av covid-19 pandemin som enskild kvantitativ faktor orsakat en förflyttning från Stag 1 till Stag 2.

Processen för nedskrivningsprövning för avtal i Stag 3 har inte ändrats på grund av covid-19 pandemin utan följer sedvanlig rutin med individuell bedömning.

NOTER | KONCERNEN

KIO Forts

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2020

mkr	Brutto			Reserver		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3 ¹	Steg 1	Steg 2	Steg 3
Poster i balansräkningen						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	307 642	-	-	0	-	-
Övrig utlåning till centralbanker	21 326	-	-	-	-	-
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	1 181	-	-	0	-	-
Utlåning till övriga kreditinstitut	21 911	17	-	-2	-6	-
Utlåning till allmänheten	2 189 683	76 384	7 002	-385	-834	-2 238
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	7 964	-	-	-2	-	-
Summa	2 630 707	76 401	7 002	-389	-840	-2 238
Poster utanför balansräkningen						
Eventuallösläppligheter	301 266	10 743	433	-90	-157	-119
varav ansvarsförbindelser	77 829	1 310	156	-8	-16	-70
varav åtaganden	313 437	8 833	277	-82	-141	-49
Summa	301 266	10 743	433	-90	-167	-119

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2019

mkr	Brutto			Reserver		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3 ¹	Steg 1	Steg 2	Steg 3
Poster i balansräkningen						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	327 958	-	-	0	-	-
Övrig utlåning till centralbanker	19 547	-	-	0	-	-
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	1 427	-	-	0	-	-
Utlåning till övriga kreditinstitut	17 750	193	-	-1	-3	-
Utlåning till allmänheten	2 236 671	51 669	8 831	-360	-441	-3 767
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	4 953	-	-	-2	-	-
Summa	2 608 306	51 862	8 831	-363	-444	-3 767
Poster utanför balansräkningen						
Eventuallösläppligheter	400 479	7 985	712	-69	-86	-106
varav ansvarsförbindelser	32 097	2 593	496	-7	-13	-71
varav åtaganden	308 382	5 392	216	-62	-53	-35
Summa	400 479	7 985	712	-69	-86	-106

¹ Bruttovolym i Steg 3 där ingen reservering gjorts på grund av säkerheter uppgår till 2 097 mkr (2 125).

Mycket låga kreditförluster		
Utlåning till allmänheten	2020	2019
Kreditförlustnivå ack, %	0,03	0,04
Total reserveringsgrad, %	0,15	0,20
Reserveringsgrad Steg 1, %	0,02	0,02
Reserveringsgrad Steg 2, %	1,09	0,85
Reserveringsgrad Steg 3, %	31,97	42,65
Andel utlåning i Steg 3, %	0,21	0,22

NOTER | KONCERNEN

K10 Forts

FÖRÄNDRINGSANALYSER

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mikr	2020				2019			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-363	-444	-3 767	-4 574	-316	-560	-2 937	-3 813
Bortbokningar	68	106	156	330	35	107	81	223
Bortskrivningar	0	2	1 755	1 757	1	1	419	421
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-235	-123	-71	-429	-197	-134	63	-268
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	-4	-5	-	-9
Valutaeffekt m m	19	21	76	116	-11	-9	-47	-67
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-81	-78	-20	-179	-46	-17	-16	-79
Förflyttning till Stag 1	-16	28	3	15	-26	52	1	27
Förflyttning till Stag 2	109	-501	9	-383	99	-225	20	-112
Förflyttning till Stag 3	110	149	-379	-120	108	346	-1 351	-897
Reserv vid årets utgång	-389	-840	-2 238	-3 467	-383	-444	-3 767	-4 674

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, utlåning till allmänheten

mikr	2020				2019			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-360	-441	-3 767	-4 568	-312	-552	-2 937	-3 801
Bortbokningar	68	104	156	328	33	101	81	215
Bortskrivningar	0	2	1 755	1 757	1	1	419	421
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-235	-125	-71	-431	-196	-134	63	-267
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	-4	-5	-	-9
Valutaeffekt m m	19	21	76	116	-11	-9	-47	-67
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-80	-77	-20	-177	-46	-16	-16	-78
Förflyttning till Stag 1	-16	28	3	15	-26	52	1	27
Förflyttning till Stag 2	109	-495	9	-377	99	-225	20	-112
Förflyttning till Stag 3	110	149	-379	-120	108	346	-1 351	-897
Reserv vid årets utgång	-385	-834	-2 238	-3 457	-380	-441	-3 767	-4 668

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mikr	2020				2019			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-69	-66	-106	-241	-78	-64	-	-142
Bortbokningar	22	17	-	39	19	13	-	32
Bortskrivningar	0	0	-	0	0	0	-	0
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-26	-23	-13	-62	-10	1	-106	-115
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	2	2	-	4
Valutaeffekt m m	2	3	-	5	-1	-1	-	-2
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-31	-25	-	-56	-13	-9	-	-22
Förflyttning till Stag 1	-3	5	-	2	-4	11	-	7
Förflyttning till Stag 2	12	-74	-	-62	11	-31	-	-20
Förflyttning till Stag 3	3	6	-	9	5	12	-	17
Reserv vid årets utgång	-90	-167	-119	-366	-80	-88	-106	-241

Förändringsanalysen visar nettoeffekten på reserven i angivet stag per förklaringspost under perioden. Effekten av bortbokningar och bortskrivningar beräknas på ingående balans. Effekten av omvärdering till följd av förändringar i modell/riskparametrar samt valutaeffekt m m beräknas innan eventuell förflyttning av nettobaloppet mellan stag. Nyutgivna eller förvärvade tillgångar och förflyttade belopp mellan stagen redovisas efter att effekten av övriga förklaringsposter beräknats. Förflyttningarna anger effekten på reserven i angivet stag.

NOTER | KONCERNEN

KIO Forts

Förändring av bruttovolymer, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2020				2019			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volyminvid årets ingång	2 608 306	51 862	8 831	2 668 999	2 506 117	58 576	7 731	2 572 424
Bortbokningar	-204 174	-8 898	-840	-213 912	-191 016	-9 667	-585	-201 268
Bortskrivningar	-14	-12	-1 808	-1 834	-11	-8	-482	-501
Omvärdning till följd av förändring i kreditrisk	161 261	-3 211	-803	157 247	18 585	-1 486	-952	16 147
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m.m.	-100 082	-2 595	-271	-102 948	44 575	1 454	144	46 173
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	211 329	3 965	264	215 558	232 296	3 641	87	236 024
Förflyttning till Steg 1	31 460	-31 425	-35	-	44 887	-44 847	-40	-
Förflyttning till Steg 2	-67 551	67 945	-394	-	-46 439	46 546	-207	-
Förflyttning till Steg 3	-828	-1 230	2 058	-	-688	-2 447	3 135	-
Volyminvid årets utgång	2 639 707	76 401	7 002	2 723 110	2 608 306	61 982	8 831	2 688 999

Förändring av bruttovolymer, utlåning till allmänheten

mkr	2020				2019			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volyminvid årets ingång	2 236 671	51 669	8 831	2 297 171	2 126 983	58 179	7 731	2 192 893
Bortbokningar	-164 212	-8 745	-831	-173 788	-168 657	-9 427	-585	-178 669
Bortskrivningar	-14	-12	-1 808	-1 834	-11	-8	-482	-501
Omvärdning till följd av förändring i kreditrisk	5 561	-1 523	-812	3 226	36 579	-1 422	-944	34 213
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m.m.	-56 060	-2 595	-271	-58 926	28 652	1 454	144	30 250
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	202 994	3 965	264	207 220	215 317	3 581	87	218 985
Förflyttning till Steg 1	31 460	-31 425	-35	-	44 885	-44 845	-40	-
Förflyttning till Steg 2	-65 889	66 283	-394	-	-46 389	46 596	-207	-
Förflyttning till Steg 3	-828	-1 230	2 058	-	-688	-2 439	3 127	-
Volyminvid årets utgång	2 189 883	76 384	7 002	2 273 069	2 236 671	61 689	8 831	2 297 171

Förändring av bruttovolymer, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2020				2019			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volyminvid årets ingång	400 479	7 985	712	409 176	420 024	7 619	411	428 054
Bortbokningar	-36 733	-1 511	-56	-38 300	-37 132	-1 513	-15	-38 660
Bortskrivningar	-	-	0	0	-	-	0	0
Omvärdning till följd av förändring i kreditrisk	4 468	1 374	-324	5 518	-23 720	1 516	146	-22 058
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m.m.	-8 487	-293	-5	-8 785	5 405	210	14	5 629
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	34 353	463	17	34 833	35 114	1 064	3	36 211
Förflyttning till Steg 1	7 409	-7 405	-4	-	6 528	-6 523	-5	-
Förflyttning till Steg 2	-10 197	10 202	-5	-	-5 690	5 705	-15	-
Förflyttning till Steg 3	-26	-72	98	-	-50	-123	173	-
Volyminvid årets utgång	391 288	10 743	433	402 464	400 479	7 986	712	409 176

Förändringsanalysen avseende bruttovolymer visas i likhet med analysen av reserv, effekten av valda förklaringsposter på volymerna i angivet steg. Posterna för förflyttning mellan stegen och "Nyutgivna eller förvärvade tillgångar" anger beloppen i angivet steg vid periodens utgång. Övriga poster anger effekten i det steg som var gällande vid periodens ingång.

NOTER | KONCERNEN

KIO FORTS

KÄNSLIGHETSSANALYSER

Känslighetsanalys makrosценарier

Beräkningen av förväntade kreditförluster enligt IFRS 9 tillämpar framdeblickande information i form av makrosценарier. Den förväntade kreditförlusten är ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de beräknade prognoserna över tre сценарier. Prognosen i det neutrala сценарiet vägs med 70% (60), medan en uppgång i ekonomin vägs med 15% (15) och en nedgång i ekonomin med 15% (25). I tabellen nedan presenteras de högsta, lägsta och genomsnittliga årsvisa prognoserna för några av de centrala makroekonomiska riskfaktorerna per hemmamarknad och сценарий för de kommande fem åren. Dessa har legat till grund för beräkningar av förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2 per den 31 december 2020 respektive 31 december 2019.

Makroekonomiska riskfaktorer	Lägsta						Genomsnittliga						Högsta					
	Negativt		Neutralt		Positivt		Negativt		Neutralt		Positivt		Negativt		Neutralt		Positivt	
	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019
BNP-tillväxt																		
Sverige	-1,70	-1,49	2,00	0,81	1,70	1,70	1,74	1,84	2,51	1,96	3,14	2,08	3,20	2,70	3,90	2,20	4,90	2,84
Storbritannien	-1,29	-0,90	1,58	1,00	1,28	1,20	1,52	1,50	2,19	1,61	2,81	1,71	3,08	1,90	2,80	1,77	4,99	2,60
Norge	-0,05	-0,04	1,60	1,24	1,30	1,20	1,40	1,57	2,11	1,67	2,74	1,78	2,20	1,85	3,64	1,84	6,04	3,64
Danmark	-1,65	-0,66	1,48	1,09	1,18	1,10	1,16	1,39	1,89	1,49	2,52	1,59	2,16	1,81	2,75	1,81	4,63	3,04
Finland	-1,27	-1,67	1,55	0,73	1,25	1,10	1,05	1,50	1,78	1,62	2,30	1,73	2,06	1,95	2,52	1,88	4,82	2,63
Nederländerna och övriga Europa	0,66	-1,17	1,30	0,93	1,00	1,00	1,43	1,16	2,15	1,28	2,77	1,39	1,90	1,70	4,40	1,40	6,79	2,63
USA	0,05	0,54	2,00	1,25	1,70	1,94	1,88	1,95	2,56	1,98	3,19	2,02	2,60	2,50	3,77	2,30	6,17	2,30
Övriga länder	1,89	2,40	3,50	2,90	3,20	3,00	3,45	3,07	3,62	3,10	4,33	3,12	4,01	3,50	5,10	3,50	7,19	3,50
Arbetslöshetsindex																		
Sverige	9,10	6,60	6,90	6,60	6,55	6,30	9,84	6,90	7,64	6,75	6,90	6,65	10,81	8,35	8,90	7,24	7,71	6,70
Storbritannien	6,60	4,80	4,35	4,10	4,25	3,50	7,61	5,18	5,21	5,04	4,58	4,90	8,60	5,80	6,50	5,20	5,32	5,20
Norge	4,10	3,50	2,75	3,40	2,60	2,80	4,66	3,61	2,95	3,50	2,69	3,39	5,46	4,40	3,30	3,60	2,80	3,50
Danmark	7,70	5,50	5,50	5,18	5,20	4,68	8,18	5,67	5,96	5,50	5,40	5,40	8,68	7,00	6,60	5,60	5,50	5,50
Finland	8,70	6,90	6,70	6,48	6,50	5,80	9,58	7,05	7,39	6,88	6,68	6,74	10,35	8,20	8,23	6,90	7,25	6,90
Nederländerna och övriga Europa	10,00	7,80	8,00	7,80	7,90	6,90	11,04	8,05	8,79	7,83	8,15	7,70	11,85	9,50	9,31	8,10	8,54	7,80
USA	6,80	4,24	4,30	4,04	3,70	3,74	7,70	4,53	5,17	4,48	4,14	4,42	8,80	4,90	6,28	4,50	5,00	4,50
Övriga länder	7,60	6,00	6,00	6,00	5,80	5,85	9,58	6,03	7,10	6,01	6,46	5,99	12,02	6,40	8,50	6,10	7,22	6,00
Styrmätan																		
Sverige	0,00	-0,50	0,00	0,00	0,00	0,50	0,00	2,14	0,15	2,34	0,32	2,45	0,00	3,30	0,50	3,30	0,70	3,30
Storbritannien	0,10	0,25	0,10	0,75	0,10	1,35	0,10	2,40	0,21	2,59	0,38	2,71	0,10	3,30	0,50	3,30	0,70	3,30
Norge	0,00	0,25	0,00	1,50	0,00	2,00	0,00	2,08	0,40	2,29	0,57	2,38	0,00	3,10	0,75	3,10	0,95	3,10
Danmark	0,05	-0,05	0,05	0,05	0,05	0,05	1,70	0,09	1,91	0,26	1,99	0,05	3,12	0,25	3,12	0,45	3,12	3,12
Finland	0,00	-0,10	0,00	0,00	0,00	0,25	0,00	1,69	0,05	1,91	0,22	1,99	0,00	3,12	0,25	3,12	0,45	3,12
Nederländerna och övriga Europa	0,00	-0,10	0,00	0,00	0,00	0,25	0,00	1,69	0,05	1,91	0,22	1,99	0,00	3,12	0,25	3,12	0,45	3,12
USA	0,13	0,88	0,13	1,38	0,13	1,63	0,13	2,64	0,28	2,70	0,45	2,73	0,13	3,30	0,63	3,30	0,83	3,30
Övriga länder	1,80	2,60	1,80	2,80	1,80	2,55	2,02	3,54	2,22	3,57	2,39	3,60	2,25	4,10	3,00	4,10	3,20	4,10
Festighetspremier, kommersiella fastigheter																		
Sverige	-22,93	-7,65	-1,36	-7,77	1,81	-11,16	-5,15	-1,53	1,37	-1,42	4,44	-1,17	5,78	6,92	3,57	11,48	5,76	22,99
Storbritannien	-14,82	-4,93	-2,50	-3,83	2,08	-4,09	-1,42	-0,09	1,49	0,08	4,09	0,19	6,70	5,48	5,70	7,42	5,70	17,04
Norge	-21,07	-5,77	-2,53	-5,03	0,94	-7,44	-3,11	-1,54	1,46	-1,45	3,01	-1,31	8,01	3,06	4,41	5,20	4,66	9,47
Danmark	-17,98	-8,94	-2,45	-8,49	0,60	-10,81	-4,44	-2,11	0,60	-1,97	2,19	-1,81	4,39	3,42	3,02	7,07	3,38	12,50
Finland	-21,25	-8,25	-2,25	-7,24	3,11	-9,98	-3,49	-1,08	1,98	-0,92	3,91	-0,72	7,20	7,07	5,14	8,74	4,81	17,77
Nederländerna och övriga Europa	-21,27	-6,29	-4,37	-5,72	0,62	-5,46	-4,44	0,03	0,65	0,27	2,61	0,75	5,41	2,02	3,59	4,70	4,23	12,48
USA	2,00	1,25	0,20	-4,97	2,00	1,25	2,56	1,98	0,75	2,56	1,68	3,77	2,30	1,59	2,58	3,77	2,30	3,77
Övriga länder	0,66	-1,17	1,30	0,93	1,00	1,00	1,43	1,16	2,15	1,28	2,77	1,39	1,90	1,70	4,40	1,40	6,79	2,63
Festighetspremier, bostadsfastigheter																		
Sverige	-4,91	-0,74	1,35	0,03	1,22	-0,37	0,30	1,79	2,47	1,96	3,40	2,14	5,11	6,55	4,19	5,28	6,30	7,76
Storbritannien	-9,88	-4,30	-2,48	1,41	0,15	1,55	-3,17	1,98	-0,91	2,34	1,08	2,79	0,42	4,94	0,80	3,95	2,10	8,40
Norge	-4,98	-0,40	2,05	1,86	3,02	0,43	2,42	2,85	3,67	2,96	4,63	3,09	5,97	4,80	4,45	5,62	9,28	9,31
Danmark	-7,45	-2,77	0,40	1,75	0,41	1,45	-0,26	2,88	1,27	3,02	2,66	3,17	3,95	4,72	2,22	3,90	6,05	6,23
Finland	-0,54	0,92	1,53	1,51	1,88	1,57	1,08	1,59	1,78	1,71	2,28	1,81	1,95	1,77	1,92	1,89	2,92	2,46
Nederländerna och övriga Europa	-4,42	-1,70	2,00	1,80	1,70	1,70	1,29	2,14	2,52	2,36	2,86	2,43	3,56	2,50	3,56	2,50	6,35	3,20
USA	-4,42	-1,70	2,00	1,80	1,70	1,70	1,29	2,14	2,52	2,36	2,86	2,43	3,56	2,50	3,56	2,50	6,35	3,20
Övriga länder	-4,42	-1,70	2,00	1,80	1,70	1,70	1,29	2,14	2,52	2,36	2,86	2,43	3,56	2,50	3,56	2,50	6,35	3,20

Tabellen nedan visar procentuell ökning respektive minskning av reserven för förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2 per den 31 december om det negativa respektive positiva сценарий tilldelats sannolikhet om 100 %.

%	2020		2019	
	Procentuell ökning av reserv vid negativt сценарий	Procentuell minskning av reserv vid positivt сценарий	Procentuell ökning av reserv vid negativt сценарий	Procentuell minskning av reserv vid positivt сценарий
Sverige	13,65	-7,55	6,37	-6,20
Storbritannien	11,08	-6,97	5,32	-6,05
Norge	11,78	-6,08	4,05	-4,14
Danmark	12,15	-6,82	5,07	-5,10
Finland	2,33	-1,12	1,40	-1,19
Nederländerna	2,75	-1,54	1,28	-1,27
USA	41,52	-24,50	6,60	-7,54
Övriga länder	14,29	-7,16	7,11	-6,94

NOTER | KONCERNEN

K10 Forts

Känslighetsanalys betydande ökning av kreditrisk

Tabellen nedan visar hur reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december påverkas om det gränsvärde som tillämpas för kvoten mellan återstående kreditrisk bärkraft vid rapportering och första redovisningsstillfället var satt till 0,5 enheter lägre respektive högre än det tillämpade gränsvärdet 2,5. En minskning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle öka antalet lån som överförs från Steg 1 till Steg 2 och också öka reserven för förväntade kreditförluster. En ökning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle ha motsatt effekt. Banken använder både kvantitativa och kvalitativa indikatorer för att bedöma betydande ökning av kreditrisk. För utförligare information, se not K2 avsnitt Kreditrisk.

Förändring av den totala reserven för Steg 1 och Steg 2, % Tröskelvärde	2020	2019
2	2,77%	2,97
2,5	0,00%	0,00
3	-1,77%	-1,96

KREDITEXPONERING SOM ÅR FÖREMÅL FÖR NEDSKRIVNINGSPRÖVNING PER PD-INTERVALL

Poster i balansräkningen fördelat på pd-intervaller	2020			2019		
	Bruttovolym, mkr			Bruttovolym, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde ¹						
0,00 till <0,15	2 259 717	17 628	-	2 220 408	11 885	-
0,15 till <0,25	222 255	5 703	-	256 109	4 862	-
0,25 till <0,50	54 813	10 076	-	60 292	3 241	-
0,50 till <0,75	23 011	3 594	-	24 544	2 701	-
0,75 till <2,50	28 433	20 148	-	33 614	8 103	-
2,50 till <10,00	10 908	16 239	-	12 539	18 099	-
10,00 till <100	570	2 953	-	800	2 971	-
100 (balksamant)	-	-	7 002	-	-	8 831
Summa	2 639 707	78 401	7 002	2 608 306	61 862	8 831

Utlåning till allmänheten fördelat på pd-intervaller	2020			2019		
	Bruttovolym, mkr			Bruttovolym, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde ¹						
0,00 till <0,15	1 907 655	17 624	-	1 904 041	11 841	-
0,15 till <0,25	184 364	5 702	-	219 618	4 844	-
0,25 till <0,50	45 469	10 074	-	51 702	3 229	-
0,50 till <0,75	19 088	3 593	-	21 047	2 691	-
0,75 till <2,50	23 586	20 144	-	28 825	8 073	-
2,50 till <10,00	9 048	16 235	-	10 752	18 031	-
10,00 till <100	473	2 952	-	686	2 960	-
100 (balksamant)	-	-	7 002	-	-	8 831
Summa	2 189 683	78 384	7 002	2 236 671	61 689	8 831

Poster utanför balansräkningen fördelat på pd-intervaller	2020			2019		
	Bruttovolym, mkr			Bruttovolym, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde ¹						
0,00 till <0,15	330 056	2 933	-	335 516	2 705	-
0,15 till <0,25	20 485	989	-	24 068	1 336	-
0,25 till <0,50	17 502	1 719	-	20 448	587	-
0,50 till <0,75	5 979	932	-	6 788	554	-
0,75 till <2,50	15 250	2 464	-	11 643	880	-
2,50 till <10,00	1 832	1 326	-	1 810	1 532	-
10,00 till <100	162	410	-	206	391	-
100 (balksamant)	-	-	433	-	-	712
Summa	391 296	10 743	433	400 479	7 085	712

¹ Avser 12-månaders pd-värde vid rapporteringsstillfället.

Tillgångar övertagna för skyddande av fordran mkr	2020	2019
Fastigheter	2	11
Lös egendom	2	1
Aktier och andelar	0	0
Redovisat värde	4	12

Lös egendom består i all väsentligt av återtagna leasingobjekt. Värderingsprinciper för tillgångar och skulder som övertagits för skyddande av fordran beskrivs i not K1.

NOTER | KONCERNEN

K11 Vinst/förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar

mkr	2020	2019
Inventarier	-2	8
Fastigheter	4	12
Summa	2	20

K12 Resultat per aktie

	2020	2019
Årets resultat, mkr	15 588	16 925
varav räntekostnad på konvertibla skuldebrev efter skatt	0	-47
Genomsnittligt antal under året konverterade aktier, miljoner	-	12,6
Genomsnittligt innehav av egna aktier i handelslaget, miljoner	-	-
Genomsnittligt antal utestående aktier, miljoner	1 980,0	1 956,8
Genomsnittlig utspädningsseffekt antal aktier, miljoner	0,0	20,1
Genomsnittligt antal utestående aktier efter utspädning, miljoner	1 980,0	1 976,9
Resultat per aktie, kr	7,87	8,66
efter utspädning	7,87	8,58

Resultat per aktie efter utspädning beräknas genom att ta hänsyn till effekterna av en konvertering av utestående konvertibla skuldebrev. Det innebär att genomsnittligt antal aktier justeras med potentiella stamaktier och att årets resultat justeras med årets räntekostnad på utestående konvertibla skuldebrev efter skatt.

K13 Övrig utlåning till centralbanker

mkr	2020	2019
Övrig utlåning till centralbanker i svenska kronor	-	13
Övrig utlåning till centralbanker i utländsk valuta	21 326	19 534
Summa	21 326	19 547
Reservering för förväntade kreditförluster	-	-
Summa övrig utlåning till centralbanker	21 326	19 547
varav upplupna räntelåntäckor	0	-5
varav omvända repor	-	-
Modervolymer		
mkr	2020	2019
Övrig utlåning till centralbanker i svenska kronor	27 226	36 071
Övrig utlåning till centralbanker i utländsk valuta	21 838	12 006
Summa	49 064	48 077
varav omvända repor	-	-

NOTER | KONCERNEN

K14 Utlåning till övriga kreditinstitut

mkd	2020	2019
Utlåning i svenska kronor		
Banker	1 489	2 245
Övriga kreditinstitut	595	18
Summa	2 084	2 263
Utlåning i utländsk valuta		
Banker	16 305	11 279
Övriga kreditinstitut	3 539	4 401
Summa	19 844	15 680
Reservering för förväntade kreditförluster	-8	-4
Summa utlåning till övriga kreditinstitut	21 920	17 939
varav upplupna ränteförskjutningar	20	47
varav omvärderingar	523	-
Medelvolymer		
mkd	2020	2019
Utlåning till övriga kreditinstitut i svenska kronor	3 963	4 753
Utlåning till övriga kreditinstitut i utländsk valuta	40 137	40 016
Summa	44 100	44 769
varav omvärderingar	3 649	6 692

K15 Utlåning till allmänheten

mkd	2020	2019
Utlåning i svenska kronor		
Hushåll	912 706	873 595
Företag	506 969	500 877
Riksgälden	474	-
Summa	1 420 149	1 374 472
Utlåning i utländsk valuta		
Hushåll	325 854	344 861
Företag	527 066	577 838
Riksgälden	-	-
Summa	852 920	922 699
Reservering för förväntade kreditförluster	-3 457	-4 568
Summa utlåning till allmänheten	2 269 612	2 292 603
varav upplupna ränteförskjutningar	2 635	3 392
varav omvärderingar	11 627	10 441
varav efterställda	-	-
Medelvolymer, exkl Riksgälden		
mkd	2020	2019
Utlåning till allmänheten i svenska kronor	1 419 122	1 376 234
Utlåning till allmänheten i utländsk valuta	886 921	907 845
Summa	2 306 043	2 284 079
varav omvärderingar	18 349	16 205

NOTER | KONCERNEN

K16 Räntebärande värdepapper

	2020			2019		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
mkr						
Belåningsbara statskultförbindelser m m	99 133	99 133	97 169	103 387	103 387	101 154
varav upplupna ränteflöden	195			217		
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	44 566	44 566	41 408	42 640	42 640	39 818
varav upplupna ränteflöden	185			212		
Summa	143 899	143 899	138 687	146 027	146 027	140 972
varav efterställda	4	4		15	15	

Räntebärande värdepapper fördelade på emittent	2020			2019		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
mkr						
Stat	99 133	99 133	97 169	103 387	103 387	101 154
Kreditinstitut	9 091	9 091	8 656	10 529	10 529	9 911
Bostadsinstitut	29 347	29 347	26 962	25 814	25 814	23 714
Övrigt	6 128	6 128	5 880	6 297	6 297	6 193
Summa	143 899	143 899	138 687	146 027	146 027	140 972

Räntebärande värdepapper som är föremål för nedskrivningsprövning				
mkr			2020	2019
Belåningsbara statskultförbindelser m m				
Verkligt värde via övrigt totalresultat			401	403
Upplupet anskaffningsvärde			780	1 024
Summa bruttovolymer			1 181	1 427
Reservering för förväntade kreditförluster av sådana instrument värderade till upplupet anskaffningsvärde			0	0
Summa redovisat värde			1 181	1 427
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i verkligt värdesreserv i eget kapital			0	0
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via övrigt totalresultat			7 964	4 953
Summa redovisat värde			7 964	4 953
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i verkligt värdesreserv i eget kapital			-2	-2

Modolvolymer				
mkr			2020	2019
Räntebärande värdepapper			167 535	222 609
Räntebärande värdepapper, försäkringsförsäkringen			-	4 924
Summa			167 535	227 533

K17 Aktier och andelar

mkr	2020	2019
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatorisk	20 245	19 087
Verkligt värde via övrigt totalresultat	800	2 303
Summa aktier och andelar	21 045	21 390

Innehav klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat				
mkr			2020	2019
BEC			295	489
Visa Inc			155	308
Övriga innehav			350	363
Euroclear plc			-	431
Enanto Group Oy			-	712
Summa			800	2 303

Handelsbanken klassificerar ovanstående aktieinnehav till verkligt värde via övrigt totalresultat då dessa inte innehåller handelsytta. Under året erhöj Handelsbanken endast utdelningar för aktier som fortfarande ägs vid rapporteringsperiodens slut. Utdelningarna uppgår till 153 mkr (110) och redovisas i resultaträkningen som Övriga utdelningsintäkter. Under året har Banken avyttrat innehav i Lat-P Holdings A/S, Euroclear, BEC, W/P AS, Kreditandelslag, Værdipapircentralen, Enanto Group Oy, Visa Inc samt en bostadsrättsförening om totalt 1 688 mkr (30). Skattetillägg avyttringsmått har i huvudsak omräkningar samt att aktierna justerats förhållande till andelarna.

För information om realiserat och realiserat resultat för eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat se Fördelning av eget kapital Koncernen.

NOTER | KONCERNEN

K18 Andelar i intresseföretag och joint ventures

Handelsbanken har inga enskilda väsentliga innehav i intresseföretag eller joint ventures. Det finns vissa företag som anses strategiska för bankverksamheten i koncernen då de utför stödjande verksamheter, såsom exempelvis betalingsjämnare. Samtliga innehav är noterade.

Andelar i intresseföretag och joint ventures mkr	2020	2019
Redovisat värde vid årets början	285	259
Andel av årets resultat	18	32
Skatt	-13	-6
Aktieägarutskott	12	0
Förvärf	84	
Redovisat värde vid årets slut	386	285

Resultat från intresseföretag och joint ventures mkr	2020	2019
Årets resultat	18	32
Övrigt totalresultat	-	0
Årets totalresultat	18	32

Intresseföretag	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Röstandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2020	2019
Bankomat AB	556817-9716	Stockholm	150	20,00	77	81
BGC Holding AB	556607-0933	Stockholm	25 382	25,38	197	173
Dyson Group plc	00163096	Sheffield	74 333 672	24,01	22	0
Finansiall-ID-teknik BID AB	556630-4928	Stockholm	12 735	28,30	22	12
Gelawish AB	556913-7382	Stockholm	10 000	20,00	16	19
UBE Intressenier AB	559161-9464	Stockholm	2 448	24,48	0	0
Summa					334	285

Joint ventures	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Röstandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2020	2019
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-9610	Stockholm	10 000	16,67	39	
Invidam AB	559210-0779	Stockholm	10 000	16,67	13	
Summa					52	

K19 Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken

mkr	2020	2019
Fond- och depåförsäkringstillgångar	191 035	169 601
Övriga fondtillgångar	6 177	5 387
Summa	197 212	174 988

NOTER | KONCERNEN

K20 Derivatinstrument

mkr	Nominellt belopp/löptid			Nominellt belopp		Positiva marknadsvärden		Negativa marknadsvärden	
	upp till 1 år	mer än 1 år upp till 5 år	mer än 5 år	2020	2019	2020	2019	2020	2019
Derivat för handel									
Ränterelaterade kontrakt									
Optioner	8 831	13 766	2 053	24 650	28 627	9	16	14	68
FRAs/terminer	300 439	18 000	-	318 439	893 595	52	211	40	172
Swappar	329 317	1 000 616	301 029	1 630 962	1 786 372	20 504	19 366	21 365	20 859
Valutaränterelaterade kontrakt									
Optioner	24 677	18	34	24 729	25 685	118	136	195	212
Terminer	64 644	4 785	258	69 687	63 863	920	863	1 344	480
Swappar	493 904	51 226	14 565	559 695	703 958	5 892	4 529	17 548	11 859
Aktierelaterade kontrakt									
Optioner	3 492	1 610	92	5 194	9 585	255	545	136	425
Terminer	855	-	-	855	1 814	15	0	16	13
Swappar	12 285	3 844	21	16 150	14 755	137	138	1 569	1 157
Rävaränterelaterade kontrakt									
Optioner	325	308	38	671	1 022	22	35	60	103
Terminer	2 962	692	-	3 654	12 951	320	430	312	494
Kreditrelaterade kontrakt									
Swappar	631	5 618	252	6 501	8 035	229	465	158	289
Summa	1 242 382	1 100 483	318 342	2 681 187	3 050 282	28 643	28 734	42 757	36 181
Derivat för marknadsvärdesåtkomster									
Ränterelaterade kontrakt									
Optioner	1 745	1 061	-	2 806	4 641	-	3	-	-
Swappar	31 706	205 969	66 410	304 085	149 642	3 106	1 958	630	587
Valutaränterelaterade kontrakt									
Swappar	-	534	843	1 377	1 499	101	165	-	-
Summa	33 451	207 664	67 253	308 268	155 782	3 207	2 127	630	587
Derivat för kassofföreskrifter									
Ränterelaterade kontrakt									
Swappar	124 120	264 897	43 744	432 761	532 453	11 677	13 104	2 727	1 974
Valutaränterelaterade kontrakt									
Swappar	103 512	137 488	40 914	281 914	311 176	12 531	24 912	7 751	1 163
Summa	227 632	402 385	84 658	714 675	843 629	24 208	38 016	10 478	3 137
Summa derivatinstrument	1 503 445	1 710 432	470 253	3 694 130	4 549 673	56 058	66 877	53 865	39 875
Varav börshandlade derivat				108 653	440 820	332	347	756	1 223
Varav OTC-derivat clearade via CCP				2 245 982	2 472 034	22 987	22 588	1 8717	16 293
Varav OTC-derivat ej clearade via CCP				1 329 495	1 636 819	32 639	43 242	34 392	22 359
Kvittade belopp totalt				-2 110 391	-2 147 269	-25 344	-25 332	-21 046	-19 233
Nettobelopp				1 573 739	2 402 404	30 614	41 545	32 819	20 642
Valutafördelning av marknadsvärden									
SEK						41 263	-31 749	30 185	257 947
USD						-70 582	39 098	-38 184	-348 281
EUR						129 283	204 475	-94 785	-14 922
Övriga						-44 006	-144 947	228 686	145 131
Summa						55 958	66 877	53 865	39 875

I noten presenteras derivatkontrakt brutto. Kvittade belopp består av det kvittade marknadsvärdet och tillhörande nominella belopp på kontrakt för vilka det finns en legal rätt och avskat för regiona avstämde kassaförden netto (där bland clearade kontrakt). Dessa kontrakt netto redovisas i balansräkningen per motpart och valuta.

Positiva skillnader mellan det värde som räknats fram med en värderingsmodell vid det första redovisningstillfället och transaktionspriset (dag 1-resultat) periodiseras över derivatets löptid. Vid årsavslut uppgick sådana årliga resultat till 538 mkr (530).

NOTER | KONCERNEN

K21 Säkringsredovisning

Koncernens övergripande mål för riskhantering och säkringsredovisning är att säkra risken för variationer i framtida kassaflöden respektive verkligavärden hänförliga till ut- och upplåning med avseende på förändringar i räntor och valutakurser. För att uppnå detta använder koncernen derivat. Säkringsredovisning tillämpas för att koncernens riskhanteringsstrategi ska avspeglas i de finansiella rapporterna. För information om koncernens hantering av marknadsrisker, se not K2. Nedan beskrivs koncernens säkringsstrategier samt de olika typer av säkringsredovisning som tillämpas uppdelat per riskkategori. För en beskrivning av redovisningsprinciperna för säkringsredovisning, se not K1.

KASSAFLÖDESSÄKRING

Ränterisk i ut- och upplåning till rörlig ränta. Syftet med denna säkringsstrategi är att minska osäkerheten i framtida in- och utbetalningar av räntor till följd av förändringar i rörliga räntor, och istället erhålla respektive betala en fast ränta som är känd vid ingången av säkringen. Den säkrade posten utgörs av mycket sannolika framtida in- och utbetalningar avseende ränterörlig utlåning till allmänheten respektive emitterade värdepapper med rörlig ränta. Den säkrade risken definieras som en rörlig referensränta i respektive valuta, vilken utgör en observerbar komponent i räntan. Säkringsinstrumenten utgörs av ränteswapper, i vilka fast ränta erhålls och rörlig ränta betalas respektive fast ränta betalas och rörlig ränta erhålls.

Valutakursrisk i upplåning

Säkringsstrategin syftar till att minska osäkerheten i framtida räntebetalningar till följd av förändringar i valutakurser och istället betala en ränta i den funktionella valutan, som är känd vid tidpunkten för ingången av säkringen. Den säkrade posten utgörs av mycket sannolika framtida räntebetalningar och återbetalningar av nominella belopp hänförliga till emitterade värdepapper i en annan valuta än den funktionella valutan. Den säkrade risken utgörs av risken för förändringar i dessa framtida betalningar till följd av förändringar i valutakurser mellan upplåningsvalutan och den funktionella valutan. Säkringsinstrumenten utgörs av valutarelaterade derivat.

Valutakursrisk i internlån till eller från utlandsverksamhet

Intentionen med denna säkringsstrategi är att minska risken för volatilitet hänförlig till valutakursrörelser avseende ett internlån, till eller från en utlandsverksamhet. Den säkrade posten utgörs av det nominella beloppet avseende ett internlån mellan koncernens finansavdelning och en utländsk verksamhet, utgivet i den funktionella valutan för den utländska verksamheten. Den säkrade risken utgörs av värdeförändringsrisken avseende ett internlån, till eller från en utlandsverksamhet, till följd av skillnader i valutakurser mellan internlånets valuta och moderbolagets funktionella valuta, svenska kronor. Säkringsinstrumenten utgörs av valutarelaterade derivat.

Effektivitetsmätning

Effektiviteten testas vid ingången av säkringsrelationen samt löpande kvartalsvis. Säkringsrelationens effektivitet testas såväl prospektivt som retrospektivt. Prospektivt genom att skifta ränte- och diskonteringskurvor. Retrospektivt, i de fall villkoren avseende den säkrade risken och säkringsinstrumentet inte överensstämmer fullständigt, genom regressionsanalys. Med fullständigt menas att kassaflöden och diskonteringsfaktorer i varje tid är identiska. Vid mätning av effektivitet representeras den säkrade risken av ett så kallat hypotetiskt derivat (PEH), vilket ska matcha de kritiska villkoren i den säkrade posten. Det verkliga värdet avseende det hypotetiska derivatet (PEH) är noll vid ingången av säkringsrelationen. Vid effektivitetsmätning jämförs förändringen i verkligt värde avseende det hypotetiska derivatet (PEH) med derivatets förändring i verkligt värde.

Kriterier vid effektivitetsmätning

För att kvalificera för säkringsredovisning ska kvoten mellan förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i den säkrade posten, vilken representeras av det hypotetiska derivatet (PEH), och derivatet vara inom intervallet 80–125 procent. I de fall detta kontrolleras genom regressionsanalys ska följande kriterier vara uppfyllda för att bestämma ett effektivt säkringsförhållande:

- Linjens lutning ska vara inom intervallet 0,8 < b < 1,25 och
- R² ska vara > 0,96.

Säkringsinstrument i kassaflödessäkring	2020			2019		
	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år
Ränterisk:						
Ränteswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	13 181	70 910	16 070	13 640	73 337	17 886
Genomsnittlig fast ränta %	0,48	0,48	0,73	0,91	0,56	0,90
Ränteswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	110 999	193 987	27 674	78 737	309 248	39 596
Genomsnittlig fast ränta %	2,28	1,62	1,40	2,50	1,94	1,15
Valutakursrisk:						
Valutarelaterade derivat EUR/SEK						
Nominellt belopp	24 147	52 180	13 880	9 620	67 575	24 513
Genomsnittlig valutakurs EUR/SEK	1,0825	0,7212	0,9693	0,1130	0,1040	0,0960
Valutarelaterade derivat EUR/NOK						
Nominellt belopp	4 344	29 590	17 590	4 741	36 400	-
Genomsnittlig valutakurs EUR/NOK	0,1310	0,1110	0,3905	0,1200	0,1200	-
Valutarelaterade derivat GBP/SEK						
Nominellt belopp	-	7 195	-	-	7 562	-
Genomsnittlig valutakurs GBP/SEK	-	1,0079	-	-	0,0900	-
Valutarelaterade derivat USD/GBP						
Nominellt belopp	11 011	6 289	831	11 599	19 410	992
Genomsnittlig valutakurs USD/GBP	1,3860	1,2930	1,3150	1,4300	1,3600	1,3200
Valutarelaterade derivat USD/NOK						
Nominellt belopp	40 197	12 901	-	19 402	25 572	337
Genomsnittlig valutakurs USD/NOK	0,1170	0,1260	-	0,1300	0,1300	0,1300
Valutarelaterade derivat USD/SEK						
Nominellt belopp	9 206	12 805	8 613	13 164	23 524	-
Genomsnittlig valutakurs USD/SEK	0,1166	0,5162	0,1105	0,1300	0,1100	-
Valutarelaterade derivat AUD/USD						
Nominellt belopp	3 034	5 492	-	-	9 301	-
Genomsnittlig valutakurs AUD/USD	1,3990	1,3770	-	-	1,3800	-
Valutarelaterade derivat övriga valutor						
Nominellt belopp	11 573	11 036	-	13 351	21 969	2 204
Summa	227 692	402 385	84 698	164 283	603 808	86 488

NOTER | KONCERNEN

K21 Forts

Ineffektivitet

Ineffektiviteten beräknas genom att jämföra förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i den säkrade posten, vilken representeras av det hypotetiska derivatet (PEH), med derivatets förändring i verkligt värde. Ineffektivitet föreligger om derivatets förändring i verkligt

värde överstiger värdeförändringen för det hypotetiska derivatet (PEH) i absoluta belopp.

De huvudsakliga förklaringarna till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är skillnader i marknadsräntor och valutakurser mellan tidpunkten för ingången av säkringsrelationen och affärstidpunkten för derivatet. Ineffektiviteten

förklaras också av förändringar i verkligt värde hänförligt till vissa räntekomponenter i derivatet som inte ingår i den säkrade risken.

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassafördessäkkring 2020	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkringsinstrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkringsreserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
mikr							
Ränterisk							
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	100 161	1	2 727	-1 031	-1 031	-	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	332 600	11 676	-	380	379	1	211
Valutarisk							
Valutansäkrade derivat EUR/SEK	90 207	3 327	1 700	-83	-83	-	-
Valutansäkrade derivat EUR/DKK	3 516	-	9	-33	-33	-	-
Valutansäkrade derivat EUR/GBP	9 628	1 123	-	81	81	-	-
Valutansäkrade derivat EUR/NOK	51 524	5 559	259	234	231	3	-
Valutansäkrade derivat GBP/SEK	7 195	40	-	-4	-4	-	-
Valutansäkrade derivat USD/GBP	18 131	271	448	-60	-57	-3	-
Valutansäkrade derivat USD/NOK	53 058	1 142	1 903	-52	-52	-	-
Valutansäkrade derivat USD/SEK	30 624	-	2 704	-364	-364	-	-
Valutansäkrade derivat AUD/USD	8 526	621	-	45	45	-	-5
Valutansäkrade derivat övriga valutor	9 465	448	728	12	13	-1	43
Summa	714 676	24 208	10 478	-875	-875	0	240

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassafördessäkkring 2019	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkringsinstrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkringsreserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
mikr							
Ränterisk							
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	104 872	131	1 813	-861	-864	3	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	427 581	12 973	161	4 006	4 010	-4	17
Valutarisk							
Valutansäkrade derivat EUR/SEK	101 708	7 556	424	-42	-42	-	-
Valutansäkrade derivat EUR/DKK	3 653	4	-	16	16	-	-
Valutansäkrade derivat EUR/GBP	12 915	735	122	147	147	-	-
Valutansäkrade derivat EUR/NOK	41 141	4 309	-	60	57	3	-
Valutansäkrade derivat GBP/SEK	7 562	782	-	17	17	-	-
Valutansäkrade derivat USD/GBP	31 941	1 715	169	-79	-74	-5	-
Valutansäkrade derivat USD/NOK	45 311	4 682	-	0	0	-	-
Valutansäkrade derivat USD/SEK	36 688	3 383	-	-39	-39	-	-
Valutansäkrade derivat AUD/USD	9 301	22	265	77	77	-	-2
Valutansäkrade derivat övriga valutor	20 056	1 724	183	452	458	-6	7
Summa	843 629	38 018	3 137	3 764	3 763	-9	22

¹ Vid analys utfördes ett säkringsredovisningsöföfla beaktas omvandlingen till moderbolagets funktionella valuta, svenska kronor, genom att nominella derivatbelopp imputeras i säkringsrelationerna. De imputerade derivatbeloppen är inte inkluderade i de nominella volymerna i tabellerna ovan. Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen. Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Omklassificerat till resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner och avser kassafördessäkkring som är avslutad i förlid.

Säkrade poster i kassafördessäkkring	2020			2019		
	Förändring i värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Säkringsreserv	Belopp som krävs för att säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkringsredovisning inte längre tillämpas	Förändring i värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Säkringsreserv	Belopp som krävs för att säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkringsredovisning inte längre tillämpas
mikr						
Ränterisk						
Emittierade värdepapper till rörlig ränta	1 031	-2 576	-	864	-1 544	-
Utlåning till sällskapskassan till rörlig ränta	-379	7 946	1 327	-4 010	7 769	1 492
Valutarisk						
Emittierade värdepapper EUR samt internlån DKK, GBP och NOK	-87	-779	-	-294	-867	-
Emittierade värdepapper USD samt internlån DKK, EUR, GBP och NOK	499	-427	86	62	82	121
Emittierade värdepapper samt internlån övriga valutor	-189	59	17	-385	-93	19
Summa	875	4 223	1 430	-3 763	5 347	1 632

NOTER | KONCERNEN

K21. Forts

SÄKRING AV VERKLIGT VÄRDE

Ränterisk i ut- och upplåning till fast ränta
Syftet med denna säkringsstrategi är att minska risken för förändringar i verkligt värde avseende ut- och upplåning till fast ränta, till följd av förändringar i marknadsräntor. Den säkrade risken definieras som referensräntan i respektive valuta, vilken utgör en observerbar komponent i räntan. De säkrade posterna utgörs av utlåning till allmänheten till fast ränta och emitterade värdepapper till fast ränta. Säkringsinstrumenten utgörs av ränteswappar, i vilka fast ränta betalas och rörlig ränta erhålls respektive ränteswappar i vilka fast ränta erhålls och rörlig ränta betalas.

Effektivitetsmätning

Säkringarnas effektivitet mäts genom att jämföra förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i ut- och upplåning med ränteswapparnas värdeförändring. Effektivitetsmätningen utförs såväl prospektivt som retrospektivt. Prospektivt genom att skifta ränta- och diskonteringskurvor och retrospektivt tillämpas regressionsanalys. Effektiviteten testas vid ingången av säkringsrelationen samt löpande kvartalsvis. De kriterier som ska vara uppfyllda för att kvalificera för säkringsredovisning är desamma som beskrivs ovan i avsnittet om kassaflödesräkning.

Ineffektivitet

Ineffektivitet beräknas genom att jämföra förändringen i verkligt värde för ränteswappen med verkligt värde för den säkrade risken i ut- respektive upplåning från ingången av säkringen till periodens utgång.

Den huvudsakliga förklaringen till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är förändringar i verkligt värde med avseende på den rörliga räntan i ränteswappen, vilken ej motsvaras av en värdeförändring avseende den säkrade risken i ut- eller upplåningen.

PORTFOLJSÄKRING AV VERKLIGT VÄRDE MED AVSEENDE PÅ RÄNTERISK

Ränterisk i utlåningsportföljer till fast ränta
Säkringsstrategin syftar till att minska risken för förändringar i verkligt värde avseende utlåningsportföljer till fast ränta, till följd av förändringar i marknadsräntor. Den säkrade risken definieras som förändringar i verkligt värde avseende en del av en utlåningsportfölj till fast ränta, med avseende på förändringar i en referensränta i respektive valuta. Den säkrade posten utgörs av ett belopp i valuta som är bestämt utifrån en utlåningsportfölj till fast ränta. Utlåningsportföljen delas in i ränteomsättningsperioder. Det säkrade beloppet fastställs baserat på den ränterisk som banken önskar säkra i de utvalda ränteomsättningsperioderna. Säkringsinstrumenten utgörs av ränteswappar,

i vilka rörlig ränta erhålls och fast ränta betalas. Ett eller flera säkringsinstrument definieras i respektive ränteomsättningsperiod.

För en beskrivning av effektivitetsmätning och ineffektivitet hänvisas till avsnittet om Säkring av verkligt värde ovan.

Ränterisk i utlåningsportfölj till rörlig ränta med räntetak

Syftet med denna säkringsstrategi är att minska risken för förändringar i verkligt värde avseende utlåningsportföljer med tre månaders räntebindning, där låntagaren har ett räntetak. Den säkrade risken definieras som referensräntan i det avtalade räntetaket. Säkringsinstrumenten utgörs av ränteoptioner (cappar).

Den nominella utlåningsvolymen som säkras för en viss period fastställs kvartalsvis. Vid beräkning av effektivitet jämförs förändringen i verkligt värde under perioden avseende räntetak med ränteoptionernas (capparnas) förändring i verkligt värde. Kvoten ska vara inom intervallet 80–125 procent för att säkringen ska kvalificera för säkringsredovisning.

De huvudsakliga förklaringarna till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är avvikelser i löptid och ränta mellan räntetak i utlåning och cappar, eftersom volymen för respektive cap fastställs för en portfölj av utlåning med räntetak och inte för respektive lån.

Säkringsinstrument i säkring av verkligt värde	2020			2019		
	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år
Ränterisk:						
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	31 706	148 863	1 608	26 321	71 563	2 412
Gänomsnittlig fast ränta %	0,06	0,03	0,28	0,00	0,07	0,53
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	-	53 834	60 040	-	24 025	24 921
Gänomsnittlig fast ränta %	-	0,97	1,03	-	1,60	0,79
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	-	534	843	-	590	919
Gänomsnittlig fast ränta %	-	3,26	3,69	-	3,26	3,69

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2020	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som avvägs för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
Ränterisk:					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	182 267	72	442	-222	-7
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	113 874	3 030	169	1 143	56
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 377	101	-	100	0
Summa	297 518	3 203	611	1 021	49
Portföljsäkring av verkligt värde					
Ränterisk:					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	7 944	4	19	-13	0
Räntecap (cappar)	2 806	0	-	13	0
Summa	10 750	4	19	0	0

NOTER | KONCERNEN

K21 Forts

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2019		Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
mkr	Nominellt belopp säkringsinstrument	Tillgångar	Skulder		
Ränterisk					
Ränteswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	100 696	219	355	82	5
Ränteswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	48 946	1 739	232	-227	-51
Valutaswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 400	166	-	-16	-3
Summa	151 141	2 124	587	-161	-40
Portföljsäkring av verkligt värde					
Ränterisk					
Räntesoptioner (cappar)	4 641	3	-	8	0
Summa	4 641	3	-	8	0

Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen. Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2020		Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Det upplupna beloppet för justeringar av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värde
mkr		Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder		
Ränterisk							
	Utlåning till allmänheten till fast ränta	188 468		329		215	-
	Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		119 410		1 110	-1 187	-
	Summa	188 468	119 410	329	1 110	-972	-
Portföljsäkring av verkligt värde							
Ränterisk							
	Utlåning till allmänheten till fast ränta	13				13	-
	Ränteswapper i utlåning till rörlig ränta	12				-13	-
	Summa	25				0	

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2019						
mkr	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Det upplupna beloppet för justeringar av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värde
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder		
Ränterisk						
Utlåning till allmänheten till fast ränta	101 432		114		-77	-
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		50 545		-189	189	-
Summa	101 432	50 545	114	-189	112	
Portföljsäkring av verkligt värde						
Ränterisk						
Ränteswapper i utlåning till rörlig ränta	25				-8	
Summa	25				-8	

SÄKRING AV VALUTAKURSRISK I NETTO-INVESTERING I UTLANDSVERKSAMHET

Syftet med säkringsstrategin är att reducera valutakurs exponeringen avseende en nettoinvestering i en utlandsverksamhet. Den säkrade posten utgörs av det nominella beloppet avseende intern långfristig utlåning mellan koncernens finansavdelning och en utlandsverksamhet utgiven i den funktionella valutan för den utländska verksamheten. För att utgöra en del av en nettoinvestering i en utlandsverksamhet krävs att en återbetalning av den interna utlåningen varken är planerad eller trolig under en överskådlig framtid. Den säkrade risken utgörs av värdeförändringsrisken avseende en nettoinvestering i en utlandsverksamhet, till följd av förändringar i valutakursen mellan den utländska verksamhetens funktionella valuta och moderbolagets funktionella valuta, svenska kronor. Säkringsinstrumenten utgörs av valuta-relaterade derivat. Det föreligger endast äldre

säkringsrelationer, och banken ingår inga nya säkringsrelationer i denna säkringsstrategi varför någon information i tabellform ej heller lämnas avseende denna säkringsstrategi.

Effektivitetsmätning

Vid effektivitetsmätning avseende säkring av en nettoinvestering i en utlandsverksamhet tillämpas motsvarande rutiner som vid effektivitetsmätning för kassafödessäkringar, vilka beskrivs ovan i avsnittet om kassafödessäkringar.

Ineffektivitet

Ineffektiviteten beräknas på motsvarande sätt som för kassafödessäkringar, vilket beskrivs ovan i avsnittet om kassafödessäkringar.

Den huvudsakliga förklaringen till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är skillnader i valutakurser mellan tidpunkten för ingången av säkringsrelationen och affärstidpunkten för derivatet.

För en specifikation av förändringen av säkringsreserven respektive omräkningsreserven, se Förändring i eget kapital Koncernen.

BENCHMARKREFORMEN

Ändringar i IAS 39 Finansiella instrument:

Redovisning och värdering

Ändringar har genomförts som innebär temporära undantag från att tillämpa vissa specifika krav avseende säkringsredovisning för säkringsrelationer som direkt påverkas av benchmarkreformen. De temporära undantagen syftar till att säkringsrelationer inte ska behöva brytas upp endast till följd av osäkerhet från benchmarkreformen. Se not K1 punkt 2.

Anpassningar till benchmarkreformen

Det pågår ett omfattande arbete internationellt med framtagande av alternativa referensräntor, vilka utgörs av nästan riskfria räntor, så kallade RFR (Nearby Risk-free Rates). Inom EU pågår

NOTER | KONCERNEN

K21. Forts

såväl en anpassning av nuvarande interbankräntor till att uppfylla kraven enligt Benchmarkförordningen ((EU) 2016/1011) som framtagande av alternativa RFR.

Inom banken pågår ett omfattande anpassningsarbete inför en potentiell omställning till RFR, såväl med avseende på centrala anpassningar i IT-system för derivat och LIBOR-lån som lokala anpassningar i IT-system för låneprodukter i de olika länderna. Det centrala projektet omfattar även uppdatering av avtal, exempelvis ISDA och ramavtal, samt framtagande av kommunikationsplaner till kunder och motparter. Vidare omfattas bland annat påverkan på redovisning, värdering av finansiella instrument och riskmätning vid en övergång till RFR.

Bedömning av säkringsrelationer som påverkas av benchmarkreformen

De interbankräntor som bedöms vara väsentliga för banken är hemmemarknaderna och USD, vilka är Stibor, Euribor, GBP Libor, Nibor, Clibor och USD Libor.

Den brittiska tillsynsmyndigheten (Prudential Regulation Authority (PRA)) har beslutat att de inte kommer att tvinga någon bank att bidra till att fastställa GBP Libor efter 2021. GBP Libor ersätts med SONIA (Reformed Sterling Overnight Index Average). Övergångsperioden för implementering är till och med 2021-12-31. Motsvarande gäller avseende USD Libor, vilken ersätts med SOFR (Secured Overnight Financing Rate), men med en förväntad övergångsperiod för implementering till och med 2022-06-30. Bankens bedömning är således att GBP Libor och USD Libor ej förväntas kvarstå

som referensräntor efter 2021-12-31 respektive 2022-06-30 och att det därmed föreligger en osäkerhet från benchmarkreformen på säkringsrelationer som förfaller efter 2021-12-31 respektive 2022-06-30, i vilka GBP Libor eller USD Libor har en direkt påverkan på säkrad post eller säkringsinstrument.

En reformerad Euribor är framtagen och godkänd som referensränta enligt Benchmarkförordningen. ESTER (Euro Short Term Rate) är beslutad att utgöra RFR i euro, vilken publiceras från och med den 2 oktober 2019. Till och med 2021 publiceras ESTER parallellt med den nuvarande dagsutlåningsräntan EONIA. Med utgångspunkt från att en reformerad Euribor är godkänd, och fortsättningsvis kommer att publiceras, är bankens bedömning att Euribor förväntas kvarstå som referensränta och att det ej föreligger en osäkerhet från benchmarkreformen på befintliga säkringsrelationer i vilka Euribor har en direkt påverkan på säkrad post eller säkringsinstrument.

Det finns inget beslut om att Stibor ska upphöra som referensränta. Riksbanken har tagit fram en RFR i SEK under 2020. Riksbanken kommer att inleda en testperiod i januari 2021 då en preliminär ränta publiceras, för att därefter börja publicera den officiella referensräntan. Ingen myndighet har uttryckt krav på, eller önskemål om, att Stibor ska upphöra att gälla. Det föreligger i dageläget således ingen plan för eller något krav på att Stibor ska upphöra. Stibor måste dock uppfylla de krav som ställs enligt Benchmarkförordningen och godkännas av Finansinspektionen. Ansökan ska lämnas före utgången av 2021, eftersom Stibor är en kritisk

referensränta enligt Benchmarkförordningen.

Det pågår ett arbete inom Swedish Financial Benchmark Facility med att ta fram en ansökan om godkännande av Stibor enligt Benchmarkförordningen som ska lämnas till Finansinspektionen. I nuläget är bankens bedömning att Stibor förväntas godkännas enligt Benchmarkförordningen och kvarstå som referensränta. Med anledning härav är bankens bedömning att det ej föreligger en osäkerhet till följd av benchmarkreformen i befintliga säkringsrelationer där Stibor har en direkt påverkan på säkrad post eller säkringsinstrument.

De övriga nordiska interbankräntorna, Nibor i Norge och Clibor i Danmark, är godkända enligt Benchmarkförordningen av den norska respektive den danska tillsynsmyndigheten. Bankens bedömning är att Nibor och Clibor förväntas kvarstå som referensräntor. Med anledning härav är bankens bedömning att det ej föreligger en osäkerhet till följd av benchmarkreformen i befintliga säkringsrelationer där Nibor respektive Clibor har en direkt påverkan på säkrad post eller säkringsinstrument.

Med utgångspunkt från bedömningen ovan görs den säkrade risken, som direkt påverkas av osäkerheten till följd av benchmarkreformen, av den rörliga referensräntan i ut- och upplåning i GBP respektive USD. Vidare påverkas kassaflöden hänförliga till ut- och upplåning samt derivatinstrument som är baserade på GBP Libor respektive USD Libor. Osäkerheten till följd av benchmarkreformen upphör för de säkrade posterna respektive säkringsinstrumenten när den nya räntan är fastställd och har införts i de enskilda kontrakten.

Säkringsinstrument som ingår i säkringsrelationer som påverkas av osäkerheten från benchmarkreformen 2020

mkr	Nominellt belopp
Räntaswappar GBP	40 262
Räntaswappar USD	86 524
Valutaswappar AUD/USD	8 526
Valutaswappar EUR/GBP	9 628
Valutaswappar GBP/SEK	7 195
Valutaswappar JPY/GBP	3 19
Valutaswappar USD/DKK	2 393
Valutaswappar USD/EUR	5 129
Valutaswappar USD/GBP	18 131
Valutaswappar USD/NOK	53 099
Valutaswappar USD/SEK	30 624
Summa	270 890

NOTER | KONCERNEN

K22 Kvittning av finansiella instrument

2020	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	
mkr	Derivat	Totalt
Finansiella tillgångar som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal		
Brutobelopp	55 958	14 692
Kvittade belopp	-25 344	-2 014
Redovisat värde i balansräkningen	30 614	12 678
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen		
Finansiella instrument, nettningsavtal	-14 846	-
Mottagna finansiella säkerheter	-7 503	-12 660
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-22 349	-12 660
Nettobelopp	8 265	-
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal		
Brutobelopp	53 865	2 014
Kvittade belopp	-21 046	-2 014
Redovisat värde i balansräkningen	32 819	-
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen		
Finansiella instrument, nettningsavtal	-14 846	-
Ställda finansiella säkerheter	-13 310	-
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-28 156	-
Nettobelopp	4 663	-
2019	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	
mkr	Derivat	Totalt
Finansiella tillgångar som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal		
Brutobelopp	66 877	18 436
Kvittade belopp	-25 332	-5 816
Redovisat värde i balansräkningen	41 545	12 620
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen		
Finansiella instrument, nettningsavtal	-12 023	-
Mottagna finansiella säkerheter	-22 340	-12 620
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-34 363	-12 620
Nettobelopp	7 182	-
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal		
Brutobelopp	39 875	5 816
Kvittade belopp	-19 233	-5 816
Redovisat värde i balansräkningen	20 642	-
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen		
Finansiella instrument, nettningsavtal	-12 023	-
Ställda finansiella säkerheter	-5 179	-
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-17 202	-
Nettobelopp	3 440	-

Derivatinstrument kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera avtal. Återköpsavtal och omvända återköpsavtal mot centrala clearingmotparter kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera avtal. Det inträffar när banken har både en avtalsmässig rätt och avsikt att reglera avtalade kassaflöden netto. I det kvittade beloppet för derivattillgångar ingår kvittade kontantsäkerheter om

7 330 miljoner kronor (7 682) vilka härrör från balansräkningsposten In- och upplåning från allmänheten. I det kvittade beloppet för derivat-skulder ingår kvittade kontantsäkerheter om 3 032 miljoner kronor (1 583) vilka härrör från balansräkningsposten Utlåning till allmänheten.

Den kvarvarande motparterisken i derivat reduceras genom avtal om nettning vid betalningsinställelse, det vill säga nettning av positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart i en konkurssitua-

tion. Banken har som policy att teckna nettningsavtal med alla bankmotparter. Nettningsavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen. I huvudsak används kontanter som säkerhet, men även statspapper förekommer. Säkerheter för återköpsavtal samt In- och utlåning av värdepapper utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper.

NOTER | KONCERNEN

K23 Immateriella tillgångar

2020 mkr	Goodwill	Varumärken och andra rättigheter	Kund- kontrakt	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt 2020
Anskaffningsvärde vid ingången av året	7 007	199	847	4 854	0	12 907
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar				867	164	1 031
Avyttringar och utgångar				-135		-135
Valutaeffekt	-185	-11	-46	-56		-298
Anskaffningsvärde vid utgången av året	6 822	188	801	5 030	164	13 005
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-	-151	-251	-1 320	0	-1 722
Avyttringar och utgångar	-	-		135		135
Årets avskrivningar		-27	-42	-447	-33	-549
Årets nedskrivningar	-	-	-	-82		-82
Valutaeffekt	-	10	16	17		43
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-	-168	-277	-1 607	-33	-2 176
Redovisat värde	6 822	20	524	3 833	131	11 330

Under 2020 har utvecklingskostnader uppgående till 1 766 mkr (1 610) kostnadsförts.

2019 mkr	Goodwill	Varumärken och andra rättigheter	Kund- kontrakt	Internt utvecklad programvara	Totalt 2019
Anskaffningsvärde vid ingången av året	6 922	192	818	3 765	11 697
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar				1 120	1 120
Avyttringar och utgångar				-55	-55
Valutaeffekt	85	7	29	24	145
Anskaffningsvärde vid utgången av året	7 007	199	847	4 864	12 907
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-	-119	-201	-922	-1 242
Avyttringar och utgångar	-	-		55	55
Årets avskrivningar	-	-27	-42	-380	-449
Årets nedskrivningar	-	-		-69	-69
Valutaeffekt	-	-5	-8	-4	-17
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-	-181	-281	-1 320	-1 722
Redovisat värde	7 007	48	566	3 534	11 185

mkr	Goodwill		Immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod	
	2020	2019	2020	2019
Handelsbanken Sverige	3 331	3 331	-	-
Handelsbanken Storbritannien	159	175	-	-
Handelsbanken Finland	17	18	-	-
Handelsbanken Danmark	2 515	2 608	-	-
Handelsbanken Norge	630	699	-	-
Handelsbanken Nederländerna	160	166	-	-
Handelsbanken Capital Markets	10	10	3	3
Summa	6 822	7 007	3	3

Nedskrivningsprövning av goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod

Redovisad koncerngoodwill hänför till övervägande del från traditionell bankverksamhet på Handelsbankens hemmamarknader. Goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod prövas för nedskrivning årligen i samband med årsboksutslut. Vid nedskrivningsprövningen beräknas nyttjandevärdet för de enheter till vilka goodwill fördelats ut genom diskontering av estimerade framtida kassaflöden samt slutvärde. I tabellen har goodwill fördelats ut på rörelsesegment.

Estimerade framtida kassaflöden bygger de första fem åren på prognoser för riskvägda volymer, intäkter, kostnader samt kreditförluster. Prognoserna baseras främst på en intern bedömning av den framtida intäkt- och kost-

nadsutvecklingen, konjunkturläge, förväntad ränteutveckling samt förväntade effekter av kommande regelverk. Efter den första femårsperioden görs en prognos baserad på ett antagande om långsiktig tillväxttakt. Antagandet om kassaflödestillväxt baseras på historisk real BNP-utveckling samt Riksbankens långsiktiga inflationsmål. Årets nedskrivningsprövning bygger på ett antagande om en långsiktig tillväxttakt på 2 procent (2). Den totala prognosperioden är 20 år. Som slutvärde används det prognostiserade substansvärdet för den prövade enheten. Estimerade kassaflöden har diskonterats med en ränta som baseras på riskfri ränta samt riskjustering motsvarande marknadens genomslitliga avkastningskrav. Diskonteringsräntan uppgick vid årets nedskrivningsprövning till 6,9 procent (5,2) efter skatt. Motsvarande ränta före skatt uppgick till 8,4 procent (7,7).

Vid årets nedskrivningsprövning bedömdes skillnaden mellan återvinningsvärde och bokfört värde på goodwill vara betryggande. Det beräknade nyttjandevärdet på goodwill är känsligt för ett antal olika variabler som har betydelse för förväntade kassaflöden samt diskonteringsräntan. De variabler som har störst betydelse för beräkningen är antaganden om ränte- och konjunkturutveckling, framtida marginaler och kostnadseffektivitet. Ingen rimlig möjlig förändring av viktiga antaganden skulle påverka det redovisade värdet på goodwill.

En ökning av diskonteringsräntan med två procentenheter eller en minskning av den framtida tillväxttakten med två procentenheter bedöms vara rimliga eventuella förändringar i de viktigaste antagandena till följd av covid-19. En sådan förändring skulle inte medföra något nedskrivningsbehov.

NOTER | KONCERNEN

K24 Fastigheter och inventarier

Fastigheter och inventarier mkr	2020	2019
Inventarier	869	1 015
Fastigheter	5 361	5 619
Egendom överlagen för skyddande av fordran	2	11
Summa	6 232	6 645

I posten Egendom överlagen för skyddande av fordran ingår dels egendom samt fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde i enlighet med koncernens redovisningsprinciper för tillgångar som övertogs för skydd av fordran, se not K1. Det verkliga värdet på fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 2 mkr (11). Omräkade värdeförändringar på dessa fastigheter har påverkat årets resultat med 0 mkr (0). Värdering av privatbostäder bygger i alltför sällsynt på marknadsobservationer av jämförbara fastighetsköp på den aktuella orten. Värdering av kommersiella fastigheter bygger på diskontering av framtida kassaflöden och baseras på antaganden om bland annat hyresnivå, vakantgrad, drift- och underhållskostnader, direktavkastningsnivå och kalkyltärta. I värderingen tas även hänsyn till fastighetens skick, ålder samt alternativanvändning. Banken har som princip att alltid använda en observerad, godkänd värderingsman vid värdering av affärs- och kontorfastigheter samt industrifastigheter. Värdering som enbart bygger på marknadsobservationer 2 mkr (8) klassificeras som nivå 2 i den värderingshierarki som beskrivs i not K1. Värdering som har ett väsentligt inslag av egna antaganden 0 mkr (2) klassificeras som nivå 3 i värderingshierarkin. Omräkade värdeförändringar i nivå 3 avseende fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde har påverkat årets resultat med 0 mkr (0). Årets försäljning av fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 10 mkr (47) varav 2 mkr (2) var klassade som nivå 3 innan försäljningen. Nya fastigheter har tillkommit under året med 2 mkr (2) varav 0 mkr (2) klassats som nivå 3.

Inventarier mkr	2020	2019
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 234	2 242
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	298	495
Avyttringar och uträngeringar	-325	-548
Valutaeffekt	-66	45
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 141	2 234
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-1 285	-1 419
Årets avskrivningar enligt plan	-373	-385
Avyttringar och uträngeringar	304	536
Valutaeffekt	29	-17
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-1 325	-1 286
Redovisat värde	816	949
Redovisat värde nyttjanderätter	83	66
Summa redovisat värde	899	1 015

Fastigheter mkr	2020	2019
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 415	2 360
Ny- och ombyggnation	107	63
Avyttringar och uträngeringar	-4	-12
Valutaeffekt	-9	4
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 609	2 415
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-1 046	-1 007
Årets avskrivningar enligt plan	-41	-40
Avyttringar och uträngeringar	1	2
Valutaeffekt	2	-1
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-1 084	-1 046
Redovisat värde	1 425	1 369
Redovisat värde nyttjanderätter	3 936	4 250
Summa redovisat värde	5 361	5 619

NOTER | KONCERNEN

K25 Övriga tillgångar

mikr	2020	2019
Fordringsfordringar	3 273	3 050
Övrigt	2 840	3 117
Summa	6 113	6 167

K26 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter

mikr	2020	2019
Upplupna intäkter	1 460	1 333
Förutbetalda kostnader	793	618
Summa	2 253	1 951

K27 Skulder till kreditinstitut

mikr	2020	2019
Skulder i svenska kronor		
Banker	36 933	28 251
Övriga kreditinstitut	11 265	9 759
Summa	48 198	38 010
Skulder i utländsk valuta		
Banker	75 952	109 827
Övriga kreditinstitut	573	152
Summa	76 525	109 979
Summa skulder till kreditinstitut	124 723	147 989
varav upplupna räntekostnader	2	-73
Medelvolymer		
mikr	2020	2019
Skulder till kreditinstitut i svenska kronor	52 783	52 775
Skulder till kreditinstitut i utländsk valuta	172 661	152 056
Summa	225 444	204 831
varav räpar	650	369

NOTER | KONCERNEN

K28 In- och upplåning från allmänheten

Inlåning från allmänheten mkr	2020	2019
Inlåning i svenska kronor		
Hushåll	410 578	376 314
Företag	297 529	250 866
Riksgälden	1	-
Summa	708 108	627 180
Inlåning i utländsk valuta		
Hushåll	138 567	142 227
Företag	341 362	306 425
Riksgälden	-	-
Summa	479 929	448 652
Summa inlåning från allmänheten	1 188 037	1 075 832
Upplåning från allmänheten mkr	2020	2019
Upplåning i svenska kronor	24 677	22 290
Upplåning i utländsk valuta	17 049	19 703
Summa upplåning från allmänheten	41 726	41 993
Summa in- och upplåning från allmänheten	1 229 763	1 117 825
varav upplåningsräntekostnader	497	521
varav inom försäkringsrörelsen	6 863	7 224
Modervolymer mkr	2020	2019
Inlåning från allmänheten		
Inlåning från allmänheten i svenska kronor	675 329	612 267
Inlåning från allmänheten i utländsk valuta	488 470	439 816
Summa	1 163 799	1 052 083
Upplåning från allmänheten		
Upplåning i svenska kronor	31 257	33 212
Upplåning i svenska kronor, försäkringsrörelsen	7 038	7 389
Upplåning i utländsk valuta	99 934	50 117
Summa	138 229	90 718
varav repor	6 425	10 976

K29 Skulder där kunden står värdeförändringsrisken

mkr	2020	2019
Fond- och depåförsäkringskulder	191 035	169 601
Övriga fondskulder	6 177	5 387
Summa	197 212	174 988

NOTER | KONCERNEN

K30 Emitterade värdepapper

mkr	2020		2019	
	Redovisat värde	Nominellt belopp	Redovisat värde	Nominellt belopp
Certifikat				
Certifikat i svenska kronor	391	423	2 286	2 254
varav upplupet anskaffningsvärde			1 430	1 430
varav verkligt värde obligationslån	391	423	806	774
Certifikat i utländsk valuta	474 804	506 892	490 192	490 283
varav upplupet anskaffningsvärde	472 080	505 738	496 745	496 889
varav verkligt värde obligationslån	1 824	1 094	2 447	2 394
Summa	475 195	507 315	501 478	501 537
Obligationslån				
Obligationslån i svenska kronor	478 412	461 154	467 527	445 862
varav upplupet anskaffningsvärde	478 412	461 154	467 527	445 862
varav ingått skäning av verkligt värde	22 085	21 850	1 009	1 000
Obligationslån i utländsk valuta	357 130	355 947	415 956	415 336
varav upplupet anskaffningsvärde	357 130	355 947	415 956	415 336
varav ingått skäning av verkligt värde	22 645	90 578	42 824	43 276
Summa	835 542	817 101	883 483	861 198
Summa emitterade värdepapper	1 310 737	1 324 416	1 384 961	1 362 735
varav upplupna räntekostnader	4 326		6 258	

mkr	2020	2019
Emitterade värdepapper vid årets ingång	1 384 961	1 394 647
Emitterade	944 015	1 025 300
Återköpta	-72 852	-35 146
Förtälna	-880 712	-1 014 860
Valutaeffekter m.m.	-64 675	15 020
Emitterade värdepapper vid årets utgång	1 310 737	1 384 961

Medelvolymer	2020	2019
mkr		
Svenska kronor	494 056	481 504
Utländsk valuta	908 636	955 401
Summa	1 402 692	1 436 905

K31 Korta positioner

mkr	2020	2019
Korta positioner värderade till verkligt värde		
Aktier	658	708
Räntebärande värdepapper	1 024	1 148
Summa	1 682	1 856
varav upplupna räntekostnader	5	9

Medelvolymer	2020	2019
mkr		
Svenska kronor	10 977	13 129
Utländsk valuta	97	520
Summa	11 074	13 649

K32 Försäkringsskulder

mkr	2020	2019
Skuld för sjukvård	151	154
Skuld för livsfall	224	231
Skuld för andra oreglerade skador	130	140
Skuld för förbetalda premier	52	53
Summa	557	578

NOTER | KONCERNEN

K33 Skatter

Uppskjutna skattefordringar mkr	2020	2019
Säkringsinstrument	563	327
Immateriella tillgångar	-	1
Fastigheter och inventarer	14	19
Pensioner	221	202
Övrigt	420	144
Summa	1 218	693

Uppskjutna skattekulder mkr	2020	2019
Utlåning till allmänheten ¹	3 212	3 745
Säkringsinstrument	1 528	1 386
Immateriella tillgångar	70	159
Fastigheter och inventarer	111	115
Pensioner	367	105
Övrigt	65	124
Summa	6 353	6 634

Netto uppskjutna skattekulder	4 135	4 941
-------------------------------	-------	-------

Förändring av uppskjutna skatter 2020 mkr	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valutaeffekt	Utgående balans
Utlåning till allmänheten ¹	3 745	-533	-	-	3 212
Säkringsinstrument	1 059	-	-94	-	965
Immateriella tillgångar	158	-88	-	-	70
Fastigheter och inventarer	96	1	-	-	97
Pensioner	-97	-33	267	9	146
Övrigt	-20	-329	-	-6	-355
Summa	4 941	-982	173	3	4 135

Förändring av uppskjutna skatter 2019 mkr	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valutaeffekt	Utgående balans
Utlåning till allmänheten ¹	4 792	-1 047	-	-	3 745
Säkringsinstrument	591	-	478	-	1 059
Immateriella tillgångar	164	-7	-	1	158
Fastigheter och inventarer	99	-3	-	-	96
Pensioner	-990	-78	910	1	-97
Övrigt	36	-56	-	-	-20
Summa	4 742	-1 101	1 388	2	4 941

Redovisade skattekostnader i resultaträkningen mkr	2020	2019
Aktuell skatt		
Årets skattekostnad	-5 514	-6 074
Justerings av skatt hänförlig till tidigare år	-15	12
Uppskjutna skatt		
Förändringar i temporära skilnader	1 060	1 191
Förändringar pga ändrad skattesats	-78	-
Summa	-4 547	-4 871

Skatt beräknat som 21,4 % (21,4) på årets resultat före skatt	-4 309	-4 664
Skilnad	-238	-207

Skilnaden förklaras av skatteeffekt avseende följande poster		
Diverse ej avdragsgilla kostnader	-21	-34
Ej avdragsgill ränta på efterställda skulder	-254	-263
Annan skattesats i försäkringsverksamhet	184	173
Ej skattepliktiga reavinstar och utdelningar	10	23
Annan skattesats i utlandet	-102	-132
Omvärdering uppskjutna skatter pga ändrad skattesats	-78	-
Övrigt	23	26
Summa	-238	-207

¹ Varav leasing 3 212 mkr (3 745).

NOTER | KONCERNEN

K34 Avsättningar

Avsättningar 2020	Avsättningar för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen ¹	Omstrukturerings-reserv ²	Övriga avsättningar ³	Summa
mkr				
Avsättningar vid årets ingång	241	864	38	1 141
Avsatt under året		1 370	112	1 482
Anspråktagat		-405	-13	-418
Återfört			-28	-28
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	125			125
Avsättningar vid årets utgång	366	1 629	107	2 302

Avsättningar 2019	Avsättningar för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen ¹	Omstrukturerings-reserv ²	Övriga avsättningar ³	Summa
mkr				
Avsättningar vid årets ingång	142	-	80	222
Avsatt under året		930	15	945
Anspråktagat		-56	-42	-108
Återfört			-17	-17
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	99			99
Avsättningar vid årets utgång	241	864	38	1 141

¹ För ytterligare information, se not K10 och K41.

² Under 2020 ytterligare avsättning för omstrukturering gjorts, huvudsakligen för kostnader relaterade till arbetet med att struktureras om svensk kontorsförsäkring och ytterligare effektivisera banken. Motsvarande avsättning som gjordes 2019 avsåg främst kostnader hänförliga till stängning av kontor utanför hemmamarknaderna, nedläggning av vissa produktområden samt hantering av övertalighet inom främst centrala enheter. Merparten av avsättningsbeloppet förväntas vara reglerat vid utgången av 2022. Som för alla reserver finns en osäkerhet kring tidpunkt och belopp, men denna förväntas minska allt eftersom planen exekveras.

³ Under Övriga avsättningar redovisas de belopp som avsatts för reglering av de anspråk som rikats mot banken.

K35 Övriga skulder

mkr	2020	2019
Fondinvestskulder	4 001	2 904
Leasingskuld	4 008	4 240
Övrigt	5 219	6 894
Summa	13 028	14 038

K36 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter

mkr	2020	2019
Upplupna kostnader	2 179	1 670
Förutbetalda intäkter	1 453	1 683
Summa	3 632	3 353

NOTER | KONCERNEN

K37 Efterställda skulder

mk	2020	2019
Förtagstilln i svenska kronor	3 002	3 003
Förtagstilln i utländsk valuta	38 080	32 543
Summa	41 082	35 546
varav upplupna räntekostnader	015	032

Modetvolymer	2020	2019
mk		
Förtagstilln i svenska kronor	3 000	5 625
Förtagstilln i utländsk valuta	34 062	32 400
Summa	37 071	38 025

Specification, förtagstilln	Valuta	Ursprungligt nominellt belopp av respektive valuta	Räntesats, %	Utsattande belopp
Emissionsår/förfall				
I svenska kronor				
2017/tidsbunden	SEK	1 700	0,980%	1 701
2017/tidsbunden	SEK	1 300	1,410%	1 301
Summa				3 002
I utländsk valuta				
2015/evigt	USD	1 200	5,250%	10 237
2018/tidsbunden	EUR	750	1,630%	7 617
2018/tidsbunden	EUR	750	1,250%	7 597
2019/evigt	USD	500	6,250%	4 579
2020/evigt	USD	500	4,380%	4 058
2020/evigt	USD	500	4,750%	3 992
Summa				38 080

Summa efterställda skulder 41 082

Förupplysningar avseende förtagstilln, se Fästa 3-rapporten.

mk	2020	2019
Förtagstilln vid årets ingång	35 546	51 085
Emitterade	8 916	4 654
Återköpta	-2	-3 179
Förfallna	-	-17 674
Valutasäskade m m	-3 378	660
Förtagstilln vid årets utgång	41 082	35 546

NOTER | KONCERNEN

K38 Klassificering av finansiella tillgångar och skulder

2020	Verkligt värde via resultaträkningen						
mkr	Obligatoriskt	Verkligt värde- optionen	Derivat identifierat som säkringelinstrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffnings- värde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
Tillgångar							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					397 642	397 642	397 642
Övrig utlåning till centralbanker					21 326	21 326	21 326
Betalningsbara statsskuldförbindelser m.m.	3 928	94 024		401	780	99 133	99 133
Utlåning till övriga kreditinstitut					21 920	21 920	21 918
Utlåning till allmänheten					2 269 612	2 269 612	2 281 897
Värdeförändring på räntesäsknad post i portföljsäkring					25	25	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	9 962	26 640		7 964		44 566	44 566
Aktier och andelar	20 245			800		21 045	21 045
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	197 152				60	197 212	197 212
Derivatinstrument	16 834		13 780			30 614	30 614
Övriga tillgångar	30				6 083	6 113	6 113
Summa	248 161	120 664	13 780	9 165	2 717 448	3 109 298	3 121 486
Aktier och andelar i intresseföretag och joint ventures						386	
icke finansiella tillgångar						25 624	
Summa tillgångar						3 135 288	
Skulder							
Skulder till kreditinstitut					124 723	124 723	125 220
In- och upplåning från allmänheten					1 229 763	1 229 763	1 239 741
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		197 152			60	197 212	197 212
Emitterade värdepapper	2 215				1 308 522	1 310 737	1 326 970
Derivatinstrument	23 851		8 968			32 819	32 819
Korta positioner	1 682					1 682	1 682
Övriga skulder	38				13 890	13 928	13 928
Efterställda skulder					41 082	41 082	42 675
Summa	27 798	197 152	8 968		2 718 040	2 951 946	2 970 247
icke finansiella skulder						11 869	
Summa skulder						2 963 815	

2019	Verkligt värde via resultaträkningen						
mkr	Obligatoriskt	Verkligt värde- optionen	Derivat identifierat som säkringelinstrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffnings- värde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
Tillgångar							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					327 958	327 958	327 958
Övrig utlåning till centralbanker					19 547	19 547	19 547
Betalningsbara statsskuldförbindelser m.m.	3 001	98 959		403	1 024	103 387	103 387
Utlåning till övriga kreditinstitut					17 939	17 939	17 940
Utlåning till allmänheten					2 292 603	2 292 603	2 301 479
Värdeförändring på räntesäsknad post i portföljsäkring					25	25	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	8 642	29 045		4 953		42 640	42 640
Aktier och andelar	19 087			2 903		21 390	21 390
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	174 926				62	174 988	174 988
Derivatinstrument	8 882		32 663			41 545	41 545
Övriga tillgångar	10				6 157	6 167	6 167
Summa	214 548	128 004	32 663	7 660	2 685 315	3 048 189	3 067 041
Andelar i intresseföretag						285	
icke finansiella tillgångar						21 193	
Summa tillgångar						3 069 667	
Skulder							
Skulder till kreditinstitut					147 989	147 989	148 322
In- och upplåning från allmänheten					1 117 825	1 117 825	1 117 732
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		174 926			62	174 988	174 988
Emitterade värdepapper	3 253				1 381 708	1 384 961	1 395 070
Derivatinstrument	18 985		1 657			20 642	20 642
Korta positioner	1 856					1 856	1 856
Övriga skulder	11				14 027	14 038	14 038
Efterställda skulder					35 546	35 546	35 825
Summa	24 105	174 926	1 657		2 607 157	2 807 845	2 908 473
icke finansiella skulder						11 990	
Summa skulder						2 909 835	

NOTER | KONCERNEN

K39 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2020				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	3 088	840	-	3 928
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	94 024	-	-	94 024
Verkligt värde via övrigt totalresultat	401	-	-	401
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	8 200	1 762	-	9 962
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	26 640	-	-	26 640
Verkligt värde via övrigt totalresultat	3 091	4 873	-	7 964
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	19 792	417	36	20 245
Verkligt värde via övrigt totalresultat	100	186	514	800
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	196 244	434	474	197 152
Derivatinstrument	267	30 267	80	30 614
Summa	351 847	38 779	1 104	391 730
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	196 244	434	474	197 152
Emitterade värdepapper	-	2 215	-	2 215
Derivatinstrument	255	32 484	80	32 819
Korta positioner	1 488	194	-	1 682
Summa	197 987	35 327	654	233 968

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2019				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	1 452	1 549	-	3 001
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	98 959	-	-	98 959
Verkligt värde via övrigt totalresultat	403	-	-	403
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	4 636	4 006	-	8 642
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	29 045	-	-	29 045
Verkligt värde via övrigt totalresultat	4 740	213	-	4 953
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	17 705	1 326	56	19 087
Verkligt värde via övrigt totalresultat	711	340	1 252	2 303
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	173 609	824	493	174 926
Derivatinstrument	402	41 074	69	41 545
Summa	331 682	49 332	1 870	382 884
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	173 609	824	493	174 926
Emitterade värdepapper	-	3 253	-	3 253
Derivatinstrument	489	20 083	70	20 642
Korta positioner	1 708	148	-	1 856
Summa	176 806	24 308	663	201 677

NOTER | KONCERNEN

K39 Forts

Värderingshierarkin

Finansiella instrument värderade till verkligt värde har i tabellerna kategoriserats med avseende på hur de värderats och graden av transparens kring marknadsdata som använts vid värderingen. Kategoriseringen framgår som nivå 1-3 i tabellerna. Finansiella instrument som värderas till ett direkt och likvitt marknadspris kategoriseras som nivå 1. Dessa finansiella instrument består främst av statspapper och andra räntebärande värdepapper som handlas aktivt, noterade aktier samt korta positioner i motsvarande tillgångar. I nivå 1 ingår även merparten av de fondandelar och andra tillgångar som är kopplade till fondförsäkringskontrakt och liknande avtal samt motsvarande skulder. Finansiella instrument som värderas med värderingsmodeller som i allt väsentligt bygger på marknadsdata kategoriseras som nivå 2. I nivå 2 ingår främst räntebärande värdepapper samt ränte- och valutarelaterade derivat. Finansiella instrument vars värdering i väsentlig utsträckning påverkas av indata som inte går att verifiera med externa marknadsuppgifter kategoriseras som nivå 3. I nivå 3 ingår onoterade aktier, vissa innehav i riskkapitalfonder samt vissa derivat.

Som grund för indelningen ligger den värderingsmetod som använts på balansdagen. Om kategorin för ett specifikt instrument har förändrats i jämförelse med föregående balansdag (2019-12-31) har instrumentet flyttats mellan

nivåerna i tabellen. Under räkenskapsåret har vissa volymer flyttats mellan nivå 1 och nivå 2 till följd av en ny bedömning av marknadsaktiviteten. På tillgångssidan har derivat till ett värde av 26 miljoner kronor flyttats från nivå 1 till nivå 2. Räntebärande värdepapper till ett värde av 1139 miljoner kronor har flyttats från nivå 2 till nivå 1. På skuldsidan har derivat till ett värde av 39 miljoner kronor flyttats från nivå 1 till nivå 2. Inga flyttar har utförts från nivå 2 till nivå 1 på skuldsidan. Ingen förflyttning mellan nivåerna under räkenskapsåret 2020 har skett till följd av enbart covid-19. Minskningen i nivå 3 förklaras huvudsakligen av en försäljning av bankens innehav av aktier i Euroclear. Årets förändringar av innehav i nivå 3 redovisas i en separat tabell, se nedan.

Innehav i nivå 3 består främst av onoterade aktier. Koncernens innehav av onoterade aktier består till övervägande del av andelar i företag som utför stödjande verksamhet för banken. Det kan exempelvis röra sig om andelar i clearingorganisationer och infrastruktursamarbeten på Handelsbankens hemmamarknader. Sådana innehav värderas i regel till bankens andel av substansvärdet i bolaget, alternativt till det pris till vilket den senaste transaktionen genomfördes. Onoterade aktier är i allt väsentligt klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Värdeförändringar på dessa innehav redovisas därmed i övrigt totalresultat.

Vissa innehav i riskkapitalfonder kategoriseras som nivå 3. De värderas med värderingsmodeller som huvudsakligen bygger på relativ värdering av jämförbara noterade företag i samma bransch. Det resultatmått som jämförelsen bygger på justeras för faktorer som stör jämförelsen mellan investeringen och jämförelsebolaget. Därefter beräknas värdet på basis av vinstmultiplar, exempelvis P/E-tal. Merparten av dessa innehav utgör placerings-tillgångar i koncernens försäkringsrörelse. Värdeförändringar på placerings-tillgångarna ingår i underlaget för beräkning av avkastningsdelning i försäkringsrörelsen och redovisas därmed inte direkt i resultaträkningen.

Vidare kategoriseras derivatkomponenten i vissa av bankens emitterade strukturerade obligationer och dess tillhörande säkrande derivat i nivå 3. För dessa derivat har interna antaganden väsentlig påverkan för beräkningen av det verkliga värdet. Säkrande derivat i nivå 3 är handlade under CSA-avtal, där marknadsvärdena stäms av och säkerställs på daglig basis med bankens motparter.

Årets realiserade värdeförändringar på finansiella instrument i nivå 3 som redovisas i resultaträkningen uppgår till 8 miljoner kronor (30). Hela beloppet ingår i underlaget för beräkning av avkastningsdelning i försäkringsrörelsen.

Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2020					
mkr	Aktier och andelar	Derivat-tillgångar	Derivat-skulder	Tillgångar där kunden står värdeförändringssken	Skulder där kunden står värdeförändringssken
Redovisat värde vid årets ingång	1 308	89	-70	493	-493
Nyanskaffningar	6	9	-13	-	-
Återköp/avyttal	-704	-	5	-	-
Förtälet	-	-	-	-	-
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	-22	-16	16	-19	19
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	-38	-	-	-	-
Förändringar i metod	-	-	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	17	-17	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	1	-1	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	550	89	-80	474	-474

Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2019					
mkr	Aktier och andelar	Derivat-tillgångar	Derivat-skulder	Tillgångar där kunden står värdeförändringssken	Skulder där kunden står värdeförändringssken
Redovisat värde vid årets ingång	1 135	-178	178	484	-484
Nyanskaffningar	74	-	1	-	-
Återköp/avyttal	-33	2	-	-	-
Förtälet	-	-	-	-	-
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	-17	-13	10	9	-9
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	149	-	-	-	-
Förändringar i metod	-	352	-352	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	4	-4	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	-100	99	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	1 308	89	-70	493	-493

K39 Forts

Skillnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell
Som framgår av redovisningsprinciperna i not K1 periodiseras väsentliga positiva skillnader mellan det värde som räknats fram vid det första redovisningstillfället och transaktionspriset (så kallat dag 1-resultat) vid modellvärdering av derivat. Orsaksserade resultat på grund av positiva skillnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell (så kallade dag 1-resultat) utgörs av bankens vinstmarginal och ersättning för att täcka exempelvis kapital- och administrativa kostnader. Principen innebär att en periodiseringsseffekt om 171 miljoner kronor (154) redovisats i nettoresultat av finansiella transaktioner under året, varav 87 miljoner kronor är hänförlig till den initiala upplösningen av ej resultatförda dag 1-resultat vid övergången till ny metod för redovisning av CVA (se Not 1 Redovisningsprinciper). Vid utgången av året uppgick sammanlagda ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 538 miljoner kronor (530). Vid årsskiftet 2019 ingick en komponent hänförlig till CVA i ännu ej

resultatförda dag 1-resultat, vilken som framgår ovan är upplöst under det första kvartalet i samband med övergången till ny metod för redovisning av CVA.

Principer för upplysningar om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till upplupet anskaffningsvärde

Upplysningar om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till upplupet anskaffningsvärde lämnas i not K38 och i tabellen nedan. Dessa instrument består i allt väsentligt av utlåning samt in- och upplåning. För betalningsmedel samt kortfristiga fordringar och skulder har det redovisade värdet bedömts vara en godtagbar estimering av det verkliga värdet. Fordringar och skulder med förfallodag alternativt tidpunkt för nästkommande ränteomsättning som infaller inom 30 dagar, har definierats som kortfristiga.

Värderingen av utlåning till fast ränta baseras på aktuell marknadsränta med justering för antagande om marknadsmässig kredit- och likviditetsriskpremie. Premien har antagits vara lika med genomsnittlig marginal för ny utlåning

vid mättdpunkten. Räntebärande värdepapper har värderats till aktuellt marknadspris i den mån ett sådant funnits tillgängligt. Uplåning samt räntebärande värdepapper för vilka marknadsprisinformation inte funnits har värderats med en värderingsmodell som bygger på marknadsdata i form av priser eller räntor för liknande instrument.

I tabellen har den värdering som ligger till grund för uppgifterna om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till upplupet anskaffningsvärde kategoriserats i den värderingshierarki som beskrivits ovan. Betalningsmedel samt inlåning har likställts med kontanter och kategoriserats som nivå 1. I nivå 1 redovisas även räntebärande värdepapper (tillgångar och skulder) för vilka det finns ett aktuellt marknadspris. Utlåning för vilken antagandet om kredit- och likviditetspremie väsentligt påverkat upplysningen om verkligt värde har kategoriserats som nivå 3. Övriga instrument är kategoriserade som nivå 2.

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2020				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	397 642	-	-	397 642
Övrig utlåning till centralbanker	21 326	-	-	21 326
Betalningsbara statskuldförbindelser m.m.	727	53	-	780
Utlåning till övriga kreditinstitut	13 259	8 071	588	21 918
Utlåning till allmänheten	4 254	2 045	2 275 598	2 281 897
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	-	60	-	60
Summa	437 208	10 229	2 276 188	2 723 625
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	38 870	86 950	-	125 820
In- och upplåning från allmänheten	1 302 742	26 999	-	1 329 741
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	-	60	-	60
Emitterade värdepapper	737 828	586 927	-	1 324 755
Efterskilda skulder	-	42 675	-	42 675
Summa	1 079 440	743 011	-	2 722 451

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2019				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	327 958	-	-	327 958
Övrig utlåning till centralbanker	19 359	188	-	19 547
Betalningsbara statskuldförbindelser m.m.	549	475	-	1 024
Utlåning till övriga kreditinstitut	5 643	12 239	58	17 940
Utlåning till allmänheten	4 871	121 759	2 174 849	2 301 479
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	-	62	-	62
Summa	358 380	134 723	2 174 907	2 668 010
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	47 519	100 803	-	148 322
In- och upplåning från allmänheten	1 087 501	30 231	-	1 117 732
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	-	62	-	62
Emitterade värdepapper	840 701	551 116	-	1 391 817
Efterskilda skulder	-	35 825	-	35 825
Summa	1 975 721	718 037	-	2 693 758

NOTER | KONCERNEN

K40 Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar

Förägnaskulder ställda säkerheter		
mil	2020	2019
Kontanter	28 157	18 399
Statspapper och obligationer	2 398	7 525
Utlåning till allmänheten	661 950	670 012
Aktier	6 680	7 006
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	193 198	169 675
Övrigt	5 524	5 839
Summa	897 907	878 457
varav pantar som fått ken återkallas av banken	28	38

Övriga ställda säkerheter		
mil	2020	2019
Kontanter	1 298	1 223
Statspapper och obligationer	40 844	41 761
Utlåning till allmänheten	-	-
Aktier	6 285	6 760
Övrigt	3	-
Summa	48 430	49 744
varav pantar som fått ken återkallas av banken	37 504	39 110

Med Övriga ställda säkerheter avses säkerheter som ställts för förpliktelser som ej redovisas i balansräkningen.

Ställda säkerheter

Ställda säkerheter är redovisade som tillgångar i balansräkningen. Ställda säkerheter i form av räntebärande värdepapper består i huvudsak av värdepapper som ställts som säkerhet i centralbanker och andra kreditinstitut, för betalningssystem, värdepappershandel och clearing samt värdepapper som sålts under bindande återköpsavtal (repo). Ställda säkerheter i form av aktier består av utlånade aktier och aktier i försäkringsföretagen.

Utlåning till allmänheten som ställts som säkerhet utgörs till största delen av den registrerade säkerhetsmassan till förmån för innehavare av säkerställda obligationer emitterade av Stadshypotek. Säkerhetsmassan består av hypotekslån som lämnats mot pant i huvudsakligen småhus, fritidshus, flerbostadshus och bostadsrätter med belåningsgrad inom 75 procent av marknadsvärdet. I händelse av bolagets obestånd har innehavarna av de säkerställda obligationerna förmånsrätt enligt lagen om säkerställda obligationer och förmånsrättslagen i de pantföreskrivna tillgångarna. Om tillgångarna i säkerhetsmassan vid tiden för ett konkursbeslut uppfyller de villkor som uppställts i lagen, ska de hållas åtskilda från konkursboets övriga tillgångar och skulder. Innehavarna av obligationerna erhåller då fortsatt kontraktssenliga betalningar enligt obligationens villkor fram till förfall.

Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken består i huvudsak av fondandelar under fondförsäkringsavtal i Handelsbanken Liv i vilka försäkringstagarna har förmånsrätt.

Mottagna säkerheter

Mottagna säkerheter redovisas inte i balansräkningen. Vid omvända återköpsavtal och aktielån mottas värdepapper som kan säljas eller pantsättas vidare till tredje part. Det verkliga värdet av mottagna värdepapper under omvända återköpsavtal och avtal om aktielån uppgick till 29 451 miljoner kronor (28 590) vid räkenskapsårets slut, varav säkerheter till ett värde av 8 400 miljoner kronor (8 761) sålts eller pantsatts vidare. Information om mottagna pantar för utlåning och andra mottagna säkerheter framgår av not K2.

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen

Överförda finansiella tillgångar är redovisade som tillgångar i balansräkningen, men för dessa har rätten till framtida kassaflöden direkt eller indirekt överförts till en extern motpart. Merparten av de överförda finansiella tillgångar som redovisas i balansräkningen består av räntebärande värdepapper som sålts under bindande återköpsavtal samt utlånade aktier. I normalfallet regleras villkoren för bindande återköp och aktielån i ramavtal som ingåtts mellan banken och respektive motpart.

Bindande återköpsavtal innebär försäljning av ett värdepapper med förbindelse om återköp till ett fastställt pris vid en förutbestämd framtida tidpunkt. Säljaren av värdepappret är därmed fortsatt exponerad för risken för värdeförändringar under avtalets löptid. Sål原因 värdepapper under återköpsavtal kvarstår till marknadsvärde

i balansräkningen under avtalets löptid. Mottagen köpeskilling redovisas som skuld till motparten. Enligt standardvillkoren i återköpsavtal övergår äganderätten till det sålda värdepappret helt från säljare till köpare, vilket innebär att köparen har rätt att vidareförfoga, återpanta eller på annat sätt förfoga över de köpta värdepappren.

Enligt standardavtalen för aktielån kvarstår exponeringen för värdeförändring i den utlånade aktien hos långvararen. Utlånade aktier kvarstår därmed i balansräkningen under lånets löptid. Säkerheter för utlånade aktier utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper. Mottagen kortantsäkerhet redovisas som skuld i balansräkningen. På samma sätt som för återköpsavtal innebär det standardavtal som används för aktielån att låntagaren under lånets löptid har rätt att vidareförfoga, återpanta eller på annat sätt förfoga över de lånade aktierna.

Som övriga överförda finansiella tillgångar redovisas statspapper, obligationer och aktier som ställts som säkerhet för värdepappershandel, clearing med mera och där förfoganderätten över värdepappret övergått till mottagaren. Som överförda finansiella tillgångar redovisas även vissa tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken. Dessa tillgångar består av portföljer av finansiella instrument till vilka banken har formell äganderätt, men där de risker som är förknippade med tillgångarna liksom rätten till framtida kassaflöden överförs till en tredje part. Värdet av dessa tillgångar speglar värderingen av den motsvarande skuldposten.

NOTER | KONCERNEN

K40 Forts

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen	2020		2019	
	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld
milj				
Aktier, värdepappersutlåning	6 526	306 ¹	7 051	342 ¹
Aktier, övrigt	-	-	-	-
Statspapper och obligationer, repor	396	-	5 811	-
Statspapper och obligationer, övrigt	1 108	-	549	-
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	538	538	561	561
Summa	8 568	844	13 972	903

¹ Mottagen kontantsäkerhet.

K41 Eventualförpliktelser

milj	2020	2019
Ansvarsförbindelser		
Garantiförbindelser, krediter	9 802	11 936
Garantiförbindelser, övriga	67 156	77 089
Oöskalkalliga rembursar	2 299	4 301
Övrigt	638	1 860
Summa	79 895	95 186
varav föremål för nedskrivningsprövning	79 895	95 186
Åtaganden		
Kreditförlust	331 230	303 491
Outnyttjad del av beviljade nätkreditkrediter	118 066	120 947
Övrigt	14 128	15 229
Summa	463 424	439 667
varav föremål för nedskrivningsprövning	322 547	313 920
Summa eventualförpliktelser	543 319	534 853
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad som avsättning, se not K34	366	241

Ansvarsförbindelser

Ansvarsförbindelserna består i huvudsak av olika typer av garantiförbindelser. Kreditgarantier ges till kunder för att garantera åtaganden i andra kredit- och pensionsinstitut. Övriga garantier utgörs främst av kommersiella garantier såsom anbudsgarantier, garantier avseende förskottbetalningar, garantier under ansvarsridan och exportrelaterade garantier. Ansvarsförbindelser omfattar också outnyttjade oöskalkalliga importrembursar och bekräftade exportrembursar. Dessa transaktioner ingår i bankens tjänster och är till stöd för bankens kunder. I tabellen anges garantiernas nominella belopp.

Tvister

Belag inom koncernen är föremål för krav i ett antal tvistemål som drivs i allmän domstol. Bedömningen är att tvistemålen i all väsentligt kommer att utfalla till bankens fördel. Tvistsbeloppen bedöms inte kunna få en väsentlig inverkan på koncernens ställning eller resultat.

NOTER | KONCERNEN

K42 Leasing

HANDELSBANKEN SOM LEASEGNÄRE

Finansiella leasingavtal mkr	2020	2019
Finansiella intäkter från nettoinvesteringen	287	468
Variable leasingavgifter	165	124
Summa	452	592

Fördelning av odiskonterade leasingfordringar på förtärlidpunkter samt nettoinvestering mkr	2020	2019
Upp till 1 år	3 462	3 889
1 år till 2 år	5 202	5 107
2 år till 3 år	4 606	6 119
3 år till 4 år	3 731	3 874
4 år till 5 år	2 521	4 074
Över 5 år	3 088	5 018
Summa odiskonterade leasingfordringar	22 610	28 081
Ej inbetalade finansiella intäkter	-330	-466
Nettoinvestering	22 280	27 615

Samtliga avtal där koncernen är leasegivare har definierats som finansiella leasingavtal. Sådana leasingavtal redovisas som utfästelse i balansräkningen, initialt till ett belopp som motsvarar nettoinvesteringen. Förändringen mellan åren beror främst på minskade leasingvolymen (-5 mdkr), avseende avveckling av verksamhet. Leasingobjekten består huvudsakligen av fordon och maskiner. Samtliga leasingavtal har garanterade restvärden. Vid utgången av året fanns i koncernen tre leasingengagemang som varit och ett enskilt hade ett redovisat värde överstigande 1 mdkr.

NOTER | KONCERNEN

K42 FÖRTS

HANDELSBANKEN SOM LEASETA GÄRE

Poster i resultaträkningen mkr	2020	2019
Räntekostnader leasingkulder	-73	-75
Summa ¹	-73	-75
Av- och nedskrivning nyttjanderätter		
Fastigheter	-844	-708
Inventarer	-18	-17
Summa ²	-862	-725
Kostnader för korttidsleasing	-39	-40
Kostnader för leasingavtal i vilka den underliggande tillgången är av lågt värde	-15	-17
Variable leasingavgifter som inte ingår i beräkningen av leasingkulder	-102	-98
Summa ³	-156	-163

Poster i balansräkningen mkr	2020	2019
Nyttjanderätter⁴		
Fastigheter	3 936	4 250
Inventarer	53	66
Summa	3 989	4 316
Tillkommande nyttjanderätter ⁴	321	524
Leasingkulder ⁵	4 008	4 240
Totala kassaufflöden för leasingavtal	-946	-917

¹ Ingår i resultatposten Räntekostnader.² Ingår i resultatposten Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar, varav -107 mkr () avser nedskrivning.³ Ingår i resultatposten Övriga kostnader.⁴ Nyttjanderätter ingår i balansposten Fastigheter och Inventarer.⁵ Under året nya leasingkontrakt som ingår i nyttjanderätter.⁶ Leasingkulder ingår i balansposten Övriga skulder.

Återstående löptider avseende leasingkulder mkr	2020	2019
Upp till 6 månader	375	395
6 månader till 1 år	366	384
1 år till 2 år	694	716
2 år till 5 år	1 644	1 692
Över 5 år	1 151	1 304
Summa	4 230	4 491

Bankens leasingavtal utgörs huvudsakligen av hyreskontrakt avseende lokaler. Därutöver omfattar leasingavtalen främst multifunktions skrivare, persondatorer och diverse övriga kontorsinventarer.

Huvuddelen av hyreskontrakten avseende lokaler har en avtalstid mellan 3 år till 10 år. Vissa av bankens hyreskontrakt för lokaler innehåller en möjlighet till förlängning av avtalstiden, vilken innebär att hyreskontraktet förlängs för en angiven period om kontraktet inte sägs upp vid en specifik tidpunkt. Det förekommer även hyreskontrakt avseende lokaler som innehåller en möjlighet för banken att säga upp hyreskontraktet i förtid. Vid fastställande av leasingperiodens längd för hyreskontrakt inkluderas möjligheter att förlänga ett leasingkontrakt, eller avsluta ett leasingkontrakt i förtid, endast vid mycket hög grad av sannolikhet att dessa kommer att utnyttjas.

Banken har ingått leasingavtal som är kortare än 12 månader och leasingavtal i vilka den underliggande tillgången är av lågt värde, vilka kostnadsförs i enlighet med undantaget i IFRS 16 Leasingavtal, och därmed inte ingår i leasingkulder och nyttjanderätter.

NOTER | KONCERNEN

K43 Segmentinformation

Segmentinformation 2020	Hemmemarknader							Justeringar och eliminerings		Totalt
	Sverige	Storbritannien	Norge	Danmark	Finland	Nederländerna	Capital Markets	Övrigt		
Intäkter										
Räntanetto	18 166	5 683	3 481	1 612	1 403	908	355	-2		31 606
Provisionanetto	7 143	713	504	624	683	125	1 003	-9		10 786
Nettoreultat av finansiella transaktioner	461	176	57	123	-24	25	1 037	-418		1 437
Risikoresultat försäkring							195			195
Andelar i intresseföretag och joint ventures resultat								18		18
Övriga intäkter	33	1	32	8	10	2	23	97		206
Summa intäkter	25 808	6 673	4 074	2 367	2 072	1 060	2 613	-314		44 248
Kostnader										
Personalkostnader	-3 657	-2 465	-822	-790	-448	-395	-1 927	-4 699	-140	-15 343
Övriga kostnader	-877	-864	-203	-144	-212	-145	-750	-2 889		-6 085
Internt köpta och sålda tjänster	-4 662	-761	-509	-459	-519	-143	341	6 712		
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-321	-267	-88	-49	-66	-56	-123	-936		-1 906
Summa kostnader	-9 517	-4 367	-1 622	-1 442	-1 245	-740	-2 459	-1 812	-140	-23 334
Resultat före kreditförluster	16 298	2 216	2 452	925	827	320	164	-2 128	-140	20 914
Kreditförluster, netto	-177	-119	-270	-32	-193	-4	11	3		-781
Vinstskatteförluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	8	-7	7	2	-1	0	-3	-4		2
Rörelseresultat	16 117	2 090	2 189	905	633	316	182	-2 127	-140	20 136
Resultatutdelning	332	49	40	12	27	5	-465			
Rörelseresultat efter resultatutdelning	16 449	2 139	2 229	907	660	321	-303	-2 127	-140	20 136
Interna intäkter ¹	93	-1 193	-2 420	-210	-192	-387	-1 565	5 874		
KV-fal, %	36,4	65,8	39,4	60,6	59,3	69,5	114,5			52,7
Kreditförlustnivå, %	0,01	0,04	0,10	0,01	0,11	0,01	-0,01	-4,23		0,03
Tillgångar	2 050 831	428 208	269 129	124 276	236 555	81 723	335 443	2 350 662	-2 751 539	3 135 288
Skulder	1 954 418	408 902	249 143	117 013	228 827	79 111	329 600	2 350 662	-2 763 861	2 963 815
Älskarskap kapital	96 413	19 306	19 986	7 263	7 728	2 612	5 843		12 322	171 473
Räntabilitet på älskarskap kapital, %	14,0	8,9	8,8	9,8	6,7	10,0	-3,9			10,0
Älskarskap investeringar i icke-finansiella anläggningstillgångar	242	119	6	2	133	7	181	746	0	1 436
Älskarskap investeringar i intresseföretag och joint ventures								96		96
Medelantal anställda	3 947	2 462	709	589	506	329	1 122	2 899		12 563

¹ Interna intäkter som ingår i Summa intäkter består av intäkter från transaktioner med andra rörelsesegment och Övrigt. Eftersom räntaintäkter och räntekostnader redovisas netto som en intäkt innebär det att interna intäkter bland annat innehåller nettot av intern finansieringskostnad mellan segmenten och Övrigt.

Rörelsesegmenten redovisas i enlighet med IFRS 8 Rörelsesegment, vilket innebär att segmentinformationen presenteras på motsvarande sätt som tillämpas internt i styrningssyfte. Handelsbankens verksamhet presenteras uppdelat på segmenten Sverige, Storbritannien, Norge, Danmark, Finland, Nederländerna samt Capital Markets. Kontorsrörelsen i Handelsbanken, vars verksamhet består av att tillhandahålla ett fullsortiment av banktjänster, var under 2020 uppdelad i fjorton regionbanker, varav fem svenska och nio belägna utanför Sverige. Varje regionbank styrs av en regionbankschef och följer upp som en fristående resultatenheter. Segmentet Capital Markets är bankens investmentbank, vilket bland annat inbegriper värdepappershandel

och investeringsrådgivning. I verksamheten ingår även kapitalförvaltning, försäkringsverksamhet samt bankens internationella verksamhet utanför hemmemarknaderna.

Segmentens resultat visas före och efter intern resultatutdelning. Den interna resultatutdelningen innebär att kundansvarig enhet tilldelas allt resultat som härrör från dess kunders transaktioner med banken, oavsett inom vilket segment transaktionen är genomförd. Dessutom redovisas intäkter och kostnader för internt utförda tjänster netto på raden Internt köpta och sålda tjänster. Transaktioner mellan segmenten redovisas huvudsakligen enligt självkostnadsprincipen. I kolumnerna Övrigt samt Justeringar och eliminerings visas poster som inte hör till något specifikt segment eller elimine-

ras på koncernnivå. I kolumnen Övrigt ingår finansförvaltning och centrala stabsavdelningar samt transaktioner hänförliga till reserveringen för resultatandelsystemet Oktogonen. I kolumnen Justeringar och eliminerings redovisas bland annat justeringar för personalkostnader. I justeringar för personalkostnader ingår skillnaden mellan koncernens pensionskostnader beräknade enligt IAS 19 Ersättningar till anställda och lokalt beräknade pensionskostnader.

Interna intäkter består främst av interna räntor och provisioner. I segmentens resultaträkningar ingår dessutom interna poster i form av ersättningar för interna tjänster. Interndebitering sker huvudsakligen enligt självkostnadsprincipen. I kontorsrörelsen består tillgångarna

NOTER | KONCERNEN

K43 Forts

Segmentinformation 2010	Hemmemärknader							Justeringar och elimineringar		Totalt
	Sverige	Storbritannien	Norge	Danmark	Finland	Nederländerna	Capital Markets	Övrigt	elimineringar	
mkr										
Räntesnetto	17 505	6 029	3 957	1 666	1 386	800	437	355		32 135
Provisionsnetto	6 739	777	546	600	754	151	1 135	-5		10 697
Nettorisultat av finansiella transaktioner	486	222	63	98	46	37	1 045	-698		1 299
Risikoresultat försäkring							145			145
Andelar i intressetföretags resultat								32		32
Övriga intäkter	52	1	9	8	17	-2	16	155		256
Summa intäkter	24 782	7 029	4 575	2 372	2 203	986	2 778	-161		44 664
Personalkostnader	-3 576	-2 384	-884	-768	-446	-400	-2 020	-2 837	-234	-13 549
Övriga kostnader	-915	-962	-190	-140	-193	-86	-775	-3 263		-6 524
Internt köpta och sålda tjänster	-4 436	-758	-403	-427	-441	-142	150	6 547		
Av- och nadschvinnar av materiella och immateriella tillgångar	-297	-246	-94	-42	-70	-55	-118	-741		-1 670
Summa kostnader	-9 224	-4 350	-1 861	-1 384	-1 150	-683	-2 783	-294	-234	-21 743
Resultat före kreditförluster	15 558	2 679	2 914	988	1 053	303	16	-455	-234	22 821
Kreditförluster, netto	-1 059	10	-99	3	103	-3	9	1		-1 045
Vinsten/förlusten vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	6	1	6	6	-1	0	0	2		20
Röreliseresultat	14 496	2 690	2 821	997	1 155	300	24	-452	-234	21 796
Resultatutdelning	317	42	43	12	35	2	-451			
Röreliseresultat efter resultatutdelning	14 812	2 732	2 864	1 009	1 190	302	-427	-452	-234	21 796
Interna intäkter ¹	134	-1 549	-3 596	-240	-185	-366	-2 515	8 317		
KV-fal, %	36,8	61,5	36,0	58,1	51,4	69,1	118,7			46,8
Kreditförlustnivå, %	0,08	-0,01	0,02	-0,01	-0,09	0,01	-0,02	-0,17		0,04
Tillgångar	1 921 625	444 290	285 043	131 170	212 525	71 342	314 164	2 257 922	-2 568 414	3 059 667
Skulder	1 835 946	426 997	264 762	124 060	205 044	69 144	307 972	2 257 922	-2 582 012	2 909 835
Allokerat kapital	85 679	17 293	20 281	7 110	7 481	2 198	6 192		13 598	159 832
Räntabilitet på allokerat kapital, %	13,8	13,3	12,0	12,0	13,3	11,8	-6,4			11,9
Årets investeringar i icke-finansiella anläggningstillgångar	199	208	48	1	81	6	234	501		1 678
Årets investeringar i intressetföretag								-		-
Medelantal anställda	4 027	2 361	699	600	506	317	1 223	2 815		12 548

¹ Under första kvartalet 2020 genomfördes en omorganisation som innebär att produktägarskap samt affärsstödjande verksamhet för finansiella instrument, valuta samt produkter inom fondbolagskoncernen övergick från enheten Group Products and Services till Handelsbanken Capital Markets. Samtidigt flyttades den kvarvarande verksamheten inom Group Products and Services från övrig verksamhet till segmentet Handelsbanken Sverige. Under första kvartalet 2020 togs också beslutet att de fond- och försäkringsprovisioner som kontantinsatser erhåller från Capital Markets, och som i segmentredovisningen tidigare redovisats netto på raden resultatutdelning, ska bruttoredo visas på raderna provisionsnetto samt internt köpta och sålda tjänster. De i tabellen redovisade jämförelsestörre har därför omräknats.

till största delen av utlåning till allmänheten och skulderna av inlåning från allmänheten samt intern upplåning. I segmentet Capital Markets består tillgångarna främst av värdepapper som förvaltas inom ramen för kapitalförvaltning och försäkringsverksamheten. Tillgångarna i kolumnen Övrigt består till övervägande del av internutlåning till de olika segmenten, medan skulderna framförallt består av extern upplåning. Det allokerade kapitalet för segmenten överensstämmer med kapitalfördelningen enligt den interna styrmodellen.

Intäkter per produktområde mkr	2020	2019
In- och utlåning privat	15 944	15 725
In- och utlåning företag	17 394	17 784
Betalningar netto	1 688	2 025
Kapitalförvaltning fonder	5 411	5 036
Pension och Försäkring	858	854
Investmentbankstjänster	1 679	1 201
Övrigt	1 274	1 939
Summa	44 248	44 664

NOTER | KONCERNEN

K44 Geografisk information

Geografisk information 2020 mkr	Intäkter	Rörelseresultat	Skatt	Tillgångar
Sverige	27 858	14 522	-3 747	2 685 867
Storbritannien	6 318	1 926	-487	352 299
Norge	3 844	1 991	-470	314 086
Danmark	2 310	695	-165	139 552
Finland	2 173	748	-178	268 118
Nederländerna	1 088	309	-75	76 657
USA	206	66	-2	219 199
Luxemburg	184	80	-8	38 252
Kina	107	11	0	1 443
Tyskland	85	-136	4	8 869
Frankrike	61	30	-4	3 859
Singapore	9	-14	0	774
Polen	4	-76	-2	523
Estland	0	-13	-	-
Lettland	1	-2	-	-
Litauen	0	-2	-	-
Bilfinansiering	-	-	587	-97 4 210
Koncernen	44 248	20 136	-4 847	3 135 288

Intäkter, rörelseresultat och tillgångar som presenteras i den geografiska informationen består av interna och externa intäkter, kostnader och tillgångar i respektive land. Den geografiska fördelningen av intäkter och kostnader är baserad på det land där transaktionen är genomförd och är inte jämförbar med redovisningen av segmentinformation. Med skatt avses aktuell och uppskjuten skatt. Ytterligare geografisk information lämnas i not M16 avseende koncernföretag och deras ställe samt i not K3 avseende medelantal anställda per land.

Geografisk information 2019 mkr	Intäkter	Rörelseresultat	Skatt	Tillgångar
Sverige	26 621	13 886	-4 078	2 612 909
Storbritannien	7 185	3 074	-890	360 677
Norge	4 336	2 646	-615	316 359
Danmark	2 312	849	-165	143 762
Finland	2 214	1 143	-201	262 504
Nederländerna	1 022	326	-74	66 371
USA	288	43	-20	340 105
Luxemburg	192	80	-20	43 596
Kina	123	-84	-11	5 300
Tyskland	100	-15	-10	14 011
Frankrike	64	31	-5	4 002
Singapore	49	-85	3	6 444
Polen	40	-57	-	1 118
Estland	12	-14	-	215
Lettland	4	-13	-	482
Litauen	2	-14	-	45
Bilfinansiering	-	-	1 155	-1 108 233
Koncernen	44 564	21 798	-4 871	3 089 667

NOTER | KONCERNEN

K45 Tillgångar och skulder i valuta

2020 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	84 525	128 206	18 025	212	100 280	65 480	914	397 642
Övrig utlåning till centralbanker	-	-	2 962	17 971	1 009	-	-	21 936
Utlåning till övriga kreditinstitut	2 083	10 886	1 280	294	1 394	4 534	1 449	21 920
Utlåning till allmänheten	1 418 660	239 227	259 469	97 781	236 368	15 441	2 666	2 269 612
varav företag	506 541	151 899	161 117	34 499	161 817	15 273	1 125	1 032 271
varav hushåll	912 119	87 328	98 352	63 282	74 551	168	1 541	1 237 341
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	89 688	5 457	839	19	-	2 368	762	99 139
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	33 813	1 420	7 285	16	0	2 032	-	44 566
Övriga ej valutafördelade poster	281 089	-	-	-	-	-	-	281 089
Summa tillgångar	1 900 858	385 106	289 760	115 693	339 136	89 895	5 791	3 136 288
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	48 198	36 846	20 498	229	5 087	13 396	469	124 723
In- och upplåning från allmänheten	732 785	132 828	83 757	47 247	208 449	22 651	2 046	1 229 763
varav företag	310 737	106 377	58 415	24 285	149 183	18 573	1 365	668 875
varav hushåll	422 048	26 451	25 342	22 962	59 266	4 138	681	560 888
Emitterade värdepapper	478 803	390 814	24 709	104	68 531	331 087	16 689	1 310 737
Efterställda skulder	3 002	15 213	-	-	0	22 867	-	41 082
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	428 983	-	-	-	-	-	-	428 983
Summa skulder och eget kapital	1 691 771	575 701	128 964	47 580	282 067	390 001	19 204	3 136 288
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		190 618	-160 732	-68 039	-56 983	300 144	13 444	
Nettoposition i valuta		113	64	74	85	-2	31	365

Bankens syn på valutarisiklagande framgår av not K2.

2019 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	46 552	114 477	22 096	291	85 069	58 039	1 434	327 958
Övrig utlåning till centralbanker	13	182	2 968	15 484	1 000	-	0	19 547
Utlåning till övriga kreditinstitut	2 260	5 569	440	366	1 046	7 028	1 230	17 939
Utlåning till allmänheten	1 372 132	243 507	280 110	104 095	267 214	20 803	4 742	2 292 603
varav företag	499 072	157 535	176 218	38 050	181 116	20 588	2 832	1 075 411
varav hushåll	873 060	85 972	103 892	66 045	85 098	215	1 910	1 217 192
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	91 603	8 256	1 144	20	-	1 358	1 006	103 387
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	32 612	2 032	4 112	12	0	3 872	-	42 640
Övriga ej valutafördelade poster	265 593	-	-	-	-	-	-	265 593
Summa tillgångar	1 810 765	374 023	310 770	120 288	354 829	91 100	8 412	3 069 667
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	38 010	89 090	5 384	4 119	2 527	8 428	491	147 989
In- och upplåning från allmänheten	649 470	121 251	74 402	50 035	196 009	21 310	5 354	1 117 825
varav företag	260 874	96 867	50 526	27 568	128 848	17 161	4 781	586 625
varav hushåll	388 596	24 384	23 876	22 467	67 155	4 149	573	531 200
Emitterade värdepapper	489 814	345 368	25 878	100	68 584	451 930	23 287	1 384 951
Efterställda skulder	3 003	15 829	-	-	19	16 697	-2	35 546
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	383 346	-	-	-	-	-	-	383 346
Summa skulder och eget kapital	1 543 643	571 478	106 664	54 264	287 133	498 385	29 130	3 069 667
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		197 540	-204 941	-65 918	-87 015	407 292	20 776	
Nettoposition i valuta		85	165	96	181	27	58	612

NOTER | KONCERNEN

K46 Innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag

mkr	Innehav i fonder	
	2020	2019
Tillgångar		
Aktier och andelar	6 543	6 825
Tillgångar där kunden står värdepåförändringsrisken	177 754	155 912
Summa innehav i strukturerade företag som inte konsolideras	184 297	162 737

Ett strukturerat företag är ett företag som har utformats så att röster eller liknande rättigheter inte är den dominerande faktorn vid avgränsandet av vem som har det bestämmande inflytandet i företaget, exempelvis när rösträtten endast avser administrativa uppgifter och relevanta aktiviteter regleras genom avtal. Handelsbankens innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag är begränsade och utgörs av fondandelar. Fondandelar ägs främst genom fondförsäkringsavtal hos Handelsbanken Liv samt liknande avtal i andra länder. Fondandelar som ägs genom fondförsäkringsavtal utgör inte grund för konsolidering, se vidare not K1, och utgör därmed icke-konsoliderade strukturerade företag. Handelsbanken äger vidare fondandelar i egenskap av marknad maker. I den mån dessa innehav inte konsolideras utgör de andelar i icke-konsoliderade strukturerade företag. Den maximala exponeringen för förlust för alla innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag är det redovisade värdet på innehaven. De totala tillgångarna för dessa företag anses inte som meningsfull information för att förstå de relaterade riskerna och därför har de inte presenterats.

K47 Upplysningar om närstående

Fordringar på och skulder till närstående	Intrasseföretag		Övriga närstående	
	2020	2019	2020	2019
mkr				
Utlåning till allmänheten	493	591	-	-
Övriga tillgångar	32	-	560	6
Summa	525	591	560	6
In- och upplåning från allmänheten	116	72	853	724
Efterställda skulder	-	-	-	-
Övriga skulder	-	-	-	11
Summa	116	72	853	735

Närstående – Intäkter och kostnader	Intrasseföretag		Övriga närstående	
	2020	2019	2020	2019
mkr				
Ränteinintäkter	9	7	-	0
Räntekostnader	0	0	-	-16
Provisionsinintäkter	-	0	-	-
Provisionskostnader	-216	-65	-	-97
Nettoreultat av finansiella poster värderade till verkligt värde	0	0	-	-
Övriga intäkter	0	0	19	18
Övriga kostnader	-55	0	-80	-67
Summa	-282	-58	-61	-102

Specifikation över intrasseföretagen samt information om aktieägarillskott till intrasseföretag finns i not K18. Intrasseföretagens verksamhet består i att utföra olika typer av tjänster som har anknytning till bankens verksamhet. I gruppen Övriga närstående ingår följande företag: Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Svenska Handelsbankens Personalfästelse och Pensionskassan SHB, Försäkringsförening (pensionskassan). Företagen anlitar Svenska Handelsbanken AB för sedvanliga bank- och redovisningstjänster.

Moderbolagets svenska dotterbolag har betalat pensionspremier avseende förmånsbestämda pensioner till pensionskassan uppgående till 79 mkr (67). Pensionskassans utfästelser till anställda i dotterbolag garanteras av moderbolaget, det vill säga om pensionskassan inte skulle kunna betala sina åtaganden så är moderbolaget skyldigt att ta över och betala åtagandet. Pensionskassans förpliktelse uppgår till 7 704 mkr (7 461). Svenska Handelsbanken AB har begärt ersättning av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse uppgående till 545 mkr (498) avseende pensionskostnader och - mkr (-) avseende särskild kompletterande pension samt av Svenska Handelsbankens Personalfästelse uppgående till 43 mkr (29) för personalförändringsåtgärder.

Information om kreditlinjer till ledande befattningshavare samt om ledande befattningshavares villkor och ersättningar i övrigt framgår av not K8.

K48 Händelser efter balansdagen

Inga väsentliga händelser har inträffat efter balansdagen.

K49 Kapitaltäckning

Numreringen av vissa tabeller och figurer i denna not följer den numrering som återfinns i Handelsbankens publikation Risk and Capital – Information according to Pillar 3.

KAPITALPOLICY

Banken har som mål att upprätthålla en betryggande kapitalnivå som svarar mot de risker som koncernens verksamhet innebär och som överstiger de minimikrav som lagen föreskriver. En god kapitalnivå behövs för att kunna hantera situationer med finansiell påfrestning, men även andra händelser såsom förvärv och kraftig volymtillväxt.

KAPITALKRAVSREGLER

Enligt kapitaltäckningsreglerna, förordning (EU) nr 575/2013 (CRR) och direktiv 2013/36/EU (CRD IV), ska banken ha kärnprimärkapital, primärkapital och en total kapitalbas som minst motsvarar kraven i förhållande till det totala riskvägda exponeringsbeloppet för kreditrisker, marknadsrisker och operativa risker. Utöver att hålla kapital enligt minimikravet ska banken hålla kärnprimärkapital för att uppfylla det kombinerade buffertkravet som i Sverige utgörs av summan av en kapitalkonserveringsbuffert, en cyklickaltetsbuffert, en systemriskbuffert samt en buffert för övriga systemviktiga institut. Banken har även ett minimikapitalkrav i paragraf 2. Paragraf 2-kravet är ett individuellt krav beslutat av Finansinspektionen och ska täcka risker som inte fullt ut fångas av regelverkets minimi- och kombinerade buffertkrav. I kommande tillsynsprocess kommer banken även att ges en vägledning i paragraf 2 av Finansinspektionen, det vill säga myndighetens syn på vilken lägsta buffert banken åläggs hålla till det beslutade kapitalbehovet. Banken ska dessutom göra en intern kapitalutvärdering. Handelsbankens kapitalpolicy anger riktlinjerna för den interna kapitalutvärderingen. Banken omfattas även av ett kapitalkrav på nivån finansiellt konglomerat enligt lagen (2006:531) om särskild tillsyn över finansiella konglomerat, se vidare Kapitalkäckning för det finansiella konglomeratet nedan. Sedan 1 februari 2016 gäller även att resolutionsmyndigheten, som i Sverige är Riksgäldskontoret, ska fastställa ett minimikrav på nedskrivningsbara skulder (MREL) för banken, se nedan Minimikravet för nedskrivningsbara skulder. Banken har under 2020, med god marginal, uppfyllt samtliga av de lagstadgade minimi- och buffertnivåerna. Detaljerad information om bankens kapitalbas och kapitalkrav finns i not K2, Risk- och kapitalhantering, samt i Handelsbankens publikation Risk and Capital – Information according to Pillar 3, se handelsbanken.com/insv. I denna publikation återfinns även fullständig information kring villkoren avseende Handelsbankens samtliga kapitalbasinstrument.

BESKRIVNING AV KONSOLIDERAD SITUATION

Den regleringsmässiga konsolideringen (konsoliderad situation) består av moderbolaget samt

dotter- och intresseföretag som också ingår i koncernens redovisning, se tabell 2.10 Företag som ingår i konsoliderad situation. De bolag som ingår i koncernredovisningen men som inte ingår i den konsoliderade situationen framgår också av tabell 2.10 Företag som ingår i konsoliderad situation. Precis som i koncernredovisningen konsolideras intresseföretag enligt kapitalandelsmetoden i den regleringsmässigt konsoliderade situationen. Vidare konsolideras dotterbolag enligt förvärvsmetoden. Samtliga dotterbolag som omfattas av regelverket ingår i konsoliderad situation. Handelsbanken har inga dotterbolag där den faktiska kapitalbasen underskrider föreskrivna kapitalbas.

BESKRIVNING AV KAPITALBASEN FÖR KONSOLIDERAD SITUATION

Kapitalbasen består av primärt respektive supplementärt kapital. Det primära kapitalet delas in i kärnprimärkapital samt övrigt primärkapital. Kärnprimärkapitalet utgörs i huvudsak av aktiekapital, upperbetade vinstmedel samt övriga reserver i de bolag som ingår i konsolideringen. Övrigt primärkapital utgörs av utgivna primärkapitaltillskott. Det supplementära kapitalet består huvudsakligen av förlagslån. Från kapitalbasen görs därefter vissa avdrag. Avdragen görs huvudsakligen från kärnprimärkapitalet. För bankens riskhantering är det viktigt att såväl koncernen som den regleringsmässiga konsolideringen riskmässigt kan ses som en enhet. För att risker ska kunna hanteras effektivt i koncernen kan kapital behöva omfördelas mellan de olika företagen i koncernen. Banken har generellt sett möjlighet att omfördela kapital mellan koncernens bolag, inom ramen för de begränsningar som följer av lagstiftning, till exempel kapitalkäckningskrav och bolagsrättsliga begränsningar. Banken ser i övrigt inga materiella eller rättsliga hinder för en snabb överföring av medel ur kapitalbasen eller återbetalning av skulder mellan moderbolaget och dess dotterföretag.

Primärkapital

Primärkapitalet utgörs av kärnprimärkapital respektive övrigt primärkapital.

Kärnprimärkapital

Kärnprimärkapitalet utgörs till största delen av aktiekapital, upperbetade vinstmedel samt övriga reserver i de bolag som ingår i den regleringsmässiga konsolideringen. I och med att koncernens försäkringsbolag inte ingår i konsolideringen, se tabell på sidan 191, ingår inte upperbetade vinstmedel i dessa bolag i kärnprimärkapitalet. De poster som ska exkluderas från kärnprimärkapitalet är främst goodwill och andra immateriella tillgångar samt kapitaltillskott till försäkringsbolag i koncernen eller vissa upp-

skjutna skattefordringar som överstiger 10 procent av kärnprimärkapitalet. Summan av kapitaltillskott och uppskjutna skattefordringar får heller inte överstiga 15 procent av kärnprimärkapitalet. Eftersom varken kapitaltillskotten till försäkringsbolagen i koncernen eller de uppskjutna skattefordringarna överstiger tröskelvärdet, belastar dessa inte kärnprimärkapitalet. Neutralitetsjustering görs för påverkan som kassafördessäkringar har haft på eget kapital. Dessutom ska en prisjustering beräknas och vid behov göras för förskilt värdering av instrument som värderas till verkligt värde. Institut som har tillstånd att använda interna riskklassificeringsmodeller ska göra ett avdrag för skillnaden mellan förväntad kreditförlust enligt Internmetoden och gjorda reserveringar för sannolika kreditförluster i det fall de förväntade kreditförlusterna överstiger gjorda reserveringar. Avdrag ska även göras för nettovärdet av redovisade övervärden i pensionsstillgångar. Avdraget får emellertid minskas med ett belopp som motsvarar bankens rätt till ersättning för pensionskostnader från Handelsbankens Pensionsstiftelse. Vidare görs ett avdrag för tillstånd att inneha egna aktier i egenkap av marknadsgarant. Avdraget ska motsvara det högsta marknadsvärdet tillståndet omfattar. Slutligen görs ett avdrag för investeringar i värdepappersfonder samt en justering för effekten av förändringar i egen kreditrisk i derivat.

Övrigt primärkapital

Övrigt primärkapital utgörs av instrument som uppfyller kraven för primärkapitaltillskott. Bland annat ska tillskotten ha en viss löptid och kunna förtidsinlösas tidigast efter fem år och först efter att tillstånd uttärats av tillsynsmyndigheten. Det nominella värdet ska kunna skrivas ned eller konverteras till aktier för att skapa kärnprimärkapital vid en förutbestämd nivå på kärnprimärkapitalet, och räntebetalningarna ska oavkortat kunna ställas in.

Bankens samtliga primärkapitaltillskott uppgår till 12,2 miljarder kronor. 8,1 miljarder kronor av dessa emitterades under 2020 och 4,1 miljarder kronor emitterades under 2019, samtliga uppfyller kraven enligt CRR. I det fall utdelningsbara medel saknas måste kupongutbetalningar ställas in för primärkapitaltillskott.

Supplementärkapital

Det supplementära kapitalet utgörs av förlagslån med en löptid om minst fem år. Avdrag görs för förlagslånetillskott till försäkringsbolagen inom koncernen.

KAPITALKRAV

Kreditrisk

Kapitalkravet för kreditrisk beräknas enligt schablonmetoden och Internmetoden enligt CRR. För Internmetoden återfinns två olika

NOTER | KONCERNEN

K49 Forts

metoder: Internmetoden utan egna skattningar av LGD och KF (grundläggande Internmetoden) och Internmetoden med egna skattningar av LGD och KF (avancerade Internmetoden).

I Internmetoden utan egna skattningar av LGD och KF beräknar banken med en egen metod sannolikheten för att kunden ska falla inom ett år (PD), medan övriga parametrar är givna i regelverket CRR. I Internmetoden med egna skattningar av LGD och KF använder banken egna metoder för att beräkna förlustandel givet fallissemang (LGD) och konverteringsfaktorn (KF). För definition av konverteringsfaktorn (KF) hänvisas till Handelsbankens Faktabok.

Handelsbanken tillämpar Internmetoden utan egna skattningar av LGD och KF för exponeringar mot institut, samt för vissa produkt- och säkerhetstyper avseende företagsexponeringar för hela regionbanksrörelsen samt i dotterbolagen Stadshypotek AB, Handelsbanken Finans AB, Ecster AB och Rahoitus Oy.

Internmetoden med egna skattningar av LGD och KF tillämpas för merparten av exponeringarna mot stora företag, medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar i regionbanksrörelsen (exklusive Nederländerna), Handelsbanken Capital Markets, Stadshypotek AB och Handelsbanken Finans AB, samt för hushållsexponeringar i Sverige, Norge, Danmark och Finland samt i dotterbolagen Stadshypotek AB, Handelsbanken Finans AB, Ecster AB och Rahoitus Oy.

Vad gäller Handelsbankens dotterbolag Handelsbanken plc kapitaltäckta hushållsexponeringar enligt schablonmetoden medan företagsexponeringar på konsoliderad nivå beräknas enligt Internmetoden, medan det lokala kapitaltäckningskravet beräknas enligt schablonmetoden. Från och med 1 januari 2021 kommer kreditrisken för samtliga exponeringar i Handelsbanken plc att beräknas i enlighet med schablonmetoden enligt beslut från Finansinspektionen.

Internmetoden omfattade vid årsskiftet 86 procent (86) av det totala riskvägda exponeringsbeloppet för kreditrisk. För resterande kreditriskexponeringar beräknas kapitaltäckningskravet enligt schablonmetoden. Sifferuppgifter som redovisas i detta avsnitt avser minimikapitaltäckningskraven enligt Pelare 1 samt buffertar i kapitaltäckningsreglerna CRR och CRD IV.

Den totala genomsnittliga riskvikten för exponeringar godkända för Internmetoden minskade under året och uppgick till 11,7 procent (13,7). Minskningen beror främst på portföljförändring där exponeringsklasser med något lägre riskvikter: stater, bostadsrättsföreningar och hushåll, proportionellt sett ökat mer än de med högre riskvikter. Den totala genomsnittliga riskvikten inklusive riskviktsgolvet för svenska bolån enligt Pelare 1 blir 18,4 procent (20,0).

Kreditkvaliteten är god. Av Handelsbankens företagsexponeringar var 98 procent (98)

kunder med en bedömd återbetalningsförmåga som var normal, eller bättre än normal, det vill säga hade en riskklassificering mellan 1 och 5 i bankens tjugradiga skala för riskklassificering.

2017 blev Handelsbanken godkänd för att använda nya PD-modeller för företag i Internmetoden. Dessa modeller utgår från den historiska fallissemangsfrekvensen, både per riskklass och per portfölj. Skattningarna per portfölj är baserade dels på bankens interna data, dels på data från andra källor, såsom till exempel externa kreditvärderingsinstitut, och ska gälla över en tänkt konjunkturykel där ett av fem år är ett nedgångsår och där den svenska bankkrisen på 1990-talet beaktas, enligt krav från Finansinspektionen. Till skattningarna adderas väsentliga försiktighetsmarginaler, och dessa portfölj-PD väntas i normalfall inte variera mellan åren. Skattningarna per riskklass baseras på bankens interna fallissemangsdata och en modell som fastställer relationen i fallissemangsrisk mellan olika riskklasser. Marginaler adderas sedan så att varje portföljs aggregerade PD sammanfaller med skattningen av portfölj-PD. Detta innebär att PD per riskklass kan komma att variera över tid trots att portfölj-PD inte gör det, då fördelningen av motparter över riskklasserna varierar över tid.

Kapitalkravet för aktieexponeringar i Internmetoden beräknas enligt förenklad riskviktsmetod.

För närmare information om förändringar under året hänvisas till bankens delårsrapporter under 2020 samt till bankens publikation Risk and Capital – Information according to Pillar 3.

Marknadsrisker

Kapitalkravet för marknadsrisker beräknas för bankens konsoliderade situation. Kapitalkravet för ränterisker och aktiekursrisker beräknas dock endast för positioner i handelslagret. Vid beräkning av kapitalkravet för marknadsrisker tillämpas schablonmetoden.

Kapitalkrav för operativa risker

Handelsbanken använder schablonmetoden för att beräkna kapitalkravet för operativa risker. Kapitalkravet enligt schablonmetoden beräknas genom att en i regelverket bestämd faktor multipliceras med den genomsnittliga rörelseintäkten under de tre senaste verksamhetsåren. Olika faktorer tillämpas för olika affärssegment.

Det totala kapitalkravet för operativa risker för konsoliderad situation uppgick vid utgången av 2020 till 5 489 miljoner kronor (5 282).

KAPITALTÄCKNING FÖR DET FINANSIELLA KONGLOMERATET

Institut och försäkringsföretag som ingår i ett finansiellt konglomerat ska ha en kapitalbas som är tillräckligt stor med hänsyn till kapitalkravet för det finansiella konglomeratet. Kapitalbasen och kapitalkravet för det finansiella konglomeratet har beräknats i enlighet med

avräknings- och totalmetoden (metod 2, bilaga 1, direktiv 2002/87/EG). Det finansiella konglomeratets sammanlagda kapitalbas överstiger det finansiella konglomeratets kapitalkrav.

MINIMIKRAVET PÅ NEDSKRIVNINGSBARA SKULDER (MREL)

Krishanteringsdirektivet (EU) nr 2014/59 (BRRD) infördes i Sverige genom lagen (2015:1016) om resolution. Regelverket innehåller sätt att hantera banker i kris och möjliggör för myndigheter att, inom dessa ramar, ta kontroll över, omstrukturera och sälja av hela eller delar av en bank. Detta utan att likvidera eller försätta banken i konkurs. Som tillägg till ovan åtgärder i kris, innebär regelverket en möjlighet att skriva ned vissa skuldsinstrument för att återkapitalisera en krisutsatt bank.

Som en del av detta regelverk infördes ett minimikrav på nedskrivningsbara skulder (MREL) från och med den 1 januari 2018. Kravet beslutas i bankens resolutionsplan som upprättas av Riksgälden i samarbete med Finansinspektionen. För 2021, uppgår Handelsbankens MREL krav till 5,7 procent (5,8) av totala skulder och kapitalbas på konsoliderad nivå. Kravet består av ett förlustabsorberingsbelopp och ett återkapitaliseringsbelopp.

Riksgälden tillämpar även skuldandelsprincipen, som innebär att MREL kravet delvis måste uppfyllas av endast medräkningsbara, kvalificerade skulder (och inte kapitalbas). För att fylla behovet har en ny typ av skuldsinstrument införts i svensk lagstiftning från december 2018. Dessa efterställs nuvarande seniora skuldsinstrument, men rankas högre än kapitalbasinstrument vid ett resolutionsförfarande. Handelsbanken har emitterat denna typ av efterställda skuldsinstrument under 2019 och 2020. Under 2020 har regelverket anpassats till nya EU-direktiv, men även påverkats av justeringar till följd av pandemin. Handelsbanken följer utvecklingen.

NOTER | KONCERNEN

K49 FÖRTEG

Tabell 2.10 (Pelare 3) Företag som ingår i konsoliderad situation

Företag som ingår i konsoliderad situation	Ägarandef, %	Organisationsnummer	Säte
Handelsbanken AB (publ) ¹		502007-7862	Stockholm
KONCERNFÖRETAG			
Handelsbanken Finans AB ¹	100	556053-0841	Stockholm
Stadshypotek AB ¹	100	556459-6715	Stockholm
Svenska Intecknings Garanti AB Sigsbo (inaktiv)	100	556432-7285	Stockholm
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	100	556070-0683	Stockholm
Handelsbanken Fonder AB	100	556418-8861	Stockholm
Handelsinvest Investeringsförvaltning A/S	100	12930879	Köpenhamn
Xact Kapitalförvaltning AB	100	556097-8140	Stockholm
AB Handel och Industri	100	556013-5336	Stockholm
Eoster AB	100	556093-2311	Stockholm
Handelsbanken plc ²	100	11305395	London
Handelsbanken Wealth and Asset Management Limited	100	04132340	London
Haarwood Nominees Limited (inaktiv)	100	2290677	London
Haarwood Second Nominees Limited (inaktiv)	100	3193458	London
Haarwood ACD Limited (inaktiv)	100	4392528	London
Svenska Property Nominees Limited (inaktiv)	100	2908524	London
Optimix Vermogensbeheer NV	100	33194359	Amsterdam
Add Value Fund Management B.V.	80	19196768	Amsterdam
Optimix Baheer en Belegging B.V. (inaktiv)	100	33186584	Amsterdam
Övriga dotterbolag			
Ejendomselskabet af 1. maj 2009 A/S ²	100	59173812	Hillared
Forva AS	100	945812141	Oslo
Handelsbanken Markets Securities, Inc ²	100	11-3257438	New York
Handelsbanken Raholus Oy	100	0112908-8	Helsingfors
Lokalbolig A/S	72	78488018	Hillared
Rådhusplads 4 AS	100	910508423	Bergen
Bilslugan i Stockholm	100	556093-0957	Stockholm
Bildrunder AB	100	556093-9084	Stockholm
Dotterbolag till Handelsbanken Liv Försäkrings AB			
Handelsbanken Fastigheter AB	100	556873-0021	Stockholm
INTRESSEFÖRETAG			
Bankomat AB	20	556817-9716	Stockholm
BGC Holding AB	25,38	556607-0933	Stockholm
Bankgironcentralen BGC AB ²	100	556047-3521	Stockholm
Torrig AB	100	556564-5404	Stockholm
Finansial ID-teknik BID AB	28,3	556630-4928	Stockholm
USE Intressenter AB	24,48	550161-0464	Stockholm
Getavish AB	20	556913-7382	Stockholm
JOINT VENTURES			
P27 Nordic Payments Platform AB	16,7	559198-9610	Stockholm
Invidam AB	16,7	550210-0779	Stockholm

¹ Kreditinstitut² Avser ägande i dotterbolag samt intressebolag.

Företag som inte ingår i konsoliderad situation	Ägarandef, %	Organisationsnummer	Säte
Handelsbanken Liv Försäkring AB (koncernen exkl Handelsbanken Fastigheter AB)	100	516401-8284	Stockholm
Svenska Re S.A.	100	RCS Lux B-32053	Luxemburg
Handelsbanken Skadetförsäkrings AB	100	516401-6767	Stockholm
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	100	2478149-7	Helsingfors
Svenska RICA International Insurance Services AB (inaktiv)	100	556324-2964	Stockholm
Dyson Group plc	27	00163096	Sheffield
Dyson Industries Ltd	100	1187031	Sheffield
Baeapart Ltd	100	177682	Sheffield
Pickford Holland & Company Ltd	100	128414	Sheffield
Millennium Materials Inc	100	-	Knoxville
Dyson US Holdings Inc	100	-	Wilmington
ERN Ekonomikanalen AB	100	556930-1608	Stockholm

NOTER | KONCERNEN

K49 Forts

Tabell 2.1 (På sida 3) Balansräkning

Balansräkning	2020		2019	
	Konsoliderad situation	Koncern	Konsoliderad situation	Koncern
mkr				
TILLGÅNGAR				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	397 642	397 642	327 958	327 958
Övrig utlåning till centralbanker	21 326	21 326	19 547	19 547
Belåningsbara stats skuldförbindelser m m	99 133	99 133	103 387	103 387
Utlåning till övriga kreditinstitut	21 915	21 920	17 994	17 999
Utlåning till allmänheten	2 270 744	2 269 612	2 293 735	2 292 603
Värdeförändring på räntebärande post i portföljsättning	25	25	25	25
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	44 566	44 566	42 640	42 640
varav räntebärande instrument klassificerade som tillgängliga för försäljning (redovisat värde)	7 964	7 964	4 953	4 953
varav räntebärande instrument klassificerade som tillgängliga för försäljning, ackumulerad värdeförändring	- 67	- 67	- 73	- 73
Aktier och andelar	14 322	21 045	14 340	21 390
varav aktier klassificerade som tillgängliga för försäljning (redovisat värde)	700	700	2 309	2 309
varav aktier klassificerade som tillgängliga för försäljning, ackumulerad värdeförändring	156	156	739	739
Andelar i intresseföretag	6 639	386	6 560	285
Tillgångar där kunden står för värdeförändringarsken	7 504	197 212	6 514	174 988
Derivatinstrument	30 614	30 614	41 545	41 545
varav kassaförlossningar	3 353	3 353	4 203	4 203
Återförskotts tillgångar	-	11	-	11
Immateriella tillgångar	11 149	11 330	11 051	11 185
Fastigheter och inventarier	6 231	6 232	6 644	6 645
Aktuella skattefordringar	984	988	50	53
Uppskjutna skattefordringar	1 218	1 218	693	693
varav räntebärande till kassaförlossningar	-	-	-	-
varav räntebärande till räntebärande instrument klassificerade som tillgängliga för försäljning	19	19	20	20
Pensions tillgångar	2 055	2 005	700	654
Tillgångar som innehas för försäljning	1 657	1 657	1	1
Övriga tillgångar	5 915	6 113	5 917	6 167
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	2 222	2 253	1 925	1 951
Summa tillgångar	2 945 961	3 135 288	2 901 166	3 069 667
SKULDER OCH EGET KAPITAL				
Skulder till kreditinstitut	124 635	124 723	147 994	147 999
In- och upplåning från allmänheten	1 239 589	1 229 763	1 117 260	1 117 825
Skulder där kunden står för värdeförändringarsken	7 504	197 212	6 514	174 988
Emitterade värdepapper	1 310 737	1 310 737	1 384 961	1 384 961
Derivatinstrument	32 819	32 819	20 642	20 642
varav kassaförlossningar	-	-	-	-
Korta positioner	1 682	1 682	1 856	1 856
Försäkringskulder	-	557	-	578
Aktuella skatteskulder	0	25	1 264	1 284
Uppskjutna skatteskulder	5 315	5 353	5 504	5 634
varav räntebärande till kassaförlossningar	870	870	1 144	1 144
varav räntebärande till aktier klassificerade som tillgängliga för försäljning	16	16	27	27
Avskattningar	2 294	2 302	1 132	1 141
Pensionskulder	0	0	0	0
Skulder hänförliga till tillgångar som innehas för försäljning	-	-	-	-
Övriga skulder	13 573	13 928	13 714	14 038
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	3524	3 632	3 271	3 353
Efterställda skulder	41 082	41 082	35 546	35 546
varav primärkapitallån	21 980	21 980	15 819	15 819
varav lån med återstående löptid > 5 år	18 032	18 032	18 639	18 639
varav lån med återstående löptid < 5 år	-	-	-	-
varav övriga lån	-	-	2	2
Summa skulder	2 773 764	2 983 816	2 739 688	2 909 835
Minoritetsintresse	9	9	8	8
Aktiekapital	3 069	3 069	3 069	3 069
innehav egna aktier	0	0	0	0
Överkursfond	8 758	8 758	8 758	8 758
varav eget kapital från sammansatta finansiella instrument	-	-	0	0
Andra reserver	8 562	8 532	13 130	13 141
Balanserad vinst	137 177	135 520	119 799	117 934
Årets resultat, tillhörande aktieägare i Svenska Handelsbanken AB	14 532	15 585	16 714	16 922
Summa eget kapital	172 197	171 473	161 478	169 832
Summa skulder och eget kapital	2 945 961	3 135 288	2 901 166	3 069 667

NOTER | KONCERNEN

K49 FÖRTS

Tabell 2.2 (Polaris 3) Kapitalbas under övergångsperioden

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013. Exkluderade rader bedöms ej relevanta för Handelsbanken vid tidpunkt för publicering.

Käprämärkapitalbas under övergångsperioden	2020		2019	
	Belopp på upplysningsdagen	Förordning (EU) nr 575/2013 artikelhänvisning	Belopp på upplysningsdagen	Förordning (EU) nr 575/2013 artikelhänvisning
miljarder				
Käprämärkapital: Instrument och reserver				
1 Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	11 827		11 827	26.1, 27, 28, 29, EBA-förordningen 25.3
Varav: skattekapital	11 827		11 827	EBA-förordningen 25.3
Varav: konvertibler				EBA-förordningen 25.3
2 Ej utdelade vinstmedel	137 177		119 799	26.1 c
3 Ackumulerat annat totalresultat (och andra reserver, för att inkludera realiserade vinster och förluster enligt tillämpliga redovisningsstandarder)	8 562		13 130	26.1
5a Delårsresultat netto efter avdrag för förutsebara kostnader och utdelningar som har verifierats av personer som har en oberoende ställning	6 414		5 824	26.2
6 Käprämärkapital före lagstiftningsjusteringar	163 080		160 680	
Käprämärkapital: lagstiftningsjusteringar				
7 Yttanligare värdejusteringar (negativt belopp)	-399		-399	34, 105
8 Immateriella tillgångar (netto efter minskning för tillhörande skatteskulder) (negativt belopp)	-11 217		-11 119	36.1 b, 37
11 Reserver i samband med värderade relationer till vinster eller förluster på kassaförskottskrediter	-3 353		-4 203	33.1 a
12 Negativa belopp till följd av beräkningen av förväntade förlustbelopp	-779		-1 581	36.1 d, 40, 159
14 Vinster eller förluster på skulder som värderas till verkligt värde och som bär på ändringar av institutets egen kreditstatus	9		-	33.1 b
15 Förmånsbestämda pensionsplaner (negativt belopp)	-1 615		-	36.1 a, 41
16 Ett institut direkt och indirekt innehav av egna käprämärkapitalinstrument (negativt belopp)	-466		-527	36.1 f, 42
19 Institutets direkta, indirekta och symmetriska innehav av käprämärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp över förskälvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-		-	36.1 i, 43, 45, 47, 48.1 b, 49.1-49.3, 79
20a Exponeringsbelopp för följande poster som är kvalificerade för en riskvikt på 1 250 % när institutet väljer alternativet med avdrag	-		-20	36 (1) (4)
20c Varav: värdepappersanvändningspositioner (negativt belopp)	-		-20	36 (f) (4), 243 (f) (b), 244 (1) (b), 258
21 Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp över förskälvärdet på 10%, netto efter minskning av tillhörande skatteskulder när vilkoren i artikel 38.3 är uppfylla) (negativt belopp)	-		-	36.1 c, 38, 48.1 a
22 Belopp som överstiger förskälvärdet på 15% (negativt belopp)	-		-	48.1
23 Varav: institutets direkta och indirekta innehav av käprämärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn när institutet har en väsentlig investering i de enheterna	-		-	36.1 i, 48.1 b
25 Varav: uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader	-		-	36.1 c, 38, 48.1 a
25a Förluster för innevarande näringsår (negativt belopp)	-		-	36.1 a
25b Förutsebara skatter som är relaterade till käprämärkapitalposter (negativt belopp)	-		-	36.1 i
27 Avdrag från kvalificerade primärkapitaltillskott som överstiger institutets primärkapitaltillskott (negativt belopp)	-		-	36.1 j
28 Sammanlagda lagstiftningsjusteringar av käprämärkapital	-17 820		-17 849	
29 Käprämärkapital	146 160		132 731	

NOTER | KONCERNEN

K49 Forts

Kapitalbas under övergångsperioden		2020	2019
mkr		Belopp på upplysningsdagen	Förordning (EU) nr 575/2013 artikel 4.1.1
Primärkapitaltillskott: Instrument			
30	Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	21 080	15 819
32	Varav: Klassificerade som skulder enligt tillämpliga redovisningsstandarder	21 080	15 819
33	Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 484.4 och tillhörande överkursfonder som omfattas av uttagnin från primärkapitaltillskottet	-	-
36	Primärkapitaltillskott före lagstiftningsjusteringar	21 080	15 819
Primärkapitaltillskott: lagstiftningsjusteringar			
37	Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna primärkapitaltillskottsinstrument (negativt belopp)	-9 808	-
40	Instituts direkta och indirekta innehav av primärkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-	-
42	Avdrag från kvalificerade supplementärkapital som överskrider instituts supplementärkapital (negativt belopp)	-	-
43	Summa lagstiftningsjusteringar av primärkapitaltillskott	-9 808	-
44	Primärkapitaltillskott	12 172	15 819
45	Primärkapital (primärkapital = kärnprimärkapital + primärkapitaltillskott)	158 382	148 850
Supplementärkapital: Instrument och avsättningar			
46	Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	18 032	18 639
50	Kreditriskjusteringar	10	-
61	Supplementärkapital före lagstiftningsjusteringar	18 042	18 639
Supplementärkapital: lagstiftningsjusteringar			
52	Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna supplementärkapitalinstrument och efterställda lån (negativt belopp)	-	-
55	Instituts direkta och indirekta innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-1 129	-1 129
57	Summa lagstiftningsjusteringar av supplementärkapital	-1 129	-1 129
58	Supplementärkapital	16 913	17 510
59	Totalt kapital (totalt kapital = primärkapital + supplementärkapital)	175 295	166 360
60	Summa relevanta tillgångar	721 408	716 482
Kapitalrelationer och buffertar			
61	Kärnprimärkapital (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	20,3	18,5
62	Primärkapital (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	21,9	20,7
63	Summa kapital (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	24,3	23,2
64	Instituts specifika buffertkrav (krav på kärnprimärkapital i enlighet med artikel 92.1 a plus krav på kapitalkonserveringsbuffert och kontracyklisk kapitalbuffert, plus systemriskbuffert, plus buffert för systemviktiga institut (buffert för globala systemviktiga institut eller andra systemviktiga institut) uttryckt som en procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	6,6	7,4
65	Varav: krav på kapitalkonserveringsbuffert	2,5	2,5
66	Varav: krav på kontracyklisk kapitalbuffert	0,7	1,9
67	Varav: krav på systemriskbuffert	3,0	3,0
67a	Varav: buffert för globalt systemviktiga institut eller för annat systemviktiga institut	1,0	0,0
68	Kärnprimärkapital tillgängligt att användas som buffert (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	15,8	14,0
72	Direkta och indirekta innehav av kapital i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner)	0	0
73	Instituts direkta och indirekta innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner)	-	-
75	Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter minskning av tillhörande skatteskuld när vilkoren i artikel 36.3 är uppfyllda)	0	-2

NOTER | KONCERNEN

K49 Forts

Kapitalbas under övergångsperioden		2020		2019	
mkr		Belopp på upplysningsdagen	Förordning (EU) nr 575/2013 artikelhänvisning	Belopp på upplysningsdagen	Förordning (EU) nr 575/2013 artikelhänvisning
Taksom ska tillämpas på inkludering av avsättningar i supplementärkapitalet					
76	Kreditriskjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av schablonmetoden (före tillämpningen av taket)	-		-	62
77	Takt för inkludering av kreditriskjusteringar i supplementärkapitalet enligt schablonmetoden	1 629		1 084	62
78	Kreditriskjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av internmetoden (före tillämpningen av taket)	-		-	62
79	Takt för inkludering av kreditriskjusteringar i supplementärkapitalet enligt internmetoden	3 074		3 308	62
Kapitalinstrument som omfattas av uttagningsarrangemang (före endast tillämpas mellan den 1 januari 2013 och den 1 januari 2022)					
80	Nuvarande tak för kärnprimärkapitalinstrument som omfattas av uttagningsarrangemang	-		-	484,3, 486,2 och 486,5
81	Belopp som utesluts från kärnprimärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)	-		-	484,3, 486,2 och 486,5
82	Nuvarande tak för primärkapitaltillskottsinstrument som omfattas av uttagningsarrangemang	-		-	484,4, 486,3 och 486,5
83	Belopp som utesluts från primärkapitaltillskott på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)	-		-	484,4, 486,3 och 486,5
84	Nuvarande tak för supplementärkapitalinstrument som omfattas av uttagningsarrangemang	-		-	484,5, 486,4 och 486,5
85	Belopp som utesluts från supplementärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)	-		-	484,5, 486,4 och 486,5

Tabell 2.12 (Folios 3) Kapitaltäckning finansiella konglomeratet

Tabellen visar relation mellan kapital och kapitalkrav för det finansiella konglomeratet. Överskottet har ökat jämfört med föregående år.

Kapitaltäckning finansiella konglomeratet		2020	2019
mkr			
Kapitalbas efter avdrag och justeringar		188 214	174 186
Kapitalkrav		143 133	153 484
Överskott		45 081	20 702

NOTER | KONCERNEN

K49 FORTS

Tabell 2.11 (Påars 3) EU CV1 – Översikt av riskvägda exponeringsbelopp

Tabellen visar riskvägda exponeringsbelopp (REA) för kreditrisk, motpartsrisk, marknadsrisk och operativ risk per utgången av 2020 och föregående år. Beloppen för kreditrisk är beräknade för exponeringar som behandlas enligt schablonmetoden, den grundläggande intermetoden och den avancerade intermetoden. Beloppen för marknadsrisk och operativ risk är beräknade för exponeringar som behandlas enligt schablonmetoden. REA för kreditrisk har ökat jämfört med föregående år. REA för motpartsrisk har minskat jämfört med föregående år. REA för marknadsrisk har minskat jämfört med föregående år. REA för operativ risk har ökat jämfört med föregående år.

EU CV1 – Översikt av riskvägda exponeringsbelopp		Riskvägda exponeringsbelopp		Minimikapitalkrav
mkr		2020	2019	2020
Artikel 438 c och d	1 Kreditrisk (exklusive motpartskreditrisk)	587 301	626 682	46 985
	2 Varav schablonmetoden	83 735	86 573	6 699
Artikel 438 c och d	3 Varav den grundläggande intermetoden ¹	45 315	53 846	3 625
Artikel 438 c och d	4 Varav den avancerade intermetoden ²	455 256	475 964	36 424
Artikel 438 d	5 Varav den kapitalrelaterade intermetoden inom ramen för den enkla riskvägda metoden eller den interna modellen	2 955	10 299	236
Artikel 107	6 Motpartskreditrisk	8 843	11 371	707
Artikel 438 c och d	7 Varav marknadsavvärdering	8 838	11 359	707
Artikel 438 c och d	8 Varav ursprunglig exponering			
	9 Varav schablonmetoden			
	10 Varav metoden med interna modeller			
Artikel 438 c och d	11 Varav riskexponeringsbelopp för bidrag till en central motparts oömsättningsfond	5	12	0
Artikel 438 c och d	12 Kreditlivslängdsjustering	2 707	4 114	216
Artikel 438 a	13 Avvecklingsrisk	0	9	0
Artikel 449 a j	14 Värdepappersriskexponeringar utanför handelslagrat (efter lokal)	49	-	4
	15 Varav intermetoden	49	-	4
	16 Varav den interna formelbaserade metoden			
	17 Varav intermetoden			
	18 Varav schablonmetoden			
Artikel 438 a	19 Marknadsrisk	7 513	8 253	601
	20 Varav schablonmetoden	7 513	8 253	601
	21 Varav den interna modellen			
Artikel 438 a	22 Stora exponeringar			
Artikel 438 f	23 Operativ risk	68 616	66 023	5 489
	24 Varav basmetoden			
	25 Varav schablonmetoden	68 616	66 023	5 489
	26 Varav intermetoden			
Artikel 437.2, artikel 48 och artikel 60	27 Belopp under tröskeln för avdrag (föremål för riskvidering på 250 procent)			
Artikel 500	28 Justering av minimigränsen			
Artikel 3	29 Ytterligare riskexponeringsbelopp ³	46 374	-	3 710
	30 Summa	721 408	718 482	57 712

¹ Motpartsrisk exponeringar redovisas under den grundläggande intermetoden.

² Riskvägda belopp för svenska bolag redovisas under den avancerade intermetoden.

³ Bankens exponeringar i UK kommer från och med första kvartalet 2021 att på koncernnivå rapporteras enligt schablonmetoden. Idag beräknas dessa exponeringar i huvudsak i IFRS. Banken har beräknat detta tillkommande riskexponeringsbelopp som kommer att uppgå i koncernens rapportering som en följd av denna förändring. Detta belopp har i rapporteringen per 31 december 2020 avsetts som ett ytterligare riskexponeringsbelopp i enlighet med CRR artikel 3.

Tabell 4.1 (Påars 3) EU MR1 – Marknadsrisk som behandlas enligt schablonmetoden

Tabellen visar kapitalkrav och riskexponeringsbelopp för marknadsrisk enligt schablonmetoden (CRR) per utgången av 2020.

EU MR1 – Marknadsrisk som behandlas enligt schablonmetoden		2020		2019	
		a	b	a	b
mkr		Riskexponeringsbelopp	Kapitalkrav	Riskexponeringsbelopp	Kapitalkrav
Direkta produkter					
Ränterisk		7 448	596	8 130	651
varav generell risk		6 135	491	6 923	554
varav specifik risk		1 313	105	1 207	97
Aktiekursrisk		26	2	43	3
varav generell risk		9	1	12	1
varav specifik risk		17	1	30	2
varav fondar		0	0	1	0
Valutakursrisk		-	-	-	-
Råvarurisk		15	1	54	4
Optioner					
Scenariometod		24	2	36	3
varav ränterisk		1	0	3	0
varav aktiekursrisk		23	2	33	3
varav valutakursrisk		-	-	-	-
varav råvarurisk		-	-	-	-
Värdepappersrisk (specifik risk)		-	-	-	-
Avvecklingsrisk		0	0	9	1
Summa		7 613	601	8 272	662

NOTER | KONCERNEN

K49 FÖRÅS

Tabell ÅR47 Minimikrav på nedskrivningsbara skulder (MREL)

MREL krav uttryckt som andel av totala skulder och kapitalbas (BFS 2015:1016). Minimikravet på nedskrivningsbara skulder och kapitalbas bestäms i bankens reaktionsplan av resolutionmyndigheten RSK, i samarbete med FL. Totala skulder och kapitalbas samt MREL krav baseras på siffror från det tredje kvartalet.

mkr	2020	2019
MREL krav	179 066	184 086
Nedskrivningsbara skulder och kapitalbas	332 573	350 820
Totala skulder och kapitalbas	3 110 867	2 986 085
%	2020	2019
MREL krav som procent av totala skulder och kapitalbas	5,8	6,2
Nedskrivningsbara skulder och kapitalbas som procent av totala skulder och kapitalbas	10,4	11,7

Tabell 3.14 (Påslag 3) Kreditriskexponeringar godkända för intermetoden

Kreditriskexponeringar godkända för intermetoden	Exponeringsbelopp		Varav utanför balansenräkningen		Räskrägt exponeringsbelopp		Kapitalkrav		Genomsnittlig riskvikt i %	
mkr	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019
Statsexponeringar	400 718	428 414	14 002	10 983	7 214	7 008	677	588	1,6	1,7
Företagsexponeringar	864 312	900 304	111 944	121 194	211 701	248 710	18 943	19 737	24,8	27,1
Förstagsutlåning	843 585	900 795	111 944	121 194	208 608	244 106	16 689	19 529	24,7	27,1
varav övrig utlåning, intermetod utan egna skattningar av LGD och RF	93 833	110 550	57 203	64 725	26 186	33 651	2 094	2 693	27,9	30,4
varav övrig utlåning, intermetod med egna skattningar av LGD och RF	749 752	790 245	54 741	56 469	182 422	210 455	14 594	16 836	24,3	26,6
varav stora företag	125 572	140 751	33 017	32 185	43 644	51 641	3 892	4 131	33,7	36,7
varav medelstora företag	84 512	91 925	8 205	9 533	27 212	37 399	2 177	2 902	32,2	40,7
varav fastighetsbolag	539 668	557 568	13 518	14 751	106 566	121 415	8 525	9 713	19,7	21,8
Motpartsrisk	10 727	8 509	-	-	3 183	2 604	255	208	29,7	30,6
Boendefinansieringar	246 789	236 654	2 404	2 706	7 997	9 906	641	793	3,3	4,2
Hushållsexponeringar	1 154 770	1 119 800	71 180	68 312	78 540	82 406	6 283	6 593	6,8	7,4
Privatpersoner	1 132 900	1 025 928	64 940	52 125	71 797	74 659	5 744	5 973	6,3	6,8
varav fastighetskrediter	1 001 524	1 046 539	52 045	36 074	63 586	63 871	5 087	5 110	5,8	6,1
varav borgen	41 276	49 335	12 695	16 121	8 211	10 788	657	863	19,9	27,9
Småföretag	21 970	23 872	6 220	6 117	6 743	7 747	539	620	30,7	32,5
varav fastighetskrediter	10 918	11 892	301	1 010	3 644	4 268	292	341	33,4	35,9
varav borgen	11 052	11 980	5 229	51 37	3 099	3 479	247	279	28,0	29,0
Institutsexponeringar	38 453	57 683	5 857	6 316	10 883	14 436	865	1 156	28,0	26,0
Institutsutlåning	17 17 8	16 554	5 857	6 316	5 279	5 920	422	474	30,7	35,8
Motpartsrisk	21 275	41 109	-	-	5 404	8 516	433	681	25,4	20,7
Aktieexponeringar	799	3 028	-	-	2 955	10 299	236	834	370,0	340,2
varav börsnoterade aktier	-	1 129	-	-	-	3 274	-	262	-	290,0
varav borgen aktier	799	1 899	-	-	2 955	7 025	236	562	370,0	370,0
Motpartsaktie exponeringar	8417	8 946	-	-	8 417	8 946	813	856	100,0	100,0
Positioner i värdepappersförsörjning	16	-	-	-	40	-	4	-	312,3	-
varav traditionell värdepappersförsörjning	16	-	-	-	40	-	4	-	312,3	-
varav syntetisk värdepappersförsörjning	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Summa intermetoden	2 791 274	2 788 709	205 457	199 801	326 646	377 702	26 062	30 216	11,7	13,7
Räskräktsgolv Svenska bolån ¹					186 614	173 604	14 929	13 888		
Totalt intermetoden med effekt av räskräktsgolv Svenska bolån	2 791 274	2 788 709	205 457	199 801	512 260	551 306	40 991	44 104	18,4	20,0

¹ Exponeringsbeloppet som träffas av reglerna för räskräktsgolv Svenska bolån är 889 285 mkr per 31 dec 2020.

NOTER | KONCERNEN

K49 FORTS

Tabell 3.15 (Pelare 3) Kreditriskexponeringar enligt schablonmetoden¹

Kreditriskexponeringar enligt schablonmetoden ¹	Exponeringsvärde		Varor utanför balansräkningen		Risksvårt exponeringsbelopp		Kapitalkrav		Genomsnittligt riskvägt i %	
	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019
mikr										
Stater och centralbanker	1 827	353	49	79	0	7	0	1	0	1,9
Kommuner	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Multilaterala utvecklingsbanker	555	274	0	2	0	0	0	0	0	0
Internationella organisationer	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Institut	9 561	9 639	169	407	902	762	72	61	9,0	7,9
Företag	7 339	8 495	1 749	2 326	6 929	8 408	554	673	54,4	99
Hushåll	9 885	10 236	2 434	2 898	7 250	7 460	580	597	73,0	72,9
Säkerheter i fastigheter	138 617	141 400	2 745	2 064	48 405	50 655	3 872	4 052	35,0	35,8
Fallerade exponeringar	857	598	5	21	973	725	78	58	113,6	121,2
Högriskposter	28	26	-	-	41	39	3	3	150,0	150
Fondar	-	151	-	-	-	151	-	12	-	100
Aktier	6 541	6 254	-	-	15 923	15 636	1 274	1 251	243,4	250,0
varav börsnoterade aktier	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
varav övriga aktier	6 541	6 254	-	-	15 923	15 636	1 274	1 251	243,4	250,0
Övriga poster	6 278	3 244	37	17	3 510	2 905	282	232	56,0	89,6
Summa schablonmetoden	181 889	180 750	7 188	7 814	83 933	86 748	6 715	6 940	48,1	48,0

¹ Uppgifter om kapitalkrav för exponeringsklasser där det förekommer exponeringar.

Tabell 2.13 (Pelare 3) LRCome Bruttosolidskattegrad – gemensam upplysning

Tabellen visar bruttosolidskattegrad per utgången av innevarande respektive föregående år. Exponeringarna är specificerade för kategorierna balansräkning, derivat, värdepappersfinansiering och exponeringar utanför balansräkning. Bruttosolidskattegraden beräknas som primärkapital dividerat med sammanlagda exponeringar. Bruttosolidskattegraden har ökat jämfört med föregående år.

LRCome Bruttosolidskattegrad – gemensam upplysning

mikr			2020	2019
	Exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat och transaktioner för värdepappersfinansiering)			
1	Poster i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och förvaltningsstillgångar, men inklusive säkerhet)		2 901 031	2 843 612
2	(Tilläggsbelopp som dragits av för att fastställa kärnprimärkapital)		-17 819	-17 849
3	Sammanlagda exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och förvaltningsstillgångar) (summa av raderna 1 och 2)		2 883 212	2 825 763
	Derivatexponeringar			
4	Återanskaffningskostnad för bunden med samtliga derivattransaktioner (dvs netto av medräkningsbara kontantvariationsmarginal)		8 755	6 667
5	Tilläggsbelopp för potentiell framtida exponering för bunden med samtliga derivattransaktioner (marknadsvärdering)		19 876	27 096
EU-5a	Exponering fastställd enligt ursprunglig åtagandemetod		-	-
6	Gross-up för derivatsäkerhet vid avdrag från tillgångar i balansräkningen i enlighet med den tillämpliga redovisningsramen		-	-
7	(Avdrag för fordringar på kontantvariationsmarginal i derivattransaktioner)		-19 875	-8 466
8	(Undantagen central motpartsdel i handelsexponeringar som är clearade med denna motpart)		-	-
9	Justerat effektivt teoretiskt belopp för skriftliga kreditderivat		4 334	5 621
10	(Justerad effektiv teoretisk kompensasjon och tilläggsavdrag för skriftliga kreditderivat)		-35	-116
11	Sammanlagda derivatexponeringar (summa av rad 4 till 10)		13 024	30 802
	Exponeringar i transaktioner för värdepappersfinansiering			
12	Bruttotillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering (utan godkännande av netto) efter justering för förstillningstransaktioner		14 216	16 010
13	(Nettobelopp för kontantsskuld och kontantfordringar i bruttotillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering)		-	-
14	Motpartens kreditriskexponering mot tillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering		3 750	3 342
EU-14a	Undantag för transaktioner för värdepappersfinansiering: Motpartens kreditriskexponering i enlighet med artikel 429b 4 och artikel 222 i förordning (EU) nr 575/2013		-	-
15	Exponeringar mot förmedlade transaktioner		-	-
EU-15a	(Undantagen central motpartsdel av exponeringar mot transaktioner för värdepappersfinansiering som är clearade med motparten)		-	-
16	Sammanlagda exponeringar i transaktioner för värdepappersfinansiering (summa av raderna 12 till 15a)		17 966	19 362
	Andra poster utanför balansräkningen			
17	Poster utanför balansräkningen i teoretiska bruttobelopp		534 285	522 450
18	(Justeringar för konvertering till kreditvalutor)		-307 111	-338 171
19	Övriga exponeringar utanför balansräkningen (summa av rad 17 till 18)		137 174	184 279
	Undantagna exponeringar i enlighet med artikel 429.7 och 429.14 (i och utanför balansräkningen)			
EU-19a	(Undantag för exponeringar inom gruppen (individuellt nivå) i enlighet med artikel 429.7 i förordning (EU) nr 575/2013 (i och utanför balansräkningen))		-	-
EU-19b	(Undantagna exponeringar i enlighet med artikel 429.14 i förordning (EU) nr 575/2013 (i och utanför balansräkningen))		-	-
	Kapital- och sammanlagda exponeringar			
20	Primärkapital		158 332	148 550
21	Sammanlagda exponeringar i bruttosolidskattegrad (summa av raderna 3, 11, 16, 19, EU-19a och EU-19b)		3 051 376	3 050 195
	Bruttosolidskattegrad			
22	Bruttosolidskattegrad		5,19%	4,85%
	Val av övergångsarrangemang och belopp för förvaltningsposter som har tagits bort från balansräkningen			
EU-23	Val av övergångsarrangemang för definitionen av kapitalmättil		Transitional	Transitional
EU-24	Belopp för förvaltningsposter som har tagits bort från balansräkningen i enlighet med artikel 429.13 i förordning (EU) nr 575/2013		0	0

NOTER | KONCERNEN

K49 FÖRTE

Tabell 2.14 (Pelare 3) LRSum: Sammanfattande avstämning av redovisningstillgångar och exponeringar i bruttosoliditetsgrad

Tabellen specificerar redovisningstillgångar och exponeringar i bruttosoliditetsgrad per utgången av 2020 och föregående år.

Totalt exponeringsmått för bruttosoliditetsgrad har minskat jämfört med föregående år.

LRSum: Sammanfattande avstämning av redovisningstillgångar och exponeringar i bruttosoliditetsgrad mkr		2020	2019
1	Sammanlagda tillgångar enligt offentliga finansiella rapporter	3 135 288	3 069 667
2	Justiering för enheter som har konsoliderats för redovisningsändamål men som inte omfattas av konsolidering under tillägn	-189 427	-168 500
3	(Justiering för förväntningstillgångar som redovisas i balansräkningen i enlighet med den tillämpliga redovisningsramen, men som är undantagna från exponeringsmålet för bruttosoliditetsgrad i enlighet med artikel 429.13 i förordning (EU) nr 575/2013)	-	-
4	Justieringar för finansiella derivatinstrument	-17 590	-10 743
5	Justieringar för transaktioner för värdepappersfinansiering	3 750	3 342
6	Justiering för poster utanför balansräkningen (dvs konvertering till kreditivkvalitet för exponeringar utanför balansräkningen)	137 174	184 279
EU-6a	Justiering för exponeringar inom gruppen som inte omfattas av exponeringsmålet för bruttosoliditetsgrad i enlighet med artikel 429.7 i förordning (EU) nr 575/2013)	-	-
EU-6b	Justiering för exponeringar inom gruppen som inte omfattas av exponeringsmålet för bruttosoliditetsgrad i enlighet med artikel 429.14 i förordning (EU) nr 575/2013)	-	-
7	Andra justieringar	-17 819	-17 850
8	Summa exponeringsmätt för bruttosoliditetsgrad	3 081 376	3 080 186

Tabell 2.16 (Pelare 3) LRSpt: Uppdelning av exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och undantagna exponeringar)

Tabellen specificerar redovisningstillgångar och exponeringar i bruttosoliditetsgrad. Totalt exponeringsmätt för bruttosoliditetsgrad har ökat jämfört med föregående år.

LRSpt: Uppdelning av exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och undantagna exponeringar) mkr		2020	2019
EU-1	Sammanlagda exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och undantagna exponeringar) varav:	2 877 552	2 833 306
EU-2	Exponeringar i handelslagret	155 116	160 009
EU-3	Exponeringar utanför handelslagret, varav:	2 722 436	2 673 297
EU-4	Säkerställda obligationer	7 038	4 952
EU-5	Exponeringar som hanteras som exponeringar mot nationella regeringar	475 107	411 782
EU-6	Exponeringar mot delstatliga självstyrelseorgan, multilaterala utvecklingsbanker, internationella organisationer och offentliga organ som inte behandlas som exponeringar mot nationella regeringar	0	0
EU-7	Institut	7 227	7 346
EU-8	Säkrade genom pantstätt i fastigheter	2 004 442	1 984 322
EU-9	Hushållsexponeringar	47 450	52 512
EU-10	Förstag	155 006	186 732
EU-11	Fallerande exponeringar	4 366	4 703
EU-12	Övriga exponeringar (i ex aktier, värdepappersföretag och övriga motparts lösa tillgångar)	21 802	20 948

RESULTATRÄKNING | MODERBOLAGET

Resultaträkning Moderbolaget

mkr		2020	2019
Ränteintäkter	Not M3	20 350	28 701
Leasingintäkter	Not M3	1 963	1 488
Räntekostnader	Not M3	-9 242	-17 150
Erfådda utdelningar	Not M4	15 937	17 338
Provisionsintäkter	Not M5	7 485	8 028
Provisionskostnader	Not M5	-1 793	-2 017
Nettorasultat av finansiella transaktioner	Not M6	1 869	618
Övriga rörelseintäkter	Not M7	2 790	2 638
Summa rörelseintäkter		39 359	39 644
Allmänna administrationskostnader			
Personalkostnader	Not M8	-11 689	-10 148
Övriga administrationskostnader	Not M9	-5 684	-5 808
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar	Not M20, M21	-2 672	-2 156
Summa kostnader före kreditförluster		-20 045	-18 112
Resultat före kreditförluster		19 314	21 532
Kreditförluster, netto	Not M10	-477	-1 059
Nedskrivning av finansiella anläggningstillgångar		-79	-148
Rörelseresultat		18 758	20 325
Bokslutsdispositioner	Not M11	743	-380
Resultat före skatter		19 501	19 945
Skatter	Not M28	-4 275	-4 297
Årets resultat		15 226	15 648

TOTALRESULTAT | MODERBOLAGET

Totalresultat Moderbolaget

mkr	2020	2019
Årets resultat	15 226	15 648
Övrigt totalresultat		
Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen		
Eget kapital instrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-583	372
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	11	-21
varav eget kapital instrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	11	-21
Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	-572	351
Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen		
Kassaflödesstörningar	-1 677	1 751
Skuld instrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	7	7
Årets omräkningsdifferens	-2 184	-259
varav störing av nettotillgångar i utlandsvärksamhet	-256	-826
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	420	-200
varav kassaflödesstörningar	365	-375
varav skuld instrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-1	-2
varav störing av nettotillgångar i utlandsvärksamhet	56	177
Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-3 434	1 299
Summa övrigt totalresultat	-4 006	1 650
Årets totalresultat	11 220	17 298
Årets omklassificeringar till resultaträkningen framgår av Förändring i eget kapital.		

BALANSRÄKNING | MODERBOLAGET

Balansräkning Moderbolaget

mkp		2020	2019
TILLGÅNGAR			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		297 362	242 889
Belåningsbara statskuldförbindelser m m	Not M14	99 115	103 370
Utlåning till kreditinstitut	Not M12	953 650	890 557
Utlåning till allmänheten	Not M13	566 145	620 175
Värdetförändring på räntesäkrad post i portföljsäkning		13	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not M14	46 533	53 096
Aktier och andelar	Not M15	14 313	14 335
Aktier och andelar i koncern- och intressaförslag samt joint ventures	Not M16	73 057	72 138
Tillgångar där kunden står värdetförändringsrisken		7 405	6 443
Derivatinstrument	Not M17	33 031	41 840
Immateriella tillgångar	Not M20	3 459	3 190
Fastigheter, inventarier och leasingobjekt	Not M21	7 381	8 145
Aktuella skattefordringar		154	-
Uppskjutna skattefordringar	Not M28	1 173	653
Övriga tillgångar	Not M22	20 775	21 522
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	Not M23	1 297	1 152
Summa tillgångar	Not M34	2 124 863	2 079 605
SKULDER OCH EGET KAPITAL			
Skulder till kreditinstitut	Not M24	199 054	208 697
In- och upplåning från allmänheten	Not M25	1 021 130	918 146
Skulder där kunden står värdetförändringsrisken		7 405	6 443
Emitterade värdepapper m m	Not M26	657 520	724 640
Derivatinstrument	Not M17	44 774	38 669
Korta positioner	Not M27	1 682	1 856
Aktuella skatteskulder		-	202
Uppskjutna skatteskulder	Not M28	777	956
Avsättningar	Not M29	2 276	1 100
Övriga skulder	Not M30	9 125	8 790
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	Not M31	2 266	1 847
Efterstälda skulder	Not M32	41 082	35 546
Summa skulder	Not M34	1 081 091	1 046 862
Obeskattade reserver	Not M33	933	1 678
Aktiekapital		3 069	3 069
Överkursfond		8 758	8 758
Andra fonder		6 706	10 472
Balanserad vinst		109 080	92 988
Årets resultat		15 226	15 648
Summa eget kapital		142 639	130 635
Summa skulder och eget kapital		2 124 863	2 079 605

FÖRÄNDRING I EGET KAPITAL | MODERBOLAGET

Förändring i eget kapital Moderbolaget

mkr	Bundet eget kapital			Fritt eget kapital				Balanserade vinster/inri årets resultat	Totalt
	Aktiekapital	Reservfond	Fond för inri utvecklad programvara	Övertursfond	Säkringsreserv ¹	Verkligt värde-reserv ¹	Omräkningsreserv ¹		
Ingående eget kapital 2020	3 060	2 682	3 084	87 08	1 040	680	2 156	106 636	130 935
Årets resultat								15 226	15 226
Övrigt totalsresultat					-1 312	-566	-2 128		-4 006
varav omräknesförändring inom eget kapital ²						-684			-684
Årets totalsresultat					-1 312	-566	-2 128	15 226	11 220
Omräkningsförändring till balanserat resultat								684	684
Utdelning								-	-
Lämnade koncernbidrag								-	-
Skatteeffekt på koncernbidrag								-	-
Effekter av konvertibla förlagslån	-			-					-
Fond för inri utvecklad programvara			240					-240	
Utgående eget kapital 2020	3 060	2 682	3 274	87 08	628	94	28	121 306	142 830

mkr	Bundet eget kapital			Fritt eget kapital				Balanserade vinster/inri årets resultat	Totalt
	Aktiekapital	Reservfond	Fond för inri utvecklad programvara	Övertursfond	Säkringsreserv ¹	Verkligt värde-reserv ¹	Omräkningsreserv ¹		
Ingående eget kapital 2019	3 013	2 682	2 467	5 620	564	304	2 238	104 135	121 062
Årets resultat								15 648	15 648
Övrigt totalsresultat					1 376	356	-82		1 650
varav omräknesförändring inom eget kapital ²						75	-39		-84
Årets totalsresultat					1 376	356	-82	15 648	17 208
Omräkningsförändring till balanserat resultat								84	84
Utdelning								-10 693	-10 693
Lämnade koncernbidrag								-1	-1
Skatteeffekt på koncernbidrag								0	0
Effekter av konvertibla förlagslån	56			3 129					3 185
Fond för inri utvecklad programvara			537					-537	
Utgående eget kapital 2019	3 069	2 682	3 084	87 08	1 040	680	2 156	106 636	130 935

¹ Inri i fond för verkligt värde.

I omräkningsreserven inri omräknings effekter avseende koncernens utländska filialers balans- och resultaträkningar. Ackumulerade omräknings effekter tas upp till beskattning vid nedläggning eller avyttring av sådan filial. Skatteeffekterna avseende beskattning av omräknings effekter är mycket komplicerade och därför förväntas för olika tolkningar. Det kan därför inte utslutas att omräknings effekter kan komma att behöva tas upp till beskattning vid en tidigare tidpunkt än en avyttring/nedläggning.

Under perioden januari-december 2020 hade konvertibla till ett nominellt värde av - mkr (3 185) avseende konvertibla förlagslån konverterats till - A-aktier (35 853 334). Vid räkenskapsårets slut uppgick antalet egna aktier i handelslaget till 0 aktier (0).

FÖRÄNDRING I EGET KAPITAL | MODERBOLAGET

Specifikation av förändringar i eget kapital

Förändring av säkerhetsreserv mkr	2020	2019
Säkerhetsreserv vid årets ingång	1 940	554
Kassafördelsförklaring		
Effektiv del av förändringen i verkligt värde		
Ränterisk	-1 402	1 109
Valutakursrisk	-141	654
Realiserade värdeförändringar		
Omklassificerat till resultaträkningen ¹	-134	-12
Skatt	355	-375
Säkerhetsreserv vid årets utgång	628	1 940
Förändring av verkligt värdesreserv mkr	2020	2019
Verkligt värdesreserv vid årets ingång	660	304
Realiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	-572	351
Realiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	684	-15
Realiserade värdeförändringar – skuldinstrument	5	4
Förändring av reserv för förväntade kreditförluster – skuldinstrument	1	1
Omklassificerat till balanserade värnsmådel – eget kapitalinstrument ²	-684	15
Omklassificerat till resultaträkningen – skuldinstrument ³	-	-
Verkligt värdesreserv vid årets utgång	94	660
Förändring av omräkningarreserv mkr	2020	2019
Omräkningarreserv vid årets ingång	2 156	2 238
Förändring av omräkningsdifferens	-2 129	15
Omklassificerat till resultaträkningen ⁴	1	2
Omklassificerat till balanserade värnsmådel ⁵	-	-99
Omräkningarreserv vid årets utgång	28	2 156

¹ Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 29 mkr (3).² Skatt som omklassificerats till till balanserade värnsmådel hänförlig till denna post post 43 mkr (-).³ Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post post - mkr (0).⁴ Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 0 mkr (0).⁵ Skatt som omklassificerats till balanserade värnsmådel hänförlig till denna post - mkr (21).

KASSAFLÖDESANALYS | MODERBOLAGET

Kassaflödesanalys Moderbolaget

mkr	2020	2019
LÖPANDE VERKSAMHET		
Rörelseresultat	18 757	20 325
varav inbetalda räntor	21 017	28 760
varav utbetalda räntor	-9 909	-18 524
varav inbetalda utdelningar	15 937	17 338
Justering för ej kassaflödespåverkande poster i rörelseresultatet		
Kreditförluster	553	1 204
Orealiserade värdeförändringar	-645	-59
Av- och nedskrivningar	2 746	2 297
Koncernbidrag att erhålla	-15 135	-15 902
Betalda inkomstskatter	-4 910	-3 702
Förändring i den löpande verksamhetens tillgångar och skulder		
Utlåning till kreditinstitut	-63 093	-49 473
Utlåning till allmänheten	53 465	-9 636
Räntebärande värdepapper och aktier	9 595	12 716
Skulder till kreditinstitut	-14 309	-52 988
In- och upplåning från allmänheten	101 650	78 261
Emitterade värdepapper	-67 120	8 110
Derivatinstrument, nettopositioner	15 201	20 070
Korta positioner	-197	-4 439
Fondlikvidförändringar och fondlikvidskulder	871	7 396
Övrigt	11 261	-4 062
Kassaflöde från löpande verksamhet	48 690	10 028
INVESTERINGSVERKSAMHET		
Förvärv av och tillskott till intressalförtag	-984	-134
Försäljning av aktier och andelar	1 688	39
Förvärv av materiella anläggningstillgångar	-4 577	-6 833
Avyttning av materiella anläggningstillgångar	3 030	2 460
Förvärv av immateriella anläggningstillgångar	-852	-894
Avyttning av immateriella anläggningstillgångar	-	-
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-1 695	-8 362
FINANSIERINGSVERKSAMHET		
Amortering efterställda skulder	-2	-17 730
Emission efterställda skulder	8 176	4 670
Utbetald utdelning	-	-10 693
Utdelningar från koncernföretag	15 992	10 104
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	24 166	-13 649
varav valutakursförändringar	-519	635
Årets kassaflöde	71 161	-8 983
Likvida medel vid årets början	242 889	243 824
Kassaflöde från löpande verksamhet	48 690	10 028
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-1 695	-8 362
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	24 166	-13 649
Kursdifferens i likvida medel	-16 688	8 048
Likvida medel vid årets slut	297 362	242 889

Kassaflödesanalysen har upprättats i enlighet med den indirekta metoden, vilket innebär att rörelseresultatet har justerats för transaktioner som inte medfört in- eller utbetalningar, t.ex. avskrivningar och kreditförluster.

Likvida medel definieras som kassa och tillgodoavanden hos centralbanker.

5-årsöversikt Moderbolaget

Resultaträkning mkr	2020	2019	2018	2017	2016
Räntenetto	13 071	13 039	17 234	16 326	15 011
Erhållna utdelningar	15 937	17 338	11 023	13 705	17 045
Provisionsnetto	5 692	6 011	6 218	6 592	6 509
Nettoreultat av finansiella transaktioner	1 869	618	1 020	1 339	3 076
Övriga rörelseintäkter	2 790	2 638	2 805	1 690	1 647
Summa rörelseintäkter	30 359	30 644	38 300	30 652	43 288
Allmänna administrationskostnader					
Personalkostnader	-11 689	-10 148	-12 255	-10 938	-10 427
Övriga administrationskostnader	-5 684	-5 808	-6 332	-5 702	-5 224
Av- och nadschvningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar	-2 672	-2 156	-1 350	-1 094	-591
Summa kostnader före kreditförluster	-20 045	-18 112	-19 937	-17 734	-16 242
Resultat före kreditförluster	10 314	21 532	18 363	21 918	27 046
Kreditförluster, netto	-477	-1 059	-835	-1 685	-1 730
Nadschvning av finansiella anläggningstillgångar	-79	-148	-	-	-20
Rörelseresultat	18 708	20 325	17 528	20 233	25 296
Bokslutsdispositioner	743	-380	332	115	-193
Resultat före skatt	19 501	19 945	17 860	20 348	25 103
Skatter	-4 275	-4 297	-4 005	-4 662	-4 503
Årets resultat	15 226	15 648	13 855	15 686	20 600
Utdelning för året	8 118 ¹	-	10 693	14 581	9 721

¹ Enligt styrelsens förslag.

Totalresultat mkr	2020	2019	2018	2017	2016
Årets resultat	15 226	15 648	13 855	15 686	20 600
Övrigt totalresultat					
Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen					
Egetkapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-583	372	-188		
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	11	-21	1		
Varav egetkapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	11	-21	1		
Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	-572	381	-187		
Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen					
Kassafördelsåtkomster	-1 677	1 751	829	41	-1 882
Skuldlösningar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	7	7	-12		
Instrument tillgängliga för försäljning (AS 39)				-470	-1 152
Årets omräkningsdifferens	-2 184	-259	41	-2 261	387
Varav skatt på nett obli gån g e r i u t l a n d s v a r k s a m h e t	-256	-826	-848	-1 476	-65
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	420	-200	19	311	538
Varav kassafördelsåtkomster	365	-375	-178	-9	414
Varav skuldlösningar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-1	-2	3		
Varav instrument tillgängliga för försäljning (AS 39)				-5	110
Varav skatt på nett obli gån g e r i u t l a n d s v a r k s a m h e t	56	177	194	325	14
Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-3 434	1 299	877	-2 379	-2 109
Summa övrigt totalresultat	-4 008	1 680	690	-2 379	-2 109
Årets totalresultat	11 220	17 298	14 645	13 307	18 491

5-ÅRSÖVERSIKT | MODERBOLAGET

5-årsöversikt Moderbolaget, forts

Balansräkning mkr	2020	2019	2018	2017	2016
Tillgångar					
Utlåning till allmänheten	566 145	620 175	611 699	726 691	763 567
Utlåning till kreditinstitut	953 650	890 557	841 085	664 018	593 125
Förädlingsvärdpapper	145 648	156 466	169 911	172 107	154 547
Övriga tillgångar	459 420	412 307	431 004	381 060	383 465
Summa tillgångar	2 124 863	2 079 505	2 053 699	2 012 876	1 894 704
Skulder och eget kapital					
In- och upplåning från allmänheten	1 021 130	918 146	899 835	941 401	827 753
Skulder till kreditinstitut	193 054	208 697	261 735	193 822	189 176
Emitterade värdpapper	657 520	724 640	716 531	654 637	648 977
Efterställda skulder	41 082	35 546	51 085	32 896	33 400
Övriga skulder	68 305	59 863	62 565	69 237	77 963
Obeskattade reserver	933	1 678	886	683	793
Eget kapital	142 839	130 935	121 062	120 200	116 642
Summa skulder och eget kapital	2 124 863	2 079 505	2 053 699	2 012 876	1 894 704
Nyckeltal	2020	2019	2018	2017	2016
Reserveringsgrad för osäkra fordringar, %				65,7	60,1
Andel osäkra fordringar, %				0,18	0,28
Käpprimärkapitalrelation, % enligt CRR	31,7	20,2	18,7	21,4	23,4
Primärkapitalrelation, % enligt CRR	34,6	23,0	21,0	23,9	26,3
Total kapitalrelation, % enligt CRR	38,8	26,2	24,1	27,5	30,0
Förädlingsvärd på totalt kapital, %	0,65	0,74	0,69	0,74	0,99

För definitioner av alternativen nyckeltal hänvisas till sidan 266 och för beräkning av dessa nyckeltal hänvisas till Faktaboken som finns tillgänglig på handelsbanken.se/it.

Noter Moderbolaget

M1 Redovisningsprinciper

Lag- och föreskriftsenlighet

Moderbolagets årsredovisning är upprättad i enlighet med lagen 1995:1559 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅRL) och Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd FRS 2008:25 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Moderbolaget tillämpar också RFR 2 Redovisning för juridiska personer och uttalanden från Rådet för finansiell rapportering. I enlighet med Finansinspektionens allmänna råd tillämpar moderbolaget så kallad lagbegränsad IFRS. Det innebär att de internationella redovisningsstandarder och tolkningar av dessa standarder som har antagits av EU har tillämpats i den utsträckning som det är möjligt inom ramen för nationella lagar och föreskrifter samt sambandet mellan redovisning och beskattning.

Sambandet mellan moderbolagets och koncernens redovisningsprinciper
Moderbolagets redovisningsprinciper överensstämmer i stora delar med koncernens. I det följande redogörs endast för de områden där moderbolagets principer skiljer sig från koncernens. I allt övrigt hänvisas till redovisningsprinciperna för koncernen i not K1.

Presentation

Moderbolaget tillämpar de uppställningsformer för resultat- och balansräkning som följer av ÅRL och Finansinspektionens föreskrifter. Det innebär främst följande skillnader i förhållande till den uppställning som tillämpas av koncernen:

- Fordringar på centralbanker som är direkt disponibla på anmodan redovisas i moderbolagets balansräkning som utlåning till kreditinstitut. I koncernens balansräkning redovisas de i posten Övrig utlåning till centralbanker.
- Broker- och börskostnader redovisas i moderbolaget som Provisionskostnader.
- Erhållna utdelningar redovisas på särskild rad i moderbolagets resultaträkning.
- Resultatvid avyttring av materiella och immateriella anläggningstillgångar redovisas i moderbolaget som övrig intäkt eller kostnad.
- Obeskattade reserver redovisas i moderbolaget i en egen balanspost. I koncernen delas de upp i egen kapitalandel respektive skatteskuld.

Tillgångar och skulder i utländsk valuta

Lån i moderbolaget som säkrar nettoinvesteringar i utlandsverksamhet värderas till historisk anskaffningskurs.

Tillgångar som innehas för försäljning och avvecklad verksamhet

Någon såredovisning av nettoresultat efter skatt från avvecklad verksamhet sker inte i moderbolagets resultaträkning. I balansräkningen görs inte heller någon särskild uppdelning av tillgångar som innehas för försäljning.

Aktier och andelar i dotter- och intresseföretag samt joint ventures

Aktier och andelar i dotterföretag och intresseföretag samt joint ventures värderas till anskaffningsvärde. Varje balansdag prövas alla innehav för att bedöma om de behöver skrivas ner. I de fall värdet har minskat sker nedskrivning till koncernmässigt värde. Eventuella nedskrivningskostnader klassificeras i resultaträkningen som Nedskrivning av finansiella tillgångar. Utdelningar på aktier i dotter- och intresseföretag samt joint ventures redovisas som intäkt i resultaträkningen i posten Erhållna utdelningar.

Finansiella garantier

Finansiella garantier i form av borgensförbindelser till förmån för dotter- och intresseföretag samt joint ventures redovisas i moderbolaget som en avsättning i balansräkningen. I den utsträckning moderbolaget har ett befintligt åtagande och betalning sannolikt krävs för att reglera åtagandet.

Immateriella tillgångar

I moderbolaget görs avskrivningar på Inkrämsgoodwill och andra immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod i enlighet med bestämmelserna i ÅRL. De kundrelationer som förvärvat gett upphov till, och därmed nyttjandeperioden för Inkrämsgoodwill, är erfarenhetsmässigt mycket långa. Avskrivningstiden är satt till 20 år.

Leasing

Banken som leasegivare

Moderbolaget redovisar finansiella leasingavtal som operationella leasingavtal. Det innebär att tillgångarna redovisas som leasingobjekt med avskrivningar inom Av- och nedskrivningar

av materiella och immateriella anläggningstillgångar i resultaträkningen. Hyresintäkter redovisas som leasingintäkter inom Räntetotet i resultaträkningen.

Leasingobjekten består huvudsakligen av fordon och maskiner. Leasingobjekten skrivs av under leasingavtalets löptid enligt annuitetsmetoden.

Banken som leasetagare

Moderbolaget redovisar leasingavgifter som kostnader injämt över leasingperioden.

Utdelningar

I posten Erhållna utdelningar redovisas alla erhållna utdelningar i moderbolaget, inklusive utdelningar från dotterföretag, intresseföretag och joint ventures, samt erhållna koncernbidrag. Anticiperad utdelning redovisas endast om moderbolaget har beslutanderätt över utdelningens storlek och beslutet har fattats innan publiceringen av de finansiella rapporterna.

Redovisning av pensioner

Moderbolaget tillämpar inte bestämmelserna i IAS 19 om redovisning av förmånsbestämda pensionsplaner. Istället sker beräkning av kalkymässig pensionskostnad i moderbolaget enligt Tryggandelagens bestämmelser och Finansinspektionens föreskrifter. Det innebär framförallt skillnader i fråga om hur diskonteringsräntan fastställs och att beräkningen av framtida förpliktelse inte tar hänsyn till antaganden om framtida löneökningar. Redovisad nettokostnad för pensioner beräknas som summan av utbetalda pensioner, pensionspremier samt avsättning till pensionsstiftelse, med avräkning för eventuell gottgörelse från pensionsstiftelse. Årets nettokostnad för pensioner redovisas som Personalkostnad i moderbolagets resultaträkning.

Överskjutande belopp till följd av att förvaltningstillgångarnas värde överstiger beräknade pensionsförpliktelser redovisas inte som en tillgång i moderbolagets balansräkning. Underskott redovisas som en skuld.

Skatter

I moderbolaget redovisas obeskattade reserver som en egen post i balansräkningen. Obeskattade reserver består av en komponent som utgör uppehållsskatteskuld och en komponent som utgör eget kapital.

NOTER | MODERBOLAGET

M2 Risk- och kapitalhantering

Handelsbankkoncernens riskhantering beskrivs i not M2. Specifika uppgifter över moderbolagets riskar presenteras nedan. För definitioner se sidorna 250-252.

Kreditexponeringar Geografisk fördelning 2020 mkr		Sverige	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Poster i balansräkningen								
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		84525	18 026	217	114 600	11 095	68 950	297 362
Utlåning till kreditinstitut	Nor M12	883 811	3 330	23 679	40 780	225	1 825	953 650
Utlåning till alminnheten	Nor M13	193 657	163 015	52 232	81 511	63 905	11 825	566 145
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	Nor M14	98 353	-	-	-	-	762	99 115
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor M14	46 533	-	-	-	-	-	46 533
Derivatinstrument ¹	Nor M17	32 907	-	12	-	-	112	33 031
Summa		1 330 786	184 371	76 140	236 891	75 165	83 483	1 905 806
Poster utanför balansräkningen								
Eventualförbindelser	Nor M37	388 950	58 529	33 013	39 374	7 503	32 340	559 709
varav ansvarsförbindelser		53 417	5 702	8 984	11 041	121	20 209	99 474
varav återgåenden		335 533	52 827	24 029	28 333	7 382	12 131	460 235
Summa		388 950	58 529	33 013	39 374	7 503	32 340	559 709
Summa poster i och utanför balansräkningen		1 728 736	242 900	109 153	276 265	82 668	115 823	2 465 515

Kreditexponeringar Geografisk fördelning 2019 mkr		Sverige	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Poster i balansräkningen								
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		46551	22 097	270	106 105	7 996	59 870	242 889
Utlåning till kreditinstitut	Nor M12	820 107	9 588	19 175	37 221	89	4 377	890 557
Utlåning till alminnheten	Nor M13	210 745	185 803	60 055	84 623	56 975	21 904	620 175
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	Nor M14	102 364	-	-	-	-	1006	103 370
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor M14	53 096	-	-	-	-	-	53 096
Derivatinstrument ¹	Nor M17	41 807	-	7	-	-	26	41 840
Summa		1 274 670	217 488	79 507	228 019	65 060	87 183	1 801 927
Poster utanför balansräkningen								
Eventualförbindelser	Nor M37	372 096	66 221	33 826	43 017	7 765	47 280	570 205
varav ansvarsförbindelser		54 307	6 220	10 588	15 518	126	27 537	115 065
varav återgåenden		317 789	59 991	23 238	27 499	7 570	19 743	455 140
Summa		372 096	66 221	33 826	43 017	7 765	47 280	570 205
Summa poster i och utanför balansräkningen		1 646 766	283 709	113 333	271 036	72 825	134 463	2 372 132

Vid geografisk fördelning av ses det land där exponeringarna är redovisade.

¹ Avser summa positiva marknadsvärden. Om nötsliga hållbara nettringsavtal beaktas uppgår exponeringen till 18 185 mkr (29 817).

Utlåning till alminnheten Fördelat per sektor och bransch 2020 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
Privatpersoner	106 333	3 025	879	-28	-31	-482	109 696
Bostadsrättsföreningar	23 329	727	79	-2	-2	-35	24 096
Fastighetsförvaltning	267 249	20 050	996	-48	-183	-204	287 860
Tillverkningsindustri	19 235	3 339	173	-13	-18	-106	22 610
Handel	13 959	1 565	364	-13	-50	-92	15 743
Hotell- och restaurangverksamhet	3 520	2 206	8	-15	-62	-4	5 653
Person- och godstransport till sjöss	1 675	20 64	1 162	-1	-6	-288	4 606
Övrig transport och kommunikation	5 333	456	101	-6	-18	-79	5 787
Byggnadsverksamhet	11 697	1 430	137	-14	-31	-83	13 136
Elektricitet, gas och vatten	7 676	737	3	-2	-9	-1	8 404
Jordbruk, jakt och skogsbruk	5 307	346	52	-5	-11	-41	5 648
Övrig serviceverksamhet	7 334	577	309	-10	-27	-209	7 974
Holding-, investering- och försäkringsbolag, fonder m m	33 880	1 696	151	-12	-10	-105	35 600
Stat och kommun	1 594	16	-	0	-1	-	1 609
Övrig företagsutlåning	17 319	142	337	-3	-5	-67	17 723
Summa	828 490	38 378	4 781	-172	-484	-1 798	868 146

NOTER | MODERBOLAGET

M2 Forts

Utlåning till allmänheten Fördelat per sektor och bransch 2019 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Privatpersoner	115 165	3 663	1 023	-23	-27	-498	119 303
Bostadsrättsföreningar	33 325	1 116	68	-4	-4	-2	34 499
Fastighetsförvaltning	292 213	5 515	977	-69	-67	-203	298 346
Tillverkningsindustri	21 172	3 142	1 287	-10	-33	-1214	24 344
Handel	20 542	1 921	158	-11	-22	-110	22 478
Hotell- och restaurangverksamhet	3 898	103	15	-2	-2	-7	4 005
Person- och godstransport till sjöss	4 427	49	1 616	-1	-3	-496	5 592
Övrig transport och kommunikation	6 034	579	93	-3	-8	-78	6 617
Byggnadsverksamhet	12 489	1 030	250	-11	-15	-209	13 534
Elektricitet, gas och vatten	9 779	2 142	8	-2	-8	-8	11 911
Jordbruk, jakt och skogsbruk	4 939	335	73	-3	-7	-34	5 303
Övrig serviceverksamhet	10 204	745	234	-7	-18	-129	11 029
Holding-, investering- och försäkringsbolag, fonder m m	43 470	883	138	-11	-11	-106	44 363
Stat och kommun	1 161	2	-	0	0	-	1 163
Övrig företagsutlåning	17 258	143	522	-2	-2	-231	17 688
Summa	606 076	21 368	6 482	-150	-247	-3 326	620 176

Kreditföretag, fördelat per säkerhet 2020 mkr		Bostads- fastigheter ¹	Övriga fastigheter och landsting ²	Stat, kommun och landsting ³	Borgen ⁴	Finansiella säkerheter	Objekt	Övriga säkerheter	Blanko ⁴	Summa
Poster i balansräkningen										
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker				297 362						297 362
Utlåning till kreditinstitut	Nor M12	-	-	51 860	978	30 685	-	-	861 127	953 650
Utlåning till allmänheten	Nor M13	180 123	204 290	23 974	7 426	12 432	5 364	10 258	122 278	566 145
Belåningsbara statskultförbindelser m m	Nor M14			90 115						90 115
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor M14	-	-	2 563	-	-	-	-	43 970	46 533
Derivatinstrument	Nor M17	972	1 688	2 047	81	15 013	-	-	13 230	33 031
Summa		181 095	206 978	478 921	8 485	67 130	5 364	10 288	1 040 606	1 095 636
Poster utanför balansräkningen										
Eventuallöpplånelser	Nor M37	83 062	42 372	44 050	5 986	10 104	3 026	9 754	361 355	559 709
varav ansvärsförbindelser		6 207	1 712	12 239	2 854	1 255	2 905	1 034	71 257	99 474
varav låntaganden		76 855	40 660	31 811	3 122	8 849	1 20	8 720	290 098	460 235
Summa		83 062	42 372	44 050	5 986	10 104	3 026	9 754	361 355	559 709
Summa poster i och utanför balansräkningen		264 157	249 350	522 971	14 471	77 234	8 390	20 012	1 401 960	2 555 545

Kreditföretag, fördelat per säkerhet 2019 mkr		Bostads- fastigheter ¹	Övriga fastigheter och landsting ²	Stat, kommun och landsting ³	Borgen ⁴	Finansiella säkerheter	Objekt	Övriga säkerheter	Blanko ⁵	Summa
Poster i balansräkningen										
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker				242 889						242 889
Utlåning till kreditinstitut	Nor M12	-	-	2 969	45	-	-	-	887 543	890 557
Utlåning till allmänheten	Nor M13	186 011	213 900	23 547	13 051	10 614	5 537	23 125	144 960	620 175
Belåningsbara statskultförbindelser m m	Nor M14			103 370						103 370
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor M14			2 982					50 114	53 096
Derivatinstrument	Nor M17	463	875	1 739	60	29 993	0	184	8 526	41 840
Summa		186 474	214 175	377 406	13 156	40 607	5 537	23 309	1 061 173	1 061 927
Poster utanför balansräkningen										
Eventuallöpplånelser	Nor M37	56 661	33 796	30 213	3 678	4 703	1 209	20 315	410 630	570 205
varav ansvärsförbindelser		3 510	2 403	15 265	1 622	1 083	1 024	2 985	87 151	115 065
varav låntaganden		53 151	31 393	23 947	1 986	3 620	1 85	17 329	325 479	455 140
Summa		56 661	33 796	30 213	3 678	4 703	1 209	20 315	410 630	570 205
Summa poster i och utanför balansräkningen		243 135	247 971	416 700	16 834	45 310	6 746	43 624	1 501 803	2 522 132

¹ Inklusive bostadsrätter.² Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.³ Inkluderar ej statsgarantier.⁴ I denna kolumn ingår moderbolagets interna utlåning och låntaganden till koncernens dotterbolag. För poster i balansräkningen uppgår den interna utlåning till 913 321 mkr och för poster utanför balansräkningen uppgår den till 54 244 mkr.

MARKNADSRISK

Marknadersticker mkr	2020	2019
Ränterisk	1242	1 098
Valutarisk ¹	22	56
Aktskursrisk	65	221
Råvaruprisrisk	2	5

¹ Värsta utfall av +/-5% förändring av SEK.

NOTER | MODERBOLAGET

M2 FORTS

LIKVIDITETSRISK

Förtälsanalys för finansiella tillgångar och skulder 2020 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-3 år	Över 3 år	Opspecifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	297 384	-	-	-	-	-	-	297 384
Betalningsbara statskultförbindelser ¹	99 115	-	-	-	-	-	-	99 115
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	46 533	-	-	-	-	-	-	46 533
Utlåning till kreditinstitut varav omvändarepor	67 827 2 776	150 334 -	109 066 -	153 276 -	198 555 -	287 836 -	-	966 894 2 776
Utlåning till allmänheten varav omvändarepor	53 542 11 626	108 156 -	84 934 -	74 517 -	130 785 -	133 380 -	-	585 314 11 626
Övrigt varav aktier och andelar	17 551 14 373	- -	- -	- -	- -	- -	145 639	163 190 14 373
varav fordringar på fondlikvider	3 238	-	-	-	-	-	-	3 238
Summa tillgångar	681 982	258 490	104 000	227 793	329 340	421 218	145 639	2 188 430
Skulder till kreditinstitut varav repor	96 859 -	43 238 -	4 549 -	568 -	420 -	1 205 -	46 779	193 618 -
varav inlåning från centralbanker	17 334	29 110	-	-	-	-	374	40 758
In- och upplåning från allmänheten varav repor	15 076 -	9 861 -	1 977 -	3 655 -	360 -	38 -	989 695	1 020 662 -
Emitterade värdepapper ³ varav säkerställda obligationer	49 558 -	235 277 -	216 590 -	59 219 -	73 682 -	30 103 -	-	664 429 -
varav certifikat och andra värdepapper med ursprunglig löptid underliggande ett år	42 654	195 176	190 592	-	-	-	-	428 432
varav senare obligationer och andra värdepapper med ursprunglig löptid överliggande ett år	6 894	40 101	25 998	59 219	73 682	30 103	-	235 997
Ettårsställda skulder	-	9 937	-	2 935	19 014	8 281	-	40 167
Övrigt varav korta positioner	5 654 1 687	- -	- -	- -	- -	- -	208 665	214 319 1 687
varav fondlikviditetskulder	3 967	-	-	-	-	-	-	3 967
Summa skulder	167 147	208 313	223 118	66 377	93 478	39 627	1 245 139	2 133 105
Poster utanför balansräkningen Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelöften	460 235	-	-	-	-	-	-	-

Derivat 2020 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-3 år	Över 3 år	Summa
Summa derivat införde	203 343	419 683	119 243	92 612	185 031	100 891	1 121 803
Summa derivat utförde	206 625	427 457	118 845	93 932	185 640	101 566	1 134 095
Netto	-3 282	-7 774	398	-1 320	391	-706	-12 292

Förtälsanalys för finansiella tillgångar och skulder 2019 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-3 år	Över 3 år	Opspecifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	242 844	-	-	-	-	-	-	242 844
Betalningsbara statskultförbindelser ¹	103 370	-	-	-	-	-	-	103 370
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	53 095	-	-	-	-	-	-	53 095
Utlåning till kreditinstitut varav omvändarepor	93 282 211	87 882 -	82 087 -	164 154 -	195 014 -	289 158 -	-	911 577 211
Utlåning till allmänheten varav omvändarepor	44 767 104 38	124 985 -	92 110 -	83 439 -	157 207 -	140 807 -	-	643 315 10 438
Övrigt varav aktier och andelar	17 318 14 335	- -	- -	- -	- -	- -	153 742	171 060 14 335
varav fordringar på fondlikvider	2 983	-	-	-	-	-	-	2 983
Summa tillgångar	654 676	212 867	174 197	247 693	362 221	429 965	163 742	2 128 281
Skulder till kreditinstitut varav repor	121 452 -	26 407 -	5 239 -	304 -	854 -	1 328 -	54 029	209 613 0
varav inlåning från centralbanker	40 025	12 795	-	-	-	-	26	52 846
In- och upplåning från allmänheten varav repor	16 651 -	11 350 -	2 685 -	3 382 -	342 -	51 -	883 197	917 658 0
Emitterade värdepapper ³ varav säkerställda obligationer	49 583 -	272 285 -	214 779 -	75 202 -	110 421 -	15 966 -	-	738 236 0
varav certifikat och andra värdepapper med ursprunglig löptid underliggande ett år	44 672	245 855	114 912	-	-	-	-	405 439
varav senare obligationer och andra värdepapper med ursprunglig löptid överliggande ett år	4 911	26 430	99 867	75 202	110 421	15 966	-	332 797
Ettårsställda skulder	-	1 125	29	12 623	24 631	-	-	38 408
Övrigt varav korta positioner	4 705 1 865	- -	- -	- -	- -	- -	190 412	195 117 1 865
varav fondlikviditetskulder	2 840	-	-	-	-	-	-	2 840
Summa skulder	192 391	311 167	222 732	91 611	136 248	17 345	1 127 638	2 090 032
Poster utanför balansräkningen Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelöften	455 140	-	-	-	-	-	-	-

Derivat 2019 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-3 år	Över 3 år	Summa
Summa derivat införde	210 539	467 477	134 089	155 969	255 219	96 562	1 319 855
Summa derivat utförde	212 872	470 500	129 877	151 188	251 681	96 252	1 312 370
Netto	-2 333	-3 023	4 212	4 781	3 538	310	7 485

¹ Av beloppet (exklusive räntor) har 75 526 mkr (83 175) en återstående löptid som understiger ett år.² Av beloppet (exklusive räntor) har 7 184 mkr (16 653) en återstående löptid som understiger ett år.³ Av beloppet (exklusive räntor) har 498 032 mkr (528 690) en återstående löptid som understiger ett år.

För inlåningsvolym avser kolumn "Opspecifierad löptid" inlåning som är betalbar på anfordran.

Tabellen innehåller räntelåden vilket innebär att balansraderna Inre är avstämningssbara mot moderbolagets balansräkning.

NOTER | MODERBOLAGET

M3 Räntenetto

mkr	2020	2019
Räntesintätkter		
Utlåning till kreditinstitut och centralbanker	5 368	8 193
Utlåning till allmänheten	12 215	14 230
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	291	333
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	381	519
Derivatinstrument	1 172	4 083
Övriga räntesintätkter	811	832
Summa	20 238	28 190
Räntesintätkter redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	-112	-511
Summa räntesintätkter	20 350	28 701
varav räntesintätkter enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning	17 293	22 027
Leasingintätkter	1 063	1 488
Räntekostnader		
Skulder till kreditinstitut och centralbanker	-681	-1 161
In- och upplåning från allmänheten	-757	-1 413
Emitterade värdepapper	-7 239	-14 370
Derivatinstrument	1 813	2 776
Efterstälda skulder	-1 185	-1 282
Statliga avgifter	-762	-1 348
Övriga räntekostnader	-347	-351
Summa	-9 158	-17 140
Räntekostnader redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	84	1
Summa räntekostnader	-9 242	-17 180
varav räntekostnader enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning	-7 610	-14 617
Räntenetto	13 071	13 089
Avskrivningar enligt plan för finansiella leasingavtal ¹	-1 795	-1 348
Samtat räntenetto inklusive avskrivningar enligt plan för finansiella leasingavtal	11 276	11 691

¹ Redovisas i posten Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar.

På raderna Derivatinstrument ingår räntenetto som är hänförligt till tillgångar och skulder som säkras. Dessa kan ha både positiv och negativ inverkan på räntesintätkter och räntekostnader.

M4 Erhållna utdelningar

mkr	2020	2019
Utdelningar på aktier och andelar	76	246
Utdelningar från intressetföretag	-	3
Utdelningar från koncernföretag ¹	726	1 097
Erhållna koncernbidrag	15 135	15 922
Summa	16 037	17 338

¹ Varav 540 mkr (327) avser utdelning på kärnprimärkapitalen som Stadshypotek har klassificerat som eget kapitalinstrument.

M5 Provisionsnetto

mkr	2020	2019
Courtag och övriga värdepappersprovisioner	645	604
Fonder	926	1 186
Depå och övrig kapitalförvaltning	888	790
Rådgivning	184	207
Betalningar	2 915	3 424
Ut- och inlåning	905	870
Garantier	335	377
Övrigt	687	570
Summa provisionsintätkter	7 485	8 028
Värdepapper	-265	-251
Betalningar	-1 464	-1 695
Övrigt	-64	-71
Summa provisionskostnader	-1 793	-2 017
Provisionsnetto	5 692	6 011

Provisionsintätkter avser intätkter från avtal med kunder. Intätkter från Courtag och övriga värdepappersprovisioner, Rådgivning, Betalningar samt Ut- och inlåning redovisas huvudsakligen när tjänsterna utförs, då vill sågav id en viss tidpunkt. I Betalningar ingår kortavgivning och kortintätkter. Intätkter från Fonder, Depå och övrig kapitalförvaltning, Försäkringar och Garantier redovisas huvudsakligen i takt med att dessa tjänster utförs, då vill sågav injärt över tid.

NOTER | MODERBOLAGET

M6 Nettoresultat av finansiella transaktioner

mkr	2020	2019
Upplupet anskaffningsvärde	106	89
varav lån	106	73
varav räntebärande värdepapper	0	0
varav emitterade värdepapper	0	16
Värkligt värde via övrigt totalresultat	-1	-1
varav förväntade kreditförluster	-1	-1
Värkligt värde via resultaträkningen, värkligt värdeoptionen	304	646
varav räntebärande värdepapper	304	646
Värkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt inköpskurs effekter	1 427	-71
Säkringsredovisning	33	-45
varav nettoresultat säkringar av värkligt värde	34	-37
varav ineffektivitet i kassaflosssäkringar	-1	-8
Summa	1 860	618

M7 Övriga rörelseintäkter

mkr	2020	2019
Hyrerintäkter	26	27
Andra rörelseintäkter ¹	2 764	2 611
Summa	2 790	2 638

¹ I posten ingår ersättning för tjänster som moderbolaget sålt till dotterbolag.

M8 Personalkostnader

mkr	2020	2019
Löner och arvoden	-6 963	-7 015
Socialavgifter	-1 809	-1 816
Pensionskostnader ¹	-1 235	-1 202
Avsättning till resultatandelsystem	-213	644
Andra personalkostnader	-1 469	-759
Summa	-11 689	-10 148

¹ Uppgift om pensionskostnaderna visas i not M3B.

Löner och arvoden	2020	2019
mkr		
Ledande befattningshavare ² , 20 personer (20)	-72	-81
Övriga	-6 891	-6 934
Summa	-6 963	-7 015

² Ledande befattningshavare inklusive styrelse.

Könsfördelning	2020		2019	
%	Män	Kvinnor	Män	Kvinnor
Styrelse	50	50	55	45
Ledande befattningshavare exklusive styrelse	80	20	67	33

Medelantal anställda	2020	Män	Kvinnor	2019	Män	Kvinnor
Sverige	6 903	3 289	3 614	6 971	3 315	3 656
Storbritannien	0	0	0	0	0	0
Norge	779	414	365	768	408	360
Danmark	639	327	312	646	330	316
Finland	557	245	312	557	244	313
Nederländerna	315	198	117	293	188	105
USA	53	34	19	56	37	19
Kina	59	23	36	80	30	50
Luxemburg	45	24	21	46	26	20
Singapore	23	7	16	30	11	19
Tyskland	34	17	17	38	19	19
Polen	24	9	15	33	11	22
Övriga länder	21	5	16	42	14	28
Summa	9 452	4 692	4 760	9 660	4 633	4 927

Information om principer avseende ersättningar till ledande befattningshavare i moderbolaget finns i not K3.

NOTER | MODERBOLAGET

M9 Övriga administrationskostnader

mkr	2020	2019
Fastigheter och lokaler	-1 240	-1 241
Externa databaskostnader	-2 086	-2 108
Kommunikation	-235	-248
Resor och marknadsföring	-110	-214
Köpta tjänster	-1 202	-1 200
Materialanskaffning	-142	-157
Andra omkostnader	-660	-640
Summa	-6 664	-6 808
varav kostnader avseende operationell leasing		
Leasingavgift	-562	-525
Varabel avgift	-97	-112
Summa	-659	-637

Operationell leasing är främst hänförlig till för verksamheten normala avtal avseende kontorslokaler och kontorsutrustning. Hyreskostnader avseende lokaler har normalt en variabel avgift knuten till inflation och fastighetsskatt.

Avtalade, ej uppbyggda, framtida operationella leasingavgifter fördelade på förtärlighetspunkter mkr	2020	2019
Inom 1 år	-970	-954
Mellan 1 och 5 år	-3 270	-3 070
Senare än 5 år	-3 375	-3 348
Summa	-7 615	-7 382

Erstättning till revisorer och revisionsbolag	Ernst & Young AB		PricewaterhouseCoopers AB	
mkr	2020	2019	2020	2019
Revisionsuppdraget	-8	-10	-4	-4
Revisionsverksamhet utöver revisionsuppdraget	-	-1	-	-
Skatt rådgivning	0	-	-	-
Övriga tjänster	0	-	-	-

M10 Kreditförluster

mkr	2020	2019
Förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen		
Årets reservering Stag 3	-699	-1 475
Stag 3 reservering tidigare år som återförts	526	334
Summa förväntade kreditförluster i Stag 3	-173	-1 141
Årets nettoreservering Stag 2	-237	90
Årets nettoreservering Stag 1	-23	-7
Summa förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2	-260	83
Summa förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen	-433	-1 058
Förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen		
Årets nettoreservering Stag 3	-20	-107
Årets nettoreservering Stag 2	-62	-7
Årets nettoreservering Stag 1	-15	-2
Summa förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen	-97	-116
Bortskrivningar		
Årets konstaterade kreditförluster ¹	-1 648	-353
Utnyttjad andel av tidigare reserverat i Stag 3	1 622	323
Summa bortskrivningar	-26	-30
Åsavinningar	79	145
Kreditförluster, netto	-477	-1 050
varav utifrån tillgångens värde	-378	-943

¹ Av årets konstaterade kreditförluster omfattas 223 mkr (107) av efterbevakning.

NOTER | MODERBOLAGET

M10 Forts

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2020

mkr	Brutto			Reserver		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3 ¹	Steg 1	Steg 2	Steg 3
Poster i balansräkningen						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	257 362	-	-	0	-	-
Belåningsbara statskultförbindelser m m	1 163	-	-	-	-	-
Utlåning till kreditinstitut	953 640	17	-	-1	-6	-
Utlåning till allmänheten	525 450	38 376	4 751	-172	-464	-1 796
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	7 964	-	-	-2	-	-
Summa	1 736 579	38 393	4 751	-175	-470	-1 796
Poster utanför balansräkningen						
Eventuallförpliktelser	409 604	8 890	440	-51	-110	-119
varav ansvärsförbindelser	37 320	1 370	184	-10	-17	-70
varav åtaganden	312 284	6 220	256	-41	-93	-49
Summa	409 604	8 890	440	-51	-110	-119

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2019

mkr	Brutto			Reserver		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3 ¹	Steg 1	Steg 2	Steg 3
Poster i balansräkningen						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	242 889	-	-	0	-	-
Belåningsbara statskultförbindelser m m	1 410	-	-	0	-	-
Utlåning till kreditinstitut	850 368	193	-	-1	-3	-
Utlåning till allmänheten	506 076	21 368	6 462	-159	-247	-3 325
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	4 953	-	-	-2	-	-
Summa	1 736 696	21 561	6 462	-162	-250	-3 325
Poster utanför balansräkningen						
Eventuallförpliktelser	435 921	7 921	685	-38	-50	-106
varav ansvärsförbindelser	111 518	3 020	527	-7	-13	-71
varav åtaganden	324 403	4 901	158	-31	-37	-35
Summa	435 921	7 921	685	-38	-50	-106

¹ Bruttovolym i Steg 3 där ingen reservering gjorts på grund av säkerheter uppgår till 1 173 mkr (1 237).

Nyckeltal kreditförluster		
	2020	2019
Utlåning till allmänheten		
Kreditförlustnivå ack, %	0,06	0,15
Total reserveringsgrad, %	0,43	0,60
Reserveringsgrad Steg 1, %	0,03	0,03
Reserveringsgrad Steg 2, %	1,21	1,16
Reserveringsgrad Steg 3, %	37,80	51,45
Andel utlåning i Steg 3, %	0,52	0,50

NOTER | MODERBOLAGET

MIO Forts

FÖRÄNDRINGSANALYSER

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2020				2019			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-162	-250	-3 325	-3 737	-153	-339	-2 472	-2 964
Bortbokningar	20	48	95	163	20	41	75	136
Bortskrivningar	0	1	1 621	1 622	0	1	322	323
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-115	-99	53	-161	-62	-167	42	-187
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	0	0	-	0
Valutaeffekt m m	8	12	61	81	-2	-4	-35	-41
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-21	-8	-7	-36	-19	-7	-3	-29
Förflyttning till Stag 1	-8	11	3	6	-13	24	1	12
Förflyttning till Stag 2	46	-283	3	-234	38	-101	13	-50
Förflyttning till Stag 3	57	98	-300	-145	29	302	-1 268	-937
Reserv vid årets utgång	-175	-470	-1 706	-2 441	-162	-260	-3 326	-3 737

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, utlåning till allmänheten

mkr	2020				2019			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-159	-247	-3 325	-3 731	-149	-331	-2 472	-2 952
Bortbokningar	19	46	95	160	19	35	75	129
Bortskrivningar	0	1	1 621	1 622	0	1	322	323
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-114	-100	53	-161	-62	-166	42	-186
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	0	0	-	0
Valutaeffekt m m	8	12	61	81	-2	-4	-35	-41
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-20	-8	-7	-35	-19	-7	-3	-29
Förflyttning till Stag 1	-8	11	3	6	-13	24	1	12
Förflyttning till Stag 2	45	-277	3	-229	38	-100	13	-49
Förflyttning till Stag 3	57	98	-300	-145	29	301	-1 268	-938
Reserv vid årets utgång	-172	-464	-1 706	-2 432	-159	-247	-3 326	-3 731

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2020				2019			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-38	-50	-106	-194	-36	-43	-	-79
Bortbokningar	4	7	-	11	5	7	-	12
Bortskrivningar	0	0	-	0	0	0	-	0
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-18	-24	-13	-55	-6	-1	-106	-113
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	0	0	-	0
Valutaeffekt m m	1	2	-	3	0	0	-	0
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-7	-1	-	-8	-7	-8	-	-15
Förflyttning till Stag 1	-2	3	-	1	-2	5	-	3
Förflyttning till Stag 2	7	-53	-	-46	7	-21	-	-14
Förflyttning till Stag 3	2	6	-	8	1	11	-	12
Reserv vid årets utgång	-61	-110	-119	-290	-36	-60	-106	-194

Förändringsanalysen visar nettoeffekten på reserven i angivet stag per förklaringspost under perioden. Effekten av bortbokningar och bortskrivningar beräknas på ingående balans. Effekten av omvärdering till följd av förändringar i modell/riskparametrar samt valutaeffekt m m beräknas innan eventuell förflyttning av nettobeloppet mellan stag. Nyutgivna eller förvärvade tillgångar och förflyttade belopp mellan stagen redovisas efter att effekten av övriga förklaringsposter beräknats. Förflyttningarna anger effekten på reserven i angivet stag.

NOTER | MODERBOLAGET

M10 Forts

Förändring av bruttovolymer, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2020				2019			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volyminvid årets ingång	1 735 696	21 561	6 462	1 763 719	1 672 942	28 353	5 443	1 706 738
Bortbokningar	-108 135	-4 592	-282	-113 009	-101 923	-5 894	-272	-108 159
Bortskrivningar	-3	-7	-1 636	-1 646	-7	-6	-334	-347
Omvärdning till följd av förändring i kreditrisk	169 943	-886	-651	168 406	61 480	-2 513	-608	58 359
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m.m.	-55 998	-1 214	-198	-57 410	17 888	531	79	18 498
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	66 245	2 395	23	68 663	87 237	1 973	20	89 230
Förflyttning till Steg 1	10 469	-10 455	-14	-	15 479	-15 455	-24	-
Förflyttning till Steg 2	-32 222	32 283	-61	-	-16 519	16 622	-103	-
Förflyttning till Steg 3	-416	-692	1 108	-	-211	-2 050	2 261	-
Volyminvid årets utgång	1 785 579	38 393	4 761	1 828 723	1 736 696	21 561	6 462	1 763 719

Förändring av bruttovolymer, utlåning till allmänheten

mkr	2020				2019			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volyminvid årets ingång	596 076	21 368	6 462	623 906	581 252	27 956	5 443	614 651
Bortbokningar	-68 578	-4 442	-274	-73 294	-80 023	-5 656	-272	-85 951
Bortskrivningar	-3	-7	-1 636	-1 646	-7	-6	-334	-347
Omvärdning till följd av förändring i kreditrisk	-19 898	805	-658	-19 751	17 501	-2 448	-599	14 454
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m.m.	-22 344	-1 215	-198	-23 757	8 078	531	79	8 688
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	60 704	2 392	23	63 119	70 478	1 913	20	72 411
Förflyttning till Steg 1	10 469	-10 455	-14	-	15 477	-15 453	-24	-
Förflyttning till Steg 2	-30 560	30 621	-61	-	-16 469	16 573	-104	-
Förflyttning till Steg 3	-416	-691	1 107	-	-211	-2 042	2 253	-
Volyminvid årets utgång	625 460	38 378	4 761	668 577	606 076	21 988	6 462	623 906

Förändring av bruttovolymer, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2020				2019			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volyminvid årets ingång	435 921	7 921	685	444 527	463 128	7 304	425	470 857
Bortbokningar	-26 575	-1 346	-25	-27 946	-25 408	-1 257	-9	-26 674
Bortskrivningar	0	0	-2	-2	0	0	-6	-6
Omvärdning till följd av förändring i kreditrisk	-17 412	1 215	-298	-16 495	-33 812	1 774	131	-31 907
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m.m.	-5 344	-220	-5	-5 569	2 893	166	12	3 071
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	24 185	233	1	24 419	28 172	1 014	0	29 186
Förflyttning till Steg 1	6 885	-6 882	-3	-	6 127	-6 126	-1	-
Förflyttning till Steg 2	-8 034	8 039	-5	-	-5 152	5 164	-12	-
Förflyttning till Steg 3	-22	-70	92	-	-27	-118	145	-
Volyminvid årets utgång	409 604	8 800	440	418 834	436 621	7 621	685	444 927

Förändringsanalysen avseende bruttovolymer visas i likhet med analysen av reserv, effekten av valda förklaringsposter på volymerna i angivet steg. Posterna för förflyttning mellan stegen och "Nyutgivna eller förvärvade tillgångar" anger beloppen i angivet steg vid periodens utgång. Övriga poster anger effekten i det steg som var gällande vid periodens ingång.

NOTER | MODERBOLAGET

MIO FORTS

KÄNSLIGHETSSANALYSER

Känslighetsanalys makroszenarier

Beräkningen av förväntade kreditförluster enligt IFRS 9 tillämpar framåtblickande information i form av makroszenarier. Den förväntade kreditförlusten är ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de beräknade prognoserna över tre scenarier. Prognosen i det neutrala scenariet vägs med 70% [60], medan en uppgång i ekonomin vägs med 15% [15] och en nedgång i ekonomin med 15% [25]. I tabellen nedan presenteras de högsta, lägsta och genomsnittliga årliga prognoserna för några av de centrala makroekonomiska riskfaktorerna per hemmamarknad och scenario för de kommande fem åren. Dessa har legat till grund för beräkningar av förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2 per den 31 december 2020 respektive 31 december 2019.

Makroekonomiska riskfaktorer	Lägsta						Genomsnittliga						Högsta					
	Negativt		Neutralt		Positivt		Negativt		Neutralt		Positivt		Negativt		Neutralt		Positivt	
	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019
BNP-tillväxt																		
Sverige	-1,70	-1,49	2,00	0,81	1,70	1,70	1,74	1,84	2,51	1,96	3,14	2,08	3,20	2,70	3,90	2,20	4,90	2,84
Norge	-0,05	-0,04	1,60	1,24	1,90	1,20	1,40	1,57	2,11	1,67	2,74	1,78	2,20	1,85	3,64	1,84	6,04	3,64
Danmark	-1,65	-0,66	1,48	1,09	1,18	1,10	1,16	1,90	1,89	1,49	2,52	1,59	2,16	1,81	2,75	1,81	4,63	3,04
Finland	-1,27	-1,67	1,55	0,73	1,25	1,10	1,05	1,50	1,78	1,62	2,30	1,73	2,06	1,95	2,52	1,88	4,82	2,63
Nederländerna och övriga Europa	0,66	-1,17	1,30	0,93	1,00	1,00	1,43	1,16	2,15	1,28	2,77	1,99	1,90	1,70	4,40	1,40	6,79	2,63
USA	0,05	0,54	2,00	1,25	1,70	1,94	1,88	1,95	2,56	1,98	3,19	2,02	2,60	2,50	3,77	2,30	6,17	2,30
Övriga länder	1,89	2,40	3,50	2,90	3,20	3,00	3,45	3,07	3,82	3,10	4,33	3,12	4,01	3,50	5,10	3,50	7,19	3,50
Arbetskraftsindex																		
Sverige	9,10	6,60	6,90	6,60	6,55	6,30	9,84	6,90	7,64	6,75	6,90	6,65	10,81	8,35	8,90	7,24	7,71	6,70
Norge	4,10	3,50	2,75	3,40	2,60	2,80	4,66	3,61	2,95	3,50	2,69	3,39	5,46	4,40	3,30	3,60	2,80	3,50
Danmark	7,70	5,50	5,50	5,18	5,20	4,68	8,18	5,67	5,96	5,50	5,40	5,40	8,68	7,00	6,60	5,60	5,50	5,50
Finland	8,70	6,90	6,70	6,48	6,50	5,80	9,58	7,05	7,39	6,88	6,68	6,74	10,35	8,20	8,23	6,90	7,25	6,90
Nederländerna och övriga Europa	10,00	7,80	8,00	7,80	7,90	6,90	11,04	8,05	8,79	7,83	8,15	7,70	11,85	9,50	9,31	8,10	8,54	7,80
USA	6,80	4,24	4,30	4,04	3,70	3,74	7,70	4,53	5,17	4,48	4,14	4,42	8,80	4,90	6,28	4,50	5,00	4,50
Övriga länder	7,60	6,00	6,00	6,00	5,80	5,85	9,58	6,03	7,10	6,01	6,46	5,99	12,02	6,40	8,50	6,10	7,22	6,00
Styrmintan																		
Sverige	0,00	-0,50	0,00	0,00	0,00	0,50	0,00	2,14	0,15	2,34	0,32	2,45	0,00	3,30	0,50	3,30	0,70	3,30
Norge	0,00	0,25	0,00	1,50	0,00	2,00	0,00	2,08	0,40	2,29	0,57	2,38	0,00	3,10	0,75	3,10	0,95	3,10
Danmark	0,05	-0,05	0,05	0,05	0,05	0,25	0,05	1,70	0,09	1,91	0,26	1,99	0,05	3,12	0,25	3,12	0,45	3,12
Finland	0,00	-0,10	0,00	0,00	0,00	0,25	0,00	1,69	0,05	1,91	0,22	1,99	0,00	3,12	0,25	3,12	0,45	3,12
Nederländerna och övriga Europa	0,00	-0,10	0,00	0,00	0,00	0,25	0,00	1,69	0,05	1,91	0,22	1,99	0,00	3,12	0,25	3,12	0,45	3,12
USA	0,13	0,88	0,13	1,38	0,13	1,63	0,13	2,64	0,28	2,70	0,45	2,73	0,13	3,30	0,63	3,30	0,83	3,30
Övriga länder	1,80	2,60	1,80	2,80	1,80	2,95	2,02	3,54	2,22	3,57	2,39	3,60	2,25	4,10	3,00	4,10	3,20	4,10
Fästighetsprisindex, kommersiella fastigheter																		
Sverige	-22,93	-7,65	-1,26	-7,77	1,81	-11,16	-5,15	-1,53	1,37	-1,42	4,44	-1,17	5,78	6,92	3,57	11,48	5,76	22,99
Norge	-21,07	-5,77	-2,53	-5,03	0,94	-7,44	-3,11	-1,54	1,46	-1,45	3,01	-1,31	8,01	3,06	4,41	5,20	4,66	9,47
Danmark	-17,98	-8,94	-2,45	-8,49	0,60	-10,81	-4,44	-2,11	0,60	-1,97	2,19	-1,81	4,39	3,42	3,02	7,07	3,38	12,50
Finland	-21,25	-8,25	-2,25	-7,24	3,11	-9,98	-3,49	-1,08	1,98	-0,92	3,91	-0,72	7,20	7,07	5,14	8,74	4,81	17,77
Nederländerna och övriga Europa	-21,27	-6,29	-4,37	-5,72	0,62	-5,46	-4,44	0,03	0,65	0,27	2,61	0,75	5,41	2,02	3,59	4,70	4,23	12,48
USA	2,00	1,25	0,20	-4,97	2,00	1,25	2,56	1,98	0,58	0,75	2,56	1,98	3,77	2,30	1,59	2,58	3,77	2,30
Övriga länder	0,66	-1,17	1,30	0,93	1,00	1,00	1,43	1,16	2,15	1,28	2,77	1,99	1,90	1,70	4,40	1,40	6,79	2,63
Fästighetsprisindex, bostadsfastigheter																		
Sverige	-4,91	-0,74	1,35	0,03	1,22	-0,37	0,30	1,79	2,47	1,96	3,40	2,14	5,11	6,55	4,19	5,28	6,30	7,76
Norge	-4,98	-0,40	2,05	1,86	3,02	0,43	2,42	2,85	3,67	2,96	4,63	3,09	5,97	4,80	4,46	5,62	9,28	9,31
Danmark	-7,45	-2,77	0,40	1,75	0,41	1,45	-0,25	2,88	1,27	3,02	2,66	3,17	3,95	4,72	2,22	3,90	6,06	6,23
Finland	-0,54	0,92	1,53	1,51	1,88	1,57	1,08	1,59	1,78	1,71	2,28	1,81	1,95	1,77	1,92	1,89	2,92	2,46
Nederländerna och övriga Europa	-4,42	-1,70	2,00	1,80	1,70	1,70	1,29	2,14	2,52	2,36	2,86	2,43	3,56	2,50	3,56	2,50	6,35	3,20
USA	-4,42	-1,70	2,00	1,80	1,70	1,70	1,29	2,14	2,52	2,36	2,86	2,43	3,56	2,50	3,56	2,50	6,35	3,20
Övriga länder	-4,42	-1,70	2,00	1,80	1,70	1,70	1,29	2,14	2,52	2,36	2,86	2,43	3,56	2,50	3,56	2,50	6,35	3,20

Tabellen nedan visar procentuell ökning respektive minskning av reserven för förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2 per den 31 december, om det negativa respektive positiva scenariot tilldelats sannolikhet om 100%.

%	2020		2019	
	Procentuell ökning av reserv vid negativt scenario	Procentuell minskning av reserv vid positivt scenario	Procentuell ökning av reserv vid negativt scenario	Procentuell minskning av reserv vid positivt scenario
Sverige	15,50	-8,97	8,26	-8,20
Norge	11,61	-6,32	4,20	-4,42
Danmark	11,07	-6,35	4,60	-4,78
Finland	10,75	-6,07	5,95	-5,78
Nederländerna	2,75	-1,54	1,28	-1,27
USA	41,52	-24,50	6,60	-7,54
Övriga länder	14,29	-7,16	7,11	-6,94

NOTER | MODERBOLAGET

M10 Forts

Känslighetsanalys betydande ökning av kreditrisk

Tabellen nedan visar hur reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december påverkas om det gränsvärde som tillämpas för kvoten mellan återstående kreditrisk bärkraft vid rapportering och första redovisningsstillfället var satt till 0,5 enheter låga respektive höga än det tillämpade gränsvärdet 2,5. En minskning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle öka antalet lån som överförs från Steg 1 till Steg 2 och också öka reserven för förväntade kreditförluster. En ökning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle ha motsatt effekt. Banken använder både kvantitativa och kvalitativa indikatorer för att bedöma betydande ökning av kreditrisk. För utförligare information, se not K2 avsnitt Kreditrisk.

Förändring av den totala reserven för Steg 1 och Steg 2, %	2020	2019
Gränsvärde		
2	3,80%	3,09
2,5	0,00%	0,00
3	-2,29%	-2,97

KREDITEXPONERING SOM ÄR FÖREMÅL FÖR NEDSKRIVNINGSPRÖVNING PER PD-INTERVALL

Poster i balansräkningen fördelat på pd-intervaller	2020			2019		
	Bruttovolym, mkr			Bruttovolym, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde ¹						
0,00 till <0,15	1 607 252	12 169	-	1 513 033	6 227	-
0,15 till <0,25	77 581	2 086	-	97 660	1 022	-
0,25 till <0,50	49 972	6 938	-	59 019	1 487	-
0,50 till <0,75	19 043	2 258	-	21 908	1 859	-
0,75 till <2,50	27 016	9 072	-	34 606	3 810	-
2,50 till <10,00	4 380	4 597	-	8 763	5 669	-
10,00 till <100	335	1 273	-	537	1 487	-
100 (fullsamarbete)	-	-	4 751	-	-	6 462
Summa	1 785 579	38 393	4 751	1 735 698	21 581	6 462

Utlåning till allmänheten fördelat på pd-intervaller	2020			2019		
	Bruttovolym, mkr			Bruttovolym, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde ¹						
0,00 till <0,15	472 973	12 165	-	519 609	6 079	-
0,15 till <0,25	22 890	2 085	-	38 535	1 013	-
0,25 till <0,50	14 705	6 935	-	20 268	1 474	-
0,50 till <0,75	5 604	2 257	-	7 555	1 842	-
0,75 till <2,50	7 950	9 068	-	11 915	3 776	-
2,50 till <10,00	1 289	4 594	-	3 010	5 710	-
10,00 till <100	99	1 272	-	184	1 474	-
100 (fullsamarbete)	-	-	4 751	-	-	6 462
Summa	526 490	38 376	4 751	596 076	21 388	6 462

Poster utanför balansräkningen fördelat på pd-intervaller	2020			2019		
	Bruttovolym, mkr			Bruttovolym, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde ¹						
0,00 till <0,15	352 268	2 890	-	372 960	2 728	-
0,15 till <0,25	20 207	841	-	24 789	1 350	-
0,25 till <0,50	15 068	1 531	-	19 580	528	-
0,50 till <0,75	5 586	781	-	6 152	557	-
0,75 till <2,50	15 434	1 358	-	11 317	851	-
2,50 till <10,00	1 017	1 154	-	1 078	1 555	-
10,00 till <100	24	335	-	45	352	-
100 (fullsamarbete)	-	-	440	-	-	685
Summa	406 604	8 890	440	435 921	7 921	685

¹ Avser 12-månaders pd-värde vid rapporteringstillfället.

Tillgångar övertagna för skyddande av fordran	2020	2019
mkr		
Fastigheter	-	3
Lös egendom	2	1
Aktier och andelar	0	0
Redovisat värde	2	4

M11 Bokslutsdispositioner

mkr	2020	2019
Förändring av överavskrivning inventarier och leasingobjekt	650	-500
Förändring av överavskrivning inretningsgoodwill	93	120
Summa	743	-380

M12 Utlåning till kreditinstitut

mkr	2020	2019
Utlåning i svenska kronor		
Banker	1 400	2 259
Övriga kreditinstitut ¹	649 050	571 905
Summa	650 450	574 164
Utlåning i utländsk valuta		
Banker	35 926	29 250
Övriga kreditinstitut	267 191	287 057
Summa	303 117	316 307
Reservering för förväntade kreditförluster	-7	-4
Summa utlåning till kreditinstitut	953 553	890 527
varav upplupna räntaunderskott	869	1 047
varav omvända räpor	2 776	211
varav efterställda	28 394	29 078
Modervolymer		
mkr	2020	2019
Utlåning till kreditinstitut i svenska kronor	630 019	579 403
Utlåning till kreditinstitut i utländsk valuta	339 627	332 346
Summa	969 646	911 749
varav omvända räpor	10 486	7 043

¹ Varav 21 812 mkr (21 335) avser källprimärkapitallån som Stadshypotek har klassificerat som eget kapitalinstrument.

M13 Utlåning till allmänheten

mkr	2020	2019
Utlåning i svenska kronor		
Hushåll	28 799	31 380
Företag	132 242	150 255
Riksgälden	474	-
Summa	161 515	181 635
Utlåning i utländsk valuta		
Hushåll	108 223	113 975
Företag	298 838	328 296
Riksgälden	-	-
Summa	407 061	442 271
Reservering för förväntade kreditförluster	-2 431	-3 731
Summa utlåning till allmänheten	566 145	620 175
varav upplupna räntaunderskott	760	1 119
varav omvända räpor	11 627	10 441
varav efterställda	1 132	1 132
Modervolymer, exkl Riksgälden		
mkr	2020	2019
Utlåning till allmänheten i svenska kronor	188 619	203 571
Utlåning till allmänheten i utländsk valuta	423 692	444 497
Summa	612 311	648 068
varav omvända räpor	18 349	16 205

NOTER | MODERBOLAGET

M14 Räntebärande värdepapper

	2020			2019		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
mikr						
Bekräftade statskuldförbindelser m.m.	99 115	99 115	97 152	103 370	103 370	101 137
varav upplupna ränteläster	195			217		
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	46 533	46 533	43 351	53 096	53 096	50 698
varav upplupna ränteläster	195			212		
Summa	145 848	145 848	140 503	156 668	156 668	151 835
varav efterställda	4	4		15	15	

Räntebärande värdepapper fördelade på emittent	2020			2019		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
mikr						
Stat	99 115	99 115	97 152	103 370	103 370	101 137
Kreditinstitut	9 091	9 091	8 656	10 529	10 529	9 911
Bostadsinstitut	31 317	31 317	28 819	36 273	36 273	34 597
Övrigt	6 125	6 125	5 876	6 294	6 294	6 190
Summa	145 848	145 848	140 503	156 668	156 668	151 835

Räntebärande värdepapper som är föremål för nedsättningsprövning			2020	2019
mikr				
Bekräftade statskuldförbindelser m.m.				
Verkligt värde via övrigt totalresultat			401	403
Upplupet anskaffningsvärde			762	1 007
Summa bruttovolymer			1 163	1 410
Reservering för förväntade kreditförluster avseende instrument värderade till upplupet anskaffningsvärde			0	0
Summa redovisat värde			1 163	1 410
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i verkligt värdesreserven i eget kapital			0	0
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via övrigt totalresultat			7 964	4 963
Summa redovisat värde			7 964	4 963
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i verkligt värdesreserven i eget kapital			-2	-2

Modervolymer			2020	2019
mikr				
Räntebärande värdepapper			167 504	222 592

M15 Aktier och andelar

			2020	2019
mikr				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt			13 614	12 032
Verkligt värde via övrigt totalresultat			699	2 303
Summa aktier och andelar			14 313	14 335

Innehav klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat			2020	2019
mikr				
BEC			295	489
Visa Inc			155	308
Övriga innehav			249	363
Euroclear plc			-	431
Enento Group Oy			-	712
Summa			699	2 303

Handelsbanken klassificerar ovanstående aktieinnehav till verkligt värde via övrigt totalresultat då dessa inte innehåller handelsytta. Under året erhöill Handelsbanken endast utdelningar för aktier som tillhandahålls vid rapporteringsperiodens slut. Utdelningarna uppgår till 53 mikr (110) och redovisas i resultaträkningen som övriga utdelningsintäkter. Under året har Banken avyttrat innehav i Lat-P Holdings A/S, Euroclear, BEC, V.P.A.S, Kreditandelslag, Vaerdpapircentralen, Enento Group Oy, Visa Inc samt en bostadsrättsförening om totalt 1 688 mikr (30). Skälet till avyttringarna var huvudsak omkostnader samt att aktierna justerats i förhållande till andelarna.

För information om omsättnings- och realiserat resultat för eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat se Förändring av eget kapital Moderbolag.

M16 Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures

Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures mkr	2020	2019
Koncernföretag, icke-noterade	72 749	71 925
Intresseföretag, icke-noterade	213	213
Joint ventures, icke-noterade	95	
Summa	73 057	72 138

Koncernföretag	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Ägarandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2020	2019
Handelsbanken Finans AB ¹	556053-0841	Stockholm	1 550 000	100	11 672	11 672
Stadshypotek AB ¹	556459-6715	Stockholm	162 000	100	26 870	26 870
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	556070-0683	Stockholm	10 000	100	1	1
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	Stockholm		100		
Handelsinvest Investeringsförvaltning A/S	12930879	Köpenhamn		100		
Xact Kapitalförvaltning AB	556927-8140	Stockholm		100		
Handelsbanken Liv Försäkrings AB	516401-8284	Stockholm	100 000	100	6 189	6 189
SHB Liv Försäkringsaktieföretag	2478149-7	Helsingfors		100		
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	Stockholm		100		
Ecster AB	556923-2311	Stockholm	50 000	100	1 750	850
Handelsbanken plc ²	11305395	London	5 050 401	100	24 087	24 087
Handelsbanken Wealth & Asset Management Limited	04192340	London	1 319 206	100		
Optimix Vermogensbeheer NV	33194359	Amsterdam	10 209	100	642	668
Add Value Fund Management BV	19196768	Amsterdam		80		
Övriga dotterbolag						
EFN Ekonomikanalen AB	556930-1608	Stockholm	100	100	0	0
Ejendomselskabet af 1. maj 2009 A/S	59173812	Hillared	2 700 000	100	128	200
Forva AS	945812141	Oslo	4 000 000	100	1	1
AB Handel och Industri	556013-5336	Stockholm	100 000	100	12	14
Handelsbanken Markets Securities, Inc. ¹	11-3257438	New York	1 000	100	30	30
Handelsbanken Rahotus Oy	0112308-8	Helsingfors	37 026 871	100	1 276	1 276
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	Stockholm	1 500	100	31	31
Lokalbolig A/S	78488018	Hillared	540 000	72	1	1
Rådstuplass 4 AS	910508423	Bergen	40 000	100	0	0
Svenska Ra S.A.	RCS Lux B-32053	Luxemburg	20 000	100	35	35
Blå stugan i Stockholm AB	556903-9357	Stockholm	50	100	24	0
Summa					72 749	71 925

Förteckningen över koncernföretag omfattar direktägda dotterbolag samt större dotterbolag till dessa.

¹ Kreditinstitut.

Intresseföretag	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Ägarandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2020	2019
Bankomat AB	556817-9716	Stockholm	150	20,00	67	67
BGC Holding AB	556607-0933	Stockholm	25 382	25,38	80	80
Dyson Group plc	00169306	Sheffield	74 393 672	27,00	21	21
Finansiel ID-teknik BID AB	556630-4928	Stockholm	12 735	28,30	24	24
Getawish AB	556913-7382	Stockholm	10 000	20,00	21	21
USE Intressanter AB	559161-9464	Stockholm	2 448	24,48	0	0
Summa					213	213

Joint venture	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Röstandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2020	2019
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-9610	Stockholm	10 000	16,67	63	
Invikam AB	559210-0779	Stockholm	10 000	16,67	32	
Summa					95	

NOTER | MODERBOLAGET

M17 Derivatinstrument

	Nominellt belopp/löptid			Nominellt belopp		Positiva marknadsvärden		Negativa marknadsvärden	
	upp till 1 år	mer än 1 år upp till 5 år	mer än 5 år	2020	2019	2020	2019	2020	2019
mkr									
Derivat för handel									
Ränterelaterade kontrakt									
Optioner	12 332	15 889	2 053	30 274	37 986	9	19	16	71
FRAs/terminer	300 439	18 000	-	318 439	895 242	52	211	38	170
Swappar	442 524	1 932 129	411 514	2 156 167	2 294 026	29 544	28 228	30 403	29 733
Valutarrelaterade kontrakt									
Optioner	24 677	18	34	24 729	25 685	118	136	195	212
Terminar	64 644	4 785	258	69 687	63 863	920	863	1 344	480
Swappar	542 198	165 952	62 634	770 784	937 406	11 226	13 986	22 882	21 327
Aktierelaterade kontrakt									
Optioner	3 492	1 610	92	5 194	9 585	255	545	136	425
Terminar	855	-	-	855	1 814	15	-	16	13
Swappar	12 285	3 844	21	16 150	14 755	137	138	1 569	1 157
Rävaruselaterade kontrakt									
Optioner	325	308	38	671	1 022	22	35	60	103
Terminar	2 962	692	-	3 654	12 951	389	430	312	494
Kreditrelaterade kontrakt									
Swappar	631	5 617	252	6 500	8 035	229	465	158	269
Summa	1 407 384	1 618 844	478 896	3 403 104	4 303 370	42 918	45 058	57 129	54 474
Derivat för marknadsvärdessättnings									
Ränterelaterade kontrakt									
Swappar	31 706	187 349	38 023	257 078	131 914	1 704	1 233	607	587
Valutarrelaterade kontrakt									
Swappar	0	534	843	1 377	1 459	101	166	-	-
Summa	31 706	187 883	38 866	258 455	133 373	1 805	1 399	607	587
Derivat för kassaflödesförändringar									
Ränterelaterade kontrakt									
Swappar	68 516	131 762	16 888	217 166	296 355	4 234	5 083	2 556	1 857
Valutarrelaterade kontrakt									
Swappar	79 365	80 125	16 879	176 369	194 451	9 420	15 634	5 528	985
Summa	147 881	211 887	33 767	393 535	490 806	13 654	20 717	8 084	2 842
Summa derivatinstrument	1 686 961	1 818 614	540 629	4 055 094	4 927 550	58 375	67 172	65 820	57 903
varav börshandlade derivat				1 08 653	440 829	332	347	756	1 223
varav OTC-derivat clearade via CCP				2 245 982	2 472 024	22 987	22 588	18 717	16 293
varav OTC-derivat ej clearade via CCP				1 700 459	2 014 736	35 056	44 237	46 347	40 385
Kvittade belopp				-2 110 391	-2 147 269	-25 344	-25 332	-21 046	-19 233
Nettobelopp				1 944 703	2 780 320	33 031	41 840	44 774	38 670
Valutafördelning av marknadsvärden									
SEK				-		77 516	-18 191	247 879	164 129
USD						-80 871	39 129	-381 625	-326 930
EUR						95 348	191 180	-36 368	67 564
Övriga						-33 618	-144 946	235 934	153 140
Summa						58 375	67 172	65 820	57 903

I noten presenteras derivatkontrakt brutto. Kvittade belopp består av det kvittade marknadsvärdet och tillhörande nominella belopp på kontrakt för vilka det finns en legal rätt och avskild rätt att reglera avtalade kassaflöden netto (direktclearade kontrakt). Dessa kontrakt netto redovisas i balansräkningen per motpart och valuta.

Positiva skillnader mellan det värde som räknats fram med en värderingsmodell vid det första redovisningsögonblicket och transaktionspriset (dag 1-resultat) periodiseras över derivatets löptid. Vid årsskiftet uppgick sådana önnu ej resultatförda dag 1-resultat till 538 mkr (630).

M18 Säkringsredovisning

Säkringsinstrument i kassaflödesräkning	2020			2019		
	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år
Ränterisk						
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	13 181	50 160	16 070	12 687	63 337	17 136
Genomsnittlig fast ränta %	0,48	0,58	0,73	0,72	0,62	0,87
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	55 335	81 602	818	53 893	147 974	1 328
Genomsnittlig fast ränta %	3,53	1,66	3,98	2,63	2,45	3,02
Valutarisk						
Valutansatserade derivat EUR/NOK						
Nominellt belopp	4 344	29 590	7 435	4 741	36 400	-
Genomsnittlig valutakurs EUR/NOK	0,1310	0,1110	0,0970	0,1200	0,1200	-
Valutansatserade derivat USD/GBP						
Nominellt belopp	11 011	6 289	831	11 590	19 410	932
Genomsnittlig valutakurs USD/GBP	1,3860	1,2990	1,3150	1,4300	1,3600	1,3200
Valutansatserade derivat USD/NOK						
Nominellt belopp	40 197	12 901	-	19 402	25 572	337
Genomsnittlig valutakurs USD/NOK	0,1170	0,1260	-	0,1300	0,1300	0,1300
Valutansatserade derivat USD/SEK						
Nominellt belopp	9 206	2 153	8 613	4 167	12 145	-
Genomsnittlig valutakurs USD/SEK	0,1170	0,1105	0,1105	0,1400	0,1200	-
Valutansatserade derivat AUD/USD						
Nominellt belopp	3 034	5 422	-	-	9 300	-
Genomsnittlig valutakurs AUD/USD	1,8930	1,3770	-	-	1,3800	-
Valutansatserade derivat övriga valutor						
Nominellt belopp	11 573	23 700	-	13 351	34 891	2 204
Summa	147 881	211 887	33 787	119 840	340 020	21 937

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassaflödesräkning 2020	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som förväntas för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkringsinstrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkringsreserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
Ränterisk							
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	79 411	1	2 556	-941	-941	-	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	137 755	4 233	-	-461	-461	-	96
Valutarisk ¹							
Valutansatserade derivat EUR/DKK	3 516	-	9	-33	-33	-	-
Valutansatserade derivat EUR/GBP	9 628	1 123	-	81	81	-	-
Valutansatserade derivat EUR/NOK	41 369	5 559	16	240	237	3	-
Valutansatserade derivat EUR/SEK	12 664	256	586	-26	-26	-	-
Valutansatserade derivat USD/GBP	18 131	271	448	-60	-57	-3	-
Valutansatserade derivat USD/NOK	53 098	1 142	1 903	-52	-52	0	-
Valutansatserade derivat USD/SEK	19 972	-	1 838	-349	-349	0	-
Valutansatserade derivat AUD/USD	8 526	621	-	45	45	-	-5
Valutansatserade derivat övriga valutor	9 465	448	728	12	13	-1	43
Summa	303 836	13 654	8 084	-1 544	-1 543	-1	134

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassaflödesräkning 2019	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som förväntas för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkringsinstrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkringsreserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
Ränterisk							
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	93 160	118	1 727	-810	-810	-	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	203 195	4 965	130	1 919	1 919	-	8
Valutarisk ¹							
Valutansatserade derivat EUR/DKK	3 653	4	-	15	15	-	-
Valutansatserade derivat EUR/GBP	12 915	735	122	147	147	-	-
Valutansatserade derivat EUR/NOK	41 141	4 309	-	60	57	3	-
Valutansatserade derivat EUR/SEK	12 922	458	246	5	5	-	-
Valutansatserade derivat USD/GBP	31 941	1 715	169	-79	-74	-5	-
Valutansatserade derivat USD/NOK	45 311	4 682	-	0	0	-	-
Valutansatserade derivat USD/SEK	16 312	1 985	-	-30	-30	-	-
Valutansatserade derivat AUD/USD	9 300	22	265	78	78	-	-2
Valutansatserade derivat övriga valutor	20 956	1 724	183	450	456	-6	6
Summa	400 806	20 717	2 842	1 785	1 783	-8	12

¹ Vid analys utifrån ett säkringsredovisningsperspektiv beaktas omvandlingen till moderbolagets funktionella valuta, svenska kronor, genom att nominella derivatbelopp imputeras i säkringsrelaterade belopp. De imputerade derivatbeloppen är inte inkluderade i de nominella volymerna i tabellerna ovan.

Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen. Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Omklassificering till resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner och avser kassaflödesräkning som avslutats i förlid.

NOTER | MODERBOLAGET

M18 Forts

Säkrade poster i kassafördesäkring	2020			2019		
	Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Säkringsreserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkringsredovisning inte längre tillämpas	Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Säkringsreserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkringsredovisning inte längre tillämpas
mkr						
Ränterisk:						
Emitterade värdepapper till rörlig ränta	941	-2 435	-	810	-1 493	-
Utlåning till allmänheten till rörlig ränta	461	3 790	543	-1 919	4 355	639
Valutarisk:						
Emitterade värdepapper EUR samt internlån DKK, GBP och NOK	-150	-234	-	-340	-384	-
Emitterade värdepapper USD samt internlån DKK, EUR, GBP och NOK	485	-416	86	54	68	121
Emitterade värdepapper AUD	-46	128	2	-78	77	-4
Emitterade värdepapper och internlån övriga valutor	-148	-51	15	-290	-155	23
Summa	1 643	701	646	-1 763	2 468	779

Säkringsinstrument i säkring av verkligt värde	2020			2019		
	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år
mkr						
Ränterisk:						
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	31 706	148 864	1 698	26 321	71 963	2 412
Gomsnittlig fast ränta %	0,06	0,03	0,28	0,00	0,07	0,58
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	-	35 214	31 652	-	18 797	12 421
Gomsnittlig fast ränta %	-	1,31	1,67	-	1,94	0,93
Valutarisk:						
Valutaswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	-	533	843	-	580	919
Gomsnittlig fast ränta %	-	3,26	3,69	-	3,26	3,69
Summa	31 706	184 611	34 193	26 321	91 340	16 762

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2020	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
mkr					
Ränterisk:					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	182 368	72	442	-222	-8
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	66 866	1 628	146	773	42
Valutaswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 376	101	-	100	0
Summa	250 610	1 801	588	651	34
Portföljsäkring av verkligt värde					
Ränterisk:					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	7 945	4	19	-13	0
Summa	7 945	4	19	-13	0

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2019	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
mkr					
Ränterisk:					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	100 696	219	355	82	5
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	31 218	1 014	232	-63	-39
Valutaswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 459	166	-	-17	-3
Summa	133 413	1 399	587	2	-37

Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen. Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2020	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Det upplupna beloppet för justeringar av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värde
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder		
mkr						
Ränterisk:						
Utlåning till allmänheten till fast ränta	188 468		329		215	-
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		69 716		794	-832	-
Summa	188 468	69 716	329	794	-617	-
Portföljsäkring av verkligt värde						
Ränterisk:						
Utlåning till allmänheten till fast ränta	13				13	-
Summa	13	-	-	-	13	-

NOTER | MODERBOLAGET

M18 Forts

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2019	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektkriftet	Det upplupna beloppet för justeringar av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värde
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder		
mikr						
Ränterisk						
Utlåning till allmänheten till fast ränta	101 432		114		-77	-
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		32 950		-38	38	-
Summa	101 432	32 950	114	-38	-39	-

M19 Kvittning av finansiella instrument

2020 mikr	Derivat	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	Totalt
Finansiella anläggningstillgångar som är föremål för kvittning, nettingsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	58 375	16 946	75 321
Kvittade belopp	-25 344	-2 014	-27 358
Redovisat värde i balansräkningen	33 031	14 932	47 963
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettingsavtal	-14 846	-	-14 846
Mottagna finansiella säkerheter	-7 503	-14 023	-22 426
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-22 349	-14 023	-37 272
Nettobelopp	10 682	9	10 691
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettingsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	65 820	2 014	67 834
Kvittade belopp	-21 046	-2 014	-23 060
Redovisat värde i balansräkningen	44 774	-	44 774
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettingsavtal	-14 846	-	-14 846
Ställda finansiella säkerheter	-13 310	-	-13 310
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-28 156	-	-28 156
Nettobelopp	16 618	-	16 618

2019 mikr	Derivat	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	Totalt
Finansiella anläggningstillgångar som är föremål för kvittning, nettingsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	67 172	18 648	85 820
Kvittade belopp	-25 332	-5 816	-31 148
Redovisat värde i balansräkningen	41 840	12 832	54 672
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettingsavtal	-12 023	-	-12 023
Mottagna finansiella säkerheter	-22 340	-12 832	-35 172
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-34 363	-12 832	-47 195
Nettobelopp	7 477	-	7 477
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettingsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	57 902	5 816	63 718
Kvittade belopp	-19 233	-5 816	-25 049
Redovisat värde i balansräkningen	38 669	-	38 669
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettingsavtal	-12 023	-	-12 023
Ställda finansiella säkerheter	-5 179	-	-5 179
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-17 202	-	-17 202
Nettobelopp	21 467	-	21 467

NOTER | MODERBOLAGET

M20 Immateriella tillgångar

2020 mkr	Inkräms- goodwill	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt 2020
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 434	4 132	0	6 566
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	-	689	164	853
Avyttringar och utgångar	-	-120	-	-120
Valutaeffekt	-120	-15	-	-135
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 314	4 686	164	7 164
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-2 277	-1 099	0	-3 376
Avyttringar och utgångar	-	120	-	120
Årets avskrivningar enligt plan	-100	-383	-33	-516
Årets nedskrivningar	-	-55	-	-55
Valutaeffekt	118	4	-	122
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-2 259	-1 413	-33	-3 705
Redovisat värde	85	3 273	131	3 489

Under 2020 har utvecklingskostnader uppgående till 1 319 mkr (1 395) kostnadsförts.

2019 mkr	Inkräms- goodwill	Internt utvecklad programvara	Totalt 2019
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 383	3 239	5 622
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	-	894	894
Avyttringar och utgångar	-	-3	-3
Valutaeffekt	51	2	53
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 434	4 132	6 566
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-2 108	-742	-2 850
Avyttringar och utgångar	-	3	3
Årets avskrivningar enligt plan	-126	-329	-455
Årets nedskrivningar	-	-30	-30
Valutaeffekt	-43	-1	-44
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-2 277	-1 099	-3 376
Redovisat värde	157	3 033	3 190

M21 Fastigheter, inventarier och leasingobjekt

Fastigheter, inventarier och leasingobjekt mkr	2020	2019
Inventarier	552	634
Fastigheter	126	133
Leasingobjekt	6 701	7 385
Egendom övertagen för skyddande av fordran	2	3
Summa	7 381	8 145

I posten Egendom övertagen för skyddande av fordran ingår lös egendom samt fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde i enlighet med koncernens redovisningsprinciper för tillgångar som övertogs för skydd av fordran, se not K1. Det verkliga värdet på fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 0 mkr (3). Omräknade värdeförändringar på dessa fastigheter har påverkat årets resultat med 0 mkr (0). Värdering av privatbostäder bygger i all väsentlighet på marknadsobservationer av jämförbara fastighetsköp på den aktuella orten. Värdering av kommersiella fastigheter bygger på diskontering av framtida kassaflöden och baseras på antaganden om bland annat hyresnivå, vakansgrad, drift- och underhållskostnader, direktavkastningskrav och kalkylränta. I värderingen tas även hänsyn till fastighetens ålder, läge och alternativanvändning. Banken har som princip att alltid använda en oberoende godkänd värderingsman vid värdering av affärs- och kontorfastigheter samt industrifastigheter. Värdering som enbart bygger på marknadsobservationer 0 mkr (2) klassificeras som nivå 2 i den värderingshierarki som beskrivs i not K1. Värdering som har ett väsentligt inslag av egna antaganden 0 mkr (2) klassificeras som nivå 3 i värderingshierarkin. Omräknade värdeförändringar i nivå 3 avseende fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde har påverkat årets resultat med 0 mkr (0). Årets förståjning av fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 2 mkr (47) varav 2 mkr (2) var klassade som nivå 3 innan förståjningen. Nya fastigheter har tillkommit under året med 0 mkr (2) varav 0 mkr (2) klassats som nivå 3.

Inventarier mkr	2020	2019
Anskaffningsvärde vid ingången av året	1 527	1 617
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	252	373
Förändring genom rörelseavstämning under året	-	22
Avyttringar och utgångar	-296	-484
Valutaeffekt	-2	-1
Anskaffningsvärde vid utgången av året	1 481	1 527
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-903	-1 072
Ackumulerade avskrivningar genom rörelseavstämning under året	-	-5
Årets avskrivningar enligt plan	-298	-316
Avyttringar och utgångar	280	483
Valutaeffekt	-8	7
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-929	-903
Redovisat värde	552	624

NOTER | MODERBOLAGET

M21 Forts

Fastigheter mkr	2020	2019
Anskaffningsvärde vid ingången av året	238	238
Ny- och ombyggnation	1	0
Anskaffningsvärde vid utgången av året	239	238
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-105	-98
Årets avskrivningar enligt plan	-8	-7
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-113	-105
Redovisat värde	126	133

Leasingobjekt mkr	2020	2019
Anskaffningsvärde vid ingången av året	12 370	8 383
Anskaffat genom rörelseförvärv under året	-	3 971
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	2 265	1 907
Avyttringar och utrangeringar	-2 734	-1 976
Valutaeffekt	-295	85
Anskaffningsvärde vid utgången av året	11 606	12 370
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-4 985	-3 679
Akkumulerade avskrivningar genom rörelseförvärv under året	-	-1 337
Årets avskrivningar enligt plan	-1 792	-1 350
Årets nedskrivningar	-26	-16
Avyttringar och utrangeringar	1 779	1 436
Valutaeffekt	119	-39
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-4 905	-4 985
Redovisat värde	6 701	7 385

Fördelning av framtida leasingavgifter på förfallotidpunkter mkr	Inom 1 år	Mellan 1 och 5 år	Senare än 5 år	Summa
2020				
Fördelning av framtida leasingavgifter	1 423	4 980	548	6 951
2019				
Fördelning av framtida leasingavgifter	1 513	5 471	616	7 600

Leasingobjekten består huvudsakligen av fordon och maskiner. Leasingobjekten skrivs av under leasingavtalets löptid enligt annuitetsmetoden. Summan av räntekapitalets intäktsförda leasingavgifter uppgår till 168 mkr (141) varav den variabla delen av leasingintäkterna uppgår till 150 mkr (73).

M22 Övriga tillgångar

mkr	2020	2019
Fondlikvidfordringar	3 238	2 983
Övrigt	17 537	18 539
Summa	20 775	21 522

M23 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter

mkr	2020	2019
Upplupna intäkter	514	437
Förutbetalda kostnader	783	715
Summa	1 297	1 152

NOTER | MODERBOLAGET

M24 Skulder till kreditinstitut

mil	2020	2019
Skulder i svenska kronor		
Banker	36 929	28 251
Övriga kreditinstitut	28 644	32 005
Summa	65 573	60 256
Skulder i utländsk valuta		
Banker	76 198	108 954
Övriga kreditinstitut	51 283	39 487
Summa	127 481	148 441
Summa skulder till kreditinstitut	193 054	208 697
varav upplupna räntekostnader	-4	-58
Medelvolymer		
mil	2020	2019
Skulder till kreditinstitut i svenska kronor	70 633	71 299
Skulder till kreditinstitut i utländsk valuta	218 297	187 932
Summa	288 930	259 231
varav rapport	650	84

M25 In- och upplåning från allmänheten

Inlåning från allmänheten		
mil	2020	2019
Inlåning i svenska kronor		
Hushåll	410 527	376 202
Företag	306 855	258 687
Riksgälden	1	-
Summa	717 383	634 889
Inlåning i utländsk valuta		
Hushåll	78 842	75 928
Företag	194 911	181 306
Riksgälden	-	-
Summa	273 753	257 234
Summa inlåning från allmänheten	991 136	892 123
Upplåning från allmänheten		
mil	2020	2019
Upplåning i svenska kronor	17 814	15 066
Upplåning i utländsk valuta	12 180	10 957
Summa upplåning från allmänheten	29 994	26 023
Summa in- och upplåning från allmänheten	1 021 130	918 146
varav upplupna räntekostnader	402	498
Medelvolymer		
mil	2020	2019
Inlåning från allmänheten		
Inlåning från allmänheten i svenska kronor	683 465	619 620
Inlåning från allmänheten i utländsk valuta	287 841	263 585
Summa	971 306	883 205
Upplåning från allmänheten		
Upplåning från allmänheten i svenska kronor	31 257	33 072
Upplåning från allmänheten i utländsk valuta	93 149	42 309
Summa	124 406	75 381
varav rapport	6 425	10 376

NOTER | MODERBOLAGET

M26 Emitterade värdepapper

	2020		2019	
	Redovisat värde	Nominellt belopp	Redovisat värde	Nominellt belopp
mkr				
Certifikat				
Certifikat i svenska kronor	391	423	2 286	2 254
varav upplupet anskaffningsvärde			1 480	1 480
varav verkligt värde obligationslöst	307	423	806	774
Certifikat i utländsk valuta	441 687	440 659	462 968	463 059
varav upplupet anskaffningsvärde	439 863	438 565	460 527	460 666
varav verkligt värde obligationslöst	1 824	1 094	2 447	2 393
Summa	442 078	441 082	465 254	465 313
Obligationsskuld				
Obligationsskuld i svenska kronor	5 217	5 543	7 074	6 939
varav upplupet anskaffningsvärde	5 217	5 543	7 074	6 939
Obligationsskuld i utländsk valuta	210 225	209 242	252 312	251 701
varav upplupet anskaffningsvärde	210 225	209 242	252 312	251 701
varav ingår i säkring av verkligt värde	65 034	64 470	26 329	26 549
Summa	215 442	214 785	259 396	258 640
Summa emitterade värdepapper	657 520	655 867	724 640	723 953
varav upplupet räntekostnader	1 067		1 790	

	2020	2019
mkr		
Emitterade värdepapper vid årets ingång	724 640	716 531
Emitterade	777 275	768 077
Återköpta	-2 666	-5 666
Förfallna	-750 402	-768 391
Valutasäffelser mm	-51 327	14 069
Emitterade värdepapper vid årets utgång	657 520	724 640

	2020	2019
Modervolymer		
mkr		
Svenska kronor	7 540	11 797
Utländsk valuta	714 136	731 930
Summa	721 676	743 727

M27 Korta positioner

	2020	2019
mkr		
Korta positioner värderade till verkligt värde		
Aktier	658	708
Räntebärande värdepapper	1 024	1 148
Summa	1 682	1 856
varav upplupet räntekostnader	5	9

	2020	2019
Modervolymer		
mkr		
Svenska kronor	10 977	13 129
Utländsk valuta	97	520
Summa	11 074	13 649

M28 Skatter

	2020	2019
Uppskjutna skattefordringar		
mkr		
Säkringsinstrument	563	321
Övrigt	610	332
Summa	1 173	653

NOTER | MODERBOLAGET

M28 Forts

Uppskjutna skattekulder mkr	2020	2019
Fastigheter och inventarer	22	22
Säkringsinstrument	755	934
Summa	777	956
Netto uppskjutna skattefordringar/skatteskulder	-306	309

Förändring av uppskjutna skatter 2020

mkr	Ingående balans	Redovisat över resultatförändringen	Redovisat i övrigt totalresultat	Utgående balans
Fastigheter och inventarer	22	0	-	22
Säkringsinstrument	613	-	-421	192
Övrigt	-332	-278	-	-610
Summa	303	-278	-421	-306

Förändring av uppskjutna skatter 2019

mkr	Ingående balans	Redovisat över resultatförändringen	Redovisat i övrigt totalresultat	Utgående balans
Fastigheter och inventarer	17	5	-	22
Säkringsinstrument	415	-	198	613
Övrigt	-189	-143	-	-332
Summa	243	-138	198	303

Redovisade skattekostnader i resultatförändringen

mkr	2020	2019
Aktuell skatt		
Årets skattekostnad	-4 536	-4 479
Justering av skatt hänförlig till tidigare år	-17	44
Uppskjuten skatt		
Förändringar i temporära skillnader	278	138
Summa	-4 275	-4 297
Skatt beräknat som 21,4% (21,4) på årets resultat före skatt	-4 173	-4 288
Skillnad	-102	-29
Skillnaden förklaras av skatteeffekt avseende följande poster		
Diverse ej avdragsgilla kostnader	-37	-61
Ej avdragsgill ränta på efterställda skulder	-254	-263
Ej skattemässiga resor/natur och utdelningar	166	258
Omvärdering uppskjutna skatter pga ändrad skattesats	-7	-
Övrigt	30	37
Summa	-102	-29

M29 Avsättningar

Avsättningar 2020	Avsättning för förväntade kreditförluster på poster utanför balansförändringen ¹	Omstrukturerings- reserv ²	Övriga avsättningar ³	Summa
mkr				
Avsättningar vid årets ingång	194	884	42	1 100
Avsatt under året		1 470	68	1 538
Anspråksgat		-405	-8	-413
Återfört			-35	-35
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	86			86
Avsättningar vid årets utgång	280	1 929	67	2 276

Avsättningar 2019	Avsättning för förväntade kreditförluster på poster utanför balansförändringen ¹	Omstrukturerings- reserv ²	Övriga avsättningar ³	Summa
mkr				
Avsättningar vid årets ingång	79	-	30	109
Avsatt under året		930	22	952
Anspråksgat		-66	-4	-70
Återfört			-6	-6
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	115			115
Avsättningar vid årets utgång	194	884	42	1 100

¹ För ytterligare information, se not M10 och M37.² Under 2020 ytterligare avsättning för omstrukturering gjorts, huvudsakligen för kostnader relaterade till arbetet med att strukturera om svensk konfessionsrevidering och ytterligare effektivisera banken. Motvarande avsättning som gjordes 2019 avsåg främst kostnader hänförliga till stängning av kontor utomför hemmamarknaderna, nedläggning av vissa produktområden samt hantering av överlappning inom främst centrala enheter. Merparten av avsättningsbeloppet förväntas vara reglerat vid utgången av 2022. Som för alla reserver finns en osäkerhet kring tidpunkt och belopp, men denna förväntas minska till ett sådant belopp som avses för reglering av de anspråk som rikts mot banken.³ Under Övriga avsättningar redovisas de belopp som avses för reglering av de anspråk som rikts mot banken.

NOTER | MODERBOLAGET

M30 Övriga skulder

mkz	2020	2019
Fondlikvidskulder	3 967	2 840
Övrigt	5 158	5 950
Summa	9 125	8 790

M31 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter

mkz	2020	2019
Upplupna kostnader	1 603	1 118
Förutbetalda intäkter	663	729
Summa	2 266	1 847

M32 Efterställda skulder

mkz	2020	2019
Förtagstjän i svenska kronor	3 002	3 003
Förtagstjän i utländsk valuta	38 080	32 543
Summa	41 082	35 546
varav upplupna räntekostnader	915	932

Modervolymer

mkz	2020	2019
Förtagstjän i svenska kronor	3 009	5 625
Förtagstjän i utländsk valuta	34 062	32 400
Summa	37 071	38 025

Specifikation, förtagstjän

Emissionsår/förfall	Valuta	Ursprungligt nominellt belopp per respektive valuta	Räntesats, %	Utbestående belopp
I svenska kronor				
2017/10dsbunden	SEK	1 700	0,980%	1 701
2017/10dsbunden	SEK	1 300	1,410%	1 301
Summa				3 002
I utländsk valuta				
2015/evigt	USD	1 200	5,250%	10 237
2018/10dsbunden	EUR	750	1,630%	7 617
2018/10dsbunden	EUR	750	1,250%	7 597
2019/evigt	USD	500	6,250%	4 579
2020/evigt	USD	500	4,380%	4 058
2020/evigt	USD	500	4,750%	3 992
Summa				38 080

Summa efterställda skulder

41 082

För upplysningar avseende förtagstjän, se Förelägg 3-rapporten.

mkz	2020	2019
Förtagstjän vid ärets ingång	35 546	51 085
Emitterade	8 916	4 654
Åsärskipta	-2	-3 179
Förfallna	-	-17 674
Valutasäskader m m	-3 378	660
Förtagstjän vid ärets utgång	41 082	35 546

M33 Obeskattade reserver

mkz	2020	2019
Akkumulerade överavskrivningar inventarier och leasingobjekt	882	1 532
Akkumulerade överavskrivningar inköpsmargodvill	51	146
Summa	933	1 678

NOTER | MODERBOLAGET

M34 Klassificering av finansiella tillgångar och skulder

2020	Verkligt värde via resultaträkningen						
			Derivat identifierat som säkrings- instrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffningsvärde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
mkr	Obligatoriskt	Verkligt värdeoptionen					
Tillgångar							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					297 362	297 362	297 362
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	3 928	94 024		401	762	99 115	99 115
Utlåning till kreditinstitut	21 812				931 838	953 650	959 434
Utlåning till allmänheten					566 145	566 145	569 895
Värdepappersförändring på räntebärande post i portföljsäkring					13	13	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	11 929	26 640		7 964		46 533	46 533
Aktier och andelar	13 614			699		14 313	14 313
Tillgångar där kunden står värdepappersförändringsrisken	7 345				60	7 405	7 405
Derivatinstrument	22 332		10 699			33 031	33 031
Övriga tillgångar	30				20 745	20 775	20 775
Summa	80 000	120 664	10 699	9 064	1 816 925	2 038 342	2 047 883
Aktier och andelar i koncern- och intressföretag samt joint ventures						73 057	
Icke finansiella tillgångar						13 464	
Summa tillgångar						2 124 863	
Skulder							
Skulder till kreditinstitut					193 054	193 054	193 552
In- och upplåning från allmänheten					1 021 130	1 021 130	1 021 118
Skulder där kunden står värdepappersförändringsrisken		7 345			60	7 405	7 405
Emitterade värdepapper	2 215				655 305	657 520	664 277
Derivatinstrument	38 074		6 700			44 774	44 774
Korta positioner	1 682					1 682	1 682
Övriga skulder	38				9 087	9 125	9 125
Efterstälda skulder					41 082	41 082	42 674
Summa	42 000	7 345	6 700		1 919 718	1 975 772	1 984 807
Icke finansiella skulder						5 319	
Summa skulder						1 981 091	

2019	Verkligt värde via resultaträkningen				Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffningsvärde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
	Obligatoriskt	Verkligt värdeoptionen	Derivat identifierat som säkringsinstrument					
mkr								
Tillgångar								
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker						242 889	242 889	242 889
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	3 001	98 959		403	1 007	103 370	103 370	103 370
Utlåning till kreditinstitut	21 335					869 222	890 557	895 178
Utlåning till allmänheten						620 175	620 175	623 065
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	19 099	29 044		4 953			53 096	53 096
Aktier och andelar	12 032			2 303			14 335	14 335
Tillgångar där kunden står värdepappersförändringsrisken	6 381				62		6 443	6 443
Derivatinstrument	22 105		19 735				41 840	41 840
Övriga tillgångar	10					21 512	21 522	21 522
Summa	83 663	128 003	19 735	7 660	1 754 867		1 964 227	2 001 738
Aktier och andelar i koncern- och intressföretag							72 138	
Icke finansiella tillgångar							13 140	
Summa tillgångar							2 079 506	
Skulder								
Skulder till kreditinstitut						208 697	208 697	209 090
In- och upplåning från allmänheten						918 146	918 146	918 069
Skulder där kunden står värdepappersförändringsrisken		6 381				62	6 443	6 443
Emitterade värdepapper	3 253					721 387	724 640	731 197
Derivatinstrument	36 859		1 800				38 659	38 659
Korta positioner	1 856						1 856	1 856
Övriga skulder	11					8 779	8 790	8 790
Efterstälda skulder						35 546	35 546	35 825
Summa	41 089	6 381	1 800		1 892 617		1 942 787	1 949 879
Icke finansiella skulder							4 105	
Summa skulder							1 946 892	

M35 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2020 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	3 088	840	-	3 928
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	94 024	-	-	94 024
Verkligt värde via övrigt totalresultat	401	-	-	401
Utlåning till kreditinstitut	-	21 812	-	21 812
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	10 167	1 762	-	11 929
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	26 640	-	-	26 640
Verkligt värde via övrigt totalresultat	3 030	4 874	-	7 904
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	13 196	417	-	13 613
Verkligt värde via övrigt totalresultat	-	186	514	700
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	6 871	-	474	7 345
Derivatinstrument	267	32 684	80	33 031
Summa	157 745	62 674	1 068	221 387
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	6 871	-	474	7 345
Emitterade värdepapper	-	2 215	-	2 215
Derivatinstrument	253	44 441	80	44 774
Korta positioner	1 488	194	-	1 682
Summa	8 612	46 850	654	56 016

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2019 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	1 452	1 549	-	3 001
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	98 959	-	-	98 959
Verkligt värde via övrigt totalresultat	403	-	-	403
Utlåning till kreditinstitut	-	21 335	-	21 335
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	15 093	4 096	-	19 099
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	29 044	-	-	29 044
Verkligt värde via övrigt totalresultat	4 740	213	-	4 953
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	10 706	1 326	-	12 032
Verkligt värde via övrigt totalresultat	711	340	1 252	2 303
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	5 888	-	493	6 381
Derivatinstrument	402	41 369	69	41 840
Summa	167 399	70 137	1 814	239 350
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	5 888	-	493	6 381
Emitterade värdepapper	-	3 253	-	3 253
Derivatinstrument	489	38 110	70	38 669
Korta positioner	1 708	148	-	1 856
Summa	8 085	41 511	663	50 159

Redogörelse för tillämpade principer återfinns i not K39.

NOTER | MODERBOLAGET

M35 Forts

Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2020	Aktier och andelar	Derivat-tillgångar	Derivat-skulder	Tillgångar där kunden står värde-förändringsrisiken	Skulder där kunden står värde-förändringsrisiken
mkr					
Redovisat värdevid årets ingång	1 252	60	-70	403	-403
Nyanskaffningar	6	9	-13	-	-
Återköp/avyttrat	-626	-	5	-	-
Förtälet	-	-	-	-	-
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	-8	-16	16	-	-
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	-38	-	-	-19	19
Förändringar i metod	-	-	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	17	-17	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	1	-1	-	-
Redovisat värdevid årets utgång	614	80	-80	474	-474

Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2019	Aktier och andelar	Derivat-tillgångar	Derivat-skulder	Tillgångar där kunden står värde-förändringsrisiken	Skulder där kunden står värde-förändringsrisiken
mkr					
Redovisat värdevid årets ingång	1 057	-178	178	484	-484
Nyanskaffningar	74	-	-	-	-
Återköp/avyttrat	-26	2	-	-	-
Förtälet	-	-	-	-	-
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	-	-13	10	-	-
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	140	-	-	9	-9
Förändringar i metod	-	352	-352	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	4	-4	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	-100	100	-	-
Redovisat värdevid årets utgång	1 252	60	-70	403	-403

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2020	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
mkr				
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	297 362	-	-	297 362
Belåningsbara statskultförbindelser m m	709	53	-	762
Utlåning till kreditinstitut	33 508	903 591	523	937 622
Utlåning till allmänheten	4 254	1 667	563 974	569 895
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisiken	-	60	-	60
Summa	335 833	905 371	564 497	1 805 701
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	47 239	146 313	-	193 552
In- och upplåning från allmänheten	908 466	22 652	-	1 021 118
Skulder där kunden står värdeförändringsrisiken	-	60	-	60
Emitterade värdepapper	129 949	532 113	-	662 062
Efterställda skulder	-	42 674	-	42 674
Summa	1 175 654	743 812	-	1 919 466

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2019	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
mkr				
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	242 889	-	-	242 889
Belåningsbara statskultförbindelser m m	550	457	-	1 007
Utlåning till kreditinstitut	24 032	849 811	-	873 843
Utlåning till allmänheten	2 475	15 086	605 504	623 065
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisiken	-	62	-	62
Summa	269 946	865 416	605 504	1 740 866
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	51 041	157 989	-	209 030
In- och upplåning från allmänheten	895 063	23 006	-	918 069
Skulder där kunden står värdeförändringsrisiken	-	62	-	62
Emitterade värdepapper	246 814	481 130	-	727 944
Efterställda skulder	-	35 825	-	35 825
Summa	1 102 918	608 012	-	1 690 930

M36 Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar

För egne skulder ställda säkerheter		
mkr	2020	2019
Kontanter	19 121	9 640
Statspapper och obligationer	2 398	7 526
Utlåning till allmänheten	-	-
Aktier	297	292
Övrigt	614	536
Summa	22 430	17 094
varav pantar som fått kan återkallas av banken	28	38
Övriga ställda säkerheter		
mkr	2020	2019
Kontanter	204	224
Statspapper och obligationer	40 844	41 761
Utlåning till allmänheten	-	-
Aktier	6 285	6 760
Övrigt	213	192
Summa	47 546	48 937
varav pantar som fått kan återkallas av banken	37 504	39 110

Med Övriga ställda säkerheter avses säkerheter som ställs för förpliktelser som ej redovisas i balansräkningen.

Mottagna säkerheter

Som en del av ingångna omvända återköpsavtal och värdepapperslån har koncernen accepterat säkerheter som kan säljas eller pantsättas vidare till tredje part. Det verkliga värdet av sådana accepterade säkerheter uppgick till 25 704 mkr (28 741) vid räkenskapsårets slut, varav säkerheter till ett värde av 10 653 mkr (8 761) var sålda eller pantsatta till tredje part.

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen		2020		2019	
mkr		Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld
Aktier, värdepappersutlåning		6 536	306 ¹	7 051	342 ¹
Aktier, övrigt		-	-	-	-
Statspapper och obligationer, repor		386	-	5 811	-
Statspapper och obligationer, övrigt		1 108	-	549	-
Tillgångar där kunden står värdepappersförskrädd		538	538	561	561
Summa		8 568	844	13 972	903

¹ Mottagen kontantsäkerhet.

M37 Eventualförpliktelser

mkr	2020	2019
Ansvarsförbindelser		
Garantiförbindelser, krediter	24 096	28 293
Garantiförbindelser, övriga	73 084	82 482
Ödskalliga rembursar	2 294	4 269
Övrigt	-	21
Summa	99 474	115 065
varav förväntad nedskrivningsprövning	20 474	11 505
Åtaganden		
Kreditförlust	299 910	267 501
Outnyttjad del av beviljade räntekrediter	111 887	116 715
Övrigt ¹	48 438	70 924
Summa	460 235	455 140
varav förväntad nedskrivningsprövning	319 460	329 462
Summa eventualförpliktelser	559 709	570 206
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad som avsättning, se not M29	280	194

¹ I raden Övrigt ingår interna likviditetsgarantier till dotterbolag på 34 806 mkr (56 194).

Ansvarsförbindelser

Ansvarsförbindelserna består i huvudsak av olika typer av garantiförbindelser. Kreditgarantier ges till kunder för att garantera åtaganden i andra kredit- och pensionsinstitutt. Övriga garantier utgörs främst av kommersiella garantier såsom anbudsgarantier, garantier avseende försäkringsbetalningar, garantier under ansvaretiden och exportrelaterade garantier. Ansvarsförbindelser omfattar också outnyttjade ödskalliga importrembursar och beviljade exportrembursar. Dessa transaktioner ingår i bankens tjänster och är till stöd för bankens kunder. I tabellen anges garantiernas nominella belopp.

Tvister

Handelsbanken är föremål för krav i ett antal tvistemål som drivs i allmän domstol. Bedömningen är att Majoriteten i all väsentlig kommer att utfalla till bankens fördel. Tvistebeloppen bedöms inte kunna få en väsentlig inverkan på bankens ställning eller resultat.

NOTER | MODERBOLAGET

M38 Pensionsförpliktelser

mkr	2020	2019
Förvaltningsstillgångarnas verkliga värde	33 554	31 212
Pensionsförpliktelser	34 899	32 799
Pensionsnetto ¹	-1 345	-1 587

Pensionsförpliktelser har beräknats enligt Finansinspektionens föreskrifter, vilket innebär att skuld i Sverige är beräknad enligt trygghetlagen, och motsvarande utländska förpliktelser har beräknats utifrån lokal reglering. Förvaltningsstillgångarna innehas av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Pensionskassan SHB, Försäkringsförening och liknande juridiska personer av såväl utländska utfästelser. Då varken Pensionskassans tillgångar eller försäkringsaktiva avskrivning finns fördelad på arbetsgivare som har försäkring hos Pensionskassan ingår ingen av dessa i tabellen ovan. I Pensionskassan SHB, Försäkringsförening uppgår pensionsförpliktelserna till 7 704 mkr (7 461) och marknadsvärdet av tillgångarna till 15 600 mkr (15 015). Överskottet i Pensionskassan SHB, Försäkringsförening uppgår således till 7 896 mkr (7 554).

Av det verkliga värdet på förvaltningsstillgångarna i Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse avser 9 682 mkr (10 072) av sättningar som gjorts under åren 1989–2004 till en särskild kompletterande pension (SKP). I förpliktelserna ingår utfästelse avseende SKP med samma belopp som förvaltningsstillgångarnas verkliga värde.

En del av denna utfästelse, 7 276 mkr (7 631), är villkorad.

¹ Med hänsyn till att överskottet i Pensionskassan SHB, Försäkringsförening kan utnyttjas för att täcka moderbolagets pensionsförpliktelser, samt att delar av utfästelsen är villkorad, redovisas inte ett överskott som en skuld i balansräkningen för 2020.

Pensionskostnader mkr	2020	2019
Utbetalda pensioner	-1 068	-1 022
Pensionspremier ^a	-469	-512
Socialavgifter	-169	-154
Ersättning från pensionsstiftelse	545	498
Avskrivning till pensionsstiftelse	-73	-13
Summa pensionskostnader	-1 234	-1 202

Nästa års förväntade utbetalda pensioner avseende förmånsbestämda pensionsplaner uppgår till 1 040 mkr. Kostnaderna för pensionspremier innehåller premier för BTPK (avgiftsbestämd pension) med 95 mkr (94).

Förvaltningsstillgångar mkr	2020	2019
Ingående balans	31 212	26 868
Avkastning	2 814	4 890
Avskrivning till pensionsstiftelse	73	13
Ersättning från pensionsstiftelse	-545	-498
Utgående balans	33 554	31 212
Procentuell avkastning på förvaltningsstillgångar	9%	18%

Pensionsförpliktelser mkr	2020	2019
Ingående balans	32 799	31 712
Teknisk avgift	989	787
Ränta	213	223
Värdesäkring	326	494
Förtida pensionering	154	128
Utbetalda pensioner	-1 068	-1 022
Ändrade antaganden ^a	1 448	420
Värdeförändring villkorad förpliktelse	114	181
Effekt av planändring ^b	-8	-
Beständsövertärelse	-	-
Annan förändring av kapitalvärdet	-68	-124
Utgående balans	34 899	32 799

^a Överföring av den tyska förmånsbestämda pensionsplanen under 2020 medför att pensionsförpliktsen i Tyskland har minskat med 8 mkr per den 31 december 2020, samt ger en positiv effekt på pensionskostnaden med 14 mkr. För ytterligare information, se not K8.

^b Avser främst effekt av ändrad diskonteringsränta enligt Finansinspektionens anvisningar.

Förvalning av förvaltningsstillgångar mkr	2020	2019
Aktier och fondandelar ^a	31 039	28 924
Räntebärande värdepapper	2 016	1 909
Övriga förvaltningsstillgångar ^a	499	379
Summa	33 554	31 212

I Sverige utgår ålderspension från och med 65 års ålder enligt pensionsavtal mellan BAO och Finansförbundet/BAO-förbundet med 10% av årslönen, upp till 7,5 inkomstbasbelopp. På lönehal i inkomstbasbeloppintervall 7,5–20 utgår ålderspension med 65% och i inkomstbasbeloppintervall 20–30 med 32,5% av årslönen. På lönehal överstigande 30 inkomstbasbelopp utgår ingen ålderspension. Värdet av pensionsförpliktelserna beräknas årligen, per balansdagen, på försäkringstekniska grunder. Från och med den 1 mars 2020 tjänar alla nyanställda och anställda yngre än 25 år in pension i en avgiftsbestämd pensionsplan. Anställda innan den 1 mars 2020 påverkas inte utan är fortsatt medlemmar i den förmånsbestämda pensionsplanen.

De mest väsentliga beräkningsantagandena är dödligheten och diskonteringsräntan. Dödlighetsantagandet och diskonteringsräntan följer antagandena i trygghetlagens grunder.

Diskonteringsräntan är 0,0% (0,4%) efter skatt och antaganden om omkostnader.

Pensionsförpliktelserna i de utländska filialerna är beräknade enligt lokala redovisningskrav.

^a Fondandelarna är till största del placerade i räntefonder och uppgår till 14 619 mkr (13 921).

^a I övriga förvaltningsstillgångar ingår en skuld avseende ännu ej utbetalad gottgörelse.

NOTER | MODERBOLAGET

M39 Tillgångar och skulder i valuta

2020 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodehavande hos centralbanker	84 525	128 206	18 025	212	0	65 480	914	297 362
Utlåning till kreditinstitut	650 539	55 109	71 127	67 369	103 644	4 479	1 383	953 650
Utlåning till allmänheten	160 420	172 429	160 731	49 041	6 518	14 473	2 533	566 145
varav företag	130 748	106 470	135 476	34 160	6 457	14 308	1 011	428 630
varav hushåll	29 672	65 959	25 255	14 881	61	1 65	1 522	137 515
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	89 688	5 457	839	1	-	2 368	762	99 115
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	35 796	1 420	7 285	-	0	2 032	-	46 533
Övriga ej valutafördelade poster	162 058							162 058
Summa tillgångar	1 183 026	362 621	258 007	116 623	110 162	88 832	5 592	2 124 863
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	65 573	42 256	26 461	2 619	39 574	16 101	470	193 054
In- och upplåning från allmänheten	735 197	128 970	83 919	47 218	4 967	18 987	1 872	1 021 130
varav företag	315 675	103 484	58 601	24 295	3 256	15 881	1 260	522 493
varav hushåll	419 522	25 486	25 318	22 922	1 677	3 106	612	498 637
Emitterade värdepapper	5 608	285 743	368	104	28 193	320 815	16 689	657 520
Efterställda skulder	3 002	15 213	-	-	0	22 867	-	41 082
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	212 077							212 077
Summa skulder och eget kapital	1 021 457	472 182	110 748	49 941	72 734	378 770	19 031	2 124 863
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		109 673	-147 195	-66 608	-37 333	289 027	13 466	
Nettoposition i valuta		112	64	74	95	-11	27	361

Bankens syn på valutarsidagående framgår av not K2.

2019 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodehavande hos centralbanker	46 552	114 477	22 056	291	0	58 039	1 434	242 869
Utlåning till kreditinstitut	574 251	47 731	74 116	66 964	119 238	6 983	1 274	890 557
Utlåning till allmänheten	179 594	172 820	181 266	54 719	7 455	19 732	4 589	620 175
varav företag	147 362	109 793	150 209	37 678	7 180	19 555	2 699	474 476
varav hushåll	32 232	63 027	31 057	17 041	275	1 77	1 890	145 699
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	91 604	8 256	1 144	2	-	1 358	1 006	103 370
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	43 080	2 032	4 112	-	0	3 872	-	53 096
Övriga ej valutafördelade poster	169 418							169 418
Summa tillgångar	1 104 409	345 316	282 734	121 078	126 693	89 984	8 303	2 079 605
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	60 256	93 137	6 000	7 398	29 890	11 444	582	208 697
In- och upplåning från allmänheten	649 955	116 248	74 576	50 187	4 768	17 221	5 191	918 146
varav företag	264 122	92 631	50 705	27 763	2 328	13 808	4 650	456 007
varav hushåll	385 833	23 617	23 871	22 424	2 440	3 413	541	462 139
Emitterade värdepapper	9 360	236 261	403	100	24 305	430 834	23 287	724 640
Efterställda skulder	3 003	15 829	-	-	-	16 716	-2	35 546
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	192 476							192 476
Summa skulder och eget kapital	916 080	461 476	80 979	67 676	69 063	476 216	29 058	2 079 605
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		116 238	-201 588	-64 205	-67 453	386 252	20 807	
Nettoposition i valuta		79	167	96	187	21	52	602

NOTER | MODERBOLAGET

M40 Upplysningar om närstående

Fordringar på och skulder till närstående	Dotterbolag		Intresseföretag		Övriga närstående	
	2020	2019	2020	2019	2020	2019
mi						
Utlåning till kreditinstitut	911 926	854 999	-	-	-	-
Utlåning till allmänheten	1 132	1 132	493	591	-	-
Derivat	2 417	295	-	-	-	-
Övriga tillgångar	15 194	16 154	32	0	560	6
Summa	930 739	872 580	525	591	560	6
Skulder till kreditinstitut	71 570	65 577	-	-	-	-
In- och upplåning från allmänheten	10 236	9 080	115	66	853	724
Derivat	11 956	18 028	-	0	-	-
Efterställda skulder	-	0	-	0	-	0
Övriga skulder	101	42	-	0	-	11
Summa	93 863	92 727	115	66	853	735
Eventuallförpliktelser	18 958	21 911	-	-	7 704	7 461
Derivat, nominella värden	367 382	368 435	-	-	-	-

Närstående- intäkter och kostnader	Dotterbolag		Intresseföretag		Övriga närstående	
	2020	2019	2020	2019	2020	2019
mi						
Ränta intäkter	5 092	5 771	9	7	-	0
Räntekostnader	-364	-540	0	0	-	-16
Provisionsintäkter	0	0	0	0	-	-
Provisionskostnader	0	0	-205	-55	-	0
Nettoreultat av finansiella poster värderade till verkligt värde	0	0	0	0	-	-
Övriga intäkter	2 648	2 521	0	0	19	18
Övriga kostnader	-385	-376	-55	0	-	-
Summa	6 000	7 376	-250	-48	19	2

Specifikation över dotterbolagen och intresseföretagen finns i not M16. Intresseföretagens verksamhet består av att utföra olika typer av tjänster i anslutning till de finansiella marknaderna. I gruppen övriga närstående ingår följande företag: Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Svenska Handelsbankens Personalförhållande och Pensionskassan SHB, Försäkringsförening (pensionskassan). Företagen ansluter Svenska Handelsbanken AB för sedvanliga bank- och redovisningstjänster. Upplysningar om aktiegarfällskott till koncern- och intresseföretag lämnas i not M16.

Pensionskassans utfästelser till anställda i dotterbolag garanteras av moderbolaget, det vill säga om pensionskassan inte skulle kunna betala sina åtaganden så är moderbolaget skyldigt att ta över och betala åtagandet. Pensionskassans förpliktelser uppgår till 7 704 mkr (7 461). Svenska Handelsbanken AB har begärt ersättning av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse uppgående till 1545 mkr (465) avseende pensionskostnader och - mkr (-) avseende särskild kompletterande pension samt av Svenska Handelsbankens Personalförhållande uppgående till 43 mkr (29) för personalförhållande åtaganden.

Information om krediter till ledande befattningshavare samt om ledande befattningshavares villkor och ersättningar i övrigt framgår av not K8.

M41 Förslag till vinstdisposition

Styrelsen föreslår en utdelning om 4,10 kronor (- kronor för 2019). Styrelsens förslag till vinstdisposition finns på sidan 201.

M42 Aktieinformation

31 december 2020					
Aktieslag	Antal	% av kapital	% av röster	Aktiekapital	Krokvärde
Serie A	1 944 777 165	98,22	99,82	3 014 404 606	1,55
Serie B	35 251 329	1,78	0,18	54 630 560	1,55
	1 980 028 494	100,00	100,00	3 069 044 166	

M43 Händelser efter balansdagen

Inga väsentliga händelser har inträffat efter balansdagen.

M44 Kapitaltäckning

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013. Exkluderade rader bedöms ej relevanta för Handelsbanken vid tidpunkt för publicering.

Kapitalbas under övergångsperioden	2020		2019	
	Belopp på upplysningsdagen	Förordning (EU) nr 575/2013 artikelhänvisning	Belopp på upplysningsdagen	Förordning (EU) nr 575/2013 artikelhänvisning
milj				
Känpriärkapital: Instrument och reserver				
1 Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	11 827		11 827	26.1, 27, 28, 29, EBA-förtäckningen 26.3
Varav: skattekapital	11 827		11 827	EBA-förtäckningen 26.3
Varav: konvertiblar				EBA-förtäckningen 26.3
2 Ej utdelade vinstmedel	115 034		98 702	26.1 c
3 Ackumulerat annat totalresultat (och andra reserver, för att inkludera realiserade vinster och förluster enligt tillämpliga redovisningsstandarder)	752		4 758	26.1
5a Delårsresultat netto efter avdrag för förutsäbara kostnader och utdelningar som har vänterats av personer som har en oberoende ställning	7 108		4 758	26.2
6 Känpriärkapital före lagstiftningsjusteringar	134 721		120 045	
Känpriärkapital: lagstiftningsjusteringar				
7 Ytterligare värdejusteringar (negativt belopp)	-239		-131	34, 105
8 Immateriella tillgångar (netto efter minskning för tillhörande skatteskulder) (negativt belopp)	-3 408		-3 044	36.1 b, 37
11 Reserver i verkligt värde relaterade till vinster eller förluster på kassaflödesräkningar	-628		-1 940	33.1 a
12 Negativa belopp till följd av beräkningen av förväntade förlustbelopp	-445		-2 060	36.1 d, 40, 159
14 Vinster eller förluster på skulder som värderas till verkligt värde och som beror på ändringar av institutets egen kreditstatus	9		-	33.1 b
15 Förmånsbestämda pensionsplaner (negativt belopp)			-	36.1 a, 41
16 Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna känpriärkapital-instrument (negativt belopp)	-466		-527	36.1 f, 42
19 Institutets direkta, indirekta och syntetiska innehav av känpriärkapital-instrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-		-	36.1 i, 43, 45, 47, 48.1 b, 49.1-49.3, 79
20a Exponeringsbelopp för följande poster som är kvalificerade för en riskvit på 1 250 % när institutet väljer alternativet med avdrag	-		-20	36 (1) (f)
20c Varav: värdepappersansättningspositioner (negativt belopp)	-		-20	36 (f) (i), 243 (f) (b), 244 (f) (b), 258
21 Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter minskning av tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllade) (negativt belopp)	-		-	36.1 c, 38, 48.1 a
22 Belopp som överskrider tröskelvärdet på 15% (negativt belopp)	-		-	48.1
23 Varav: institutets direkta och indirekta innehav av känpriärkapital-instrument i enheter i den finansiella sektorn när institutet har en väsentlig investering i de enheterna	-		-	36.1 i, 48.1 b
25 Varav: uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader	-		-	36.1 c, 38, 48.1 a
25a Förluster för innevarande räkenskapsår (negativt belopp)	-		-	36.1 a
25b Förutsäbara skatter som är relaterade till känpriärkapitalposter (negativt belopp)	-		-	36.1 i
27 Avdrag från kvalificerade primärkapitaltillskott som överskrider institutets primärkapitaltillskott (negativt belopp)	-		-	36.1 j
28 Sammanlagda lagstiftningsjusteringar av känpriärkapital	-5 177		-7 722	
29 Känpriärkapital	129 544		112 323	

NOTER | MODERBOLAGET

M44 Forts

Kapitalbas under övergångsperioden		2020	2019
mikr		Belopp på upplysningsdagen	Belopp på upplysningsdagen
		Förordning (EU) nr 678/2013 artikel 44	Förordning (EU) nr 678/2013 artikel 44
Primärkapitaltillskott: Instrument			
30	Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	21 980	15 819
32	Vara: klassificerade som skulder enligt tillämpliga redovisningsstandarder	21 980	15 819
33	Belopp för livförsärande poster som avses i artikel 484.4 och tillhörande överkursfonder som omfattas av utfasning från primärkapitaltillskottet	-	-
36	Primärkapitaltillskott före lagstiftningsjusteringar	21 980	15 819
Primärkapitaltillskott: lagstiftningsjusteringar			
37	Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna primärkapitaltillskottsinstrument (negativt belopp)	-9 808	-
40	Instituts direkta och indirekta innehav av primärkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-	-
42	Avdrag från livförsärande supplementärkapital som överskrider instituts supplementärkapital (negativt belopp)	-	-
43	Summa lagstiftningsjusteringar av primärkapitaltillskott	-9 808	-
44	Primärkapitaltillskott	12 172	15 819
45	Primärkapital (primärkapital = kärnprimärkapital + primärkapitaltillskott)	141 716	128 142
Supplementärkapital: Instrument och avsättningar			
46	Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	18 032	18 639
50	Kreditriskjusteringar	16	-
61	Supplementärkapital före lagstiftningsjusteringar	18 048	18 639
Supplementärkapital: lagstiftningsjusteringar			
52	Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna supplementärkapitalinstrument och efterställda lån (negativt belopp)	-	-
55	Instituts direkta och indirekta innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-1 129	-1 129
57	Summa lagstiftningsjusteringar av supplementärkapital	-1 129	-1 129
58	Supplementärkapital	16 919	17 510
59	Totalt kapital (totalt kapital = primärkapital + supplementärkapital)	158 635	145 652
60	Summa relevanta tillgångar	400 286	556 251
Kapitalrelationer och buffertar			
61	Kärnprimärkapital (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	31,7	20,2
62	Primärkapital (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	34,6	23,0
63	Summa kapital (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	38,8	26,2
64	Instituts specifika buffertkrav (krav på kärnprimärkapital i enlighet med artikel 92.1 a plus krav på kapitalkonserveringsbuffert och kontracyklisk kapitalbuffert, plus systemriskbuffert, plus buffert för systemviktiga institut (buffert för globala systemviktiga institut eller andra systemviktiga institut uttryckt som en procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet))	2,6	4,5
65	Vara: krav på kapitalkonserveringsbuffert	2,5	2,5
66	Vara: krav på kontracyklisk kapitalbuffert	0,1	2,0
67	Vara: krav på systemriskbuffert	0,0	0,0
67a	Vara: buffert för globalt systemviktigt institut eller för annat systemviktigt institut	0,0	0,0
68	Kärnprimärkapital tillgängligt att användas som buffert (som procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)	27,2	15,7
72	Direkta och indirekta innehav av kapital i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner)	0	0
73	Instituts direkta och indirekta innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner)	-	-
75	Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter minskning av tillhörande skatteskuld när vilkoren i artikel 38.3 är uppfyllda)	0	0

NOTER | MODERBOLAGET

M44 Forts

Kapitalbas under övergångsperioden	2020		2019	
	Belopp på upplysningsdagen	Förordning (EU) nr 575/2013 artikel 12.1.1	Belopp på upplysningsdagen	Förordning (EU) nr 575/2013 artikel 12.1.1
miljarder				
Tak som ska tillämpas på inkludering av avsättningar i supplementärkapitalet				
76 Krediterjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av schablonmetoden (före tillämpningen av taket)	-		-	62
77 Tak för inkludering av krediterjusteringar i supplementärkapitalet enligt schablonmetoden	2 025		1 504	62
78 Krediterjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av intermetoden (före tillämpningen av taket)	-		-	62
79 Tak för inkludering av krediterjusteringar i supplementärkapitalet enligt intermetoden	1 138		2 226	62
Kapitalinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang (för endast tillämpas mellan den 1 januari 2013 och den 1 januari 2022)				
80 Nuvärde tak för kärnprimärkapitalinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang	-		-	484,3, 486,2 och 486,5
81 Belopp som utsluts från kärnprimärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)	-		-	484,3, 486,2 och 486,5
82 Nuvärde tak för primärkapitalinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang	-		-	484,4, 486,3 och 486,5
83 Belopp som utsluts från primärkapitalinstrument på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)	-		-	484,4, 486,3 och 486,5
84 Nuvärde tak för supplementärkapitalinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang	-		-	484,5, 486,4 och 486,5
85 Belopp som utsluts från supplementärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)	-		-	484,5, 486,4 och 486,5

NOTER | MODERBOLAGET

M44 Forts

EU CM1 – Översikt av relevägda exponeringsbelopp		Relevägda exponeringsbelopp		Minimikapitalkrav
mkr		2020	2019	2020
	1 Kreditrisk (exklusive motparts kreditrisk)	342 718	480 062	27 417
Artikel 438 c och d	2 Varav schablonmetoden	161 799	120 172	12 944
Artikel 438 c och d	3 Varav den grundläggande intermetoden ¹	33 859	41 395	2 708
Artikel 438 c och d	4 Varav den avancerade intermetoden ²	144 149	161 468	11 532
Artikel 438 d	5 Varav den kapitalbaserade intermetoden inom ramen för den enkla relevitade metoden eller den interna modellen	2 911	157 017	233
Artikel 107	6 Motparts kreditrisk	8 843	11 371	707
Artikel 438 c och d	7 Varav marknadsvärdering	8 838	11 359	707
Artikel 438 c och d	8 Varav ursprunglig exponering			
Artikel 438 c och d	9 Varav schablonmetoden			
	10 Varav metoden med interna modeller			
Artikel 438 c och d	11 Varav riskexponeringsbelopp för bidrag till en central motparts obeståndsfond	5	12	0
Artikel 438 c och d	12 Kreditvärderingsjustering	2 707	4 114	217
Artikel 438 a	13 Avvecklingsrisk	0	9	0
Artikel 449 o j	14 Värdepappersanförings exponeringar utanför handelslagret (ejfartskat)	49	-	4
	15 Varav intermetoden	49		4
	16 Varav den interna formalbaserade metoden			
	17 Varav intermetoden			
	18 Varav schablonmetoden			
Artikel 438 a	19 Marknadsrisk	13 314	17 575	1065
	20 Varav schablonmetoden	13 314	17 575	1065
	21 Varav den interna modellen			
Artikel 438 a	22 Stora exponeringar			
Artikel 438 f	23 Operativ risk	41 634	43 130	3 331
	24 Varav basmetoden			
	25 Varav schablonmetoden	41 634	43 130	3 331
	26 Varav intermättningsmetoden			
Artikel 437.2, artikel 48 och artikel 60	27 Belopp under tröskeln för avdrag (föremål för riskviktnings på 250 procent)			
Artikel 500	28 Justering av minimigränsen			
	29 Summa	409 285	656 251	32 741

¹ Motpartsläsa exponeringar redovisas under den grundläggande intermetoden.² Riskviktsgeiv för svenska bolån redovisas under den avancerade intermetoden.

EU MR1 – Marknadsrisk som behandlas enligt schablonmetoden		2020		2019	
		a	b	a	b
mkr		Risikexponeringsbelopp	Kapitalkrav	Risikexponeringsbelopp	Kapitalkrav
Direkta produkter					
Ränterisk		7 448	596	8 130	651
varav generallrisk		6 135	497	6 923	554
varav specifikrisk		1 313	105	1 207	97
Aktiekursrisk		26	2	43	3
varav generallrisk		9	1	12	1
varav specifikrisk		17	1	30	2
varav fonder		0	0	1	0
Valutakursrisk		5 688	455	9 312	745
Ränterisk		15	1	54	4
Optioner					
Scenario metod		137	11	36	3
varav ränterisk		1	0	3	0
varav aktiekursrisk		23	2	33	3
varav valutakursrisk		113	9	-	-
varav ränterisk		-	-	-	-
Värdepappersanföring (specifik risk)		-	-	-	-
Avvecklingsrisk		0	0	9	1
Summa		13 314	1 085	17 584	1 407

NOTER | MODERBOLAGET

M44 Forts

Kreditriskexponeringar godkända för intermetoden	Exponeringsbelopp		Riksvägt exponeringsbelopp		Kapitalkrav		Genomsnittlig riskvikt i %	
mk	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019
Statsexponeringar	372 232	320 165	5 067	4 882	406	391	1,4	1,5
Företagsexponeringar	469 731	621 798	132 866	157 478	10 632	12 608	28,3	30,2
Förstagsutlåning	459 004	513 289	129 712	154 874	10 377	12 390	28,3	30,2
varav borgen utlåning i intermetod utan egna skattningar av L.GD och KF	86 895	102 649	22 767	29 766	1 821	2 381	26,2	29,0
varav borgen utlåning i intermetod med egna skattningar av L.GD och KF	372 169	410 640	106 945	125 108	8 556	10 009	28,7	30,5
varav stora företag	116 650	129 195	44 014	46 500	3 521	3 720	37,7	36,0
varav medelstora företag	44 474	53 879	16 884	25 885	1 351	2 071	38,0	48,0
varav fastighetsbolag	211 045	227 565	46 045	52 723	3 684	4 218	21,8	23,2
Motpartsrisk	10 727	8 509	3 183	2 604	255	208	20,7	30,6
Boendesriftsföreningar	20 478	26 600	1 043	3 412	156	273	9,8	13,8
Hushållsexponeringar	160 828	190 205	28 308	27 275	2 112	2 182	16,4	17,1
Privatpersoner	144 987	141 799	20 555	20 489	1 644	1 639	14,2	14,4
varav fastighetskrediter	117 611	110 561	15 083	15 653	1 207	1 252	12,8	14,2
varav borgen	27 376	31 238	5 472	4 837	437	387	20,0	15,5
Småföretag	15 841	17 406	5 843	6 786	468	543	36,9	39,0
Instituts-exponeringar	38 121	67 388	10 832	14 279	843	1 142	27,8	28,9
Institutsutlåning	16 846	16 227	5 128	5 763	410	461	30,4	35,5
Motpartsrisk	21 275	41 169	5 404	8 516	433	681	25,4	20,7
Aktieexponeringar	787	42 601	2 011	157 017	238	12 861	370,0	368,7
varav börsnoterade aktier	-	712	0	2 064	-	165	-	290,0
varav borgen aktier	787	41 879	2 011	154 953	238	12 395	370,0	370,0
Motpartsaktie exponeringar	880	780	880	780	54	61	100,0	100,0
Positioner i värdepappersföretag	16	-	49	-	4	-	312,3	-
varav traditionell värdepappersföretag	16	-	49	-	4	-	312,3	-
varav syntetisk värdepappersföretag	-	-	-	-	-	-	-	-
Summa intermetoden	1 062 873	1 127 546	180 475	365 102	14 438	29 208	17,0	32,4
Riksviktsgolv Svenska bolån ¹			9139	6 975	731	478		
Totalt intermetoden med effekt av riksviktsgolv Svenska bolån	1 062 873	1 127 546	189 614	371 077	15 169	29 686	17,8	32,9

¹ Exponeringsbelopp som träffas av reglerna för riksviktsgolv Svenska bolån är 51 651 mk per 31 dec 2020.

Kreditriskexponeringar enligt schablonmetoden ¹	Exponeringsvärde		Riksvägt exponeringsbelopp		Kapitalkrav		Genomsnittlig riskvikt i %	
mk	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019
Stater och centralbanker	1 805	318	0	0	0	0	0	0
Kommuner	-	-	-	-	-	-	-	-
Multilaterala utvecklingsbanker	956	274	0	0	0	0	0	0
Internationella organisationer	-	-	-	-	-	-	-	-
Institut	876 654	827 920	12 920	17 049	1 034	1 364	1,5	2,1
Företag	6 164	6 582	5 762	6 475	461	518	93,5	98,7
Hushåll	3 525	4 782	2 631	3 518	211	281	73,2	73,6
Säkerheter i fastigheter	68 820	63 134	24 018	23 254	1 921	1 860	34,9	36,8
Fallerade exponeringar	290	276	315	296	25	24	108,6	107,4
Högriskposter	8	9	13	13	1	1	150,0	150,0
Aktier	99 253	58 477	108 634	67 858	8 691	5 429	109,5	116,0
varav börsnoterade aktier	-	-	-	-	-	-	-	-
varav borgen aktier	99 253	58 477	108 634	67 858	8 691	5 429	109,5	116,0
Övriga poster	7 530	2 212	7 703	1 882	616	151	102,4	85,1
Summa schablonmetoden	1 065 085	983 964	161 906	120 348	12 080	9 628	16,2	12,5

¹ Uppgifter om kapitalkrav för exponeringsklasser där det förekommer exponeringar.

NOTER | MODERBOLAGET

M44 FORTS

Minimikrav på nedskrivningsbara skulder (MREL)

MREL-krav uttryckt som andel av totala skulder och kapitalbas (SFS 2015:1016). Minimikravet på nedskrivningsbara skulder och kapitalbas bestäms i bankens resolutionsplan av resolutionsmyndigheten RGC, i samarbete med FI. Totala skulder och kapitalbas samt MREL-krav baseras på affär från det tredje kvartalet.

mil	2020	2019
MREL-krav	138 170	105 233
Nedskrivningsbara skulder och kapitalbas	305 963	330 412
Totala skulder och kapitalbas	2 280 252	2 170 329

%	2020	2019
MREL-krav som procent av totala skulder och kapitalbas	6,1	4,8
Nedskrivningsbara skulder och kapitalbas som procent av totala skulder och kapitalbas	13,4	15,2

LRCom: Bruttosoldittetsgrad – gemensam upplysning mil	2020	2019
Exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat och transaktioner för värdepappersfinansiering)		
Poster i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och förvaltningsstillgångar)	2 077 616	2 022 617
Tilläggsbelopp för potential framtida exponering förbundet med samtliga derivattransaktioner (marknadsvärdering)	-5 177	-7 723
Sammanlagda exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och förvaltningsstillgångar)	2 072 439	2 014 894
Derivatexponeringar		
Återanskaffningskostnad förbunden med samtliga derivattransaktioner (dvs netto av modifikationsbar kontantvariationsmarginal)	8 763	6 678
Tilläggsbelopp för potential framtida exponering förbundet med samtliga derivattransaktioner (marknadsvärdering)	22 590	29 977
Exponering fastställt enligt ursprunglig åtagandemetod	-	-
Gross-up för derivatsäkerhet vid avdrag från tillgångar i balansräkningen i enlighet med den tillämpliga nedovisningsramen	-	-
Avdrag för fordringar på kontantvariationsmarginal i derivattransaktioner	-12 876	-8 466
Undantagen central motpartsdell i handelsexponeringar som är clearade med denna motpart	-	-
Justerat effektivt teoretiskt belopp för skriftliga kreditderivat	4 304	5 621
Justerat effektivt teoretiskt kompensations och tilläggsavdrag för skriftliga kreditderivat	-35	-116
Sammanlagda derivatexponeringar	16 748	33 694
Exponeringar i transaktioner för värdepappersfinansiering		
Bruttotillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering (utan godkännande av nettoing) efter justering för förstärkningstransaktioner	14 216	16 010
Nettade belopp för kontantkuider och kontantfordringar i bruttotillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering	-	-
Motpartens kreditriskexponering mot tillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering	3 750	3 553
Undantag för transaktioner för värdepappersfinansiering: Motpartens kreditriskexponering i enlighet med artikel 425b 4 och artikel 222 i förordning (EU) nr 575/2013	-	-
Exponeringar mot förmodade transaktioner	-	-
Undantagen central motpartsdell av exponeringar mot transaktioner för värdepappersfinansiering som är clearade med motparten	-	-
Sammanlagda exponeringar i transaktioner för värdepappersfinansiering	17 968	19 563
Andra poster utanför balansräkningen		
Poster utanför balansräkningen i teoretiska bruttobelopp	508 357	495 337
Justeringar för konvertering till kreditkvaliteter	-357 705	-306 790
Övriga exponeringar utanför balansräkningen	150 653	188 547
Undantagna exponeringar		
Undantag för exponeringar inom gruppen (individuellt nivå) i enlighet med artikel 429.7 i förordning (EU) nr 575/2013 (i och utanför balansräkningen)	-807 002	-736 853
Undantagna exponeringar i enlighet med artikel 429.14 i förordning (EU) nr 575/2013 (i och utanför balansräkningen)	-	-
Kapital- och sammanlagda exponeringar		
Primärkapital	141 716	128 142
Sammanlagda exponeringar i bruttosoldittetsgrad	1 440 801	1 519 846
Bruttosoldittetsgrad		
Bruttosoldittetsgrad	9,77%	8,43%
Val av övergångsarrangemang och belopp för förvaltningsposter som har tagits bort från balansräkningen		
Val av övergångsarrangemang för definitionen av kapitalmålet	Transitional	Transitional
Belopp för förvaltningsposter som har tagits bort från balansräkningen i enlighet med artikel 429.13 i förordning (EU) nr 575/2013	0	0

LRCSum: Sammanfattande avstämning av redovisningsstillgångar och exponeringar i bruttosoldittetsgrad mil	2020	2019
Sammanlagda tillgångar enligt offentliga finansiella rapporter	2 124 863	2 079 505
Justering för anhalter som har konsoliderats för redovisningsändamål men som inte omfattas av konsolidering under tillsyn	-	-
Justering för förvaltningsstillgångar som redovisas i balansräkningen i enlighet med den tillämpliga redovisningsramen, men som är undantagna från exponeringsmålet för bruttosoldittetsgrad i enlighet med artikel 429.13 i förordning (EU) nr 575/2013	-	-
Justeringar för finansiella derivatinstrument	-17 286	-8 146
Justeringar för transaktioner för värdepappersfinansiering	3 750	3 553
Justering för poster utanför balansräkningen (dvs konvertering till kreditkvaliteter för exponeringar utanför balansräkningen)	150 653	188 547
Justering för exponeringar inom gruppen som inte omfattas av exponeringsmålet för bruttosoldittetsgrad i enlighet med artikel 429.7 i förordning (EU) nr 575/2013	-807 002	-736 852
Justering för exponeringar inom gruppen som inte omfattas av exponeringsmålet för bruttosoldittetsgrad i enlighet med artikel 429.14 i förordning (EU) nr 575/2013	-	-
Andra justeringar	-5 177	-6 761
Summa exponeringsmålet för bruttosoldittetsgrad	1 440 801	1 519 846

STYRELSENS OCH VD:S UNDERSKRIFTER

Styrelsens och vd:s underskrifter

Härmed försäkras att koncernredovisningen har upprättats i enlighet med de internationella redovisningsstandarder som avses i Europaparlamentets och rådets förordning (EG) nr 1606/2002 av den 19 juli 2002 om tillämpning av internationella redovisningsstandarder, att moderbolagets årsredovisning har upprättats i enlighet med god redovisningssed för aktiemarknadsbolag, att års- och koncernredovisningen ger en rättvisande bild av koncernens och moderbolagets ställning och resultat samt att förvaltningsberättelsen ger en rättvisande översikt över utvecklingen av moderbolagets och koncernens verksamhet, ställning och resultat samt beskriver väsentliga risker och osäkerhetsfaktorer som moderbolaget och de övriga företag som ingår i koncernen står inför.

STOCKHOLM DEN 2 FEBRUARI 2021

Pär Boman
styrelsens ordförande

Fredrik Lundberg
vice ordförande

Jon Fredrik Baksaas
styrelseledamot

Hans Blörck
styrelseledamot

Kerstin Hessius
styrelseledamot

Anna Hjelmborg
styrelseledamot

Lena Renström
styrelseledamot

Ulf Riese
styrelseledamot

Anja Taavenilu
styrelseledamot

Carina Åkerström
varkställande direktör

2【主な資産・負債及び収支の内容】

上記「第6-1-(1) 連結財務書類」及び「第6-1-(2) 個別財務書類」の注記を参照のこと。

3【その他】

(1) 訴訟及び規制手続

該当事項なし。

(2) 後発事象

該当事項なし。

4【IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違】

当行グループの連結財務書類は欧州委員会により承認されている国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)及び国際財務報告委員会解釈指針委員会による基準の解釈指針に準拠して作成されている。さらに、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年第1559号)及びSFSAが発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告にも従っている。連結財務書類には企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、並びにスウェーデン財務報告審議会による意見書も適用されている。

親会社の財務書類は、スウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法(1995年第1559号)、SFSAが発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告、スウェーデン財務報告審議会の勧告RFR第2号「事業体に関する会計処理」及びスウェーデン財務報告審議会による意見書に準拠して作成されている。SFSAの推奨に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれらの基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り採用されていることを意味する。

以下の記述は、当行グループが適用する会計基準のうち重要と考えられるものと日本の会計原則の差異を概説したものである。当行グループは、連結財務書類並びに親会社の個別財務書類及び関連注記に関して、日本の会計原則との間の比較表を作成しておらず、その差異を定量化していない。したがって、以下の記述が日本の会計原則との差異を網羅している保証はない。

(1) 連結

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、親会社に直接又は間接的に支配されている企業(子会社)はすべて連結される。親会社は企業への投資から生じるリターンの変動性にさらされているか、又はそのリターンに対する権利を有しており、かつ、その企業に対するパワーによりそのリターンに影響を及ぼすことができる場合に、その企業を直接支配しているとみなされるため連結する。

親会社は、類似の状況における同様の取引及び他の事象に関し、統一された会計方針を用いて、連結財務諸表を作成しなければならない。

日本の会計原則

日本の会計原則でも、親会社は支配しているすべての会社を連結することが求められている。一定の特
別目的会社については、一定の要件を満たす場合に子会社に該当しないものと推定され、連結することが
求められない。

親会社及び子会社が連結財務書類を作成するために採用する会計原則は、原則として統一されなければ
ならない。「連結財務書類作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」によれば、在外子
会社の所在地国の会計原則に準拠して作成された財務書類は原則として親会社の会計方針(日本の会計原
則)に修正する必要があるが、在外子会社の財務書類がIFRS又は米国会計基準に準拠して作成されている
場合は、のれんの償却、退職給付会計における数理計算上の差異の会計処理、研究開発費の会計処理、投
資不動産の時価評価及び固定資産の再評価の会計処理、資本性金融商品の公正価値の事後的な変動をそ
他の包括利益に表示する選択をしている場合の組替調整等の一定の項目の修正を除き、これを連結決算手
続上利用できることと規定されている。

(2) 企業結合及びのれん

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、企業結合は取得法で会計処理されている。のれんは当初取得原価で計上され、その後は減損
損失累計額を控除後の取得原価で計上される。のれんについては年一回、及び減損の兆候がある場合には
いつでも減損テストが実施される。

IAS第38号によると、のれん及び耐用年数を確定できない無形固定資産は連結財務書類において償却さ
れない。親会社において、耐用年数を確定出来ないその他の無形固定資産の取得は年次報告法の規定に準
拠して償却される。通常、買収により取得したのれんは20年で償却される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、企業結合は原則としてパーチェス法により会計処理される。また、のれんは20年
以内の期間にわたり定額法その他の合理的方法により定期的に償却され、減損の兆候が認められた場合に
減損テストの対象となる。

(3) 非金融資産の減損

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、確定可能な耐用年数を有する無形資産は、資産に減損の兆候がある場合に減損について検証
が行われる。不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。その
ような兆候が存在する場合、当該資産の回収可能価額が見積られ、必要な場合に減損損失が損益に認識さ
れる。減損損失は、IAS第36号の要件を満たす場合には損益に戻入ることができるが、戻入れ後に増加
する資産額は、減損処理前の価格を超えてはならない。

日本の会計原則

日本の会計原則では、減損の兆候が認められ、かつ割引前の見積り将来キャッシュ・フロー総額(20年
以内の合理的な期間に基づく)が帳簿価額を下回ると見積られる場合において、回収可能価額と帳簿価額
の差額につき減損損失を計上する。減損損失の戻入は認められない。

(4) 退職後給付

IFRS

確定給付型制度において年金債務は数理的手法に基づき測定されるが、ここでは予測単位積増方式を用
いて、給付が割り引かれている。制度資産は、公正価値で測定されている。当該制度資産が年金債務を超
える場合は資産(超過額)として、不足する場合は負債(不足額)として、それぞれ貸借対照表に計上されて

いる。制度資産からの期待収益は、正味確定給付債務(資産)の算定に使用される割引率を適用することで計算される。数理計算上の損益は、リサイクリングされず、その発生年度においてその他包括利益に計上される。

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わり、年金費用は年金債務保護法の規定及びSFSAの規定に準拠して親会社の年金数理計算を基に計算される。これは主に割引率の設定方法、親会社の年金債務の計算における将来債務の計算に将来の昇給が考慮されないこと、年金数理差損益は発生時に全額が認識されること(改訂IAS第19号と類似しているが、旧IAS第19号とは異なる。)に関して差異があることを意味する。認識された正味年金費用は、支払給付金及び年金拠出金から年金基金支給額を控除したものとされる。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積もり年金債務を超過したことによる超過額は親会社の財務書類において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

日本の会計原則

日本の会計原則でも、確定給付型年金制度は、退職給付債務から年金資産の額を控除した額が貸借対照表に計上される。数理計算上の差異は、各期の発生額について平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理(その他包括利益からリサイクリング)することとされており、また、発生時に費用処理する方法も認められている。

利息費用は退職給付債務に割引率を乗じて算定され、制度資産からの期待収益は、期首の年金資産の額に長期期待運用収益率を乗じて計算される。

(5) 非継続事業及び売却目的で保有する非流動資産

IFRS

売却目的に分類された非流動資産又は処分予定の資産及び負債は、貸借対照表(財政状態計算書)上、他の資産及び負債と区分して表示しなければならない。これら資産及び負債は相殺されず、1つの区分として表示される。また、売却目的保有として分類した非流動資産(又は処分予定の資産)に関連してその他包括利益で認識された収益又は費用の累計額を区分して表示しなければならない。(IFRS第5号)

日本の会計原則

資産又は負債を売却目的保有あるいは処分予定の資産及び負債へ分類する基準、並びに非継続事業の区分表示に関する基準はない。

(6) 保険契約

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRS第4号「保険契約」の定義を満たす保険契約及び裁量権のある有配当性のある金融商品に対してIFRS第4号が適用される。IFRS第4号における「保険契約」とは、「一方の当事者(保険者)が、他方の当事者(保険契約者)から、特定の不確実な将来事象(保険事故)が保険契約者に不利益を与えた場合に保険契約者に補償を行うことを同意することにより、重要な保険リスクを引き受ける契約」と定義されている。

日本の会計原則

日本においては、IFRS第4号のような「保険契約」の定義はないが、保険業者が「保険契約」として当局の許認可を受けた契約は「保険契約」とされている。保険契約には保険業法による会計処理が適用される。

(7) 保険契約における預り金要素の区分(アンバンドリング)

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

保険契約の中には保険要素と預り金要素の両方を有するものがある。場合によっては、保険者は、それらの構成要素をアンバンドリングすることを要求又は許容される。

(a) 次の要件をいずれも満たす場合には、預り金要素のアンバンドリングが要求される。

() 保険者が当該預り金要素(すべての組込解約オプションを含む)を分離して(すなわち、保険要素を考慮することなく)測定することが可能である。

() 当該保険者の会計方針が、預り金要素から生じるすべての義務及び権利を認識することを特に要求していない。

(b) 保険者が預り金要素を(a)()に記述のように分離して測定することが可能であるが、会計方針が預り金要素から生じるすべての義務及び権利を認識することを求めている場合には、権利及び義務の測定に使用される基礎に関係なく、アンバンドリングは許容されるが要求はされない。

(c) 保険者が預り金要素を(a)()のように分離して測定することができない場合には、アンバンドリングは禁止される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、保険契約における預り金要素のアンバンドリングを扱った基準はない。

(8) グループ利益分配

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

スウェーデンにおいては、連結税務申告は認められていない。

子会社から受領したグループ利益分配は、すべて親会社の損益計算書において受取配当金として報告される。このグループ利益分配は、親会社の貸借対照表において子会社持分の価値の増加として報告される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、税金費用の最適化目的で行うグループ利益分配についての基準はない。

(9) 金融商品

金融商品の分類及び測定

IFRS

(金融資産)

IFRS9 では、金融資産の管理に関する企業の事業モデル及び、金融資産の契約条件により、元本及び元本残高に対する利息の支払のみであるキャッシュ・フローが所定の日に生じるという特性(以下「SPPI要件」という。)に基づき、原則として下記(a)～(c)のいずれかの事後測定が行われる金融資産に分類される。(IFRS第9号「金融商品」)

(a) 償却原価測定

契約上のキャッシュ・フローを回収するために金融資産を保有することを目的とする事業モデルの中で保有し、かつSPPI要件を満たす金融資産

(b) その他の包括利益（以下「OCI」という。）を通じて公正価値測定（以下「FVOCI」という。）

契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方を目的とする事業モデルの中で保有し、かつSPPI要件を満たす金融資産

(c) 純損益を通じて公正価値で測定（以下「FVPL」という。）

上記以外の金融資産

上記の原則的分類に対し、下記の二つの例外が認められている。

・公正価値オプション

会計上のミスマッチを除去又は大幅に低減することとなる場合には、当初認識時に金融資産をFVPL測定するという取り消しできない指定が可能

・OCIオプション

資本性金融商品に対する投資について、当初認識時に公正価値の事後の変動をOCIに表示するという取り消しできない選択を行うことが可能。ただし、投資の売却時において、累積されたOCIを当期の損益に計上すること（以下「リサイクリング」という。）は認められない。

（金融負債）

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債、一定の金融保証契約、公正価値オプションの指定を行った金融負債等の例外を除き、償却原価により事後測定する金融負債に分類される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に従い、金融資産および金融負債は以下のように測定される。

- ・ 売買目的有価証券は、時価で測定し、時価の変動は損益認識される。
- ・ 個別財務書類においては、子会社株式および関連会社株式は、取得原価で計上される。
- ・ 満期保有目的の債券は取得原価または償却原価で測定される。
- ・ 売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式および関連会社株式以外の有価証券（「その他の有価証券（IAS第39号における売却可能有価証券に類似）」）は、時価で測定し、時価の変動額は、純資産に計上され、売却、減損あるいは回収時に損益計算書へ計上される。
- ・ 時価を測定することが極めて困難と認められる有価証券については、それぞれ次の方法による。(1)社債その他の債券である時は、取得原価または償却原価で計上する。(2)社債その他の債券以外の有価証券は取得原価をもって計上する。
- ・ 貸付金および債権は取得原価または償却原価で測定される。
- ・ 金融負債は債務額で測定される。ただし社債については償却原価法で評価される。
- ・ IFRSで認められる公正価値オプションに関する会計基準はない。

金融資産の減損

IFRS

IFRS9では、償却原価測定及びFVOCI 測定の金融資産、リース債権、IFRS 第15号「顧客との契約から生じる収益」の範囲に含まれる取引から生じた契約資産、ローン・コミットメント、金融保証契約に係る予想信用損失に対して損失評価引当金を認識する（IFRS第9号「金融資産」）。各報告日において、金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大している場合には、当該金融商品に係る損失評価引当金を全期間の予想信用損失の金額で、金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大していない場合には、当該金融商品に係る損失評価引当金を12か月の予想信用損失の金額で測定する。

金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大しているかどうかを判定するにあたっては、予想信用損失の金額の変動ではなく、当該金融商品の予想存続期間にわたる債務不履行発生リスクの変動を用いて行う。

予想信用損失を測定する際に考慮すべき最長の期間は、企業が信用リスクに晒される最長の契約期間（延長オプションの行使による期間を含む。）を使う。

金融商品の予想信用損失は、下記を反映する方法で見積もる。

- ・一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定される偏りのない確率加重金額
- ・貨幣の時間価値
- ・過去の事象、現在の状況及び将来の経済状況の予測についての、報告日において過大なコストや労力を掛けずに利用可能な合理的で裏付け可能な情報

日本の会計原則

日本では企業会計基準第10号に従い、債権の貸倒見積高は、債務者の財政状態及び経営成績等に応じて、「一般債権」、「貸倒懸念債権」、「破産更生債権等」に区分し、それぞれに応じて定められた方法により算定する。

売買目的以外の有価証券のうち時価があるものについて、時価が著しく下落した場合に、回復する見込みがあると認められる場合を除き、減損損失が認識され、当該資産の帳簿価額は時価まで減額される。減損損失の額は当期純利益に認識される。

その他有価証券について減損損失の認識を行う場合、純資産に認識された累積未実現損失は、純資産から除かれ、当期純利益に認識される。減損損失の戻入は認められない。

ヘッジ

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

一定の条件が満たされた場合は、下記の種類のヘッジ関係に係るヘッジ会計が認められている。

- ・ 公正価値ヘッジ(すなわち、特定のリスクに起因し、損益に影響を与える可能性がある、認識済みの資産又は負債の公正価値の変動に対するエクスポージャーのヘッジ) - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益は損益計算書に計上されている。また、ヘッジされたリスクに起因するヘッジ対象の損益はヘッジ対象の帳簿価額により調整され、これもまた損益計算書に計上されている。
- ・ キャッシュフロー・ヘッジ(すなわち、認識済み資産又は負債に係る特定のリスク又は発生の可能性の高い予定取引に起因し、損益に影響を与える可能性がある、キャッシュ・フローの変動可能性に対するエクスポージャーのヘッジ) - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益計算書に計上される。

- ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益に計上されている。

IFRSでは、類似の資産、負債、発生可能性の非常に高い予定取引又は在外営業活動体に対する純投資のポートフォリオをヘッジ対象とすることができる。このため、IAS第39号は類似した項目のみを1つのポートフォリオにグループ化することを認めている。次の両方に該当する場合、項目は類似していると考えられる。a)ヘッジされるリスクを共有していること、b)ヘッジされるリスクに起因する個々の項目の公正価値の変動は、ヘッジされるリスクに起因するポートフォリオの公正価値の全体の変動におおむね比例すると見込まれること。

日本の会計原則

日本の会計原則では、デリバティブ金融商品について、会計基準により定められたヘッジ会計の要件を満たす場合には、原則として、「繰延ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を貸借対照表の「純資産の部」に計上し、ヘッジ対象が損益計上されるのと同じの会計期間に損益に計上する。)が適用されるが、その他有価証券については、「時価ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を発生時に計上するとともに、同一の会計期間にヘッジ対象の損益も計上する。)を適用できる。

日本の会計原則では、リスク要因(金利リスク、為替リスク等)が共通しており、かつ、リスクに対する反応が同一グループ内の個々の資産又は負債との間でほぼ同様である場合に、ポートフォリオに対するヘッジ指定ができる。

金融資産の認識の中止

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

金融資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が消滅し、又は金融資産が譲渡され、かつ、その譲渡が認識の中止の要件を満たす場合、金融資産の認識は中止される。

譲渡においては、報告企業は、資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を移転すること、又は資産のキャッシュ・フローの権利を留保するが、そのキャッシュ・フローを第三者に支払う契約上の義務を引受けることのいずれかを要求される。譲渡に際して、会社は、譲渡した資産の所有に係るリスクと経済価値がどの程度留保されているかを評価する。実質的にすべてのリスクと経済価値が留保されている場合は、その資産は引続き貸借対照表(財政状態計算書)で認識される。実質的にすべてのリスクと経済価値が移転された場合は、当該資産の認識は中止される。

実質的にすべてのリスクと経済価値が留保も移転もされない場合は、会社はその資産の支配を引続き留保しているかどうかについて評価をする。支配を留保していない場合は、当該資産の認識は中止される。一方、会社が支配を留保している場合、継続関与の程度に応じて、引続きその資産を認識する。

日本の会計原則

日本の会計原則では、「金融商品に係る会計基準」により、金融資産は金融資産の契約上の権利を行使したとき、権利を喪失したとき、又は権利に対する支配が他に移転したときに認識が中止される。金融資産の契約上の権利に対する支配が他に移転するのは、(a)譲渡された金融資産に対する譲渡人の契約上の権利が譲渡人及びその債権者から法的に隔離され、(b)譲受人が譲渡された金融資産の契約上の権利を直接又は間接に享受でき、(c)譲渡人が譲渡した金融資産を当該金融資産の満期前に買戻す又は償還する権利及び義務を有していない場合である。

(10) リース

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、IFRS第16号「リース」に従い、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分せず、単一の借手会計処理モデルを適用する。すべてのリース契約（短期リース契約及び原資産が少額であるリース契約を除く）につき、借手の貸借対照表に資産（使用権資産）および負債が認識される。また当該資産の減価償却費ならびにリース債務に係る支払利息は損益計算書に認識される。

日本の会計原則

企業会計基準第13号に従い、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分する。借手のファイナンス・リース取引は、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース物件とこれに係る債務をリース資産及びリース債務として貸借対照表に計上する。ただし、リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下のリース取引や、リース期間が1年以内のリース取引などは、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行うことができる。

オペレーティング・リース取引とは、ファイナンス・リース取引以外のリース取引をいう。オペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行う。

第7【外国為替相場の推移】

1【最近5年間の事業年度別為替相場の推移】

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

事業年度	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
決算月日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
最高	14.25	14.09	13.95	12.22	12.63
最低	11.36	11.98	12.01	10.78	10.58
平均	12.71	13.14	12.71	11.53	11.63
期末	12.81	13.71	12.33	11.75	12.63

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

2【最近6月間の月別最高・最低為替相場】

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

月別	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年3月	2021年4月	2021年5月
最高	12.63	12.66	12.80	12.90	13.02	13.28
最低	12.17	12.36	12.44	12.63	12.67	12.87
平均	12.40	12.51	12.63	12.74	12.82	13.09

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

3【最近日の為替相場】

1スウェーデン・クローネ = 12.91円 (2021年6月18日)

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

第8【本邦における提出会社の株式事務等の概要】

該当事項なし。

第9【提出会社の参考情報】

1【提出会社の親会社等の情報】

該当事項なし。

2【その他の参考情報】

2020年1月1日以降、本書の提出日までの間に、提出された書類及び提出日は以下のとおりである。

- (1) 有価証券報告書及びその添付書類
2020年6月29日 関東財務局長に提出
- (2) 半期報告書及びその添付書類

2020年9月28日 関東財務局長に提出

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

第1【保証会社情報】

該当事項なし。

第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

第3【指数等の情報】

該当事項なし。

(翻訳)

監査報告書

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (企業識別番号502007-7862号)

定時株主総会御中

年次財務諸表及び連結財務諸表に関する報告

監査意見

私たちは、38-65ページ(訳注:原文のページ番号である。以下同様)のサステナビリティ・レポートを除く、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの2020年度の年次財務諸表及び連結財務諸表の監査を行った。当社の年次財務諸表は本書の6-249ページに含まれている。

私たちの意見では、年次財務諸表は信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠して作成されており、また、親会社の2020年12月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況は、同法に準拠し、すべての重要な点において適正に表示されているものと認める。連結財務諸表は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠して作成されており、また、当行グループの2020年12月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の財務成績及びキャッシュ・フローの状況は、同法及びEUが採択した国際財務報告基準(以下、「IFRS」という。)に準拠し、すべての重要な点において適正に表示されているものと認める。

コーポレート・ガバナンス報告書が作成されているが、法定の経営報告書及びコーポレート・ガバナンス報告書は年次財務諸表及び連結財務諸表の他の部分と整合している。また、コーポレート・ガバナンス報告書は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠している。

したがって、私たちは、定時株主総会に対し親会社及び当行グループの損益計算書及び貸借対照表の採択を勧告する。

年次財務諸表及び連結財務諸表に関する本報告書の中の私たちの意見は、監査規則(537/2014)第11条に準拠して親会社の監査委員会に提出されている追加の報告書の内容と整合している。

監査意見の基礎

私たちは、国際監査基準(以下、「ISA」という。)及びスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して監査を行った。本基準における私たちの責任は「監査人の責任」項目で詳述されている。私たちは、スウェーデンの会計士に係る職業倫理に準拠して親会社及び当行グループから独立しており、これらの規定で定められている私たちの倫理的責任を果たした。これには、私たちの知る限りにおいて、監査先企業又は該当する場合、その親会社若しくはEUの中で支配下にある企業に対し、監査規則(537/2014)第5条1項に規定されている禁止業務は行われていないことが含まれている。

私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査上の主要な検討事項

監査上の主要な検討事項とは、私たちの職業的専門家としての判断において、当年度の年次財務諸表及び連結財務諸表で最も重要な事項である。これらの事項は、年次財務諸表及び連結財務諸表全体に対する監査及び監査意見の形成において対応したものであり、私たちはこれらの事項に対し個別に意見を表明しない。各事項に対しどのように対応したかについて記載されている。

私たちは、これらの事項に関するものを含め、私たちの報告書の中の財務諸表の監査対象部分に対し、監査人の責任のセクションにおいて記載されている責任を果たした。従って、私たちの監査には財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に対応するために策定された手続の実施が含まれている。私たちの監査手続の結果は、後述する事項に対応するために実施した手続を含め、添付の財務諸表に対する監査意見の基礎を提供している。

予想信用損失引当金

本項目に関する詳細情報及び説明は、年次財務諸表及び連結財務諸表に示されている。信用リスクエクスポージャー及び信用リスク管理は106ページの注記G2で説明されている。当行グループが計上した予想信用損失については注記G10に記載されている。親会社に関する情報は注記P2及びP10に記載されている。関連する当行グループの会計方針は、95ページの注記G1のセクション10で説明されている。注記P1には、信用供与及び予想信用損失引当金に関する親会社の会計原則が当行グループの会計原則と一致していることが記載されている。

監査上の主要な検討事項の説明

2020年12月31日現在の一般顧客への貸出金は2,269,612百万スウェーデン・クローネ（親会社は566,145百万スウェーデン・クローネ）であり、これは資産合計の72%（親会社は27%）である。オフバランスシート・コミットメントを含めた全体的な信用リスクエクスポージャーの金額は3,125,552百万スウェーデン・クローネ（親会社は2,247,657百万スウェーデン・クローネ）であった。一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の金額は3,457百万スウェーデン・クローネ（親会社は2,432百万スウェーデン・クローネ）であり、そのうちの1,219百万スウェーデン・クローネ（親会社は636百万スウェーデン・クローネ）はモデルベースの算定に基づいており（ステージ1及び2）、2,238百万スウェーデン・クローネ（親会社は1,796百万スウェーデン・クローネ）はマニュアルの算定（ステージ3）によるものであった。モデルでは会計処理されない要因を勘案するために、当行はステージ1及び2に関するモデルベースの算定結果に対し調整を加えている。

予想信用損失引当金は、一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定され、また過去の事象、現在の状況及び将来の経済状況に基づいた偏りのない確率加重された金額を反映する方法で測定される。引当を行うに当たり、当行には、信用リスクの著しい増大を特定するための要件に関する見積りと仮定を行うこと及びや予想信用損失を算定する方法を構築することが求められている。算定の複雑さに加え、当行には見積りと仮定が求められることから、予想信用損失の引当は監査上の重要な検討事項であると考えられる。

監査における本項目への対応

私たちは、倒産確率、デフォルト時損失率、デフォルト時エクスポージャー、予想信用損失に加え、信用リスクの著しい増大に関する当行の評価がIFRS第9号に従っているかどうかを評価した。

私たちは、与信プロセス及び与信判断、与信レビュー、格付区分、デフォルトとなる与信の識別及び判定におけるキーコントロールのデザイン及び有効性テストを実施した。私たちはまた、モデルデータのインプット及びこれらのシステムの承認の取扱いを含むIT全般統制のテストを実施した。私たちは、監査を実施する上で、統制に依拠できるものと評価した。

さらに私たちは、試査により当行の当初の信用格付と最新の信用格付を批判的に検討した。私たちは、モデルにおいて使用される対応システムで処理されているデータが網羅的かつ正確であるかどうかをテストした。私たちは、仮定とパラメーターを含むモデルの検証と評価を行ったほか、行われたモデル検証結果を評価し、使用されたマクロ経済データの妥当性を検討した。私たちは、新型コロナウイルス感染症（Covid-19）に関する、専門家による引当を含め、当行が行った手作業による修正の妥当性を検討した。私たちの監査では、内部のモデル専門家による支援を受けて監査手続を実施した。

私たちはまた、信用リスクに関する財務諸表の開示が適切であるかどうか評価を行った。

市場価格が入手不能な金融商品の公正価値測定

監査上の主要な検討事項の詳細情報及び説明は、年次財務諸表及び連結財務諸表に示されている。公正価値で測定される金融商品について、当行グループについては注記G39、親会社については注記P35で説明されている。関連する当行グループの会計原則は、95ページの注記G1のセクション9で説明されている。注記P1には、公正価値で測定される金融商品に関する親会社の会計原則が当行グループの会計原則と一致していることが記載されている。

監査上の主要な検討事項の説明

当行は市場価格が入手不能な金融商品を有しており、この場合、公正価値は市場データに基づく評価モデルを利用して決定されている。これらの金融商品はIFRSの公正価値評価ヒエラルキーのレベル2に区分される。スウェンスカ・ハンデルスバンケンは、評価モデルを使用して公正価値測定が決定される金融商品で、その評価が外部の市場データによる裏付け不能なインプットデータに影響されるものを一部保有している。これらの金融商品はIFRSの公正価値評価ヒエラルキーのレベル3に区分される。

当行グループは38,779百万スウェーデン・クローネ（親会社は62,574百万スウェーデン・クローネ）のレベル2の金融資産及び35,327百万スウェーデン・クローネ（親会社は46,850百万スウェーデン・クローネ）のレベル2の金融負債を保有している。レベル3の金融資産及び負債の金額は、それぞれ1,104百万スウェーデン・クローネ（親会社は1,068百万スウェーデン・クローネ）及び554百万スウェーデン・クローネ（親会社は554百万スウェーデン・クローネ）である。

当行グループが保有する、金利スワップ及びさまざまな種類の線形通貨デリバティブを含むデリバティブの大部分並びに社債はレベル2に分類されている。レベル2の社債及びデリバティブは、市場金利及びその他の市場価格に基づく評価モデルを使用して評価される。レベル3の金融商品は、主にジョイント・ベンチャーの非上場株式及び保険事業における投資、並びに観察不能なデータを用いて評価される特定のデリバティブで構成される。算定の複雑さに加え当行による見積りが必要とされることから、市場価格がない金融商品の評価は監査上の主要な検討事項であると考えられる。

監査における本項目への対応

私たちは、市場価格が入手不能な金融商品に対する当行の評価方法について、公正価値ヒエラルキーの分類も含め、IFRS第13号に則っているかどうかを評価した。

私たちは、当行のモデルベースの計算で使用された手法と仮定の評価と承認、データ品質の管理及び内部評価モデルの変更の取扱いを含めた、評価プロセスにおけるキーコントロールをテストした。私たちはまた、これらのシステムの承認の取扱いを含むIT全般統制をテストした。

私たちは、これらのキーコントロールが整備され、実施され有効に運用されていることを評価し、そのため私たちの監査手続上、これらのキーコントロールに依拠できるものと判断した。

さらに私たちは、市場価格が入手不能な金融商品の価値を測定するために用いられた手法と仮定を検証した。私たちは、評価モデルを評価ガイダンスや標準的な業界慣行と比較した。私たちは、用いられた仮定を価格情報源と比較し、重要な逸脱について調査した。また私たちは、見積りの正確性をサンプルベースで検証したほか、独自に独立した評価を実施した。私たちは、内部の評価専門家の支援を受けて監査手続を実施した。私たちはまた、金融商品の公正価値に関する財務諸表の開示が適切であるかどうか評価を行った。

年次財務諸表及び連結財務諸表以外のその他の情報

この報告書には、年次財務諸表及び連結財務諸表以外のその他の情報（1-5ページ、38-65ページ及び255-268ページに記載されている。）も含まれている。取締役会及び最高経営責任者はその他の情報について責任を負っている。

年次財務諸表及び連結財務諸表に対する私たちの意見は、その他の情報を対象としていない。また、私たちは当該その他の情報に関していかなる形式の保証の結論も表明しない。

年次財務諸表及び連結財務諸表監査に関連する私たちの責任は、上記で特定された情報の通読及びその情報と年次財務諸表及び連結財務諸表との間に重要な不整合があるか否かを検討することである。この手続きにより、私たちは監査の過程で得た知識から、この情報に重要な虚偽表示があると考えられるか否かについても評価した。

当該情報に関する私たちの手続きに基づいて、当該その他の情報に重要な虚偽表示があると結論づけられた場合、私たちはその事実の報告が求められる。この件について私たちからの報告事項はない。

取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会及び最高経営責任者は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠して適正に表示された年次財務諸表の作成、及びEUに採択されたIFRSに準拠して適正かつ正確に表示された連結財務諸表を作成する責任がある。取締役会及び最高経営責任者はまた、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない年次財務諸表及び連結財務諸表の作成に必要と考える内部統制に対する責任がある。

年次財務諸表及び連結財務諸表の作成において、取締役会及び最高経営責任者は、当社及び当行グループが継続企業として存続する能力を評価する責任がある。該当する場合には、継続企業に関する事項を開示し、継続企業を前提とした会計を適用する。ただし、継続企業を前提とした会計は、取締役会及び最高経営責任者が当社の清算、事業を終了する意思がある場合、または現実的にそれ以外の代替手段がない場合には適用されない。監査委員会は、取締役会の責任及び全般的な業務に影響を及ぼさずに、特に当社の財務報告プロセスを監視する。

監査人の責任

私たちの目的は、全体としての年次財務諸表及び連結財務諸表に、不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、私たちの意見を含めた監査報告書を発行することにある。合理的な保証は高い水準の保証であるが、国際監査基準（以下、「ISA」という。）及びスウェーデンにおける一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査が、存在するすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確約するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集約して、年次財務諸表及び連結財務諸表利用者の経済的意思決定に影響することが合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。ISAに準拠した監査の過程を通じて、私たちは職表的専門家としての判断を行使し、職業的専門家としての懐疑心を保持する他、以下を実施した。

- ・不正又は誤謬による年次財務諸表及び連結財務諸表の重要な虚偽表示リスクの識別及び評価、これらリスクに対応した監査手続の立案及び実施、並びに私たちの監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手した。不正には、共謀、文書の偽造、取引等の記録からの意図的な除外、虚偽の陳述、又は内部統制の無効化を伴うため、不正による重要な虚偽表示リスクを発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。
- ・状況に応じた適切な監査手続を立案するために、私たちの監査に関連する当社の内部統制を理解する。ただし、これは、当社の内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。
- ・適用されている会計方針の適切性、並びに取締役会及び最高経営責任者によって行われた会計上の見積り及び関連する開示の妥当性を評価した。
- ・取締役会及び最高経営責任者が、継続企業を前提とした会計に基づく年次財務諸表及び連結財務諸表を作成することの適切性について結論を得た。私たちは、入手した監査証拠に基づいて当社及び当社グループの事業継続能力に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関する重要な不確実性が認められるかどうかについて結論に達した。重要な不確実性が認められる場合、私たちは、監査報告書において年次財務諸表及び連結財務諸表関連の開示に注意喚起することが求められる。また、その開示が不適切である場合は、年次財務諸表及び連結財務諸表に対して除外事項付意見を表明する。私たちの結論は監査報告書の日付までに入手した以下の監査証拠に基づいている。しかしながら、将来の事象又は状況により当社及び当社グループは継続企業として存続できなくなる場合がある。

- ・年次財務諸表及び連結財務諸表全体の表示、構成及び内容について評価した。ここには年次財務諸表及び連結財務諸表が基礎となる取引及び事象を適正に表示しているか否かの評価が含まれる。
- ・連結財務諸表に対する意見表明のための、当行グループ内の企業活動及び事業活動の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手した。私たちは当行グループ監査を指示、監督及び実施する責任がある。私たちは監査意見について単独で責任を負う。

私たちは、その他の事項とともに、監査の範囲及び時期に関する監査計画について取締役会に報告しなければならない。私たちはまた、私たちが識別した内部統制の重要な不備を含む重要な監査上の発見事項について報告しなければならない。

また私たちは、取締役会に対して私たちが独立性に関する倫理規定に準拠している旨の宣誓書を提供しなければならないほか、取締役会に対して、私たちの独立性に影響することが合理的に考えられる関係及びその他の事項のすべてを報告し、また、該当する場合には関連するセーフガードを通知しなければならない。

私たちは、取締役会に報告された事項の中で、最も重要と評価された重要な虚偽表示リスクを含む、年次財務諸表及び連結財務諸表監査において最も重要と考える事項を決定した。したがって、これが監査上の主要な検討事項となる。私たちは、これらの事項について法規制により公表が禁止されている、あるいは、極端にまれな状況であるが、監査報告書に記載することにより生じる不利益が公共の利益を上回ることが合理的に予想され、当該事項を監査報告書に記載すべきでないとして私たちが決定した場合を除き、これらの事項を監査報告書において説明している。

他の法令上の要件及び規制上の要件に関する報告

監査意見

私たちは、年次財務諸表及び連結財務諸表の監査に加えて、2020年度のスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの取締役会及び最高経営責任者の業務及び当社の利益処分案も監査した。

私たちは、定時株主総会に対して、法定経営報告書に記載されている提案に従った利益処分、及び当事業年度について取締役会のメンバー及び最高経営責任者の責任解除を勧告する。

監査意見の基礎

私たちはスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して監査を実施した。本基準における私たちの責任は、「監査人の責任」項目に詳述されている。私たちは、スウェーデンの会計士に係る職業倫理に準拠して親会社及び当行グループから独立しており、これらの規定で定められている私たちの倫理的責任を果たした。私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会は、当社の利益処分案について責任がある。この責任には、配当案において、親会社及び当行グループの資本に対する当社及び当行グループの事業区分、規模及びリスク、連結要件、流動性及び全般的な財政の規模に対する要件を考慮して、配当が正当なものであるか否かの評価が含まれている。

取締役会は当社の組織及び業務経営について責任がある。この責任には、特に当社及び当行グループの財政状態の継続評価に加え、当社の経理、資産管理及び財政状況が適切な方法で管理されるよう組織を整備することが含まれる。

最高経営責任者は、「取締役会ガイドライン及びインストラクション」に従って継続的に業務運営を行うほか、法令に準拠して当社の会計処理を行い、確実に資産の管理を行うために必要な措置を講じなければならない。

監査人の責任

業務監査に関する私たちの目的、責任解除に関する私たちの意見は、取締役会のメンバー又は最高経営責任者の誰かが、重要な点において、以下のいずれかに該当するか否かについて合理的な保証を得るために監査証拠を入手することである。

- ・当社に不利益をもたらし得る行為若しくは不作為を行った又は
- ・何らかの方法により、会社法、銀行及び金融業法、信用機関及び証券会社に係る年次報告法又は定款に違反する行為を行った

当社の利益処分案の監査及び監査意見に関する私たちの目的は、利益処分案が会社法に準拠しているか否かについて合理的な保証を得るために評価することにある。

合理的な保証は高い水準の保証であるが、スウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査が、当社に不利益をもたらし得る行為若しくは不作為があること、又は利益処分案が会社法に準拠していないことを常に発見することを確約するものではない。

スウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査の過程を通じて、私たちは職業的専門家としての判断を行使し、職業的懐疑心を保持する。業務及び当社の利益処分案の調査は主に財務諸表の監査に基づいている。追加の監査手続は、リスク及び重要性を主眼に、職業的専門家としての判断に基づいて実施された。これは、事業への影響が高く、逸脱及び違反が会社の状況にとって重大となる行為、領域、及び関連性の検査にわたる注力したことを意味する。私たちは、行使された意思決定、営業判断に用いられた裏付け、実施された行動及び責任解除に関する私たちの意見に影響する他の状況について検証シテストを実施した。取締役会による当社の利益処分案に対する意見の基礎として、私たちは、本処分案が会社法に準拠していたかどうかを評価するために取締役会の陳述書及び選択された裏付け証拠を検証した。

法定サステナビリティ・レポートに関する監査人の意見

取締役会は、38-65ページの法定サステナビリティ・レポートについて責任があり、本レポートは年次報告法に準拠して作成されなければならない。

私たちは、FARの監査基準RevR12「法定サステナビリティ・レポートに関する監査人の意見」に準拠して検証を実施した。これは、法定サステナビリティ・レポートに関する私たちの検証が、国際監査基準及びスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して実施される監査とは異なり、範囲が遥かに狭いことを意味する。私たちは、この検証で私たちの意見表明に十分な基礎を入手したと判断している。

法定サステナビリティ・レポートが作成されている。

ストックホルム、Jakobsbergsgatan 24, 11124 に所在するアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビーは、2020年3月25日に開催された定時株主総会において、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの監査人に指名され、1998年4月28日より当社の監査人を務めている。

ストックホルム、Torsgatan 21, 11397 に所在するプライス・ウォーターハウス・クーパース・エイ・ビーは、2020年3月25日に開催された年次株主総会において、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの監査人に指名され、2017年3月29日より当社の監査人を務めている。

ストックホルム、2021年2月11日

アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー

ジェスパー・ニルソン

公認会計士

プライス・ウォーターハウス・クーパース・エイ・ビー

ヨハン・リップ

公認会計士

[次へ](#)

Revisionsberättelse

Till bolagsstämman i Svenska Handelsbanken AB (publ), org.nr 502007-7862

Rapport om årsredovisningen och koncernredovisningen

Uttalanden

Vi har utfört en revision av årsredovisningen och koncernredovisningen för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2020 med undantag för hållbarhetsrapporten på sidorna 38 - 65. Bolagets årsredovisning och koncernredovisning ingår på sidorna 6 - 249 i detta dokument. Enligt vår uppfattning har årsredovisningen upprättats i enlighet med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och ger en i alla väsentliga avseenden rättvisande bild av moderbolagets finansiella ställning per den 31 december 2020 och av dess finansiella resultat och kassaflöde för året enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Koncernredovisningen har upprättats i enlighet med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och ger en i alla väsentliga avseenden rättvisande bild av koncernens finansiella ställning per den 31 december 2020 och av dess finansiella resultat och kassaflöde för året enligt International Financial Reporting Standards (IFRS), såsom de antagits av EU, och lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. En bolagsstyrningsrapport har upprättats. Förvaltningsberättelsen och bolagsstyrningsrapporten är förenliga med årsredovisningens och koncernredovisningens övriga delar, och bolagsstyrningsrapporten är i överensstämmelse med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag.

Vi tillstyrker därför att bolagsstämman fastställer resultaträkningen och balansräkningen för moderbolaget och koncernen.

Våra uttalanden i denna rapport om årsredovisningen och koncernredovisningen är förenliga med innehållet i den kompletterande rapport som har överlämnats till moderbolagets revisionsutskott i enlighet med Revisorsförordningens (537/2014) artikel 11.

Grund för uttalanden

Vi har utfört revisionen enligt International Standards on Auditing (ISA) och god revisionssed i Sverige. Vårt ansvar enligt dessa standarder beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till moderbolaget och koncernen enligt god revisorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav. Detta innefattar att, baserat på vår bästa kunskap och övertygelse, inga förbjudna tjänster som avses i revisorsförordningens (537/2014) artikel 5.1 har tillhandahållits det granskade bolaget eller, i förekommande fall, dess moderföretag eller dess kontrollerade företag inom EU.

Vi anser att de revisionsbevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för våra uttalanden.

SÄRSKILT BETYDELSEFULLA OMRÅDEN	
Särskilt betydelsefulla områden för revisionen är de områden som enligt vår professionella bedömning var de mest betydelsefulla för revisionen av årsredovisningen och koncernredovisningen för den aktuella perioden. Dessa områden behandlades inom ramen för revisionen av, och i vårt ställningstagande till, årsredovisningen och koncernredovisningen som helhet, men vi gör inga separata uttalanden om dessa områden. Beskrivningen nedan av hur revisionen genomfördes inom dessa områden ska läsas i detta sammanhang.	Vi har fullgjort de skyldigheter som beskrivs i avsnittet Revisorns ansvar i vår rapport om årsredovisningen också inom dessa områden. Därmed genomfördes revisionsåtgärder som utformats för att beakta vår bedömning av risk för väsentliga felaktigheter i årsredovisningen och koncernredovisningen. Utfallet av vår granskning och de granskningsåtgärder som genomförts för att behandla de områden som framgår nedan utgör grunden för vår revisionsberättelse.
Reservering för förväntade kreditförluster Detaljerade upplysningar och beskrivning av området lämnas i årsredovisningen och koncernredovisningen. Kreditriskexponeringar och dess hantering beskrivs i not K2 från sid 106. Koncernens redovisade förväntade kreditförluster specificeras i not K10. Upplysningar avseende moderbolaget finns i not M2 och M10. För området relevanta redovisningsprinciper för koncernen beskrivs i not K1, avsnitt 10 på sid 95. Av not M1 framgår att moderbolagets redovisningsprinciper avseende kreditgivning och reserveringar för förväntade kreditförluster överensstämmer med koncernens redovisningsprinciper.	
Beskrivning av området	Hur detta område beaktades i revisionen

Per den 31 december 2020 uppgår utlåning till allmänheten till 2 269 612 (566 145) mkr i koncernen (moderbolaget) vilket motsvarar 72 (27) % av totala tillgångar. Den totala kreditriskexponeringen, inklusive åtaganden utanför balansräkningen, uppgår till 3 125 552 (2 247 657) mkr. Reservering för förväntande kreditförluster för utlåning till allmänheten uppgår till 3 457 (2 432) mkr varav 1 219 (636) mkr baseras på modellbaserade beräkningar (Steg 1 och 2) och 2 238 (1 796) mkr på manuella beräkningar (Steg 3). Banken utför justeringar för modellberäknade reserver i Steg 1 och 2 för att beakta effekter från faktorer som inte bedöms fångas upp av modellen. Förlustreserven ska värderas på ett sätt som återspeglar ett objektivt och sannolikhetsvägt belopp som bestäms genom att utvärdera ett intervall av möjliga utfall och baseras på tidigare händelser, nuvarande förhållanden och prognoser för framtida ekonomiska förutsättningar. Reserveringen kräver att Banken gör bedömningar och antaganden av exempelvis kriterier för att identifiera en väsentlig ökning i kreditrisk och metoder för att beräkna förväntade kreditförluster. Givet komplexiteten vid beräkningen och att det kräver att Banken gör bedömningar och antaganden med väsentlig påverkan på redovisade belopp har värdering av reserven för förväntande kreditförluster ansetts vara ett särskilt betydelsefullt område.	Vi har utvärderat huruvida Bankens bedömning av sannolikhet för fallissemang, förlust vid fallissemang, exponering vid fallissemang och förväntad kreditförlust samt väsentlig ökning av kreditrisk är i enlighet med IFRS 9. Vi har erhållit förståelse för och testat utformningen av nyckelkontroller i kreditprocessen inklusive kreditbeslut, kreditgranskning, ratingklassificering samt identifiering och fastställande av krediter som bedöms vara i fallissemang. Vi har även testat kontroller avseende inläsning av modelldata och generella IT-kontroller inklusive behörighetshantering för dessa system. Vår bedömning är att vi kan ha en kontrollbaserad ansats i vår revision. Vidare har vi utmanat bankens initiala och aktuella kreditrating för ett stickprov av krediter. Vi har testat att data från underliggande system som används i modellen är fullständig och korrekt. Vi har granskat och bedömt modellen som används inklusive antagande och parameter samt kontrollerat modellens funktionalitet. Vi har även granskat och bedömt utfall av de modellvalideringar som har utförts och bedömt rimligheten i den makroekonomiska data som används. Vi har bedömt rimligheten i de manuella justeringar, inklusive den expertbaserade reserveringen avseende covid-19, som utförts av Banken. I vår revision har vi använt våra interna modellspecialister för att bistå oss i de granskningsåtgärder vi utfört. Vi har även granskat att lämnade upplysningar i de finansiella rapporterna angående kreditrisk är ändamålsenliga.
--	--

Värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas Detaljerade upplysningar och beskrivning av området lämnas i årsredovisningen och koncernredovisningen. Finansiella instrument värderade till verkligt värde beskrivs i not K39 för koncernen och M35 för moderbolaget. För området relevanta redovisningsprinciper för koncernen beskrivs i not K1, avsnitt 9 på sid 95. Av not M1 framgår att moderbolagets redovisningsprinciper avseende finansiella instrument värderade till verkligt värde överensstämmer med koncernens redovisningsprinciper.	
Beskrivning av området	Hur detta område beaktades i revisionen
Banken har finansiella instrument där aktuella marknadspriser saknas varför verkligt värde bestäms utifrån värderingsmodeller som bygger på marknadsdata. Dessa finansiella instrument kategoriseras i nivå 2 enligt IFRS värderingshierarki. Svenska Handelsbanken har även i viss omfattning finansiella instrument vars värdering till verkligt värde bestäms utifrån värderingsmodeller där värdet påverkas av indata som inte går att verifiera med externa marknadsuppgifter. Dessa finansiella instrument kategoriseras i nivå 3 enligt IFRS värderingshierarki. Koncernen (moderbolaget) har finansiella tillgångar och finansiella skulder i nivå 2 om 38 779 (62 574) mkr respektive 35 327 (46 850) mkr. Finansiella tillgångar och skulder i nivå 3 uppgår till 1 104 (1 068) mkr respektive 554 (554) mkr. Finansiella instrument i nivå 2 utgörs främst av derivatkontrakt, däribland ränteswappar och olika typer av linjära valutaderivat, samt företagsobligationer. Dessa instrument värderas med värderingsmodeller som bygger på marknadsräntor och andra marknadspriser. Finansiella instrument i nivå 3 utgörs främst av onoterade aktier i gemensamägda bolag, placeringstillgångar i försäkringsrörelsen samt vissa derivatkontrakt som värderas med icke-observerbara data. Givet komplexiteten vid beräkningar och att det kräver att Banken gör bedömningar med väsentlig påverkan på redovisade belopp har värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas bedömts vara ett särskilt betydelsefullt område.	Vi har utvärderat huruvida Bankens metod för värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas inklusive klassificering i värderingshierarki är i enlighet med IFRS 13. Vi har testat nyckelkontroller i värderingsprocessen, innefattande bankens fastställande och godkännande av antaganden och metoder som använts i modellbaserade beräkningar, kontroller av datakvalitet samt förändringshantering avseende interna värderingsmodeller. Vi har även testat generella IT-kontroller inklusive behörighetshantering för dessa system. Vår bedömning är att dessa nyckelkontroller är designade, implementerade och operativt effektiva och vi har därför bestämt att vi kan förlita oss på dessa nyckelkontroller i vår revision. Vidare har vi bedömt och utmanat de metoder och antaganden som används vid värdering av finansiella instrument där marknadsvärden saknas. Vi har jämfört värderingsmodellerna mot värderingsriktlinjer och branschpraxis. Vi har jämfört använda antaganden med lämpliga referensvärden och priskällor och undersökt betydande avvikelser. Vi har kontrollerat rimligheten i beräkningarna genom att stickprovsvis utföra egna oberoende värderingar. I vår revision har vi använt våra interna värderingsspecialister för att bistå oss i de granskningsåtgärder vi utfört. Vi har även granskat att lämnade upplysningar i de finansiella rapporterna angående värdering av finansiella instrument till verkligt värde är ändamålsenliga.

Annan information än årsredovisningen och koncernredovisningen

Detta dokument innehåller även annan information än årsredovisningen och koncernredovisningen och återfinns på sidorna 1 - 5, 38 - 65 och 255 - 268. Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för denna andra information.

Vårt uttalande avseende årsredovisningen och koncernredovisningen omfattar inte denna information och vi gör inget uttalande med bestyrkande avseende denna andra information.

I samband med vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen är det vårt ansvar att läsa den information som identifieras ovan och överväga om informationen i väsentlig utsträckning är oförenlig med årsredovisningen och koncernredovisningen. Vid denna genomgång beaktar vi även den kunskap vi i övrigt inhämtat under revisionen samt bedömer om informationen i övrigt verkar innehålla väsentliga felaktigheter.

Om vi, baserat på det arbete som har utförts avseende denna information, drar slutsatsen att den andra informationen innehåller en väsentlig felaktighet, är vi skyldiga att rapportera detta. Vi har inget att rapportera i det avseendet.

Styrelsens och verkställande direktörens ansvar

Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för att årsredovisningen och koncernredovisningen upprättas och att de ger en rättvisande bild enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och, vad gäller koncernredovisningen, enligt IFRS såsom de antagits av EU. Styrelsen och verkställande direktören ansvarar även för den interna kontroll som de bedömer är nödvändig för att upprätta en årsredovisning och koncernredovisning som inte innehåller några väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller på misstag.

Vid upprättandet av årsredovisningen och koncernredovisningen ansvarar styrelsen och verkställande direktören för bedömningen av bolagets och koncernens förmåga att fortsätta verksamheten. De upplyser, när så är tillämpligt, om förhållanden som kan påverka förmågan att fortsätta verksamheten och att använda antagandet om fortsatt drift. Antagandet om fortsatt drift tillämpas dock inte om styrelsen och verkställande direktören avser att likvidera bolaget, upphöra med verksamheten eller inte har något realistiskt alternativ till att göra något av detta.

Styrelsens revisionsutskott ska, utan att det påverkar styrelsens ansvar och uppgifter i övrigt, bland annat övervaka bolagets finansiella rapportering.

Revisorns ansvar

Våra mål är att uppnå en rimlig grad av säkerhet om att årsredovisningen och koncernredovisningen som helhet inte innehåller några väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller på misstag, och att lämna en revisionsberättelse som innehåller våra uttalanden. Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men är ingen garanti för att en revision som utförs enligt ISA och god revisionssed i Sverige alltid kommer att upptäcka en väsentlig felaktighet om en sådan finns. Felaktigheter kan uppstå på grund av oegentligheter eller misstag och anses vara väsentliga om de enskilt eller tillsammans rimligen kan förväntas påverka de ekonomiska beslut som användare fattar med grund i årsredovisningen och koncernredovisningen.

Som del av en revision enligt ISA använder vi professionellt omdöme och har en professionellt skeptisk inställning under hela revisionen. Dessutom:

- identifierar och bedömer vi riskerna för väsentliga felaktigheter i årsredovisningen och koncernredovisningen, vare sig dessa beror på oegentligheter eller på misstag, utformar och utför granskningsåtgärder bland annat utifrån dessa risker och inhämtar revisionsbevis som är tillräckliga och ändamålsenliga för att utgöra en grund för våra uttalanden. Risken för att inte upptäcka en väsentlig felaktighet till följd av oegentligheter är högre än för en väsentlig felaktighet som beror på misstag, eftersom oegentligheter kan innefatta agerande i maskopi, förfalskning, avsiktliga utelämnanden, felaktig information eller åsidosättande av intern kontroll.
- skaffar vi oss en förståelse av den del av bolagets interna kontroll som har betydelse för vår revision för att utforma granskningsåtgärder som är lämpliga med hänsyn till omständigheterna, men inte för att uttala oss om effektiviteten i den interna kontrollen.
- utvärderar vi lämpligheten i de redovisningsprinciper som används och rimligheten i styrelsens och verkställande direktörens uppskattningar i redovisningen och tillhörande upplysningar.
- drar vi en slutsats om lämpligheten i att styrelsen och verkställande direktören använder antagandet om fortsatt drift vid upprättandet av årsredovisningen och koncernredovisningen. Vi drar också en slutsats, med grund i de inhämtade revisionsbevisen, om det finns någon väsentlig osäkerhetsfaktor som avser sådana händelser eller förhållanden som kan leda till betydande tvivel om bolagets förmåga att fortsätta verksamheten. Om vi drar slutsatsen att det finns en väsentlig osäkerhetsfaktor, måste vi i revisionsberättelsen fästa uppmärksamheten på upplysningarna i årsredovisningen och koncernredovisningen om den väsentliga osäkerhetsfaktorn eller, om sådana upplysningar är otillräckliga, modifiera uttalandet om årsredovisningen och koncernredovisningen. Våra slutsatser baseras på de revisionsbevis som inhämtas fram till datumet för revisionsberättelsen. Dock kan framtida händelser eller förhållanden göra att ett bolag inte längre kan fortsätta verksamheten.
- utvärderar vi den övergripande presentationen, strukturen och innehållet i årsredovisningen och koncernredovisningen, däribland upplysningarna, och om årsredovisningen och koncernredovisningen återger de underliggande transaktionerna och händelserna på ett sätt som ger en rättvisande bild.
- inhämtar vi tillräckliga och ändamålsenliga revisionsbevis avseende den finansiella informationen för enheterna eller affärsaktiviteterna inom koncernen för att göra ett uttalande avseende koncernredovisningen. Vi ansvarar för styrning, övervakning och utförande av koncernrevisionen. Vi är ensamt ansvariga för våra uttalanden.

Vi måste informera styrelsen om bland annat revisionens planerade omfattning och inriktning samt tidpunkten för den. Vi måste också informera om betydelsefulla iakttagelser under revisionen, däribland de betydande brister i den interna kontrollen som vi identifierat. Vi måste också förse styrelsen med ett uttalande om att vi har följt relevanta yrkesetiska krav avseende oberoende, och ta upp alla relationer och andra förhållanden som rimligen kan påverka vårt oberoende, samt i tillämpliga fall tillhörande motåtgärder.

Av de områden som kommuniceras med styrelsen fastställer vi vilka av dessa områden som varit de mest betydelsefulla för revisionen av årsredovisningen och koncernredovisningen, inklusive de viktigaste bedömda riskerna för väsentliga felaktigheter, och som därför utgör de för revisionen särskilt betydelsefulla områdena. Vi beskriver dessa områden i revisionsberättelsen såvida inte lagar eller andra författningar förhindrar upplysning om frågan.

Rapport om andra krav enligt lagar och andra författningar

Uttalanden

Utöver vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen har vi även utfört en revision av styrelsens och verkställande direktörens förvaltning av Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2020 samt av förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust.

Vi tillstyrker att bolagsstämman disponerar vinsten enligt förslaget i förvaltningsberättelsen och beviljar styrelsens ledamöter och verkställande direktören ansvarsfrihet för räkenskapsåret.

Grund för uttalanden

Vi har utfört revisionen enligt god revisionssed i Sverige. Vårt ansvar enligt denna beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till moderbolaget och koncernen enligt god revisorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav.

Vi anser att de revisionsbevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för våra uttalanden.

Styrelsens och verkställande direktörens ansvar

Det är styrelsen som har ansvaret för förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust. Vid förslag till utdelning innefattar detta bland annat en bedömning av om utdelningen är försvarlig med hänsyn till de krav som bolagets och koncernens verksamhetsart, omfattning och risker ställer på storleken av moderbolagets och koncernens egna kapital, konsolideringsbehov, likviditet och ställning i övrigt.

Styrelsen ansvarar för bolagets organisation och förvaltningen av bolagets angelägenheter. Detta innefattar bland annat att fortlöpande bedöma bolagets och koncernens ekonomiska situation och att tillse att bolagets organisation är utformad så att bokföringen, medelsförvaltningen och bolagets ekonomiska angelägenheter i övrigt kontrolleras på ett betryggande sätt. Den verkställande direktören ska sköta den löpande förvaltningen enligt styrelsens riktlinjer och anvisningar och bland annat vidta de åtgärder som är nödvändiga för att bolagets bokföring ska fullgöras i överensstämmelse med lag och för att medelsförvaltningen ska skötas på ett betryggande sätt.

Revisorns ansvar

Vårt mål beträffande revisionen av förvaltningen, och därmed vårt uttalande om ansvarsfrihet, är att inhämta revisionsbevis för att med en rimlig grad av säkerhet kunna bedöma om någon styrelseledamot eller verkställande direktören i något väsentligt avseende:

- företagit någon åtgärd eller gjort sig skyldig till någon försummelse som kan föranleda ersättningsskyldighet mot bolaget, eller
- på något annat sätt handlat i strid med aktiebolagslagen, lagen om bank- och finansieringsrörelse, lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag eller bolagsordningen.

Vårt mål beträffande revisionen av förslaget till dispositioner av bolagets vinst eller förlust, och därmed vårt uttalande om detta, är att med rimlig grad av säkerhet bedöma om förslaget är förenligt med aktiebolagslagen.

Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men ingen garanti för att en revision som utförs enligt god revisionssed i Sverige alltid kommer att upptäcka åtgärder eller försummelser som kan föranleda ersättningsskyldighet mot bolaget, eller att ett förslag till dispositioner av bolagets vinst eller förlust inte är förenligt med aktiebolagslagen.

Som en del av en revision enligt god revisionssed i Sverige använder vi professionellt omdöme och har en professionellt skeptisk inställning under hela revisionen. Granskningen av förvaltningen och förslaget till dispositioner av bolagets vinst eller förlust grundar sig främst på revisionen av räkenskaperna. Vilka tillkommande granskningsåtgärder som utförs baseras på vår professionella bedömning med utgångspunkt i risk och väsentlighet. Det innebär att vi fokuserar granskningen på sådana åtgärder, områden och förhållanden som är väsentliga för verksamheten och där avsteg och överträdelser skulle ha särskild betydelse för bolagets situation. Vi går igenom och prövar fattade beslut, beslutsunderlag, vidtagna åtgärder och andra förhållanden som är relevanta för vårt uttalande om ansvarsfrihet. Som underlag för vårt uttalande om styrelsens förslag till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust har vi granskat styrelsens motiverade yttrande samt ett urval av underlagen för detta för att kunna bedöma om förslaget är förenligt med aktiebolagslagen.

Revisorns yttrande avseende den lagstadgade hållbarhetsrapporten

Det är styrelsen som har ansvaret för hållbarhetsrapporten på sidorna 38 - 65 och för att den är upprättad i enlighet med årsredovisningslagen.

Vår granskning har skett enligt FARs rekommendation RevR 12 Revisorns yttrande om den lagstadgade hållbarhetsrapporten. Detta innebär att vår granskning av hållbarhetsrapporten har en annan inriktning och en väsentligt mindre omfattning jämfört med den inriktning och omfattning som en revision enligt International Standards on Auditing och god revisionssed i Sverige har. Vi anser att denna granskning ger oss tillräcklig grund för vårt uttalande.

En hållbarhetsrapport har upprättats.

Ernst & Young AB, Jakobsbergsgatan 24, 111 44 Stockholm, utsågs till Svenska Handelsbanken AB (publ)s revisor av bolagsstämman den 25 mars 2020 och har varit bolagets revisor sedan 28 april 1998.

PricewaterhouseCoopers AB, Torsgatan 21, 113 97 Stockholm, utsågs till Svenska Handelsbanken AB (publ)s revisor av bolagsstämman den 25 mars 2020 och har varit bolagets revisor sedan 29 mars 2017.

Stockholm den 11 februari 2021

Ernst & Young AB

PricewaterhouseCoopers AB

Jesper Nilsson

Johan Rippe

Auktoriserad revisor

Auktoriserad revisor

() 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものです。その原本は本有価証券報告書提出会社が別途保管しております。